FINAL FANTASY
20th ANNIVERSARY ULTIMANIA

File 1 : Character

Edited by Studio BentStuff / Published by SQUARE ENIX

ULTIMANIA®
アルティマニア

SE-MOOK
SQUARE ENIX.

FINAL FANTASY 20th Anniversary

本コンテンツは 2008 年 1 月 31 日に
紙で発行した書籍を電子化し、収録したものです。
本コンテンツに掲載されている各種情報、表示価格などは、
紙で発行した当時のものであり、
その後の情報と異なっている場合がございます。
何卒ご了承ください。

— FOR THE CHILDREN of FINAL FANTASY —

FINAL FANTASY 20th ANNIVERSARY ULTIMANIA File 1:Character

ファイナルファンタジー 20th アニバーサリー アルティマニア File 1:キャラクター編

CONTENTS

ULTIMANIA CHECK

WELCOME TO FINAL FANTASY 20th ANNIVERSARY ULTIMANIA!!

「ファイナルファンタジー 20th アニバーサリー アルティマニア」シリーズ発刊に寄せて

1987年12月18日、ファミリーコンピュータ用ソフトとして『ファイナルファンタジー』がこの世に産み落とされてから満20周年。
『ファイナルファンタジー』――通称『FF』シリーズは、これまで僕らにさまざまなものを与えてくれた。
ゲームとしての格別な楽しさはもちろん、新時代を切りひらくCG映像や、いつまでも胸に残りつづける音楽、さらには登場人物たちが身をもって示す数々の人生訓――

そうした幸せな20年間の歴史を、いつでも記憶の引き出しから取り出せるようにできたらと、こだわりたっぷりに『FF I』から『FFXII』までをまとめあげていくのが、この「ファイナルファンタジー 20th アニバーサリー アルティマニア」シリーズである。
各巻のページをめくるたびに、それぞれの作品をプレイしていたときの数かぎりない思い出が、みなさんの脳裏を、そして胸の内を、熱く駆けめぐっていくことだろう。

『FF』シリーズの最初の20年をリアルタイムに体験できる時代に生まれて、本当に良かった――

スタジオベントスタッフ
山下 章

※キャラクター解説ページの「Impressive Words」欄のセリフは、基本的にオリジナル版でのセリフをもとにしていますが、漢字・ひらがななどの表記は、読みやすいように手を加えてあります

※本書では、各ゲーム機を以下の略号で記しています
FC……ファミリーコンピュータ
SFC……スーパーファミコン
GBA……ゲームボーイアドバンス
DS……ニンテンドーDS
PS……プレイステーション
PS2……プレイステーション2
PSP……プレイステーション・ポータブル
WSC……ワンダースワンカラー
XB360…Xbox 360

キャラクターで振り返る『FF』シリーズ

『FF』シリーズに登場してきた、大勢の個性的なキャラクターたち。彼らの人となりや人間関係からシリーズを振り返ることで、いま一度『FF』の魅力を味わってみよう。

Romance 恋愛

愛は冒険のきっかけを生み、時に悲劇を招く

古今東西さまざまな物語のなかで語られている"恋愛"という普遍的なテーマは、『FF』シリーズにおいても幾度となく採り上げられてきた。しかも、ハッピーエンドばかりでなく、愛ゆえに訪れる悲劇などにも目が向けられており、人物描写やストーリーに深みを与えるのにひと役買っている。個性豊かなキャラクターたちが見せる、さまざまな恋愛模様――それが『FF』シリーズの大きな魅力のひとつとなっていることはまちがいない。

⬅高名なナイトであったはずのガーランドが招いた世界の危機――それは、王女セーラに己の愛を拒絶されたことからはじまった。

⬆異世界へ飛ばされた主人公ティーダと、そこで出会った少女ユウナ。世界を救う旅のなかで、ふたりはひかれ合い、互いに相手の存在が大きなものになっていく。

➡他人との関わりを強くこばむスコール。しかし、積極的なリノアが彼の心をほぐしていき……。

⬆盗賊団の一員であるジタンは、仕事で誘拐した王女ガーネットにひかれ、彼女の力になろうと決意する。

⬅ラオグリムとコーネリアの種族の壁を越えた愛は、友の裏切りの前にはかなく散り、やがて世界に戦乱を巻き起こすことになる。

Rival ライバル

火花を散らし対決する その先に待つものは……？

宿命のライバル同士がぶつかり合う熱い戦いは、物語のなかでもっとも盛り上がるシーンのひとつ。『FFIV』のセシルとカイン、『FFVII』のクラウドとセフィロスの対決は、その代表例だ。また、『FFV』のバッツとギルガメッシュのライバル関係は物語の主軸でこそないが、彼らの絆はプレイヤーに強い印象を残す。

➡セシルとカインは親友同士であり良きライバルでもあった。だがセシルに対するカインの嫉妬が敵のゴルベーザに利用され……。

⬅主人公バッツの前にたびたび立ちはだかるギルガメッシュ。何度も戦ううち、ふたりのあいだに不思議な友情が芽生えていく。

⬆クラウドがかつてあこがれたセフィロスは、ある事件をきっかけに、故郷を滅ぼし世界を危機におとしいれる憎むべき存在へと変わった。

Master and servant 主従

心に抱くは忠義の魂か 反逆の炎か

王族をはじめ、身分の高い人物が多く登場する『FF』シリーズでは、主人とそれに仕える従者という関係もしばしば見かけられる。ただし、従者の立場にいる人物はかならずしも主人に忠実なわけではなく、『FFVI』のケフカや『FFIX』のクジャのように、みずからの欲望のために反旗をひるがえす者も多い。

⬆超ワンマン社長のナジャ・サラヒムと、その下で人事担当として働くアブクーバ。暴力的で勝手気ままな社長を、恐れながらも慕いつづける姿は、見る者の涙を誘う？

➡みずからの創造主ガーランドの指示で行動していたクジャだったが、裏で反逆を画策。

⬅バッシュは"裏切り者"の汚名を着せられながらも、復讐にこだわる主君アーシェをさとし、支える。

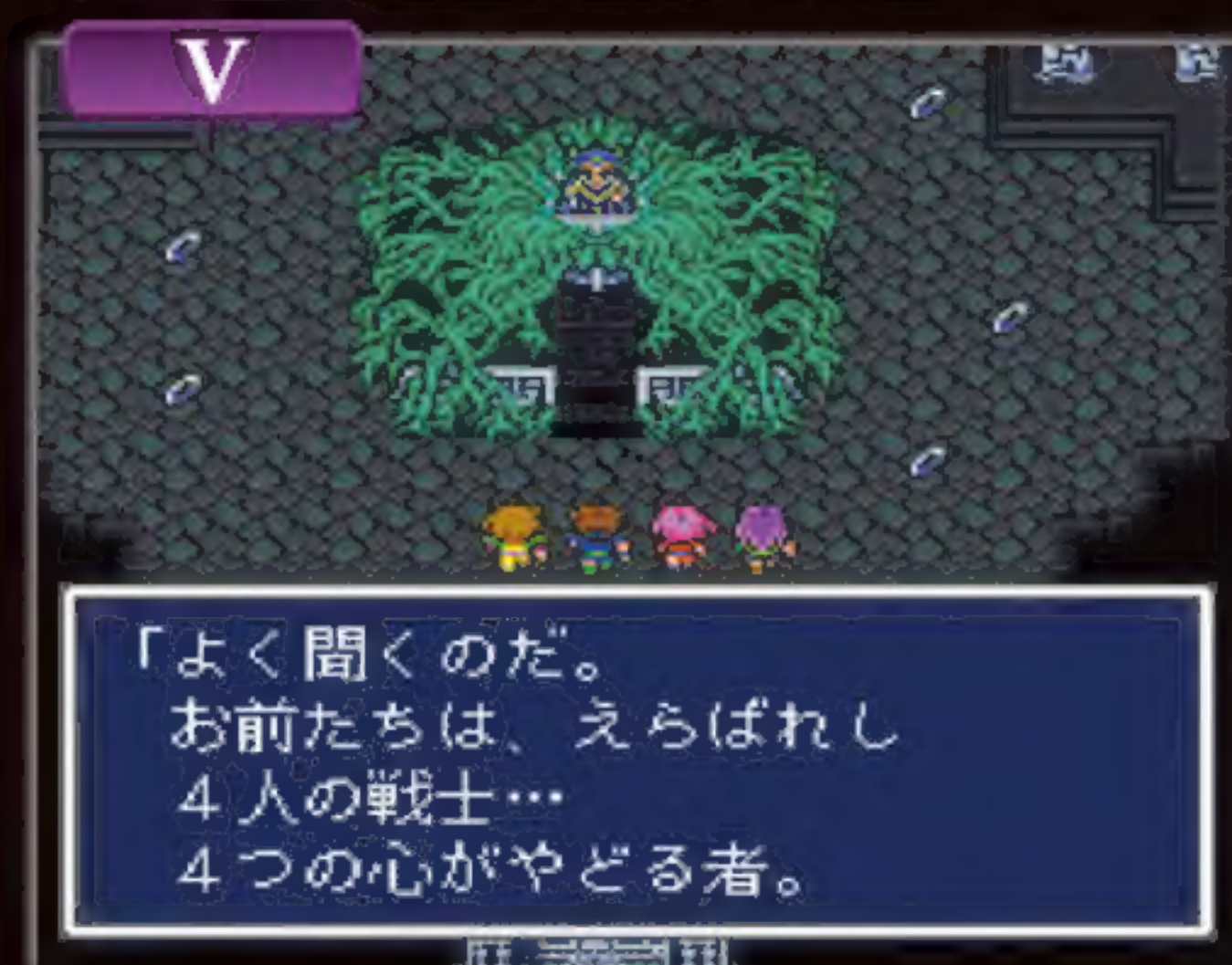
Parent and child 親子

目指すべき目標 越えるべき壁

いつの世も、子にとって親は一番身近な目標であり、越えるべき壁だ。それだけに、『FF』シリーズでも多くの作品で、親子関係が重要なテーマとしてあつかわれてきた。そこでくり広げられるドラマはさまざまで、親の遺志を継いだ子が成長していく姿を描いた『FFV』のようなパターンもあれば、子が親に反発する『FFⅢ(DS版)』や『FFX』のパターンもある。しかし、それらすべてに共通しているのは、親が子に注ぐ愛情の深さ。どんなに厳しい態度で接していても、親はいつだって我が子を愛し、その未来を案じているのだということを、『FF』シリーズの登場人物たちは教えてくれる。

X

←憎しみと愛情――父ジェクトに対し相反する心情を抱くティーダ。彼の旅は父との和解の物語でもある。

V

←世界を救うために戦った父親の遺志を継ぎ、バッツたちはクリスタルを守る冒険へと旅立つ。

III DS

←鍛冶屋のタカは、年ごろの娘レフィアとコミュニケーションをとろうとするが、職人気質が災いし、親子仲はこじれるばかり。

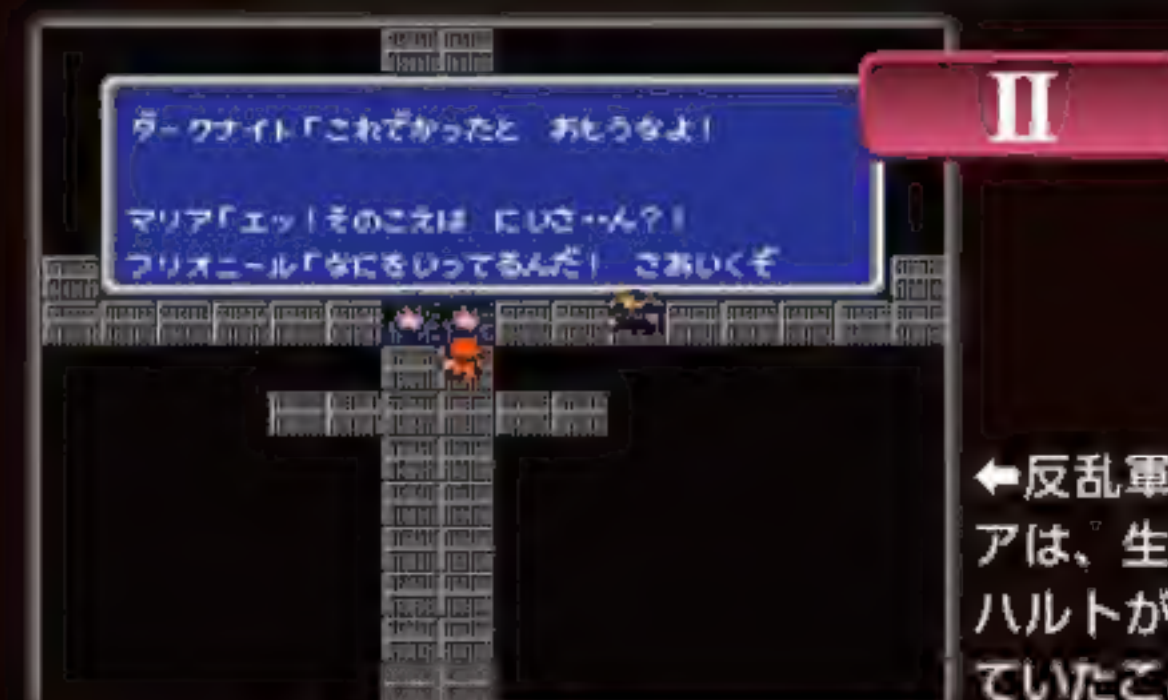
Sibling 兄弟

同じ血をひくがゆえに

兄弟姉妹の絆は、他人同士では決して得られないほどに強く、『FFⅥ』のエドガーとマッシュのように、互いに相手を思いやっているときには、とてつもない力を発揮する。しかし、『FFⅫ』のバッシュとガブラスのように、ひとたびその絆が断たれると、同じ血をわけた者同士で剣をまじえることにもなる。それもまた、相手への思いが強いからこそなのかもしれない。

XII

➡ガブラスは祖国を守れなかった後悔から、自分や母を置き去りにした兄バッシュへ憎しみをぶつける。

II

←反乱軍の一員であるマリアは、生き別れの兄レオンハルトが敵の司令官になっていたことを知って苦しむ。

VI

←長年離れていたエドガーとマッシュ。しかし、互いを思いやる気持ちに揺らぎはなく、再会したあとも力を合わせて帝国と戦う。

FINAL FANTASY 20th ANNIVERSARY ULTIMANIA File 1 : Character

作品別 主要キャラクターINDEX

CHARACTER INDEX

ファイナルファンタジー

ファイナルファンタジーII

ファイナルファンタジーVII

ファイナルファンタジーVIII

ファイナルファンタジーIX

ファイナルファンタジーX

ファイナルファンタジーX-2

ファイナルファンタジーXI

ファイナルファンタジーXII

ファイナルファンタジー

作品概要

RPGの新たな可能性に挑戦した、シリーズ第1弾。ドラマ性豊かな物語、サイドビュー形式のバトル、高速で飛ぶ飛空船(飛空艇)などの独自性を追求した要素が好評を博し、以降のシリーズ作品に受け継がれていった。ゲーム開始時に職業を選ぶジョブシステムを採用。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジー	ファミリーコンピュータ	1987年12月18日	5,900円(税別)	
ファイナルファンタジー(発売元:マイクロキャビン)	MSX2	1989年12月22日	7,800円(税別)	
ファイナルファンタジーI・II	ファミリーコンピュータ	1994年 2月27日	6,800円(税別)	
ファイナルファンタジー	ワンダースワンカラー	2000年12月 9日	5,040円(税込)	※1
ファイナルファンタジー	プレイステーション	2002年10月31日	3,990円(税込)	
ファイナルファンタジーI・II プレミアムパッケージ	プレイステーション	2002年10月31日	9,240円(税込)	
ファイナルファンタジー	iモード	2004年 3月 1日	525円(税込)	※2
ファイナルファンタジーI・IIアドバンス	ゲームボーイアドバンス	2004年 7月29日	6,090円(税込)	
ファイナルファンタジー	EZweb	2004年 8月19日	525円(税込)	
ファイナルファンタジー	Yahoo!ケータイ	2006年 7月 3日	525円(税込)	
ファイナルファンタジー	プレイステーション・ポータブル	2007年 4月19日	3,990円(税込)	

※1……「ワンダースワンカラー本体同梱版」がバンダイから10,498円(税込)で同時発売
※2……アプリがプリインストールされたFOMA P900iが2004年2月29日に発売

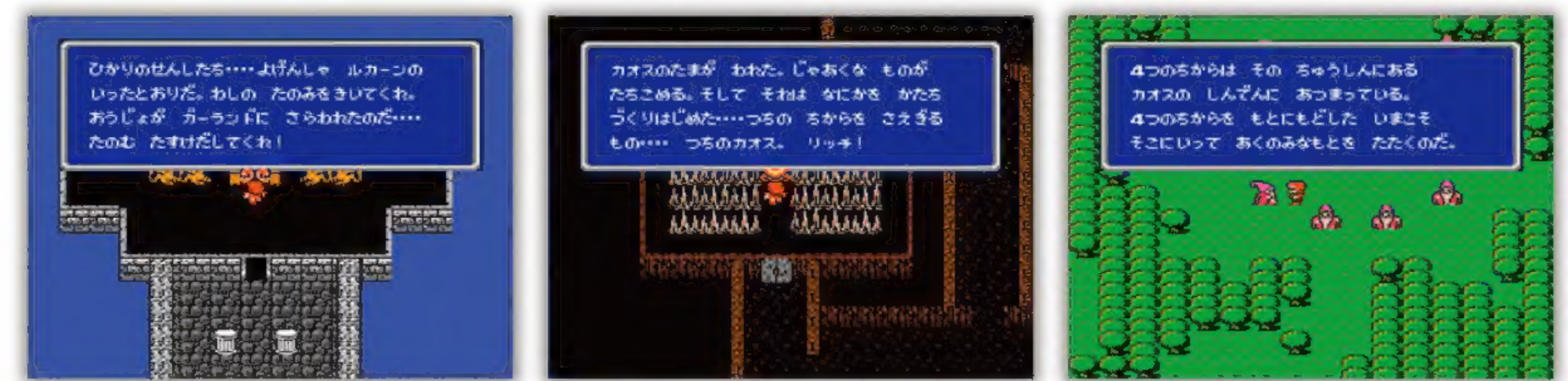
■FC版『FF I・II』

■WSC版

■PS版、携帯電話版

■PS版『FF I・II』

■GBA版『FF I・II』

■PSP版

STORY

閉ざされた時の輪を断ち切るため
戦う光の戦士たち

風、水、土、火……4つの力を象徴するクリスタルに支えられたこの世界は、いま、闇に飲まれ滅びようとしていた。それは、"2000年の時の輪"が作り出す、定められた運命。しかし、恐怖と不安にふるえながらも、人々はひとつの予言を信じて待ちつづけた。「この世　暗黒に染まりし時　4人の光の戦士　現れん」――希望をもたらす、その存在の到来を。

やがて、4人の若者が長い旅の果てにコーネリアの地にたどり着く。4つの力に導かれ、クリスタルに輝きを取りもどす伝説の勇者、光の戦士。記憶も何もなく、自身が何者かもわからぬまま、彼らは予言に従い闇と戦う冒険に身を投じた。

旅のなかで戦士たちは知る――世界を包む暗闇の正体もまた、4つの力であることを。小さなすれちがいのすえに、4つの力によって憎悪の化身となった男の想いが、世界を時の輪のなかに閉じこめていたのだ。光の戦士たちは時を越えて、その憎しみに立ち向かう。ゆがんでしまったクリスタルの力を、正しい方向に導く者として。

FINAL FANTASY I

人物相関図

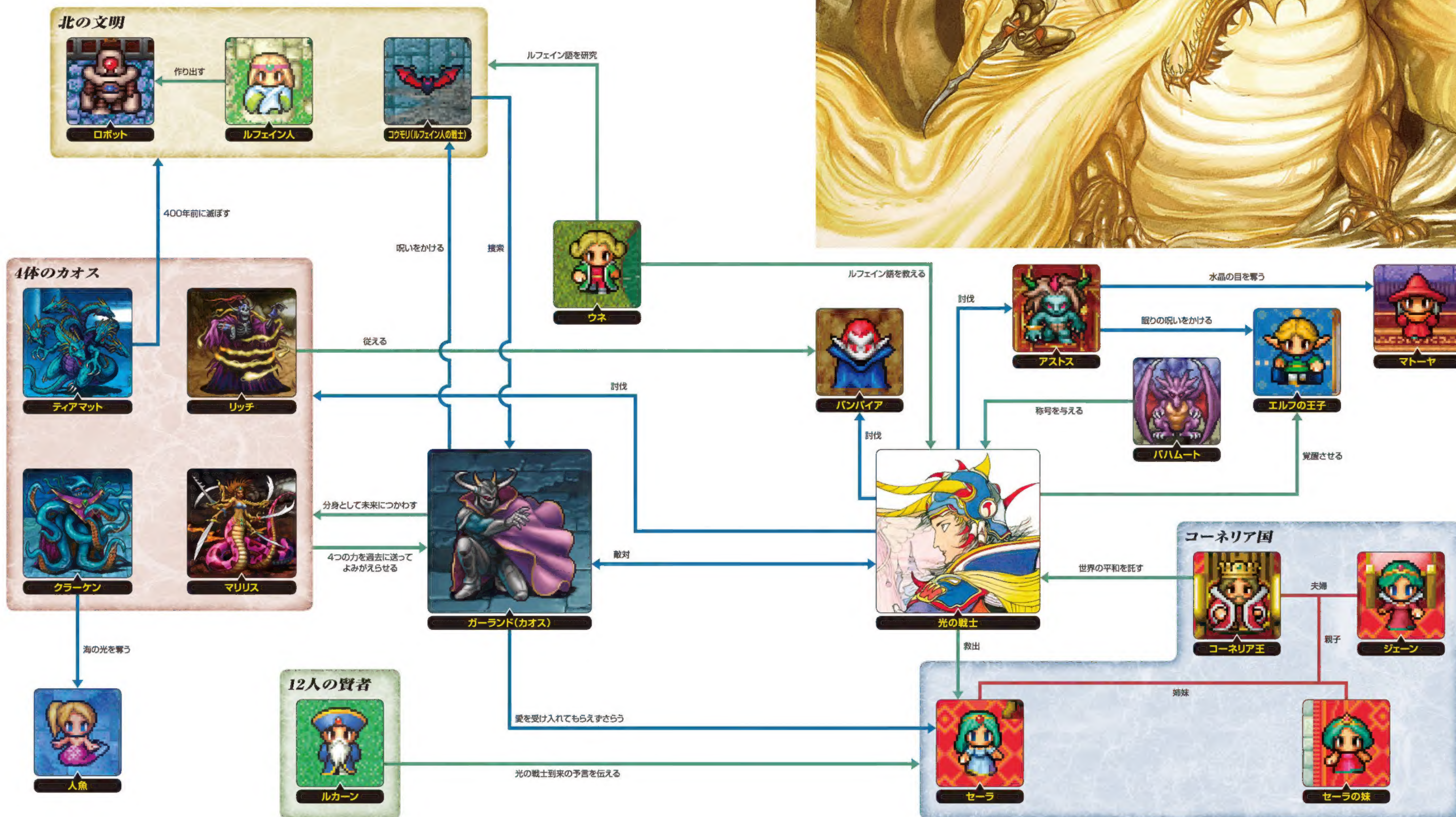
北の文明
ロボット
ルフェイン人
コウモリ(ルフェイン人の戦士)
作り出す
ルフェイン語を研究
400年前に滅ぼす
呪いをかける
捜索
ウネ
ルフェイン語を教える

4体のカオス
ティアマット
リッチ
クラーケン
マリリス
従える
討伐
分身として未来につかわす
4つの力を過去に送ってよみがえらせる
海の光を奪う
人魚

ガーランド(カオス)
敵対
愛を受け入れてもらえずさらう

12人の賢者
ルカーン
光の戦士到来の予言を伝える

バンパイア
討伐
アストス
マトーヤ
水晶の目を奪う
眠りの呪いをかける
エルフの王子
バハムート
称号を与える
覚醒させる
光の戦士
救出

コーネリア国
コーネリア王
ジェーン
夫婦
親子
世界の平和を託す
セーラ
セーラの妹
姉妹

光の戦士
Warriors of Light

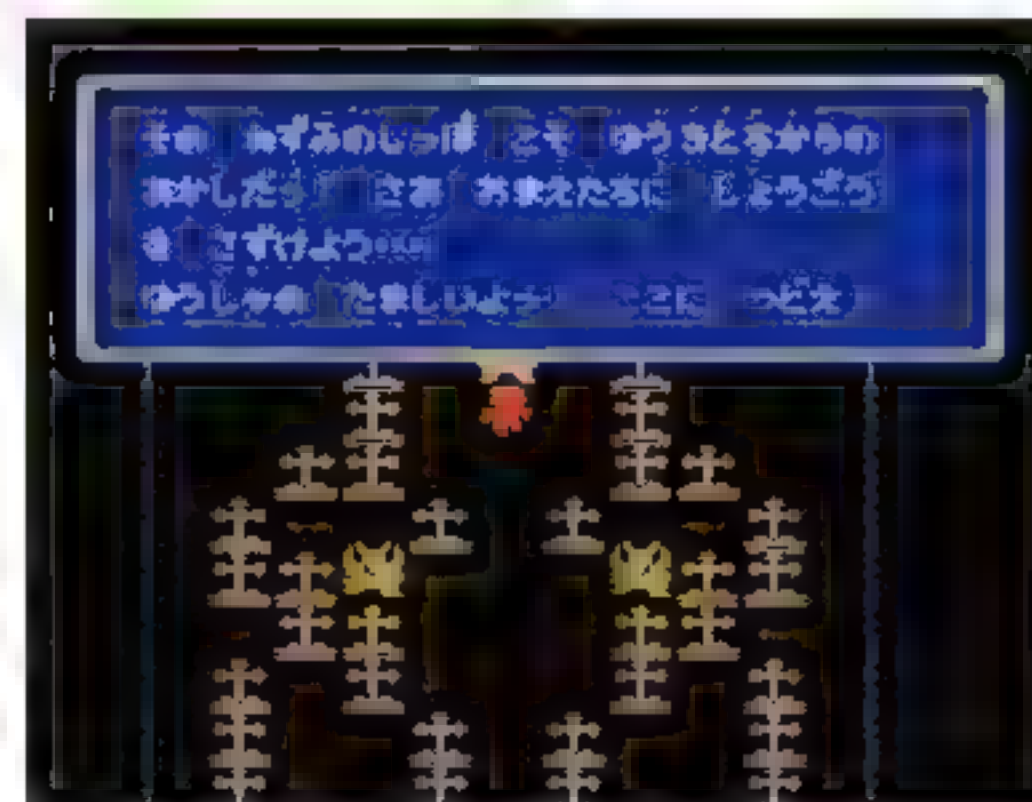
Personal Data

出身地	不明	性別	不明
年齢	不明		

予言どおりに現れた 光の力を持つ4人の戦士

クリスタルの加護を受け、暗黒の力に立ち向かう4人の戦士。さらわれたコーネリア国の王女セーラを助けたことをきっかけとして、カオスの手で闇に覆われつつある世界を救うための旅に出る。

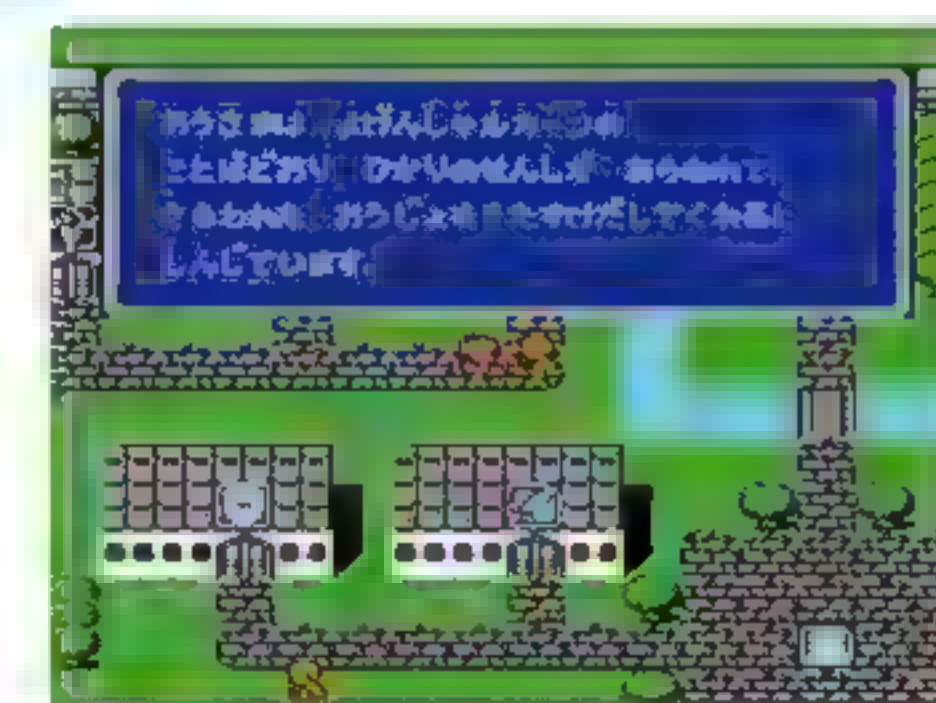
物語のはじまりの地であるコーネリアにたどり着いたとき、4人それぞれが輝きの失われたクリスタルを身につけていたが、彼らにはそれまでの記憶がなく、自分が何者かさえもわからなかった。さまざまな伝承を聞いて謎を解き明かすうちに、自分たちの持つクリスタルは、この世を支える4つの属性——土、火、水、風の力をつかさどる各地のクリスタルと対応するものだということを理解していく。そして、クリスタルの輝きを取りもどすことで、すべての元凶である強大な敵の正体を知り、自身に与えられた使命と運命を悟っていくのだ。

⬅自分でも己が何者かわからない4人だが、行く先々では「光の戦士」と声をかけられる。

➡バハムートの試練を越えて真の勇者の称号を得ることで、上級職へとクラスチェンジ。

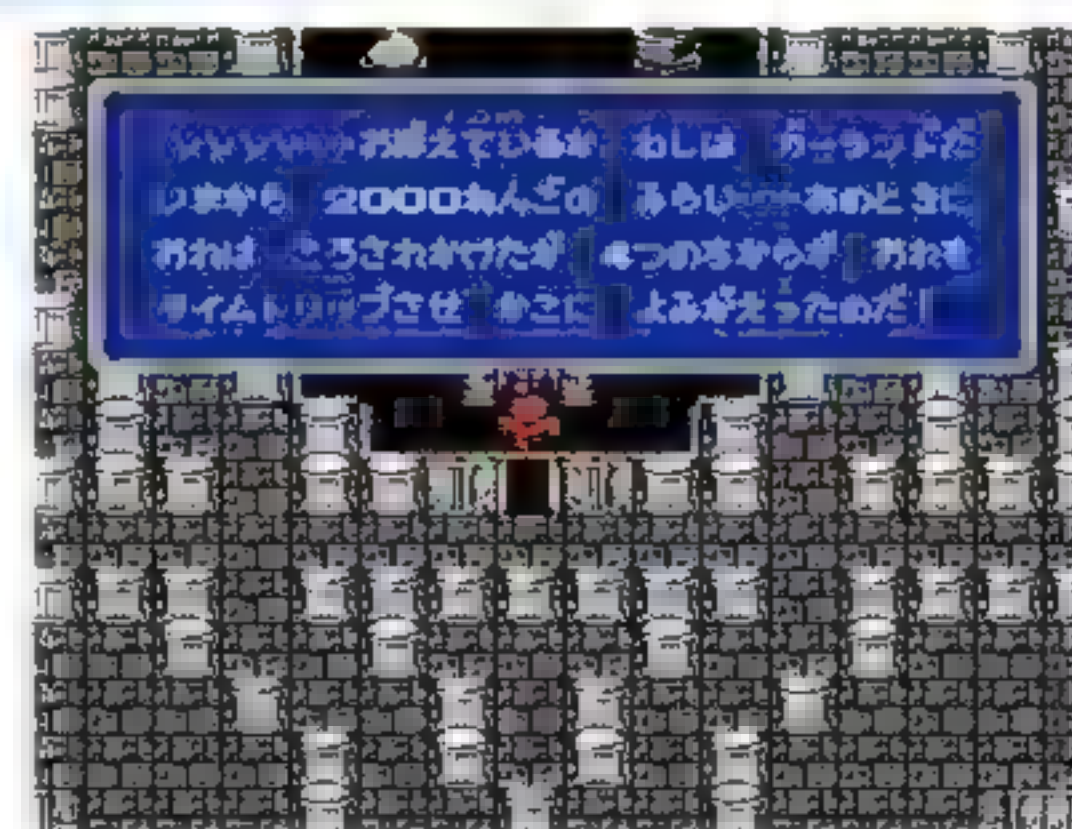
PSP

Topics of Warriors of Light

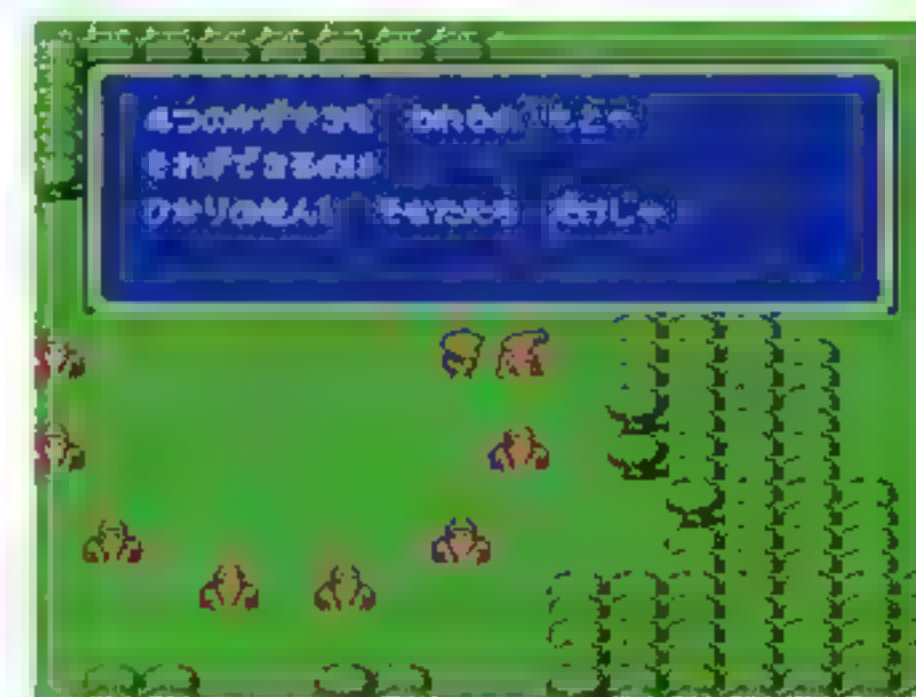
無色透明のヒーロー

主人公の4人の戦士は、身分や性別、性格などが決められていない。ゲーム開始時には、下記の6つの職業（ジョブ）が用意されており、そのなかから好きなものをプレイヤーが選んで、パーティーを自由に組める。プレイヤー自身がキャラクターを作り上げる感覚を大事にした作品が「FF I」なのだ。

⬅「FF」シリーズで主人公が全然しゃべらないのは「I」だけ。

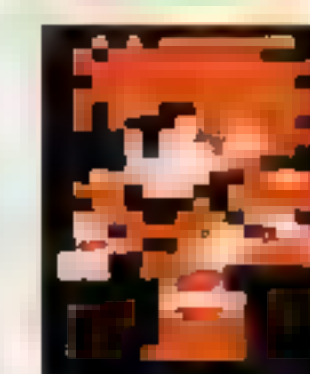
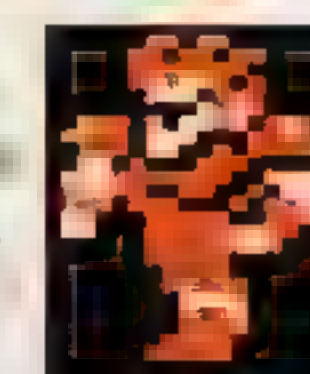
まさかの敵と最終決戦

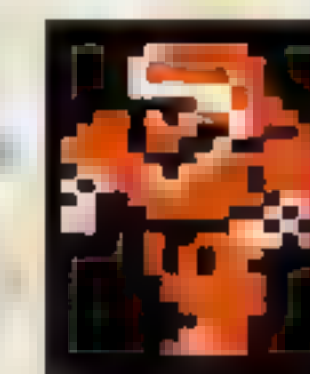
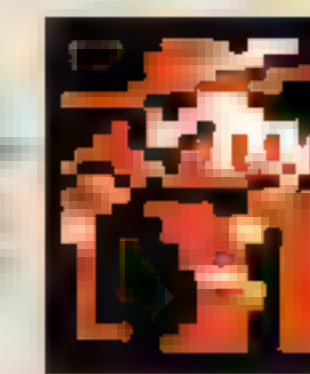
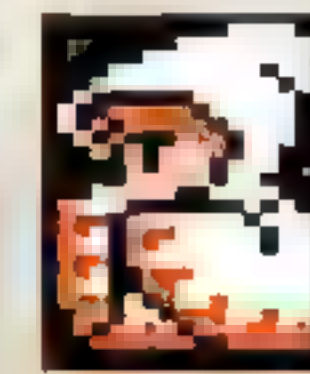
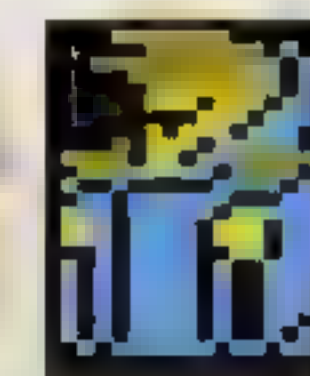
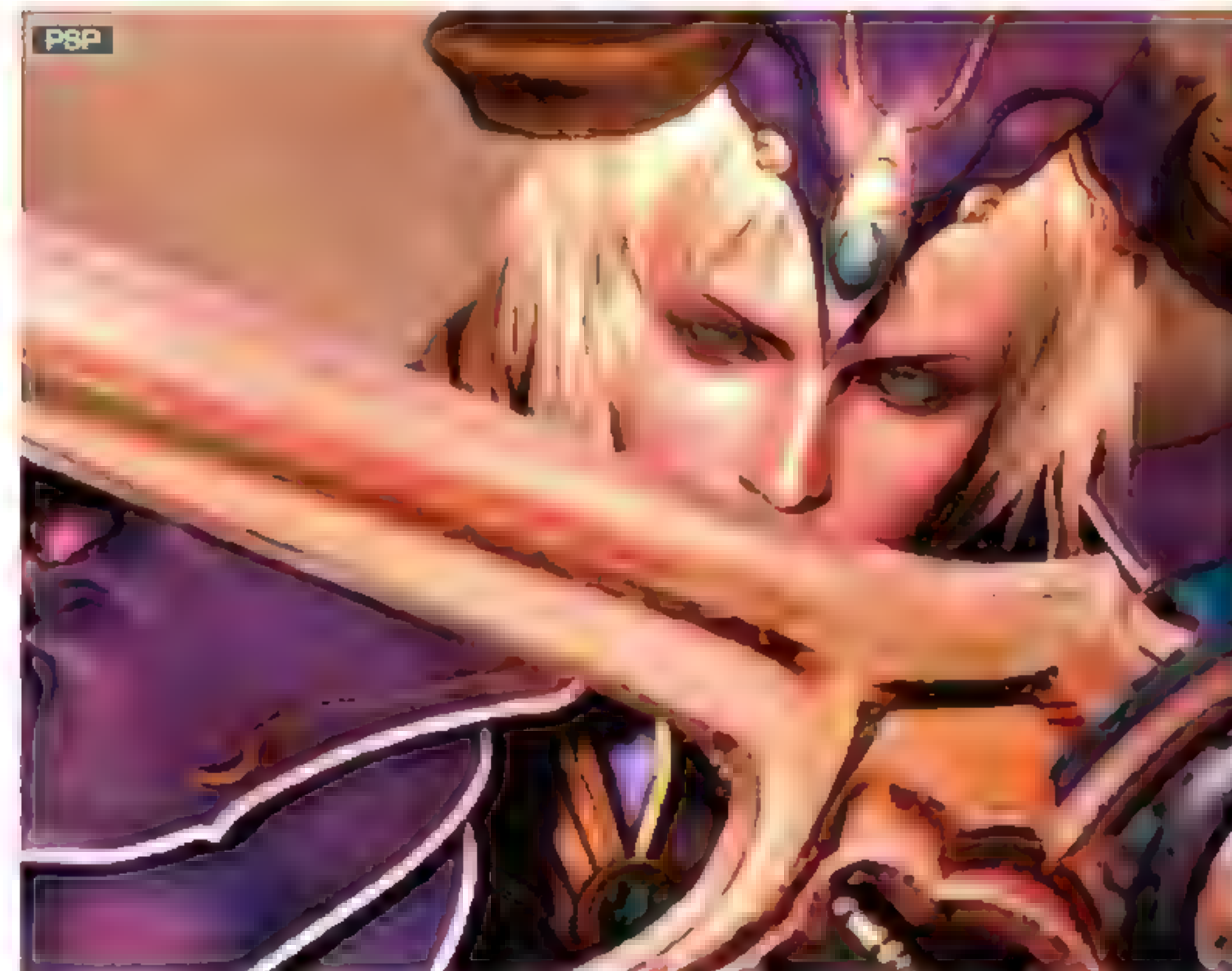
4体のカオスを倒しても世界の崩壊は止まらず、主人公たちは2000年前の世界へタイムトリップして、すべての元凶となっている敵と戦うことになる。そこで待っていた黒幕というのが、物語の最初に苦もなく倒したはずのガーランドだった。彼は、死の直前に2000年前の世界に飛び、過去からカオスたちを送りこんできていたのだ。光の戦士たちは時の鎖を断ち切るべく、パワーアップしたかつての敵に挑む。

⬆光の戦士たちの冒険は、ガーランドにはじまりガーランドに終わると言えるだろう。

光の戦士の正体は!?

異次元を旅して強大な敵に挑み、世界を救う4人だが、そんな旅の記憶は最終決戦後には失われ、彼らは何事もなかったかのようにもとの世界にもどる。光の戦士たちの正体が明らかにされないのは、4人がプレイヤー自身を象徴するものであり、その人物像を自由に想像できるようになっているからだ。

⬅4人の素性については、物語の最後まで不明のまま。

PSP

6つの職業

戦士 — ナイト
武器や防具に精通した戦闘のスペシャリスト。

モンク — スーパーモンク
素手による格闘が得意な武道家。

シーフ — 忍者
すばやさと幸運の高さが特徴。

赤魔術士 — 赤魔導士
白魔法・黒魔法のほか、剣も使える万能タイプ。

白魔術士 — 白魔導士
白魔法による回復&補助の専門家。

黒魔術士 — 黒魔導士
攻撃を主体とした黒魔法の使い手。

ガーランド(カオス)

Garland (Chaos)

Personal Data

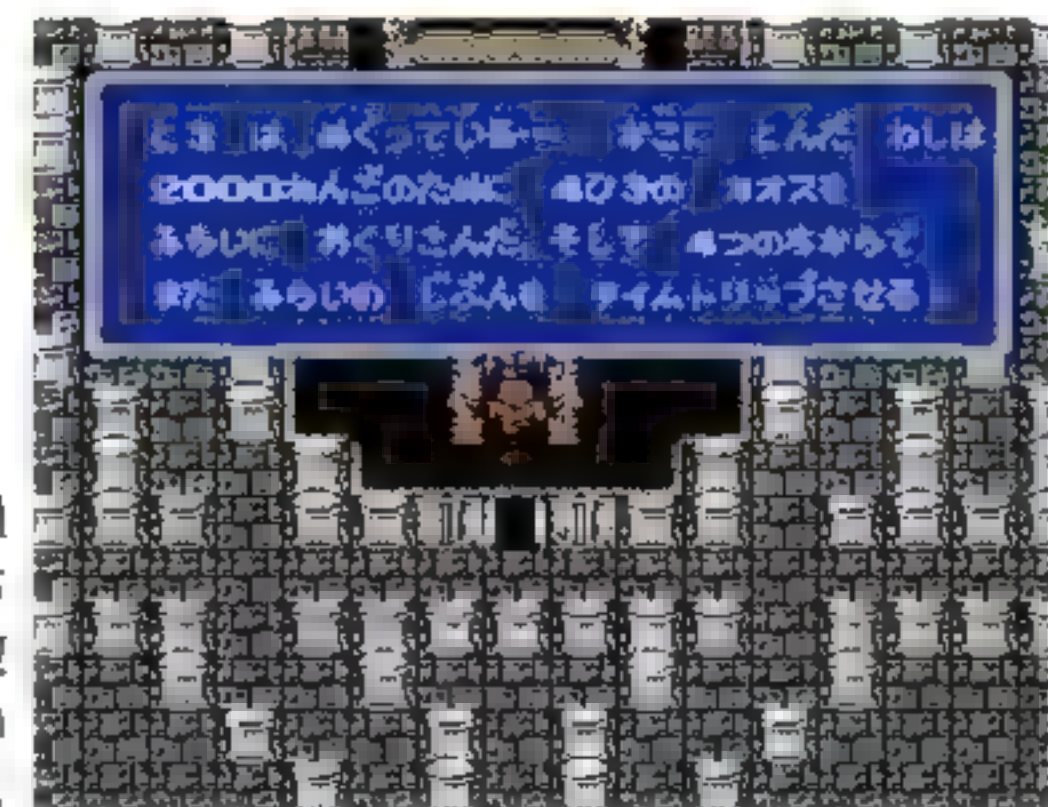
出身地 コーネリア　性別 男
年齢 不明
登場場所 カオス神殿、過去のカオス神殿

時を越えた憎悪の源

この世界を闇に包んだ元凶。かつてはコーネリアの高名なナイトだったが、ある日突然王女をさらい、カオス神殿に立てこもる。光の戦士たちに討たれるも、死の直前に2000年前の世界へ飛び、闇の存在「カオス」として君臨。力が衰えはじめると200年ごとに「風」「水」「土」「火」の属性を持つ4体の分身を順に未来へ派遣してクリスタルの力を奪い、過去の世界で復活――という永遠の輪廻をつづけていた。

もとをたどれば、ガーランドの憎しみは、王女セーラへの愛が受け入れられなかったことに端を発する。その憎悪が時を越えて増幅され、閉じられた時の輪のなかでめぐりつづけていたのだ。過去の世界での最終決戦で光の戦士たちに敗れた彼は、本来あるべき世界に帰り、コーネリアの良きナイトとして暮らしているにちがいない。

⬅自分の想いに応えなかった王女を手に入れようとするが、光の戦士にあっさり敗北する。

➡カオスとしてエネルギーを増幅させ、以前とはくらべものにならない強さを発揮。

➡2000年前の過去で光の戦士たちと再会。世界を破壊しようとしていると彼らに明かす。

Impressive Words

「王女は俺のものだ！　誰にも渡さん！　光の戦士だと。小賢しいやつらよ！　このガーランドが蹴散らしてくれよう！」

――カオス神殿：光の戦士たちと対峙し

「ハハハハ……覚えているか。わしはガーランドだ。いまから2000年後の未来……あのときに俺は殺されかけたが、4つの力が俺をタイムトリップさせ過去によみがえったのだ！」
「2000年のち、わしの記憶は失われている。だが、わしはまた過去にもどってくる。
　そして、おまえたちはここで死に、わしは永久に生きつづけるのだ!!」

――過去のカオス神殿：光の戦士たちとふたたび対峙し

大地を腐らせる土のカオス

リッチ Lich

登場場所 アースの洞窟、過去のカオス神殿

バンパイアを配下に置き、洞窟の最深部から大地を腐敗させていた土のカオス。4体のカオスのなかで最初に光の戦士たちに倒される。

Impressive Words

GBA「誰だ、我に話しかけてくるのは……。
　我は……大地の力を喰らう者なり……」

――アースの洞窟：光の戦士たちと対峙し

世界を焼き尽くす火のカオス

マリリス Marilith

登場場所 グルグ火山、過去のカオス神殿

多数の腕とヘビのような下半身を持つ火のカオスで、4体のカオスのうちの紅一点。土のカオスの異変を察知し、予定よりも200年早く目覚めた。

Impressive Words

「土のカオスを倒し、
　このマリリスの眠りを邪魔したのはおまえらか！」

――グルグ火山：光の戦士たちと対峙し

海の光を奪う水のカオス

クラーケン Kraken

登場場所 海底神殿、過去のカオス神殿

海底神殿の奥深い場所から、水の力を支配するカオス。イカの化け物といった容姿で、海を汚染し光を弱めている。しゃべるのはあまり得意でない様子。

Impressive Words

「フォ　フォ　フォ……ミズ　ノ　カオス　クラーケン　ニ　ハムカウトハ　ミノホド　シラズナ　ヤツラヨ！」

――海底神殿：光の戦士たちと対峙し

天空の悪魔と恐れられる風のカオス

ティアマット Tiamat

登場場所 浮遊城、過去のカオス神殿

浮遊城に住み、風のクリスタルの力をさえぎるカオス。400年前に現れて古代天空人が作った北の文明を破壊し、その後も力をたくわえつづけている。

Impressive Words

GBA「その瞳に焼き付けて死ぬがよい……
　風のカオス、ティアマットの姿……!!」

――浮遊城：光の戦士たちと対峙し

だれからも愛される姫君

セーラ

登場場所 カオス神殿、コーネリア城

コーネリアの姫。王や王妃である両親に大切に育てられ、幼い妹の面倒もよく見る優しい少女。ガーランドによってカオス神殿に幽閉されていたが、光の戦士たちに救出され無事に城へ帰ることができた。以来、彼らのことを何かにつけて気にしている。

Impressive Words

「ああ、あなたがたは光の戦士たち……助けてくださってありがとう!!」
──カオス神殿：助けてくれた光の戦士たちに

「……私と一緒にここで……いいえ、なんでもありません」
──コーネリア城：光の戦士たちの訪問を受け

運河づくりの名人

ネリク

登場場所 ドワーフの洞窟

ドワーフの洞窟でひたすらトンネルを掘る老人。運河づくりに関する知識と技術の高さによって、仲間からも一目置かれる存在となっている。海の向こうの世界に思いをはせ、内海と外海をつなぐ運河の開通を試みるが、硬い岩にさえぎられ難航している。

Impressive Words

「このままじゃ運河は掘れん。ニトロの火薬さえあればなあ……」
──ドワーフの洞窟：硬い岩にさえぎられ、作業が進まないのをボヤき

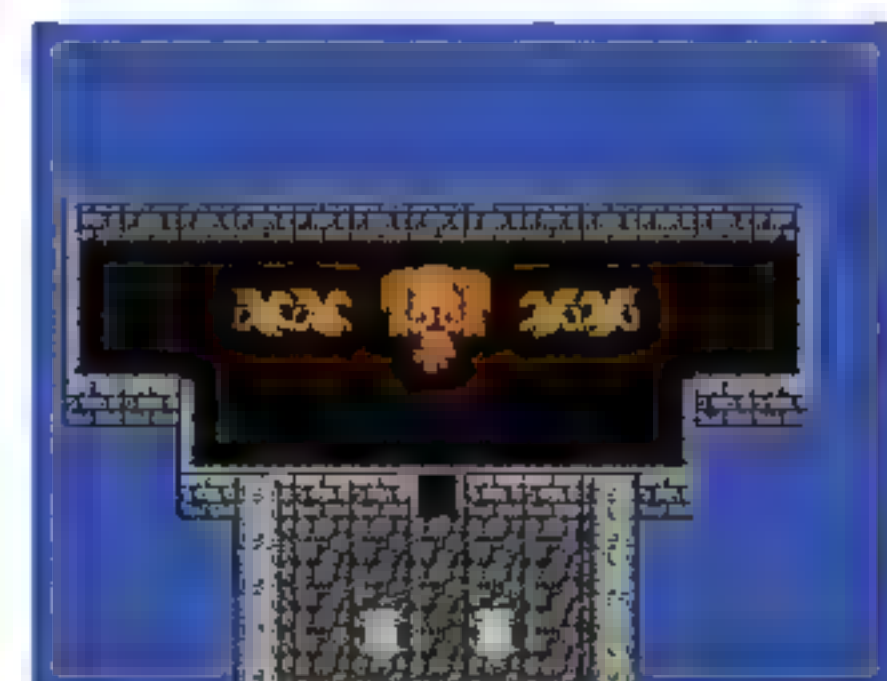
「おおっ！　感謝するぞ若者たち、これこそニトロの火薬じゃ。これで運河ができるぞ。さあ仕事に出かけるか!」
──ドワーフの洞窟：ニトロの火薬を持ってきてくれた光の戦士たちに向かって

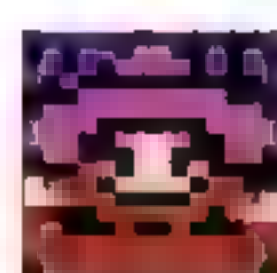
←岩が邪魔で奥へ進めないことをなげくネリク。硬い岩盤を破壊できるニトロの火薬を切望している。

救世主を待ちわびる統治者

コーネリア王

登場場所 コーネリア城

コーネリア国を治める王。愛娘セーラがさらわれたことを深く悲しみ、伝説の光の戦士たちの来訪を待ち望んでいた。セーラが救出されたあとは、この世界に平和を取りもどしてほしいと光の戦士たちに頼む。

Impressive Words

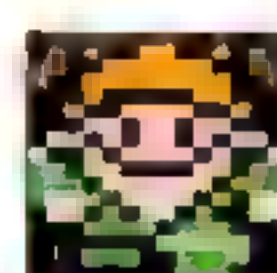
「大陸に渡りクリスタルの輝きを取りもどすのだ!!」
──コーネリア城：光の戦士たちにセーラ救出の礼として大陸への橋を架けて

洞窟に住む偏屈な魔女

マトーヤ

登場場所 マトーヤの洞窟

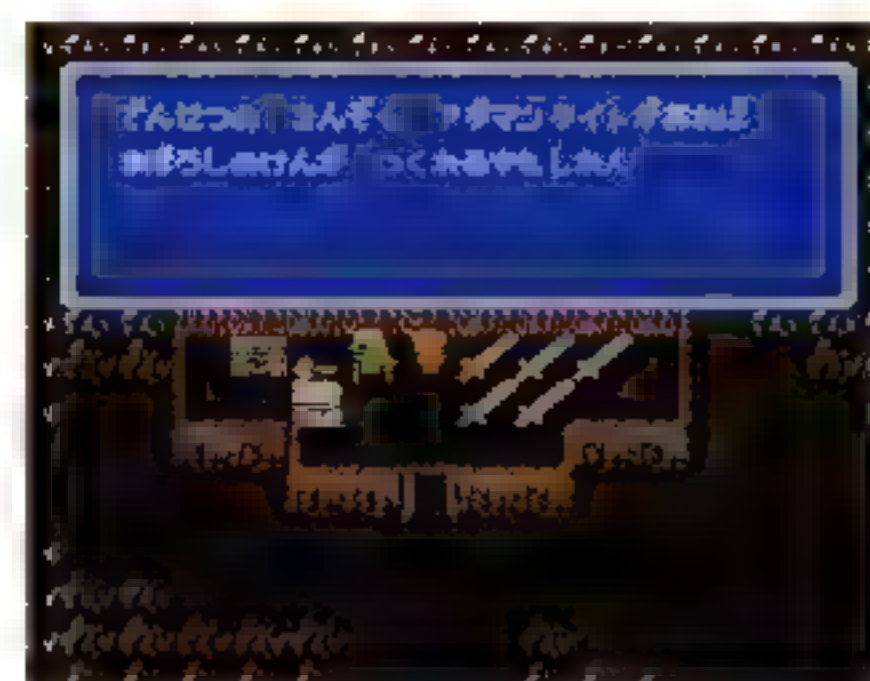
言葉を話すほうきたちに囲まれ、コーネリア北東の洞窟でひとり暮らしている魔女。薬作りに長け、どんな薬でも煎じることができる。悪い視力を水晶の目でおぎなっていたが、その目をアストスに盗まれ困っていた。

Impressive Words

「それは水晶の目か？　ほれ、よこせ……！　かわりに、この薬をやるから……わしの薬のなかで一番すばらしい薬じゃ!」
──マトーヤの洞窟：水晶の目を持つ光の戦士たちに

伝説の剣を作る名匠

スミス

登場場所 ドワーフの洞窟

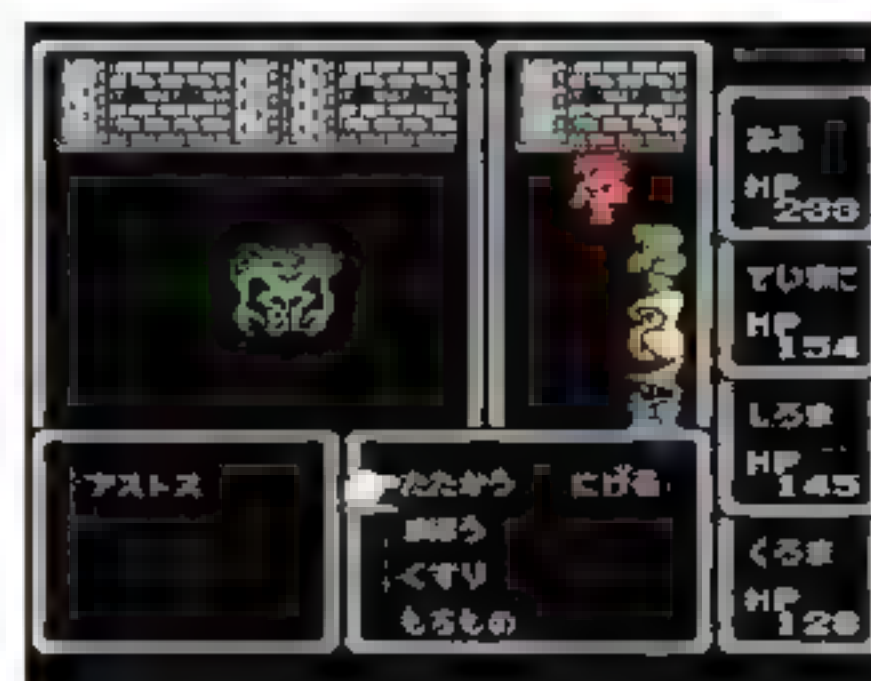
洞窟の北側で鍛冶屋を営むドワーフ。刀工としての腕は確かなもので、作品の完成度にこだわり、かつ作業スピードも早い。伝説の金属アダマンタイトから、幻の剣エクスカリバーを作り出す。

Impressive Words

「こっこれはアダマンタイト!　よし、わしが剣を作ってやろう……ボンっ!　ほらできたっ!!」
──ドワーフの洞窟：光の戦士たちからアダマンタイトを受け取り

ダークエルフの王

アストス

登場場所 西の城

エルフの王子に呪いをかけたり、マトーヤから水晶の目を盗んだりした張本人。妖精王の座を狙っており、その野望に必要なクラウンを手に入れるため、西の城の王になりすまして光の戦士たちを利用しようとする。

Impressive Words

「ファファファ……ばかなやつらよ。わしこそダークエルフの王アストスだ!」
──西の城
己の正体を明かして光の戦士たちに襲いかかり

港町の暴れん坊

海賊ビッケ

登場場所 港町プラボカ

アルディの海一帯を仕切る海賊の頭領。港町プラボカを拠点として界隈を荒らしまわっていたが、光の戦士たちにこらしめられて心を入れかえ、船を明け渡してマジメに働くようになる。

Impressive Words

「この海賊ビッケさまに逆らうとは、いい度胸してるじゃねえか。野郎ども、やっちまえ!!」
──港町プラボカ：光の戦士たちと遭遇し

眠れる王位継承者

エルフの王子

登場場所 エルフの城

ティアーナ地方にあるエルフの国の王子。妖精王として国を継ぐはずだったものの、ダークエルフの王アストスの呪いで5年間も眠らされていた。光の戦士たちのおかげで覚醒し、預かっていた神秘の鍵を彼らに渡す。

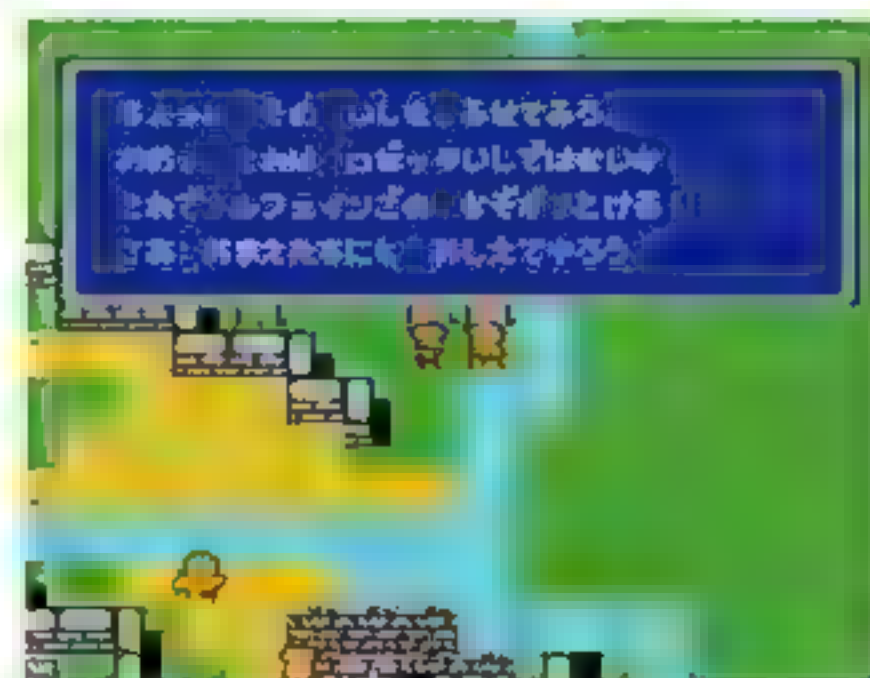
Impressive Words

「そなたたちは伝説の戦士……おおっ夢ではない!　さあ伝説にしたがい、この神秘の鍵を授けよう」
──エルフの城：眠りから覚めて

自称"大天才"の言語学者

ウネ

登場場所 メルモンドの町

メルモンドの町に住む自己顕示欲旺盛な学者。オンラクの町に弟がいる。ルフェイン語を研究しており、その解読に必要なロゼッタ石を捜索中。ロゼッタ石を渡すと、ルフェイン語を修得し、光の戦士たちにも教える。

Impressive Words

「学者のウネといえば知らぬ者はいないのだっ!　なにっ!　わしのことを知らないっ?!」
──メルモンドの町：光の戦士たちに誇らしげに自己紹介し

洞窟の奥深くに巣くう吸血鬼

バンパイア

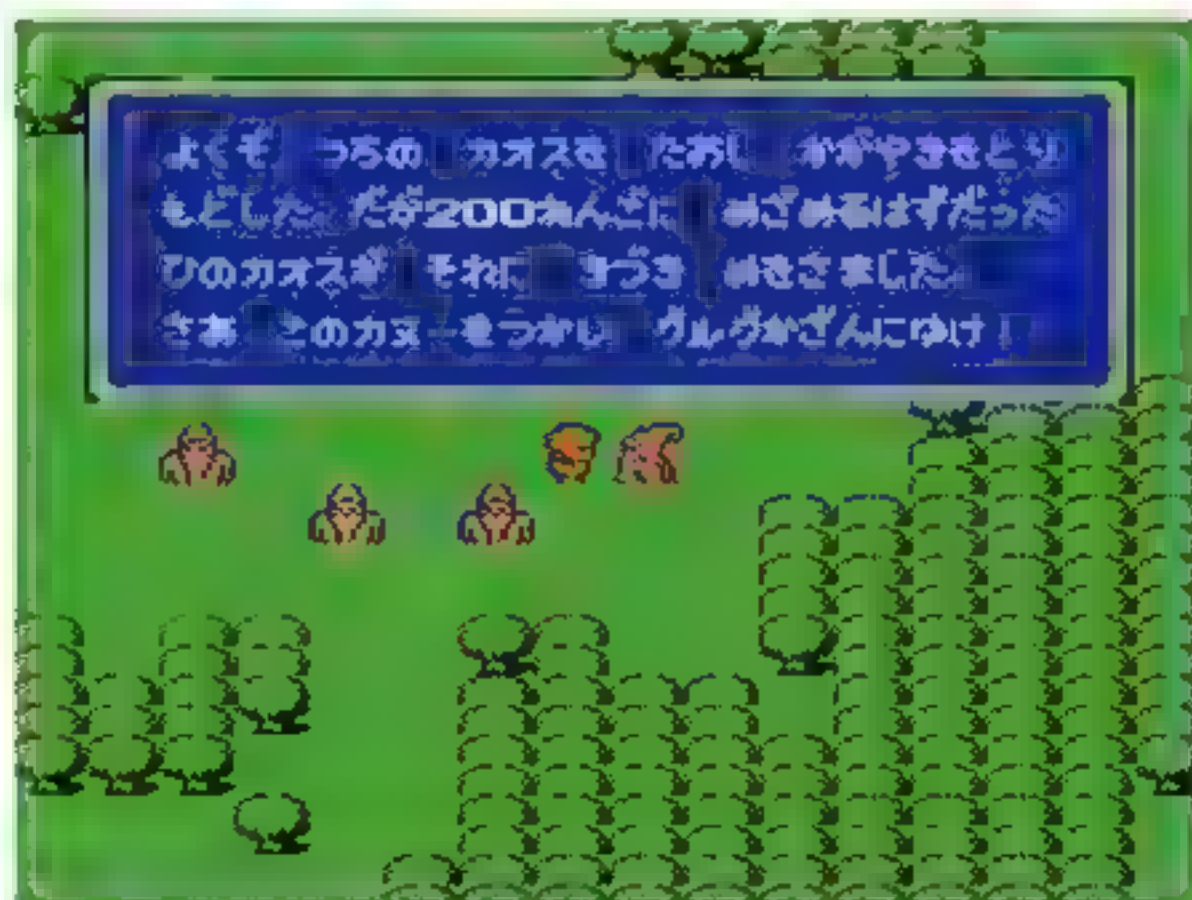
登場場所 アースの洞窟

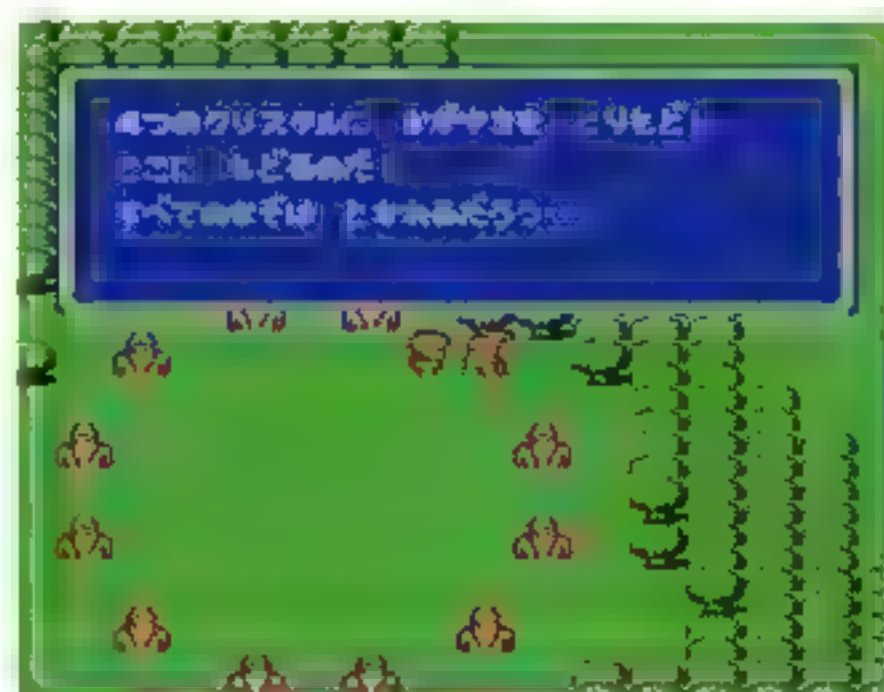
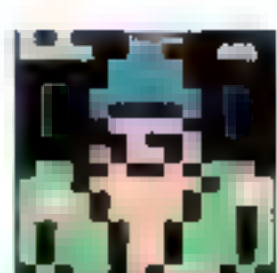
メルモンドの町を襲い、壊滅状態にした魔物。大地を腐らせている元凶として人々に恐れられたが、光の戦士に退治される。しかし、彼とて本当の黒幕である土のカオス・リッチのしもべに過ぎなかった。

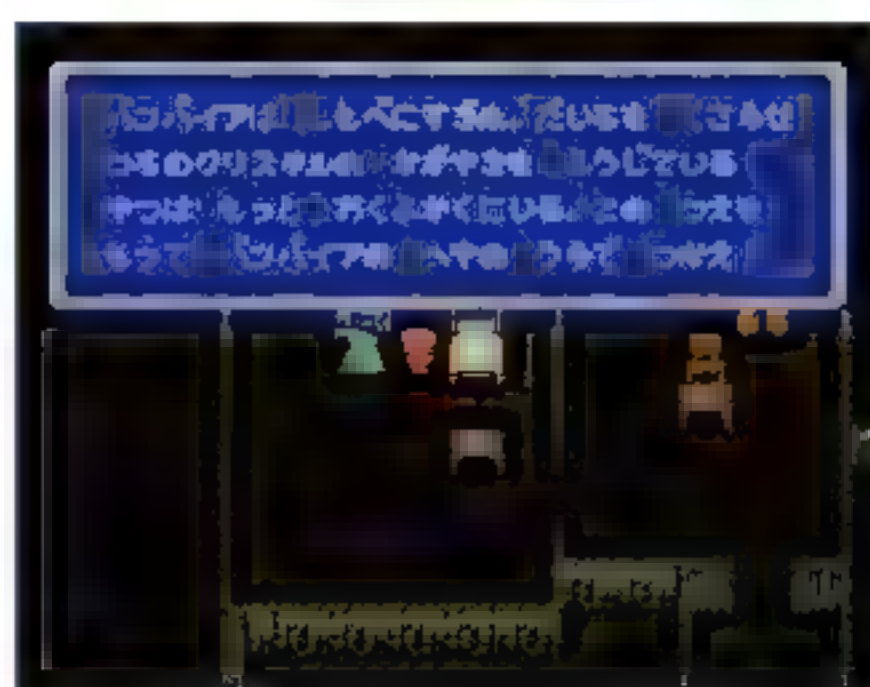
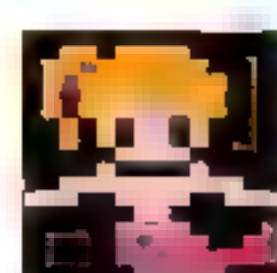
Impressive Words

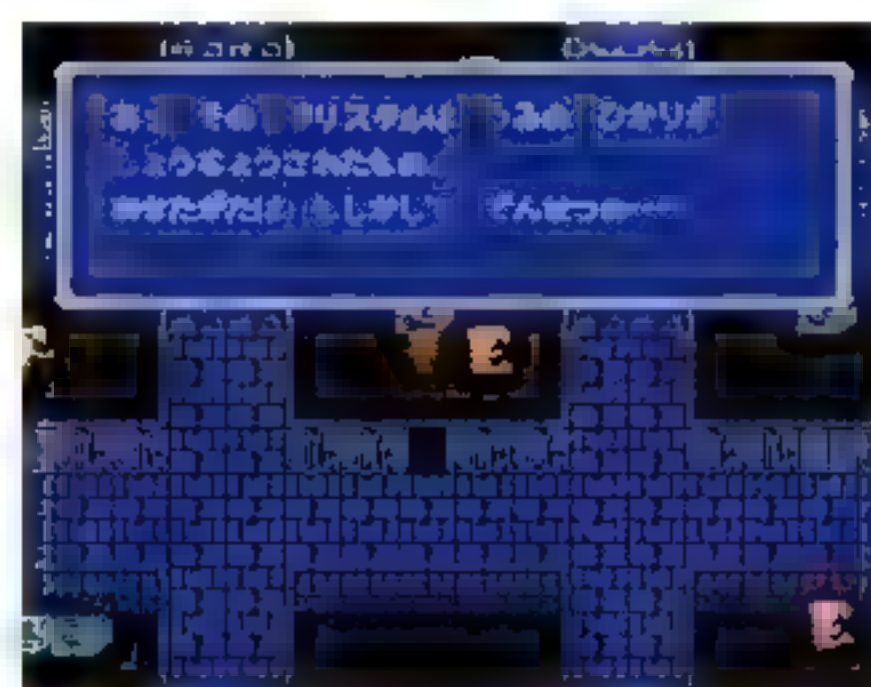
GBA *「運命を変えることはできぬ……人間ごときが……。この不老不死のバンパイアを倒せるというのか……!?」*
──アースの洞窟：光の戦士たちと対峙し

力を正しい方向へ導く予言者
ルカーン&賢者たち
登場場所 クレセントレイクの町

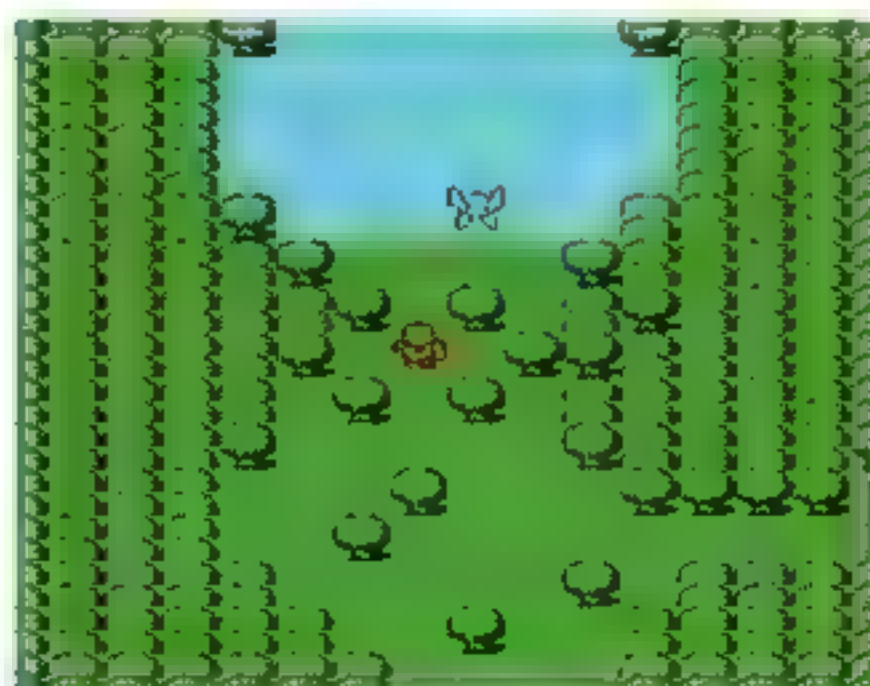
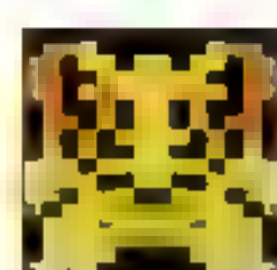
星と予言に導かれ、クレセントレイクの町に集まった12人の賢者。クリスタルの輝きや世界の成り立ち、カオスについての情報を各地に伝えている。このうちのリーダー格がルカーンで、もともといたコーネリアでは、光の戦士がこの世に現れる予言を人々に告げていた。

Impressive Words
ルカーン「いまこそ伝説が……予言が……すべて目の前に現れ、我々の行く先が決まる」
──クレセントレイクの町：光の戦士たちに覚悟をうながすように

賢者のひとり「輪のようになってしまった時の鎖。それを断ち切るには、過去にいる真の敵を倒さねばならない」
──クレセントレイクの町：4体のカオスを倒した光の戦士たちに

←円陣を組む12人の賢者。予言を光の戦士たちに伝えるために、この地へ集まった。

大地腐敗の真相を知る賢者
サーダ
登場場所 賢者の洞窟

メルモンド南の端にある洞窟でひっそりと暮らす、物知りな古老の賢者。大地を腐らせ土のクリスタルの輝きを封じている黒幕の存在を光の戦士たちに示し、大地と緑の精霊が宿る杖を授ける。

Impressive Words
「バンパイアはしもべにすぎぬ。大地を腐らせ土のクリスタルの輝きを封じているやつは、もっと奥深くにいる」
──賢者の洞窟：光の戦士たちに教えを授けて

海に沈む神殿の住人
人魚
登場場所 海底神殿

海底で暮らす半人半魚の種族。クラーケンのせいで海の光が奪われ、滅亡の危機にさらされていた。一族のひとりは、オンラクの町で人間の女性の姿に変身し、自作のタルの潜水艦を持って光の戦士たちに助けを求める。

Impressive Words
「私たち人魚は海の光を失うと水の泡になって消えてしまうの」
──海底神殿：海底の危機を光の戦士たちに知らせて

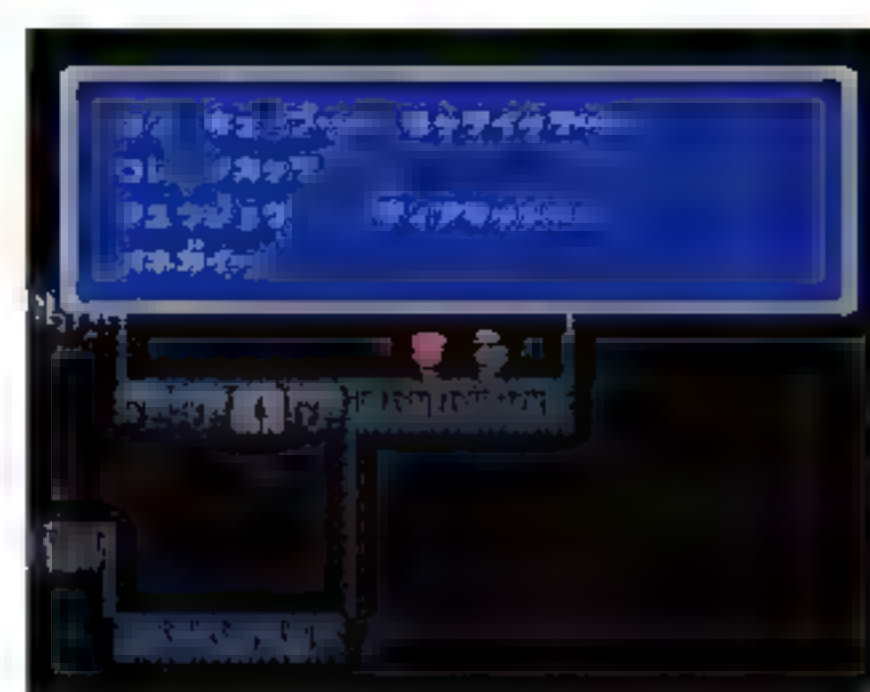
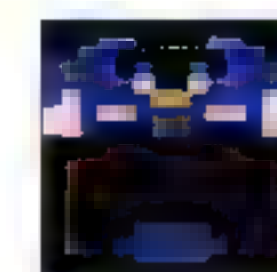
山頂の町の泉に住む精霊
妖精
登場場所 ガイアの町ほか

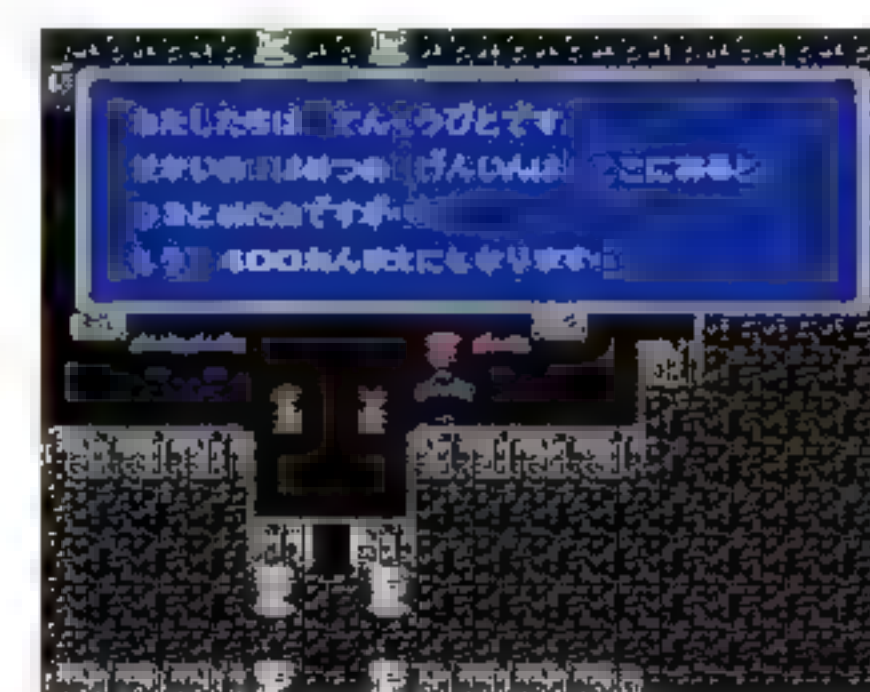
ガイアの町に住む妖精。町の泉の底に湧き出る空気の水をくむことができる唯一の存在だったが、町にいた不届き者によってビンに閉じこめられ、珍品を取りあつかうキャラバンに売り払われてしまう。

Impressive Words
「あなたの買ったビンに入っていたの。私怖くて逃げ出してしまって……」
──ガイアの町：助けてくれた光の戦士たちに

カルディア諸島に住む竜王
バハムート
登場場所 ドラゴンの洞窟

無益な殺生を好まず、昔は人間と共生していたというドラゴンたちの王。カルディア諸島に居を構え、一族をたばねている。試練の城から勇気の証を持ち帰った者を真の勇者と認め、称号を与える。

Impressive Words
「さあ、おまえたちに称号を授けよう……勇者の魂よっ！　ここに集え！」
──ドラゴンの洞窟：光の戦士たちの実力を認めて

超科学の産物
ロボット
登場場所 ミラージュの塔、滝の裏の洞窟

古代天空人が文明を駆使して作った、機械じかけの人形。現存する数体がミラージュの塔で活動をつづけるが、暴走した1体が滝の洞窟に転落。浮遊城へ移動できるワープキューブを光の戦士たちに託して機能を停止する。

Impressive Words
「コノ　キューブ……モッテイッテ……」
──滝の裏の洞窟：暴走した1体が最期に光の戦士たちにキューブを渡して

姿を変えられた5人の戦士
コウモリたち
登場場所 カオス神殿

400年前、4体のカオスをあやつる黒幕捜しへと旅立った5人の古代天空人戦士。カオス神殿がその居場所だと突き止めたが、呪いによりコウモリの姿にされる。のちに、光の戦士たちに時の鎖を断つための助言を行なう。

Impressive Words
「そのクリスタルを持って時の扉に立てば、タイムトリップして2000年の時を越えることができるはずだ！」
──カオス神殿：光の戦士たちにアドバイスして

そのほかのおもなサブキャラクター

ジェーン
登場場所 コーネリア城
Words *「私は王妃のジェーン。どうか王女セーラを助け出してください！」*
コーネリア王の妻で、王女セーラの母親。さらわれた娘の安否を気づかう。

セーラの妹
登場場所 コーネリア城
Words *「お姉ちゃんが無事に帰ってきたの！　お兄ちゃんたちのおかげよっ！　ありがとう！」*
コーネリア王の幼い末娘。姉のセーラがさらわれたときは悲しくてずっと泣きつづけていた。

エルフの町の予言者
登場場所 エルフの町
Words *「私は予言者だ。時がたてば瞑想から予言が生まれるだろう……そのときまで待つのだ！」*
しばらく瞑想したのち、光の戦士たちに浮遊石や飛空艇の情報を伝える。

ジム(ワッツ)
登場場所 メルモンドの町
Words *「私はドワーフの村からやってきたジム。大地が腐るわけを調べにきました」*
大地腐敗の理由を調べるためにやってきたドワーフ。GBA版とPSP版ではワッツと名乗る。

巨人
登場場所 巨人の洞窟
Words *「モグ、モグ……んー、うめえ!!　やっぱりルビーが最高にうまいぜっ!!!」*
石をもりもり食べる、食い意地の張った巨人。洞窟内で光の戦士たちの行く手をはばむ。

コペ
登場場所 オンラクの町
Words *「えーと、たしか北の滝のほうだったかな。誰も信じてくれないけど、あれはロボットみたいだったよ!!?」*
オンラクの町の住人。「光り輝くものを見た」と町の人に話すが、なかなか相手にしてもらえない。

ウネの弟
登場場所 オンラクの町
Words *「私の兄のウネがいつも言っていました。ロゼッタ石があれば話せるようになるのにと」*
メルモンドにいる学者ウネの弟。離れて住んでいても、兄の研究をいつも応援している。

ルフェイン人
登場場所 ルフェイン人の町
Words *「ル……パ……ガミ……ド?」*
かつては天空人と呼ばれ、高度な文明を誇っていた種族。飛空艇は彼らの祖先(GBA版とPSP版ではシド)によって作られた。

アンダーヒル
登場場所 キャラバン
Words ──
ビン詰めの妖精を売っていた行商人。娘がオンラクの町で生活している。

ULTIMANIA CHECK

主人公の姿から見る『FF』の映像の進化

20年の歳月のなかで、『FF』シリーズの映像表現はめざましい進化をとげてきた。各作品の主人公たちの姿を比較するだけでも、その一端を垣間見ることができるはずだ。

I

選んだジョブで姿は変わるが、個人の差はない。

光の戦士

II

『FF I』と異なり、キャラクターごとに別々のグラフィックが用意されている。

フリオニール　マリア　ガイ　レオンハルト

III

ジョブによって姿が大きく変化。DS版では同じジョブでもキャラクターごとに外見がちがう。

光の戦士　ルーネス　アルクゥ　レフィア　イングズ

DS　DS　DS　DS

IV

ハードがSFCになり、色のバリエーションが豊かに。移動中やバトル中にとるポーズも増えた。

セシル　カイン　ローザ　リディア　エッジ

V

キャラクターとジョブの組み合わせで外見が変化。イベントでは感情を表すポーズをとることも。

バッツ　レナ　ガラフ　ファリス　クルル

VI

移動中の外見がバトル中と同じになり、どちらの場面でも高い頭身で表示されるようになった。

ティナ　ロック　エドガー　マッシュ　シャドウ　カイエン　セリス

セッツァー　ストラゴス　リルム　ガウ　モグ　ウーマロ　ゴゴ

VII

ポリゴンの採用により、外見がさまざまな視点で映し出される。バトル中は頭身が高めに変化。

クラウド　ティファ　エアリス　バレット　レッドXIII

ケット・シー　ユフィ　ヴィンセント　シド

VIII

テクスチャーの活用で外見がよりリアルに。戦うメンバー全員の姿が移動中に表示されるのも特徴。

スコール　リノア　キスティス　ゼル

セルフィ　アーヴァイン

※各作品とも最終バトルに参加可能なメンバーを掲載(『FF V』のガラフと『FFVII』のエアリスも例外的に掲載)

IX

移動中はひとりだけが表示される形式にもどったが、テクスチャーや動きはさらに洗練されている。

ジタン　ビビ　ガーネット

スタイナー　フライヤ　クイナ

エーコ　サラマンダー

X

ハードがPS2になり、表現力が大幅にアップ。表情をつけるフェイシャルモーションも採用された。

ティーダ　ユウナ　ワッカ　ルールー

キマリ　アーロン　リュック

X-2

ドレスアップにより外見がさまざまに変化。同じドレスでも、キャラクターごとに服装が異なる。

ユウナ　リュック　パイン

XI

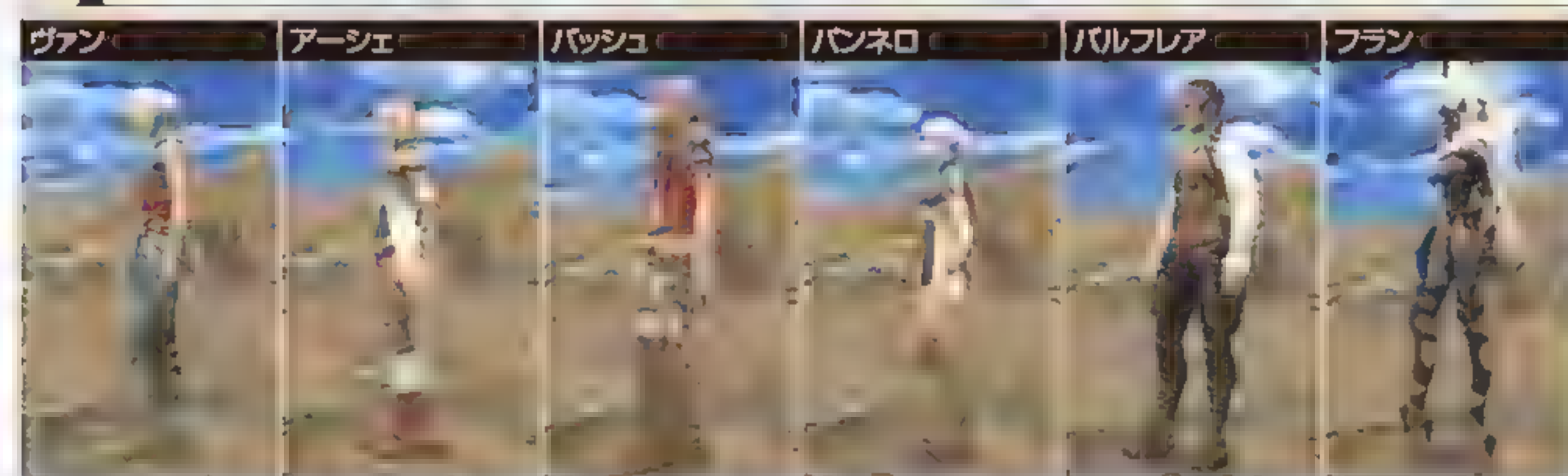
種族、顔つき、身長を選べるうえに、装備の内容で服装も変わる。外見のバリエーションは膨大。

ヒューム♂　ヒューム♀　エルヴァーン♂　エルヴァーン♀

タルタル♂　タルタル♀　ミスラ　ガルカ

XII

装飾品の細部まで見えるほど描写が細かくなった。服や髪の揺れなど、動きの表現もよりリアルに。

ヴァン　アーシェ　バッシュ　パンネロ　バルフレア　フラン

ファイナルファンタジーII

作品概要

1作ごとに新たな試みに挑戦するというシリーズの方向性を決定づけた作品。単語を覚えて会話を進めるワードメモリーシステム、熟練度による成長システムなど、意欲的な取り組みが多い。主人公たちに名前や個性が設定され、物語性も増した。チョコボ、シドが初登場。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーII	ファミリーコンピュータ	1988年12月17日	6,500円(税別)	
ファイナルファンタジーI・II	ファミリーコンピュータ	1994年 2月27日	6,800円(税別)	
ファイナルファンタジーII	ワンダースワンカラー	2001年 5月 3日	5,460円(税込)	※1
ファイナルファンタジーII	プレイステーション	2002年10月31日	3,990円(税込)	
ファイナルファンタジーI・II プレミアムパッケージ	プレイステーション	2002年10月31日	9,240円(税込)	
ファイナルファンタジーI・IIアドバンス	ゲームボーイアドバンス	2004年 7月29日	6,090円(税込)	
ファイナルファンタジーII	iモード	2005年 3月 4日	525円(税込)	※2
ファイナルファンタジーII	EZweb	2005年12月15日	525円(税込)	
ファイナルファンタジーII	Yahoo!ケータイ	2006年12月 1日	525円(税込)	
ファイナルファンタジーII	プレイステーション・ポータブル	2007年 6月 7日	3,990円(税込)	

※1……「ワンダースワンカラー本体同梱版」がバンダイから12,600円(税込)で同時発売
※2……アプリがプリインストールされたFOMA P901iが2005年2月4日に発売

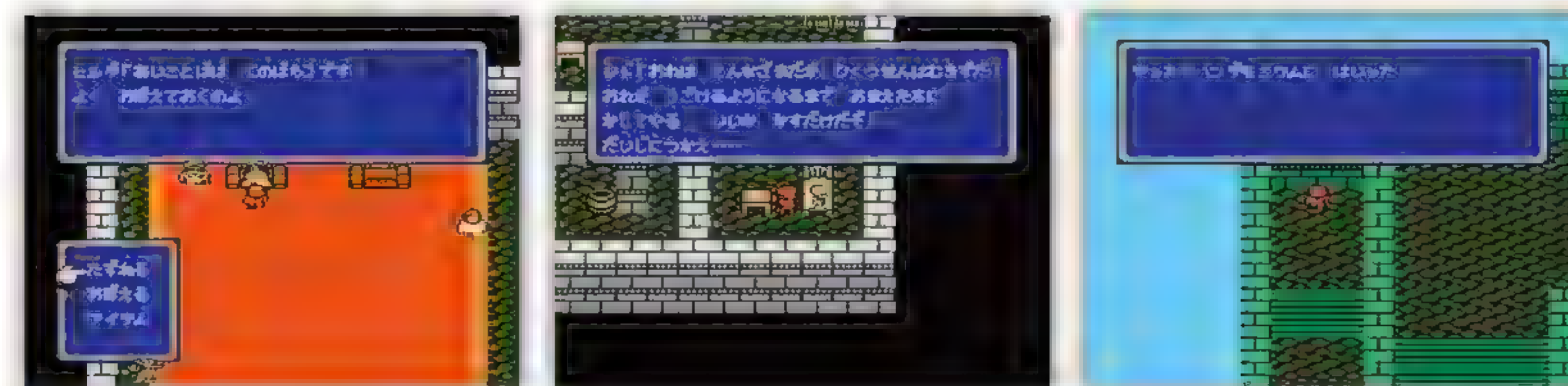
FC版「FF I・II」

WSC版

PS版、携帯電話版

PS版「FF I・II」

GBA版「FF I・II」

PSP版

STORY

出会いと別れが織り成す帝国との果てしない戦い

それは、はるかかなたの世界の物語――。

長くつづいてきた平和は、突如として打ち破られた。パラメキア帝国の皇帝が、己が欲望を満たさんとし、魔界から無数の魔物を呼び寄せて世界征服に乗り出したのだ。

ディスト、カシュオーン、バフスク、サラマンド……世界各地の城や町は、つぎつぎと攻め滅ぼされ、あるいは支配下に置かれていった。パラメキアの侵略に抵抗する反乱軍はフィン王国において立ち上がったものの、帝国の総攻撃により本拠地たるフィン城を奪われ、なすすべもなく辺境の町アルテアへと撤退を余儀なくされてしまう。

帝国軍の襲撃により帰るべきところを失ったフィン王国の若者――フリオニール、マリア、ガイの3人は、反乱軍の指導者ヒルダとその側近ミンウに助けられたことをきっかけに、パラメキア帝国との闘争へと踏み出す。それは、幾人もの同志たちの犠牲を乗り越えねばならない、つらく苦しい戦いのはじまりでもあった……。

FINAL FANTASY II
人物相関図

カシュオーン王国
スコット
兄弟
ゴードン
のちに指揮
婚約
友好

滅ぼす
ネリー
人質として監禁
親子

パラメキア帝国
パラメキア皇帝
仕える
ボーゲン
裏切る
ネリーを盾に脅迫
ダークナイト
敵対

フィン王国
フィン王
親子
ヒルダ
好意
フィン王家
ミスリル調査を命じる
ヨーゼフ
協力
ミンウ
仕える
協力
協力

幼なじみの仲間
マリア
兄妹
レオンハルト
同一人物
好意?
フリオニール
ガイ

反乱軍
トブール
ポール
支援
知り合い
好感
レイラ
協力
シド
飛空船を託す

滅ぼす
ディスト
リチャード
協力
好意
親友
フィリップ
夫婦
エリナ
親子
カイン

フリオニール

Frioniel

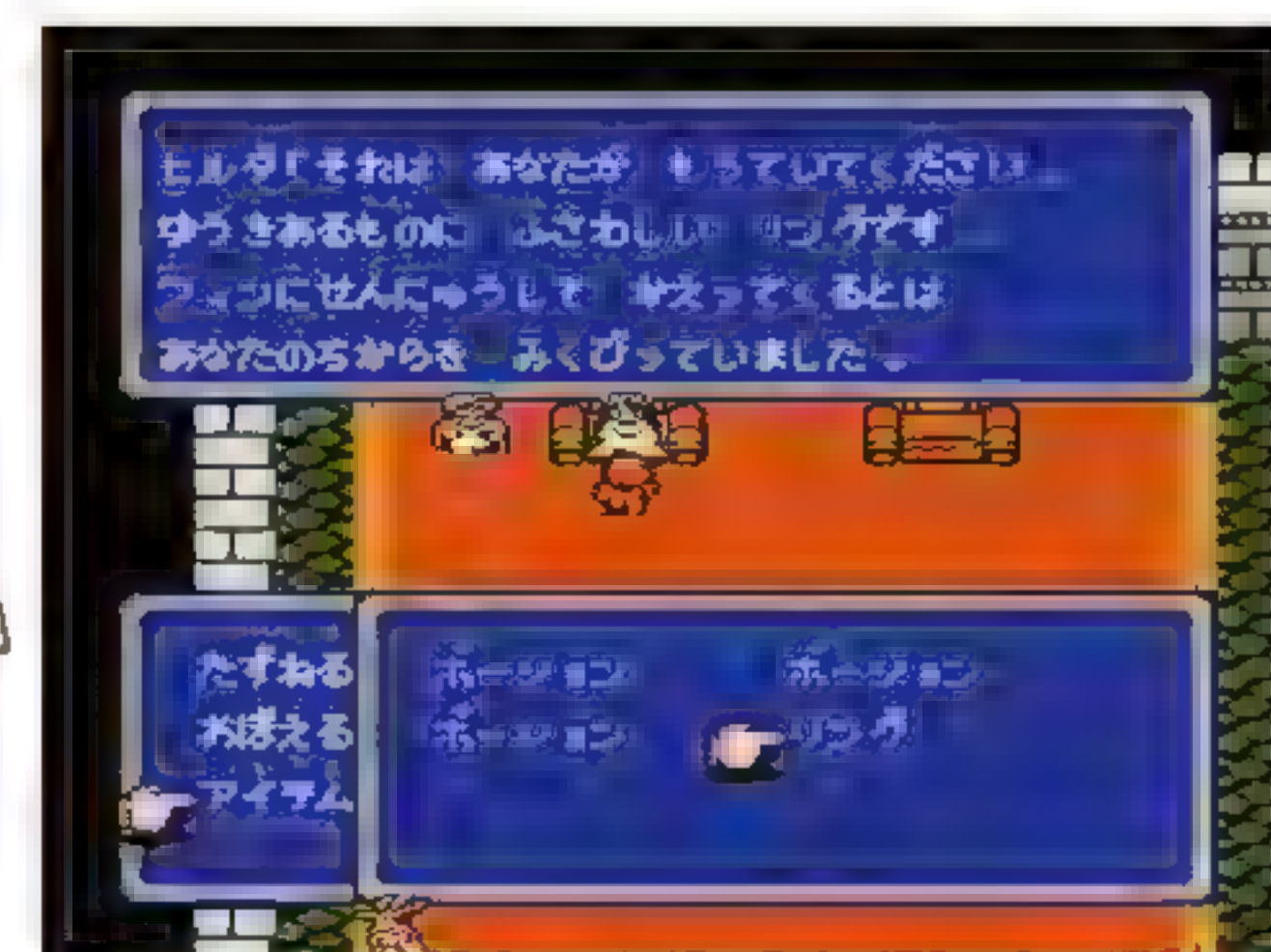
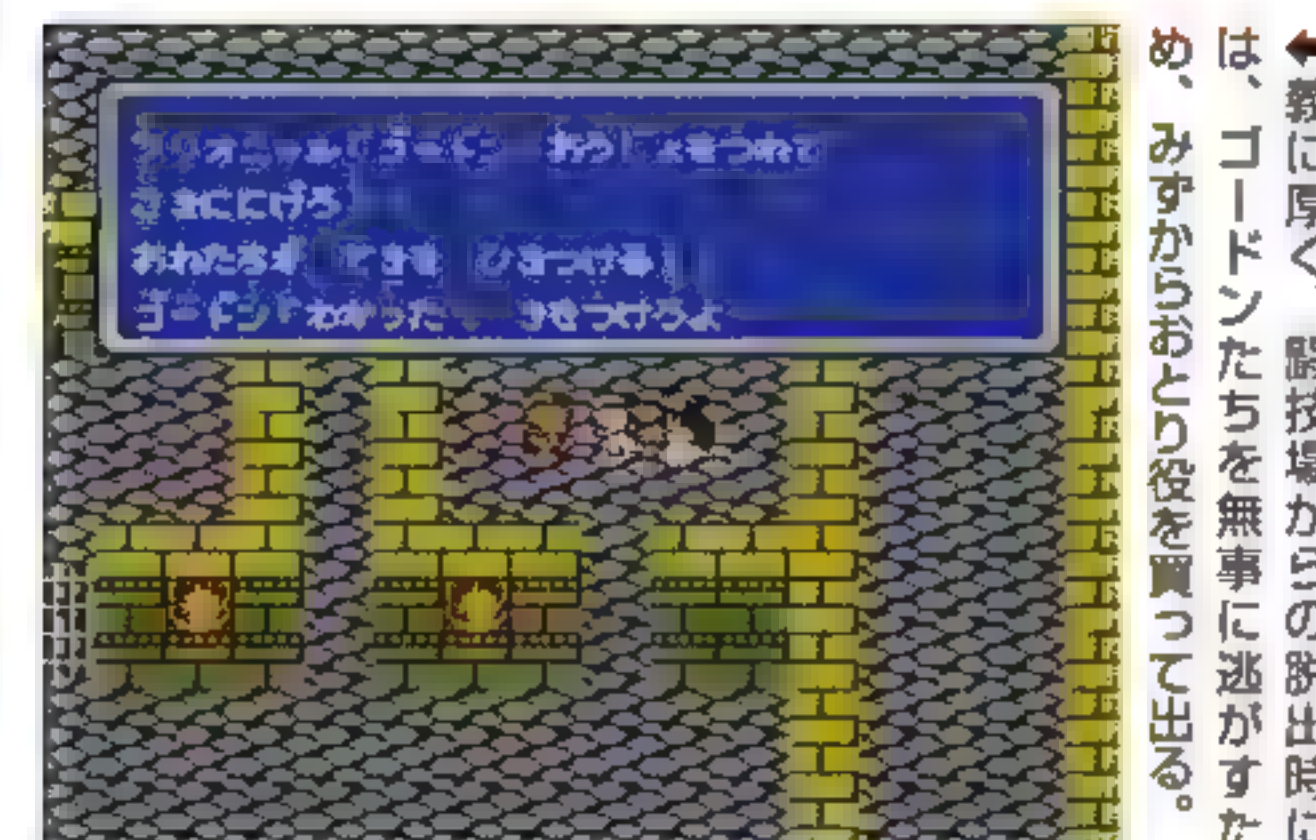
Personal Data

出身 不明
性別 男
利き腕 右
ボイスアクター PS/PSP 小尾元政

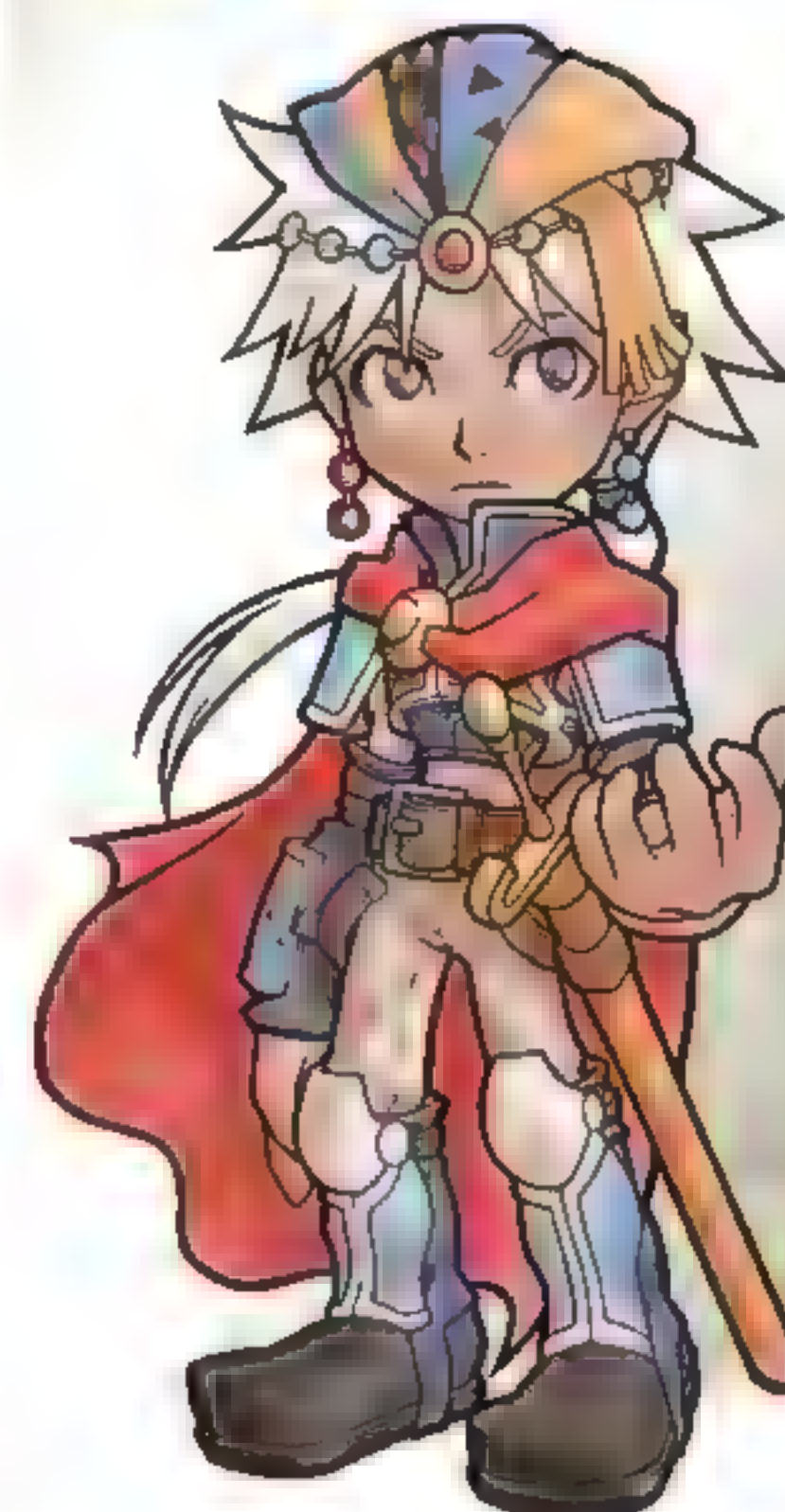
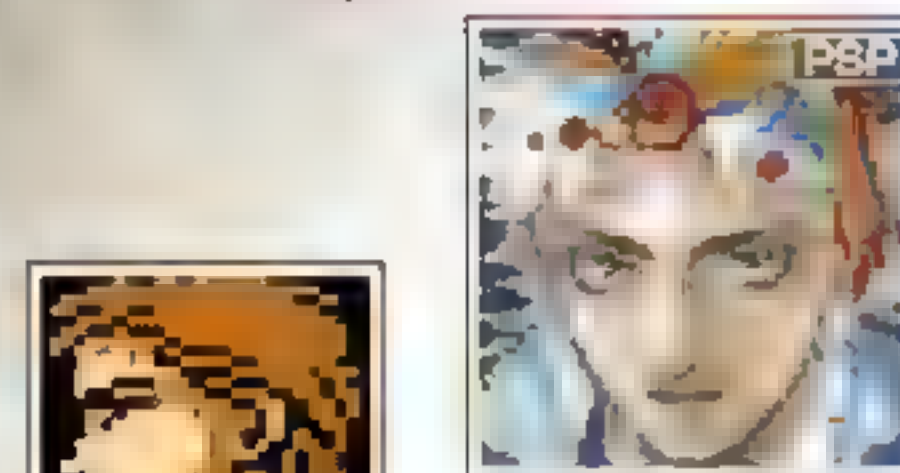
PSP

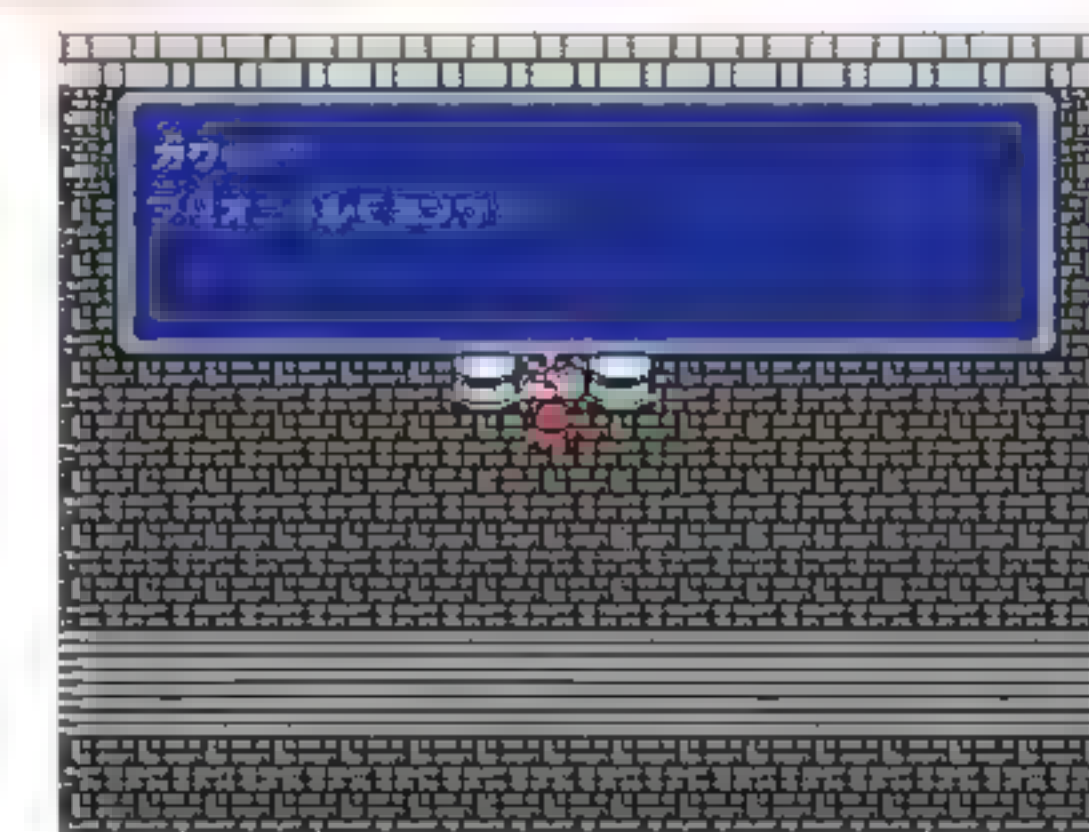
反乱軍の一員として悲劇に立ち向かう若者

フィン王国で暮らしていた青年。幼いころ両親と生き別れたが、レオンハルトとマリアの両親にガイとともに拾われ、彼らとは兄弟姉妹同然に育った。リーダーシップにすぐれ、どんな極限状態に置かれても冷静かつ的確な判断をくだして仲間を導くことができる。

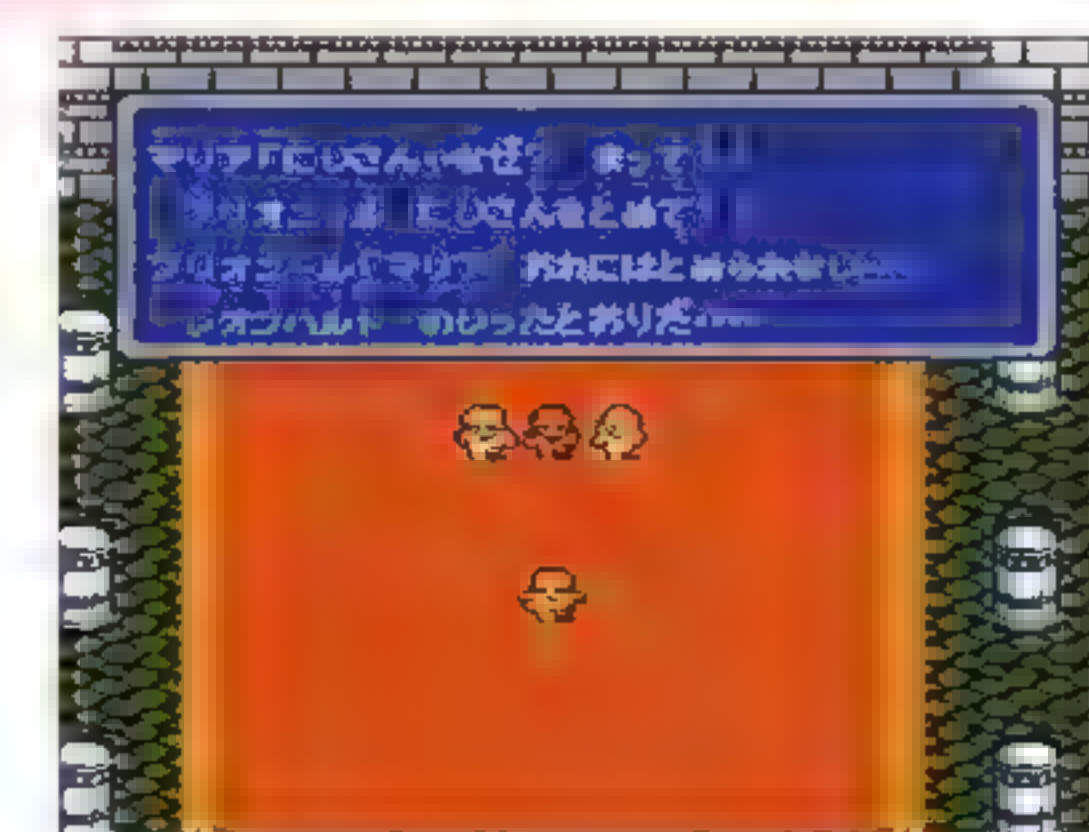
国がパラメキア帝国に襲撃され、傷つき倒れているところを、反乱軍の指導者ヒルダ王女やその側近ミンウに助けられた。育ての両親を失い、帰る場所もなくなった彼は、マリア、ガイとともに反乱軍に身を投じる決意をする。しかし、ミンウをはじめ力を貸してくれた仲間はつぎつぎと命を落とし、行方不明だったレオンハルトは帝国の司令官に転身していたなど、衝撃的な出来事がつづく。それでも、自分が戦えば悲劇は止められると信じて、パラメキア皇帝の打倒を目指し、前進していく。

⬆経験不足から反乱軍への参加をいったんは断られるが、フィンに潜入して生還したことで実力を認められる。

⬅義に厚く、闘技場からの脱出時には、ゴードンたちを無事に逃がすため、みずからおとり役を買って出る。

Topics of Frioniel

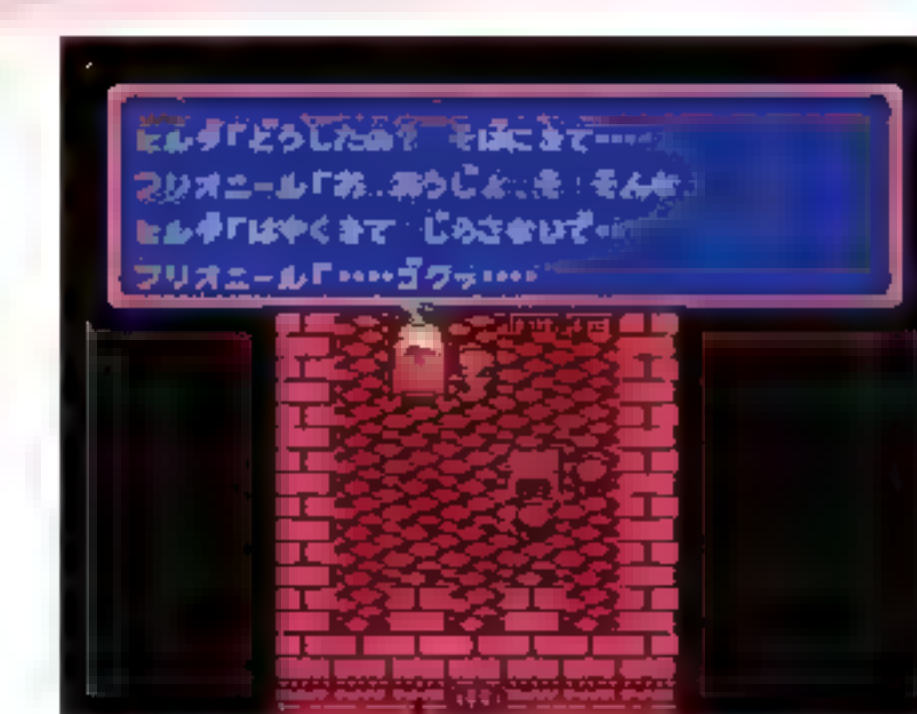
PSP

悲しみと怒りを力に変えて

フリオニールがパラメキア帝国と戦う動機の根底にあるのは、国や大切な人を奪われたことに対する、深い悲しみと怒り。その感情は、ヨーゼフ、ミンウ、シド、リチャードといった、かけがえのない仲間たちの死によって、ますますふくらんでいく。こんな悲劇を二度とくり返してはいけないという強い思いが、平和を切望する心につながり、巨大な帝国に立ち向かう勇気をフリオニールに与えているのだ。

⬆目の前でつぎつぎと死にゆく仲間たち。彼らの死をムダにしないためにも、フリオニールは戦う。

義兄弟の絆

強大な力に魅せられ帝国軍についていたレオンハルトを、フリオニールはふたたび仲間として受け入れる。そうした大胆な決断ができたのは、幼いころからともに暮らすことで育まれてきた固い絆があるからこそ。物語の最後で、自分たちのもとを去っていくレオンハルトを追わなかったのも、彼が自身のあやまちに深い罪の意識を感じていることを、フリオニールも痛いほど理解していたからだろう。

⬆お互いが受けた心の傷も、きっと時が癒してくれるにちがいない。

色香に迷う健全な青年

異性への関心がイマイチ薄いフリオニールだが、ヒルダに化けた魔物の誘惑にはぐらつく。ベッドに誘われ、思わず生ツバを飲みこむ姿は青年として正常な反応。美しい女性に迫られれば、心も身体も反応せずにはいられない!?

⬅ピンク色の空気のなかで、明らかにいつもとちがうヒルダ王女の妖艶な誘いにドギマギ。

Impressive Words

口数は少なくセリフ自体も短いが、正義感にあふれ、リーダーとして仲間たちの意思をとりまとめている様子がうかがえる。ときおり、ふつうの若者らしい言葉を使うことも。

「いいじゃないか！ タダだし。お願いしますっ!」
——パルムの町：船に乗せると言うレイラを怪しむマリアに

「……ゴクッ……」
——反乱軍アジト：ヒルダ王女に化けた魔物に色仕掛けで迫られて

「いや、俺たちが自分で決着をつけるよ」
——フィン城：レオンハルトとは戦いづらいだろうと言うゴードンに向かって

「マリア、俺には止められない……
レオンハルトの言ったとおりだ……レオンハルト、いつの日かきっと!!」
——エンディング：レオンハルトが立ち去ろうとするとき

マリア

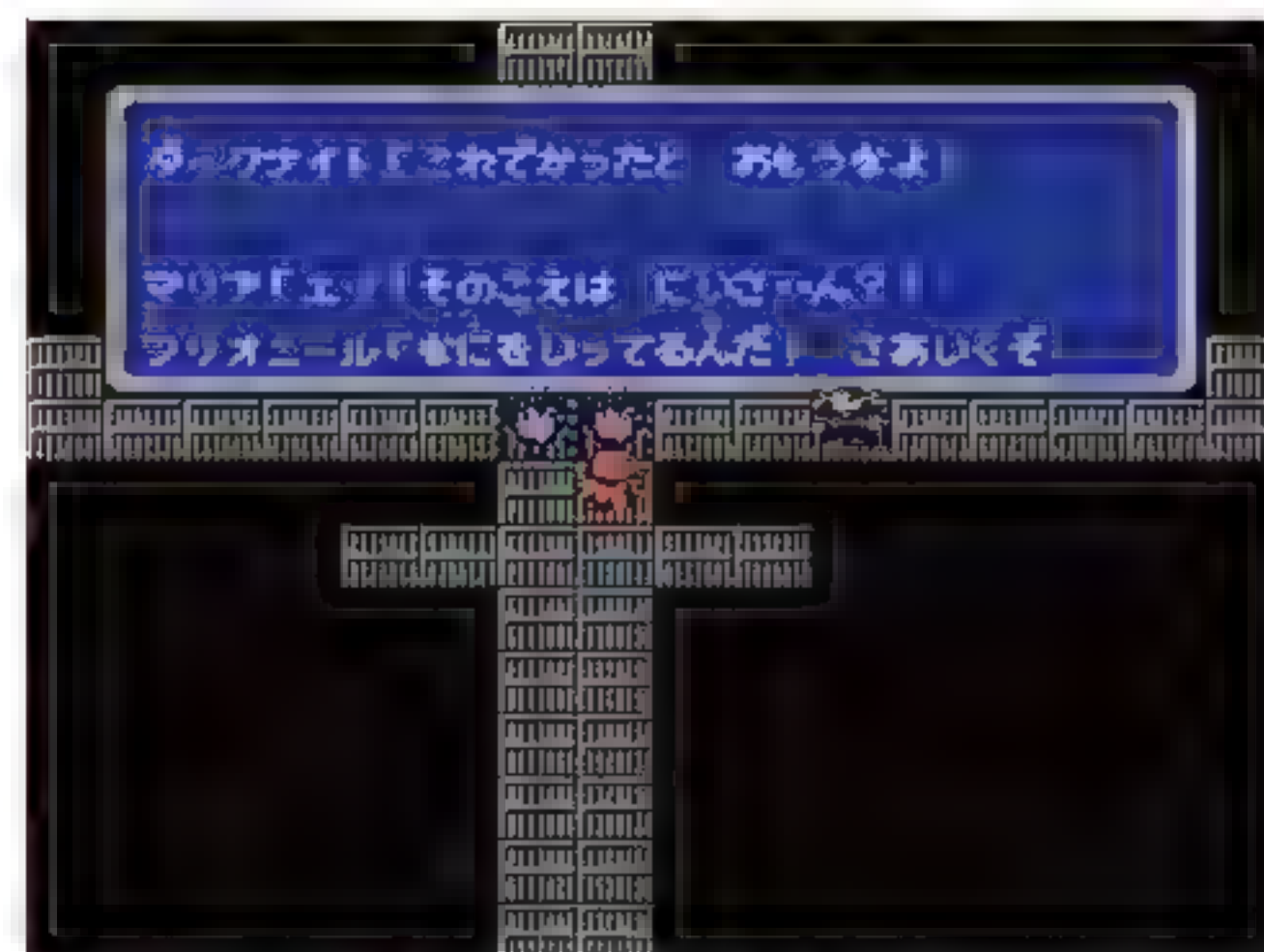
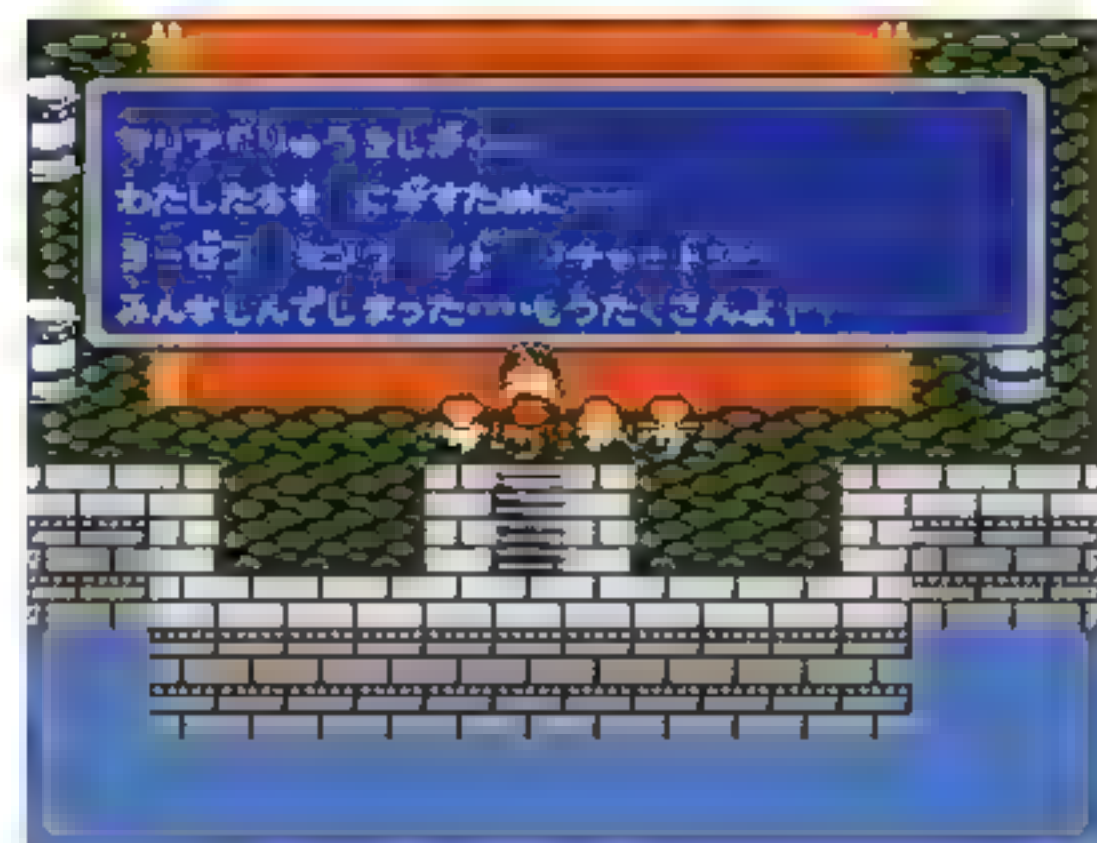
Maria

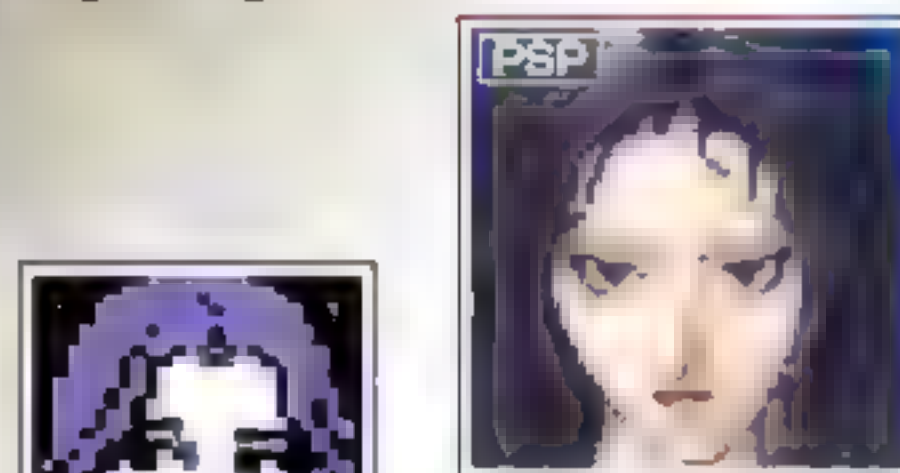
Personal Data

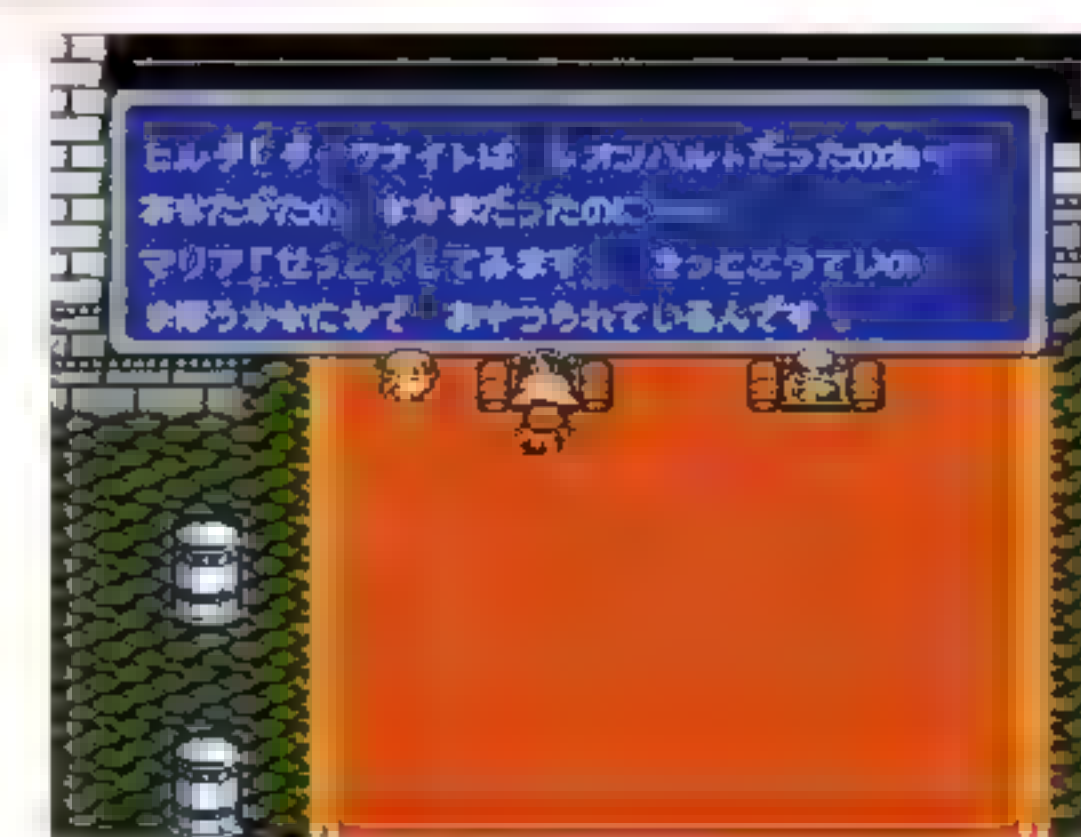
出身	フィン
性別	女
利き腕	右
ボイスアクター PS/PSP	下屋則子

さびしさを忘れようと気丈に振る舞うけなげな少女

フリオニールやガイとともに育った、フィン国の少女。パラメキア帝国軍の襲撃により両親を失い、兄レオンハルトとも生き別れることになった。表面上は気が強くしっかりしているように見えるが、人一倍さびしがり屋で、頼りにしている人がつぎつぎと自分の前からいなくなるのに耐え切れず泣いてしまうことも。

帝国軍から逃げるときに行方不明となったレオンハルトの身をつねに案じており、彼を気にかけながらもフリオニール、ガイとともに反乱軍に参加する。物語の途中、レオンハルトが「ダークナイト」と名乗りパラメキア帝国軍の司令官となっていたことを知って衝撃を受けるが、みずから説得役を買って出て、彼の心を動かす。故郷で平穏に暮らしていたころの思い出をとても大切にしており、ふたたび4人で暮らすことを誰よりも願っている。

⬆大戦艦でダークナイトと遭遇したとき、相手の声にハッとする。それは聞き覚えのある兄の声と同じだった。

⬅リチャードまでもが死んでしまい、これまでに散っていった仲間たちのことを思い起こして泣き叫ぶ。

Topics of Maria

信頼する兄への訴え

マリアにとって兄レオンハルトは絶対的な存在であり、彼が敵となったことでマリアは大きな衝撃を受ける。しかし、同時に「兄の本意であるはずがない」「すぐに考え直してくれるはず」という思いもあった。だからこそ、レオンハルトの説得役をヒルダ王女に申し出たのだ。これ以上犠牲者を出さないためにも一緒に戦ってほしいという彼女の悲痛な訴えが、一度は帝国についたレオンハルトの心を動かす。

⬆フィン城で、レオンハルトがダークナイトとして皇帝の座についたという知らせを聞く。

恋の予感

フリオニールとは長いあいだ兄妹のように暮らしてきたマリアだが、彼に特別な感情を持っていたと自覚するのは、世界に平和がもどってからのこと。レイラがフリオニールに対してちょっとした愛情表現を見せたときに、嫉妬心が顔をのぞかせるのだ。今後はその気持ちが恋に発展する!?

⬆フリオニールに好意の言葉をかけるレイラをキッとにらみつける(GBA版&PSP版で追加されたセリフ)。

Impressive Words

いつも仲間たちの身を案じており、その言葉には、戦いによる悲劇をくり返してほしくないという思いがこめられている。とくに、彼女のなかで大きな存在である兄レオンハルトを心配する場面は多い。

「フリオニール、生きていたのね!　……よかった……私……グスン」
──反乱軍アジト：帝国軍襲撃のあとでフリオニールの生存を確認して

「やめて、ふたりとも!!　兄さん、なぜ戦わなければならないの?」
──パラメキア城：新たなパラメキア皇帝を名乗る兄と対峙して

「ヨーゼフ、ミンウ、シド、リチャード……。
みんな死んでしまった……もうたくさんよ!!」
──フィン城：リチャードが命を捨てて自分たちを逃がしたことを悲しみ

「兄さん……なぜ?　待って!!　フリオニール、兄さんを止めて!!」
──エンディング：レオンハルトが立ち去ろうとするのを見て

ガイ

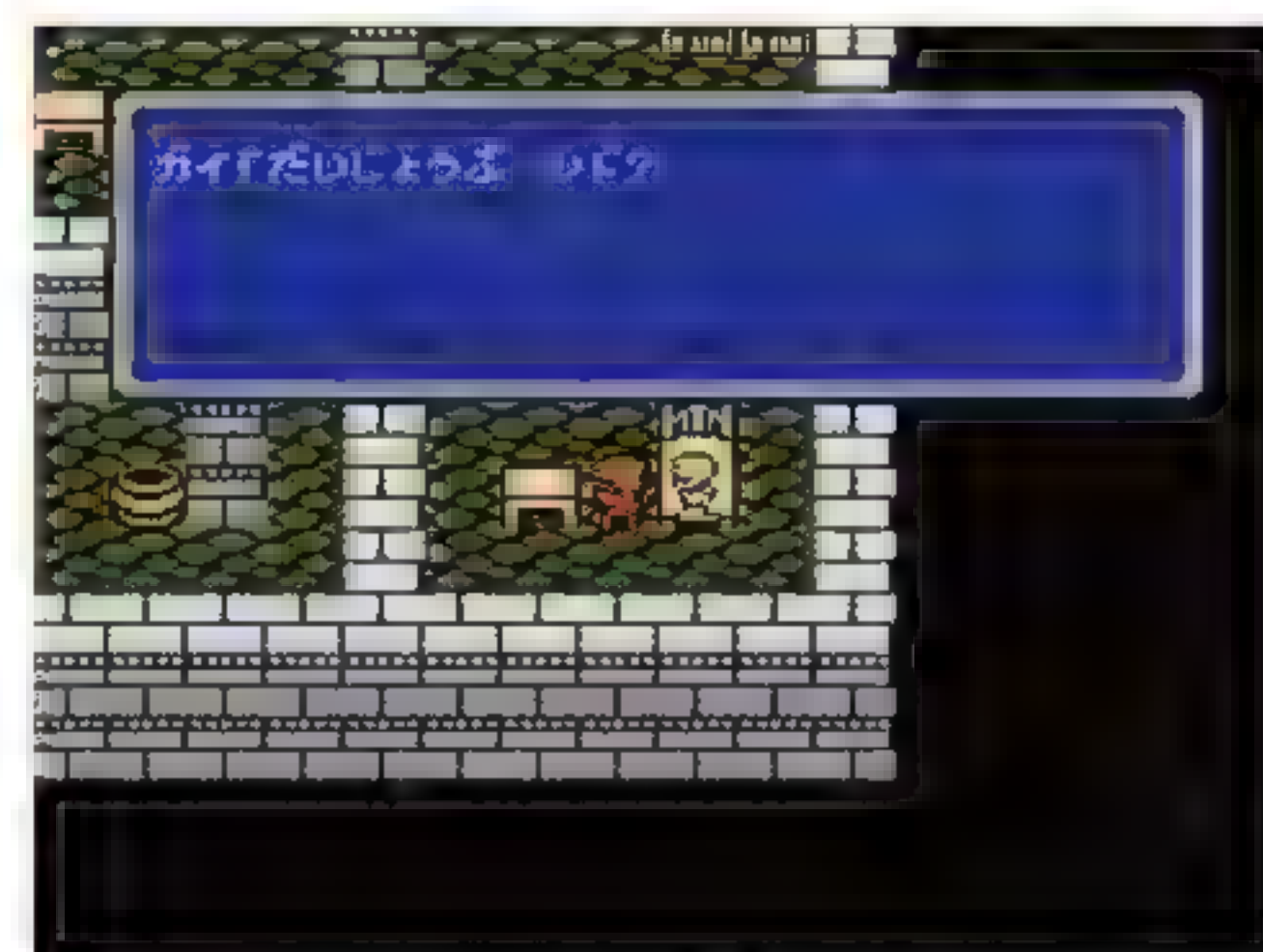
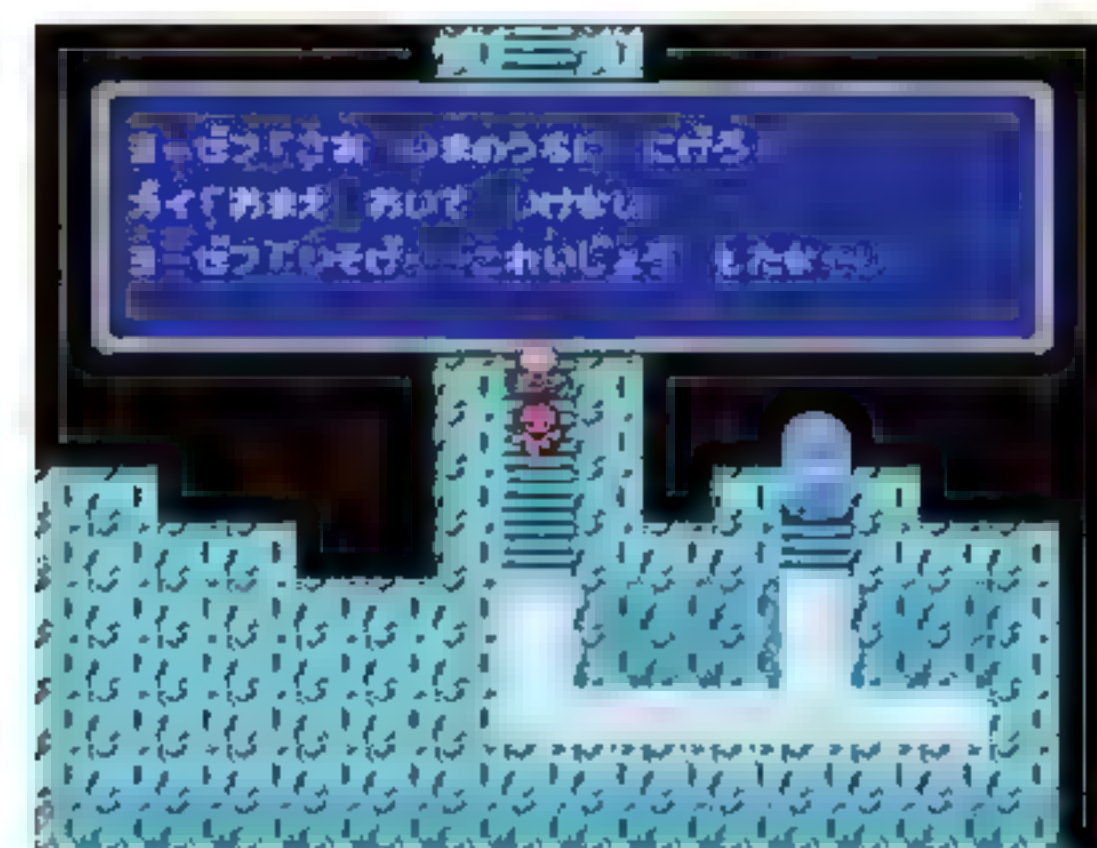
Guy

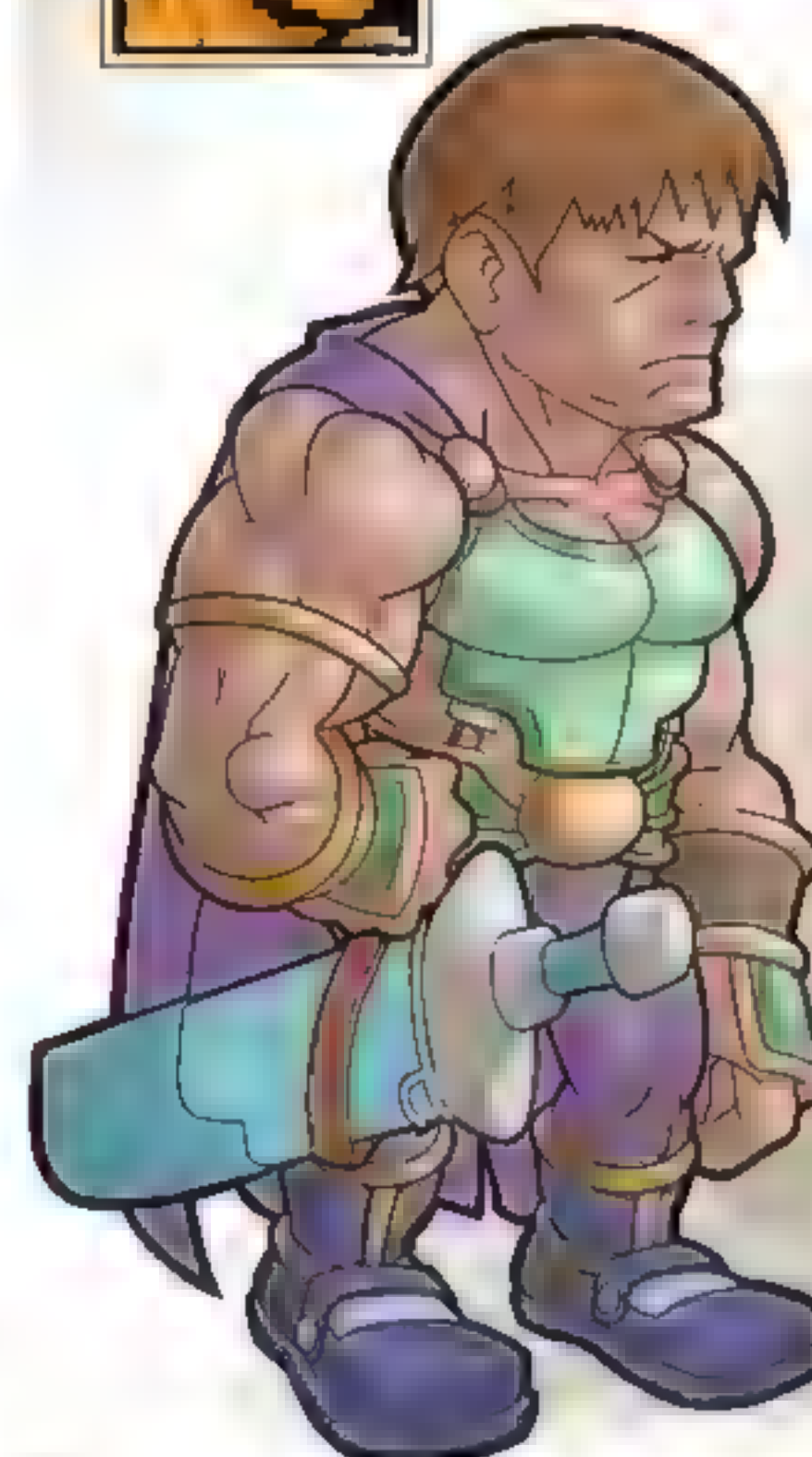
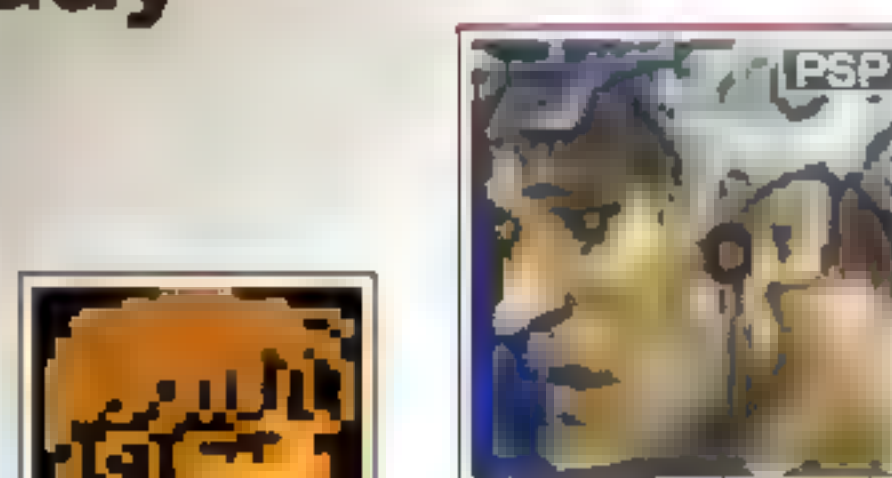
Personal Data

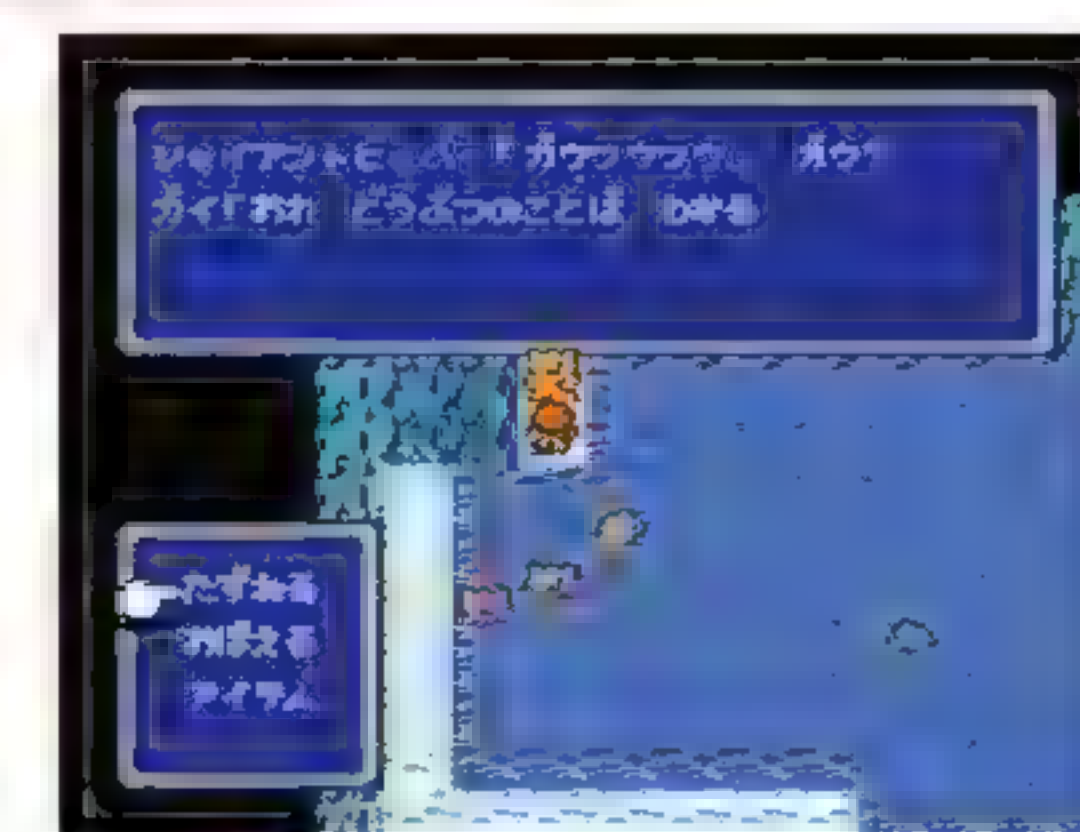
出身	不明
性別	男
利き腕	右
ボイスアクター PS/PSP	三宅健太

素朴で純粋 心優しき怪力青年

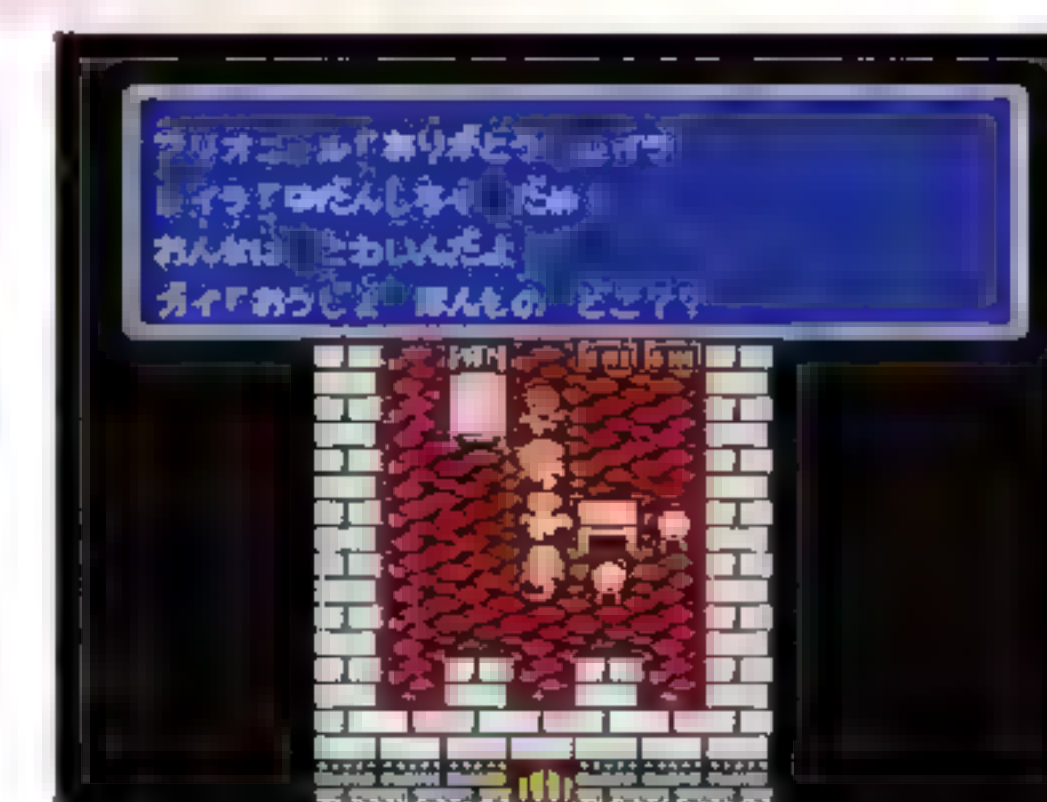
みなしごだったフリオニールと一緒に拾われ、レオンハルトやマリアの家庭で育った若者。鍛え抜かれた肉体を持つ巨漢で、たぐいまれな腕力を誇るが、いかつい外見とは裏腹に、性格は極めておだやかで優しい。レオンハルトたちの家に引き取られるまではオオカミに育てられていたため、人間の言葉はいまだに片言しか話せず、人とのコミュニケーションは苦手。そのかわり、動物の言葉を理解できるという特別な能力を持っている。

フィン国が襲撃を受けたことをきっかけに、フリオニール、マリアとともに反乱軍に志願した。その性格から、先頭に立って仲間を引っ張っていくようなことこそないものの、戦いにおいては大きく貢献。自慢の怪力と頑健な肉体を活かして仲間を守り、平和が訪れるときまで、フリオニールを寡黙に支えつづけた。

⬆皇帝の竜巻に巻きこまれて瀕死の重傷を負ったシドを気づかう。ガイの優しさがよく表れた場面。

⬅岩を身体で受け止めるヨーゼフに、自分の腕力も助けになればと手を貸そうとするが、こばまれてしまう。

Topics of Guy

さすがに野生育ち

親がわりだったオオカミとともに、幼いころから野山を駆けまわっていたガイ。その暮らしのなかで彼が身につけたものは、並はずれた腕力や体力などさまざまだが、とりわけ注目すべきは、動物と意思を通じ合わせるという特技だろう。ガイのこの特技が本領を発揮したのは、女神のベルを求めて雪原の洞窟を訪れたとき。洞窟に棲むジャイアントビーバーと言葉を交わし、女神のベルのありかを聞き出した。

⬆単なるうなり声にしか聞こえないジャイアントビーバーの言葉を、見事に通訳してみせた。

しゃべるのは苦手だが……

人里を離れオオカミのもとで育ったせいで、ガイは言葉づかいがたどたどしく、きちんとした文章を話すのが苦手。しかし、だからと言って理解力が低いというわけではなく、相手の言いたいことはちゃんとわかるし、状況判断も自分で的確に行なうことができる。

⬅魔物がヒルダ王女に化けていたという状況を把握し、すぐに本物を捜し出そうとする。

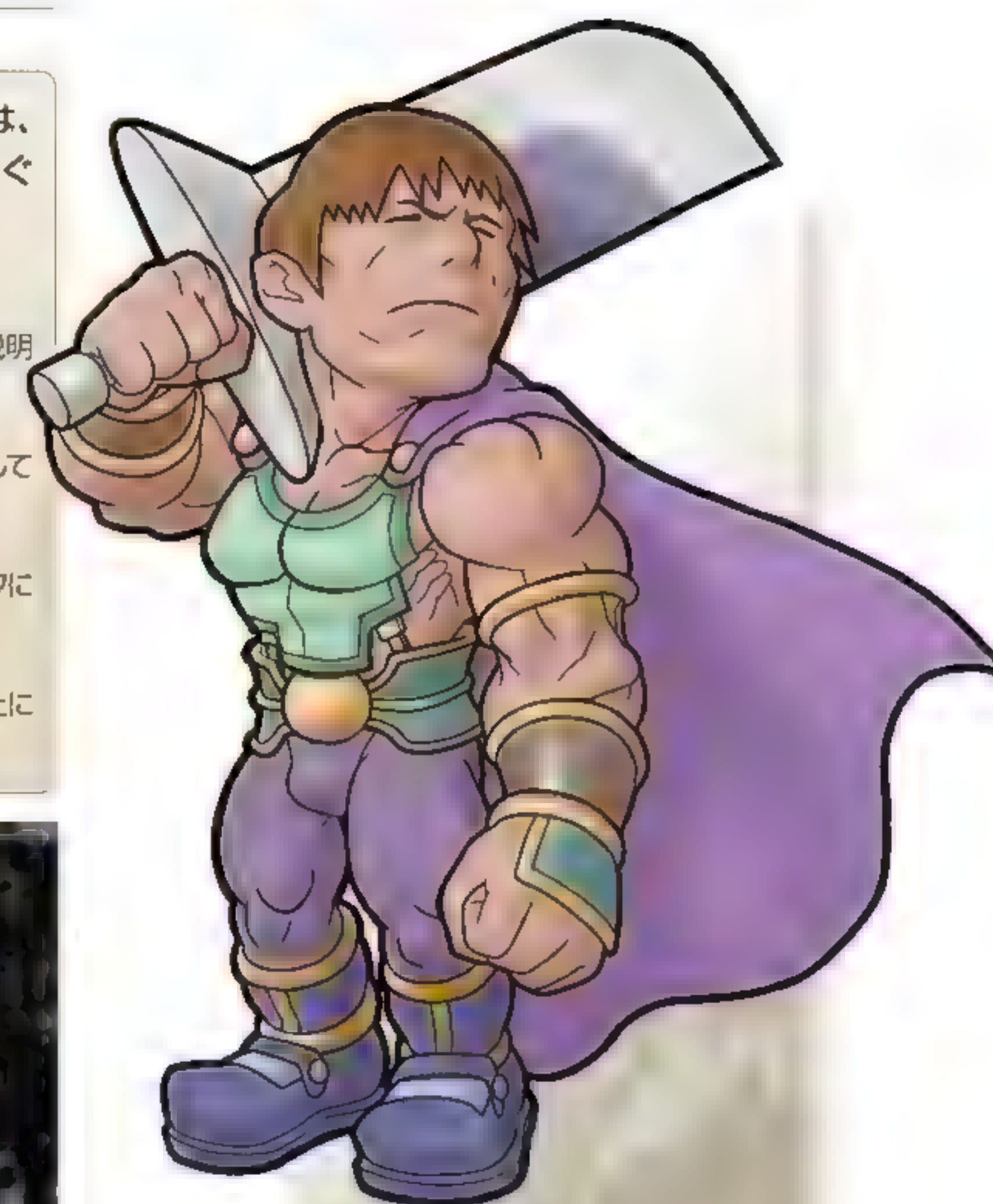
Impressive Words

無口でしゃべること自体が非常に少ないものの、短い言葉のなかには、彼の素朴さがよく表われている。多くを語らなくとも、ガイのまっすぐな気持ちは相手に伝わっているはずだ。

「フィンの王女　たすけた　おれたち。レオンハルト　いなかった」
――反乱軍アジト：目覚めたフリオニールに状況を説明

「おれ　動物の言葉　わかる」
――雪原の洞窟：ジャイアントビーバーを前にして

「おまえ　おいて　行けない」
――雪原の洞窟：身体を張って岩を止めるヨーゼフに

「終わった　やっと……」
――フィン城：よみがえった皇帝を倒し、戦いがすべて終わったあとに

レオンハルト(ダークナイト)

Leonhart (Dark Knight)

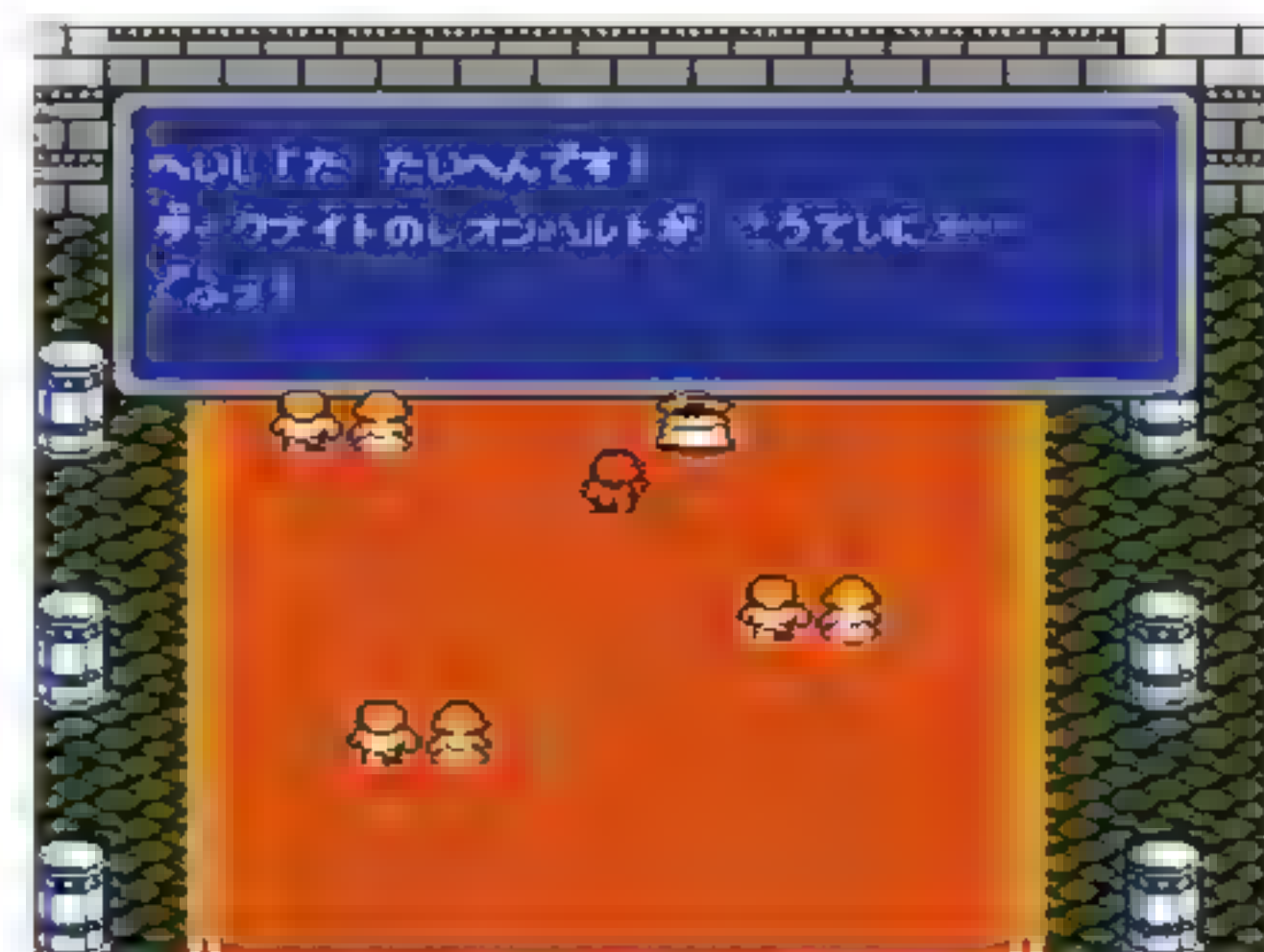
Personal Data

出身：フィン
性別：男
利き腕：左
ボイスアクター：PS/PSP 山口隆行

進むべき道を見誤った孤独な戦士

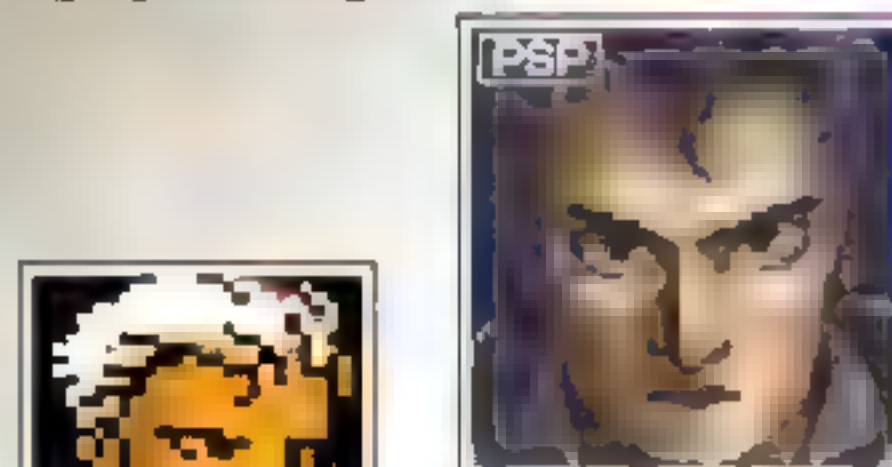
マリアの実の兄。フリオニールやガイとは義兄弟として育ち、親友同士でもあった。パラメキア帝国軍の襲撃で両親を失い、4人で逃げる途中で敵の追手に襲われ、自分だけがはぐれてしまう。ひとり取り残された彼は弱者のみじめさを痛感し、帝国の強大な力に魅せられて皇帝の配下に。やがて頭角を現し、帝国軍司令官ダークナイトの地位に就いてから、かつての仲間であるフリオニールたちの前に、敵としてふたたび姿を見せることになる。

一時は、倒れた皇帝の後継者として君臨するも、よみがえった皇帝に即位を許されず、帝国もろとも「用ずみ」だと宣告されてしまう。妹マリアやフリオニールの説得もあって、ようやく己の選んだ道がまちがっていたことを自覚。それまでのみずからの行動に責任を感じつつも、反乱軍に加勢し、打倒皇帝のために戦う。

PSP

↑皇帝の座に就いたことで、フリオニールたちにもダークナイトの正体が自分だという情報が知れ渡った。

←わだかまりはあったが、マリアとフリオニールの説得を受け、反乱軍に加わって皇帝を倒すことを決意する。

Topics of Leonhart

PSP

敵軍のエリートとして活躍

敗戦国の一市民が敵軍にくだる場合、ふつうは重要な職に就くことは望めない。それが、メキメキと頭角を現し、軍の司令官にまでなることができたのは、レオンハルトが優秀だったからだろう。大戦艦が完成したのも、無能な士官ボーゲンの裏で、レオンハルトが指揮をとりつづけていたからこそ。リーダーシップにすぐれ、戦士としての評価も高い彼の能力は、くしくも敵国で花開いたのだ。

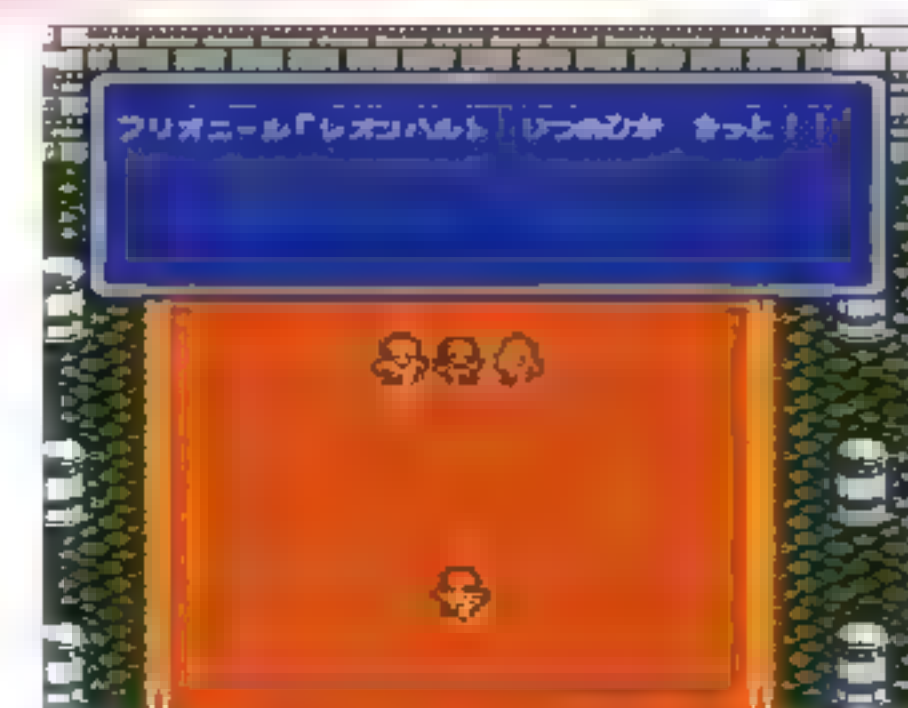
↑ダークナイトとしての彼は、強い統率力と厳しい戒律で部下たちをまとめていた。

ダークナイトの誤算

帝国側についた時点でレオンハルトは、世界の秩序を保つためには絶対的な強者が必要という考えに至っていた。それゆえに、皇帝が亡くなったとき、ダークナイトの地位にいた自分がその役目を継いで君臨しようと考えたのだ。しかし、死んだはずの皇帝がよみがえり、レオンハルトの即位を強くこばむという予期せぬ事態が発生。帝国側の最上位までのぼりつめた矢先に、居場所を失うことになってしまう。

↑皇帝の復活は、レオンハルトにとって完全に予想外の出来事だった。

己が犯した罪への責任

最終的にレオンハルトは反乱軍に加勢し、皇帝との戦いに勝利を収める。ようやく世界に平和がもどるが、ダークナイトとして数々の非道を行なった過去は消えないと自覚する彼は、仲間のもとをひとり静かに去っていく。

←歩き出すレオンハルトの胸に「いつの日か、きっと!!」というフリオニールの言葉が響く。

Impressive Words

力こそがすべてだと信じて帝国軍にくだったが、結局はそれもまちがいであり、仲間を裏切ることになってしまった――レオンハルトのセリフからは、そんな彼の心の動きが読み取れる。

「やはりお前がきたのか、フリオニール!　俺に勝てるつもりか?」
――パラメキア城：フリオニールたちと対峙して

「この世を支配するものは何か?　それは力だ!!　俺は皇帝になったのだ!
その力、手放しはしない!!　さあマリア、そこをどけ!」
――パラメキア城：戦う理由をマリアに問われ

「この化けものめ!　帝国は俺のものだ!　お前などに渡さんぞ」
――パラメキア城：よみがえった皇帝に向かって

「俺たちはいろんなことを知りすぎた……もう、昔には帰れない……」
――エンディング：フィン城から立ち去ろうとするときに

パラメキア皇帝

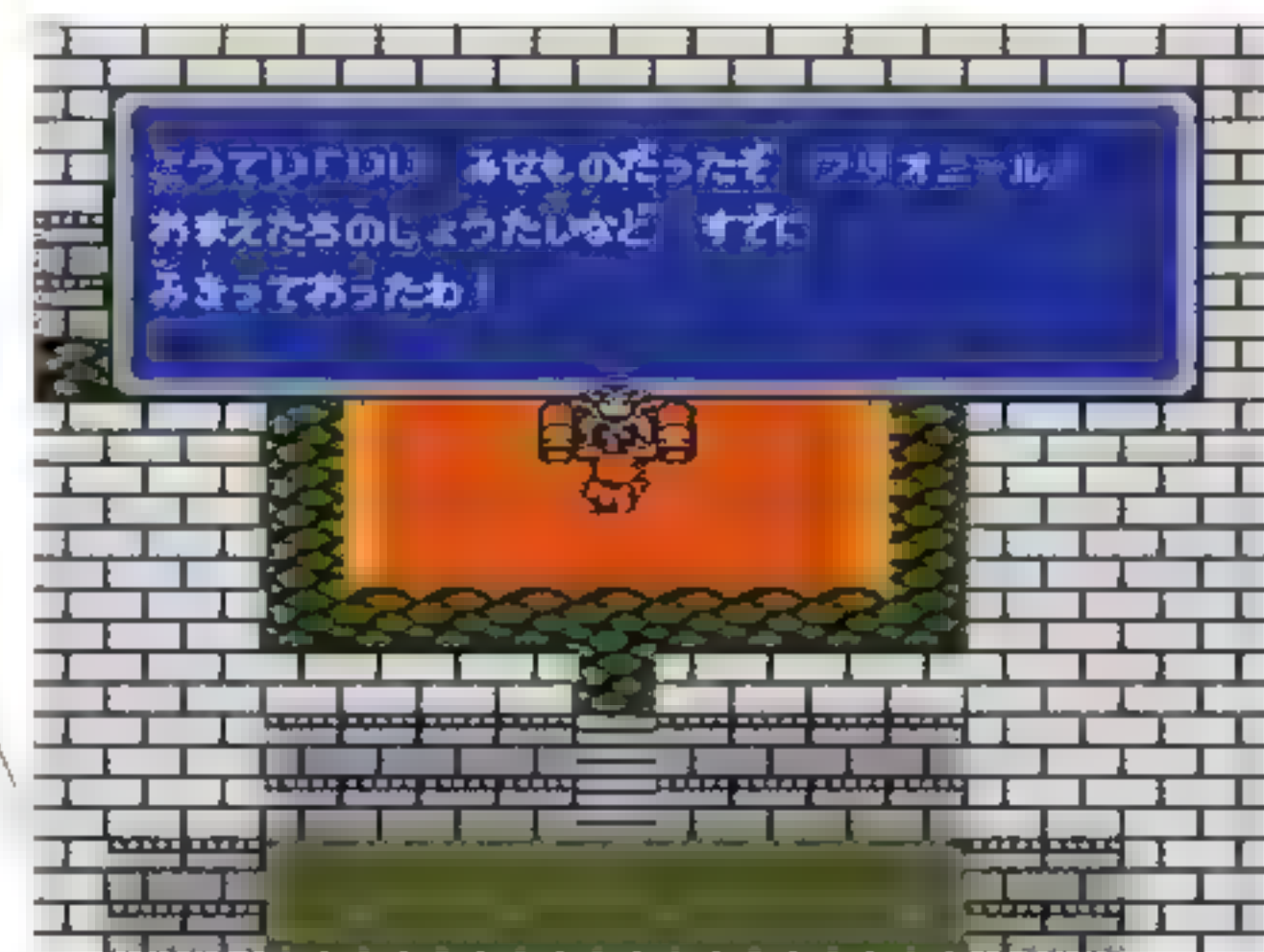
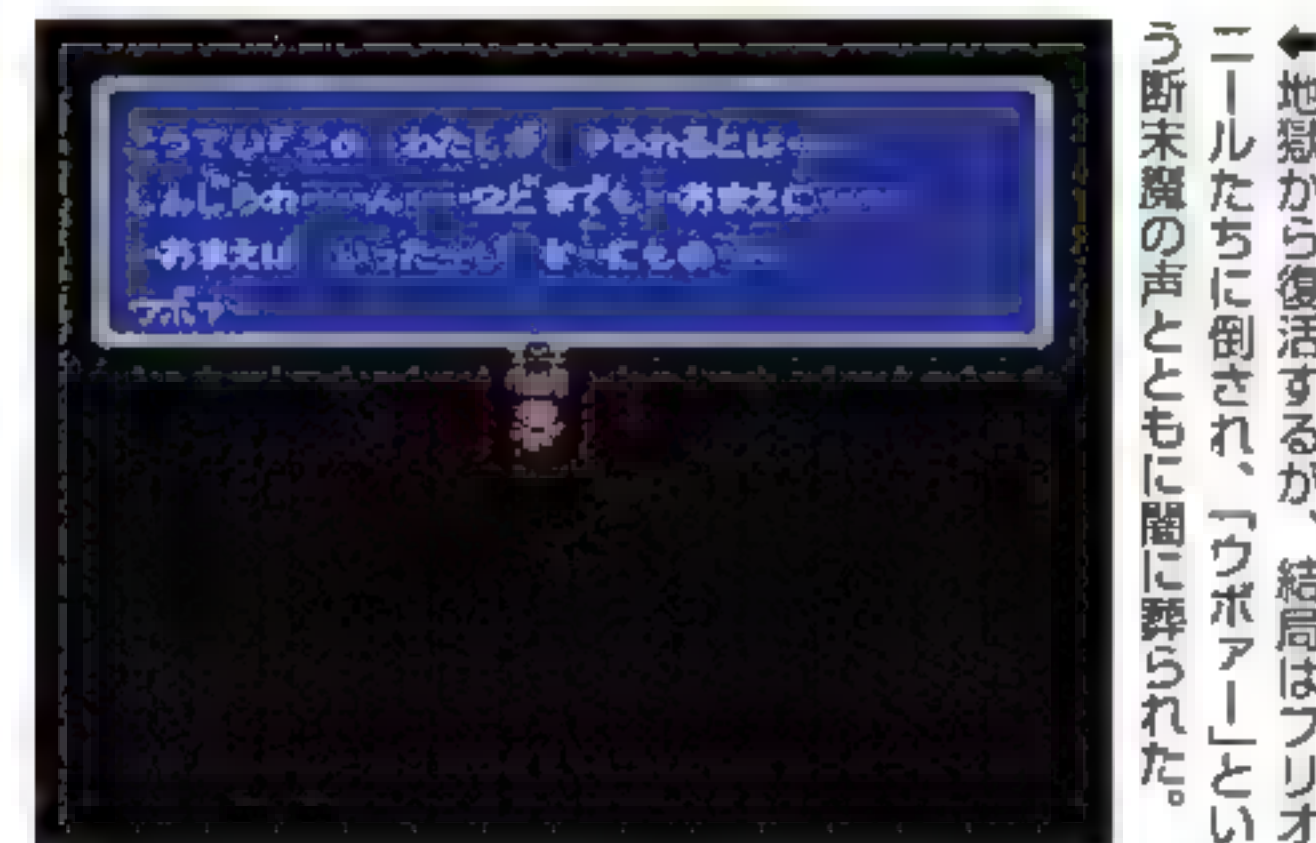
Emperor of Palamecia

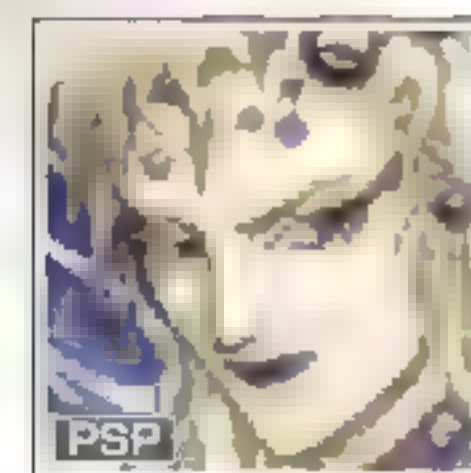
Personal Data

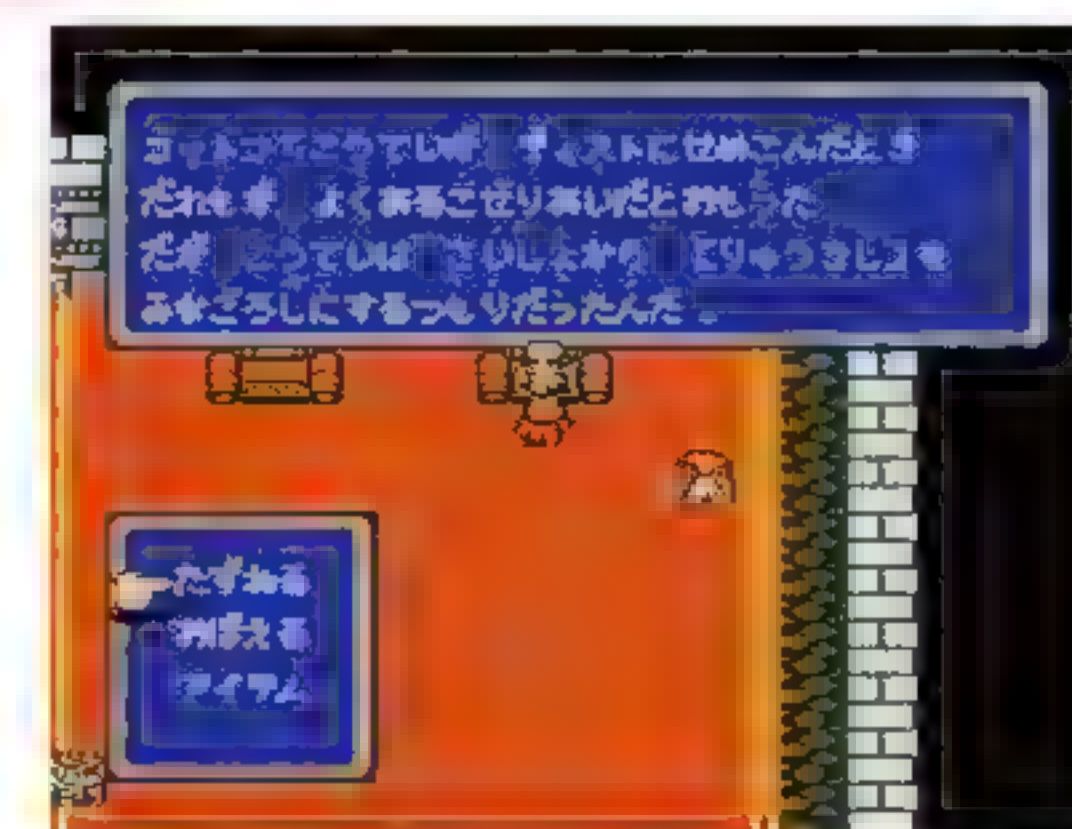
出身	パラメキア
性別	男
登場場所	竜巻、パンデモニウムほか

世界を魔力と軍事力で手中に収めんとする野心家

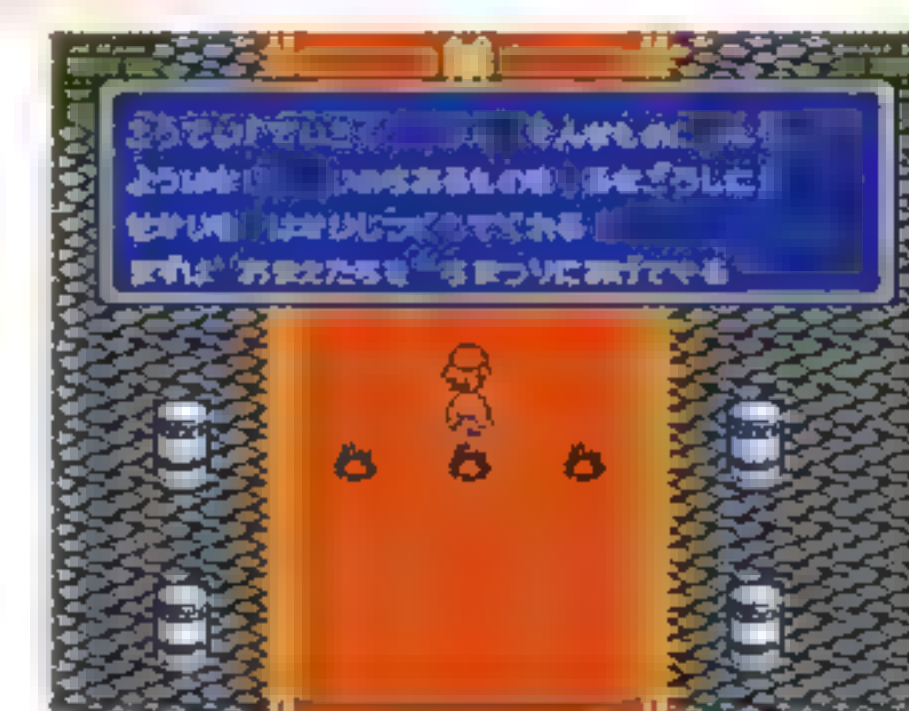
世界征服をもくろむ、軍事国家パラメキア帝国の総帥。支配欲が非常に強く、自分がナンバーワンの座にいないと気がすまない。つねに親衛隊を従えており、相手が誰であろうと見くだしたような態度をとる。

すさまじい魔力の持ち主で、魔界から呼び出した魔物を世界に放って人々を恐怖におとしいれたのち、強力な軍隊をもって各地を攻撃。さらに、大戦艦や竜巻で追い打ちをかけ、諸国をつぎつぎに壊滅状態へと追いこんだ。帝国に対抗しようとするフリオニールたちを、自身が作り出した竜巻で待ち受けるも、一度は敗北。しかし、悪魔に魂を売り、地獄で究極の力を身につけてよみがえる。くずれ落ちたパラメキア城の跡に、地獄の城パンデモニウムを出現させて居城とし、世界を闇に包もうとするが、ふたたびフリオニールたちに倒されて消滅した。

⬆闘技場にて、フリオニールたちとはじめて対面。彼らを反乱軍と最初から見切っており、牢に閉じこめる。

⬅地獄から復活するが、結局はフリオニールたちに倒され、「ウボァー」という断末魔の声とともに闇に葬られた。

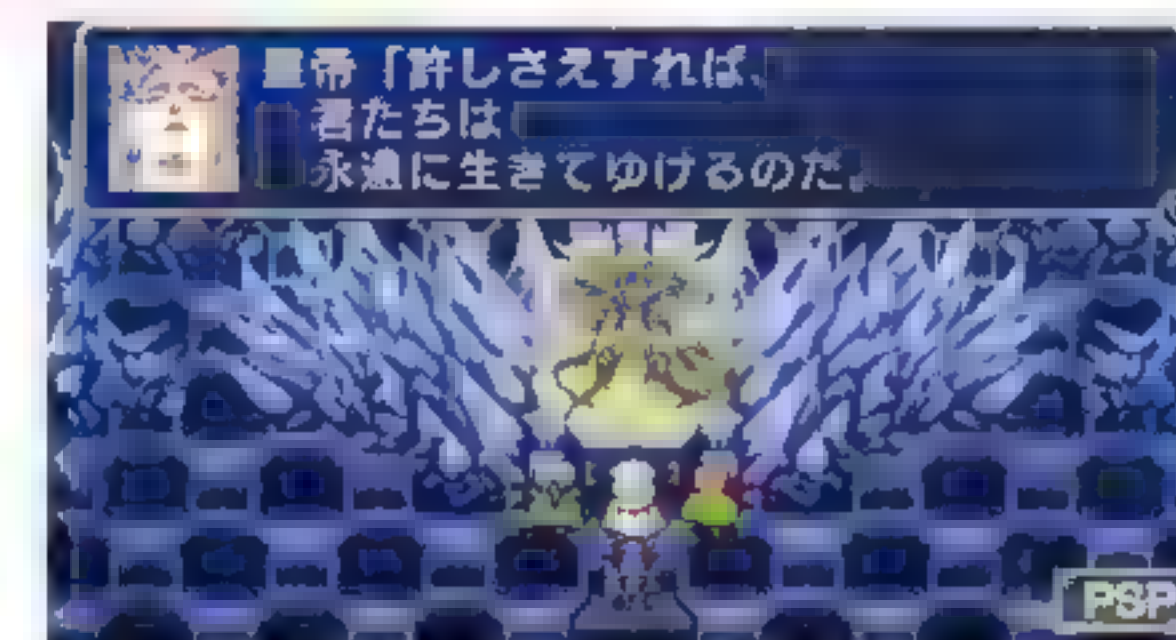
Topics of Emperor of Palamecia

■ 手段を選ばぬ卑劣な行為

絶対的な力を誇示することで世界を我が物にできると考える皇帝は、自分にとって脅威となるような相手には容赦しない。とくに、高い戦闘能力を持つディストの竜騎士団への仕打ちは徹底していた。まず、彼らの戦力として不可欠な飛竜の飲み水に毒を入れ、飛竜をほぼ全滅させたのち、一気に攻めてディストの島民もろとも死に追いやったのだ。このように、目的を達成するためには手段を選ばない。

⬆反撃の芽は早いうちに摘もうと、竜騎士たちの住むディストを他地域より先に壊滅させた。

■ 力こそがこの世のすべて

皇帝たる者にとって、自国を治めることこそが本来の務めのはず。しかし、一度倒されたあと悪魔に魂を売ってよみがえった彼は、もはや国への関心を失っていた。勝手に次期皇帝を名乗ったレオンハルトを認めず、すべての命あるものの存在を絶やし、世界を破壊し尽くそうともくろむ。

⬅まずはお前たちを血祭りにしてやると言って、フリオニールやレオンハルトらに襲いかかる。

■ 「善」と「悪」に二分化

一度フリオニールたちに倒されたあとで復活した皇帝の魂は、「善」と「悪」のふたつにわかれ、「悪」の皇帝はパンデモニウムでフリオニールたちにふたたび倒された。一方「善」の皇帝は、GBA版とPSP版の追加シナリオ『Soul of Re-Birth』において、天界の宮殿アラボトにミンウたちの魂を呼び寄せる。

⬆許しを乞うためミンウたちをこの地へ導いたというが、その態度は相変わらず高圧的だ。

Impressive Words

人を人とも思わず、自己中心的な発言をくり返す。とりわけ、一度フリオニールたちに倒されてよみがえったあとは、悪魔に魂を売り渡した影響からか、その傲慢さに拍車がかかっていく。

「虫けらなど、私が相手をするにおよばん。ものども、かかれ!」
——竜巻：親衛隊をフリオニールたちに差し向け

「私は死……な……ん……!!」
——竜巻：最上階でフリオニールたちに倒され

「お前が皇帝とは片腹痛いわ。世界に皇帝は私ひとりだ!」
——パラメキア城：皇帝の座についたレオンハルトを見て

「この私がやられるとは……信じられ……ん……
2度までも……お前に……。
……お前はいった……い、な……にもの……。ウボァー」
——パンデモニウム：フリオニールたちに倒され、死に至る直前に

ミンウ

Ming-Wu

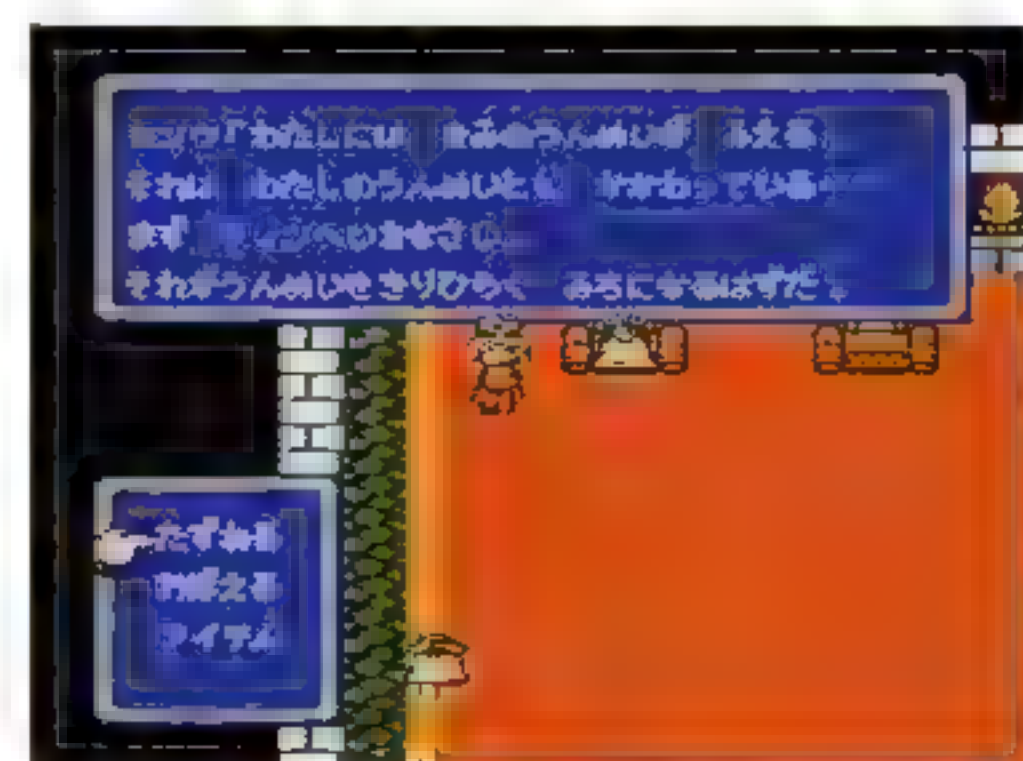
Personal Data

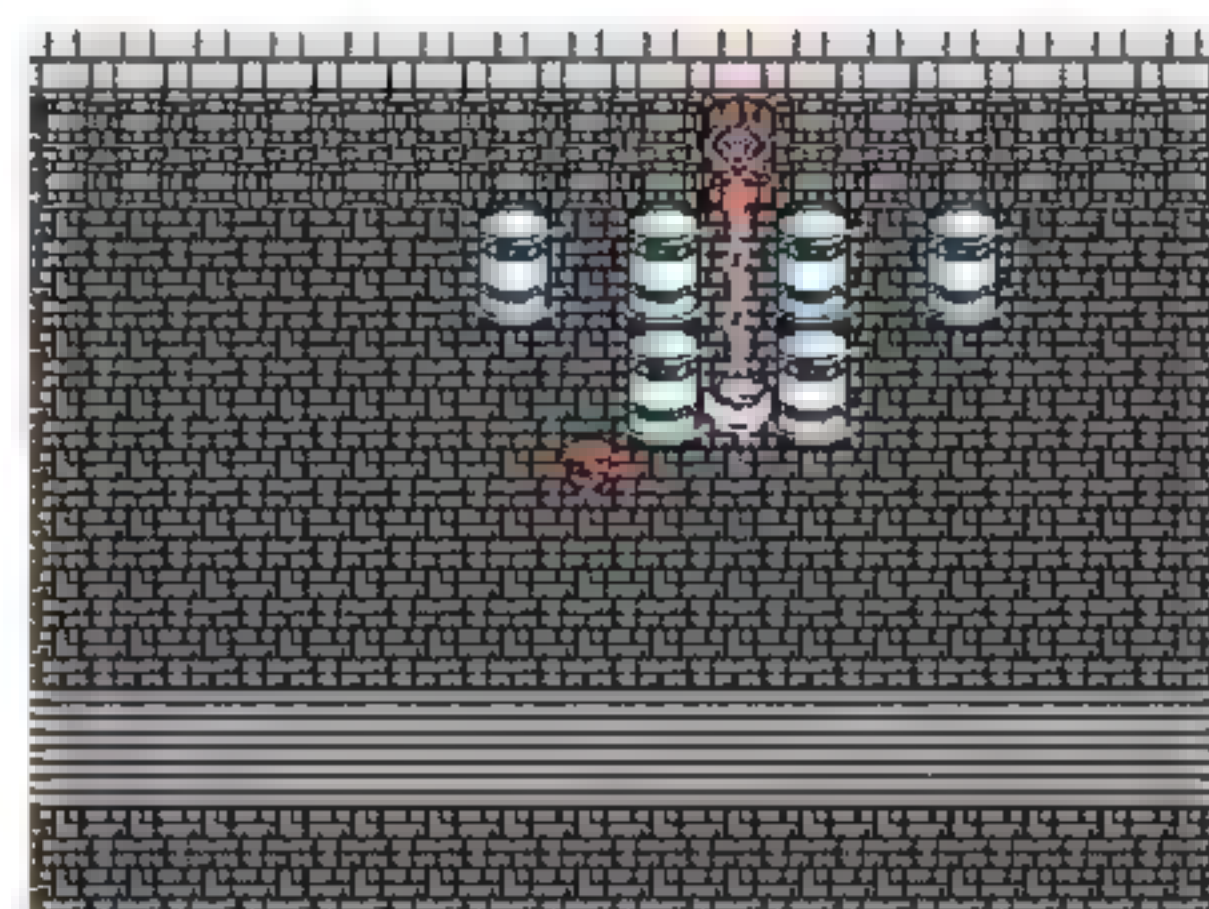
出身	ミシディア
性別	男
利き腕	右

PSP

冷静沈着な美しき参謀

魔術の国ミシディア出身の白魔導師。フィン王家に仕え、フィン国が壊滅したのちは、反乱軍でブレーンとして手腕を振るう。落ち着いた物腰で的確な判断をくだすが、危険な任務に単独でおもむく勇敢さも兼ね備えている。つねに白装束を身にまとっており、ターバンの下からのぞく涼しげながらも情熱のこもった瞳が印象的。

ふだんはヒルダ王女の右腕として彼女のそばにいるが、フリオニールたちがサラマンドの町へ向かうときは自分のカヌーを渡し、補佐役として彼らに同行する。その後、大戦艦の襲撃で傷を負ったアルテアの町の人々や、容態の悪化したフィン王の治療に専念するため、パーティーを離脱。治療のかいなく亡くなったフィン王の遺言を受けてミシディアの塔に乗りこむも、究極魔法アルテマの封印解除に全精力を使い果たして絶命する。

⬅傷つき倒れていたフリオニールたちの治療にあたるほか、彼らが回復したあとは旅のアドバイスも行なう。

➡数多くの白魔法に精通しており、物語序盤の未熟なフリオニールたちにとっては、心強い味方となる。

⬅稲妻のような光とともに魔力を放ち、見事にアルテマの封印を解いてみせるが、その代償として命を失う。

Impressive Words

「私には君の運命が見える。それは私の運命とも関わっている……」
――アルテアの町：フリオニールたちとはじめて言葉を交わし

「……命ある者いつかは死ぬ。だが、苦しむ者を救うのが私の役目」
――アルテアの町：王の容態についてヒルダから聞かれて

「これから私の魔力のすべてをこの扉にぶつける」
――ミシディアの塔：アルテマの封印を解く直前に

GBA/PSP *「ですが、私は信じています。私の死は無駄ではないと」*
――「Soul of Re-Birth」：死後の世界にて

ヨーゼフ

Josef

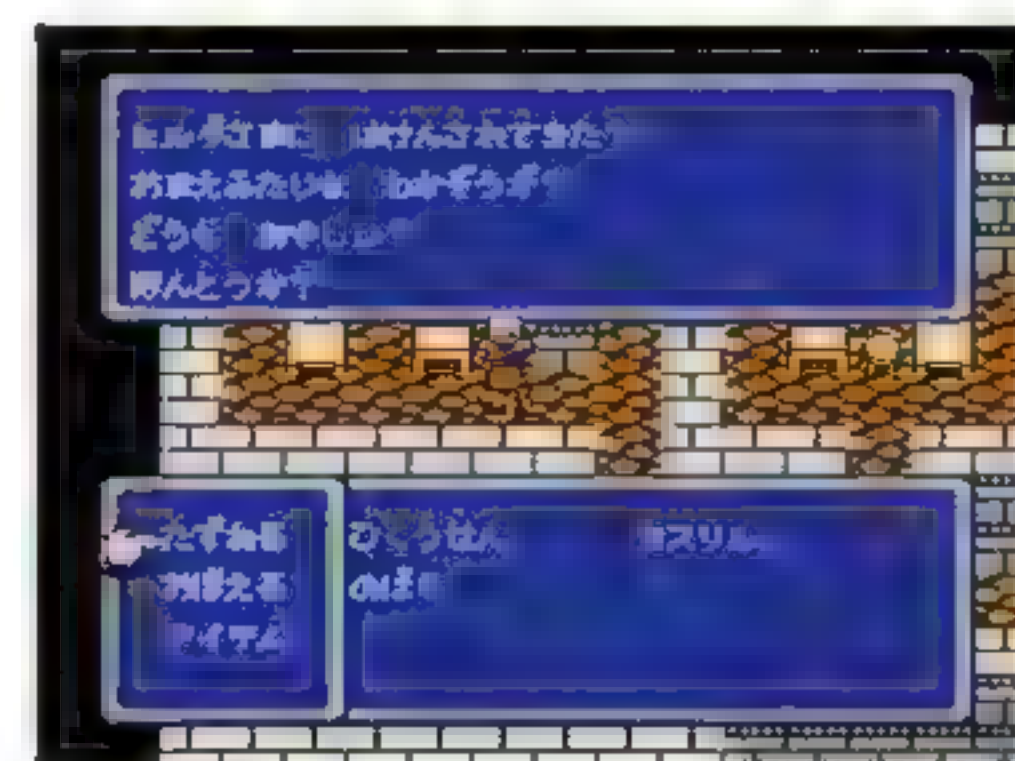
Personal Data

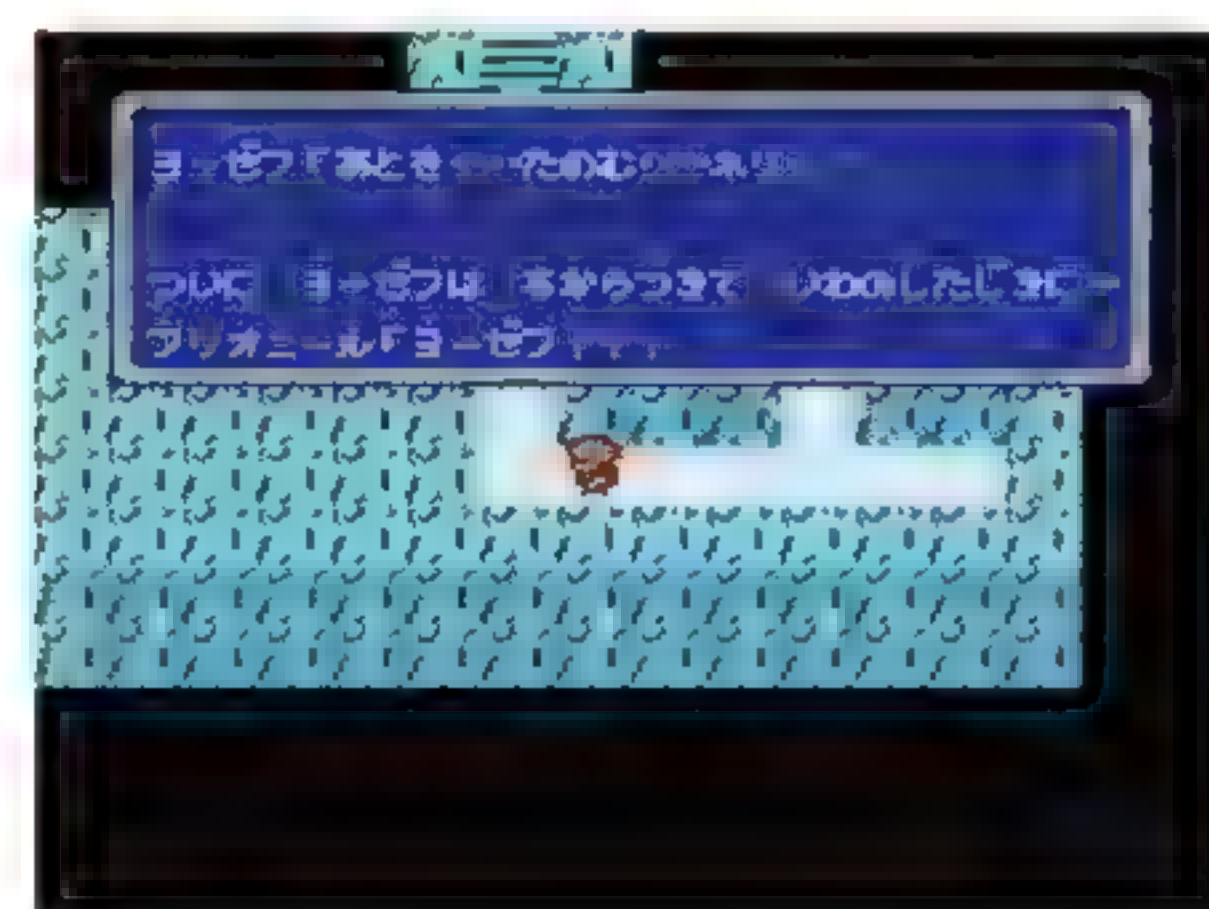
出身	フィン
性別	男
利き腕	右

PSP

雪原に散った反乱軍諜報員

サラマンドに住む力自慢の男性。用心深い性格だが、いったん信頼した相手には協力を惜しまず、献身的とさえ言える行動をとる。ひとり娘のネリーを男手ひとつで育ててきた父親としての顔も持ち、サラマンドの町の人々から慕われる存在。

反乱軍のエージェントとしてヒルダ王女からミスリル調査の依頼を受けていたが、帝国軍のボーゲンにネリーを人質に取られてしまう。そのせいもあって、最初はフリオニールたちに冷たい態度をとっていたものの、彼らがセミテの洞窟でネリーやサラマンドの人たちを助け出したことで心労から解かれ、こころよく協力を申し出る。フリオニールたちに同行してからは、得意の格闘技で力を発揮。しかし、雪原の洞窟で、死にぎわのボーゲンが仕組んだ転がる巨大な岩のワナから仲間を守るために、自分が盾となって命を落とす。

⬅一見すると、うたぐり深いオヤジ。フリオニールたちにつれなく対応するが、それには理由があった。

➡女神のベルを探すフリオニールたちに雪上船を提供し、雪原の洞窟へ案内。雪原は彼の庭のようなものだ。

⬅重い岩をみずから食い止めて、フリオニールたちを逃がそうとするが、最後は力尽きて岩の下敷きに……。

Impressive Words

「ヒルダさまに派遣されてきた?
おまえみたいな若造が?　どうもあやしい?　本当か?」
――サラマンドの町：初対面のフリオニールたちを疑って

「娘のことが心配で……すまなかった!
わしにできることがあったら何でも言ってくれ」
――サラマンドの町：娘を助けてくれたフリオニールたちに

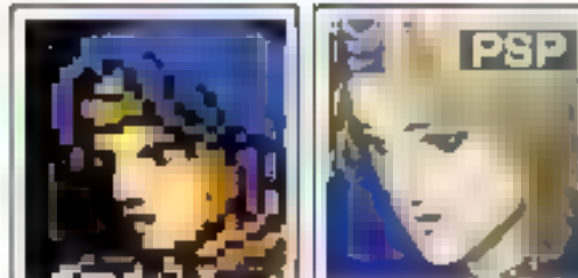
「急げ……これ以上もたな……い」「あとを……頼む……ネリー!」
――雪原の洞窟：身を呈して仲間を守り

GBA/PSP *「後悔してはおらんよ。若いが骨のある連中だった」*
――「Soul of Re-Birth」：死後の世界にて

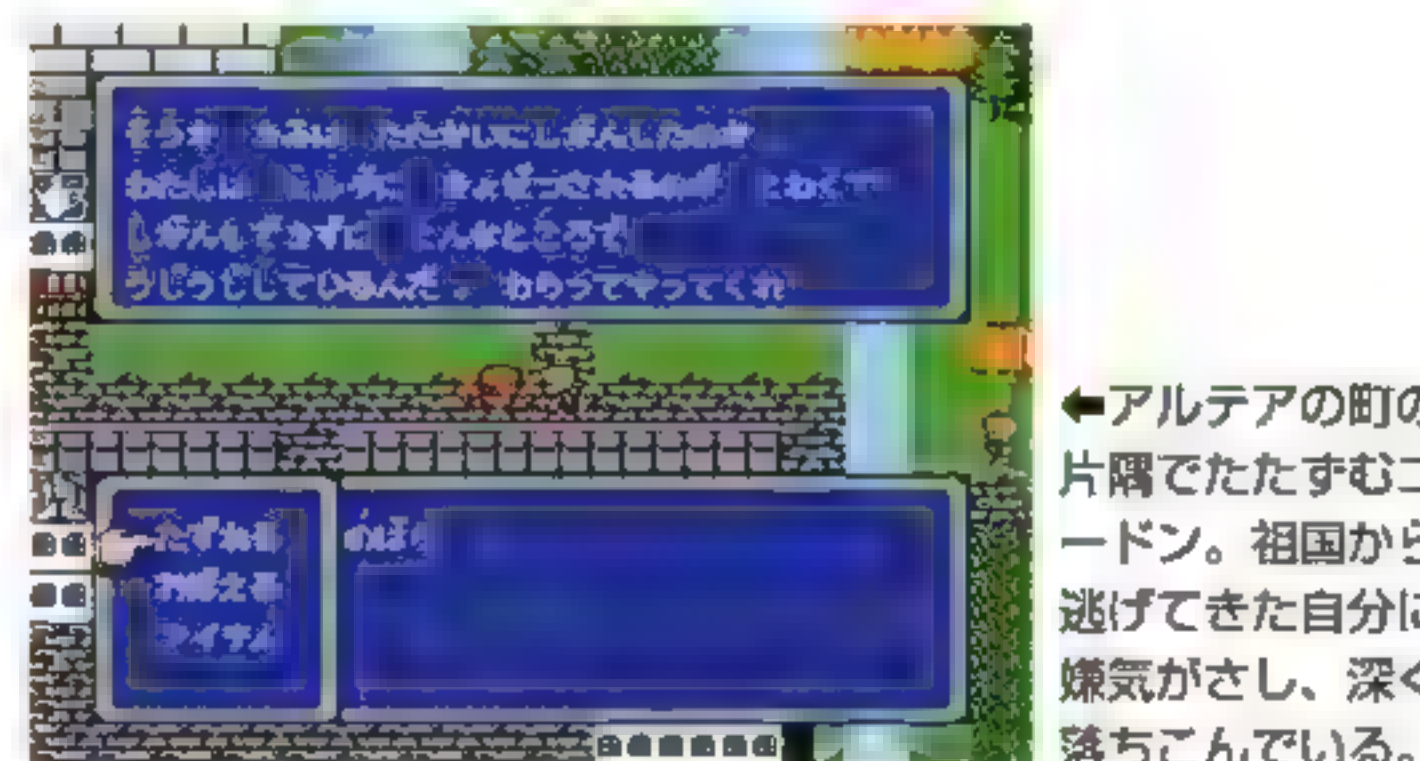
ゴードン
Gordon

Personal Data

出身	カシュオーン
性別	男
利き腕	右

PSP

亡国の悩める王子

　カシュオーン王国の第2王子。祖国が襲われ兄スコットが倒れたにもかかわらず自分は国を捨てて逃げてしまい、その日以来、みずからを卑怯者だと責めつづけていた。同盟国フィンの王女であり反乱軍を指揮するヒルダに会うべくアルテアへやってきたものの、反乱軍に加わる勇気を出せず、悶々とした日々を送る。しかし、フリオニールたちの活躍を見て一念発起。彼らと行動をともにするうちに王族としての自信と自覚が芽生えていき、フィン王亡きあとは、王の遺言どおり反乱軍の指揮をとった。
　兄スコットの婚約者であったヒルダ王女に想いを寄せており、彼女がパラメキア闘技会の賞品にされたと知ったときには、じっとしていられず救出に乗り出すひと幕も。フィン城奪還後は、カシュオーンの国王として、フィン国後継者のヒルダと力を合わせ、両国の再建を目指す。

←アルテアの町の片隅でたたずむゴードン。祖国から逃げてきた自分に嫌気がさし、深く落ちこんでいる。

➡カシュオーン城では、魔物のために奥へ進めず途方にくれていたところへ、フリオニールたちが合流する。

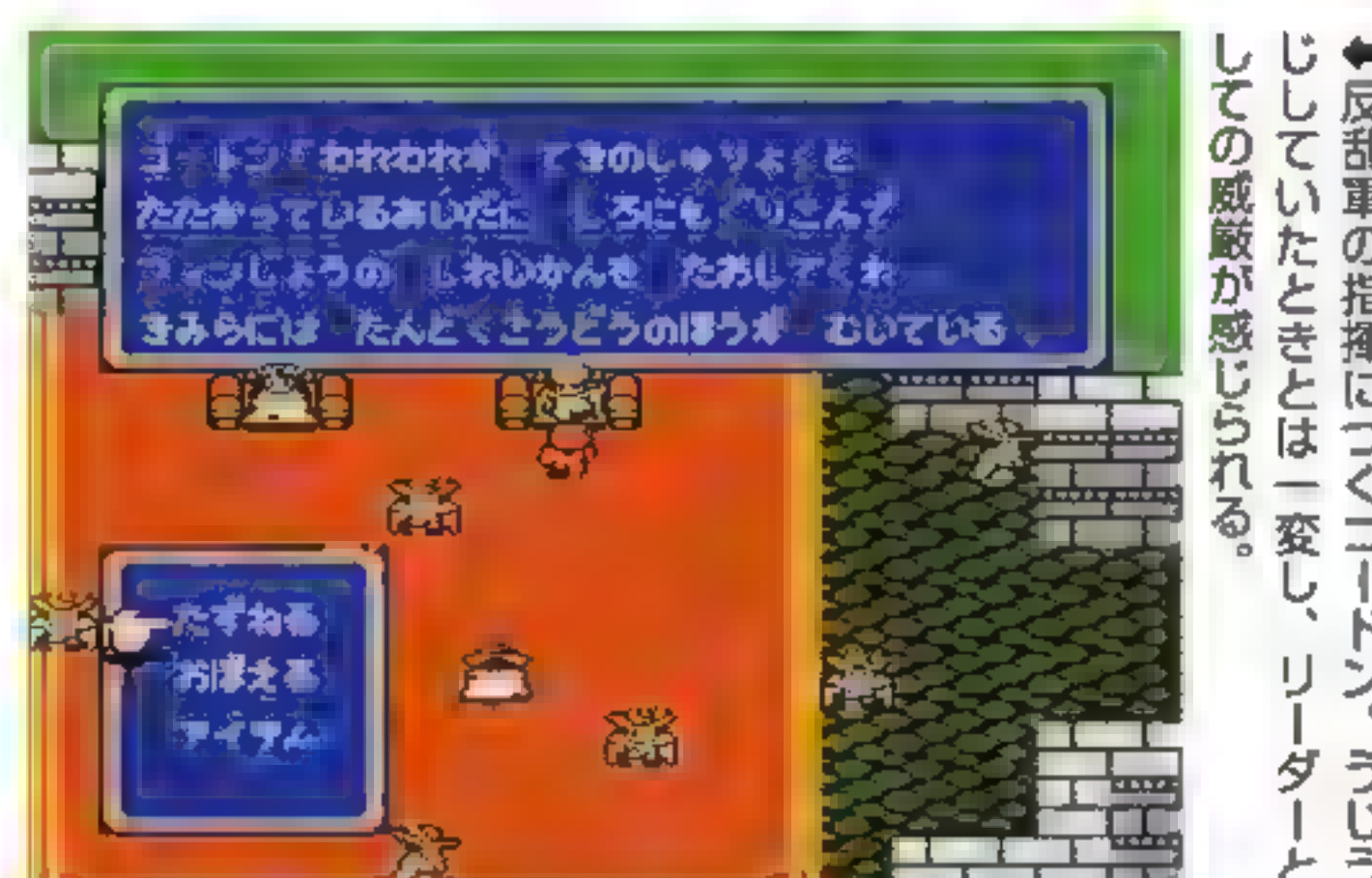
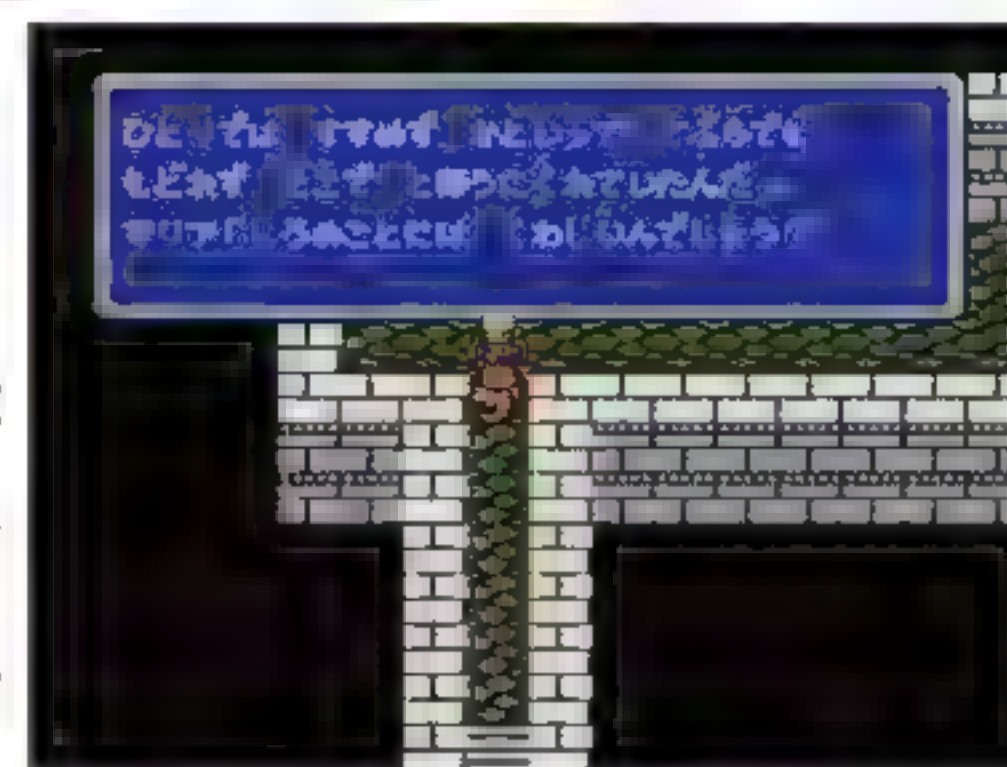
←反乱軍の指揮につくゴードン。うじうじしていたときとは一変し、リーダーとしての威厳が感じられる。

Impressive Words

*「私はヒルダに拒絶されるのが怖くて、志願もできずに
　こんなところでうじうじしているんだ。笑ってやってくれ」*
　――アルテアの町：目立たぬよう建物の影に隠れて

*「ひとりでは進めず、
　かといって手ぶらでももどれず、ここで途方に暮れていたんだ」*
　――カシュオーン城：エギルのたいまつを取りにきたものの困り果て

「はっ、命をかけて!」
　――反乱軍アジト：フィン王から国の指揮をとるように遺言を託され

*「こうして悲しんでいてもしかたがない。
　行こう!　それぞれの使命を果たすのだ!!」*
　――反乱軍アジト：フィン王が亡くなった直後、仲間たちを叱咤して

レイラ
Reila

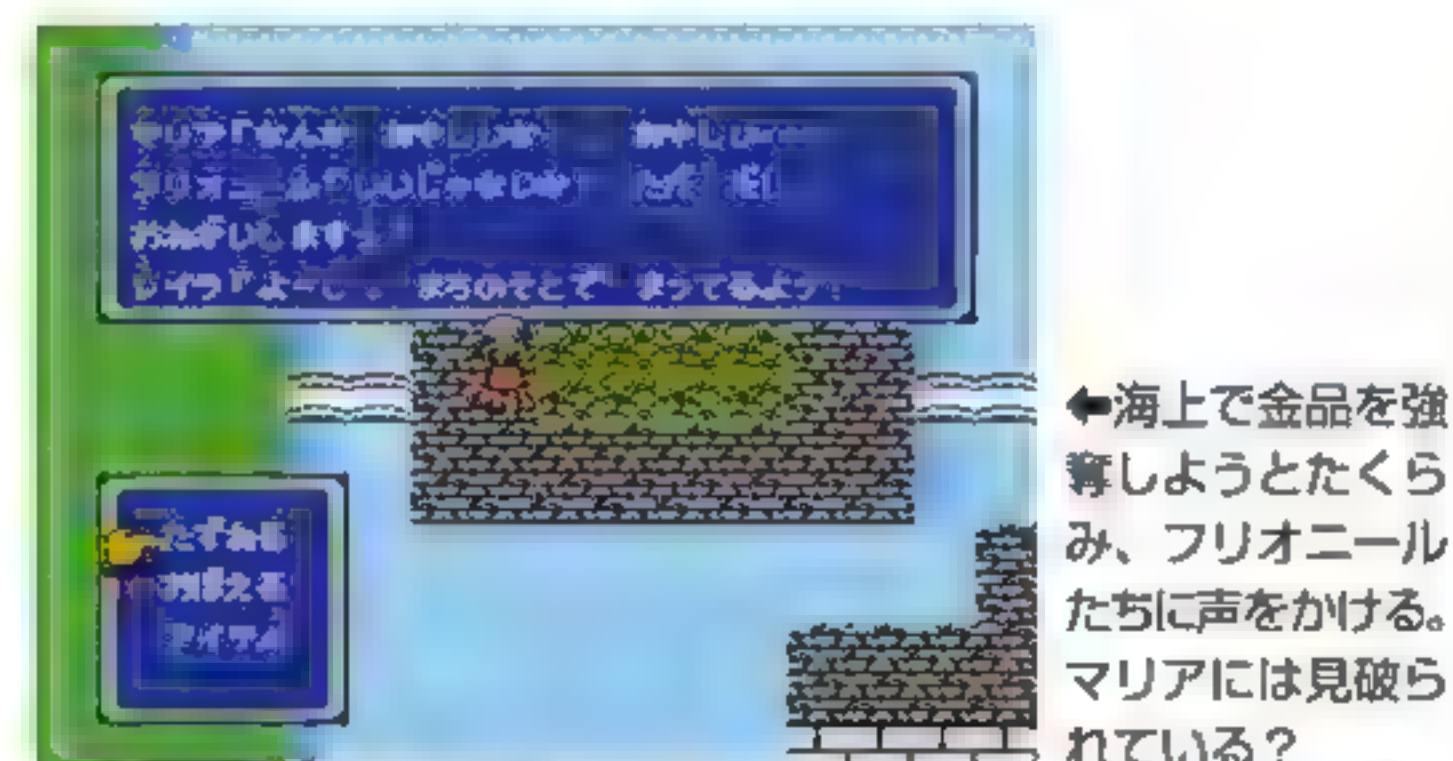
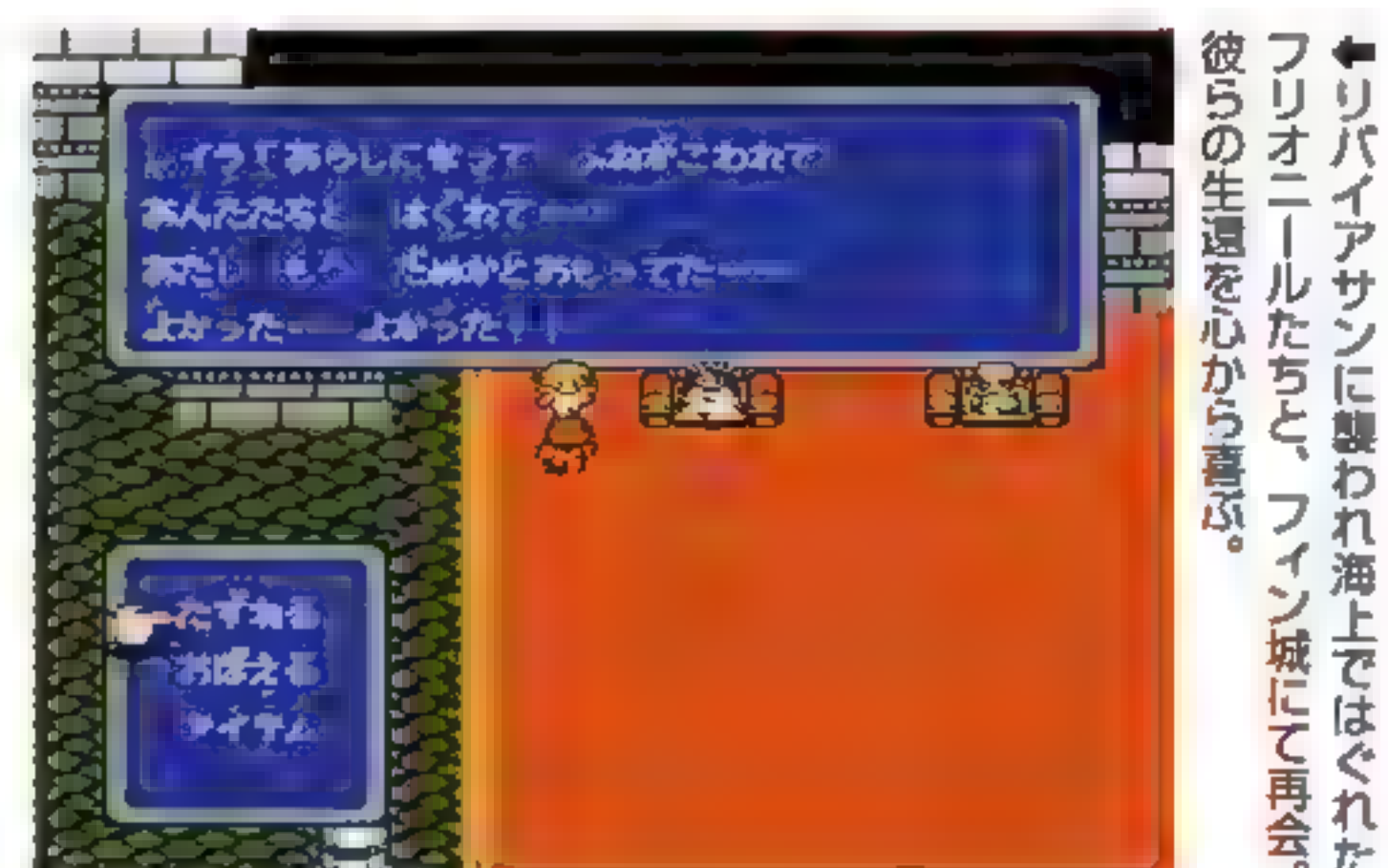
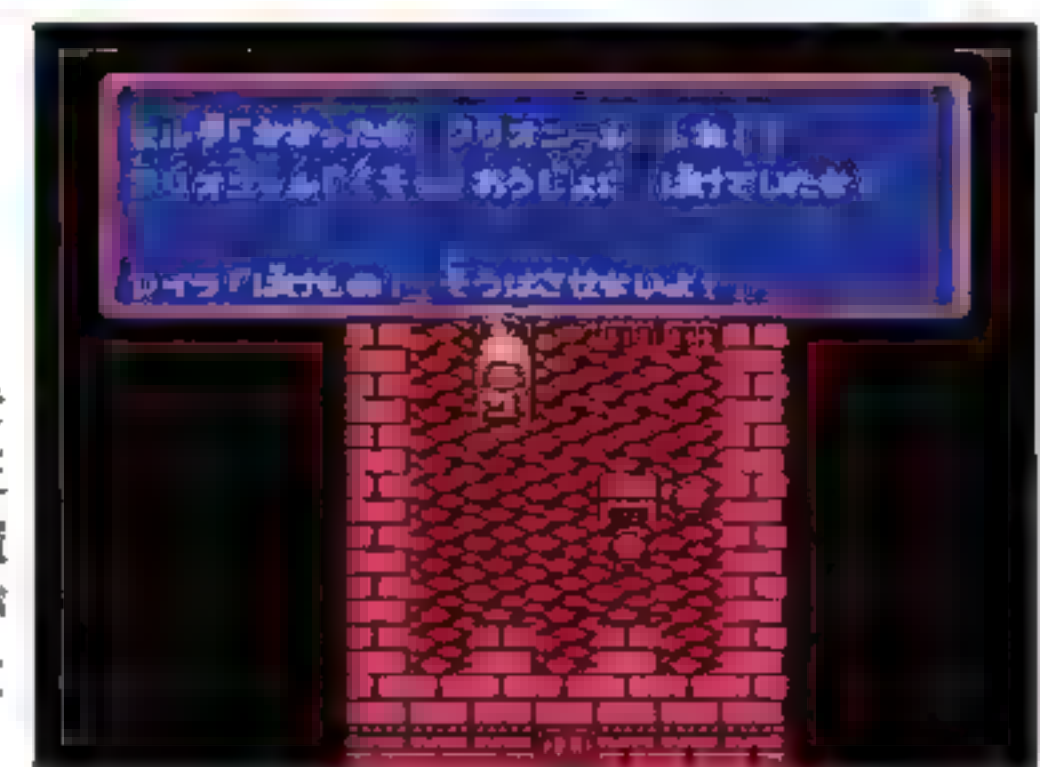
Personal Data

出身	不明
性別	女
利き腕	左

PSP

世渡り上手な女海賊

　パルムの町を拠点に活動する海賊の女ボス。口は悪いが、豪快でさっぱりとした性格。姉御肌で、人が窮地に追いこまれていたり悩んでいたりすると、黙っていられないおせっかい屋でもある。
　町で出会ったフリオニールたちに「ディストへ連れていく」と持ちかけてだまし、海上で持ち物すべてを奪おうとたくらむが返り討ちに。自分や部下にトドメを刺すどころか反乱軍への参加を誘うフリオニールたちに心を打たれ、船ごと彼らの仲間となる。アルテアの町で反乱軍の面々から仲間として歓迎されたのは、単にフリオニールに同行していたからだけではなく、彼女に人を信じさせるだけの不思議な魅力が備わっていたからだろう。旅を通じてフリオニールに好意を抱くようになり、GBA版とPSP版では、彼をめぐってマリアとライバル関係になるきざしも見せる。

←海上で金品を強奪しようとたくらみ、フリオニールたちに声をかける。マリアには見破られている?

➡フリオニールを誘惑するヒルダ王女をあやしみ、魔物が正体を現すが早いか、真っ先に部屋に踏みこむ。

←リバイアサンに襲われ海上ではぐれたフリオニールたちと、フィン城にて再会。彼らの生還を心から喜ぶ。

Impressive Words

「身ぐるみ置いてきな。命だけは助けてやるよ」
　――ディストに向かう船上：フリオニールたちから持ち物を奪おうとして

「油断しちゃダメ!　女は怖いんだよ!!」
　――反乱軍アジト：ヒルダ王女に化けた魔物に迫られたフリオニールに

*「ゴードン、あんたの気持ちわかるよ。
　ここは、あたいらでなんとかするよ!　行ってきな!!」*
――反乱軍アジト：ヒルダが闘技会の賞品として捕らわれていると聞いて救出に向かおうとするゴードンに

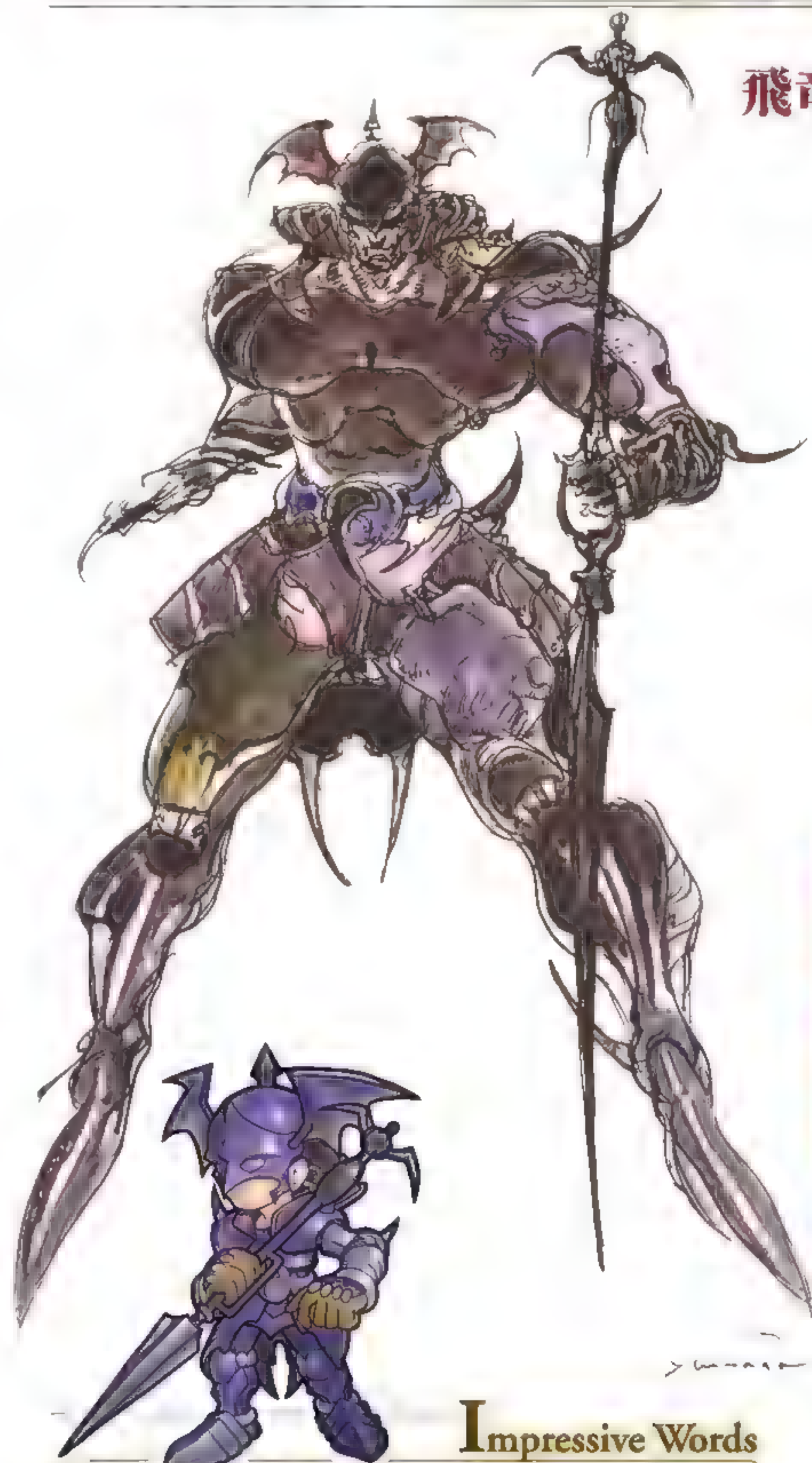
GBA/PSP *「あんたはあたいが見込んだとおりの男だったね!　海賊は楽しいよ!　気が向いたら……なんだいマリア……?
　あははっ!　どうやら次の戦いが始まっちゃったみたいね!」*
――エンディング：皇帝を倒したあとのフリオニールと、嫉妬気味のマリアに

リチャード

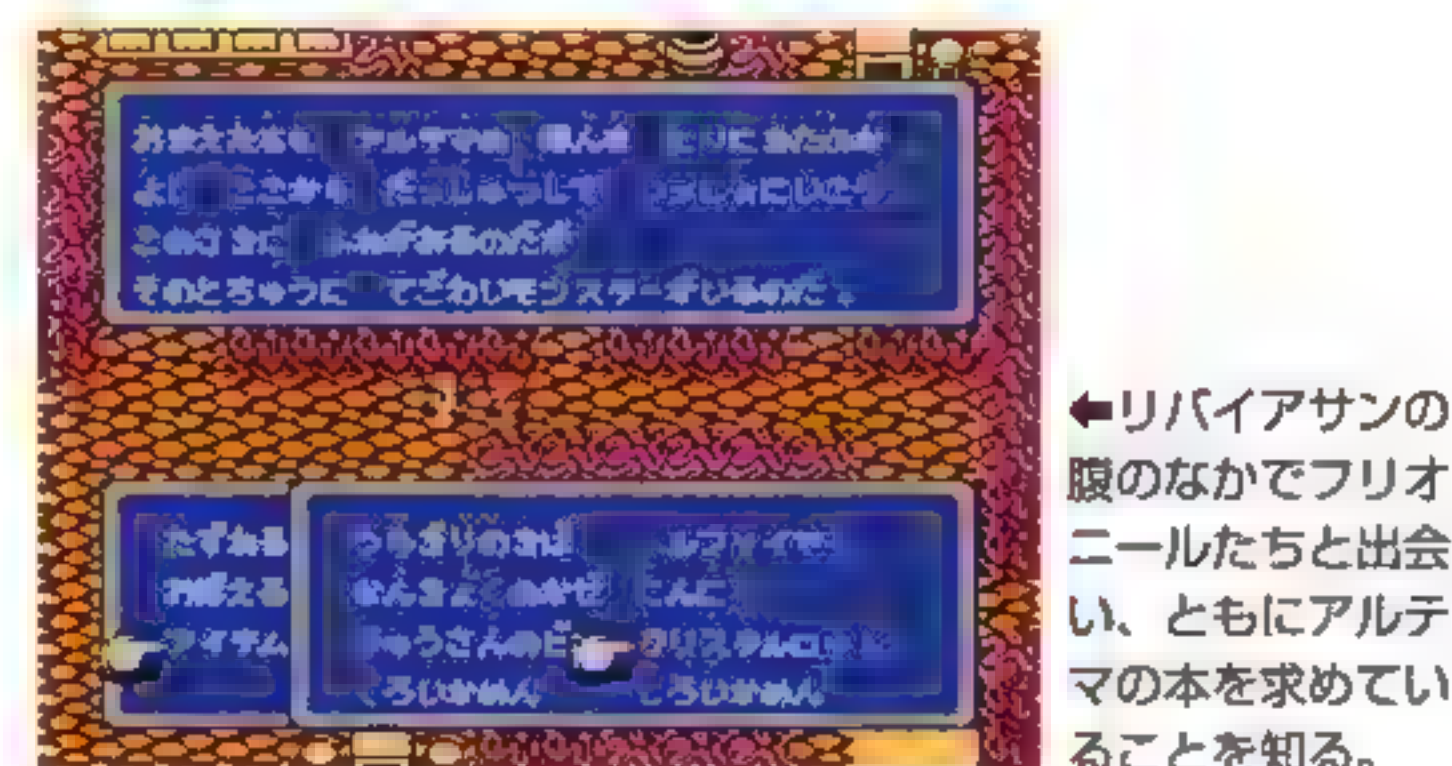
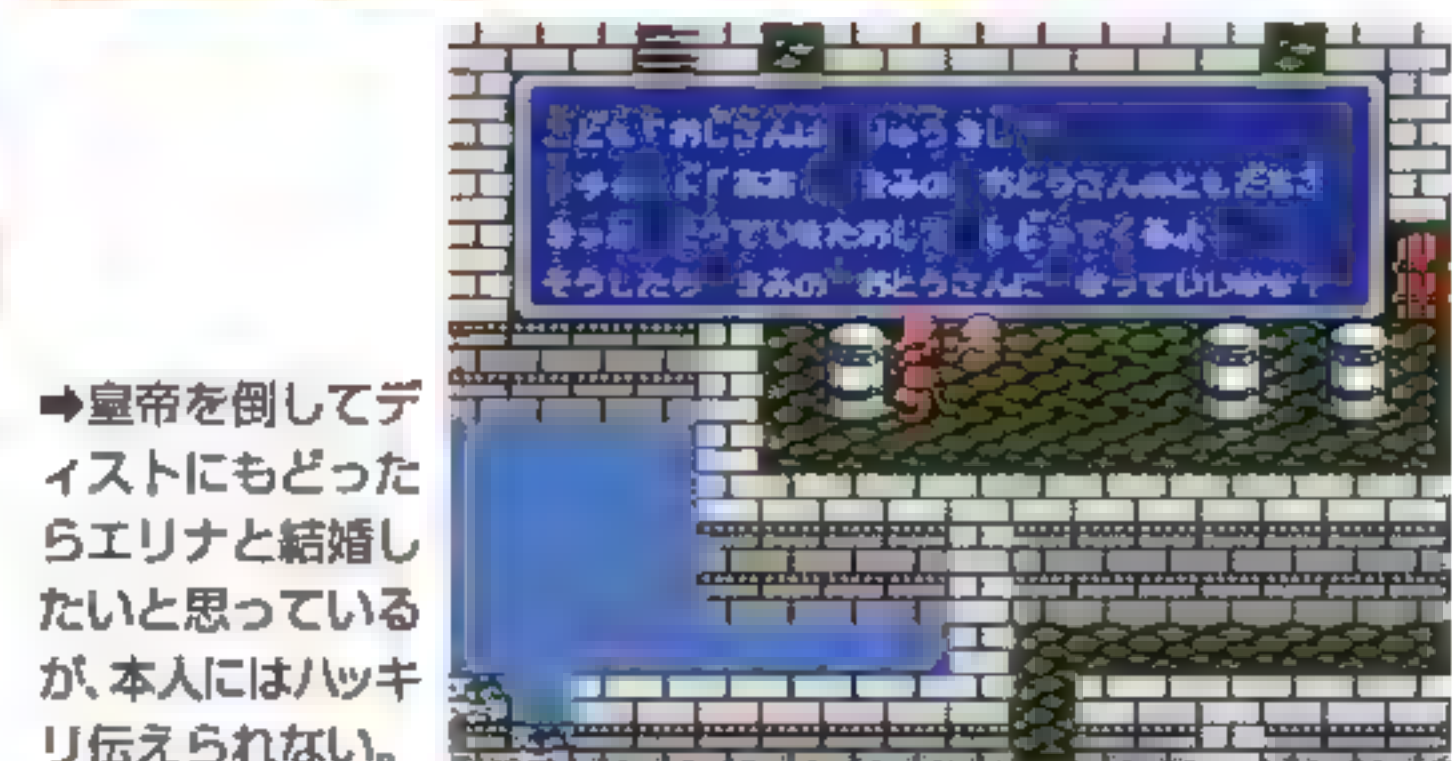
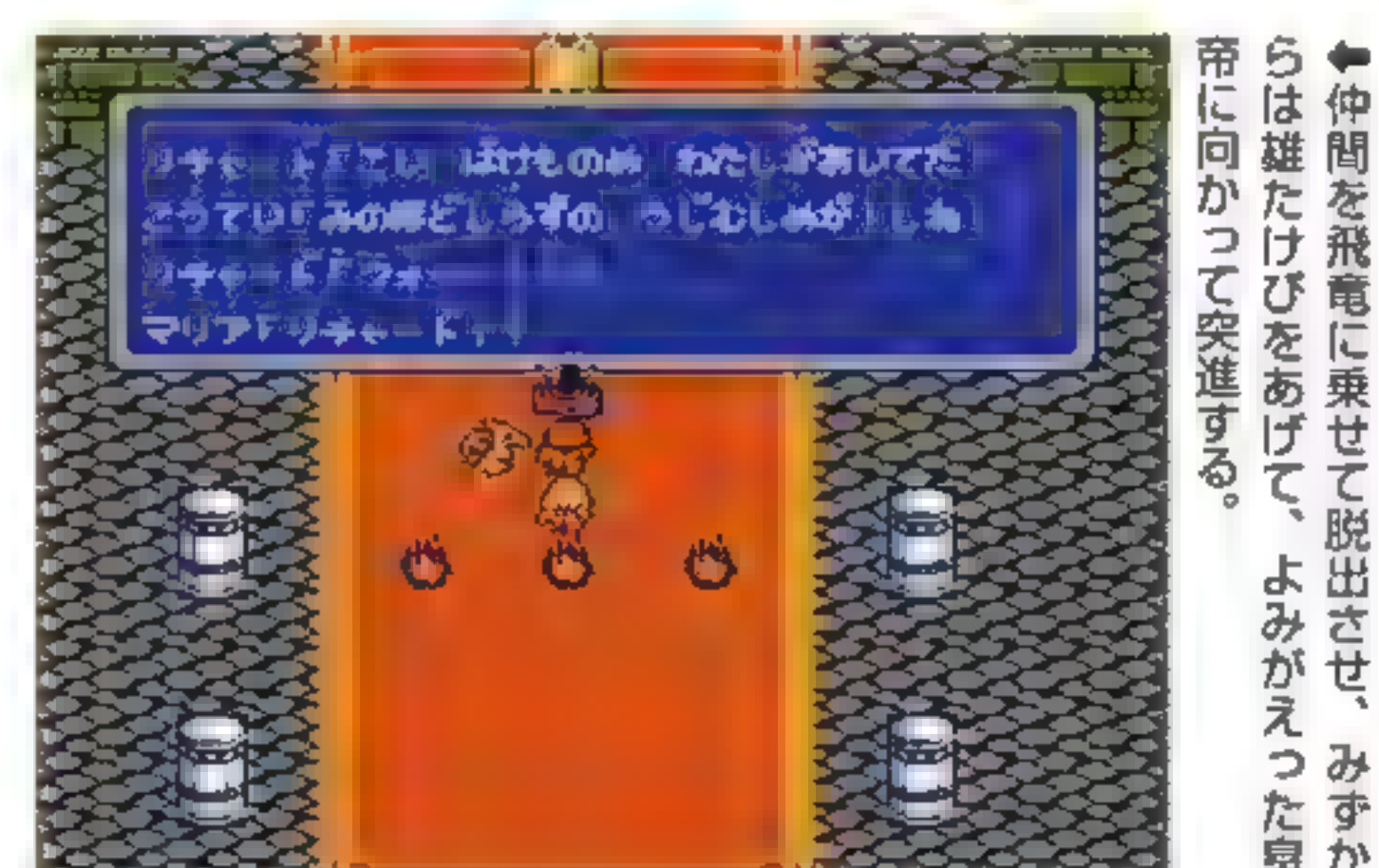
Richard Highwind リチャード・ハイウインド

Personal Data

出身	ディスト
性別	男
利き腕	右

PSP

飛竜をあやつる誇り高き竜騎士

パラメキア帝国軍に滅ぼされたディスト竜騎士団の最後のひとり。正義感にあふれ、つねに竜騎士としての誇りを忘れない。帝国との戦いがはじまる前に究極魔法アルテマを探す旅に出るも、道中で海獣リバイアサンに飲みこまれてしまった。リバイアサンの腹のなかでフリオニールたちと出会い、「帝国へ対抗する」という目的と、その足がかりとなる「アルテマの本を手に入れる」という手段が一致していると知って、共闘を決意する。

長きに渡る旅のなかで、祖国ディストに立ち寄り、亡き親友フィリップの妻エリナとその息子カインに会う。彼らを元気づけながら、長らく想いつづけていたエリナに遠まわしに告白し、かならずもどると約束。しかしパラメキア城では、唯一の脱出手段である飛竜を仲間にゆずって、自分はくずれゆく城と運命をともにする。

⬅リバイアサンの腹のなかでフリオニールたちと出会い、ともにアルテマの本を求めていることを知る。

➡皇帝を倒してディストにもどったらエリナと結婚したいと思っているが、本人にはハッキリ伝えられない。

⬅仲間を飛竜に乗せて脱出させ、みずからは雄たけびをあげて、よみがえった皇帝に向かって突進する。

Impressive Words

「私が竜騎士だ!! 竜騎士と飛竜が全滅だ? でたらめを言うな!」
――リバイアサンの腹のなか：フリオニールたちに竜騎士のことを聞かされ

「きっと皇帝を倒してもどってくるよ。
そうしたら君のお父さんになっていいかな?」
――ディストの城：カインを通じてエリナへの想いを伝える

※GBA&PSP版では「皇帝を倒したらきっとここに戻ってくるよ。そうしたら、君の……、いや……君を立派な竜騎士に育てたいんだ……」とさらに遠まわしな表現に

「来い、化け物め。私が相手だ!」「ウォーー!!!」
――パラメキア城：異形の怪物と化した皇帝に立ち向かい

ヒルダ

Hilda

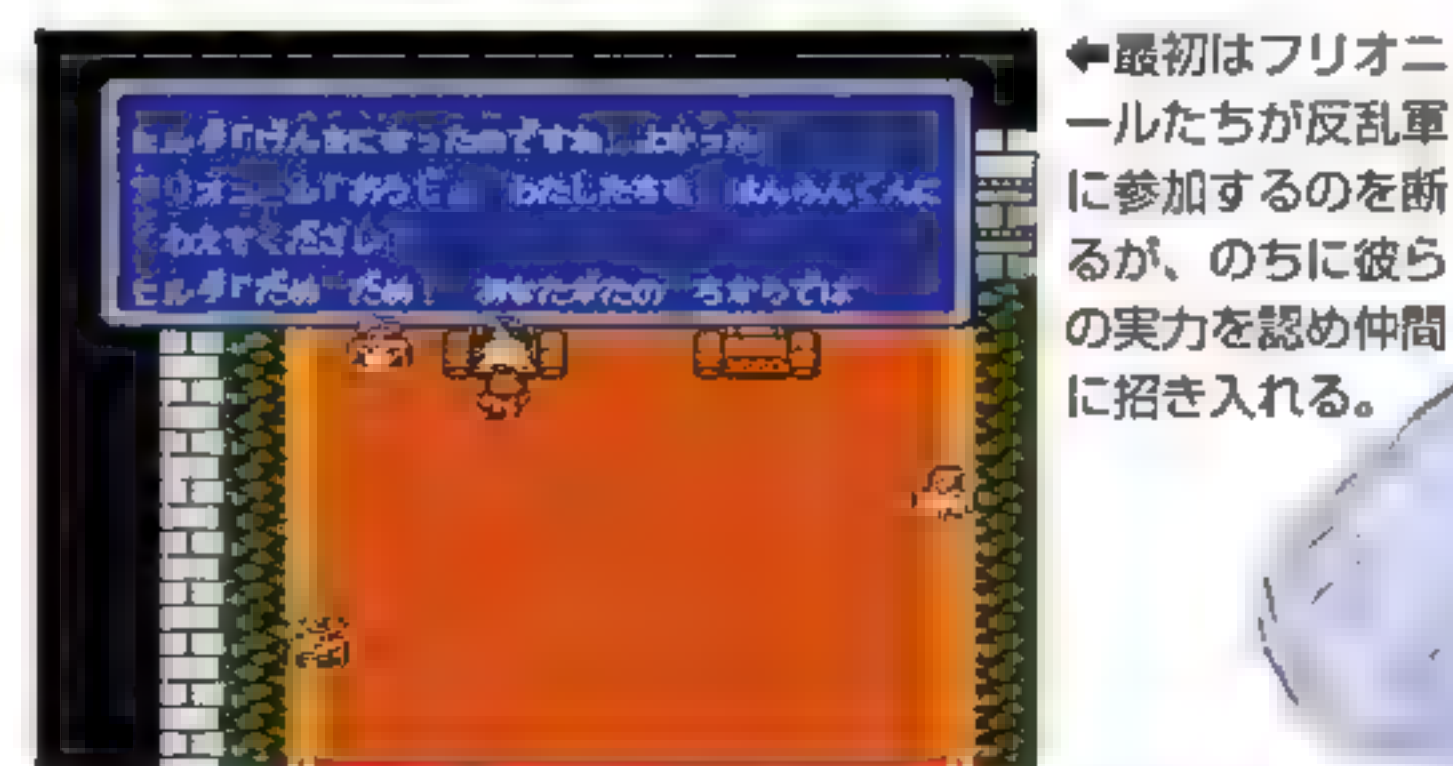
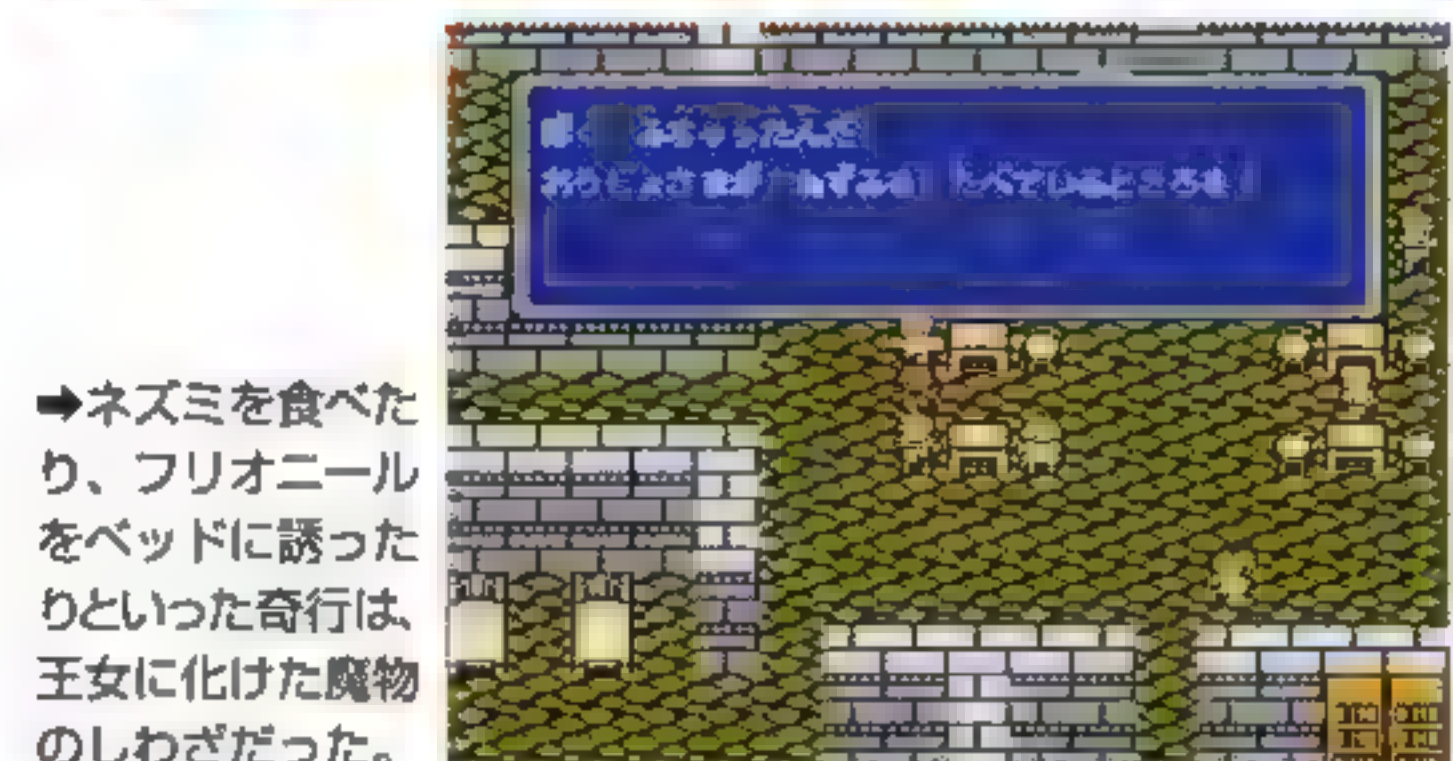
Personal Data

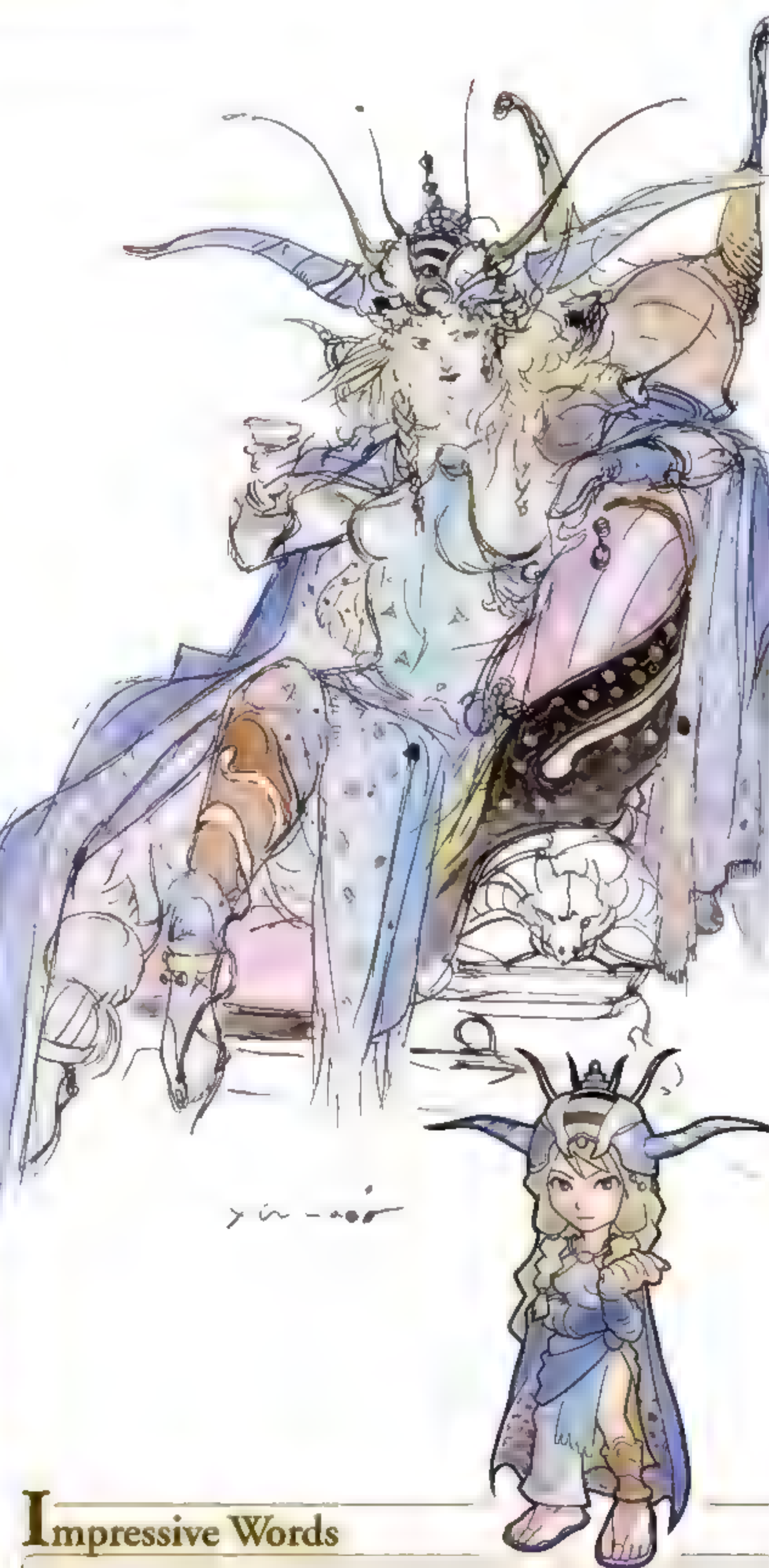
出身	フィン
性別	女

PSP

才色兼備の反乱軍リーダー

パラメキア帝国によって滅ぼされたフィン国の王女。重傷の父王にかわって反乱軍の指揮をとり、アルテアに構えたアジトに身をひそめながら、帝国への抵抗活動をつづけている。聡明さと強い意志を兼ね備え、国民からの信頼も厚い。カシュオーン国第1王子のスコットと婚約していたが、彼が帝国軍の襲撃により死亡。悲しみにひたる間もなく、軍の盟主としての忙しい日々がつづく。

帝国軍にとらわれてアジトにニセモノを送りこまれたり、パラメキア闘技場の大会の賞品にされたりと、何かと事件に巻きこまれるが、そんななかでも、つねに品格と優雅さを保っていられるのは、高貴な血筋の淑女ならでは。フィン城を奪還して平和がもどってからは、王の遺言で反乱軍の指揮をまかされたスコットの弟ゴードンとともに、フィン、カシュオーン両国の復興を目指す。

⬅最初はフリオニールたちが反乱軍に参加するのを断るが、のちに彼らの実力を認め仲間に招き入れる。

➡ネズミを食べたり、フリオニールをベッドに誘ったりといった奇行は、王女に化けた魔物のしわざだった。

⬅皇帝の打倒を祝うパーティー会場で、ゴードンとのダンスを楽しむが、直後に非常事態の報告がくる。

Impressive Words

「ダメ、ダメ! あなたがたの力ではムダに命を落とすだけです。
おうちへお帰りなさい」
――反乱軍アジト：軍に志願するフリオニールたちに

「どうしたの? そばにきて……」「早くきて。じらさないで……」
――反乱軍アジト・王女の寝室：ヒルダに化けた魔物がフリオニールに色香で迫り

「やっと、ここにもどってくることができました。
これも、みんなが力を合わせた結果です。みなさんに感謝します」
――フィン城：城を奪還後、集まった者たちに言葉をかけ

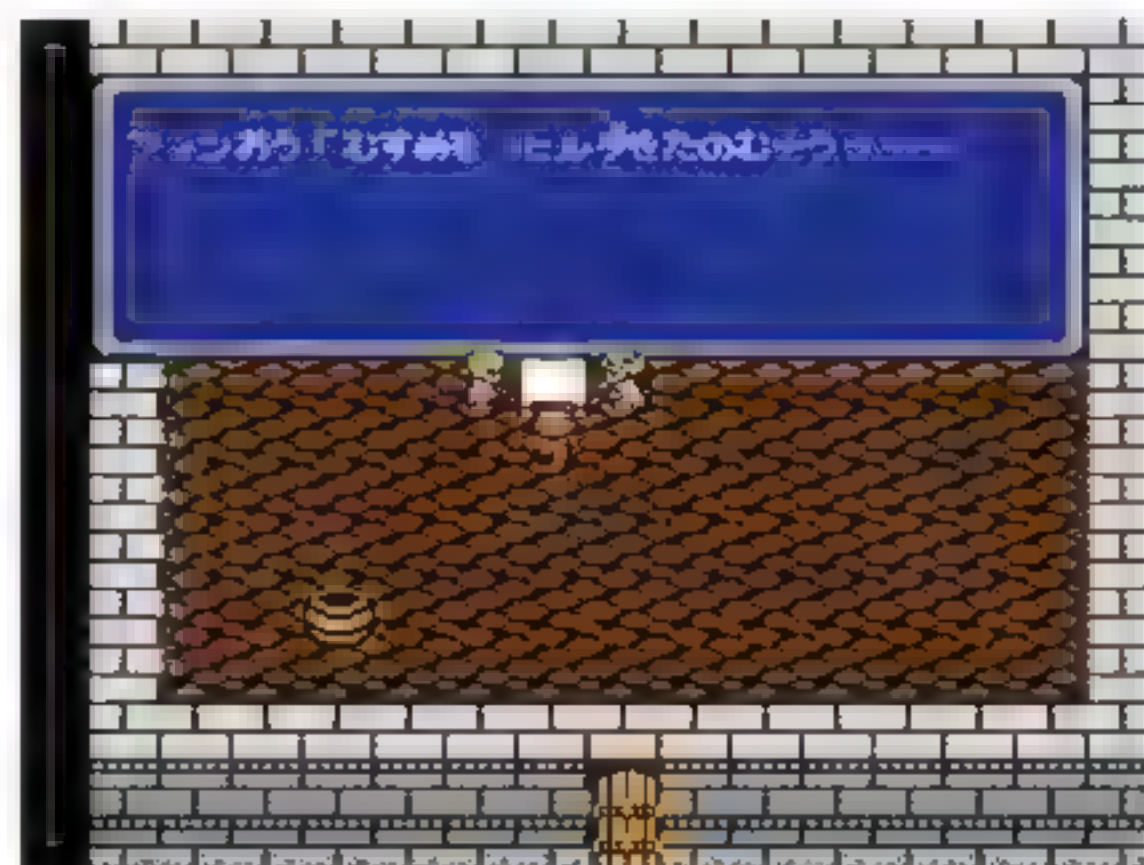
「私たちは世界の復興のためにがんばります。あなたたちもがんばって!!」
エンディング：旅立つフリオニールたちを送り出し

国の惨状に心を痛める病床の王

フィン王

Personal Data
出身 フィン
性別 男
登場場所 反乱軍アジト

フィン国の王。帝国軍の侵略を受けたさい矢を腰に受け深い傷を負ったため、潜伏中のアルテアで床に伏せ、娘のヒルダに反乱軍の指揮権を委任している。

多くの人が帝国の犠牲となったことに精神的な痛手を受けており、大戦艦が各地を襲撃したときに心労が極限に達して病状が悪化。ミンウの治療で一時期に快方に向かうも、ある日容態が急変する。ゴードンには反乱軍の指揮を、ミンウには究極魔法アルテマの封印解除を、フリオニールには竜騎士の捜索をそれぞれ遺言として託し、この世を去った。

➡周囲の者に遺言を伝え、反乱軍の行くすえと娘ヒルダのことを気にかけながら亡くなった。

Impressive Words

「わが紋章も帝国兵に踏みにじられてしまった。裏切り者がいたにちがいない。ああも簡単に帝国に敗れるとは……。何、ボーゲンが裏切った?! 許せん!!」
――反乱軍アジト：病床で「のばら」について聞かれて

「みなが力を合わせれば、かならずや勝利の日が訪れよう。3人とも頼んだぞ」
「娘を、ヒルダを頼む……うっ……」
――反乱軍アジト：遺言を残して息を引き取り

敵に屈しない勇敢な王子

スコット

Personal Data
出身 カシュオーン
性別 男　利き腕 左
登場場所 フィンの町

カシュオーンの第1王子で、ゴードンの兄。帝国との戦いで深手を負い、討ち死にしたと思われていたが、フィンの町でパブのマスターにかくまわれていた。しかし、その傷が癒えることはなく、フリオニールたちに愛用のリングを託して息を引き取る。最期まで、愛する婚約者ヒルダ王女や、自信を持てずにいる弟ゴードンを心配しつづけた。GBA版とPSP版の追加ストーリー『Soul of Re-Birth』では、死後の世界でミンウらとともに戦う。

Impressive Words

「俺を帝国に売る気か?
それなら、せめて殺してからにしてくれ。
生きたままつかまりたくはない……」
――フィンの町：
目の前に現れたフリオニールたちに身構えて

「それから……ヒルダ。
愛していると……。いや、これは
ヒルダには伝えないでくれ。
私はもう死ぬ。
ヒルダは別の人を愛すべきだ」
「ふーっ、疲れた……
そろそろ眠らせてくれ……」
――フィンの町：
亡くなる直前、フリオニールたちに

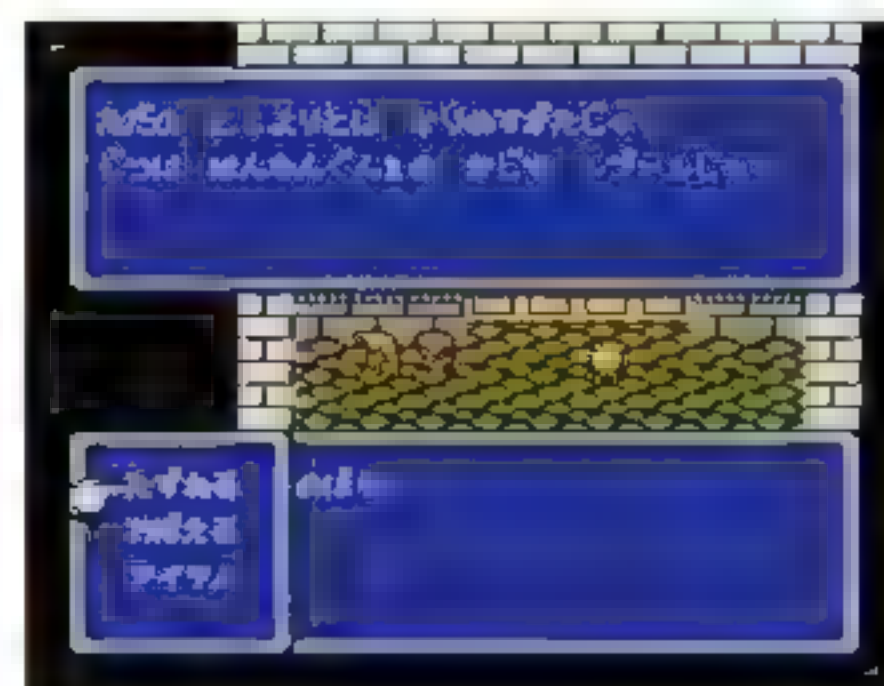
ミスリル武器の名匠　登場場所 アルテアの町

トブール

アルテアの町の武器屋にたたずんでいる老人。反乱軍一の鍛冶屋だが、武具の材料となる鉱石の不足で元気をなくしていた。魔法の金属であるミスリルをフリオニールたちが持ち帰ると、とたんにやる気を見せ、ミスリル製の剣や鎧などをどんどん作り上げていく。職人気質で、仕事に打ちこんでいるときには愛想が悪い。

Impressive Words

「ただの年寄りとは仮の姿じゃ。
じつは反乱軍一の鍛冶屋、トブールじゃ!」
――アルテアの町：フリオニールから合言葉「のばら」を聞き

「おおっ! ミスリルだ! よーし、わしがどんどん剣や鎧を作ってしんぜよう」
――アルテアの町：フリオニールたちにミスリルを提供されて

⬅ごくふつうの老人といった感じだが、反乱軍の仲間には自分の本当の職業を明かす。

飛空船の魅力にとりつかれた天才

シド

Personal Data
出身 フィン
性別 男
登場場所 ポフトの町ほか

飛空船を発明した技師。かつてはフィンの白騎士団隊長を務めていたが、飛空船を知ったことで豹変し、地位も名誉も家族も捨てて国外へ。ポフトの町で飛空船定期便を運行し、儲けた金すべてを飛空船の開発に注いでいる。尊大ぶってはいるが生来の人情味は残っており、帝国に対抗しようとするフリオニールたちに大戦艦の弱点を教えた。その後、竜巻に巻きこまれて負傷し、自慢の飛空船をフリオニールたちにゆずってこの世を去る。

Impressive Words

「飛空船に乗るか?
金さえ出せば、どこへでも行くぜ」
――ポフトの町：
フリオニールたちに話しかけられ

「ふん、あんなデカブツ!
俺の飛空船のほうがずっとすごいぜ!」
――ポフトの町：
大戦艦のことを聞かれて

「俺が動けるようになるまで
お前たちに貸してやる。いいか、
貸すだけだぞ!! 大事に使え……」
――フィンの町：
竜巻に巻きこまれ瀕死の状態でフリオニールたちに

自称世界一の盗賊

ポール

Personal Data
出身 フィン　性別 男
登場場所 アルテアの町、セミテの滝の洞窟ほか

帝国側からしかものを盗まない、腕の立つ義賊。言動からはいいかげんな性格にも思えるが、根は良い人物で義理人情に厚い。アルテアの町で出会ったフリオニールたちとは、思わぬところで助けられたり逆に助けたりといった関係に。フィンの町から帝国軍が撤退すると、町にある自宅を訪れたフリオニールたちに気軽に声をかけ、情報や財宝を与えるなどして協力した。凧に乗ってパラメキア城に潜入するといった、さまざまな武勇伝も持っている。

Impressive Words

「俺さまは世界一の盗賊、
ポールさまだ!!
俺に盗めないものはないぜ」
――アルテアの町：
フリオニールたちとはじめて対面し

「あいつは飛空船を
心から愛していたんだ!
やつの気持ちをわかってやってくれ!!」
――フィンの町：
シドの死後、ポールの自宅で

「よく帰ってきたな、本当に……
ムチャなヤツだよ、まったく!!」
――エンディング：
皇帝を倒して帰還したフリオニールたちを迎え

出世にこだわる無能な指揮官

ボーゲン

Personal Data
出身 フィン　性別 男
登場場所 バフスクの洞窟、雪原の洞窟ほか

バイコーン帽と甲高い笑い声が印象的な、帝国の将軍。もとはフィン国の伯爵だったが、戦いの途中で帝国に寝返った。大戦艦建造の指揮をダークナイトから引き継ぐものの、わが身の出世しか頭になく、部下たちからは軽んじられている。大戦艦完成後は、雪原の洞窟でフリオニールたちに戦いを挑むが敗北。死にぎわに、転がる岩のワナを作動させてヨーゼフを道づれにし、パンデモニウムではゾンビボーゲンとして襲いかかってくる。

Impressive Words

「おらおらおらおら! 働け!!
1日でも早く完成させろ! そうすれば
俺様はもっと出世できるんだ!」
――バフスク：部下たちに指図して

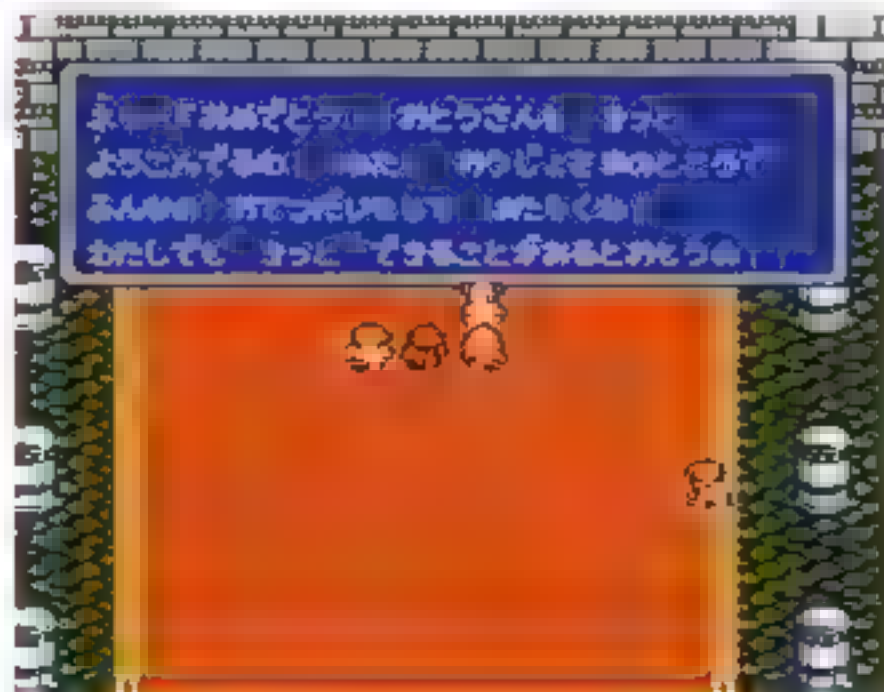
「皇帝は俺を許さないだろう。せめて
お前たちを道づれにしてやる!!」
――雪原の洞窟：
女神のベルを手に入れたフリオニールたちに

GBA/PSP *「ここで何度も死に! 蘇り!*
俺に殺され続けるがいい!」
――『Soul of Re-Birth』：
死後の世界でヨーゼフに

サラマンドの住人

ヨーゼフの愛娘　登場場所　セミテの滝の洞窟、サラマンドの町ほか

ネリー

サラマンドの町で暮らす、ヨーゼフのひとり娘。まだ幼く、仕草にもあどけなさが残るが芯は強い。ボーゲンの策略により人質としてさらわれるが、フリオニールたちに救出された。親子の対面もつかの間、フリオニールたちとともに旅に出た父ヨーゼフは彼らを助けるために死亡。孤児となってからは、ヨーゼフを愛する女性とともに暮らしはじめる。

←平和が訪れたあとは、ヒルダやゴードンと協力して未来を築いていくことを、明るく誓う。

Impressive Words

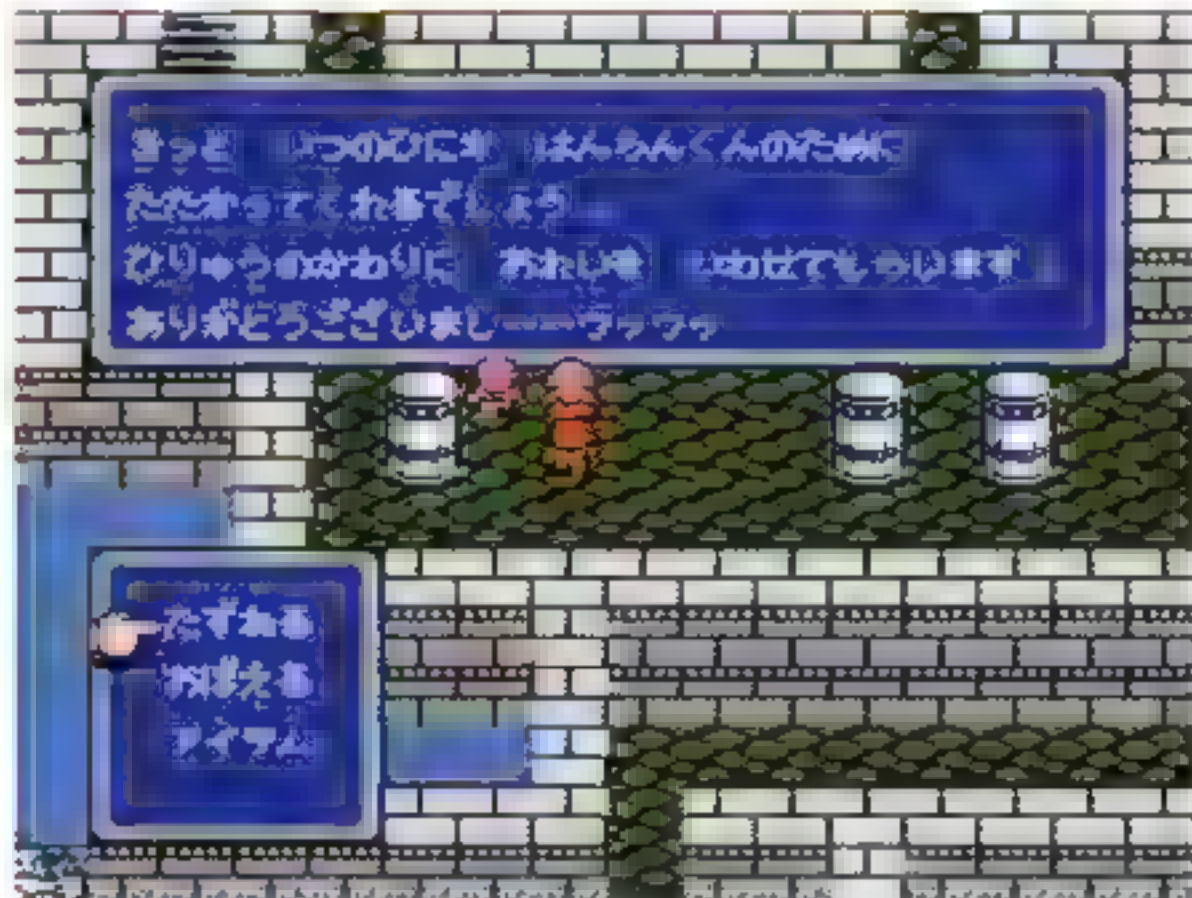
「お父さんは、もう帰ってこないのね……」
――サラマンドの町：父の訃報を聞いて

「おめでとう!! お父さんも、きっと喜んでるわ!
私、王女さまのところでみんなのお手伝いをして働くわ!」
――エンディング：皇帝を倒して帰還したフリオニールたちに

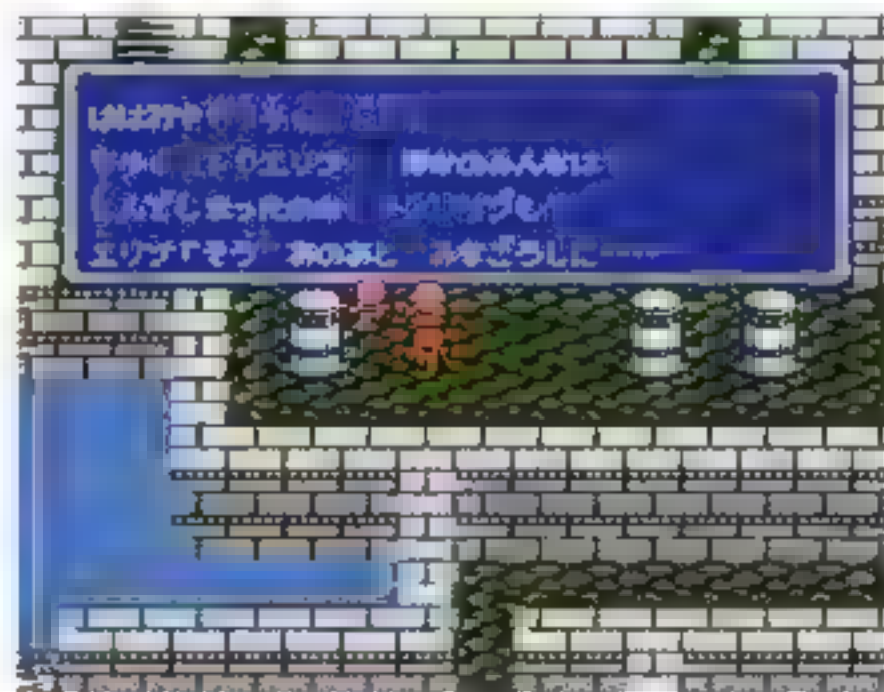
ディストの住人

悲しみに耐える竜騎士の妻　登場場所　ディストの城

エリナ

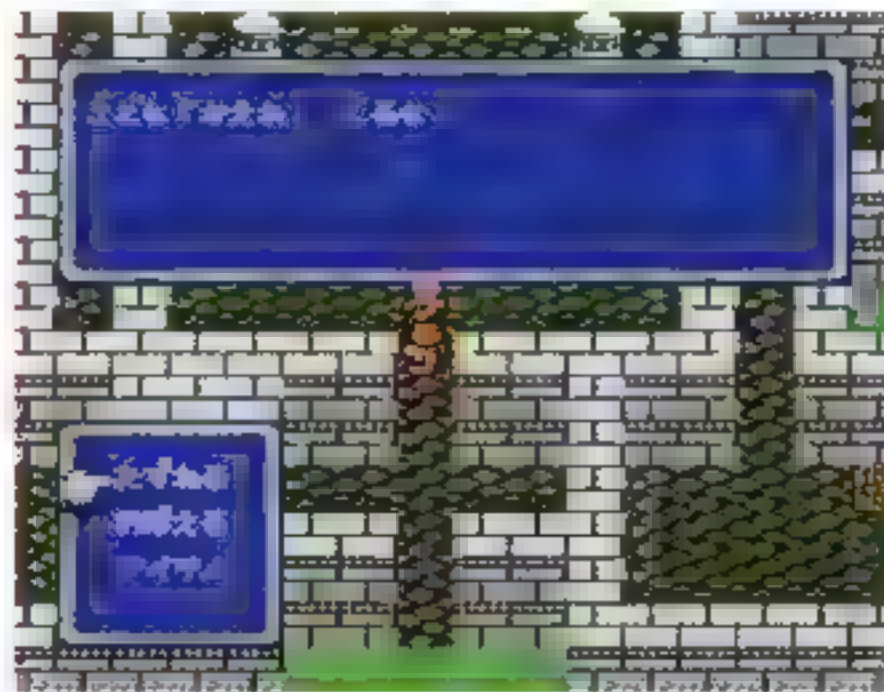
リチャードの親友フィリップの妻。ディストの竜騎士団が壊滅させられたときに夫を失い、以来、息子のカインとふたりで、傷ついた飛竜の世話をしつつひっそり暮らしてきた。リチャードに遠まわしのプロポーズを受けるがほどなく彼も命を落とし、彼と夫の無念を晴らしてもらうべく、竜騎士団に伝わる宝剣エクスカリバーをフリオニールたちに託す。

Impressive Words

「息子がご迷惑をおかけしたようで、申しわけありません」
――ディストの城：フリオニールたちへの息子の非礼をわびて

「リチャードも死んでしまったのですか……。もどってくると言ったのに……。
でも、彼も竜騎士。仲間のために死ねて本望でしょう……うっうっ……」
――ディストの城：リチャードの訃報を聞いて

←一族が絶え息子とふたりきりのところに現れたリチャードが、彼女の心のなぐさめとなった。

竜騎士の血を受け継ぐ子ども　登場場所　ディストの城

カイン(※1)

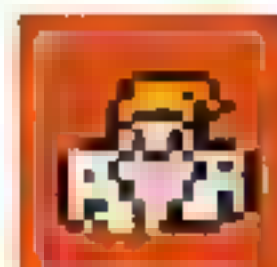
エリナの息子で、亡き竜騎士フィリップの忘れ形見。無邪気で元気な子どもだが、父や仲間を死に追いやった帝国軍には幼いながらも憎しみの感情を抱いている。リチャードには、父と同じようなにおいを感じたのか、少なからず好意を持ったようだ。ただ、そののちに彼が亡くなったことや、母との関係については、まだよく理解していない。

←ディストの城に現れたフリオニールたちを帝国軍とカンちがいし、敵意をむき出しにする。

Impressive Words

「ぼくも、大きくなったらお父さんみたいに竜騎士になるんだ!」
――ディストの城：「竜騎士」について尋ねられて

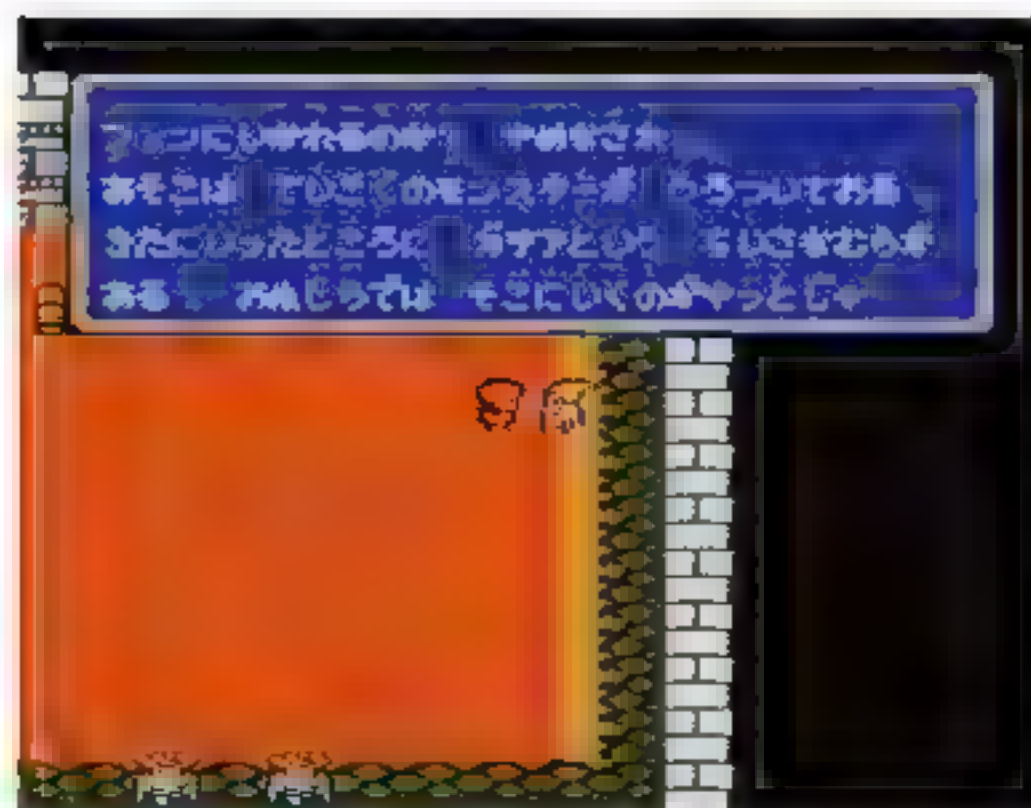
「よくわかんないけど、いいよ。
ぜったい、こうていのやろうをやっつけてね!!」
――ディストの城：リチャードに君のお父さんになっていいかと聞かれて

※1……GBA版でつけられた名前

各地の人々

手厳しい指南役

反乱軍の老人

登場場所　反乱軍アジト

いつもフリオニールたちをヒヨッコあつかいし、苦言を呈する老人。口調は厳しいながらも、さまざまなアドバイスを述べ、フリオニールたちが戦いで功績を重ねていくと、その力を認めてくれるようになる。

←フリオニールたちを止めるような口調でいながら、町を出たあと目指すべき方角のヒントをさりげなく示す。

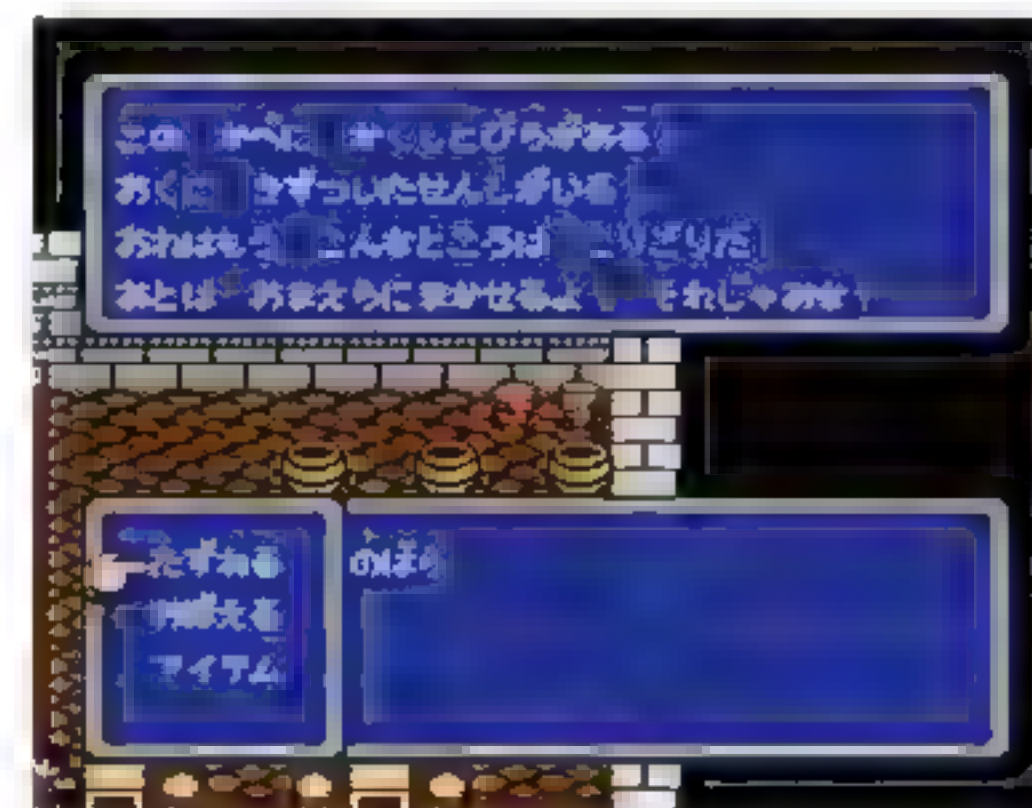
Impressive Words

「ほれ見たことか! わしの言ったとおりになったわい。
おぬしらには荷が重すぎたんじゃ」
――反乱軍アジト：大戦艦が完成したあと、フリオニールたちに

敵軍支配下のパブ経営者

パブのマスター

登場場所　フィンの町

フィンの町にある酒場のマスター。町から逃げ遅れ、いやいやながらも帝国兵相手に商売をつづけていた。負傷したスコットを店の奥にかくまっていたが、フリオニールたちがやってくると、店を放り出して去ってしまう。

←パラメキア帝国軍の兵士に発見されないよう、隠し扉の奥にある部屋でスコットの面倒を見ていた。

Impressive Words

「まったく、帝国のヤツはがさつで困る……ブツブツ……」
――フィンの町：
店のカウンターに入ろうとしたフリオニールたちを帝国軍の兵士だと思いこみ

そのほかのおもなサブキャラクター

ヨーゼフを愛する女性

登場場所　サラマンドの町
Words　「私はヨーゼフを愛してるの。でも私なんかがそばにいたら、あの人の邪魔になる……」

ヨーゼフの家の戸口に立つ女性。愛するヨーゼフの死を悲しみ、彼にかわってネリーを育てる決心をする。

ジャイアントビーバー

登場場所　雪原の洞窟
Words　「ガウワウワウ。ガウ?」

雪原の洞窟の奥にいる動物。ガイの通訳を介して女神のベルのありかを教えてくれた。

最後の飛竜

登場場所　ディストの城
Words　「頼みます……その卵を……。早く……」

ほぼ全滅の飛竜のなかで奇跡的に助かった最後の1頭。卵をフリオニールたちに託して息を引き取る。

ハーン

NO IMAGE

登場場所　―
Words　―

最初の竜騎士。ミシディアで読める古代の書物によると、30年かけて飛竜との交流をあたためたという。

フィリップ

NO IMAGE

登場場所　―
Words　―

リチャードの親友で、家族は妻エリナと息子カイン。高名な竜騎士だったが、帝国軍の襲撃により戦死する。

PSP

PSP

ULTIMANIA CHECK 石井浩一氏に聞く「チョコボ」

乗り物としてだけでなく、「FF」シリーズのマスコットとしても愛されつづけているチョコボ。その知られざるエピソードを、生みの親である石井氏に語っていただいた。

モデルは昔飼っていたヒヨコ?

――チョコボが登場したのは「II」からですが、どのようにして誕生したキャラクターなんですか?

石井　「I」を作っているときから、モンスターとは別に、何か動物を出したいなと思っていたんですよ。それも、ペットや家畜としてではなくて、ユーザーが感情移入できる相棒のような存在として出したかった。たとえば、『荒野の少年イサム』に登場する主人公イサムの愛馬サンダー・ボルトみたいな(笑)。そういう生き物って言葉を話すわけではないから、逆にユーザーの想像力をかき立てる存在にもなっていくし、登場人物に対するものとはちがった感情移入のしかたをしてもらえるかなと。そんな思いがずっと頭に残っていて、「II」の開発中に、昼休みの時間を使って10分ぐらいで作りました。

――たったの10分で……ということは、あの外見や動きは、結構スムーズにイメージできたのですね。

石井　ええ。こんな動きをさせたいというところから作りはじめたので、うしろ向きでおしりをフリフリしながら歩くしぐさとか、横向きでクチバシを前後に出したり引っこめたりする動きから作っていって、正面向きの絵は最後に描きました。

――チョコボを作るうえで、何かモデルにしたものはありますか?

石井　もとをただすと、小学生のときに、お祭りの夜店で買ってもらったヒヨコですかね。段ボールの家を自分で作ったりしてかわいがっていたんですけど、ニワトリになる手前ぐらいまで育ったある日、学校から帰ったらいなくなっていたんですよ。それで母親に聞いたら、大きくなりすぎてウチでは飼えないから、近所でニワトリをたくさん飼っている人にあげちゃったと言われて、それがものすごくショックで。いま振り返ってみると、あのときのヒヨコのイメージが大人になってからもずっと残っていたんでしょうね。

――チョコボの名前が、お菓子の森永チョコボールからきているというのは有名な話ですが、なぜチョコボールなんですか?

石井　ドットを打っているときに「クエックエックエッ」という森永チョコボールの歌を口ずさんでいたので、その場の思いつきで「チョコボでいいか」って(笑)。まさかそのあと、『チョコボの不思議なダンジョン』の宣伝の一環でチョコボールのパッケージイラストに使われるとは、思ってもみませんでしたけどね。子どものころに夢中になっていたお菓子のパッケージに、自分が作ったキャラクターが載るなんて、ふつうならあり得ないことですから、決まったときは本当にうれしかったです。

石井浩一　KOICHI ISHII

PROFILE

1986年に旧スクウェアに入社。「I」「II」ではゲームデザイン、「III」ではオブジェクトデザイン、「XI」ではディレクターとして「FF」の開発に関わる。現在は株式会社グレッゾの代表取締役社長。

乗り物ではなく相棒として

――そうしてできあがったチョコボの、ほかのスタッフからの評判はどんな感じでしたか?

石井　最初に坂口さん(坂口博信氏:「FF」シリーズの生みの親。「II」ではディレクターを務める)に見せたときは反応がいまひとつで、しばらくゲームに出してもらえませんでしたね。最終的には、陸地を移動するための乗り物という形で入れてもらったわけですが、本当はもっと生き物としてちゃんとあつかってほしかった。「III」では自分はシナリオの部分に全然関わらなかったので、どんな形で出てくるのかなと思っていたら、やっぱり乗り物の一種みたいな使われかたをしていて。そういうこともあって、生き物を出すならこんなふうにあつかってほしいという思いや、最初に自分がチョコボを描いたときに持っていた「言葉は話せないけど、いつもそばにいてくれる相棒」というイメージを、初代『聖剣伝説』のなかで自分なりに表現してみたんです。

――相棒と言えば、「FFV」では、主人公の相棒としてボコというチョコボが出てきますね。

石井　あれは『聖剣伝説』のゲーム中に込めたメッセージを、「FFV」のスタッフが受け取ってくれたんじゃないかなと自分では思ってます。

――「III」以降はしばらく「FF」シリーズから離れていた石井さんが、「XI」でひさびさに開発に関わったわけですが、「XI」でチョコボを出すにあたって、とくにこだわった部分はどのあたりですか?

石井　オンラインゲームの場合は、ユーザーが通常よりもいろいろな状況を体験できるから、適当に作っているとアラが見えてしまうんです。なので、「XI」のときには、チョコボがその世界においてどのような生き物なのか、人々からどんなふうにあつかわれているのかという部分について、かなり話し合いましたね。チョコボを育てることにしても、単にレベルを上げたりするようなものではなくて、時間をかけていろいろな関わり合いが持てるようにしています。そういった部分からチョコボへの愛着を感じてもらえるものにしたかったんです。

――チョコボは、モーグリとともに「FF」シリーズのマスコットキャラクターとして成長してきましたが、生みの親である石井さんは、チョコボの活躍をどんなふうにご覧になっていますか?

石井　じつは、自分のなかではチョコボって『聖剣伝説』シリーズのモンスターたちと同列なんですよ。自分がたくさんデザインしてきたなかの1匹が、たまたまいろいろな作品に出ているというだけで。

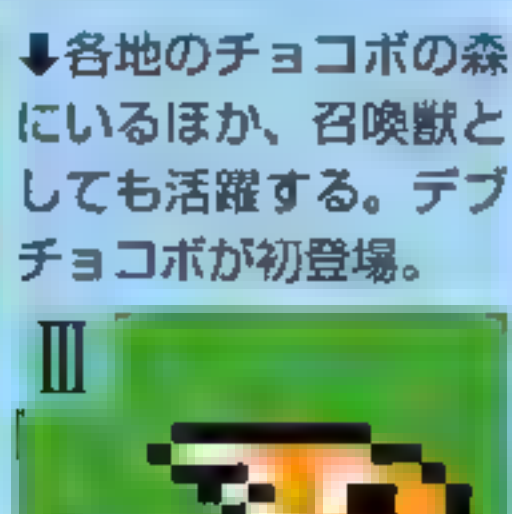
――『チョコボの不思議なダンジョン』などで、チョコボが主役になったことについてはいかがですか?

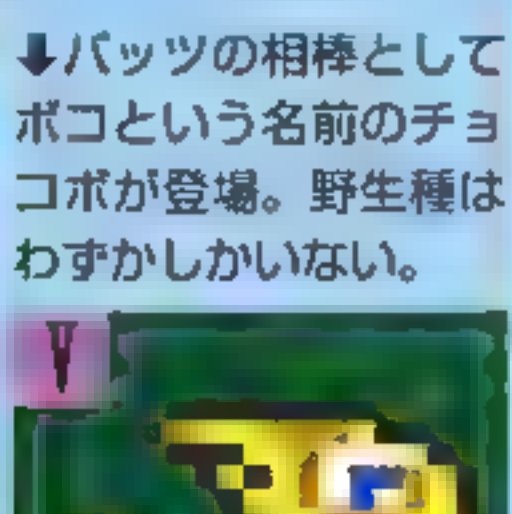
石井　板鼻君(板鼻利幸氏:『チョコボの不思議なダンジョン』シリーズのキャラクターデザイナー)が描いたチョコボはすごくかわいらしかったので、これで低学年の子どもたちにもチョコボが認知されるようになるなと思って、ありがたかったです。チョコボというキャラクターは、もはや自分の手を離れた存在になっているので、大事にしてくれる人に全部まかせておけばいいやと思っているんですよ。そういう意味では、チョコボは板鼻君のところへ嫁がせた感じですかね(笑)。

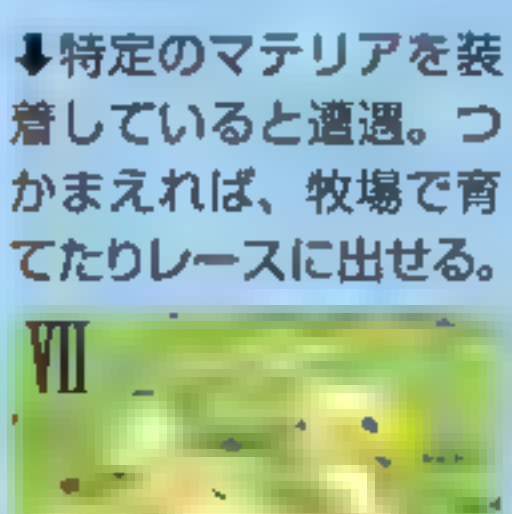
言葉は話せないけど、いつもそばにいてくれる――
チョコボはそんな相棒のような存在

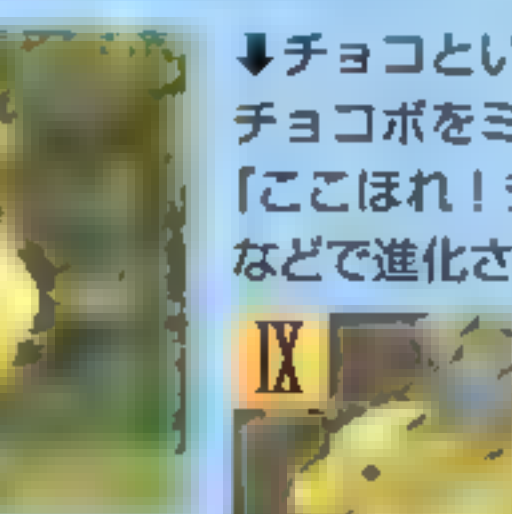
HISTORY OF CHOCOBO

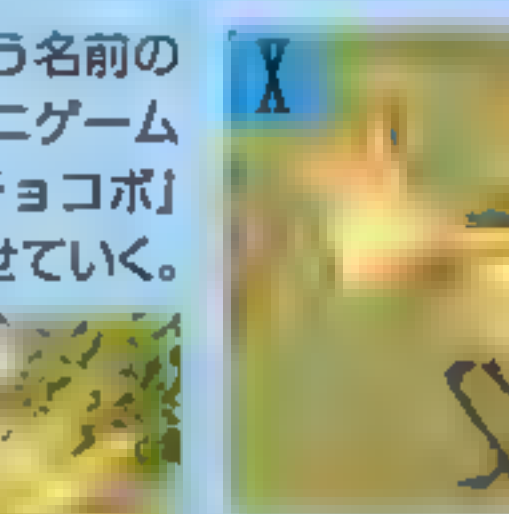
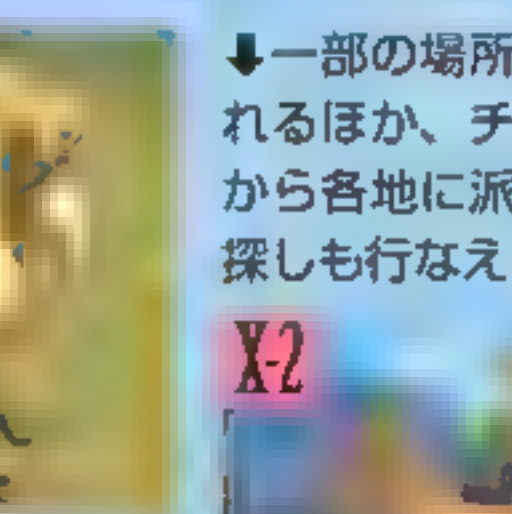
II ↑カシュオーン城の南の森に棲んでおり、草むらでつかまえると、乗って移動できる。

III ↓各地のチョコボの森にいるほか、召喚獣としても活躍する。デブチョコボが初登場。

IV ↑ふつうのチョコボのほかに、黒チョコボや白チョコボといった亜種も存在する。

V ↓バッツの相棒としてボコという名前のチョコボが登場。野生種はわずかしかいない。

VI ↑チョコボ屋でレンタルできるほか、セッツァーの「スロット」でも登場する。

VII ↓特定のマテリアを装着していると遭遇。つかまえれば、牧場で育てたりレースに出せる。

VIII ↑ミニゲームで探して乗るほか、ポケットステーションで「おでかけチョコボRPG」も可能。

IX ↓チョコという名前のチョコボをミニゲーム「ここほれ!チョコボ」などで進化させていく。

X ↑ミヘン街道などで借りられる。ナギ平原には「ふらふらチョコボ」といったミニゲームも。

X-2 ↓一部の場所で借りられるほか、チョコ牧場から各地に派遣して宝探しも行なえる。

XI ↑乗り物として借りられる。タマゴから育てたチョコボなら、レースへの出場も可能。

XII ↓乗っていられるのは180秒間だが、3回だけ「チョコターボ」で加速することができる。

ファイナルファンタジーIII

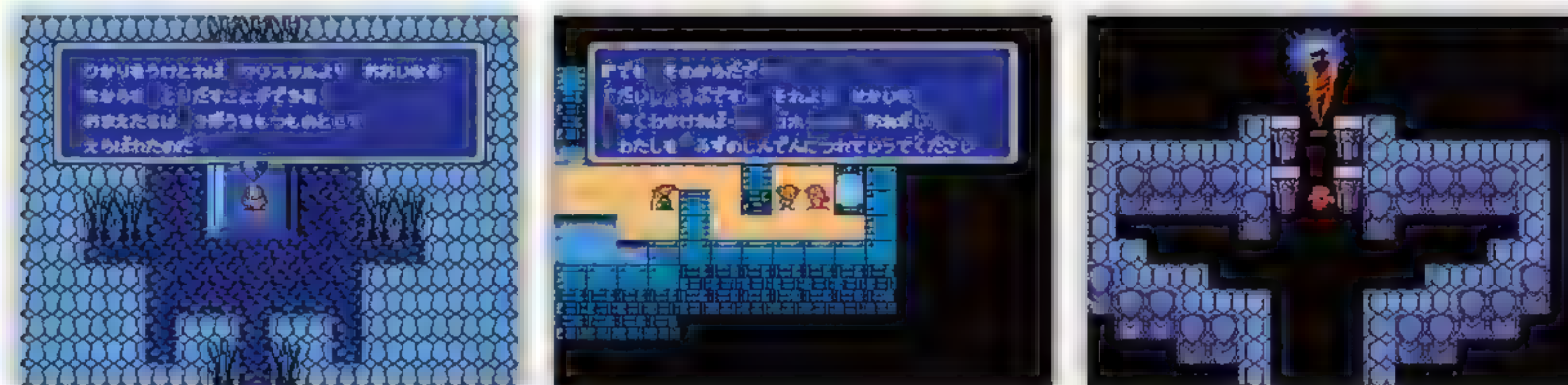
作品概要

キャラクターを育成するおもしろさが強く押し出された一作。ジョブを変更できるジョブチェンジシステムが採用され、多彩なパーティー編成による攻略が可能になった。シリーズの代名詞のひとつである召喚魔法が生まれたほか、モーグリ、デブチョコボが初登場。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーIII	ファミリーコンピュータ	1990年 4月27日	8,400円(税別)	
ファイナルファンタジーIII	ニンテンドーDS	2006年 8月24日	5,980円(税込)	※1

※1……本体同梱版「クリスタルエディション」が22,780円(税込)で同時発売

■DS版

STORY

荒廃した世界を救うべく 闇に立ち向かう少年たちの冒険譚

かつて人間たちは、4つのクリスタルの加護を受ける光の世界で、大陸を空中に浮かせるほどの超文明を築き、繁栄の極みにあった。だが、彼ら古代人たちは、力の源として「光の力」を浪費した結果、大きな災いを招く。光と闇のバランスが失われ、世界そのものを無に還そうとする存在、暗闇の雲を呼び寄せてしまったのだ。迫りくる危機を前にして、クリスタルは光と闇のふたつの世界から戦士たちを選び出す。光の戦士、そして闇の戦士たちは、暗闇の雲の撃退に成功し、世界は安定を取りもどしたのだった。

それから1000年――。古代人たちの超文明が遺物となった世界に、ふたたび危機が訪れる。突如、各地を襲った大地震によってクリスタルは輝きを失い、闇の力を得たモンスターが世界中に現れはじめたのだ。荒廃の一途をたどる世界を救うべく、大地震で地中に沈んだ風のクリスタルはわずかに残された力で、いま一度、光の戦士に希望を託す。新たな光の戦士――それは辺境の村ウルで育った少年たちであった。

FINAL FANTASY III
人物相関図

ノア ―弟子→ 大魔道師ノアの弟子たち

大魔道師ノアの弟子たち
ウネ
ドーガ

ザンデと手下たち
ザンデ
メデューサ
クラーケン
ティターン

闇の世界
闇の4戦士

暗闇の雲

サロニア城
ゴーン
アルス
ギガメス

アーガス城
ハイン
アーガス王

ウル
トパパ
ニーナ

カナーン
シド
シドの奥さん

カズス
タカ

光の戦士たち
DS アルクゥ
DS レフィア
DS イングズ
DS ルーネス

デッシュ
エリア

サスーン城
サラ
サスーン王

ジン

アムル
4人組のじいさん
デリラ

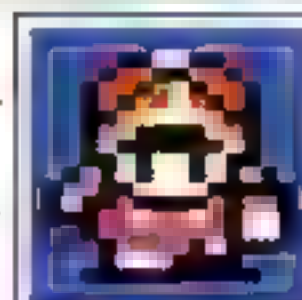
弟子
協力
平和のために対抗
あやつる
1000年前に倒す
親子
追放
あやつる
DS 友情
協力
救出
幽閉
光の戦士たちを育てる
（DS ルーネスとアルクゥを育てる）
ルーネスとアルクゥを託す DS
夫婦
DS 飛空艇墜落事故から救出
DS レフィアを託す
養父女 DS
オーエンの塔に同行
水のクリスタルの復活に協力
DS 恋仲
ジンの封印に協力
親子
呪いをかける
封印したい
協力
協力
説得

DS……DS版でのみ登場するキャラクター
およびDS版での関係

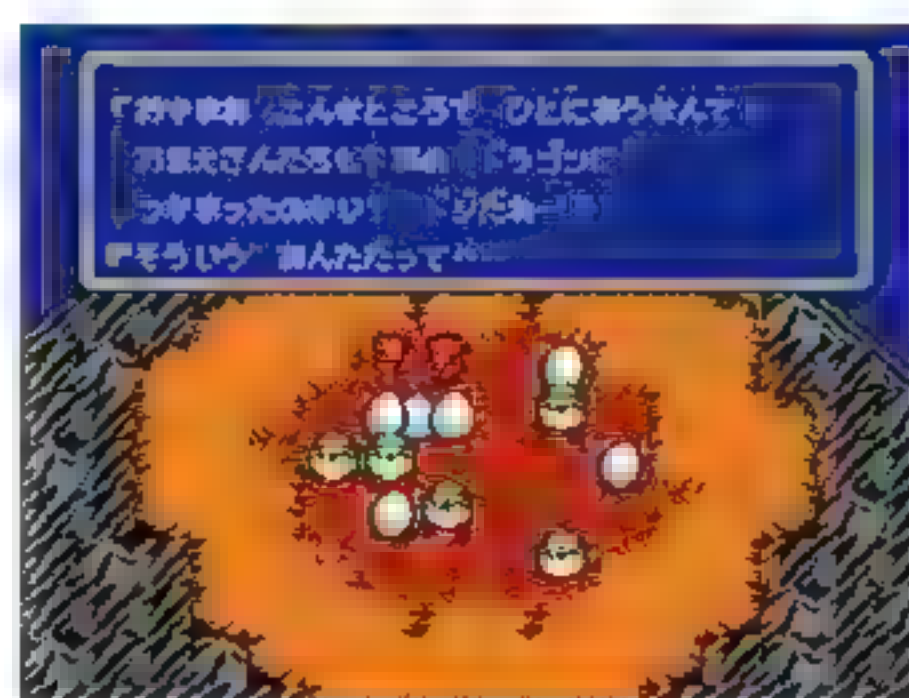
FC

光の戦士たち
Warriors of Light

Personal Data

種族	人間
出身地	ウル(4人共通)
一人称	おれ(4人共通)

クリスタルに導かれて試練の旅に出る少年たち

ウルの村の長老トパパとニーナに引き取られた、4人のみなしごの少年たち。やんちゃ盛りで、大地震によって地中に沈んだクリスタルの跡地で遊んでいたところ、祭壇の洞窟に迷いこみ、風のクリスタルから光の戦士としての使命を与えられた。

ウルの村を旅立った彼らは、大地震を境にして各地で起こった数々の異変を目の当たりにする。ジンの呪いで肉体を失った人々、大地が水没した地上世界――。異変の元凶、魔王ザンデの存在を知った少年たちは、光の戦士として平和を取りもどそうと決意を固める。魔道師のドーガとウネや、心を通じ合わせた仲間たちにあと押しされて、少年たちはザンデと、彼を背後であやつっていた暗闇の雲に立ち向かう。

↑サラやデッシュといった人々との出会いが、のちにザンデと相対する少年たちの心の支えとなる。

Topics of
Warriors of Light

心の絆が少年たちに道を示す

光の戦士たちが世界に平和を取りもどせたのは、心の絆で結ばれた仲間たちの助けがあればこそだった。クリスタルタワーへの道を示すために命を絶ったドーガとウネ、そしてサラやシド、デッシュという、旅の途中で親しくなった者たちの心の輝きが、光の戦士たちにザンデと暗闇の雲を倒す力を与えたのだ。

←ふたりの魔道師の壮絶な最期に、光の戦士たちは涙を流す。

←絆で結ばれた者たちの力を借りて窮地から脱する。

ジョブによる姿の変化

たまねぎ剣士 / 戦士 / モンク / 白魔道師 / 黒魔道師 / 赤魔道師

狩人 / ナイト / シーフ / 学者 / 風水師 / 竜騎士

バイキング / 空手家 / 魔剣士 / 幻術師 / 吟遊詩人 / 魔人

導師 / 魔界幻士 / 賢者 / 忍者

Impressive Words

過酷な戦いの連続ゆえか、少年たちにはムダ口をたたくヒマはない。だからなのか、わずかな言葉には、4人の少年のおだやかならぬ心情がこめられている。

「いまだサラ！　ジンが弱っているうちに指輪で封じるんだ！」
――封印の洞窟：サラにジンの封印をうながして

「デッシュっ!!　やめろ、死んじまうぞ！」
――オーエンの塔：危険をかえりみず動力炉を修復しようとするデッシュに反対して

「だめだ！　エリアを残してなんて……！」
――水の洞窟：クリスタルの間から逃げるのをためらいながら

「おい、さっきのじいさんたちだぜ！」
――下水道：モンスターにからまれる4人組のじいさんを目にして

「待てい！　俺たちが相手だ」
――サロニア城：アルスに襲いかかろうとするギガメスを制して

「だめだっー！　なんと言われても、ドーガ、ウネ、あんたたちと戦うわけにはいかない!!」
――ドーガの洞窟：自分たちとの戦いを迫るドーガとウネのふたりを止めようとして

「お姫さまのベッドに寝ちゃおっと！」
――サスーン城：サラのベッドで休息をとって

DS

ルーネス

Luneth

Personal Data

種族	人間
出身地	ウル
一人称	オレ

数奇な運命に翻弄され 大人への階段をのぼる少年

地上世界を襲った闇の侵攻により、赤ん坊のころに孤児となった少年。シドによってアルクゥらとともに保護され、浮遊大陸にある辺境の村ウルの長老トパパとニーナを養父母に、はつらつとした少年へと成長した。ある日、大地震によって村はずれにできた穴の底で風のクリスタルから啓示を受け、何もわからぬままに、世界を救う役目をになう光の戦士として旅立つ。

浮遊大陸を飛び出し、地上世界にたどり着いた彼を待っていたのは、いくつもの出会いと別れだった。自分をかばって落命した水の巫女エリアや、みずから死を選んだドーガたちの意志を継ぎ、ルーネスは世界に闇を氾濫させた魔王ザンデとの対決に挑む。ウルのやんちゃ坊主だった少年は、光の戦士として何者にも負けない強き心を持って、ザンデと暗闇の雲に立ち向かっていく。

←ネルブの谷での飛空艇の墜落は、ルーネスに赤子のころの記憶を呼び起こさせ、奇妙な感覚を与えた。

Impressive Words

わんぱくなルーネスだが、幼なじみのアルクゥへの配慮をのぞかせる友だち思いな一面も。彼のまっすぐな心は、数々の試練のなかでも揺らぐことはない。

「なんだったんだ……、今のは……。光とか闇とか希望とか……」
──祭壇の洞窟付近：風のクリスタルと出会って

「おい、アルクゥ。何やってんだ?」
──ウル：子どもたちにからかわれるアルクゥをかばって

「クリスタルはみなしごだった、オレたち4人を集めたのか?」
──シドの飛空艇：お互いの身の上を明かし合い

「気づかなかったけど、オレたちの中に光の力があるのか?」
──水の神殿：エリアに闇の力を振り払う方法を聞いて

「夢……? ！ じゃあ、アムルできいた声は……」
──ウネのほこら：ウネの力の一端に驚きながら

DS

アルクゥ

Arc

Personal Data

種族	人間
出身地	ウル
一人称	僕

内気な自分と決別すべく ルーネスとの旅に身を投じる

ルーネスと同じくシドが保護した4人の孤児のひとりで、長老トパパとニーナに育てられた男の子。ルーネスとは対照的に外遊びよりも読書を好む引っこみ思案な性格のため、ウルの子どもたちにからかわれることもしばしば。そんな弱気で内に閉じこもりがちな自分を変えようと、光の戦士として旅立つルーネスに同行する。

旅の道中では、内気ながら読書で得た知識をもとに、数々の難題を解決する知恵袋として活躍。そのうえ、前向きに生きるサロニアの年若い王子アルスに感化され、心のカラを破って頼りがいのある少年へと変貌をとげる。それはウルの村で悔し涙を流していたアルクゥが、思いやりと優しさを兼ね備えた光の戦士へと成長した瞬間だった。その優しき心は、魔王ザンデが招いた闇を打ち払い、世界を破滅の危機から救う力の一端となる。

←読書家ゆえの博識さで、魔法の活用方法などの数々の難問を解決。向こう見ずなルーネスをサポートする。

Impressive Words

あまりにも優しいがゆえに、ウルの村では仲間からバカにされてきたアルクゥ。しかし、長い旅路で芯の強さを身につけ、その言動はしだいに頼もしくなっていく。

「僕は弱虫なんかじゃない……。このままじゃいけないことくらいわかってるんだ……」
──ウル：幽霊話の真偽を確かめようとして

「みんなを見返したいんだ! 1人でここまで来れたんだし……。ルーネスにはめいわくかけないからさ!」
──カズス：旅立とうとするルーネスに

「あ、あの。……や、やめなよ!」
──サロニア南西：酒場でアルスにからむゴロツキに

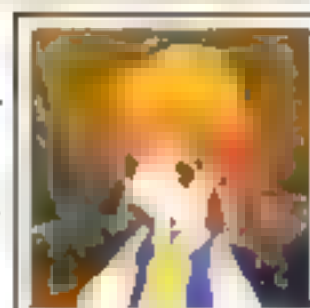
「王子……。子供を愛さない親はいないよ! きっと何か理由があるんだ……。明日王様に会えば、すべて、はっきりするよ」
──サロニア城：父への不安を吐露するアルス王子に

DS

レフィア

Refia

Personal Data

種族	人間
出身地	カズス
一人称	私

鍛冶屋の父とのすれちがいから旅立ちを決意した年ごろの少女

　カズスの鍛冶屋タカの養女で、じつはシドに救われた4人の孤児のひとり。鍛冶屋の修行を無理強いされる日々に嫌気がさして町を飛び出していたが、そのことで幸運にもジンの呪いをまぬがれた。カズスやサスーン城の人々にかけられた呪いを解くためにルーネスに同行し、ジン封印後も父の制止を振り切ってふたたび一行に合流。光の戦士としての旅を通じて、養父との気まずい関係を振り返るとともに、押しつけられた鍛冶屋としての人生ではなく、自分らしい生きかたとは何かを模索する。

　年ごろの少女らしく色恋沙汰には敏感で、イングズとサラ、およびデッシュとサリーナの恋の行方を見守る一方、そちらの方面にはとんと無頓着なルーネスにいらだつことも。胸に秘めた人を愛する心は、魔王ザンデと暗闇の雲に対抗する力となった。

⬅トードの魔法でカエルに変身することになってうんざり。ふだんは強気な彼女も、カエルになるのは苦手。

Impressive Words

自分へのふがいなさ、父へのいらだち、未来への底知れぬ不安――。女性特有の感受性の強さから、レフィアの心は千々に乱れ、心情の変化は言葉の端々に表れる。

「私は……。ごめんなさい。ちゃんと修行してなかったから作れないの」
――シドの飛空艇：ミスリルの指輪の製作をせがむルーネスに

「もちろんよ！　むしろこの2人と行くなんて頼りないもの……」
――サスーン城：同行を申し出たイングズをこころよく受け入れて

「みなしごの私をここまで育ててくれたけど、
それとこれとは別だもの……」
――シドの飛空艇：ルーネスたちとふたたび合流し、父タカを思い出して

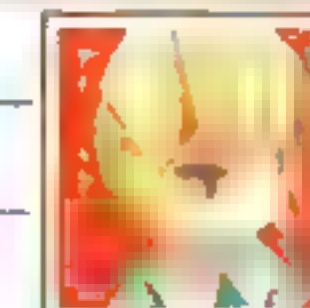
「早いとこあなたのやることをすませて、
サリーナさんの元へ帰ってあげなきゃね！」
――カナーン：サリーナと再会を果たしたデッシュに対して

DS

イングズ

Ingus

Personal Data

種族	人間
出身地	サスーン
一人称	私

愛しき者への思いを秘めて世界を救うために旅立つ兵士

　たまたまサスーン城を離れていたために、ジンの呪いから逃れた兵士。ひとりでは解呪の方法を見いだせなかった自分への憤りと、消息を絶ったサスーン王の娘サラへの愛情に突き動かされて、ルーネスたちとともに、ジンがひそむ封印の洞窟へと向かう。彼もまたシドが浮遊大陸に連れてきた孤児であり、ジンの封印後に風のクリスタルから4人目の光の戦士としての使命を授かった。

　サラとは相思相愛の間柄だが、当の本人は実直さから主従関係を優先。サスーン城内では知らぬ者がいないほどの仲でありながら、あくまでも一兵士として仕えようと恋心を封印する。だが、光の戦士として旅立つのは、平和を願うからだけでなく、世界の復興に務めるサラを陰で支えたいとの想いがあるからだった。人を信じる心を武器にして、イングズは魔王ザンデに立ち向かう。

⬅味方同士が刃をまじえるサロニアに、戦場の臭いをかぎ取る。それは兵士のみが知り得る不穏な空気だった。

Impressive Words

スゴ腕の兵士でありながら、それをひけらかそうとしない奥ゆかしさが彼の持ち味。リーダーのルーネスをわきで支える、なくてはならない存在だ。

「いいえ……、私は1人では何もできなかったのです」
――サスーン城：ジンの呪いを解く手段を見つけられなかった自分を恥じて

「サラ姫様……」
――サスーン城：イングズへ想いを伝えるサラに

「なんにせよ、いいことじゃないか。
ルーネス、からかったりするなよ！」
――サロニア城：張り切るアルクゥを横目で見ながら

「ほら、じいさんたちは街に戻っているんだ！」
――下水道：4人組のじいさんをいさめようとして

協力者たち

世界の復興を願う姫
サラ

Sara Altney サラ・アルテニー

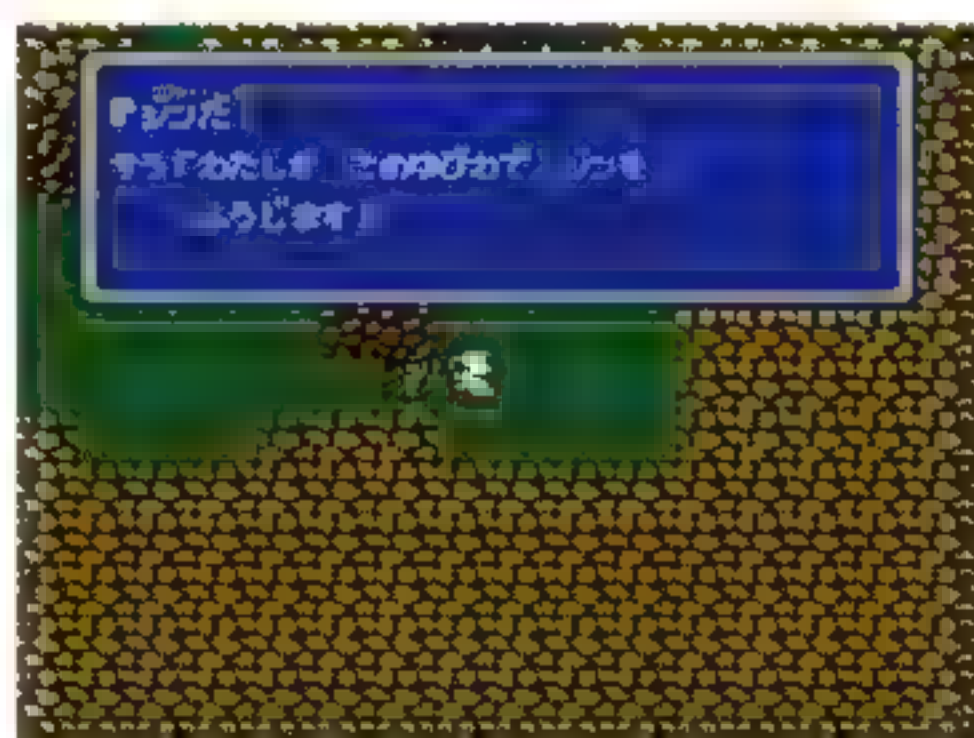
年齢 21歳 登場場所 封印の洞窟、サスーン城ほか

サスーン城の王女で、ジンを封印するとされるミスリルの指輪の持ち主。カズスやサスーン城の人々にかけられた呪いを解くため、勇敢にも単身で封印の洞窟に挑む。

DS版では イングズに想いを寄せる、サスーン城の姫。ジンの封印後は、眼を泣きはらしながらも、イングズを精一杯の笑顔で送り出す健気な一面を見せる。

Impressive Words

「本当はついていきたい……。でもきっと足手まといになってしまいますね」
——サスーン城：泉の前でジンの封印を終えて

DS「どうしても行くのなら、私が知らないうちにそっと行ってよ……。わざわざ泣かせに来るなんて……。あんまりよ……!」
——サスーン城 イングズの旅立ちに号泣しながら

↑先頭に立ってジンの封印を試みるが、増大した闇の力を得たジンには無力だった。

↑城にとどまらねばならない自分の身分をなげき、イングズとの別れに涙する。

失われた記憶を探す男
デッシュ

Desch

年齢 不明 登場場所 バハムートの巣、オーエンの塔ほか

カナーン周辺にふらりと現れた謎の男。その正体は古代人オーエンの息子で、オーエンの塔の監視人だった。長い冷凍睡眠によって記憶を失っていたが、メデューサとの戦いで自身の使命を思い出し、損壊寸前の塔を命がけで修復。奇跡的に一命を取りとめ、クリスタルタワーでザンデと相対する光の戦士たちに力を貸した。

Impressive Words

「じつは俺、記憶喪失でね。名前以外のことは思い出せないんだ」
——バハムートの巣：光の戦士たちと出会って

DS「このままでは浮遊大陸は、太陽からはなれてしまい、どうなるかわからない……」
——オーエンの塔 動力炉を修理しようと決意を固めて

↑記憶喪失にもかかわらず、エンタープライズ号でよからぬ計画をくわだてることも。

↑ルーネスたちを魔竜の呪いから守るため、デッシュはクリスタルタワーに向かう。

飛空艇建造のスペシャリスト
シド

Cid Haze

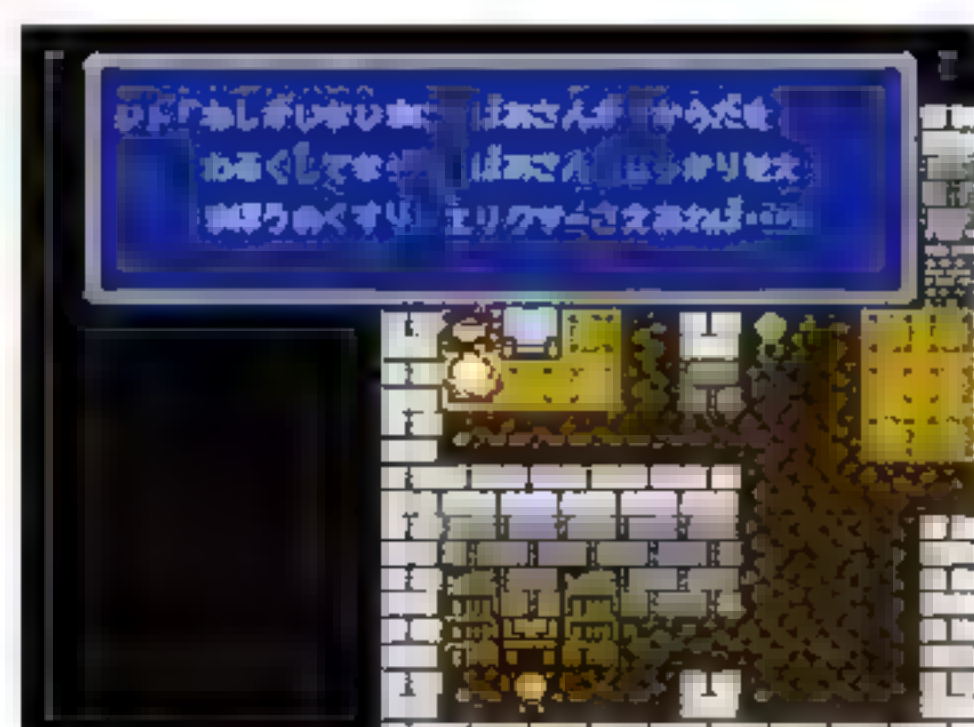
年齢 64歳 登場場所 カズス、カナーンほか

ネルブの谷の大岩によってカズスで足止めを食い、ジンに呪いをかけられた老人。飛空艇にくわしく、永久機関「時の歯車」を使って帆船エンタープライズ号に飛行能力を与える。

DS版では 地上世界の住人だったころに、飛空艇の墜落事故に遭遇。ルーネスたちを救出し、浮遊大陸に移り住んだ過去を持つ。

Impressive Words

「アーガス王に会うのじゃ! 王が飛空艇の秘密を知っている」
——カナーン：光の戦士たちに感謝して

DS「その中で唯一救い出せたのが、おまえさんたち4人の赤ん坊だったのじゃ。元の世界がその後どうなってしまったのか、わしにもわからん」
——カナーン：地上世界へと向かうルーネスに

↑病床に伏す妻にうろたえるシド。愛する妻を救うには、秘薬エリクサーが必要だった。

↑立派な光の戦士に成長したルーネスたちに、シドはみずからの過去を明かす決心をする。

水のクリスタルに仕える巫女
エリア

Aria Benett

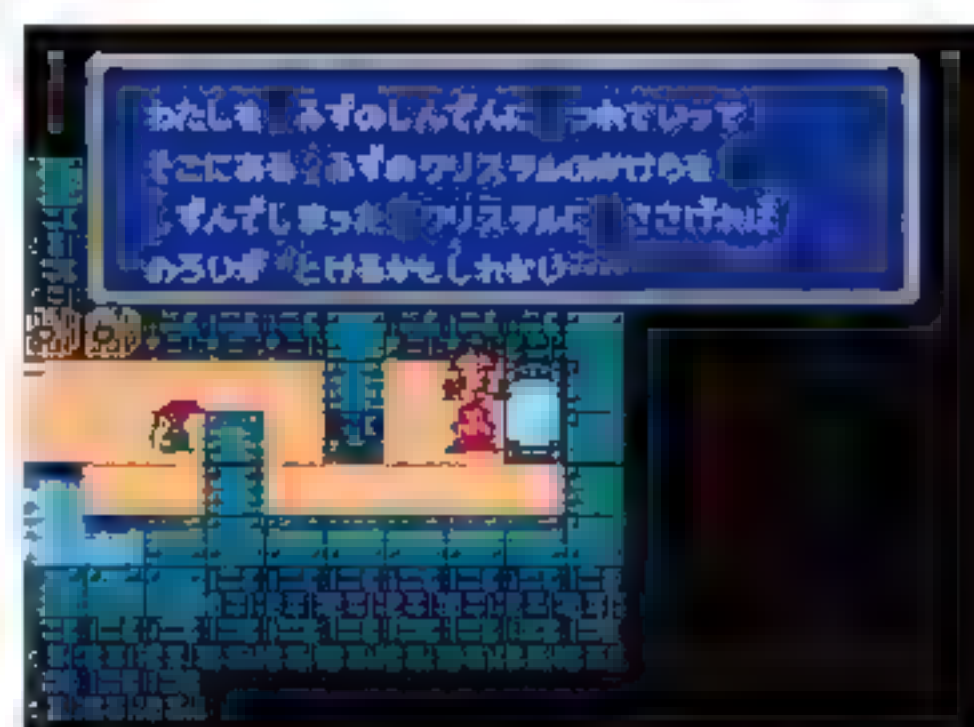
年齢 15歳 登場場所 難破船

水のクリスタルに仕える水の巫女で、水没した地上世界を漂流していたところを、難破船の老人に助けられた。クリスタルの力で大地をもとにもどそうと水の神殿を訪れたが、クラーケンの呪いの矢を受けて絶命する。

DS版では 闇の力から守るために、水のクリスタルを封印。クリスタルのかけらをルーネスに託す。

Impressive Words

「土の力があの大地震を起こしたのです。そして水のクリスタルは、地中深く沈みました」
——難破船：光の戦士たちに介抱されながら

DS「水のクリスタルが本来の力を取り戻せば、闇の力をふりはらって、すべての時間を取り戻せるはずです」
——水の洞窟 クリスタルの間に向かう途中で

↑難破船の老人の手で一命を取りとめ、光の戦士たちに地上世界での異変を伝える。

↑クラーケンの放った呪いの矢に倒れ、死のきわでルーネスたちに水の称号を与えた。

協力者たち

もうひと組の光の戦士(?)

4人組のじいさん

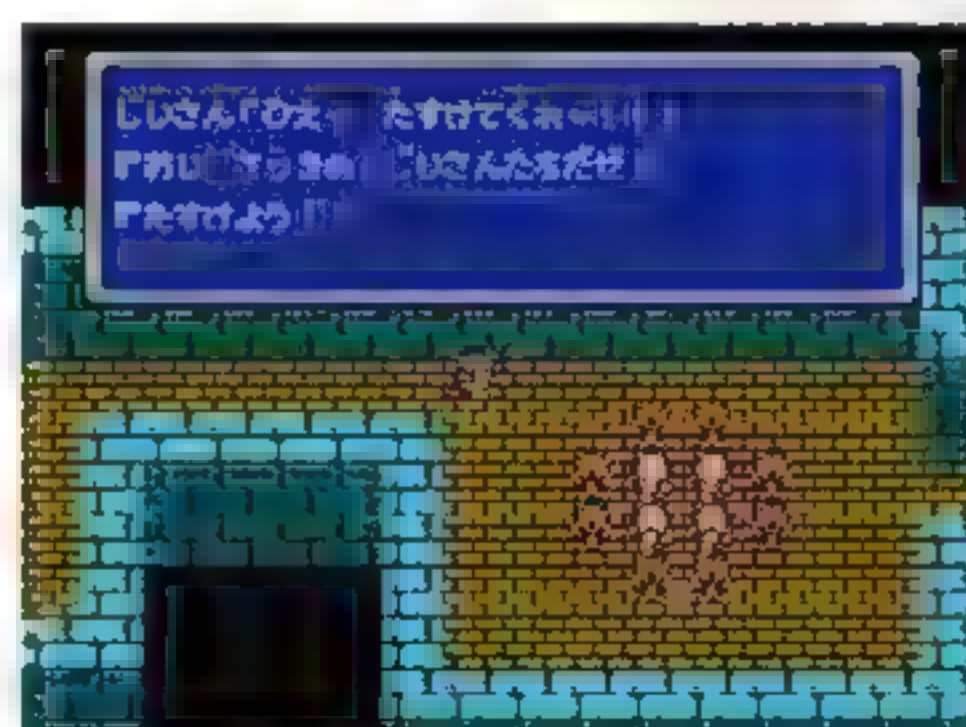
年齢 不明　登場場所 アムル、下水道ほか

水の町アムルの名物になっている老人たち。我らこそが伝説の光の戦士であると信じてやまない。その思いこみは強く、自分たちが本物だと証明しようと、光の戦士たちの動行を観察し、先まわりして手柄の横取りをもくろむほど。しかし、下水道に巣喰う魔物になすすべを持たなかったことから、誰が真の光の戦士かを痛感する。

Impressive Words

「よし、先まわりじゃ!!」
――アムル：ジルと光の戦士たちとのやり取りを盗み聞きして

DS「ひえ～～っ!! おた、おた、お助けぇ～～っ!!」
――下水道：4匹のギガントードに囲まれて

↑光の戦士へのなりきりぶりから、アムルではちょっとした有名人あつかい。

↑下水道に先まわりしたが、ゴブリン(DS版ではギガントード)に囲まれて大ピンチに。

↑下水道のデリラばあさんとは昔からの顔なじみ。変わり者同士、相通ずるものがある。

↑ザンデとの決戦では、ドーガの呼びかけに応えてルーネスたちを助ける大金星をあげた。

偉大なる師より魔力を継いだ魔道師

ドーガ

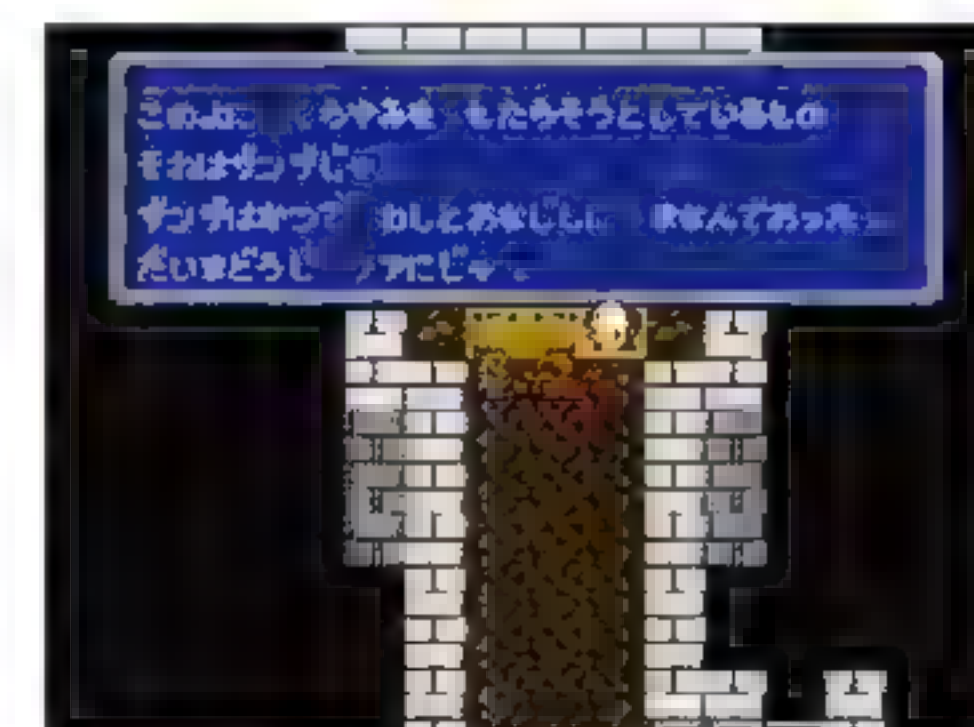
Doga

年齢 不明　登場場所 ドーガの館、ドーガの洞窟ほか

大魔道師ノアの弟子のひとりで、死の床に伏せった師から魔力を受け継ぐ。地上世界の僻地、ダルグ大陸で世間とは一線を引いていたが、世界を我が物にせんとする兄弟弟子ザンデを憂い、闇の侵攻を止めるべく光の戦士に協力。ウネとともにその命をもって、エウレカのカギとシルクスのカギを作り、光の戦士にすべてを託した。

Impressive Words

「さあ、まずお前たちの船ノーチラスに魔法をかけ、海の底に行けるようにしよう……。ゼハビド ムウー カイネ!」
――魔法陣の洞窟 光の戦士たちに今後の目的を伝えながら

DS「……その心に宿す力。強き心、やさしき心、愛しき心、信じる心。思いを胸に、願う力は光となる」
――ドーガの洞窟 ルーネスたちにエウレカのカギを渡して

↑突風が渦巻くダルグ大陸に居を構え、モーグリたちと余生を過ごしていたが……。

↑5匹の魔竜の呪いからルーネスを解き放つべく、心の力を持つ者たちを呼び寄せた。

父の凶行に心さいなまれる王子

アルス

Alus Restor　アルス・レストー

年齢 10歳　登場場所 サロニア その1［DS版では「サロニア南西」］ほか

突如豹変した父王ゴーンに、城を追放されたサロニア王国の王子。サロニアの街の酒場で無頼漢にからまれていたところを光の戦士たちに助けられ、父の凶行を止めようと、彼らと行動をともにする。父をあやつる黒幕ギガメスを倒した彼は、王位を継いで、平和を取りもどすため、国造りにその手腕を振るうことになった。

Impressive Words

「父上は突然、人が変わったようにひどいことをするようになって……。何があったのか……」
――サロニア その1：サロニア城に向かう道中にて

DS「城の外に追放するなんて……。私のことを愛してはいないのでしょうか?」
――サロニア城：父への信頼を揺るがせながら

↑ようやく入城を許されたアルスは、不安に揺らぐ心中を光の戦士たちに吐露する。

↑アルクゥとはかけがえのない友だちになる。自分と共通する何かを感じ取ったのだろう。

夢の世界の守護者

ウネ

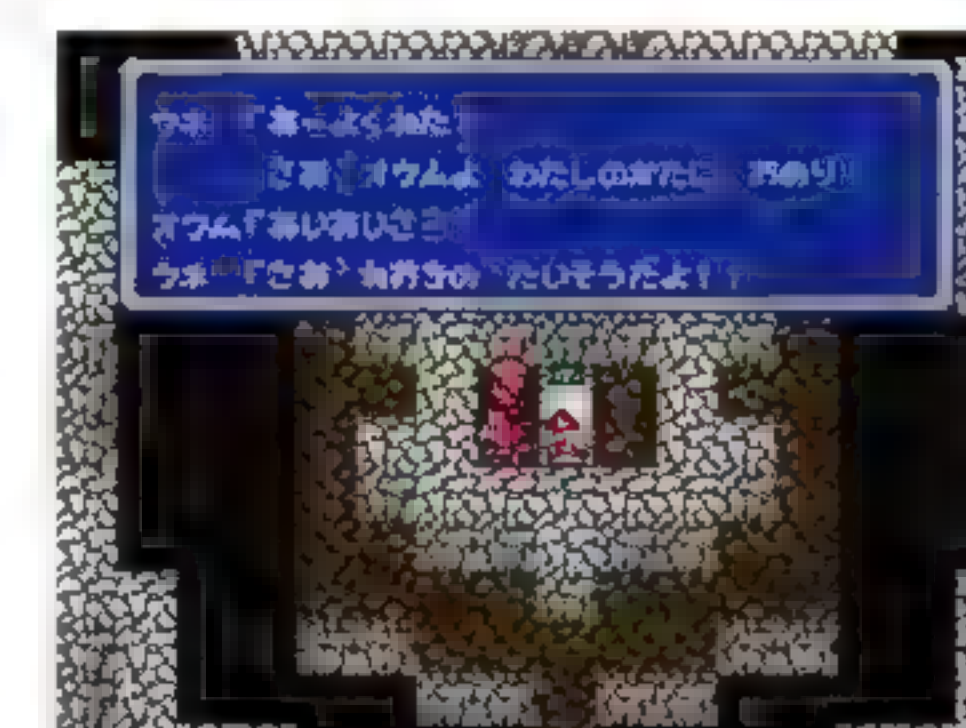
Unei

年齢 不明　登場場所 ウネのほこら、ドーガの洞窟ほか

ドーガと同じく、大魔道師ノアに師事した3人のうちのひとり。師より継いだ夢の世界と現実を行き来する番人で、ふだんは地上世界の薄暗い洞窟で深い眠りについている。夢の世界にも響くノアのリュートの音色でひさしぶりに目覚め、ザンデの悪行を阻止せんと、光の戦士たちにザンデの居城クリスタルタワーへの道を示した。

Impressive Words

「大丈夫。身体は死んでしまっても、魂は滅びはしない……。さあ、行くよ!」
――ドーガの洞窟：シルクスのカギを完成させるために、光の戦士たちに戦いを挑みながら

DS「いつでも、あんたたちを見守っているよ。ザンデのことを救っておくれ……」
――ドーガの洞窟：ルーネスたちに希望を託して

↑ペットのオウムは彼女のトレードマーク。つねに肩に乗せ、どこへ行くのも一緒だ。

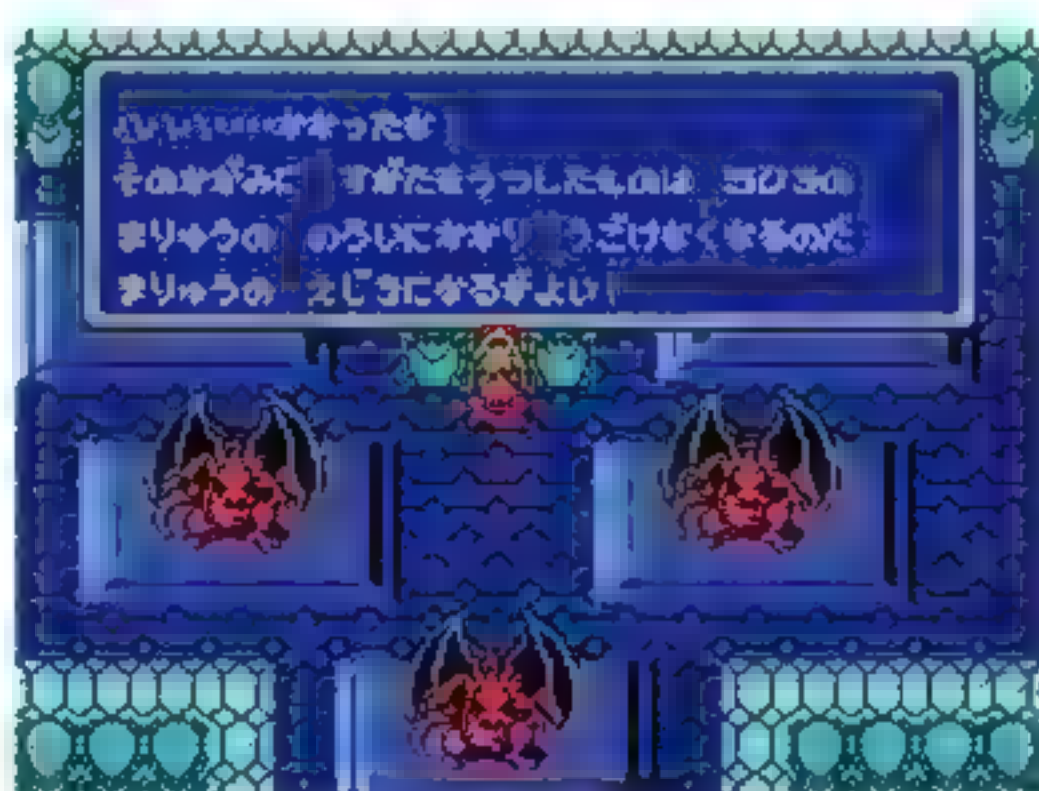
↑自分の命の力をこめたシルクスのカギを光の戦士たちに渡し、この世をあとにする。

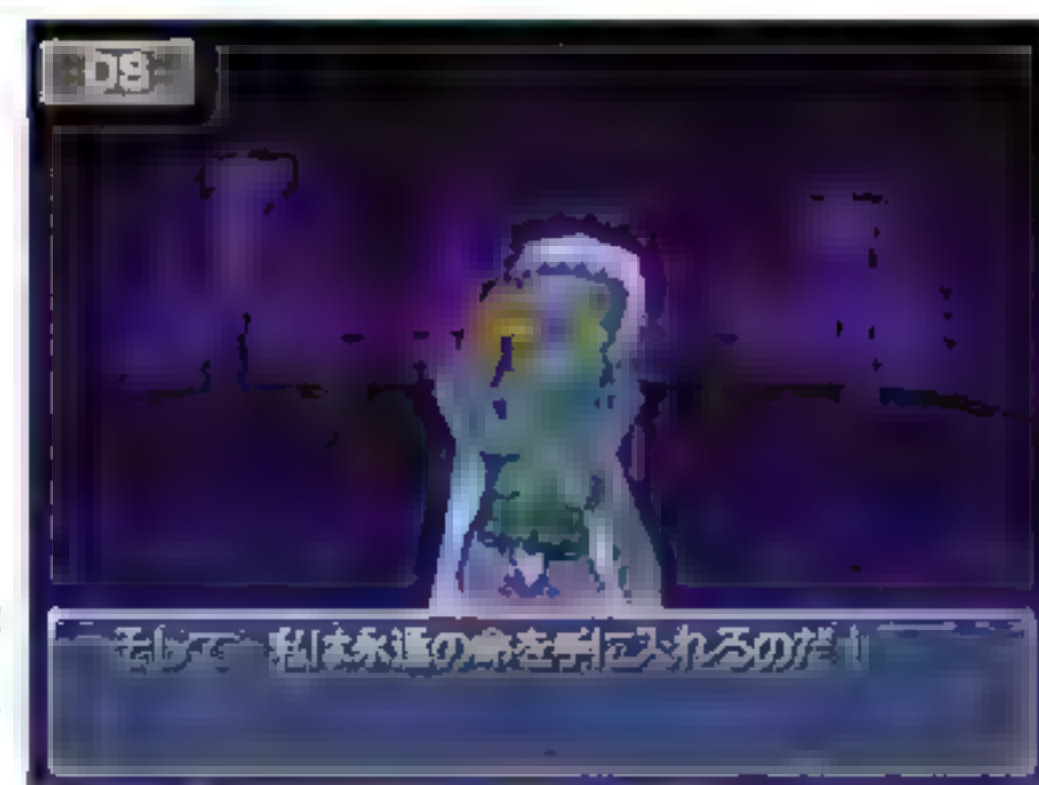
倒すべき者

ザンデ

登場場所 クリスタルタワー

闇を利用し、闇に飲まれた男

古代の民が作り出した装置と土のクリスタルによって、世界全土に異変を招いた魔道師。師であるノアからゆずり受けた「かぎりある人間の命」を不服として、魔王を名乗り永遠の命と世界のすべてを手にしようとする。しかし、光の戦士たちと平和を願う人々の心の力の前に、みにくい野望を果たすことなく最期を迎えた。

⬅クリスタルタワーの最上階では、5匹の魔竜の呪いで光の戦士たちの足止めを画策。己の力を誇示した。

➡圧倒的な闇の力で、ルーネスたちを窮地におとしいれる。自分が暗闇の雲にあやつられているとも知らず……。

Impressive Words

「よくここまできたな。しかし、もう闇はそこまできている」
──クリスタルタワー：光の戦士たちとの決戦を前にして

DS「おまえたちを殺し、世界を完全なる闇でおおいつくす」
──クリスタルタワー：ルーネスたちをあざけりながら

DS「グフッ……。私を倒してもムダだ……。暗闇の雲は、もうすでに……。すべては闇につつまれるのだ……」
──クリスタルタワー：最期のときを迎えて

無の世界を作り出さんとする存在

暗闇の雲

登場場所 クリスタルタワー、闇の世界

光と闇のバランスがくずれたときに現れる、すべてを無に還すための存在。1000年前に起きた光の氾濫で一度は倒されたが、ザンデが引き起こした闇の氾濫によって復活。光と闇のふたつの世界に、今度こそ無をもたらそうとする。

➡光と闇の力をひとつに合わせる以外に、暗闇の雲から世界を救うすべはない。

Impressive Words

DS「私はすべてを無に還すためにやってきた暗闇の雲……。すべてを闇につつみ……。そして光も、闇も無に還す……」
──クリスタルタワー：ルーネスたちの前に姿を現しながら

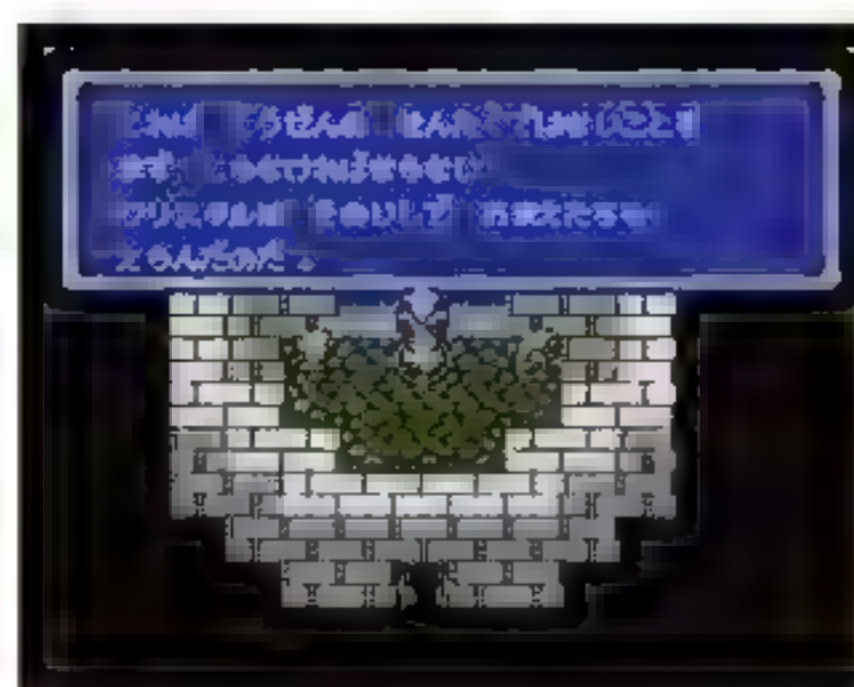
「ファファファ、わしは暗闇の雲！　闇を氾濫させ、この世界を、そしてお前たちの光の世界をも無に還すのだ……！」
──闇の世界：再戦を挑もうとする光の戦士たちに対して

ウルの人々

少年たちの育ての親

トパパ

登場場所 ウル

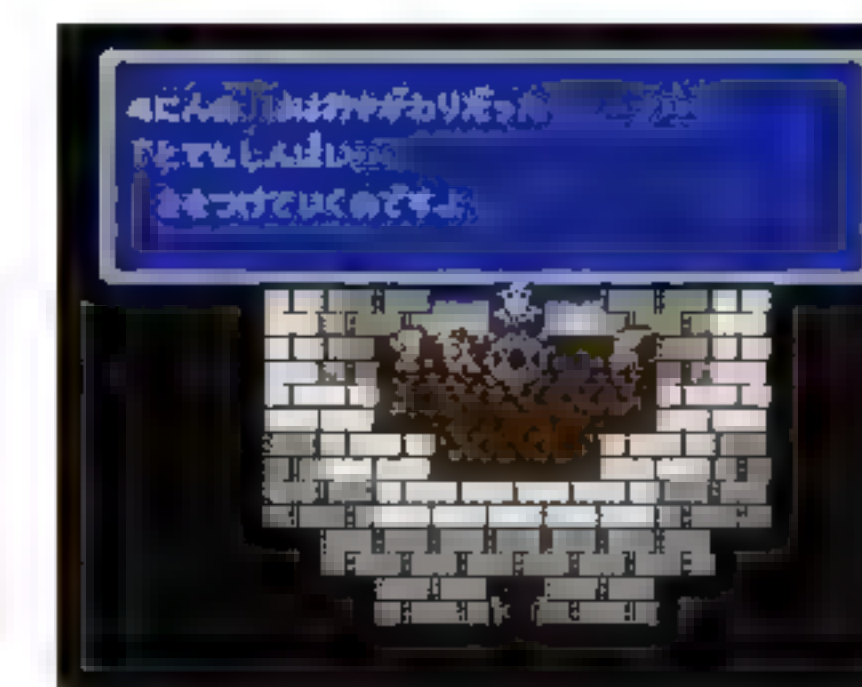
ウルの村の長老のひとり。孤児だった少年たちを引き取り、我が子のように育てた。彼らが風のクリスタルの啓示を受けたことをダーンから知らされ、少年たちが世界を救うとされる光の戦士だと確信する。

Impressive Words

「さあ、その力を……お前たちの光の心をムダにしてはならない。旅立つのじゃ！」
──ウル：旅立ちのときを迎えた少年たちに

光の戦士たちの養母

ニーナ

登場場所 ウル

ウルの村で少年たちの母親がわりだった女性。我が子たちがクリスタルの啓示を受けたと聞き、不安に胸をしめつけられる。だが、その思いを抑え、運命に従って光の戦士として旅立つ少年たちを見送った。

Impressive Words

「とても心配……。気をつけて行くのですよ」
──ウル：光の戦士たちの旅立ちを見送りながら

強い霊感を備えた老人

ダーン

登場場所 ウル

ウルに住む老人で、生まれついての霊感の持ち主。風のクリスタルが少年たちに伝えた啓示を感じ取り、運命の時がきたことをトパパとニーナに伝えた。村人たちからは、長老衆に近い存在として敬われている。

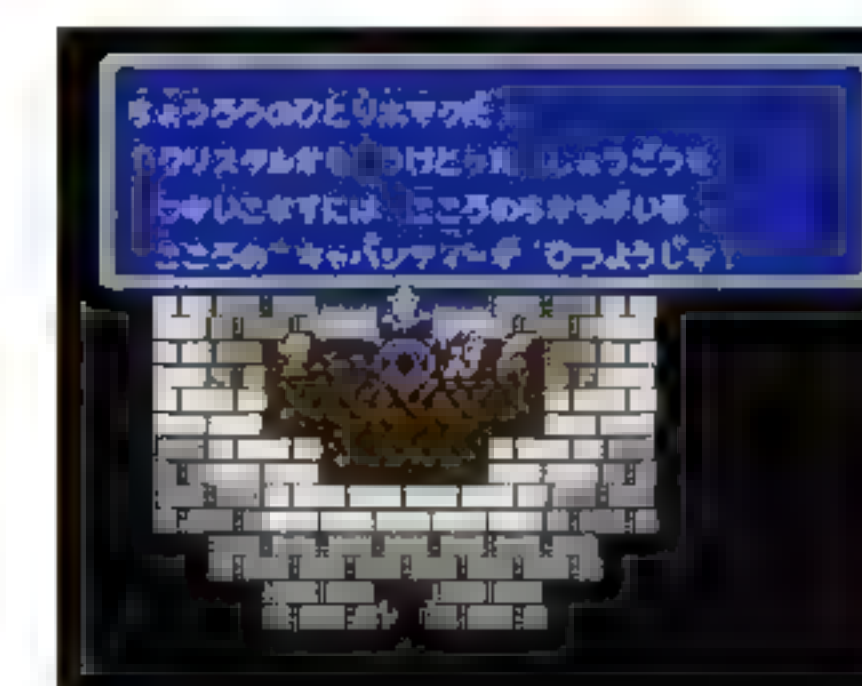
Impressive Words

「私の強い霊感がお前たちに何が起こったのかを察知したのだ」
──ウル：持ち前の霊感ですべてをさとって

ウルの村の長老のひとり

ホマク

登場場所 ウル

ウルの村の長老。光の戦士たちが風のクリスタルから受け取った「称号」の意味と使いかたを教えた。
DS版では ルーネス、アルクゥとの別れをなげくニーナの心中を、彼女にかわって伝える心くばりを見せる。

Impressive Words

「心のキャパシティーが必要じゃ！」
──ウル：少年たちに「称号」の使いかたを伝えようとして

カズスの人々

ミスリル加工に長けた鍛冶屋

タカ

登場場所 カズス

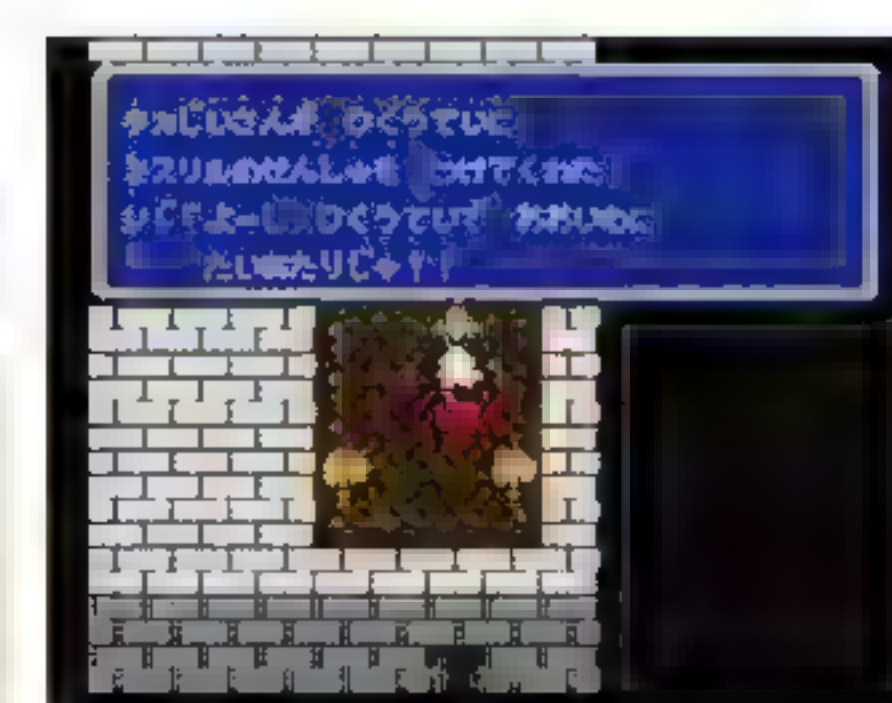
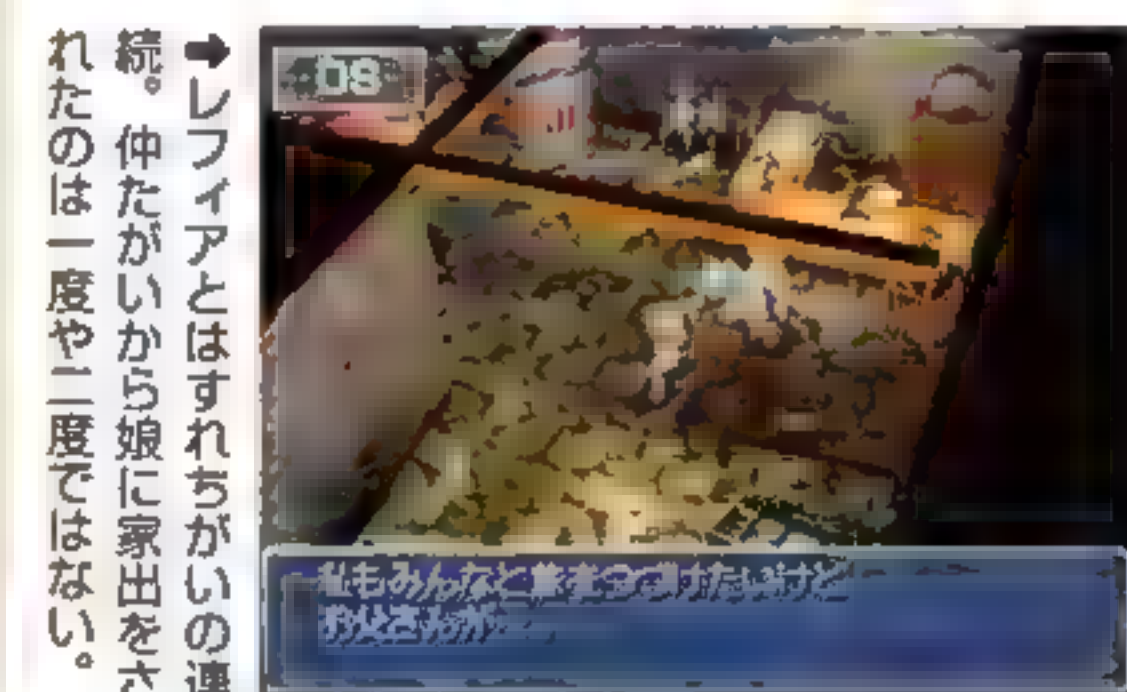
カズスの老鍛冶で、かつて町をあげてサラに贈ったミスリルの指輪の製作者。ジンの呪いが解けたあとは、シドの頼みでネルブの谷の大岩を破壊するためにミスリルの船首を作る。
DS版では 孤児レフィアの育ての親。職人気質が災いし、娘への愛情を素直に表現できない不器用さから、レフィアとのギクシャクした関係に悩む。口を開けば鍛冶屋のことばかりだが、それもレフィアと少しでもコミュニケーションを図ろうとしてのこと。

Impressive Words

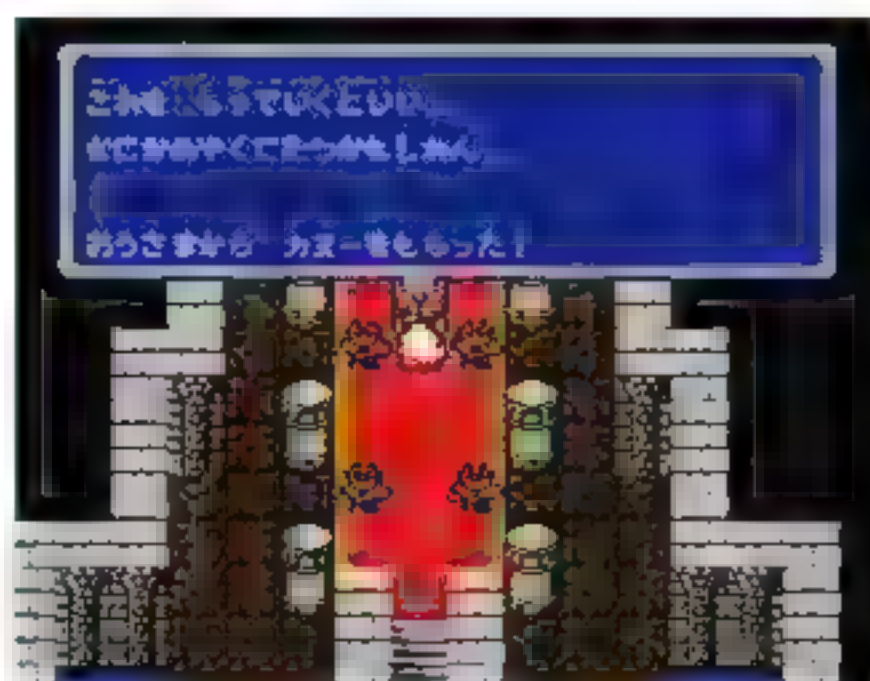
「なーに、礼はいらんよ。村を救ってくれたんじゃからの」
──カズス：シドにミスリルの船首を渡しながら

DS「ミスリルの指輪のことなら帰ってくれ。どいつもこいつもその話ばかり……」
──カズス：幽霊にされたいらだちを隠そうともせずに

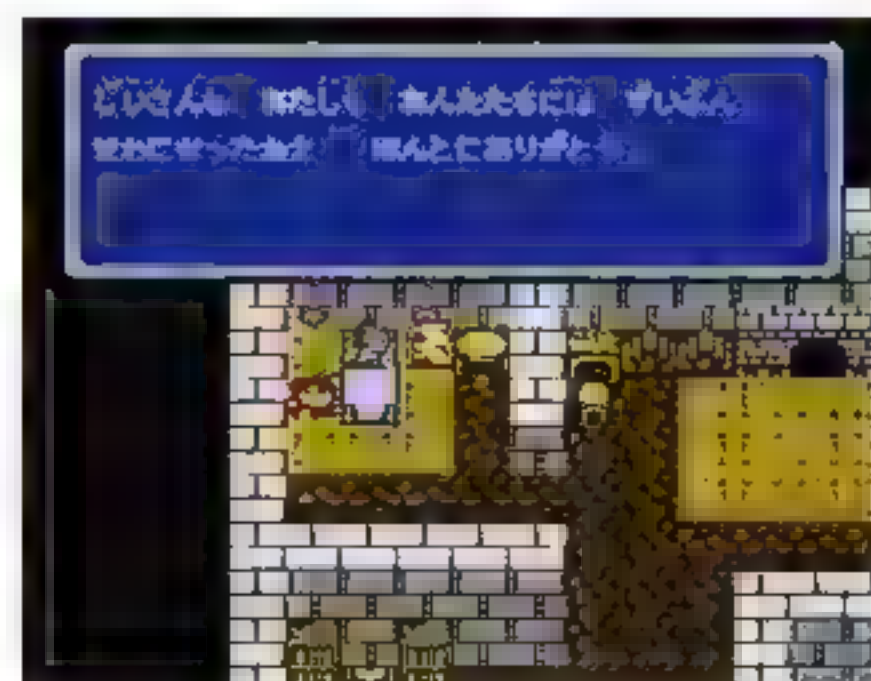
DS「レフィア！　無事じゃったか！　よかった……本当によかった……!!」
──カズス：帰ってきたレフィアに

DS「旅が終わったらかならず帰ってくるんじゃぞ。仕事もたくさんあるからな」
──モグネット：レフィア宛の手紙より

⬅ジンの呪いから村を救った恩人への感謝の気持ちを表すべく、ミスリルの船首を製作する。

➡レフィアとはすれちがいの連続。仲たがいから娘に家出をされたのは一度や二度ではない。

サラ姫の父
サスーン王
登場場所 サスーン城

サスーン城を治める王。ジンの呪いを解いてくれた光の戦士たちに、お礼としてカヌーを与える。DS版では 忠臣のイングズに絶大な信頼を置き、光の戦士として旅立つ彼を誇らしげに見送った。

Impressive Words
「おお、そうだ! 昔カズスよりサラ姫に、ミスリルの指輪が贈られた」
——サスーン城：ミスリルの指輪の所在を問われて

病床に倒れた妻
シドの奥さん
登場場所 カナーン

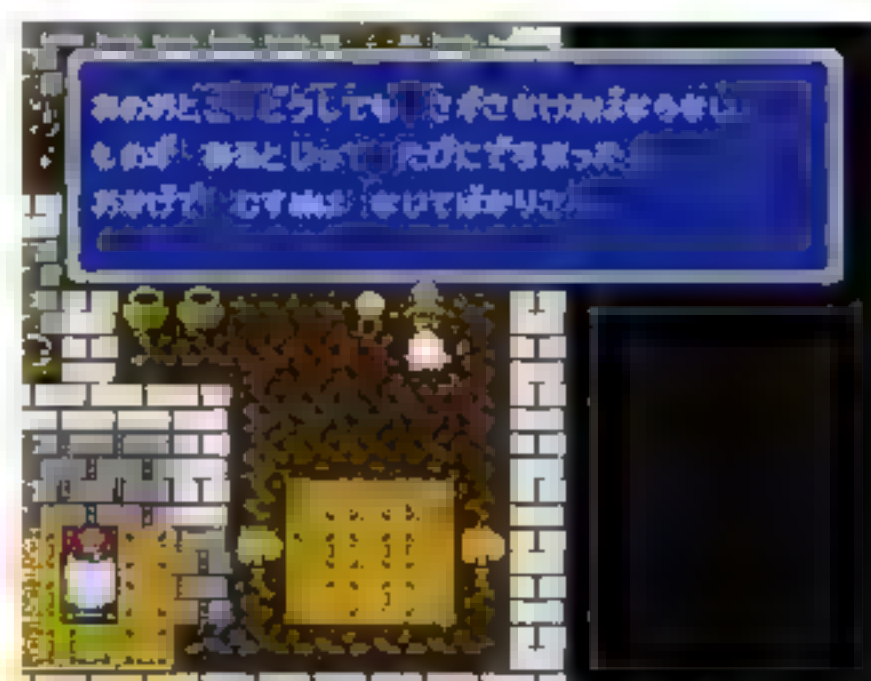
カナーンで夫シドの帰りを待っていた女性。病に倒れていたが、エリクサーによって元気な日々を取りもどす。DS版では 浮遊大陸に移住したシドと、ギサールでの初デートを経て結婚に至った。

Impressive Words
「ほーら、見てごらん!! おかげでこんなに元気になったよ! ほんとにありがとう!」
——カナーン：光の戦士たちからもらったエリクサーで元気を取りもどして

デッシュに想いを寄せる町娘
サリーナ
登場場所 カナーン

カナーンでデッシュと恋に落ちた少女。町を離れたデッシュを慕って涙に暮れていたが、バハムートの巣から帰還した彼とめでたく再会。デッシュが記憶探しの旅を無事に終えることを、心から祈るようになる。

Impressive Words
「えっ!? デッシュがオーエンの塔の炎のなかに!!」
——カナーン：オーエンの塔でデッシュが消息を絶ったと聞いて

娘の幸せを願う母親
ジョリーナ[※1]
登場場所 カナーン

悲しみにうちひしがれる娘サリーナを優しく見守る母。娘を泣かせたデッシュへのうらみを口にすることもあるが、彼の記憶探しの旅が1日でも早く終わり、サリーナが笑顔を取りもどす日がくることを心から願っている。

Impressive Words
DS「デッシュは帰ってこないねえ……。早いとこ娘がよろこぶ顔を見たいよ」
——カナーン：自室で泣いて過ごす娘をふびんに思って

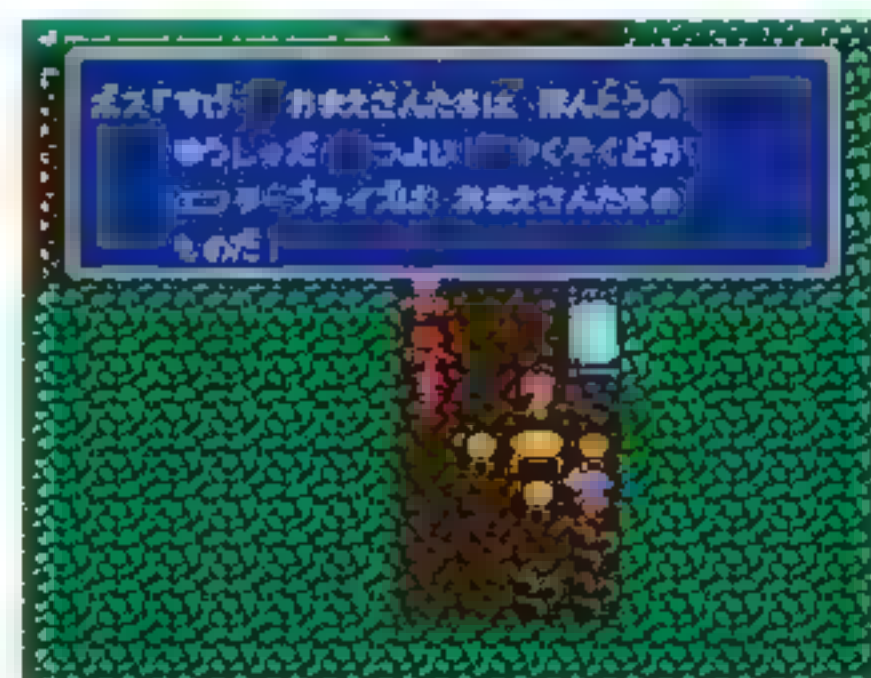
※1……DS版でつけられた名前

腹痛に苦しむ小さな医者
シェルコ
登場場所 トーザス

小人族の村トーザスで唯一の医者。あろうことか食あたりで倒れ、光の戦士たちに助けを求める。毒消しによって回復し、そのお礼にとミラルカへつづくトーザスの抜け道の入口を開いてくれた。

Impressive Words
「ウーン、ウーン……。どく……けし……たのむ……」
——トーザス：腹痛でベッドに伏せ、うわごとのように

海竜の出現に頭を抱える男
バイキングのボス
登場場所 バイキングのアジト

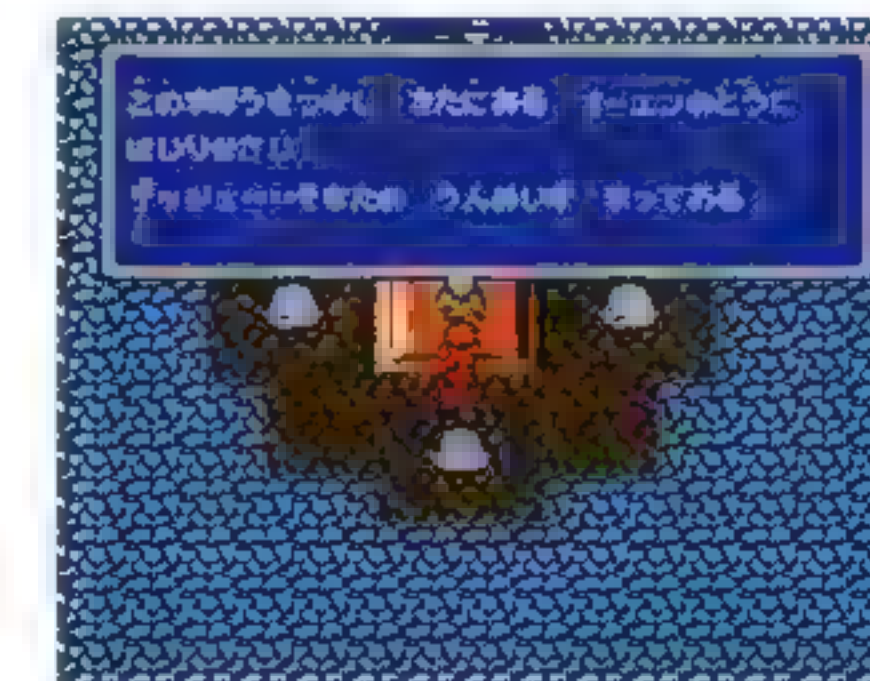
バイキングたちをまとめる首領。ネプト竜の出現によって海に出ることがかなわなくなり、すっかりふさぎこんでしまった。エンタープライズ号と引きかえに、光の戦士たちにネプト竜討伐の取り引きを持ちかける。

Impressive Words
「もしお前さんたちが海竜を退治してくれたら、エンタープライズをやるぜ!」
——バイキングのアジト：光の戦士たちに取り引きを持ちかけながら

心を失って暴走した海竜
ネプト竜
登場場所 ネプトの神殿近海、ネプトの神殿[DS版では「ネプト神殿」]

バイキングのアジト周辺の海域を荒らしていた海竜。ネプトの神殿で眠りについていたが、大ネズミに宝石「ネプトの目」を盗まれたことで心を失い、本能のままに破壊をくり返していた。

Impressive Words
「何者かが大地震を引き起こし、光を地中深く封じたのだ。頼む。光を取りもどしてくれ……」
——ネプトの神殿：ネプトの目を取りもどしてくれた光の戦士たちに感謝しながら

人里離れた地で暮らす隠者
グルガン族
登場場所 グルガン族の谷

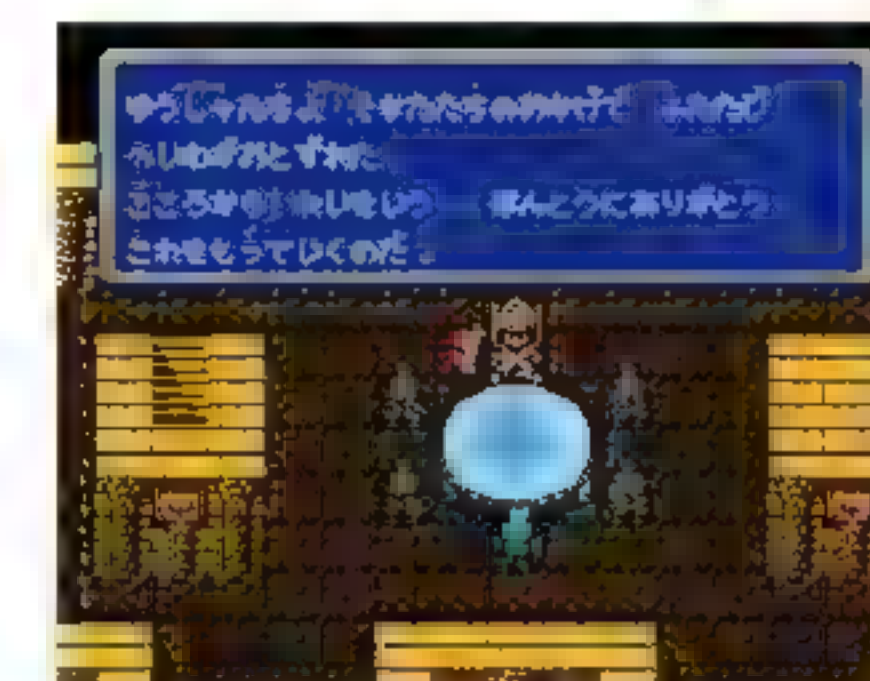
生まれたときから目が見えないかわりに、第六感が発達した一族。なかには未来を予見できる者もおり、光と闇の争いの兆しと、デッシュの記憶の手がかりがオーエンの塔にあることを光の戦士たちに伝える。

Impressive Words
DS「塔が赤い炎を出して、崩れさろうとするとき、運命を変える男は目覚める……」
——グルガン族の谷：記憶を失ったデッシュに

地中に住む無邪気な一族
ドワーフ族
登場場所 ドワーフの洞窟

浮遊大陸の地下に居を構え、古代人の遺産である氷のつのを宝としてたてまつる一族。しかし、盗賊グツコーの知略によって宝を盗まれ、その奪還を光の戦士たちに頼んだ。ログセは「ラリホー」。

Impressive Words
「どーもありがとー! つのとりかえしてくれた!」
——ドワーフの洞窟：氷のつのの奪還を喜びながら

側近に裏切られた王
アーガス王
登場場所 ハインの城、アーガス城

側近のハインに幽閉されたアーガスの王。ハインの城の牢獄で希望を失っていたが、光の戦士たちの活躍で自由の身に。古代人の遺産「時の歯車」を光の戦士にゆずり、彼らが浮遊大陸を離れる手助けをした。

Impressive Words
「これは我が王家に代々伝わる、時の歯車と呼ばれる箱。古代の民が作ったものだという」
——アーガス城：時の歯車を見せながら

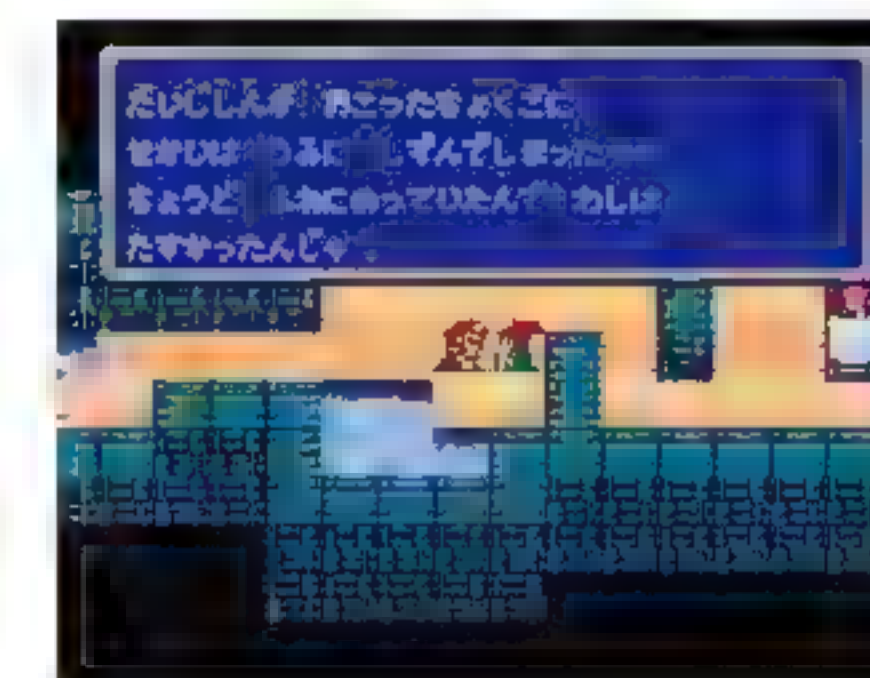
妖精の森を治める大樹
生きた森の長老(※1)
NO IMAGE
登場場所 ハインの城、生きてる森[DS版では「生きている森」]

妖精たちが住まう「生きてる森」を治める長老の木。古代の民が遺した「風の牙」を光の戦士に渡し、ハインに傷つけられた身体をいやすため、森を封印して1000年間の長き眠りについた。

Impressive Words
「やがて闇の力が道をふさぐとき、きっと役に立つだろう」
——生きてる森：光の戦士たちに風の牙を渡して

※1……DS版では「生きている森の長老」

水の巫女を救った恩人
難破船の老人
登場場所 難破船、アムル

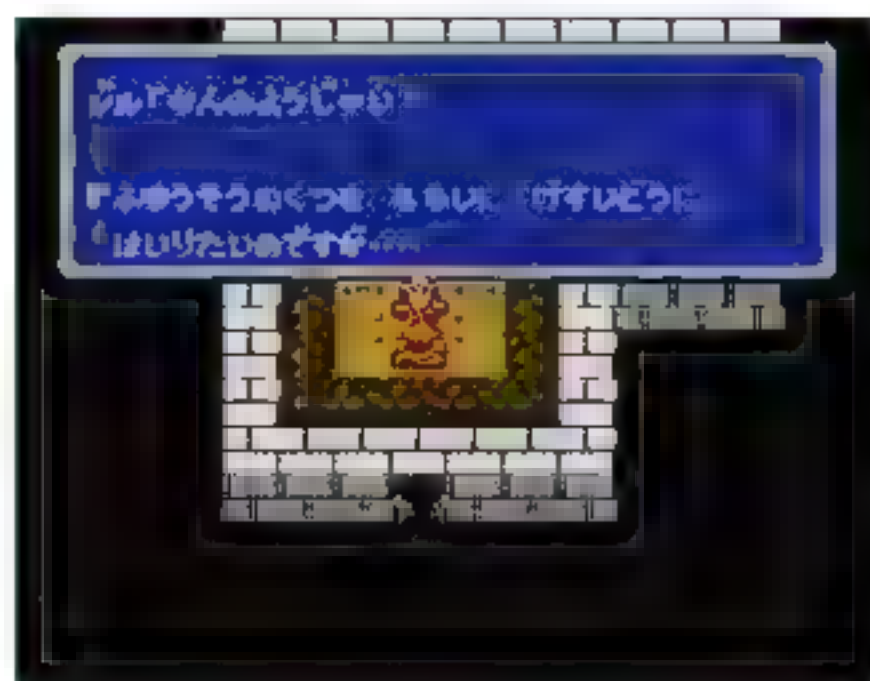
漂流していたエリアを難破船で介護した老人。水のクリスタルが力を取りもどしたあとはアムルに移住する。DS版では 水の巫女に仕える従者。水のクリスタルを封印したエリアとともに、難破船で助けを待っていた。

Impressive Words
「あの娘は板きれにしがみついて漂流していたんじゃ」
——難破船：エリアの容態を心配しながら

各地の人々

ぶっきらぼうなアムルの長

ジル

登場場所 アムル

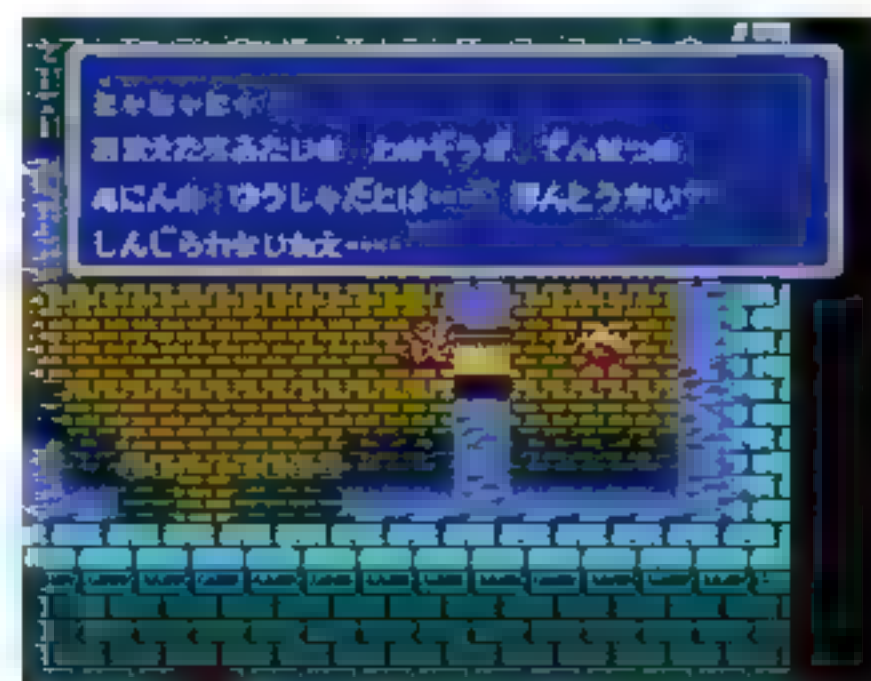
下水道に怪物が棲みついたことで頭を悩ませているアムルの町長。初対面の者にはぶっきらぼうだが、根は善人。町を訪れた少年たちが伝説の光の戦士だと知り、わざわざ自分の手で下水道の鉄格子を開いてくれた。

Impressive Words

「なに! 下水道にじゃと! あそこは、怪物が出るので封鎖してあるんじゃ!」
——アムル：光の戦士たちを止めようとしながら

下水道に住む変わり者

デリラ

登場場所 下水道

アムルの下水道で暮らす偏屈な老婆。光の戦士の訪問をこころよく思わず、浮遊草のくつに似せた爆弾でだまそうとしたが、4人組のじいさんの乱入で失敗。じいさんたちの説得で光の戦士に協力する。

Impressive Words

「おやまあ! それは知らなんだ。悪かったねえ」
——下水道 4人組のじいさんに事情を聞いて

息子のために死を選んだサロニアの王

ゴーン

登場場所 サロニア城

大臣ギガメスに身体をあやつられ、凶行に走ったサロニア城の王。愛する息子アルスまでもその手にかけようとしたが、わずかに残った意識を振りしぼって自害を選び、息子の命を救ってギガメスのたくらみを頓挫させた。

Impressive Words

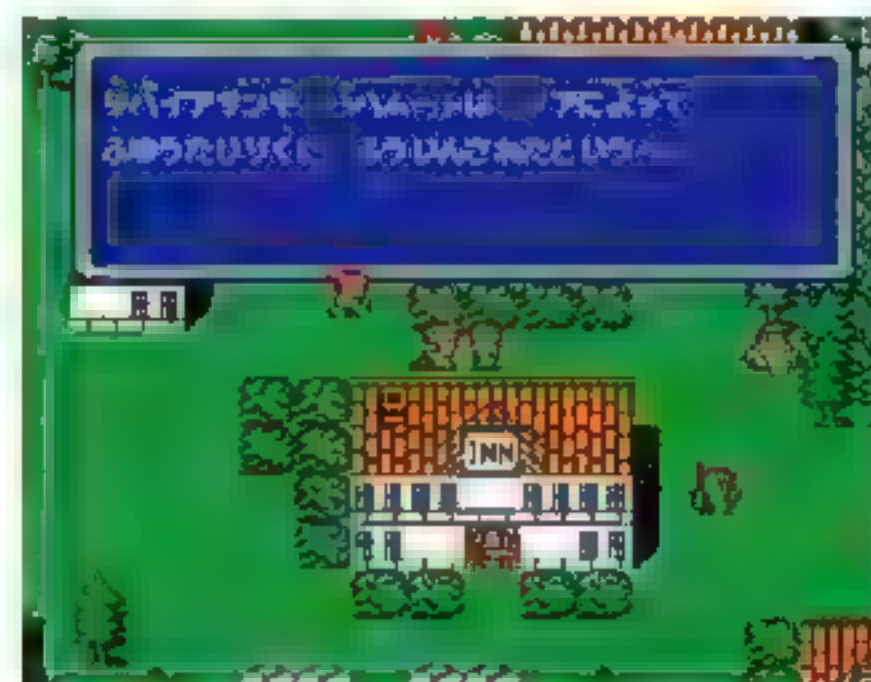
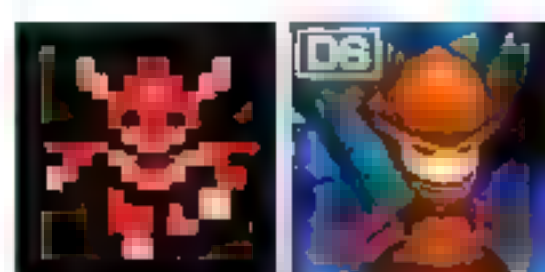
「わしのあとをつぎ、サロニアにふたたび平和を……。うっ……」
——サロニア城：消えゆく意識を振りしぼりながら

伝説の大魔道師

ノア

NO IMAGE

登場場所 —

リバイアサンやバハムートすらもあやつったと伝えられる大魔道師。ドーガ、ウネ、ザンデの師匠にあたる。すでに故人であり、死のまぎわにはドーガに魔力を、ウネに夢の世界を、ザンデに人間としての命をわけ与えた。

←大魔道師ノアが遺した数々の偉業は、いまも地上世界のあちこちで伝説として語り継がれている。

ダーククリスタルに選ばれし者

闇の4戦士

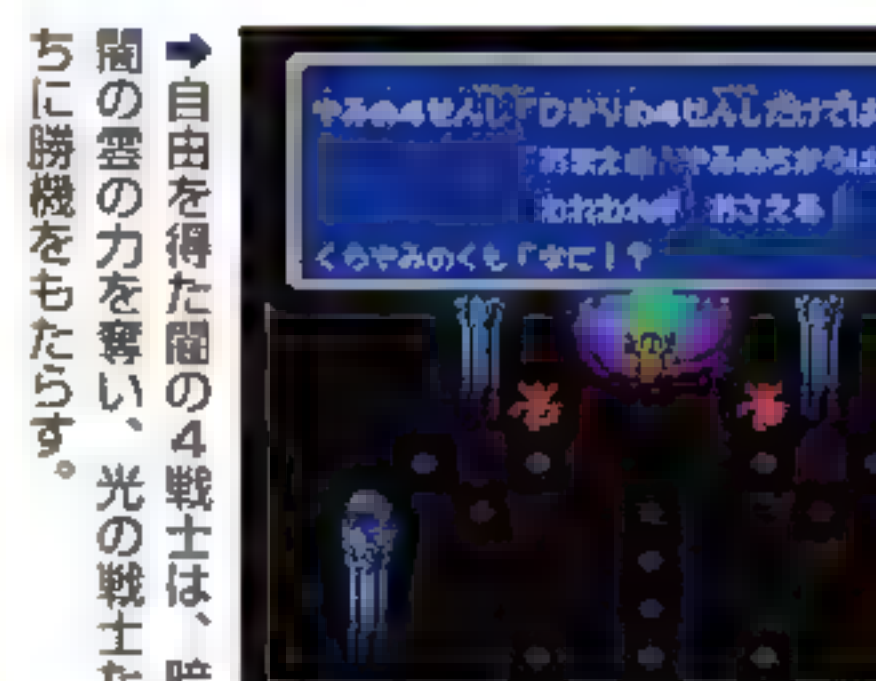
登場場所 闇の世界

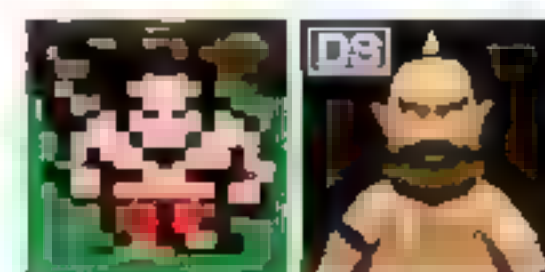
闇の世界にある4つのダーククリスタルが選び出した戦士たち。1000年前に起こった光の氾濫では、光の戦士たちの協力を得て暗闇の雲を倒し、世界が無に還ることを食い止めたと伝えられる。闇の世界を手に入れたザンデによってダーククリスタルとともに封印されていたが、光の戦士たちの活躍で自由の身に。光と闇の双方の世界を無に還そうとする暗闇の雲に立ち向かうべく、1000年前と同様に光の戦士たちとの共闘を決意した。

Impressive Words

「光と闇……。2つの世界は互いに引き合っている。そして、その2つの世界が1つにまじり合うとき、そこには何もない無の世界が生まれる」
——闇の世界：封印を解いた光の戦士たちに

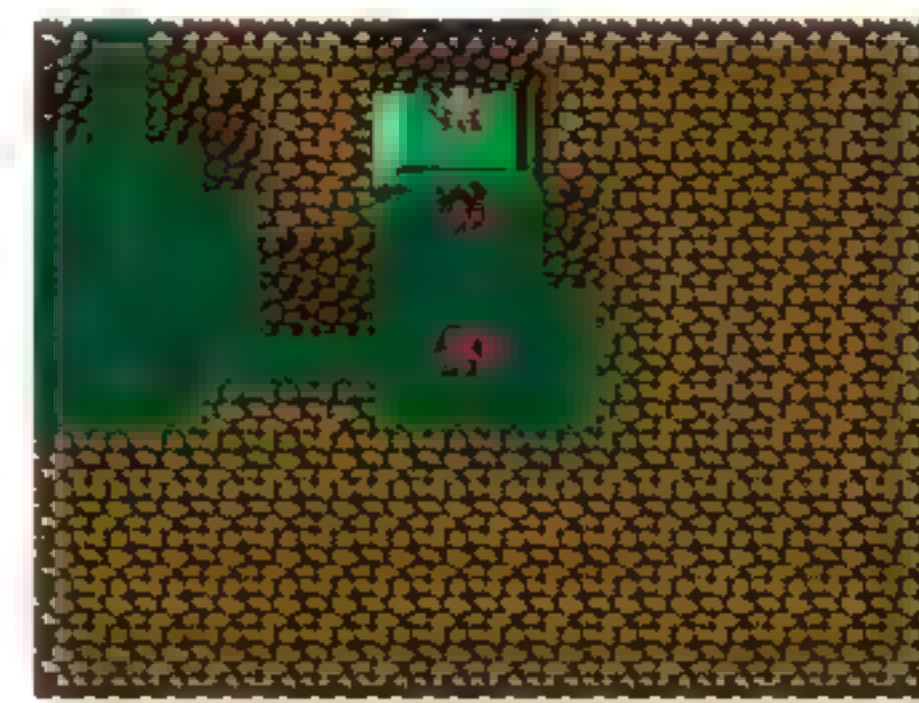
DS「まだ光の世界にも、そしてこの闇の世界にも、それをこばむ希望や愛が残っている! それが、残っている限り、まだ無に還るのは早いのだ!」
——闇の世界：光の戦士たちに希望を見いだしながら

←光の戦士たちがダーククリスタルの封印を解いたことで、闇の戦士たちは復活をとげた。

→自由を得た闇の4戦士は、暗闇の雲の力を奪い、光の戦士たちに勝機をもたらす。

行く手をはばむ者

人々に呪いをかけた魔人

ジン

登場場所 封印の洞窟

封印の洞窟に封じられていた、呪いの力を持つ炎の魔人。大地震によって封印から解かれ、サスーン城やカズスの人々に呪いをかけた。かつてはミスリルを苦手としていたが、闇の力でそれを克服し、光の戦士たちに襲いかかる。

←闇で力を増幅したジンは、勝利を確信して、光の戦士たちとサラに襲いかかった。

Impressive Words

「ファファファ……。いまの俺さまには、そんなもの通用しないわ」
——封印の洞窟：ミスリルの指輪をかざしたサラを見くだしながら

ドワーフの宝を盗んだ希代の盗賊

グツコー

登場場所 ドワーフの洞窟、地底湖ほか

ドワーフの宝「氷のつの」を奪った盗賊。光の戦士の影に化けてまわりの目をあざむくなど、知略に長ける。氷のつので火のクリスタルを得て、そこから真の力を引き出そうとしたが、光の戦士たちの前に敗北する。

←火のクリスタルから力を得たグツコーは、サラマンダーと化して光の戦士に襲いかかった。

Impressive Words

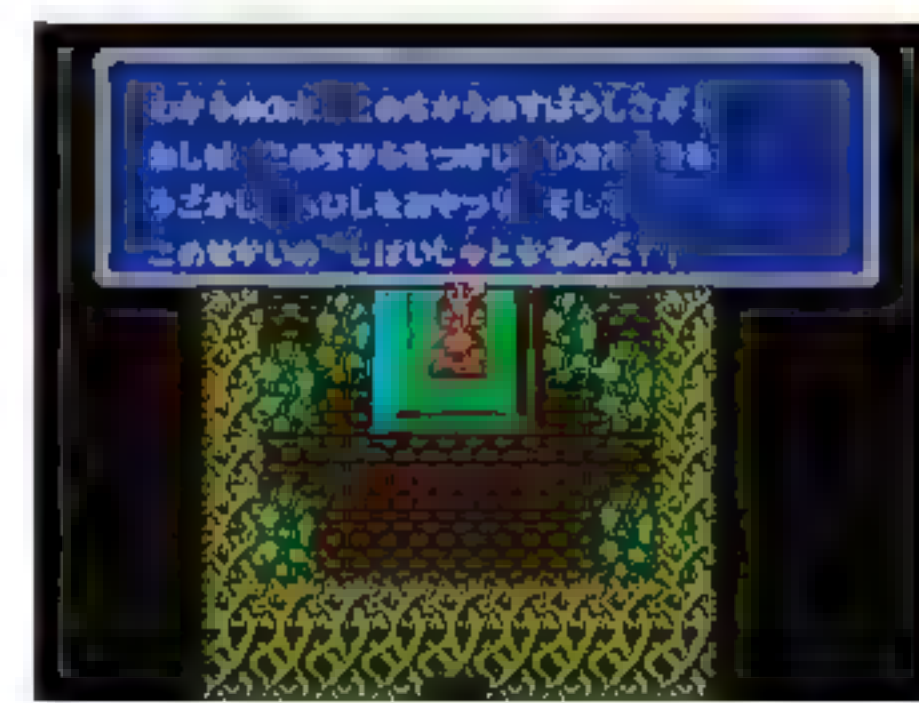
「このつのは氷のつの。炎をしりぞけクリスタルへの道をひらくのだ!」
——ドワーフの洞窟：まんまと氷のつのを盗み出して

DS「光の啓示を受けたおまえたちを倒さなければ、本当の火の力は手に入らん。悪いが、おまえたちには死んでもらう!」
——炎の洞窟：自分を追ってきた光の戦士たちに

闇の力に己を忘れた魔道師

ハイン

登場場所 ハインの城

アーガス王の側近だった神官。闇の力に魅入られて正気を失い、世界の支配者となるべく蛮行に走る。生きた森の長老をくりぬいてみずからの城を造るばかりでなく、呪いでアーガス兵をあやつり、トックルの村で略奪をくり返した。

←闇の力を誇示して悦に入る。アーガス王を幽閉し、世界のすべてを掌握しようとした。

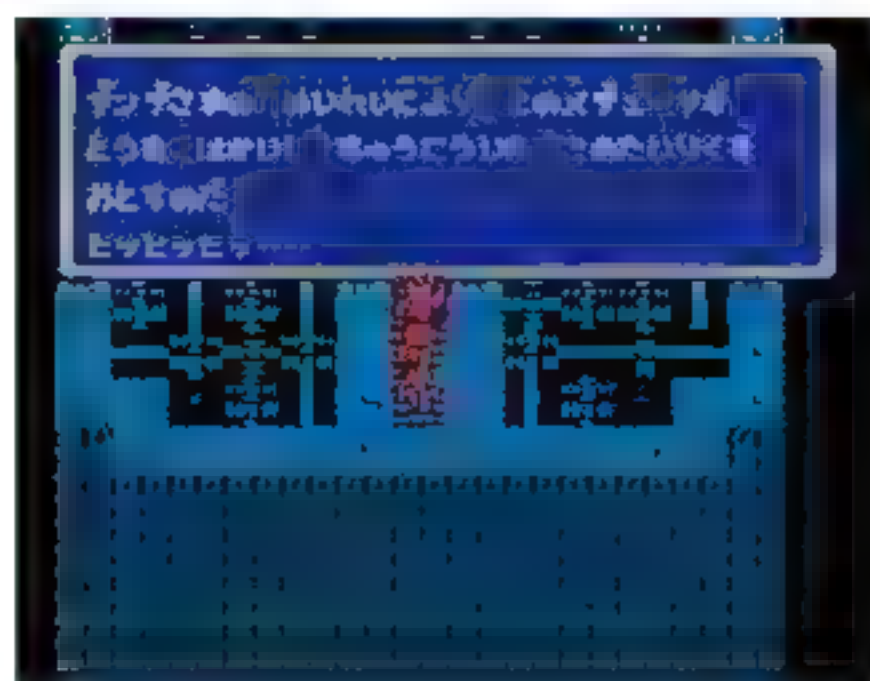
Impressive Words

「すばらしい……。この暗黒の生み出す力は美しい……。わからぬのか、この力のすばらしさが!」
——ハインの城：闇の力の大きさに酔いしれながら

行く手をはばむ者

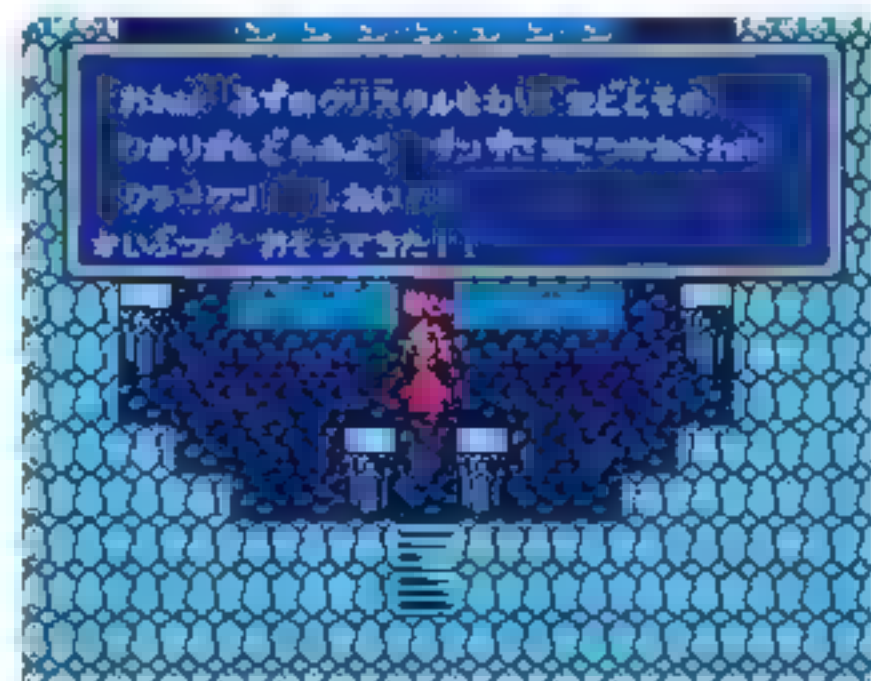
塔の破壊を命じられた魔物
メデューサ

登場場所 オーエンの塔

浮遊大陸を落下させるために、オーエンの塔の破壊をザンデより命じられた魔物。塔に潜入した光の戦士たちとデッシュをあざけり、みずからの力を過信したことから、あと一歩のところで計画を阻止される。

Impressive Words
「ようこそ、オーエンの塔へ。ここがきさまらの墓場となるのだ……」
――オーエンの塔：塔に入ってきた光の戦士たちに語りかけ

クリスタルの間で待つ暗殺者
クラーケン

登場場所 水の洞窟

水のクリスタルの破壊と、光の戦士の暗殺をくわだてたザンデのつかい。しかし、水の巫女エリアの捨て身の行動で計画は失敗。光の戦士たちに返り打ちにされ、任務を果たせぬまま水のクリスタルの間で息絶えた。

Impressive Words
「光の戦士すら一瞬にして消し去る呪いの矢をよけるとは、運のいいやつよ」
――水の洞窟：光の戦士たちの暗殺に失敗して

金をこよなく愛する男
ゴールドル

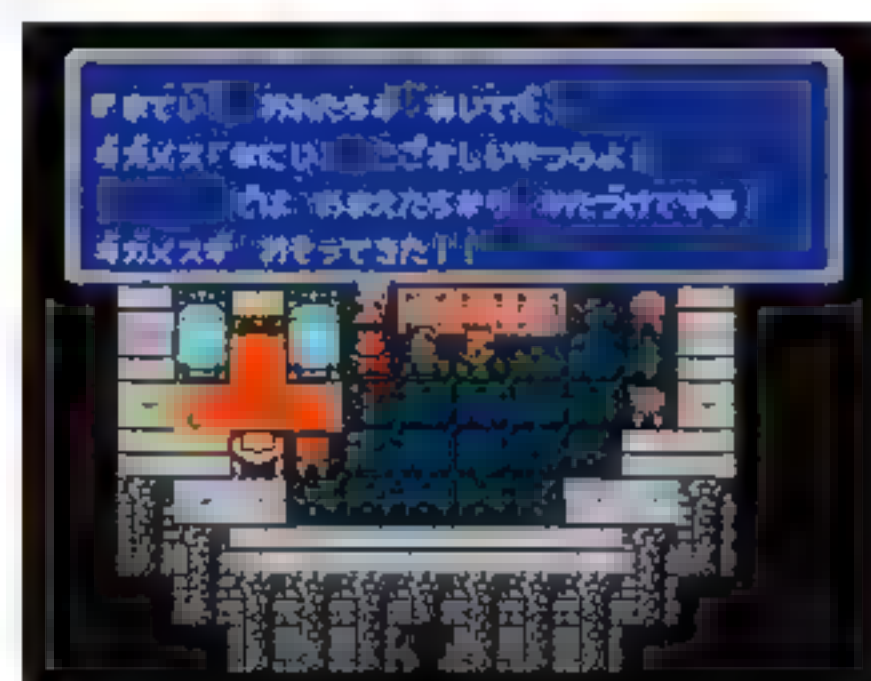
登場場所 ゴールドルの館

金を生み出すクリスタルを使って、私腹を肥やしている男。クリスタルとそこから得た黄金を奪われまいと、エンタープライズ号に鎖をかける姑息な手段で、光の戦士たちの動きを封じる作戦に出た。

Impressive Words
「ちくしょう! お前らにクリスタルを取られるくらいなら、こうしてやる!」
――ゴールドルの館：金のクリスタルを壊そうとしながら

怪鳥が化けた仮の姿
ギガメス

登場場所 サロニア城

怪鳥ガルーダが化けている姿。サロニアの大臣として国王ゴーンに近づき、彼をあやつって国に混乱をもたらした。だが、ゴーンとアルスの親子の絆によって正体を見破られ、光の戦士たちに倒される。

Impressive Words
「くっそー、なぜ俺の術が破れた!」
――サロニア城：呪縛から逃れたゴーン王に

土の牙を守る者
ヘカトンケイル

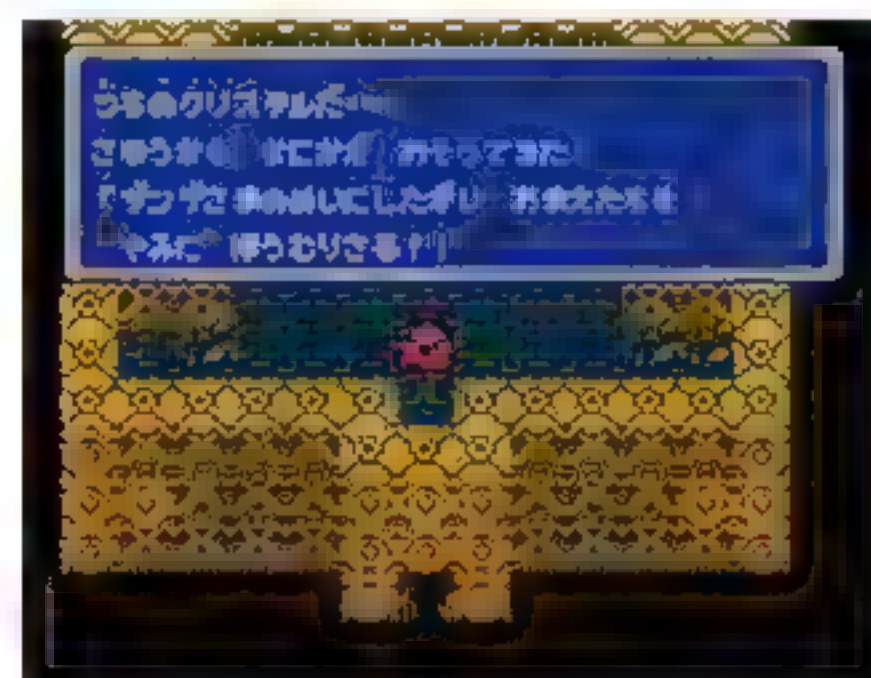
登場場所 暗黒の洞窟

暗黒の洞窟に納められていた古代の民の遺産「土の牙」の守護者。土の牙を手にしようとした光の戦士たちを侵入者と見なし、古代人から与えられた番人としての務めを果たすために襲いかかった。

Impressive Words
「長きに渡る封印を破る者は誰だ!」
――暗黒の洞窟：土の牙を守るべく、眠りから覚めて

ザンデが送りこんだ刺客
ティターン

登場場所 古代の民の迷宮

光の戦士たちによって土のクリスタルが光を取りもどすことを阻止せんと、ザンデからつかわされた魔物。任務を遂行しようと光の戦士たちを襲撃するが、戦士として力を増した彼らの前には歯が立たなかった。

Impressive Words
「ザンデさまの命に従い、お前たちを闇にほうむりさる!!」
――古代の民の迷宮：光の戦士たちに襲いかかりながら

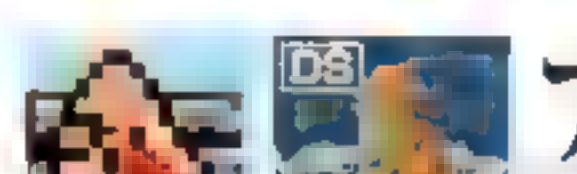
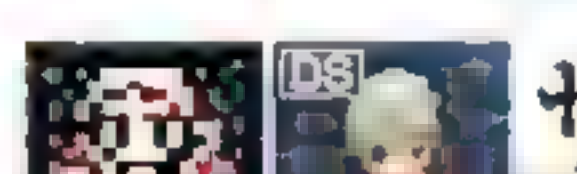
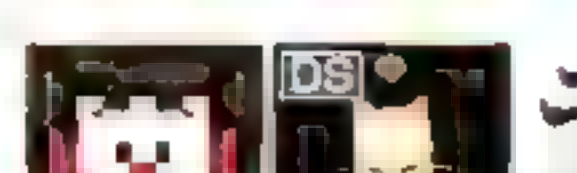
そのほかのおもなサブキャラクター

各地の人々

古代人の末裔たち
登場場所 古代人の村
Words 「それは古代人たちが引き起こした恐ろしい災いじゃ」
かつて超文明を築き上げ、地上世界から大陸を浮遊させるほどの技術を持っていた古代人たちの子孫。

小人たち
登場場所 トーザス
Words 「お医者さんのシェルコ先生が大変だー!」
トーザスに住む、身体の小さな一族。村にひとりしかいない医者のシェルコが倒れて困っていた。

バイキングのじっちゃん
登場場所 バイキングのアジト
Words 「わしはバイキングのなかでも一番の年寄りのじっちゃんじゃ」
バイキングで一番の年寄り。光の戦士たちにネプト竜が暴れ出した経緯を伝える。

妖精たち
登場場所 生きてる森【DS版では「生きている森」】
Words 「アーガス城の神官ハインが、長老に呪いをかけたの」
生きてる森に住まう妖精たち。ハインが弱点を変える技、バリアチェンジの使い手であることを教える。

アルスのじい1(※1)
登場場所 サロニア その1【DS版では「サロニア南西」】
Words 「おお、これはアルス王子! さあ、これをお持ちください!」
城を追放されたアルス王子を追って城下町にやってきた老人。ドラゴンメイルをくれる。

サロニアのエンジニア
登場場所 サロニア城
Words 「空飛ぶ船ノーチラスを使ってください。さあ、運ぶぞ!」
飛空艇を研究する学者たち。古代人の遺跡で発掘されたノーチラス号を整備し、光の戦士たちに提供した。

モーグリたち
登場場所 ドーガの館
Words 「ザンデさまも、いい人だった」
ドーガの館で暮らす生き物で、ノアやザンデのことにくわしい。DS版ではモグネットにも登場。

つるぎざき
登場場所 ギサール
Words 「あたし、つるぎざき。お手紙いっぱい書くの!」
ギサールにある宿屋の奥で手紙をしたためる少女。DS版には登場しない、FC版のみのキャラクター。

オウム
登場場所 ウネのほこら
Words 「そのリュートは、もしかしてノアのリュート?」
ウネのペット。ウネが夢の世界にいるときは、ベッドのかたわらで彼女の目覚めを待っている。

ものしりじいさん
登場場所 ギサール
Words 「おまえさんたちの、今までの冒険の記録を見ることができるぞい」
戦闘回数や宝箱回収率などを教えてくれる老人。FC版のつるぎざきにかわって登場したキャラクター。

でぶチョコボ(※2)
登場場所 チョコボの森ほか
Words 「よーお、なんか用かーい?」
ギサールの野菜につられて現れる、食いしん坊の巨大なチョコボ。光の戦士たちのアイテムを預かってくれる。

オーディーン
登場場所 サロニアの地下の迷路【DS版では「サロニアの地下迷宮」】
Words 「誰だ? 私を深き眠りから目覚めさせようとする者は……」
自分の強大な力を利用されることを恐れ、サロニア城の地下で眠りについていた、心優しい騎士。

リバイアサン
登場場所 ドールの湖
Words 「我はリバイアサン。光ある者にしか力は貸さん!」
大魔道師ノアが、浮遊大陸のドールの湖に封印した召喚獣。自分を解き放てる者を待ちつづける。

バハムート
登場場所 バハムートの巣、バハムートの洞窟
Words 「見事、私を倒してみよ!」
光の戦士たちを、我が子のエサにしようとした竜王。ノアの手で浮遊大陸に封印されていた。

伝説の鍛冶屋
登場場所 ウル、ファルガバードほか
Words 「私は、伝説の金属を求めて、世界を旅している鍛冶屋よ」
伝説の金属オリハルコンを求めて放浪している女性鍛冶屋。アルテマウェポンなどを作り、光の戦士たちに渡す。

※1……DS版では名前なし　※2……DS版では「デブチョコボ」

ULTIMANIA CHECK 石井浩一氏に聞く「モーグリ」

『Ⅲ』から登場したモーグリは、チョコボと同じく石井浩一氏が生み出した、『FF』を代表するマスコットキャラクターだ。この小さな生き物についても石井氏に語っていただいた。

小学生時代の落書きがベース

——モーグリは不思議な姿をしていますが、あのデザインはどのようにして生まれたのですか？

石井　僕が小学生のときに描いた落書きがもとになっていますね。あのころは、いろんな動物図鑑を見ながら架空の生物を考えて、よく画用紙に描いていたんですけど、そのなかのひとつがモーグリだったんです。

——そんな昔から描かれていたんですか。

石井　当時の僕のイメージでは、モーグリが空中に浮くときは、身体をふくらませて背中にあるコウモリの羽をパタパタさせながらゆっくり上がっていく、という感じでした。なまけ者で、白い玉みたいなモーグリが洞窟のなかにプカプカとたくさん浮いていて、ときどき地面に落ちてしまうような、ちょっとボーッとした性格だと考えていたんです。でも、僕の絵をもとにして描いてもらった天野喜孝さんのモーグリ(『Ⅵ』のモグ)のイラストで目が細くなっているのを見て、そういうしたたかなイメージのほうがいいなと思いましたね。結果的に、優等生的なチョコボとの対比ができましたし。

——デザインとしては、頭に付いているボンボンがとても特徴的です。

石井　あれも、天野さんがくっつけたものです。たぶん天野さんも、イラストを描くときに感覚的に付けただけで、とくに意味はないと思いますけど(笑)。でも、アクセントとしてはすばらしいデザインですよね。あのイラストをはじめて見たときには、空を飛ぶときに頭のボンボンが風船みたいにふくらんで浮き上がるのもいいな、なんて考えていました。

——モーグリの初登場は『Ⅲ』でしたよね。

石井　じつは、『Ⅱ』のころからモーグリのグラフィックは描いていたんですよ。ただ、物語のなかで使いどころがなかったので、羽をはずしてキバを生やし、身体を黄色に塗って、ジャイアントビーバーというキャラクターに変えて『Ⅱ』に登場させたんです。だから、ファミコン版のジャイアントビーバーのドット絵(→P.51)は、モーグリなんです……夢がなくなる話ですけど(笑)。『Ⅲ』のときは、『Ⅱ』でチョコボを出したから今回はちゃんとモーグリを出したいと思っていましたが、僕はシナリオにはタッチしてなかったので、スタッフに「どこかで使ってよ」とお願いして登場させてもらいました。

——「モーグリ」という名前には、なにか由来があるのでしょうか？

石井　『XI』のヴァナ・ディールなんかもそうなんですが、僕はいつも、何かの名前を考えるときには単語が突然頭のなかに浮かんでくるんです。だから、モーグリもとくに深くは考えずに、思い浮かんだ名前をつけた感じですね。「モグラとコウモリを組み合わせてつけた」という記憶もあるけれど、自分としてはモーグリにモグラの要素は入れてないから、どうしてそんな記憶があるのかよくわからない(笑)。

➡ファミコン版『Ⅰ』『Ⅲ』の開発当時に作られた貴重な資料を見ながら、石井氏にチョコボとモーグリの話をうかがった。

ぬいぐるみ化が目標だった

——チョコボとモーグリは、よくペアで活躍しますけれど、何か理由があるんですか？

石井　なぜなんでしょうね？　『FF』シリーズで一番目立つマスコットキャラクターだから……でしょうか。マスコット的なキャラクターはいろいろ出てきたはずなのに、この2匹ばかり目立っているのは不思議ですよね。ひとつ考えられるのは、色が良かったのかもしれません。チョコボの黄色やモーグリの白は、くまのプーさんとかキティちゃんみたいに、愛されるキャラクターの色だと思うんです。キャラクターにとって色は大事な要素ですからね。じつは、いまだから言えますけど、チョコボとモーグリともう1匹のキャラクターで、動物の視点から見たお話を描くゲームを作ろうと思っていたんです。バトルがない、閉鎖的な空間で遊ぶようなものを想定していて、3匹を3すくみの関係にしていました。そのときは、モーグリがチョコボに対して優勢という設定でしたが、偶然にも現在の2匹の関係とピッタリ合ってますね。

——『FF』シリーズはもちろん、ほかのたくさんの作品にもモーグリが登場しますが、それぞれデザインが大きく変わっていますよね。

石井　基本的に、『FF』のナンバリングタイトルに関しては、モーグリやチョコボについて口を出さないようにしています。作品ごとに、その世界に合った頭身とかデザインがあるはずですから、そこに僕だけのこだわりを入れると、ゲーム中で浮いた存在になってしまうと思うんですよ。なので、そのあたりは担当するスタッフに全部おまかせしています。

——石井さんが個人的に気に入ったモーグリのデザインはありましたか？

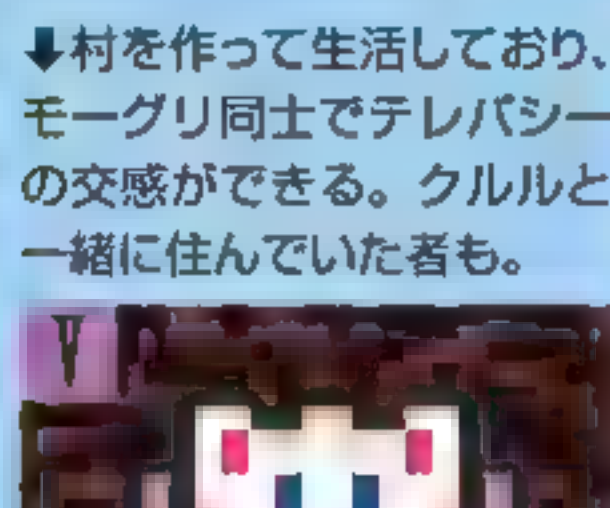
石井　わりと好きだったのは、『X』でルールーが持っている、目がバツの形になったぬいぐるみですね。自分が想像していたモーグリのぬいぐるみのイメージと近かったので。最初にモーグリをデザインしたときには、ぬいぐるみにしてほしいと思いながら描いていたんです。自分はもともと、子どもたちに愛されるキャラクターを作りたかったんで……小さな子どもたちって、ぬいぐるみをとても大事そうに抱えますけど、そんな存在になれるキャラクターを作りたかった。モーグリには、そういう思いがこめられていますね。

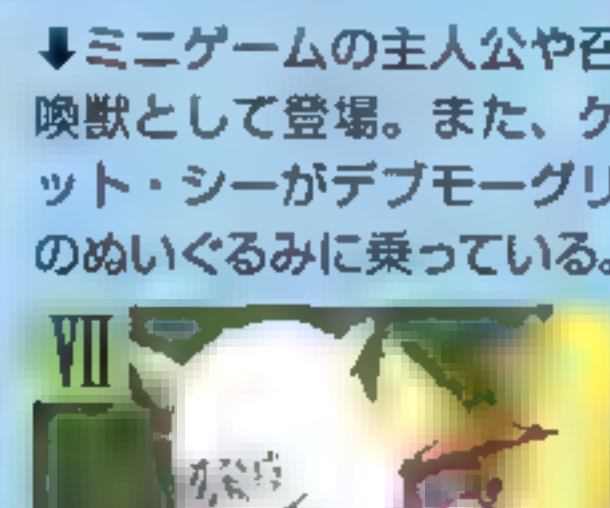
——では最後に、チョコボとモーグリの生みの親から、『FF』ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

石井　チョコボとモーグリは、確かに自分が生みの親ですけど、たくさんのスタッフが大事に育ててくれて、ユーザーのみなさんが愛してくれたからこそ、これだけのキャラクターになったわけで、それはとてもありがたいことだと思っています。これからも、いままでどおり愛してもらえるとうれしいですね。

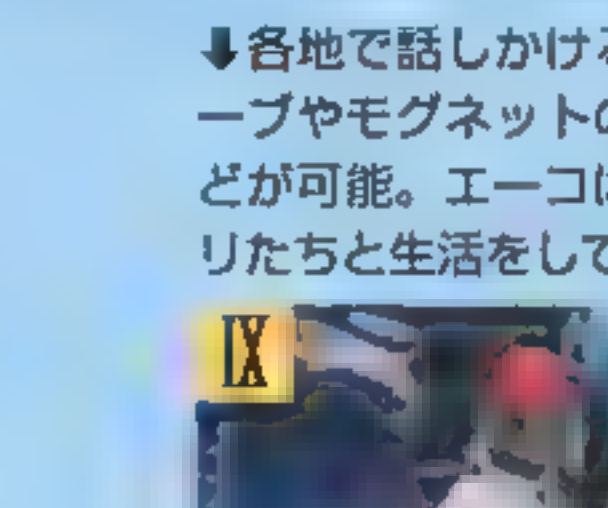
大事に育てられてきたチョコボとモーグリを　これからも愛してもらえるとうれしいです

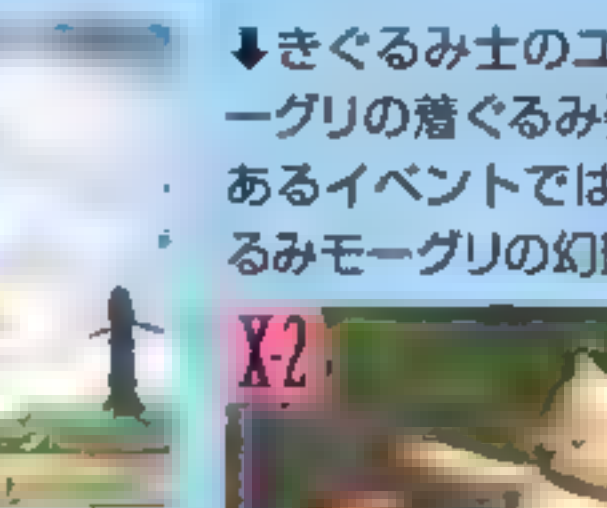
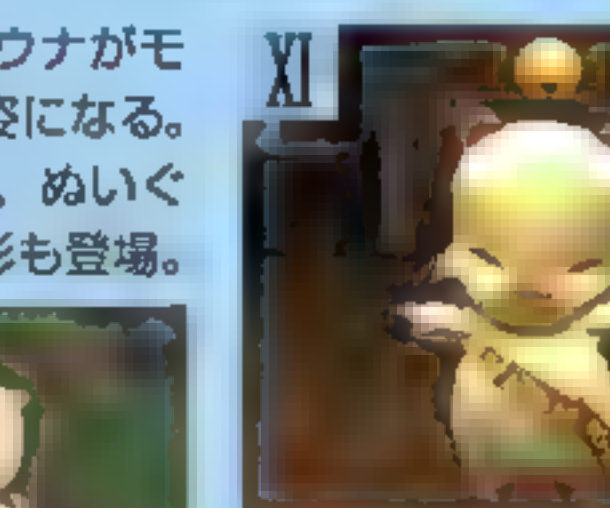
HISTORY OF MOOGLE

Ⅲ　⬆ドーガの館で助手として働いている。DS版では世界各地の町にいて、「モグネット」の受付も行なう。

Ⅴ　⬇村を作って生活しており、モーグリ同士でテレパシーの交感ができる。クルルと一緒に住んでいた者も。

Ⅵ　⬆モグという名前のモーグリが仲間になるほか、モルルなど10匹が物語序盤のバトルで協力してくれる。

Ⅶ　⬇ミニゲームの主人公や召喚獣として登場。また、ケット・シーがデブモーグリのぬいぐるみに乗っている。

Ⅷ　⬆ポケットステーション用のミニゲームを進めると、子どものモーグリ(コモーグリ)を召喚できるように。

Ⅸ　⬇各地で話しかけると、セーブやモグネットの利用などが可能。エーコはモーグリたちと生活をしていた。

Ⅹ　⬆ルールーの武器(ぬいぐるみ)のひとつで、初期装備品でもある。遠隔操作により敵に体当たりして攻撃。

Ⅹ-2　⬇きぐるみ士のユウナがモーグリの着ぐるみ姿になる。あるイベントでは、ぬいぐるみモーグリの幻影も登場。

Ⅺ　⬆プレイヤーの自宅(モグハウス)で、ジョブチェンジなどを取り仕切る。イベントの案内役になることも。

Ⅻ　⬇機工学に精通した種族として、世界中に住む。冒険中は、モンブランたち六兄弟にとくに世話になる。

FINAL FANTASY IV™

ファイナルファンタジーIV

ファイナルファンタジーIV

作品概要

対応機種がスーパーファミコンになり、映像や音楽を含めた演出が向上。物語の舞台は幻界や月などにまで広がり、さらなるスケールアップが図られている。戦いがリアルタイムで進行するアクティブタイムバトルが誕生、以降の作品におけるバトルの基礎が完成した。

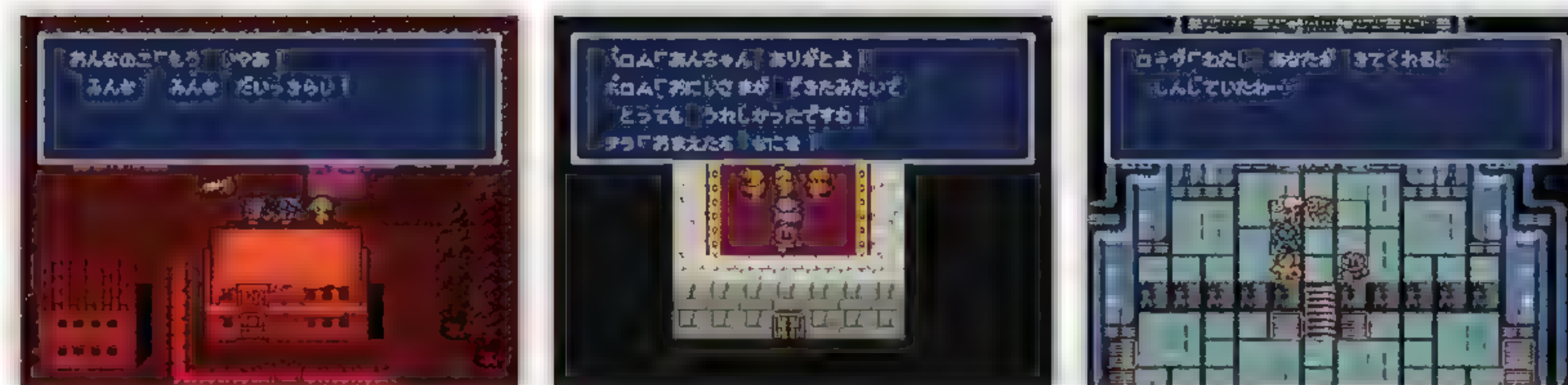
データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーIV	スーパーファミコン	1991年 7月19日	8,800円(税別)	
ファイナルファンタジーIV イージータイプ	スーパーファミコン	1991年10月29日	9,000円(税別)	
ファイナルファンタジーIV	プレイステーション	1997年 3月21日	4,800円(税別)	※1
ファイナルファンタジーコレクション	プレイステーション	1999年 3月11日	7,140円(税込)	※2
ファイナルファンタジーIV	ワンダースワンカラー	2002年 3月28日	5,460円(税込)	
ファイナルファンタジーIVアドバンス	ゲームボーイアドバンス	2005年12月15日	5,040円(税込)	※3
ファイナルファンタジーIV	ニンテンドーDS	2007年12月20日	5,980円(税込)	

※1……コンビニエンスストアのみで販売
※2……限定版「アニバーサリーパッケージ」が9,240円(税込)で同時発売
※3……「天野喜孝デザインGBミクロFFモデル同梱セット」が17,200円(税込)で同時発売

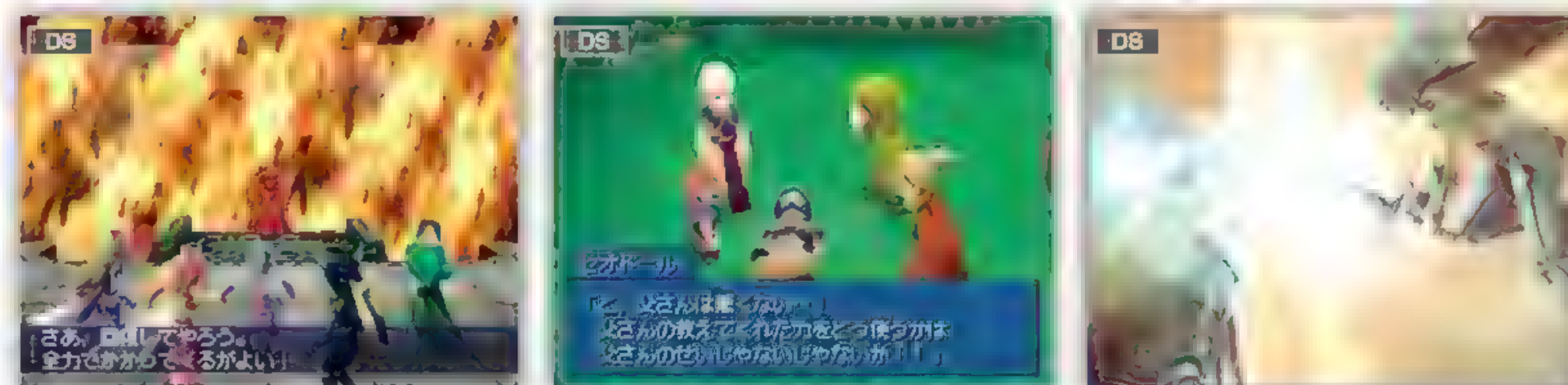
ファイナルファンタジーIV イージータイプ
■イージータイプ版

FINAL FANTASY IV ADVANCE
■GBA版

FINAL FANTASY IV
■DS版

STORY

青き星と月をめぐり 光と闇とに分かたれた者たち

はるか昔、危機に直面した母星を離れ、青き星を目指した人々がいた。彼らの多くが青き星の住人との共存を望んだが、ただひとりゼムスという者は侵略によって星を手に入れようと主張し、同胞の手によって封印されることになった。そしてまた、共存を目指した人々も青き星の住人たちの進化を待つべく、新たに月を作り出して長き眠りにつく。このようにして、青き星はふたつの月を持つに至ったのだった。

幾多の歳月が過ぎ、青き星の人々は空飛ぶ船「飛空艇」を作り出すほどの進化をとげる。だが、それは戦乱を呼ぶ翼であった。飛空艇軍団を組織したバロン王国が各国に戦争を仕掛け、世界に恵みをもたらすクリスタルを奪いはじめたのだ。その裏にあるのは、封印されてなお悪意を深めるゼムスの意志――。復活をはかる邪悪な意志は、月の民の血を引くひと組の兄弟を引き裂く。ゼムスの尖兵となりクリスタルを狙う兄ゴルベーザと、正しき心でクリスタルを守ろうとする弟セシル。兄弟が相争う戦いを、月は静かに見下ろしていた……。

FINAL FANTASY IV 人物相関図

SFC……スーパーファミコン版での関係

ミシディア
長老
パロム
ポロム
双子の姉弟

カイポの村
アンナ
テラ
親子
恋人

ダムシアン
ギルバート

月の民
ゼムス
フースーヤ
クルーヤ
セシリア
兄弟
夫婦
親子

バロン
セシル
ローザ
カイン
シド
ベイガン
ゴルベーザ
バロン王

ファブール
ヤンの奥さん
ヤン
夫婦

シルフ

ドワーフの城
ジオット王
ルカ
親子

幻界
アスラ
リヴァイアサン
夫婦

ミストの村
リディア

エブラーナ
エッジ
エブラーナ王
エブラーナ王妃
夫婦
親子

四天王
カイナッツォ
バルバリシア
ルビカンテ
スカルミリョーネ

メーガス三姉妹
ルゲイエ

旧知の仲
侵攻
監視(のちに信頼)
息子のようにかわいがる
娘のようにかわいがる
好意
親友かつライバル
かなわぬ想い SFC
我が子のように育てる
娘の仇
敵対
あやつる
部下にする
殺害して なりすます
焼き払う
救助
協力
幻界へ連れていく
因縁の相手
好意
魔物にする
配下

セシルと仲間たち

ゴルベーザ陣営

セシル

Cecil Harvey　セシル＝ハーヴィ

Personal Data

性別	男	体重	58kg
年齢	20歳	利き腕	右
身長	178cm	出身地	不明
職業	暗黒騎士／パラディン		
ボイスアクター	DS 程嶋しづマ		

呪われた闇の力に苦悩し聖騎士の道を歩み出す青年

軍事大国バロンのエリート「暗黒騎士」のひとりであり、飛空艇団「赤い翼」(※1)の隊長。まじめな人柄で周囲に信頼されている反面、融通が利かず、物事を深く考えすぎる傾向がある。良心の呵責に耐えつつ王の理不尽な命令に従ってきたが、途中であやまちに気づき、国に反旗をひるがえすことに。聖騎士パラディンに転身して暗黒騎士の呪われた力と決別し、王をあやつりクリスタルを集めていたゴルベーザを追う。

親友に裏切られ、愛する者が人質に捕らわれるなど道中で多くの困難に直面するが、何よりセシルを苦しめたのは、自分が月の民の血を引き、宿敵ゴルベーザと兄弟だという事実だった。しかし、真実を真正面から見据える精神的な強さと、ローザの一途な愛や仲間との絆によって苦難を乗り越え、真の黒幕ゼムスに立ち向かう。

↑赤い翼の隊長を務めていたセシルは、己の良心とバロン王への忠誠心の板ばさみとなって苦しんでいた。

↑憎い敵だと思っていたゴルベーザが自分の兄であるということを知り、複雑な想いに駆られるが……。

※1……DS版では「赤き翼」

Topics of Cecil

■暗黒騎士の憂鬱

暗黒騎士はバロン国の精鋭だが、負の力を暗黒剣としてあつかうがゆえ、人々に恐れられる存在。そのことに負い目を感じていたセシルは、「クリスタルを奪う」という非道な任務に就かされたのもあって、自分の生きかたに疑問を覚える。そんな彼にミシディアの長老は、暗黒剣を用いていては悪を倒せぬばかりか悪しき心に染まりかねないと助言。セシルはそれを聞き、聖騎士パラディンに転身する決意を固める。

↑試練の山の頂上でパラディンの姿となり、暗黒騎士だった過去の自分と決別する。

■恋愛は不得手だが誠実

堅物で、女性に対しては奥手なセシル。そんな彼にとってローザは幼なじみという以上に大切な存在だが、暗黒騎士である自分には恋愛する資格もないと思いこみ、彼女に気おくれしていた。しかし、ローザが人質に捕らわれ絶体絶命の危機におちいったとき、彼女を愛する自分の気持ちに気づくことに。ローザを救出したさいに自分の気持ちを素直に打ち明け、以降は彼女への愛を隠さなくなる。

↑ローザがいなくなったことで、自分の心を占める彼女の存在の大きさにあらためて気づく。

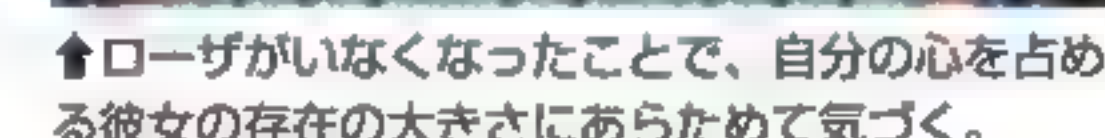
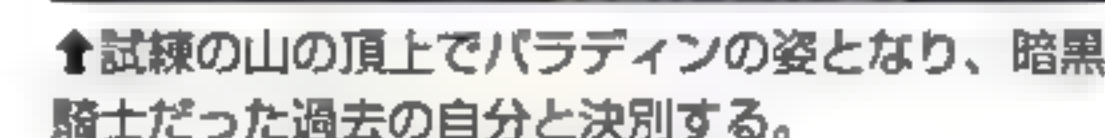
Impressive Words

暗黒騎士としての使命と己の正義感とのはざまで揺れ、親友を信じるべきか葛藤するなど、いつも何らかの悩みを抱えているセシル。不器用ながらも答えを見つけていく彼の生きざまが、セリフからもうかがえる。

「僕は陛下には逆らえない臆病な暗黒騎士さ……」
——バロン城：国王の非道な命令にそむく勇気もない自分をあざ笑い

「手を出すな！　これは僕自身との戦いだ！
いままでの過ちを償うためにもこいつを！　暗黒騎士を倒す！」
——試練の山：パラディンになるために、暗黒騎士だった過去の自分と対峙して

「わかった、ローザ……僕が……守ってみせる！」
——魔導船：どうしても一緒に月についていきたいと言うローザに心を打たれ

「……さよなら……兄さん……！」
——エンディング：ゼロムス打倒後、フースーヤとともに去ろうとするゴルベーザに向かって

カイン

Cain Highwind　カイン・ハイウインド

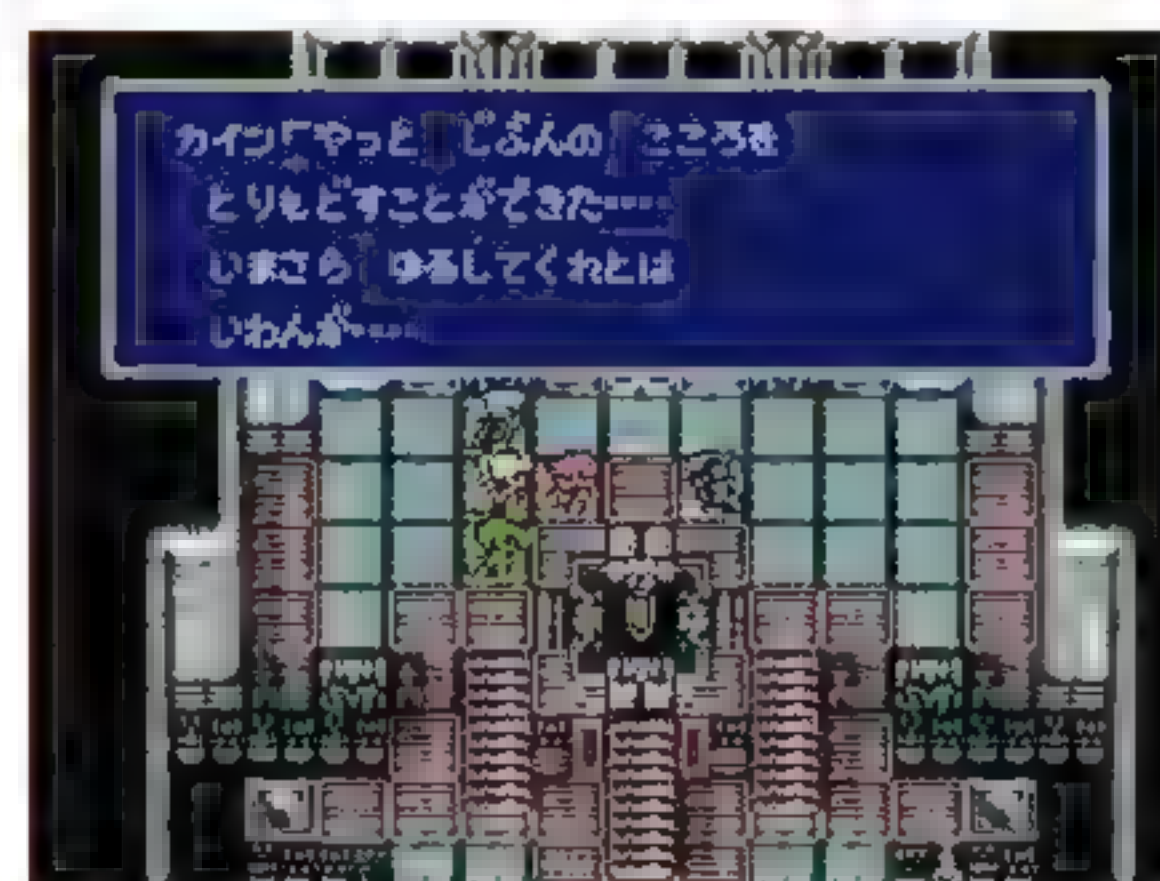
Personal Data

性別	男	体重	61kg
年齢	21歳	利き腕	左
身長	183cm	出身地	バロン
職業	竜騎士		
ボイスアクター	DS 山寺宏一		

己のカラに閉じこもる プライド高き竜騎士

セシルの幼いころからの親友であり、良きライバル。早くに両親を失ったものの、竜騎士だった父（※1）の誇り高い精神とすぐれた能力を色濃く受け継いでいる。本質的には情に厚いが、あまり自分をさらけ出すことができない。

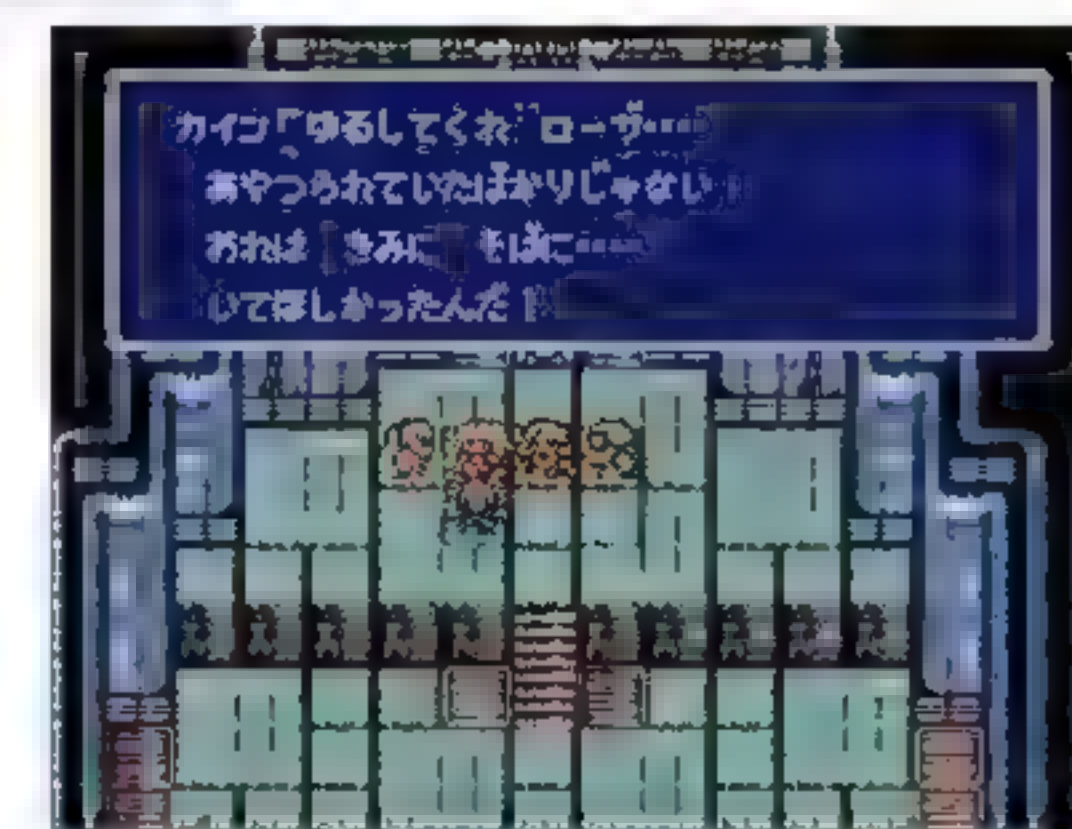
バロン軍では、飛空艇団と一、二を争う精鋭部隊「竜騎士団」の隊長として才覚を示していた。非道な王に反旗をひるがえそうとセシルと誓い合ったものの、直後に離ればなれに。再会できたと思いきやセシルに戦いを挑むなど、不可解な行動をくり返す。それらはすべて、ローザへのひそかな恋心をゴルベーザにつけこまれ、魔法であやつられた結果だった。術が解けて我に返ると、ゴルベーザをもあやつっていた黒幕がいると知り、それまでの己の行動に罪悪感を感じつつも、セシルたちとともに戦う決意を固める。

↑ひさびさにセシルの前に姿を見せるが、それはゴルベーザの命令でセシルを倒すためだった。

↑ゴルベーザが正気にもどると、カインにかけられていた術も解け、今度こそ本当の自分をとりもどす。

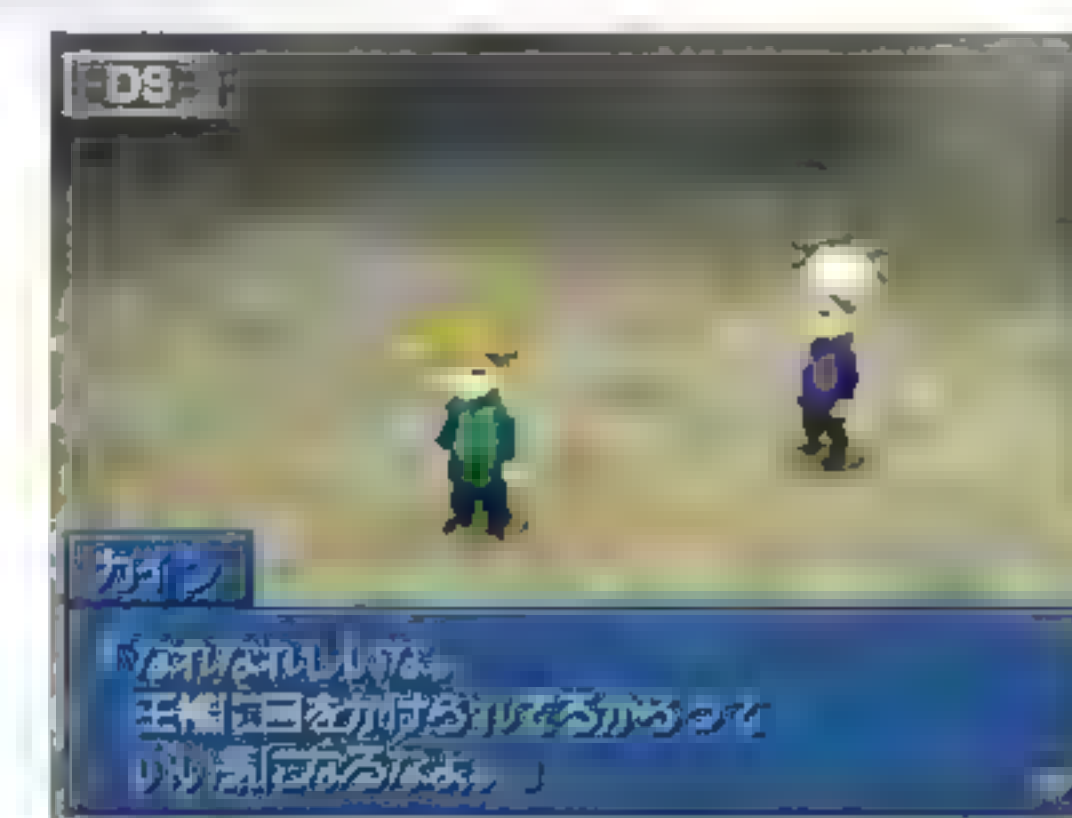
※1……DS版では、父親はリチャード・ハイウインドという名前で、カインが成長してから亡くなった

Topics of Cain

ローザをめぐる複雑な心境

カインが、幼なじみであり大切な友であるセシルと敵対することになったそもそもの原因は、ローザへのひそかな恋心にある。セシルを想うローザの心が決して自分には向けられないことを知ったカインだが、彼女を愛する自身の気持ちに整理がつかず、少しでもローザのそばにいたいと思ってしまった。そんなかなわぬ恋のジレンマを抱えていたがゆえに、ゴルベーザの術中にまんまとハマってしまったのだ。

↑ゾットの塔で我に返り、ずっと隠していた自分の心情をローザに吐露する。

セシルへの潜在的な劣等感

セシルとカインは、ともに国王のもとで育ち、成長してきた親友同士。だが、ローザが自分ではなくセシルを選んだことで、カインは彼にどこか引け目を感じている。また、カインが所属する竜騎士団は長年バロン軍で最高位にあったが、近年の飛空艇の台頭とともに飛空艇団にトップの座を奪われた。その隊長の地位にセシルがついた事実も、カインにセシルへの劣等感をもたらしたのかもしれない。

↑DS版では、カインが幼少時からライバル心をむき出しにしていたことも語られる。

兜の下に隠された素顔

エンディングでセシルとローザの結婚式が近づくなか、カインは試練の山でひとり修行に励んでいた。いまはまだふたりを祝福できない――兜をはずしてひとりつぶやくその様子からは、自分自身に正面から向き合おうという彼の決意が感じ取れる。

←兜を脱いで素顔をあらわにするカイン。本当の自分を出していこうという思いの表れか。

Impressive Words

竜騎士としてのプライドと亡き父への想いを大切に抱えてきたが、ゴルベーザにあやつられ、己を見失うことに。正気にもどったあとのセリフからは、前向きに自分を変えていこうという姿勢が見える。

「竜騎士でいれば、幼いころ死に別れた父をいつでも感じられる気がしてな……」
――バロン城：「赤い翼」の隊長を解任させられたセシルを励ましながら自分のことを語り

「だがセシル、戦うのはお前とだ！」
――ファブール城：敵としてセシルに一騎打ちを挑み

「……そのときは遠慮なく俺を斬るがいい！」
――魔導船：二度目に我に返ったあと、またあやつられるのではと疑うエッジに

「いまの俺にはお前たちを祝福することはできん……この試練の山で技を磨き……父を越える竜騎士となったときには、バロンに……もどれそうな気がする」
――エンディング：試練の山でセシルとローザのことを思い、ひとりつぶやく

ローザ

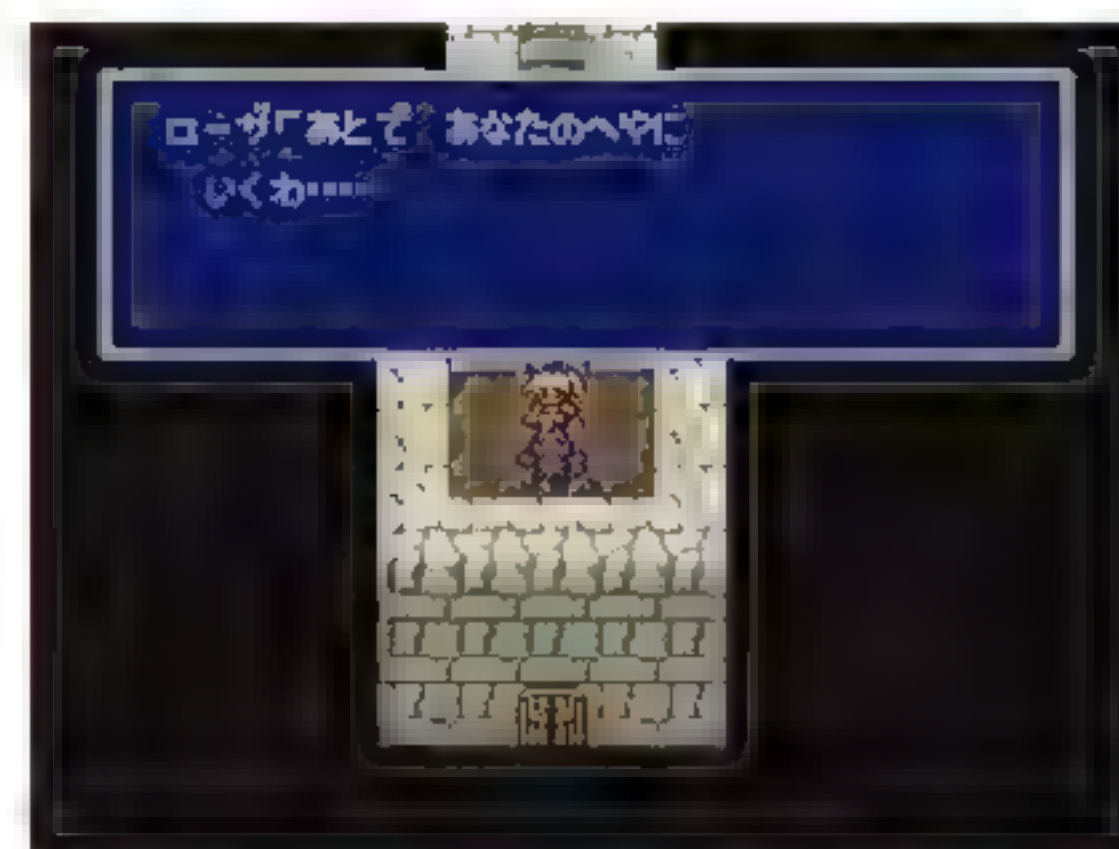
Rosa Farrell ローザ・ファレル

Personal Data			
性別	女	体重	47kg
年齢	19歳	利き腕	右
身長	162cm	出身地	バロン
職業	白魔道士		
ボイスアクター	DS 甲斐田裕子		

愛に一途に生きる美しき貴族の娘

バロン随一の美貌を誇る、弓の名手としても名高い女性。セシルとカインの幼なじみで、セシルに以前から想いを寄せており、少しでも力になりたくて白魔道士団に入った。カインとは家族ぐるみの付き合いがあるものの、彼には兄に対するような親愛の情しか抱いていない。

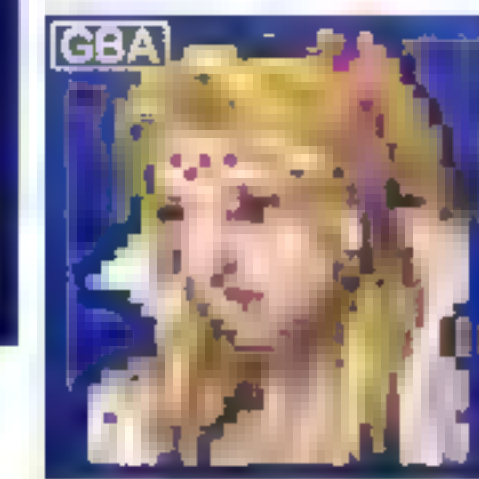
ふだんはひかえめで思慮深いが、愛するセシルのためならばどんなこともいとわず、ミストの村で消息を絶った彼を捜して無謀にも砂漠へ。熱病に倒れてうなされていたところをセシルに助けられ、二度と彼と離れたくない一心で同行する。道中ゴルベーザに人質としてさらわれるも、セシルに救出されて互いの想いを確認。同時に自分に対するカインの恋心を知るが、セシルひと筋に想いをつらぬき、危険な戦いに最後まで身を投じる。

DS

↑「あとであなたの部屋に行くわ」と、ちょっと聞いただけだとドキッとしそうなセリフも何気なく使う。

←危機一髪のところをセシルに助けられ、その腕のなかで、彼とふたたび会えた喜びをかみしめ安堵する。

Topics of Rosa

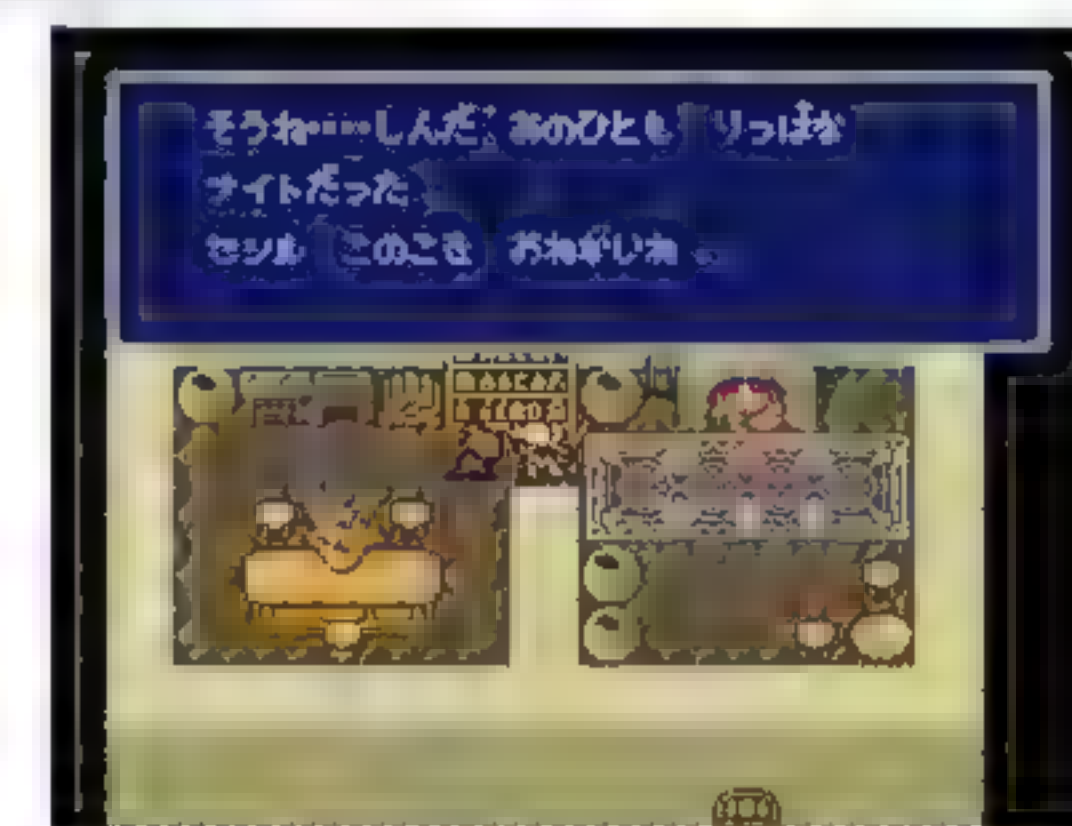
GBA

DS

愛ゆえの無謀な行為

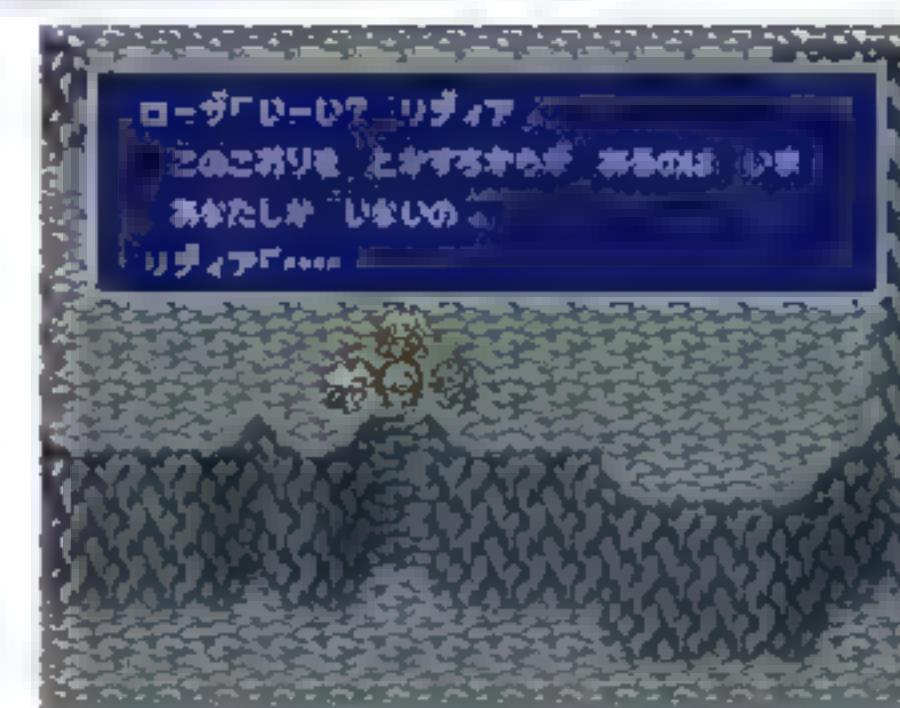
幻獣討伐任務に出かけたセシルが死んだと聞かされて危険をかえりみずに家を飛び出し、あげく熱病に冒されてしまうローザ。彼女にとってセシルは何にもかえがたい存在であり、彼を失うことは自分の身を引き裂かれるよりもつらく、いてもたってもいられなかったのだろう。もうそんな思いをしたくないと考えてか、セシルが月に向かうと言い出したときには彼の制止を押し切り、同行を承知させる。

↑カイポの町で熱病にうなされているときも、口にするのはセシルの名前ばかり。

母の心配と娘の想い

ローザが白魔道士となったのは、戦場に身を置くセシルを助けたかったからだ。しかし、ローザの母親は身元の知れないセシルを信頼しておらず、彼のために危険な道を歩もうとする娘を心配していた。そんな母にローザは、自分は愛する人の力になりたいと訴える。ローザの母親は、かつて白魔道士としてナイトの夫とともに戦っていた当時の自分を娘に重ね、娘とセシルの仲を認めて旅に送り出すのだった。

↑一時里帰りをしたローザは、ようやく母にセシルに対する自分の気持ちを認めてもらう。

娘であり、姉であり……

心優しいローザは、家族のような情をもって仲間と接している。シドに対してはまるで本当の娘のように親身になって体調などを心配し、リディアには姉のように振る舞って、ファイアを使えるように励ましたりと何かと世話を焼くのだ。

←ホブスの山でリディアが火への恐怖心を克服するのを手伝い、以降も姉のように接する。

Impressive Words

ふだんの発言はひかえめで、周囲を気づかう優しい人柄が表れたものがほとんど。しかし、大切な人セシルのことになると、胸の内に秘めている彼への想いが、必死でけなげな言葉となって飛び出す。

「赤い翼のセシルはそんな弱音は吐かないはずよ!　私の好きなセシルは……」
——バロン城：隊長を解任させられ、自嘲気味な態度を見せるセシルに

「私たちがここで氷を溶かしファブールへ行かなければ、もっとたくさんの人たちが恐ろしい目にあうことになるの……お願い……勇気を出して!」
——ホブスの山：ファイアを唱えるのをためらうリディアを説得し

「私あなたがきてくれると信じていたわ……」
——ゾットの塔：助けにきたセシルに向かって

「あなたの側にいられるのならどうなっても……いいえ、あなたと一緒ならどんな危険なことだって……!」
——魔導船：月へ向かおうとするセシルに同行を願い出て

リディア

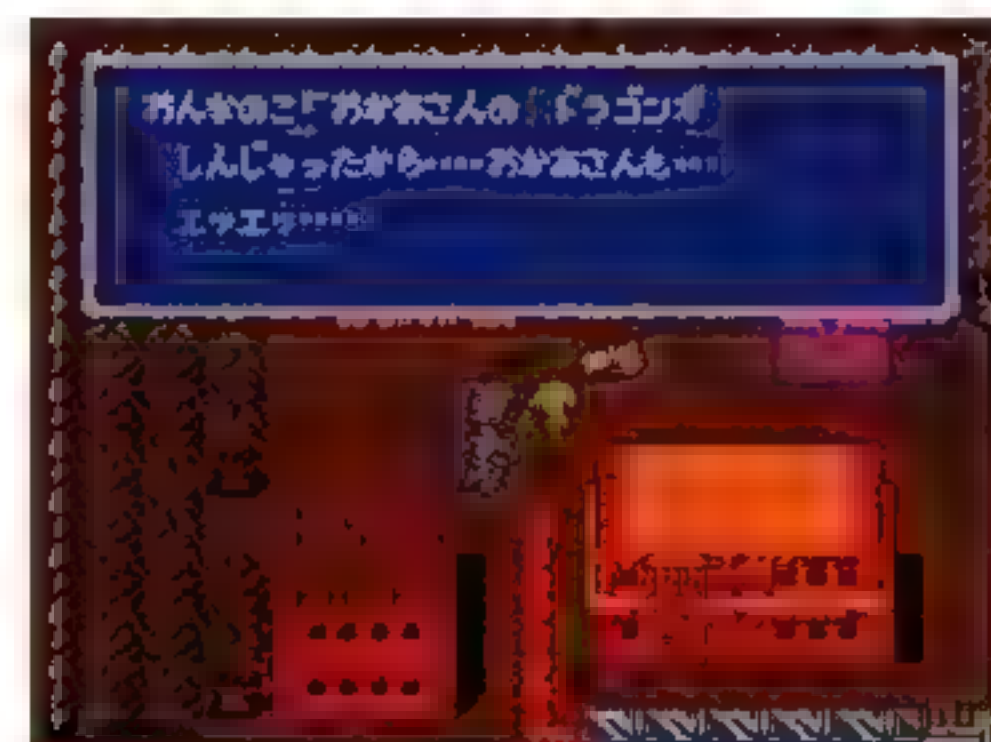
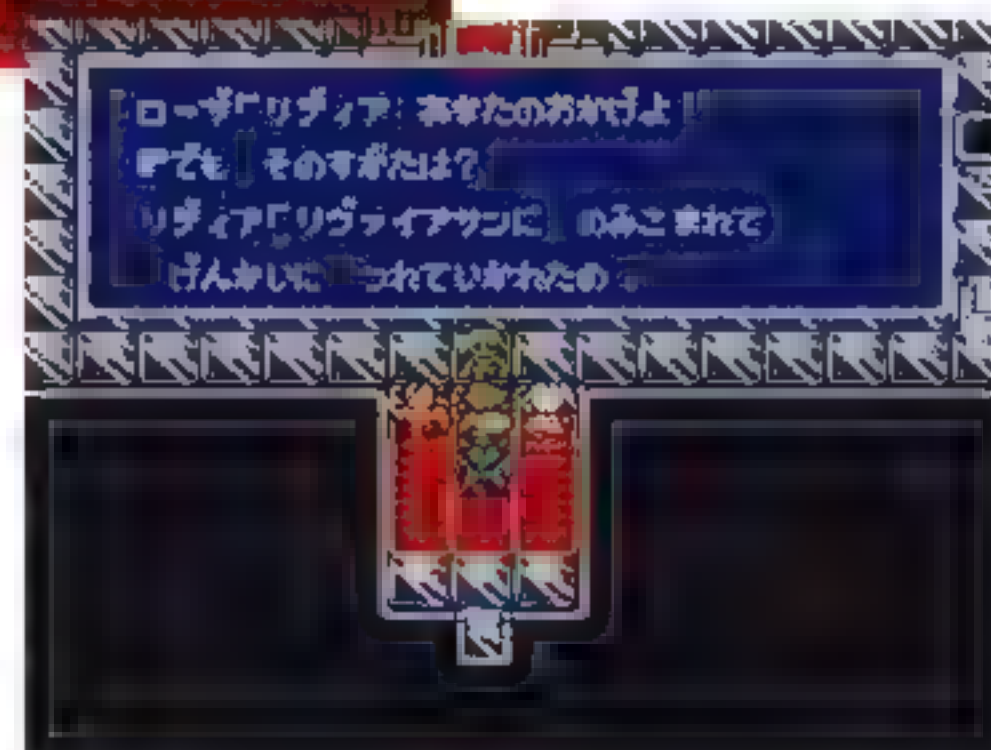
Rydia

Personal Data

項目	内容	項目	内容
性別	女	体重	18kg(物語開始時)
年齢	7歳(物語開始時)	利き腕	右
身長	107cm(物語開始時)	出身地	ミストの村
職業	召喚士		
ボイスアクター	DS 下屋則子		

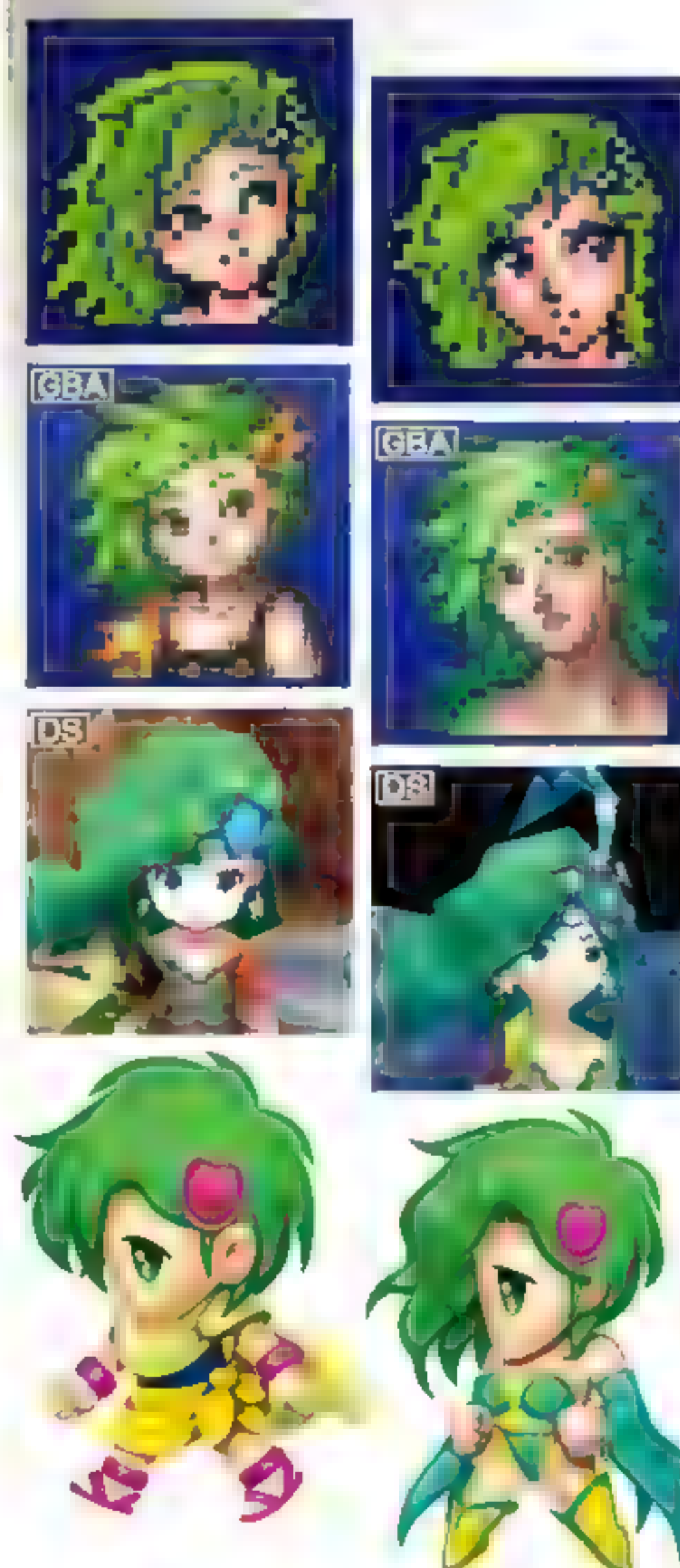
幻獣と気持ちを通わせる汚れなき心の持ち主

召喚士たちの集落、ミストの村で生まれた少女。バロン王の命令により幻獣討伐に訪れたセシルとカインのせいで、母を失い故郷を焼かれ、心に大きな傷を負った。故郷と母を奪ったセシルを当初は憎んでいたが、彼の優しさに触れてしだいに心を開き、大切な仲間となる。

セシルたちと一緒に船で移動する途中、幻獣王リヴァイアサンと遭遇し、自分だけが幻獣たちの住む地底の幻界へと運ばれた。時間の流れが異なる幻界において短期間で成長をとげ、大人の姿となってふたたびセシルたちの前に現れる。少女の心のまま大人になった彼女は、思ったことを直接口に出し、心がまっすぐで迷いがない。そんな汚れのなさが幻獣たちの心をとらえており、幻界を去ったのちも召喚獣としての彼らの助けを借りながら、セシルたちとともに戦いつづける。

⬅セシルたちのボムの指輪の作用で焼け野原となった村から、泣きながら現れた少女――それがリディアだった。

➡ドワーフの城でゴルベーザに苦戦していたセシルたちのもとへ、大人になった姿で幻界から助けに駆けつける。

DS

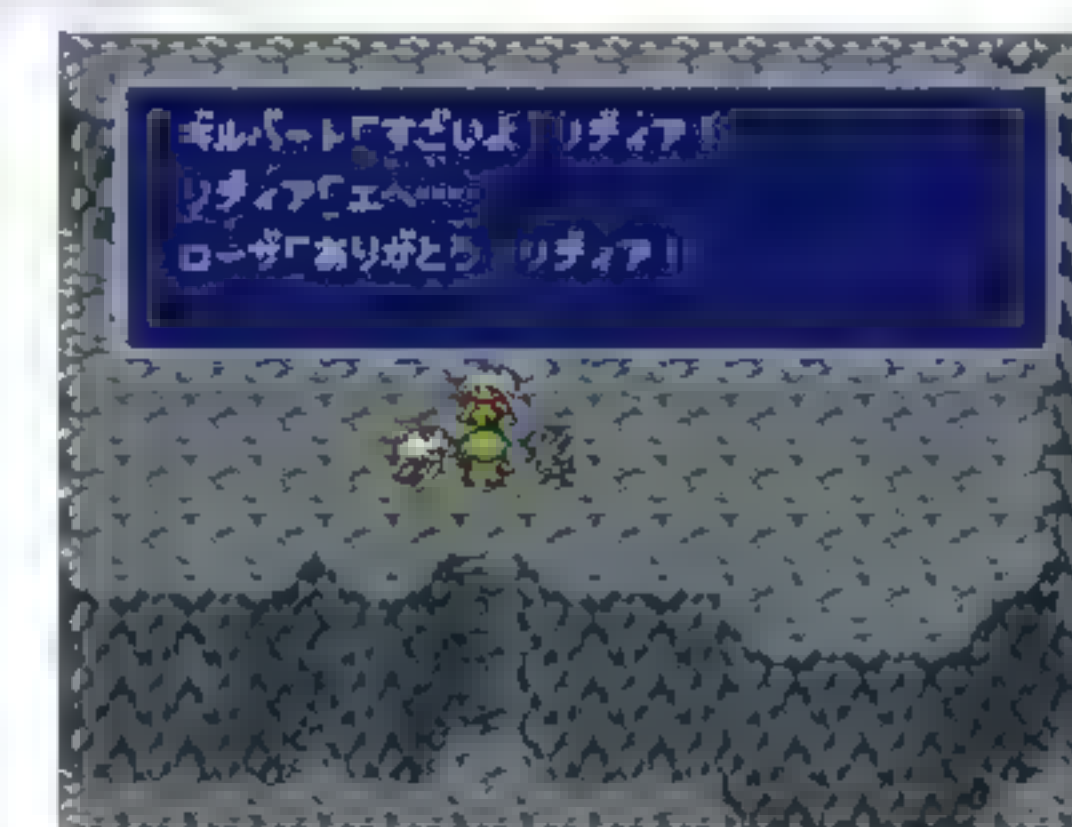
Topics of Rydia

GBA GBA DS DS

■ 召喚士としての血筋と能力

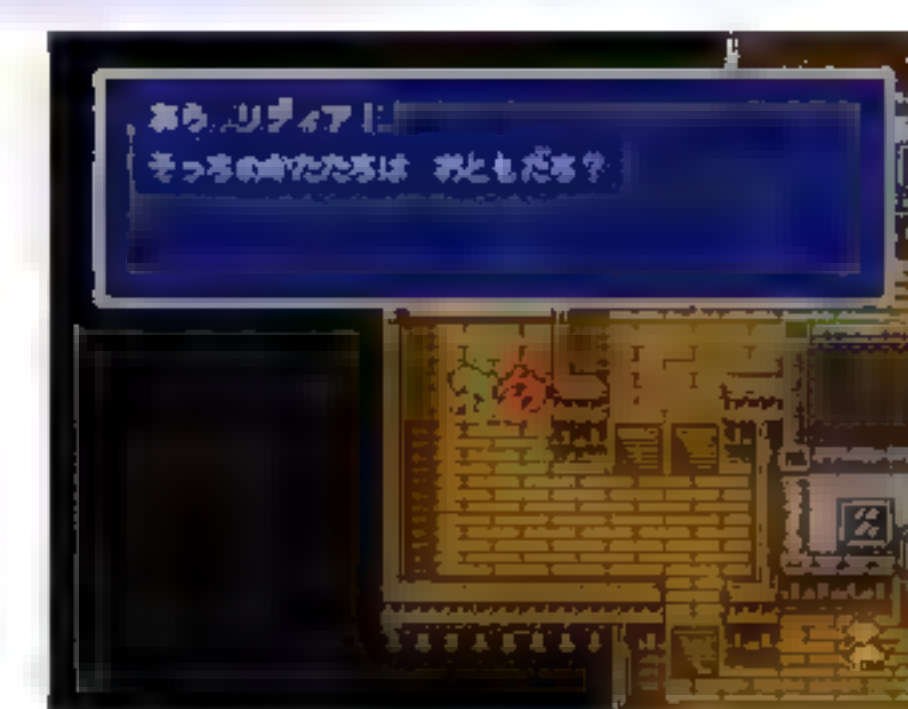
幻界に住む幻獣を呼び出す能力を持つ召喚士――その純粋な血を受け継ぐ者として、数年ぶりにミストの村に生まれたのがリディアだった。血筋的に召喚士としての能力は約束されていたわけだが、リディアをすぐれた召喚士としている最大の要因は、なんと言っても彼女自身の汚れのなさ。心が清らかで幻獣たちに愛される彼女は、高位の召喚獣とも絆を築き、召喚士としての才能を開花させていく。

⬆絶大な威力を持つ召喚魔法を使いこなすリディアは、バトルでも大活躍する。

■ 炎に対する恐怖感

故郷が火に包まれる光景を目の当たりにしたのが心の傷となり、リディアはしばらくのあいだ、初歩的な黒魔法であるファイアを使うことができなかった。しかし、ホブスの山で氷の壁に行く手をはばまれたとき、先へ進もうとする仲間のために、勇気を振りしぼってファイアを唱える。このことでやっと恐怖感を克服した彼女は、つらい過去にひと区切りをつけ、炎の魔法をためらわず使えるようになった。

⬆氷の壁が溶け、自分の勇気が仲間を助ける結果を生んだことに、ある種の達成感を覚える。

■ 第二の故郷となった幻界

エンディングで、リディアが帰る場所として選んだのは、大人になるまでの一時期を過ごした幻界だった。母との絆を持つ幻獣たちが暮らす幻界は、つらい記憶を直接呼びさますミストの村よりも、彼女にとって居心地のいい場所なのかもしれない。

⬅住人たちみんなが好意的に接してくれる幻界は、リディアにとって心のよりどころなのだ。

Impressive Words

感情をストレートに表現するリディアの言葉は、誰に対しても気負いがなく、相手の心に素直に響く。また、仲間のなかでは最年少の部類に入るにもかかわらず、気丈でしっかりした発言が多い。

「もういやあ! みんな! みんな、だいっきらい!」
――ミストの村：村を焼いた張本人のセシルたちが自分に近づいてくるのを見て

「よわむし! お兄ちゃんは男でしょ! 大人でしょ! なのに……! あたしだって……」
――ダムシアン城：アンナを想って泣くギルバートを叱咤

「いいかげんにしてえ! もうこれ以上死んじゃうのはいやよお!」
――エブラーナの洞窟：重傷を負いながら強がりを言うエッジに対して

「人間も幻獣も一緒よ」「大事なのは……心。そうでしょ……セシル!」
――エンディング：リディアと容姿が異なることを気にする幻獣の子どもと、遠く離れたセシルに

テラ

Tella

Personal Data

項目	内容	項目	内容
性別	男	体重	48kg
年齢	60歳	利き腕	右
身長	177cm	出身地	ミシディア
職業	賢者		

ボイスアクター：DS 納谷悟朗

ひとり娘を溺愛する 鬼才の老魔道士

かつて、すべての魔法を体得した者「賢者」として名をはせた魔道士。高齢になるにつれて忘れてしまった魔法も多いが、その賢人ぶりはいまなお健在である。

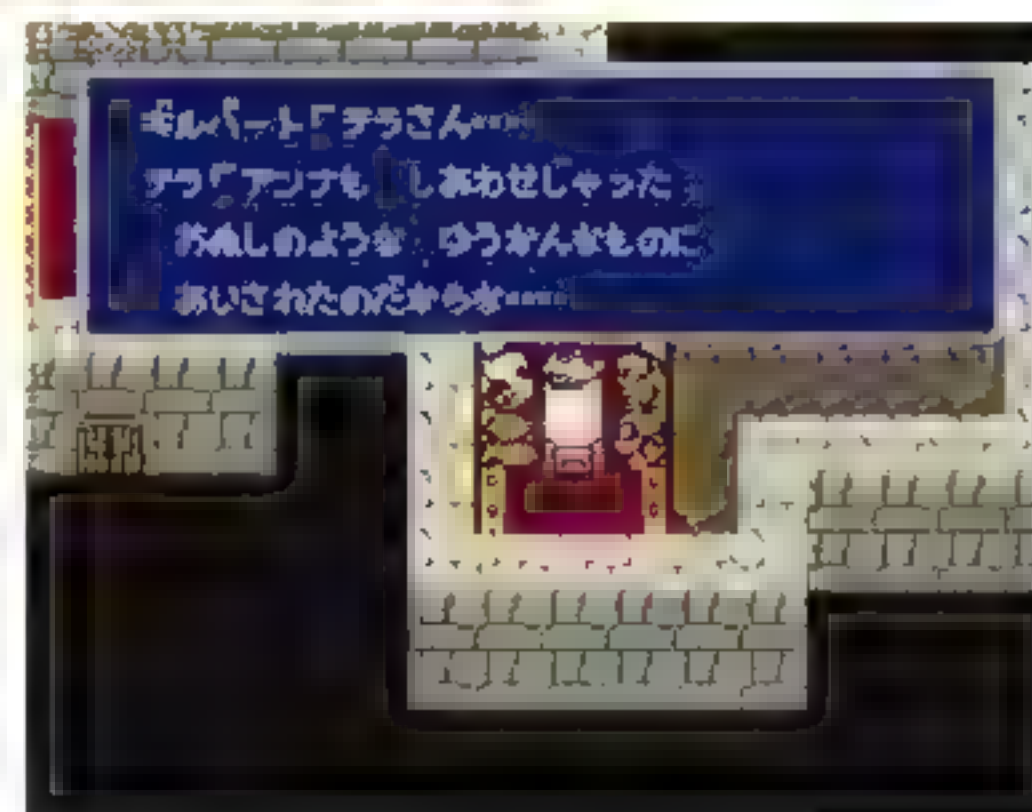
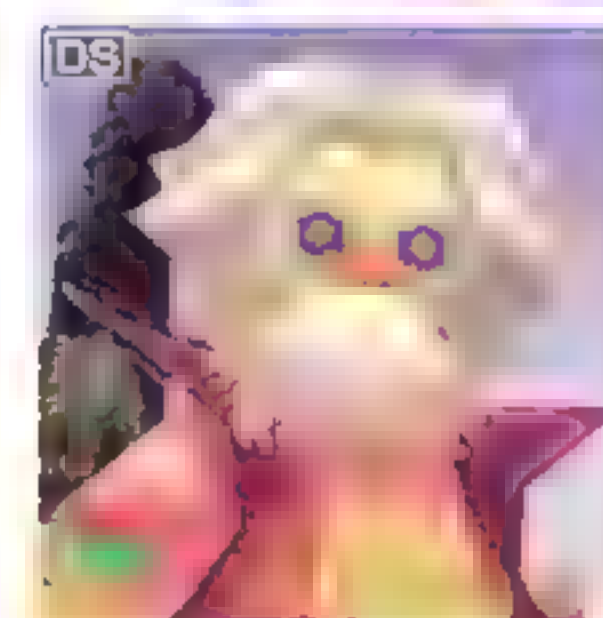
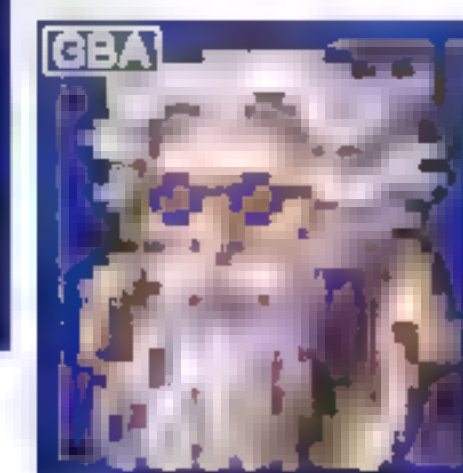
故郷ミシディアを離れてオアシスの村カイポで静かに暮らしていたが、ひとり娘のアンナが駆け落ち同然で家を飛び出し、不穏な気配漂うダムシアンへ向かったため、彼女を追うことに。道中でセシルたちと合流してダムシアンへたどり着いた矢先、ゴルベーザ軍が襲撃を開始し、アンナは愛するギルバートをかばって命を落としてしまう。ゴルベーザに復讐を誓うとともに、大事な娘を守れなかったギルバートにも怒りを向けるテラだが、長い旅のなかで彼と和解。のちにゴルベーザと対峙し、みずからの命と引きかえに黒魔法メテオを発動するも倒すまでには至らず、仇討ちを仲間に託す。

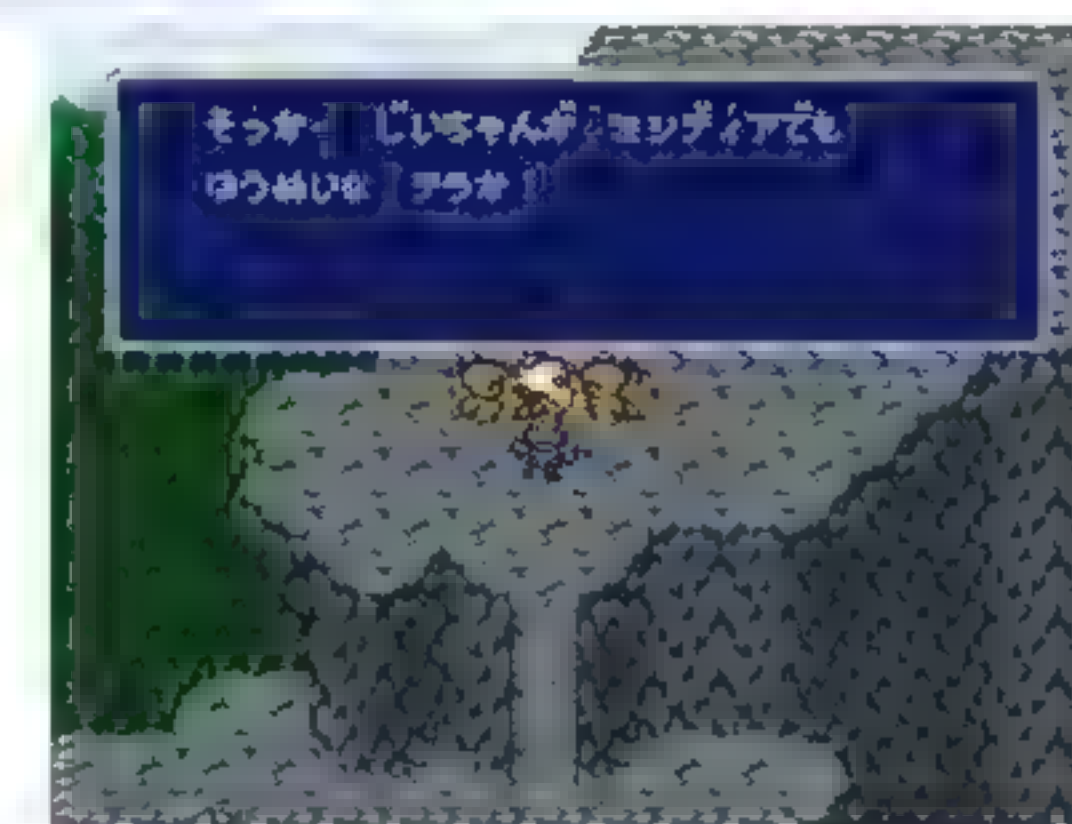
⬅娘のアンナが恋愛の許しを請いながら息絶えていく姿をみとるのは、テラにとって何よりもつらかった。

➡絶対安静の身で仲間を救ったギルバートの行動をたたえ、これまで許さなかった彼のアンナへの愛情も認める。

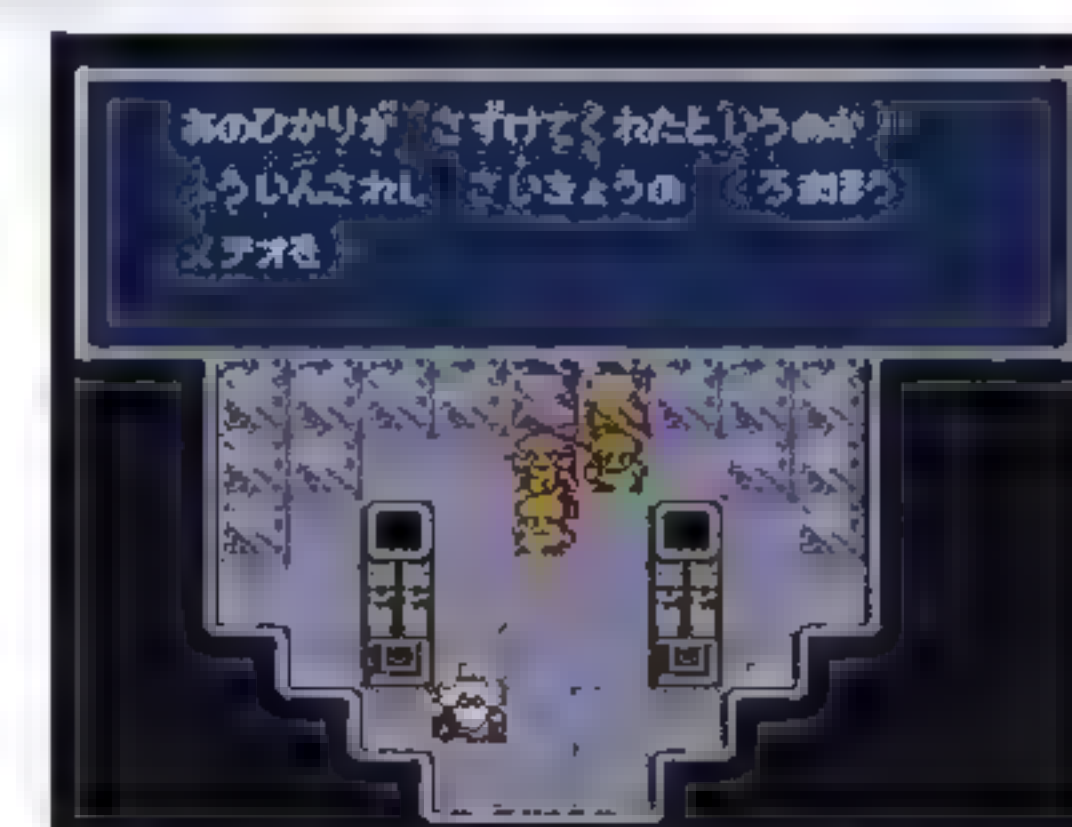
Topics of Tella

GBA

DS

記憶の彼方に葬り去った過去

ミシディアに住んでいた若いころ、才能にあふれ、すでに賢者として名高かったテラは、禁じられた古代魔法の封印をつぎつぎと解いていった。しかし、それがいつしか彼自身の能力の限界を超えてしまい、魔法が暴走して多くの魔道士を傷つける結果を招く。テラはみずからを戒めるべくミシディアを去り、辺境の村カイポに移住。そうして村の女性のひとりと結ばれ、遅くに授かった子がアンナだった。

⬆過去に活躍したテラの名前は、いまも話題にされるほど、各地の人々に知れ渡っている。

伝説の黒魔法メテオ

娘の命を奪ったゴルベーザへの怒りに我を忘れてセシルたちのもとを飛び出したテラは、試練の山を訪れる。自分が修得している魔法ではゴルベーザにとうてい太刀打ちできぬと悟り、伝説の黒魔法メテオを求めて山頂を目指すことにしたのだ。メテオは使用者の精神に莫大な負担をかける禁断の魔法。しかし、最愛の娘を失ったテラには、残り少ない命をなげうってでも娘の仇を討つ覚悟ができていた。

⬆セシルがパラディンになった直後、テラは忘れていた魔法を思い出すと同時に「メテオ」を覚える。

愛する娘と妻のもとへ

なぜ自分は娘の恋愛を許してやれなかったのか――そんな苦い後悔をごまかすかのように、テラは打倒ゴルベーザのために全力を注いできた。結局仇は討てなかったものの、これも憎しみにとらわれて戦った報いと納得し、自身の戦いに幕を降ろす。

➡メテオを唱えて力を使い果たし、倒れるテラ。妻と娘のもとへと旅立つときがきた。

Impressive Words

60歳という老けこむにはまだ早い年齢のテラだが、その口調は70～80代の気骨ある老人といった雰囲気。いつでも我が身を捨てる決心ができていることが、言葉の端々からうかがえる。

「情けない！　泣いてもアンナは生き返らん！」

――ダムシアン城：泣いているギルバートを叱咤して

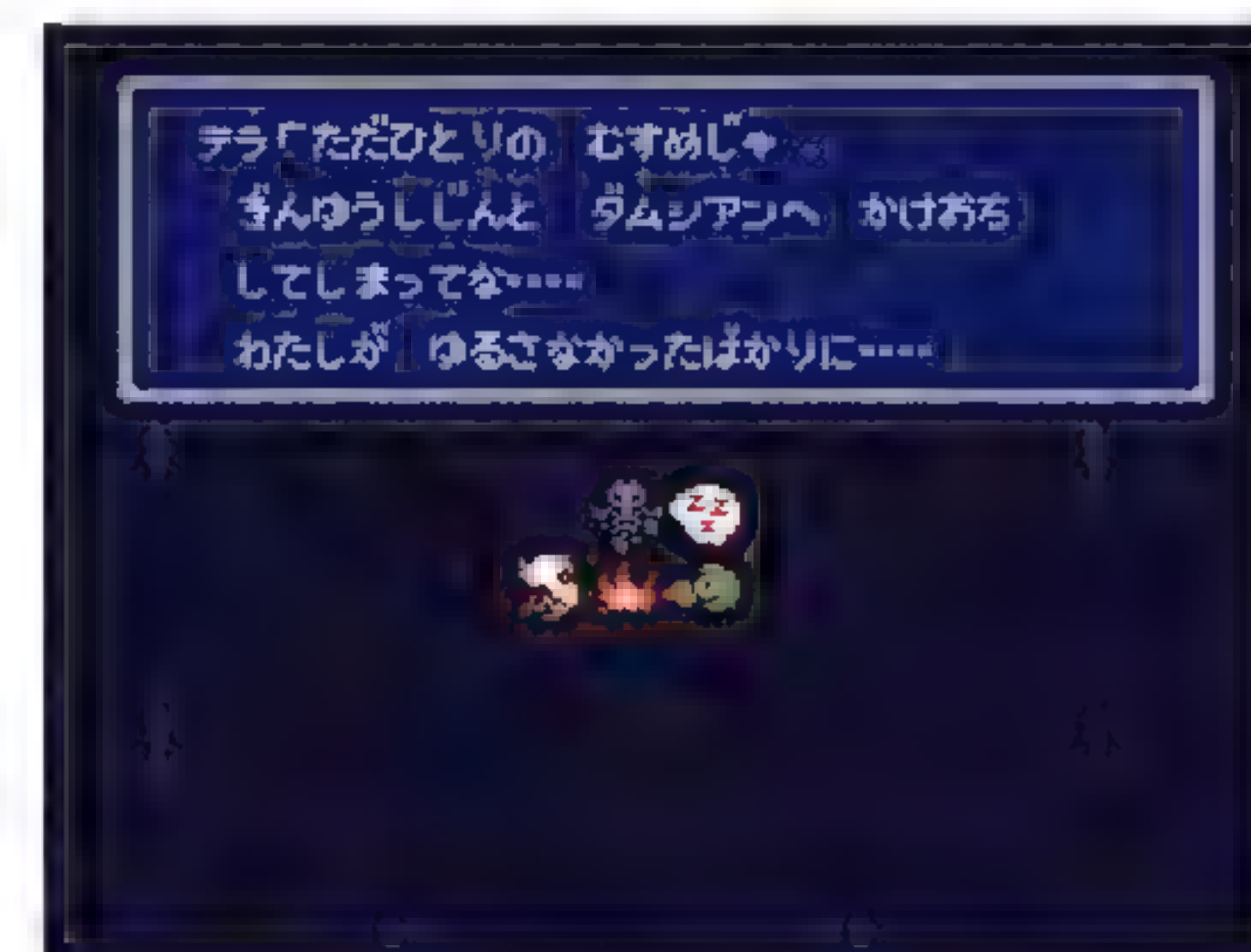
「確かに老いぼれてはおる！　しかしな！　私の命に代えても奴は……
ゴルベーザは私が倒さねばならんのじゃ！」

――試練の山：メテオを使うのは年齢的にも危険だとポロムに言われて

「ばかものが！　死ぬのはこの老いぼれで良かったろうに！」

――バロン城：迫りくる壁を食い止める盾になろうと石化したパロムとポロムに

「この命すべてをMPに変えて、貴様を……倒すっ!!」

――ゾットの塔：全身全霊をかけて仇敵ゴルベーザに立ち向かい

ギルバート

Gilbart Chris Von Muir

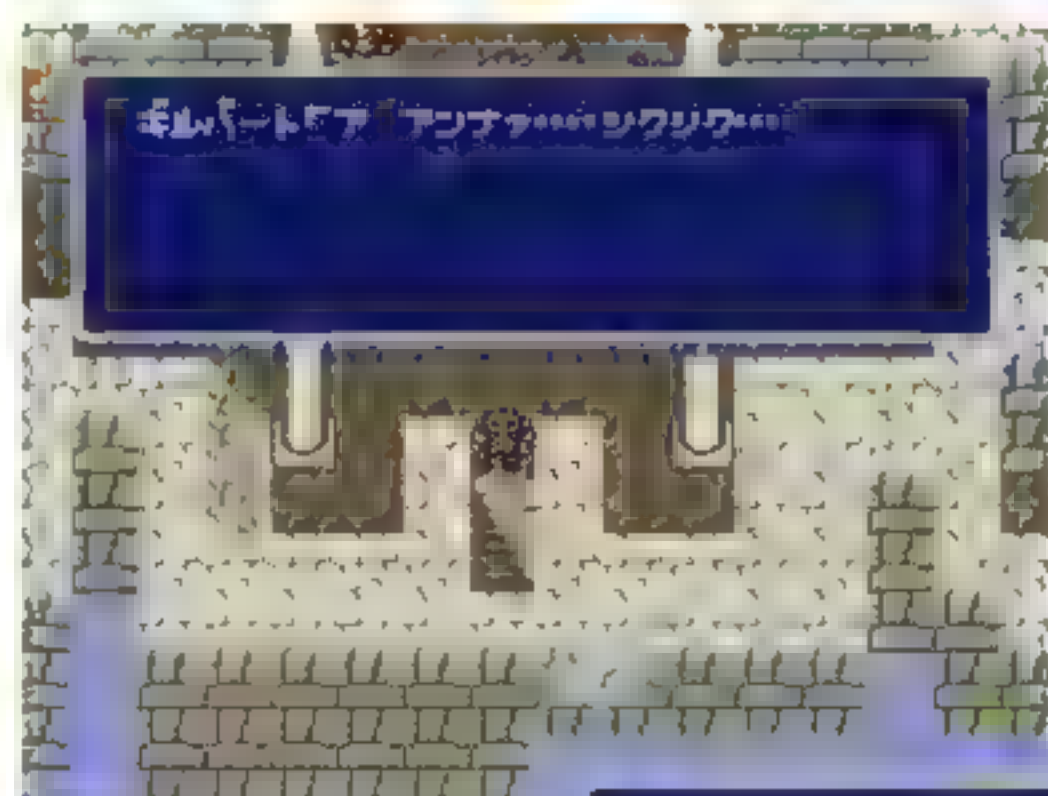
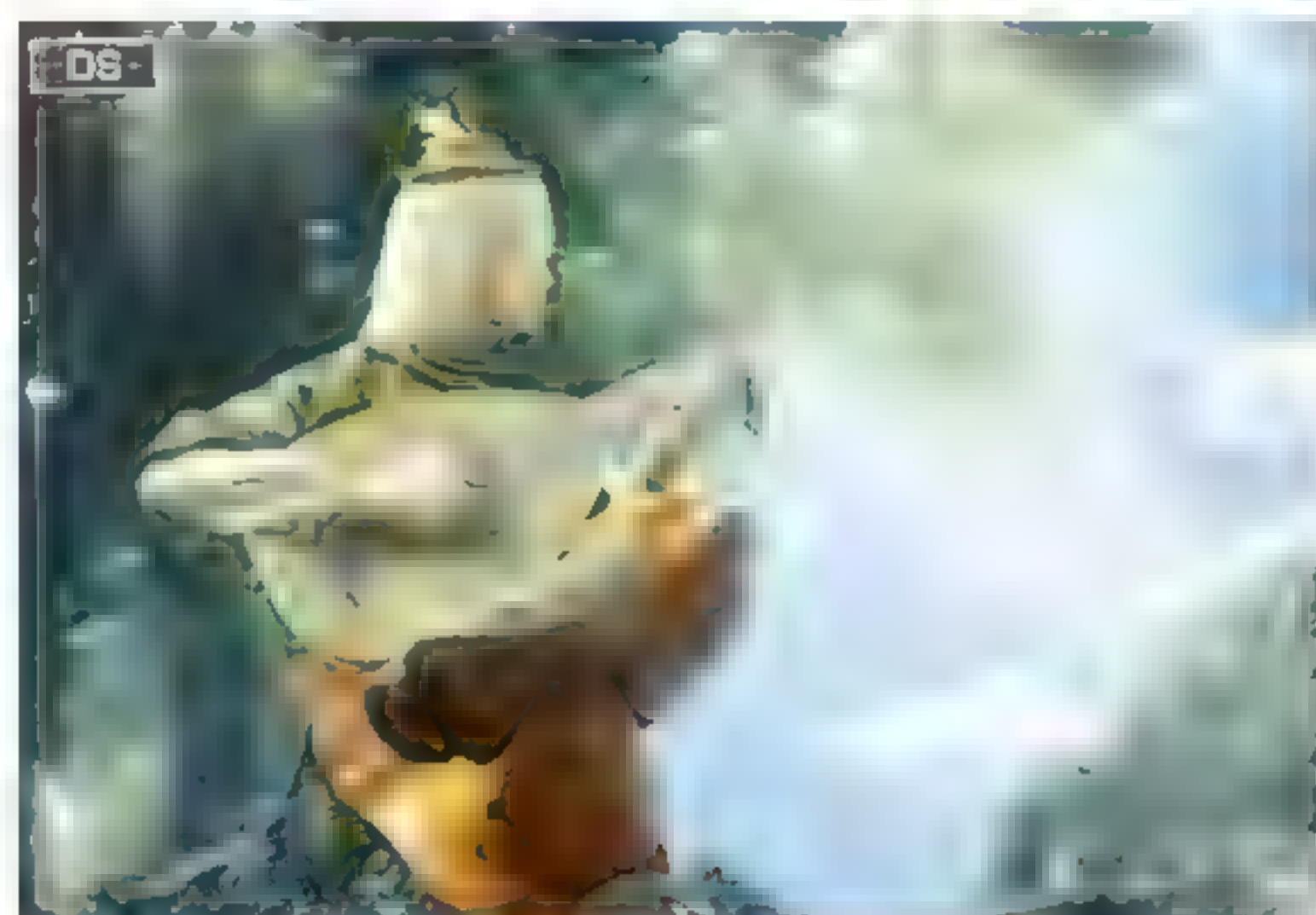
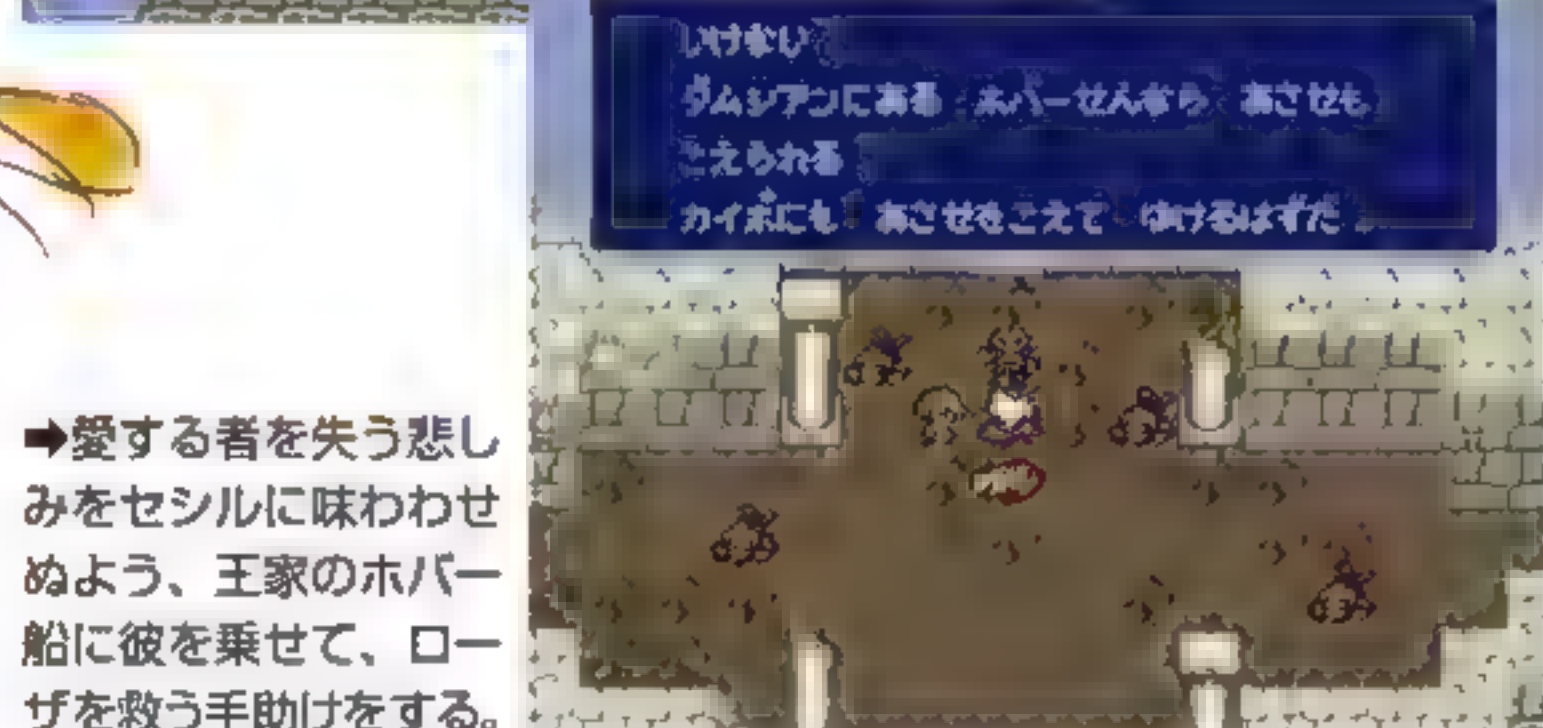
Personal Data

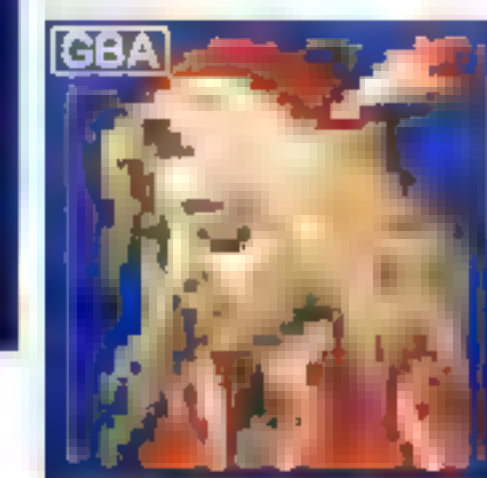
項目	内容	項目	内容
性別	男	体重	51kg
年齢	24歳	利き腕	右
身長	174cm	出身地	ダムシアン
職業	王族		

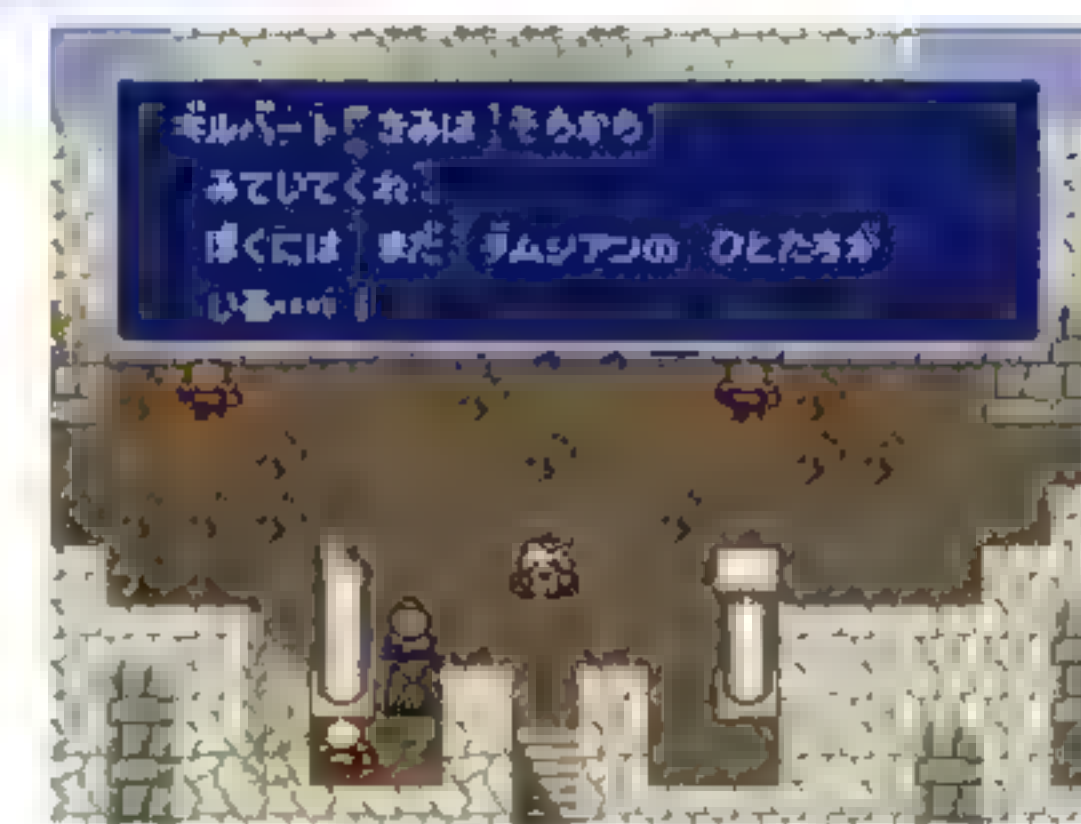
ボイスアクター DS 堀川りょう

亡き恋人を想いつづける心優しき吟遊詩人

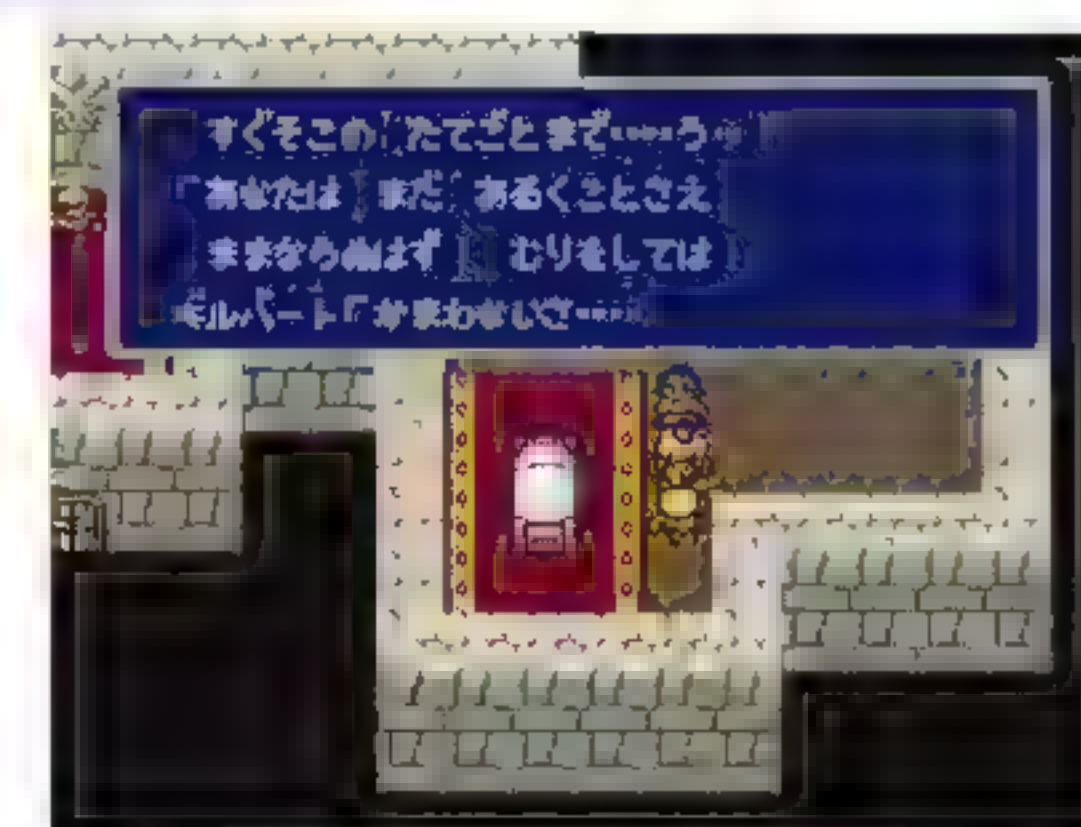
商業国家ダムシアンの第7代王位継承者。長らく平和がつづいたダムシアンの環境と、争いを好まない国民性からか、彼自身の性格も優しくおっとりしている。

ダムシアンの王族は代々、商人と吟遊詩人のふたつの顔を持つが、商才よりも吟遊詩人としての才を色濃く受け継いだ彼は、俗世を嫌い諸国を放浪していた。旅の途中でテラの娘アンナと出会い恋に落ちるも、彼女はダムシアンが襲撃されたさい、ギルバートをかばって命を落としてしまう。悲しみに打ちひしがれるなか、立ち直るきっかけを与えてくれたのがセシルたちだった。仲間として彼らに同行するうちに生きる気力と失っていた自信を少しずつ取りもどし、己の身をかえりみずに仲間を助けるまでに成長。同時に、王位を継ぐ者としての歩むべき道、果たすべき責任も自覚していく。

⬅最愛の人アンナを失って、人目もはばからず泣いてしまうギルバート。当初は心の弱さばかりが目立つ。

➡愛する者を失う悲しみをセシルに味わわせぬよう、王家のホバー船に彼を乗せて、ローザを救う手助けをする。

Topics of Gilbart

天国のアンナに恥じぬよう

ローザを助ける手伝いをしたのち目的を見失ったギルバートは、魂として目の前に現れたアンナから、勇気を出すよう励まされる。具体的に何をすればよいのか悩んでいたギルバートだが、セシルたちと行動するうちにしだいに気づく。助けが必要な者のため、己の持てる力を出し切ることが大事なのだと……。ひとまわり成長した彼は、世界に平和がもどったあと、ダムシアンの復興に全力を尽くす。

⬆エンディングでは、王として国の復興に力を尽くすことを天国のアンナに誓う彼の姿が……。

竪琴の音色が仲間を救う

ギルバートの転機となったのが、磁力の洞窟にいるダークエルフから土のクリスタルを奪還する一件だ。海で遭難したせいで衰弱し、セシルたちへの同行を断念したギルバートは、離れた場所へ音を届けられる「ひそひ草」を介して協力すると約束。仲間の危機を感じ取ると、ダークエルフの術を破るため、絶対安静の身ながらも竪琴を奏でた。この決死の行動が仲間を助け、同時にギルバートの勇気をも呼びさます。

⬆セシルたちを助けたい一心で、医師が止めるのも聞かず、竪琴を取りに行く。

吟遊詩人の特技?

短い期間ながらセシルたちに同行するギルバートだが、竪琴を奏でるぐらいしか戦う手段を持たず、貧弱で打たれ弱い。そんな彼の特技は「かくれる」。体力が減ると自動的に隠れてしまう様子は、リディアに弱虫と言われてもしかたない?

⬅吟遊詩人の特性を活かしてバトルに協力するものの、基本的にはかよわい王子様。

Impressive Words

物語序盤は気弱で情けない発言が目立つが、やがて勇気と責任感が備わると、言葉にも力がみなぎるように。優しい人柄が口調に表れており、その端々からアンナを大切に想う気持ちが伝わってくる。

「ア、アンナァ……シクシク……」「君の言うとおり僕は弱虫さ! だからずっとこうしてアンナのそばにいるんだ! もう何もかもどうでもいいんだ!」

——ダムシアン城:アンナを失い泣いているところをリディアに叱咤され

「アンナ、戦うよ! でも勇気と言っても……アンナ、僕はどうしたらいいんだ……」

——オアシスの村カイポ:現れたアンナの魂に、勇気を出すよう励まされ

「かまわないさ……セシルたちを救えるのは僕しか……いない!」

——トロイア城:重傷の身にもかかわらず竪琴を取りに行こうとして

「アンナ……何となくわかった気がするよ……」

——トロイア城:無理を押してセシルたちを救ったことに礼を言われてつぶやき

ヤン

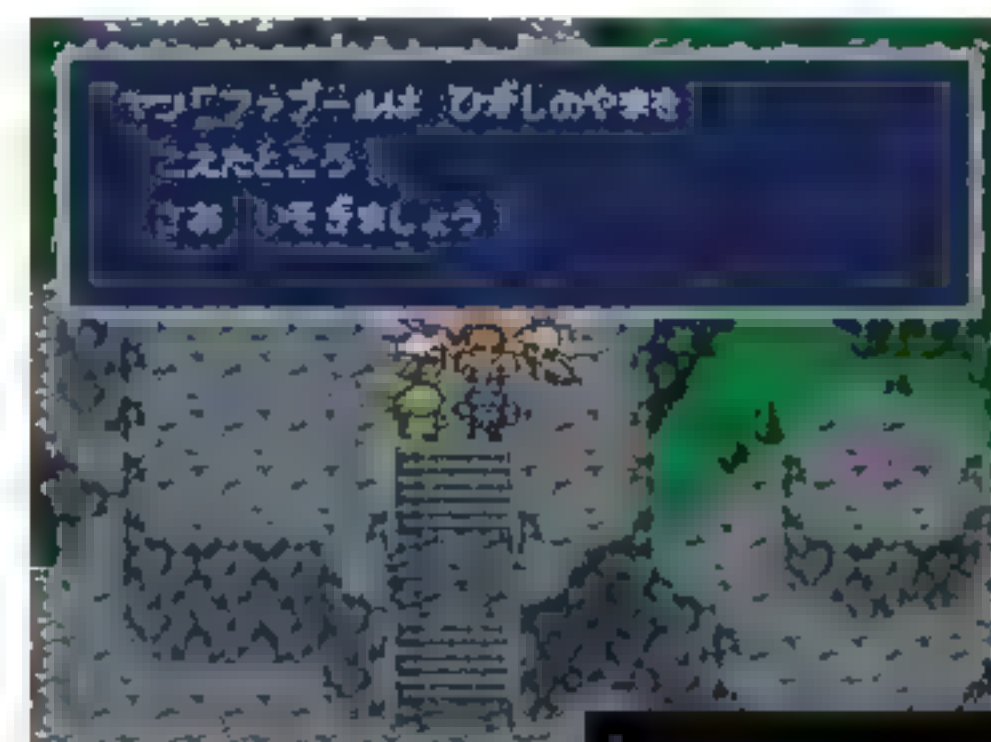
Yang Fang Leiden ライデン

Personal Data

性別	男	体重	76kg
年齢	35歳	利き腕	両利き
身長	182cm	出身地	ファブール
職業	モンク僧		
ボイスアクター	DS 玄田哲章		

屈強な肉体に不屈の精神を持つ寡黙なモンク僧

ファブールのモンク僧兵長。武芸の才に恵まれたうえ、幼いころから肉体と精神の鍛錬を重ね、祖国最強のモンク僧としての地位を築いた。だからといっておごることはなく、いつも謙虚な姿勢を忘れない。言葉は少ないが、実直で寛容な人柄から、周囲の人望を集めている。

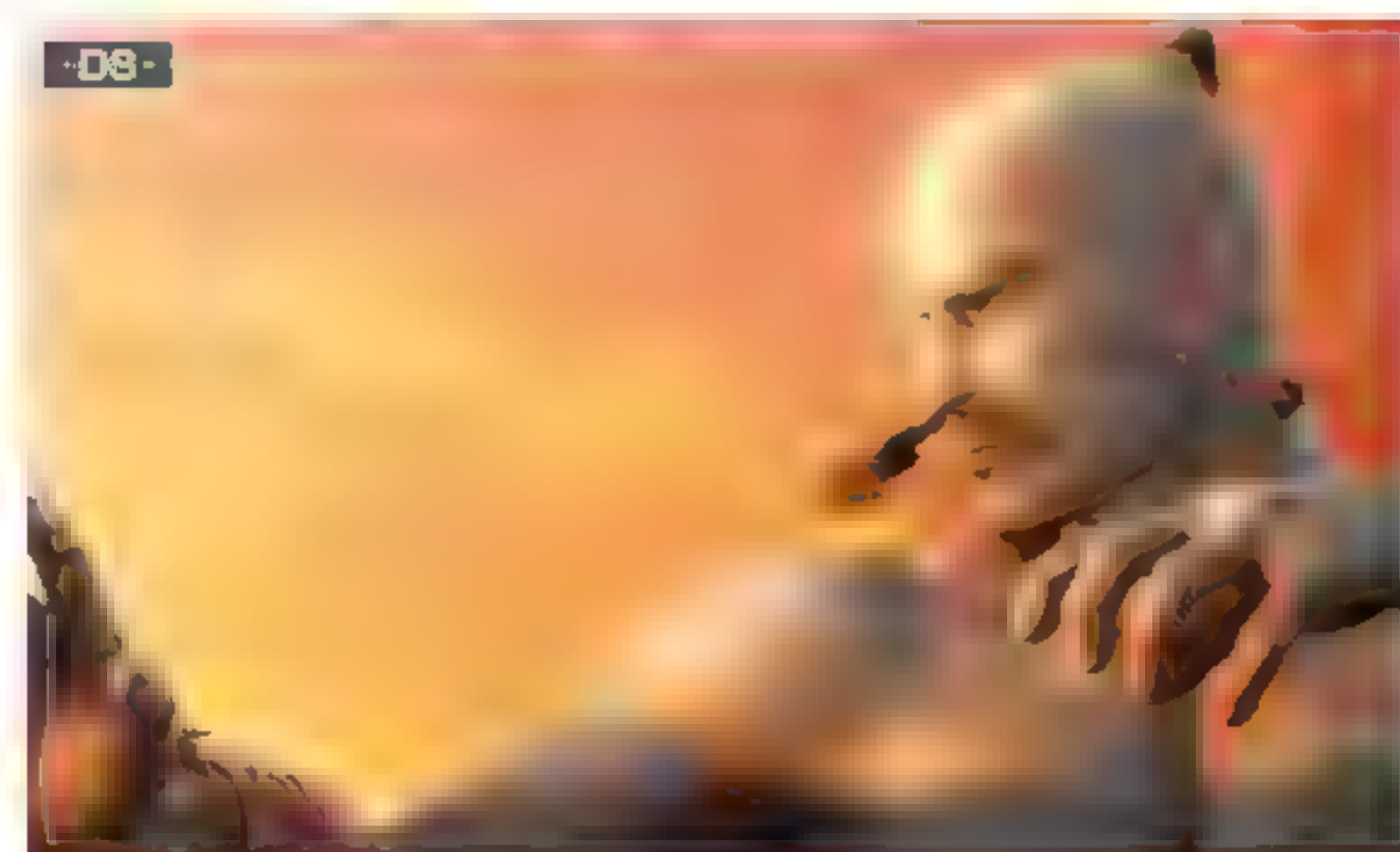
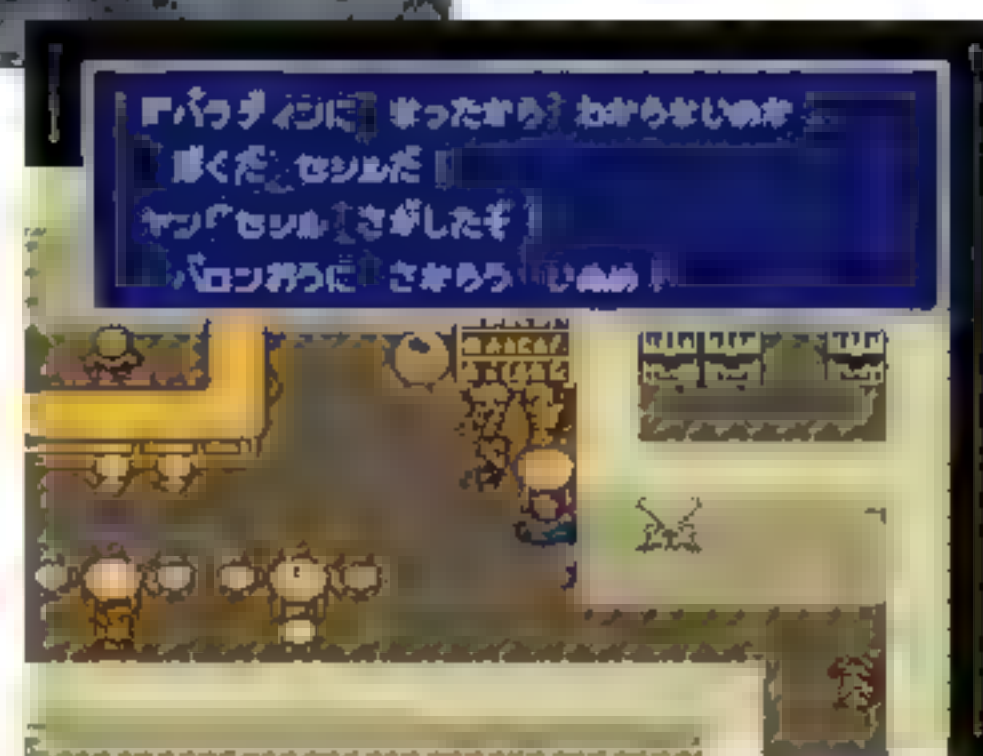
ファブールの危機を知らせにきたセシルたちと出会い、風のクリスタルを守るための共闘を経て、彼らの旅に同行。バブイルの塔にて、巨大砲の暴発を防ぎドワーフたちと仲間を救うために己の身を投げ出す。生存は絶望的と思われたものの、瀕死のところをシルフたちに救われ、かろうじて命を取りとめていた。その後も意識のない状態がつづくが、妻の愛がこもったフライパンの一撃でようやく覚醒。戦線復帰はままならぬまでも、最後までセシルたちの戦いを見守る。

⬅ホブスの山で魔物の群れに襲われていたところをセシルたちに加勢してもらい、ともにファブール城へ向かう。

➡航海中にリヴァイアサンの渦に飲まれて仲間とはぐれたあと、バロン軍に洗脳された状態でセシルたちと再会。

DS

Topics of Yang

GBA

DS

■ 妻は弱点にしてパワーの源

国でナンバーワンの力を持つと言われるヤンにも弱点がある。それは、料理上手でしっかり者の妻。僧兵たちの前では威厳たっぷりのヤンも、テキパキとして威勢のいい妻には頭が上がらず、押し切られっぱなしなのだ。そうは言っても夫婦仲は極めて良好で、妻の存在はヤンに大きな力を与えている。倒れたヤンの意識がもどったのも、フライパンにこめられた妻の愛が、覚醒をうながしたからだ。

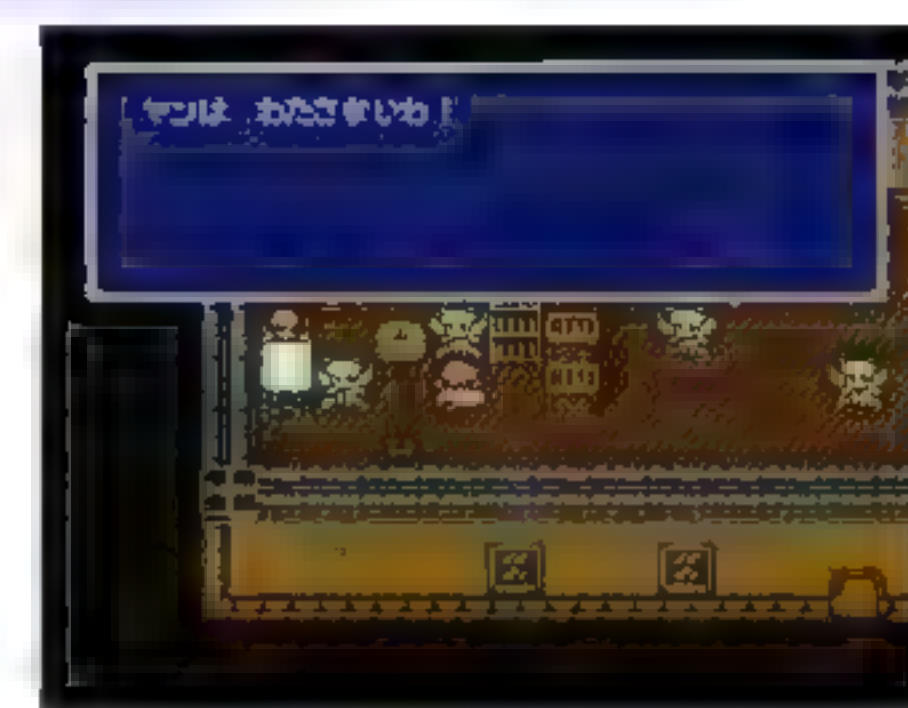
⬆最愛の妻が帰りを待っているファブールの自宅は、ヤンにとって心から安らげる場所。

■ 死をも恐れぬモンク僧

ファブールは精神修養を目的とする修行僧(モンク)の国。己を律し、勇気や信義を重んじるのがモンクの精神であり、リーダーのヤンは、その心意気を身をもって示そうとする。リヴァイアサン出現の衝撃でリディアが船から転落したときに彼女を救おうと迷わず海に飛びこんだり、バブイルの塔で仲間を救うために己の命をなげうったりするのも、徳の高いモンク僧であるヤンにとっては当然の行ないなのだ。

⬆モンク僧としての道をつらぬき、暴発しかけた巨大砲を止めるべくただひとり残るヤン。

■ シルフたちに大人気!?

巨大砲の暴走を防ぎ重傷を負ったヤンは、シルフたちの看病で命を救われ、物語終盤には彼女らとともにセシルたちの援護に駆けつける。風のクリスタルの加護を受けるファブールの者ゆえ、風の力を持つシルフたちの心をとらえたのだろうか。

⬅ヤンに愛を注ぐあまり、セシルに彼を連れ去られまいとして敵意をあらわにするシルフも。

Impressive Words

人への礼儀を大切にしているヤンは、相手を呼ぶさい名前のあとに"殿"をつけるなど、ていねいな言葉が多い。時代がかった口調も目立ち、「かたじけない」が口グセとなっている。

「みなわけありか……かたじけない！　助太刀願えるか?」
──ホブスの山：ファブールでともに戦う、と言うセシルたちと合流して

「しかし虎穴にいらずんば虎児を得ず……」
──ドワーフの城：クリスタル奪還のため、敵の本拠地バブイルの塔に潜入する作戦に賛同し

「ここは私が引き受ける！　皆は早く脱出を！」
「妻に伝えてくれ……私のぶんも生きろと！」「楽しい旅であった！」
──バブイルの塔：巨大砲の暴発を防ぐためにみずからの身を犠牲にして

「世界がかかっているんだ！　寝ているわけには……」
──シルフの洞窟：妻のフライパンで目覚めた直後、無理に立ち上がろうとして

パロム
Palom

Personal Data

性別	男	体重	22kg
年齢	5歳	利き腕	左
身長	94cm	出身地	ミシディア
職業	黒魔道士		
ボイスアクター	DS 釘宮理恵		

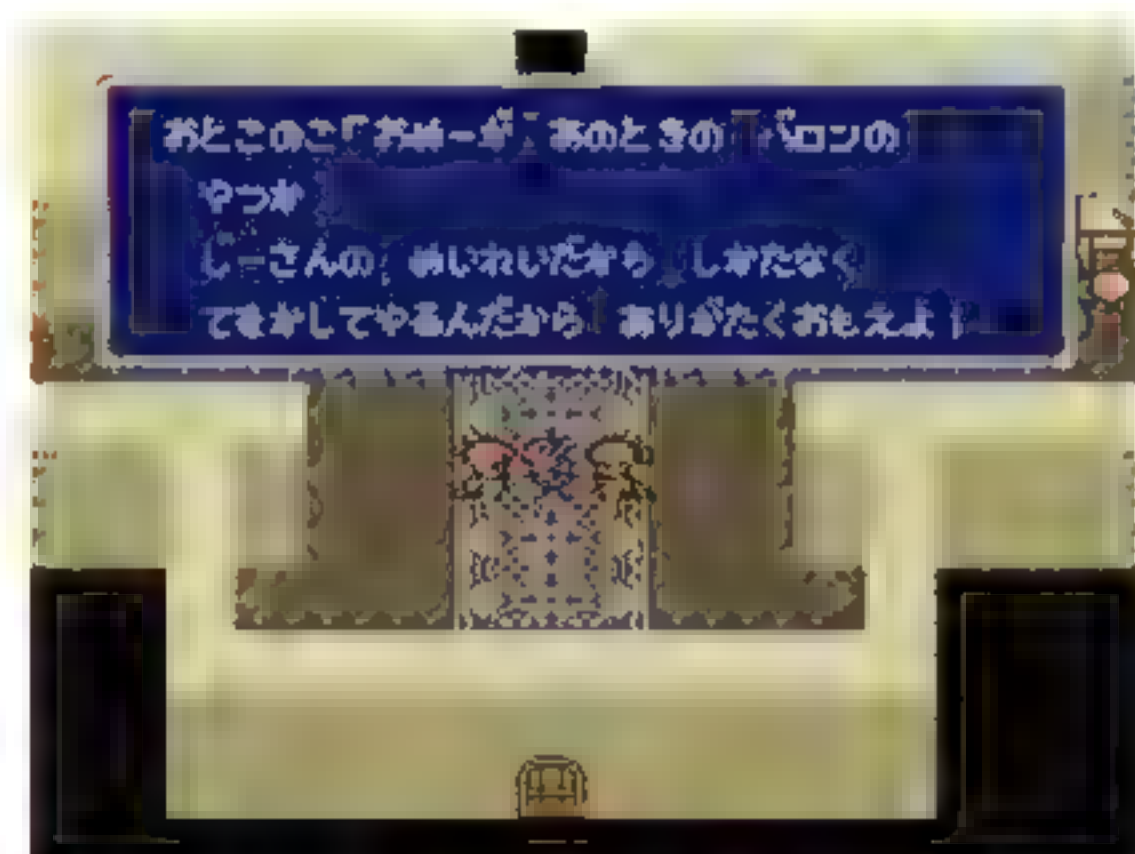
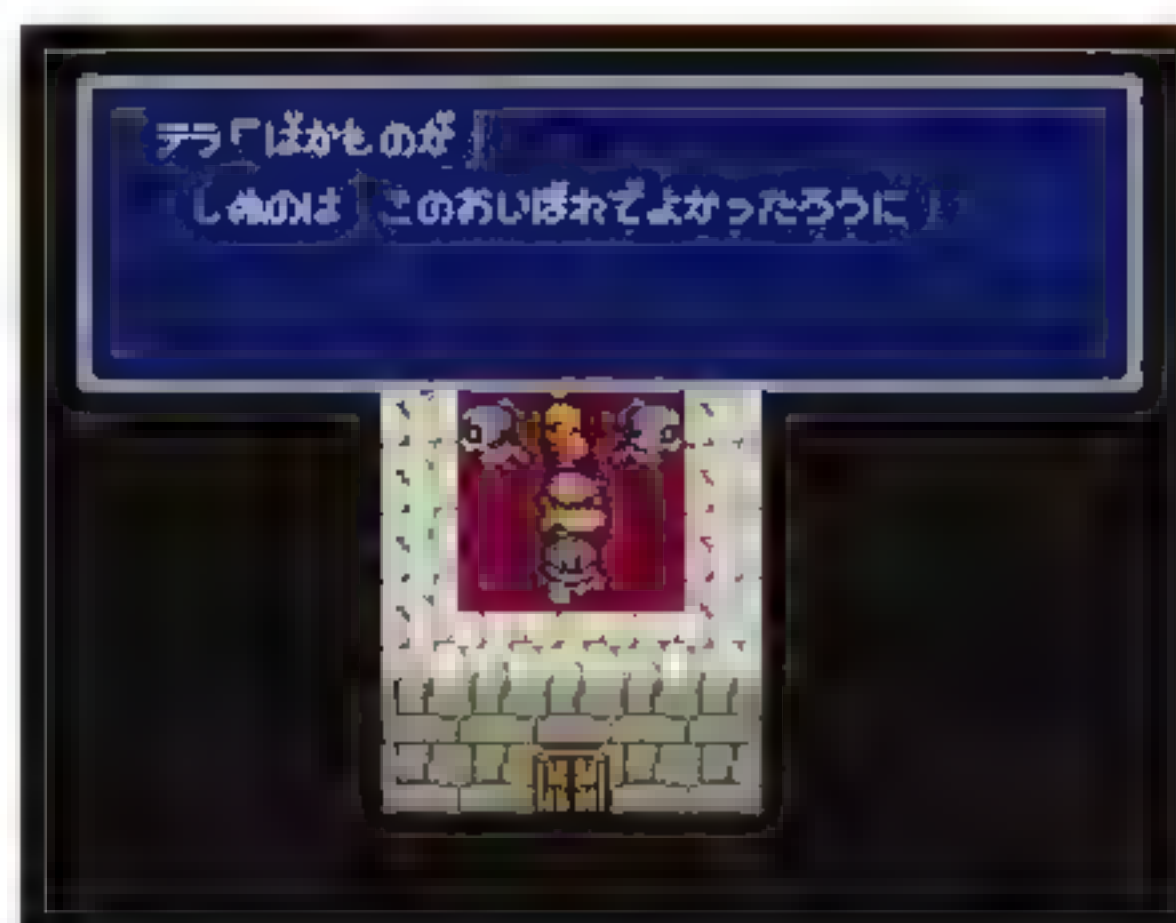
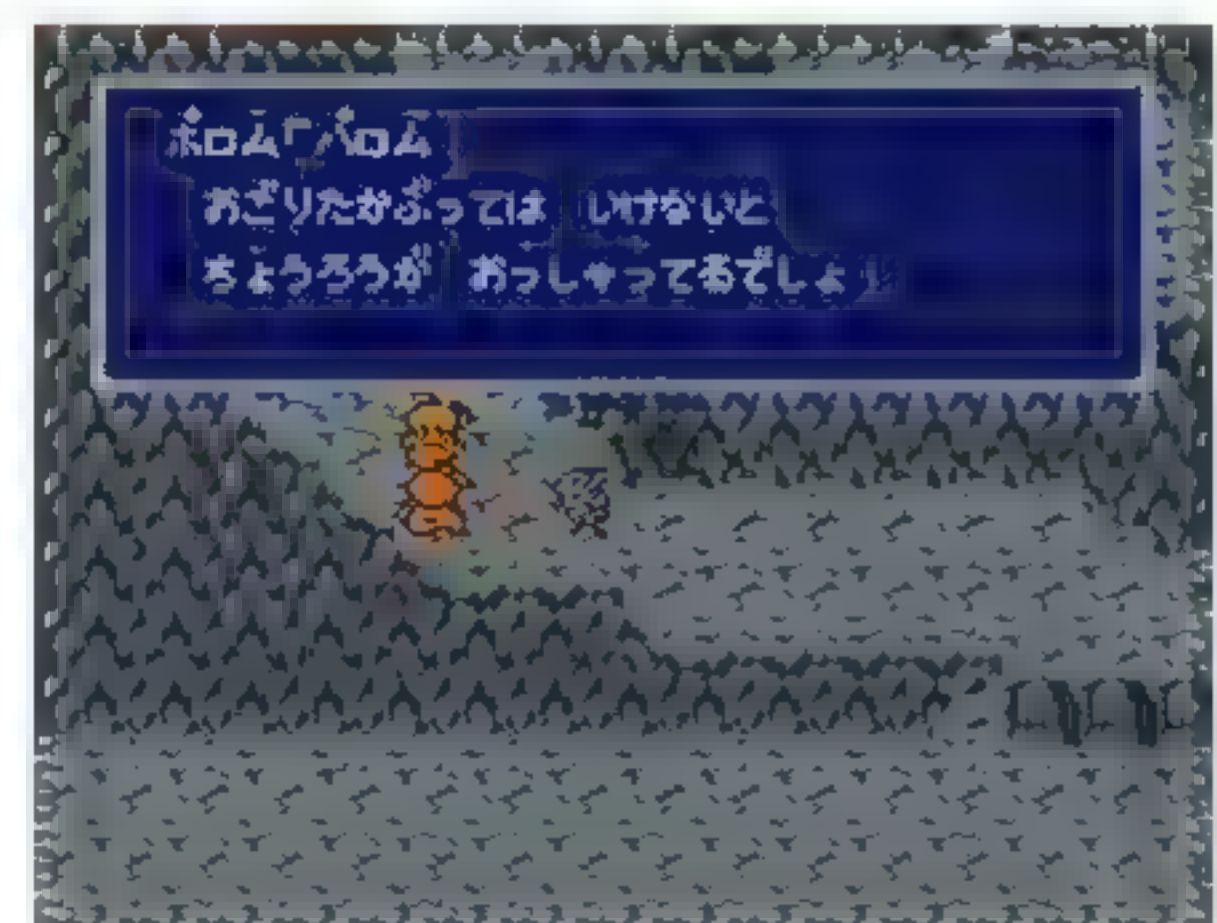
ポロム
Porom

Personal Data

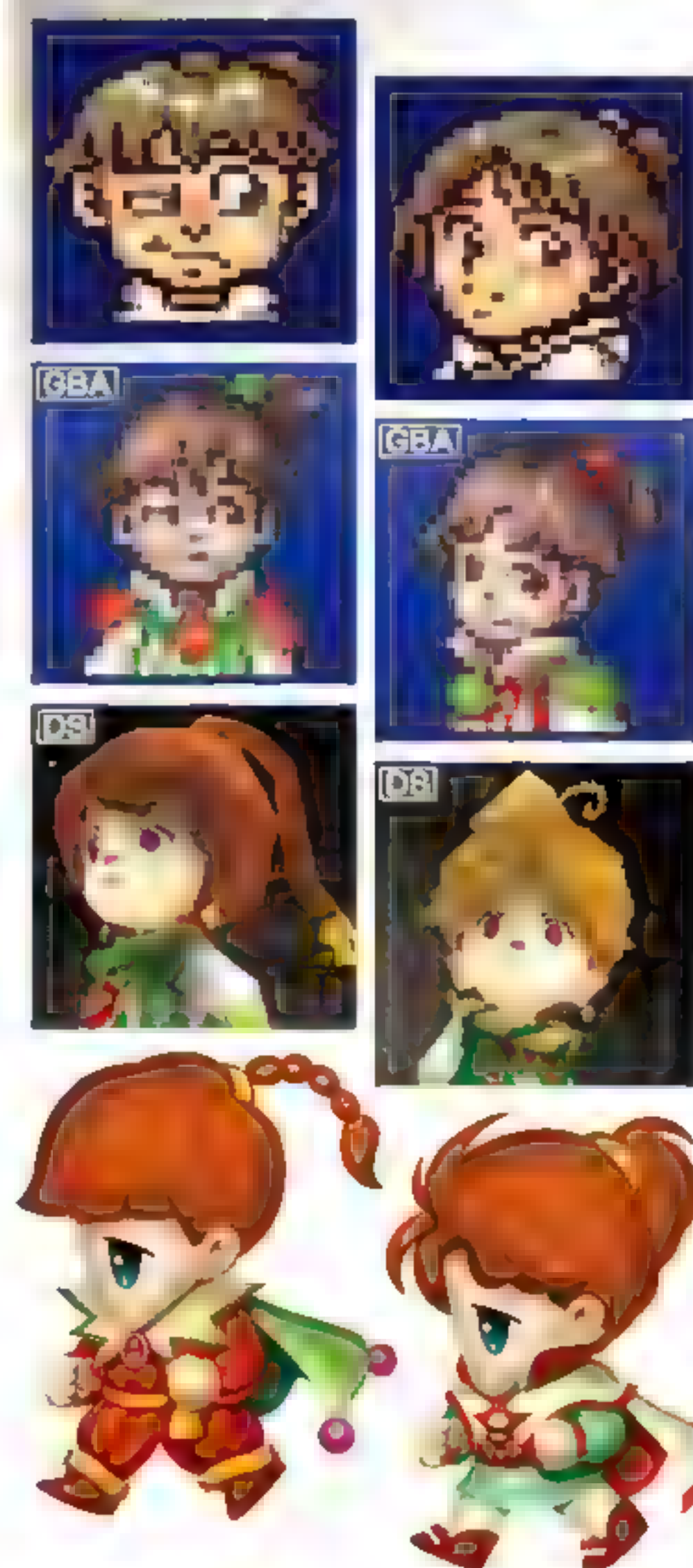
性別	女	体重	19kg
年齢	5歳	利き腕	右
身長	93cm	出身地	ミシディア
職業	白魔道士		
ボイスアクター	DS 釘宮理恵		

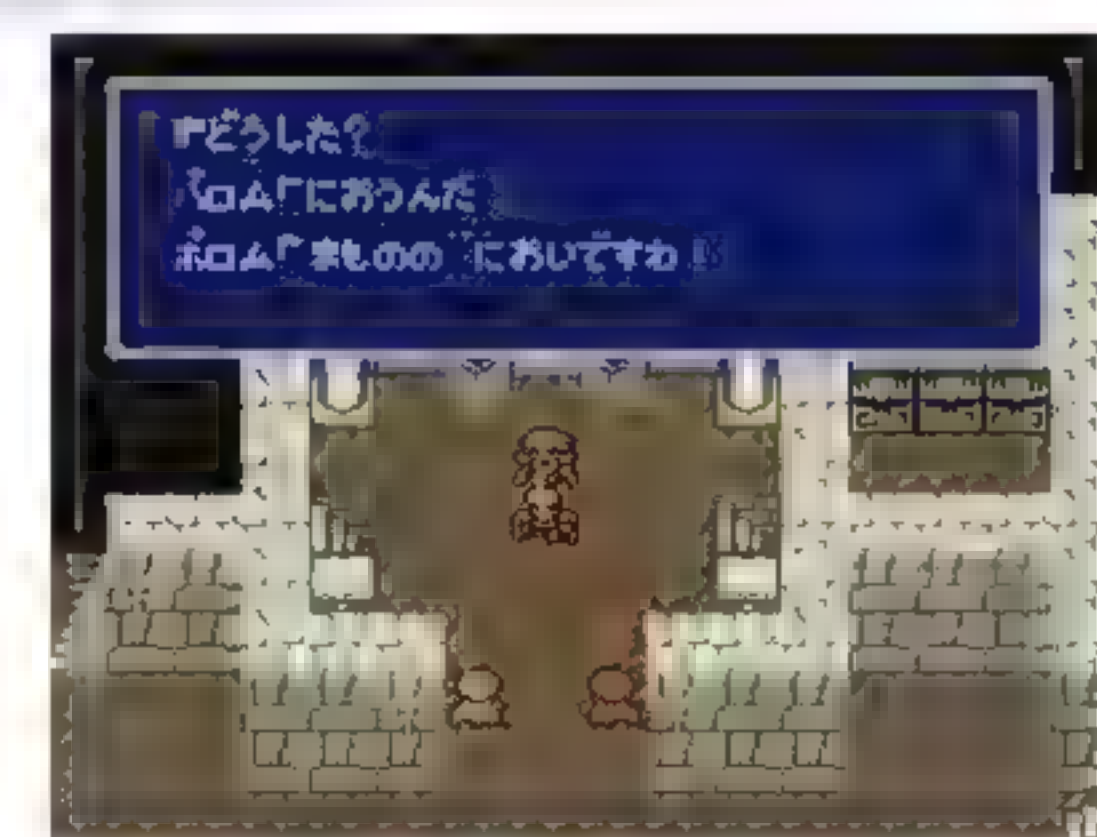
幼いながらも魔法の腕は一流 やんちゃでおませな双子の天才児

魔法の国ミシディアで生まれた双子の魔道士。卓越した才能を見込まれて、長老のもとで修行の毎日を送っている。いたずら好きでやんちゃな弟パロムは、修行をよくさぼるため、長老にしかられることも多い。そんな弟のお目付け役がおませな女の子ポロムで、幼い子どもとは思えぬほど落ち着きがある。

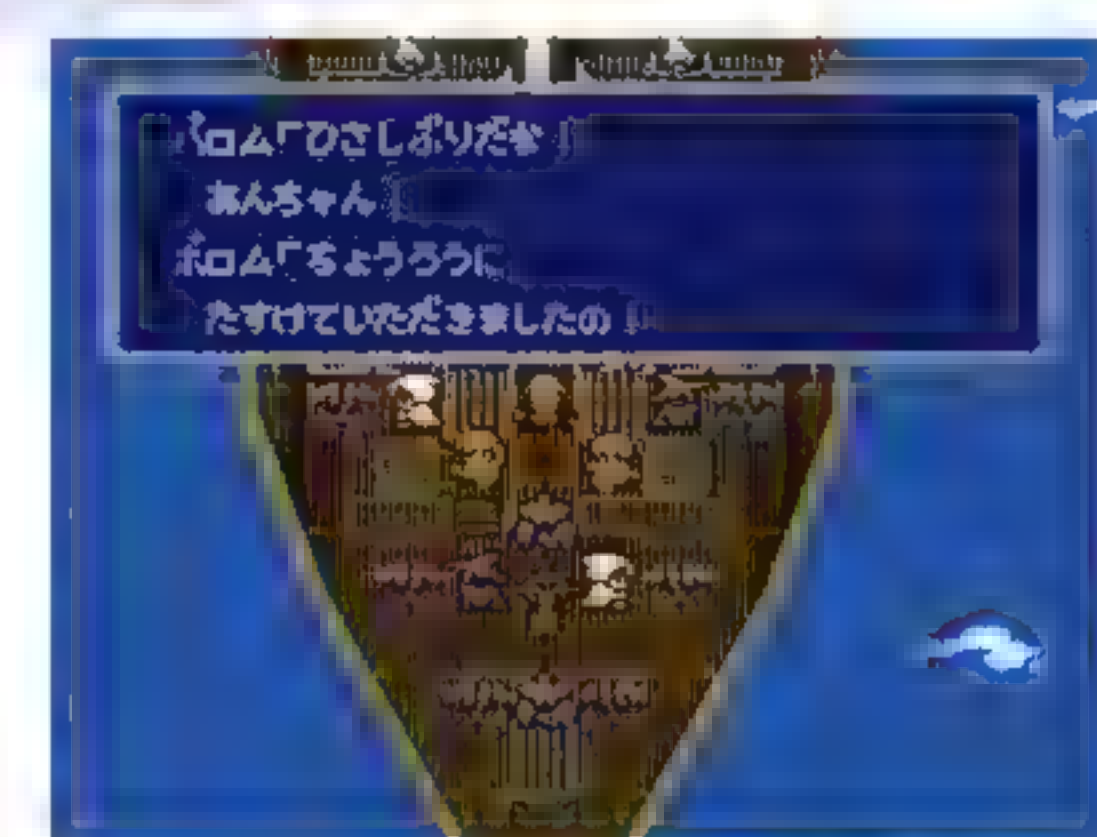
長老の言いつけにより、かつてバロン王の命令でミシディアを襲ったセシルを監視すべく彼に同行しはじめたが、いつしか彼への信頼感が芽生え、監視役を終えたのちも行動をともにする。しかし、バロン城では迫りくる壁から仲間を助けるため、自分たちの身を魔法で石化させてしまう。幼い命が犠牲になったかと思われたものの……。

↑自国のためとはいえミシディアを襲撃したことのあるセシルに、最初は良い印象を持っていなかった。

↑自分たちの身をブレイクの魔法で石に変化させ、左右から迫りくる壁のワナを食い止めて、仲間の危機を救う。

↑パロムが調子に乗りすぎたところをポロムがお姉さんらしくしかるという、姉弟のお約束のかけ合い。

Topics of Palom&Porom

GBA　GBA　DS　DS

魔物のにおいに敏感

セシルに同行してバロン城を訪れたパロムとポロムは、仲間になると言ってた近衛兵長ベイガンのウソをすぐさま見破る。すぐれた魔道士のみが持ちうる感覚の鋭さにより、ベイガンの本性をかぎつけたのだ。ちなみに、ポロムはベイガンのヘタな芝居について、パロムはベイガンの言葉をすぐに信用してしまったセシルの甘さに対して、それぞれ偉そうなことを言うが、それも口が達者なふたりならでは。

↑「魔物のにおいがする」と言って、魔物化していたベイガンの正体を暴く。

石となったふたりのその後

バロン城で仲間を守るためにみずからの意志で石と化したパロムとポロムは、いくらエスナや金の針を使っても、もとの姿にはもどせない。あきらめるしかないかと思われたが、セシルたちがバブイルの巨人に向かうさいは、そこに駆けつけたヤンやシドなどの仲間たちにまじって、パロムとポロムも元気な姿を見せてくれる。

↑もとの姿にもどったふたりの元気な様子を見て、セシルたちもホッとしたにちがいない。

双子パワーが炸裂

黒魔道士のパロムと白魔道士のポロムは、バトルにおいてもお互いの長所を活かし、弱点をおぎないながら活躍する。とくに、ふたりで協力して同時に魔法を唱える「ふたりがけ」は、息のピッタリ合った双子ならではの強力なワザだ。

↑双子には不思議なパワーがあると言われるが、パロムとポロムもその例にもれない。

Impressive Words

口が悪くて生意気な発言が多いパロムと、言葉づかいがていねいでパロムにお姉さん風を吹かせるポロム。姉弟いずれからも、およそ5歳とは思えない言葉がどんどん飛び出す。

パロム「このミシディアの天才児、パロムさまがおともしてやるんだから、ありがたく思うんだな!」
——ミシディア：セシルに自己紹介して

ポロム「パロム!　おごり高ぶってはいけないと長老がおっしゃってるでしょ!」
——試練の山：登山口の炎を魔法で消して得意げなパロムの頭をたたいてしかり

パロム「ケッ!　これだから大人はめんどくさいんだよ」
——試練の山：命にかえても娘の仇討ちをするというテラの言葉を聞いて

パロム「あんちゃんありがとよ!」
ポロム「お兄様ができたみたいでとってもうれしかったですわ!」
——バロン城：迫る壁を石化して食い止めるべく意を決して

シド

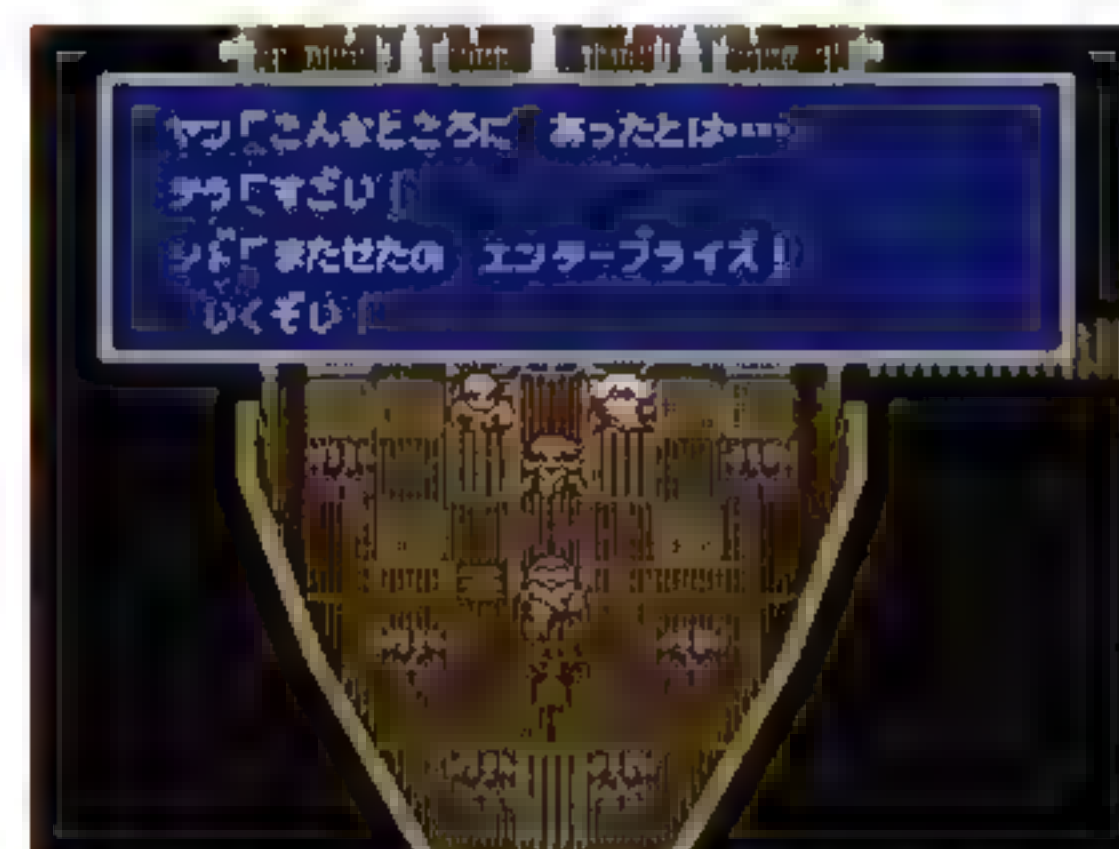
Cid Pollendina　シド・ポレンディーナ

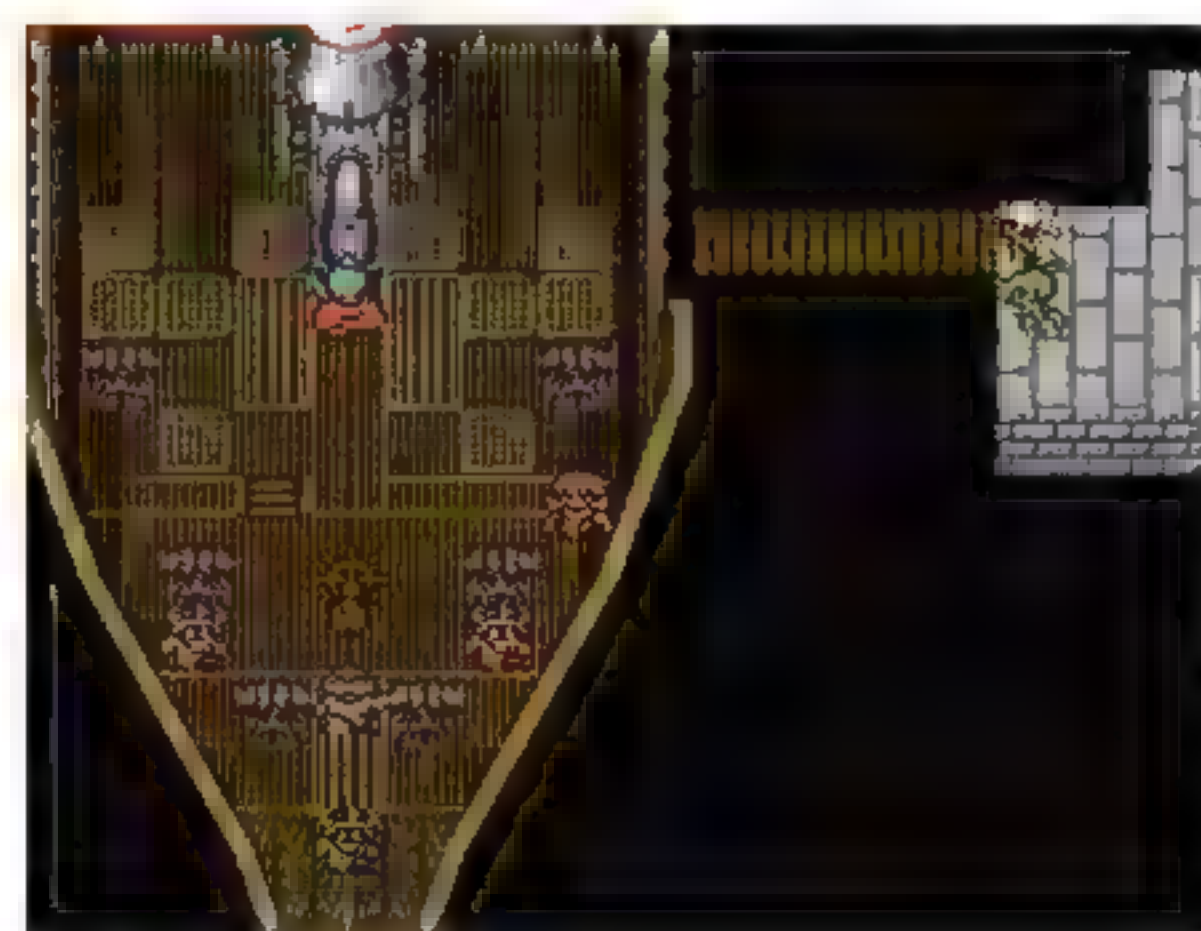
Personal Data

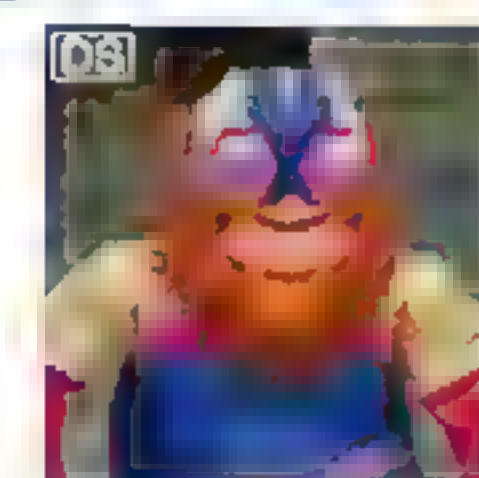
性別	男	体重	67kg
年齢	54歳	利き腕	右
身長	159cm	出身地	バロン
職業	技師		
ボイスアクター	DS 永井一郎		

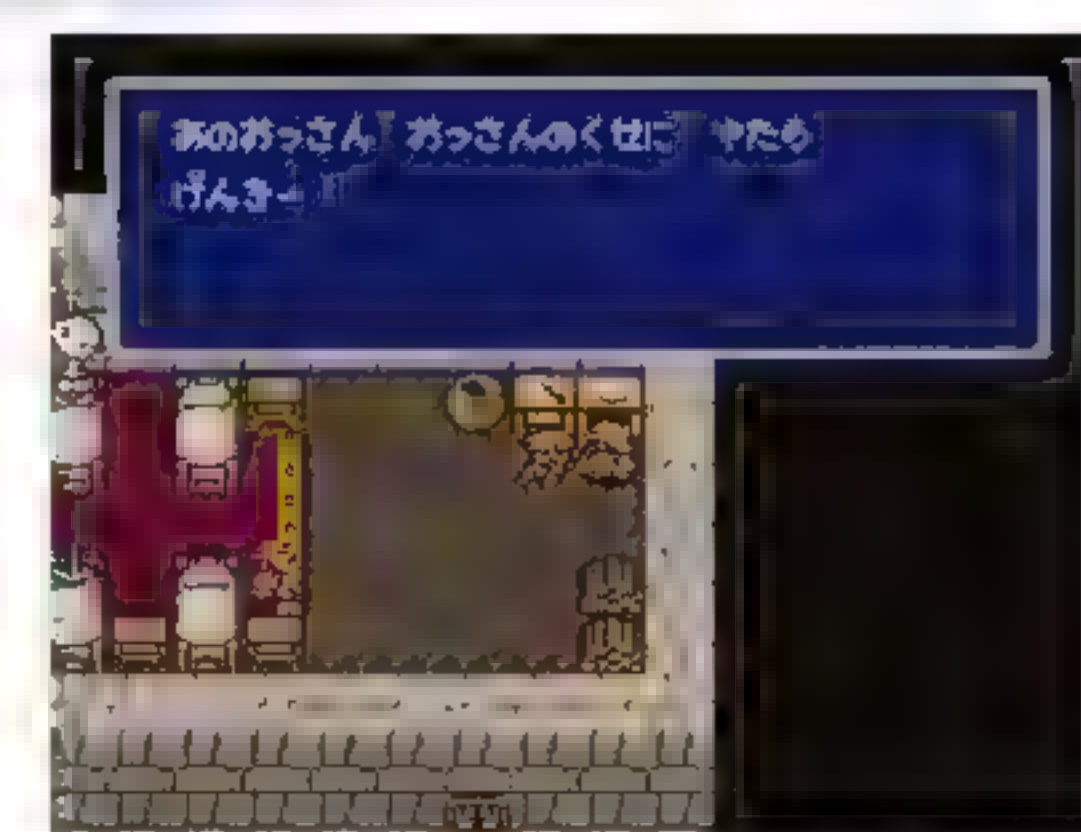
飛空艇をこよなく愛する人情深きエンジニア

バロン王国が誇る飛空艇技師。もともと空へのあこがれが強く、古文書から解読した浮遊術とみずからの航空理論をもとに飛空艇を生み出した。飛空艇のこととなると昼夜問わず作業に打ちこむ生粋の職人で、頑固な面もあるが人情味にあふれ、弟子たちから信頼されている。

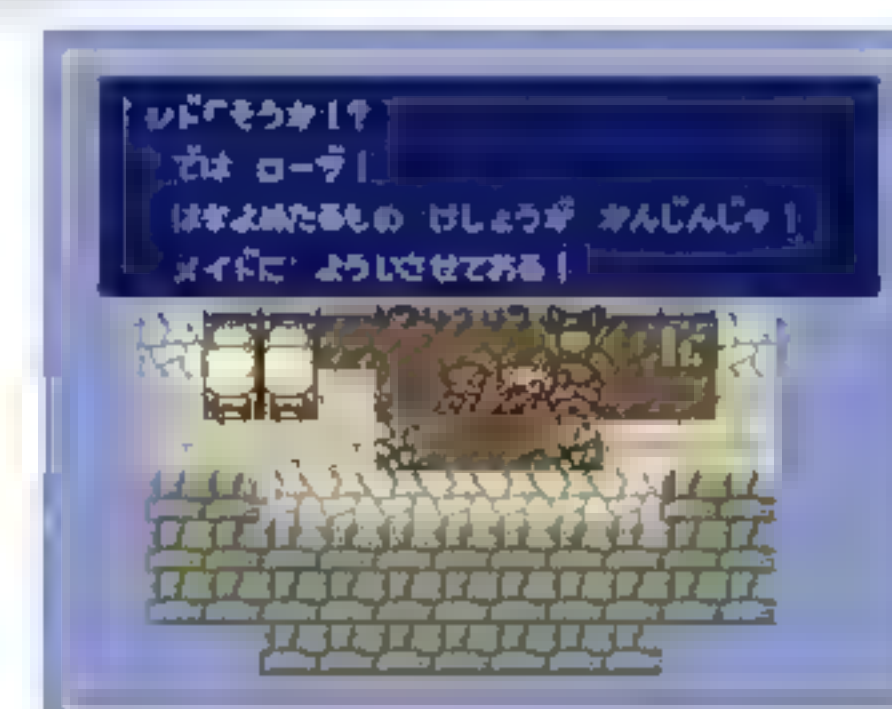
民間用に開発したはずの飛空艇を、近年バロン王が軍事利用しはじめたことに、つねづね反感を覚えていた。息子のようにかわいがってきたセシルがミストの村へ向かったのち、最新の飛空艇を隠した罪で投獄されるハメに。脱獄した直後、バロン城を訪れたセシルたちと合流し、仲間として同行する。バブイルの塔から脱出するさい、仲間を逃がそうとして戦線を離脱するが、以後も飛空艇の補修や改造などで協力をつづけた。

⬆独自に手がけた最新飛空艇エンタープライズとともに、操縦士兼技師としてセシルたち一行に加わる。

⬅地底からの追っ手をはばもうとしたシドは、地上へつづく穴をふさぐべく、爆弾を身につけて飛空艇を飛び降りる。

⬅ケガを負っているとは思えないほどエネルギッシュに、バブイルの塔で敵から奪った飛空艇ファルコン号を改造。

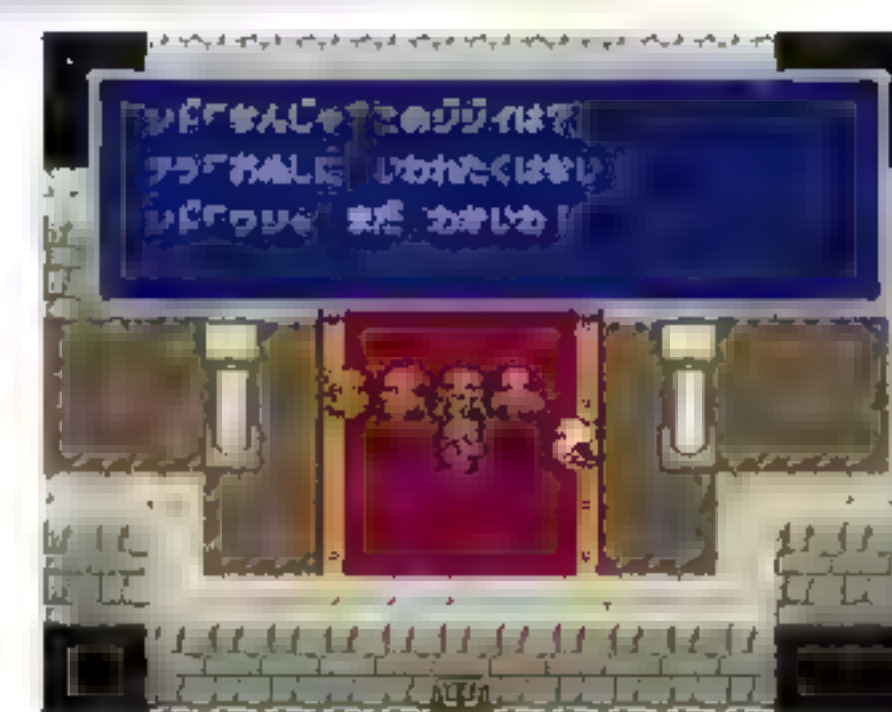
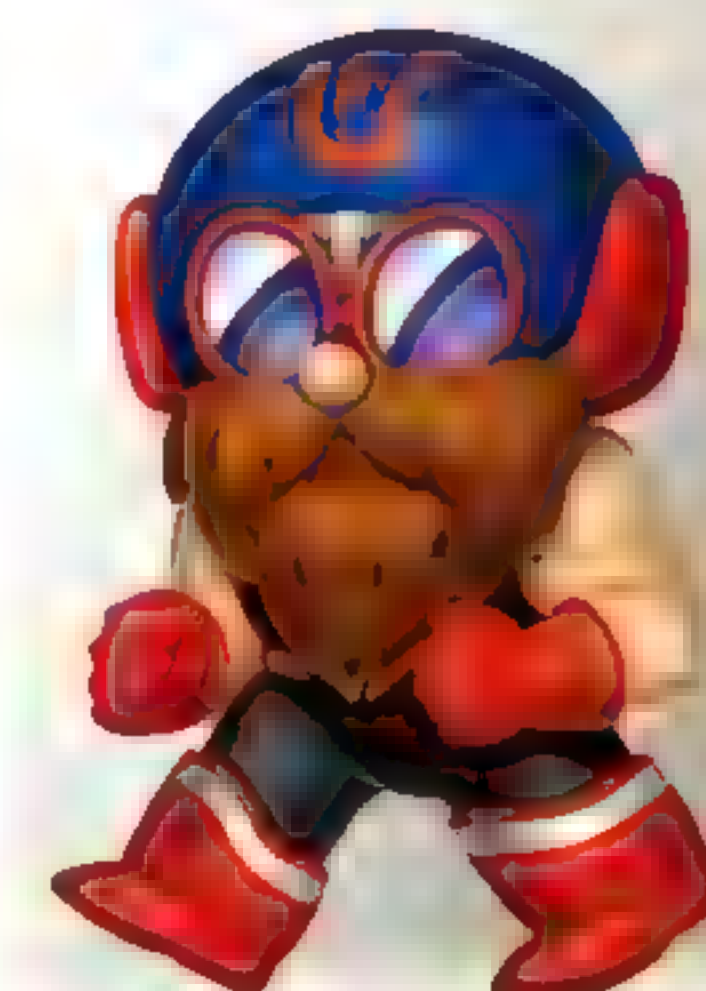
Topics of Cid

驚くべきバイタリティ

バブイルの塔から脱出するとき、ゴルベーザの軍勢を仲間に近づけまいとして、大ケガを負ったシド。ケガの度合いは非常に重かったが、そんな状況でも彼が命を落とさずにいられたのは、持ち前の強い生命力のおかげだろう。とにかくよく食べ、よく寝て、よくしゃべる――それがシドのパワーの源となっているのだ。弟子がシドのことを「元気すぎてお困りでしょう?」とセシルたちに言うのもうなずける話。

⬆傷を負って運ばれたドワーフの城の救護室でも「おっさんのくせにやたら元気ー!」。

世話好きが高じて父親がわりに

シドは過去に夫人を亡くしており、娘とのふたり暮らし。跡取り息子がいないせいか、本当の父親のような態度でセシルと接し、彼が幼いころから飛空艇に乗せていた。もともと世話好きな性分であるらしく、セシルとローザの仲についても何かと気にかけ、口を出さずにいられないようだ。

⬅エンディングでも、バロン王と王妃として戴冠式を迎えるセシルとローザの世話を焼く。

オヤジっぽいのか気が若いのか

年寄りのような言葉づかいをし、孫を待ち望むような調子で、セシルとローザの子どもを楽しみにしているシド。かと思えば、リディアに「おじいちゃん」、エッジに「じじい」と呼ばれて憤慨し、年齢のさほどちがわないテラのことはジジイ呼ばわりする。年ごろのオヤジの心は、かくも繊細で複雑?

⬅54歳のシドと60歳のテラは、互いに対抗意識を燃やしつつも、"ジジイ同士"でいいコンビ。

Impressive Words

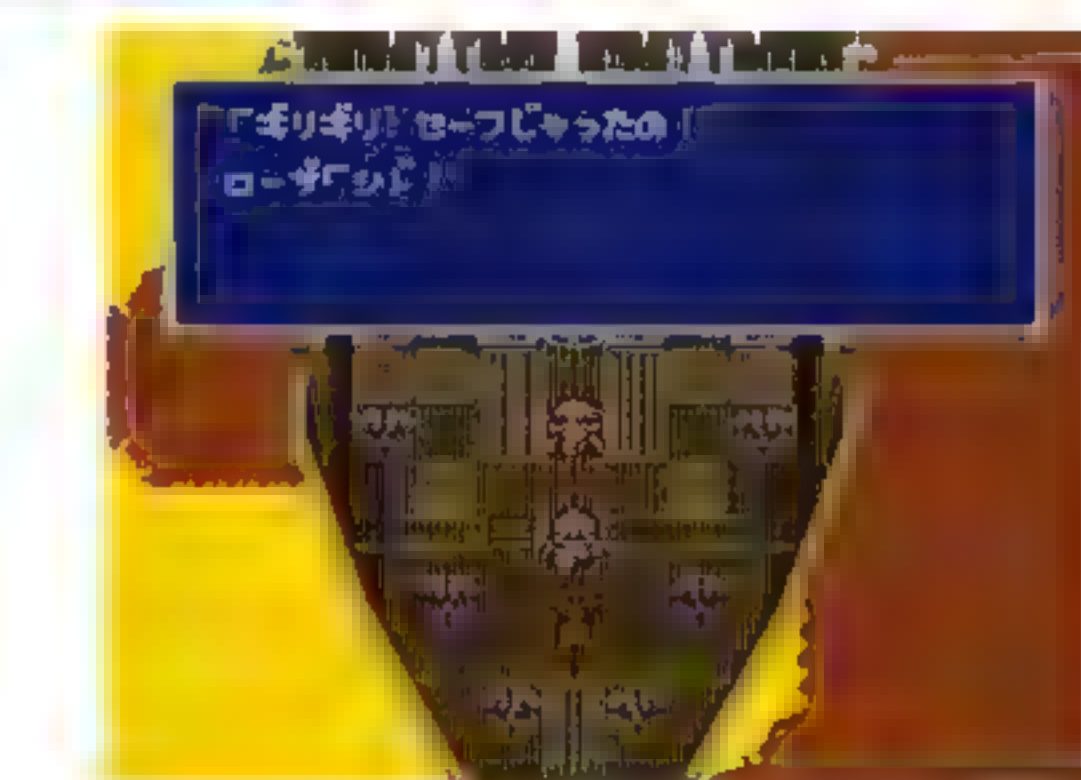
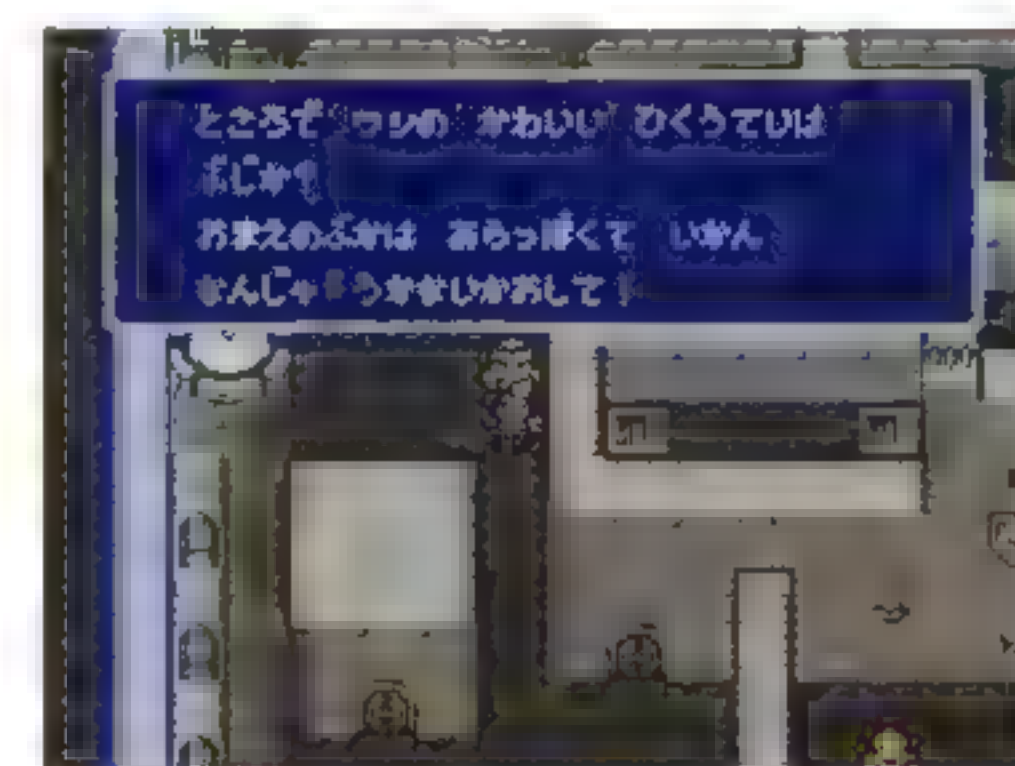
飛空艇に対しても仲間や子どもと接するように言葉をかけるあたりに、生みの親ならではの愛情が感じられる。また、シリアスな状況でも、ユーモアを忘れずにいるところが彼らしい。

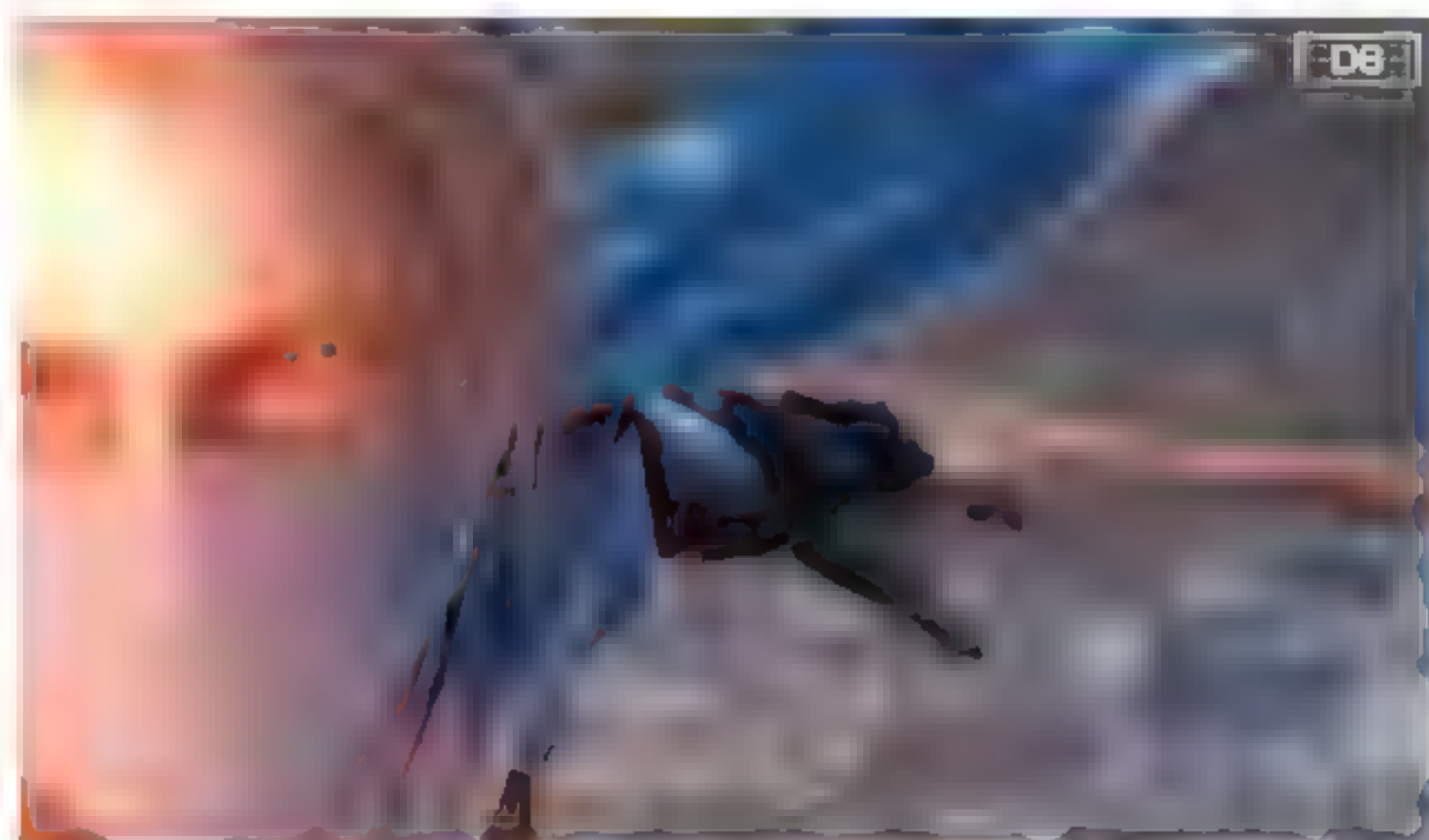
「ワシは飛空艇を人殺しの道具になぞしたくないんじゃ!」
――バロン城:他国侵略のために新型飛空艇を作れと言う王に憤慨して

「痛いか? エンタープライズ! 辛抱してくれい!」
――地底 戦火のなかを強行突破するさい、飛空艇エンタープライズをいたわり

「ほっほ、ローザ! ワシに惚れるなよ!」
――ドワーフの城:エンタープライズを修理すべく地上へもどるとき、心配するローザにおどけてみせて

「飛空艇技師シド、一世一代の見せ場じゃあっ!」
――地底:追っ手を振り切るため、爆弾とともに身を投じ

「フフ! ワシの出番のようじゃの! ワシがいないと何にもできんのかまったく……」
――ドワーフの城:セシルたちと再会し、重傷の身ながらも飛空艇ファルコンを改造しようとして

エッジ

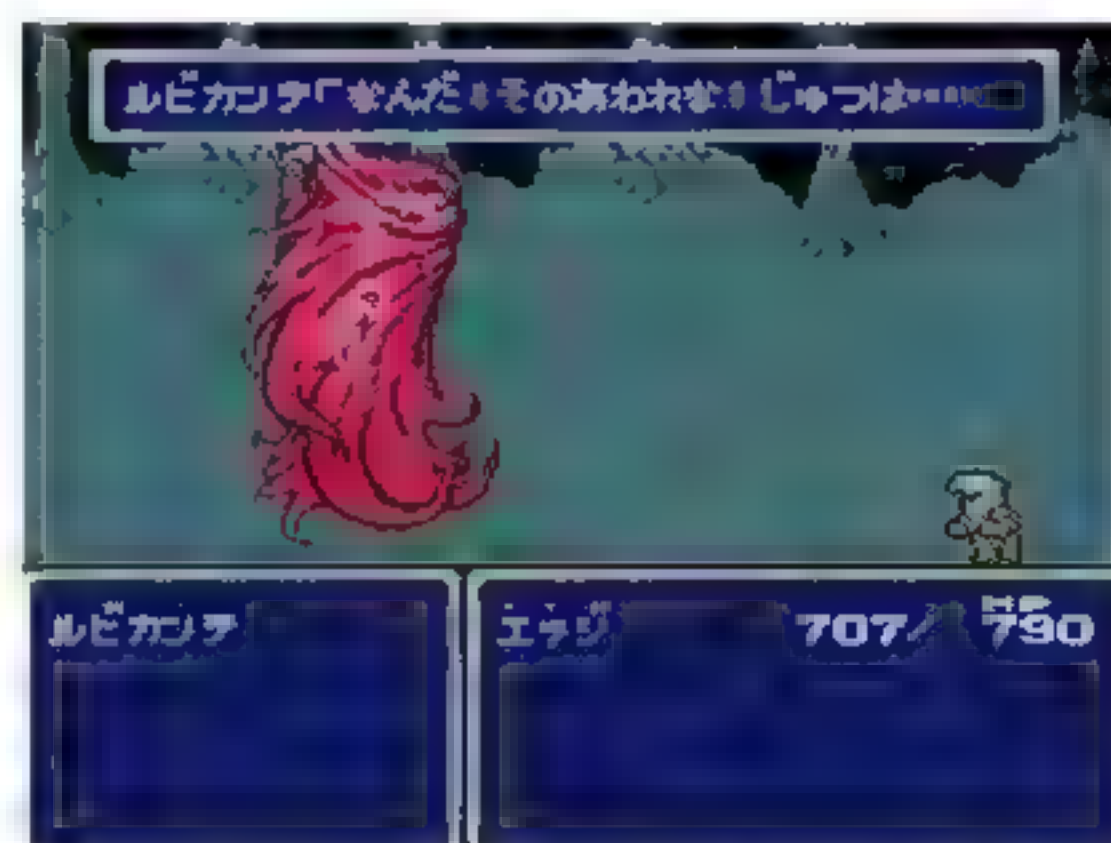
Edward Geraldine エドワード・ジェラルダイン

Personal Data

性別	男	体重	51kg
年齢	26歳	利き腕	両利き
身長	175cm	出身地	エブラーナ
[illegible]	忍者		

ボイスアクター DS 石丸博也

破天荒だが正義感はたっぷり 忍術を使う異国の王子

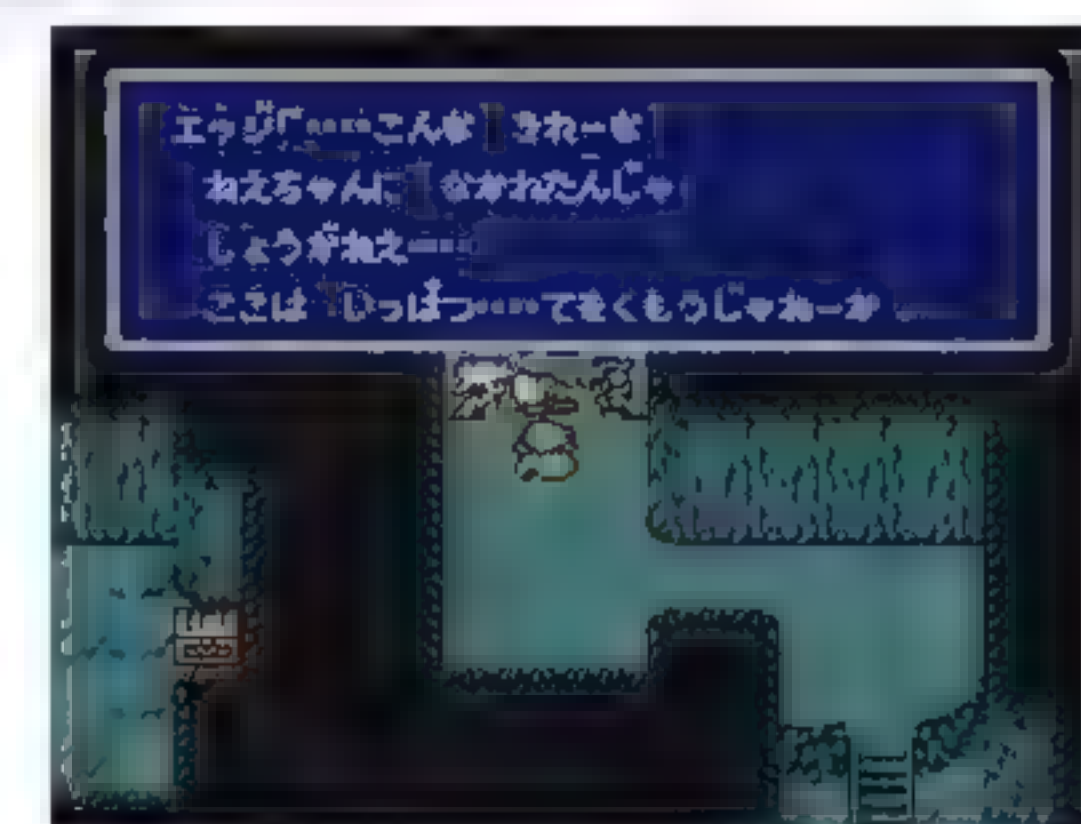
独自の文化を誇る小国エブラーナの第1王子。先祖代々伝わる忍者の奥義を修め、忍刀を用いて戦う。性格は情熱的かつ負けず嫌いで、口が悪く、無鉄砲な行動で周囲をヒヤヒヤさせることも少なくない。しかしながら、裏表のない誠実さと正義感の強さ、そして不屈の精神が民の人気を集め、「若様」と慕われている。

自国をゴルベーザの配下ルビカンテに滅ぼされ、単身で仇討ちにのぞむが敗北。折しもクリスタル奪還のためルビカンテのもとを目指していたセシルたちと出会い、行動をともにする。道中、歯に衣着せぬ言葉を仲間にかけたり、意中の人リディアに自分の存在をアピールしたりと、持ち前の奔放さを発揮。ルビカンテ打倒後、背後にさらに強大な敵がいると知って、世界を救う戦いに最後まで付き合う。

⬆熱くなると周囲が見えなくなるエッジは、国を滅ぼしたルビカンテに、無謀にもたったひとりで挑む。

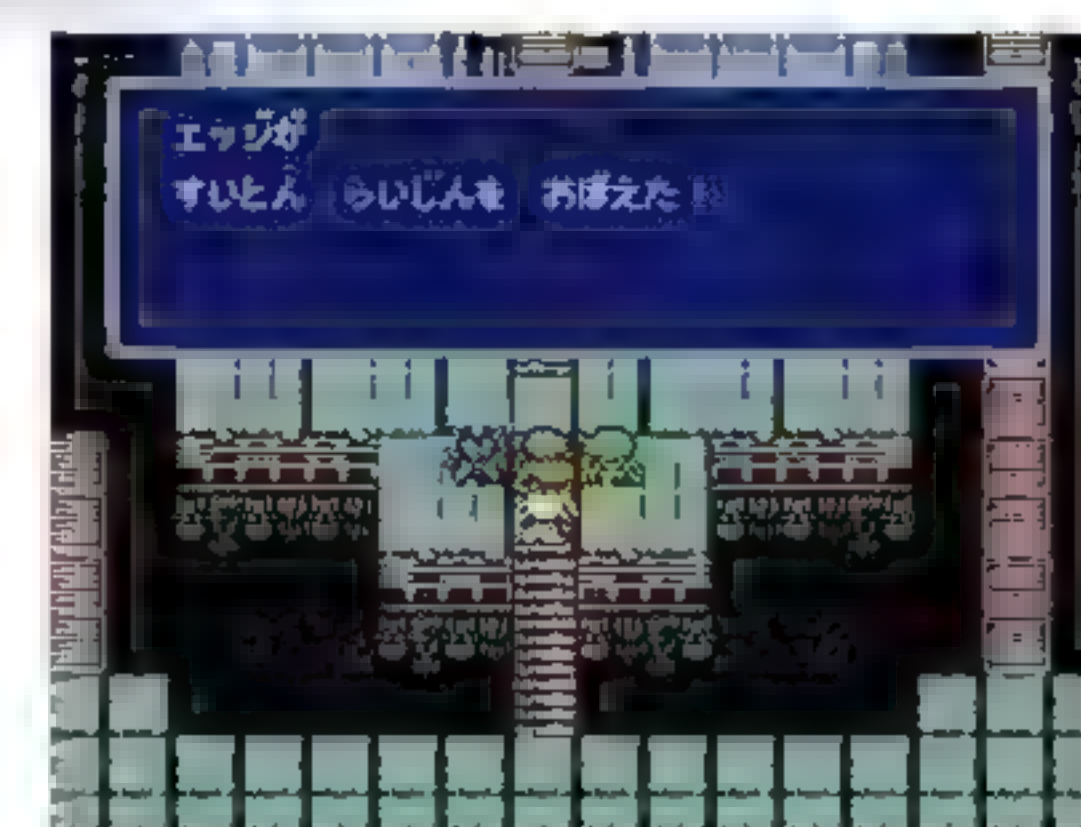
⬅敵の飛空艇にファルコンと名づけて使ってしまうちゃっかり者。どういうわけかシドとはウマが合うようだ。

Topics of Edge

■リディアへの恋心

エッジがリディアを気に入ったのは、彼女の容姿にひかれたのもあるが、何よりも、その汚れないまっすぐさに心を打たれたからだろう。初対面のとき、自分の無謀さを泣きながらいさめる彼女の様子を見て、すっかりトリコになった模様。以後、さりげなくリディアに恋心をほのめかしつづけるエッジだが、なかなか相手にしてもらえず、ふたりの関係は冗談を言い合える仲間止まりといったところ？

⬆会ったばかりの自分のために涙をこぼすリディア。その純粋さにエッジは心を揺さぶられる。

■悲しみと怒りを力に変えて

バブイルの塔に潜入したエッジは、行方不明だった両親と再会を果たす。しかし、彼らは魔物に変えられており、こともあろうに息子であるエッジに襲いかかってきた。戦ううちに良心を取りもどすふたりだが、自分たちはもはやこの世にいてはいけないと悟り、みずからの存在を消してしまう。国を滅ぼされたばかりか父と母をも失ったエッジの悲しみはやがて怒りに転じ、自身の内に眠れる力を呼び起こした。

⬆両親を魔物にされて怒りを爆発させたエッジは、「すいとん」「らいじん」の忍術を覚える。

■毒舌家だが悪気なし

初対面のシドをじじい呼ばわりするなど乱暴な言葉が目立つエッジだが、本人に悪意はない。カインが正気にもどったさいは、また裏切るのではと容赦ない言葉を浴びせるものの、彼の本心を確認するとそれ以上引きずらず、仲間として信じつづける。

⬅またあやつられたら自分を斬れとのカインの言葉を聞き、自身も決戦にのぞむ覚悟を決める。

Impressive Words

お調子者で意地っぱりな部分が目立つが、無謀ながらもどんな強大な相手にもひるまずに立ち向かっていく姿勢が感じられる。リディアに対する恋心もストレートに表現。

「ヘッ……俺をただの甘ちゃん王子と思うなよ。エブラーナ王族は代々忍者の奥義を受け継いでんだ……！　おめーらより、一枚も二枚も……上手だ……ぜ！」
――エブラーナの洞窟：セシルたちに止められながらもひとりでルビカンテのもとに向かおうとして

「……こんな、きれーなねえちゃんに泣かれたんじゃしょうがねえ……」
――エブラーナの洞窟：リディアに心動かされ、セシルたちに同行を申し出る

「ひと足遅かったか！　俺がブチのめすはずだったのによ！」
――月の地下渓谷：ゴルベーザとフースーヤがゼムスを倒したのを見て

「でもよ、リディア……こっちの世界にゃ、おめーほどいいオンナはいねーよ……」
――エンディング：復興中のエブラーナでリディアを思い出して

フースーヤ

Fusuya

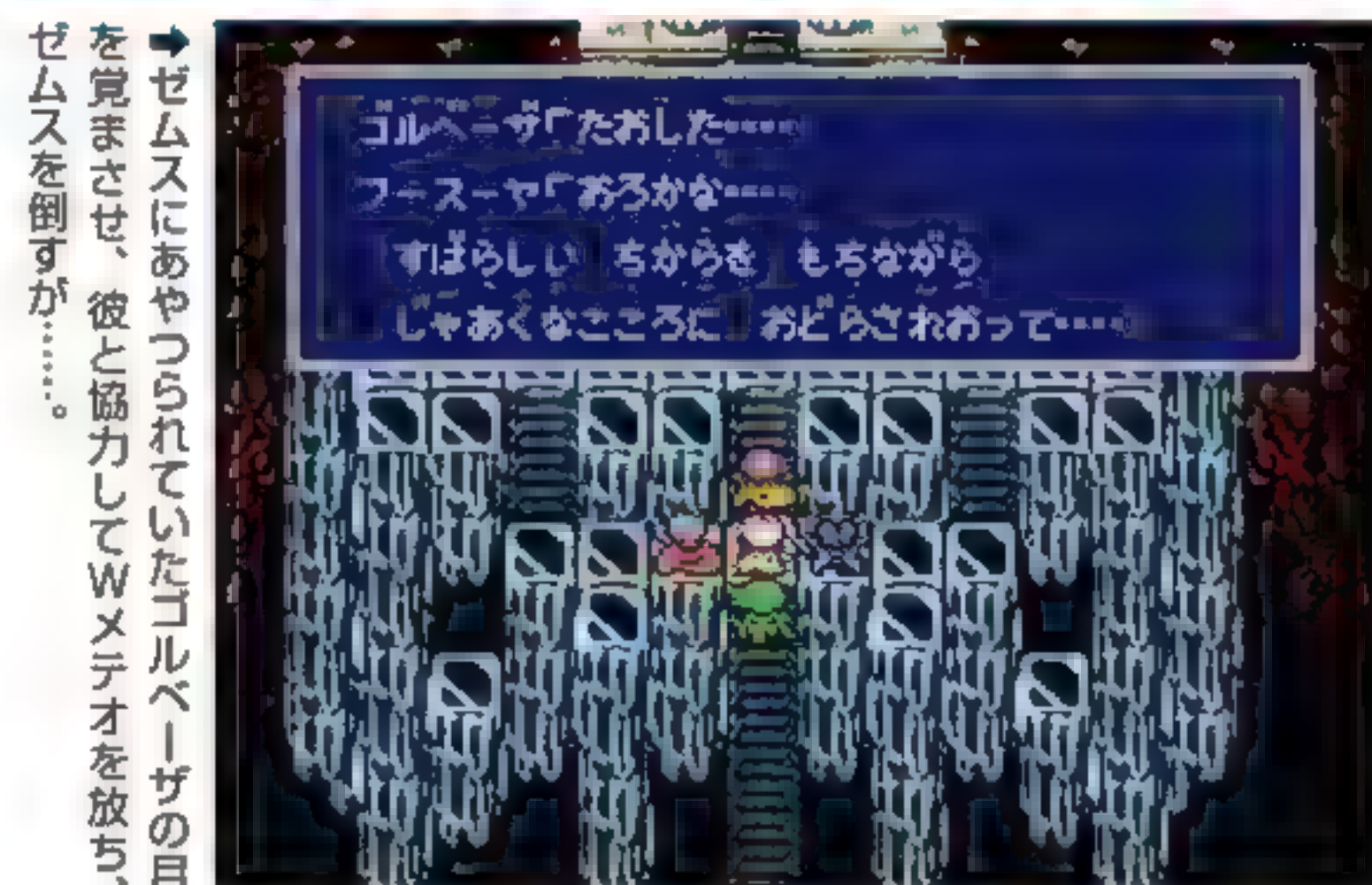
Personal Data

性別	男	体重	？kg
年齢	？歳	利き腕	右
身長	？cm	出身地	？
職業	月の民		
ボイスアクター	DS 銀河万丈		

青き星と月の異変を憂える静寂なる眠りの番人

月の民と呼ばれる者のひとり。火星と木星のあいだの星に住んでいたが、その星が滅亡の危機に瀕し、セシルたちが現在暮らす「青き星」へ、はるか昔に仲間とともに移住しようとした。しかし、その星の文明が発展途上にあったため、月の民の多くは、星の住民が自分たちと対等に話し合えるまでに進化するのを待ち、従来の月とは別の月を作って眠りにつくことに。そんな仲間たちを、フースーヤは番人として見守りつづけている。

青き星と月に8つずつあるクリスタル同士のバランスで自分たちの住む月が維持されていること、また、弟クルーヤが青き星に降りたことから、青き星の様子を絶えず気にかけてきた。悪しき月の民ゼムスのせいでクルーヤの息子たち——セシルとゴルベーザが争っていると知り、甥たちに力を貸してゼムスの野望を阻止せんとする。

⬅月に建つ静まり返った館のなかで、ただひとりセシルたちを迎えた老人が月の民フースーヤだった。

➡ゼムスにあやつられていたゴルベーザの目を覚まさせ、彼と協力してWメテオを放ち、ゼムスを倒すが……。

Topics of Fusuya

GBA

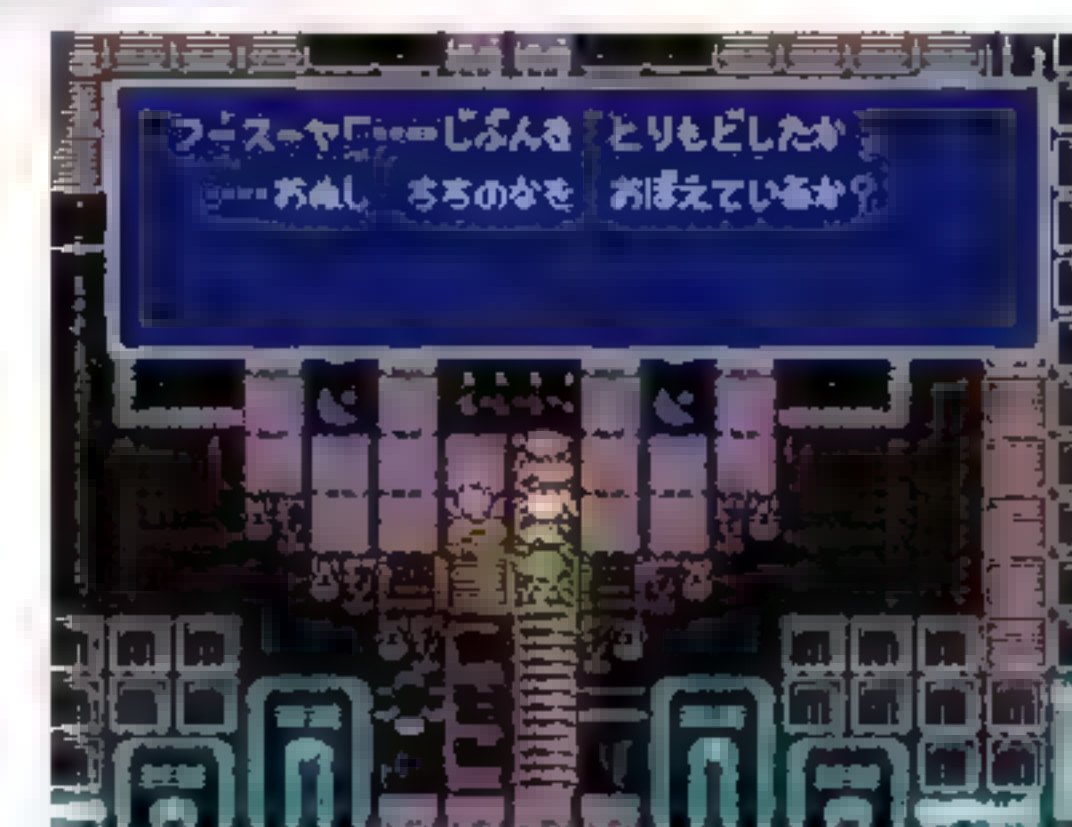
DS

■ 眠りを管理する番人の役割

番人として月の民の安らかな眠りを見守る一方で、フースーヤは、眠りを拒絶して青き星の侵略をくわだてるゼムスの邪悪な思念を封じこめる役割もになってきた。しかしゼムスは、封印されてなお邪悪な思念を増幅させつづけ、ゴルベーザをあやつり、青き星を焼き払おうとする。フースーヤがセシルたちの仲間に加わるのは、ゼムスの野望を阻止し、月の民をたばねる者としての責任を果たすためだ。

⬆青き星を焼く力を持つ破壊兵器バブイルの巨人を起動させまいとして、セシルたちに同行する。

■ 甥ふたりへの想い

フースーヤにとって、ゴルベーザとセシルは弟クルーヤの忘れ形見であり、ふたりが兄弟ながらも敵味方にわかれて争うという事態は、とてもつらいものであった。伯父としてふたりの行くすえが心配というのもあるが、魂となって青き星にとどまる弟がいまどのような思いでいるのか、痛いほど理解できるからだ。それゆえフースーヤはゴルベーザとセシルに真実を伝え、悲劇の元凶であるゼムスに立ち向かう。

⬆セシルと正気にもどったゴルベーザを前に、フースーヤは彼らの出生について語り出す。

■ 倒れた姿も神秘的!?

地面に届くほど長くふさふさした白いヒゲを持つフースーヤの容姿は、ヒゲのなかに顔が見え隠れするといった感じで、いかにも異星の者らしく神秘的。バトル中に倒れると胴体の存在をまったく感じさせず、その身体の構造も謎に包まれている。

DS

⬆戦闘不能となったフースーヤの姿は、ふだんとの落差が激しい。DS版でもこのとおり。

Impressive Words

はるか昔から生きつづけ、青き星の歴史や一連の事件のいきさつといったさまざまな事情に精通しているだけに、静かな言葉のなかにも重みが感じられる。知的レベルの高い月の民らしく、格調ある語り口が印象的。

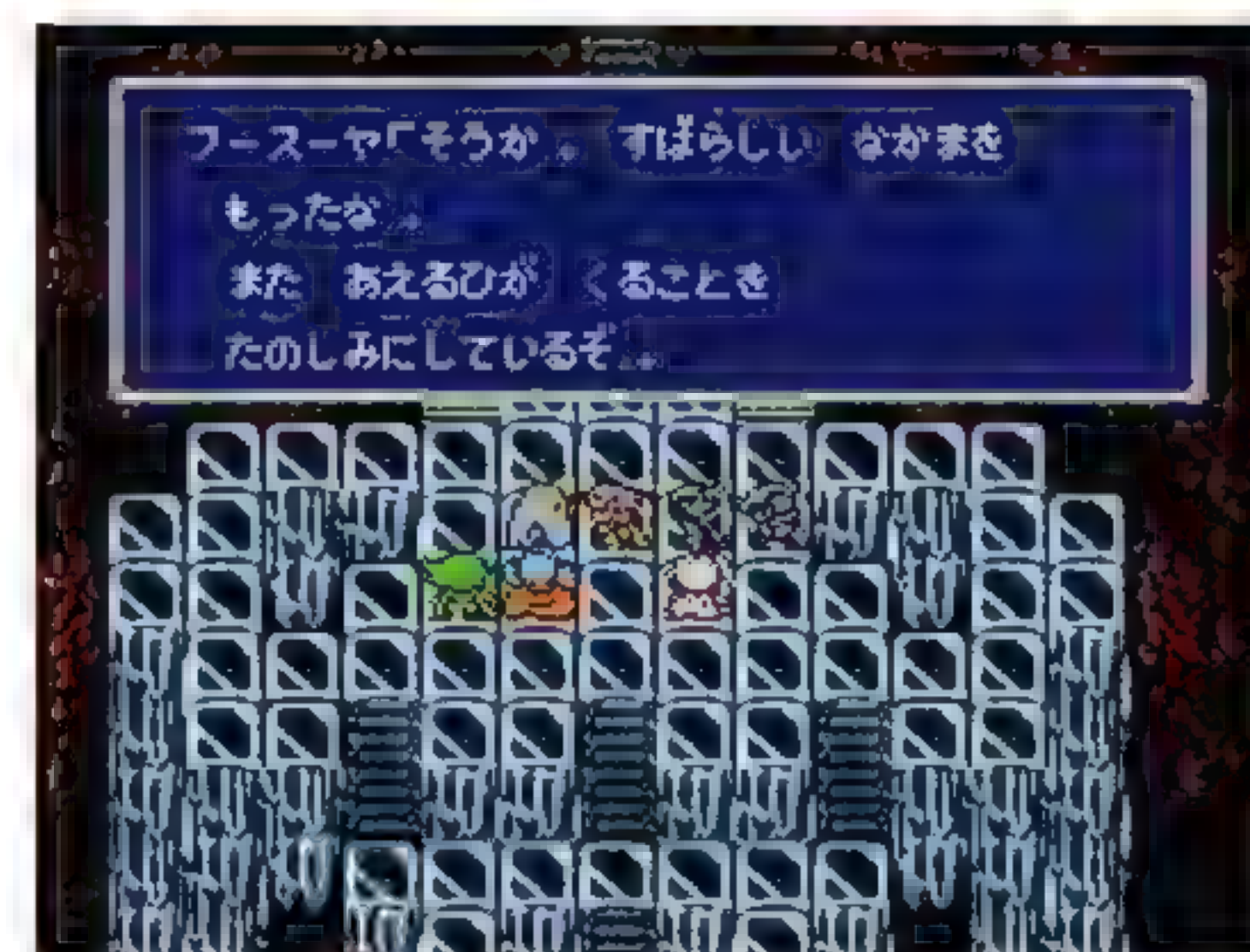
「ゼムスを止めなければならない！　青き星とそして月の民のために！」

——月の民の館：セシルたちとともに戦う決意を表して

「おまはゼムスのテレパシーで利用されていたのだ……クルーヤの月の民の血がよりそれを増幅していたのだ……兄弟で戦うなど……！」

——バブイルの巨人：制御装置破壊後、ゴルベーザを正気にもどして

「邪悪なる心は消えはしない……。どんな者でも聖なる心と邪悪なる心を持っている。クリスタルも光と闇が、そなたらの青き星にも地上と地底があるように……。しかし、邪悪な心があるかぎり聖なる心もまた存在する。ゼムスの邪悪に向かったそなたらが聖なる心を持っていたように……」

——エンディング：ゼムスのなれの果てであるゼロムスが最後に残した言葉を受け

ゴルベーザ
Golbeza

Personal Data

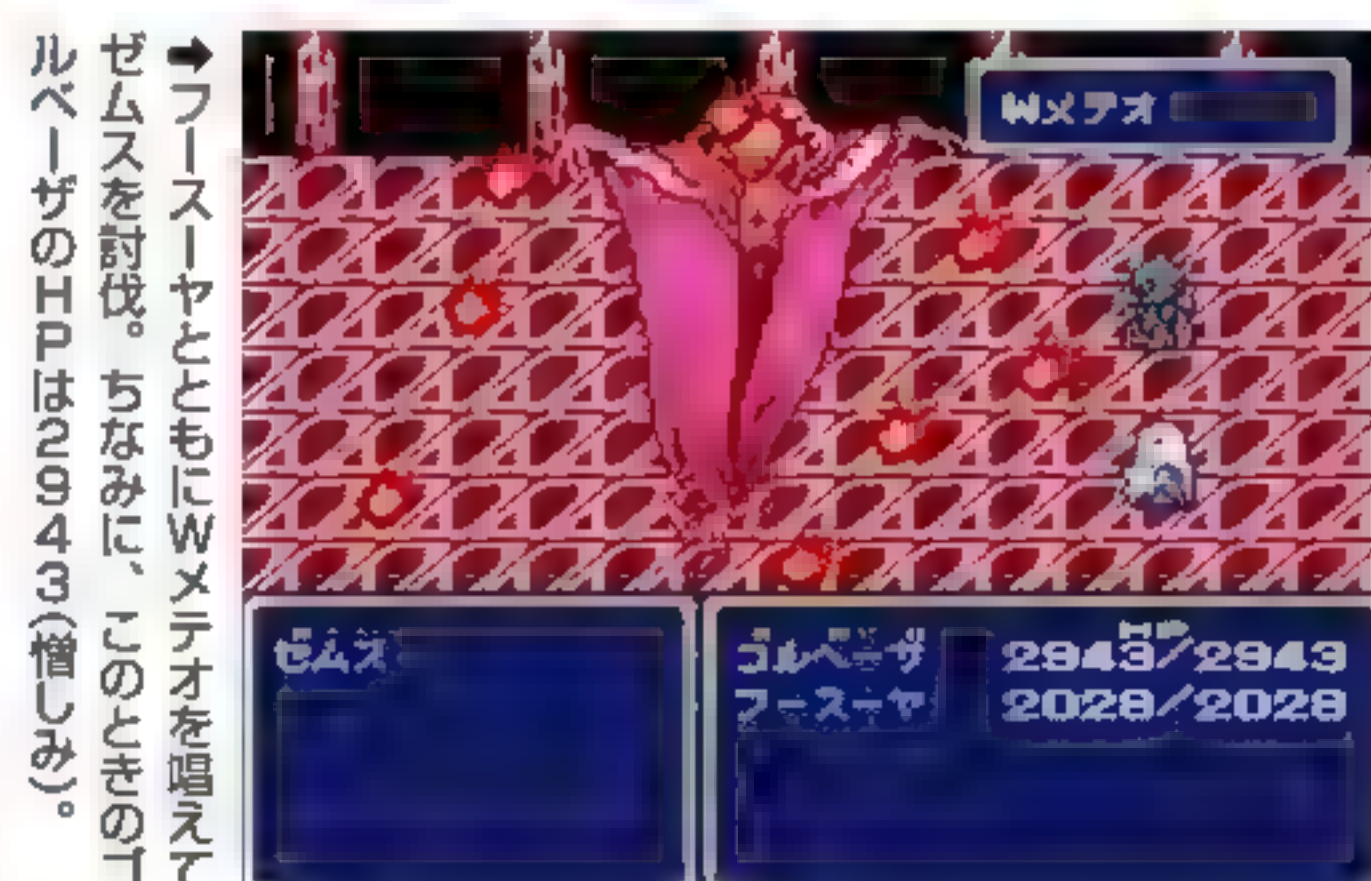
性別	男	体重	不明
年齢	30歳	利き腕	不明
身長	不明	出身地	不明
ボイスアクター	DS 鹿賀丈史		

邪悪な思念にあやつられた黒き甲冑の男

クリスタルを集めるためにバロン軍をあやつっていた男。土のスカルミリョーネ、水のカイナッツォ、風のバルバリシア、火のルビカンテからなる四天王を配下に従え、自身も強大な魔力を誇る。セシルがバロン国を去ったのち、「赤い翼」を指揮して各地を攻撃。カインをあやつったりローザを人質に取ったりといった卑劣な手段を用い、クリスタルをめぐってセシルたちと衝突する。

じつは月の民クルーヤの息子でセシルの兄にあたり、クリスタルを集めていたのは真の黒幕ゼムスに月の民の血を利用されたがゆえの行動だった。伯父であるフースーヤのおかげで正気を取りもどして真実を知ると、自分の手で決着をつけるべくゼムスと対決。しかし、すべてが片付いたのちも、世界を混乱におとしいれた罪の意識からは逃れられず、弟セシルに別れを告げる。

DS

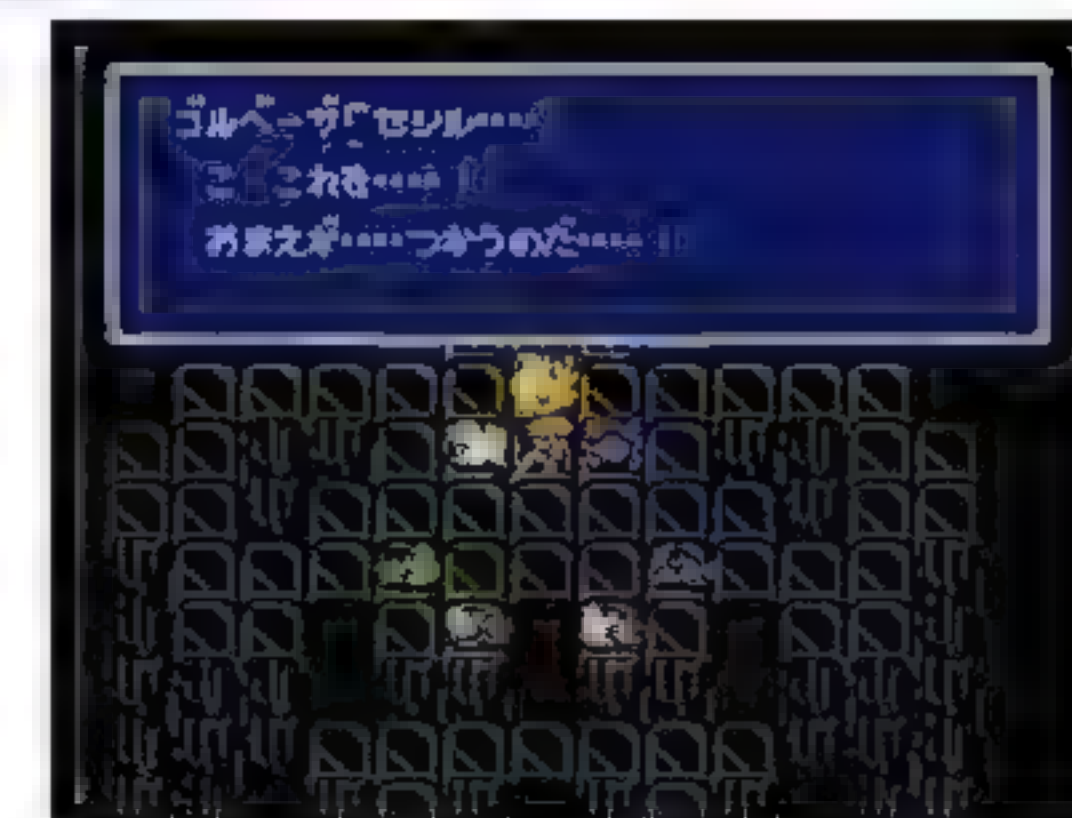
➡ドワーフの城のクリスタルを奪おうとしてリディアの召喚魔法の前に倒れるも、強靭な生命力で復活を果たす。

➡フースーヤとともにWメテオを唱えてゼムスを討伐。ちなみに、このときのゴルベーザのHPは2943(憎しみ)。

Topics of Golbeza

GBA

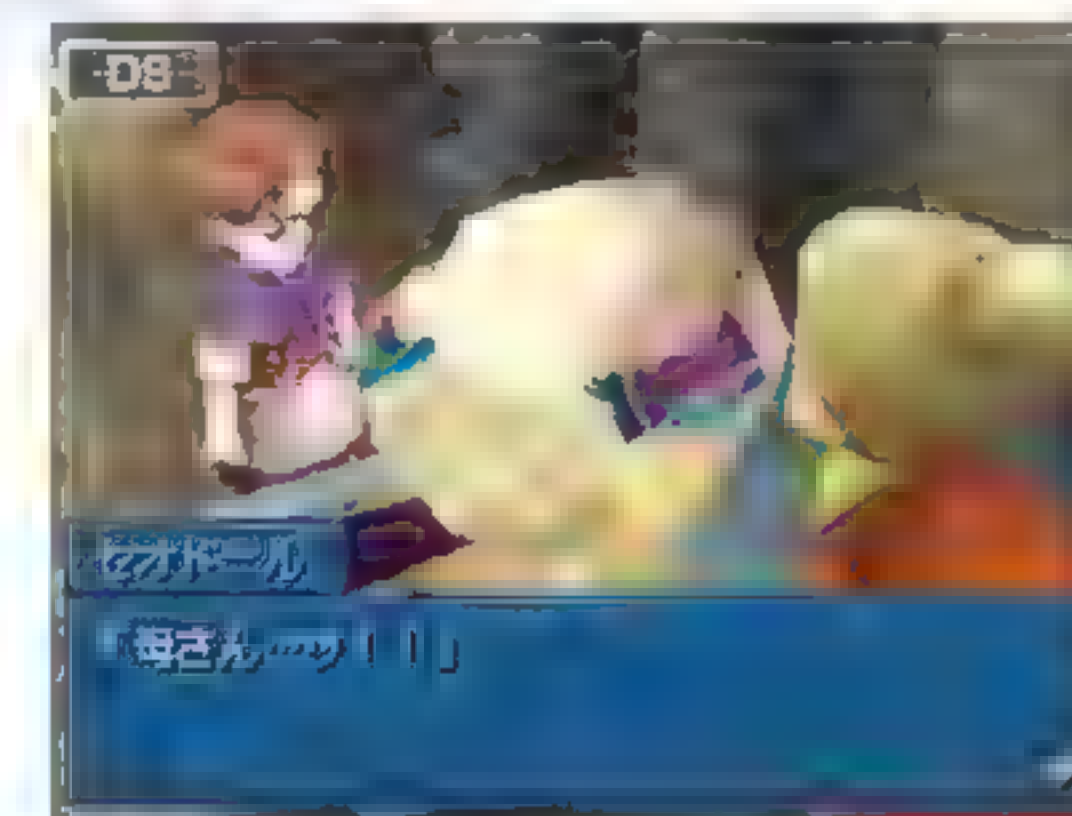
DS

■ 弟が持つ光を信じて

ゼムスの思念から解放されて正気にもどったゴルベーザは、同じ月の民の血を持ちながらセシルではなく自分があやつられたのは、己に悪しき心があったせいだと痛感する。ゆえに、みずからの心の闇に決着をつけるべくゼムスに挑むが、完全に倒すことはできなかった。聖なる心を持つ者だけが、光の力で悪を倒すことができる……そう悟ったゴルベーザは、クリスタルをセシルに渡して最終決着を弟にゆだねる。

⬆姿を現した真の敵ゼロムスを倒すため、ゴルベーザはクリスタルを弟セシルに預ける。

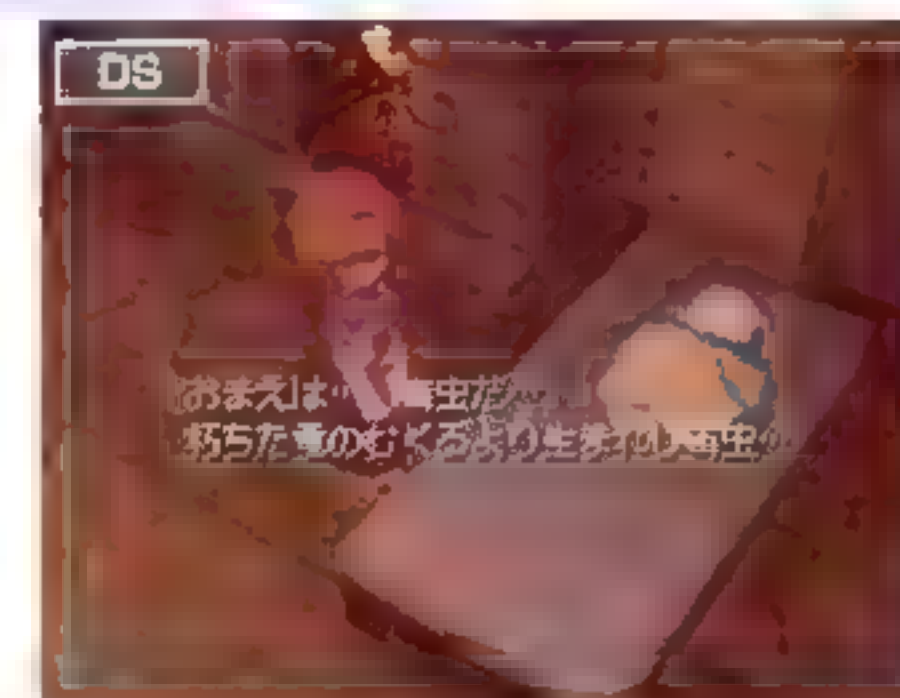
■ 悪しき心が形成された幼少時

DS版では ゴルベーザは本名セオドールといい、幼少期は両親と幸せに暮らしていた。だが、父クルーヤが何者かに殺され、母セシリアもセシルを出産直後に死亡。両親を立てつづけに失った悲しみと、その心のスキにつけこんだゼムスのせいで「すべては生まれてきた弟のせいだ」と思いこんだセオドールは、赤ん坊のセシルをバロン城近くの森に置き去りにした。この事実はのちも彼を罪悪感で苦しめつづける。

DS

⬆父につづき母までも失ったセオドールは悲しみに暮れ、そこにゼムスがつけこんでいく。

■「ゴルベーザ」を名乗る理由

DS版では 母が彼につけたセオドールという名は「神様の贈り物」を意味する。しかし、ゼムスの思念がセオドールに「おまえは弟を憎む毒虫(ゴルベーザ)だ」とささやきつづけたため、自分でもそう思いこみ、ゴルベーザと名乗りはじめた。

DS

⬅自分を「毒虫」とののしる声に悩まされたあげく、「毒虫」らしく振る舞ってしまう。

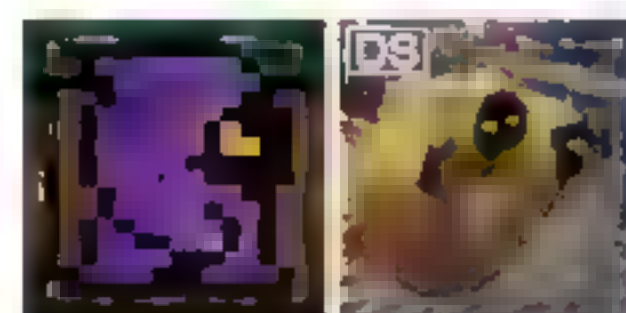
Impressive Words

クリスタルを狙う敵として登場するときは傲慢な口調が目立っていたものの、バブイルの巨人内部で自分自身を取りもどしてからは、ていねいな言葉づかいにガラリと変わる。

「お前がセシルか。会えたばかりで残念だがこれが私の挨拶だ!」「虫ケラに用はない!」
——ファブール城：前者はセシルに、後者はギルバートやヤンに対して

「私は……死なぬ!」
——ドワーフの城：リディアの召喚魔法に倒れながらも叫び

「……私はなぜ、あんなに憎しみにかられていたのだろう……」
——バブイルの巨人：フースーヤのおかげで正気にもどり

「いいですとも!」
——月の地下渓谷：ゼムスと戦いながら、一緒にWメテオを唱えようとフースーヤに呼びかけられ

ゴルベーザ四天王

死の水先案内人

スカルミリョーネ

Scarmiglione

登場場所 試練の山、バブイルの巨人　ボイスアクター DS 大[illegible]

土をつかさどる、ゴルベーザ四天王の一角。セシルがパラディンになる前に始末しようと考えたゴルベーザにより、刺客として放たれた。一度倒れてもアンデッドとして復活し、卑怯にも背後から襲ってくる。崖から転落して最期をとげるが、のちにゼムスに命を与えられ、ほかの四天王とともにバブイルの巨人で再登場を果たす。

⬅最初は魔法使いのようなローブをまとっているが、復活後は大きな角が目立つ醜い姿で現れる。

Impressive Words

「うれしい……うれしいぞ……お前らを葬ることができて……」
——試練の山：自分に近づいてきたセシルたちを見て

「フシュルルル……よくぞ私を殺してくれた。
死してなお恐ろしい土のスカルミリョーネの強さ……ゆっくり味わいながら死ねえ!」
——試練の山：セシルたちに倒された直後に復活し

「正体を見たものは生かしておけぬ。
崖から突き落としてくれるわっ!」
——試練の山：復活した姿でセシルたちと再度戦い

「おのれ……この私が貴様らごときに……!　グ……パァー!」
——試練の山：セシルたちに倒され、ガケから転落するさい

津波を起こす水の怪物

カイナッツォ

Cagnazzo

登場場所 バロン城、バブイルの巨人　ボイスアクター DS 青野 武

水をあやつる力を持つ、ゴルベーザ四天王のひとり。ゴルベーザの策によってバロン王を亡き者とし、かわりに王になりすまして、国を不安におとしいれた。セシルたちに倒されてなお悪あがきをつづけ、バロン城を出ようとした一行をワナにかけて密室に閉じこめ、左右の壁で押しつぶそうとする。

➡カメのような甲羅を持ち、防御体勢のときは、四肢と頭を甲羅のなかに隠してしまう。

Impressive Words

「バロン?　クカカカカ……誰だ、そいつは?
おお、そうか思い出した。
確かこの国は渡さんなどと言っていた愚かな人間か」
——バロン城：セシルから王の名で呼ばれて

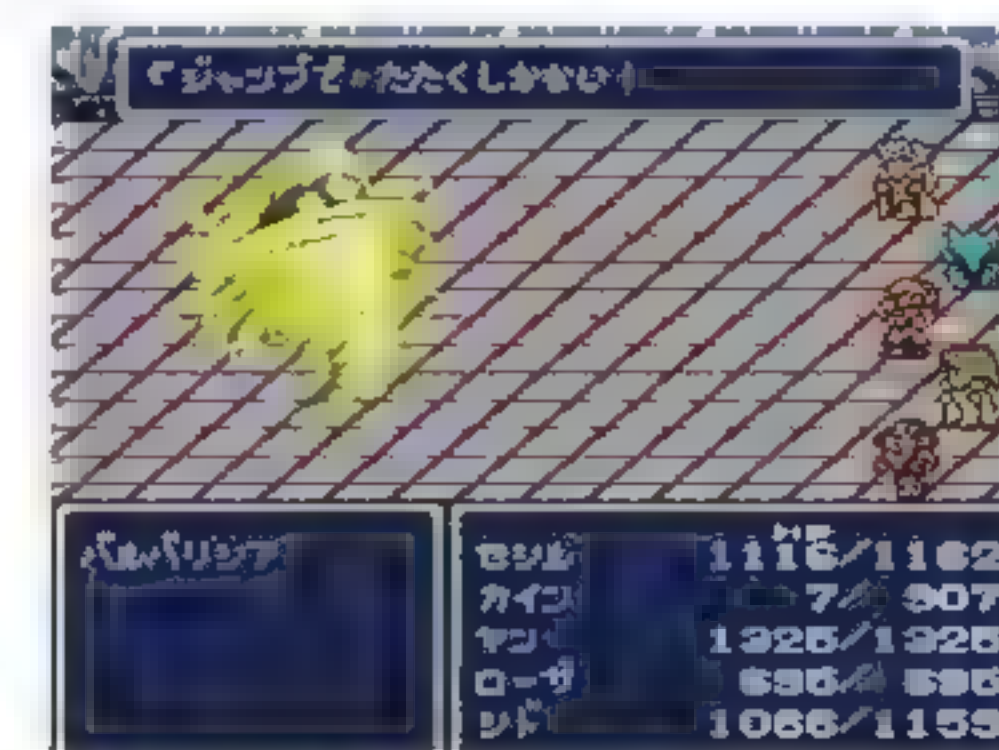
「クカカカ……この俺を倒すとはなあ。
だがおれはさびしがり屋でな。クカカカ……
死してなおすさまじい、この水のカイナッツォの恐ろしさ、
とくと味わいながら死ねえ!　先に地獄で待ってるぞお!」
——バロン城：セシルたちを道づれにしようと壁のワナを作動させ

ゾットの塔の妖艶な支配者

バルバリシア

Barbariccia

登場場所 ゾットの塔、バブイルの巨人　ボイスアクター DS 甲斐田裕子

露出度が高く色気にあふれた、ゴルベーザ四天王の紅一点。高慢で他を見くだした態度をとり、メーガス三姉妹を配下に従える。風を利用した攻撃を得意とするほか、長い髪を使って周囲に竜巻を起こし身を守るなど、防御の面でもスキがない。自分と同じく空中戦に長ける竜騎士カインに、ライバル心を燃やしている。

⬆「ジャンプ」で竜巻の死角を突けるカインは、バルバリシアにとっては天敵でもあった。

Impressive Words

「ほっほっほほほ……ゴルベーザ様に手傷を負わせるとは
お前たちをみくびっていたようね!」
——ゾットの塔：ゴルベーザを敗走させたセシルたちに

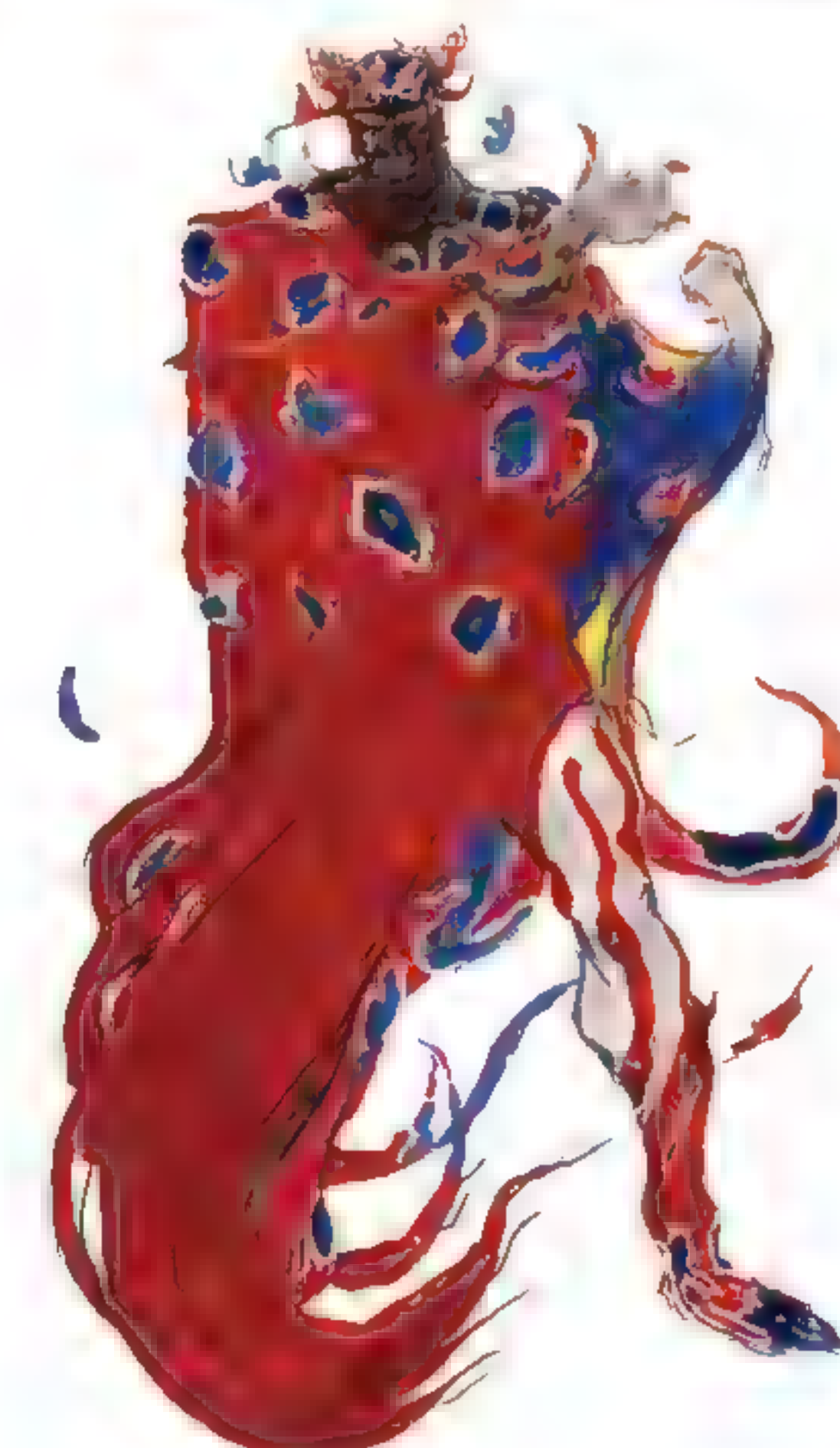
「なれなれしく呼ぶでない!
こんなことならお前もローザも消しておくべきだったわね」
——ゾットの塔：正気にもどってセシル側についたカインに名前を呼ばれて

「カイン、貴様……!　この私を倒しても……最後の四天王がいる!
このゾットの塔もろとも……消え去るがいい!!」
——ゾットの塔：カインたちを道づれにしようと塔の爆破装置を起動させ

紅蓮のマントをまとう誇り高き武人

ルビカンテ

Rubicante

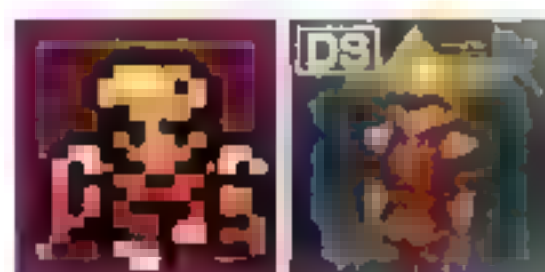
登場場所 エブラーナの洞窟、バブイルの塔ほか　ボイスアクター DS 若本規夫

炎をつかさどり、赤いマントに身を包む四天王のリーダー格。卑怯者が多いゴルベーザの手下にしては珍しく、敵をも尊重する紳士的な考えを持ち、小細工を好まず、正々堂々と戦うことを信条とする。対戦者にもつねにベストの状態を求め、相手を回復させてから勝負を挑む。エッジにとっては祖国を滅ぼした仇。

⬆マントをひるがえしながらすさまじい威力の炎を放つ、四天王中最強の魔物。

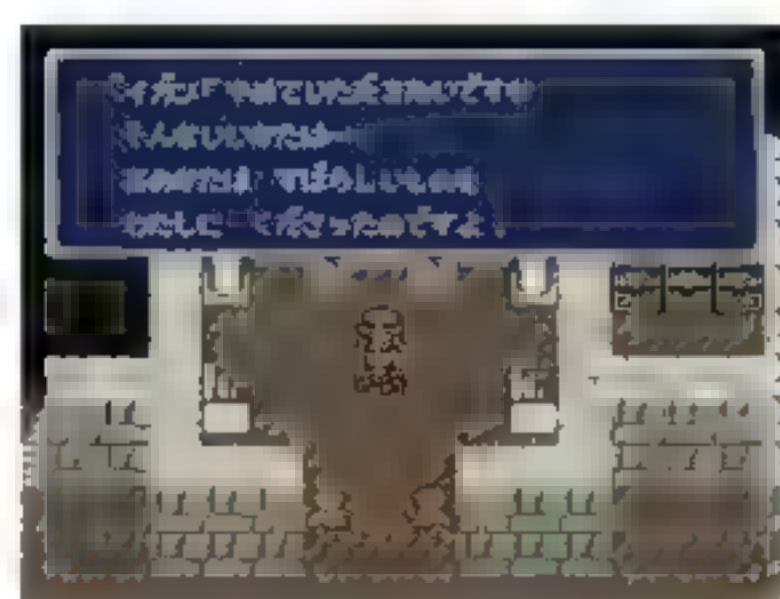
Impressive Words

「この私にはまだおよばぬ。腕を磨いてこい!　いつでも相手になるぞ!」
——エブラーナの洞窟：エッジと対戦したあと去りぎわに

「私はお前のように勇気ある者は好きだ。
……しかしそういった感情に振りまわされる人間では完全な強さは手に入らん。
永遠にな……」
——バブイルの塔：両親を失った怒りをぶつけるエッジに対して

「さあ、回復してやろう!　全力でかかってくるがいい!」
——バブイルの塔：バトル直前にセシルたちを全快させ

バロンの近衛兵長
ベイガン

登場場所 バロン城

バロン王に仕える近衛兵長。王にセシルの言動について告げ口し、彼が「赤い翼」の隊長から解任されるきっかけを作った。のちに、ゴルベーザから授かった力で魔物と化してセシルたちを襲う。

⬅セシルはだませたものの、魔物としての気配を隠しきれず、パロムとポロムに正体を見抜かれる。

Impressive Words

「陛下……おそれながらセシルの奴めが陛下に不信を抱いている様子です」
――バロン城：ミシディアから帰還したセシルの悪口を王に吹きこみ

「私とて近衛兵を治める身。バロンへの忠誠は誰にも曲げられません!」
――バロン城：敵側につきながらもセシルたちをだまして仲間になろうとし

狂気の博士と彼の最愛の作品
ルゲイエ&バルナバ

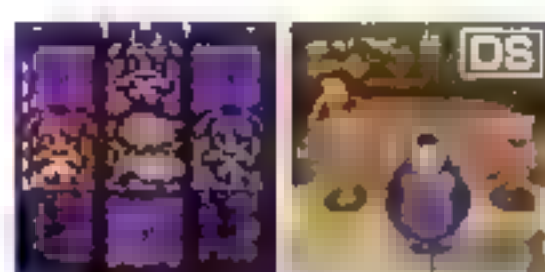
登場場所 バブイルの塔

ルゲイエはルビカンテ配下の科学者。バブイルの塔の巨大砲を作ったほか、エッジの両親を改造し、自身もサイボーグにしてしまう。自作のロボットのバルナバを、息子と称して連れ歩いている。

⬅いったん負けてもサイボーグ化し、ますます奇妙な姿となってセシルたちに襲いかかる。

Impressive Words

ルゲイエ「ヒャヒャヒャ!　ゴルベーザ様もルビカンテもおらん!　わしが最高責任者だ!」
――バブイルの塔：ルビカンテが去ったあと悦に入り

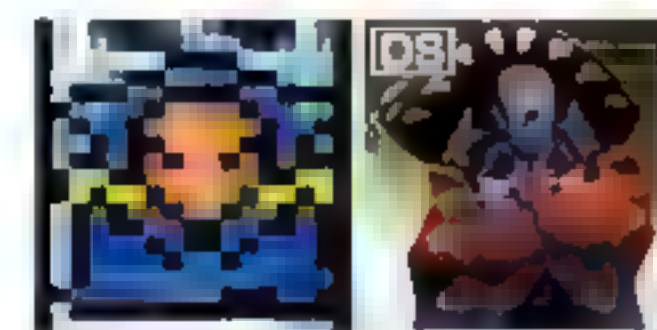
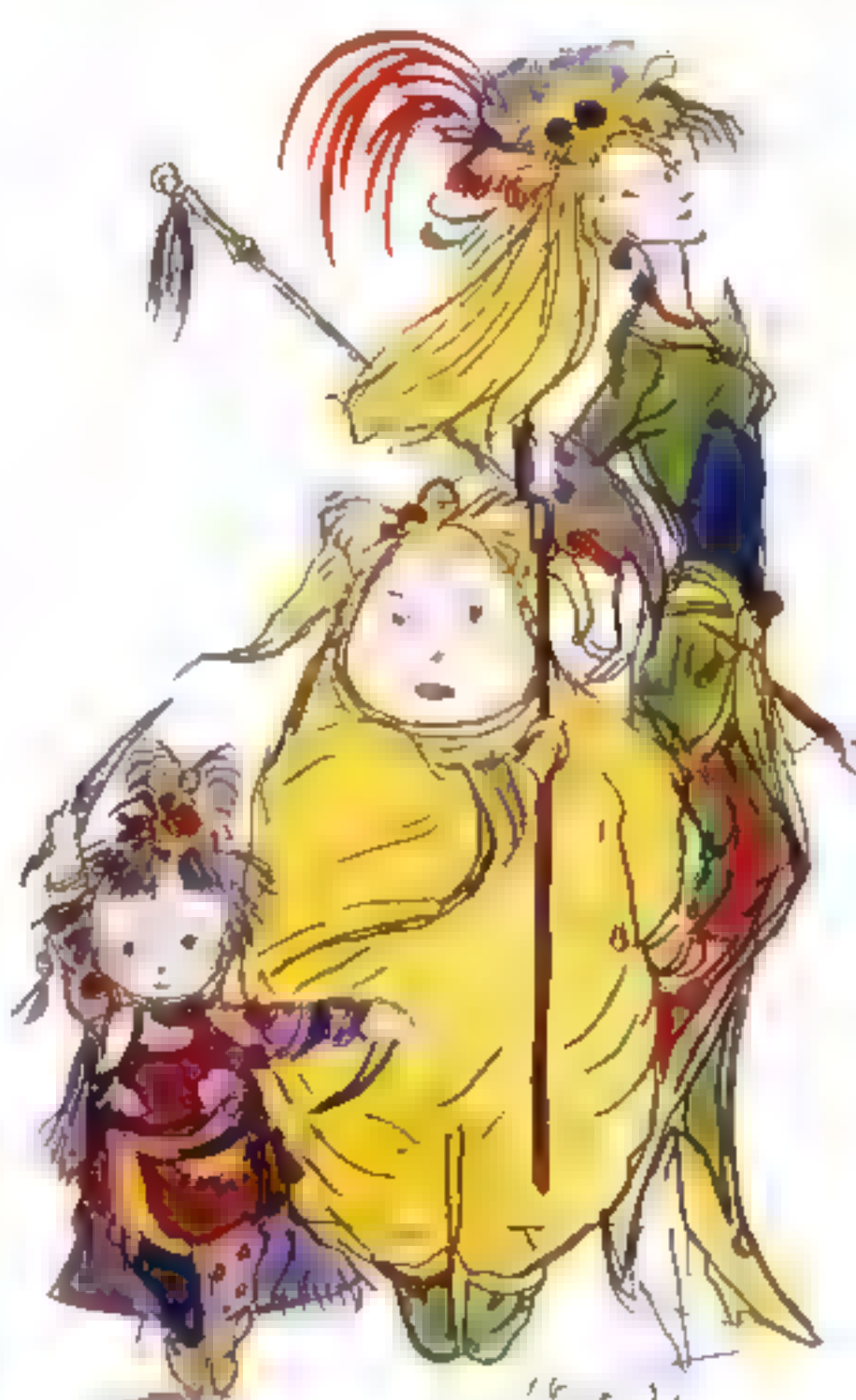
ルゲイエ「ゆけ!　バルナバ、こてんぱんにするのだ」　バルナバ「ウガー!」
――バブイルの塔：セシルたちとの戦いでバルナバに指令

デルタアタックをくり出す三姉妹
メーガス三姉妹

登場場所 ゾットの塔

バルバリシア直属の魔道士姉妹。太めの長女マグ、長身で細身の次女ドグ、小柄な三女ラグの息の合った連携で、相手に攻撃を仕掛ける。魔法を反射させて相手に当てる「デルタアタック」が得意ワザ。

⬅体型のまったくちがう3人。DS版では、登場時にそろってポーズをとり、セリフをキメる。

Impressive Words

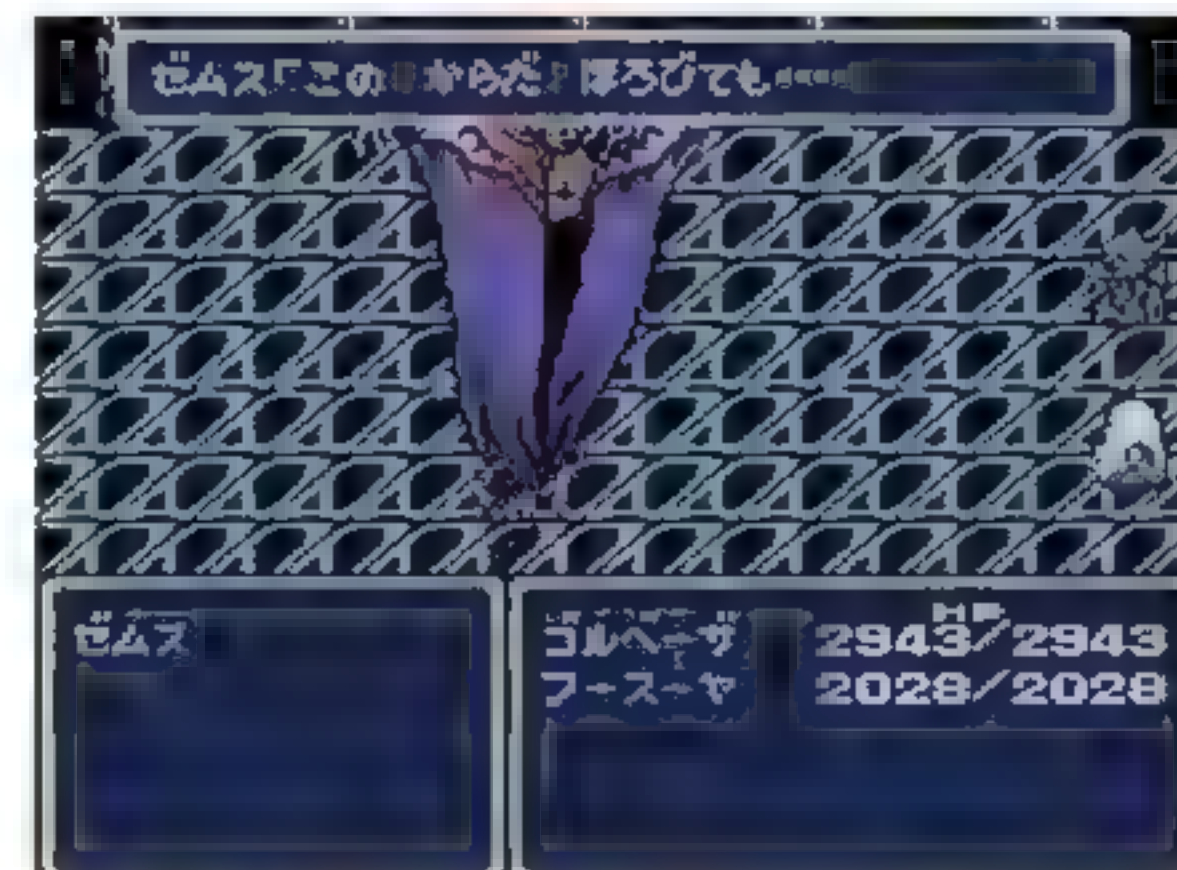
ドグ「あねじゃっ、いくわよ!」　マグ「今よ、ラグ!　私に魔法をっ!」
ラグ「マグ姉さん、はね返してっ!」　メーガス三姉妹「デルタアターック!!」
――ゾットの塔：セシルたちとのバトルでデルタアタックを発動

ゼムス／ゼロムス

Zemus/Zeromus

登場場所 月の中心核

邪念が生み出す最強の黒幕

邪悪な思念を抱く月の民。太古の昔、多くの善良な月の民が、青き星の民の進化を待って眠りにつくことを選んだのに対し、青き星を乗っ取ろうと主張して眠りを拒絶したため、月の8つのクリスタルによって月の中心核に封じられた。だが、長い時を経て悔い改めるどころかますます邪念を増幅させ、青き星の征服を画策する。

月から思念を送ってゴルベーザをあやつり、青き星の8つのクリスタルを集めさせたゼムスは、それらの力でバブイルの塔の次元エレベーターを作動。月にある破壊兵器バブイルの巨人を転送して青き星を焼き払おうとするも、セシルたちに阻止され、その後、正気にもどったゴルベーザと月の番人フースーヤに倒された。しかし、死してなおふくれ上がった憎悪の念が"完全暗黒物質"ゼロムスと化し、すべてを消し去ろうと暴走する。

⬆ゴルベーザとフースーヤのWメテオを受けて死に至るが、その増大した憎しみがゼロムスとなってよみがえる。

⬅セシルが、ゴルベーザから受け取ったクリスタルで光の力を放つと、ゼロムスの真の姿が照らし出される。

Impressive Words

ゼムス「この体滅びても……魂は……ふ……め……つ……」
――月の中心核：ゴルベーザとフースーヤに倒され

ゼロムス「我は……完全暗黒物質……
ゼムスの憎しみが増大せしもの……。
我が名はゼロムス……すべてを……憎む……!!」
――月の中心核：ゼムスの死後、ゼロムスと化し

ゼロムス「暗黒の道を歩んだお前がクリスタルを使おうが、
輝きはもどらぬ。ただ暗黒に回帰するのみだ!　死ねっ!」
――月の中心核：クリスタルを使うも効力を発揮できなかったゴルベーザをあざ笑い

ゼロムス「我は……滅びぬ……生あるものに……
邪悪な……心が……あるかぎり……」
――エンディング：激闘のすえセシルたちに敗れ

バロン関係者

豹変したかつての名君
バロン王

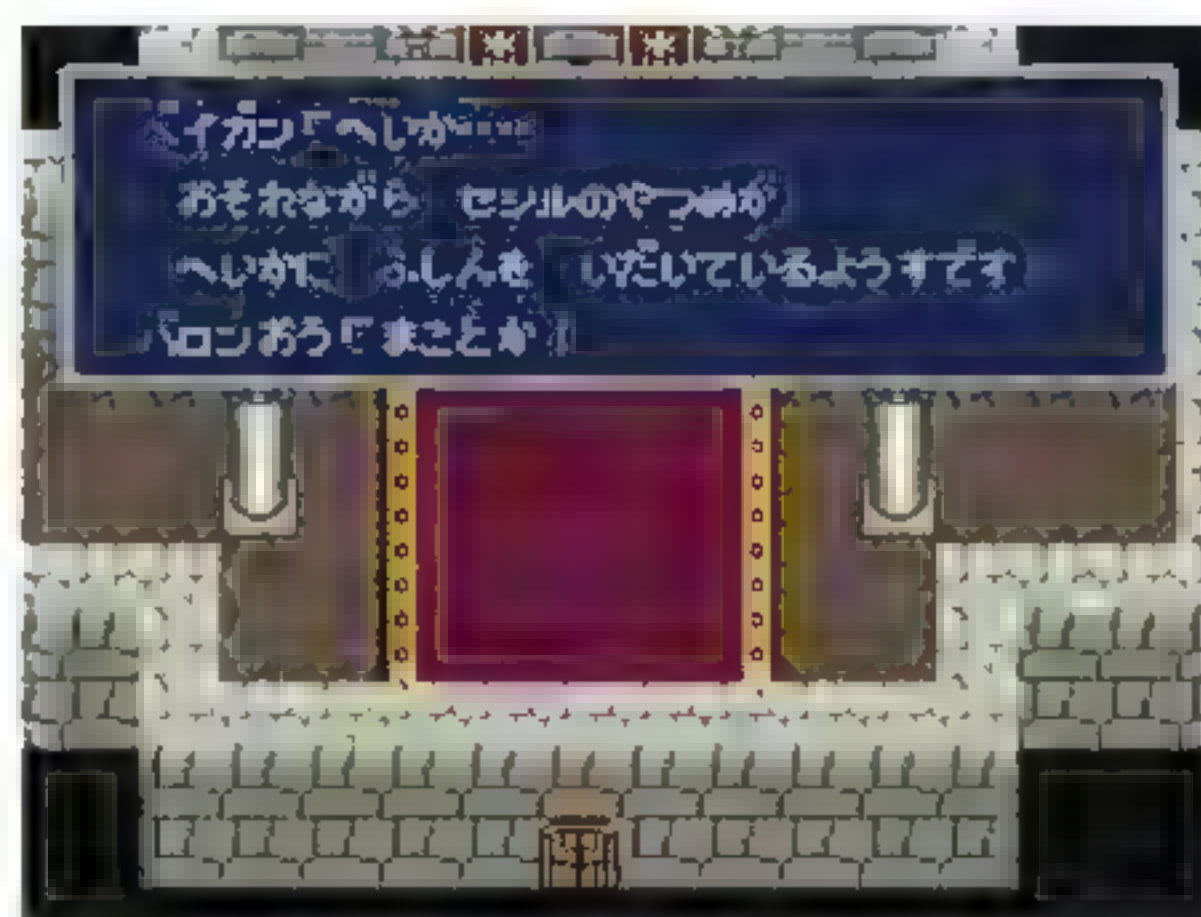
登場場所 バロン城

強大な軍事国家バロン国の統治者。以前はナイトとしても名をはせた人格者で、捨て子だったセシルを我が子のごとく育てた。しかし、ある日をさかいに、無慈悲な侵略をくり返す暴君へと変貌。自分をいさめようとしたセシルを「赤い翼」の隊長の座から降ろし、後任にゴルベーザをすえて、なおもクリスタルを求めて各国の侵略をつづける。これらの非道な行為はすべて、ゴルベーザ四天王のひとり水のカイナッツォがバロン王に成りかわって行なったものだった。本当のバロン王はすでに暗殺されていたが、幻獣オーディンに転生し、セシルたちに力を貸す。

➡かつての公明正大さがまったく感じられない王に、セシルをはじめ多くの人々が不信感を抱く。

Impressive Words

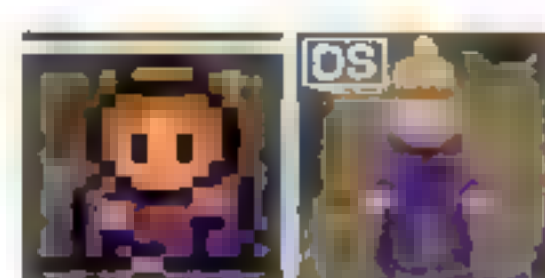
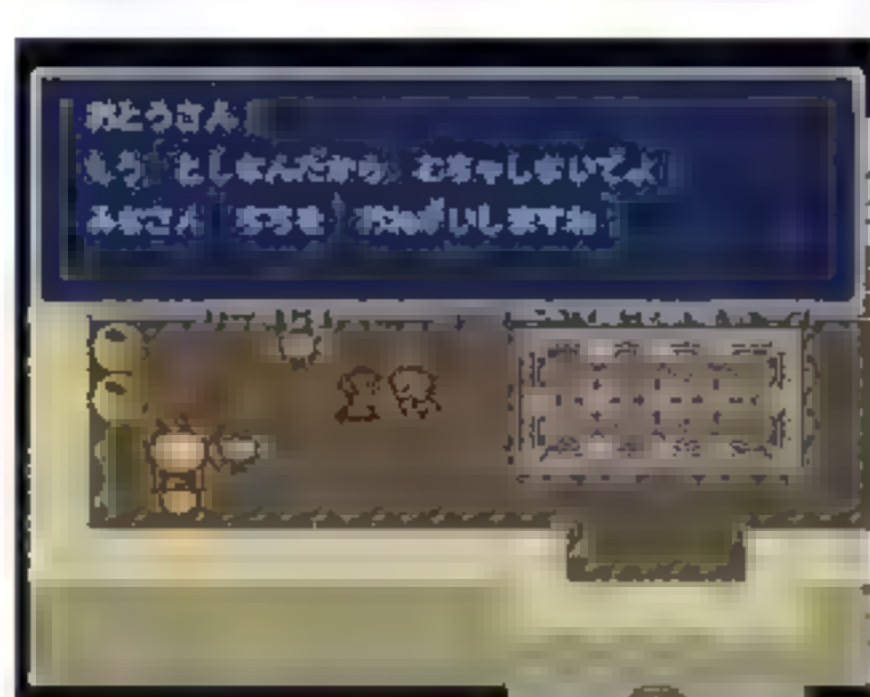
「私が何も知らぬとでも思っているか! お前ほどの者が私を信頼してくれぬとはな……」
——バロン城：カイナッツォの化けた王が、自分をいさめるセシルに言い返し

「そんなに悲しい目をするな。魔物にやられはしたが私は永遠の力を手に入れた。そのミストの召喚士が呼び出せば私はいつでもお前の力になる」
——バロン城：地下でオーディンとしてセシルと再会し

父親を心配する孝行娘
シドの娘

登場場所 バロンの町

飛空艇技師シドの娘で、亡くなった母親にかわって父シドの世話を焼くしっかり者。飛空艇のことになると無理をしがちな父には小言が絶えない。セシルを兄のように頼り、立派な人物だと尊敬している。

Impressive Words

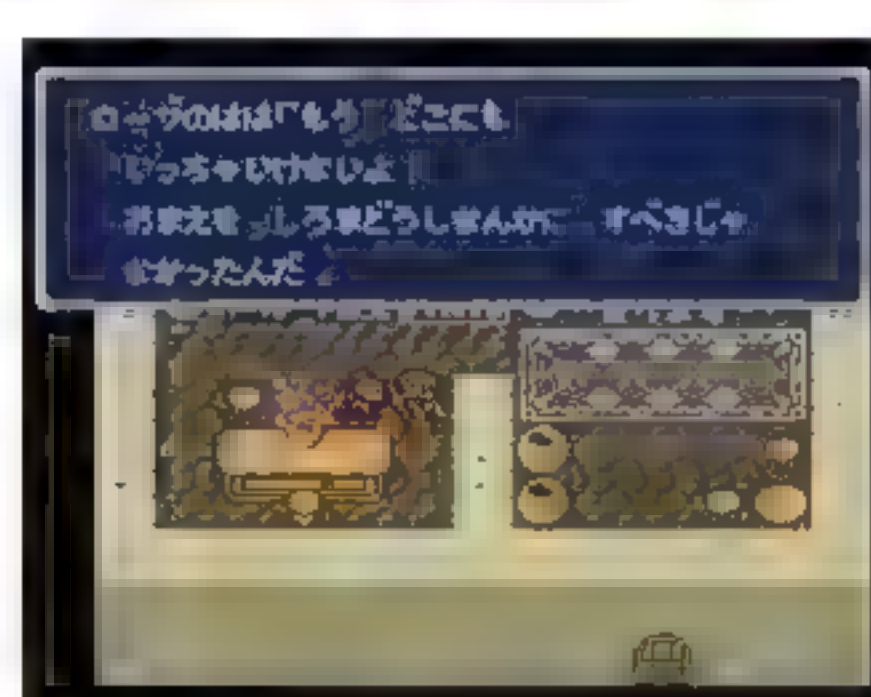
「お父さんったらまた徹夜で! いつまでも若いつもりなんだから……」
——バロンの町：父のことでグチをこぼし

つつましくも気丈な未亡人
ローザの母親

登場場所 バロンの町

ローザの唯一の肉親。かつては白魔道士として、ナイトだった亡き夫と一緒に戦っていた。ローザがセシルの旅についていくことに反対していたが、自分と同じ道を歩もうという娘の熱意に打たれ、彼女の行動を認める。

Impressive Words

「そうね……死んだあの人も立派なナイトだった。セシル、この子をお願いね」
——バロンの町：セシルの力になりたいと訴えるローザに心を動かされ

ダムシアン関係者

ギルバートの最愛の人
アンナ

登場場所 ダムシアン城、オアシスの村カイポ　ボイスアクター DS 秋野ひとみ

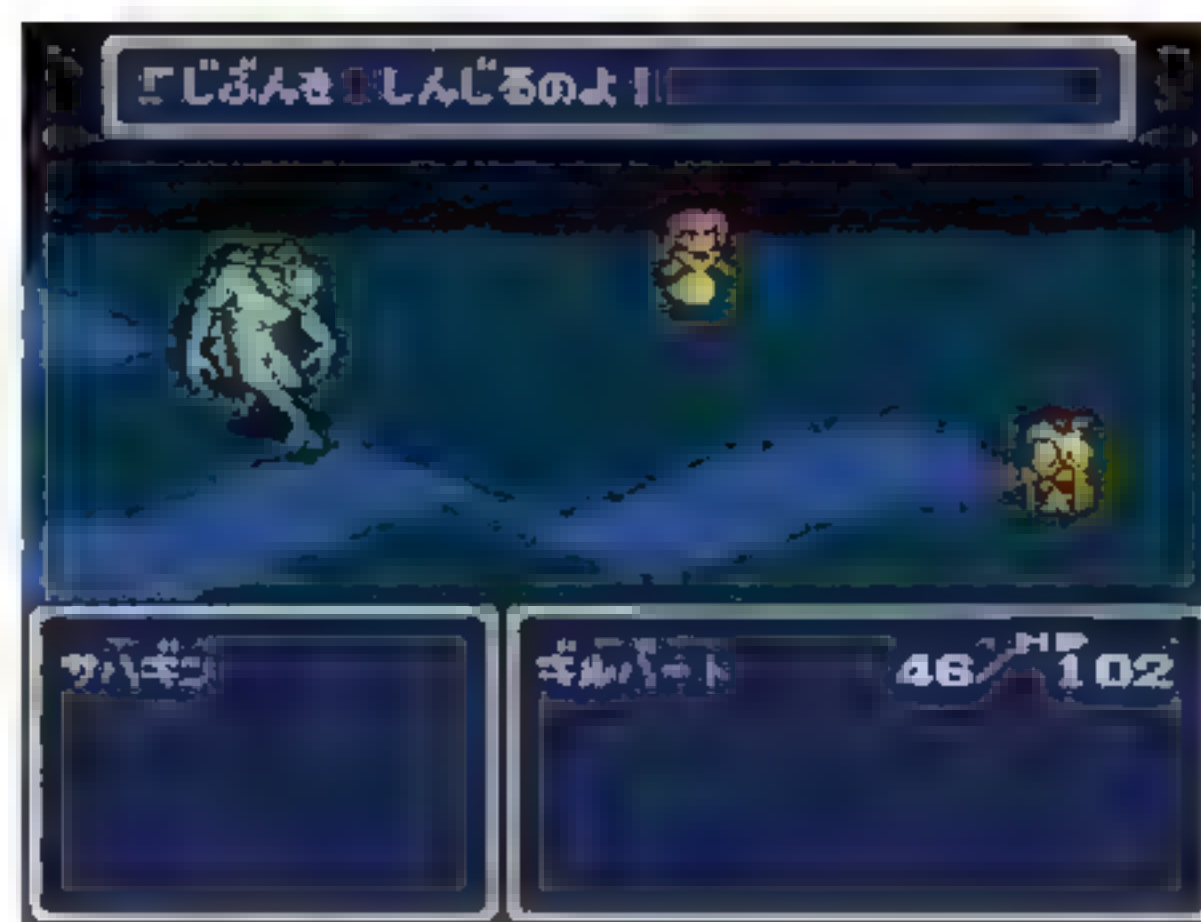
賢者テラが遅くに授かったひとり娘。吟遊詩人として村を訪れたダムシアンの王子ギルバートと恋に落ちるが、彼との仲を父親に認めてもらえず、駆け落ち同然で家出。向かった先のダムシアン城でバロン軍の襲撃に遭い、愛するギルバートの身がわりとなって矢を受け命を落とす。死後もギルバートを心配し、悲しみに沈む彼を魂となって勇気づけた。

⬅クリスタルを奪いにきたバロン軍の攻撃を受け、相思相愛のギルバートに今生の別れを告げる。

Impressive Words

「ごめんなさい……お父さん、勝手に飛び出したりして……。私ギルバートを愛しているの……」「お父さん……私を許して……ギルバート……愛……してる!」
——ダムシアン城：瀕死の状態で父テラに呼びかけ

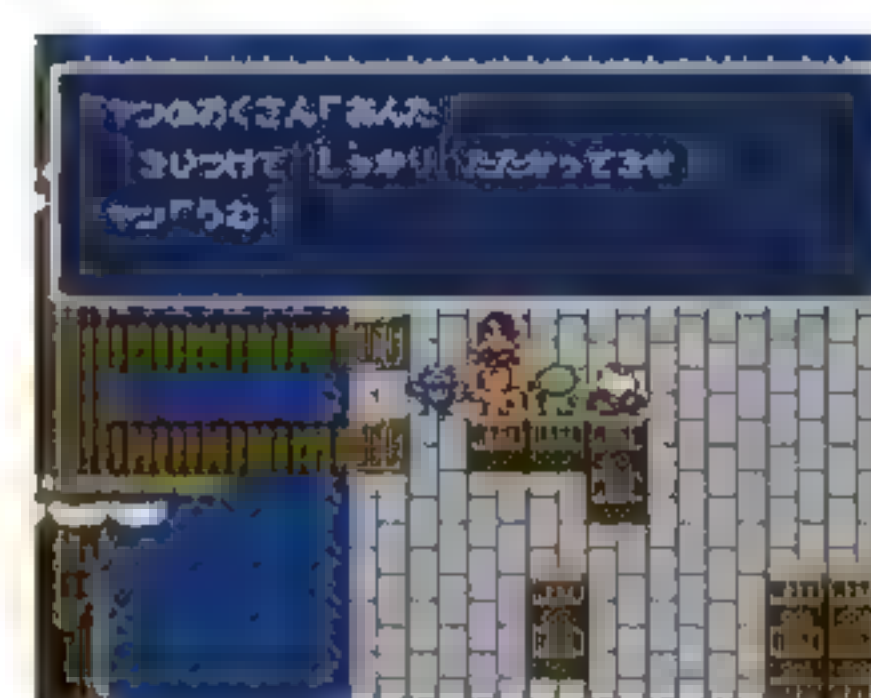
「あなたは、あなたが思ってるほど弱くないわ。自分を信じるのよ!」
——オアシスの村カイポ：魂だけの状態となって、ギルバートを励まし

ファブール関係者

料理好きのしっかり者
ヤンの奥さん

登場場所 ファブール城、港

肝っ玉母さんのように頼もしい女性。一見ヤンを尻に敷いているようだがじつは深く愛しており、彼がシルフの洞窟で意識を失っているときには、フライパンにこめられた彼女の愛がヤンを目覚めさせる。

Impressive Words

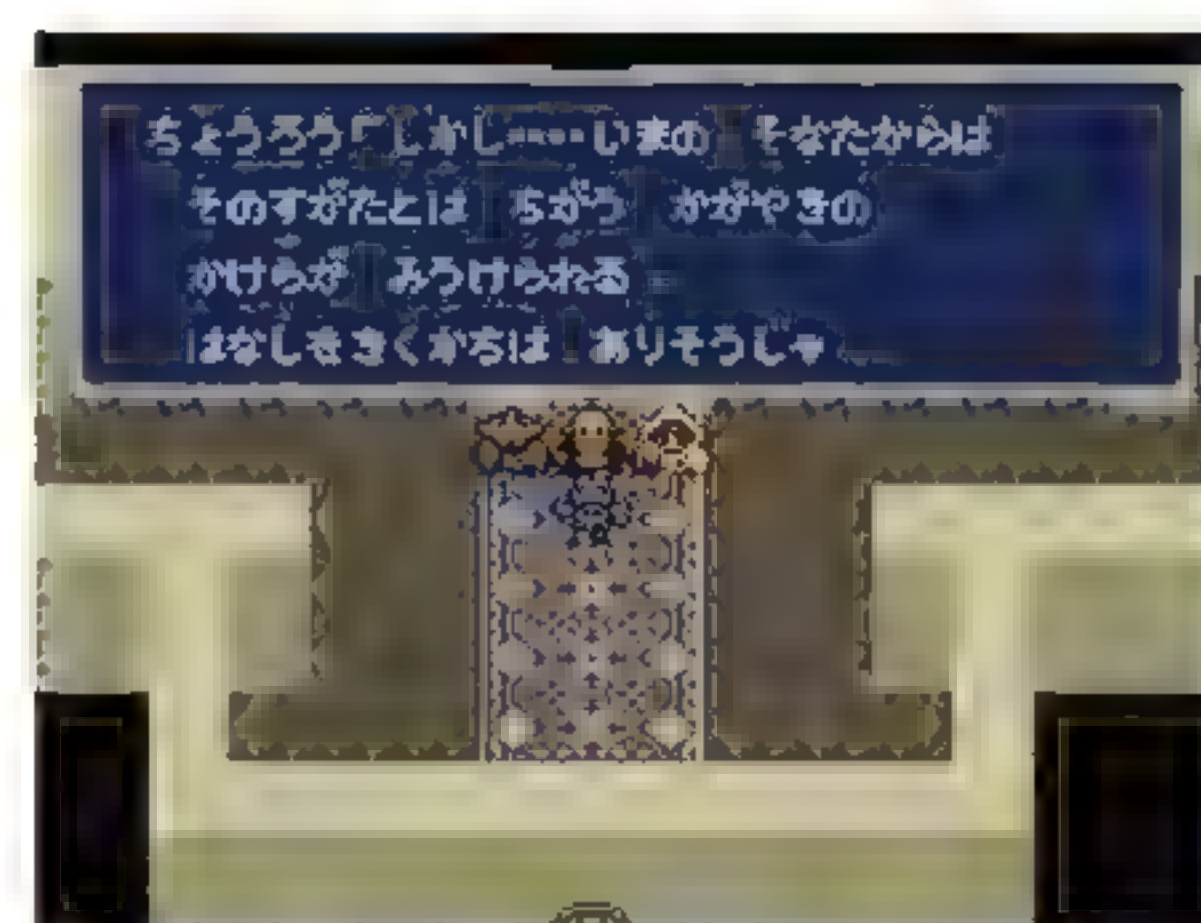
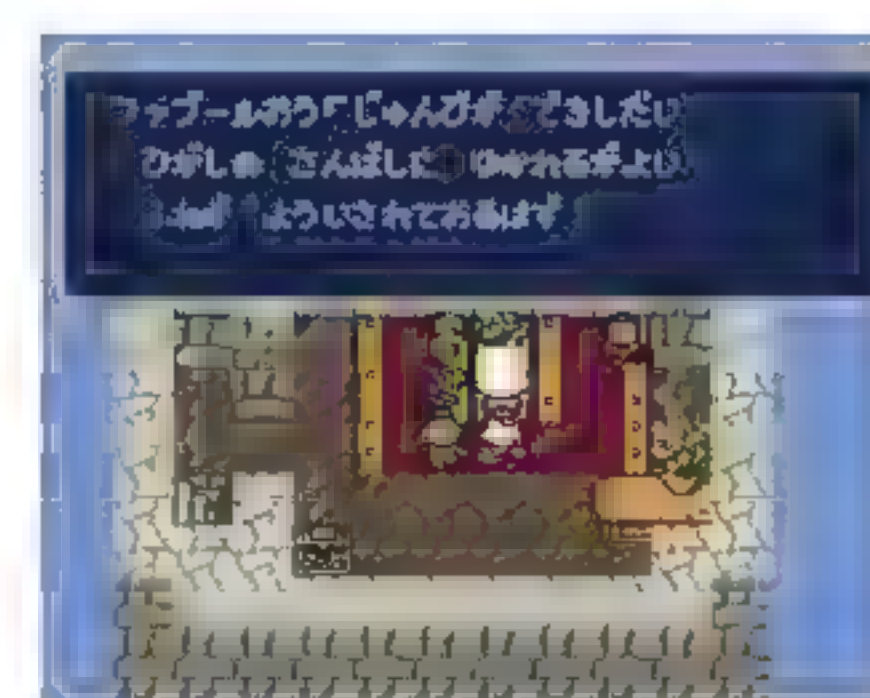
「当たり前さね。あんたの妻だよ! バロン兵がきたけどフライパンでぶん殴ってやったよ」
——ファブール城：帰宅した夫に身を気づかわれて

寺院を祖とする宗教国の王
ファブール王

登場場所 ファブール城

モンクの国ファブールの王で、自身も名うてのモンク。バロン軍との攻防で協力してくれたセシルに、王家保管の暗黒剣を授け、船を貸し出した。のちに、自分の片腕的存在であるヤンに国の今後を託す。

Impressive Words

「おまえがそこまで言うのならそなたらに賭けてみよう! 娘たちは救護の任についてもらおう」
——ファブール城：ヤンの進言でセシルたちの協力を受け入れ

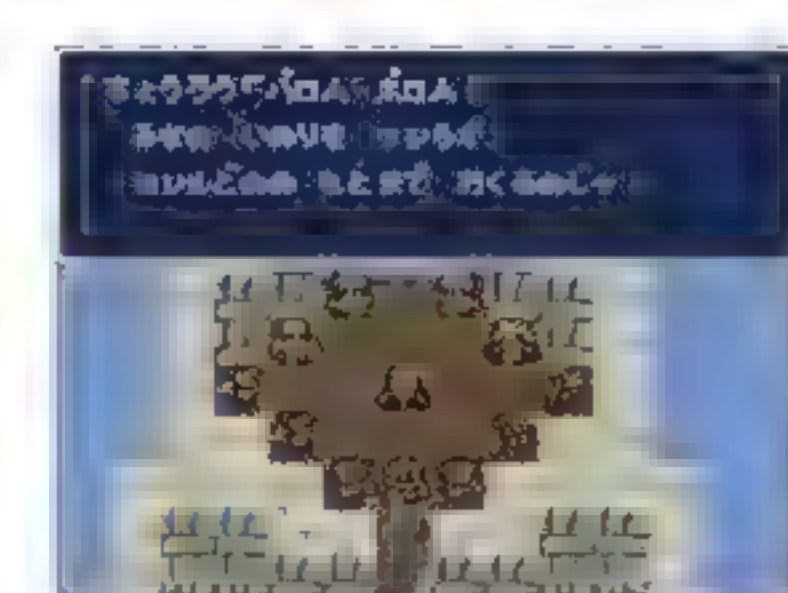
ミシディア関係者

平和を祈る魔法国家の長
長老

登場場所 ミシディア、バブイルの巨人周辺　ボイスアクター DS 槐 柳二

ミシディアの魔道士たちをたばねる老人で、テラとは古い知人。パロムとポロムの才能を見こみ、自分のもとで修行させている。セシルにパラディンへの転身をすすめ、それを果たした彼を認めて協力を約束。ミシディアの言い伝えどおり祈りを捧げて魔導船を復活させ、最終決戦のときには青き星に残った仲間の祈りを光としてセシルたちに届ける。

Impressive Words

「そなたは大きな運命を背負っているようじゃ……」
——ミシディア：セシルの姿に輝きを感じて

「祈るのじゃ、皆の者! 伝説が真の光となるときは今をおいてほかにない!」
——ミシディア：魔導船の復活のための祈りをミシディアの人々に呼びかけ

⬅ミシディアで祈る仲間の想いを、月で戦うセシルたちに届けるべく、全神経を集中させる。

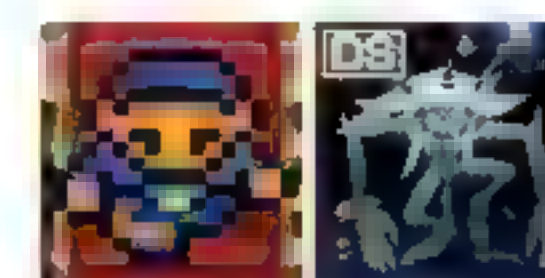
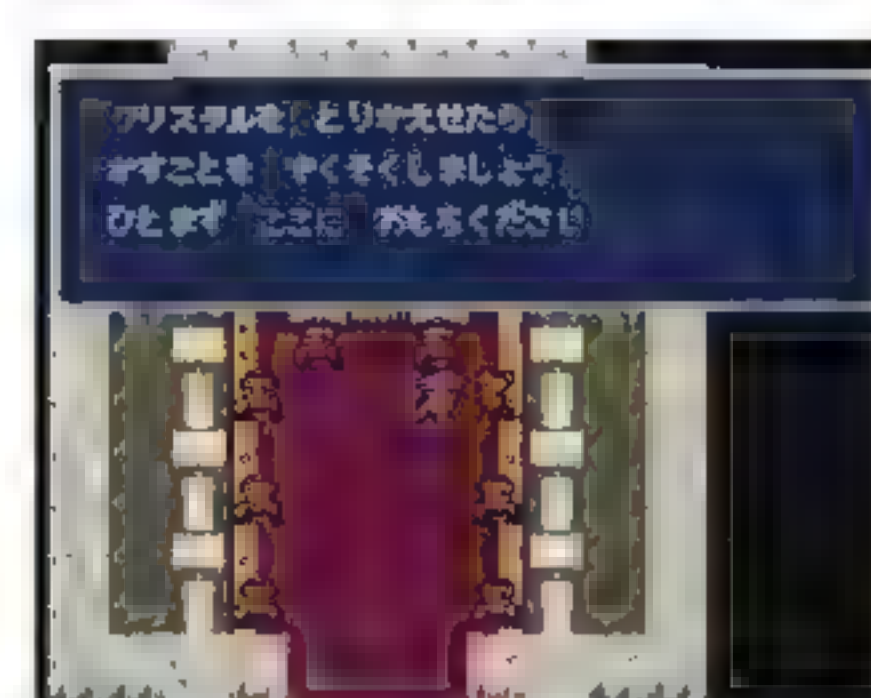
トロイア関係者

女性国家を治める8人姉妹
トロイアの神官たち

登場場所 トロイア城　ボイスアクター DS 秋野ひとみ、折笠奈緒美

女性国家トロイアを治める8人の姉妹。世襲制によって神官となり、土のクリスタルを守るという代々の役割を果たしている。落ち着いた年長者から軽い口調の若い娘、男勝りの気風を持つ者など、性格はさまざま。

Impressive Words

「クリスタルは持つ者によってその力を変えます!」
——トロイア城：土のクリスタルをダークエルフから取りもどしたセシルたちに

磁力で覆われた洞窟の主
ダークエルフ

登場場所 磁力の洞窟

トロイア城に保管されていた土のクリスタルを奪った魔物。金属製の武器に弱く、その弱点をおぎなうために洞窟を磁力で覆っていた。ふだんはエルフの姿だが、セシルたちに追いつめられてダークドラゴンに変身する。

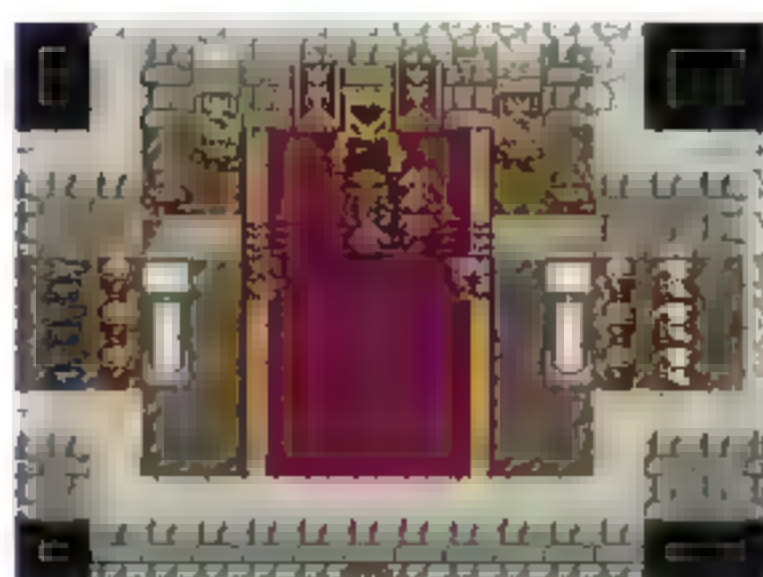
Impressive Words

「ナンダ! コノ フカイナ オトハ! グ……ゲゲゲ!」
——磁力の洞窟：ひそひ草から流れてきたギルバートの竪琴の音色を聞き

地底関係者

地底を治めるドワーフの王
ジオット王

登場場所 ドワーフの城、ミシディアほか　ボイスアクター DS 青野 武

ドワーフの城を居城とする、地底世界の悠然たる統治者。ひとり娘のルカを、亡き王妃のぶんまでかわいがっている。ゴルベーザ率いる「赤い翼」に襲撃され、精強を誇るドワーフ戦車隊で応戦するも、苦戦を強いられていた。折りしもセシルたちの訪問を受け、地底世界のクリスタルを守るべく共闘。その後もセシルたちをさまざまな面から支援する。

←世界に平和がもどったのち、セシルのバロン王としての戴冠式に、地底を代表して参列する。

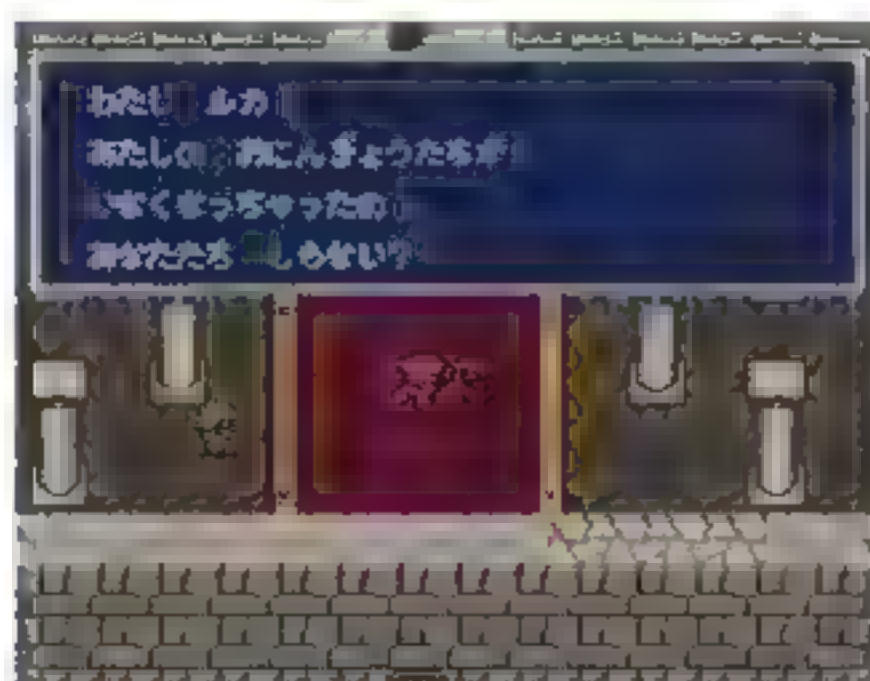
Impressive Words

「心配はいらん！　我らの戦車隊が敵を引きつける！　そのスキにおまえらにクリスタルを奪還してほしい！」
——ドワーフの城：セシルたちにバブイルの塔潜入を依頼

「ドワーフ戦車隊見参！　母なる大地のため我々も戦う！」
——バブイルの巨人周辺：ほかの仲間とともにセシルを援護すべく集結し

ジオット王の愛娘
ルカ

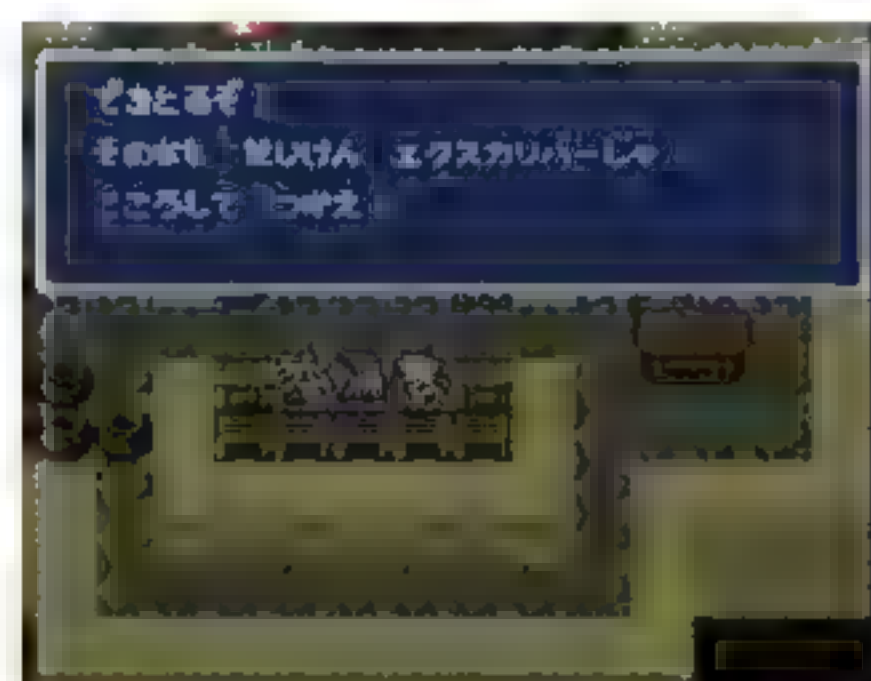
登場場所 ドワーフの城、ミシディアほか　ボイスアクター DS 折笠奈緒美

ドワーフの姫。母を早くに亡くすが、父の愛情を一身に受け天真爛漫に育った。大事な人形はゴルベーザに悪用され、母の形見の首飾りは洞窟の封印を解くために手放すことになるものの、めげずに明るく振る舞っている。

Impressive Words

「私のお人形をそんなことに使うなんて許せないわ！」
——ドワーフの城：自分の人形をカルコブリーナとして利用されたことに怒り

伝説の剣を作る鍛冶職人
鍛冶屋ククロ

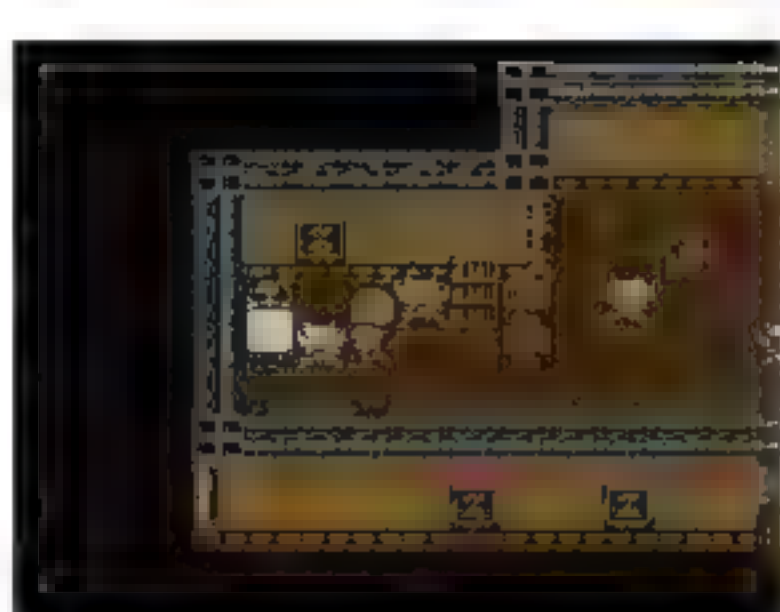
登場場所 ククロの家

地底の辺境で弟子とともに暮らす、世界一の鍛冶職人。仕事にやる気を失っていたが、伝説の鉱石アダマンタイトをセシルからもらって気力を取りもどし、お礼として伝説の剣を聖剣エクスカリバーに鍛えてくれる。

Impressive Words

「これがアダマンタイト！　よし、お礼にそなたのその古びた剣を生まれ変わらせてやろう！」
——ククロの家：アダマンタイトを持ってきたセシルたちに向かって

ヤンを慕う精霊たち
シルフ

登場場所 シルフの洞窟、バブイルの巨人周辺

シルフの洞窟の奥に住む、風の精霊。巨大砲の暴発を阻止して重傷を負ったヤンを見つけ、愛をもって手厚く看病した。その後、回復したヤンに同行し、セシルたちを援護すべく駆けつける。

←洞窟の入口に倒れていたヤンを、奥地にある小屋へと運びこみ、献身的に介抱していた。

Impressive Words

「何しにきたの、出てって！」「ヤンは渡さないわ！」
——シルフの洞窟：セシルたちを警戒し

「ずっと看病してるのに……私たちの愛じゃだめなのかしら……」
——シルフの洞窟：看護のかいもなく目を覚まさないヤンを見て

エブラーナ関係者／その他の地域の人々

悲劇の死をとげた国主
エブラーナ王&王妃

登場場所 バブイルの塔

エッジの両親である、エブラーナ国の王と王妃。国がゴルベーザ率いるバロン軍の襲撃を受けたときに亡くなったと思われていたが、狂科学者ルゲイエによって魔物に改造され、バブイルの塔で息子に戦いを挑むことに。戦いのなかで良心を取りもどすものの、変わり果てた自分たちはこれ以上生きていてはいけない身だと悟り、みずからの手で命を絶つ。

←最愛の息子エッジを地獄に招こうとしてしまい、途中で我に返って、意識あるうちに死を選ぶ。

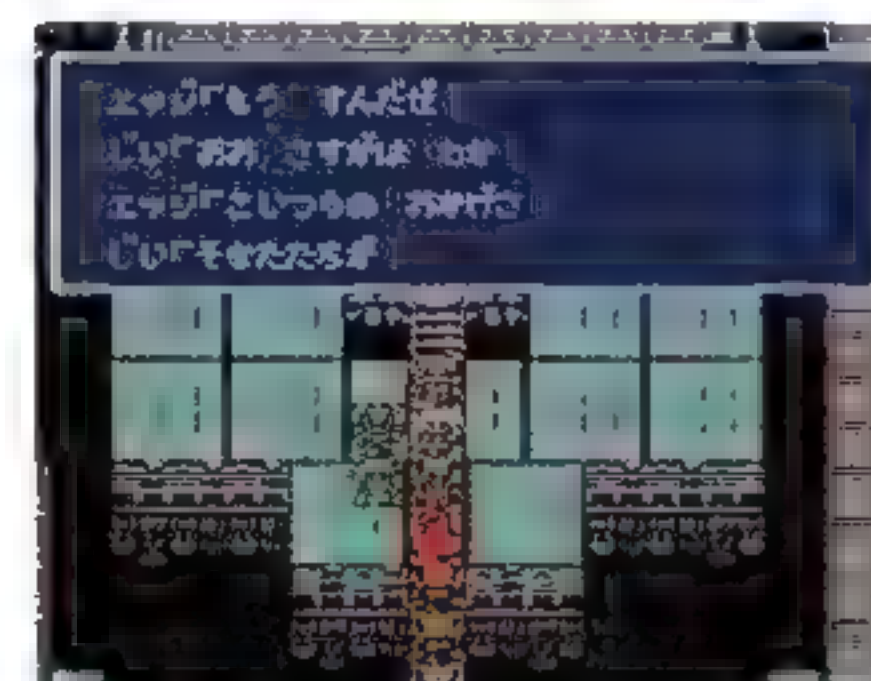
Impressive Words

王妃「エッジ……お前もいらっしゃい……」　王「私たちと一緒に……」
——バブイルの塔：魔物と化してエッジを地獄へ招き

王「この意識のあるうちに、我々はここを去らねばならん……あとを頼んだぞ、エッジ」
王妃「さよなら、エッジ」
——バブイルの塔：命を絶つ直前にエッジに言いのこし

エッジのお目付け役
じい

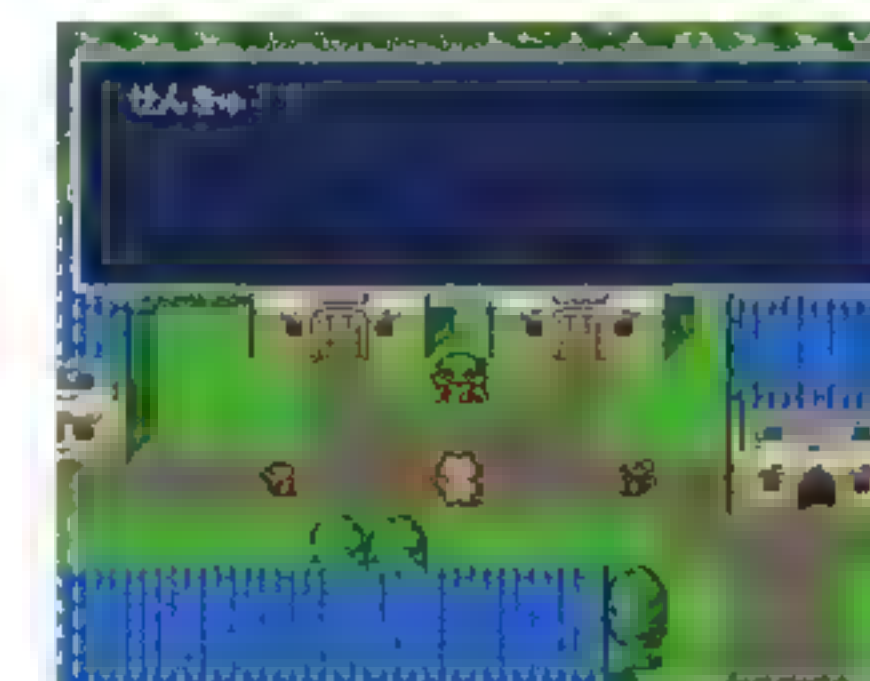
登場場所 エブラーナの洞窟、バブイルの塔

エブラーナ王家に古くから仕える家老。かつては多くの武功を立て、年老いてからは王子エッジのお目付役を務めている。エッジを「若」と呼び、その破天荒な行動にハラハラしどおしだが、彼の一番の理解者。

Impressive Words

「若は口は悪いがお優しいお方」「しかしどうしたことか姿が見えん。よもやまたムチャなことを……」
——エブラーナの洞窟：姿の見えないエッジを心配し

ダンスが得意な3人(?)組
ミスリルブラザーズ

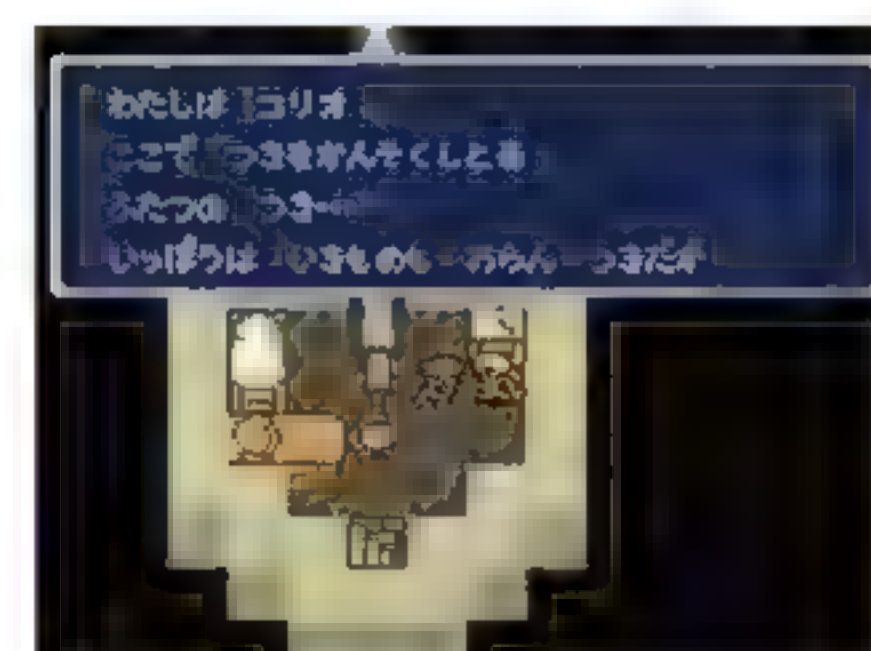
登場場所 ミスリルの村

ミスリルの村にいる、こびと、ブタ、カエルからなるダンスユニット。ひとりひとりがかわいらしい姿をしており、リズムに合わせて軽快なステップや馬跳びなどを披露し、見る者の心をいやしてくれる。

Impressive Words

「イカしたダンス見せるぜ！かもんぶらざー！　ういあーミスリルブラザーズ！　れっつだんす！」
——ミスリルの村：ダンスをはじめながら

月を研究する天文学者
コリオ

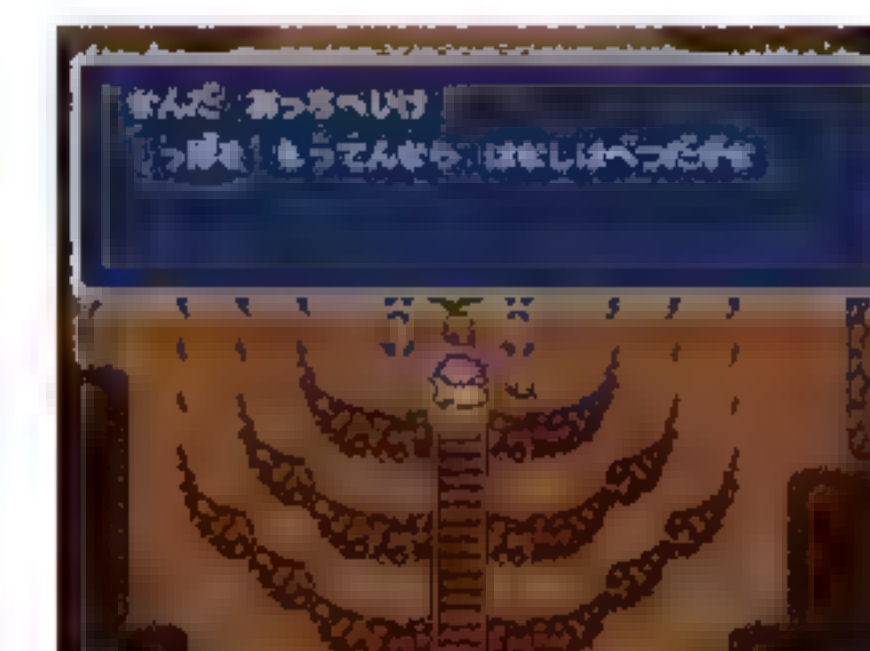
登場場所 アガルトの村

アガルトの村にある世界唯一の天文台で、月の研究をつづける天文学者。ふたつの月の表面の色や軌道の変化を、助手とともに観測している。研究熱心で、観測に夢中になると飲まず食わずになってしまうことも。

Impressive Words

「その月が最近赤くなってきた……まるで血の色のようにな。ただならぬことが起きなければ良いのだが」
——アガルトの村：天文台で月の異変に不安を抱き

しっぽコレクター
アダマン島のこびと

登場場所 アダマン島の洞窟【DS版では「アダマン洞窟」】

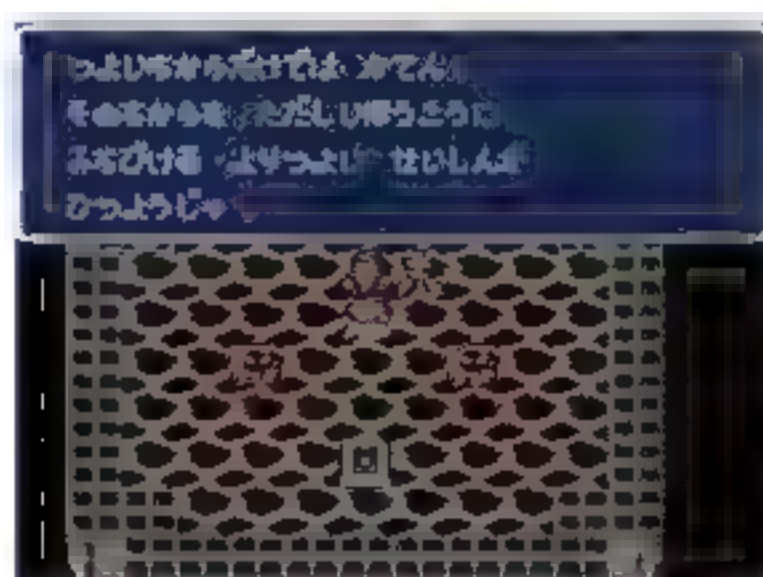
息子とふたりでアダマン島の洞窟に住んでいるこびと。動物のしっぽ集めを趣味としており、セシルたちが珍しいしっぽを持っていくと、島で見つけた鉱石アダマンタイトや貴重なアイテムと交換してくれる。

Impressive Words

「こ、これは探し求めてたネズミのしっぽ！　よし、この金属を少しだけやろう！」
——アダマン島の洞窟：セシルが持ってきたネズミのしっぽに感激し

幻獣

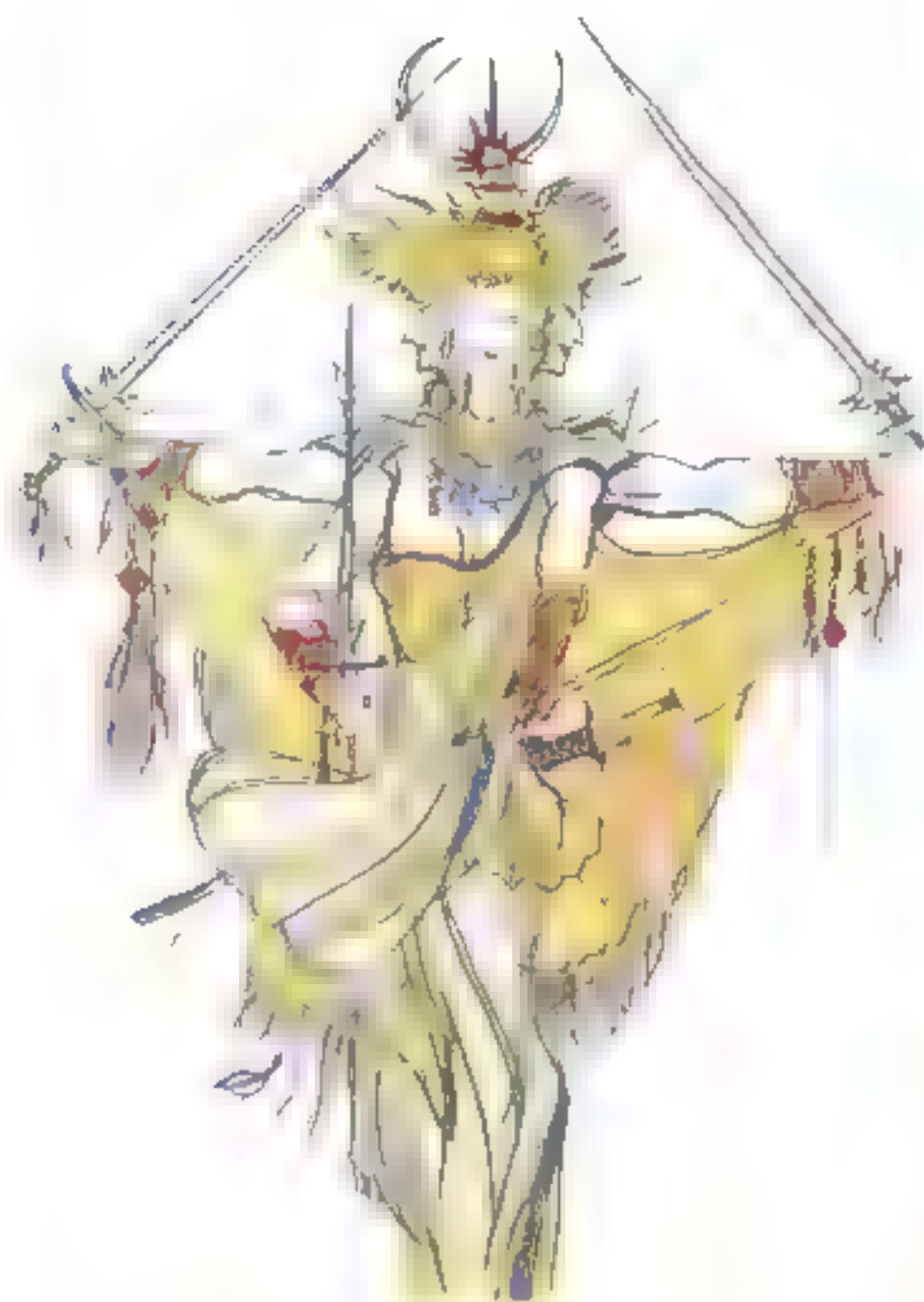
無敵を誇る幻獣の王
リヴァイアサン

登場場所 幻獣の町

幻界を統治する海竜。幻獣たちをまとめつつ、青き星の大海を支配し、船乗りから「大海原の主」と畏怖されている。航海中のセシルたちの前に現れてリディアを飲みこみ、幻界へと連れ去った。以来、娘のようにリディアをかわいがっているが、セシルたちと旅に出た彼女に協力を頼まれてもすぐには承知せず、戦ってその精神を見極めようとする。

←幻界ではただの老人のように振る舞うも、王妃との戦いに勝利した者には王としての顔を見せる。

Impressive Words

「幻獣王？　いやいや、ワシャただのジジイですじゃ！」
——幻獣の町：アスラに勝つ前のリディアたちにとぼけてみせて

「古より戦いによってその精神を見極めてきた……。どうじゃ、ワシと一戦交えてみるか？」
——幻獣の町：アスラに勝ったリディアたちに、自分との勝負を持ちかけ

3つの顔を持つ幻界の王妃
アスラ

登場場所 幻獣の町

リヴァイアサンの妻であり、夫とともに幻獣たちをつかさどる幻界の王妃。一時期を幻界で過ごしたリディアを母のようなまなざしで見守り、旅に送り出したあとも彼女をいろいろと気づかう。

←幻界の掟にしたがい、リディアたちが手を貸すにふさわしいかどうかを戦いで見極める。

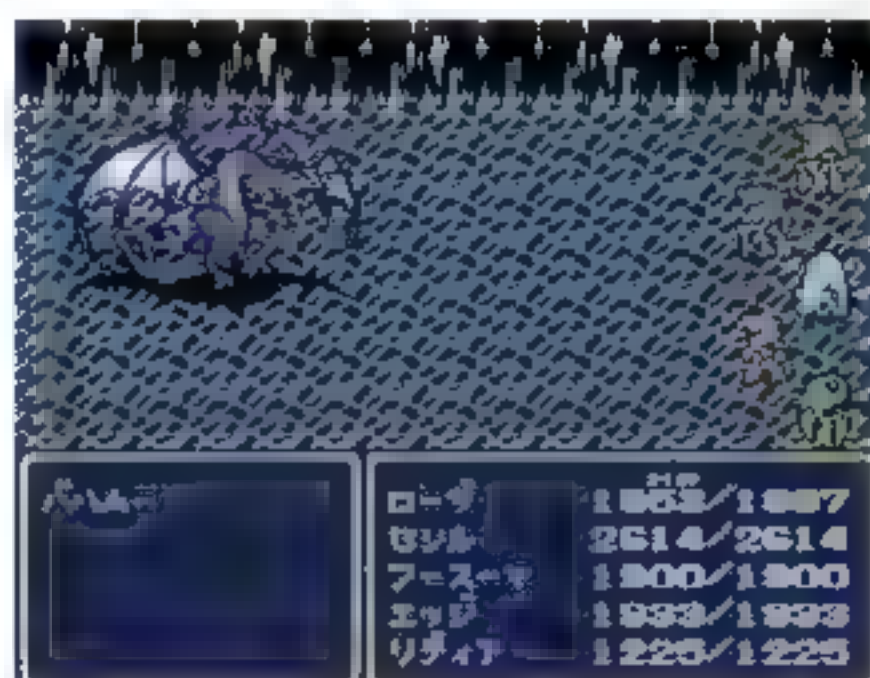
Impressive Words

「手を貸しましょう……と言いたいところですが、お前たちの力を見極めねばなりません」
——幻獣の町：ひさしぶりに会ったリディアに協力を求められ

「強くて優しい良い友達を持ちましたね。いつでも私を呼びなさい……」
——幻獣の町：アスラとの戦いに勝利したリディアに

幻獣たちの創造神
バハムート

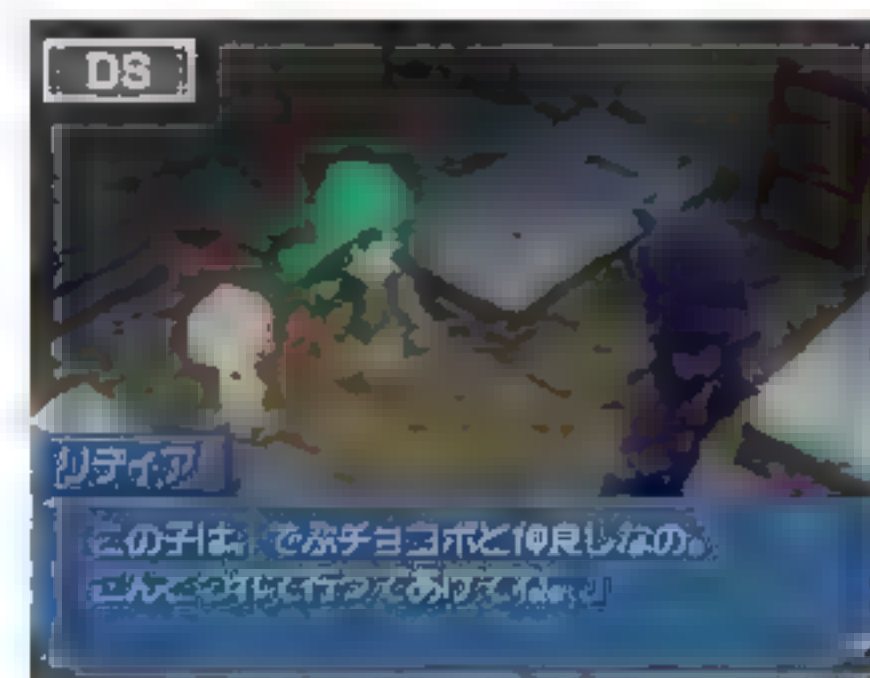
登場場所 幻獣神の洞窟

幻獣たちを創り出した神。幻獣王を超える存在として、ふたりの従者とともに月に棲み、はるか彼方から幻獣たちを見守っている。幻獣王に打ち勝った者にのみ面会を許しており、自分を戦いで負かしたリディアに力を貸す。

Impressive Words

「まことの光がそなたらに宿っているか、最後の審判は、この幻獣神……バハムートがくだす！」
——幻獣神の洞窟：リディアたちの力を確かめようとして

すべての幻獣の素体
ポーチカ(※1)

登場場所 （DS リディアに同行）

DS版では「つぼみ」を意味する名前を持つ、あらゆる幻獣の素体となる種族。ポーチカのうちの1体はリディアのそばにおり、幻界にいる眠ったままの母親のことを心配しつつも、リディアの分身として戦ってくれる。

Impressive Words

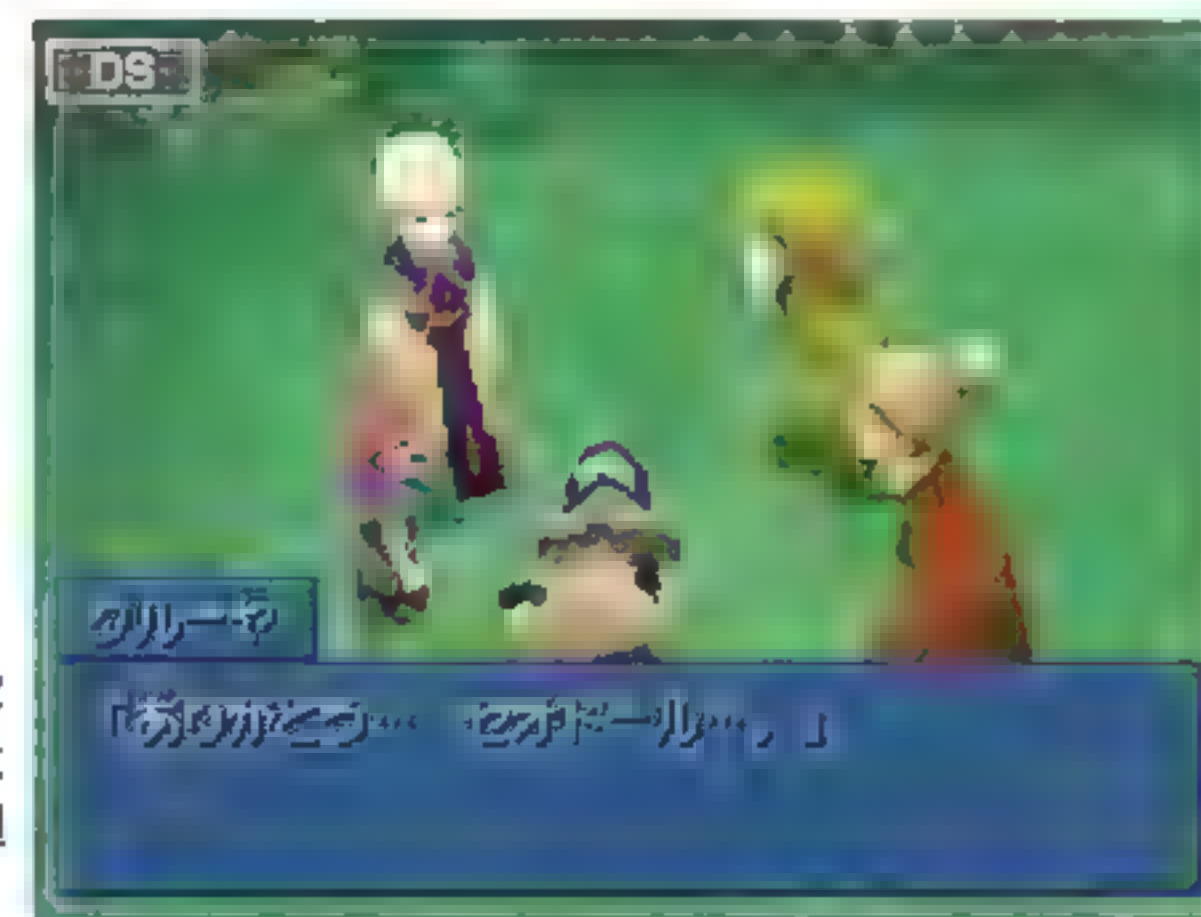
ポーチカの母「私たちポーチカ……、いいえ……、すべての幻獣の未来をあなたがたはつむいでくださったのです……」
——幻獣の町：我が子に良くしてくれたリディアたちに感謝し

※1……DS版にのみ登場

月の民関係者

地上に降りた月の民
クルーヤ

登場場所 試練の山(声のみ)、DS ゴルベーザの回想　ボイスアクター DS 銀河万丈

フースーヤの弟で、セシルとゴルベーザの父親。はるか昔、魔導船を作って青き星に降り立ち、月の民の高度な技術を伝えた。死後も魂となって青き星にとどまり、試練に打ち勝ったセシルを最後の力でパラディンに変え、ゴルベーザを止めるよう願いを託す。
DS版では 青き星の娘セシリアと結婚。息子セオドール(のちのゴルベーザ)を授かり、人々に空を飛ぶ技術や魔法を伝えながら家族で幸せに暮らしていたが、妻の第二子出産を前に、自分の教えにそむく者に命を奪われる。

➡病弱の妻セシリアと幼い息子セオドールを残し、妻のお腹にいた次男セシルの誕生も待たずして迎えた無念の死だった。

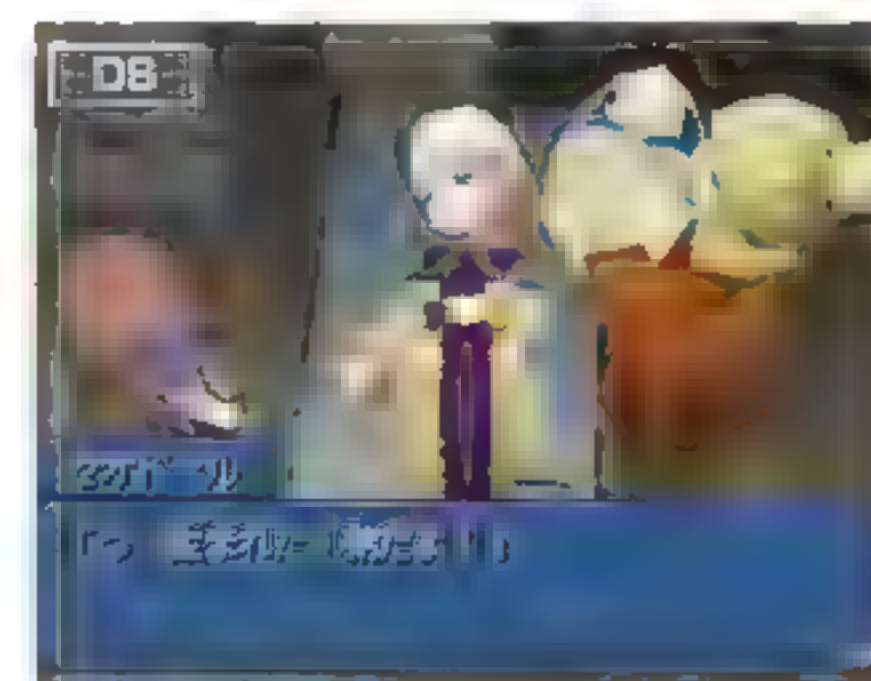
Impressive Words

「よくやった……これから私の意識を光の力に変えてお前に託そう。受け取るが良い……私の……最後の光を！」
——試練の山：魂の状態で、暗黒騎士という過去の自分に打ち勝った息子セシルに呼びかけ

DS *「間違っていたのかな……。私の……想いは……」*
——ゴルベーザの回想：20年前、死にぎわに自分の行ないを振り返り

月の民の妻となった青き星の娘
セシリア(※1)

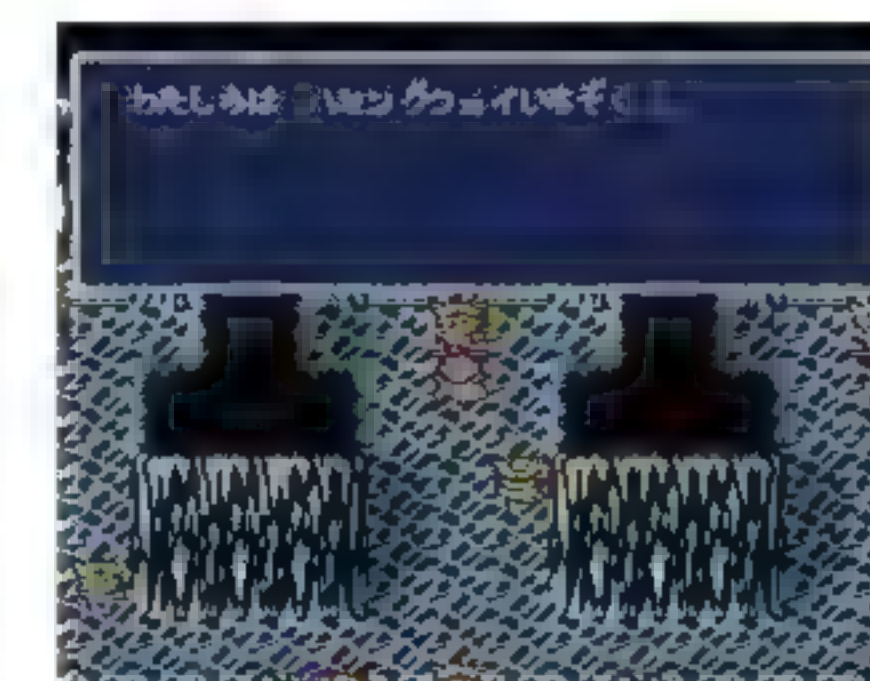
登場場所 DS ゴルベーザの回想

DS版では クルーヤの妻。長男セオドールが10歳のとき夫に先立たれた。ややあって次男セシルを出産するも、病弱な身体に無理が重なり、幼い息子ふたりを残して息を引き取る。かつてバロン王と交流があったらしい。

Impressive Words

DS *「幸せな一生を送るわ、きっと……！」*
——ゴルベーザの回想：生まれたばかりの息子に「神様の贈り物」という意味の名をつけて

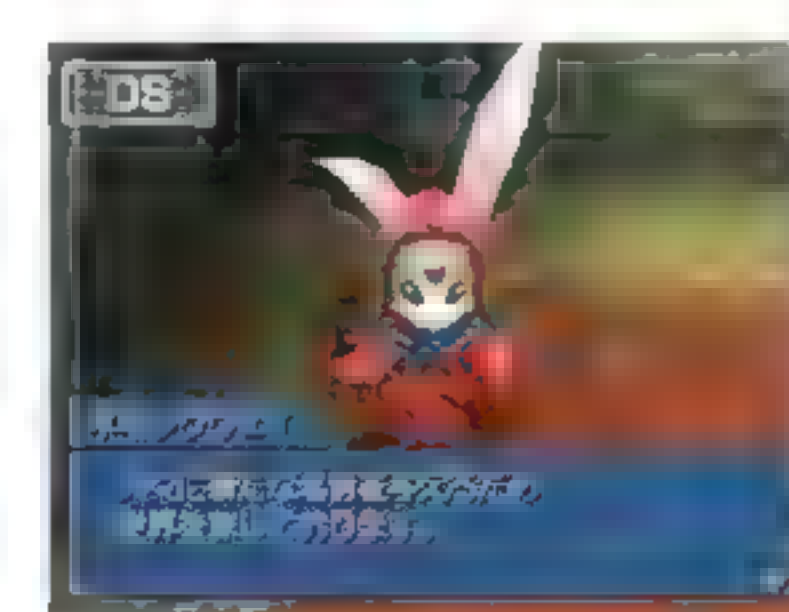
月をすみかとする謎の集団
ハミングウェイ一族

登場場所 ハミングウェイ一族のすみか

月の南にある洞窟で、不思議なメロディをハミングしながら暮らす一族。かつて、一族のなかであだ名をつけるのがうまかった者が、船を発明して青き星へと降り、ネミングウェイになったと言われる。

Impressive Words

「名前の変更？　何のことでございましょう？」
——ハミングウェイ一族のすみか：ネミングウェイに対するのと同様に接したセシルたちに

さすらいの名前変更人
ネミングウェイ

プレイヤーの名前を変更してくれる人物。城や町などの思わぬところに隠れている場合がある。
DS版では 自分探しのためさまざまな職業へ転身し、プレイヤーではなく自分の名前を変えていく。

←通りかかったセシルに、いつもどおり新たな名前を授けようとするが……。

Impressive Words

「おや、これは。お名前のご変更でございますか？」
——各地：自分を見かけた人に話しかけられて

DS *「名前が変えられぬ私はもはやネミングウェイにあらず……」*
——バロン城：自分探しの旅に出ることを決意して

◆DS版でのネミングウェイの名前の変遷

[illegible]	名前	[illegible]
—	ネミングウェイ	バロン城
地図師	マッピングウェイ	ミストの洞窟
無職	リヴィングウェイ	オアシスの村カイポ
記者	ダビングウェイ	ファブール城
山師	キャンピングウェイ	チョコボの森
吟遊詩人	ジャミングウェイ	バロンの町
浮気者	Wブッキングウェイ	トロイアの町
純情派	プディングウェイ	アガルトの村
無気力	サミングウェイ	ドワーフの城
愛の人	ラヴィングウェイ	幻獣の町
新郎	ウェディングウェイ	ミシディア
月の民	ハミングウェイ	ハミングウェイ一族の住処
自由人	ゴーイングマイウェイ	各地

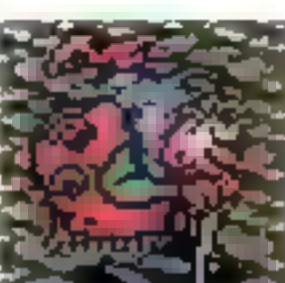
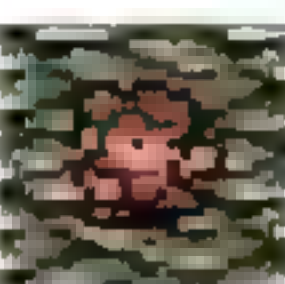
「かいはつしつ」の人々

ドワーフの城のパブ「ラリホー」には隠し通路があり、「かいはつしつ」なる秘密の部屋に通じている。そこには、ゲームの開発スタッフがそれぞれ何らかのキャラクターの姿を借りて登場。なかには、敵として襲いかかってくる人も……。

●SFC版

さかぐちひろのぶ
Words 「しよか……」

うえまつのぶお
Words 「ンッ! そなたよく見るとなかなかの音楽的資質を秘めておる」

ときたたかし
Words 「ローザにリディアってのか。なかなかイイ女じゃねえか。オレが力になるぜ!」

なりたけん
Words 「もうイベントは追加しないでくれー! もうバグは見つけないでくれー!」

なかだひろみ
Words 「さあだれからいくの?」「へたくそっ!」

たなかりょうこ
Words 「私の最後の作品となりました。よろしくね」

まつむらやすし
Words 「どうしたの? ……あれ? 人ちがいだ!? ヒャー……」

あおきかずひこ
Words 「俺の得意なバイオリン聞きたい? 聞きたくない……。あっそう……」

いとうひろゆき
Words 「なんで起こすんじゃ、いいとこじゃったのに。つづきを見るとするか……」

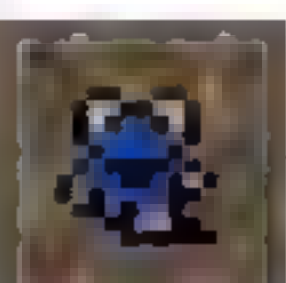
まついあきひこ
Words 「俺のステータスを見なよ」

よしいきよし
Words 「こんどパパになるんだ、はァん。いいだろ。じゃあな、はァん」

ひぐちかつひさ
Words 「バトルプログラマーを殴るとは! この野郎ー自爆してやるっ!」

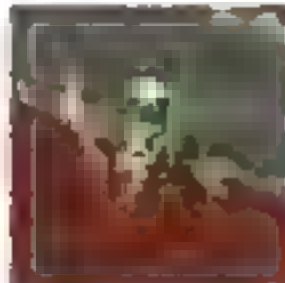
たかはしてつや
Words 「死ぬぞ」

ほしのまさのり
Words 「みんなが戦っている魔物は僕が描いたんだよー。気に入った魔物があったら教えてね」

あだちけいたろう
Words 「へへっ、楽勝ー楽勝ー!」

あかおみのる
Words 「ふうッ……さァって何しようかなァ。やはりワクワクするにはアレが一番かな!?」

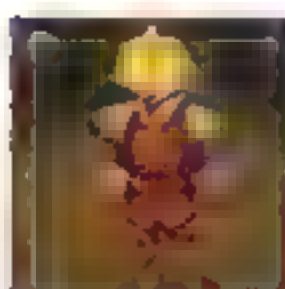
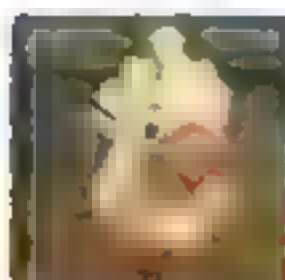
いとうけんじ
Words 「FFクリアしたら聖剣伝説もよろしくね!」

うえだあきら
Words 「みんな見てるかな? 音をいくつか作ったんだ。またきてね!」

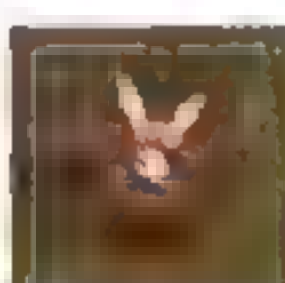
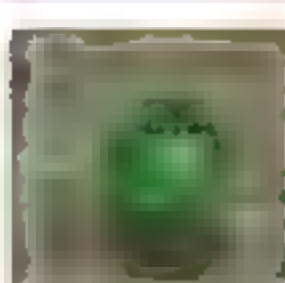
タカ
Words 「伝説のスーパードット野郎を目指している。多分このゲームが終わる頃にはスーパードット野郎になっているだろう」

新人たなかしんいち
Words 「皆さんよろしく。……早く自分の机が欲しいなァ」

新人こいずみきょうぢ
Words 「フッ……ゴールデンウィークなんて初めからなかったと思えば気楽さ」

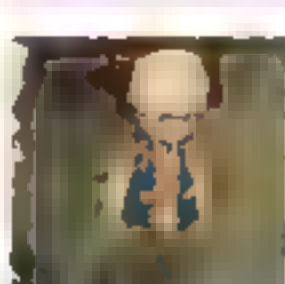
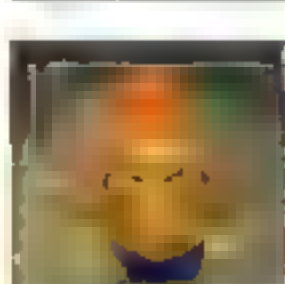
新人どばしいくや
Words 「お願いだー見逃してくれえ。俺は何にも盗んじゃいない」

新人えんどうとしお
Words 「肩がこったヨー。目が痛いヨー。耳が痛いヨー」

●DS版

ゲームしょくにん
Words 「まだ ここから 出られないんだ……」「なまえ……? たしか ときた たかし……」

伊藤
Words 「よし、ここで問題じゃ! 数式「ABABAB÷x=3367×AB」が成り立つ時、xの値を求めよ」

オグロシュウ
Words 「パパの会社に遊びに来たんだけど、パパいないんだよね～」

ヨシオカアイリ
Words 「こんなところまで、よくいらっしゃいました。……と、かんげいしたいけれど、ここはあんこくのかいはつしつ」

あさの
Words 「遊んでくれてありがとう! ちょっとですが、お礼させてください。この拳でな!」「さあ! おまえのボーチカをみ せ て み ろ!」

マトリックスやぶた
Words 「……クェ! お、これに気づくとは……w。FFIVプレイしていただきありがとうございます!」

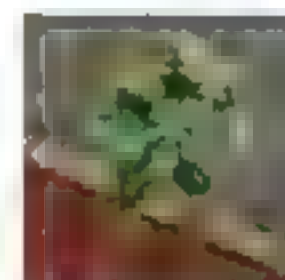
かんだやすひろ
Words 「あそんでくれてありがとう。うっ・・・」

たけうちしょう
Words 「バトルは楽しんでもらえているかな!? さぁ、勝負だっ!」

ながほり
Words 「ふふ。。若いね。。」

たむら
Words 「前作よりもパワーアップしたグラフィックをたのしんでくださいね」

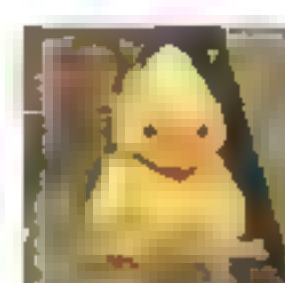
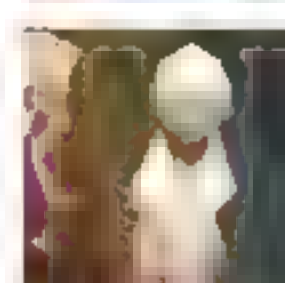
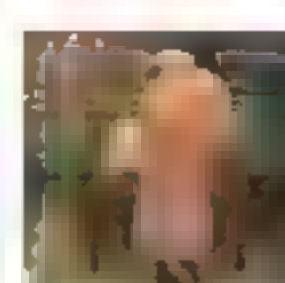
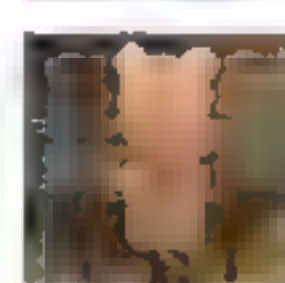
かんご
Words 「ここが開発室かー。……ドキドキ」

FujiPin
Words 「生まれ変わったファイナルファンタジーIV、楽しんでもらえてますか?」

ノビヨ・ウエマッチーノ
Words 「のうかをやっとります」

なかのじゅんや
Words 「剃っても剃ってもノビヨヒゲが生えて来る……植松さんの曲、聴き過ぎたかなぁ?」

クロマーノ・フクイ
Words 「今回もええ仕事できたでぇ～。うん、愛のテーマ……ええなぁ～! 曲もアレンジも最高～!!」

カミッチ
Words 「(宝箱:だいじなもの【1キロバイト】を手に入れた!)大事に使ってね～。……。やっぱり返して!!」

ミサマベアー
Words 「バイオかけちゃうぞ! バラビレブー!」「メギャー!! うっかり自分にかけちゃった!」

コーチン・ユイ
Words 「赤き翼の兵士D、彼いい人ですよね」

サウンドマネージャ(きたやん)
Words 「ウダツさん、『愛のテーマ』歌ってないで仕事してくださいよ!」

サウンドマネージャ(ウダツ田中)
Words 「愛のテェ～マ～ 公開オーディション～ 応募したら落ちたぁ～ キャンチュ、ジャストゥワナ、ルゥ～」

生守一行
Words 「ムービー作っています。だから、仲間にしてくれよ～～。どんな長編ムービーでも、大丈夫だからさー」

ながもりともかず
Words 「わたくしはデバッグウェイ:EG。バグを探して、世界を旅しております」

ソースイ
Words 「あーダメダメ! あずかりませんよ! なぜならば! わたしのしごとはせんでんだからですっ!」

りーゆの
Words 「私の踊り、見たい?」「へぇ……なかなかいい根性してるわね。一つ、いい事を教えてあげるわ」

TK
Words 「……Zzz……。……Zzz……。はっ! プログラムかかなきゃ!(また寝る)」

おとうと
Words 「ふ～、うまい、うまい。たくさん食べていたら、開発室から出られなくなっちゃいました」

キンタ
Words 「うまいでー。こうてやー。いけてるわー。いいこいますせー。もうがまんできん。ああ、秋やなぁ」

ULTIMANIA CHECK チュートリアルキャラクターの歴史

『FF』シリーズには、操作のしかたなどをレクチャーしてくれる(＝チュートリアルの役割を果たす)キャラクターが数多く登場してきた。そのおもだったところを振り返ってみよう。

各作品 初心者の館の人々

「初心者の館」といえば、『FF』シリーズにおけるチュートリアルの代名詞的存在。その元祖となったのは『FFⅣ』のバロンの町にあったトレーニングルームで、以降、名前や姿を変えてシリーズ作品に何度も登場している。また、『FFⅠ』や『FFⅡ』のリメイク版でも、「初心者の館的な役割を持つ人々」が追加された。

Ⅳ トレーニングルーム

Ⅳ イージータイプ トレーニングルーム

Ⅴ 初心者の館

Ⅵ 初心者の家

Ⅶ 初心者の館

Ⅶ 上級者の館

Ⅹ-2 バトル初心者の館

Ⅰ GBA版 PSP版 コーネリアの町の宿屋

Ⅱ GBA版 PSP版 反乱軍のアジト

COLUMN もの知りじいさんの歴史

『FFⅤ』には、宝箱回収率をはじめ、プレイヤーの履歴とも言うべきさまざまな数字を教えてくれる「もの知りじいさん」という人物がいた。似たような役割を持つキャラクターは、その後のシリーズ作品にもたびたび登場している。

◆『FFⅤ』のもの知りじいさんと似た役割を持つキャラクター

作品	名前	作品	名前
Ⅶ	オヤジ小屋のじいさん	Ⅺ	モーグリ(※1)
Ⅵ(PS版)	やりこみじいさん	Ⅲ(DS版)	ものしりじいさん

※1……毎年5月の「冒険者さんありがとうキャンペーン」の期間中のみ

Ⅴ

←宝箱回収率を100%にしようと、必死になってプレイした人も多いだろう。

Ⅳ イージータイプ カイン

『FFⅣイージータイプ』では、幻獣討伐の命令を受けた直後、カインが移動中の基本操作を説明してくれる。

←どんな初心者でも迷わずプレイできるようにという、『イージータイプ』ならではの配慮だ。

Ⅶ クラウド

伍番魔晄炉爆破ミッションをはじめる朝、選択しだいでマテリアの使いかたをバレットに講義。また、初心者の館や上級者の館では、「元ソルジャー」として、持てる知識を存分に披露する。

←『FFⅦ』では、クラウドが館の人々にものを教える。従来の初心者の館とは立場が逆なのがおもしろい。

Ⅷ キスティス／サイファー

物語序盤のバトルで、キスティスやサイファーが、バトルシステムの基本をスコールに解説する。

←キスティスはいかにも教官らしく、G.F.などをジャンクションするための基本的なやりかたも説明してくれる。

Ⅸ モグタロー

ATE(アクティブタイムイベント)で何度か登場し、ゲームシステムを語っては、弟分のモグジローに感心される。ちなみに、メニュー画面のヘルプで表示されるモーグリもモグタローだ。

←ATE以外でも、ク族の沼を訪れれば、いつでもモグタローの話は聞ける。

Ⅹ ワッカ&ルールー

ビサイド島やキーリカの森では、ベテランガードのふたりが、何も知らないティーダにバトルの基本をかわるがわる解説してくれる。

←なかでも、属性についてのルールーの解説は非常にこまかく、ていねいだ。

Ⅻ バッシュ／トマジ／バルフレア

バッシュはレックスに基本の操作方法を語り、トマジはライセンスボード、バルフレアはガンビットについてヴァンにくわしく教えてくれる。ちなみに、インターナショナル版ではトマジによる解説はない。

←バルフレアが行なうガンビットの解説は、口調こそ投げやりだが内容は親切だ。

COLUMN チュートリアルのマスコット

作品によっては、特定のチュートリアルが行なわれているとき、その背景でマスコット的なキャラクターがちょこまかと動いていたりする。該当するおもな場面と登場するキャラクターは、以下にまとめたとおりだ。

◆チュートリアルに登場するマスコットとその場面

作品	キャラクター	登場する場面
Ⅴ	チョコボ	風の神殿脱出直後や初心者の館での、アビリティーシステムの解説時
Ⅵ	モーグリ	ナルシェの炭坑でのティナを守るバトルや、ストーリー分岐の解説時
	カッパ	ガウが仲間になった直後の「とびこむ」の解説時
Ⅲ(DS版)	モーグリ	風のクリスタルから光を授かった直後の、ジョブチェンジの解説時

Ⅴ

←マスコットたちのかわいらしい動きは、見ているだけでも飽きない。

FINAL FANTASY V
ファイナルファンタジーV

STORY

クリスタルの輝きに導かれ 戦士たちは「無」の脅威に立ち向かう

1000年もの昔、危険な「無」の力を封印するため、人々はこの世のバランスを保つクリスタルを分割し、世界をふたつに分けた。そのときに生まれた世界のすき間、すなわち次元の狭間に「無」は封じこめられる。これにて脅威は去ったかに思われたが、長い月日が流れたのち、「無」の力を手に入れようと画策する暗黒魔道士エクスデスが出現。第2世界の住人である暁の4戦士は、はるか昔に分かたれたもうひとつの世界——第1世界にエクスデスを追いつめるも倒すことはできず、クリスタルの力を借りて封印するにとどまった。

それから30年。クリスタルの力を享受する第1世界を異変が襲う。人々が豊かな生活を求めてクリスタルを酷使したことにより、クリスタルそのものの力が衰弱していったのだ。さらにエクスデスの邪悪な意志が人々に働きかけ、クリスタルはつぎつぎと砕け散ってしまう……。クリスタルに選ばれた4人の戦士は、クリスタルを守るため、ひいてはエクスデスを倒すため、4つの心を胸に立ち上がる。

ファイナルファンタジーV

作品概要

ジョブチェンジシステムが改良され、習得したアビリティを別のジョブでも使えるようになったことで、ゲーム性が大きく進化。キャラクターに喜怒哀楽の表情がつき、メッセージに漢字が使われるなど、演出面も強化されている。ギルガメッシュや隠しボスが初登場。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーV	スーパーファミコン	1992年12月 6日	9,800円(税別)	
ファイナルファンタジーV	プレイステーション	1998年 3月19日	5,040円(税込)	※1
ファイナルファンタジーコレクション	プレイステーション	1999年 3月11日	7,140円(税込)	※2
ファイナルファンタジーVアドバンス	ゲームボーイアドバンス	2006年10月12日	5,040円(税込)	

※1……コンビニエンスストアのみで販売
※2……限定版「アニバーサリーパッケージ」が9,240円(税込)で同時発売

FINAL FANTASY V ADVANCE
ファイナルファンタジーV アドバンス
■GBA版

バッツ

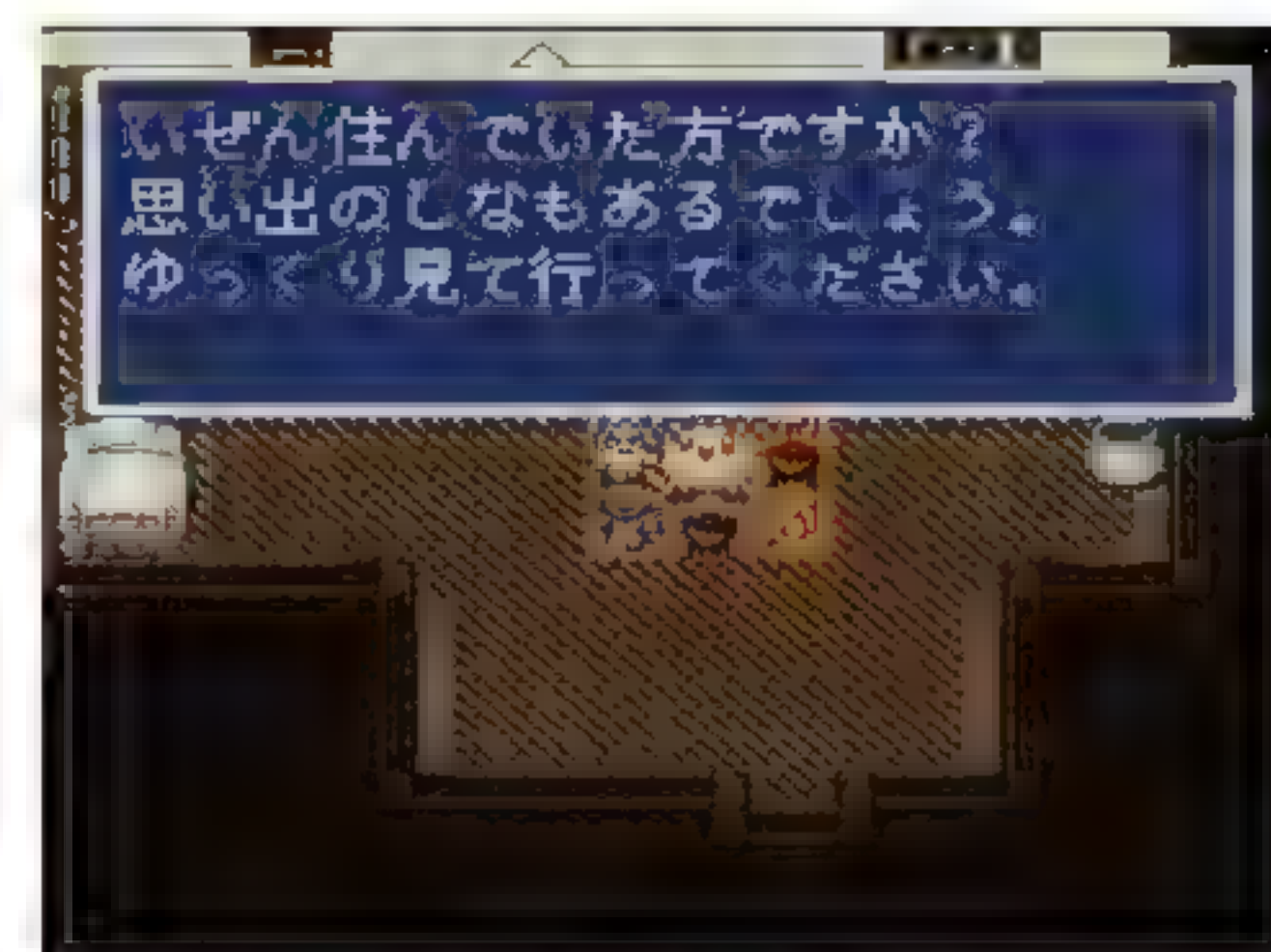
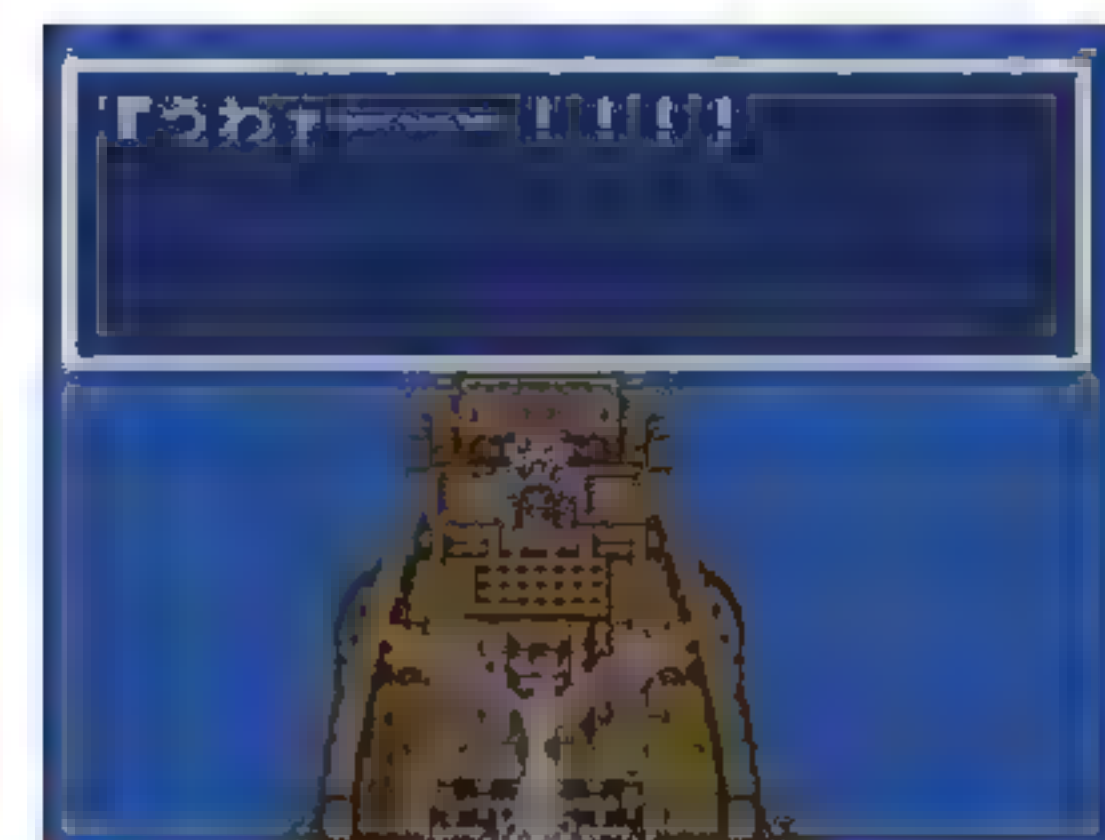
Butz Klauser バッツ・クラウザー

Personal Data

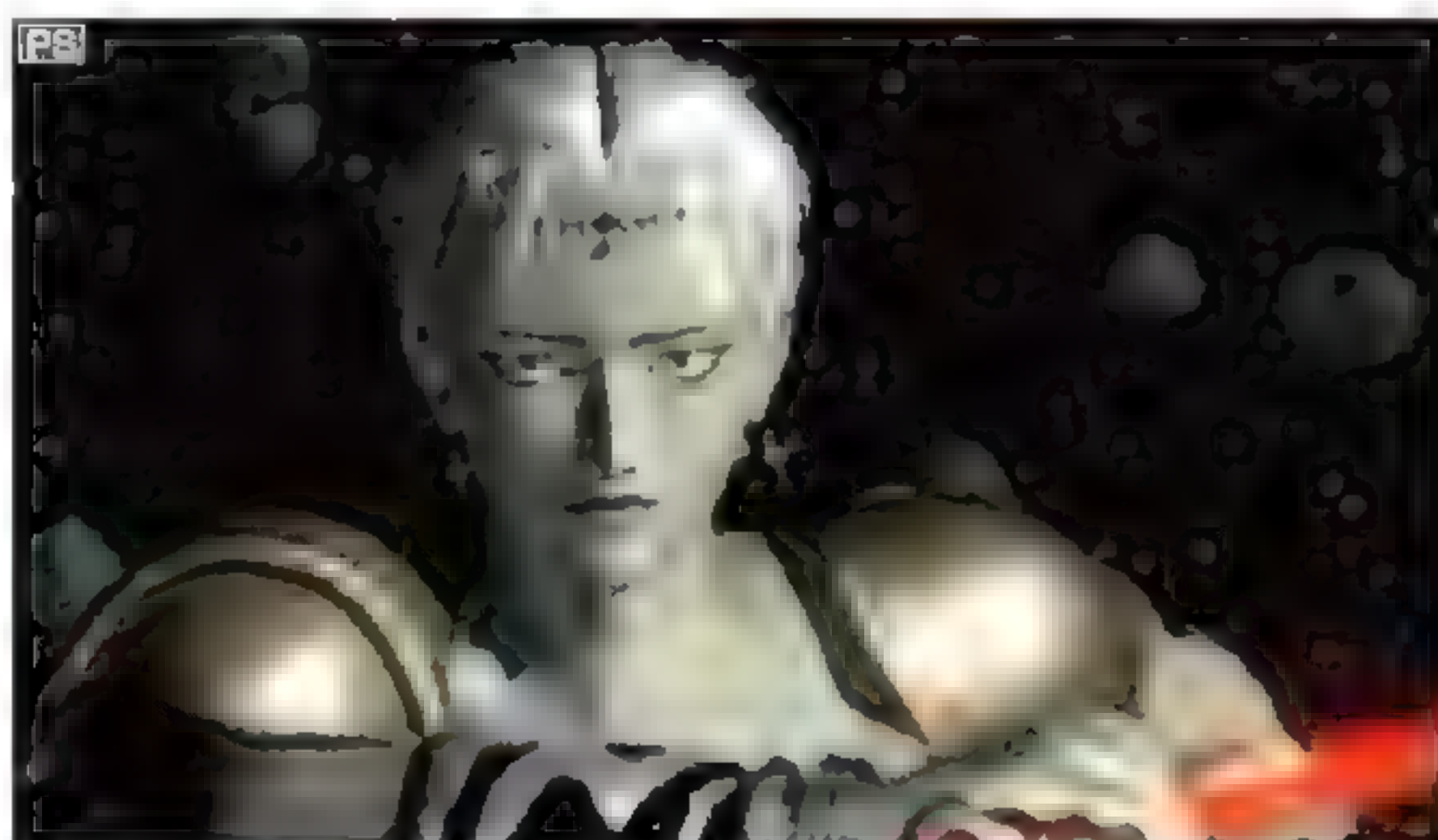
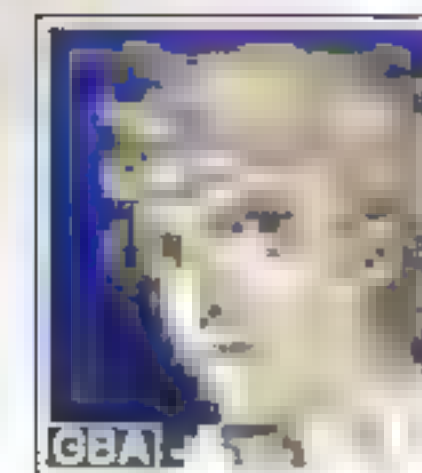
性別	男	年齢	20歳
出身地	リックス		
身長	176cm		
体重	58kg		

父の遺言に従い 世界をめぐる旅人

幼いころに母を、3年前に父を失った天涯孤独の青年。「世界を旅してまわれ」という父の遺言に従い、チョコボのボコを相棒に各地をめぐっていた。通りかかった隕石落下の現場で、タイクーンの王女レナと記憶喪失の老人ガラフに遭遇。風のクリスタルのもとへ行かねばならないという彼らの懸命な様子に持ち前の正義感を刺激され、旅に同行することになる。それは、いまある世界の成り立ちと己の出自を明らかにする、運命的な冒険のはじまりだった。

風、水、火、土の4つの力を持つクリスタルを守るべく各地をめぐるなかで、世界を破滅に導こうとする暗黒魔道士エクスデスの存在を知ったバッツは、レナたち仲間とともに異世界へ。自分の父ドルガンが30年前に世界のために戦った暁の4戦士のひとりだったという事実を聞かされ、父と同じく世界を救う道を歩んでいく。

↑いまは人手に渡ってしまったバッツの生家。オルゴールの調べに、母を失った苦い記憶がよみがえる。

←物語終盤、エクスデスに故郷の村リックスを消されたバッツは、理性を失って飛空艇を暴走させてしまう。

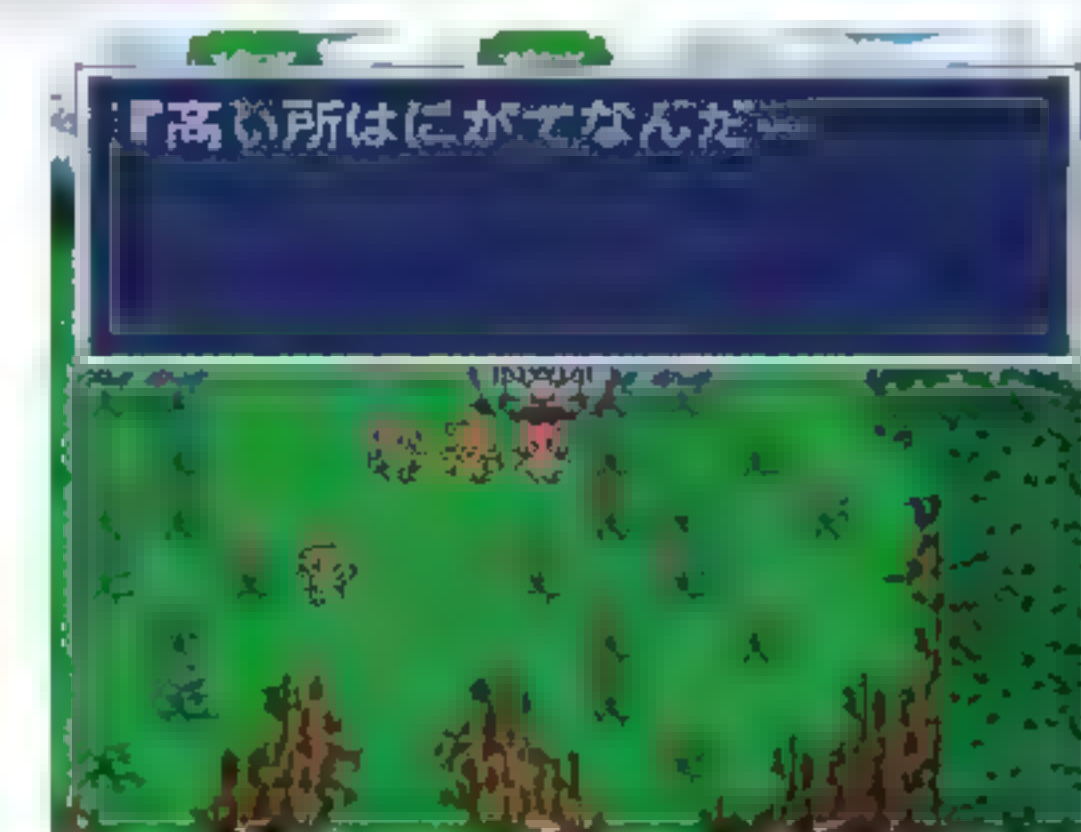
PS

GBA

Topics of Butz

■ 種族の枠を超えた親友

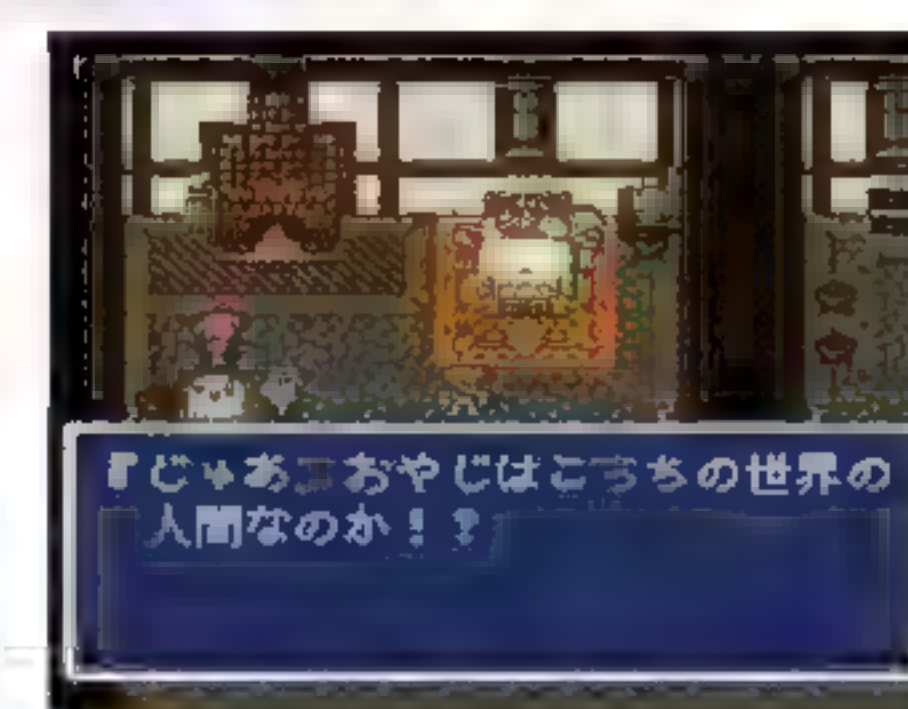
チョコボのボコとバッツはともに天涯孤独の身であり、連帯感とも言える絆で結ばれている。それは、ただなぐさめ合うだけの関係ではない。レナとガラフにかまわず旅をつづけようとするバッツに抗議したり、洞窟からもどらないバッツを心配し、あとを追おうとしてケガをしたり……そんなボコの行動は、友を思う気持ちの表れだ。物語序盤に別行動をとることになるが、彼らの絆の強さは変わらない。

↑言葉は通じなくとも、互いに考えていることを理解できるのは、深い友情があればこそ。

■ 幼少時の事件が原因で高所恐怖症に

正義感が強く勇敢なバッツだが、じつは高い場所が苦手という一面を持つ。その原因は、子どものころに遊んだかくれんぼ。見つかるまいと高い屋根の上に隠れたものの、仲間たちに忘れ去られ、朝までそこで過ごしたあげくに転落しかけたことがトラウマになってしまったのだ。しかし、当時の友人たちは、その事件がそれほどまでにバッツを苦しめているとは知らず、あっけらかんと過去を振り返っている。

↑タイクーンの飛竜の救出に成功したものの、その背に乗ることをバッツはためらう。

■ 父親によって鍛え上げられた技

ウェアウルフの長ケルガーに、エクスデスの一味ではないかと疑われたバッツ。身の潔白を証明するカギとなったのが、父ドルガンから受け継いだ技だ。父の戦友だったというケルガーから当時の話を聞かされ、バッツは冒険に新たな意味を見いだす。

←ガラフを追ってやってきた異世界で、父親がエクスデスと戦った戦士のひとりだと知る。

Impressive Words

情に厚く、どんな困難が待ち受けていようとも、信頼する相手への助力を惜しまない。世界を守るために己の一生を捧げた父ドルガンの誇り高い心は、バッツのなかにまちがいなく受け継がれている。

「どっちでもいいさ。ファリスはファリスだ!」

——船の墓場：ファリスが女性だと知り

「おやじに頼まれたんだ。おふくろと一緒に埋めてくれってな……」

——リックスの村：墓石に父親の名を刻みながら

「また、悪い人を見はりに行くの?」

——バッツの回想：母に内緒で旅立とうとする父に

「ボコ……行ってくる!」

——ワープポイント：第2世界へ旅立つ前に、心のなかでボコに呼びかけ

レナ

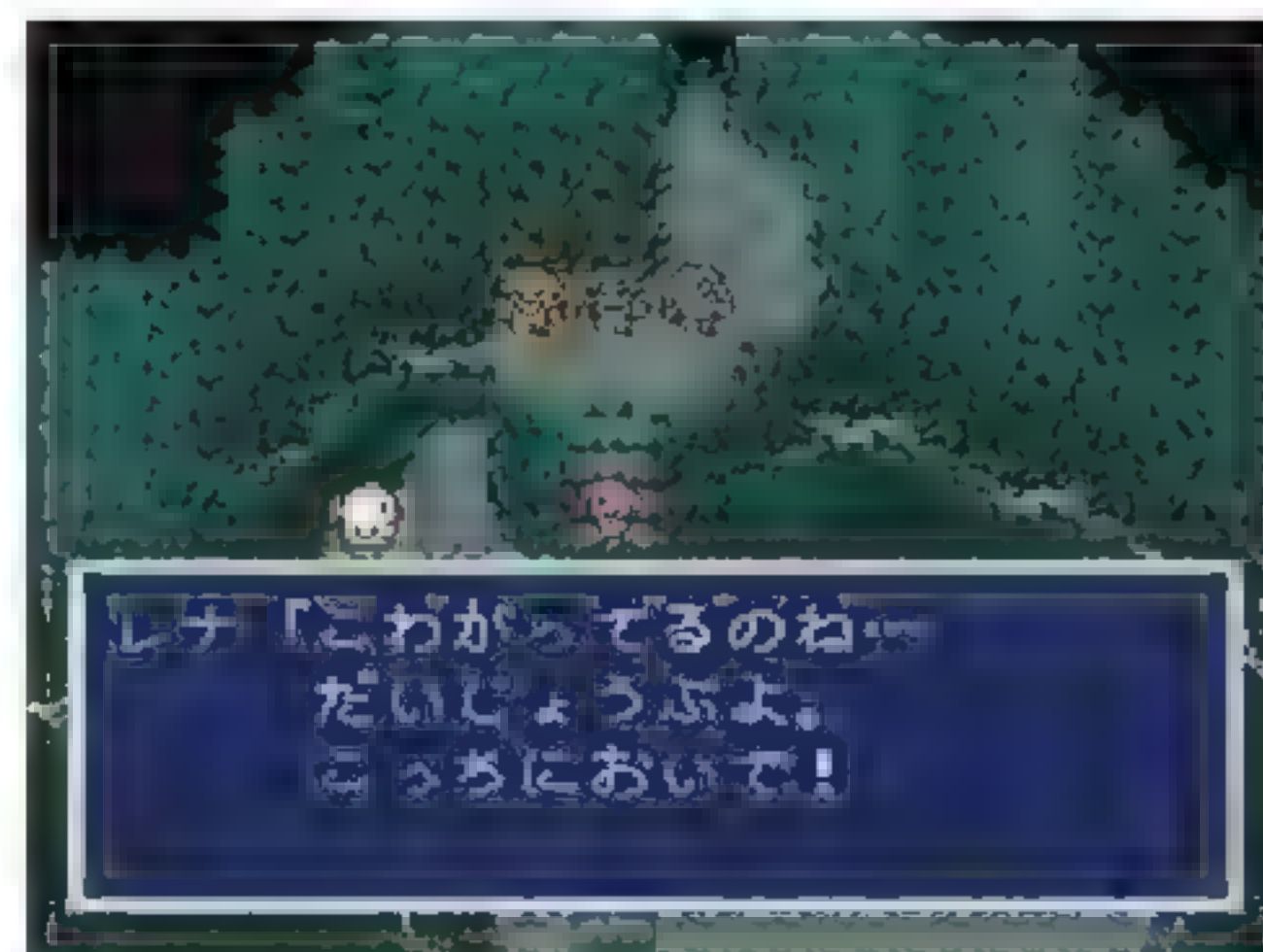
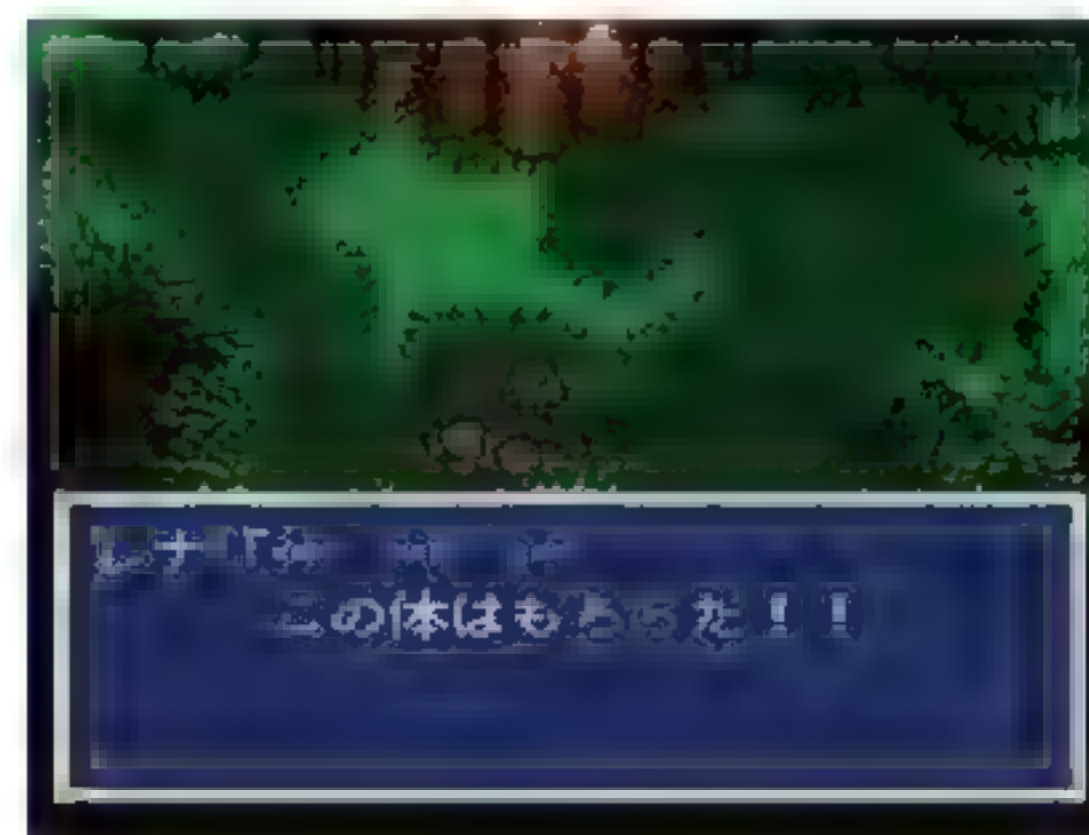
Lenna Charlotte Tycoon レナ・シャルロット・タイクーン

Personal Data

性別	女	年齢	19歳
出身地	タイクーン		
身長	161cm		
体重	45kg		

自己犠牲をいとわない慈愛の心に満ちた姫君

タイクーン王国の心優しき王女。風のクリスタルの異変を感じて神殿へと向かった父王を心配して城を飛び出すが、隕石落下の衝撃で気を失ったところをゴブリンに襲われてしまう。その窮地を救ってくれた旅人バッツと記憶喪失の老人ガラフの助けを得て、クリスタルを守る冒険へと旅立つことになった。

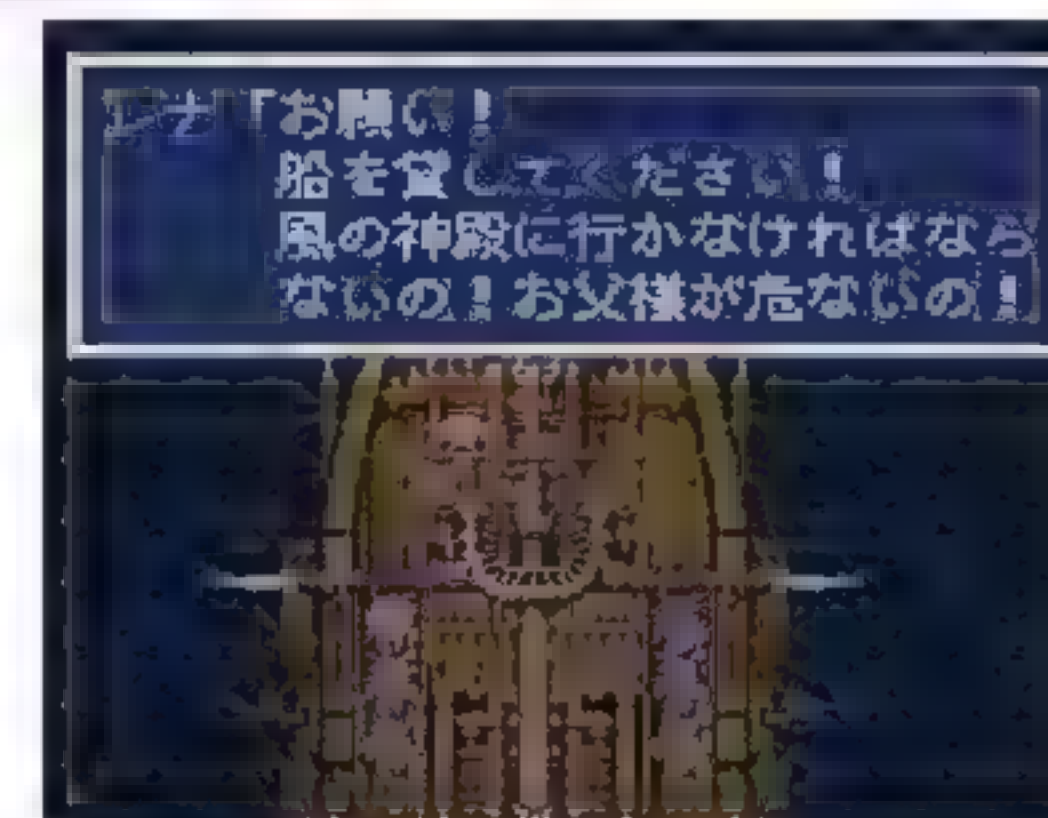
行方不明になっていた姉との再会、愛する父の死と、旅をつづけるなかでさまざまな出会いと別れに翻弄されながらも、国や民、そして世界を救おうとする気高い信念が揺らぐことはない。それは、つねに平和を第一としていた父王の遺志を継がねばならないと自覚しているがゆえ。エクスデスによってガラフたちの世界が危機に瀕していると知るや、自分たちの世界にはもどってこられないと理解しながらも、仲間とともに異世界へと向かう。

⬆誰にでもわけへだてなく接するレナの優しさは、臆病なモーグリにさえも心を開かせるほど。

⬅次元の狭間に封じられていた魔物メリュジーヌに肉体を支配され、バッツたちに襲いかかってくる場面も。

PS

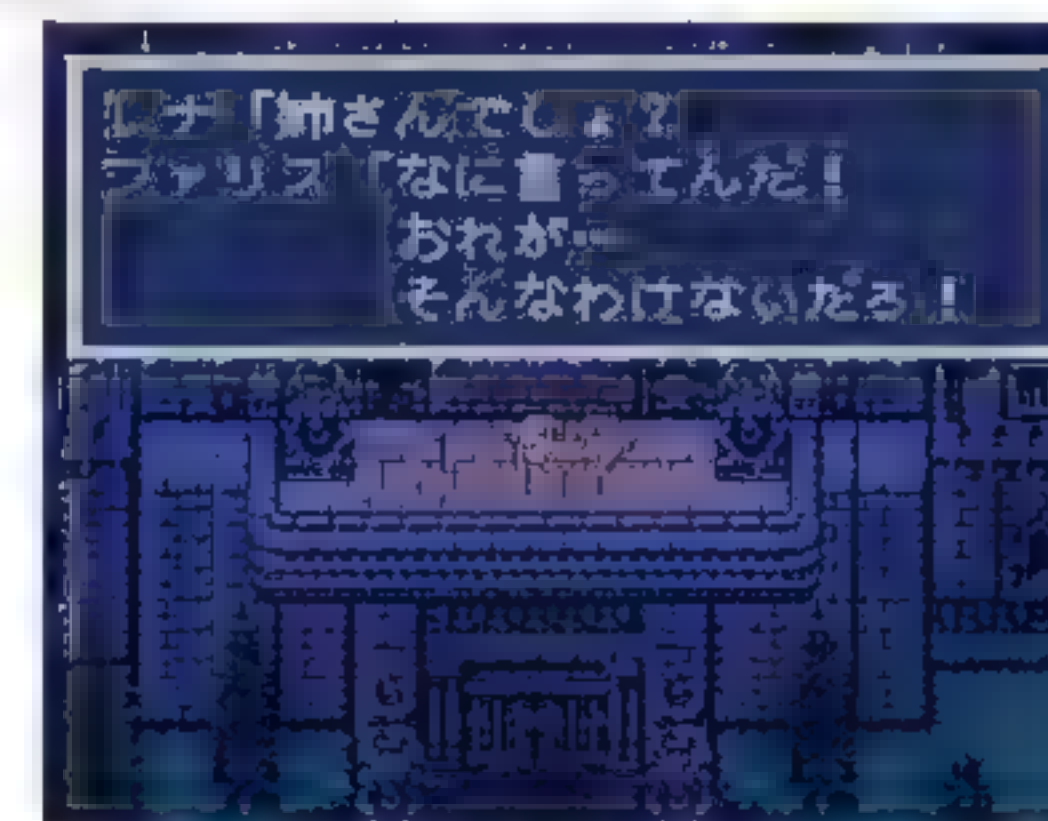
Topics of Lenna

GBA

世間知らずであるがゆえの強み

タイクーン王の唯一の跡継ぎとしてたくさんの愛に囲まれ、大切に育てられてきたレナ。敵意や殺意とは縁のない彼女の性格はまさしく純粋無垢で、人々から恐れられている海賊船を目にしても「これに乗せてもらえないかしら」と言い出すほど。しかし、疑うことを知らないその言動は、困難を極める旅においてバッツたちを元気づけ、仲間との絆をより強固なものとするのにひと役買っている。

⬆相手が誰であっても、いっさいの偏見を持たずに接するところがレナの最大の長所だ。

行方不明だった姉との意外な再会

無断で海賊船に乗りこんだことにより、とらわれの身となったレナたち。そんな彼女たちが解放されるきっかけとなったのが、レナの身につけていたペンダントだ。じつは海賊の頭領ファリスも同じものを持っており、のちにそのことから、彼女がレナの生き別れの姉だと判明する。旅をともにするようになったふたりは、旅の途中で父の死を目の当たりにするも懸命に支え合い、その悲しみを乗り越えていく。

⬆自分と同じペンダントをファリスが身につけていると知り、彼女が姉ではないかと考える。

飛竜へ注ぐ無上の愛

レナの母が病魔に冒されたとき、助けるには家族同然である飛竜の舌を切って飲ませるしかなかったが、心優しいレナにはそれができなかった。彼女が二度も自分の命を危険にさらして飛竜を救ったのは、そこに亡き母との思い出を見ているからだ。

⬅母のかわりに生きのびることになった飛竜を、レナは家族の一員として大切にしている。

Impressive Words

己の非に気づけばすぐに謝り、相手が困っていれば自分の身を危険にさらしてでも助けようとする。物語を通してつらぬかれているその姿勢は、父王の背中から学んだタイクーン王家の生きかただ。

「風の神殿に行かなければならないの!　お父様が危ないの!」
——海賊のアジトへの洞窟：無断で海賊船に乗りこんだところを見つかり

「私ね……あの飛竜を見るとお母さんを思い出すの……」
——孤島：飛竜を助けた理由をファリスに聞かれ

「こわがってるのね……だいじょうぶよ。こっちにおいで!」
——地下大河：おびえるモーグリに呼びかけ

「だいじょうぶ。ほら、私が食べてみせてあげる……モグモグ……」
——バル城：飛竜草を食べようとしない飛竜に、それが人間に有害であると知りながら口にして

ガラフ

Galuf Halm Baldesion(Galuf Doe) ガラフ・ハルム・バルデシオン(ガラフ・ドゥ)

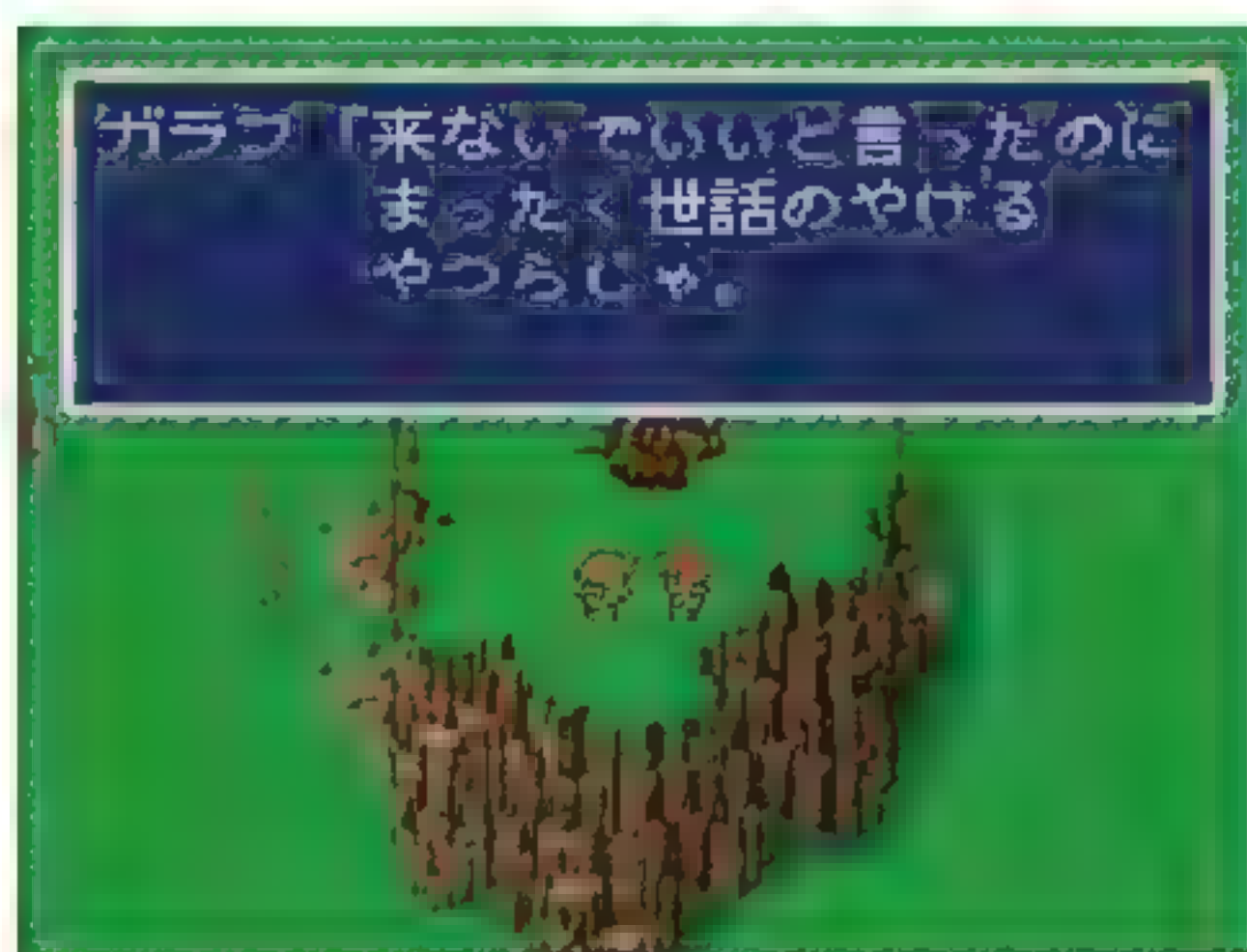
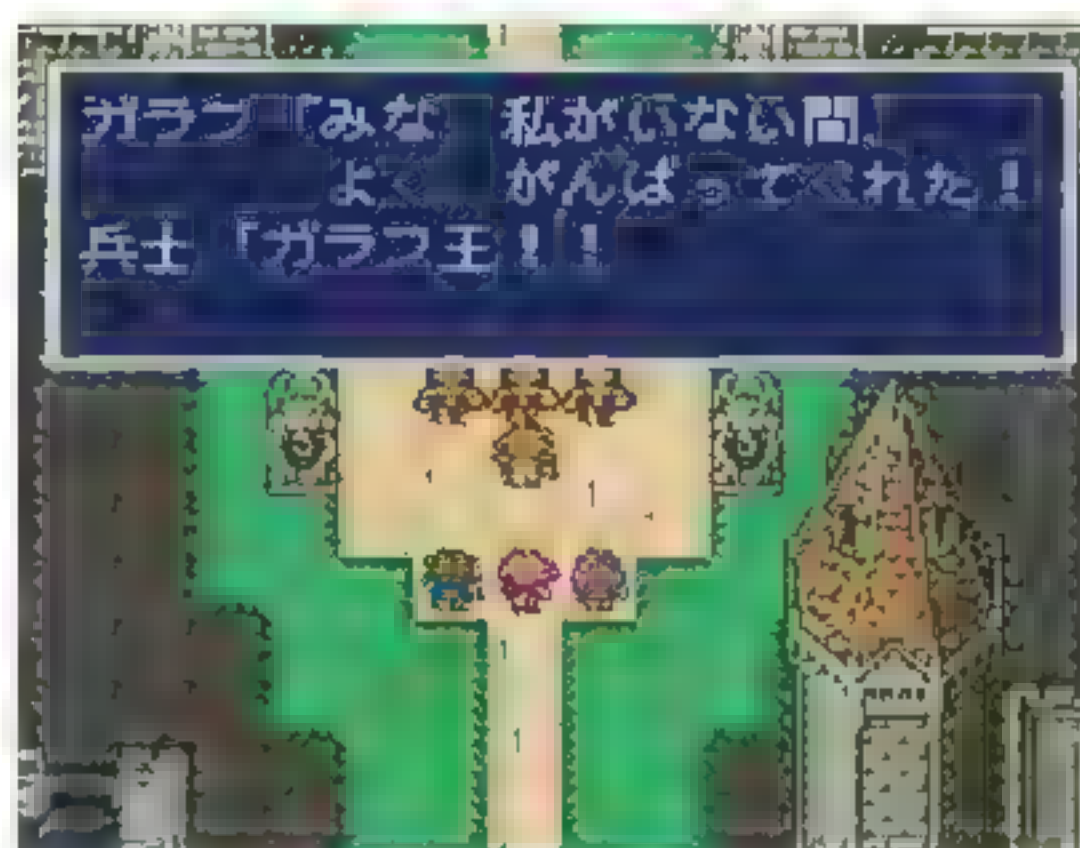
Personal Data

性別 男　年齢 60歳
出身地 バル
身長 168cm
体重 64kg

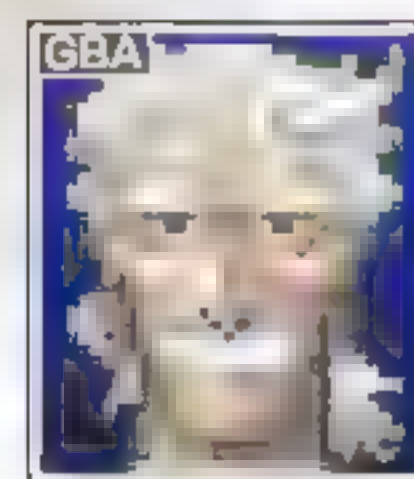
隕石落下跡に現れた記憶を失った老人

記憶喪失の老戦士。その正体は第2世界にあるバル城の王で、暁の4戦士のひとりである。若かりしころ、仲間とともにクリスタルの力を借りて、暗黒魔道士エクスデスをバッツらの住む第1世界に封印。その30年後、クリスタルの異変に気づき、ふたたび隕石に乗って第1世界へやってきた。隕石が着地したさいの衝撃で記憶を失いながらも、クリスタルを守らなければならないという使命感に突き動かされ、バッツたちと旅をともにする。

覚えているのは名前だけだが、平和を愛する心とユーモア精神は失っておらず、あるときはたくましく、あるときは優しく仲間を支える。旅の途中で孫娘クルルと再会したことで記憶を完全に取りもどし、今度こそエクスデスを滅ぼそうと奮闘するも、バッツたちの窮地を救うために己の命をなげうち、壮絶な最期をとげた。

PS

↑帰る手段がないと知りながら、第2世界まで自分を追いかけてきてくれたバッツたちにガラフは感動する。

↑暁の4戦士のひとりでもあるガラフは、自分の世界ではたくさんの兵士から信望を集める王だった。

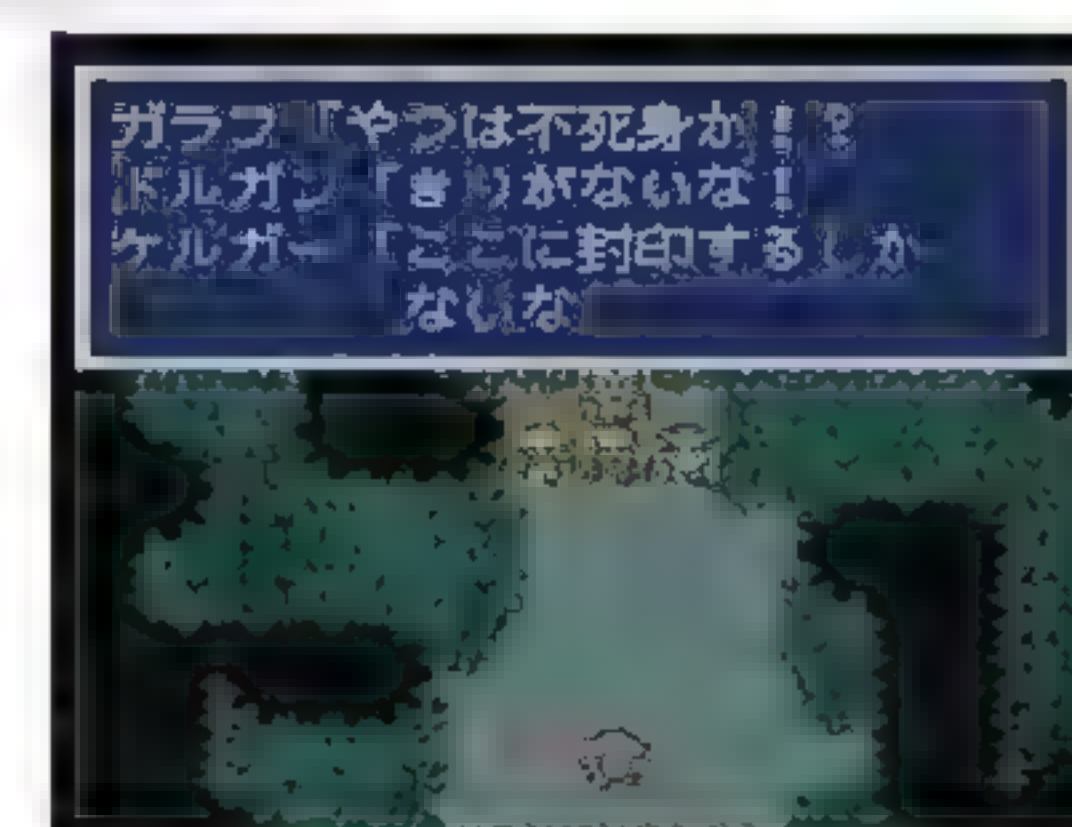
Topics of Galuf

GBA

■記憶はなくしても王の資質は失わず

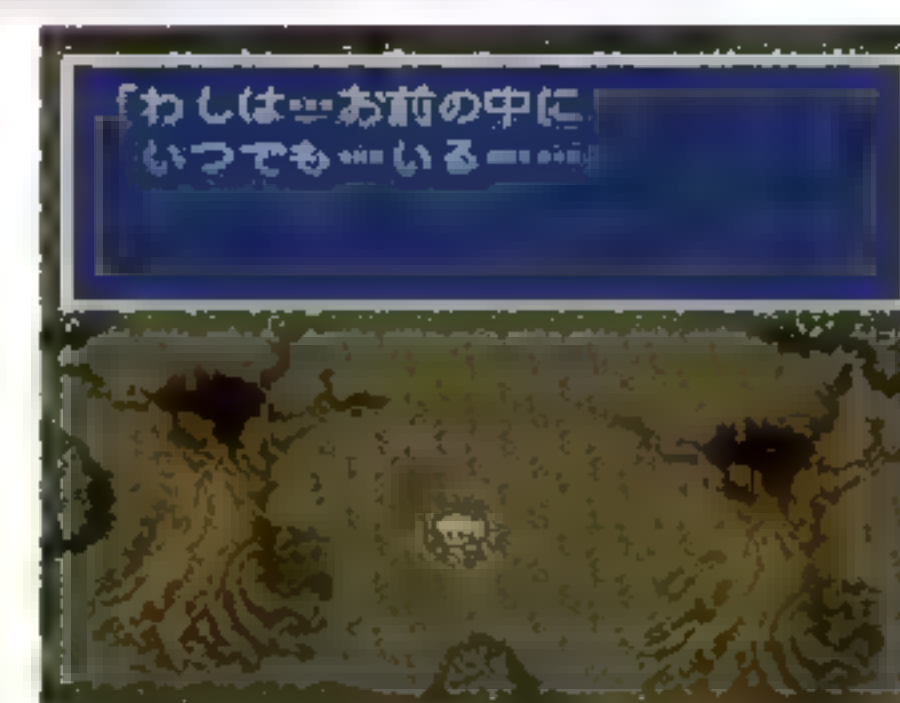
乗っていた隕石が落下したとき、衝突のショックで記憶を失ってしまい、自分の素性さえわからなくなったガラフ。そんな状況でも、ともに旅をするバッツたちへの気くばりは忘れない。飛空艇を強化するのに使うアダマンタイトのありかを偶然思い出したときにも「なんという記憶力！」と自画自賛して場をなごませるほど。第2世界でバル国を治める王だけあり、無意識のうちに人の心をつかむすべを知っている。

↑「ガラフ・ドゥ」の「ドゥ」には、英語で「匿名希望」「名無し」という意味がある。

■暁の4戦士としての責任を果たすために

30年前、ガラフたちはエクスデスを追いつめながらも、力不足からバッツたちの世界へ封印することを余儀なくされた。それは他人の世界へ災いのタネをやっかい払いしたにも等しい行為であり、歳月が流れてもその苦い記憶は消えず、後悔の念がつのっていくばかりだった。だからこそ、第1世界のクリスタルの異変に気づいたガラフは、たったひとりでバッツらの世界へと駆けつけたのだ。

↑かつて不死身のエクスデスに手を焼いたガラフたちは、倒すのをあきらめて封印した。

■孫娘に受け継がれる平和への想い

ガラフは、行方不明になったクルルの両親にかわって、彼女を男手ひとつで育ててきた。その愛情は深く、死してもなお孫娘の力になろうとする。それまでに磨き上げてきた技と力、そして心をクルルにゆずり渡したのは、彼の最後の優しさだ。

↑ガラフの魂は滅びることなく、いつまでもクルルの心のなかで生きつづけている。

Impressive Words

記憶を失ったことに苦しむ場面もあるが、つねに仲間を気づかい、ユーモアの精神を忘れない。その正体が多数の国民から慕われている王だというのもうなずけるところ。

「本当は、この子にホの字じゃないのかい?」
——海賊のアジトへの洞窟付近：レナに同行することを決めたバッツを冷やかし

「わしは、バル国の王である前に、おぬしらの仲間じゃ!」
——バル城：ガラフを王と呼ぶべきか悩むバッツに

「やつとの最後の約束じゃ。守らせてくれい……」
——バリアの塔：帰らぬ人となったゼザを想い

「まだまだ!　まだまだ死ねんのじゃ!　この命、燃えつきても!　わしはきさまを倒す!!」
——ムーアの大森林：仲間を守るためにエクスデスと対峙して

ファリス

Faris Scherwiz(Sarisa Scherwil Tycoon) ・シェルヴィッツ(サリサ・シュヴィール・タイクーン)

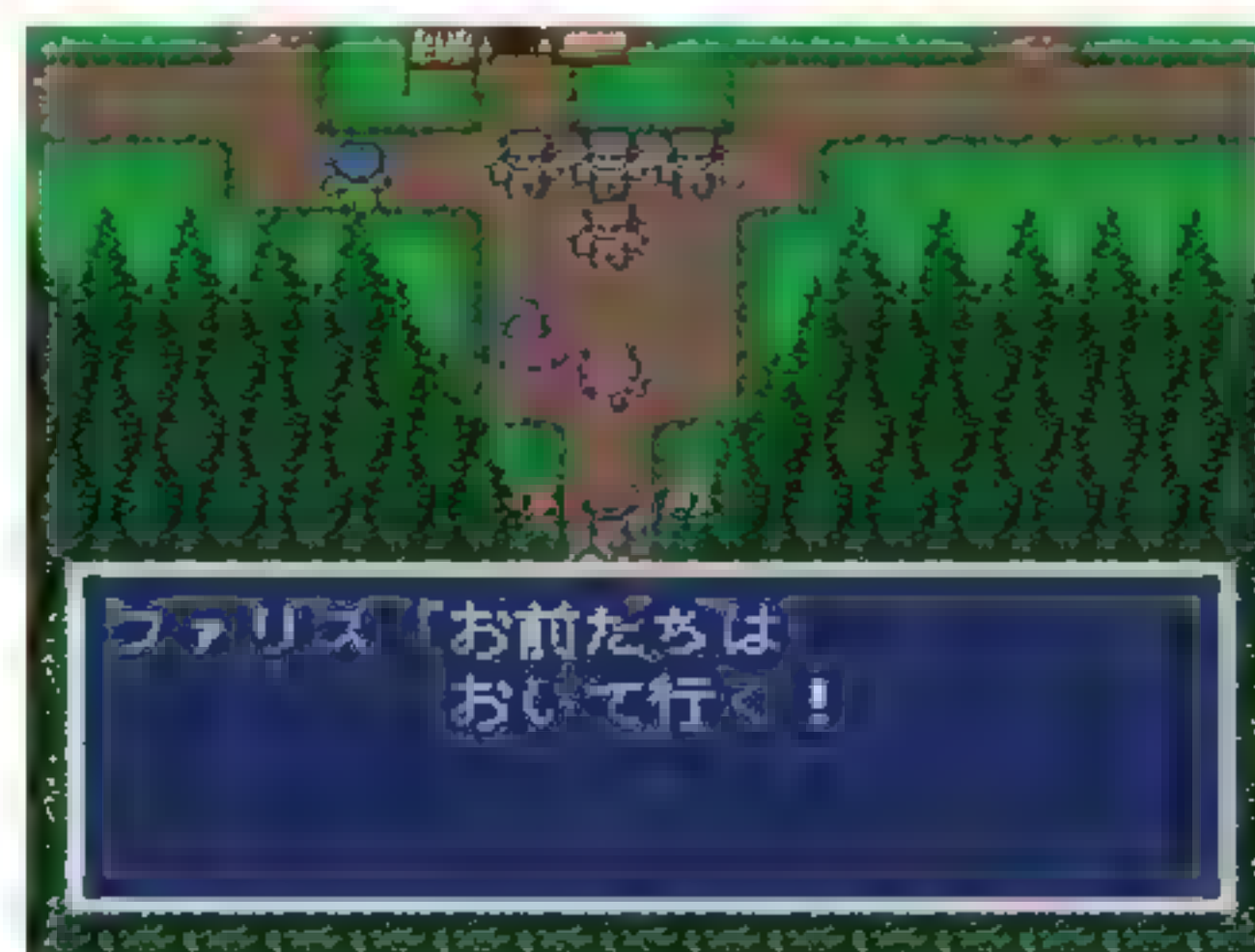
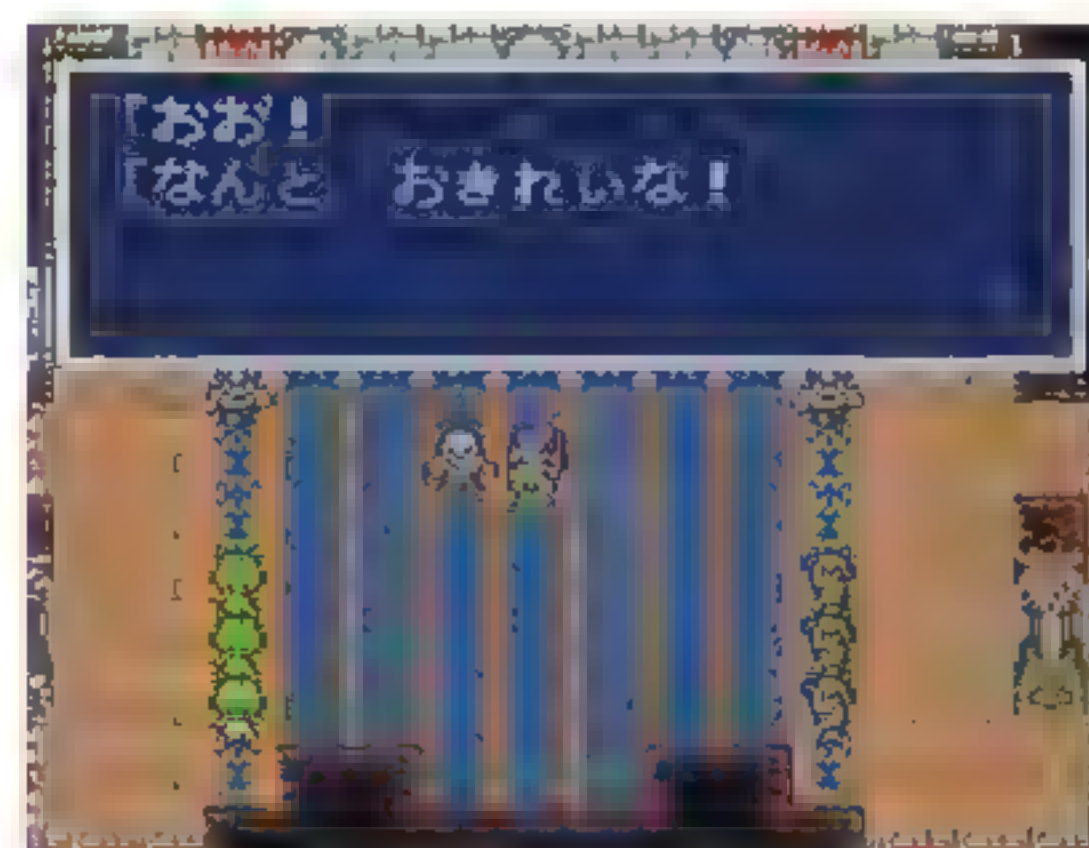
Personal Data

性別	女	年齢	20歳
出身地	タイクーン		
身長	172cm		
体重	53kg		

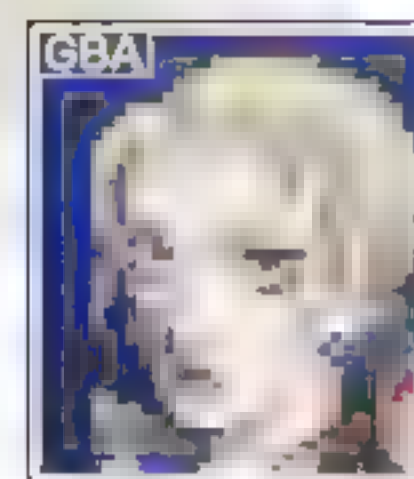
家族の愛をどこかで求める美しき海賊の頭領

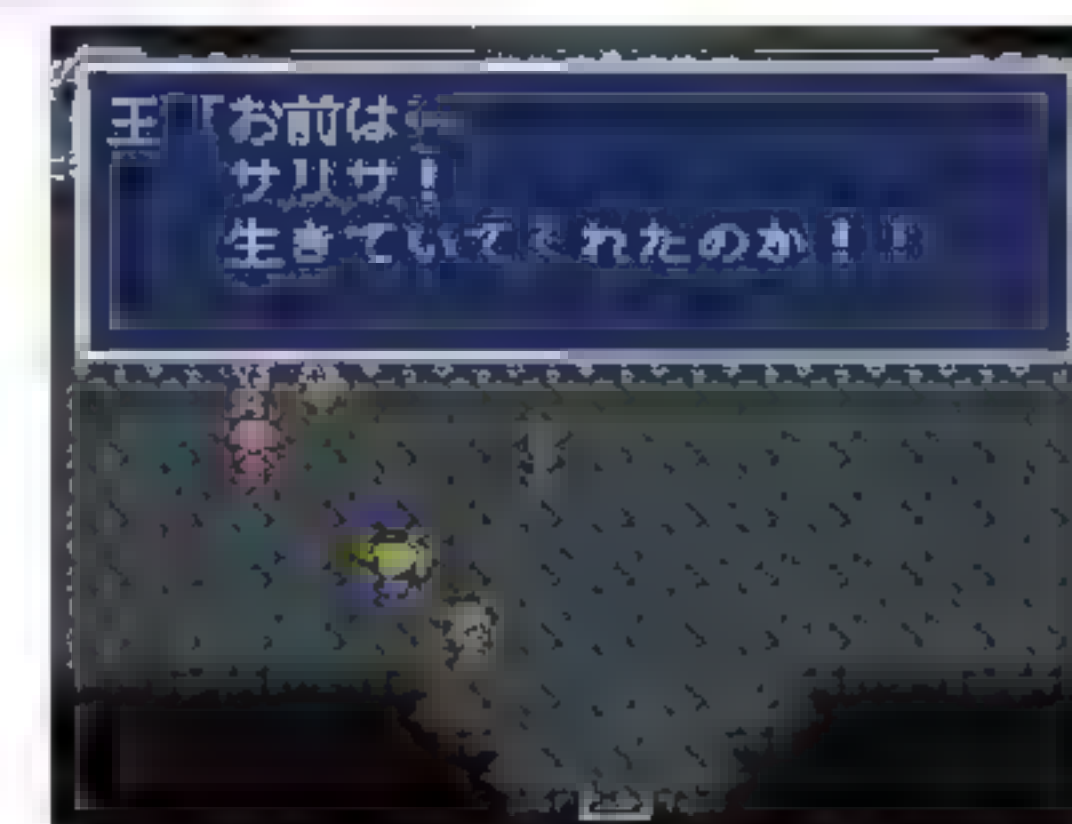
タイクーンの第1王女にしてレナの姉。幼いころ乗っていた船が難破し、波間に漂っていたところを海の荒くれ者に拾われ、以後は海賊として生きてきた。仲間にナメられないよう女性らしさを男装で隠し、いまでは多くの部下から信頼を集める海賊の長に成長。自分の海賊船に忍びこんだレナたちを身代金目的で捕らえたときに、彼女のペンダントが自分の身につけているものと同じであることに気づいたのがきっかけで、己の出自を知る。

クリスタルを守ろうとするバッツらの旅に同行し、しだいに事情を理解して、生き別れの父に再会できるかもと期待をふくらませていくが、そんな彼女の目の前で父タイクーン王は無残にも命を落としてしまう。父の遺志を継いで平和のために戦おうと、妹レナと固く誓い合って、ファリスはその悲しみを乗り越えていく。

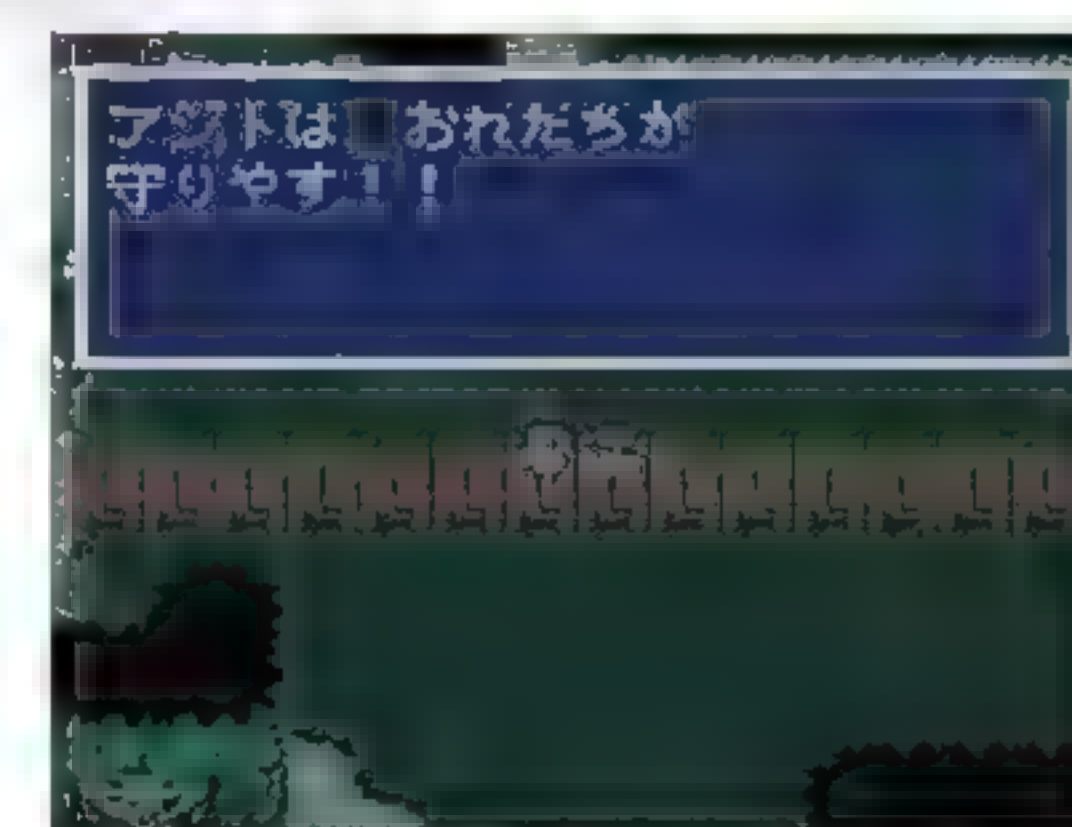
PS

⬆自分の気持ちを相手に伝えることがあまり得意でないファリスは、手下を思いやるときも言葉少なだ。

⬅城の舞踏会で着飾ることを強いられるが、海賊として育った彼女にとって、それは苦痛以外の何物でもない。

Topics of Faris

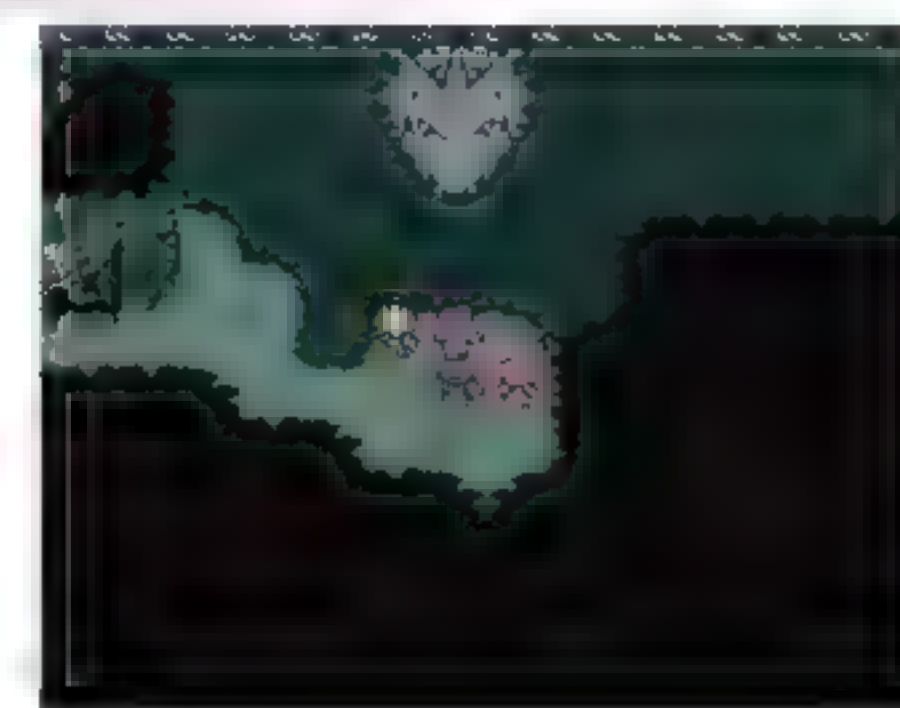
GBA

よみがえってくる父との思い出

天涯孤独だと思っていた自分に肉親がいることがわかり、激しく心を動かされるファリス。長年、海賊として生きてきた彼女は、いまさら王族の身分に興味はなかったものの、心のなかからすっぽりと抜け落ちていた父という存在が気になって仕方がない。クリスタルを守ろうと旅をつづけるレナたちに同行して父王の姿を追ううちに、忘れ去っていた幼いころの記憶が少しずつ脳裏によみがえってくる……。

⬆ファリスの本当の名はサリサ。父との再会により、その名前とわずかな記憶を取りもどす。

海の荒くれ者たちをたばねる魅力

手下の海賊たちから慕われ、熱烈な支持を受けるのは、何もその美貌だけによるものではない。町に着けば部下たちに盛大に酒盛りをさせ、危険が間近に迫っていると感じれば部下の同行を絶対に許さないなど、言葉づかいは乱暴でも、仲間を思う彼女の心は隠しようのない優しさに満ちているのだ。そうした人柄が影響しているのか、海賊たちも傷ついたボコの看病をしたりと、気のいい連中がそろっている。

⬆つねに手下のことを考えるファリスだからこそ、多くの海賊から慕われているのだろう。

親友シルドラとの絆

船の動力として活躍するだけでなく、ファリスの心の支えとなっていた海竜シルドラは、家族を知らない彼女にとって兄弟にも等しい大切な存在だった。その想いはシルドラも同様で、死してなおファリスの役に立とうと、召喚獣となって力を貸す。

⬅いつまでもファリスのそばにいたいがために、シルドラは召喚獣としてよみがえる。

Impressive Words

口調こそ乱暴で取っつきにくさを感じさせるものの、その言葉の端々には優しさがあふれている。自分が王族の出身と知っても、そういった態度や言動をいっさい変えることはない。

「でもなあ!　女だからってバカにすんなよ!」

——船の墓場：バッツたちに自分が女性だと知られて

「なに言ってんだ!　おれが……そんなわけないだろ!」
「海賊のおれが、本当はお姫様かい……じょうだんきついよ!」

——タイクーン城：レナから姉さんと呼ばれ

「おやじか……いいもんか……?」

——リックスの村：両親の墓参りをするバッツに

「こんなかっこう、やだよ!」

——タイクーン城：舞踏会で無理やりドレスを着せられ

クルル

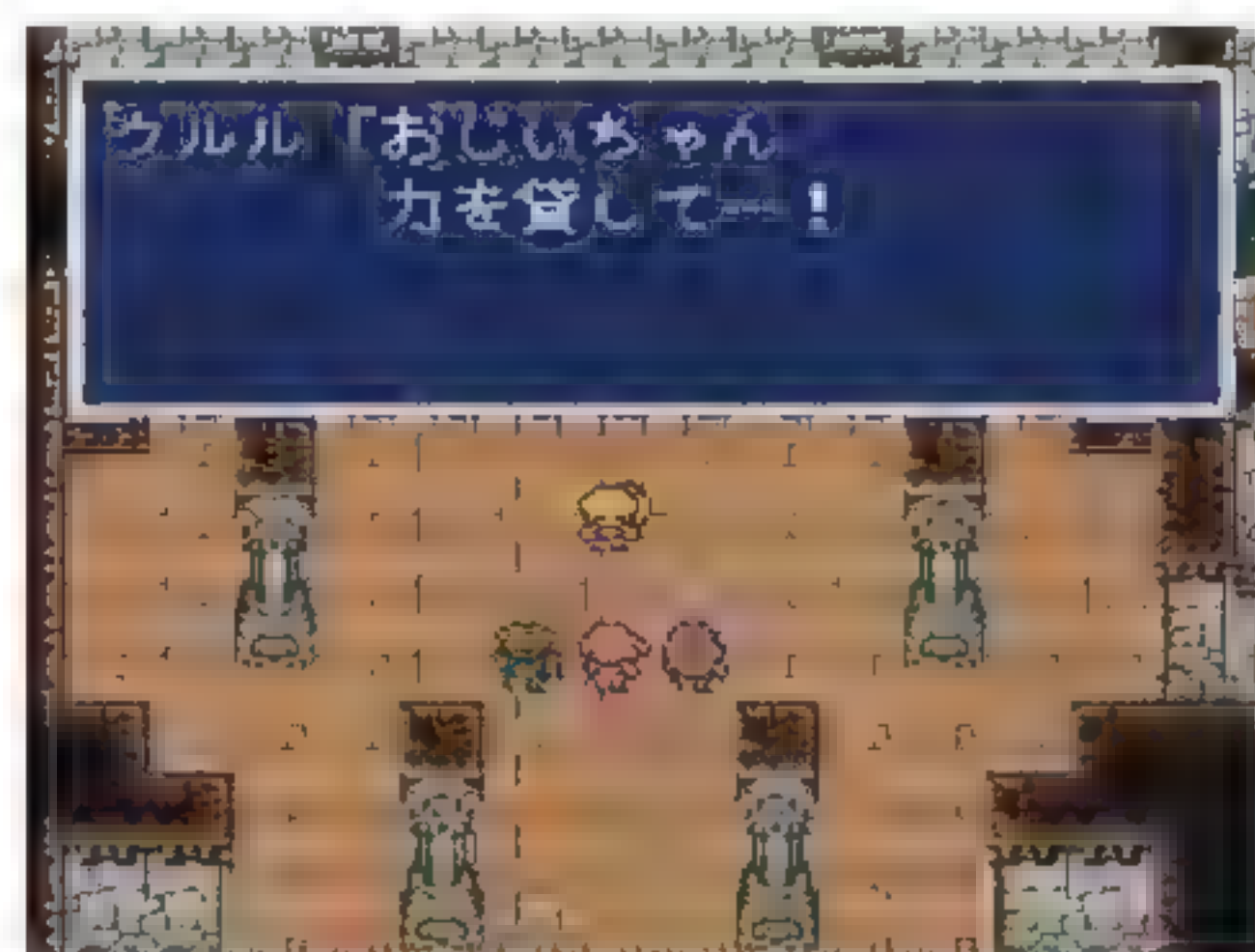
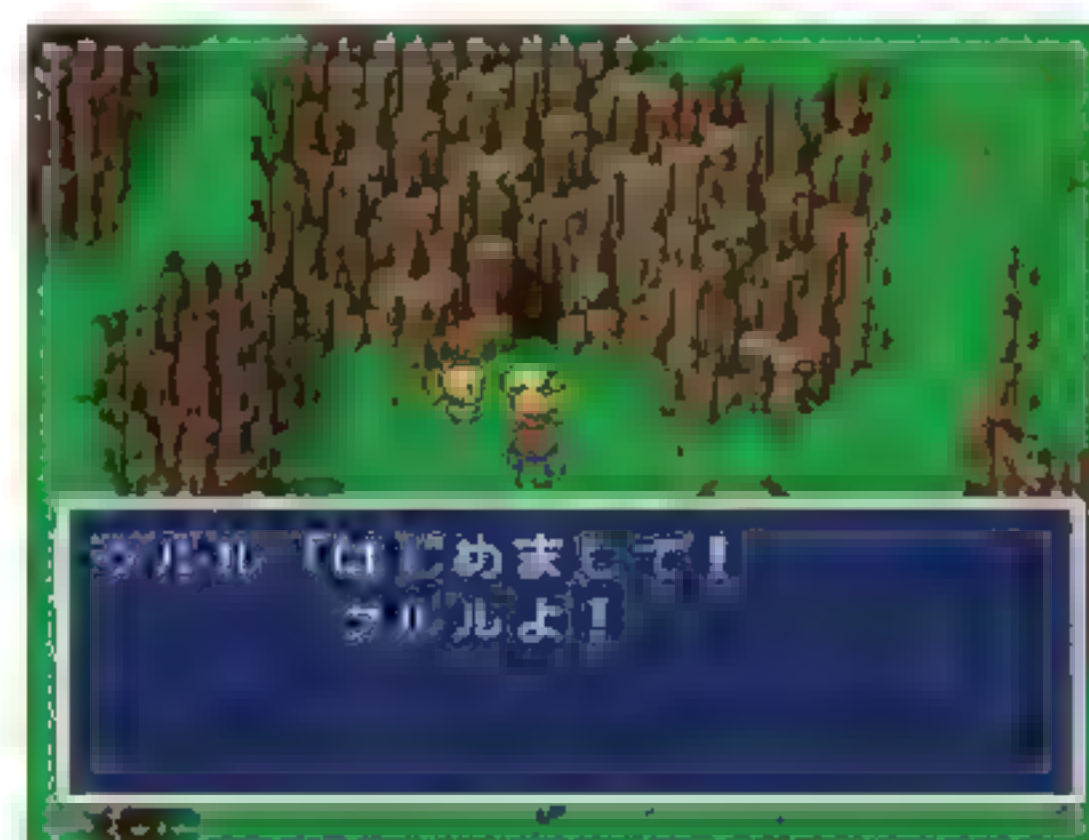
Krile Mayer Baldesion　クルル・マイア・バルデシオン

Personal Data

性別	女	年齢	14歳
出身地	バル		
身長	154cm		
体重	40kg		

生あるものすべてに かぎりない愛情を注ぐ少女

ガラフの孫娘。生まれたばかりのころに両親が行方不明となり、ガラフの手で育てられてきた。唯一の肉親を慕う気持ちは強く、クリスタルを守るために城を飛び出した祖父のあとを追って、たったひとりで隕石に乗り、バッツたちの住む世界へ。その愛情と熱意にあふれた行動が、ガラフの失われた記憶を取りもどすのに大きな役割を果たす。

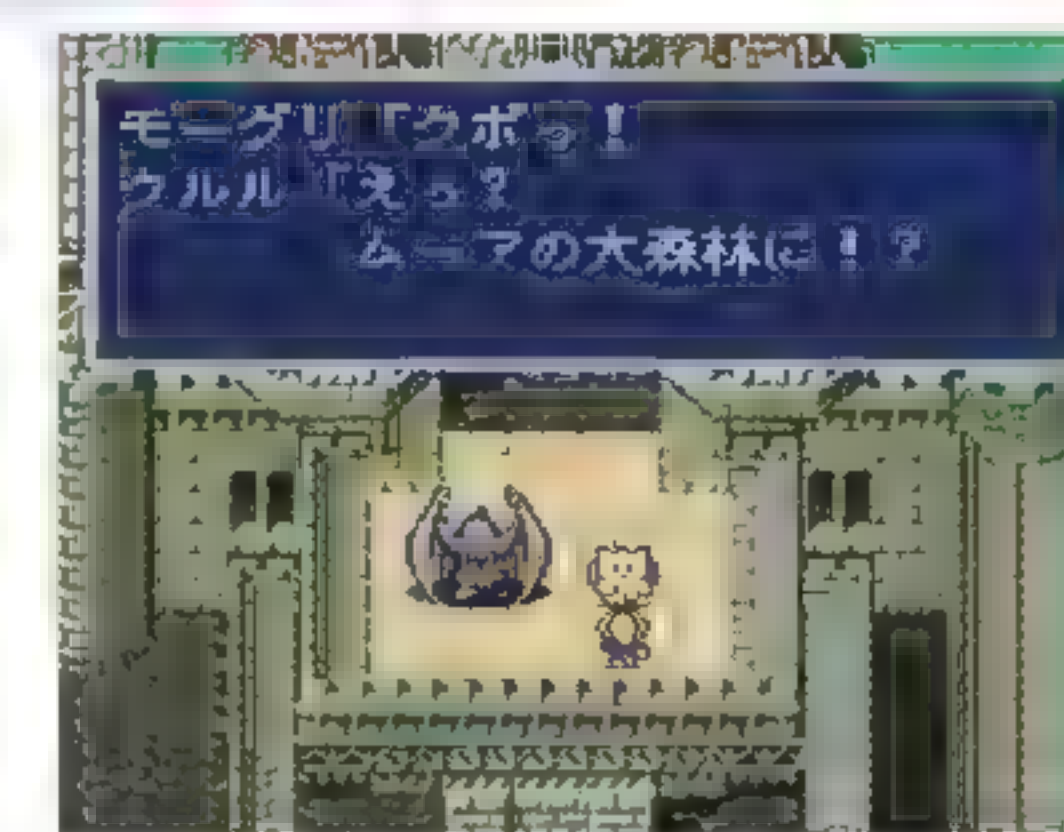
豊かな感受性を待ち、飛竜やモーグリといった生き物の心を読み取ることにも長けている。ガラフたちがエクスデス城に張られたバリアによって飛ばされたときには、モーグリを通じていち早く彼らの居場所を見つけ出した。物語中盤には、エクスデスとの戦いで命を燃やしつくしたガラフと死別してしまうが、亡き祖父の力と技、そして遺志を受け継ぎ、平和のためにその身を捧げる決意を固める。

⬆いつでも見守ってくれている、愛する祖父の魂を胸に抱き、クルルはエクスデスとの戦いに挑む。

⬅純粋な心のなせるワザか、わずかながらチョコボと会話することもでき、バッツにボコの言葉を伝える。

PS

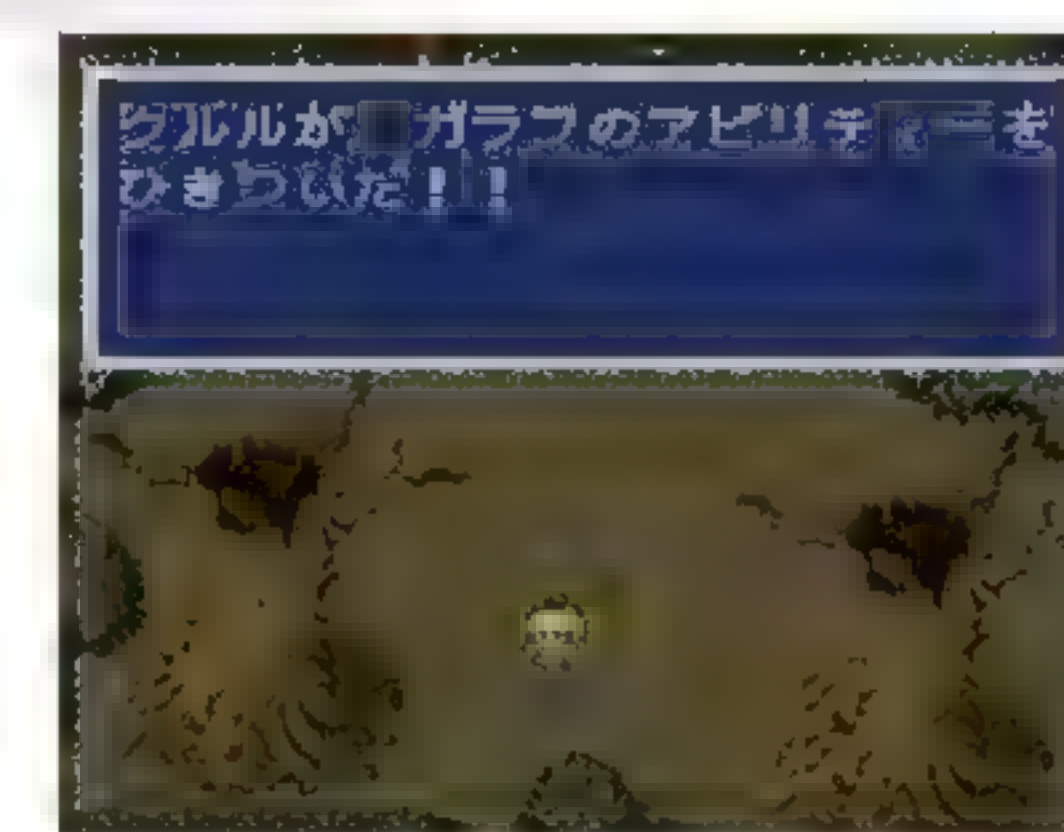
Topics of Krile

GBA

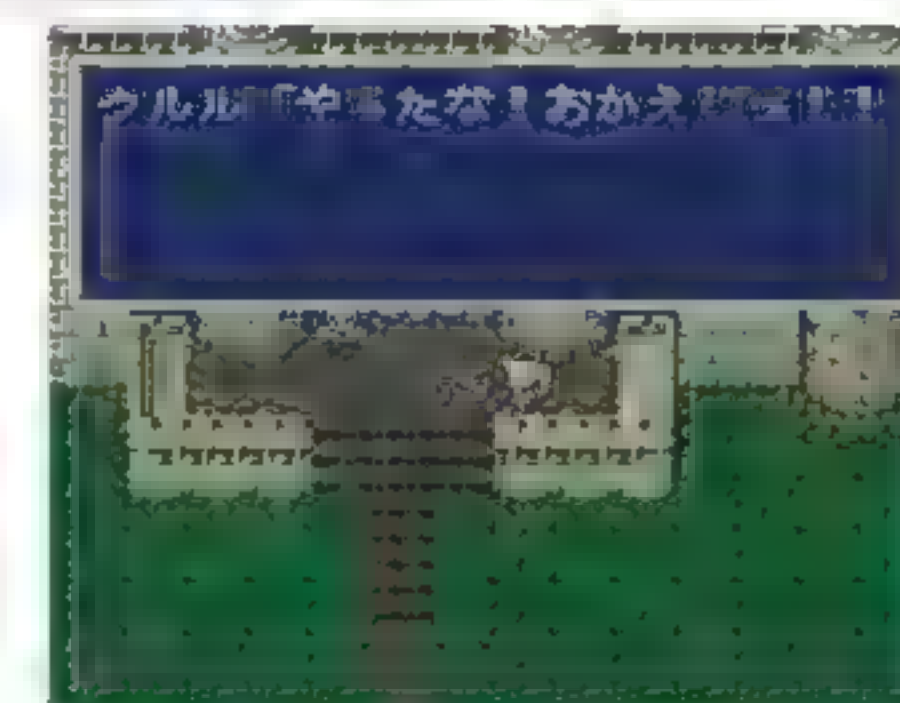
■ 動物の心を読み取る能力

クルルは、人間に対するのと同じように、飛竜やモーグリといった動物たちに接し、そのためか彼らの考えを読み取ることができる。クルルにとっては人間も動物も心を通わせられる愛すべき対象であり、両者のあいだに境界など存在しないのだ。余命の短いことを悟った飛竜がレナのためにみずからの命を犠牲にしたとき、飛竜の気持ちをレナに伝えるなど、人間と動物の心をつなぐ役割も果たす。

⬆臆病なモーグリが彼女を慕って城に住みつくほど、クルルは動物たちと仲がいい。

■ 祖父の魂とともに生きる

赤子のころからガラフに育てられたクルルは、祖父の人柄や行動を見て成長してきた。だからこそ、ガラフがクリスタルの危機を察知してバッツたちの世界へ向かったように、クルルは祖父の身を案じてガラフのもとへと駆けつける。それはガラフから学んだ、大切なもののためには危険をかえりみないという生きかたなのだ。ガラフはエクスデスとの戦いで命を落とすが、その魂はクルルのなかに生きつづける。

⬆クルルは祖父の魂との触れ合いを通して、彼の持っていた技や力まで受け継ぐことに。

■ 仲間というよりも家族?

初対面のときこそバッツたちにそっけない態度をとるが、それもわずかな間。14歳という若さも手伝ってか、彼らとすぐに打ち解け、持ち前の明るさを発揮する。とくに飛竜を愛するレナのことは、親しみをこめて「お姉ちゃん」と呼ぶまでに。

⬅バッツとふたりきりになったときには、まるでじつの兄妹のようにじゃれ合うことも。

Impressive Words

言動には幼さが残るものの、それだけにクルルの表現は飾ることがなくまっすぐ。わき上がる感情をまったく抑えようともせず、自分の心の叫びをそのまま言葉で表そうとする。

「おまえ……ありがとう」
——バル城：傷つきながらもガラフの救出へ向かおうとする飛竜に

「おじいちゃん!!　いやー!　いやだよー!　死んじゃいやだよー!!」
——ムーアの大森林：エクスデスとの戦いで命を落としたガラフに

「なに、あかくなってんの?」
——タイクーン城：正装したファリスを見て顔を赤くするバッツに

「でも悲しいんじゃないの……胸がドキドキして……。
おじいちゃんが、急げって言ってるような気がするの。どこかに……」
——タイクーン城：妙な胸さわぎがするとバッツに伝え

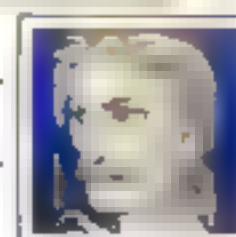
ドルガン

ドルガン・クラウザー

Dorgann Klauser

・登場場所・ バッツの回想、ガラフとケルガーの回想ほか

Personal Data

性別	男	身長	170cm
体重	59kg	出身地	ルゴル
年齢	51歳(享年)		

クリスタルを見守ってきた男

30年前に第2世界からやってきた暁の4戦士のひとり。封印したエクスデスを第1世界に残して帰るべきではないと考えてガラフたちと別れたのち、ステラという女性と結ばれ、彼女とひとり息子のバッツとともにリックスの村で暮らしていた。妻に先立たれてからは、息子とふたりであてのない冒険へと出たものの、バッツに自分の素性をいっさい語らないまま、3年前に病により永眠。その戦士としての技は、息子にしっかり受け継がれている。

⬅クリスタルを見守るため、たびたび家を空けていたドルガン。病弱な妻への負い目が言葉からにじみ出ている。

➡封印は、いずれ解かれることになる――そう予感していたからこそ、ドルガンは仲間のやりかたに異を唱えた。

Impressive Words

「私に、もしもの事があっても、
バッツにはクリスタルのことは言わないでくれ……」
――バッツの回想：幼いバッツが寝ている横で、妻ステラに向かって

暁の戦士ドルガンを支えつづけた妻

ステラ

・登場場所・ バッツの回想

ドルガンの妻であり、バッツの母。理由も言わず家を空けることの多い夫を、健気に支えつづけていた。しかし、病弱な身体に心労が重なり、バッツが幼いころ、ドルガンに看取られながら帰らぬ人となる。

Impressive Words

「できれば、これからずっと家族で一緒に暮らしたい……」
――バッツの回想：たびたび家を空けるドルガンに

ケルガー

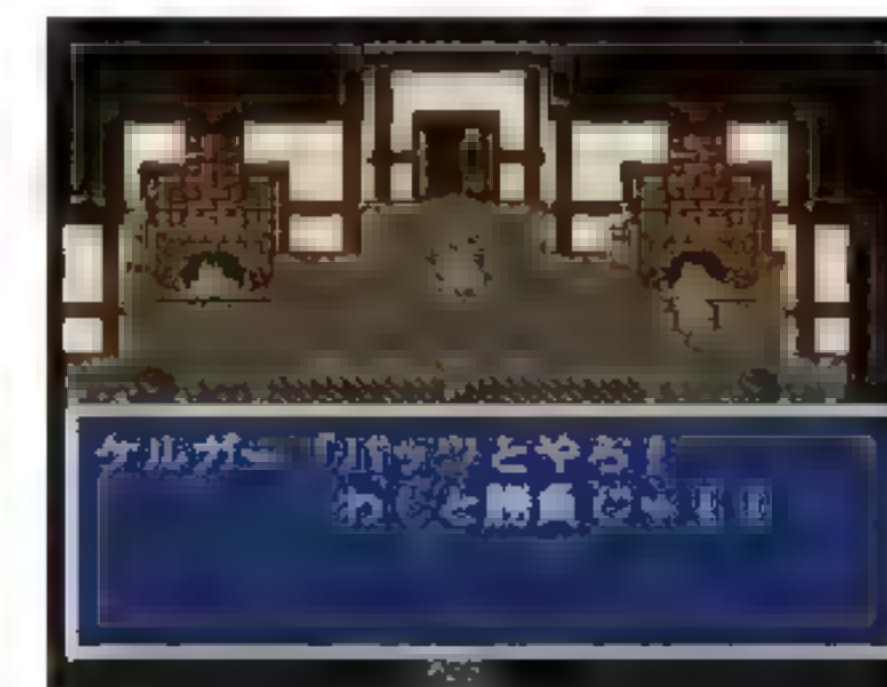
Kelger Vlondett

・登場場所・ ケルブの村、ガラフとケルガーの回想ほか

Personal Data

性別	男	身長	174cm
体重	52kg	出身地	ケルブ
年齢	63歳		

悪を憎む勇猛なるウェアウルフ

暁の4戦士のひとりで、ウェアウルフが暮らすケルブの村の長。はじめのうちはバッツたちをエクスデスを復活させた者とカンちがいしていたが、バッツの技を体感したことで彼がかつての同志ドルガンの息子とわかり、一行の力になると約束。物語後半では、病をわずらいながらもバッツたちに己の最後の力を送り、そのまま絶命する。

⬅突然現れたバッツたちの正体を見極めようと、ケルガーは1対1の戦いを申しこむ。

Impressive Words

「わしのルパインアタックをうけてみろ!!」
――ケルブの村：正体を見極めようとバッツに勝負を申しこみ

「ゲホッゲホッ!　わしもいっしょに戦えればよいのじゃが……すまぬ」
――ケルブの村：病をわずらっているため一緒に戦えないことをわびて

「エクスデスの作った、まぼろしをうちくだく!
わしの最後の命。みなの力で、エクスデス城におくるのじゃ!!」
――ケルブの村：バッツたちの道を切り開くために、最後の力を振りしぼって

ゼザ

ゼザ・マティアス・サーゲイト

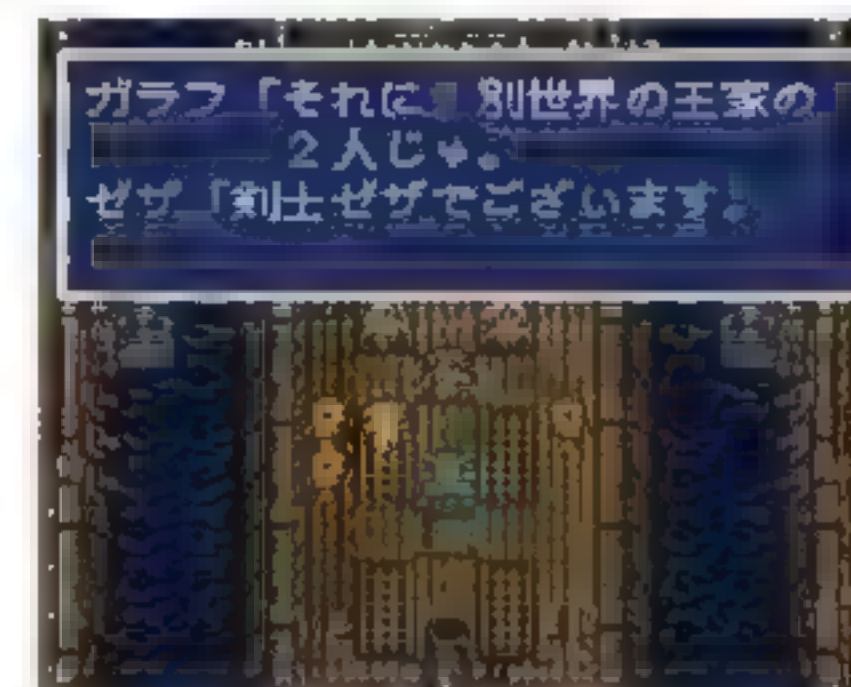
Zezae Matias Surgate

・登場場所・ ゼザの船団、バリアの塔ほか

Personal Data

性別	男	身長	177cm
体重	69kg	出身地	サーゲイト
年齢	58歳		

兵法に長けた老王

サーゲイト城の主で、暁の4戦士のひとり。復活したエクスデスを倒すべく自軍の船団に城を包囲させていたところでバッツたちと合流する。敵の注意を海上にひきつけ、そのスキに潜水艇でバリアの塔へと潜入。エクスデス城を覆うバリアの破壊を成功させ、あとのことをバッツたちに託して、激しく爆発する塔と運命をともにする。

⬅堅苦しいことを好まないゼザは、自己紹介のさい、王ではなく剣士と名乗る。

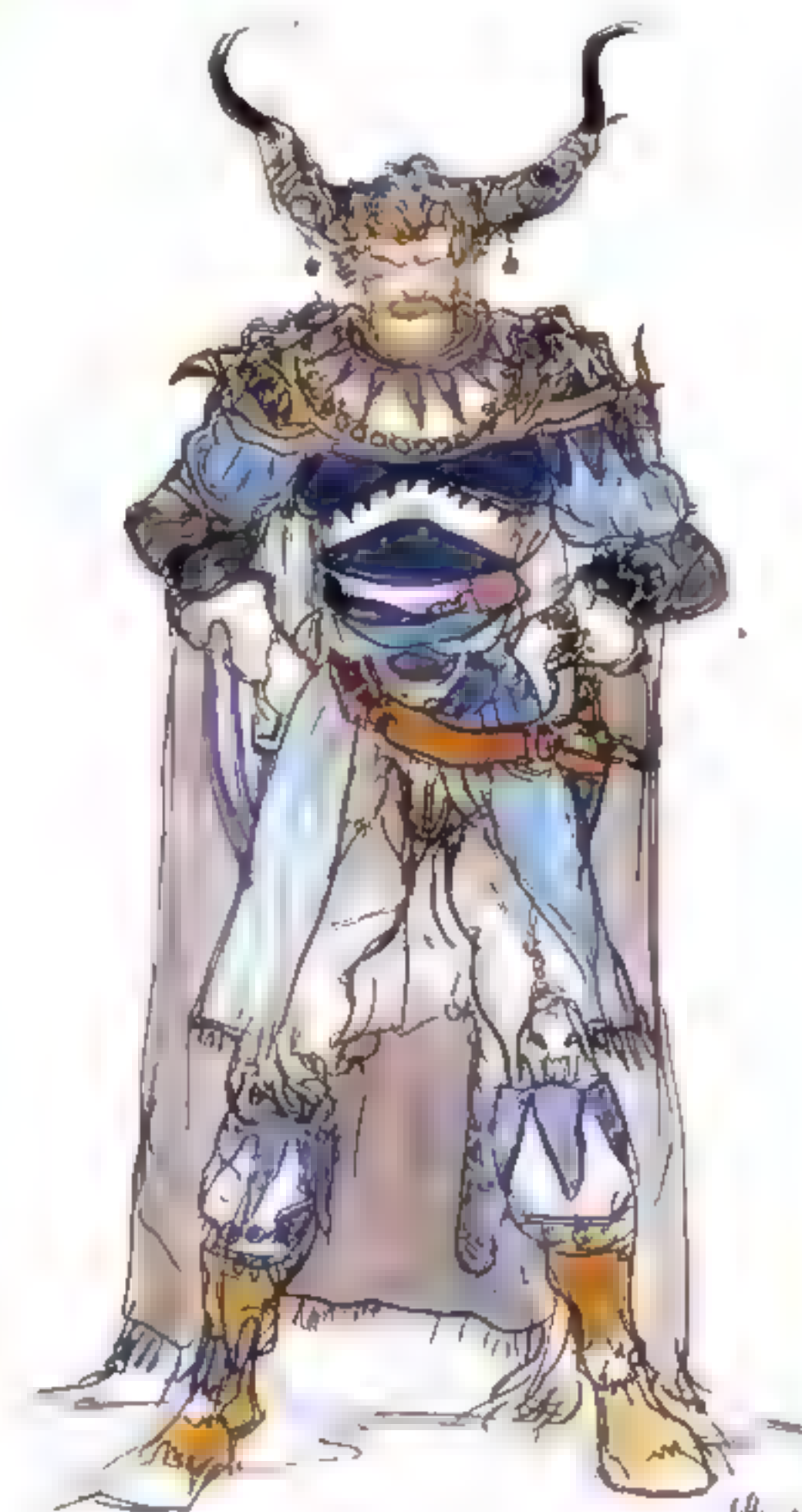
Impressive Words

「いや……王というのは、どうもしょうに合わんよ……」
――ゼザの船団：剣士と自己紹介したことに口をはさんできたガラフに

「潜水艇で待ってろ!　かならず行く。約束だ。交信終わる!」
――バリアの塔：脱出することが無理だとわかっていながら、ガラフに心配をかけまいとして

「心配するな……またいつでも助けに行くさ……」
――バリアの塔：ガラフとの交信を終え、己の死を前にして

タイクーン城の人々

タイクーン王

サンダー＝ハイウインド＝タイクーン
Alexander Highwind Tycoon
・登場場所・ タイクーン城、風の神殿ほか

消息を絶った大国の王

タイクーン王国を統べる王にして、レナとファリスの父親。いち早く風のクリスタルの異変に気づき風の神殿へと向かうが、あとから追ってきたレナたちの前で、こつ然と姿を消す。そのさいエクスデスに心を支配され、以後、クリスタルを破壊するための手ゴマとして利用されることに。最後の土のクリスタルを砕こうとしたときにクルルの一撃で正気を取りもどすも、エクスデスから娘たちを守るために命を落とす。

←エクスデスにあやつられたタイクーン王は、土のクリスタルを破壊しようとしてロンカ遺跡に現れる。

→王の部屋では、タイクーン王の遺した日記から、サリサ(ファリス)との過去をうかがい知ることができる。

PS

Impressive Words

「風のようすが変なのだ……
わしは、風の神殿のクリスタルの所へ行かなければならぬ」
——オープニング：心配するレナに優しく声をかけ

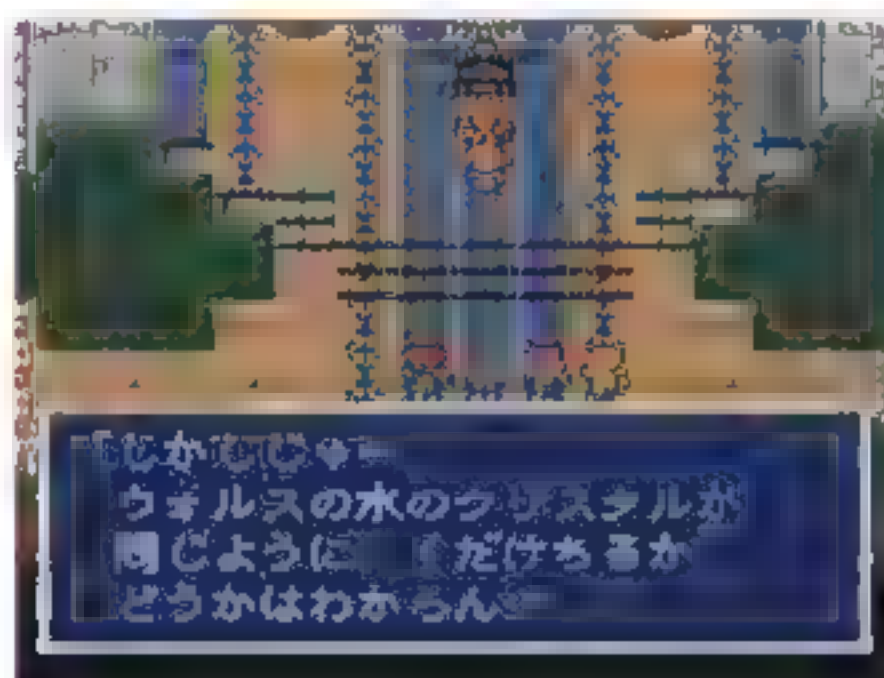
「サリサ……お前には……何もしてやれなかったな……」
——ロンカ遺跡：死ぬまぎわに、長らく会えなかったファリスに本名で呼びかけ

ウォルス城の人々／カルナック城の人々

水のクリスタルに頼りすぎた王

ウォルス王

・登場場所・ ウォルス城、ウォルスの塔

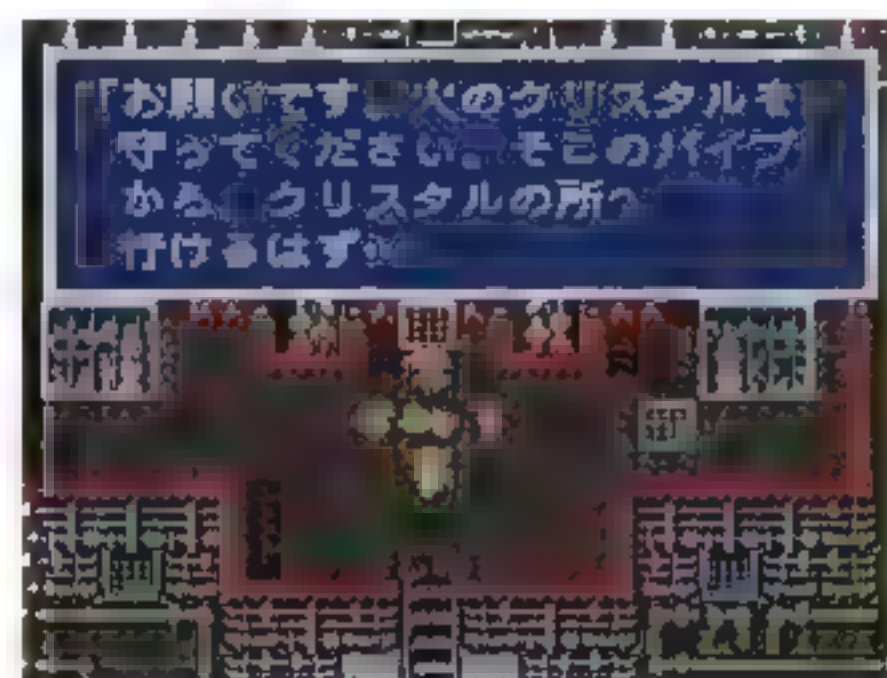
豊かな水によって繁栄するウォルス王国の王。水のクリスタルの力をこれ以上増幅させないようレナに忠告されるが聞き入れず、クリスタルが砕け散る事態を招いた。水がにごりはじめ、ようやく事の重大さに気づく。

Impressive Words

「クリスタルのおかげで豊かに暮らせておるのですぞ」
——ウォルス城：忠告に現れたレナに耳を貸そうとせず

闇に心を支配された女王

カルナック女王

・登場場所・ 火力船、カルナックの町

カルナック王国の女王。エクスデスにあやつられてクリスタルを破壊しようとし、反対するシドを投獄して火のクリスタルの力を増幅させつづけていた。火力船の動力室で、バッツたちが魔物を倒すと正気を取りもどす。

Impressive Words

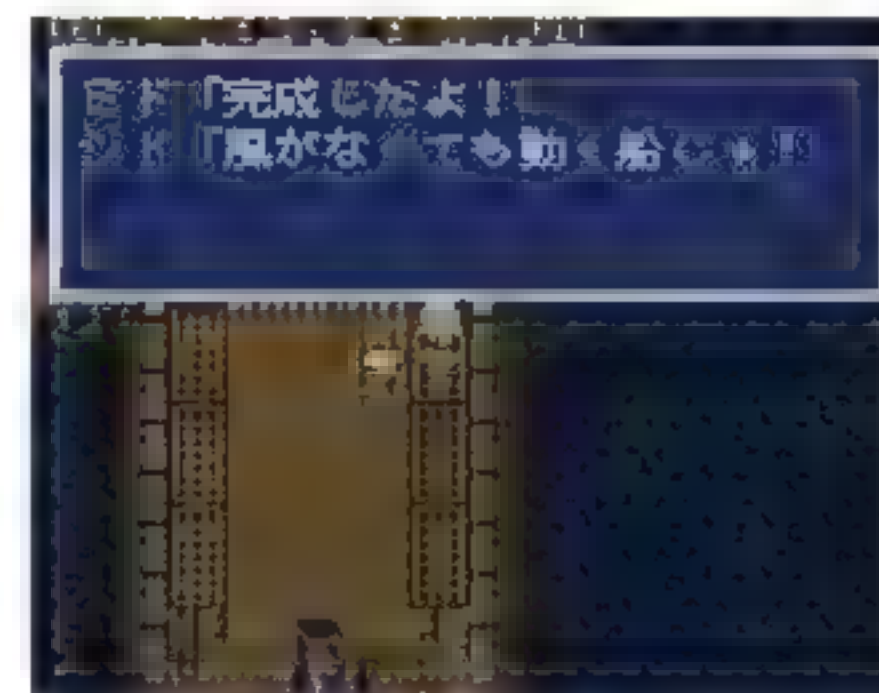
「暗闇が……こないで……」
——カルナックの町：正気を取りもどしたものの悪夢にうなされ

バッツたちの協力者

シド

シド＝プリヴィア
Cid Previa
・登場場所・ カルナック城、カタパルトほか

数々の発明品を作り出す老技師

クリスタルの力を増幅させる機械を発明した老人。クリスタルを守るために旅をつづけるバッツたちの考えに共鳴し、火のクリスタルが砕け散るのを防ごうとするが、果たせず落胆。孫のミドに励まされて気力を取りもどし、ミドとふたりで古代図書館での古文書の解読や飛空艇の改造などによって、裏からバッツたちの冒険を支えていく。

←動力の火のクリスタルを失った火力船を、クリスタルや風の力なしで動くように改造。

Impressive Words

「わしがあんな機械さえ作らなければ……」
——カルナックの町：火のクリスタルの砕け散ってしまった原因が自分にあると思い悩み

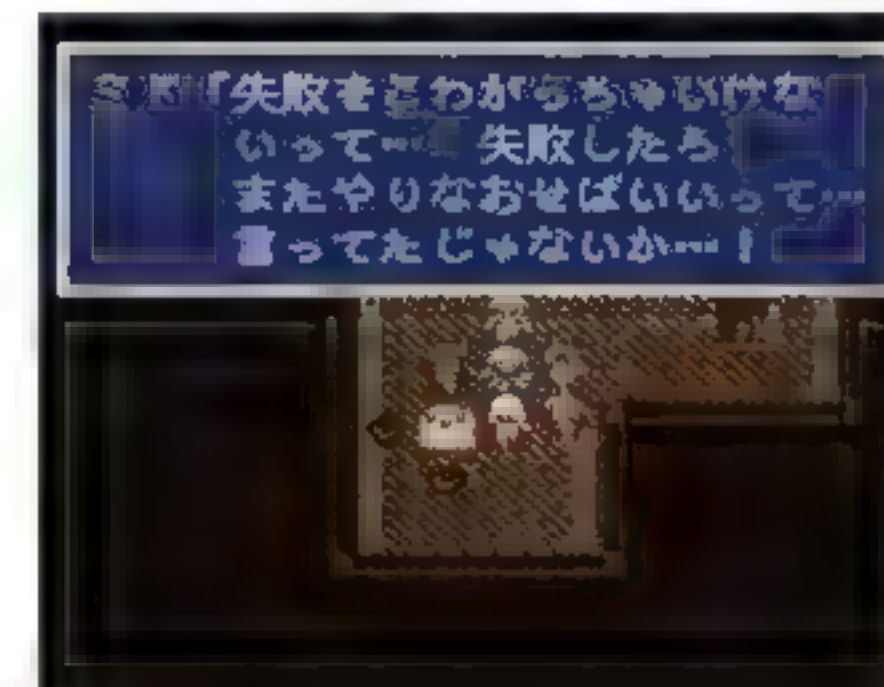
「大空は、お前たちのものじゃ！　飛び立つんじゃ!!」
——カタパルト：修復した飛空艇をバッツたちに託し

「わしに不可能はない!」
——カタパルト：飛空艇を潜水艦へ改造すると宣言し

ミド

ミド＝プリヴィア
Mid Previa
・登場場所・ 古代図書館、カタパルトほか

祖父を尊敬する天才少年

シドにあこがれる、彼の孫。大きくなったら祖父のような技師になりたいと考え、古代図書館にこもってひたすら本を読みつづけている。その集中力たるや、背後でバッツたちがモンスターと戦っているのにも気づかないほど。クリスタルが砕け散った責任を感じて落ちこむシドを立ち直らせ、彼とともに飛空艇の修理などに活躍する。

←尊敬する祖父が自暴自棄になる姿を見るのは、ミドにとって耐えられないものだった。

Impressive Words

「おじいちゃんのバカ！　バカ！
おじいちゃんは、どんなことにだって負けないんだ!」
——カルナックの町：落ちこむシドを励まそうとして

「ファー……よく寝た！　へへっおじいちゃんのマネ!」
——火力船：修理に疲れて寝ていたシドが目覚めたのをマネて

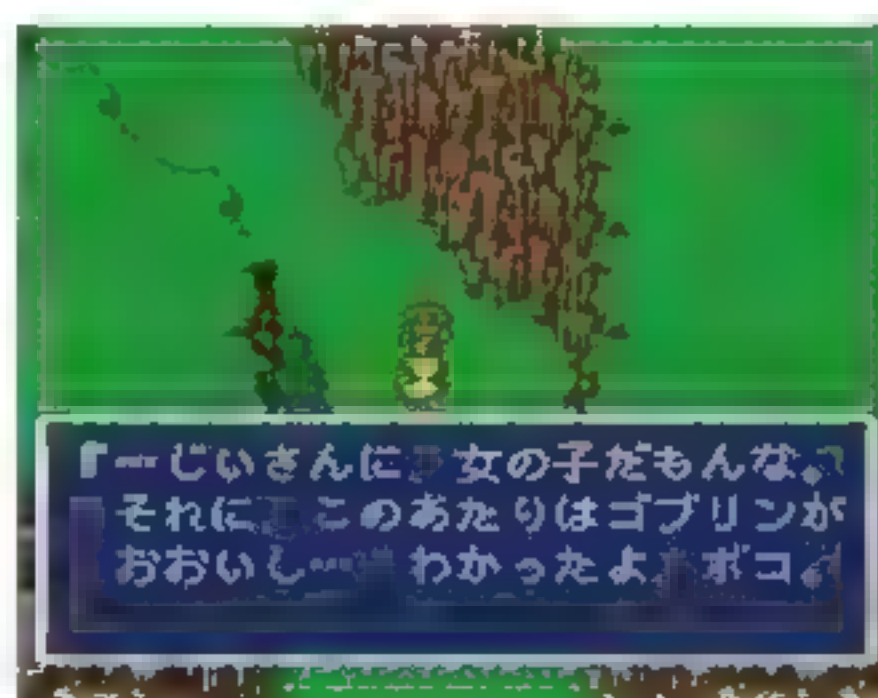
「だから今度は、その技術を平和に生かそうと必死なんだ」
——カタパルト：飛空艇の改造の合間、甲板でクルルにシドのことを話し

バッツたちの協力者

バッツの頼れる相棒

ボコ

登場場所 海賊のアジトほか

バッツと旅をするチョコボ。自分を置いていったバッツを追いかけて洞窟へ入るもケガをしてしまい、ファリスの手下の海賊たちのアジトで療養していた。バッツを待つあいだにメスチョコボのココと出会い、結婚する。

⬅信頼し合う仲だからこそ遠慮がなく、バッツがまちがっていると思えば抗議することも。

Impressive Words

「クエっ！　クエクエっ！」

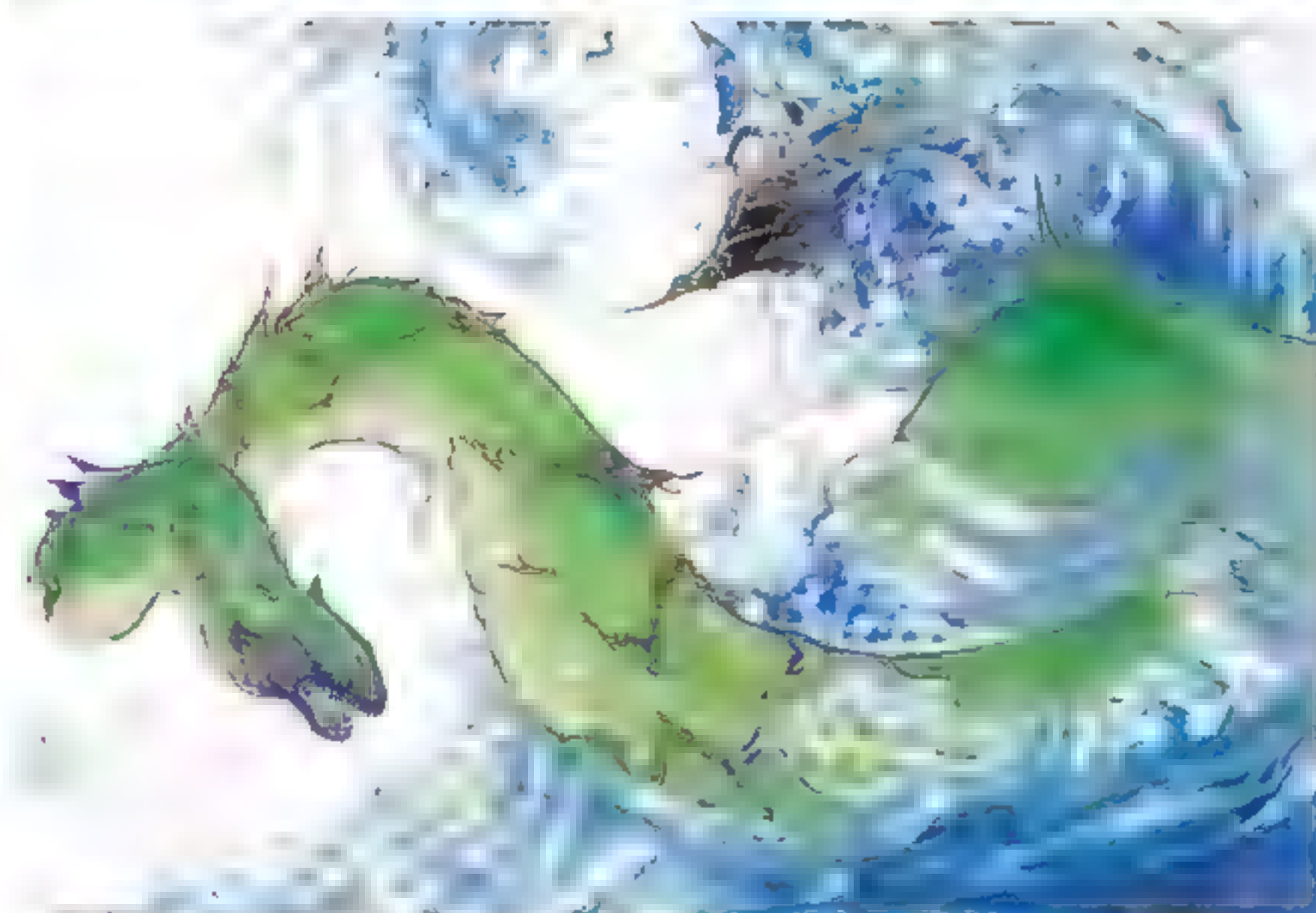
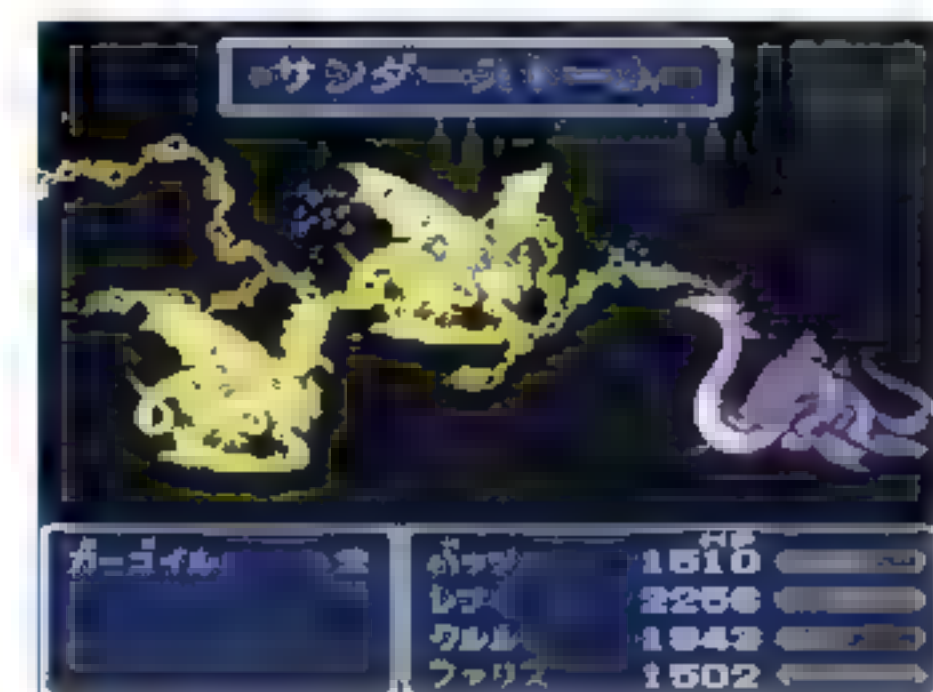
――海賊のアジトへの洞窟付近：レナたちを放ったまま旅をつづけようとするバッツに抗議し

「クエーっ!!」

――海賊のアジトへの洞窟入口：世界がひとつになったことでバッツと再会できたのを喜び

ファリスの相棒

シルドラ

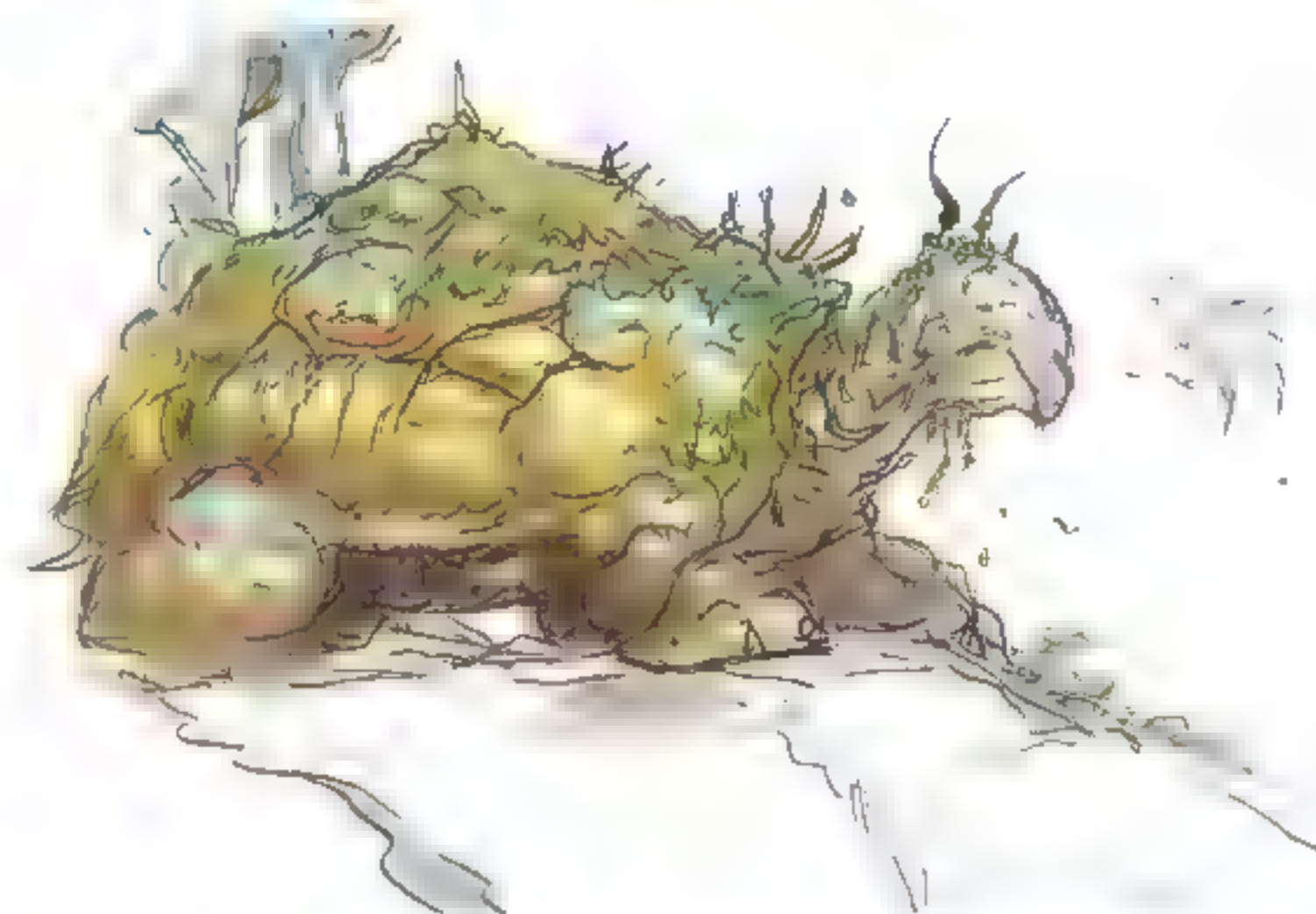
登場場所 海賊のアジト、ウォルスの塔付近ほか

ファリスと兄弟同然であり、彼女の船を牽引する海竜。水の神殿へバッツたちを運ぶ途中、トルナ運河で魔物に渦に引きずりこまれ、行方がわからなくなる。その後、ウォルスの塔が水没するときにバッツたちを救うが、最後の力を使い果たして絶命した。

⬅ファリスとの友情は不滅で、死んだあとも召喚獣として彼女を支えていこうとする。

700年の時を生きる賢者

ギード

登場場所 ギードのほこら、古代図書館

カメの姿をしているが、じつは500年ものあいだ暗黒魔道士エクスデスを封印しつづけていた賢者。バッツの世界のクリスタルが砕け散ることも予言していた。「無」の力を入手しようとするエクスデスを止めるべく、バッツたちを導く。

⬅エクスデスを倒すために、伝説の12の武器の封印を解くようバッツたちに助言する。

Impressive Words

「世界が1つにもどった時のショックで、ひっくりかえってしまったわい……」

――ギードのほこら：ひっくり返っているところをバッツに助けてもらい

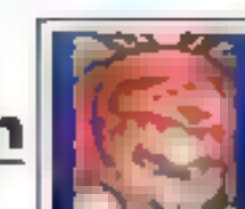
「だてに700年生きとらんわい！」

――ギードのほこら：エクスデスと互角の戦いを展開し

敵側の主要キャラクター

ギルガメッシュ

Gilgamesh

登場場所 エクスデス城、ビッグブリッジほか

エクスデスの親衛隊長

エクスデスの右腕的な存在。軽口をたたくものの人情に厚く、どこか憎めない性格の持ち主。幾度となくバッツたちの行く手に立ちふさがるが、エクスカリバーのニセモノである「エクスカリパー」で戦うマヌケさによってエクスデスに見かぎられ、次元の狭間へと放りこまれてしまう。戦いを通してバッツたちに友情のようなものを感じはじめており、最後は彼らを救うため、みずからの命を犠牲にして魔物を倒す。

⬅エクスデスによって牢に閉じこめられたバッツたちを見張るギルガメッシュだが、ガラフに敗北して逃走。

➡次元の狭間でネクロフォビアに苦戦するバッツたちの前に現れ、みずからの命を犠牲にして彼らを救出する。

Impressive Words

「く、くそっ！　きょ、きょうのところは、これくらいにしといてやる！
おぼえときな！　ぺっ！」

――エクスデス城：ガラフとの戦いで敗色濃厚となり

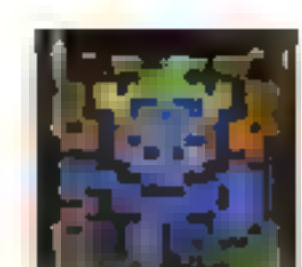
「この扉の裏でずっと待っていたぞ！
来なかったらどうしようかと不安になっていたところだ！」

――ビッグブリッジ：隠れていた扉の陰からバッツたちの前に現れ

「あおーい空、ひろーい海……こんなにいい気分にひたっている
私をじゃまするのは……誰だーーー!!」

――ゼザの船団：エクスデス城攻略のため集結したバッツたちの前に立ちはだかり

「生きてたら、また会おうぜ。いや、また会える気がするぜ。
その時は、オレも仲間……ふっ、なんでもねえよ！」

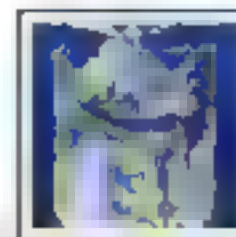
――次元の狭間：道に迷っているときにバッツたちと再会し

エクスデスからの刺客

エンキドウ

登場場所 ゼザの船団

エクスデスの配下のモンスター。ゼザの船団を壊滅させるために、親友で相棒のギルガメッシュとともに送りこまれた。当初は別々に戦っていたが、バッツたちと戦うギルガメッシュのピンチを知り、加勢しに現れる。

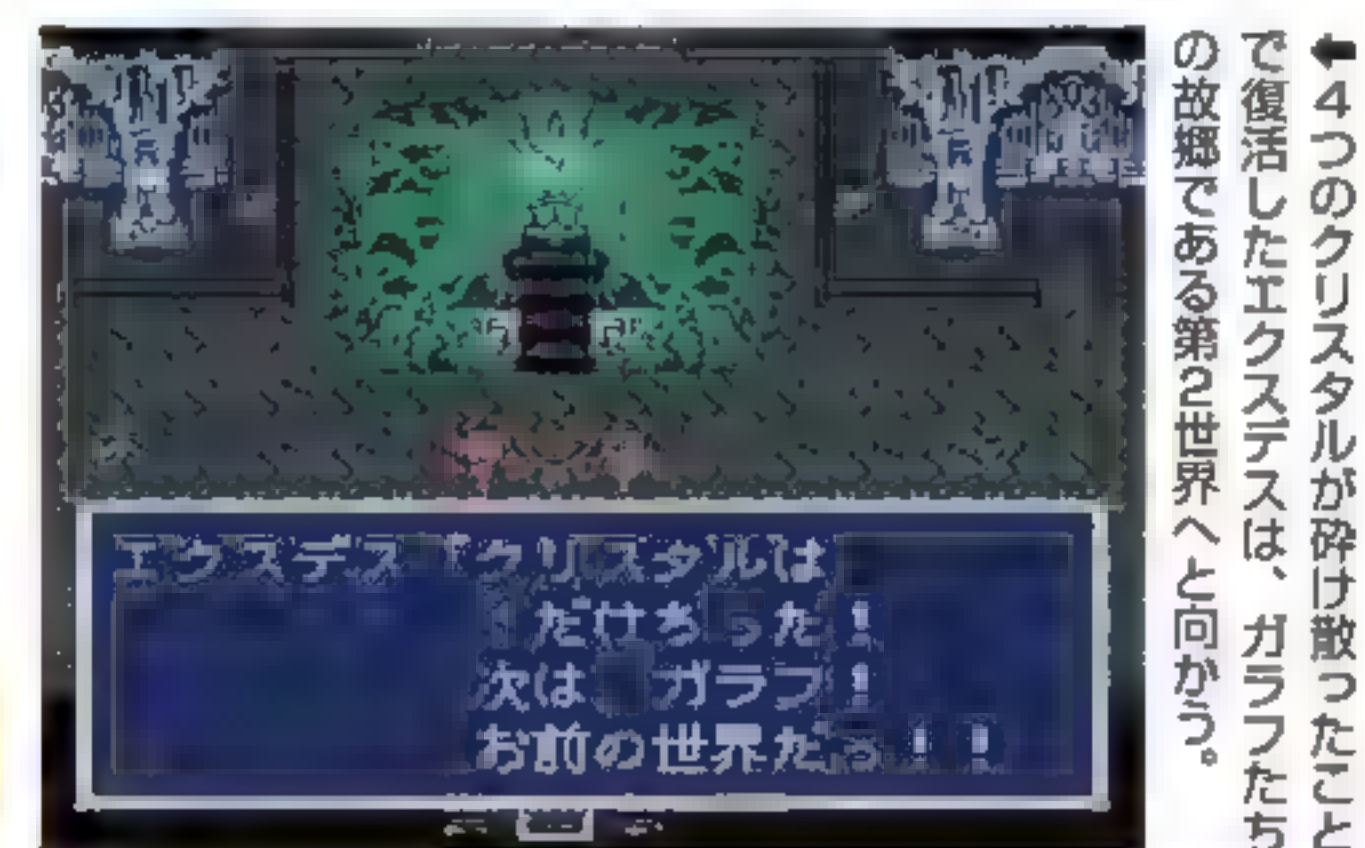
⬅暁の4戦士のゼザをたったひとりであしらうほどの実力を持っており、ギルガメッシュとともにバッツたちを苦しめる。

エクスデス／ネオエクスデス

登場場所 ロンカ遺跡、エクスデス城ほか　Exdeath/Neo Exdeath

「無」の力を渇望する魔道士

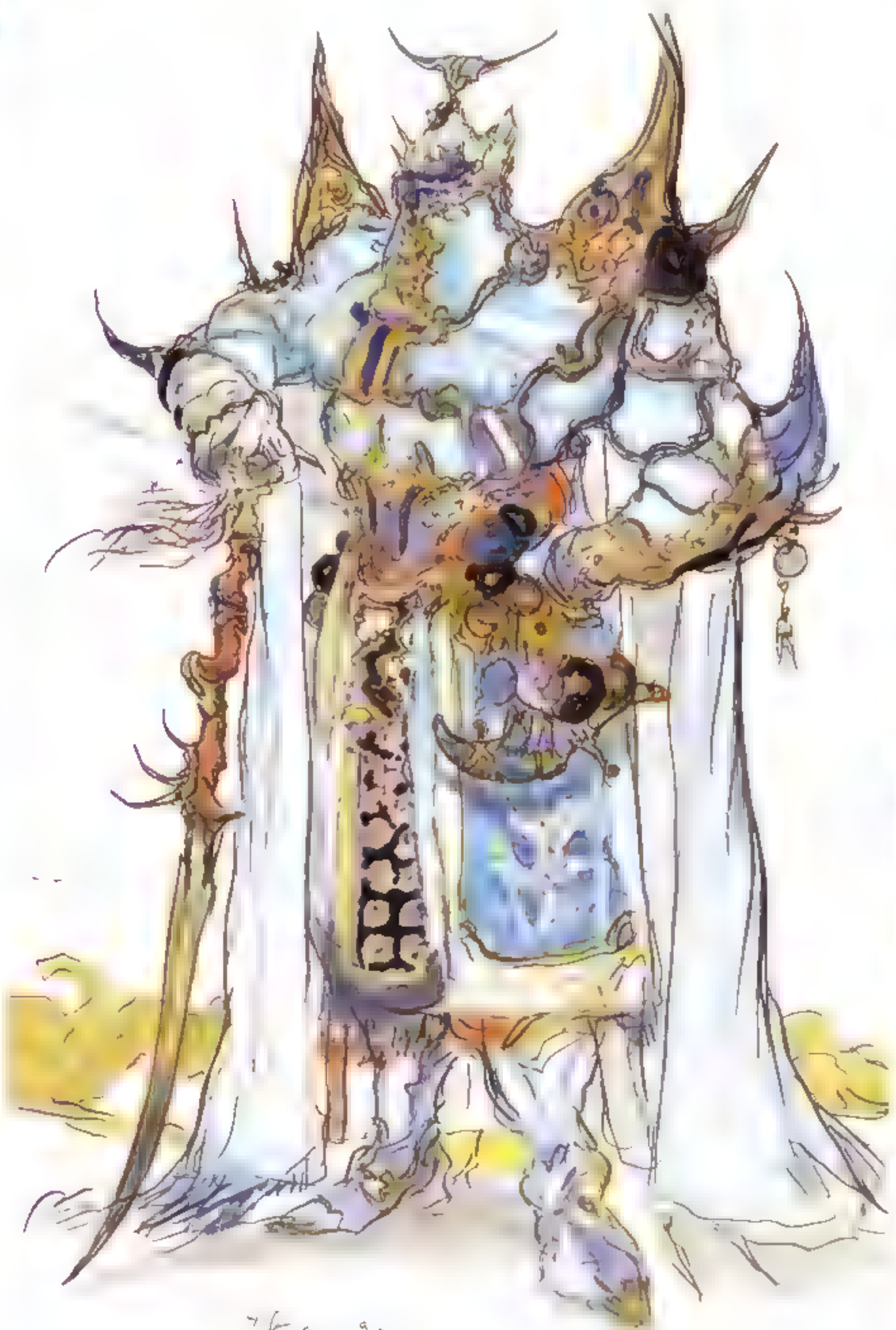
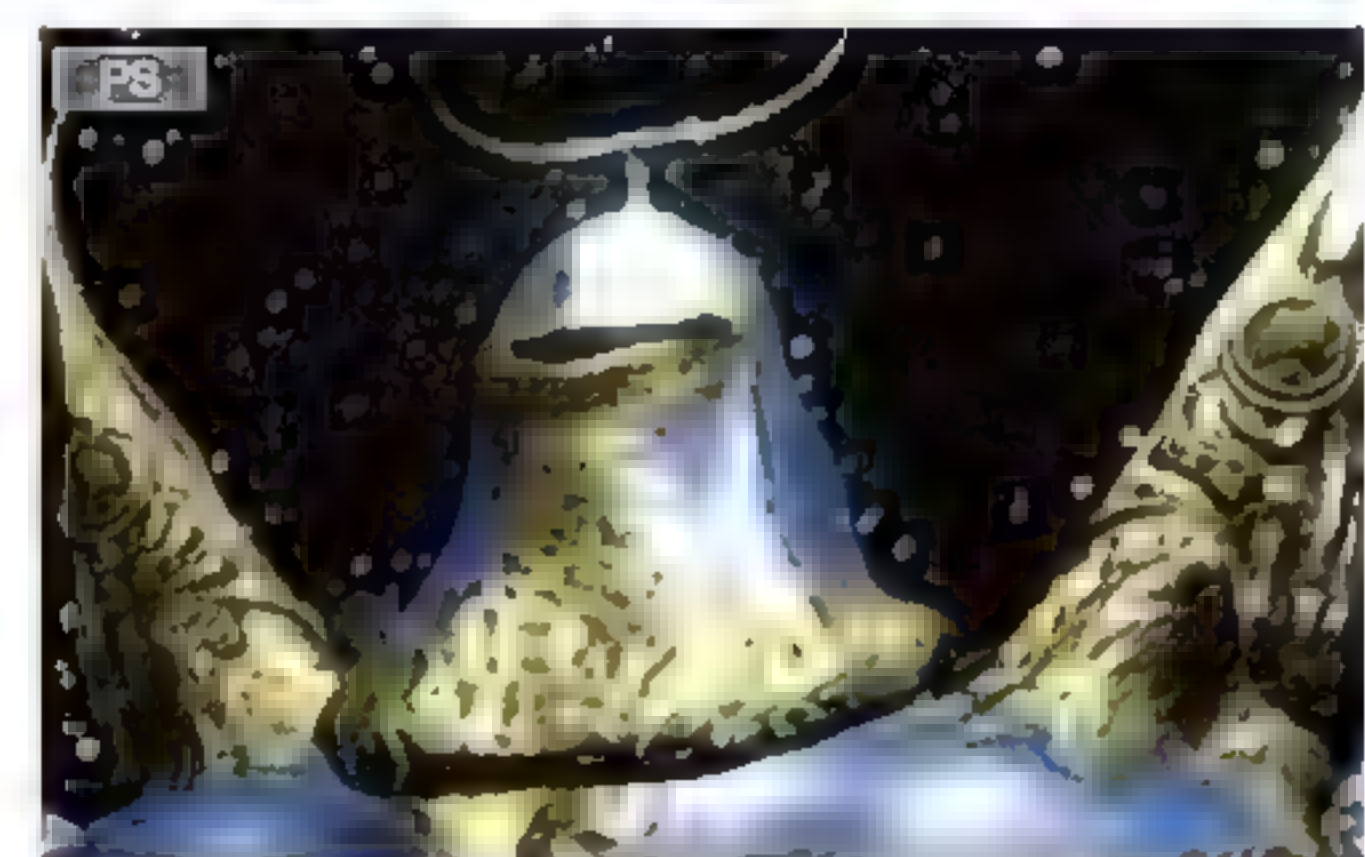
500年前、ムーアの大森林に集まった邪悪な心が1本の木に宿ったことで誕生した暗黒魔道士。賢者ギードにその肉体を封じられていたが復活をとげ、30年前に今度は暁の4戦士によってクリスタルの力で第1世界に封印された。人間たちによるクリスタルの酷使が原因で闇の力を取りもどすや、各地の人の心を支配してクリスタルを破壊し、もくろみどおりに復活を果たす。

ふたつにわかれていた世界を合体させることで「無」の力を手に入れ、つぎつぎと城や村を消し去っていくが、みずからもその「無」に飲みこまれてしまい、ネオエクスデスへと変貌。この世のすべての記憶、存在、そして次元をも消し去るだけでなく、自身も永遠に失われることを望み、手はじめにバッツたちに襲いかかる。

エクスデス「クリスタルは　だけちった！　次は、ガラフ！　お前の世界だっ！！

⬅4つのクリスタルが砕け散ったことで復活したエクスデスは、ガラフたちの故郷である第2世界へと向かう。

ネオエクスデス　バッツ 984　レナ 115　クルル 546　ファリス 1906

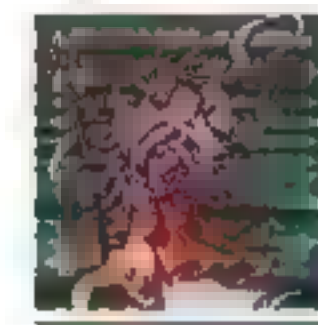
➡「無」に支配されてしまい、ネオエクスデスへと姿を変える。もはやエクスデスのころの記憶は残っていない。

PS

Impressive Words

「私を本気にさせたな！　死の世界へ行くがいい!!」
——ムーアの大森林：なかなか倒れないガラフに業を煮やし

「ファファファ……！　私のしようとしていることがわかるのか？」
「世界をもとの形にもどそうとしているのだぞ……」
——エクスデス城：バッツたちに己の目的を語り

「カメェェェッー！」
——ギードのほこら：バッツらにトドメを刺そうとしたところをギードに邪魔され

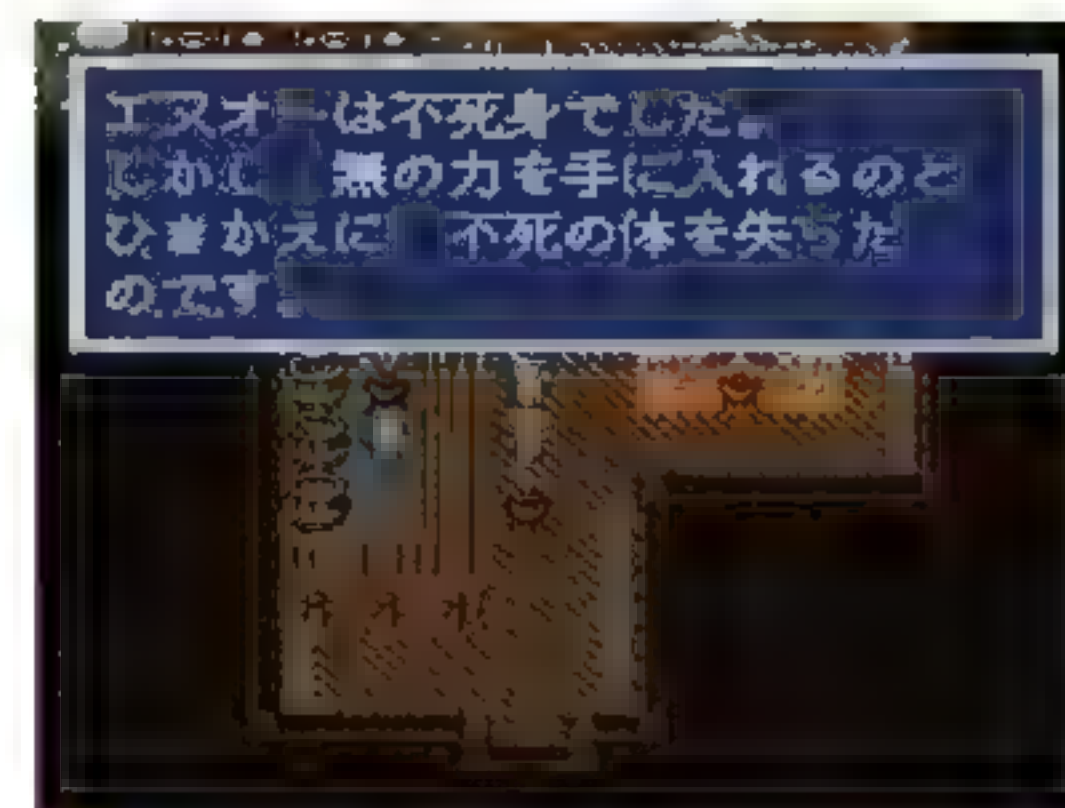
「私はネオエクスデス。すべての記憶、すべての存在、すべての次元を消し、そして私も消えよう、永遠に!!」
——次元の狭間：ネオエクスデスとしてよみがえり

エヌオー

登場場所 GBA 光と闇の果て

無をあやつる者

1000年前に、自身の作り出した「無」の力で世界を我が物にしようとした魔道士。本来は不死身だが、「無」を手に入れるのと引きかえに不死の身体を失ってしまい、伝説の12の武器を手にした人々によって滅ぼされた。伝承で語られるだけの存在だったが、GBA版では復活をとげ、「光と闇の果て」のダンジョンにてその姿を現す。

エヌオーは不死身でした。しかし　無の力を手に入れるのとひきかえに　不死の体を失ったのです。

⬅エヌオーは倒されたが、彼の作り出した「無」は消滅せず、次元の狭間に封じられた。

Impressive Words

GBA「一体何を求めている。力か？　それとも栄光か？　残念ながら、ここには何もない。過去も未来も、そして現在も。美しき闇に閉ざされ、永遠の静寂に身をゆだねるのみ。うすうす感づいてるようだな。我が存在を。見るがよい。かつて世界が恐怖した我が力……。真の「無」の力を!!」
——光と闇の果て：訪れたバッツたちに

オメガ

宇宙より現れた存在

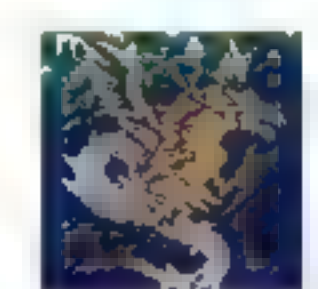
登場場所 次元の狭間

次元の狭間でさまよいつづける謎の存在。相手が敵意を持っていなくても無差別で攻撃を仕掛ける性質を持つ。次元の狭間の図書館の書物には、「空より現れし心を持たぬもの」という記述がある。

オメガ　バッツ 2437　レナ 2375　クルル 2343　ファリス 2406

⬅その思考は殺戮のみに支配されており凶暴。バッツたちが近づくだけで襲いかかってくる。

PS

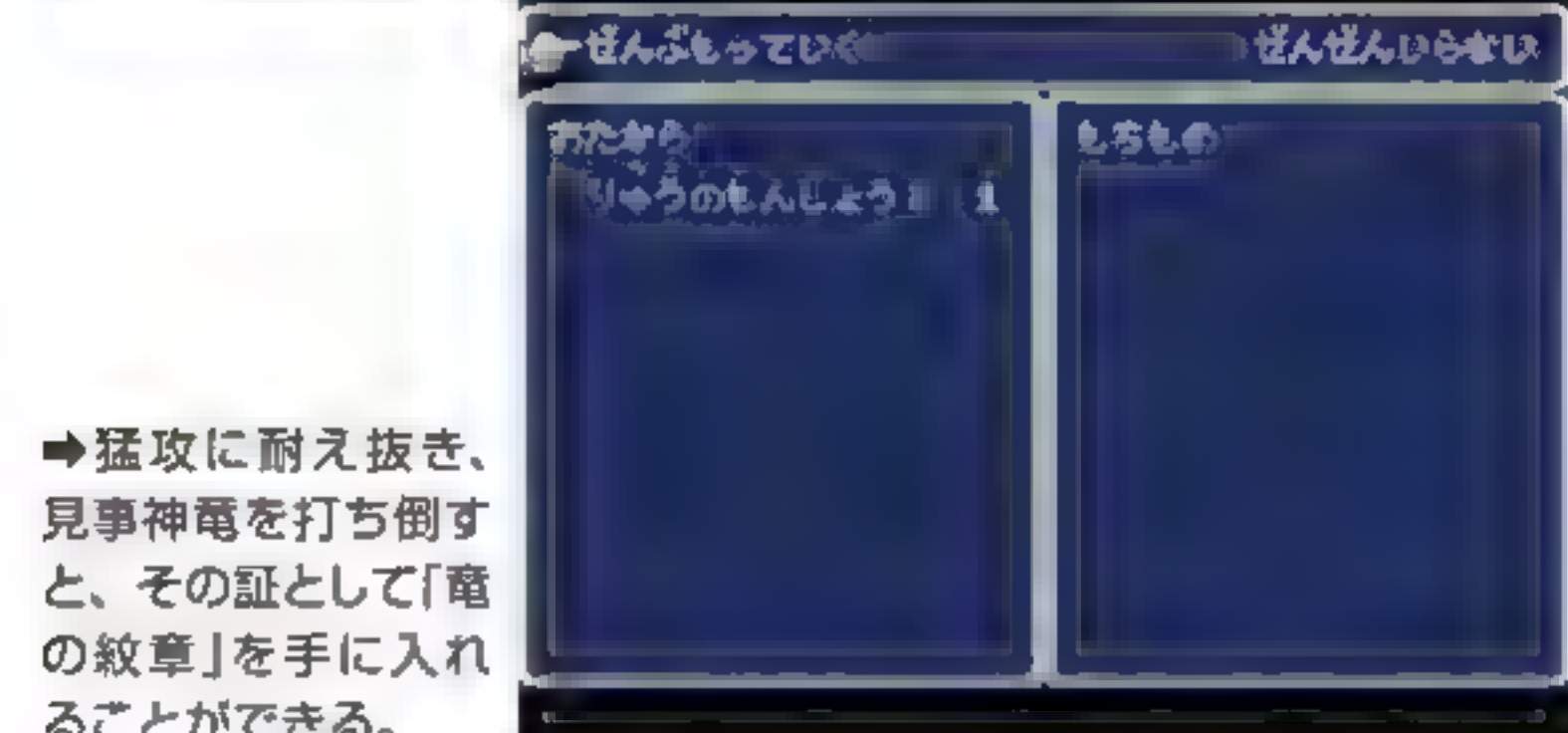
神竜

オメガを追うもの

登場場所 次元の狭間

次元の狭間の図書館の書物に「オメガを追ってきたもの」と記されている存在。なぜオメガを追うのか、くわしい理由は不明。オメガを探すそぶりは見せず、なぜか次元の狭間の宝箱に身をひそめている。

しんりゅう　バッツ 1828　レナ 1782　クルル 1486　ファリス 1407

⬅宝箱を開けると襲いかかってくる。ただし、オメガとは異なり、逃げる者を追おうとしない。

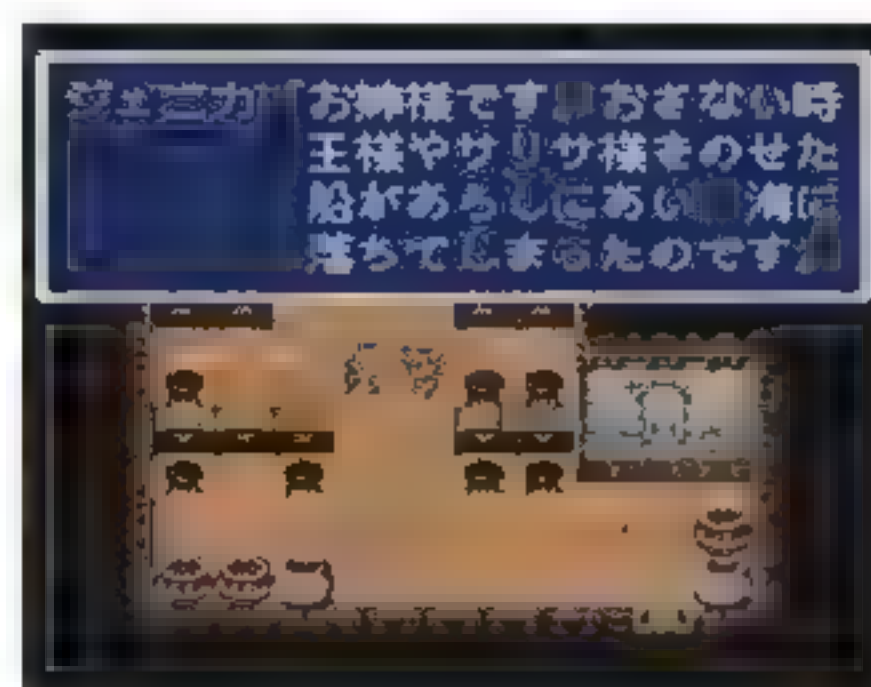
ぜんぶもっていく　ぜんぜんいらない　おたから　りゅうのもんしょう 1　もちもの

➡猛攻に耐え抜き、見事神竜を打ち倒すと、その証として「竜の紋章」を手に入れることができる。

レナ想いの建築技師
ゾック
登場場所 トゥールの村

トゥールの村に住む老人。トルナ運河の門の建設にたずさわった人物で、いまはその管理をしている。レナとは旧知の仲にあり、魔物の巣窟となった運河に行かせまいとの思いから、門のカギをなくしたとウソをつく。

Impressive Words
「レナ様のことが心配で隠しておったんじゃ」
——トゥールの村：なくしたと言っていたカギをバッツに手渡し

古くから城に仕えるばあや
ジェニカ
登場場所 タイクーン城

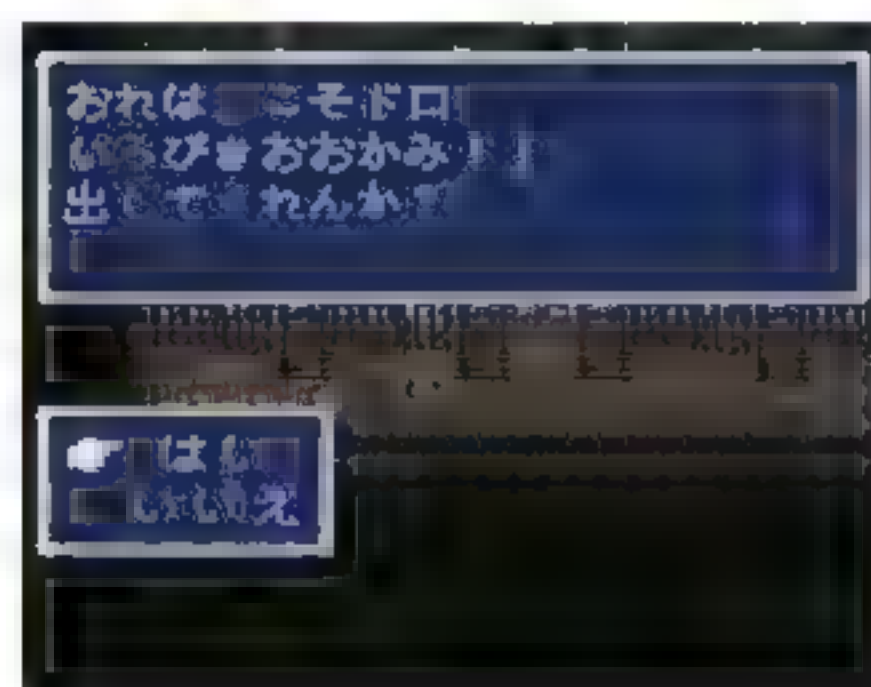
レナたち姉妹が子どものころから彼女らの面倒を見てきた老婆。子守りだけでなく、初歩的な魔法まで教えていた。ファリスの正体がレナの姉サリサであることが明らかになると、心から喜びをあらわにする。

Impressive Words
「おそいわねェ」
——ファリスの回想 赤子のレナを寝かしつけに行ったサリサがなかなか帰ってこないのを心配し

隕石に乗って現れたウェアウルフ
ツース
登場場所 カルナック城

クリスタルを守るため第2世界からやってきたウェアウルフ。その目的を知らぬ人々から、火のクリスタルを狙う魔物とカンちがいされた。自分では名乗らないが、のちにケルブの村にいる彼の兄の話から名前が判明する。

Impressive Words
「ガラフ！　俺が持ちこたえる間に逃げろ！」
——カルナック城：ガラフたちを助けるためにみずからを犠牲にし

ウォルス城の囚人
こそドロいっぴきおおかみ
登場場所 ウォルス城

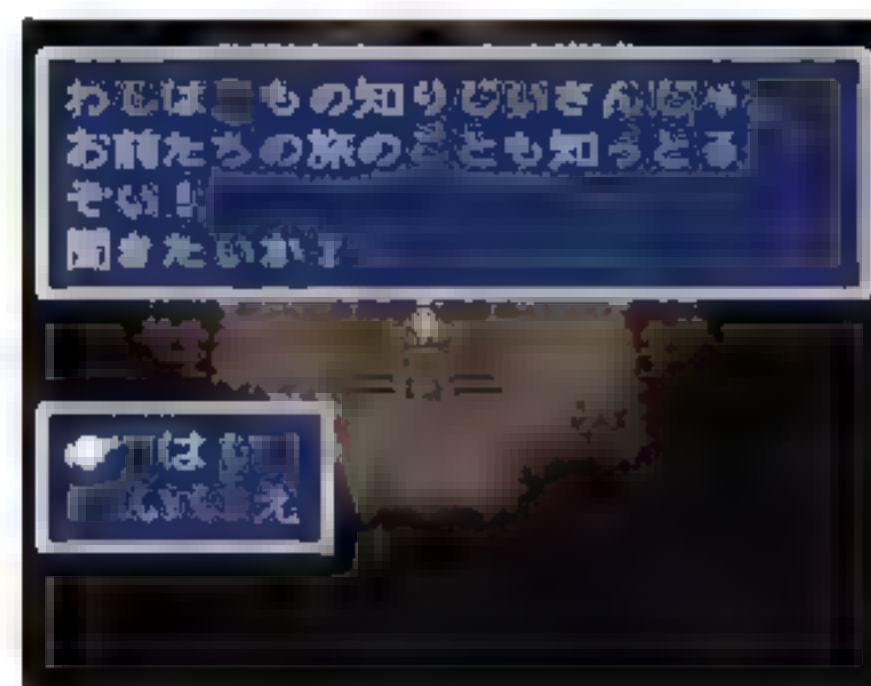
ウォルス城の地下にとらわれているコソ泥。扉の前に現れたバッツたちに、ここから出してほしいと懇願する。牢から逃げるのに成功すると、手助けしてもらった恩を仇で返すように、各地の宝箱の中身を持ち去っていく。

Impressive Words
「おれは、こそドロいっぴきおおかみ！　あんたの事を忘れないぜ！　じゃッ！」
——ウォルス城：牢から出してくれたバッツたちに礼を言って

延々と穴を掘りつづけるドワーフ
ラリボー
登場場所 大海溝

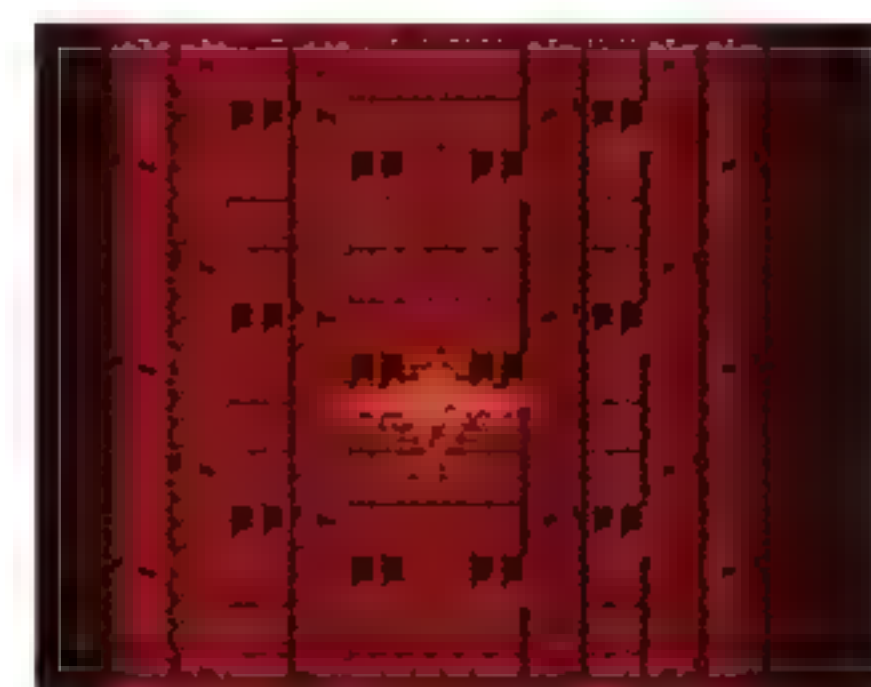
大海溝の洞窟のなかに、たった5人で王国を築いたドワーフのひとり。世界を一周するために西へ長いトンネルを掘りつづけているが、途中で妙な地鳴りがするのを感じ取り、その手を休めている。

Impressive Words
「ここまで掘ってきたけど……なんか上のほうで、みょうな地なりがするラリ」
——大海溝：西へのトンネルを掘る手を休めてバッツたちに

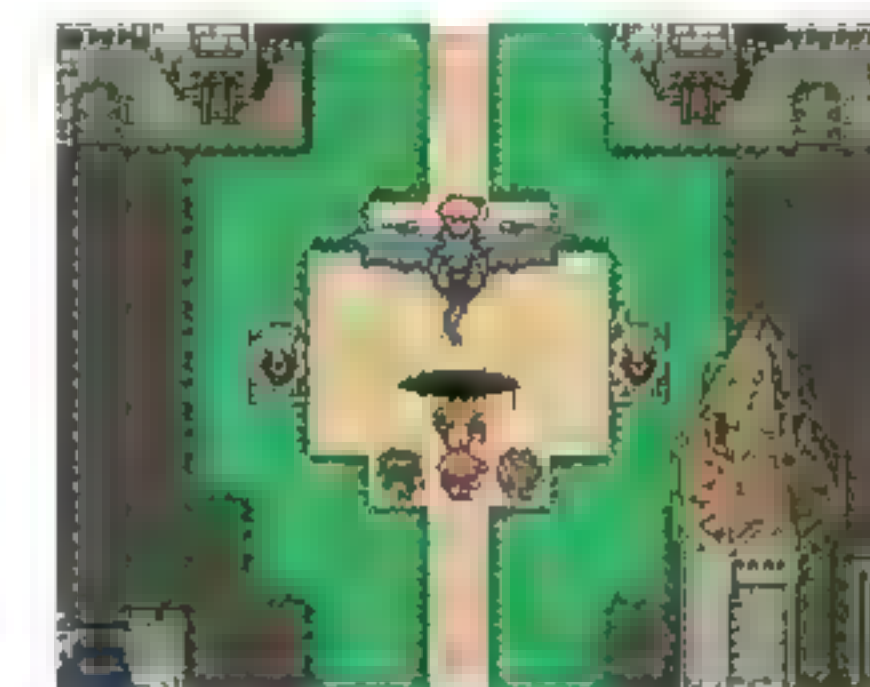
何でも知っている奇妙な老人
もの知りじいさん
登場場所 海底のほこら

世界がひとつになったあと、カルナックの町の南にある海底のほこらに姿を現す老人。まるでバッツたちを見守っていたかのように、これまでの戦闘回数や倒したモンスターの数、宝箱の回収率などを教えてくれる。

Impressive Words
「わしは、もの知りじいさんじゃ。お前たちの旅のことも知っとるぞい！　聞きたいか？」
——海底のほこら：訪れたバッツたちに

王女に愛されし竜
タイクーン城の飛竜
登場場所 タイクーン城、北の山ほか

絶滅寸前となった飛竜の最後の生き残り。タイクーン王家で家族同然にあつかわれてきた。負傷したところをレナに救われるが、彼女が魔物にとりつかれたさい捨て身の攻撃を行なって衰弱し、召喚獣になるべく死を選ぶ。

⬅自分の命が残り少ないと知り、レナの愛情に報いたい一心で塔の最上階から身を投げ、召喚獣フェニックスに転生する。

クルルになついた飛竜
バル城の飛竜
登場場所 ビッグブリッジ、バル城ほか

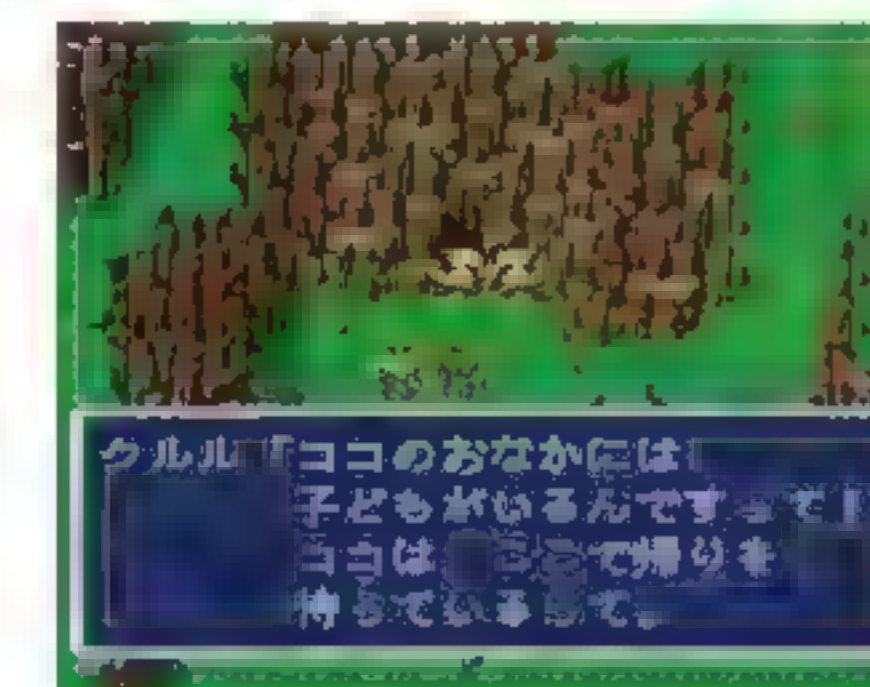
第2世界に生息する飛竜の最後の1匹。クルルから家族のようにかわいがられており、彼女やガラフのために戦地におもむく。無理がたたって命の危機を迎えるが、レナたちが手に入れた飛竜草によって元気になる。

⬅直接戦闘に参加することはないが、その機動力を活かしてバッツたちを遠くへ運んだり救出したりとさまざまな場面で活躍。

森の奇妙な住人
モーグリたち
登場場所 モーグリの森、モーグリの村ほか

臆病でめったに人前に姿を現さない生き物。森の奥深くにある自分たちの村で平和に暮らしている。穴に落ちたところをレナたちに救われたことで心を開き、感謝のしるしとして彼らに数々のアイテムを贈る。

⬅バル城には1匹だけモーグリが住んでおり、クルルが祖父ガラフを失って落ちこんだときには、彼女のことを励ました。

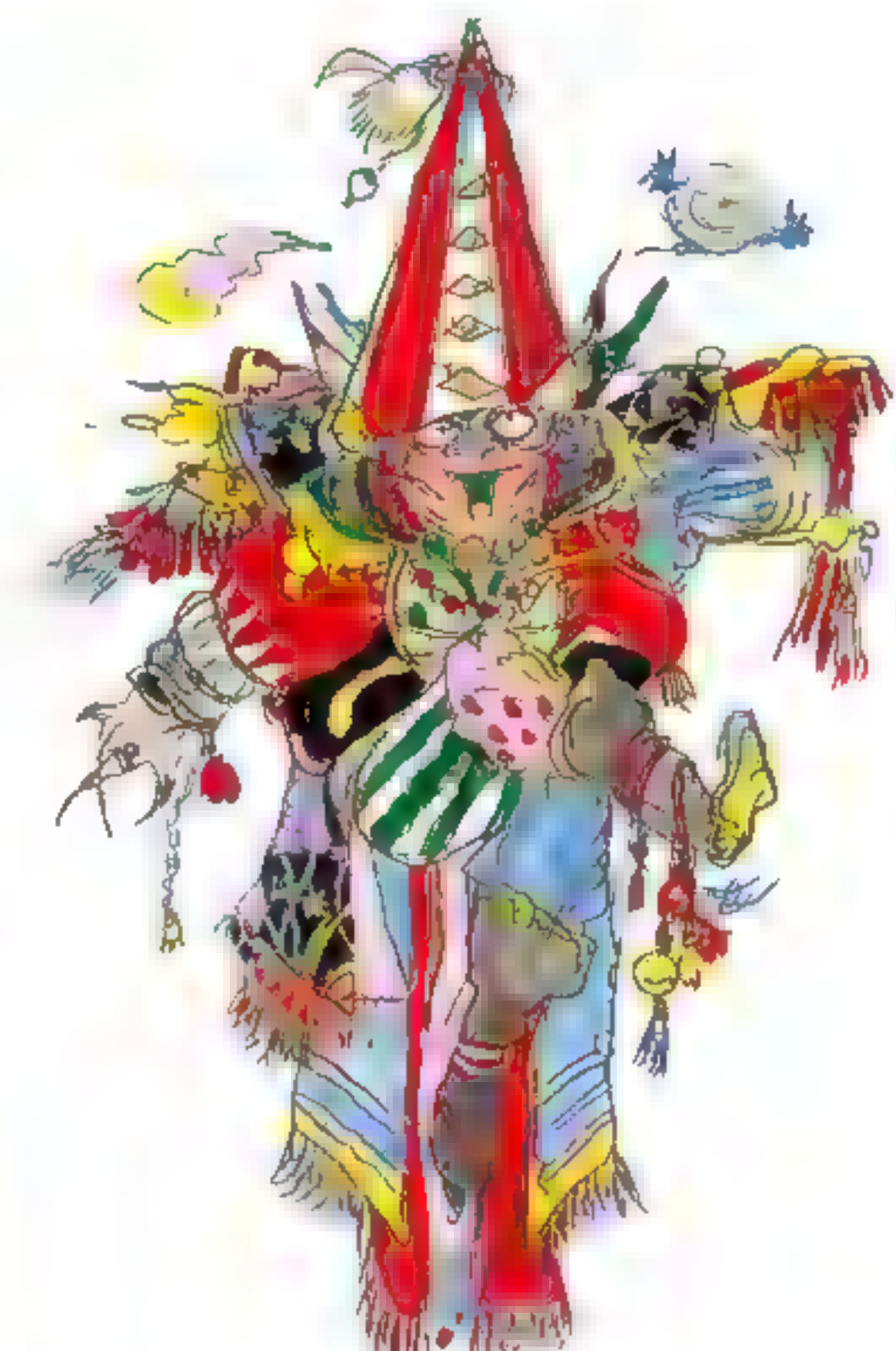
ボコのお嫁さん
ココ
登場場所 海賊のアジトほか

バッツの相棒であるボコの愛妻。バッツたちが冒険に出ているあいだに、ボコと出会って恋に落ちた。海賊のアジトでバッツたちと会ったとき、すでにお腹のなかには赤ちゃんがいることを、クルルを介して告白する。

⬅海賊のアジトを気に入り、そこを自分たちの新居に。海賊たちからもかわいがられており、エンディングでは3羽の子どもの母に。

謎のものまね名人
ものまねしゴゴ
登場場所 沈んだウォルスの塔

海底深くに沈んだウォルスの塔の最奥部にひそんでいる謎めいた人物。以前からクリスタルの力を求めていたようで、ようやく手に入れた水のクリスタルのかけらを奪われまいとして、バッツたちに襲いかかってくる。

⬅バッツたちが、何もしないゴゴのマネをしていると、それこそがものまねの極意だと語る。

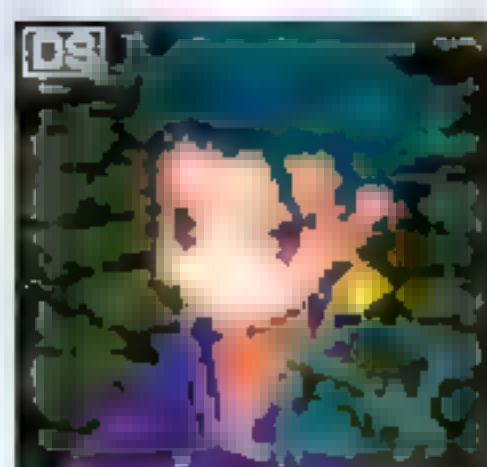
Impressive Words
「もーのまねーの　ごくいは……まねするーこと。だから　わたしーは　きみーたちが　やること　まねーするよー。たたかう　には　たたかうで　魔法には魔法でおーかえしー！　わたしーのすること　まねー　すれば　かならず　かてるよー」
——沈んだウォルスの塔：目の前に現れたバッツたちに向かって

ULTIMANIA CHECK 歴代『FF』あんなキャラこんなキャラ❶

『FF』シリーズの登場人物は、性格や雰囲気に注目すると、いろいろなタイプに分類することができる。ここでは、いくつかのテーマごとに、歴代のキャラクターを見てみよう。

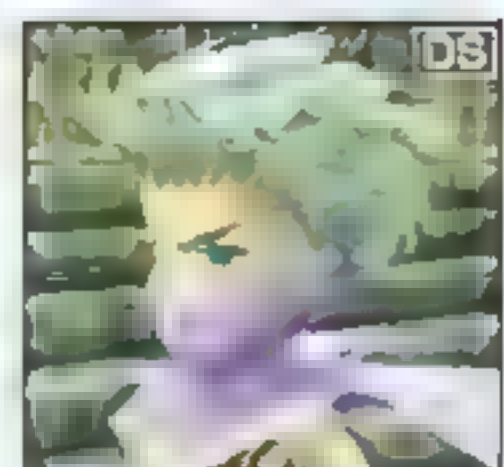
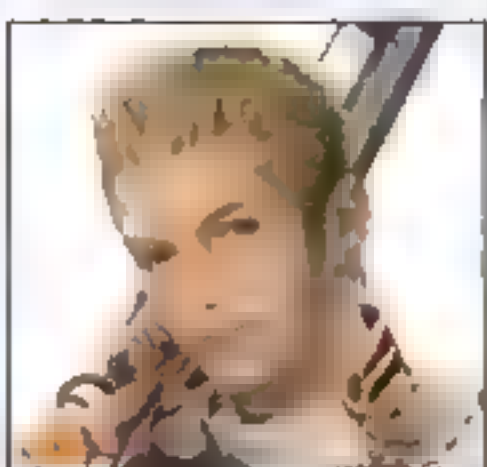
ナンパで女好きな男たち

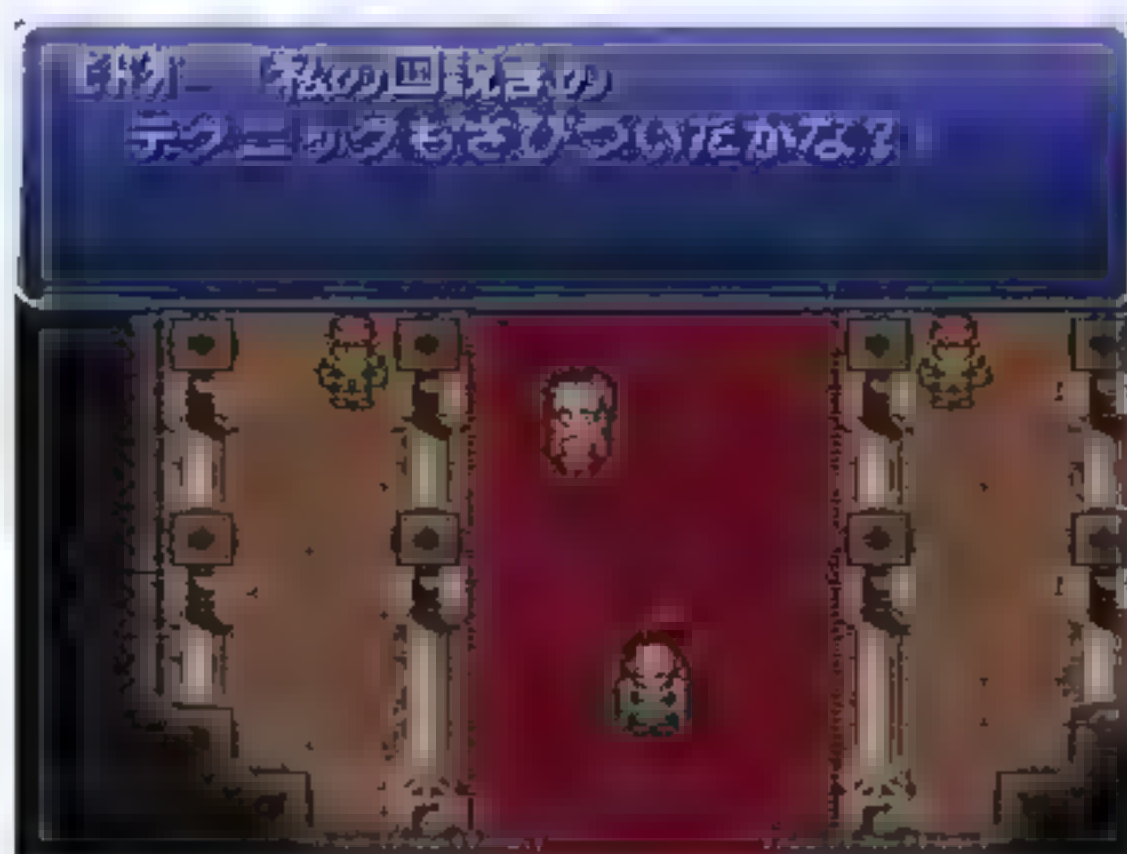
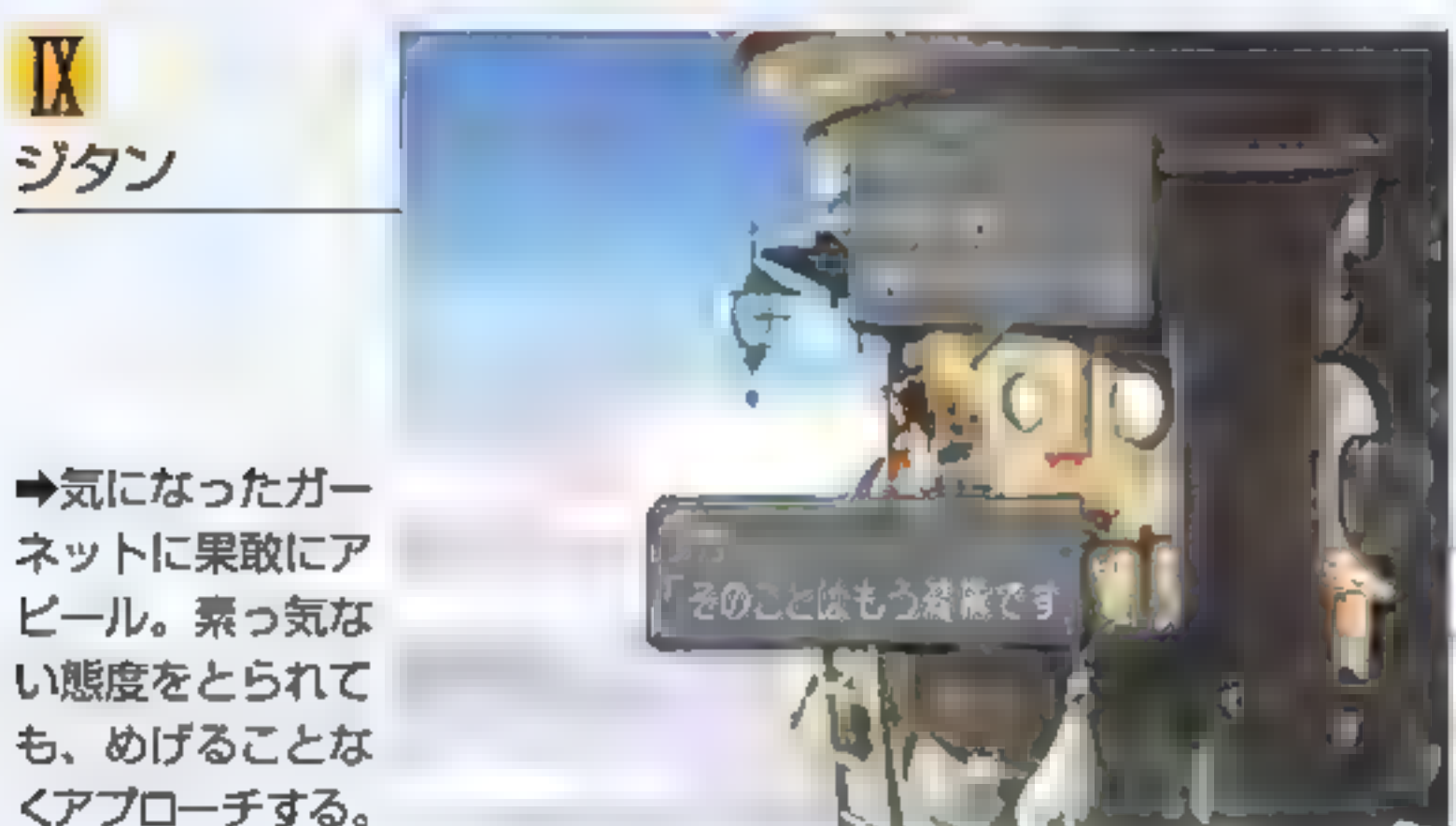
ひとくちに「女好き」と言っても、女性に優しくするのは礼儀だとするタイプや、友だち感覚で女性と接するタイプ、誰かれかまわず声をかけるタイプなど、いろいろな人物がいる。節操なく見えるキャラクターにかぎって、じつは一途な面を持っているというのがおもしろい。

VIII アーヴァイン
プレイボーイを装う小心者。じつは幼少期からセルフィひと筋。

IX ジタン
明るく陽気なフェミニスト。身分ちがいの恋に想い悩むことも。

III デッシュ
明るく軽めな性格の青年。恋人サリーナの尻に敷かれ気味？

VI エドガー
端正な容姿の色男。「レディに優しくするのは世界の常識」と語る。

XI コルモル
女の子に弱い、恋多き博士。気は多いが、思いこんだら一途。

IV エッジ
毎日のように女の子を追いかけて、じいに怒られている若様。

XII バルフレア
「最速の空賊」の通り名を持つ男。キザな態度で女性を魅了する。

XII アルシド
ロザリアの貴公子。美人秘書軍団を引き連れるプレイボーイ。

VI エドガー
←あいさつがわりに女性を口説き、幼児から自分のばあやまで、幅広い年齢層の女性に声をかけまくる。

IX ジタン
➡気になったガーネットに果敢にアピール。素っ気ない態度をとられても、めげることなくアプローチする。

番外編 女好きで迷惑なヤツら

パーティーの行く手をはばむキャラクターにも、女好きはいる。なかでもオルトロスとコルネオは、その奇抜な容姿や言動に加え、何度もパーティーの邪魔をするため、女性ならずとも迷惑に感じるだろう。

VI オルトロス

VII コルネオ

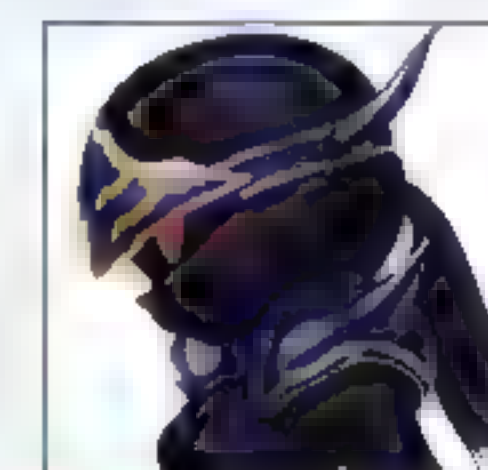
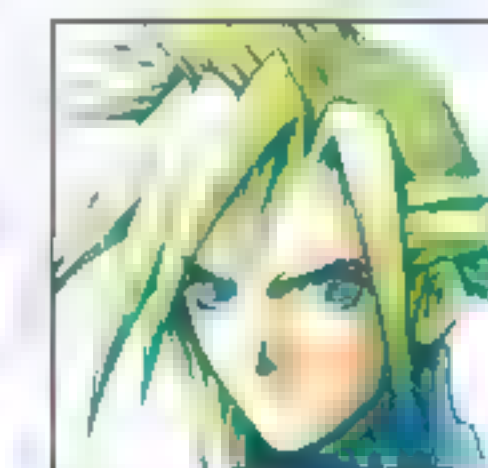
VI オルトロス
←レテ川にて初対面のティナにホレる。「FF XII」には同名のモブ（賞金首のモンスター）が登場するが、そちらも女好き。

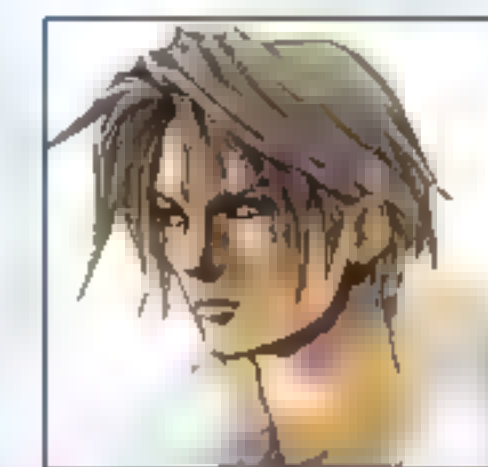
口数の少ないクールな人々

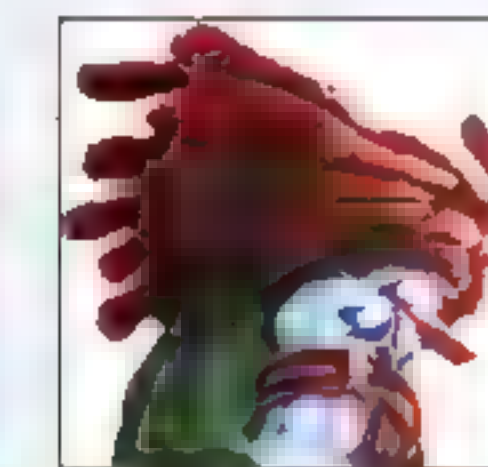
過去の出来事が原因で心に傷を負うなどして、言葉少なめなキャラクターたち。仲間と一緒にいるときでも、めったに口を開かない彼らがもし一堂に会したら、いったいどのような状況になるのだろうか……？

X キマリ
感情をあまり顔に出さないロンゾ族。その表情に反して、心は熱い。

X-2 パイン
友人に裏切られた女剣士。基本的には無口だが、意外とノリが良い。

XII フラン
種族の掟を破り、姉妹を残して故郷の里を去ったヴィエラ族。

VI シャドウ
親友を裏切ったことに負い目を感じ、死に場所を探すアサシン。

VII クラウド
他人とのなれ合いを嫌い、孤独に身を置く自称元ソルジャー。

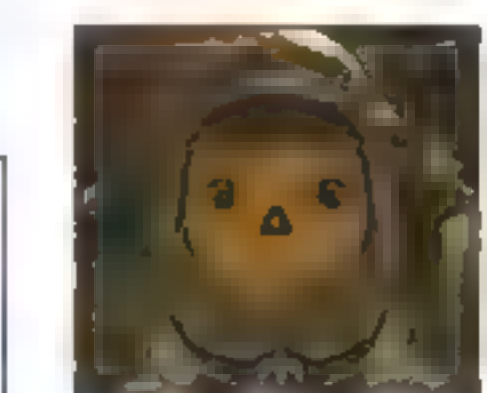
VII ヴィンセント
愛する女性を守れなかった悔恨から、眠りつづけていた。

VIII スコール
大切な人を失うことにおびえるあまり、人と距離を置く。

VIII 風神
必要最低限しか口を開かず、漢字のみで意志を伝えようとする女性。

IX サラマンダー
他人に頼ることなく、己の力のみで生きてきた、流れ者の賞金首。

番外編 しゃべるのが苦手な人たち

口数が少ない者のなかには、オオカミに育てられたガイ、任務中に声帯を損傷して声を失ったウォードなど、わけあって話すのが苦手という人物も多い。ケナパケッパは、極端に引っこみ思案なタルタルだ。

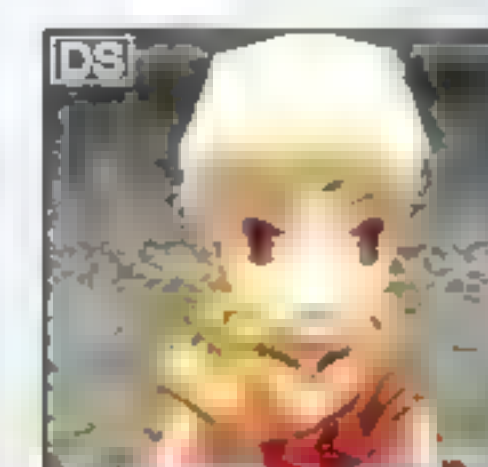
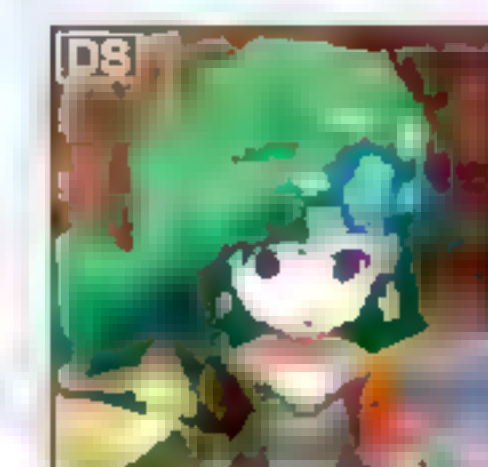
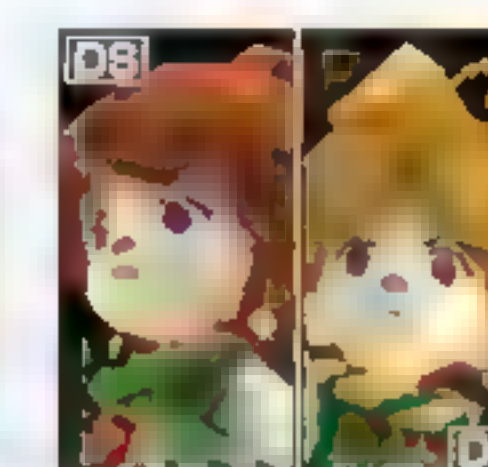
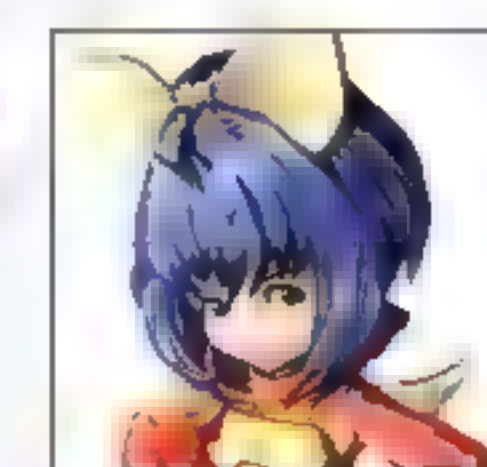
II ガイ

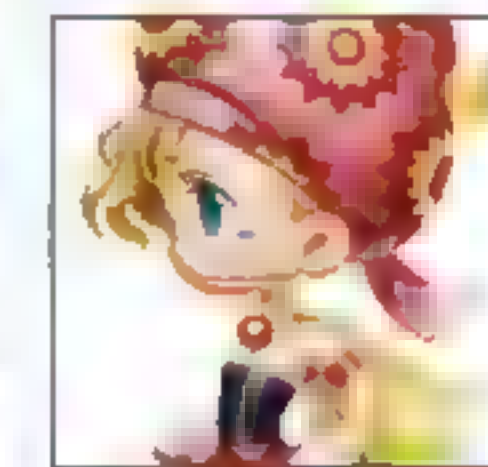
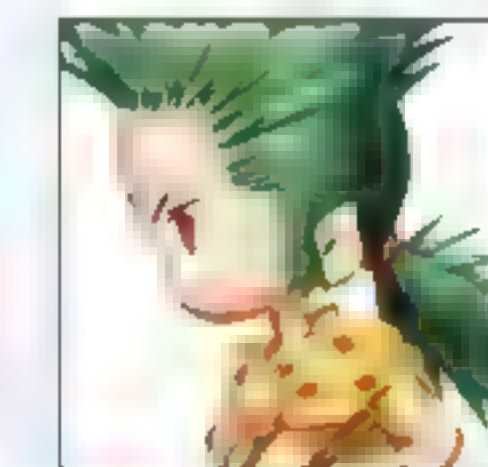
VIII ウォード

XI ケナパケッパ

がんばる子どもたち

大人に混ざってパーティーに加わり、苦しい旅路をともにする勇敢な子どもたち。なかには年端もいかない幼子もいるが、純粋な心を持つ子どもならではの力を発揮し、重要な戦力として活躍する。

IX ビビ
黒魔道士の少年。旅を通じて多くのことを学んでいく9歳。

XII ラーサー
幼少期から帝王学をたたきこまれた12歳。兄ヴェインを心より慕う。

III アルス
サロニアの王子。突然豹変してしまった父の態度に思い悩む10歳。

IV リディア
召喚士の少女。7歳だったが、幻界で生活して短期間で成長する。

IV パロム&ポロム
5歳の双子の魔道士。生意気な弟を、しっかり者の姉がたしなめる。

IX エーコ
マダイン・サリに住む6歳の女の子。ジタンに恋するおませさん。

V クルル
ガラフの孫娘。動物たちと心を通わせ、彼らの力を借りる14歳。

VI リルム
サマサの村に住む10歳の少女。描いた絵に命を吹きこむ能力を持つ。

VI ガウ
13歳の野生児。魔物の行動を身体で覚え、本能のままに暴れる。

IV パロム&ポロム
←大人びた発言が多いが、しぐさは子どもそのもの。人並みはずれた魔力を活かし、バトルでも活躍する。

ファイナルファンタジーVI

FINAL FANTASY VI

ファイナルファンタジーVI

作品概要

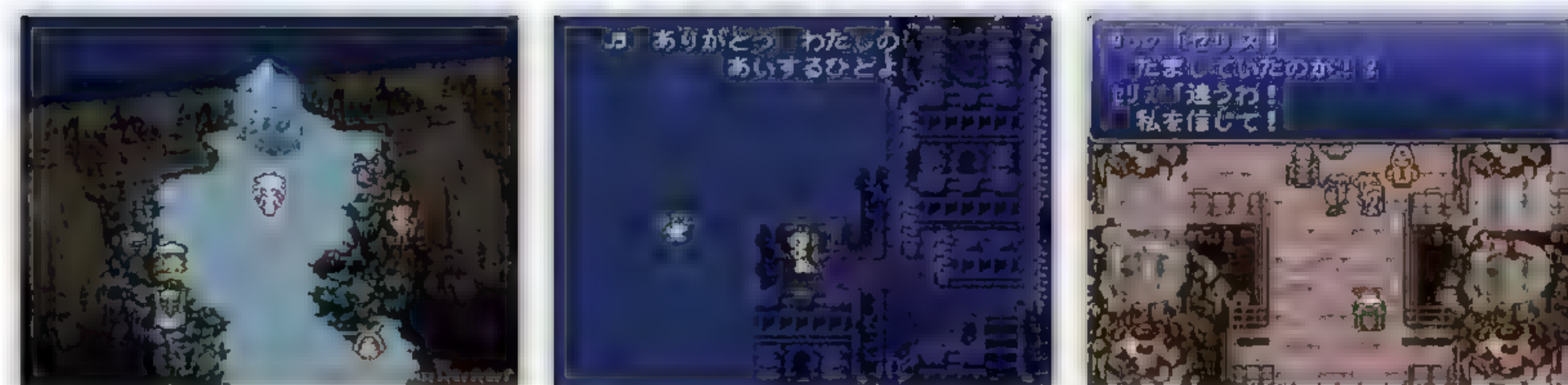
機械文明や魔導兵器などのSF色を採り入れた世界観が特徴。多人数の仲間からメンバーを選んでパーティーを編成する形式が、本作から導入された。物語上で大きな役割を果たす魔石は、魔法の習得や幻獣の召喚にも使用される。ビッグス＆ウェッジが初登場。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーVI	スーパーファミコン	1994年 4月 2日	11,400円(税別)	
ファイナルファンタジーVI	プレイステーション	1999年 3月11日	5,040円(税込)	※1
ファイナルファンタジーコレクション	プレイステーション	1999年 3月11日	7,140円(税込)	※2
ファイナルファンタジーVIアドバンス	ゲームボーイアドバンス	2006年11月30日	5,040円(税込)	

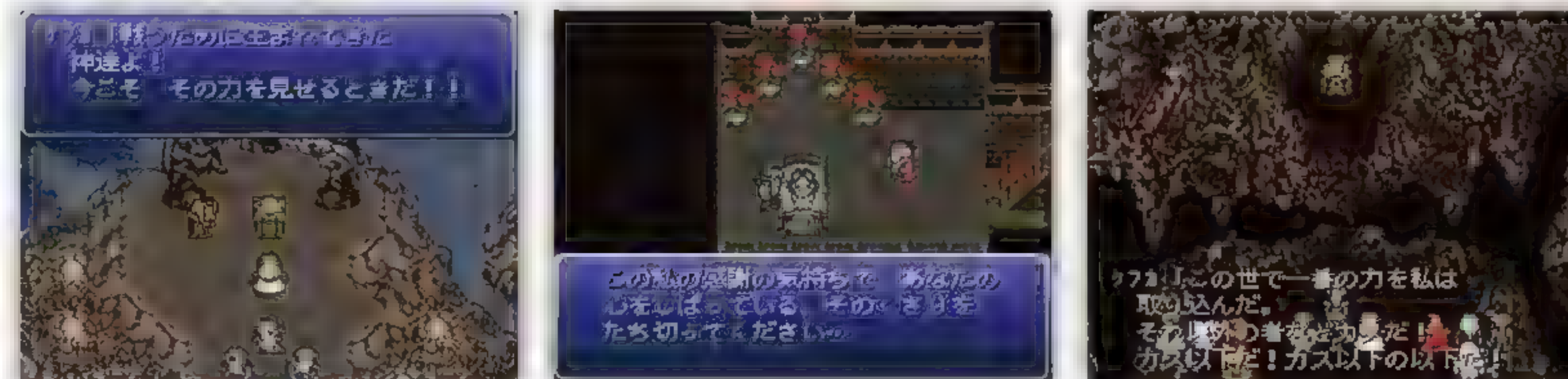
※1……コンビニエンスストアのみで販売
※2……限定版「アニバーサリーパッケージ」が9,240円(税込)で同時発売

FINAL FANTASY VI ADVANCE
ファイナルファンタジーVI アドバンス

■GBA版

STORY

禁忌とされる「魔導の力」をめぐり それぞれの思惑が交錯する

かつて人間と幻獣を結ぶ絆が存在していた時代、人間たちは幻獣の力を借りて戦争を引き起こした。この世のすべてを焼き尽くした「魔大戦」――その終結と同時に幻獣たちは、己の力を人間に悪用されることを恐れて幻獣界へ姿を隠し、人間界から魔法、すなわち魔導の力が消え去った。

そんな悪夢のような大戦から1000年、ふたたび戦禍が大地を覆う。鉄や火薬、蒸気機関によって復興をとげた世界において、ガストラ帝国の皇帝が、失われたはずの魔導の力を復活させたのだ。その力をもって強大な軍隊を組織した帝国は、世界征服のために周辺諸国をつぎつぎと滅ぼしていく。しかし、すべての者が帝国の横暴に甘んじているわけではなかった。世界を守るため、復讐のため、自分の生きる意味を探すため――戦う理由は異なるが、多くの者がそれぞれの思いを胸に反帝国組織リターナーに身を寄せ、帝国に抵抗を試みる。両者の衝突は、やがて幻獣をも巻きこみ、世界の存亡をかけた戦いへと発展していくのだった。

ティナ

Tina Branford　ティナ・ブランフォード

Personal Data

職業	魔導戦士			出身地	幻獣界
年齢	18歳	誕生日	10月18日	星座	てんびん座
身長	160cm	体重	48kg	血液型	不明
宝物	砕けた魔石のかけら				
好きな物	動物			嫌いな物	人がいっぱいいる場所
趣味	モーグリをふかふかすること				

宿命に翻弄されながらも愛の意味を探し求める戦士

1000年前の魔大戦で失われたはずの魔導の力を、生まれながらにして備えた少女。自分が幻獣と人間の子である事実を知らぬまま、世界征服をたくらむガストラ帝国にあやつりの輪で思考をコントロールされ、殺戮兵器として生きてきた。しかし、炭坑都市ナルシェでの任務中に氷づけの幻獣と交感したのがきっかけで自由を手にし、ロックの手引きによって反帝国組織リターナーに身を寄せることになる。

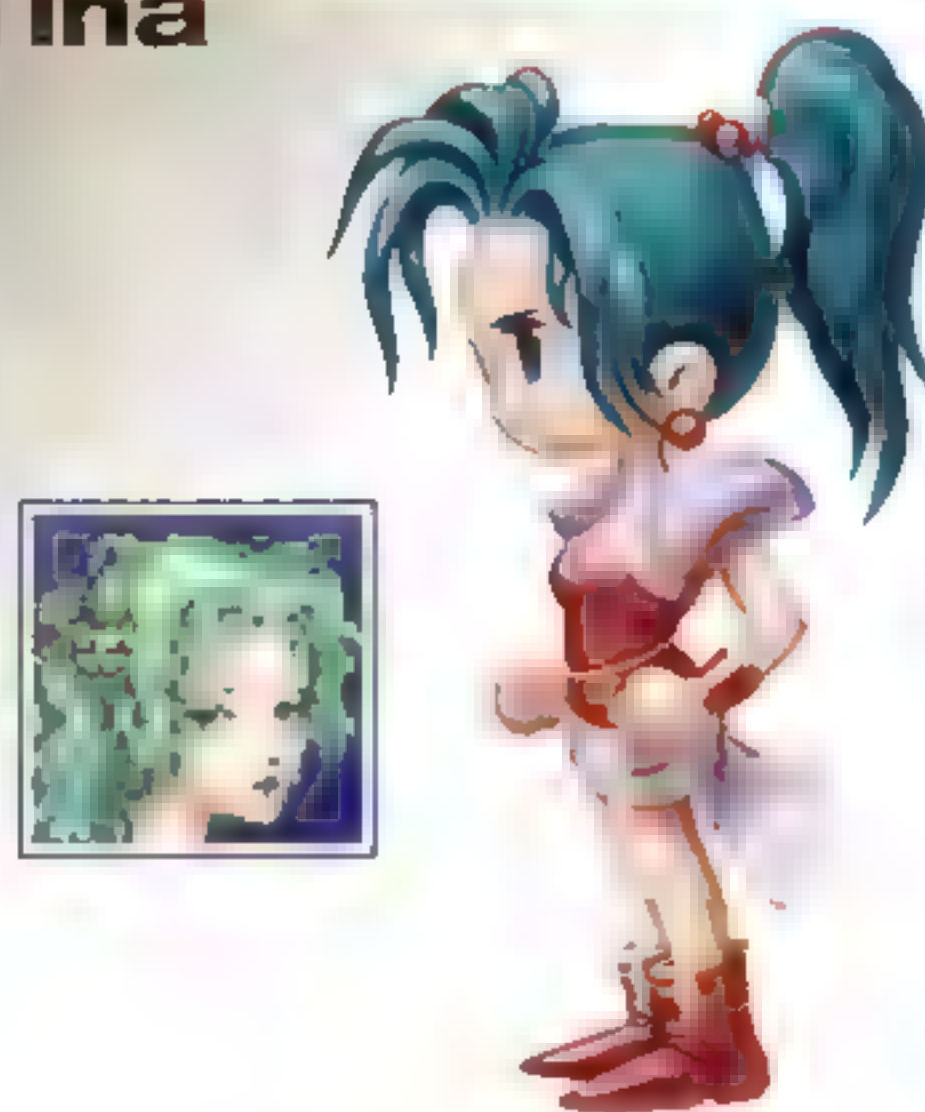
魔石と化した父マディンと再会したことにより己の出自を知り、自分が幻獣と人間の架け橋になろうと決意するも、三闘神の暴走により世界は崩壊。その後、身寄りをなくした子どもたちと暮らすなかではじめて「愛」という感情を理解し、守るべき者のために、神として君臨する元帝国の魔導士ケフカとの戦いを決意する。

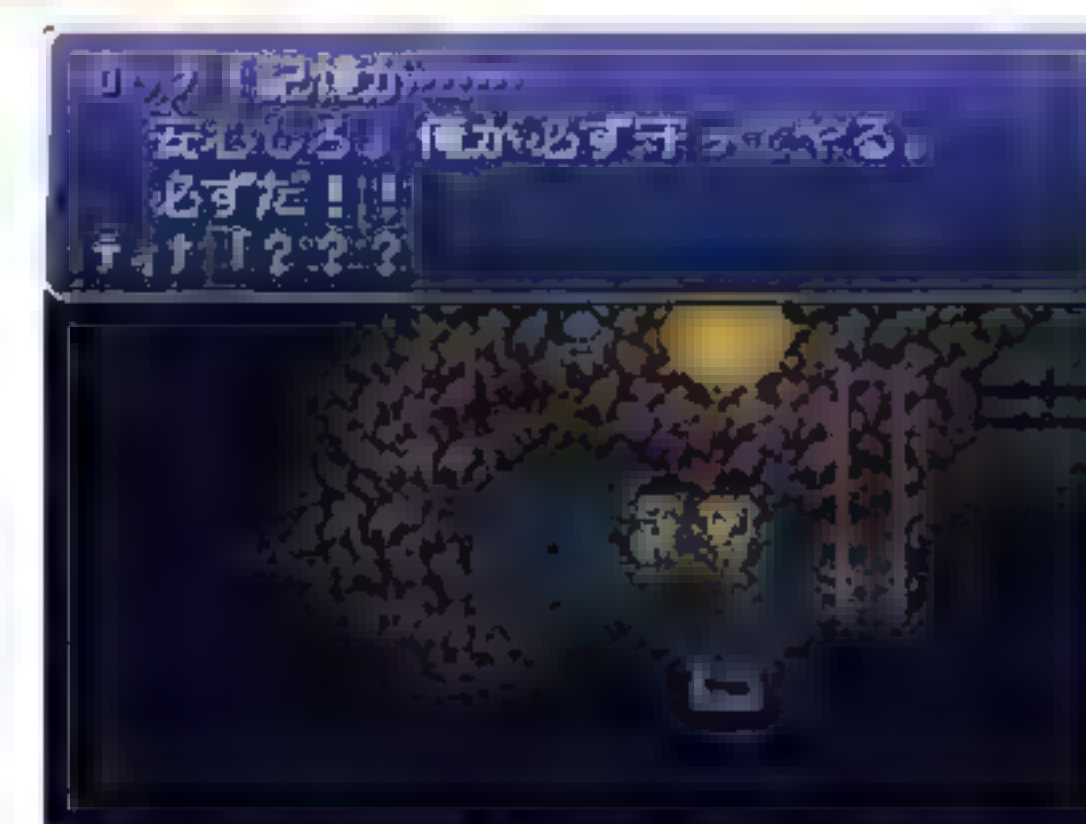
↑氷づけの幻獣との二度目の交感で覚醒したティナは幻獣へと姿を変え、仲間をおいて飛び去ってしまう。

PS

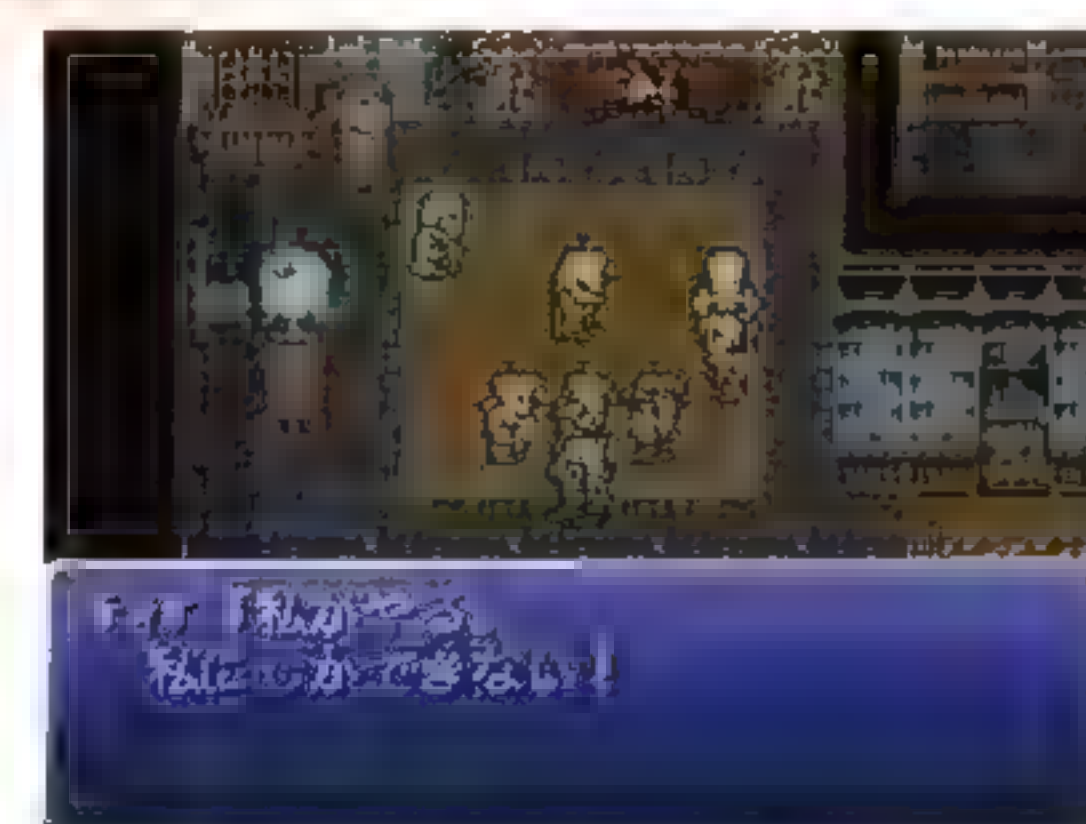
ティナ「私は幻獣と人間の間に
生まれた……
この力も……そのために……

←父親との再会を通じて、両親の悲しき過去を知るとともに、自分に秘められた幻獣としての力を理解する。

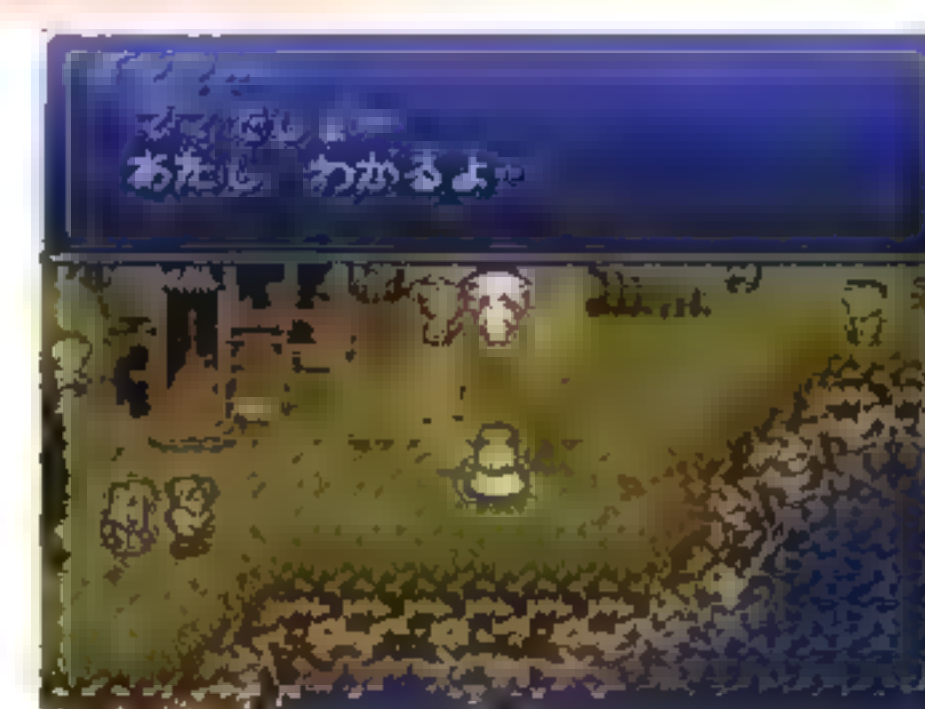
Topics of Tina

手にした自由にとまどいを隠せず

あやつりの輪がはずれて自由の身となったティナは、それまで自分の意思で行動したことがないため、敵と味方の区別はおろか、何が正義なのかもわからずにいた。しかし、人間と幻獣の協力関係を確立できれば帝国の野望を食い止められるかもしれない、とリターナーの長バナンにさとされて自分の進むべき道を見いだし、ナルシェの炭坑にいる氷づけの幻獣とふたたび交感しようと決意する。

↑ロックに手を差し伸べられても、記憶のないティナは自分が何をすればいいのかわからない。

幻獣と人間を結びつける絆

ティナが幻獣と人間のハーフだという事実は、両者のあいだに愛が存在しうることの証明でもある。一見するとかけ離れた存在であるふたつの種が、じつは近しいものなのではないか、とティナは思い当たり、リターナーへ協力するよう幻獣に呼びかける大役を引き受けた。魔大戦の終結以降に断絶していた人間と幻獣の絆をふたたび作り上げられるのは、両者の血を引く自分しかいない、と彼女は確信したのだ。

↑幻獣とリターナーが手を組めば、帝国を倒すことができるとティナは考えた。

無垢な子どもたちから学んだ愛

世界崩壊後にティナが世話をする孤児たちは、帝国やリターナーとはちがって魔導の力を必要とせずに、彼女のことを母親と慕ってくれた。ティナは、純粋に自分の存在そのものを必要とされたことで「愛」を知り、彼らを守ろうとする。

←幻獣の姿になっても、絆を作り上げてきた子どもたちには、その正体がティナだとわかった。

Impressive Words

長いあいだ感情を制御されていたため、自由を得たあとでも愛というものの意味を理解することができずに苦悩するティナ。人間らしくありたいと願う気持ちが、言葉の端々ににじんでいる。

「でも……私には大事な人はいない……」
——リターナー本部：大事な人を帝国に殺されたとロックから聞き

「幻獣と人間が愛し合えるのなら……その子である私と人間とは……愛し合えるのかしら?」
——輸送船：帝国の将軍レオに悩みを打ち明け

「人はみな力が欲しいのね……私みたいになりたいのかしら……」
——サマサの村：レオ将軍の墓前で手を合わせ

「ママはみんなの未来を守りに行く。そして、必ず帰ってくる!」
——モブリズの村：自分を必要としてくれる孤児たちに

ロック

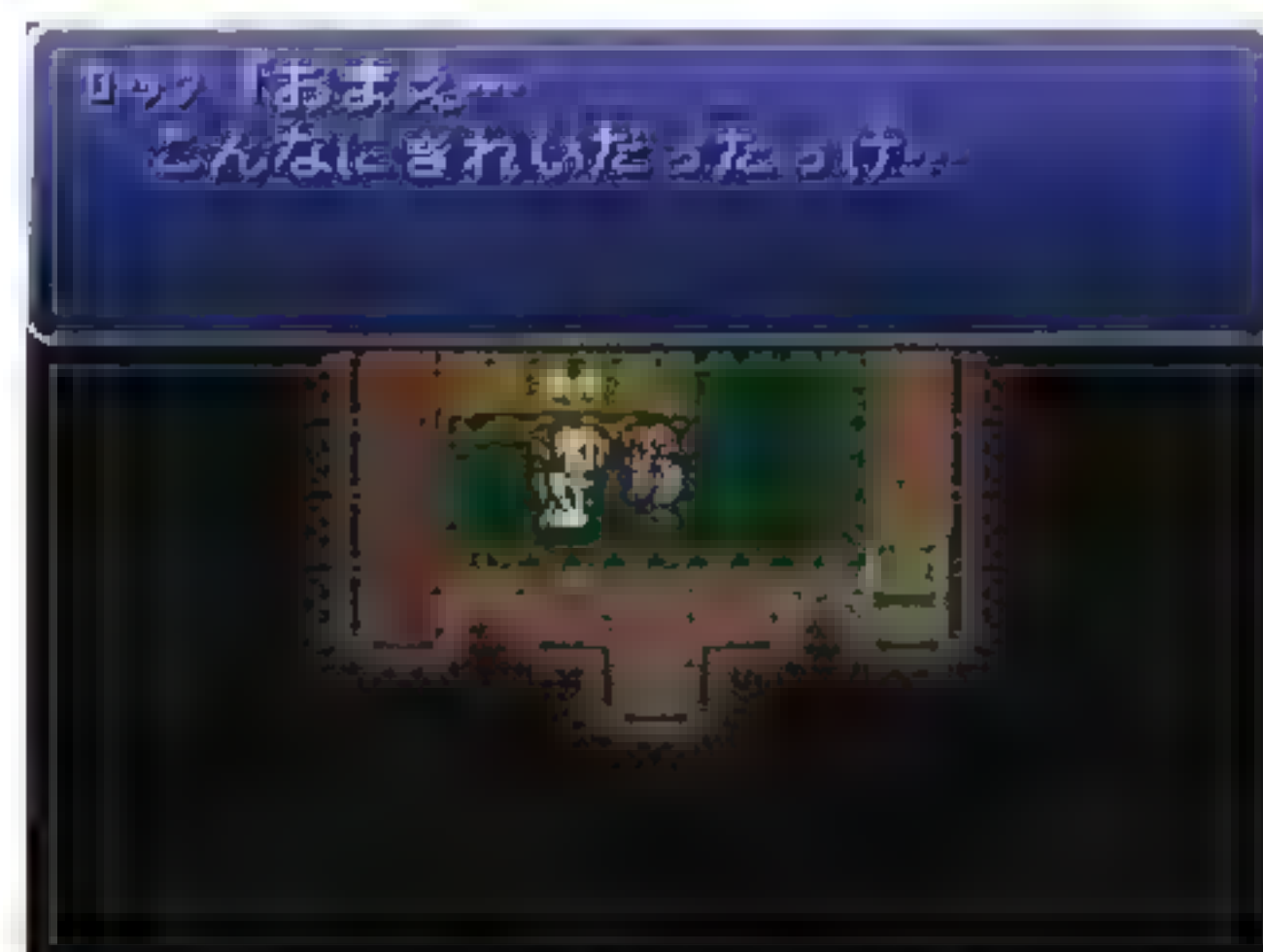
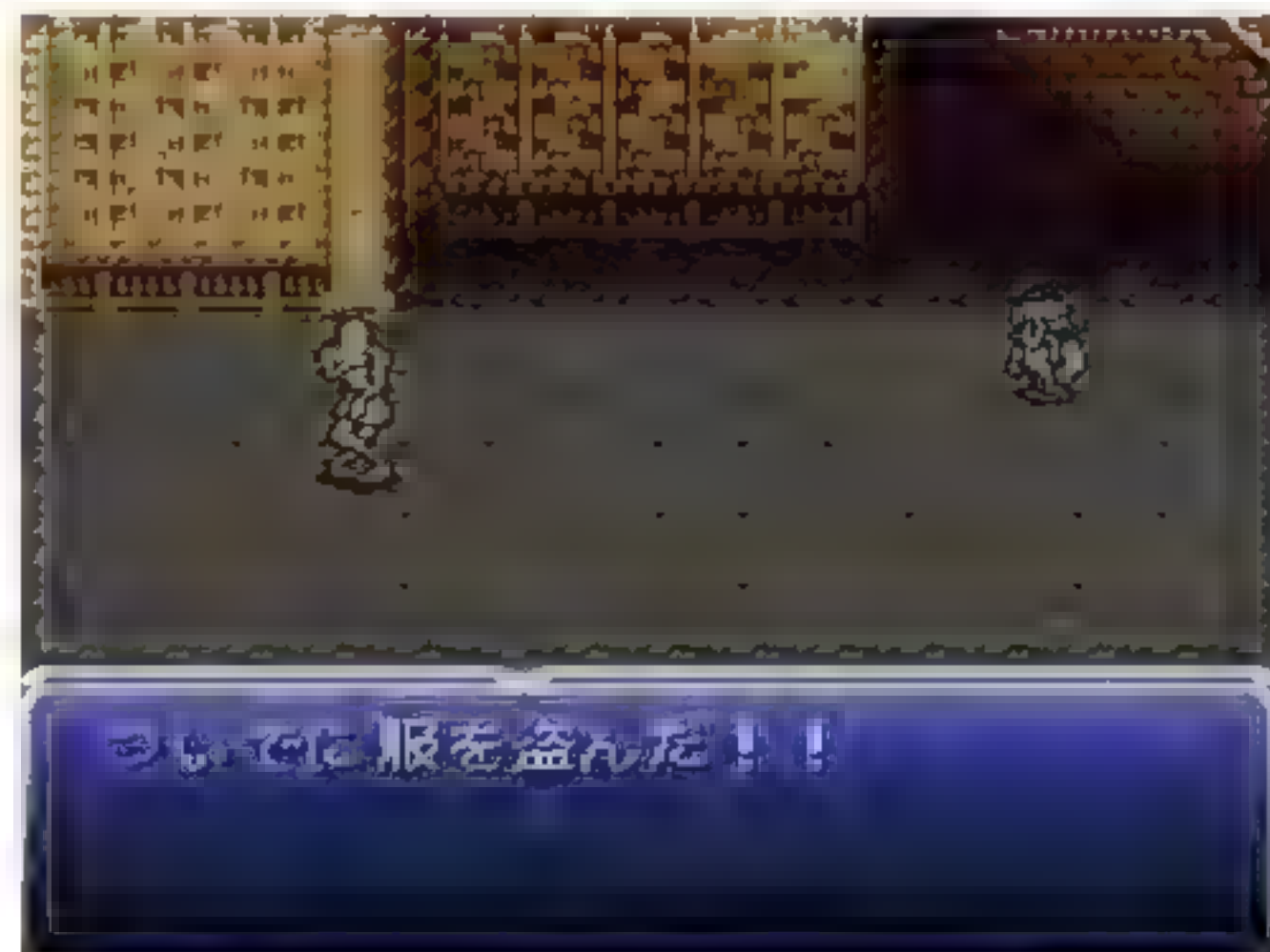
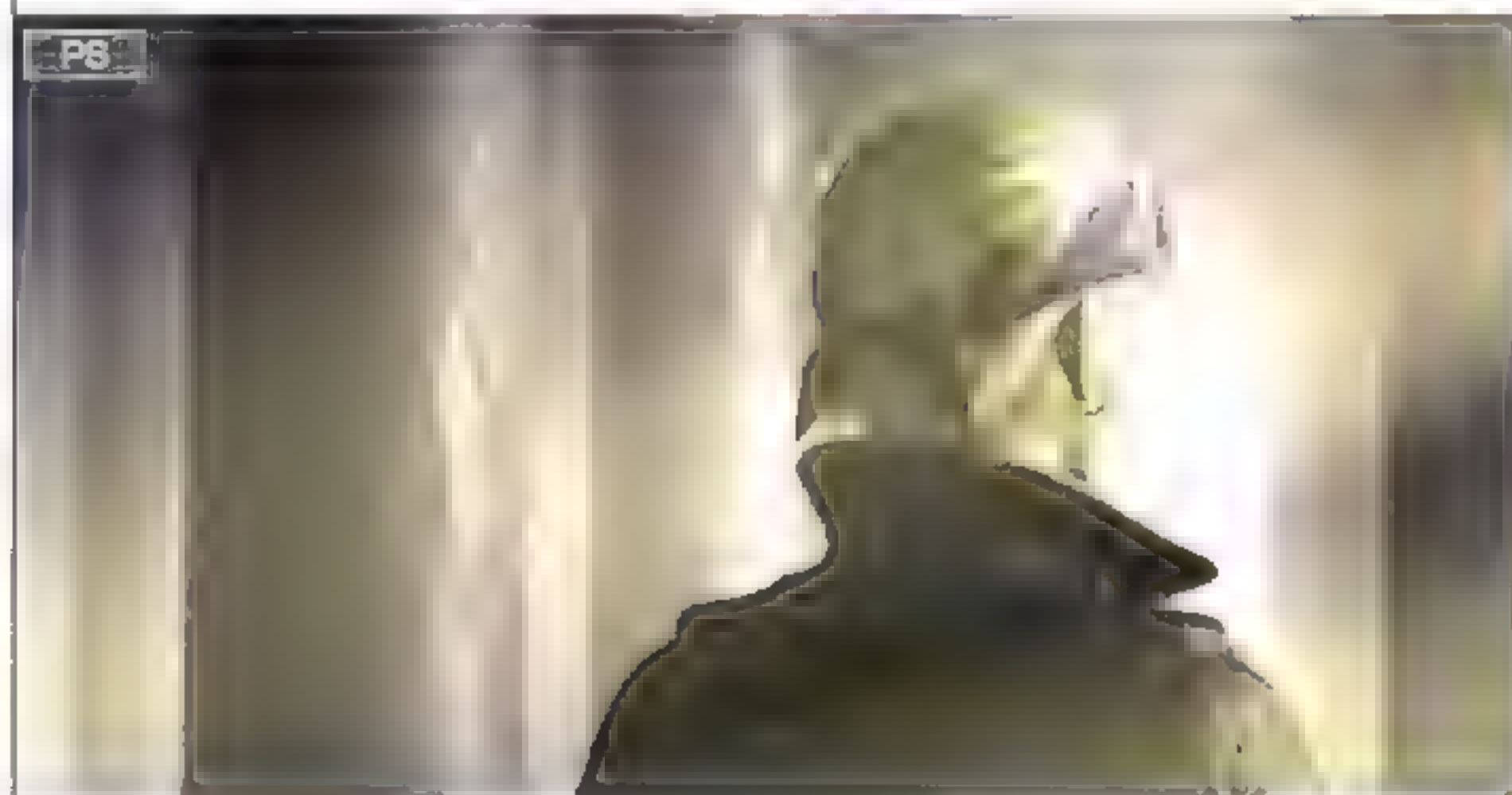
Lock Cole

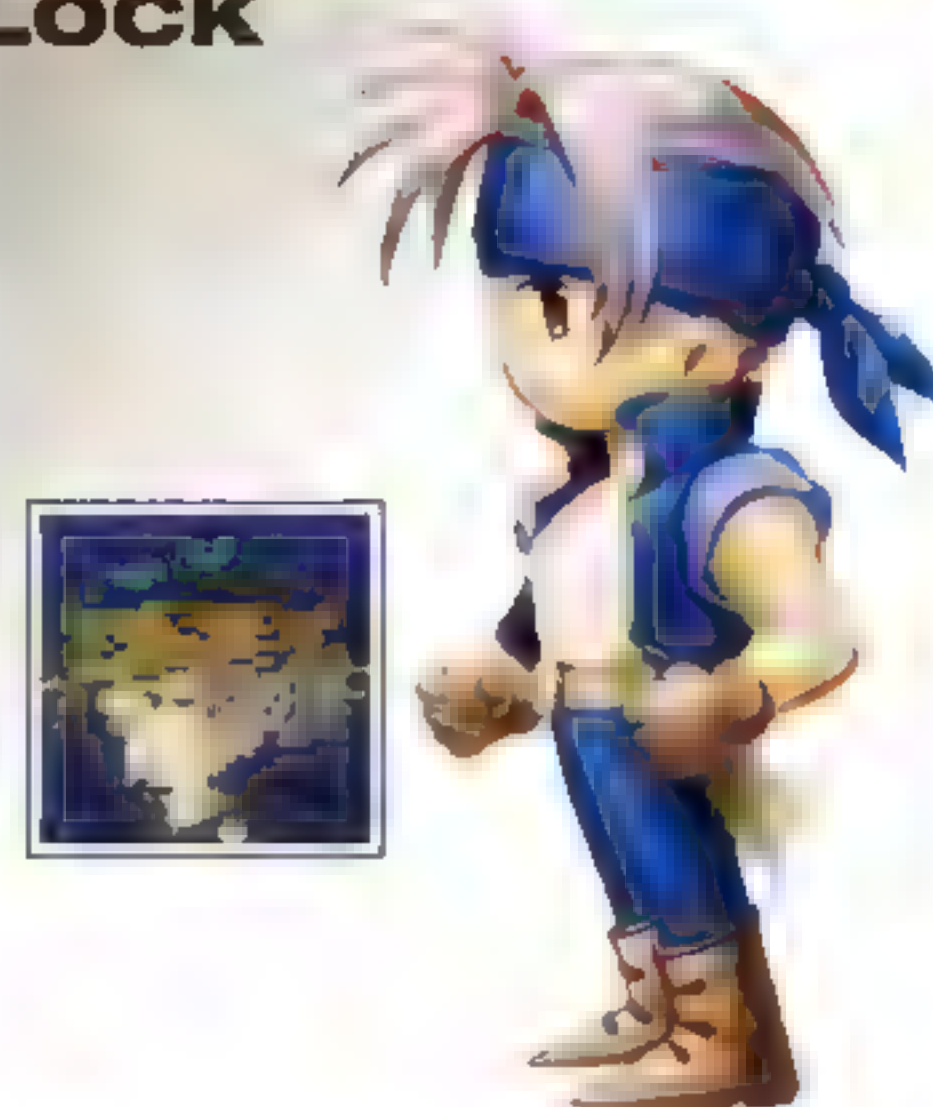
Personal Data

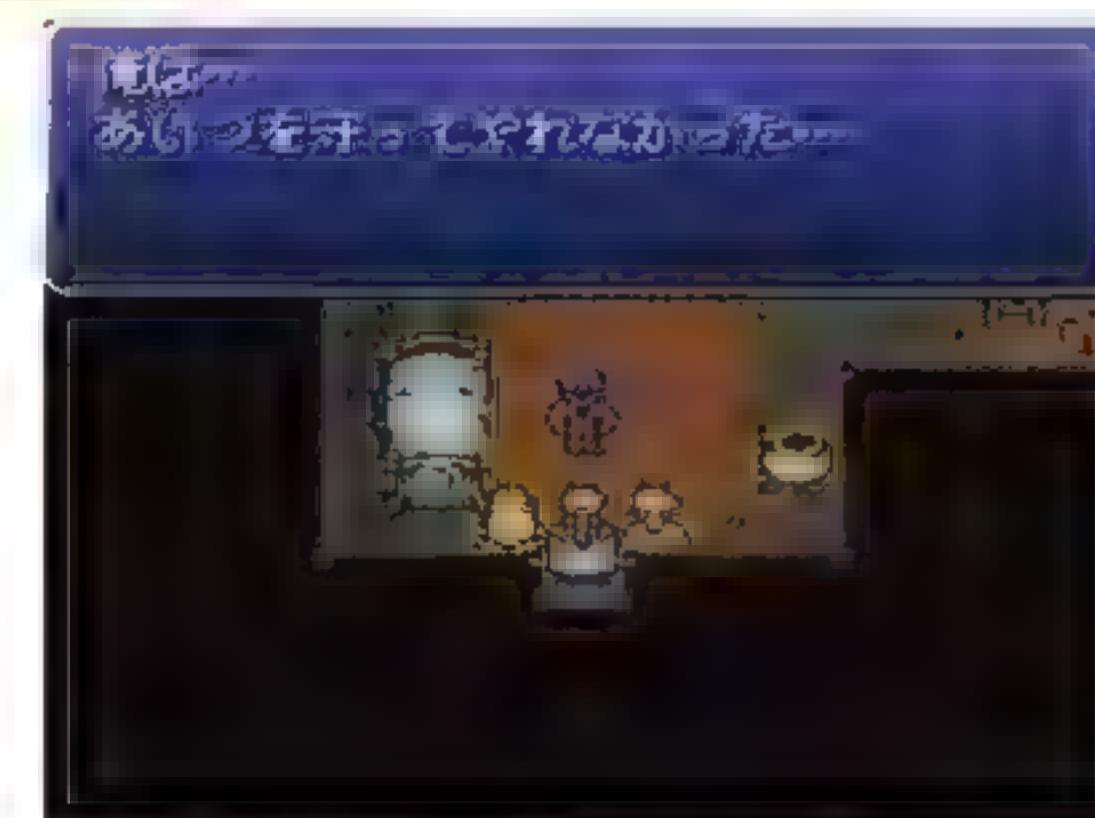
職業	冒険家	出身地	不明		
年齢	25歳	誕生日	11月24日	星座	いて座
身長	175cm	体重	67kg	血液型	O型
宝物	バンダナ				
好きな物	地図	嫌いな物	キノコ		
趣味	野原で昼寝				

秘宝を求めて 世界を放浪する青年

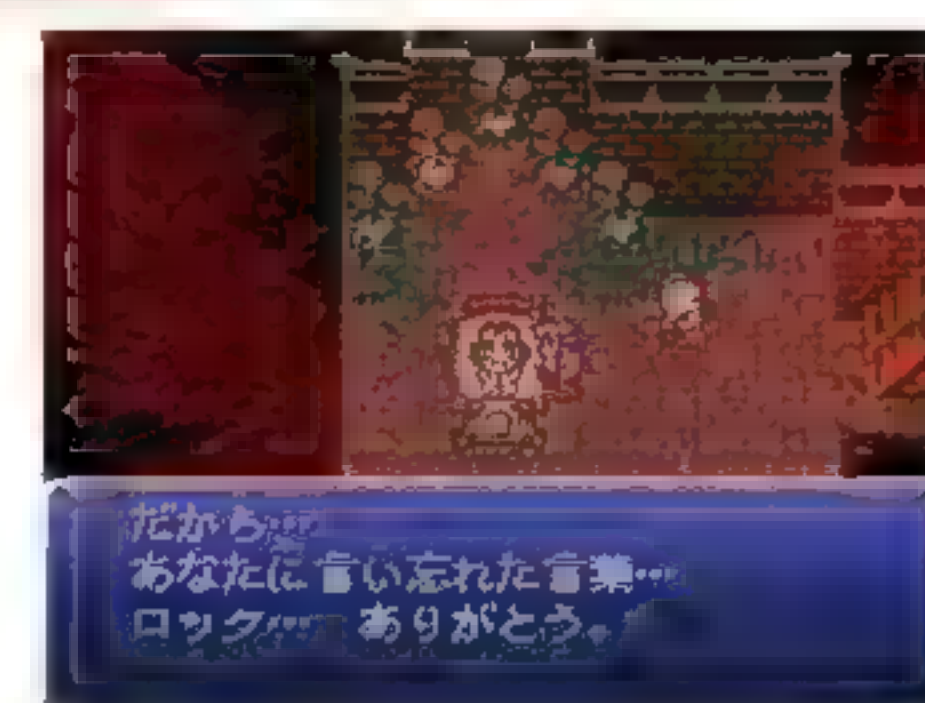
古代の秘宝を手にすべく世界各地をめぐるトレジャーハンター。恋人の命を奪ったガストラ帝国への怒りから、反帝国組織リターナーにも籍を置く。リターナーが共闘を呼びかける炭坑都市ナルシェにて、追われる身となっていた帝国の魔導戦士ティナを救出。それをきっかけに、打倒帝国、ひいては打倒ケフカのための戦いへと本格的に身を投じていく。

ティナやセリスといった、困っている女性を見ると放っておけずに助けようとするのは、恋人を守りきれなかったという後悔の念ゆえ。セリスには初対面から心ひかれ、しだいに愛し合うようになっていくが、それでも恋人を失った記憶が心に暗い影を落としていた。しかし、世界崩壊後に己の過去と決別し、世界を救うべくふたたび仲間とともに戦場に立つ。

⬆オペラ女優マリアに扮したセリスを見て、そのあまりの美しさにロックは思わず顔を真っ赤にしてしまう。

⬅変装するために相手から服を奪うロック。周囲からドロボウと呼ばれることが多いのも無理のない話だ。

Topics of Lock

さまよえる魂を呼びもどすために

ロックは知り合いの老人に依頼し、ガストラ帝国の襲撃で命を落とした恋人レイチェルの遺体を、薬を使って生前の姿のまま保存していた。魂を呼びもどすと言われる秘宝「フェニックスの魔石」を探し求めているのは、そんな彼女を生き返らせるため。レイチェルが死んだのは村に彼女を残したまま旅に出た自分のせいだ、と考えているロックには、それしか過去を清算する方法が思いつかなかったのだ。

⬆何があろうともレイチェルのそばから離れるべきではなかったとロックは自分を責める。

恋人との永遠の別れ

フェニックスの魔石によって一時的によみがえったレイチェルから、「これまでのことには縛られず愛する人を大切にしてほしい」と言われ、過去から解き放たれたロック。もう二度とあのときのような過ちは犯さないためにセリスを、そして世界を守るべく、ふたたび打倒ケフカに立ち上げる。

⬅レイチェルからの変わらぬ愛情が、ロックの背負いつづけてきた重荷を消し去ってくれた。

トレジャーハンターの意外な弱点

大三角島へ向かうために乗りこんだ船で、ロックは不覚にも船酔いしてしまう。各地を旅してまわり、どんな窮地におちいっても持ち前のたくましさで切り抜けてきた彼にも、弱点はあったのだ。その情けない姿をシャドウにしか目撃されなかったのは、不幸中の幸いだったと言えるかもしれない。

⬅世界一のトレジャーハンターを自認するロックだったが、船酔いには勝てなかったようだ。

Impressive Words

つねに相手を思いやり、とくに記憶を失っていたティナに対しては、レイチェルとの過去を重ね合わせ、過剰と思えるほどの気づかいを見せる。

「ど・ろ・ぼ・う？　俺を呼ぶならトレジャーハンターと言ってくれ!」
──炭坑都市ナルシェ：ジュンから泥棒呼ばわりされ

「記憶が……。安心しろ。俺が必ず守ってやる。必ずだ!!」
──炭坑都市ナルシェ：ティナに記憶がないと知り

「好きになった女に何もしてやれずに失ってしまうのは……もうゴメンなだけさ」
──オペラ劇場：自分を助けた理由をセリスに聞かれ

「だいじょうぶ。レイチェルが俺の心に光をくれた」
──コーリンゲンの村：レイチェルの言葉で過去と決別し

エドガー

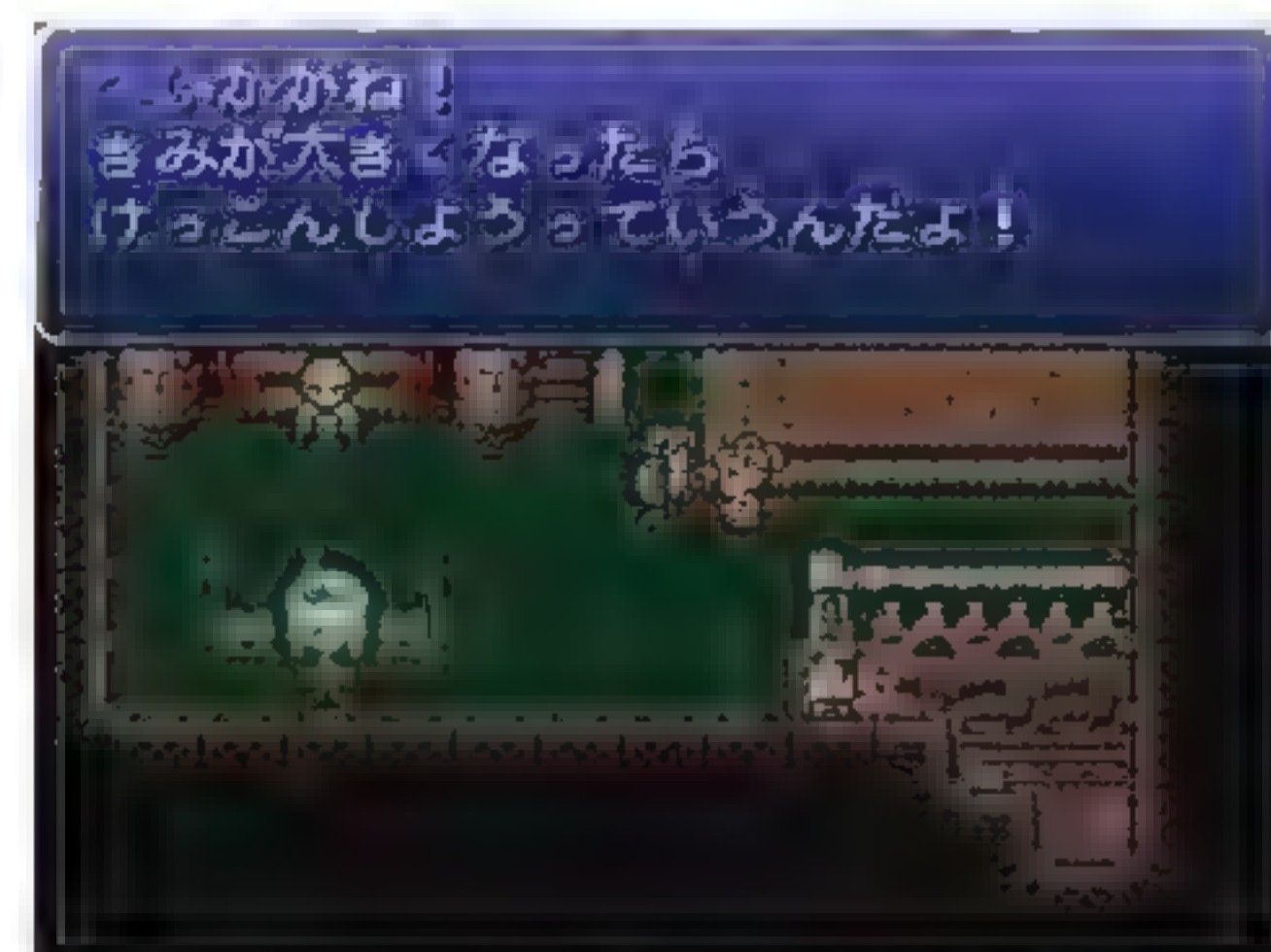
Edgar Roni Figaro エドガー・ロニ・フィガロ

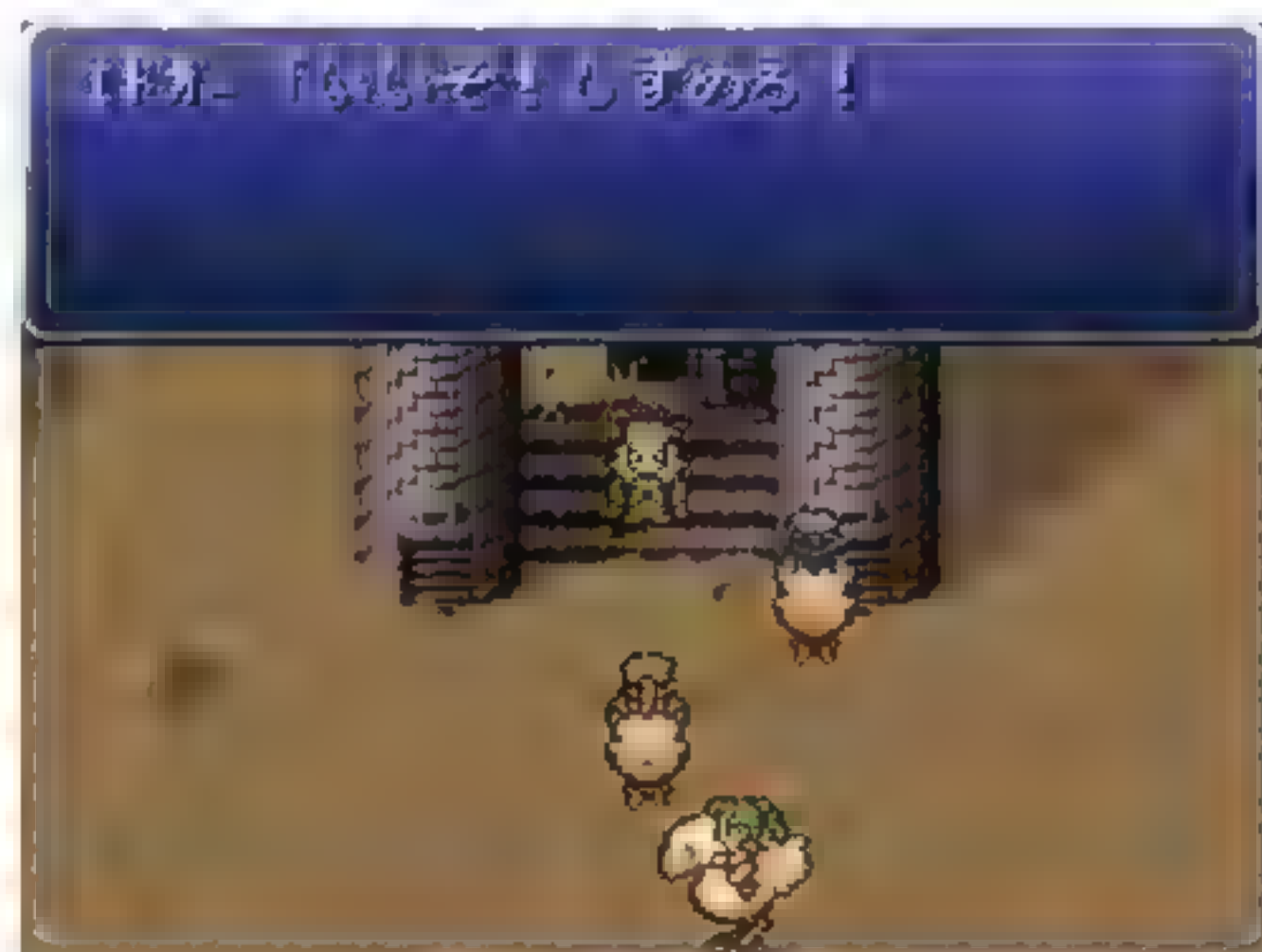
Personal Data

職業	マシーナリー	出身地	フィガロ王国		
年齢	27歳	誕生日	8月16日	星座	しし座
身長	183cm	体重	77kg	血液型	O型
宝物	表裏一体のコイン				
好きな物	女性	嫌いな物	説教		
趣味	ヘンな武器開発、寝室の模様がえ				

女性を見ると口説かずにおれない国王

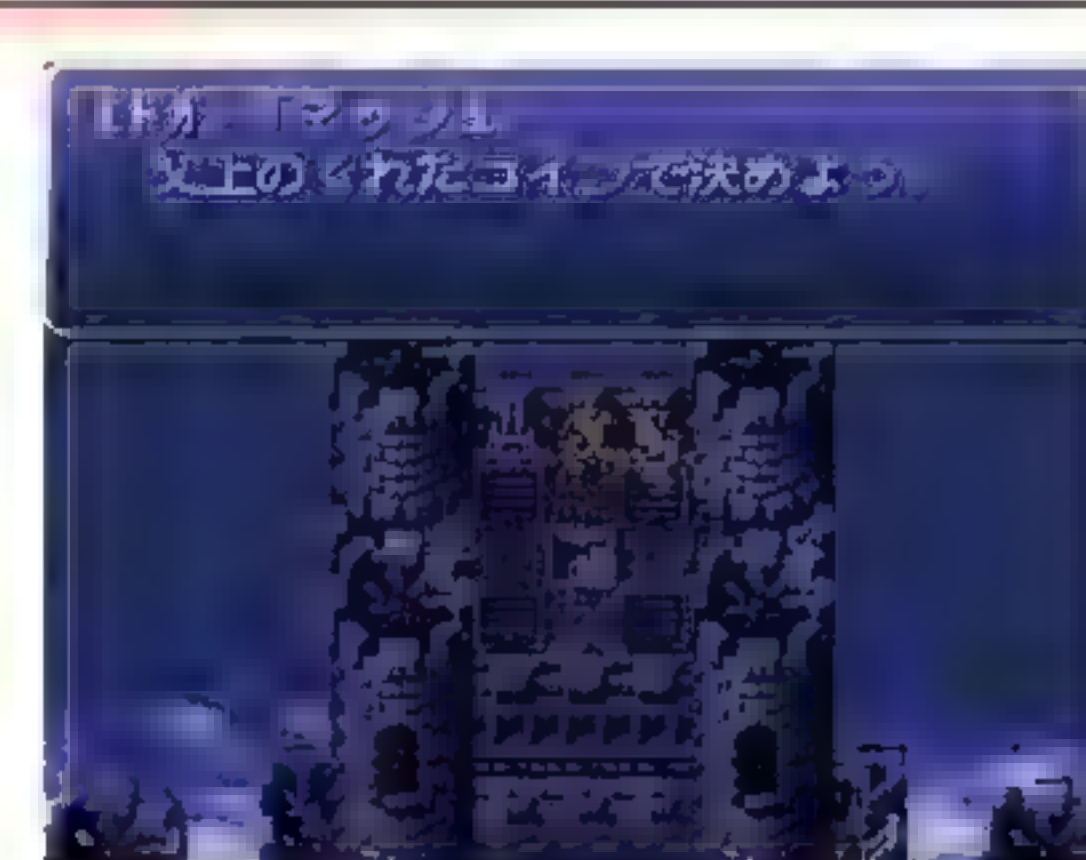
砂漠の王国フィガロを治める若き王。砂地に潜行可能な城を有し、機械文明の旗手と名高いだけあってさまざまな機械兵器を使いこなす。民衆の利益を第一に考えてガストラ帝国と同盟を結んでいるものの、裏ではリターナーと手を組んでおり、帝国への反撃の機会をうかがっていた。そんな折にロックを介してティナと出会い、彼女をめぐって魔導士ケフカと衝突。機が熟したと判断し、帝国に反旗をひるがえす。

飾らぬ性格で民に慕われる一方、無類の女好きとして知られており、追われているティナを保護したときにも真っ先に口説こうとしたほど。世界崩壊後は、盗賊団の首領「ジェフ」を名乗り、砂に埋もれたフィガロ城に閉じこめられている民衆を救ったところで仲間と合流。ふたたび世界を救う戦いに身を投じる。

↑エドガーの女好きは有名。老婆から少女まで、フィガロ城のなかで彼に口説かれなかった者はいないらしい。

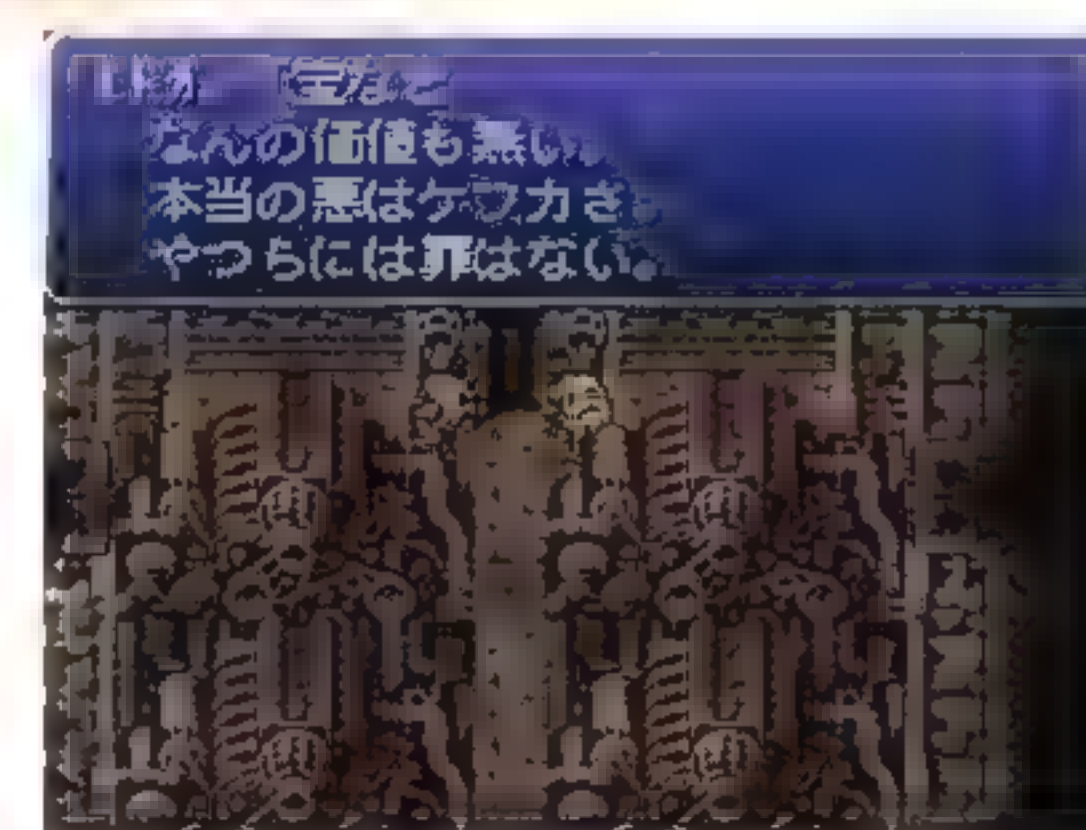
-PS-

↑攻めこんできた帝国の追撃をかわすため、エドガーは城を砂地にもぐらせて民衆の安全を確保する。

Topics of Edgar

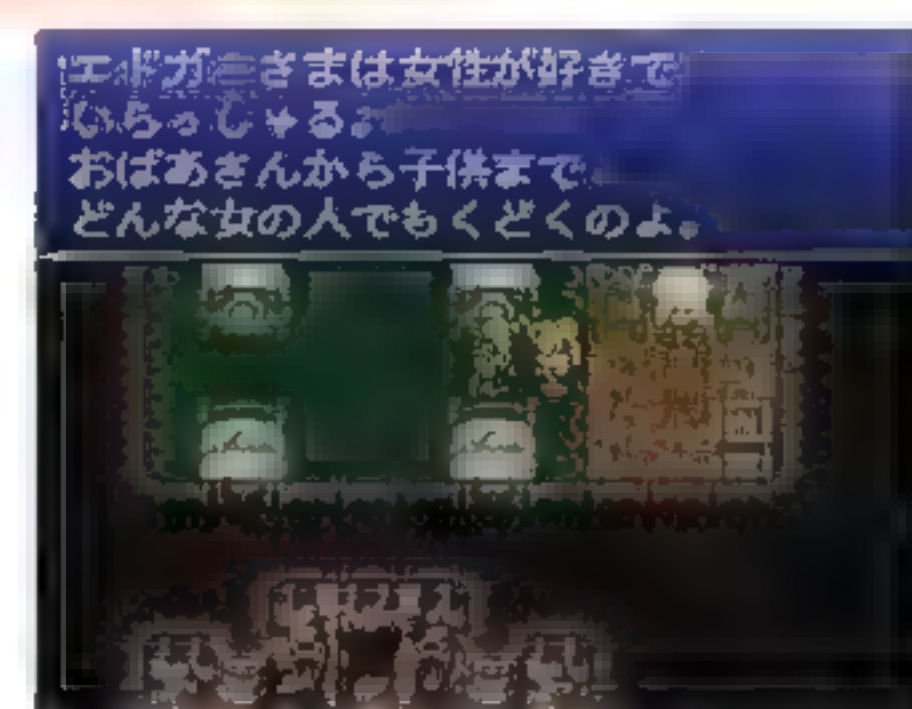
弟を想う兄の気持ち

10年前、先王の崩御にともない、エドガーと弟マッシュのどちらかがフィガロの王位を継承しなければならない事態となった。そこでエドガーがひそかに取り出したのは、父の遺品のひとつである、両面が表という珍しいコイン。マッシュが自由を欲し、城を出たいと願っていることを感じ取っていたからこそ、エドガーはそのコインを使ってわざと賭けに負け、自分が王になる道を選んだのだった。

↑エドガーは弟を想う気持ちから、コインの表が出たらマッシュの勝ちという取り決めをした。

民衆のために命をかける

世界崩壊後、砂漠のなかを進んでいたフィガロ城が事故で機能を停止したと聞きつけたエドガーは、内部に取り残された人々の救出を決意する。しかし、地中の城へ至る道を知っているのは、収監されていたフィガロ城の牢から地上へと逃れてきた盗賊たちのみだった。それを知ったエドガーは、ジェフという偽名を使い、危険を承知で彼らに接近。城の財宝をエサに地中の案内をさせ、民を助け出そうとする。

↑民衆の窮地を救ったエドガーは、本当の悪であるケフカを倒すため、セリスたちに合流する。

それはレディに対する礼儀

エドガーに言わせれば、女性を口説くのは単に女好きだからではないらしい。そうするのが相手に対する礼儀だという固い信念を持っているのだ。言い寄っているように見えても、彼にしてみればただのコミュニケーションのつもりなのだろう。

↑エドガーにとって相手の年齢は関係ない。女性であれば見境なく声をかけるのが流儀。

Impressive Words

全編を通して女性を相手にしたときの軽い言葉ばかりが目立つ。しかし、王としての自覚をしっかり持っているため、いざという場合の言動には優しさと威厳が満ちあふれている。

「まず君の美しさが心をとらえたからさ。第2に君の好きなタイプが気にかかる……。魔導の力の事はその次かな」
――フィガロ城：ティナに自分を助ける理由を聞かれ

「帝国は悪だ。だが、そこにいた者すべてが悪ではない」
――炭坑都市ナルシェ：セリスに詰め寄るカイエンをなだめ

「さすがに犯罪か……やめとこう」
――サマサの村：リルムを口説こうとしたが10歳だと聞き

「レディにやさしくってのは世界のじょうしきなんだよ」
――港町ニケア：変装中、セリスに正体がバレそうになってごまかし

マッシュ

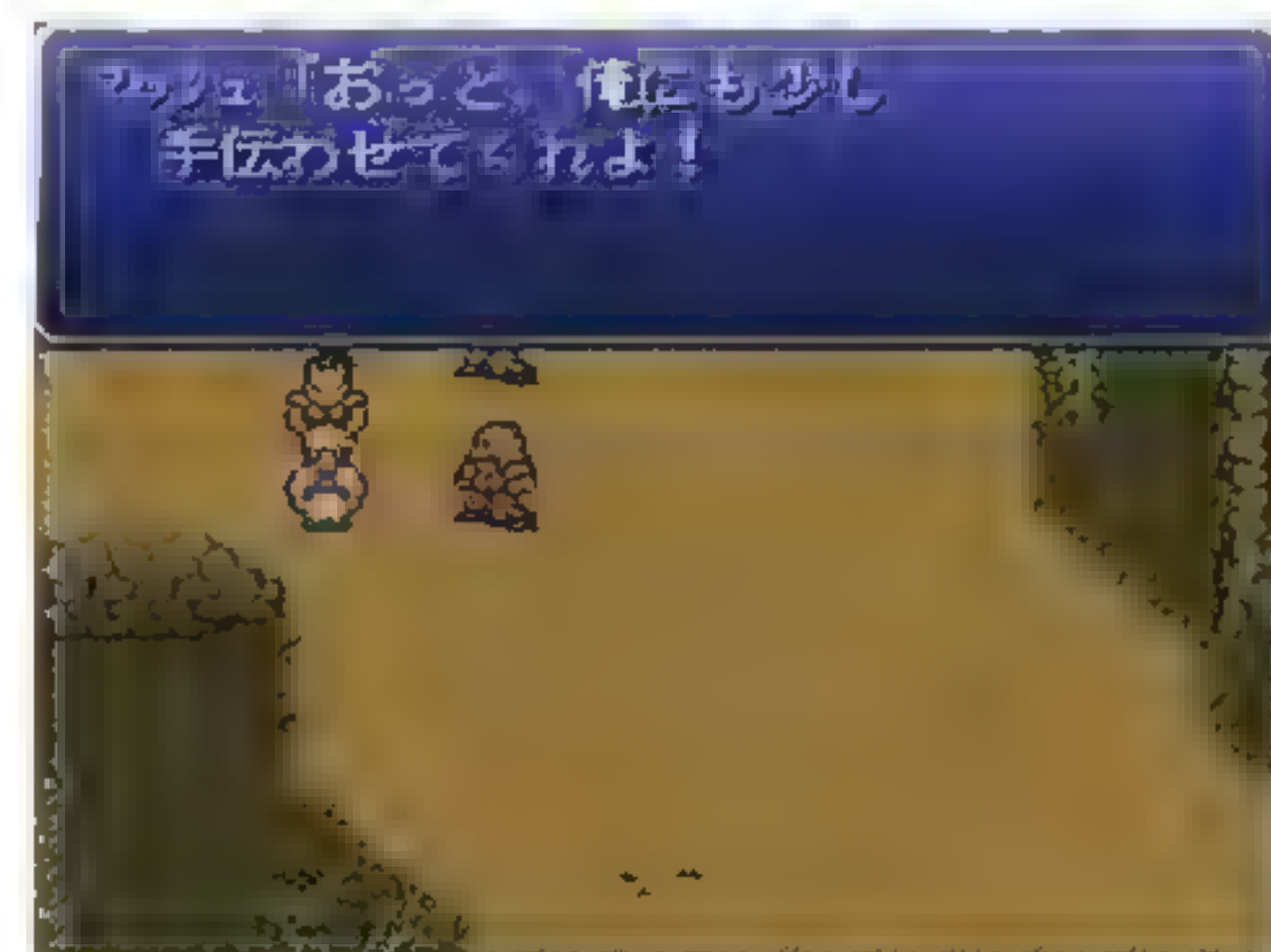
Mash Rene Figaro　マッシュ（マシアス）・レネ・フィガロ

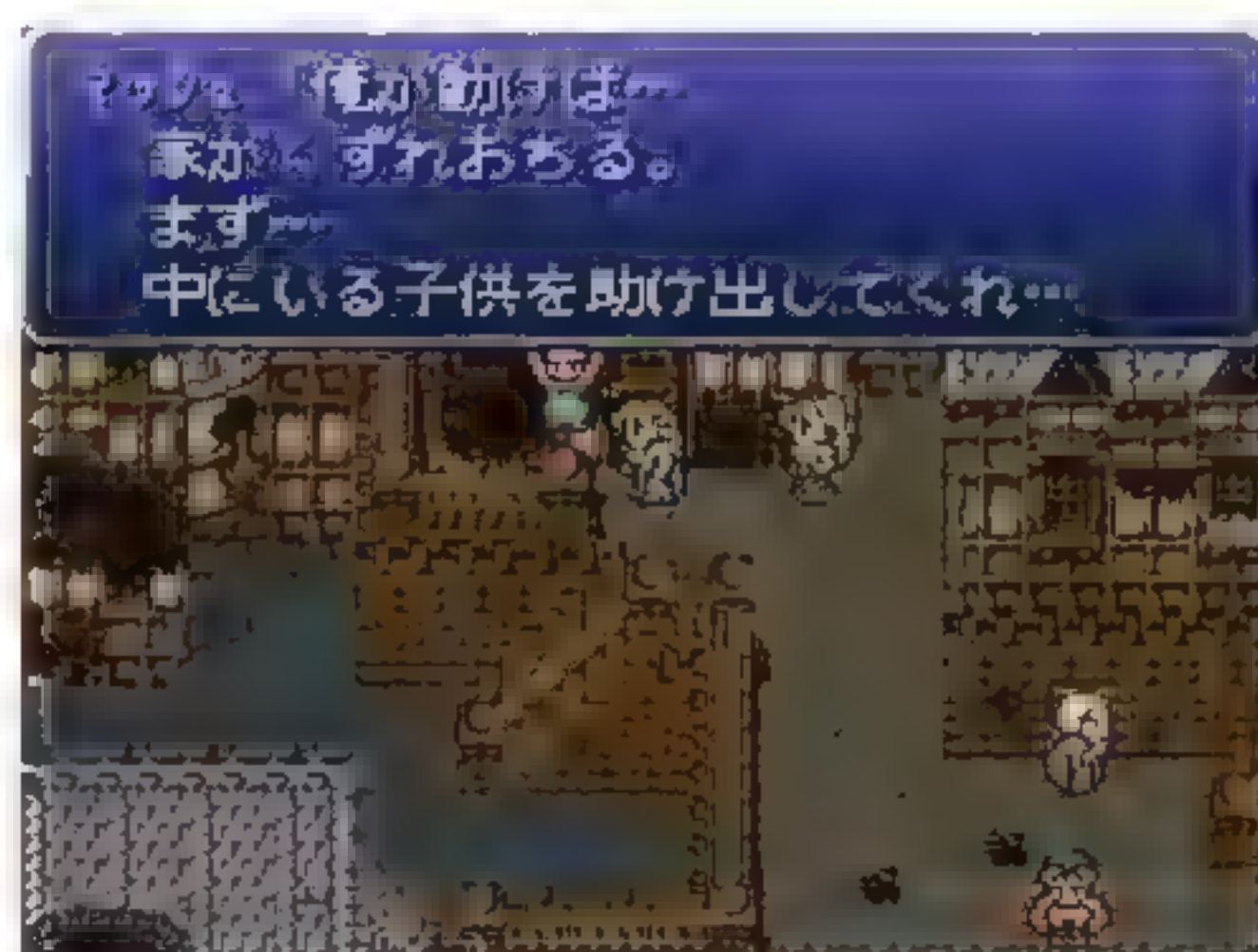
Personal Data

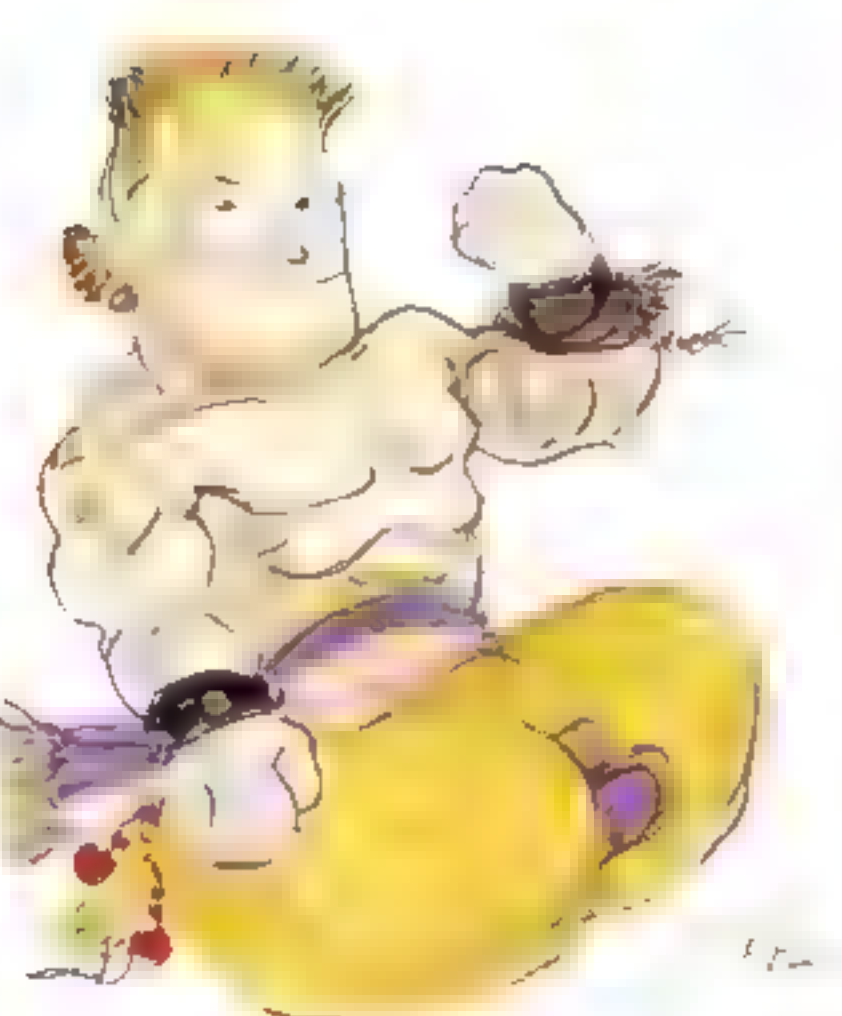
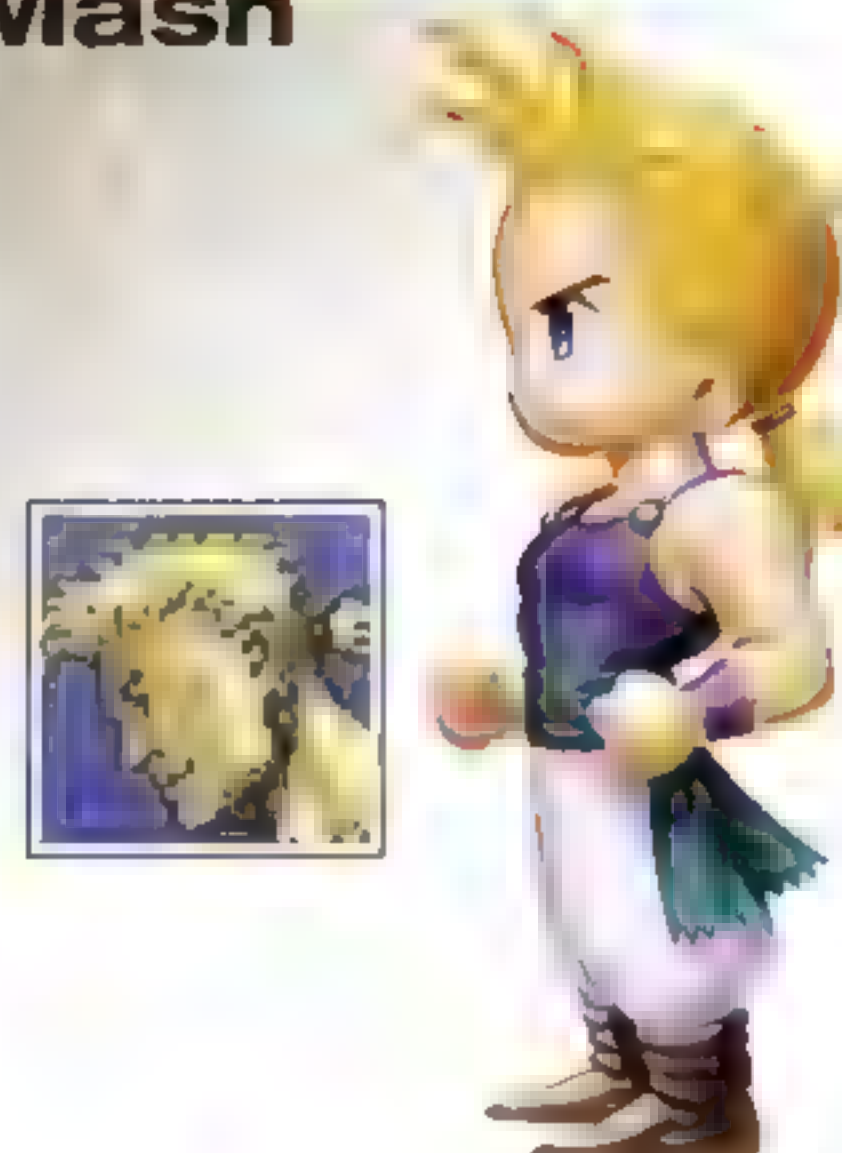
項目	内容	項目	内容	項目	内容
職業	モンク	出身地	フィガロ王国		
年齢	27歳	誕生日	8月16日	星座	しし座
身長	190cm	体重	106kg	血液型	O型
宝物	表裏一体のコイン				
好きな物	くるみ	嫌いな物	ナッツイーター		
趣味	修行				

兄を陰から支えるため修行に明け暮れる熱血漢

フィガロ王エドガーの双子の弟。本名はマシアスというが、誰からも親しみをこめてマッシュと呼ばれている。17歳のとき、王位継承者を決めるコイントスで兄に勝ったことで自由を選び、祖国を出たあとは格闘家ダンカンのもとで己の技を磨いてきた。幼少時はひ弱で小さな身体をしていたものの、10年にもおよぶ厳しい鍛練を経てたくましく成長。コルツ山で再会した兄からフィガロが帝国との同盟を破棄したと聞き、仲間に加わる。

世界崩壊後も、悪を憎み、正義のために命をかける生きかたはまったく変わらず、平和な世界を取りもどすべく戦う。物語終盤には、死んだとばかり思っていた師匠ダンカンと再会。三闘神の力を得たケフカを倒すための技として、究極奥義「夢幻闘舞」を授かる。

↑帝国と戦っているから、という理由だけでカイエンに加勢。戦いを通してすっかり打ち解けてしまう。

-P8-

↑世界崩壊後は、見知らぬ子供を助けるために、くずれかけた家を支えていたところで、仲間たちが合流する。

Topics of Mash

兄を支えるための力

国内の争いごとに嫌気がさして城から出ていったマッシュだが、兄ひとりに国を押しつけようと思っていたわけではない。王として国を動かすエドガーを、自分が裏から支えるべきだとの思いから、ダンカンのもとで厳しい修行を積んできた。10年にもおよぶ鍛錬の成果で、いまではティナにクマと見まちがえられるほどたくましい体つきとなっており、帝国相手に自分の力を発揮できることを喜んでいる。

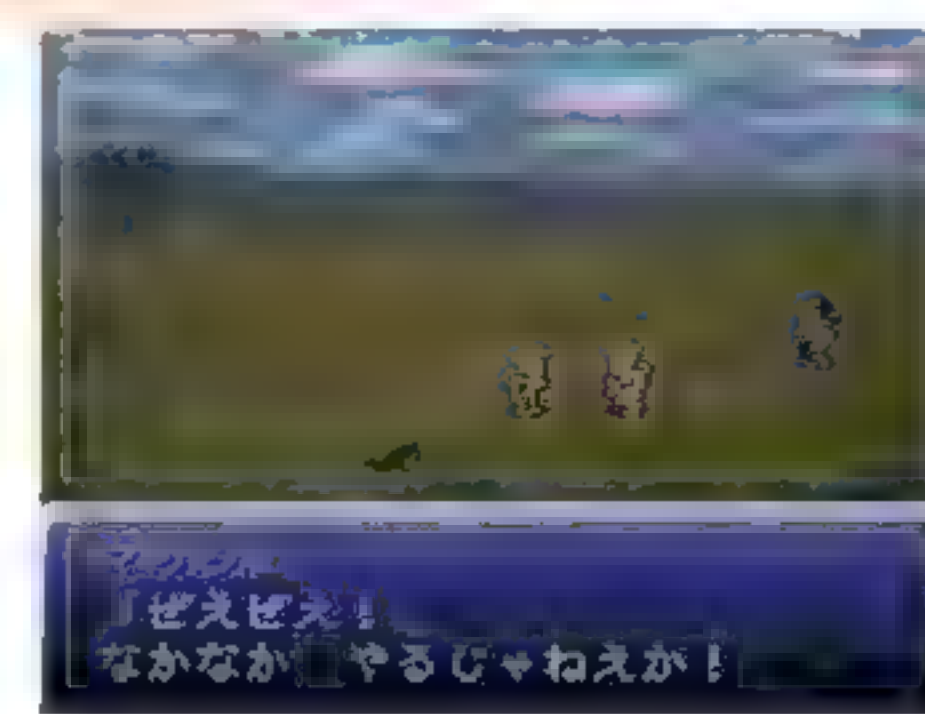
↑エドガーとマッシュ。性格はちがえども、祖国を、そして世界を憂う気持ちに変わりはない。

兄弟子との悲しき闘い

まっすぐな気持ちで修行に打ちこんでいたからこそ、マッシュは師匠ダンカンに認められた。しかし、ダンカンの実の息子にして一番弟子のバルガスはそれをこころよく思わず、嫉妬からマッシュに勝負を挑んでくる。望まぬ闘いであったが、相手を倒さねば自分が倒されるのは明白。マッシュがダンカンより受け継いだ技でバルガスにトドメを刺したのは、少しでも師匠の気持ちを伝えたかったからだ。

↑師匠ダンカンの心を伝えようとするマッシュだが、最後までバルガスの理解は得られない。

子ども相手に真剣になることも

ティナにクマとまちがわれたときは笑って受け流すマッシュだが、相手が子どもとなると話は別。ガウに「こわいんだろ？」と聞かれたり、リルムから「キンニク男」と呼ばれりしたときにはつい言い返してしまうなど、子どもっぽい一面を持つ。

↑獣ヶ原で出会った少年ガウの挑発に乗ってしまったりと、ときおり子ども相手にムキになる。

Impressive Words

少年がそのまま大きくなったかのように、こまかなことはいっさい気にしない、大ざっぱな言動が目立つ。その一方で帝国を憎む気持ちは人一倍強く、言葉の端々に、うちに秘めた決意の固さがにじみ出ている。

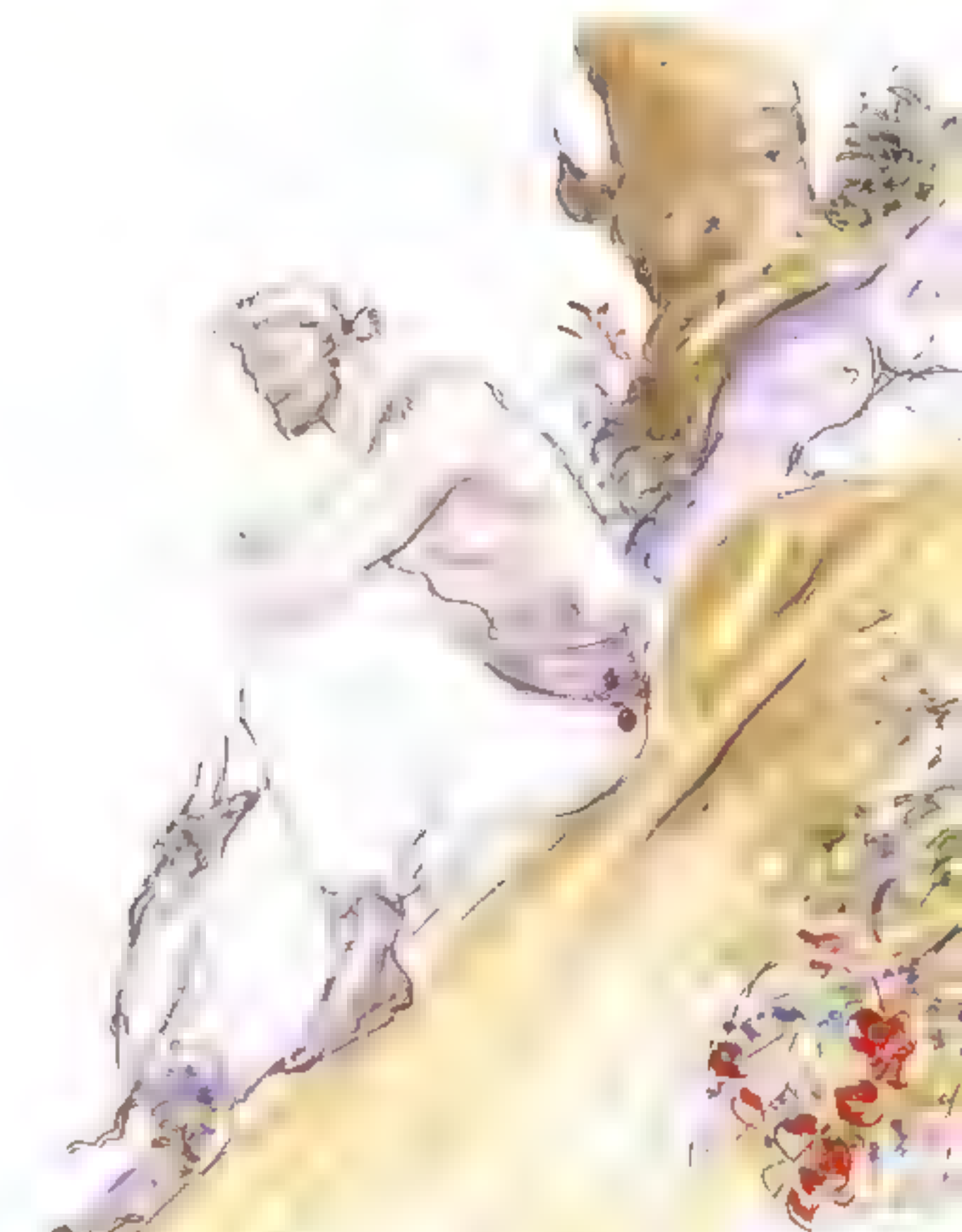
「昔から兄貴の言う事に間違いは無かった。いつも俺の事を思ってくれたからな。
ティナも信用していいと思うぜ」

——リターナー本部：リターナーに協力すべきか迷うティナに

「ふっ……変わらないな……この城も……。いや……ちがう……
もうここには親父もおふくろもいない……もう誰も……あの日から……」

——フィガロ城：10年ぶりにもどった城で感慨深げに

「たとえ、裂けた大地に、はさまれようとも、おれの力でこじあける!」

——ツェンの町：世界崩壊後、セリスとの再会を果たし、師匠ダンカンと同じ言葉を口にする

シャドウ

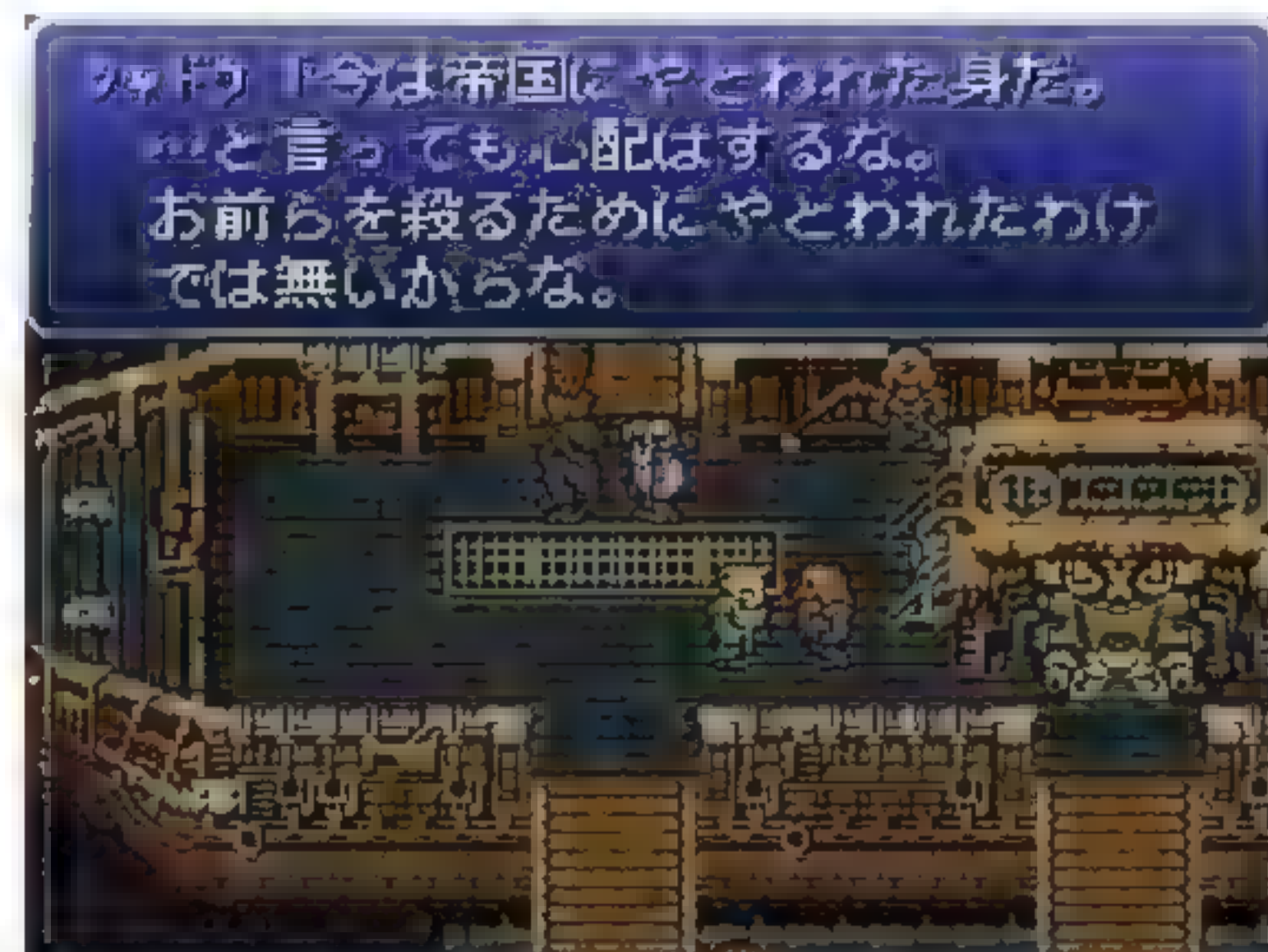
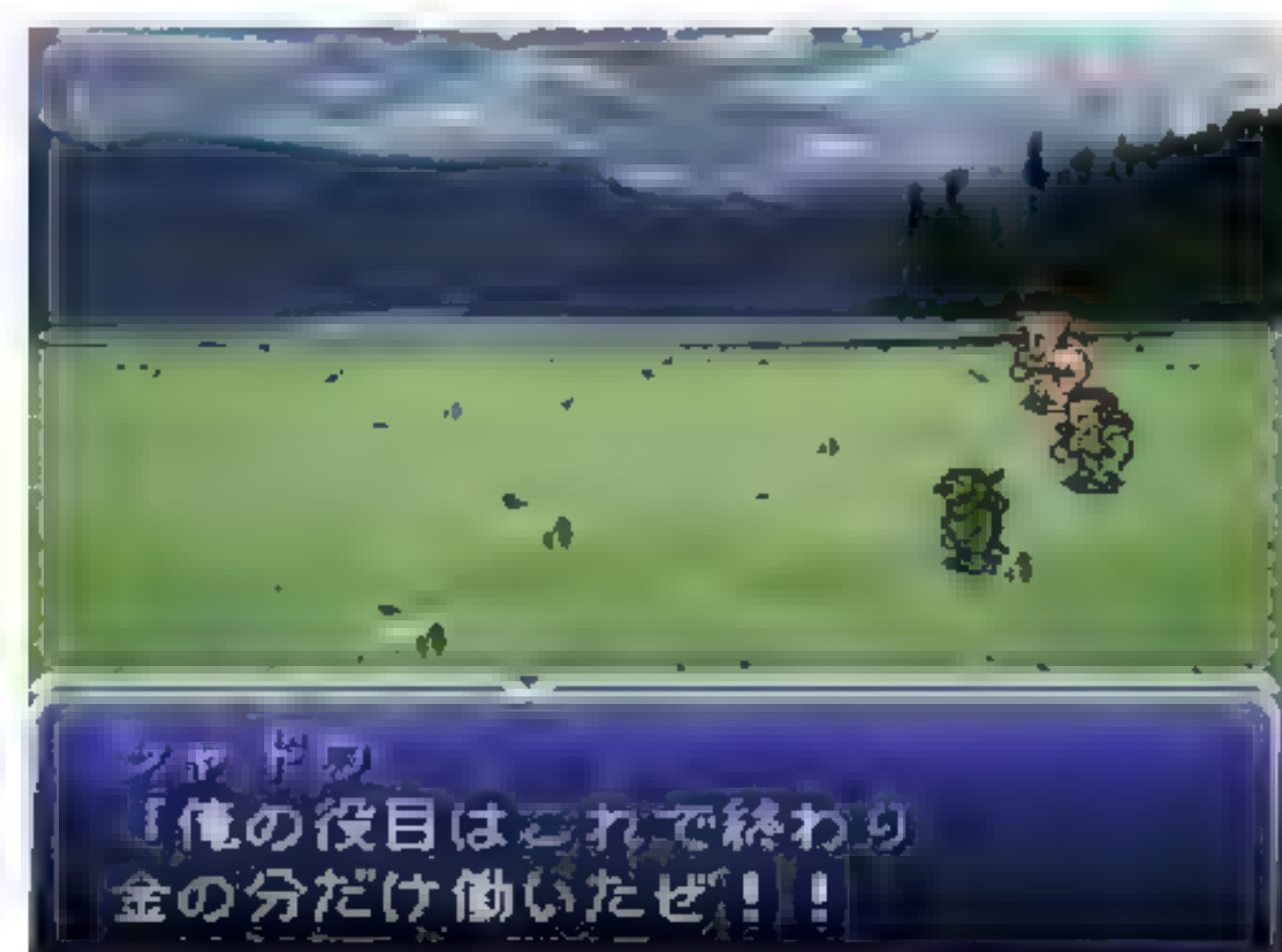
Shadow シャドウ(クライド)

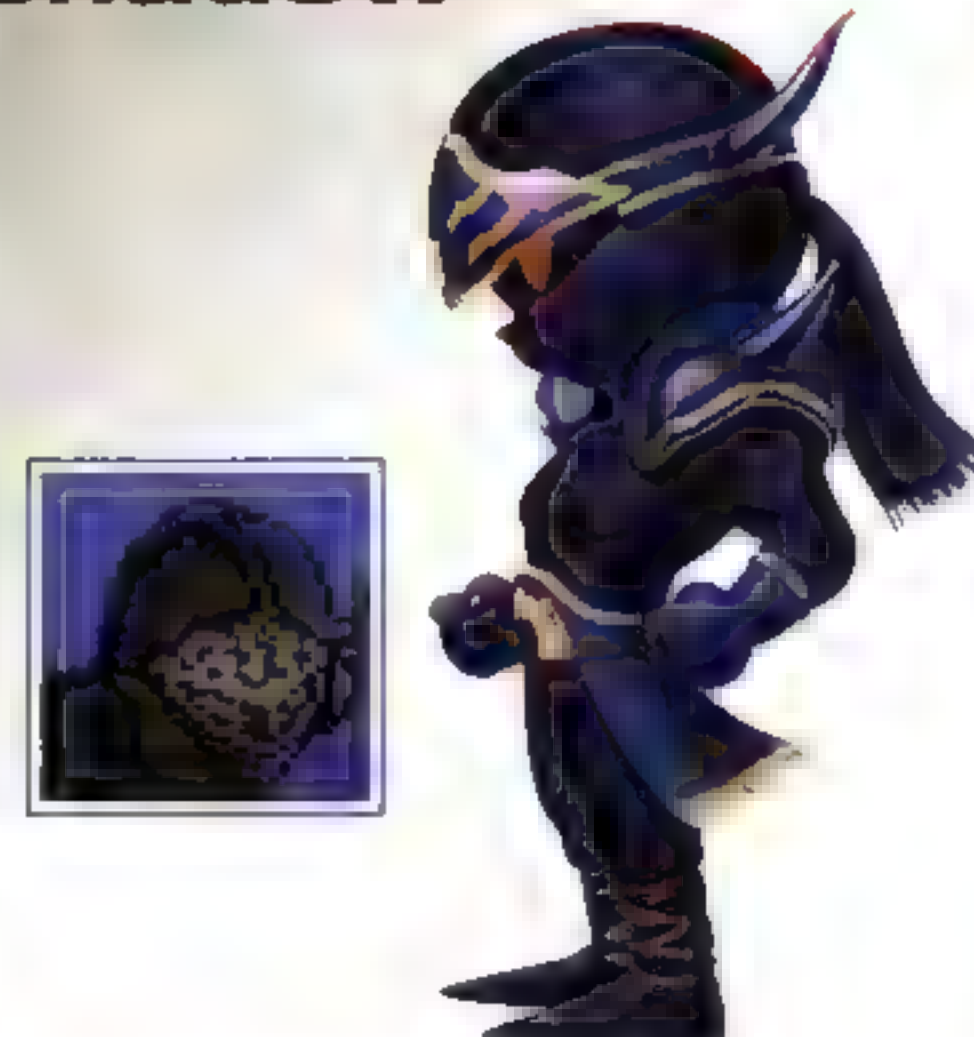
Personal Data

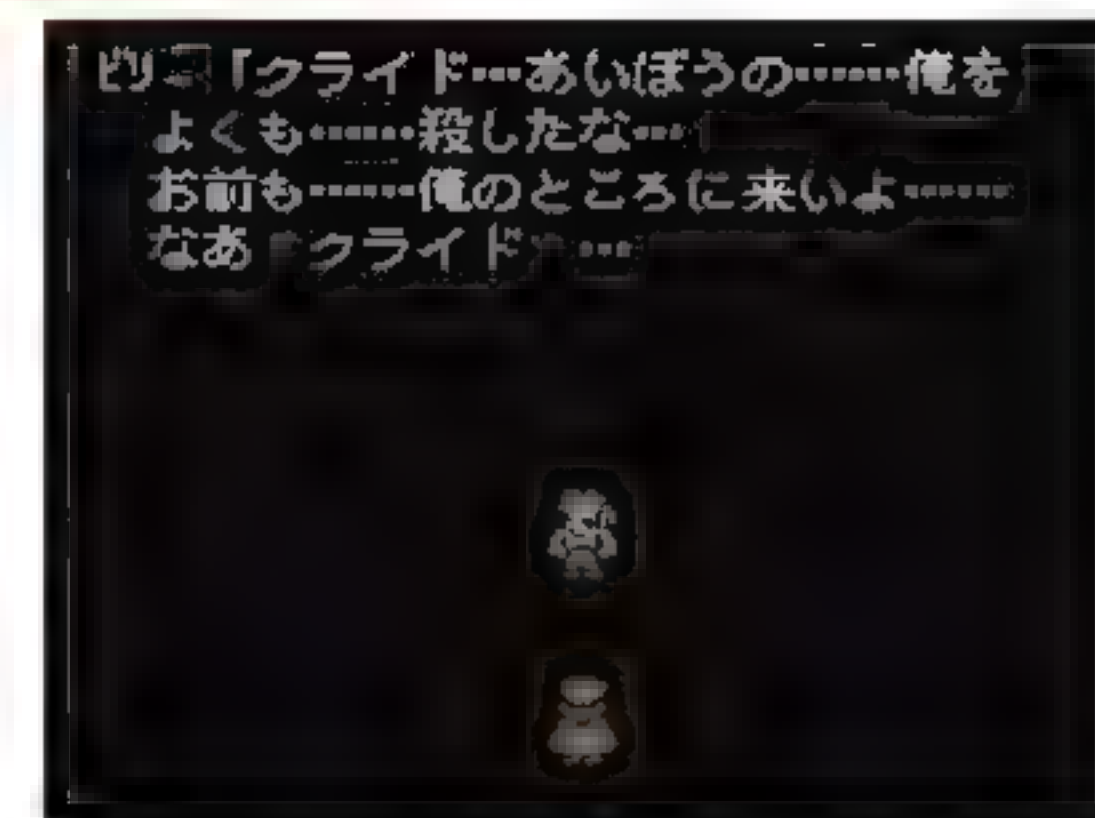
職業	アサシン	出身地	不明		
年齢	不明(30代後半)	誕生日	不明	星座	不明
身長	178cm(推定)	体重	66kg(推定)	血液型	不明
宝物	肖像画の描かれた懐中時計				
好きな物	かたゆで玉子	嫌いな物	夢		
趣味	不明				

愛犬インターセプターとともに闇の世界を生きる謎多き男

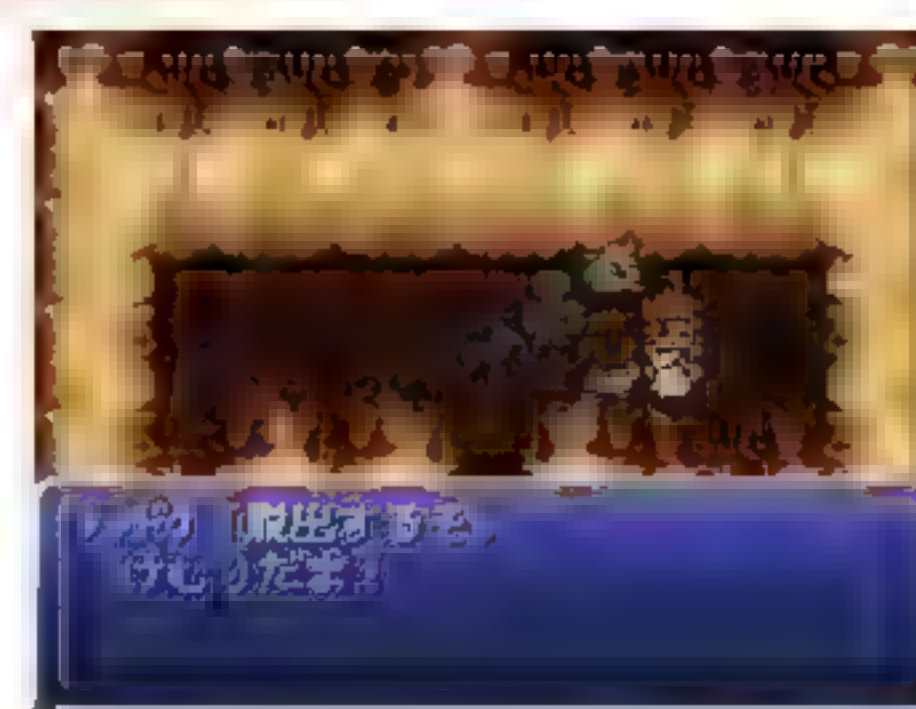
「金のためならば仲間さえも裏切る冷徹な男」と言われている暗殺者。若いころは列車強盗をくり返していたが、重傷を負った相棒ビリーを見殺しにしてしまい、それ以来、夜ごとの悪夢に苦しめられるようになった。明確な目的も持たないまま愛犬インターセプターと世界各地を旅してまわるのは、己の死に場所を見つけ、亡くなった相棒と「再会」するためだ。

ロックたちとの関係は、受け取った金のぶんだけ働いたらあっさり姿を消すといったように非常にドライなもの。善悪には興味がないようで、金さえ支払ってもらえるのならば帝国に力を貸すこともいとわない。それでも出会いと別れをくり返すうちにロックたちへの仲間意識が芽生えたのか、魔大陸では捨て身の行動で彼らを救おうとするなど、その生きかたはしだいに変化していく。

⬆手を貸す相手が悪の元凶であるガストラ帝国でも、支払われた金に善も悪もないとシャドウは考えている。

⬅バトル終了後、自分の役目を果たしたと判断すると、突然仲間たちに別れを告げ、姿を消してしまう。

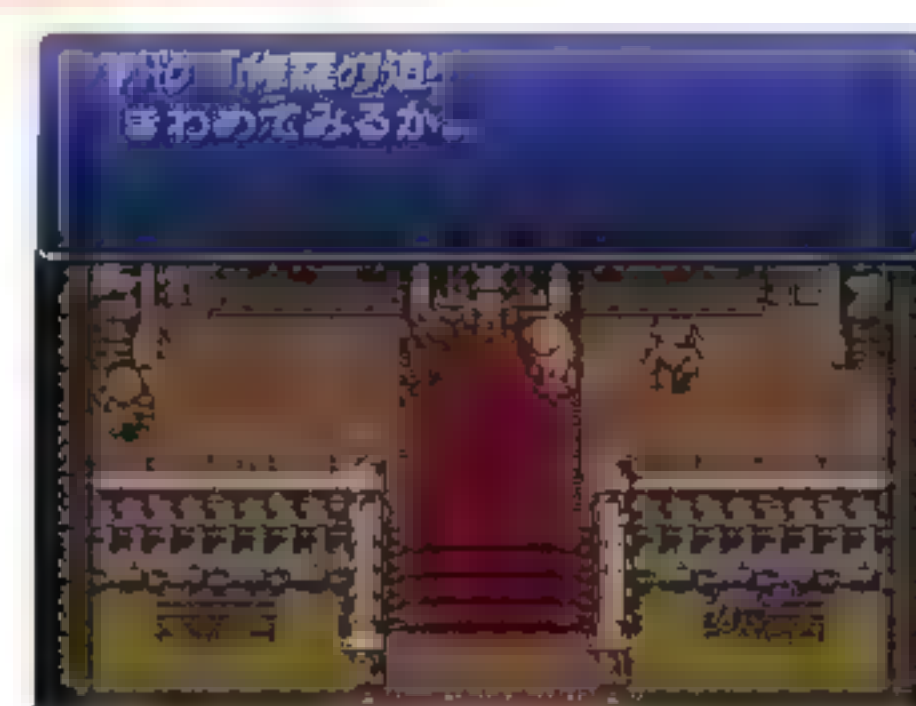
Topics of Shadow

暗い過去を己の名前とし

シャドウと名乗っているが、それは昔、相棒のビリーと結成していた強盗団の名前で、本名はクライドという。クライドには、重傷を負ったビリーからトドメを刺してほしいと求められながら、そのまま置き去りにしてしまった、という過去があった。その罪を一生背負いつづけていかなければならないと思ったからこそ、本名を捨て、苦い記憶と切っても切り離せない「シャドウ」を名乗ることにしたのだ。

⬆宿屋に泊まることで見られるいくつもの悪夢から、シャドウの過去が浮かび上がる。

辺境の村に住む少女との関係

シャドウは、サマサの村の少女リルムの父親であるらしい。村に娘を置いて旅に出た負い目があるのか、真相を語ろうとはしないが、彼の愛犬インターセプターは最初からリルムになついたり、彼女が取り残された火事現場へ真っ先に飛びこんだりするなど、ふたりの関係を裏づけるように行動する。

⬅みずからもリルムの救出に向かったのは、彼女が自分の娘だと知っていたから？

“生”に執着しない生きかた

物語の進めかたによっては魔大陸で命を落としたり、助かってもコロシアムで戦うだけの修羅の道に生きようとするなど、シャドウは生への執着が薄い。だが、物語の終盤までともに冒険するとその心に変化が訪れ、同じ“死”を迎えるなら、仲間のために命をかけるべきだと考えるようになっていく。

⬅平和のためにひたむきに戦う仲間たちの姿に、シャドウは自分の進むべき道を見いだす。

Impressive Words

「冷酷な暗殺者」との触れこみとは裏腹に、短いながらも相手を気づかう言葉が多い。己の過去についていっさい言及しないのは、彼なりの美学か。

「俺はいつでも死神に追われている」
——一軒屋：ともに旅をすることになったマッシュに

「俺は、何も教えてやれん。答は自分で見つけるものだ」
「世の中には、自ら感情をすてて生きようとする人間もいるのだ。それを、忘れるな」
——輸送船：愛という感情を理解することができず悩むティナに

「行け！　世界を守れ！」
——魔大陸：暴走するケフカを食い止め、仲間を逃がそうとして

「俺に残されたのは戦いだけの修羅の道……」
——コロシアム：なぜコロシアムにいるのかと聞かれ

カイエン

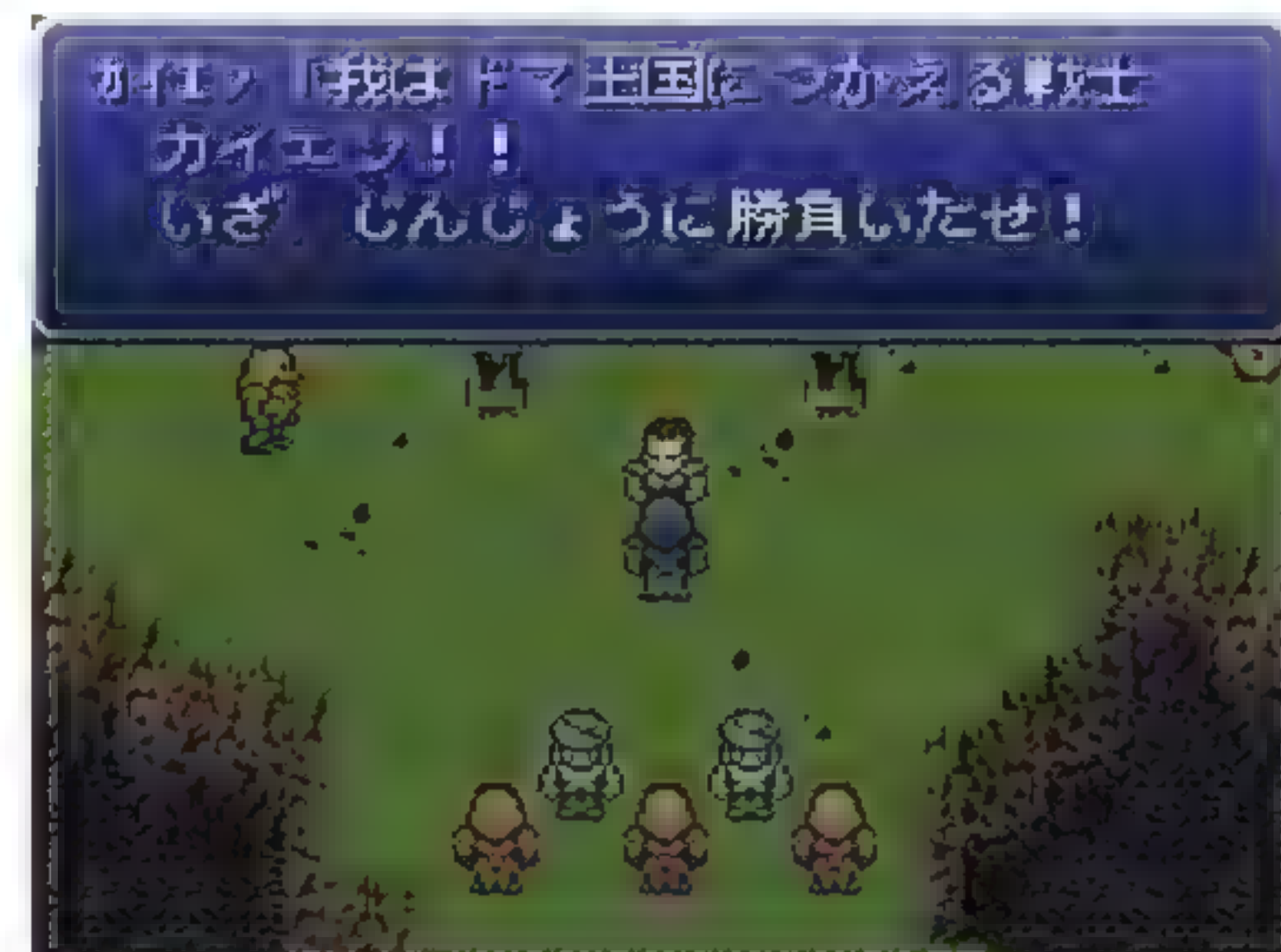
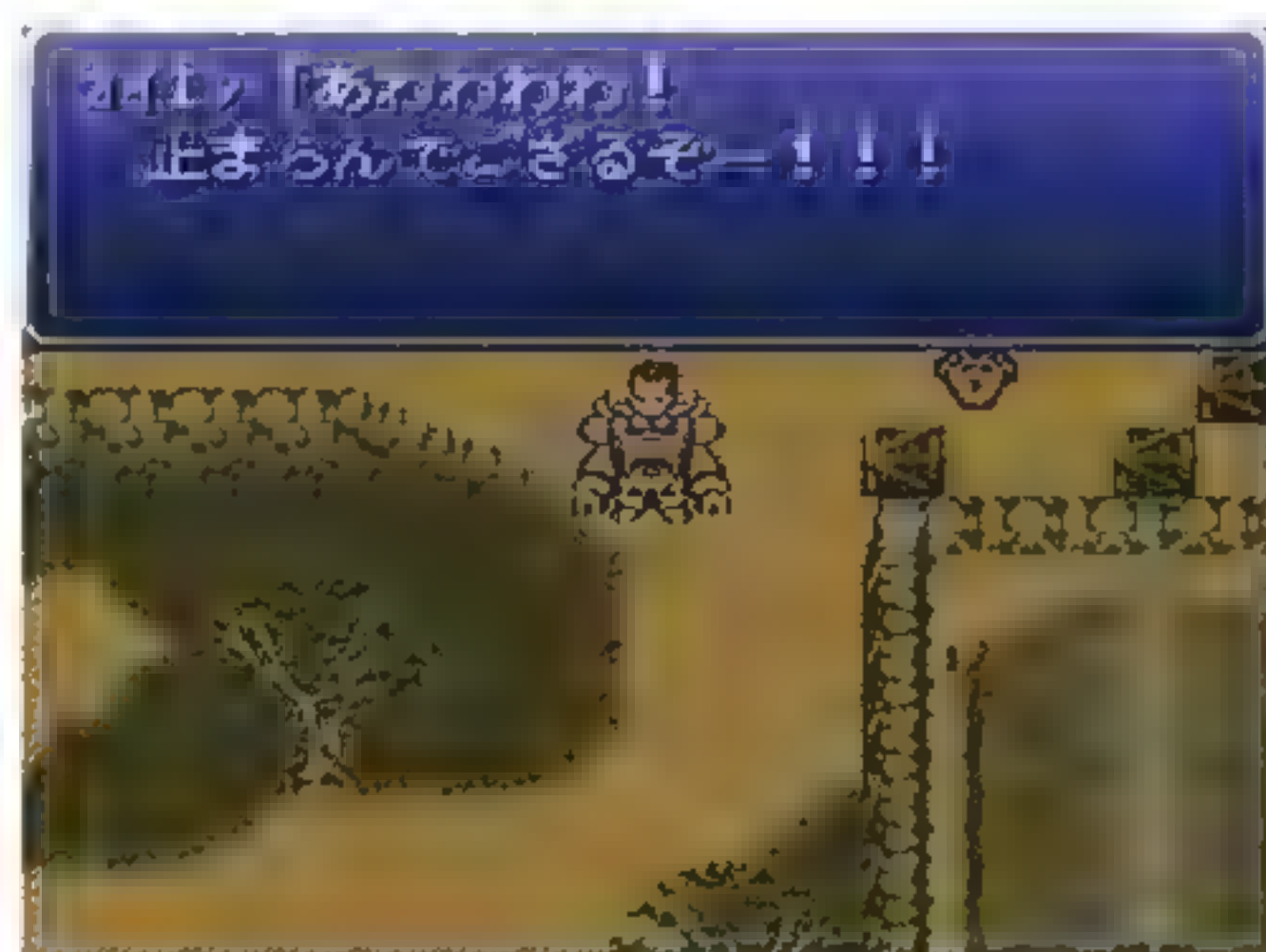
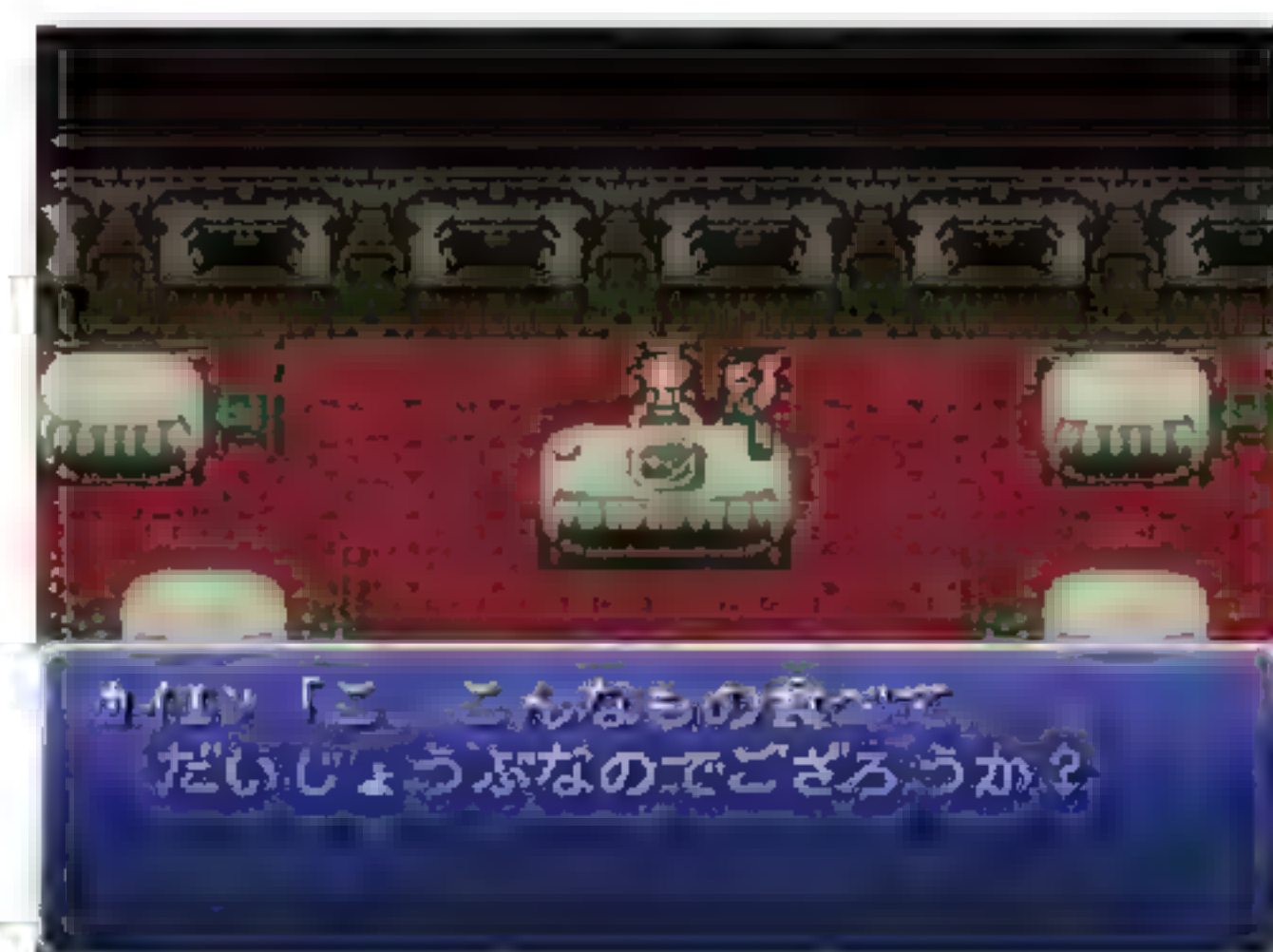
Cayenne Garamonde カイエン・ガラモンド

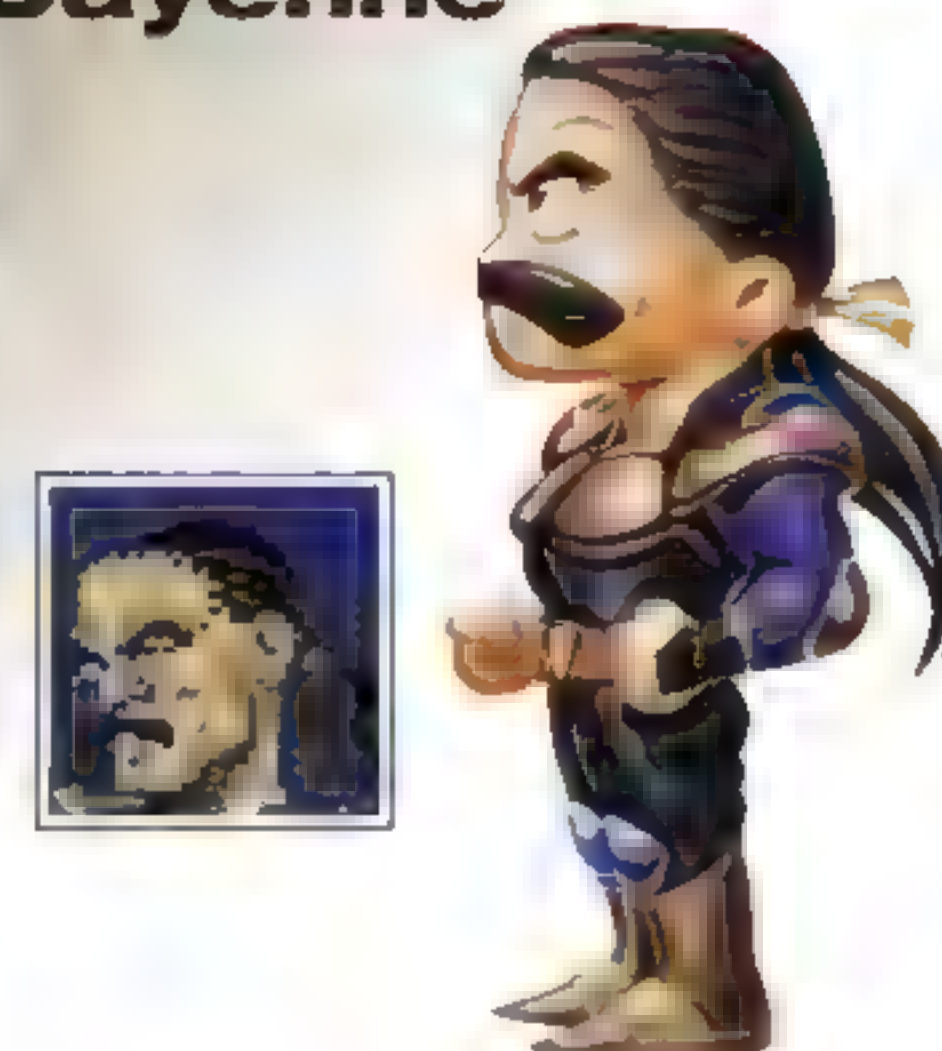
Personal Data

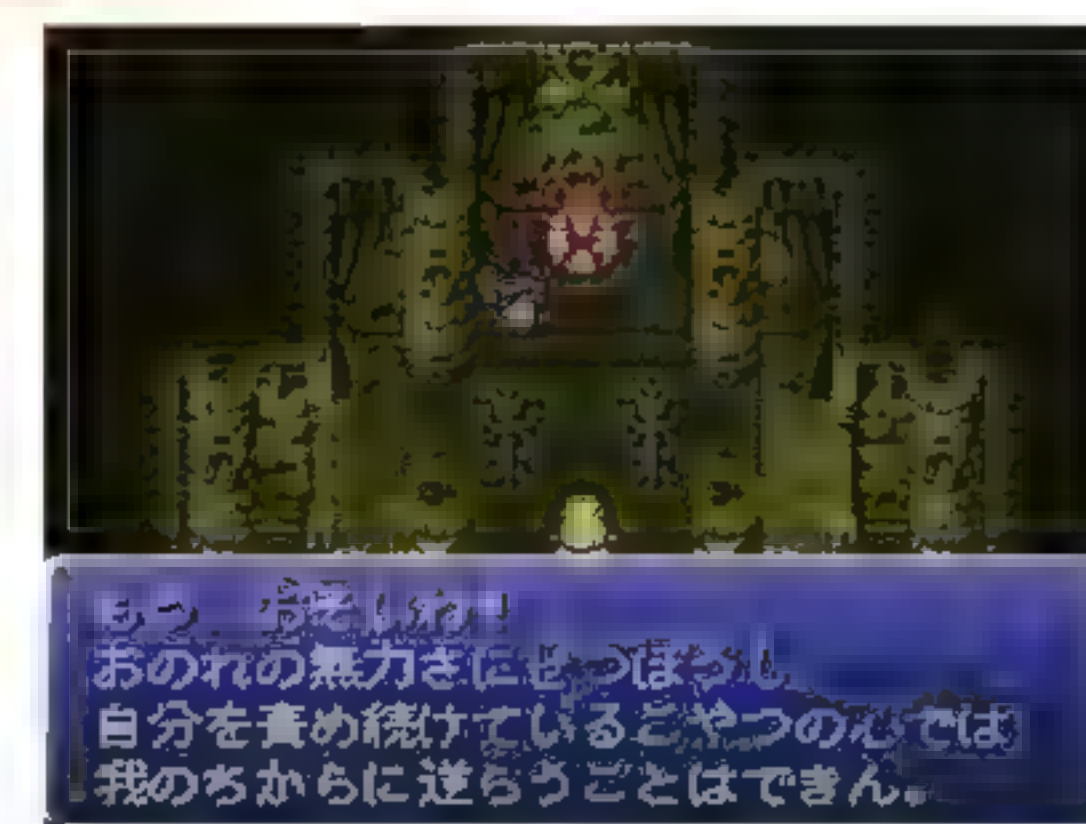
職業	サムライ	出身地	ドマ国		
年齢	50歳	誕生日	1月3日	星座	やぎ座
身長	178cm	体重	72kg	血液型	A型
宝物	家族の肖像の入った懐中時計				
好きな物	伝統のあるもの	嫌いな物	機械		
趣味	古武器集め				

妻子を助けられなかったことを後悔しつづけている武人

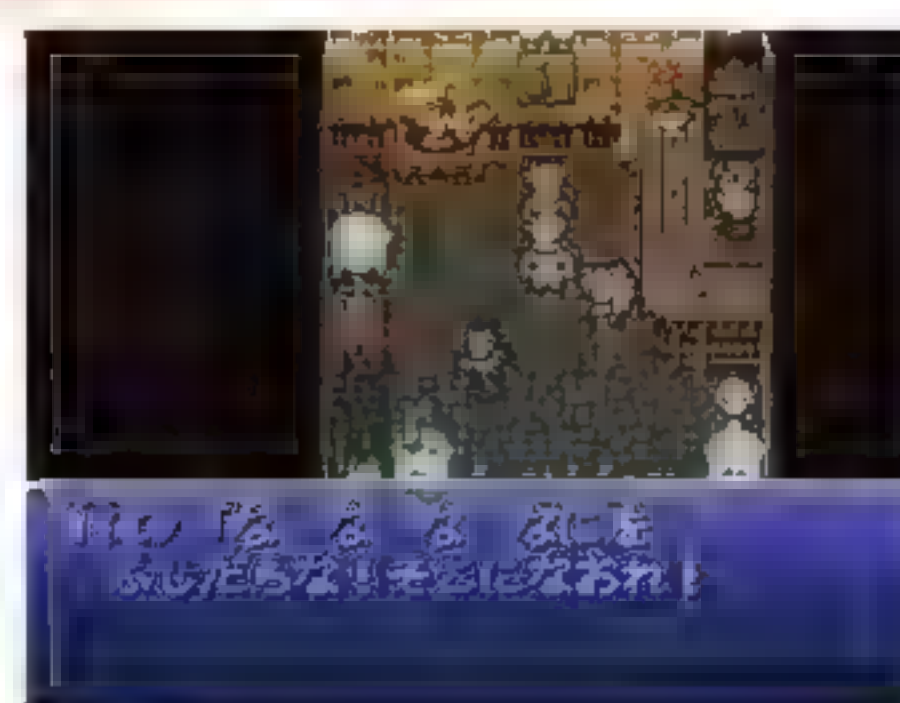
東方の国ドマに仕えるサムライ。先王の時代より長らく国に忠義を尽くしてきており、周囲からの信頼は厚い。「〜でござる」という口調や女性に対する考えかたが示すように非常に古風な人柄で、機械が苦手という一面も持つ。ガストラ帝国との籠城戦で魔導士ケフカの卑劣な策によって主君と愛する妻子を含めた国民を虐殺され、怒りにまかせて単身、包囲された城から飛び出した。そこで出会ったマッシュと意気投合し、反帝国組織リターナーとの共闘を決意する。

当初は家族を失った衝撃が大きかったため、剣に迷いがあり、武人としての真価を発揮できずにいた。その心の弱さを魔物につけこまれてしまうこともあったが、やがてそれを克服。みずからを苦しめていた過去に別れを告げ、最終奥義を極めて真の武人となる。

⬆正々堂々戦うことこそがカイエンの目指すところ。相手がガストラ帝国であってもそれに変わりはない。

⬅マッシュにせかされるままに魔導アーマーに搭乗するも、操縦方法がわかるはずもなく暴走させてしまう。

⬅勇猛なサムライとして知られるカイエンだが、幽霊は苦手。魔列車で出された食事に手をつけるべきか悩む。

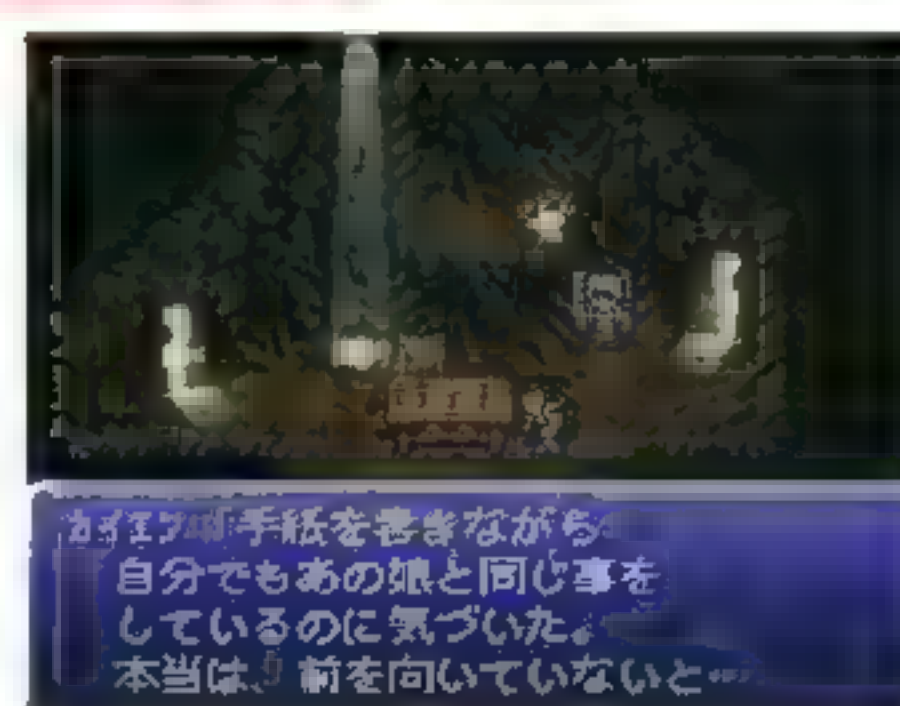
Topics of Cayenne

自責の念に駆られて

ドマ国は、籠城戦のさいに帝国軍のケフカが使用した毒によって壊滅状態におちいった。国と妻子を守れず自責の念に駆られていたカイエンは、世界崩壊後、夢魔アレクソウルにつけこまれ、眠りから目覚めなくなってしまう。しかし、夢の世界で妻子の愛に触れ、また、仲間たちが夢魔を退治したことで、心をしばりつけていた暗い過去とも決別。現実世界への復帰を果たし、真の武人としての一歩を踏み出す。

⬆カイエンは現実世界から逃げ出し、思い出のなかに生きようとして目覚めなくなる。

マジメすぎるがゆえに

古風な国柄のドマに生まれ育ったこともあり、カイエンは非常に生真面目な性格で、女性は奥ゆかしくあるべきという昔ながらの考えを持っている。軽い気持ちで一緒に飲まないかと声をかけてきた酒場の踊り子に、くどくどと説教するなど、その行動はときには周囲から滑稽に見えることも。

⬅踊り子にいきなり胸の谷間を見せられたことでカイエンは狼狽し、彼女に説教をはじめる。

名をいつわって送りつづけた手紙

もうこの世にいない恋人へ手紙を書きつづけるマランダの町娘ローラを見かねたカイエンは、その恋人に成りかわって彼女に返事を書いていた。しかし、こうやって現実から目をそらさせていても何にもならないと悟り、みずからの正体と謝罪の言葉をしたためた手紙を彼女へ送ったのだった。

⬅亡くなった恋人のことばかり考えるローラに、カイエンは自分の姿を重ね合わせていた。

Impressive Words

曲がったことが大嫌いというカイエンの性格は、その言動にも如実に表れている。だが、堅物ゆえに、周囲の笑いを誘ってしまうこともしばしば。

「た、た、たたタニマ〜?!」
「こ、コラ。おぬし。オナゴと言うのはな。
恥じらいとつつしみを持ってじゃな……
ウンチク……ウンチク……ウンチク……」

——港町ニケア：酒場で声をかけてきた踊り子に

「あ……いして……る、でござる。愛しておるでござるよ」

——カイエンの夢：妻ミナに自分を愛しているかと聞かれ

「前を向いて生きなされ。光は前からやってくる……」

——マランダの町：恋人の死から立ち直ったローラに

「もう、過去をふり返りはしない。
ただ、おのれの信ずる道を行くのみでござる」

——ドマ城：夢のなかで、亡くなった妻子との再会を果たし

セリス

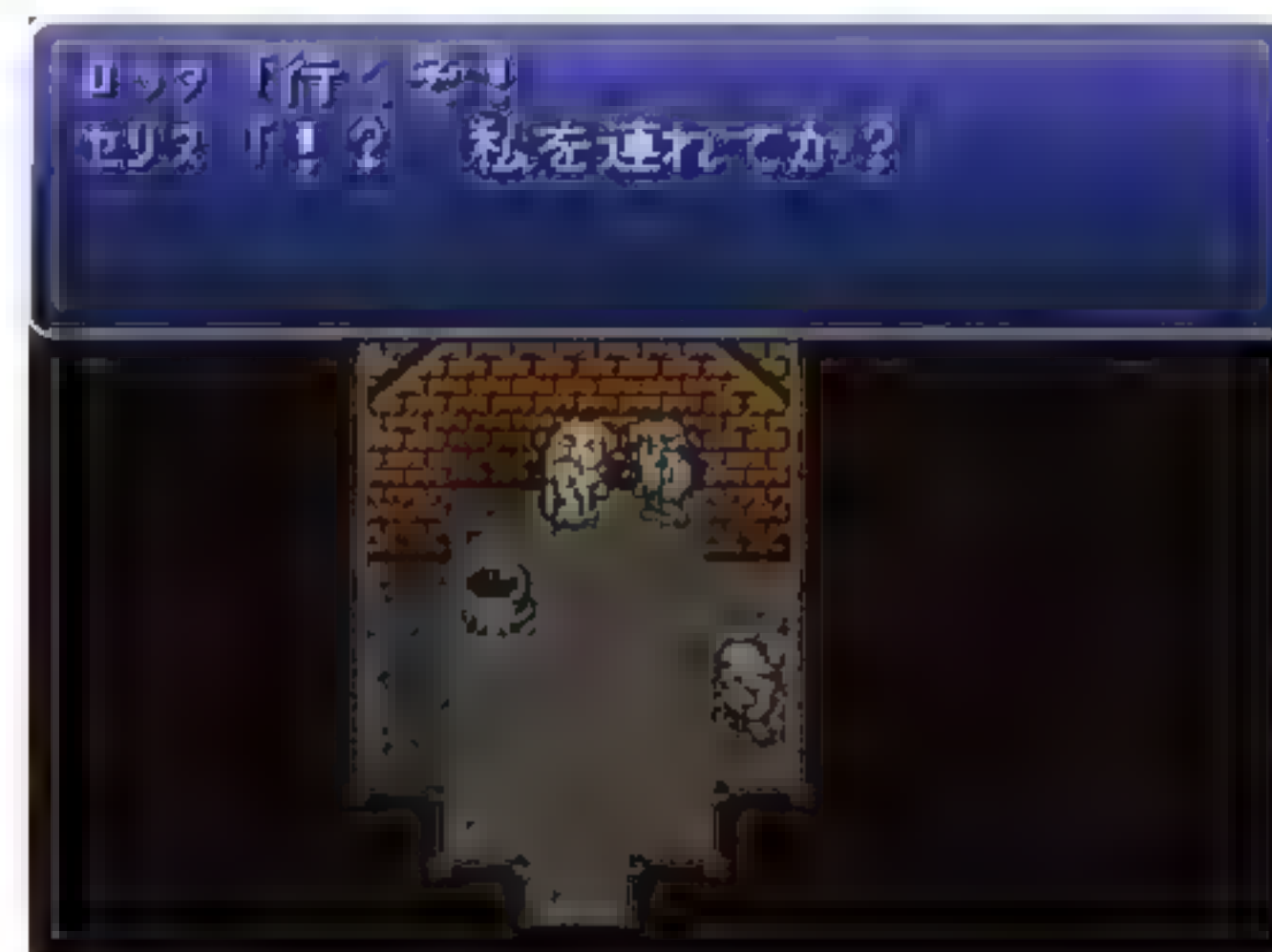
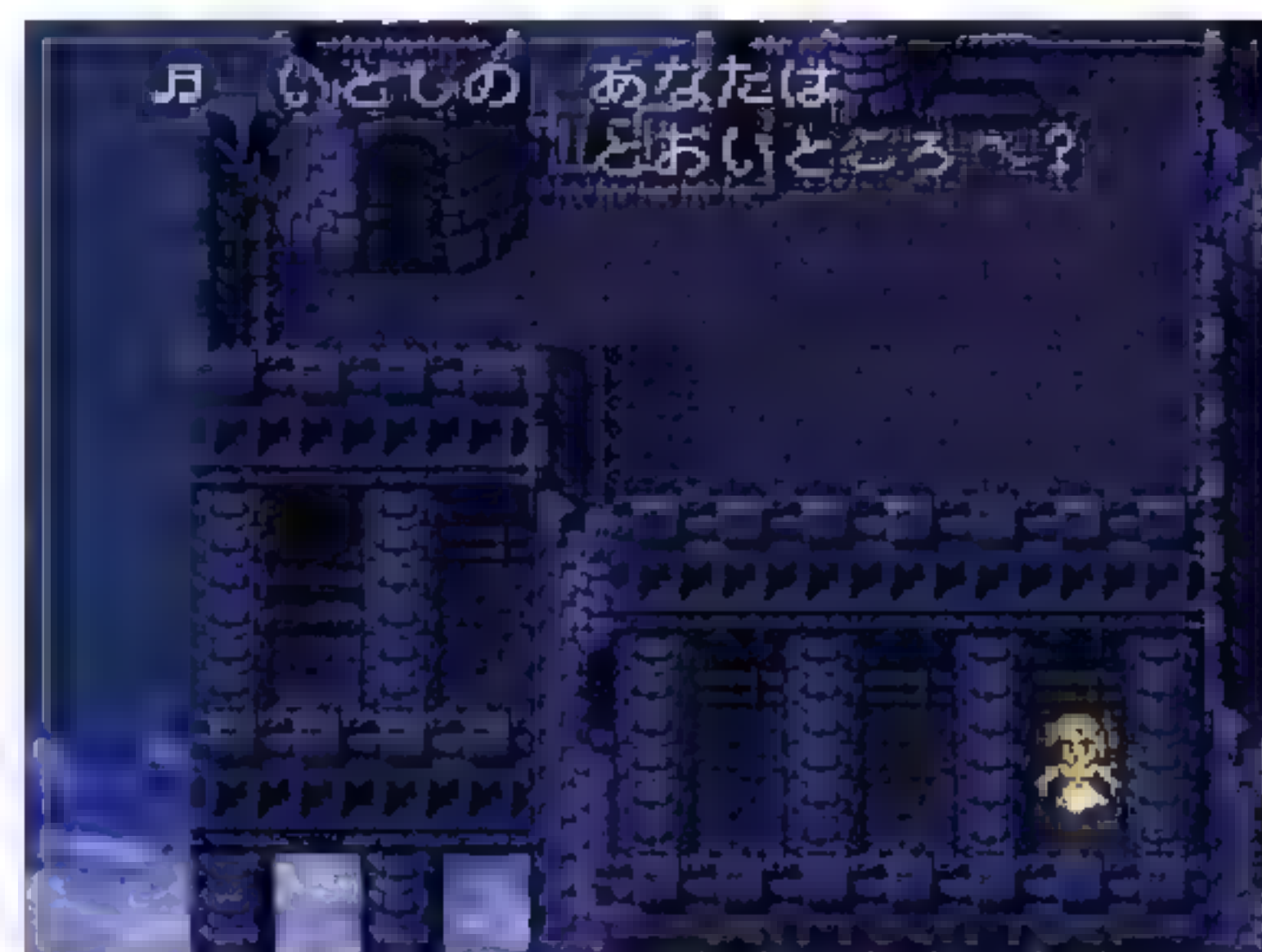
Celes Chere セリス・シェール

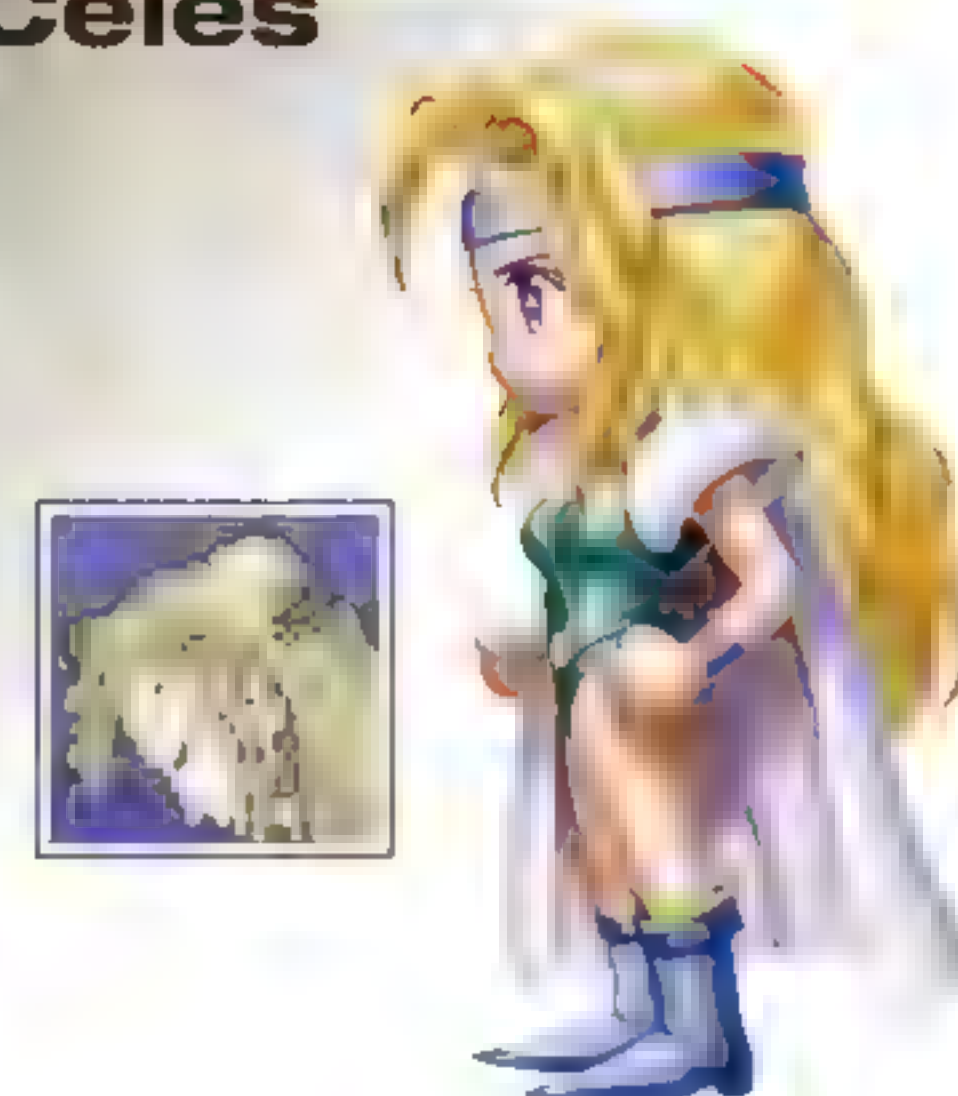
Personal Data

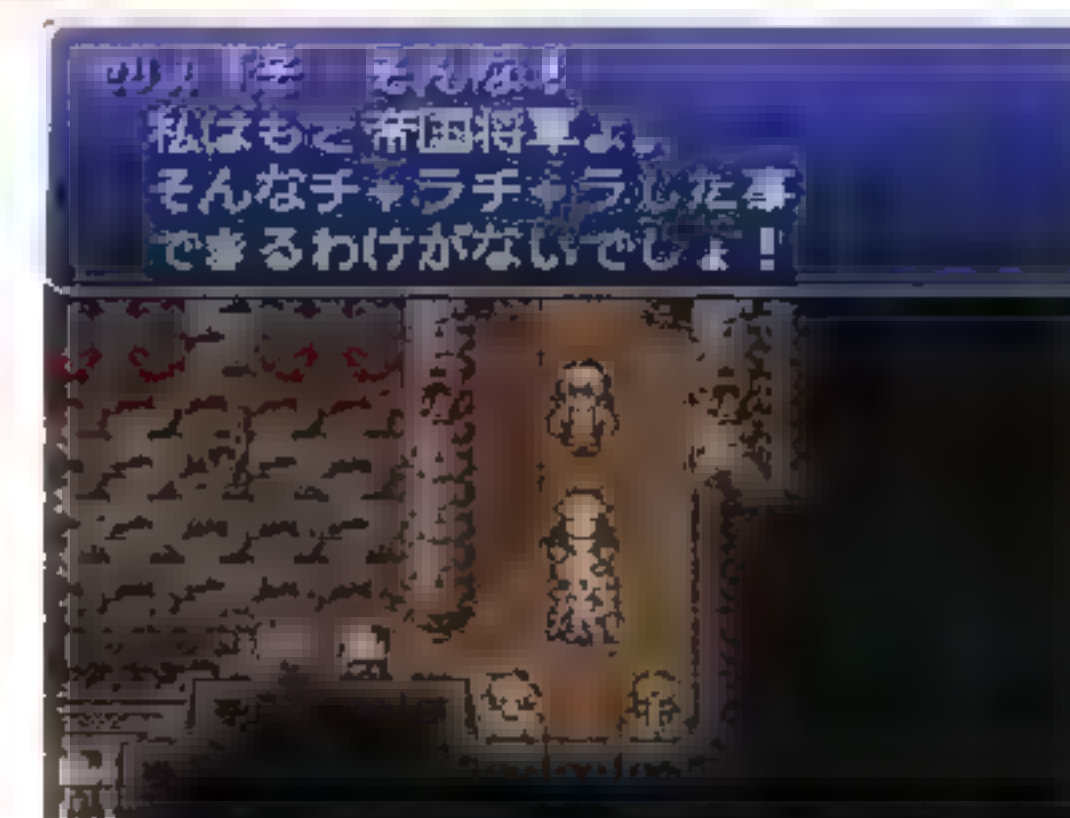
職業	ルーンナイト	出身地	ベクタ		
年齢	18歳	誕生日	3月10日	星座	うお座
身長	172cm	体重	58kg	血液型	B型
宝物	シド博士に贈られた「セリス」という名のバラの株				
好きな物	アンティーク絵本	嫌いな物	弱い男		
趣味	シド博士の温室の世話、ローズ・トピアリー作り				

帝国のやりかたに疑問を抱き反旗をひるがえした魔導戦士

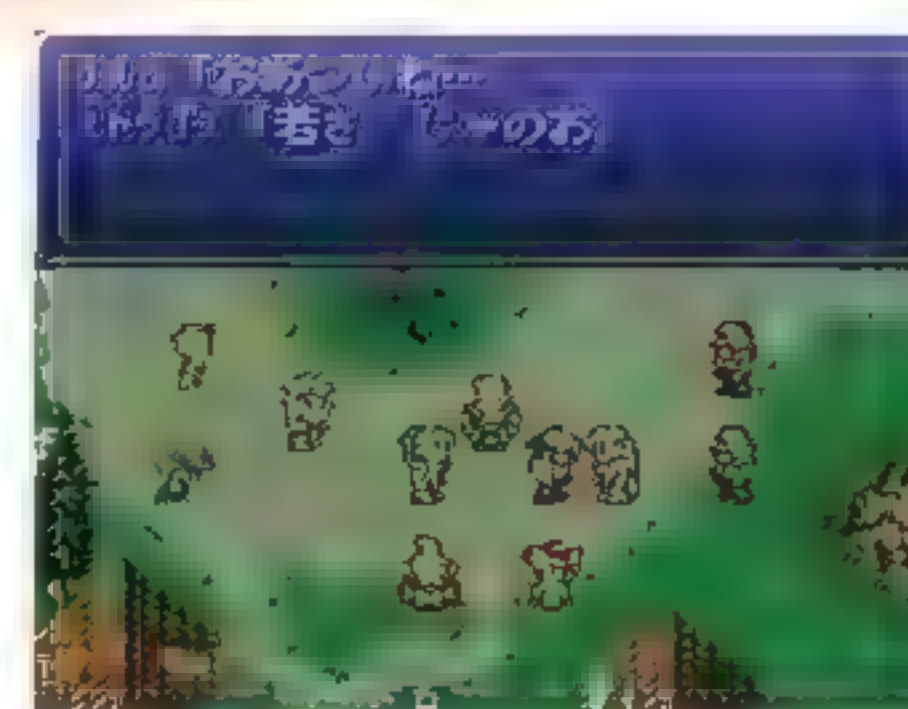
ガストラ帝国の英才教育を受けてきた軍人。幼いころ科学者シドによって人工的に魔導の力を植えつけられて魔導戦士となって以来、相手の魔法を封じこめる特技「魔封剣」を武器に数々の武勲を打ち立てて常勝将軍の異名をとるまでになった。しかし、やがて戦争のおろかさに気づき、皇帝のやりかたに反発。反逆者の汚名を着せられ、サウスフィガロの町の地下室に幽閉されてしまう。処刑前日、ロックの助力でからくも脱出に成功し、それ以降はリターナーと行動をともにする。

軍人であることに徹し、ふだんはあまり自分の感情を表に出さないが、世界の崩壊によって仲間と散り散りになったのちに、ロックに対して抱きつづけてきた想いを再確認。1年間暮らした孤島をあとにし、かつての仲間たちと再会して、ケフカとの決戦へと乗り出す。

←地下室に現れたロックとの偶然の出会いが、その後のセリスの生きかたを大きく変えることになった。

↑飛空艇を入手するためにオペラに出演することになったセリスは、人気女優マリアに成りきって演じていく。

Topics of Celes

人気女優マリアの代役を務めて

飛空艇の所有者セッツァーと接触するため、人気女優マリアに扮してオペラの主演を務めることになったセリス。元将軍とはいえ「着飾って注目されたい」という女心は持ち合わせているようで、みずから楽屋にこもり発声練習をはじめるなどまんざらではない様子を見せる。ロックの発案したこの作戦が功を奏し、一行はセッツァーをあざむくことに成功。彼との賭けにも勝ち、飛空艇を使えるようになるのだった。

↑軍人としての自尊心からか最初は反発してみせるものの、本当はやる気マンマン。

ロックとの愛の軌跡

好きな人に似ているから、という理由でロックに助け出されたセリスは、ともに旅をするなかで彼と亡き恋人レイチェルの過去を知って複雑な気持ちを抱く。しかし世界崩壊後、フェニックスの魔石によって一時的によみがえったレイチェルからふたりの仲を認めてもらい、愛を成就させる。

←誤解から離ればなれになることもあるが、セリスとロックの絆はその程度では壊れない。

老科学者シドとの日々

世界崩壊後、病に冒されたシドと一緒に孤島で暮らすセリス。食べさせた魚の良し悪しでシドの生死が決まり、シドが亡くなった場合には、絶望したセリスが海に身投げしてしまう。もっとも、いずれの場合でも結果的にセリスはイカダに乗りこみ、大陸を目指して旅に出ることになる。

←シドが元気を取りもどしたか死亡したかによって、セリスの旅立ちの経緯が変化する。

Impressive Words

当初は軍人としての強気な言動が目立っていたが、仲間との旅を通して心に変化が訪れたのか、しだいに人間らしさを出すようになっていく。

「私はセリス将軍……だった……今はただの裏切り者」
——サウスフィガロの町：自分を助けてくれたロックに

「私とて軍人のはしくれ。そう簡単に心を動かしたりはしない!」
——炭坑都市ナルシェ：エドガーから「ロックにほれるな」と言われ

「あの人のかわりなの……私は?」
——オペラ劇場：ロックに告白されるも、彼の亡くなった恋人のことが脳裏をよぎり

「力とは争いを生むもの……ならば存在しないほうが!」
——魔大陸：三闘神の力に執着するガストラ皇帝とケフカに向かって

「あの人は……生きているのね。ロック……」
——孤島：見慣れたバンダナを傷口に巻いたハトを見つけ

セッツァー

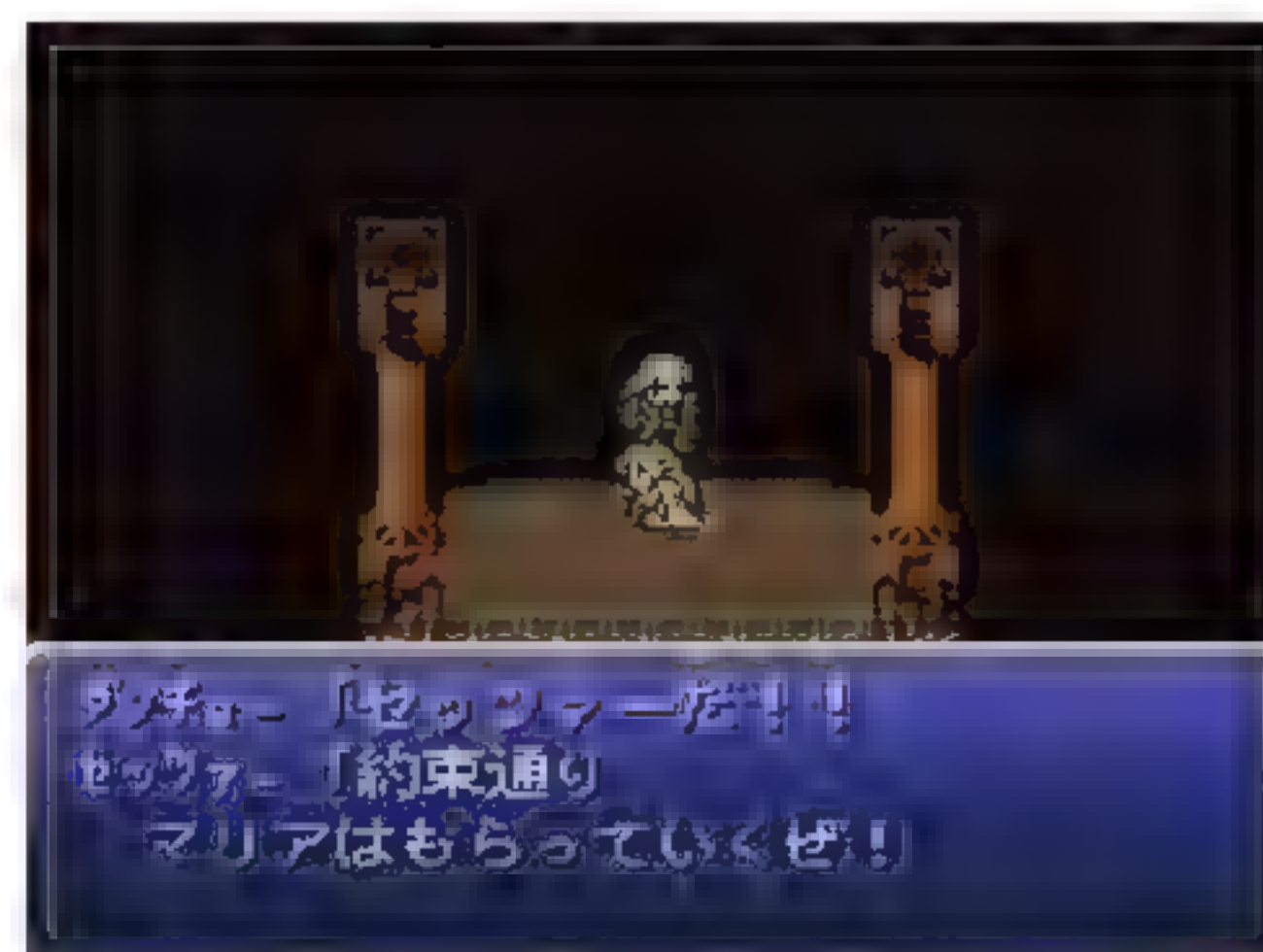
Setzer Gabbiani セッツァー＝ギャッビアーニ

Personal Data

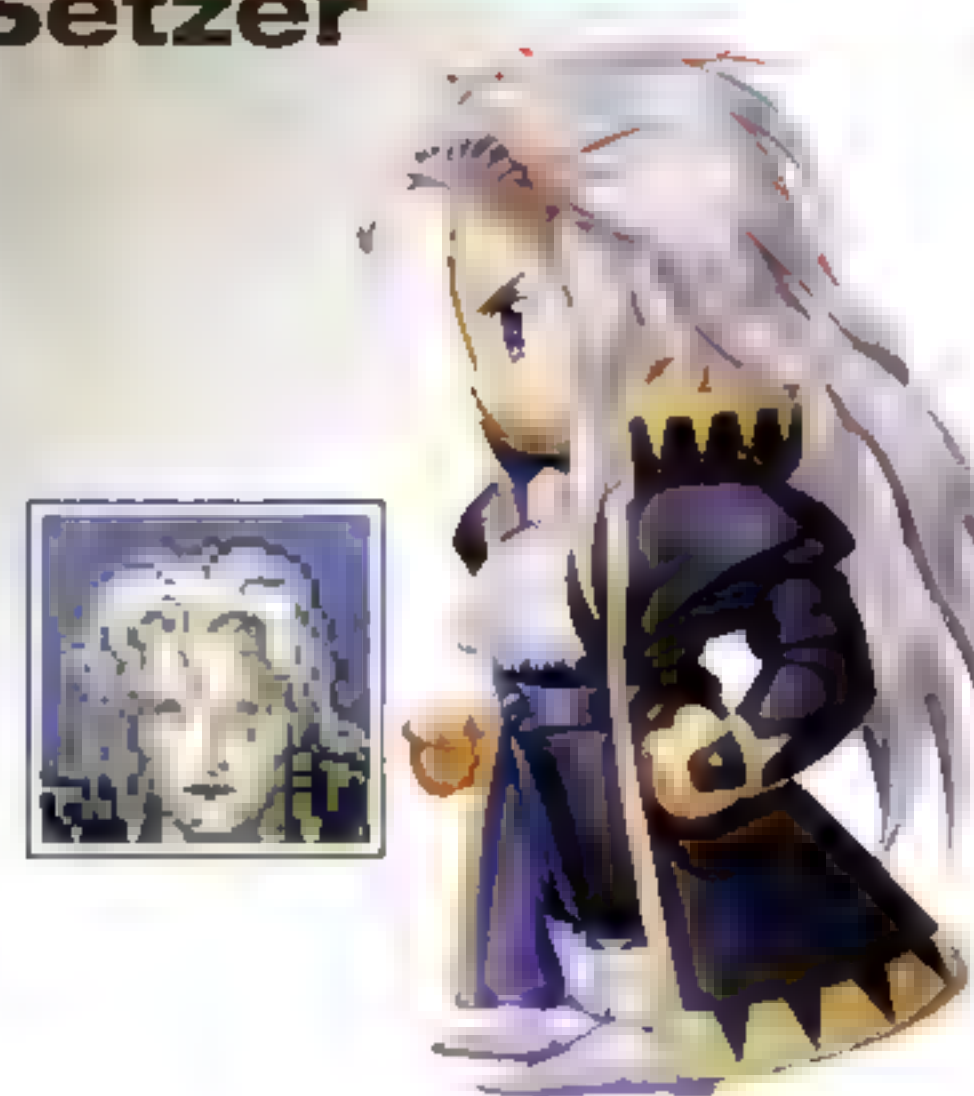
職業	ギャンブラー	出身地	不明		
年齢	27歳	誕生日	2月8日	星座	みずがめ座
身長	175cm	体重	62kg	血液型	AB型
宝物	ブラックジャック号				
好きな物	真剣勝負	嫌いな物	腰抜け		
趣味	ひとりで遊ぶトランプゲームのソリテアー				

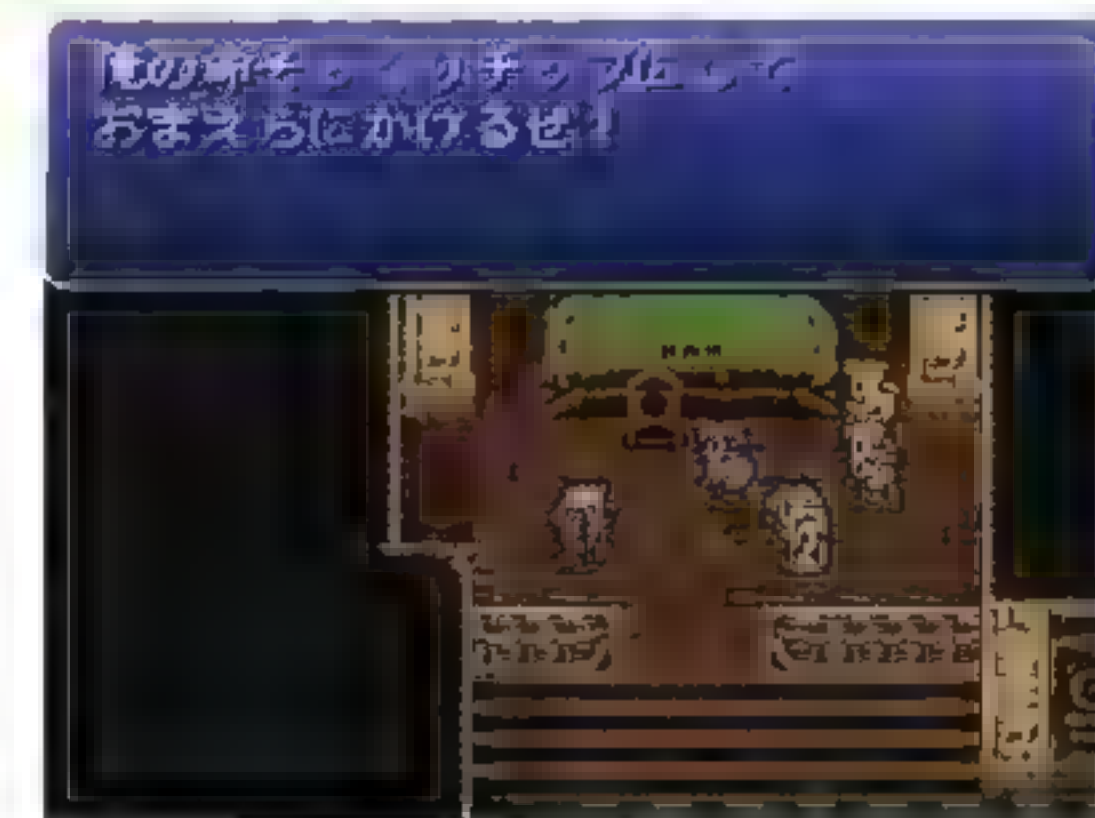
最速になる夢を封印したさすらいのギャンブラー

飛空艇ブラックジャック号の所有者。かつては「世界最速の男」を目指していたが、親友でありライバルでもあったダリルの死後はその夢を捨て、愛艇内にカジノを作って気ままな生活を送ってきた。ガストラ帝国の台頭によってそんな暮らしがうまくいかなくなってきた矢先にロックたちと出会い、イカサマを使ってプロのギャンブラーの自分を負かしたセリスの度胸の良さにホレて、彼らの仲間に加わる。

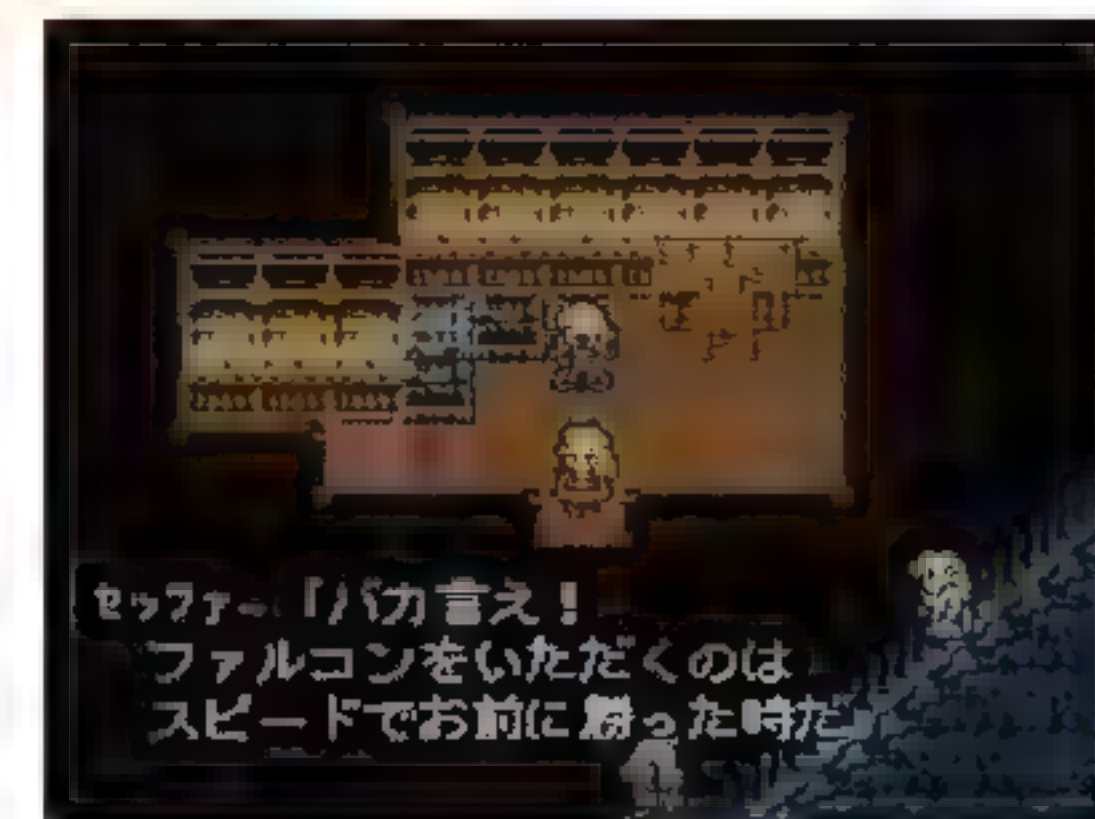
世界崩壊によりブラックジャック号を失ったのちは酒びたりの日々を過ごしていたが、再会したセリスから、こんな時代だからこそもう一度夢を追うべきだとさとされ、ダリルの愛艇ファルコン号の発掘を決意。世界をケフカから取りもどし、かつての夢を今度こそかなえようと、ふたたび仲間たちと行動をともにする。

↑オペラ座の人気女優マリアをヨメにさらおうとして、マリアに変装したセリスたちから協力を頼まれる。

↑飛空艇を失ったセッツァーは酒場にこもり失意に暮れるが、セリスらの助けを得て新たな"翼"を手に入れる。

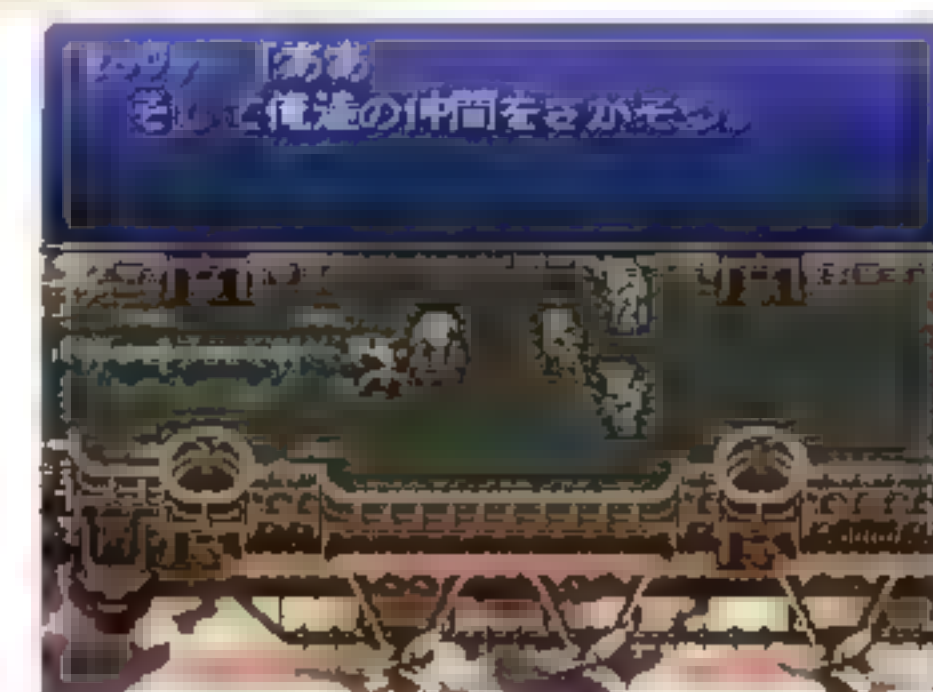
Topics of Setzer

セリスたちの心意気に触れて

飛空艇を貸してほしいという申し出を受け、セッツァーは自分が勝てばセリスを己のものにし、負ければ彼女たちに協力するとの条件で、セリスとコイントスの賭けをすることに。しかし、その勝負に使用されたコインは、エドガーが所有する両面が表という珍品。セッツァーはすぐにイカサマを見抜くものの、そこまで"せこい手"を使ってでも勝とうとするセリスの姿勢を気に入り、彼らに力を貸すことにした。

↑帝国との戦いも、セッツァーにしてみれば少し大がかりなギャンブルにすぎないようだ。

相棒ダリルとの夢のつづき

世界崩壊のさいブラックジャック号を失い、失意のどん底にいたセッツァー。だが、セリスたちに励まされ、かつての相棒ダリルが所有していたファルコン号のことを思い出す。女だてらに飛空艇で大空を飛びまわっていたダリルはテスト飛行で帰らぬ人となったが、その愛艇は彼女の墓に残されていたのだ。ファルコン号を復活させたセッツァーは、亡きダリルとともに「世界最速」という昔の夢へふたたび挑む。

↑空を愛するセッツァーとダリルは、ときにはライバル、ときには夢を語り合う同志だった。

飛ぶ鳥に導かれて

ダリルの飛空艇ファルコン号をよみがえらせたことで、崩壊した世界を自由に飛びまわれるようになったセッツァーたち一行。大空を飛翔する鳥に導かれるようにして訪れた町や村で、生きのびていたかつての仲間たちとの再会を果たしていく。

↑仲間が生きていると信じて疑わないセッツァーたちは、ファルコン号を駆って世界をめぐる。

Impressive Words

生粋のギャンブラーらしく、どんな場面に出食わそうとも感情的になることはなく、言動はつねに冷静そのもの。ときおり見せるキザな言いまわしも、セッツァーだとサマになっている。

「いいだろう、手をかしてやる。帝国相手に死のギャンブルなんて久々にワクワクするぜ」
——ブラックジャック号：イカサマされたことを知りながらも、素直にセリスに負けを認め

「落ちるときは落ちるもんだ……。人生とは運命を切り開くかけの連続……」
——ブラックジャック号：墜落しないかと心配するロックに

「羽を失っちゃあ世界最速の男になれないからな。また夢を見させてもらうぜ。ファルコンよ」
——ファルコン号：ダリルの墓で眠っていたファルコン号を始動させ

「……今考えている事の逆が正解だ。でも、それは大きなミステイク。お前のくちぐせだったな。ダリルよ!」
——エンディング：ダリルの言葉を思い出して

ストラゴス

Stragus Magus ストラゴス マゴス

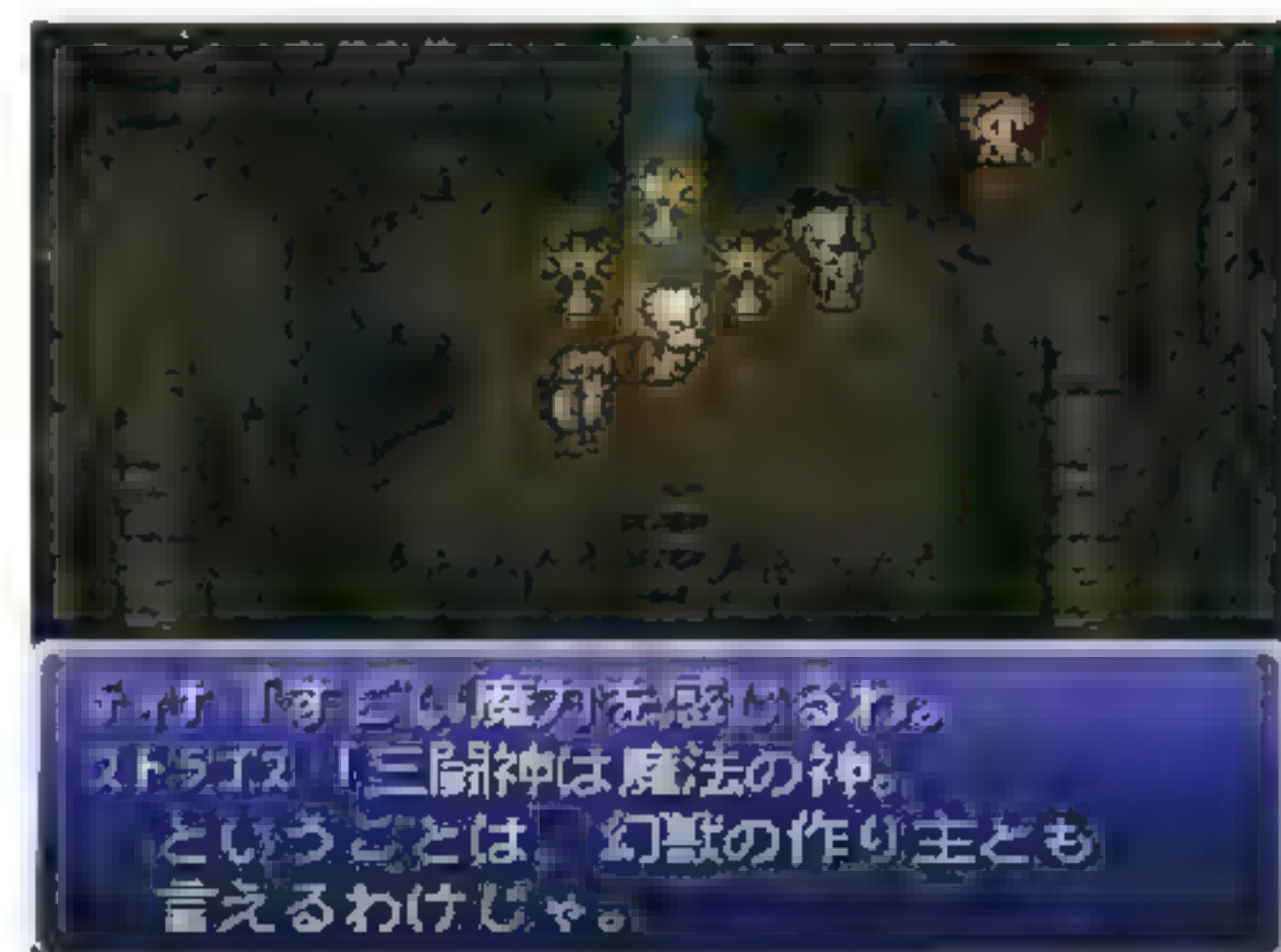
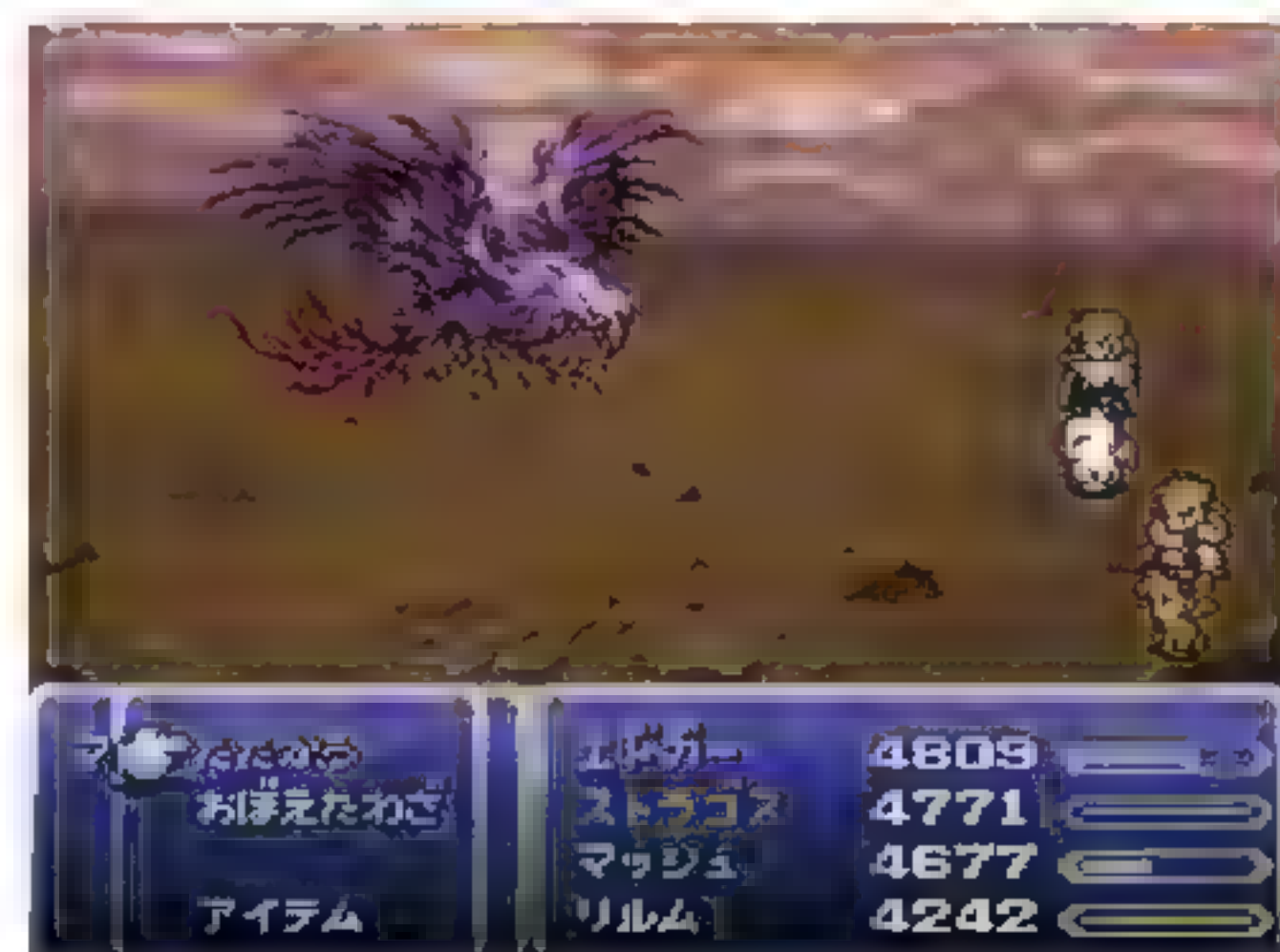
Personal Data

職業	青魔導士			出身地	サマサの村
年齢	70歳	誕生日	6月13日	星座	ふたご座
身長	151cm	体重	43kg	血液型	O型
宝物	モンスターの着ぐるみコレクション				
好きな物	モンスター			嫌いな物	年寄りあつかい
趣味	着ぐるみ作り				

魔大戦の終結後に身を隠した魔導士たちの末裔

サマサの村で孫娘のリルムと暮らす老人。1000年前の魔大戦で活躍した魔導士の血を受け継いでおり、生まれながらにして魔導の力を持つ。当初はロックたちにその力を隠していたが、火事に巻きこまれたリルムを助けたい一心で魔法を使い、彼らに魔導士としての正体を知られてしまう。そのときのリルム救出の恩を返すため、ロックらの幻獣探しに同行した。

自分たちが探してきた幻獣をケフカが魔石化していくのを見て、帝国の危険性を痛感。以降もロックたちと行動をともにするが、三闘神の力をあやつるケフカにより世界が引き裂かれ、リルムと離ればなれに。最愛の孫娘を失ったと思いこんで一時は無気力状態となるものの、リルムと再会して希望を取りもどし、ケフカを打倒すべく老骨にムチ打って立ち上がる。

↑和平のために現れた幻獣に対するガストラ帝国の非道な仕打ちを目の当たりにして、帝国を止めようと決意する。

←魔導士の末裔だけあって、さまざまな知識を持つ。三闘神や幻獣の成り立ちについてもくわしい。

←モンスターとの戦闘では、大好きな着ぐるみを着て戦うことも。モーグリスーツを着ると、見た目まで変化。

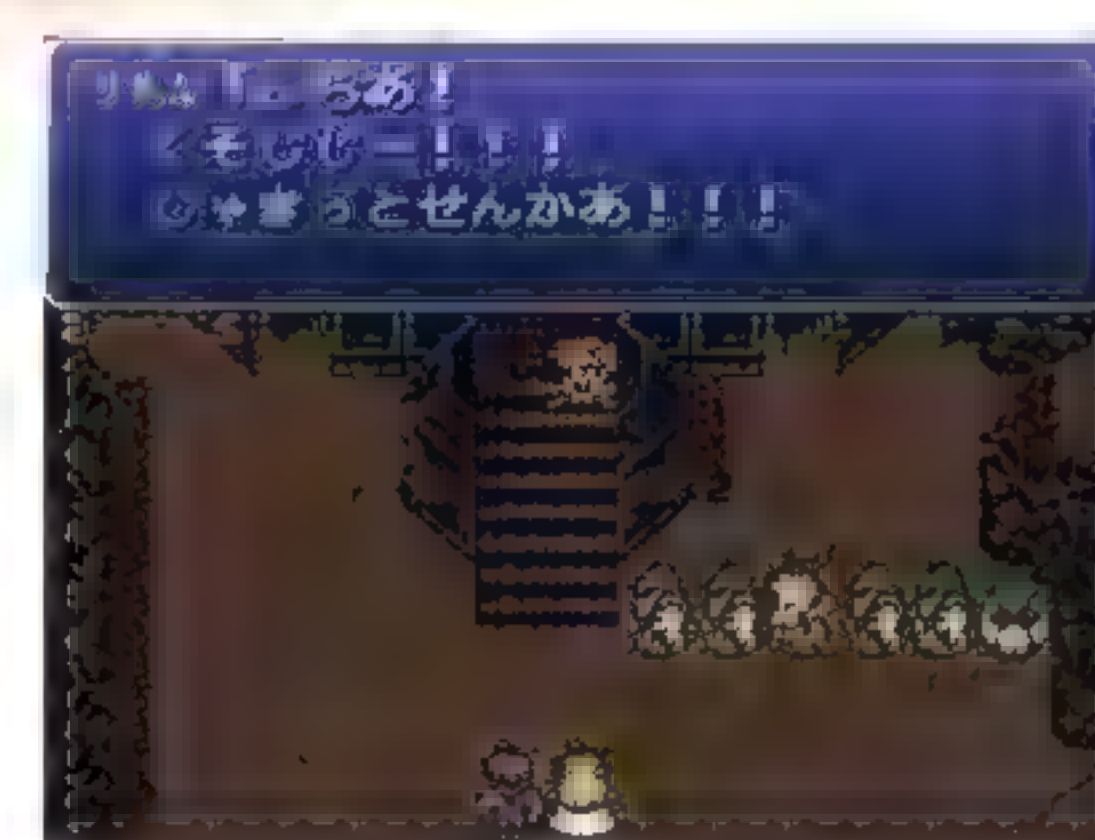
Topics of Stragus

隠し通してきた魔導の力

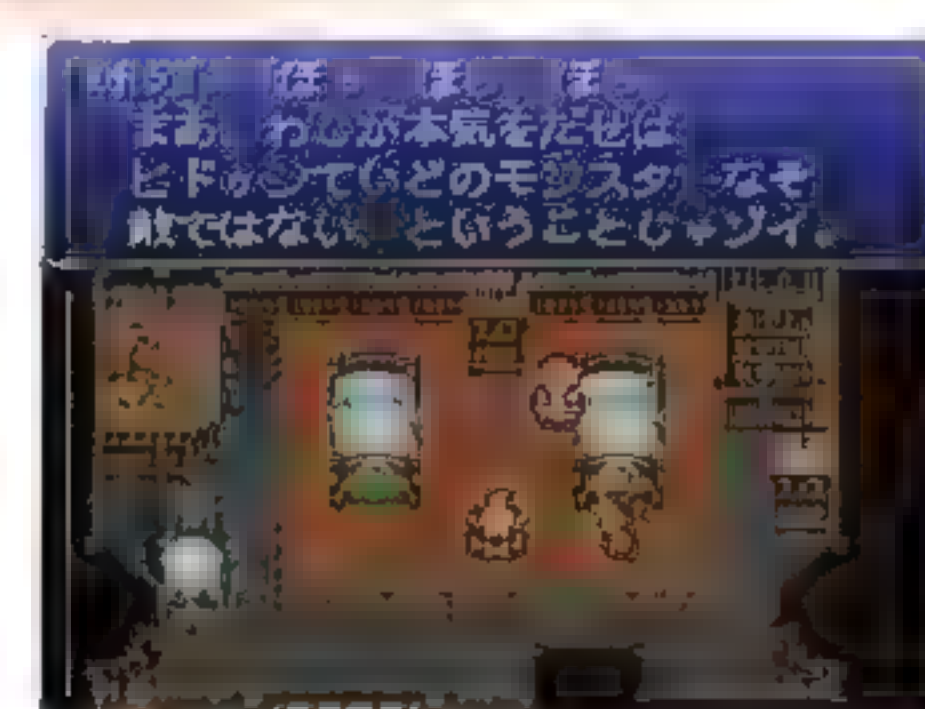
魔大戦終結後、魔導士たちは魔導の力を恐れた人々から「魔導士狩り」という迫害を受けた過去がある。そのため、ストラゴスらサマサの村人は、先祖の悲劇をくり返すまいとして、魔法を人前で使うことを自重していた。それでもストラゴスが村を出てロックたちとともに戦おうと決意したのは、魔大戦の悲惨な歴史を語りついできた一族の者ゆえに、帝国が過去のあやまちをくり返すのを見過ごせなかったからだ。

↑魔導の力が悪用されれば、ふたたび魔大戦が起きる可能性もあるとストラゴスは考えている。

リルムの存在こそが生きがい

サマサの村人の話によれば、ストラゴスはリルムとのあいだに血のつながりがなく、友人の娘を引き取って育てているらしい。だが、ストラゴスはそんなウワサなどいっさい気にせず、リルムに深い愛情を注いでいる。あまりにもかわいがりすぎ、甘やかしてきた結果なのか、リルムにたびたび乱暴な言葉づかいが見られるが、その口の悪ささえもストラゴスにしてみればかわいくて仕方がないのだろう。

↑世界崩壊後に生きる気力を失ったストラゴスだが、リルムの暴言を聞いて我に返る。

老魔導士の夢

ストラゴスは若いころ、エボシ岩の洞窟に棲む魔物ヒドゥンを倒すことを夢見ていた。物語の終盤、友人のガンホーがヒドゥンに重傷を負わされたと聞いて当時の情熱がよみがえり、リルムらの助力を得て、若き日の夢をかなえることに成功する。

←ヒドゥンの討伐に成功したことで、ストラゴスの目は以前のような輝きを取りもどす。

Impressive Words

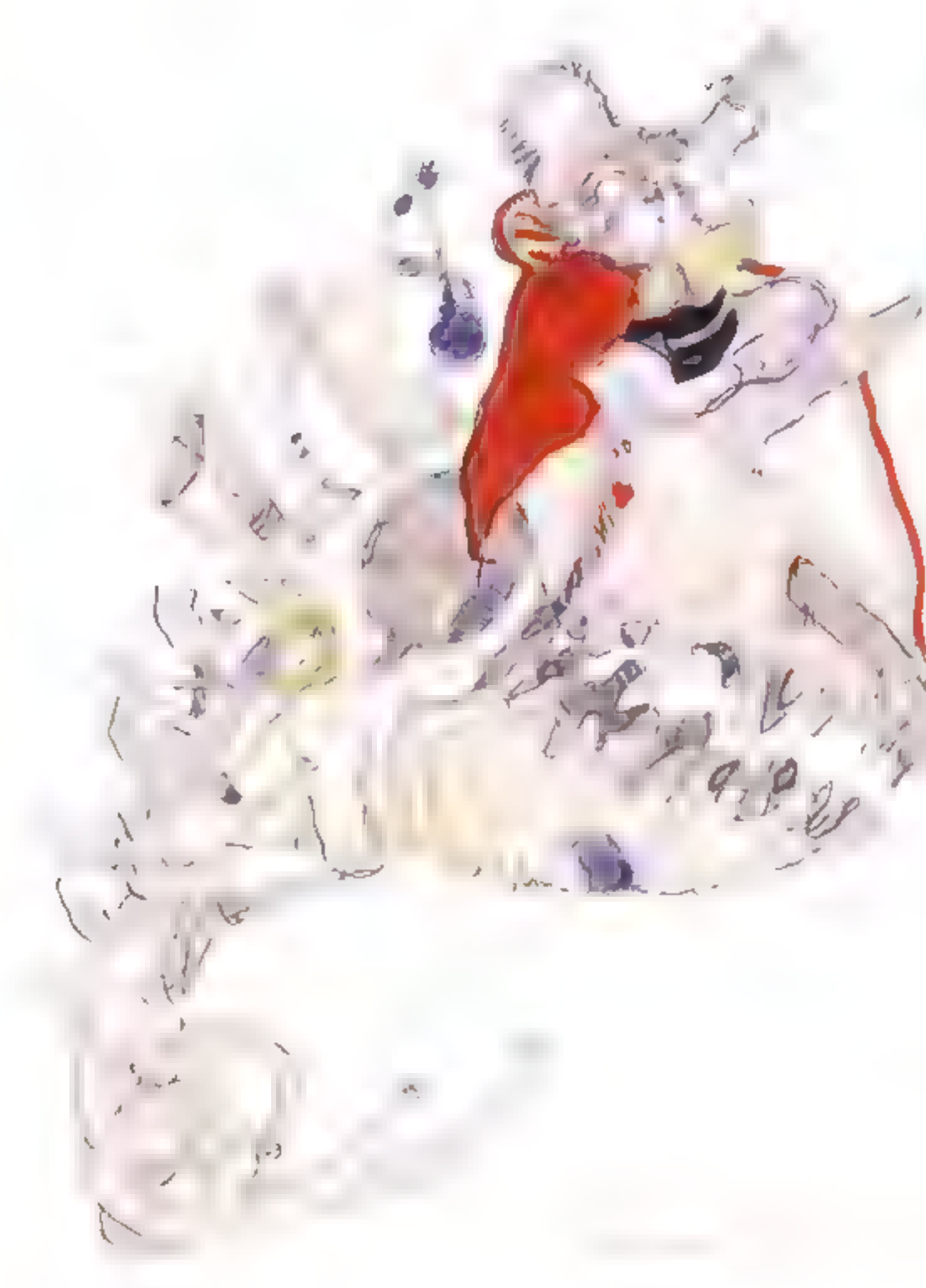
「～ゾイ」がログセで、かわいがっているリルムには強いことが言えずに甘やかしてばかり。一方でロックたちに対してはその豊富な魔導の知識をあますず披露し、年長者としての振る舞いを見せる。

「いや、知らぬ。知らん、知らん……わしゃな～んも知らんゾイ」
——サマサの村：ロックたちから幻獣について尋ねられ

「リルムが火事になって、近所の家がまきこまれて……」
——サマサの村：リルム救出の手助けをロックたちに頼もうとするも気が動転してしまい

「何をいう！　わしはじいさんと呼ばれるほど老いぼれておらんゾイ！」
——サマサの村：ロックから「じいさん」と呼ばれ

「あいかわらず口の悪い子じゃ。……うれしいぞい」
——狂信者の塔：死んだものと思っていたリルムと再会し

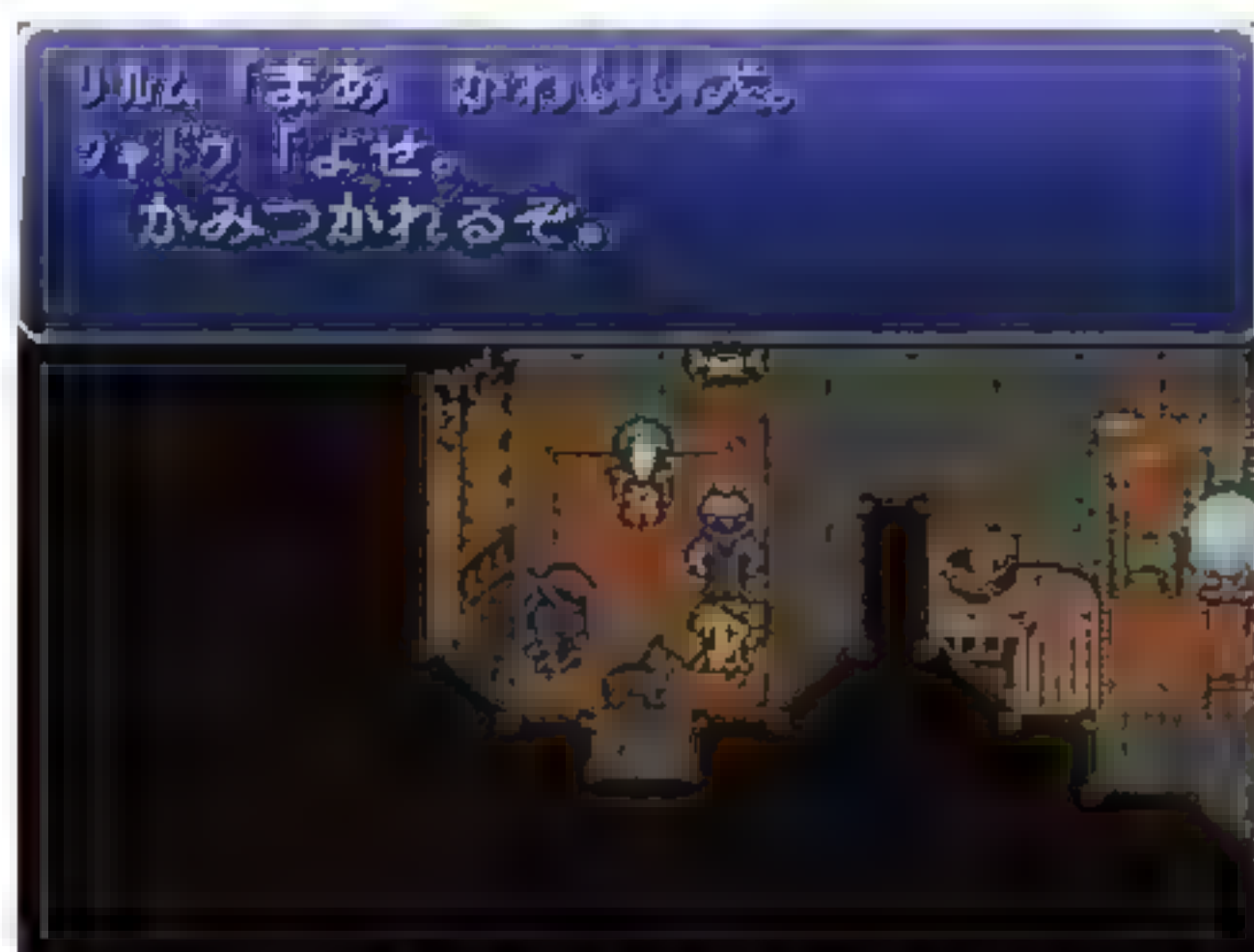
リルム

Relm Arrowny リルム・アローニィ

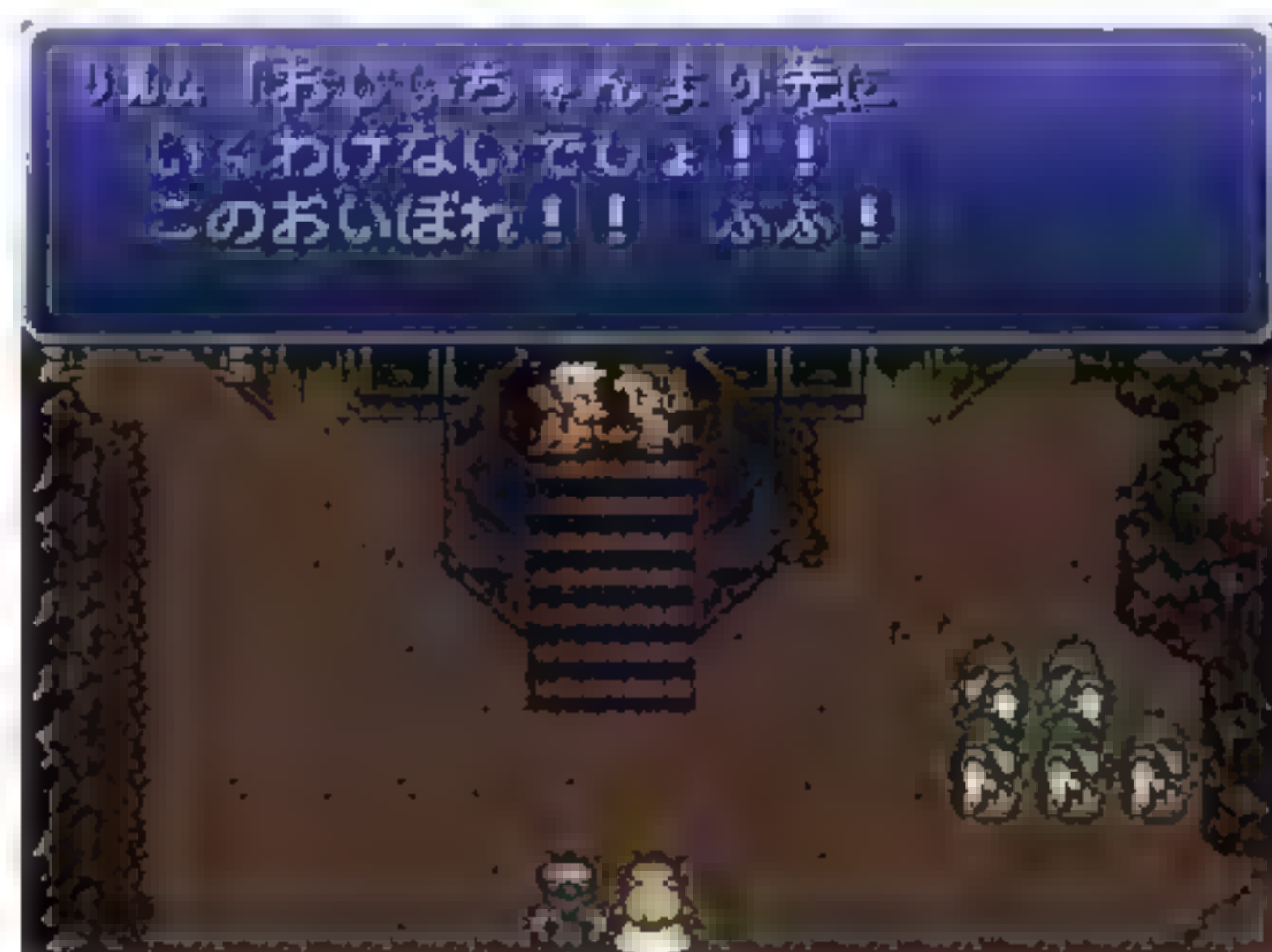
Personal Data

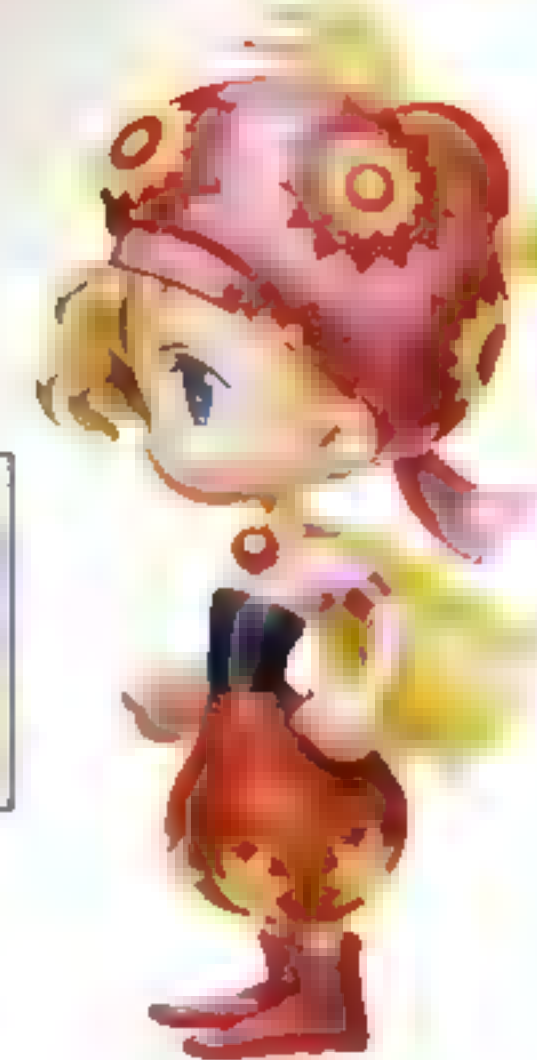
職業	ピクトマンサー	出身地	サマサの村		
年齢	10歳	誕生日	9月9日	星座	おとめ座
身長	153cm	体重	40kg	血液型	B型
宝物	母親お手製のリボン				
好きな物	卵ふわふわのメイプルシロップのパンケーキ、大きい人				
嫌いな物	毛虫、怖い人、苦いかぜ薬	趣味	お絵かき、リボン集め		

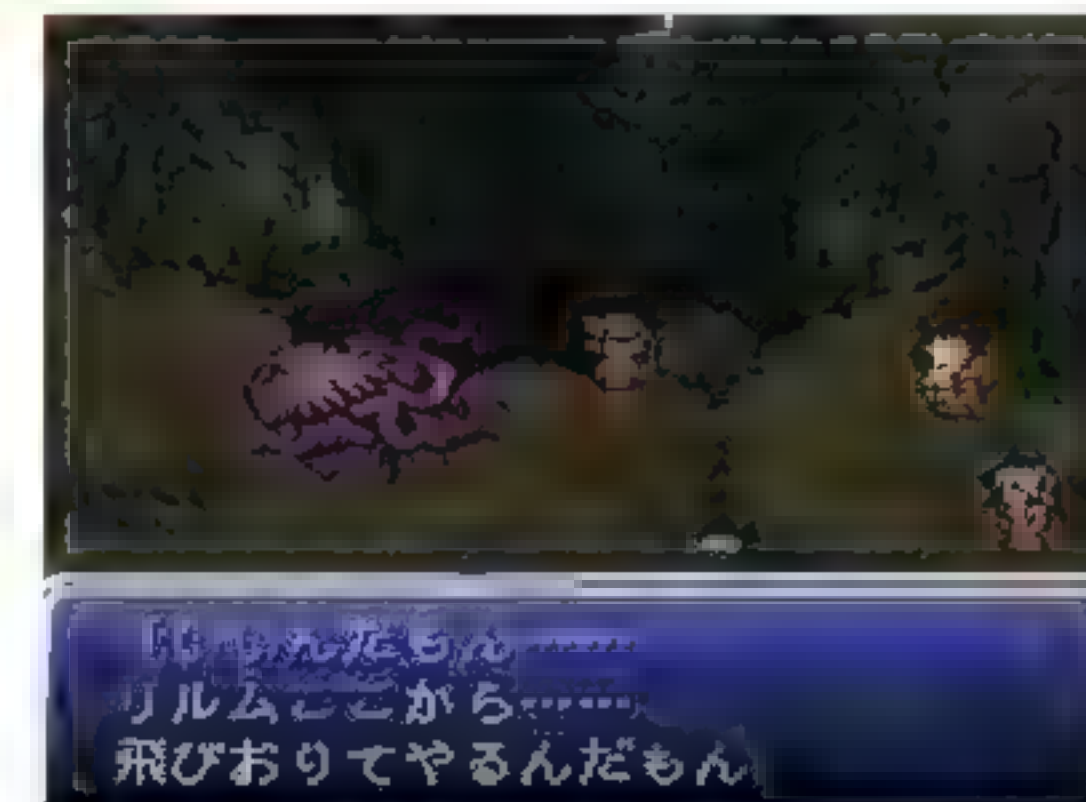
風景だけでなく心まで描き出す幼き画家

サマサの村でストラゴスと暮らす少女。10歳という幼さながら、絵筆を持てば大人顔負けの画才を発揮する。ストラゴスを祖父として慕っているが、村人のなかには、ストラゴスが友人の娘を引き取って育ててきたのだとウワサする者も。母親はサマサの村の出身のようで、魔導士の末裔たるその血の影響からか、描いたものをキャンバスから実体化させるという不思議な能力を身につけている。

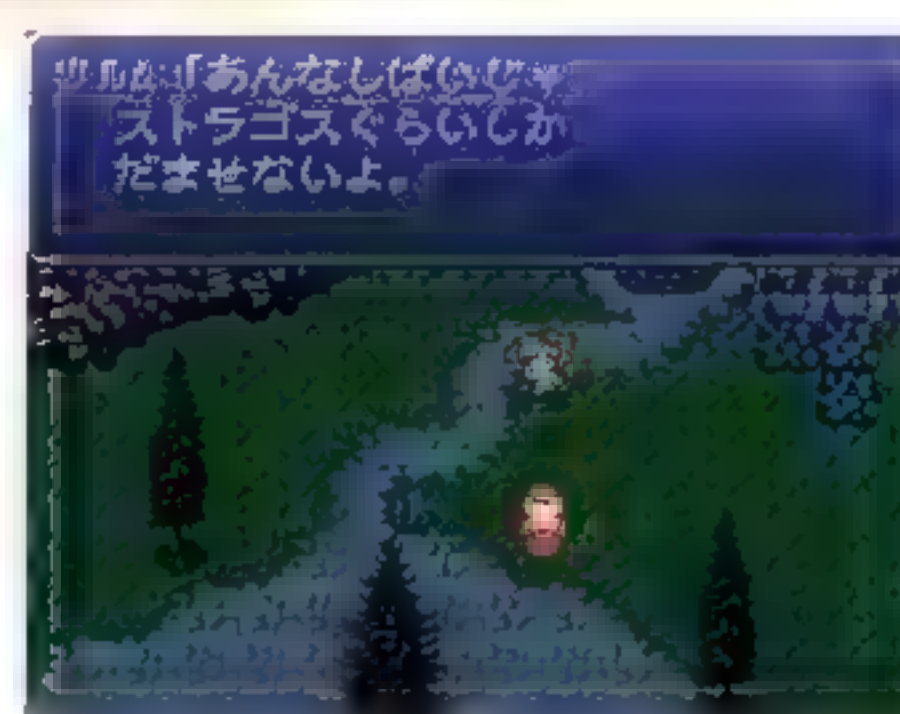
幻獣を探すストラゴスたちのあとを追い、なかば強引に一行に加わるが、それはひとり残されるのがイヤだから、という理由だけではない。夢をあきらめ、老いていくばかりのストラゴスに喝を入れられるのは自分しかいないことを自覚しているからであり、ときに厳しく、またあるときは優しく彼を支えていく。

↑シャドウの愛犬インターセプターになつかれるのは、幼少のころ一緒に住んでいたことがあるからだ。

←思ったことをそのまま口にする素直な子ども。もっとも、その言葉づかいは乱暴で、大人たちを驚かせる。

←暴言の数々やガサツな態度とは裏腹に、リルムは祖父ストラゴスに深い愛情を持っている。

Topics of Relm

幻獣探しの旅に加わるために

ストラゴスたちの幻獣探しの旅に同行させてもらえないことに納得できず、たったひとりで彼らのあとを追いかけていくなど、リルムは非常に行動的。また、戦いにおいても心強い存在で、キャンバスに描いた絵を実体化させて相手にけしかける技「スケッチ」を使い、魔物オルトロスを難なく撃破するほど。それによってロックたちに自分の力を認めさせ、なかば強引に彼らの仲間に加わることになった。

↑泣きマネでオルトロスを困らせて油断を誘い、似顔絵を描く機会をうかがう。

あだ名をつけるのも天才的?

口の悪さなら天下一品のリルムは、仲間を名前で呼ぼうとしない。マッシュは「キンニク男」、エドガーは「色男」というように、見た目や雰囲気で勝手にあだ名をつけていく。敵対する相手にも同様で、オルトロスは「オルちゃん」、ケフカにいたっては「うひょひょ野郎」などと呼ぶ始末だ。

←ガンホーに対しても、ウソをつくのが苦手なことから「大根役者」と呼ぶことがある。

魔物をも魅了するリルムの筆

世界が崩壊しても、リルムの絵画への情熱は冷めない。その繊細な筆づかいは人々のウワサのマトとなっていき、やがてジドールの町の富豪アウザーから絵の依頼を受けるまでに。そうして描かれたラクシュミの絵は、そこに魔物が取りついてひと騒動起こるほどのすばらしい出来映えだった。

←さすがのリルムも、命よりも絵が大事というアウザーの価値観は理解できないようだ。

Impressive Words

すぐに感情的になるばかりか、育ての親のストラゴスがビックリするほど言葉づかいが汚い。しかし、ときにはその裏に深い愛情が見え隠れすることも。

「ねえねえ、オルちゃん、似顔絵かいてあげようか?」
――幻獣の洞窟:ロックたちが戦うオルトロスに近づき

「ね? 見てくれた? リルムも立派に戦えるよ。ジジイよりは役立つんじゃない?」
――幻獣の洞窟:似顔絵でオルトロスを撃退したあとで

「くーっ、似顔絵かくぞ!」
――サマサの村:マッシュに子どもあつかいされて腹を立て

「こらあ! くそじじー!!! しゃきっとせんかあ!!!」
――狂信者の塔:生きる気力をなくし、塔の周辺をさまよいつづけるストラゴスに

「さっさとあのうひょひょ野郎をたおしに行こーーよ!」
――ファルコン号:ケフカとの最終決戦を前にして

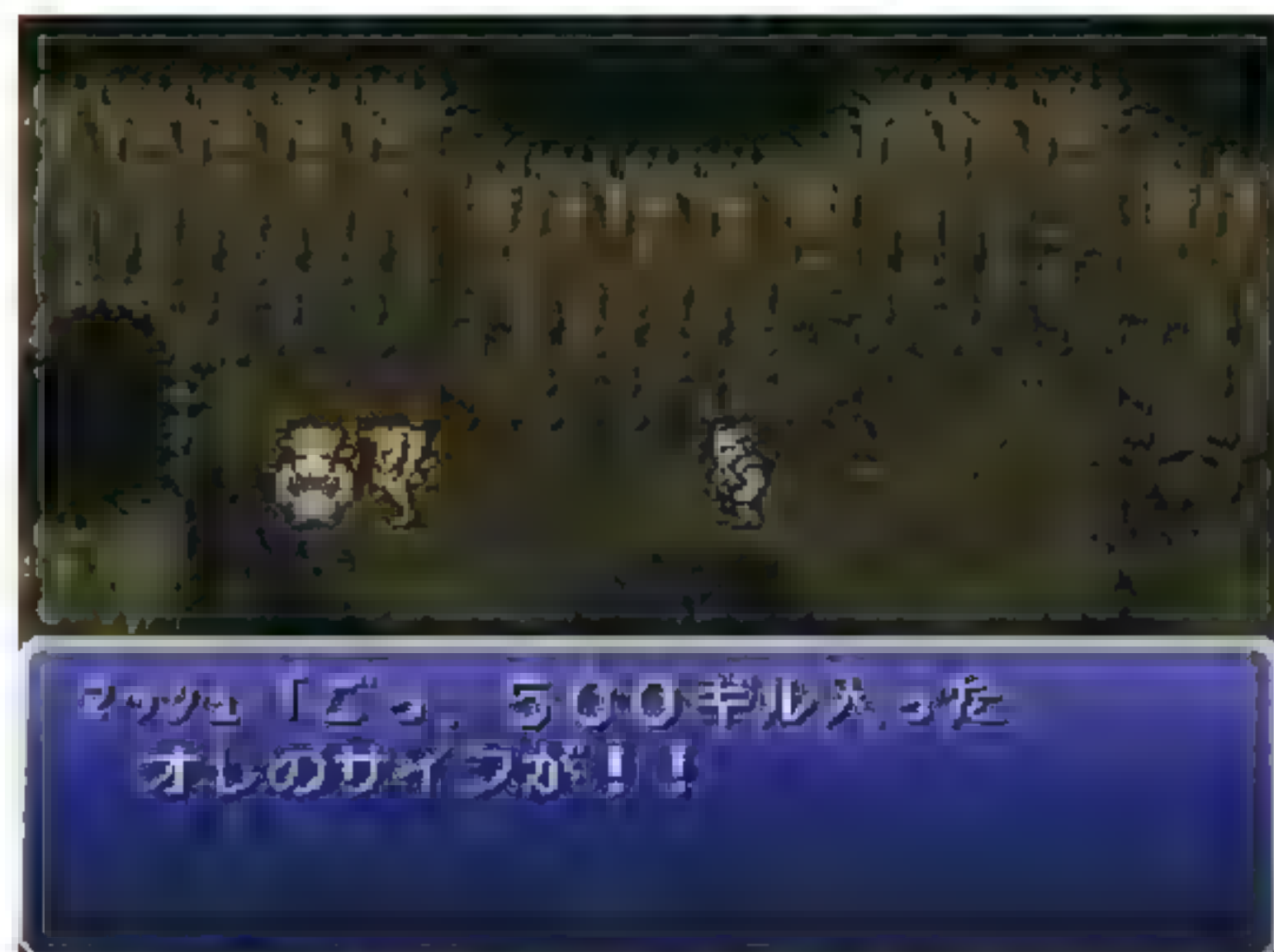
ガウ
Gau

Personal Data

職業	野生児	出身地	レテ川河畔		
年齢	13歳	誕生日	4月5日	星座	おひつじ座
身長	163cm	体重	50kg	血液型	B型
宝物	捨てられたときに持っていたクマのぬいぐるみ				
好きな物	キラキラ光るもの	嫌いな物	洋服		
趣味	大暴れ				

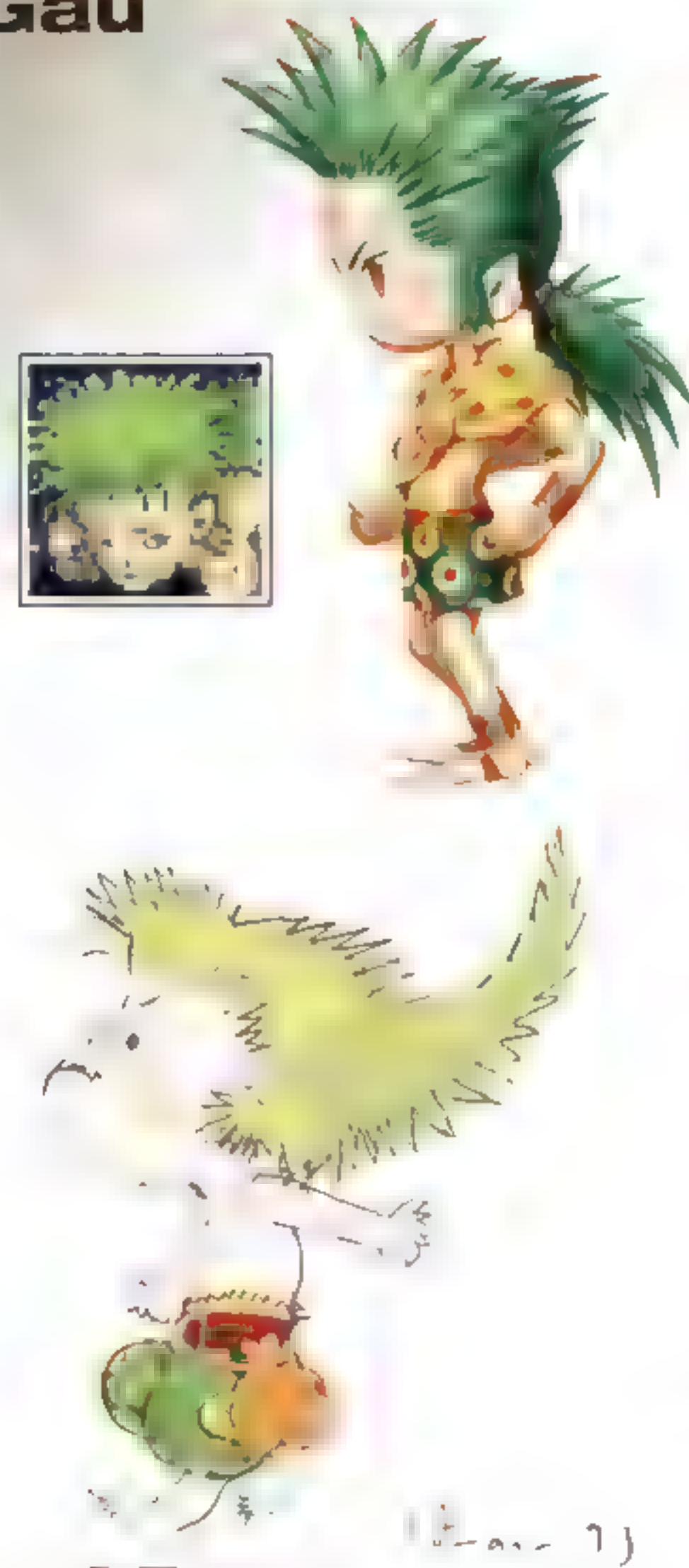
モンスターと一緒に育った いたずら好きな野生児

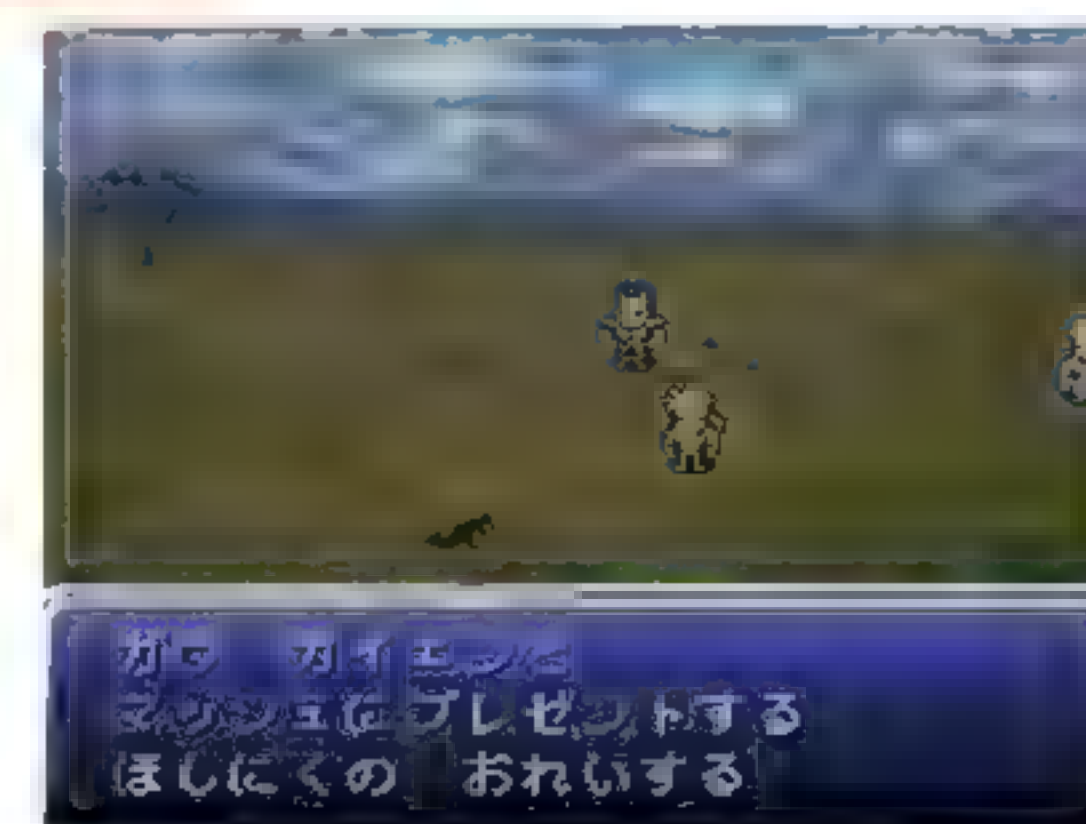
生まれて間もないころ、父親に捨てられてしまった少年。ほかに身寄りもないままモンスターの生息する獣ヶ原で育ったため、言葉を話すのはあまり得意ではなく、身振り手振りで自分の気持ちを必死に表現しようとする。生来の人なつっこい性格によるのか、たびたび旅人の前に現れては食べ物をねだる姿が目撃されてきた。炭坑都市ナルシェを目指して旅をしていたマッシュとカイエンが獣ヶ原を通りかかったとき、彼らから好物の干し肉をもらったことがきっかけで仲間に加わる。

人里離れた自然のなかで生きてきたため世情にうとく、ガストラ帝国と反帝国組織リターナーとの戦いについては知識も興味もない。それでも仲間を想う気持ちはしっかりと持っており、モンスターから学んださまざまな技を駆使して、マッシュたちとともに帝国と戦っていく。

⬆ガウのちょっとしたいたずらが原因で、三日月山ではマッシュが500ギルの入ったサイフを落としてしまう。

⬅獣ヶ原でモンスターの群れのなかに飛びこむことにより、ガウはその魔物の技をつぎつぎと修得していく。

⬅ガウに一人前の格好をさせようとするティナやセリスに町へと連れていかれ、着せかえのおもちゃにされる。

Topics of Gau

深く考えないのがガウの生きかた

獣ヶ原で出会ったカイエンの口調が気に入り、これまでの話の流れを無視して「ござる！　ござる！」をくり返したり、散々話をしたあとでマッシュをカイエンとまちがえたりと、ガウの会話はその場の思いつきだけで進んでいく。それは行動面でも同様で、マッシュたちが何のために旅をしているのかも聞こうとせず、干し肉をくれたという理由だけで同行するなど、その場のノリで動くことが多い。

⬆こまかいことを考えるのが苦手なガウは、自然のままの感性に従って行動しようとする。

自分を捨てた父との再会

ドマ城の北にある一軒屋にはガウの父親が暮らしており、世界崩壊後、マッシュの手引きによってガウはそこで父親とひさしぶりの再会を果たす。しかし、父はガウの正体に気づかないばかりか、かつて生まれたばかりの我が子を化け物だと思いこんで、獣ヶ原に捨てたことを告白。その残酷な言動にマッシュは怒りを隠せなかったが、当のガウは父親が生きていてくれるだけでも幸せだと考える。

⬆悪魔の子とののしられようとも、父親が生きているという事実だけでガウは満足なのだ。

ガウにも怖いものはある?

怖いもの知らずといった印象を与えるガウ。しかし、実際には海流へ飛びこむときに尻ごみしたり、帝国首都ベクタの近くにブラックジャック号が不時着したときは高いところが苦手だと打ち明けるなど、意外と恐がりな一面を見せることも。

⬅マッシュとカイエンが海流に飛びこんだあとでも、ガウはなかなかその覚悟が固まらない。

Impressive Words

人と触れ合う機会をあまり持たずに成長したため、思うがままに言葉を放つ。しかし、相手を思いやる気持ちは持っており、みずからの失言に気づくと素直にわびる一面も。

「がうー!　がうがう!!　おまえたち、よそもの。出ていけ!　けものがはら、でていけ!!」
——獣ヶ原：干し肉をもらう前に攻撃を受け

「ござる!　ござる!　ござる!　ござる!　おこった?　カイエン!　おこったのか?」
——獣ヶ原：カイエンの口調「ござる」をしつこくマネしていたところ、カイエンが黙っているのに気づき

「はう……」
——一軒屋：「はい」という返事とログセの「がう」が混じってしまい

「オ……ヤジ……いき……てる。ガウ……し……あ……わ……せ……」
——一軒屋：父と再会できたことを喜び

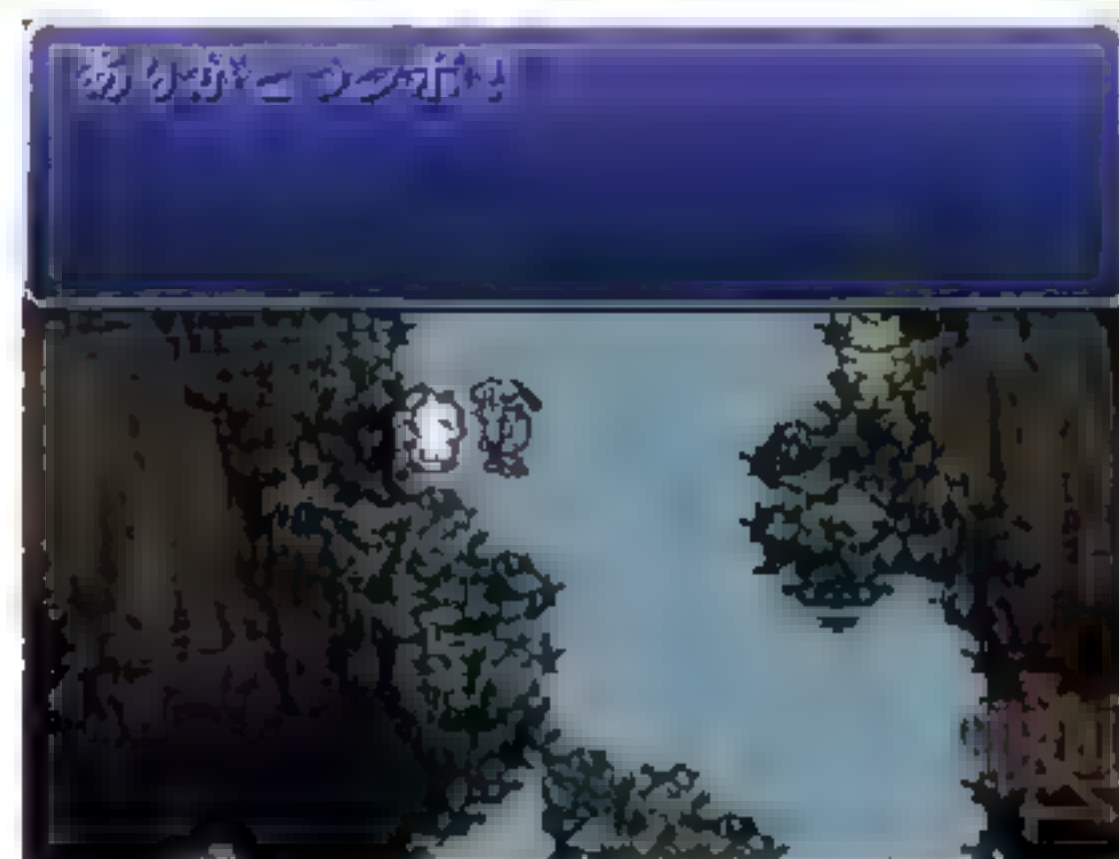
モグ
Mog

Personal Data

職業	モーグリ族の戦士	出身地	ナルシェ		
年齢	11歳	誕生日	5月11日	星座	おうし座
身長	122cm	体重	43kg	血液型	黒足アヒル型(※本人の弁)
宝物	恋人のモルルがくれた水晶のお守り				
好きな物	なでてくれる人	嫌いな物	シッポをさわる人		
趣味	歌と踊り				

人間の言葉を話す ぬいぐるみのような生き物

ナルシェの炭坑で人目を避けるようにして生活する不思議な種族モーグリの長。元来は平和を愛するおとなしい性格で、争いごとを好まないが、ナルシェの警備兵に追われているロックとティナを偶然目撃し、一族をあげてふたりの手助けをすることに。幻獣ラムウの教えを受けて人間の言葉を話せるようになり、そのラムウのお告げによって、ロックたちとともに帝国と戦うことを決意する。

世界崩壊によってほかのモーグリとは死に別れてしまうが、その悲しみを乗り越えてセリスらと再会。子分である雪男のウーマロも仲間に加え、恋人モルルの形見である「モルルのお守り」を手にケフカに立ち向かっていく。

↑こそどろ1匹オオカミにつかまって人質になるも、それがロックたちの仲間になるきっかけに。

Impressive Words

「ラムウっていう、じいちゃんに言葉を教えてもらったクポ。夢にでてきたじいちゃんが、あんちゃんたちの仲間になれって言ったクポ！　だから……ぼくも……仲間クポ！」

——炭坑都市ナルシェの北：こそどろ1匹オオカミから助けてくれたロックに感謝し

「みんな死んじゃったと思ってたクポ！　生きてたクポー！　よかったクポー！　ボクもいっしょに戦うクポ!!」

——炭坑都市ナルシェ：世界が崩壊したのちにセリスたちと再会を果たし

「ウーマロ！　がんばれクポ!!」

——雪男の洞窟：仲間に加わったウーマロを励まし

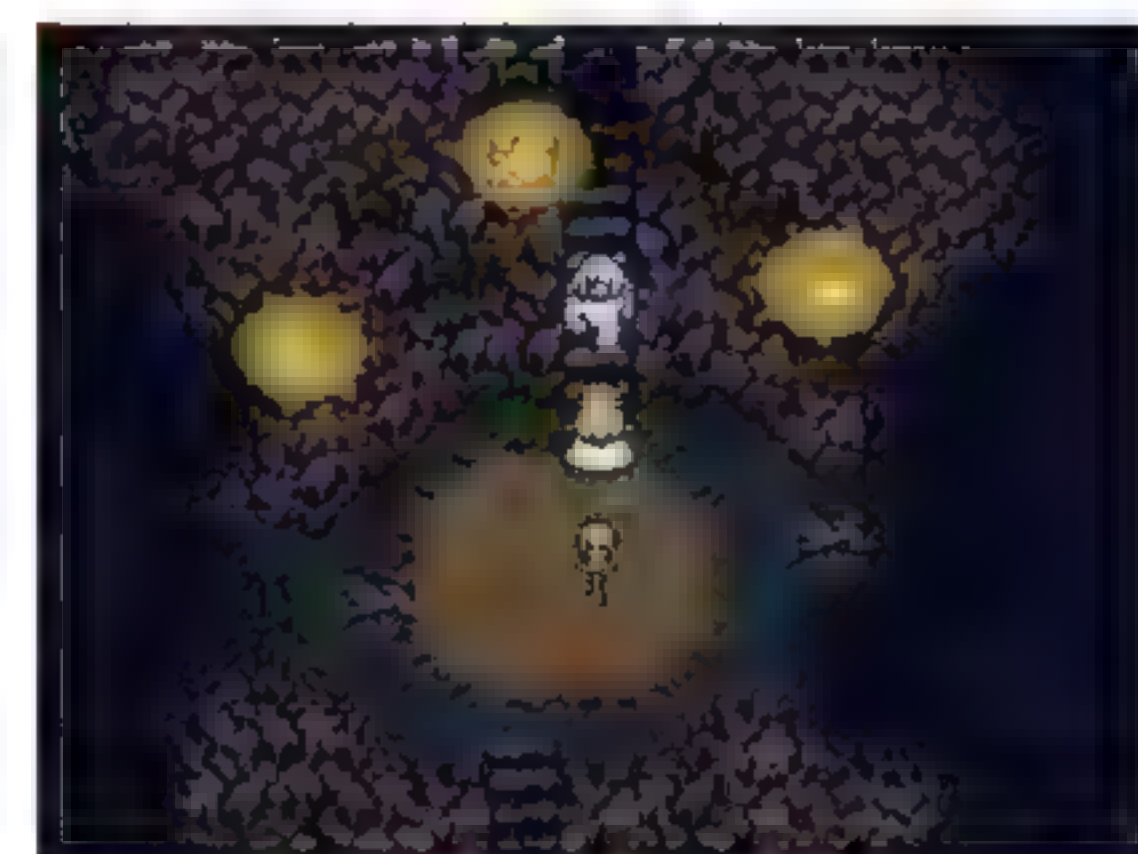
←世界は崩壊したがモグはナルシェの炭坑の奥で生きのびており、セリスたちとともに戦うことを宣言する。

ウーマロ
Umaro

Personal Data

職業	雪男	出身地	ナルシェ北方
年齢	数えはじめてから4歳	誕生日	9月9日
星座	おとめ座	身長	209cm
体重	198kg	血液型	赤い
宝物	愛用の棍棒(ベヒーモスの骨製)		
好きな物	骨	嫌いな物	毛虫
趣味	骨彫刻		

洞窟の奥深くに暮らす大男

炭坑都市ナルシェの北にある洞窟の奥でひっそりと暮らしている雪男。乱暴なところもあるが、骨彫刻を愛するという意外な一面も持ち合わせている。モグを親分と慕っており、そのモグに命じられるままロックたちの仲間となって、ともに冒険へと旅立つ。モグから教わったのか、片言ながらも人間の言葉を話すことができる。

↑我を忘れやすく、親分のモグの紹介でやってきたセリスたちに問答無用で襲いかかってしまう。

Impressive Words

「ウー……ウーマロだウー。親分の命令……。おれ……あんたたちの仲間！　よ　ろ　し　く！」

——雪男の洞窟　ロックたちの仲間になるようにモグに命じられて

「おまえたちの乗ってきたあの空飛ぶ船に乗ってるウー！」

——雪男の洞窟：先にファルコン号に向かうことをロックたちに伝え

「ウガー！」

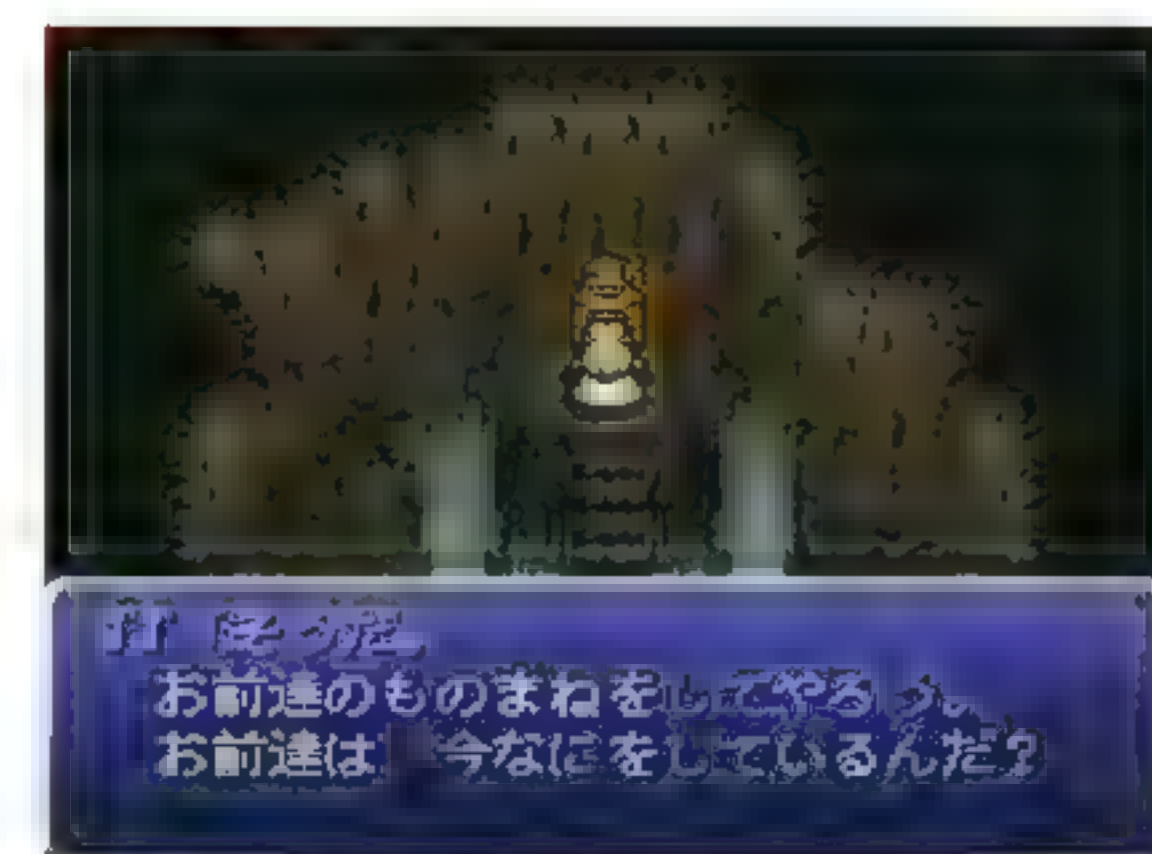
——エンディング：固く閉じられた扉を横目に、岩壁を力ずくで破壊して進路を確保し

ゴゴ
Gogo

Personal Data

職業	ものまね士	年齢	不明
身長	166cm(推定)	体重	60kg(推定)
趣味	ものまね		

いっさいが謎に包まれたものまね士

奇妙な服を身にまとった不思議な人物。素性はおろか年齢や性別も、そもそも人間であるのかさえも明らかではない。物語の後半、出会ったセリスたちの目的が世界を救うことだと知り、自分もそのマネをしてみようと勝手に一行に加わる。仲間になってからはいっさい自己主張をせず、ただ仲間のマネに徹するのみ。

↑ゾーンイーターという魔物の腹のなかはダンジョンになっており、ゴゴはそこで暮らしている。

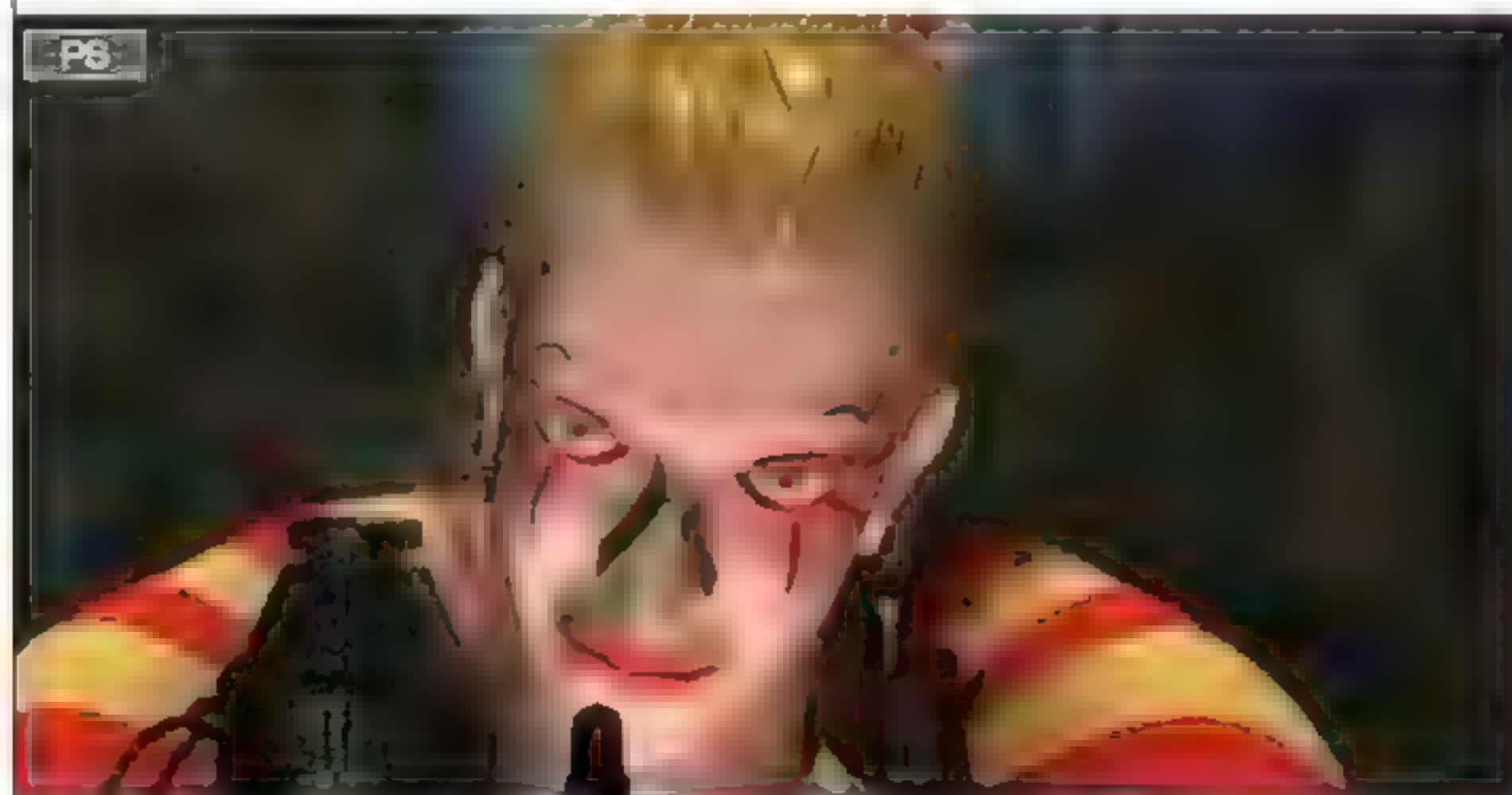
Impressive Words

「俺は、ゴゴ。ずっとものまねをして生きてきた。お前達は、久しぶりの来客だ」

「お前達は、今なにをしているんだ？　そうか。世界を救おうとしているのか。では、俺も世界を救うというものまねをしてみるとしよう」

——ゾーンイーターの腹のなか：セリスたちの仲間になり

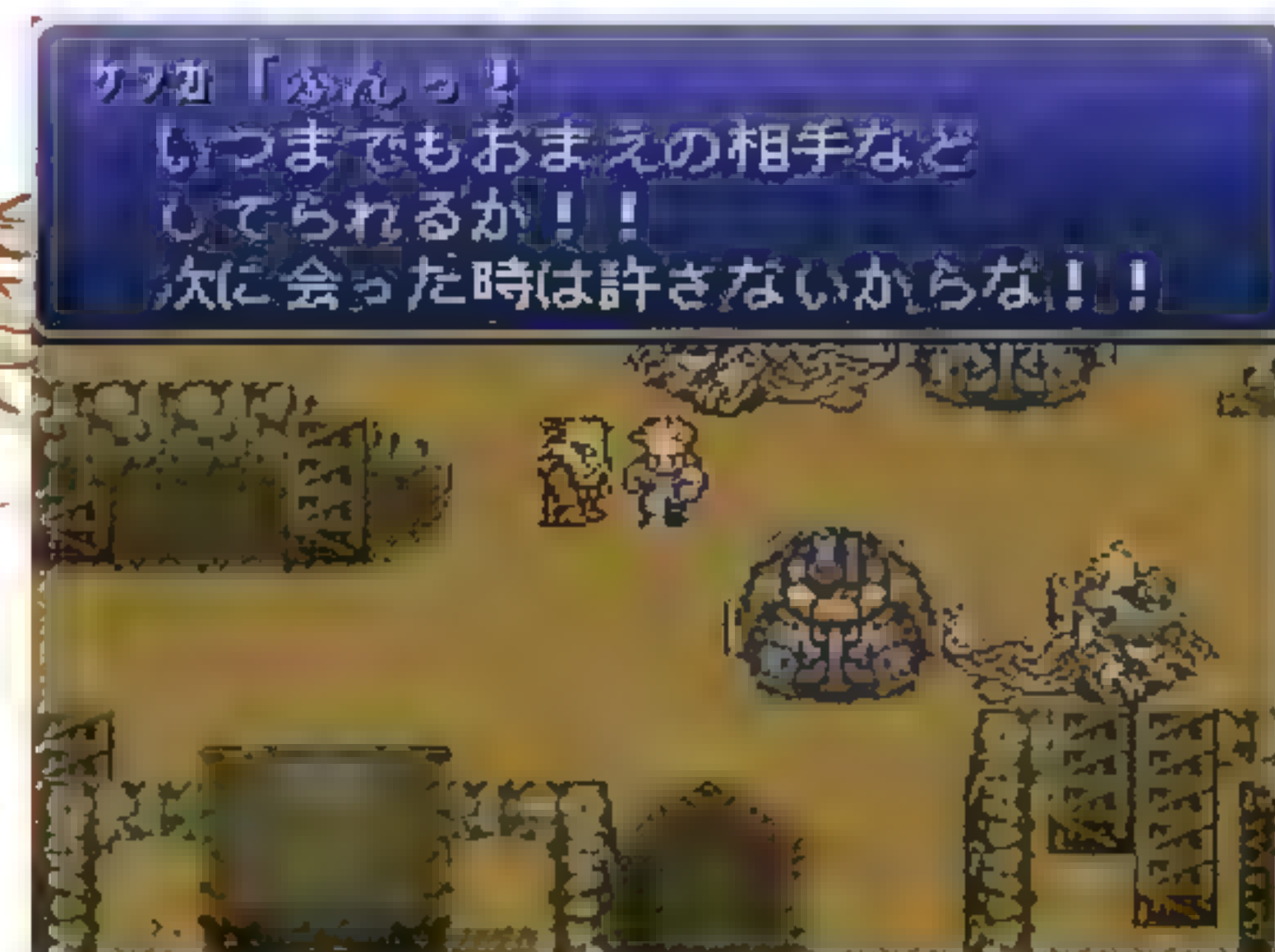
ケフカ

Cefca Palazzo

Personal Data

職業	大魔導士			出身地	不明
年齢	35歳	誕生日	11月19日	星座	さそり座
身長	167cm	体重	48kg	血液型	AB型
好きな物	鏡				
嫌いな物	レオ将軍				
趣味	人形遊び				

幻獣の力に執着する狂気の魔導士

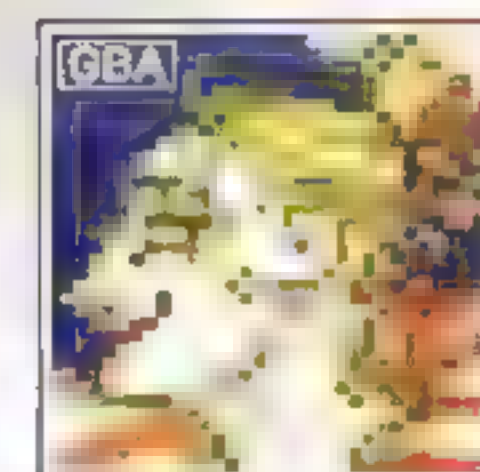
ガストラ皇帝直属の魔導士。生まれつき魔導の力を持っていたわけではなく、シド博士の手によって魔力を注入されて魔導士になった。人工的に魔力を植えつけられた影響で精神の均衡を失っており、女性や子どもも見さかいなく殺害するといった残虐非道な行為から、同じ帝国の兵士たちにも嫌悪されている。その一方で皇帝からは絶大な信頼を得ており、他国への侵攻と並行して、各地で幻獣捕獲の任務にもあたってきた。

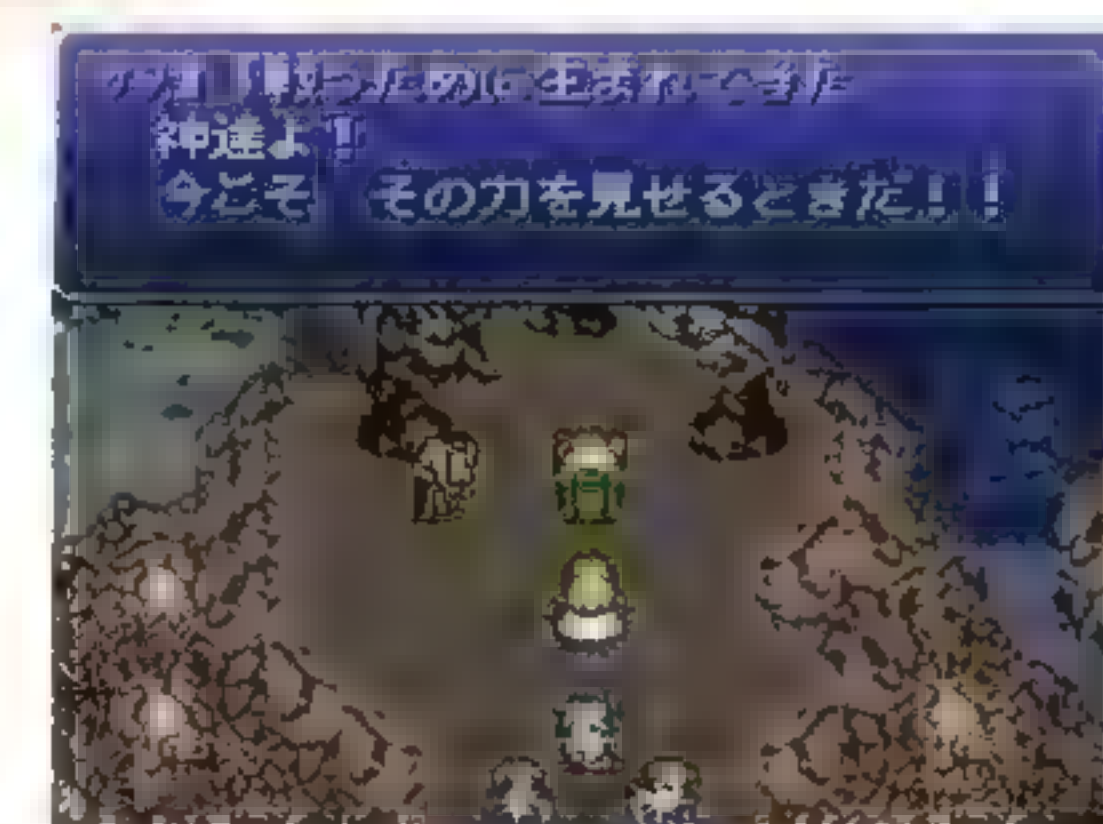
ガストラ皇帝の腹心として対リターナー戦の前面に立ち、ロックたちと敵対。幻獣が暴走したときには、皇帝の策略で別働隊として動き、和平のために現れた幻獣を魔石化してしまう。その後、皇帝に同行して魔大陸へ向かうも、魔導の創造主である三闘神のあつかいをめぐって皇帝と対立し、彼を亡き者に。三闘神の力で世界を崩壊させ、焦土と化した大地に"神"として君臨する。

↑魔導の力によって実績を積み、ほかの将軍たちと肩を並べる地位にのぼりつめるまでになったが、その言動は幼児的な残虐さに満ちている。

PS

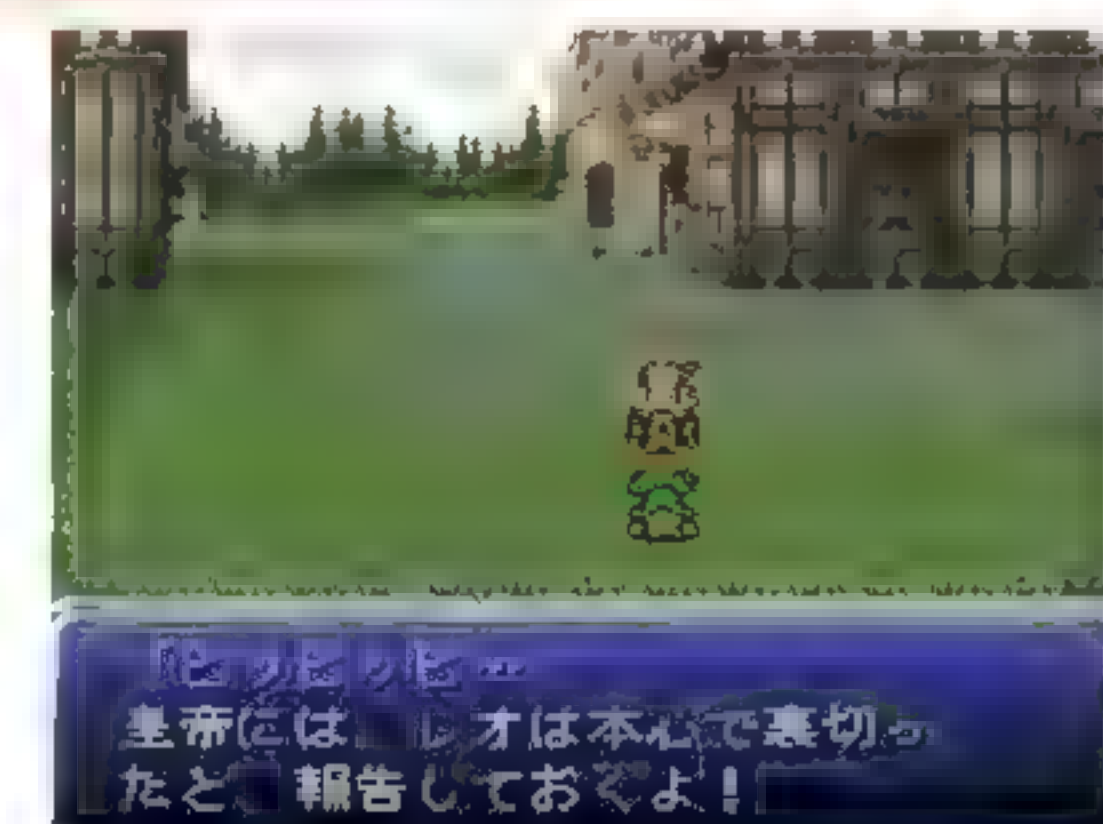
↑大量の幻獣を魔石化することでさらに大きな力を得たケフカは、世界を破滅させるべく暴走していく。

Topics of Cefca

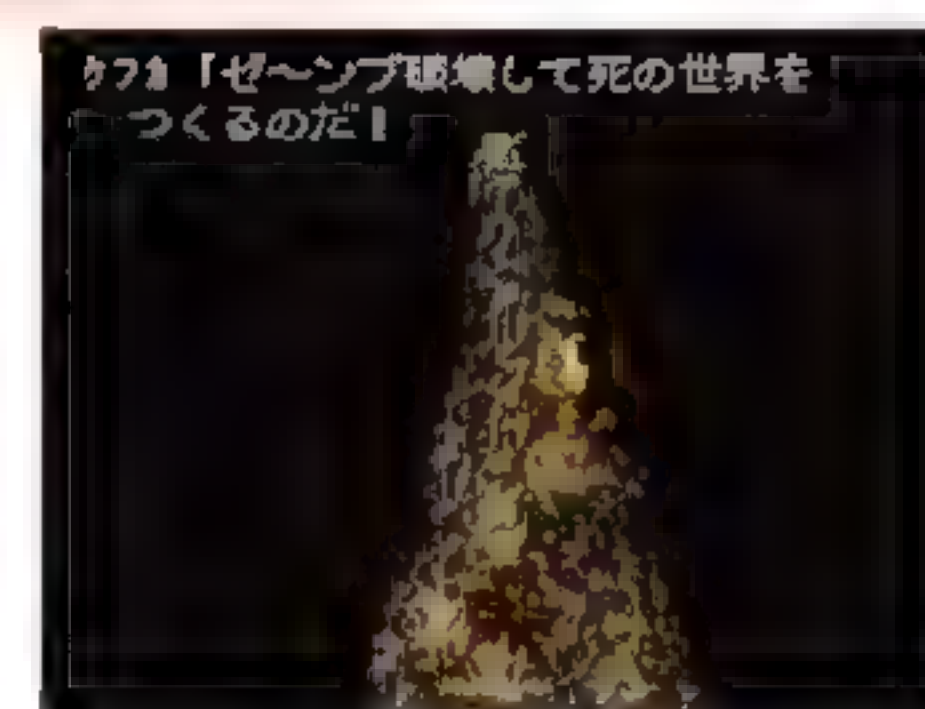
GBA

■魔導の力を手に入れた代償

シドによって後天的に魔導の力を注入されたケフカは、それが原因で心が壊れてしまっており、他人に対する思いやりをいっさい持たない。ティナをかくまっていると見るや、同盟を結んでいるにもかかわらずフィガロ城に火を放ったり、自国の捕虜がいると知ったうえでドマ国に対して毒を使ったりと、何のためらいもなく行動する。あくまでも自己中心的で、あらゆる破壊行為に喜びを感じているのだ。

↑三闘神の力を手に入れようとしたのは、世界を崩壊させたいという破壊欲求を満たすため。

■リターナーをあざむくためのワナ

ロックたちが帝国首都ベクタを訪れたとき、ケフカはドマ国に毒を流した罪状で投獄されているが、じつはそれは皇帝が仕組んだワナ。改心したフリをしてリターナーと幻獣を油断させ、幻獣と三闘神の力を手に入れようとしたのだ。計略どおりケフカは、和解のためにサマサの村にやってきた幻獣を、つぎつぎと魔石に変える。だが、その強大な力を自身で独占し、皇帝の忠実な部下、レオ将軍も手にかけてしまう。

↑幻獣たちを魔石にして調子に乗ったケフカは、目の上のコブだったレオ将軍にも牙をむく。

■ガレキの塔で神として君臨

三闘神の力によって崩壊した世界で、ケフカは己の魔力でガレキを集めて塔を建造し、その最上階に居を構えた。自分に逆らう者がいれば「裁きの光」と呼ばれる魔法で町ごと燃やし尽くすケフカのことを、人々は「神」と呼んで恐れている。

↑三闘神の力を手に入れたケフカにとって、町を焼き払う程度は、たやすいことだった。

Impressive Words

心が壊れた影響で、その言動は幼児退行してしまったかのように子どもじみている。また、とてもキレやすく、気に入らないことがあると相手が敵だろうが味方だろうが、かまわずに罵倒するほど。

「ヒッヒッ……何百もの悲鳴がかなでるオーケストラは、さぞ聞きごたえがあるだろう」
——帝国軍陣地：ドマ攻略のために水に毒を流しこみ

「なんで俺がこんなところに入れられるんだ!! カーッ! シンジラレナーイ!!!」「つまらん」
——帝国城：ドマ城に毒を流した罪で投獄され

「おほほほ! なんと、あたたかい手ざわり! みたされていくー!!」
——サマサの村：襲いかかってくる幻獣たちをつぎつぎと魔石に変えていき

「なぜなら、皇帝、あなたは! 役たたず以下、だからだー!!」
——魔大陸：三闘神の力でガストラ皇帝を始末して

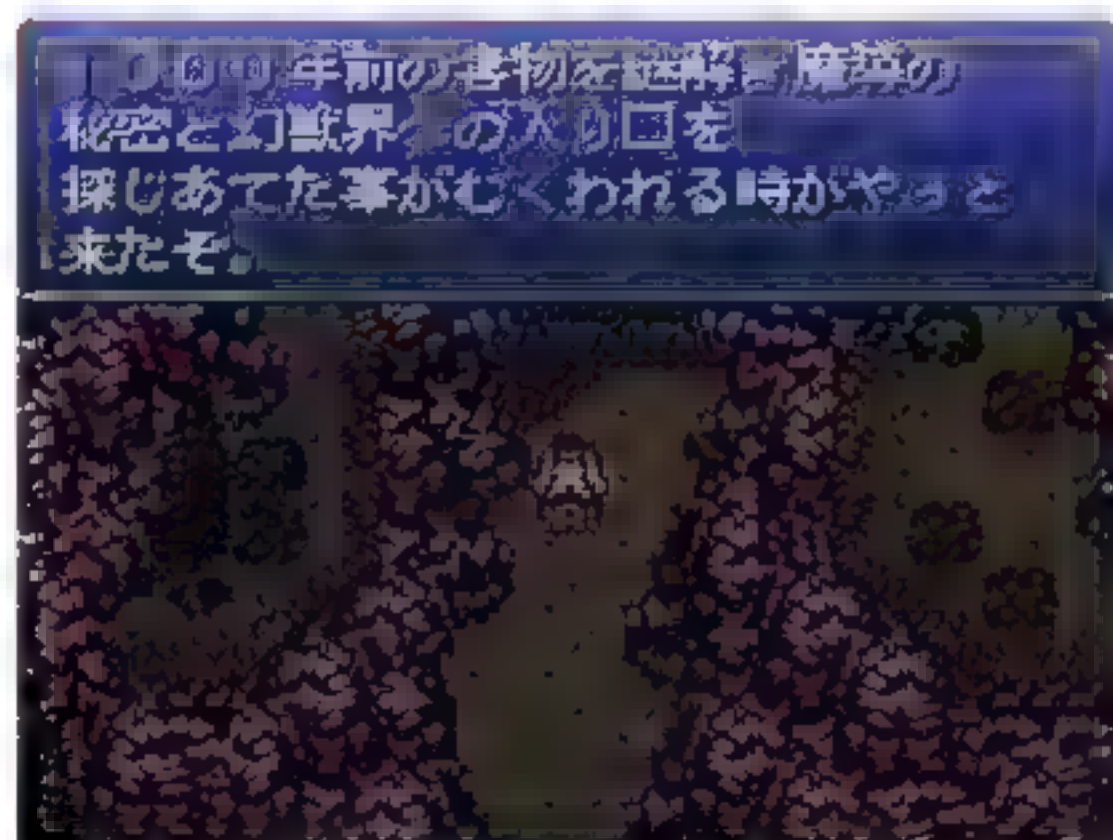
ガストラ帝国の人々

ガストラ皇帝
Gastra

Personal Data							
職業	皇帝	出身地	不明	年齢	50歳	誕生日	10月26日
星座	さそり座	身長	179cm	体重	71kg	血液型	B型
好きな物	権力	嫌いな物	人に従うこと	趣味	絵画収集		

登場場所：帝国城、魔大陸ほか

魔導の力によって世界征服をたくらむ皇帝

ガストラ帝国の最高権力者。禁忌とされる魔導の力を復活させて強大な軍事力を手に入れ、いくつもの国を滅ぼしてきた。幻獣から魔導の力を抽出するだけでは飽きたらず、魔導の神である三闘神の力さえも我が物にしようと画策。魔大陸へと乗りこんでいったが、そこで腹心のケフカの裏切りにあい、命を落とす。

⬆16年前に幻獣界への入口を発見。幻獣たちから魔導の力を手に入れ、最強の軍隊を作り上げた。

Impressive Words

「1000年前の書物を謎解き魔導の秘密と幻獣界への入り口を探しあてた事がむくわれる時がやっと来たぞ」
——マディンの回想：幻獣界に踏みこみ

「幻獣を見つけ出し、彼らと和解してくれ。お前たちだけが頼りなのだ……たのむぞ」
——帝国城：ロックたちをだまして幻獣との橋渡しを依頼

「ケフカ！　やめろ！　三闘神を復活させれば世界は消える……それでは意味がない！」
——魔大陸：三闘神を復活させようとするケフカに

レオ
Leo Cristophe

Personal Data							
職業	将軍	出身地	ベクタ	年齢	30歳	誕生日	7月8日
星座	かに座	身長	188cm	体重	83kg	血液型	O型
好きな物	騎士道	嫌いな物	卑怯なこと	趣味	音楽鑑賞		

登場場所：帝国軍陣地、サマサの村ほか

ガストラ帝国の良心

ガストラ帝国にありながら魔導の力を注入されることをこばみ、己の才覚のみで将軍の座までのぼりつめた男。卑劣な策を嫌い、敵味方に関係なく人命を重んじるため、部下のみならず敵対国の者からも一目置かれている。幻獣をだまして魔石化していくケフカの行ないにガマンがならずに戦いを挑むも敗れ、殺害されてしまう。

⬆幻獣と人間の和平が、幻獣をおびき出すためのケフカたちのワナだったと知り、レオは激怒する。

Impressive Words

「国には家族もいるだろう。この私にお前の剣を持って家族の所へ行けというのか？その時私はどんな顔をすればいい？お前は帝国軍の兵士である以前に、一人の人間だ。ムダに命を落とすな」
——帝国軍陣地：ドマ城襲撃に、はやる兵士をさとして

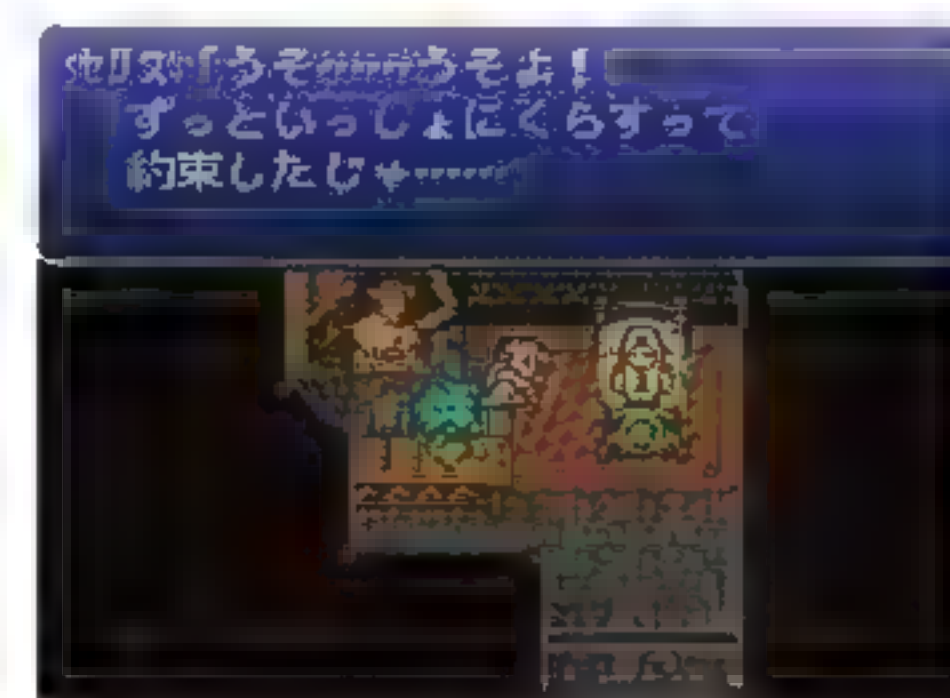
「お前が幻獣とのハーフであり、魔導の実験台として苦しめられているのを知りながら……それを止められなかった俺も、ケフカと同罪さ……」
——輸送船：感情を取りもどしたティナに過去のあやまちをわびて

魔導の力を研究する老人

シド
Cid Del Norte Marguez

Personal Data							
職業	発明家	出身地	ベクタ	年齢	46歳	誕生日	5月27日
星座	ふたご座	身長	163cm	体重	60kg	血液型	B型
好きな物	瞑想、学問	嫌いな物	世俗事、とくに金	趣味	新種の植物栽培		

登場場所：帝国城、孤島ほか

幻獣から抽出した魔導の力を人間に注入して、ケフカをはじめ多数の魔導戦士を造ってきた博士。ロックたちと出会って戦争のおろかさを痛感し、一行に協力的な態度をとる。世界崩壊後は孤島で1年ものあいだセリスを看病した。

⬅娘同然に思ってきたセリスと孤島で暮らすうちに病を悪化させ、展開によっては帰らぬ人に。

Impressive Words

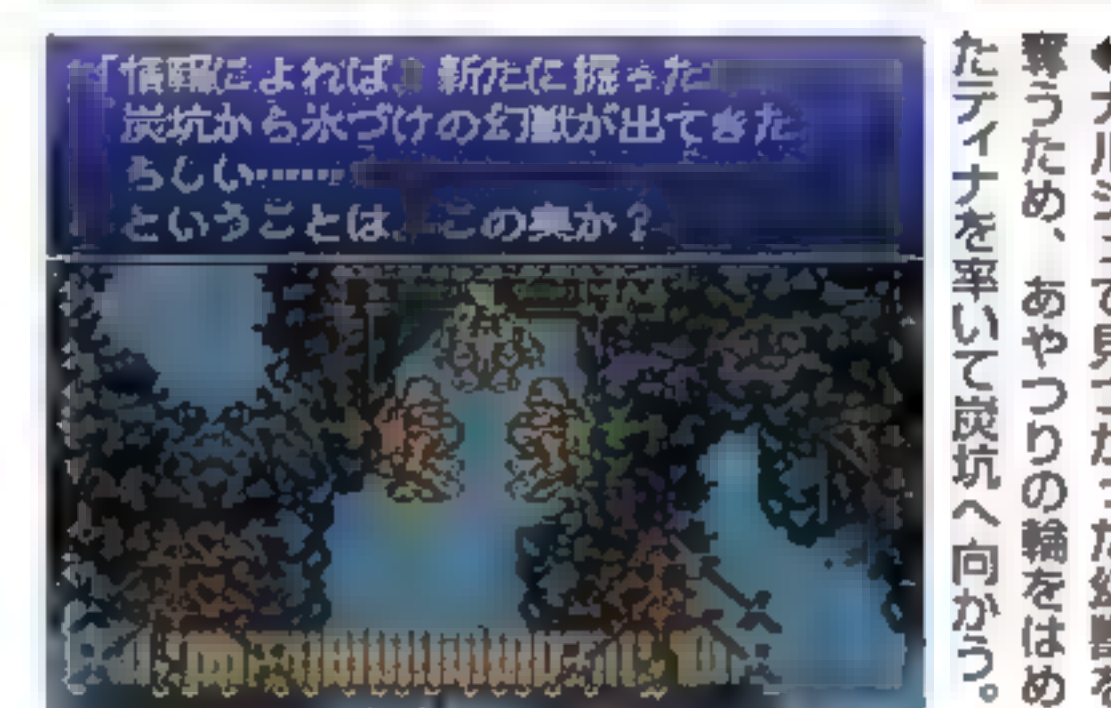
「娘のように、かわいがってきた。しかし同時に魔導戦士として教育するという、むごいこともしてきた。だから……もう一度会えるなら、あやまりたい……」
——魔導研究所：ケフカとともに消えたセリスを案じ

幻獣強奪の先兵

ビックス&ウェッジ
Biggs & Wedge

登場場所：炭坑都市ナルシェ

意思を奪われたティナを連れて炭坑都市ナルシェを襲撃した帝国の兵士たち。炭坑の奥で見つかった氷づけの幻獣を確保すべく魔導アーマーに搭乗して進むも、幻獣の発する不気味な光を浴びて、あとかたもなく消滅してしまう。

⬅ナルシェで見つかった幻獣を奪うため、あやつりの輪をはめたティナを率いて炭坑へ向かう。

Impressive Words

「魔導アーマーに乗った兵士50人をたった3分で倒したとか……恐しい……」
——オープニング：同行したティナを見つめながら

ビックス「な、なんだー!?　ウェッジ、おい、どこへ消えてしまったんだ?」
——ナルシェの炭坑：氷づけの幻獣の放つ光を浴びてウェッジが消えてしまい

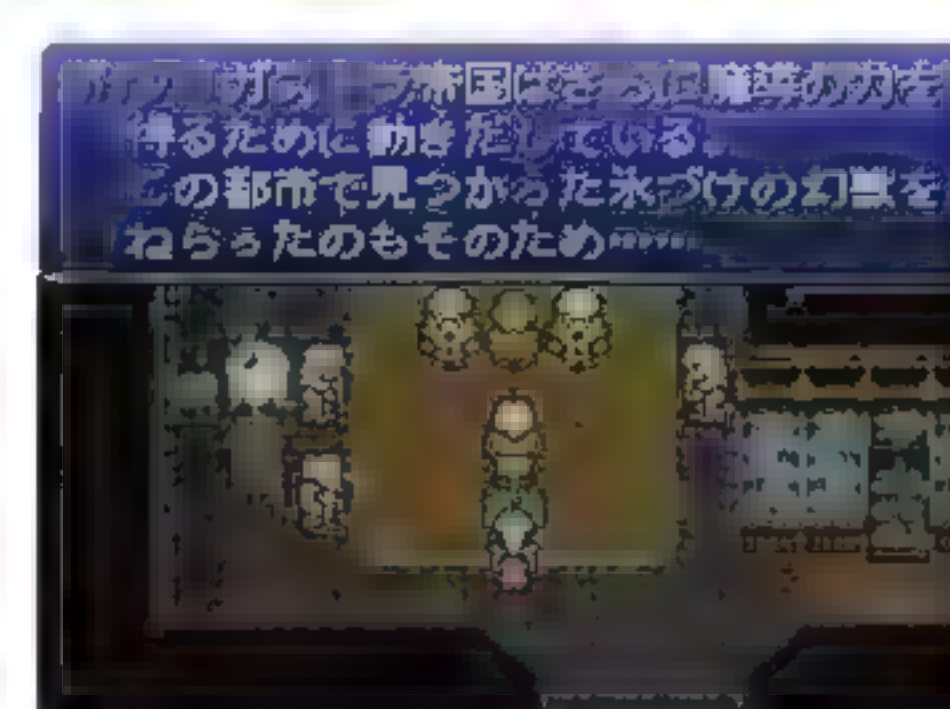
リターナー

反帝国組織リターナーの指導者

バナン
Bannan

Personal Data							
職業	リターナー指導者	出身地	サウスフィガロ地方	年齢	54歳		
誕生日	10月23日	星座	てんびん座	身長	172cm	体重	70kg
血液型	A型	好きな物	平和	嫌いな物	秩序なき混沌	趣味	読書

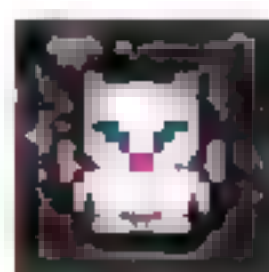
登場場所：リターナー本部、炭坑都市ナルシェほか

リターナーを率いる老人。他国への侵攻をつづける帝国に抵抗活動をつづけていた矢先に、魔導の力を持ったティナと出会う。リターナーと幻獣が力を合わせれば帝国に対抗できるはずだと考え、ティナに幻獣との仲介役を依頼する。

⬅魔大戦の再現を危惧するバナンは、魔導の力以外の手段で帝国に対抗しようと考える。

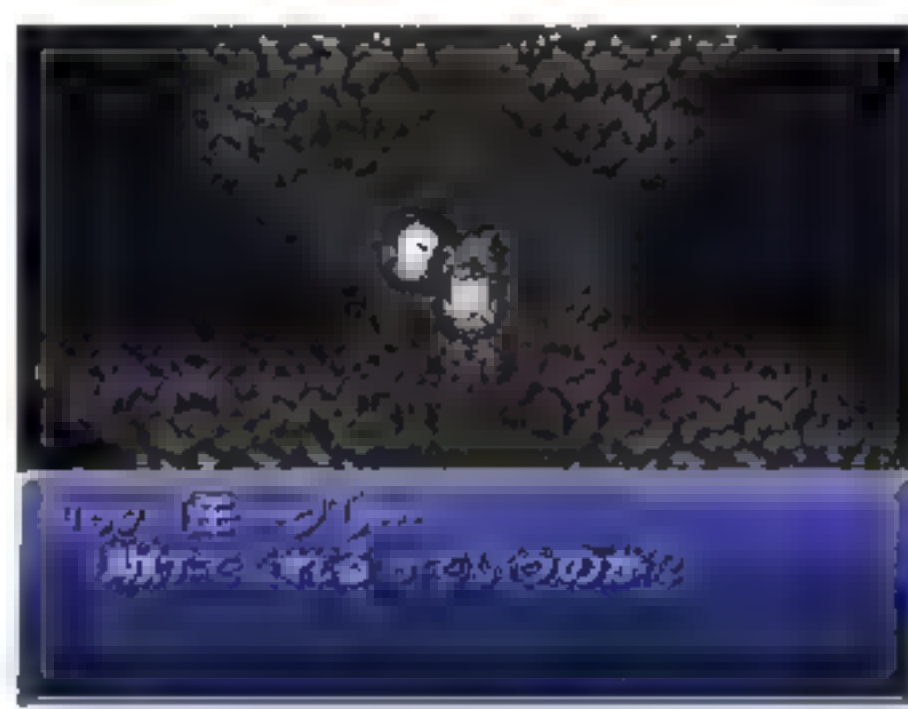
Impressive Words

「おぬしは世界に残された最後の一粒。「希望」と言う名の一粒の光じゃ」
——リターナー本部：みずからの力におびえるティナに

「わしらは、あんたに血を流せと言っておる」
——炭坑都市ナルシェ：リターナーと手を組むことをしぶるナルシェの長老に

ナルシェ関係者

帝国と戦う勇敢な生き物 登場場所 ナルシェの炭坑

モーグリたち

ナルシェの炭坑の奥で暮らすかわいらしい生き物。自分たちの巣の近くでナルシェのガードに追われていたロックとティナを守ろうとして勇敢に戦う。世界崩壊によって、モグだけを残し全員が命を落としてしまうことに。

←総勢11匹のモーグリたちがロックを含めて3チームにわかれ、ティナ救出のために戦う。

◆ティナ救出のために立ち上がったモーグリたち

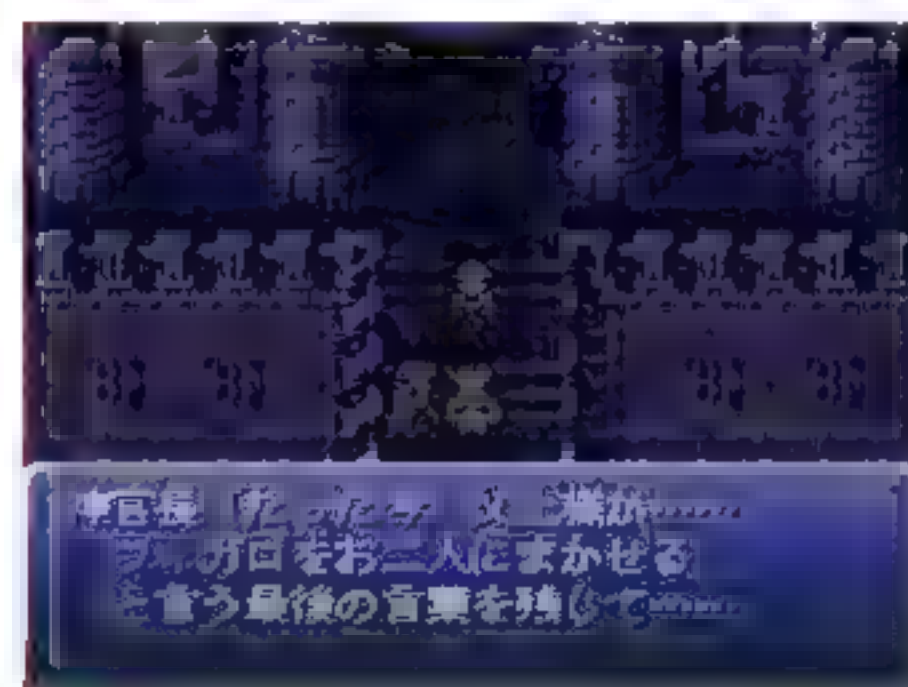
第1チーム	第2チーム	第3チーム
(ロック)	モグ	モグシン
モグリン	モルル	モグポン
モグプウ	モグタン	ムグムグ
モグッチ	モグール	ズモモグ

フィガロ兄弟関係者

双子を見守ってきた老女

神官長

登場場所 フィガロ城

長きに渡りフィガロ王国に仕えてきた女性。エドガーやマッシュが幼いころから彼らの面倒を見ており、先王の死後、城から姿を消したマッシュの安否を気にかけている。現在は、王位を継いだエドガーの相談役。

Impressive Words

「まったくエドガーも……。ばあやも同然のわたしまでくどくとは、ふとどきな!」
——フィガロ城：エドガーの態度にあきれて

マッシュを鍛え上げた老格闘家

ダンカン

ダンカン・ハーコート

登場場所 ダンカンの家

17歳で城を出たマッシュを鍛えた格闘家。マッシュの兄弟子である息子バルガスの奮起を期待し、あえてマッシュを奥義継承者に選んだため息子のうらみを買う。世界崩壊後、マッシュに奥義「夢幻闘舞」を授ける。

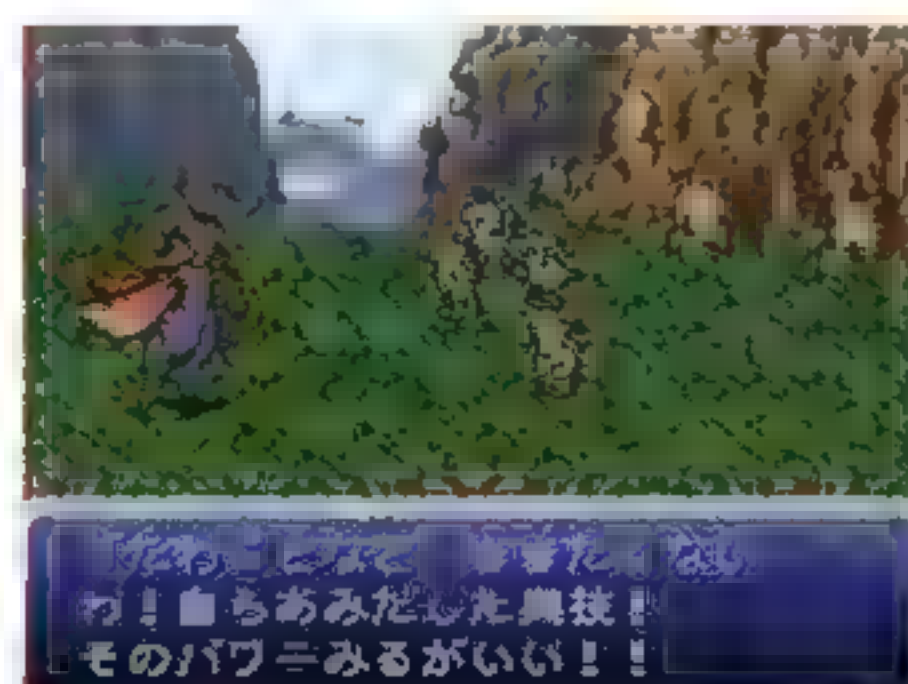
Impressive Words

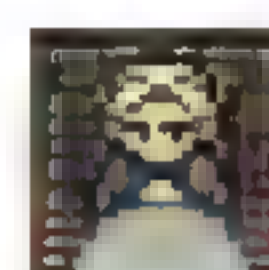
「たとえ、裂けた大地に、はさまれようとも、わしの力でこじあける!」
——ダンカンの家：再会に涙ぐむマッシュに

嫉妬に狂った格闘家

バルガス

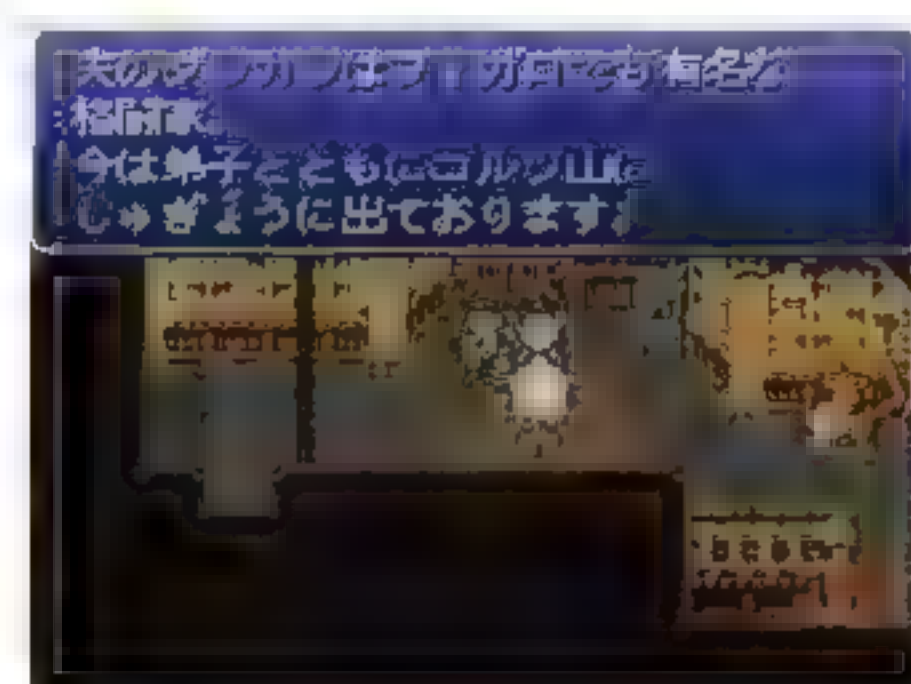
登場場所 コルツ山

マッシュの兄弟子。師匠でもある父ダンカンが奥義継承者にマッシュを選んだことをうらんで父を襲い、殺したと思いこんでコルツ山へ逃亡。追ってきたマッシュに勝負を挑むも、ダンカン直伝の技で返り討ちに遭う。

Impressive Words

「宿命だ。そしてお前には私を倒すことはできぬ! それもまた、宿命だ!!!」
——コルツ山：マッシュと対峙し

夫の帰りを待つ女

ダンカンの妻

登場場所 サウスフィガロの町

コルツ山へ修行に行ったままもどってこないダンカンを、サウスフィガロの家で待っている妻。生と死と隣り合わせの格闘家に嫁いだことで覚悟ができているのか、ダンカンの留守を守り、静かに暮らしている。

Impressive Words

「うちの主人、生きていたわ!」
——サウスフィガロの町：ダンカンが生きていたことをセリスたちに伝え

幻獣関係者

雷をあやつる幻獣

ラムウ

登場場所 ゾゾの町

老人の姿をしてゾゾの町に隠れ住んでいる幻獣。力を制御できずに暴走していたティナを呼び寄せ、看病した。ロックたちが帝国と戦っていることを知ってみずから魔石となり、その力を彼らに託す。

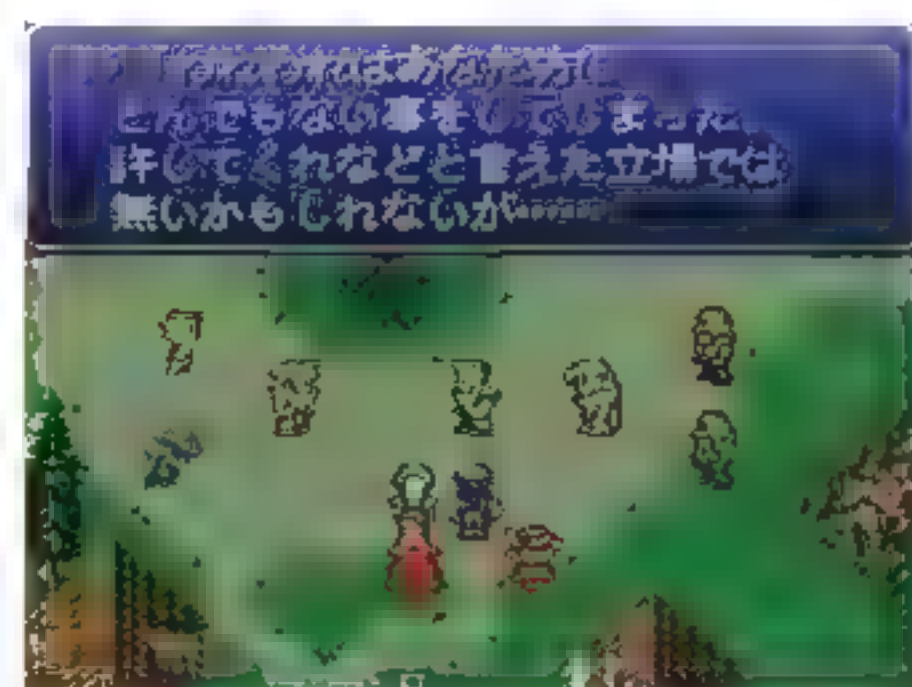
Impressive Words

「とめるのじゃ。魔大戦を再びおこしてはならぬ……」
——ゾゾの町：己の力をロックたちに託し

幻界の若者

ユラ

登場場所 幻獣の洞窟、サマサの村

物語中盤、ティナが封魔壁を開いたことで人間界へやってきた幻獣の若きリーダー。自分たちの暴走で人間界に甚大な被害をもたらした責任を感じており、帝国との和解に応じるものの、ケフカにだまされ魔石にされる。

Impressive Words

「君は……ちょっと違う……われわれと同じチカラを感じる」
——幻獣の洞窟：人間と幻獣の仲介役であるティナを目にして

人間との愛をつらぬいた幻獣

マディン

登場場所 マディンの回想

人間の女性マドリーヌと結ばれた幻獣。彼女とのあいだにティナを授かるが、16年前、幻獣界へ侵攻してきた帝国にとらわれ、妻子と生き別れに。成長した娘ティナに魔石の姿で再会し、自分たちの過去を伝える。

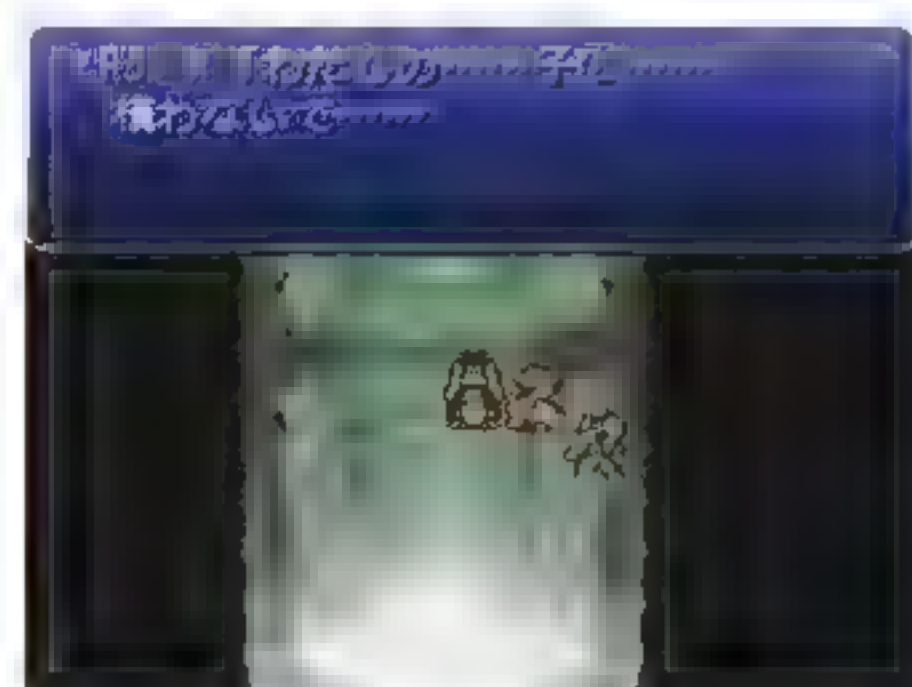
Impressive Words

「それが誠の事かどうか……俺達が示してみればいいではないか?」
——マディンの回想：人間と幻獣は相容れない存在なのではと悩むマドリーヌに

幻界に迷いこんだ女性

マドリーヌ

登場場所 マディンの回想

人間界に嫌気がさし、嵐のなかをさまよっているうちに幻獣界へ足を踏み入れた女性。幻獣マディンと恋に落ちてティナを授かるも、幻界へ攻めこんだガストラ皇帝に我が子を取り上げられ、命を絶たれる。

Impressive Words

「私はやっぱりこの世界でも邪魔者……なのかしら?」
——マディンの回想：幻獣界へ迷いこんだ自分を助けてくれたマディンに

ケフカによって廃棄された炎の幻獣

イフリート

登場場所 魔導工場

シヴァとともに魔導工場の廃棄処理場に捨てられた幻獣。ラムウやシヴァとは兄弟で、ラムウがロックに力を貸したことを知るや、炎をつかさどる自身の力を打倒帝国のために役立てたいと考え、みずから魔石と化した。

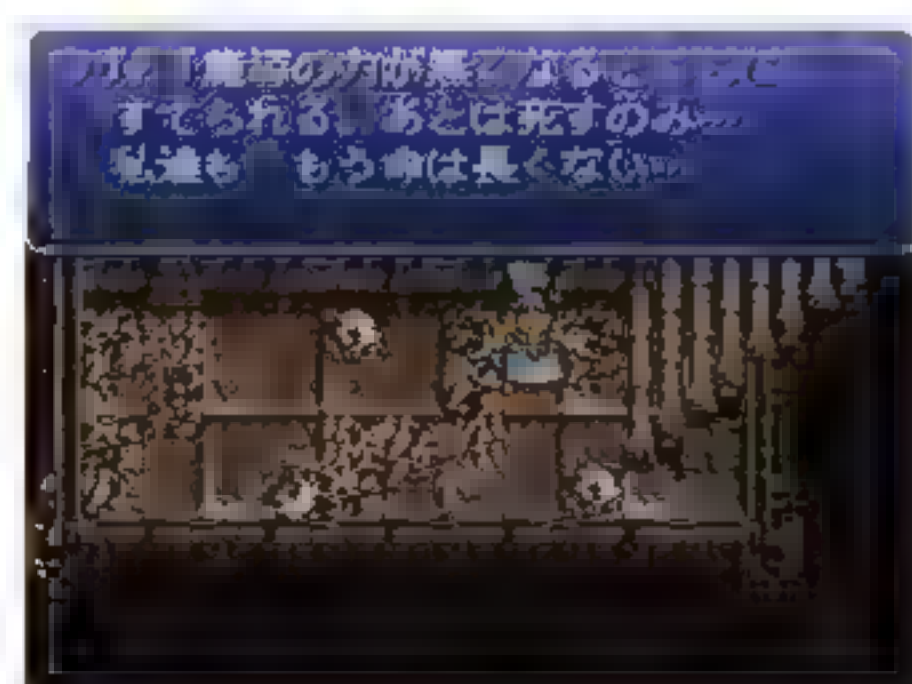
Impressive Words

「私も、この研究所のビーカーに入れられ力を吸い取られた……」
——魔導工場：ロックたちに己の境遇を語り

氷の力を自在にあやつる幻獣

シヴァ

登場場所 魔導工場

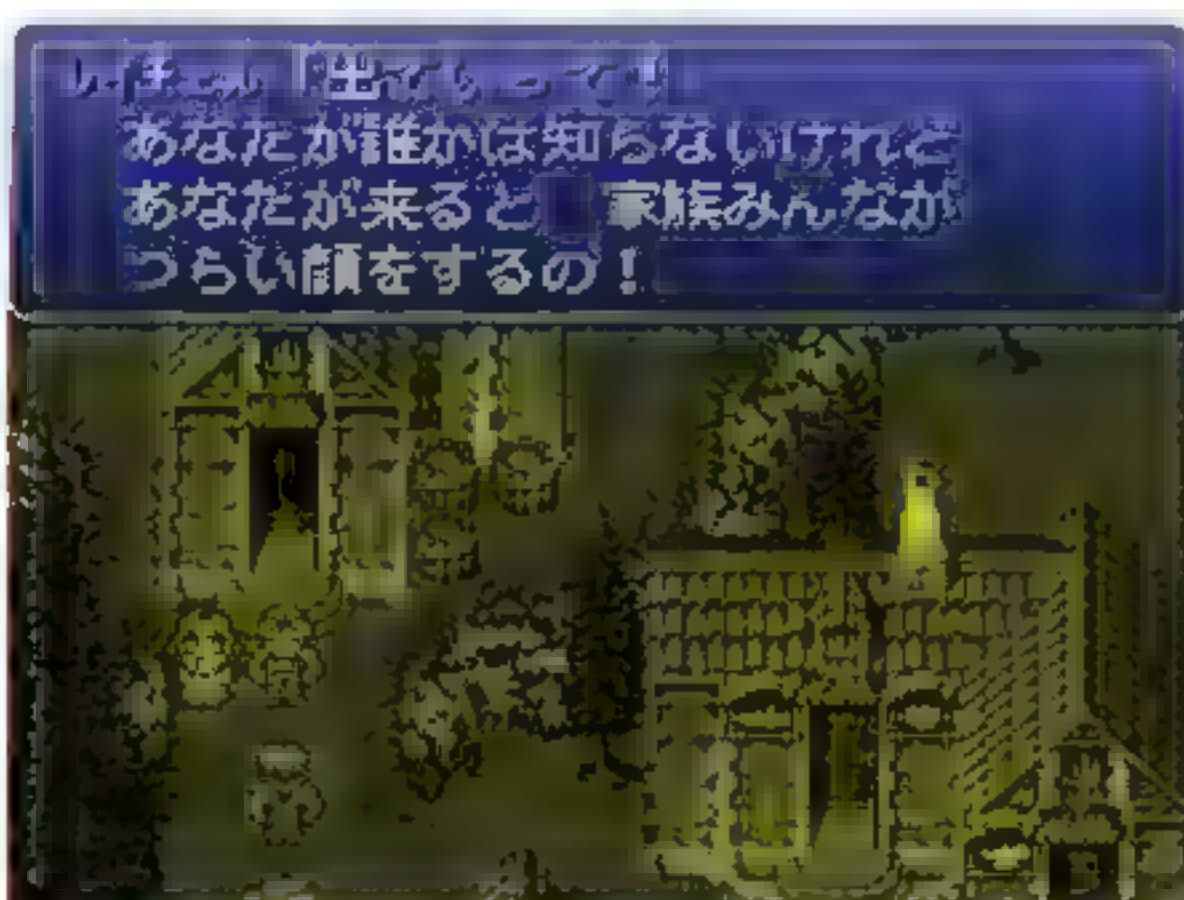
帝国にとらわれて魔導の力を吸い尽くされたのちに廃棄処理場に捨てられた幻獣。自分の命がもう長くないことを悟っており、最後の力を振りしぼって魔石化し、帝国と戦うロックたちにその力を託す。

Impressive Words

「ラムウが力をたくしただけのことはある……」
——魔導工場：戦いを通してロックたちの実力を知り

ロック関係者／カイエン関係者

眠りつづけるロックの恋人
レイチェル Rachel

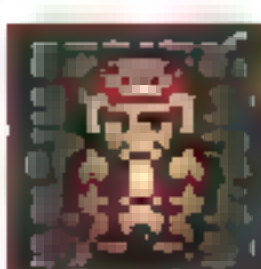
登場場所 ロックの回想、コーリンゲンの村

恋人のロックをかばって橋から転落し、記憶を失った少女。帝国軍の襲撃で命を落とすが、同じコーリンゲンの村に住む老人が作り出した薬によって生前の姿のまま安置されていた。ロックの発見したフェニックスの魔石によって一時的によみがえり、彼の新たな恋をあと押しする。

⬆橋から落ちた衝撃でロックを忘れたレイチェル。彼女とその家族を苦しめないため、ロックは村を出た。

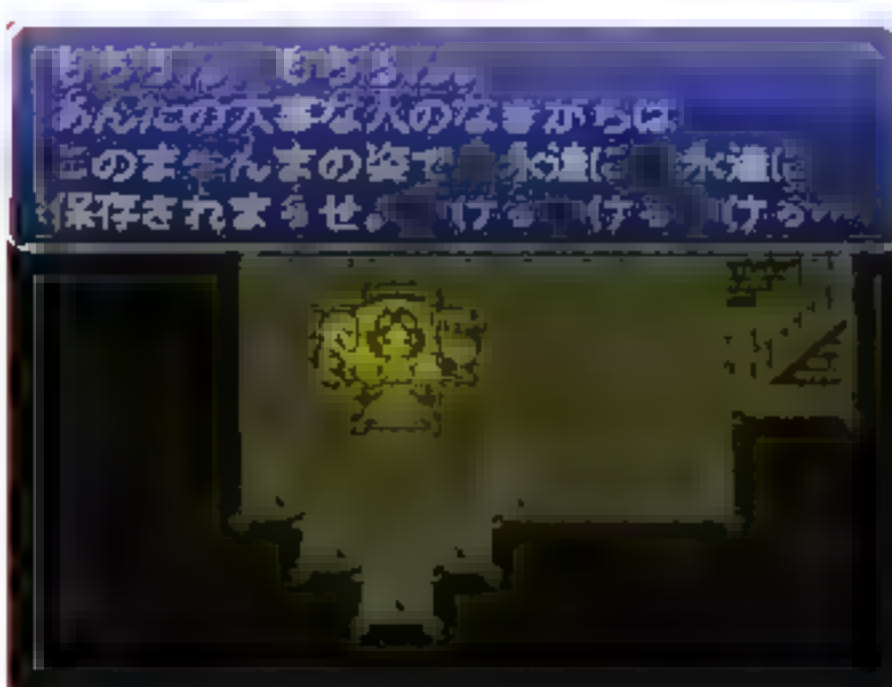
⬅幻の秘宝によって魂を呼びもどされたレイチェルは、ロックとつかの間の再会を果たす。

Impressive Words

「あなたがくれた、しあわせ……ほんとうに、ありがとう……。この私の感謝の気持ちで、あなたの心をしばっている、そのくさりをたち切ってください……。あなたの心のなかの、その人を愛してあげて」

——コーリンゲンの村：ロックに自分の本当の気持ちを伝え

あやしげな薬を作り出す老人
ジーサン

登場場所 コーリンゲンの村

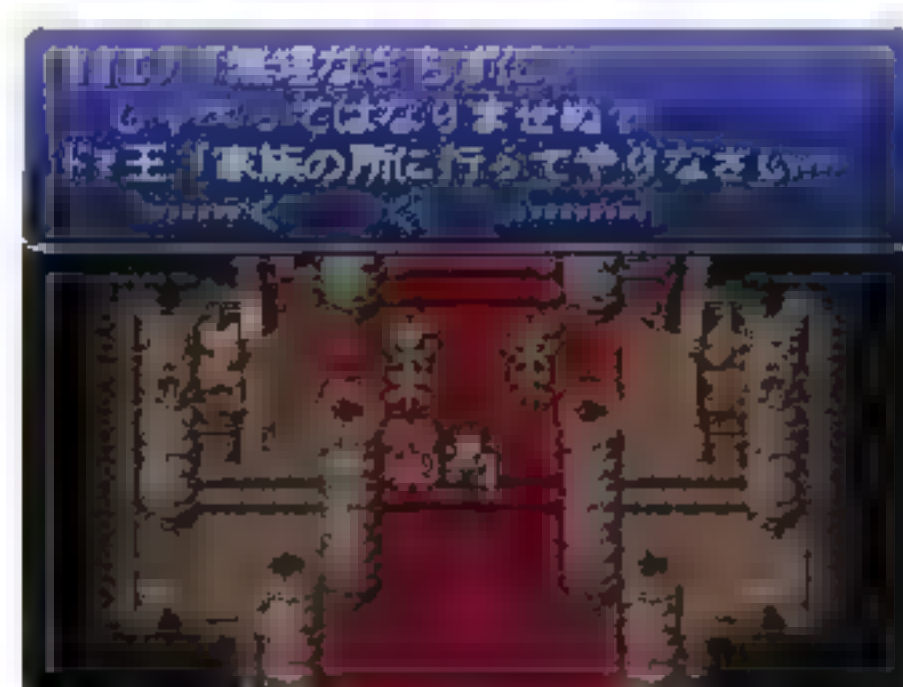
コーリンゲンで暮らす、変わり者の老人。死者を生前の姿のまま保存することのできる薬を、偶然作り出した。知り合いのロックが幻の秘宝を持ち帰るまで、レイチェルのなきがらを自分の家の地下室に保管している。

Impressive Words

「うわあー。魔石が、くだけ、くだけ……くだけちったよー!!」

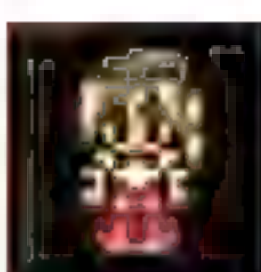
——コーリンゲンの村 魔石が突然砕け散ったことに驚き

カイエンが仕える主君
ドマ王

登場場所 ドマ城

東方の王国ドマを治める王。帝国の横暴を黙認できずリターナーに協力していたが、それがガストラ皇帝の逆鱗に触れ、帝国との戦いを余儀なくされる。籠城戦のさいに、ケフカが水に混ぜた毒によって命を落とす。

Impressive Words

「私の父上のころから、このドマ王国を守ってきてくれて……感謝しておるぞ。……ぐッ!」

——ドマ城：毒に苦しみながらもカイエンに

カイエンを支えつづけてきた女性
ミナ

登場場所 ドマ城、魔列車ほか

カイエンの最愛の妻。ケフカの流した毒によって、息子のシュンとともに命を落とした。死後もカイエンの夢のなかに現れて、心に迷いのある夫を励まし、彼が真のサムライとなるための手助けをする。

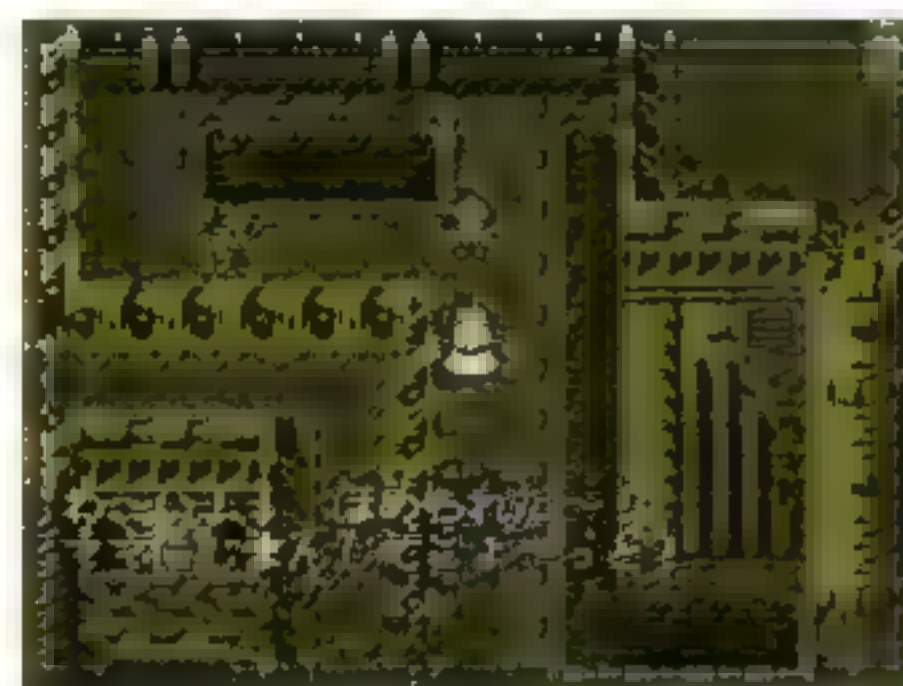
Impressive Words

「ねえ、あなた……。私のこと、愛してる?」

——カイエンの回想：カイエンと自室でふたりきりになり

父カイエンを尊敬する少年
シュン

登場場所 ドマ城、魔列車ほか

父カイエンを心から慕う息子。家族3人でドマ城で暮らしていたが、ケフカの流した毒により非業の最期をとげる。何より父にホメられることが大好きで、剣のけいこや魚釣りといった父との思い出を大切にしていた。

Impressive Words

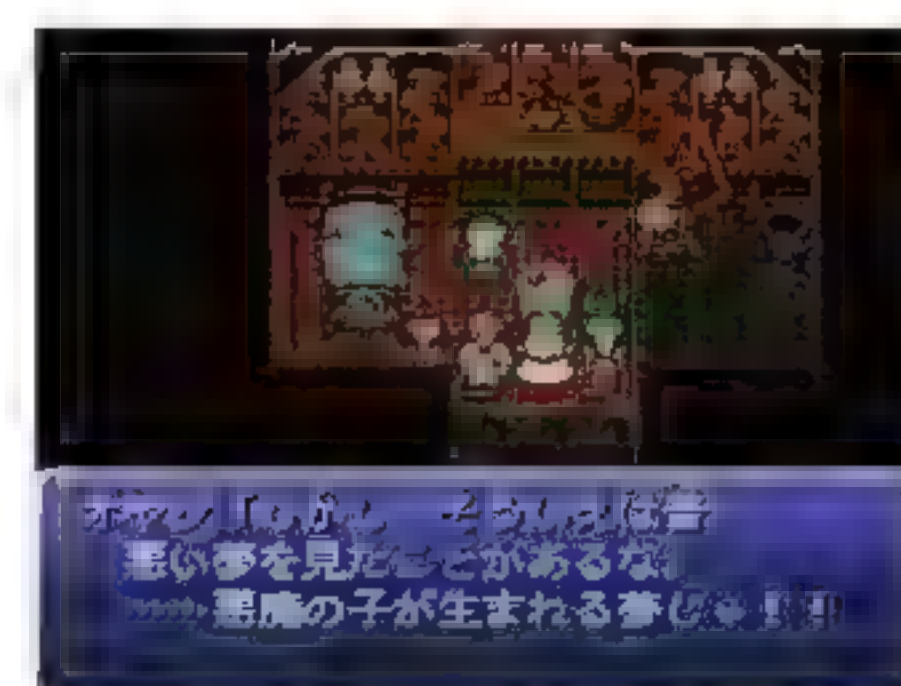
「わ～い、聞いちゃった、聞いちゃった。アイシテル、アイシテル」

——カイエンの回想：両親の会話をベッドに隠れて盗み聞きし

ガウ関係者／ストラゴス関係者

息子への愛情を持たない男
じじい(オヤジ)

登場場所 一軒屋

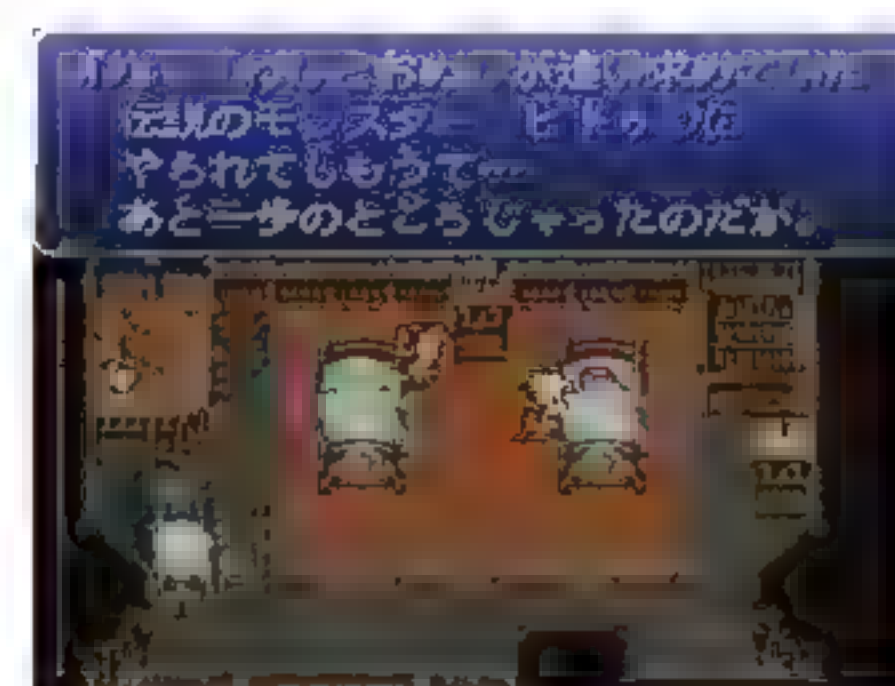
ドマ国の北のはずれに住む男。生まれたばかりのガウを悪魔の子と思いこみ、そのまま獣ヶ原に捨てた過去を持つ。ガウとの再会を果たすものの、正気を失っているため、彼が自分の子だとは最後まで気づかない。

Impressive Words

「ワシャ今でも悪魔の子に追われる夢を見るんじゃ。恐ろしや、恐ろしや……」

——一軒屋：ガウを捨てた過去を振り返り

サマサの村で一番の猟師
ガンホー

登場場所 サマサの村

ストラゴスの親友。若いころ、ストラゴスとともに魔物ヒドゥンを狩ろうとしてあきらめた。リルムに頼まれて、ヒドゥンとの戦いで負傷したとウソをつき、ストラゴスにふたたび打倒ヒドゥンを決心させようと計画する。

Impressive Words

「ストラゴスよ……わしのかたきをとってくれい」

——サマサの村：ヒドゥンと戦わせようとしてストラゴスにウソをつき

シャドウ関係者

シャドウとともに世界を放浪する犬
インターセプター

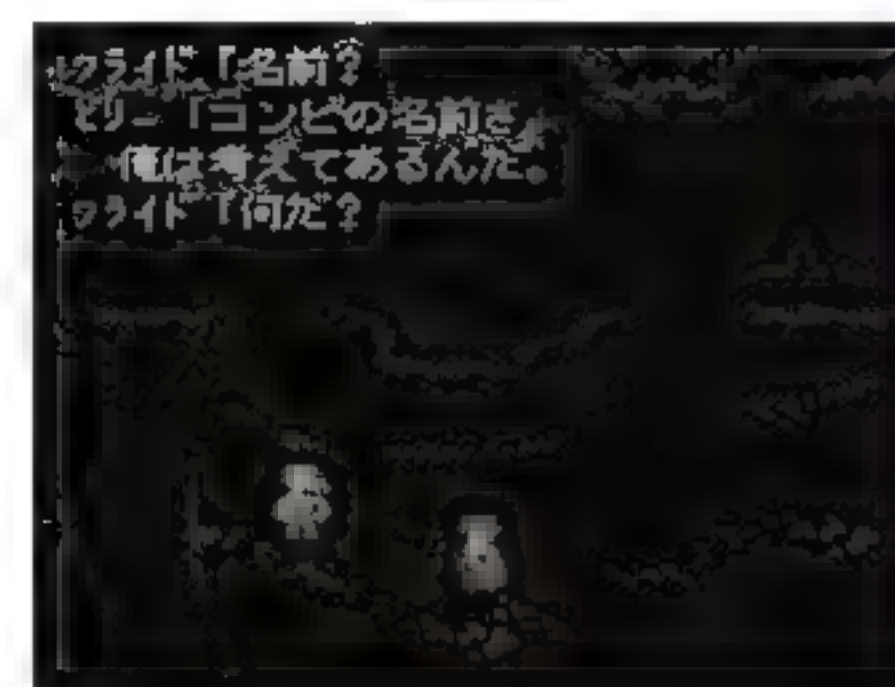
登場場所 (シャドウに同行)

影のようにシャドウにつき従う犬。シャドウとは旅をともにするだけではなく、主人の窮地をロックらに知らせるなど、固い信頼関係で結ばれている。シャドウ以外には決してなつかないが、リルムに対しては心を開く。

⬅インターセプターとシャドウは、長年苦楽をともにしてきたことで、互いをかけがえのない家族のように思っている。

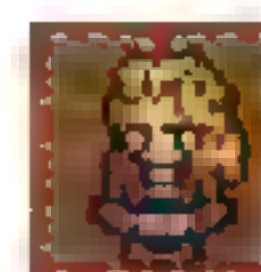
シャドウのかつての相棒
ビリー

登場場所 シャドウの夢

シャドウがクライドと名乗っていた当時、一緒に列車強盗をしていた男。重傷を負い、シャドウにトドメを刺してくれと懇願するも置き去りにされた。自分を苦しみながら死なせたと、夢のなかでシャドウを責めつづける。

Impressive Words

「クライド……あいぼうの……俺をよくも……殺したな……。お前も……俺のところに来いよ……なあ、クライド……」

——シャドウの夢：シャドウの夢枕に立ち

セッツァー関係者

セッツァーの親友だった女性
ダリル

登場場所 セッツァーの回想

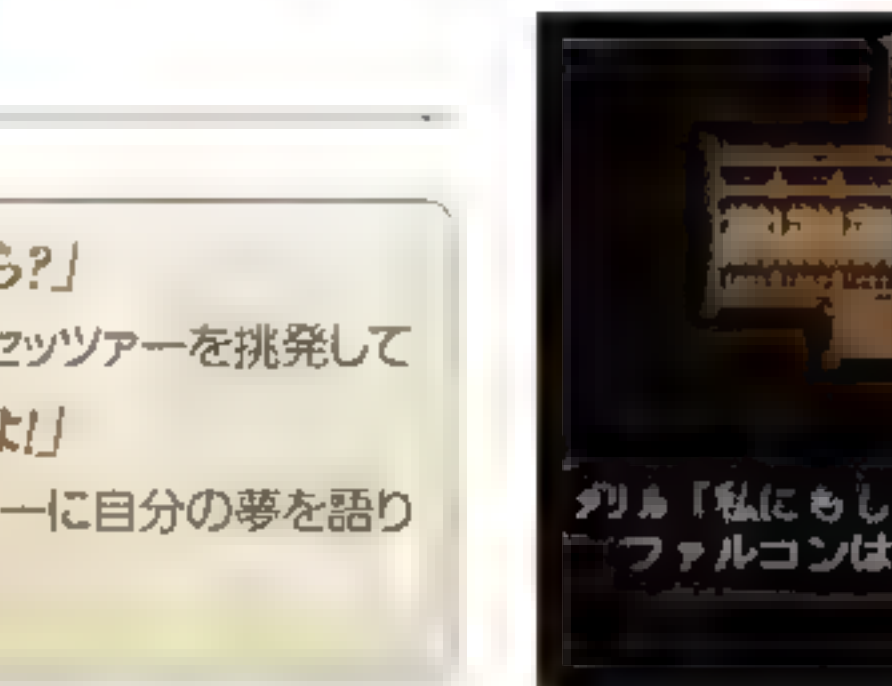
世界最速の飛空艇ファルコン号を自在に乗りまわしていた女性。セッツァーとはライバルであり、ときには夢を語り合う親友でもあった。どちらが先に雲を突き破り、星空のなかを航海できるかを競っていたが、改造した船の飛行テストの途中で事故に遭い、命を落としている。

Impressive Words

「それとも私のおしりが、そんなにみりょく的なのかしら?」

——セッツァーの回想：ファルコン号を追い抜けないセッツァーを挑発して

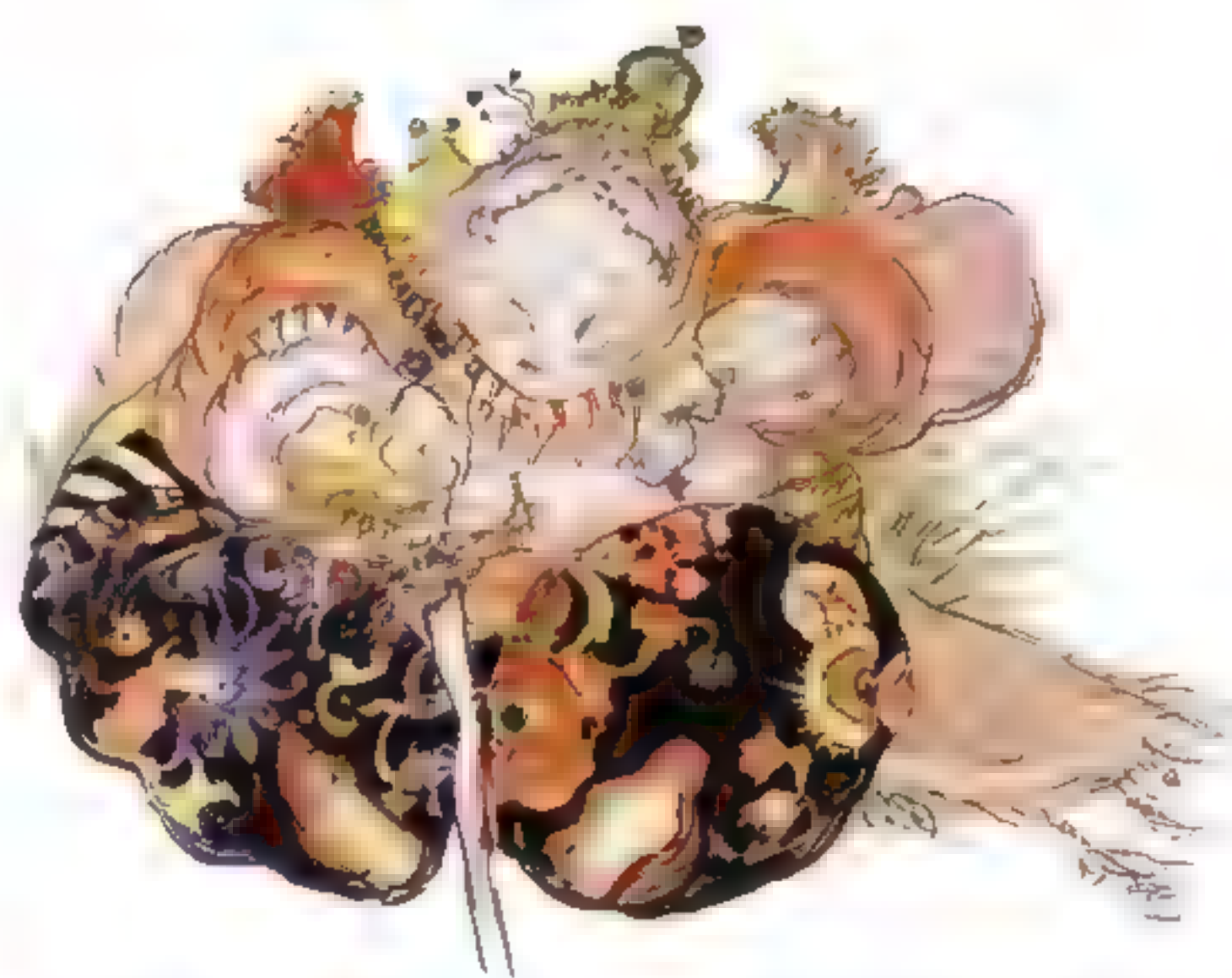
「くもをぬけ、世界で一番近く星空を見る女になるのよ!」

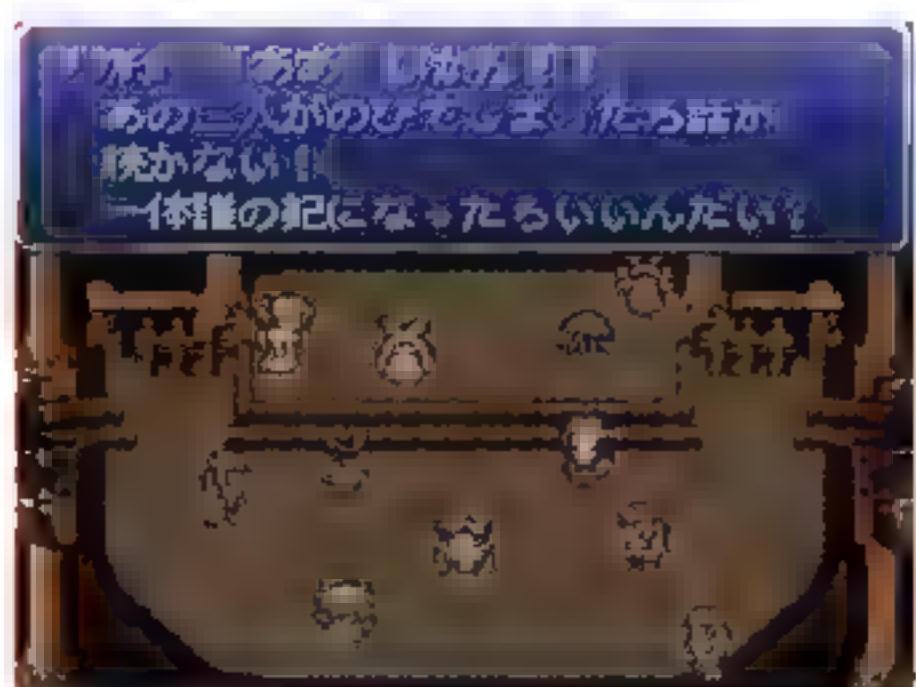
——セッツァーの回想：セッツァーに自分の夢を語り

⬅世界最速の船を駆るダリルは、セッツァーが夢を追いかけるためになくてはならない存在だった。

なによりも絵画を愛する男
アウザー
登場場所 ジドールの町

ジドールの町の富豪。美術品のコレクターで、とくに絵画を好んで収集している。世界崩壊後にリルムのウワサを聞きつけ、彼女に女神の絵を描くことを依頼するが、その絵に魔物がとりついてしまい、あやうく命を落としかけた。

⬅オークションで落札した魔石の影響で、屋敷に多数の魔物が集まってきてしまう。

Impressive Words
「おかげで助かった……。なんせ、命より大事な絵じゃからの」
——ジドールの町：絵を傷つけずに魔物を退治したロックたちに

オペラ座の劇団長
ダンチョー
登場場所 ジドールの町、オペラ劇場

オペラ座で芝居をやっている劇団長。「ダンチョー」と呼ばれている。花形女優マリアがセッツァーに狙われて困っていたときにロックたちと出会い、彼の提案でセリスを代役に仕立て上げて公演を行なう。

Impressive Words
「ええい。もうどうにでもなれだ! ミュージックスタート!!」
——オペラ劇場：オルトロスたちに芝居をぶち壊され

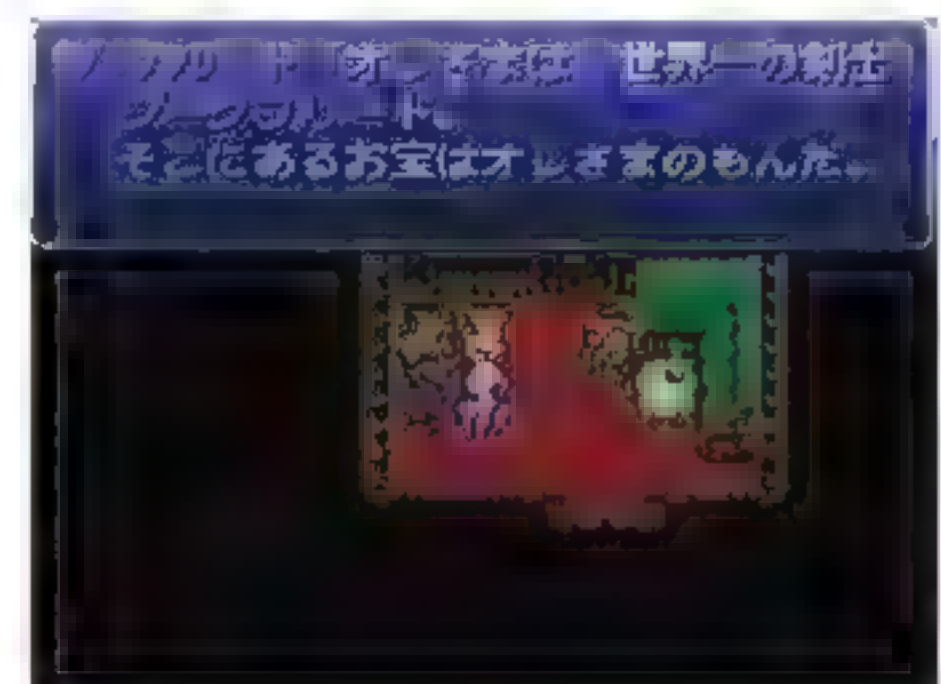
ナルシェのお宝を狙うコソ泥
こそどろ1匹オオカミ
登場場所 フィガロ城、炭坑都市ナルシェ

フィガロ城の牢にとらわれていたが、いつの間にかそこから脱走した泥棒。ナルシェで盗みを働いているところをロックたちに見つかり逃亡するも、逃げ切れないと見るやモグを人質にとって最後の抵抗を試みる。

Impressive Words
「この「きんのかみかざり」だけは、わたさんぞ……」
——炭坑都市ナルシェ：崖から落ちそうになりながら

神出鬼没の剣士
ジークフリード
登場場所 魔列車、竜の首コロシアムほか

自他ともに認める世界一の剣士。魔列車や大ミミズの巣でロックたちの前に現れては宝を持ち去って逃げていくが、これは彼の名を語ったニセモノ。世界崩壊後、本物は竜の首コロシアムに姿を現し、ラストエリクサーを賭けたときにのみ剣をまじえることができる。

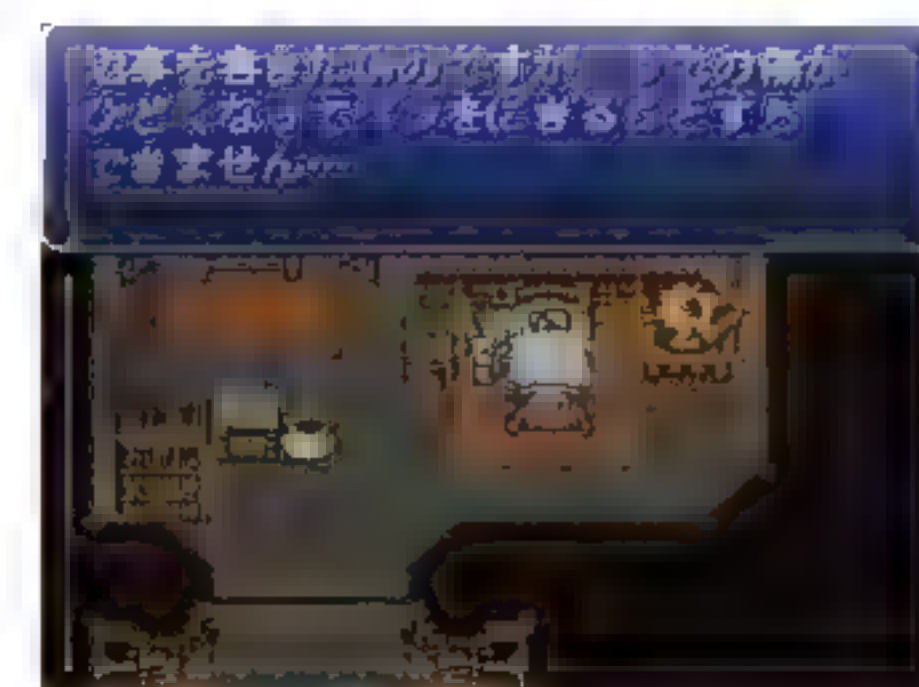
Impressive Words
ニセモノ「ふはははは。このお宝はオレさまがいただくぜ。アディオス、アミーゴ!」
——魔列車：マッシュたちに敗れながらもアイテムを奪い
本物「最近、オレの名前をかたるニセモノがでてきているらしい。だまされちゃあ、いけねえぜ」
——竜の首コロシアム：セリスたちに注意をうながし

⬅世界一の剣士を自称するわりにセコくて弱いのは、ジークフリードの名をかたるニセモノだから。

恋人の帰りを待ちつづける女性
ローラ
登場場所 マランダの町

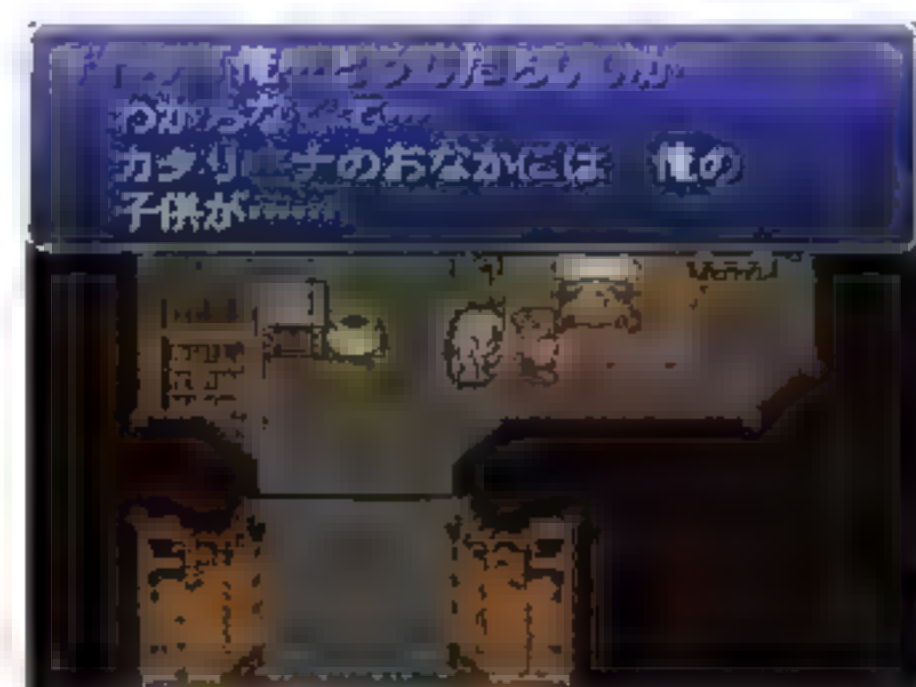
戦争に駆り出された恋人の安否を気づかう女性。世界崩壊後、恋人が命を落としたと察しながらも、彼に手紙を送りつづけていた。恋人になりかわり返事をくれた者(カイエン)の優しさに触れ、心をいやされていく。

Impressive Words
「きっと、その人も同じような傷を心にもった人……」
——マランダの町：亡き恋人にかわって手紙を書いてくれていた相手を思い

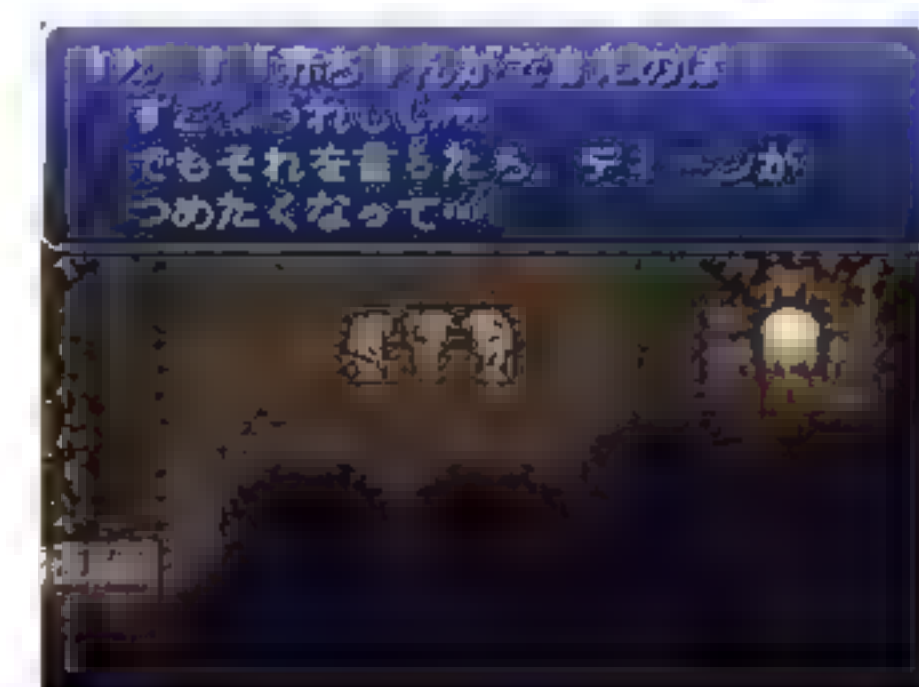
帝国軍から脱走した男
負傷兵
登場場所 モブリズの村

マランダの町が帝国に占領されたため帝国軍の兵士となった男。軍から脱走するも重傷を負い、モブリズの村へ身を隠していた。故郷のローラを想い手紙を書くが、ケフカの裁きの光から村の子どもをかばって命を落とす。

Impressive Words
「ローラの望みをかなえてやりたい……。この体さえ動いたら……」
——モブリズの村：負傷して自由にならない体をなげき

命の芽生えにとまどう少年
ディーン
登場場所 モブリズの村

モブリズの村に住む16歳の少年。世界崩壊後はティナをママと慕いながら、孤児たちとともに暮らす。同い年の恋人カタリーナとのあいだに新たな生命を授かって思い悩むも、男として彼女らを守る決意を固めた。

Impressive Words
「カタリーナ……。ごめんよ。俺、どうしたらいいかわからなくなって……」
——モブリズの村：身ごもったカタリーナに冷たくしたことをわびて

ディーンを愛する少女
カタリーナ
登場場所 モブリズの村

ディーンの恋人。ケフカの裁きの光で孤児になり、同じ境遇の子どもたちと暮らしている。ディーンの子どもを身ごもり、それが原因でディーンが急に冷たい態度をとりはじめたため不安を感じてしまう。

Impressive Words
「ディーンがいてくれれば私は安心できる……」
——モブリズの村：自分たちを守ってくれるとディーンから聞き

魔列車の乗客
幽霊
登場場所 魔列車

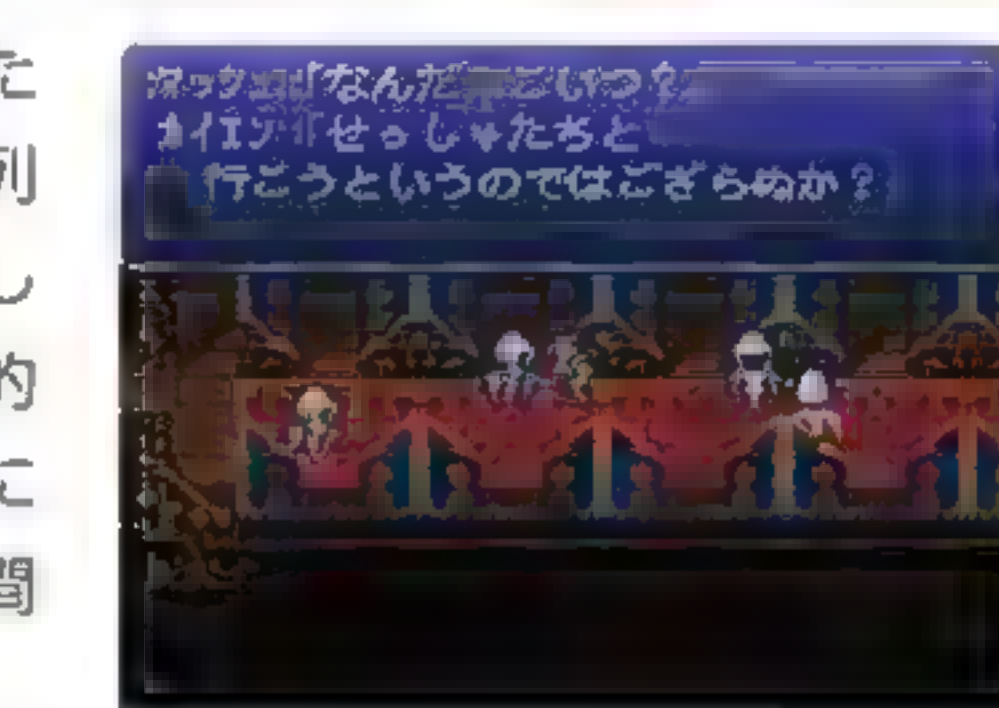
Personal Data

職業	浮遊霊
好きな物	天国
嫌いな物	地獄
趣味	浮遊

魔列車の車内をさまよう霊たち。いずこかで命を落とし、魔列車によって霊界へ向かう途中らしい。マッシュたちに対して好戦的な態度をとる者が多いが、なかにはアイテムを販売する者や、仲間になってくれる者も存在する。

⬅「とりつく」という特技を持ち、マッシュたちとともに戦ってくれる幽霊もいる。

Impressive Words
「……に、が、さ、ん……」
——魔列車：仲間を倒したマッシュたちを追いかけ
「お食事になさいますか?」
——魔列車：食堂車で席についたマッシュたちに

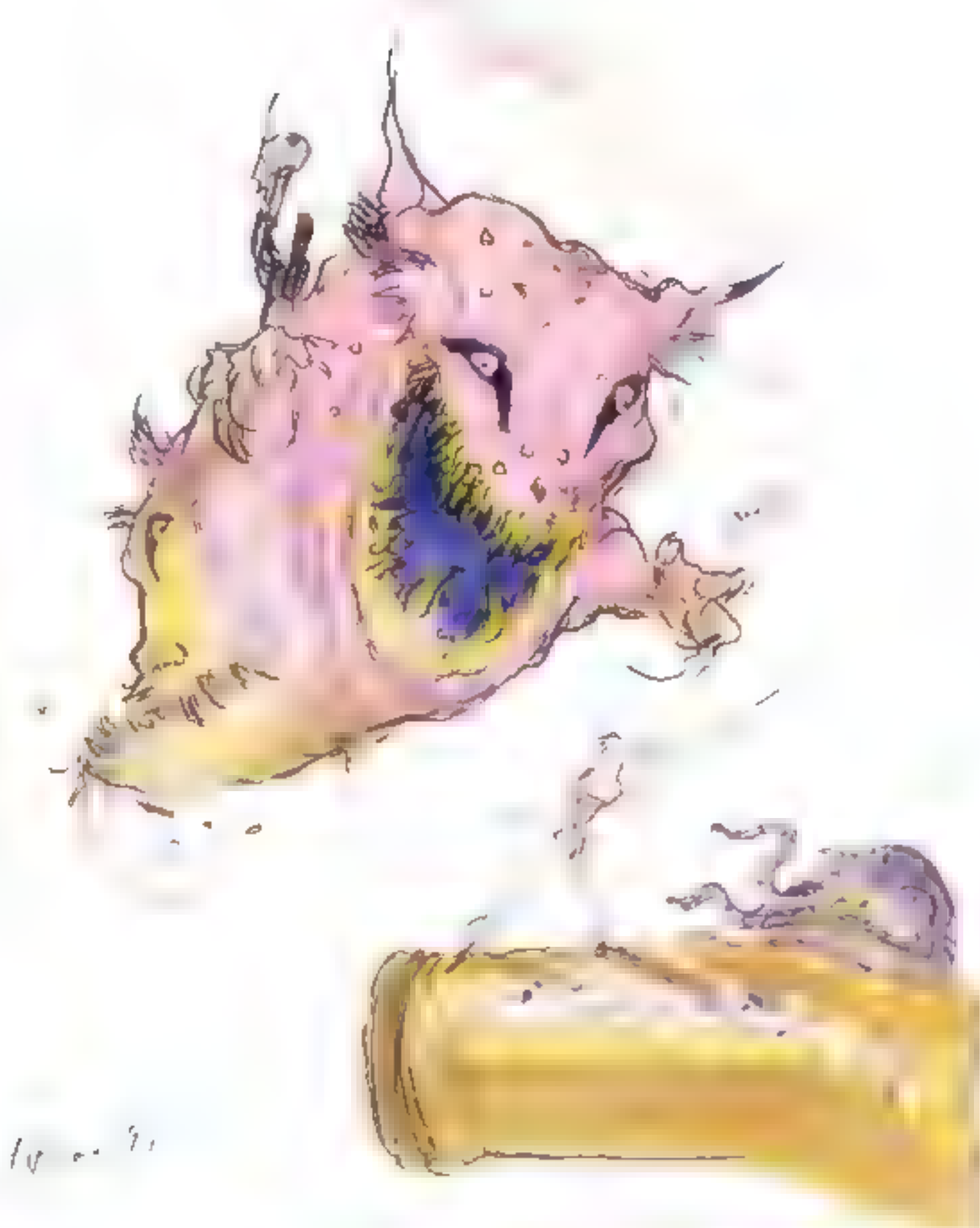
行く手をはばむ者

オルトロスの用心棒
テュポーン

・登場場所・ ブラックジャック号甲板、竜の首コロシアム

ロックたちとの戦いに必勝を期して、オルトロスが連れてきた最後の切り札。オルトロスとはちがって無口で、彼からは「テュポーン大先生」と呼ばれている。得意技の『はないき』でロックたちをつぎつぎと吹き飛ばそうと試みる。

Impressive Words

「フンガーーー!!」
――ブラックジャック号甲板：バトル中、オルトロスに呼び出されて

⬅テュポーンとオルトロスは、どちらも世界崩壊後に竜の首コロシアムに現れる。

どこか憎めないタコのバケモノ
オルトロス

・登場場所・ レテ川、オペラ劇場ほか

妙な言葉づかいのタコ。ロックたちの行く先々に姿を現して彼らの邪魔をするが、女好きのためティナのような少女には甘い。世界崩壊後は借金の返済ができなくなり、コロシアムで受付のアルバイトをしている。

Impressive Words

「アッチッチーー!!　ゆでだこ!?　ゆでだこ!?」
――レテ川：ティナからファイアの魔法を食らい

「んが〜!　予定より重い!　こりゃ落とすまで5分かかるぅ!」
――オペラ劇場：ステージに重りを落とそうとして

「う、また負けちゃうかも……しかし、今日はつおーい味方がいるのだ!　テュポーン大先生、そろそろ来て〜」
――ブラックジャック号甲板：ロックたちに追いつめられ、テュポーンを呼び

⬅セッツァーがマリア誘拐をくわだてたことに対抗して、オペラをぶち壊しにしようと計画する。

ゾゾの町に住む奇妙な男
ダダルマー

・登場場所・ ゾゾの町

貧しい者たちが集まってできた町ゾゾで暮らす男。本当のことを言わないゾゾの住民の例にもれずウソばかり口にし、ロックたちを見るや即座に攻撃を仕掛けてくる。戦いが長引くとモータードライブという仲間を呼び寄せることも。

⬅ミスリルナイフを投げつけるなど、非常に強力な攻撃をくり出してロックたちを苦しめる。

Impressive Words

「こんなはれた日に何の用だ?　ワシはマジメな人間じゃ。ケンカも弱いからすんなりここを通してやろう」
――ゾゾ：ビルをのぼるロックたちの前に立ちふさがり

そのほかのおもなサブキャラクター

各地の人々

ジュン
登場場所 炭坑都市ナルシェ、帝国首都ベクタ
Words *「やっと来おったか。ところで、ドロボウからは足をあらったのか?」*
ナルシェに住む、リターナー所属の老人。ナルシェのガードに追われていたティナの救出をロックに依頼する。

ナルシェの長老
登場場所 炭坑都市ナルシェ
Words *「人間はもっと、ちえのある生き物じゃなかったのか……」*
つねに中立の立場をとってきた長老。帝国のナルシェ侵攻の報を受け、リターナーとともに戦うことを決意する。

車掌
登場場所 魔列車
Words *「魔列車に乗ったたましいは霊界に運ばれた後永遠の安息を得るのです」*
死んだ人の魂を運ぶ魔列車で車掌を務めている人物。マッシュたちに列車の止めかたを教えてくれる。

のんべえじいさん
登場場所 サウスフィガロの町
Words *「よそ者とはあまり口をきかん。酒でも持ってくればつき合ってもよいぞ」*
北の家に住む金持ちの召使いをしていた老人。そのため、北の家にある秘密の地下道についてくわしい。

サマサの長老
登場場所 サマサの村
Words *「われわれが魔法を使えることは、誰にも話さないで下さい」*
サマサの村の人々をまとめる人物。よそ者に対して警戒心が強く、自分たちが魔法を使えることを隠している。

幻獣界の長老
登場場所 マディンの回想
Words *「しかたない……最後の手段だと思っていたが……」*
幻獣の長。16年前、幻獣界に侵攻した帝国軍を追い払うために封魔壁を作り出すも、力を使い果たして命を落とす。

オーディン（ライディーン）
登場場所 古代城
Words *「やるな……。この私を石化するとは……」*
魔大戦で活躍した幻獣。魔導師に石化させられていたが、魔石となったのちに王女の涙に触れてライディーンに。

王女
登場場所 古代城
Words *「この戦いが終わったとき……必ず……この想いをうちあけよう……」（王女の日記）*
古代城の王女。魔大戦が終わったらオーディンに自分の気持ちを打ち明けようとしていたが石にされてしまう。

アイシャ
登場場所 マランダの町
Words *「結婚しろってしつこいの!」*
マランダの町に住む女性。帝国の兵士に追いまわされているが、戦争が終わって軍が引き上げるとさびしそうにする。

踊り子
登場場所 港町ニケア
Words *「おかたい事はなしよ。楽しもうよ。ほら、タニマ」*
港町ニケアの酒場にいる女性。声をかけたカイエンにふしだらだと怒られるが、まったく気にした風もない。

オークション司会者
登場場所 ジドールの町
Words *「さあ……今度の品物は……こちらです!」*
ジドールの町の競売場で司会をしている男。よどみのないトークでオークションを熱く盛り上げている。

ウラカタ
登場場所 オペラ劇場
Words *「ダンチョーの命令か。一番右のスイッチを下へ。他にはさわっちゃだめだよ」*
オペラ座で裏方として働く男。ダンチョーの命令には絶対服従で、目立たぬものの、しっかりと自分の仕事をこなす。

夢の三兄弟
登場場所 ドマ城、夢のダンジョン
Words *「我ら、夢の三兄弟。この人の、心はいただいた。今日は、ごちそう」*
カイエンの夢に入りこんだ魔物の三兄弟。それぞれ名をレーヴ、ソーニョ、スェーニョという。

コロシアムオーナー
登場場所 竜の首コロシアム
Words *「人間が最も美しくかがやくとき、それは争いにおいてのみなのだ」*
竜の首コロシアムの主。世界崩壊後、昔からの悲願であった「争いに満ちた空間」を作り上げて満足している。

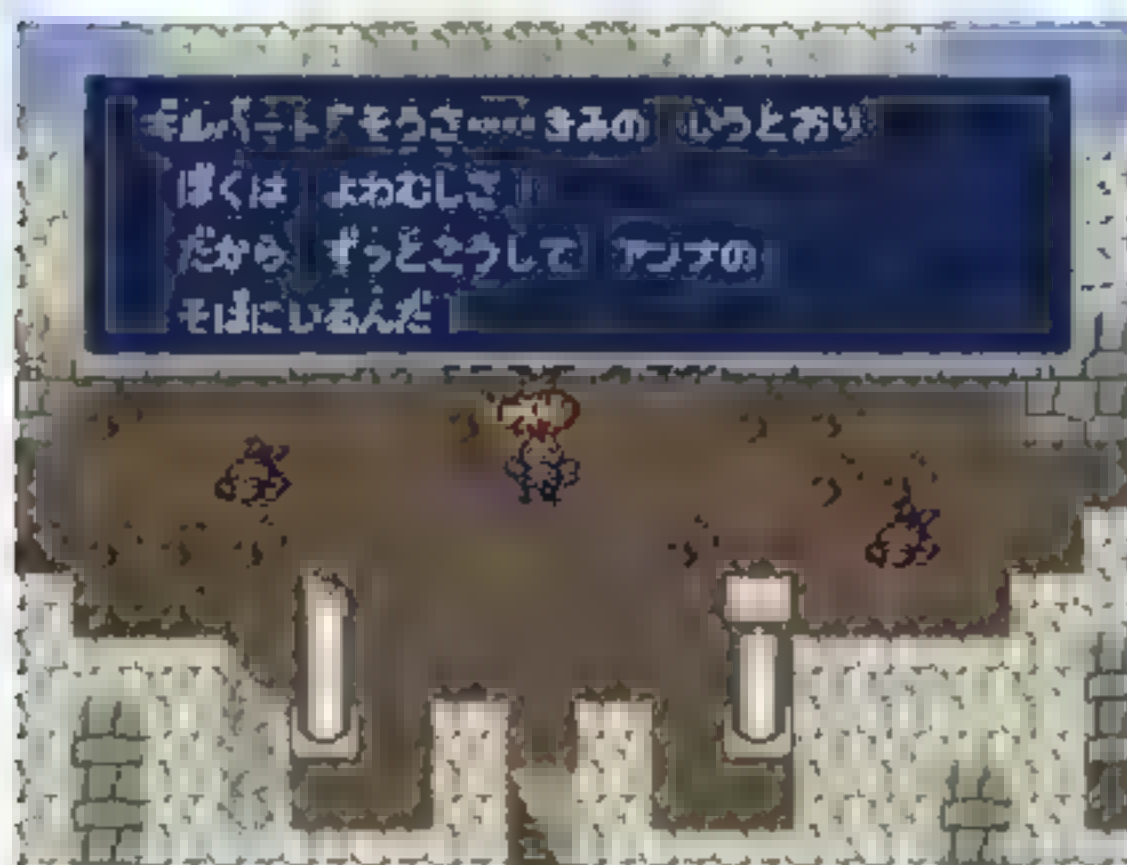
GBA ギルガメッシュ
登場場所 竜の首コロシアム
Words *「ほう、珍しい剣を持っているな。その剣、いただくぞ!」*
珍しい剣を求める伝説の剣豪。エクスカリバーを賭けると現れ、戦いに勝利すれば魔石となって力を貸してくれる。

ULTIMANIA CHECK

歴代『FF』あんなキャラこんなキャラ❷

P.144に引きつづき、今度は身分や立場といった視点から歴代のキャラクターを振り返ってみよう。役どころの似た人物でも、性格や考えかたは人それぞれという点が興味深い。

由緒正しき王家の人々

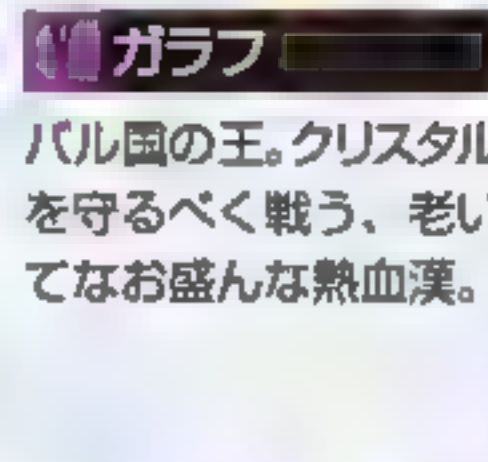
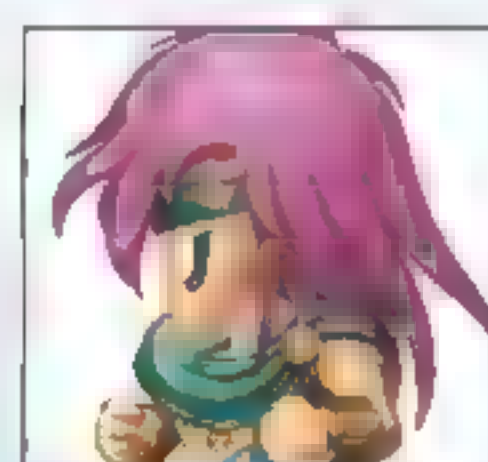
『FF』シリーズの作品では、いくつもの王国が登場し、身分の高いキャラクターが戦列に加わっていくことも珍しくない。自国の民を救うため、世界の平和のため、祖国を奪った相手への復讐のため──王家の人間という立場は同じでも、戦う理由はさまざまだ。

IV ギルバート

←恋人をバロン軍に殺され、悲しみに暮れてばかりいたが、セシルたちとの旅を通じて成長する。

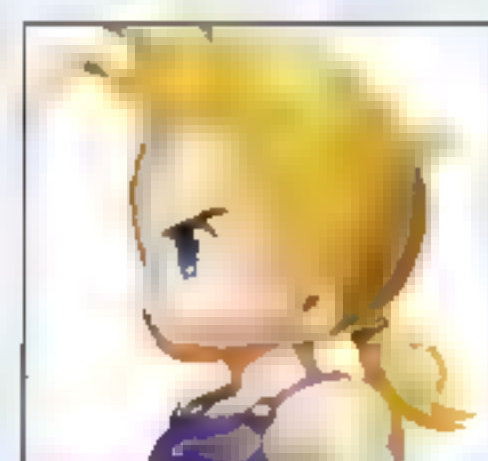
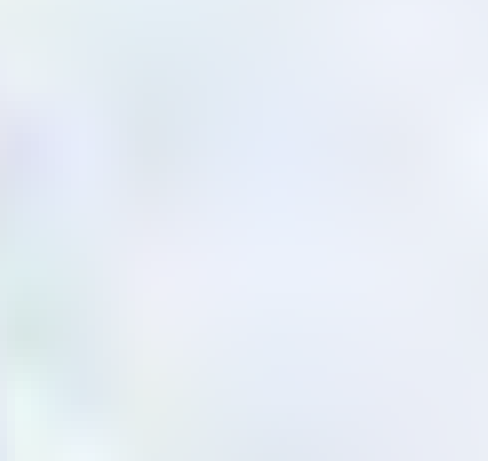
XII アーシェ

→祖国を滅ぼした帝国に復讐するべく、みずから剣を取る。身分を失っても、高貴な雰囲気はなくさない。

IV ギルバート
ダムシアンの王子。吟遊詩人としての顔を持ち、音楽をたしなむ。

IV エッジ
エブラーナの王子。祖国を奪ったルビカンテに怒りをぶつける。

V ガラフ
バル国の王。クリスタルを守るべく戦う、老いてなお盛んな熱血漢。

V レナ
タイクーンの王女。父王の身を案じ、単身国を飛び出した。

V ファリス
レナの姉。幼少期に家族とはぐれており、本当の身分を知らない。

V クルル
ガラフの孫娘。祖父の遺志を継ぎ、打倒エクスデスの旅に加わる。

VI エドガー
フィガロの若き国王。父親の跡を継ぎ、17歳で王位に就いた。

VI マッシュ
エドガーの双子の弟。国を出たのち、兄の力になるべく修行に励む。

II ゴードン
カシュオーンの第2王子。意気地なしだったが奮起し、反乱軍を率いる。

III アルス
サロニアの王子。父の遺言を受け、若くして王位に就く。

III サラ
サスーン城の姫。ジンの呪いから人々を救うべく、行動を起こす。

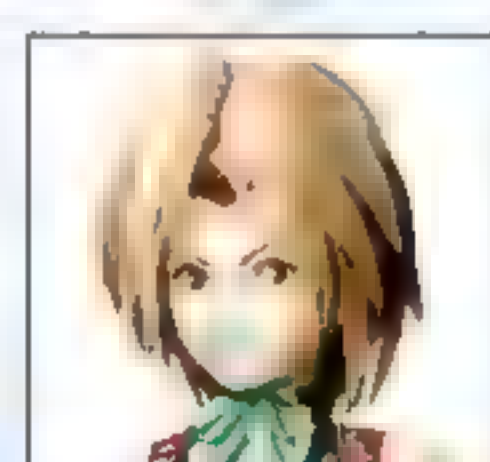
IX ガーネット
アレクサンドリア王女。じつは女王の養子で、王家の血筋ではない。

XII ラーサー
アルケイディア帝国の第4皇子。つねに人々のためにあろうとする。

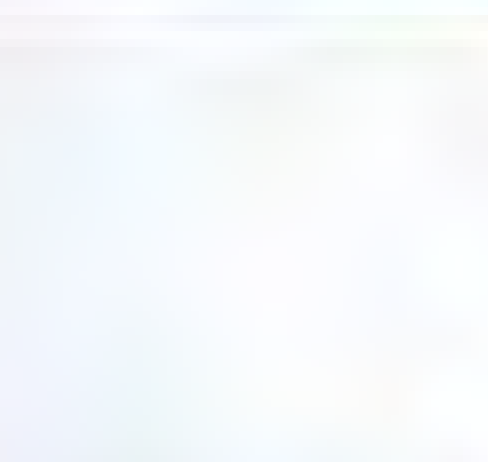
XII アーシェ
亡国ダルマスカの姫。反帝国組織を率いて、祖国再興に燃える。

金品を狙う盗賊たち

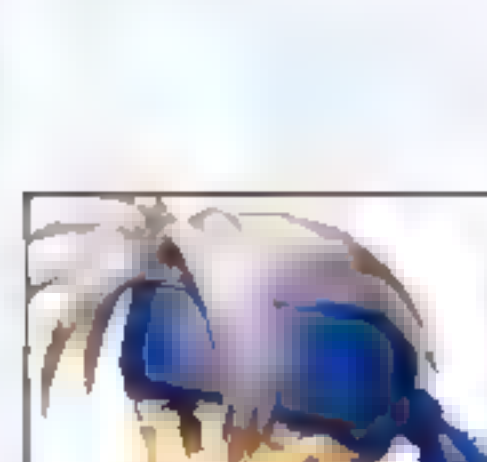
左ページのように身分の高い人々がいる一方で、盗賊稼業をなりわいとするキャラクターたちもいる。ただし、「盗賊」と言っても絶対に悪党とはかぎらず、むしろ人助けのためにあえて盗賊の道を選ぶなど、人間的な魅力を備えたキャラクターが多い。

IX ジタン
盗賊団タンタラスに所属。最終的には、姫の心を盗んでみせた。

XII ヴァン
ラバナスタのダウンタウンに住む少年。帝国兵の財布をかすめ取る。

II ポール
自称「世界一の盗賊」。帝国相手にしか盗みを働かない。

III グツコー
「こおりのつの」を奪った盗賊。影に化ける能力を持つ。

XI ナナー＆ミーゴ
ウィンダスを根城にする「泥棒ミスラ」。ふたりの子分を従える。

VI こそドロいっぴきおおかみ
ウォルス城地下につかまっている泥棒。牢から出してくれとせがむ。

VI こそどろ1匹オオカミ
盗み出した「きんのかみかざり」を奪われまいと、モグを人質にする。

VI ロック
自称トレジャーハンター。必要とあらば他人が着ている服でも盗む。

番外編 お宝を追うハンターたち

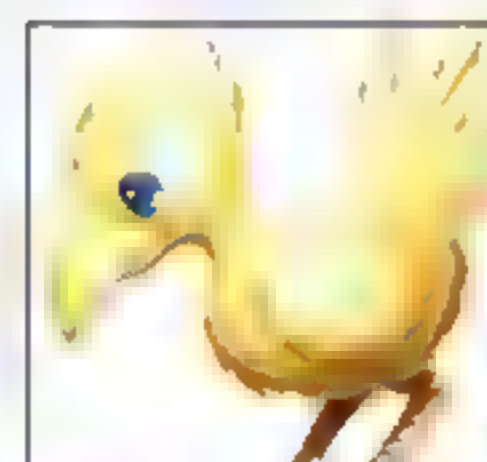
純粋な盗賊以外にも、マテリアを狙うユフィや財宝を狙うバルフレアなど、価値ある品々を追うキャラクターがいる。なかでも、召喚士からスフィアハンターに転身したユウナは、多くのファンを驚かせた。

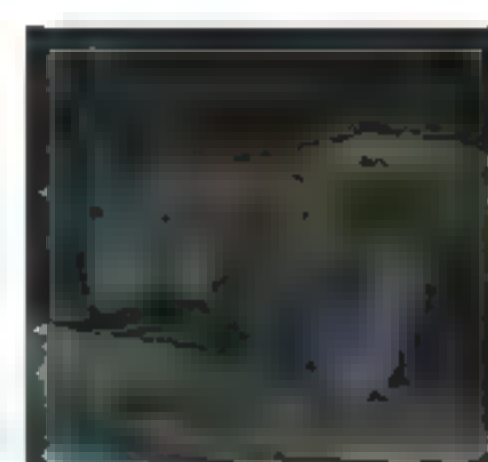
VII ユフィ

X-2 ユウナ

XII バルフレア

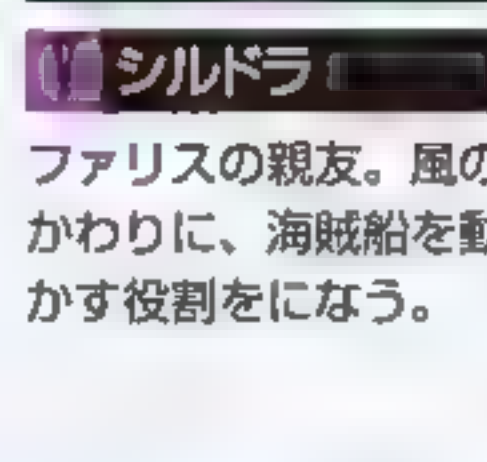
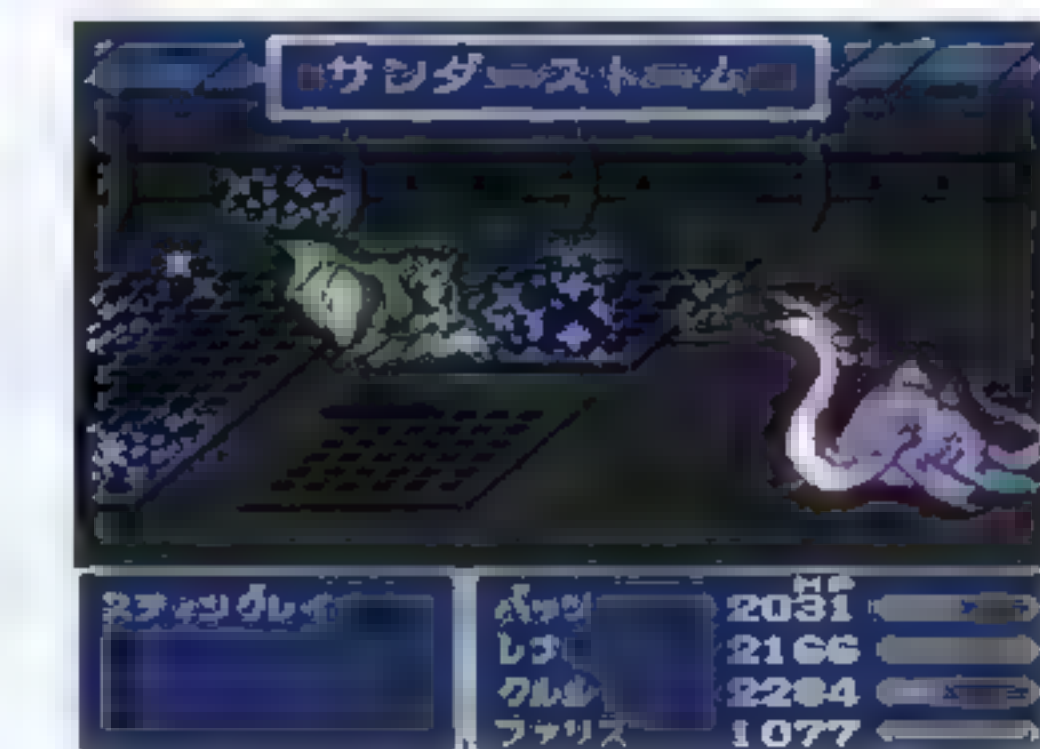
人間以外の相棒たち

種族の垣根を越えて、人間と絆をはぐくんだ動物たちも『FF』シリーズには登場する。ただの「ペットと飼い主」という関係にとどまらない、真の友情で結ばれており、パートナーのピンチに駆けつけたり、敵を攻撃したりする彼らもまた、立派な仲間の一員と言えるだろう。

VIII アンジェロ
リノアのペット。犬なのにドッグフードが嫌いという変わり者。

IX モグ
幼少期からのエーコのお友だち。その正体は召喚獣マディーン。

XII エンキドゥ
イヴァリース随一の剣豪ギルガメッシュの相棒。骨付き肉が好物。

V ボコ
バッツの相棒。メスチョコボのココをめとって三児の父に。

V シルドラ
ファリスの親友。風のかわりに、海賊船を動かす役割をになう。

VI インターセプター
シャドウが連れている犬。彼以外にはなつかないが、リルムは例外。

V シルドラ

←ファリスを救うために絶命するが、死んだあとも召喚獣となって、彼女の力になりつづける。

FINAL FANTASY VII
ファイナルファンタジーVII

ファイナルファンタジーVII

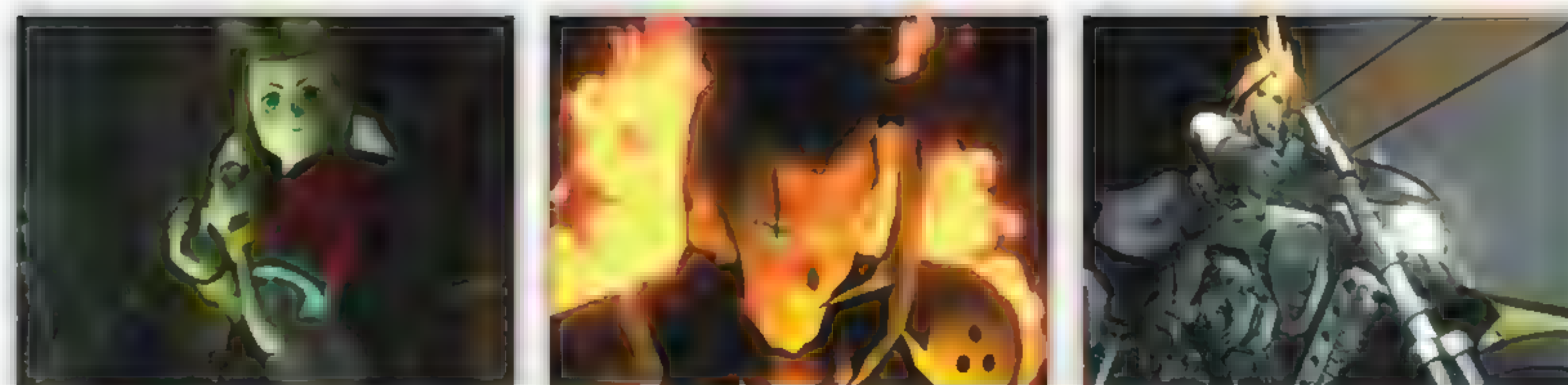
作品概要

のちに関連作品を多数生み出すなど、シリーズのなかでも1、2を争う人気を集めるタイトル。プレイステーションの能力を活かした3D映像やCGムービーは、ゲーム業界に大きな衝撃を与えた。マテリアを装備品に取りつけてアビリティを引き出す成長システムを採用。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーVII	プレイステーション	1997年 1月31日	6,800円(税別)	
ファイナルファンタジーVII インターナショナル	プレイステーション	1997年10月 2日	7,140円(税込)	※1
ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン ADVENT PIECES：LIMITED	プレイステーション	2005年 9月14日	29,500円(税込)	※2

※1……PS one Books版が2001年12月20日に3,675円(税込)、アルティメットヒッツ版が2006年7月20日に2,625円(税込)で発売
※2……「FFVII インターナショナル」が同梱

FINAL FANTASY VII INTERNATIONAL
ファイナルファンタジーVII
■インターナショナル版

STORY

星の命を守るため 戦う者たちの軌跡

魔晄エネルギー——それは人々の生活に不可欠な新時代の資源。魔晄を管理する神羅カンパニーは、またたく間に巨大企業となり、いまや世界の覇権をにぎっていた。しかし、魔晄エネルギーとは星の生命そのものであり、魔晄を資源として使うことは星の命をすり減らす行為にほかならない。危機感を抱く一部の者は反神羅組織を結成し、大都市ミッドガルを中心に、神羅への抵抗活動をくり広げていた。

凄腕の傭兵クラウドは、反神羅組織「アバランチ」に雇われながらも、星の命に無関心だった。だが、星と対話する「古代種」エアリスと出会い、また、星の脅威となりうるかつての英雄セフィロスの復活を知って、しだいに考えを改めていく。星を救うべく集まった仲間とともに、故郷を奪った仇でもあるセフィロスを追うクラウド。その旅は、彼が無意識に避けていた真実と向き合うことを余儀なくさせるものだった。本当の自分とは何か、自分は何のために戦うのか——悩みながらも彼と仲間は、星の未来をかけた戦いに挑む。

FINAL FANTASY VII 人物相関図

ザンガン
ティファパパ
クラウドの母
エルミナ
セト
ブーゲンハーゲン
ゴドー
シエラ

師弟
親子
親子
養母子
親子
敬愛
星命学を教える
親子
献身
つらくあたる

ティファ
好意
幼なじみ
クラウド
好意
エアリス
レッドXIII
ユフィ
シド

星を救う仲間たち

バレット
好意
ビッグス
ジェシー
ウェッジ
アバランチ

古代種
初恋の人
親子
イファルナ
夫婦
ガスト

ヴィンセント
ケット・シー
所属(のちに脱退)

因縁の相手
親友
因縁の相手
かなわぬ想い
かつて所属
遠隔操作

宝条
スカーレット
リーブ
殺害
夫婦
ルクレツィア
パルマー
ハイデッカー
名目上指揮

養父子
マリン
元親友
親子
ダイン

セフィロス
戦友
ザックス
ソルジャー
約束の地を求めて追う
親子
抵抗

プレジデント神羅
親子
ルーファウス神羅
神羅カンパニー

タークス
ツォン
好意
イリーナ
ルード
相棒
レノ

クラウド

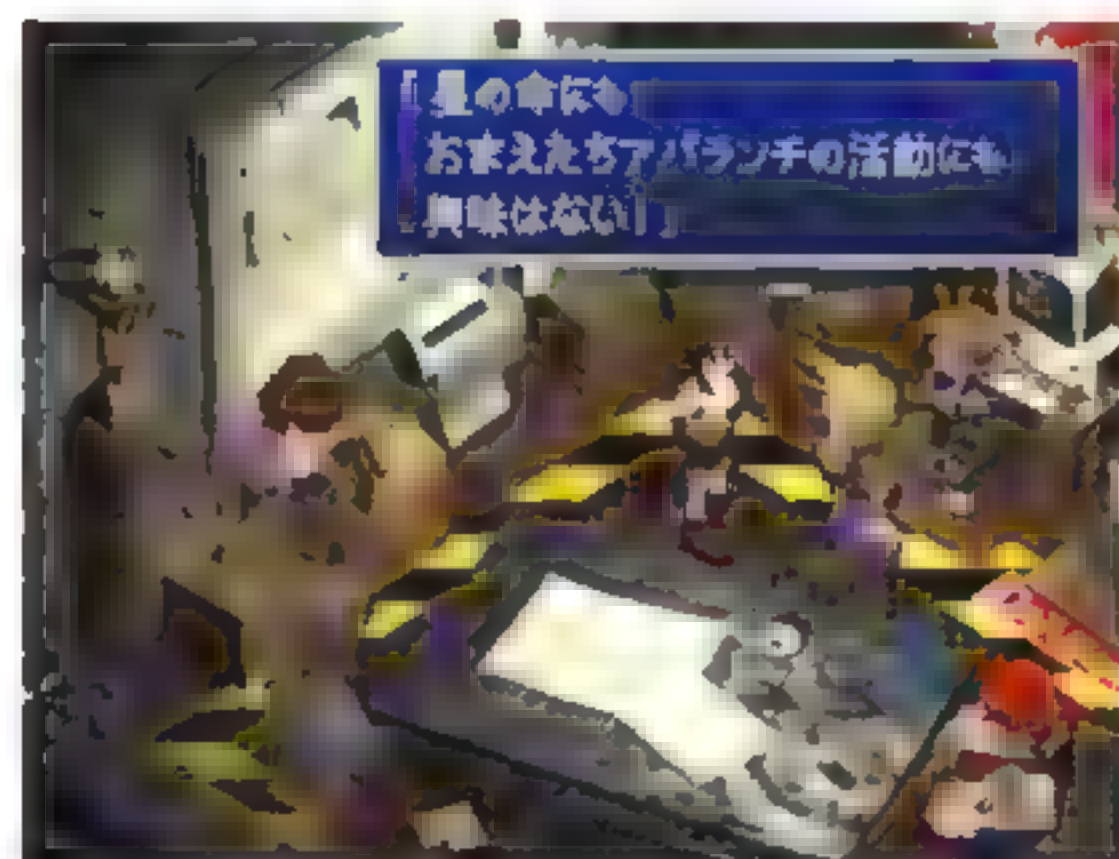
Cloud Strife　クラウド・ストライフ

Personal Data

性別	男	誕生日	8／11
年齢	21歳	血液型	AB型
身長	173cm	出身地	ニブルヘイム
武器	ソード		

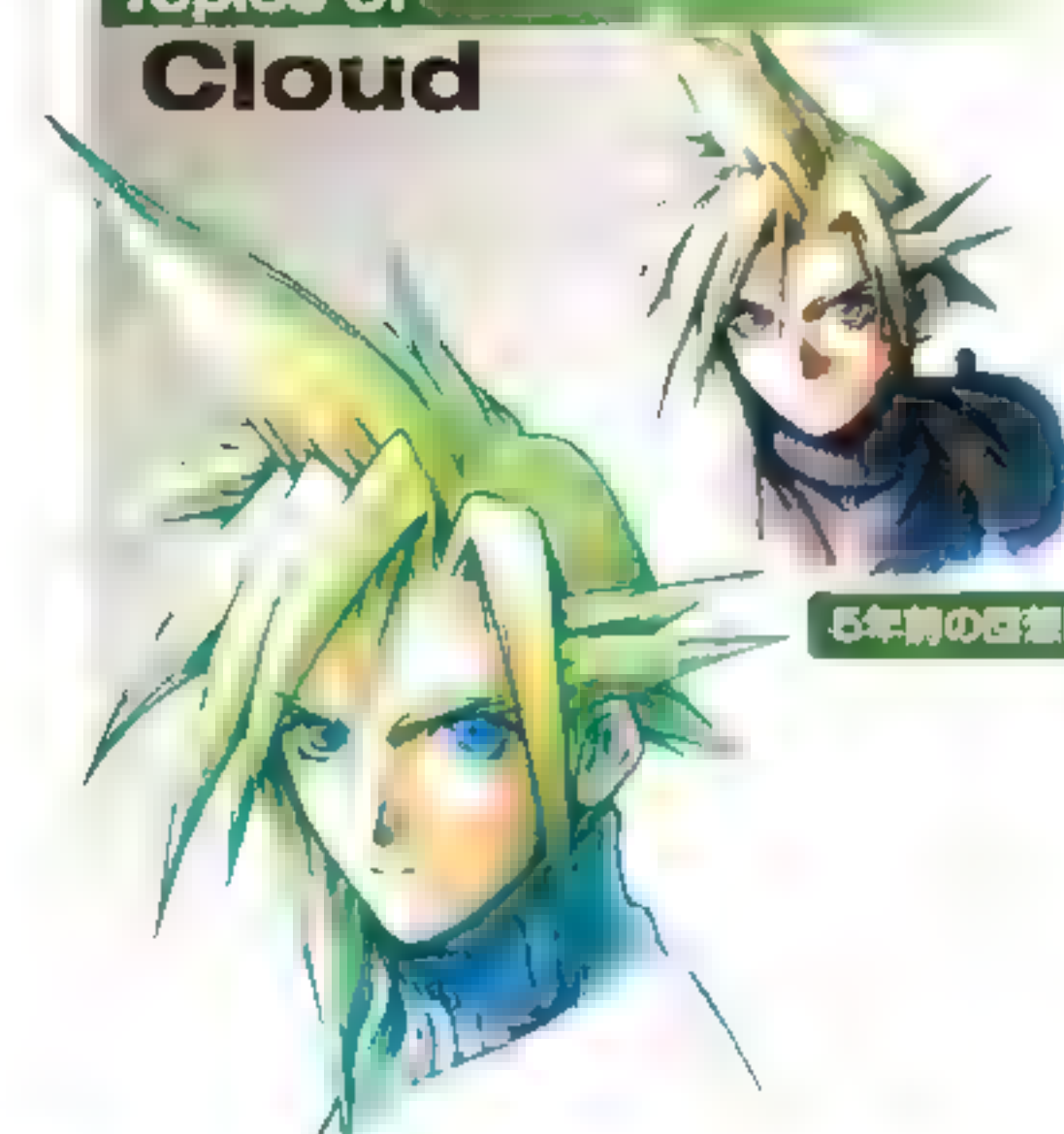
本当の自分を見失った孤高の青年剣士

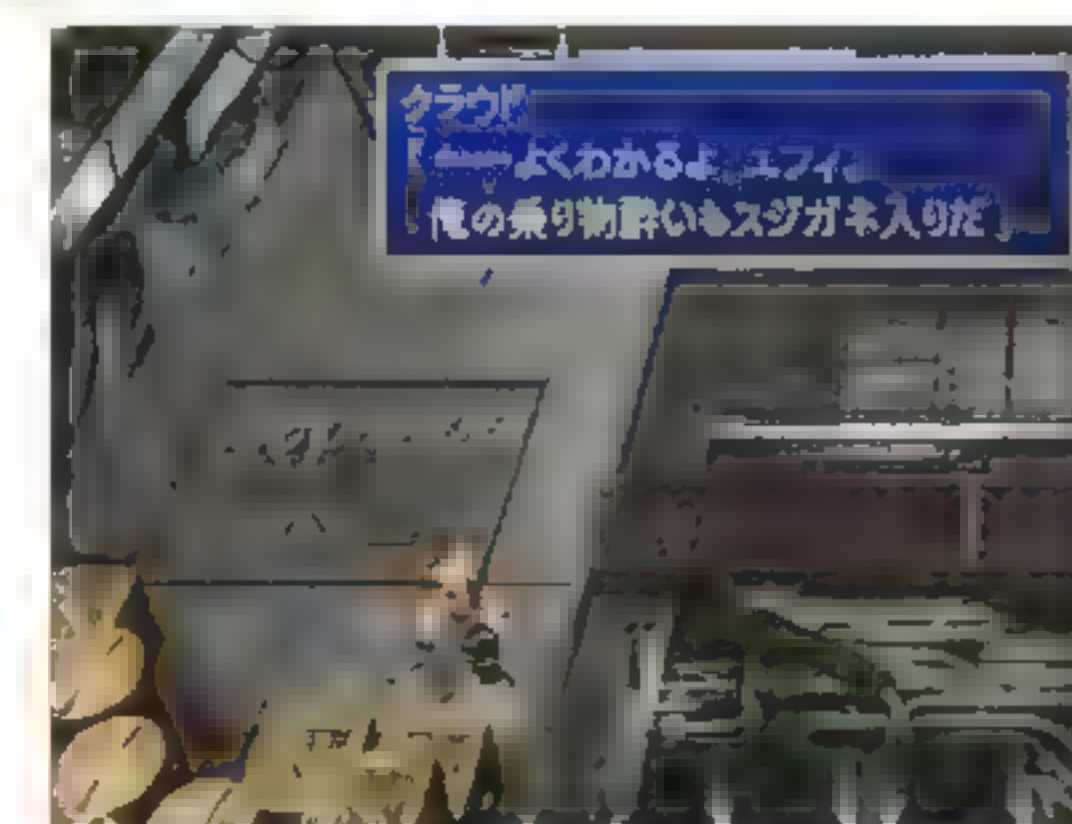
神羅カンパニーの精鋭兵士「ソルジャー」の一員だったと自称する剣士。実際は一介の神羅兵に過ぎなかったのだが、体内にジェノバ細胞を植えつけられた影響によって虚偽の人格が形成され、自分は元ソルジャーだと思いこんでいた。反神羅組織「アバランチ」に協力したことをきっかけに、星を守るための旅に出る。

旅の途中、自分を理解できない不可解な状況に何度もおちいることに。悩み苦しみながら旅をつづけるものの、因縁の相手セフィロスのもとへたどり着いたときに完全に自我が崩壊。仲間とはぐれたのち魔晄中毒に冒されたが、精神世界において己の過去と向き合い、真実を見つけ出す。本来の自分を取りもどしたあとは、星を救う戦いにふたたび身を投じた。

↑プライドが高く、人とのなれあいを嫌うが、実際は孤独に身を置き己を守ろうとする臆病な性格。

←謎の声をともなってクラウドを襲う頭痛は、本来の人格といつわりの人格のせめぎ合いによって起こるもの。

Topics of Cloud

5年前の回想時

作られた人格と真のクラウド

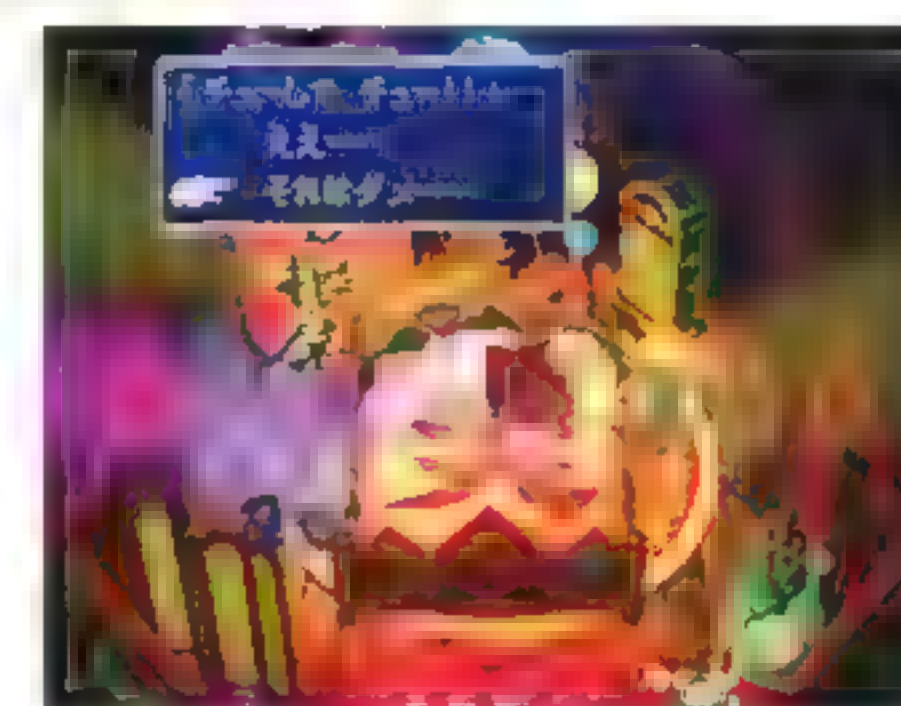
物語序盤のクラウドは、5年前に受けた実験の影響で、「元ソルジャーのクラウド」という、本来の自分とは異なる人格を無意識のうちに演じていた。この人格は、クラウドの親友だったザックスというソルジャーの記憶と、他人と関わりたがらないクラウドの性格が混ざり合って創造されたもの。クラウドは本来、クールなヒーローなどではなく、自分に自信が持てず、内気で人と接するのも苦手な性格だ。

↑本当の自分を取りもどしてからは、乗り物に弱い点など、少しカッコ悪い面もさらけ出す。

セフィロスとの因縁

少年期のクラウドにとって、セフィロスは英雄であり、あこがれの存在だったが、5年前にセフィロスがニブルヘイムを焼き払ってからは、故郷を奪った許しがたい仇敵に。しかし、体内に埋められたジェノバ細胞により、物語中盤までクラウドは、自覚のないままセフィロスのために行動してしまう。

←クラウドが星を守る戦いをつづける本当の理由は、セフィロスとの決着をつけるためだ。

じつは演技が得意？

コルネオの館に入るときや、神羅のパレードにまぎれこむときなど、場の雰囲気に流される形で変装することが多いクラウド。しぶしぶ変装するものの、なぜか周囲にバレずにすんでしまう。仲間の前でソルジャーのフリができたのも、ジェノバの力だけでなく、もともと演技の才能があったから？

←コルネオにバレなかったのも、それなりに女の子らしい振る舞いをしていたからなのかも。

Impressive Words

物語序盤に見せる、孤高の戦士のような人物像は、クラウドが知らず知らずのうちに演じていたもの。物語終盤の言動こそ、彼の本当の人格によるものだ。

「あんたたちの名前なんて興味ないね」
——壱番魔晄炉：ビッグスの自己紹介をさえぎって

「どうやるんだ……。……思い出した!　俺のやりかた」
——古代種の神殿：セフィロスの意識が流れこんで混乱し

「指先がチリチリする。口の中はカラカラだ。目の奥が熱いんだ!」
——忘らるる都：物言わぬエアリスを抱きかかえながら

「母さんを……ティファを……村を返せ……。あんたをそんけいしていたのに……あこがれていたのに……」
——クラウドの回想（5年前）：村を焼き払ったセフィロスを剣で刺して

「もう幻想はいらない……俺は、俺の現実を生きる」
——飛空艇ハイウインド：本当の自分を取りもどしたあと仲間たちに向かって

ティファ

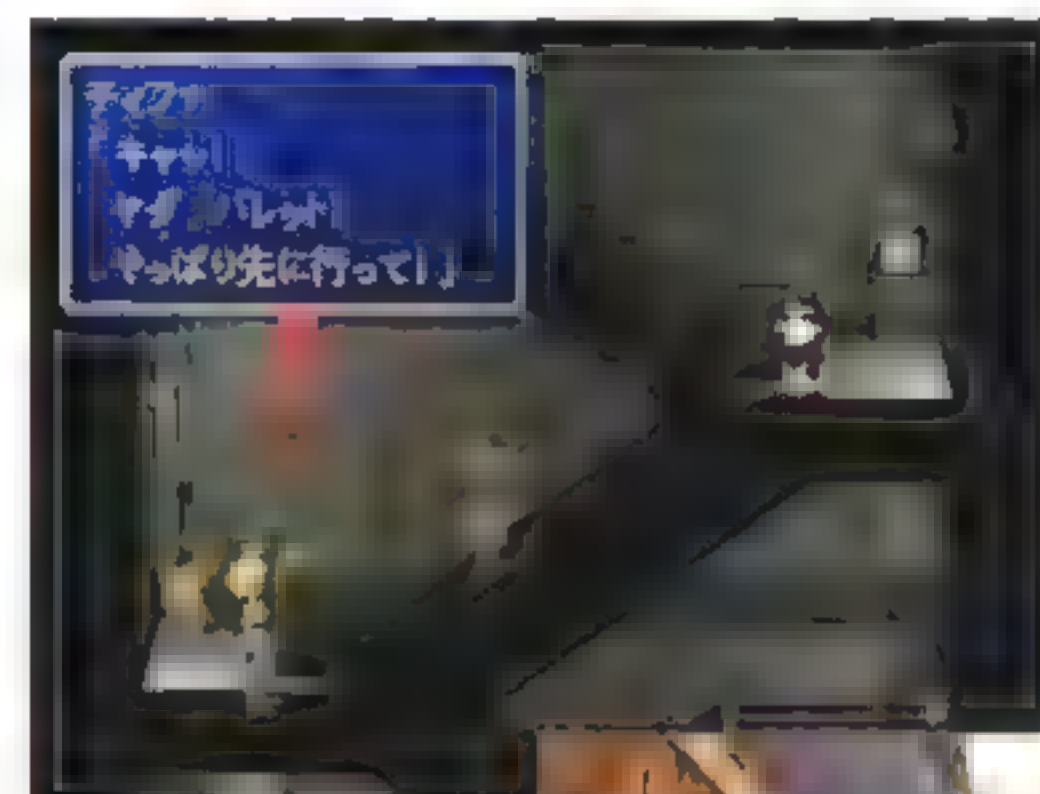
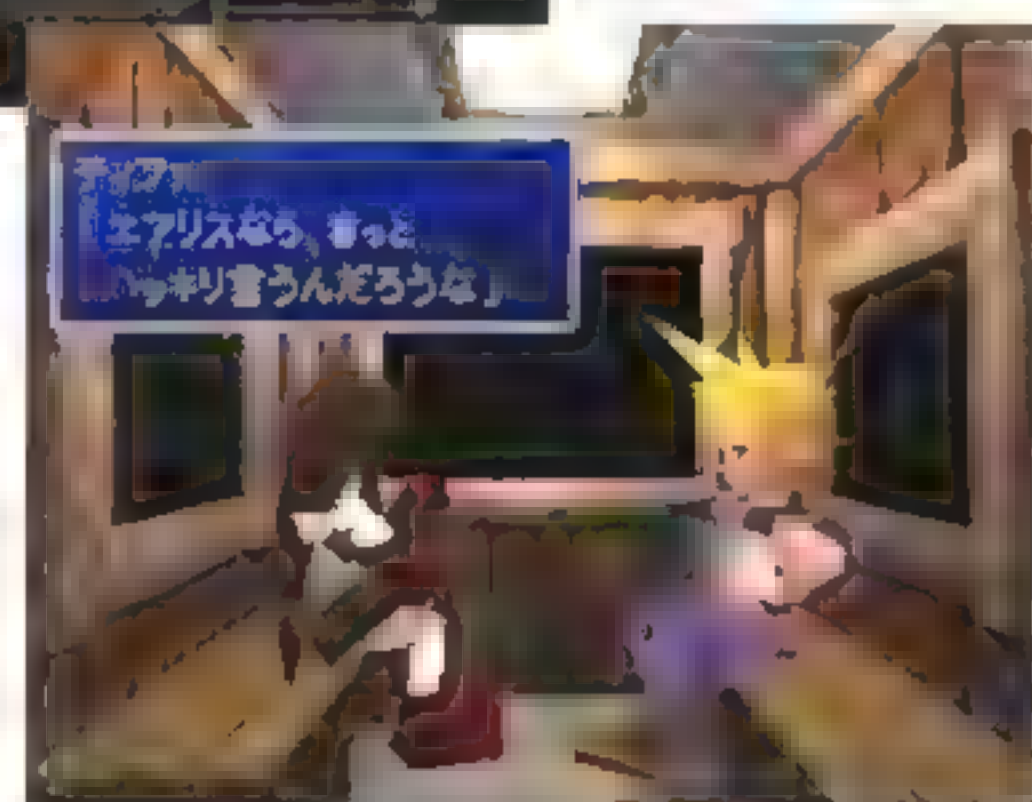
Tifa Lockhart ティファ・ロックハート

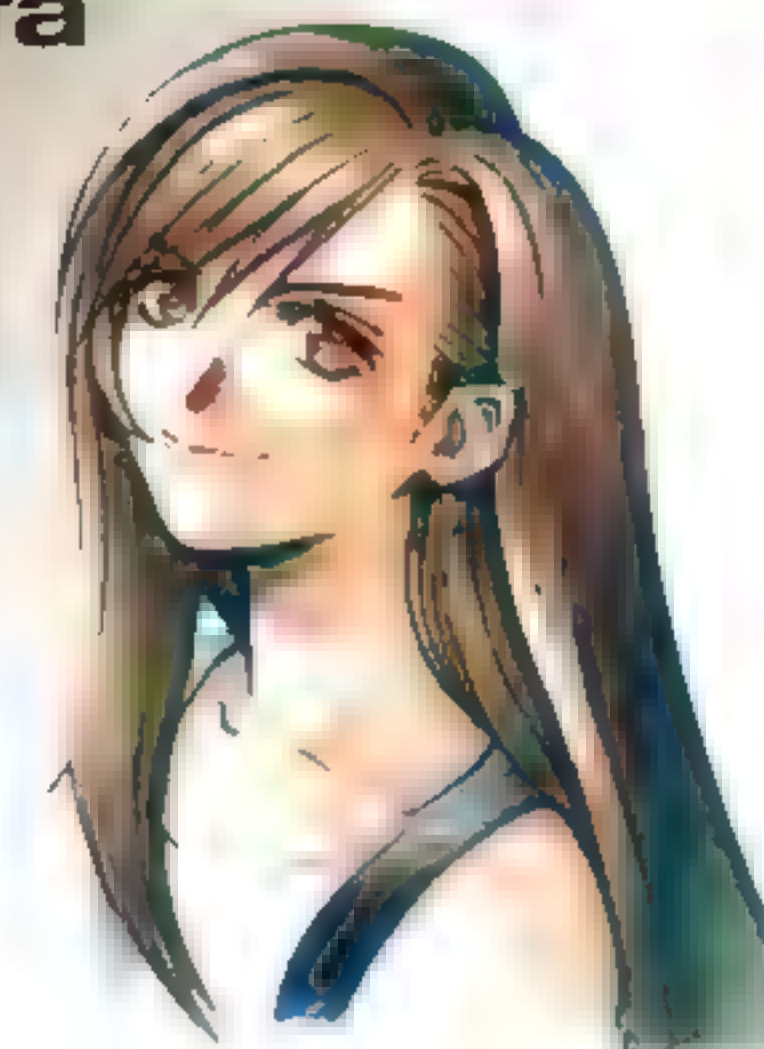
Personal Data

性別	女	誕生日	5／3
年齢	20歳	血液型	B型
身長	167cm	出身地	ニブルヘイム
武器	グローブ		

不安な心を胸に秘めた クラウドの幼なじみ

アバランチの一員で、バー「セブンスヘブン」の看板娘。クラウドの幼なじみでもあり、彼に好意を抱いている。5年前、セフィロスに故郷を焼き払われ、以来、神羅に復讐すべく反神羅活動に参加しはじめた。格闘術に秀でており、しなやかな肢体を駆使して戦う。

活発そうな外見に反して、じつはかなり内向的な性格。とりわけ、記憶に不自然な部分があるクラウドに対する不安は大きく、ひとりで悩みふさぐことも多い。しかし、心の弱さを周囲にさとられないように、やや無理をして明るく振る舞っていた。物語の中盤には、魔晄中毒におちいったクラウドを看護するためにパーティーから離脱。クラウドの精神世界では、彼とふたりで過去に真正面から向き合って、クラウドが己を取りもどす手助けをし、彼とともにパーティーに復帰する。

⬅タンクトップにミニスカートという、動きやすい服装を好むが、男性陣の視線に恥じらいを見せる場面も。

➡恋愛に関しては奥手。クラウドに想いを寄せながらも素直になれず、なかなか気持ちを伝えられずにいる。

Topics of Tifa

彼女が口をつぐむワケ

5年前にニブルヘイムが焼かれたとき、クラウドは兵士としてその場にいたが、ティファはそれを知らなかった。そのため、現場にいなかったはずのクラウドが当時の出来事を語ることに疑問を持ち、自分が持つ記憶とクラウドの話との不可解な食いちがいに困惑する。クラウドを信じたいけれど信じ切れない――そんな彼女の葛藤は、のちにセフィロスに利用され、結果的にクラウドを追いつめてしまう。

⬆それとなくクラウドの記憶を探ろうとはするが、彼の過去を追及する勇気を持てずにいる。

ティファにとってのヒーロー

7年前にクラウドがソルジャーになりたいと言ったさい、ティファは彼に"ピンチのときに駆けつけるヒーロー"の役を依頼。この約束もあってか、ティファはクラウドと再会して以来、彼に頼り切っていた。クラウドと離ればなれになったとき、ティファはひとりでは何もできず、とまどうことに。

⬅クラウドがいないときのティファはずいぶんと弱気だが、これが彼女の本来の姿と言える。

料理の腕はピカイチ

アバランチのアジトでもあるセブンスヘブンを切り盛りするだけあって、ティファの料理の腕は相当なもの。新しい料理を考案しては、仲間に食べさせて感想を聞くなど、新メニューの開発にも努力していた。アバランチが精力的に活動できたのは、ティファの日ごろの努力のおかげなのだ。

⬅試食係のウェッジも絶賛するティファの料理。彼女の手作りカクテルも評判がいい。

Impressive Words

ティファの言葉の端々には、クラウドへの想いがにじみ出ている。物語中盤までは、彼に抱く違和感を取りのぞきたいという、不安な心が見え隠れすることも。

「死んじゃダメ！　話したいことがたくさんあるの！」
――伍番魔晄炉：転落寸前のクラウドに向かって

「クラウドは……本当に、本当にクラウド……だよね」
――コスモキャニオン：5年前の出来事について確かめようとするも口ごもり

「相手しちゃだめよ……耳をふさぐの！　目を閉じるの！」
――竜巻の迷宮：クラウドが真実を知るのを恐れ

「人間て、自分のなかになんてたくさんのものをしまってるんだろう……なんてたくさんのことを忘れてしまえるんだろう……」
――ミディール：クラウドの精神世界から帰還して

「想いをつたえられるのは言葉だけじゃないよ……」
――荒野：最終決戦を前に、話したいことは多いが言葉に詰まるクラウドに

エアリス

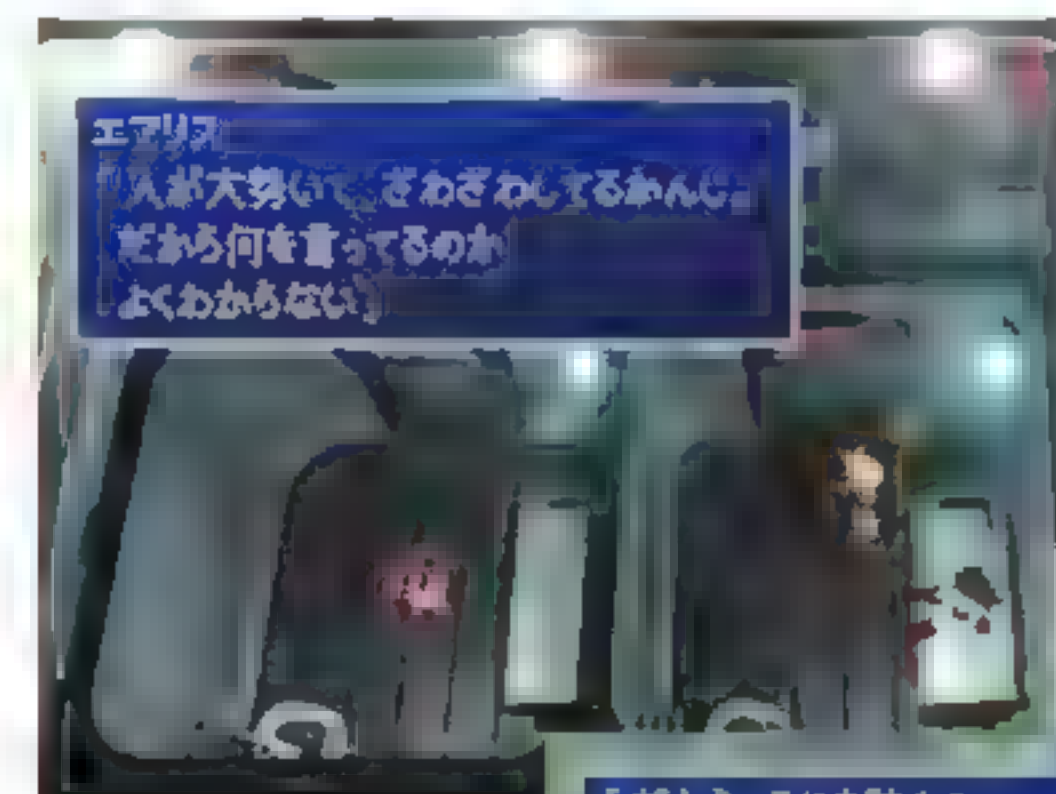
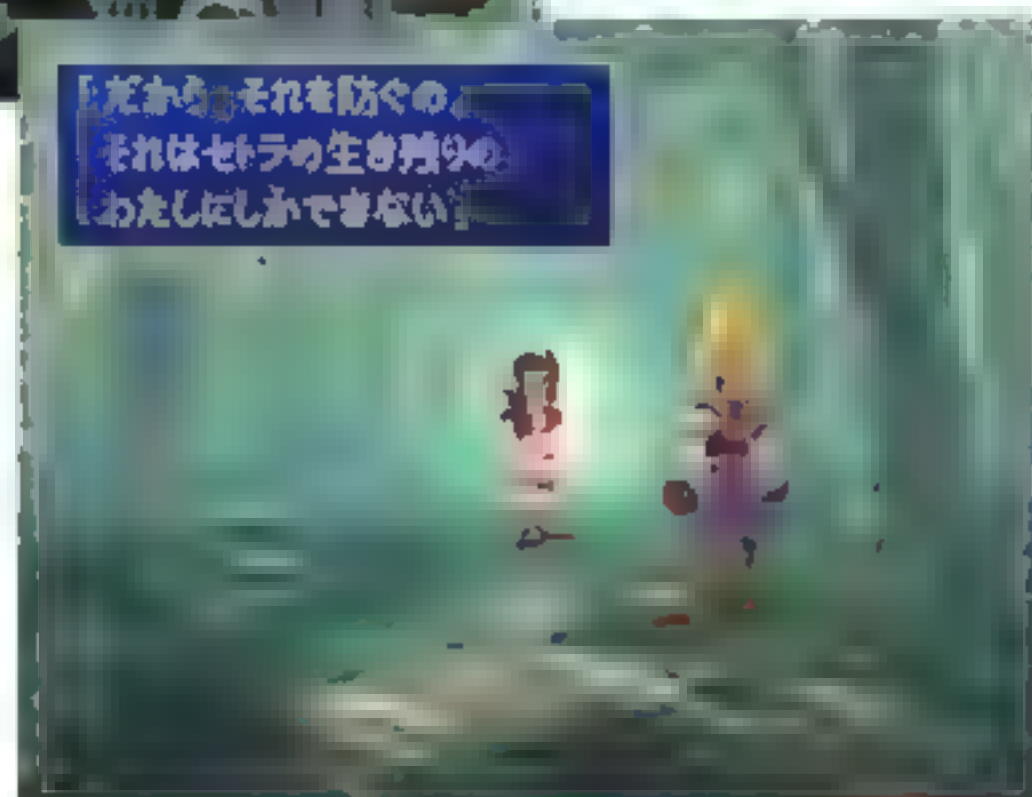
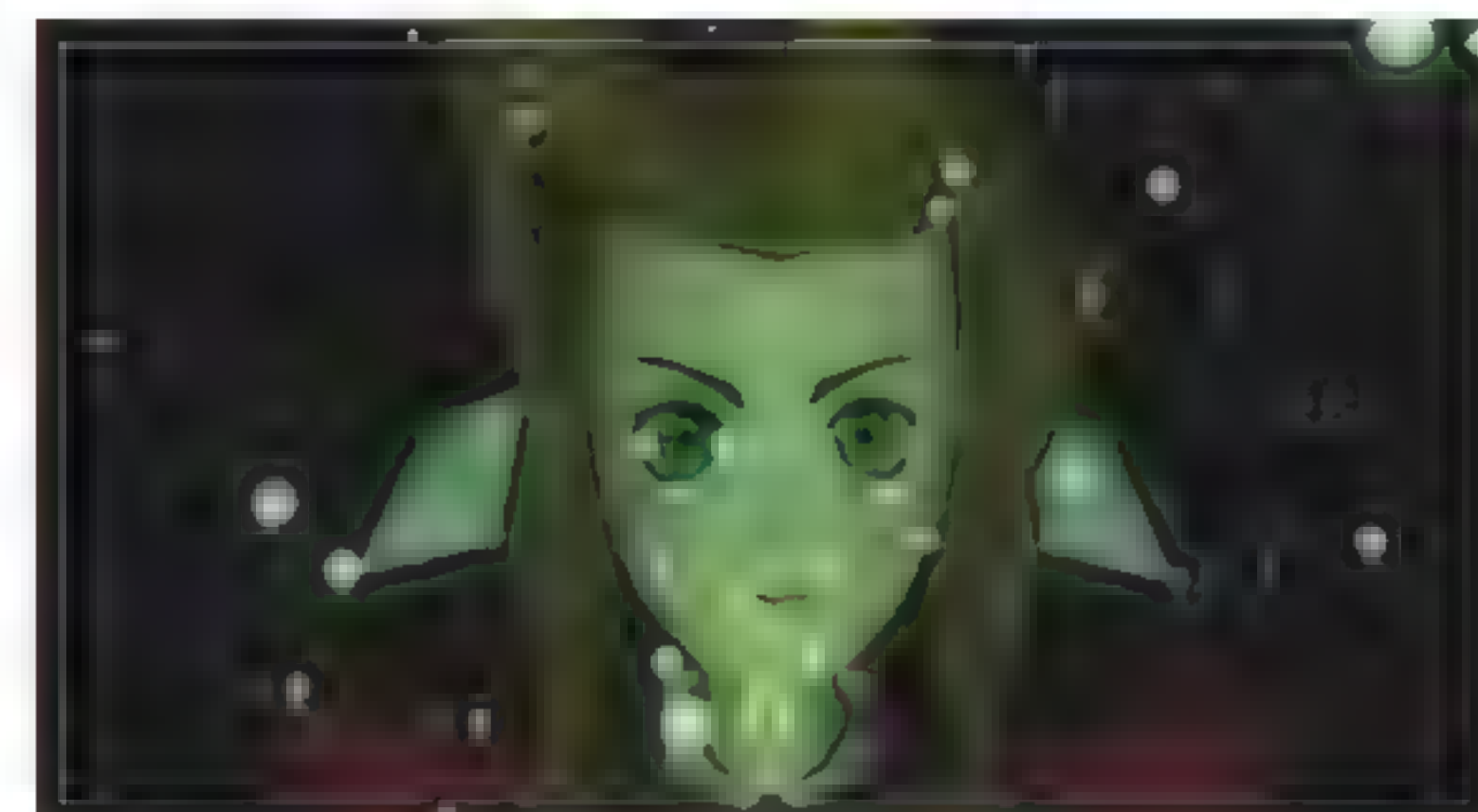
Aerith Gainsborough エアリス・ゲインズブール

Personal Data

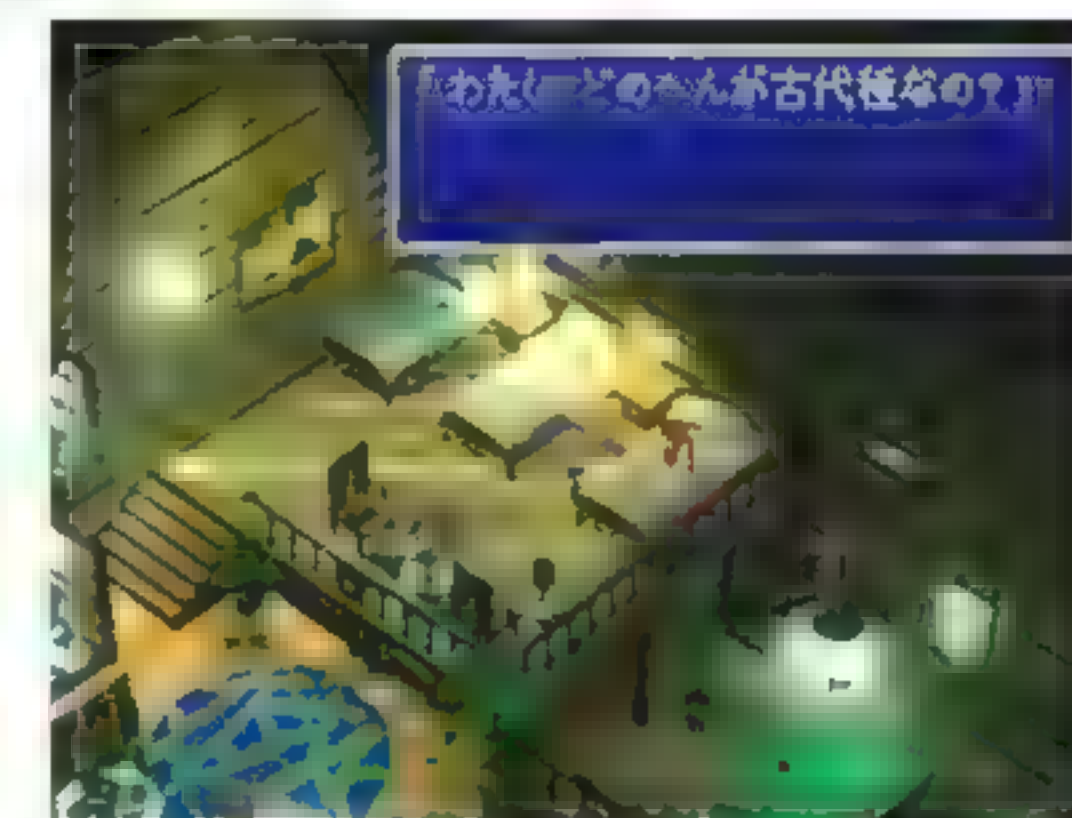
性別	女	誕生日	2／7
年齢	22歳	血液型	O型
身長	163cm	出身地	アイシクルロッジ
武器	ロッド		

星を救うために祈りをささげた強い意志を持つ乙女

伍番街スラムに住む、花売りの女性。星と対話する能力を持つ種族「古代種（セトラ）」の最後の生き残りであり、古代種のみが場所を知るとされる「約束の地」を欲する神羅に追われている。おとなしそうな外見とは裏腹に行動力があり、周囲の者を驚かせることも。複雑な生い立ちにも悲観することなく、つねに前向きな姿勢をくずさない。クラウドとの出会いをきっかけに、自身の知らない古代種の宿命を知ろうと、旅に同行する。

旅の途中で、セフィロスが究極の破壊魔法「メテオ」を利用して星を傷つけようとしていることを察知。彼の野望を止めるべく、古代種の祈りによって発動する白魔法「ホーリー」を唱えるために単身忘らるる都へ向かった。星に祈りをささげるも、セフィロスの凶刃につらぬかれ、安らかな微笑とともに、はかなく命を散らす。

⬅星と対話できる古代種であるため、幼少期から、ふつうの人には聞こえない"声"を感じ取ることができた。

➡「自分にしかできない役目を果たす」と、夢を通じてクラウドに告げたのち、仲間の前から姿を消し……。

Topics of Aerith

古代種としての苦悩

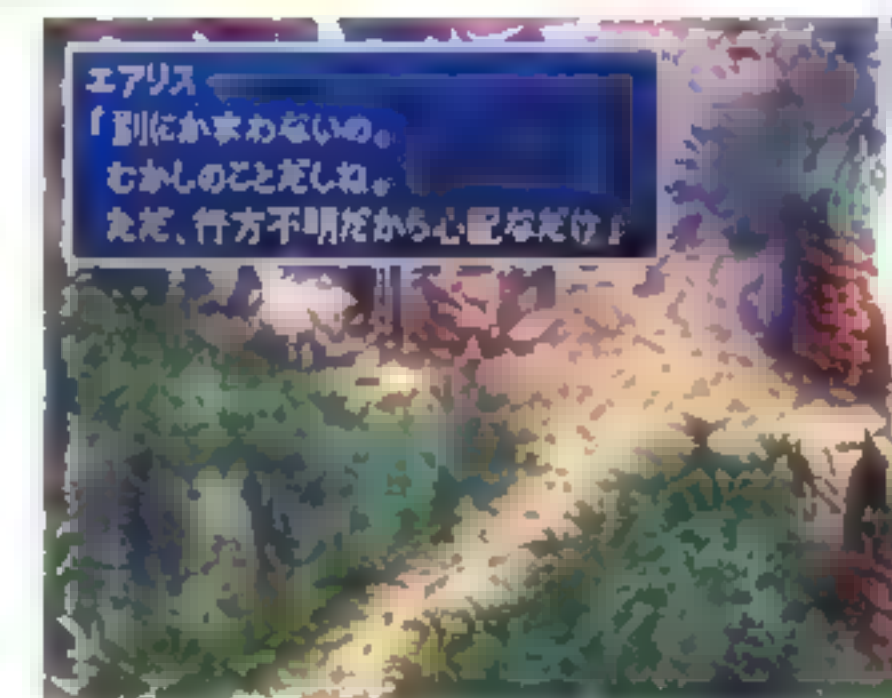
エアリスは古代種の末裔という理由で神羅から狙われているが、古代種がどういうもので、何をすべきなのかをしっかりと教わる前に、幼いころ母親と死別してしまっている。そのため、古代種についてよく知らず、ほかの人にはない不思議な能力を持つことに「自分は何者なのか」という疑問や不安を抱えていた。彼女はクラウドたちとの旅を通じて、少しずつ古代種の使命を理解していくことになる。

⬆コスタ・デル・ソルでは、自分が抱える悩みをストレートに吐き出す場面も。

不思議な話しかた

「だいじょぶ？」「一緒に乗ろうね、飛空艇」といったように、単語の一部をはぶいたり、言葉の前後を入れかえたりするエアリスの話しかたは独特で、聞き手にほんわかした印象を与える。ただし、おっとりとした口調のわりに言いたいことはきちんと言うタイプらしく、ときには手厳しい発言も。

⬅相手が誰でも物おじせず、物事をハッキリ言うのは、スラム育ちのたくましさゆえ？

初恋の相手ザックス

エアリスの初恋の相手は、5年前に消息を絶ったソルジャー・クラス1stの青年ザックスだ。彼はクラウドの親友でもあり、クラウドの行動に大きな影響を与えた人物。エアリスはふたりが親友同士ということは知らなかったが、クラウドのしぐさのなかにザックスを見いだし、クラウドに興味を抱く。

⬅物語の開始時点においてザックスはすでに故人なのだが、エアリスはその事実を知らない。

Impressive Words

前向きな性格で、少女のような無邪気さも見せるエアリス。つねに明るさを失わないのは、古代種の使命に負けないようにという意志の現れかもしれない。

「じゃあねえ……デート、1回!」
——伍番街スラム教会：ボディガードの報酬をクラウドに提案

「クラウド、女の子に変装しなさい。それしかない、うん」
——ウォールマーケット：コルネオの館へ潜入するためにクラウドに女装を勧める

「ね、クラウド。わたし、あなたをさがしてる」
——ゴールドソーサー：デート中にゴンドラのなかでクラウドに向かって

「世界中、ほんの少ししかいない、わたしのこと、知ってる人……」
——古代種の神殿：数少ない昔なじみであるツォンが瀕死の重傷を負っているのを見て

「セフィロスのこと、わたしにまかせて。そして、クラウドは自分のこと考えて。自分が壊れてしまわないように、ね?」
——クラウドの夢：忘らるる都へ向かう前にクラウドに別れを告げる

バレット

Barret Wallace バレット・ウォーレス

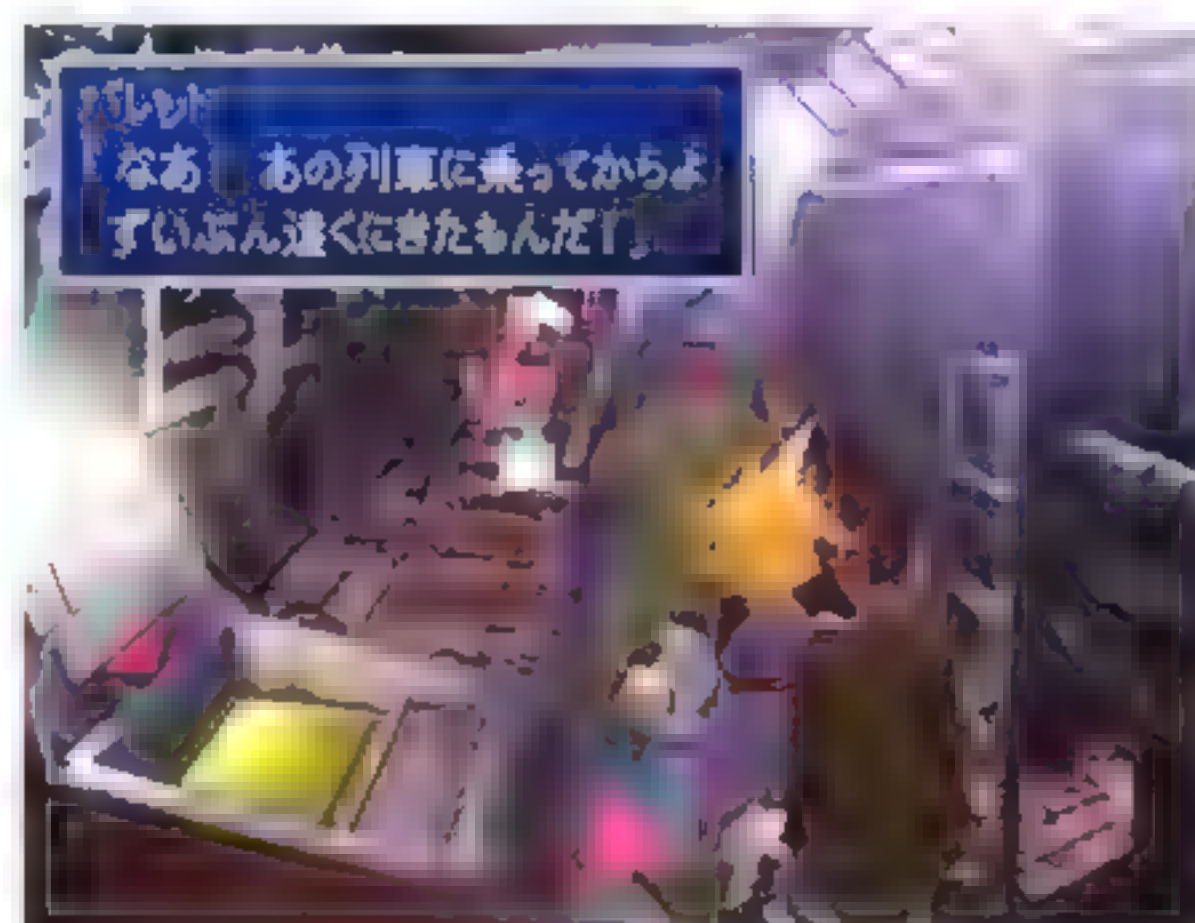
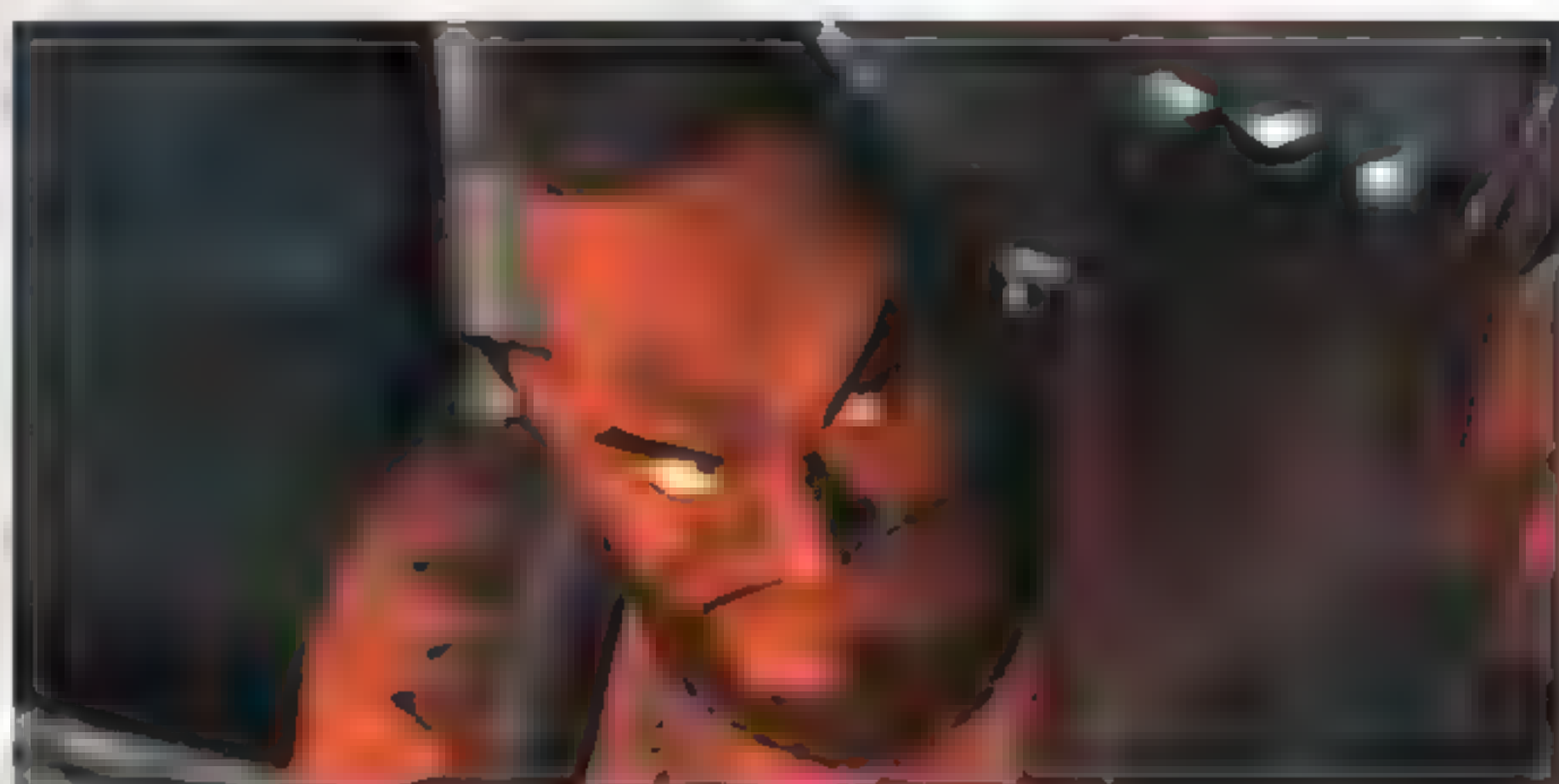
Personal Data

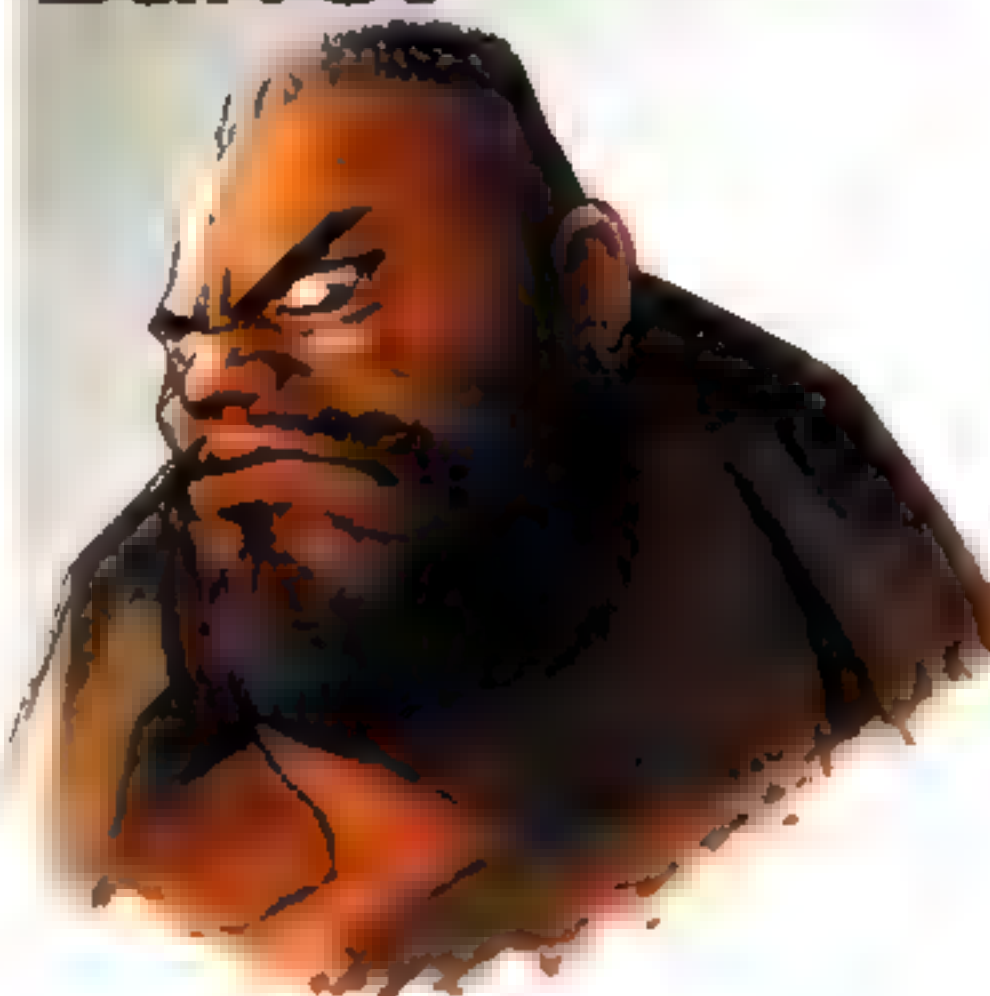
性別	男	誕生日	12／15
年齢	35歳	血液型	O型
身長	197cm	出身地	コレル村
武器	ギミックアーム		

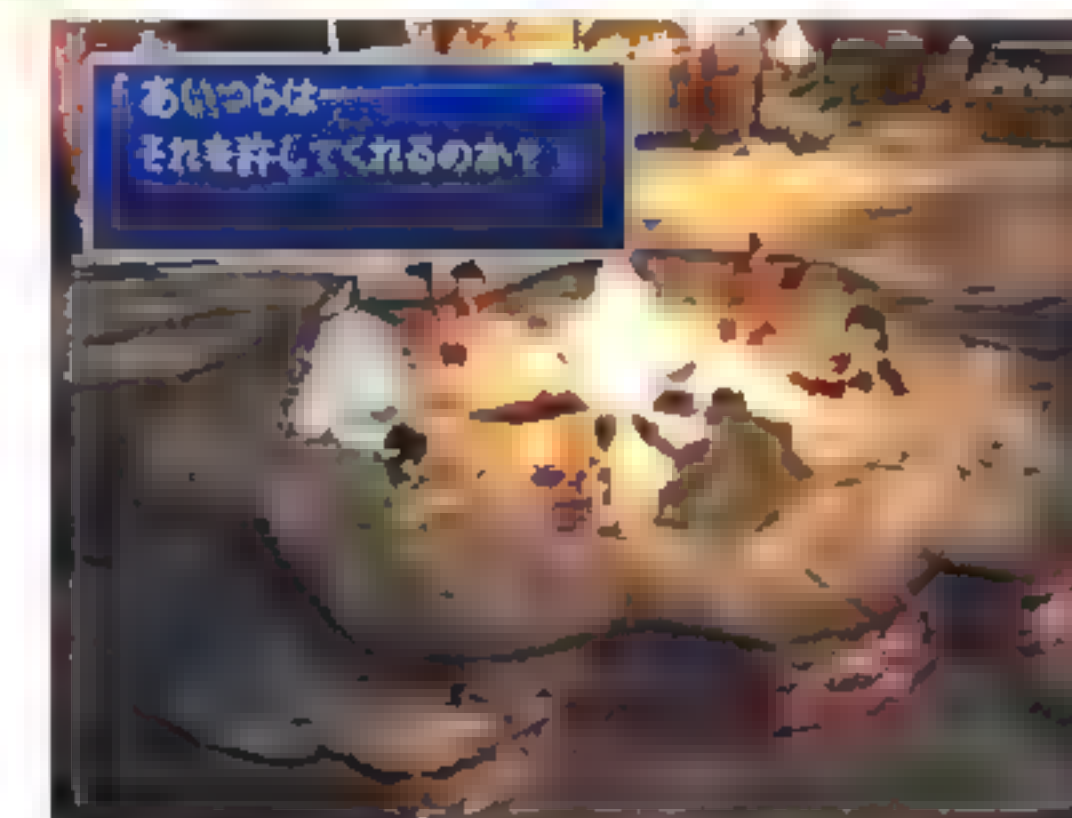
星を守るために奮闘する直情型の熱血漢

反神羅組織アバランチのリーダー。神羅によって故郷を焼かれ、妻と右腕を奪われた過去を持つ。「星を救う」というスローガンのもと、星の命とも言える魔晄を食いつぶす神羅カンパニーに反抗し、過激な反神羅活動を展開していた。魔晄炉の爆破などを経て、星そのものの命運をかけた旅に参加する。

性格は単純で、何よりもまず先に行動するタイプ。物事を深く考えることは苦手だが、行動力に満ちあふれ、つねに前進する姿勢をくずさない。当初は神羅への復讐心に突き動かされて戦っていたものの、仲間や親友の死をきっかけに自分自身の戦う理由を見つめ直すことに。罪もない人々を巻きこんだ自身の行動を悔い、愛娘マリンの未来のために、本当の意味で星を守るべく戦いつづける。

⬆神羅に撃たれた右腕は、手術のすえ着脱可能な銃へと生まれ変わり、バレットに新たな力を与えた。

⬅当初はぎこちない関係だったクラウドとも、戦いを通じてかけがえのない戦友に。

Topics of Barret

反神羅をうたう本当の理由

バレットが神羅と戦うのは、故郷と家族を奪われたことに対する復讐のためだ。日ごろ声を大にして叫んでいる「星の命を守る」という言葉は、復讐心を正当化するための大義名分としての意味合いが強かった。しかし、そのうわべの思想に賛同して集まったアバランチの仲間たちを、バレットは結果的に死なせてしまう。この出来事は彼のなかにぬぐいがたい罪悪感を生み、自分が戦う意味を考え直す転機となる。

⬆戦ってきた理由を自問するバレット。頭にあるのは、犠牲になった仲間たちのことだ。

リーダーではあったけれど

アバランチのリーダーだったこともあり、何かと主導権をにぎりたがるバレット。ミッドガルから旅立つときもリーダーに名乗り出るが、女性陣に却下されてしまう。その後、自分には人を取りまとめる素質がないことを自覚したらしく、クラウド不在の折には、リーダーをシドにまかせた。

⬅自分がリーダーに不向きであることを素直に認めたのも、バレットが旅で成長した証？

生きる原動力となる愛娘マリン

バレットの心の支えとなっているのが、愛娘のマリンだ。血のつながりはないが、バレットは彼女に惜しみない愛情を注いで育ててきた。ミッドガルにウェポンが迫ったとき、マリンの心配だけをしてケット・シーの反感を買うなど、愛娘のことになると、ふだんにも増してまわりが見えなくなる。

⬅仲間内でかわいいと評判だった海兵服姿を、マリンにも見せてあげようと張り切る場面も。

Impressive Words

基本的に荒い言葉が目立つバレット。思ったことを飾らず口にするため、やや配慮に欠ける面があるが、仲間を奮起させる力となる場合も。

「星が死んじまうんだぞ。えっ、クラウドさんよ!」
——壱番魔晄炉：星の命など興味がないというクラウドに抗議して

「オレはいくぜ、オレはいくぜ!　オレはいくぜ!!」
——カーム：クラウドの話を聞き終え、考える前に動き出し

「星を救うなんてカッコつけてるがオレは神羅に復讐したいだけなんだ」
——コレルプリズン：自身の過去をクラウドたちに打ち明けて

「オレたちが乗っちまった列車は途中下車はできねえぜ!」
——飛空艇ハイウインド：クラウドがいなくなり落ちこむティファを励ます

「そうだぜ。オレはマリンのために戦ってるんだ。
マリンのために……マリンの未来のために……」
——飛空艇ハイウインド：己が戦う理由を自問して

レッドXIII

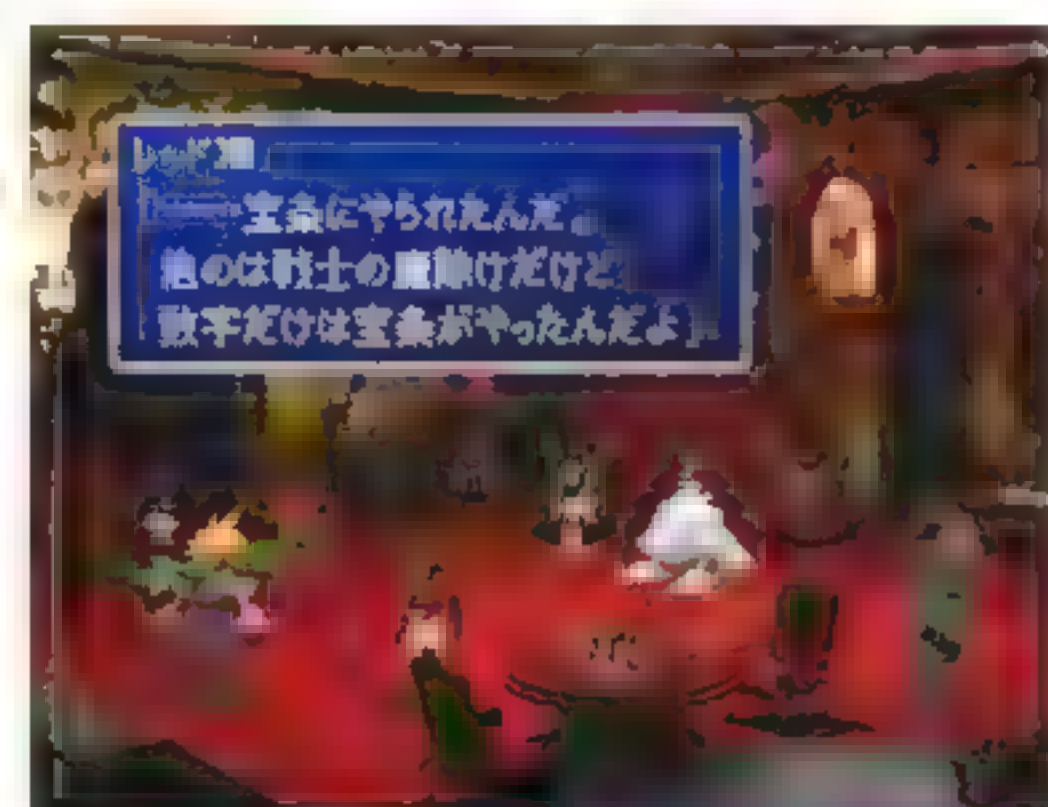
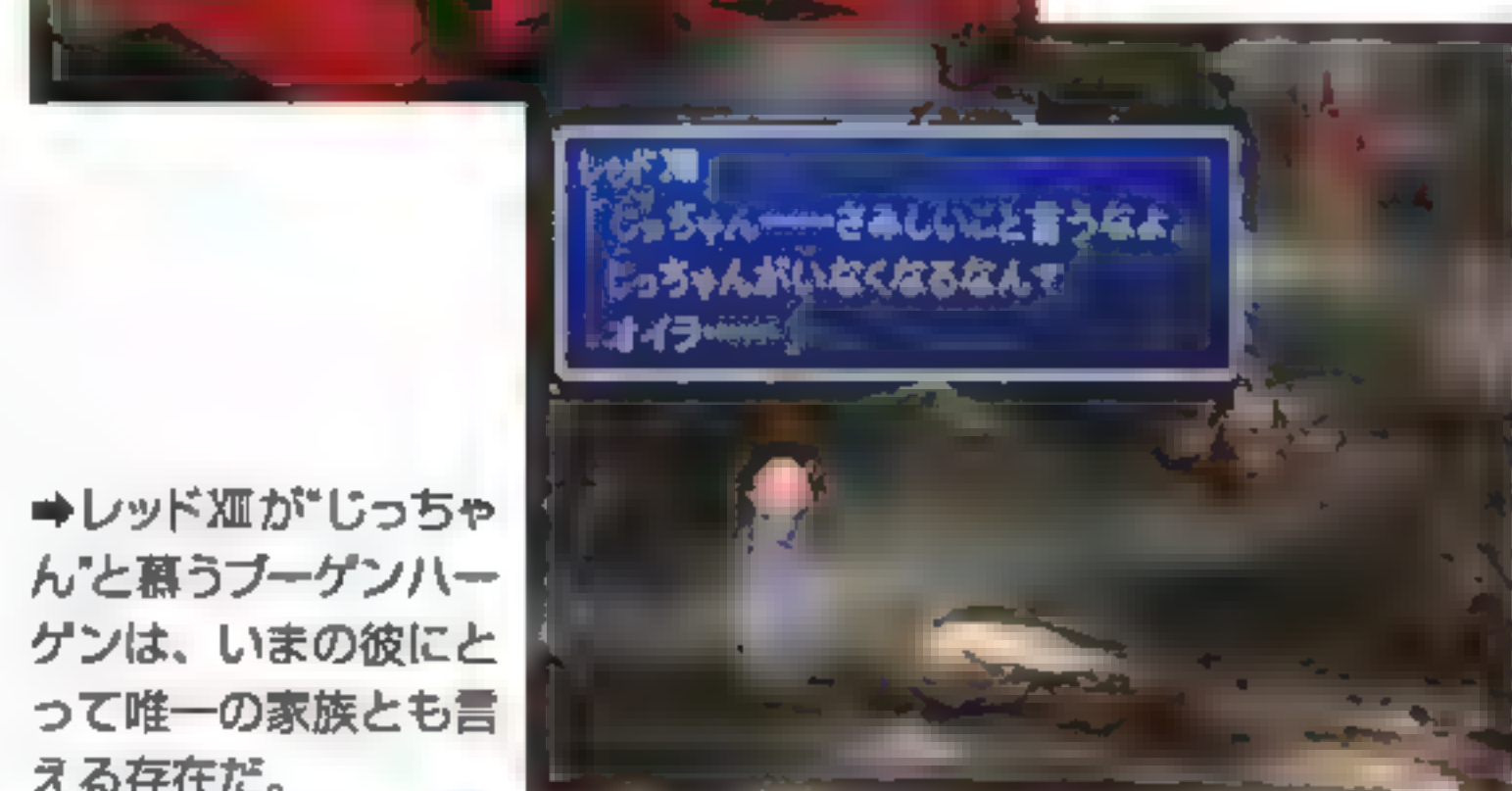
Red XIII (Nanaki) ナナキ

Personal Data

性別	男	誕生日	?
年齢	48歳(人間年齢で15〜16歳)		
身長	?	血液型	?
武器	髪飾り	出身地	コスモキャニオン

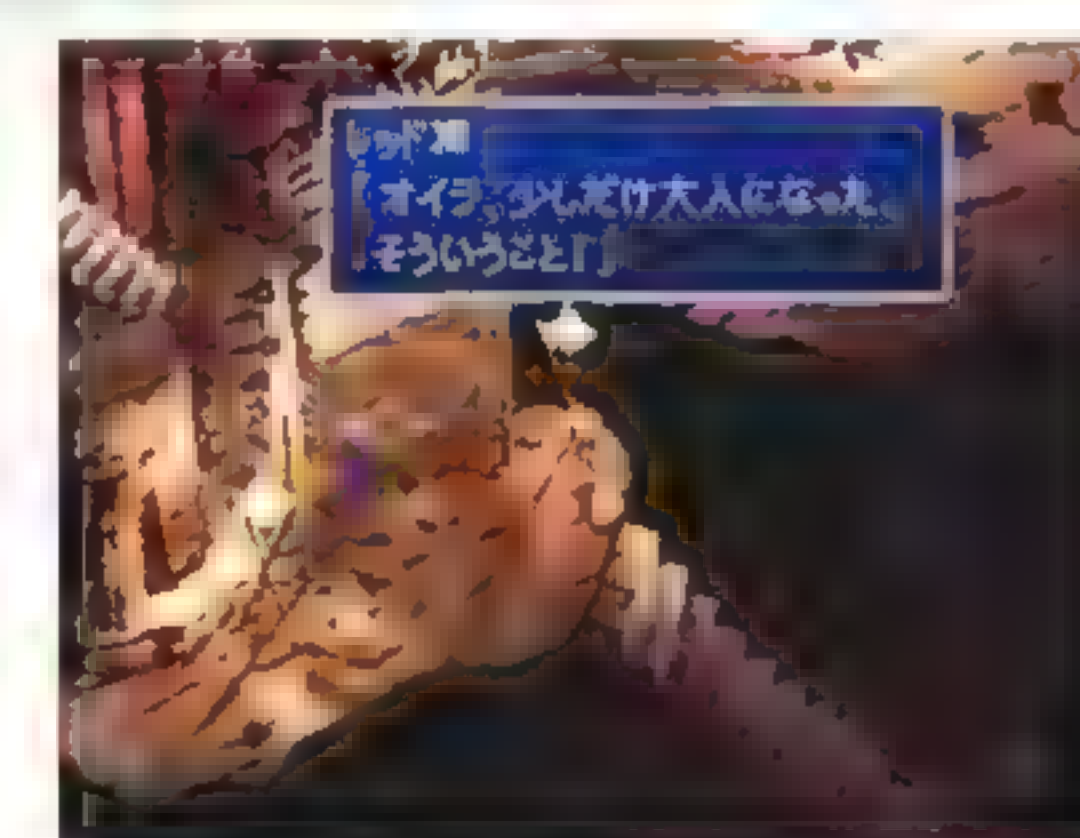
長い時を生きつづける星を守りし一族

人語をあやつり、人間よりもはるかに長命である一族の、数少ない生き残り。宝条の実験サンプルとして神羅ビルに捕らわれていた。レッドXIIIというのは宝条がサンプルを管理するときにつけたコードネームで、本名はナナキ。エアリスを助けようと神羅ビルへやってきたクラウドたちと出会い、行動をともにするようになる。

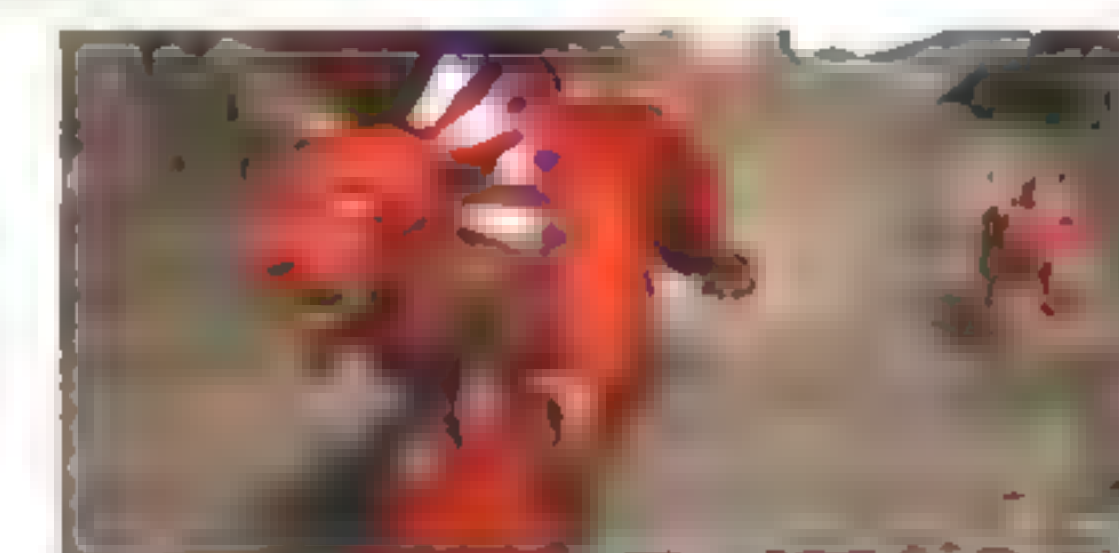
はじめのうちは、故郷コスモキャニオンに帰るまでの予定でクラウドたちに同行。実際はまだまだ子どもでありながら無理をして、落ち着いた大人のように振る舞っていた。しかし、故郷に帰ったさい、背伸びの原因となっていた父親への誤解が解け、年齢に似つかわしくない言動をやめることに。敬愛するブーゲンハーゲンからも旅立ちをうながされ、星の行く末を見届けるため、クラウドたちと旅をつづけることを決意した。

←炎のように赤い身体には、宝条がつけたナンバーと、一族に伝わる戦士の魔除けのイレズミが刻まれている。

→レッドXIIIが"じっちゃん"と慕うブーゲンハーゲンは、いまの彼にとって唯一の家族とも言える存在だ。

Topics of Red XIII

戦士セトの息子として

レッドXIIIは、自分の父親を「敵襲を受けた谷を見捨て、ひとり逃げ出した臆病者」とカンちがいし、父親のようにはなるまいと考えていた。ふぬけの父にかわって谷を守らねばとの思いから、一日も早く立派な戦士になろうと背伸びをしていたが、帰郷したとき、本当は父親が勇敢な戦士だったと知り、自分の視野のせまさを痛感。谷を守った勇者の息子として恥じない戦士になることを誓う。

↑父の偉大さを知って自分の幼さを自覚したとき、レッドXIIIは一歩大人に近づいた。

星を見守る長命な種族

何百年もの時を生きるほど、レッドXIIIの種族は非常に長命。エンディングでは、クラウドたちが星を救ってから500年後の世界において立派な大人として登場し、幼い子どもたちとともに荒野を駆けていく。長いあいだ生きる者の務めとして、彼はずっとこの星を見守りつづけていたのだ。

↑子どもっぽい言動が目立ったレッドXIIIだが、500年の時を経てすっかりたくましい姿に。

パーティーのペット?

人の言葉を話し、高度な知能を持っているレッドXIIIだが、その行動は外見どおり、動物らしさが漂うものが多い。コスタ・デル・ソルでの自由行動ではしっぽでボール遊びをしてみたり、古代種の神殿でクラウドを待つときは「おすわり」をしてみたりなど、かわいらしいしぐさが目立つ。

←エアリスに鼻をなでられたりなど、レッドXIIIなりに仲間とのふれあいを喜んでいた様子。

Impressive Words

コスモキャニオン訪問を機に口調が大きく変化。哲学者のように話す小難しい語り口をやめて、幼さが目立つ本来の言動をさらけ出すようになる。

「私にとっては無意味な名前だ。好きなように呼んでくれ」
――神羅ビル：クラウドたちにレッドXIIIという名で自己紹介をして

「二本足で立つのもむずかしいものだな……」
――運搬船：神羅兵に変装して

「ただいま〜!　ナナキ、帰りました〜」
――コスモキャニオン：ひさかたぶりの帰郷を果たして

「オイラはコスモキャニオンのナナキ。戦士セトの息子だ!」
――ギ族の洞窟：父親が勇敢な戦士であることを知り、旅をつづける決意をする

(だいじょうぶだいじょうぶ。オイラは勇者セトの息子ナナキ……セフィロスなんか恐くない……)
――飛空艇ハイウインド：最終決戦を前にして自分の心を落ち着かせようと

ケット・シー

Cait Sith

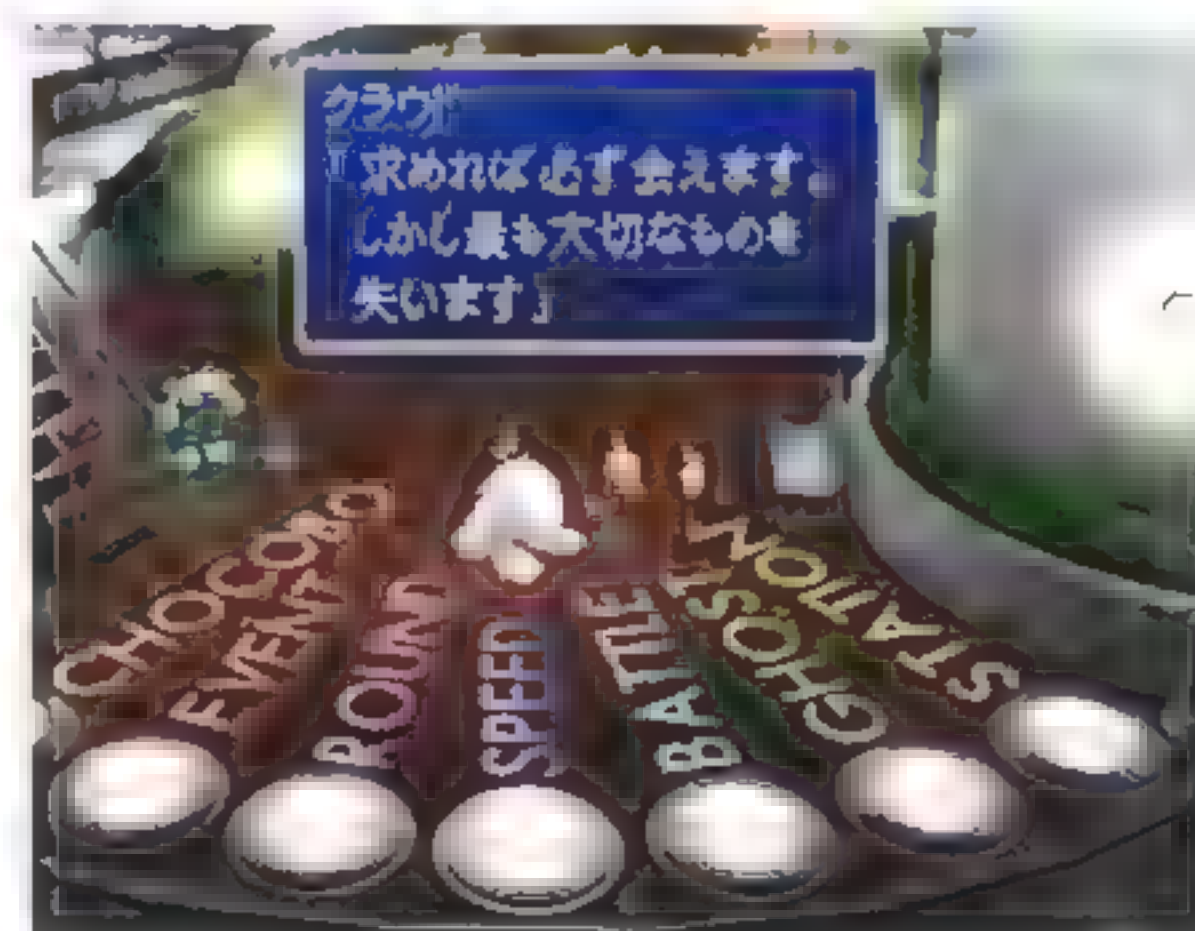
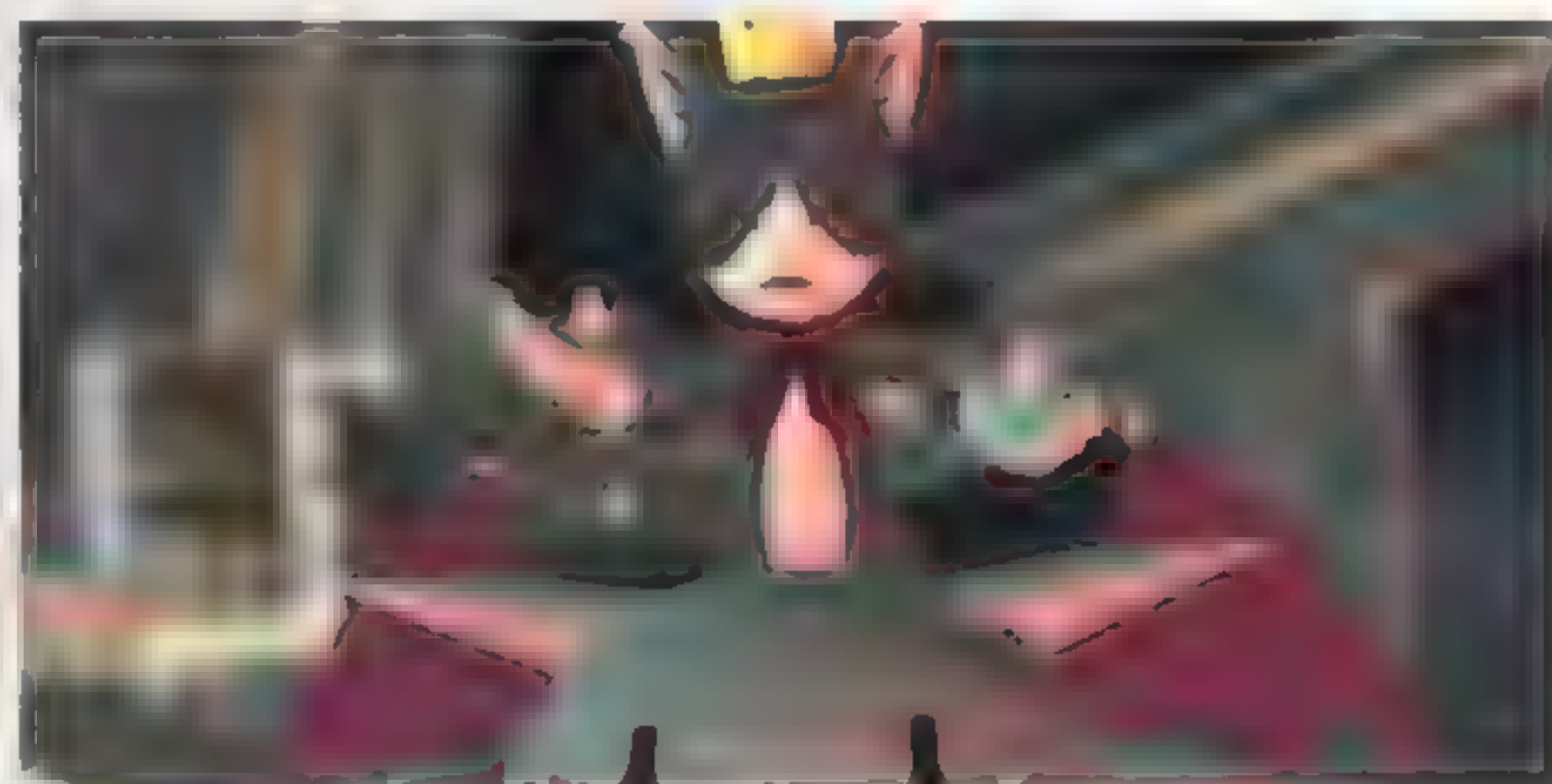
Personal Data

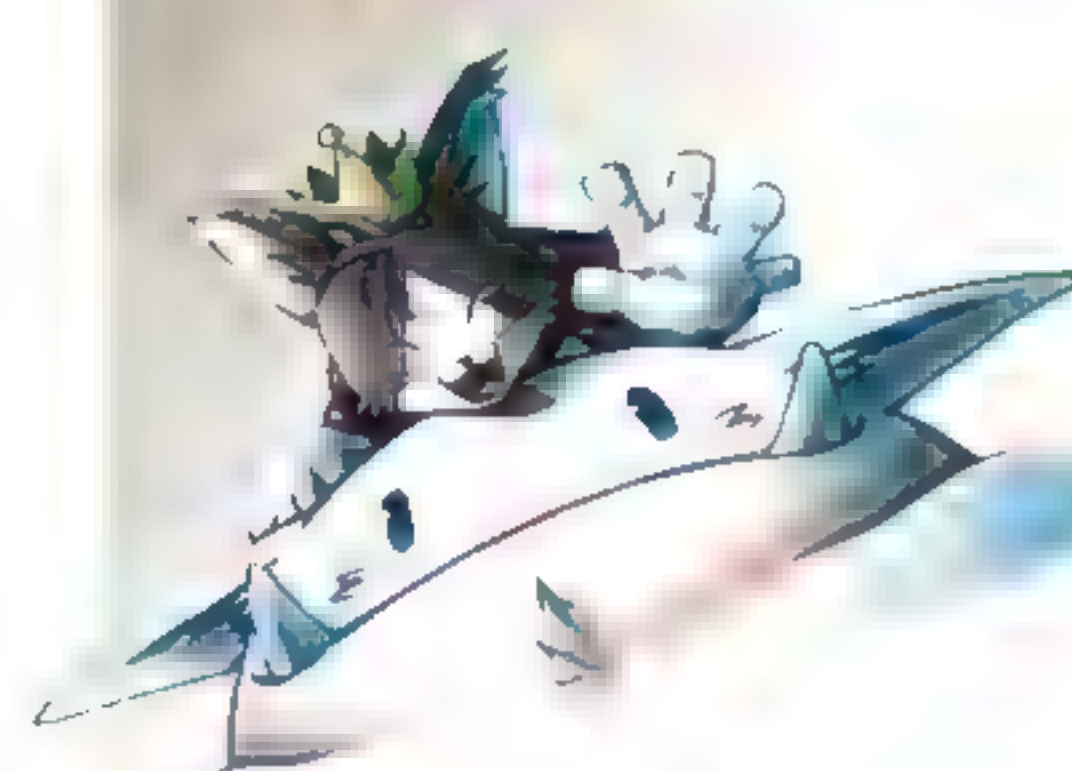
性別	？	誕生日	？
年齢	？	血液型	？
身長	100cm	出身地	？
武器	メガホン		

陽気な雰囲気の マジメなスパイ

ゴールドソーサーでクラウドたちを待ち伏せていた、自称占いマシーン。黒ネコの姿で、デブモーグリのぬいぐるみに乗って行動する。テーマパークの占いマシーンというだけあって、その行動はユーモラスでにぎやか。じつは神羅カンパニーのリーブが遠隔地から操縦しており、クラウドたちの動向を探るためのスパイとして強引にパーティーに加わった。

はじめのころはクラウド一行の情報をタークスらに流し、パーティーを待ち伏せさせたり、古代種の神殿の鍵であるキーストーンを盗んだりしていたが、旅をつづけるうちに「星を守る」という意識をクラウドたちと共有するように。一行のために自分の身体を犠牲にするほか、ミッドガルの危機にはクラウドたちに助けを求めるなど、真の仲間となっていく。

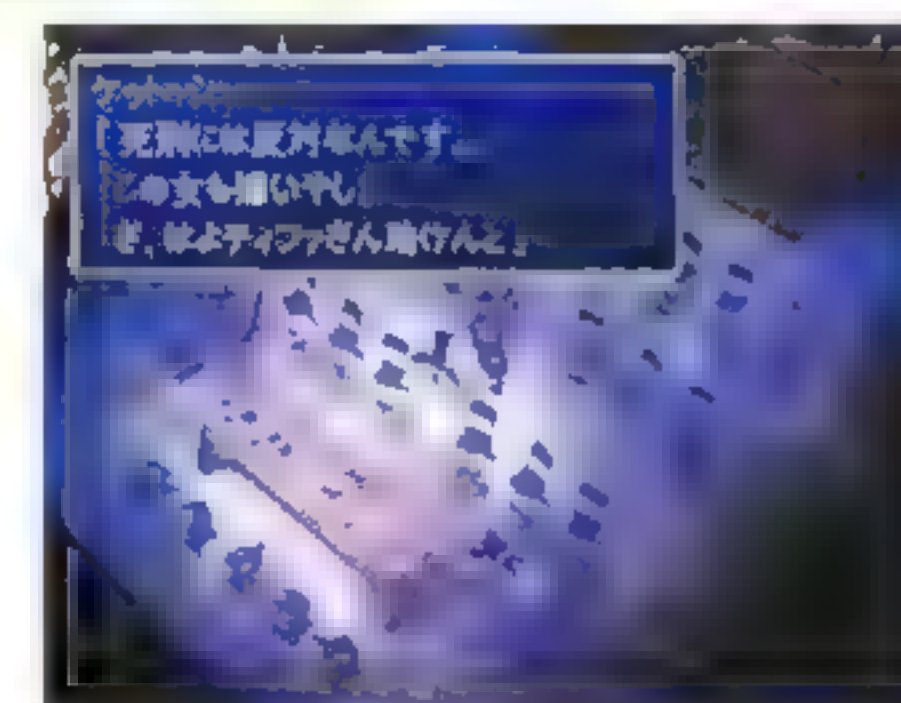
⬆メガホンという異色な武器で戦う。これで敵をなぐる……のではなく、デブモーグリに指示を出す。

⬅ケット・シーと言えば占い。デタラメかと思いきや、ときに意味深な結果を示す。

Topics of Cait Sith

“作りモンのボディ”を活かして

ケット・シー自体はただのぬいぐるみに過ぎず、同型のマシーンがいくつもある、いわゆる替えが利く存在。古代種の神殿ではその特性を活かし、己の身体を犠牲にして黒マテリアの入手にひと役買った。しかし、いくら替えが利くとはいえ、ケット・シーはリーブにとって自分の半身とも言える。「ボクのことをわすれんといてな」という1号機の最期の言葉は、ケット・シーとしてのリーブの本心だろう。

⬆スパイを働いていたとはいえ、仲間のために力になりたいという思いは本物だった。

スパイから逆スパイへ

自分も「星を守る戦い」に尽力したいと感じ出したケット・シーは、しだいにクラウドたちに協力しはじめる。もともと同僚のハイデッカーやスカーレットとそりが合わなかったこともあり、物語後半では神羅に見切りをつけ、重役会議の情報をクラウドたちに流すなど、逆スパイとして活躍した。

⬅まともな人間であるケット・シーことリーブは、ほかの幹部たちに愛想を尽かす。

お堅いリーブ、お気楽なケット・シー

ケット・シーは、ダイスを転がしたり、スロットをまわしたりと、まるで遊んでいるかのように敵と戦う。操縦者のリーブは、神羅カンパニーにおいて数少ないマジメな人物で、とても落ち着いた性格のはずなのだが……。ひょっとして、神羅でのストレスをケット・シーとして発散させている？

⬅カタブツなリーブが本当に操縦しているのか疑わしいほど、バトルでも緊張感がない。

Impressive Words

関西弁のような独特の言葉でしゃべるケット・シー。どことなくコミカルな響きに聞こえるが、操縦者リーブの発言ゆえに、内容は至極マジメなものが多い。

「ヘイ・ユー!! 暗～い顔してますな～」
——ゴールドソーサー：クラウドたちと接触したときの第一声

「誰か給料はろてくれるわけやないし、だぁれも、ほめてくれへん。そやのに、命かけて旅しとる。そんなん見とるとなぁ……」
——ゴールドソーサー：スパイであることを明かしつつ、クラウドたちの思想に理解を示し

「ボクも、この星を守るんや！ なんや、照れるなぁ……」
——古代種の神殿：仲間のために己の身体を犠牲にして

「ガハハハとキャハハのふたりがなんや、やらかすようです」
——飛空艇ハイウインド：逆スパイとして開き直り

「ミッドガル壱番魔晄炉が爆発したとき何人死んだと思ってますのや?」
——飛空艇ハイウインド：ミッドガルの危機にマリンの心配しかしないバレットに憤慨し

ユフィ

Yuffie Kisaragi ユフィ・キサラギ

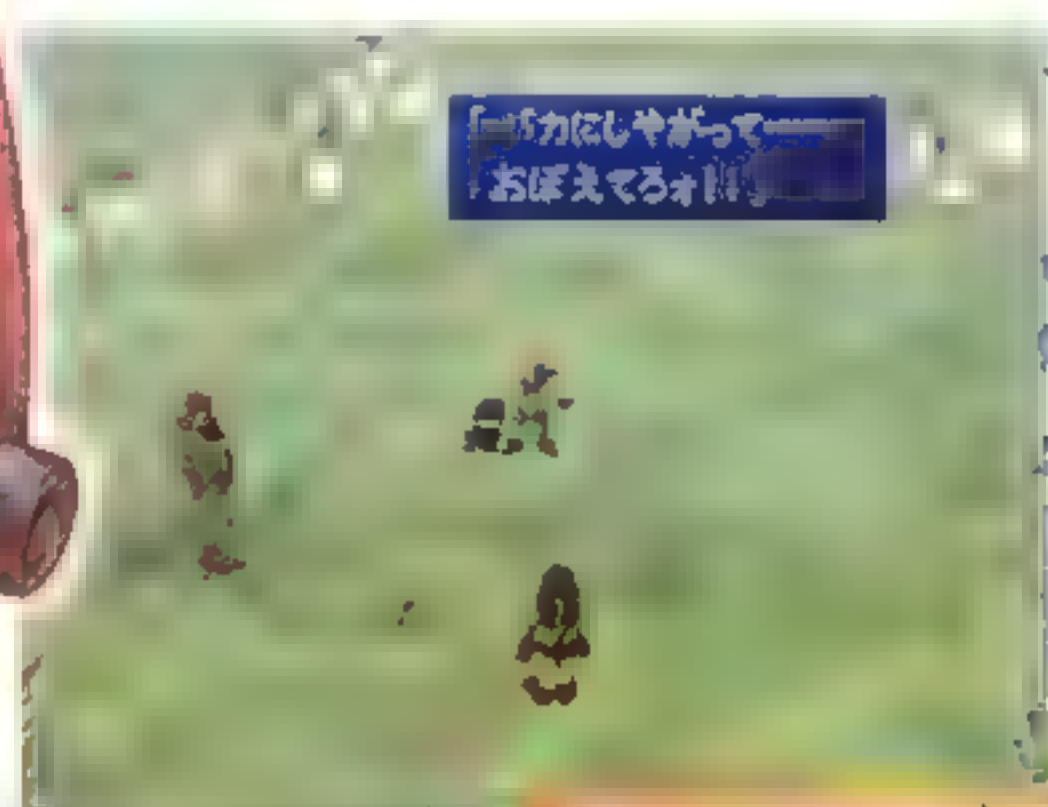
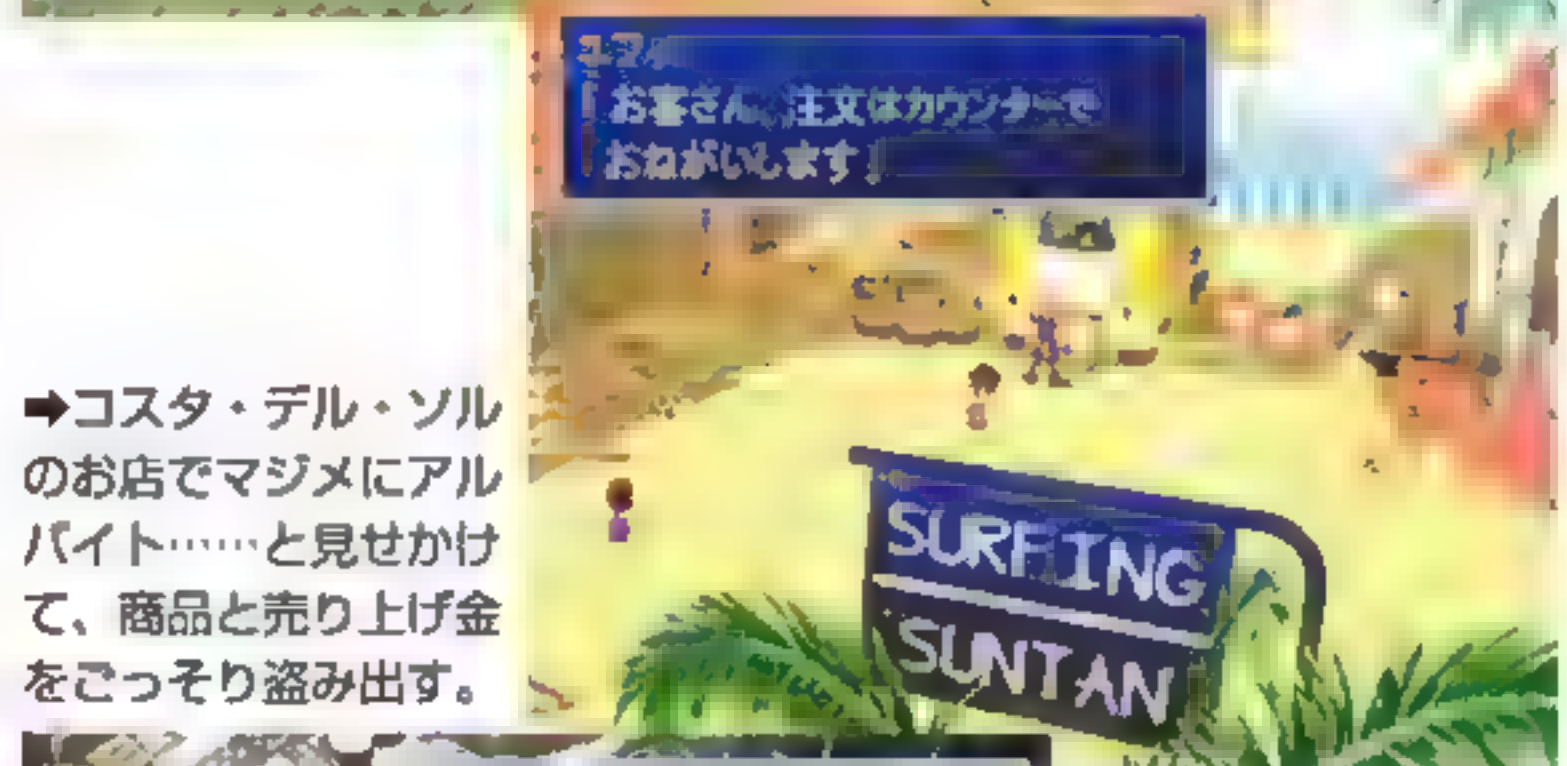
Personal Data

性別	女	誕生日	11／20
年齢	16歳	血液型	A型
身長	160cm	出身地	ウータイ
武器	手裏剣		

ワガママな忍者娘は 故郷を愛するマテリア・ハンター

世界中のマテリアを集めるために旅をしている、ウータイ出身の忍びの末裔。クラウドたちの持つマテリアに目をつけて戦いを仕掛けたのち、「お願いされた」ということにしてなかば無理やり仲間に加わった。

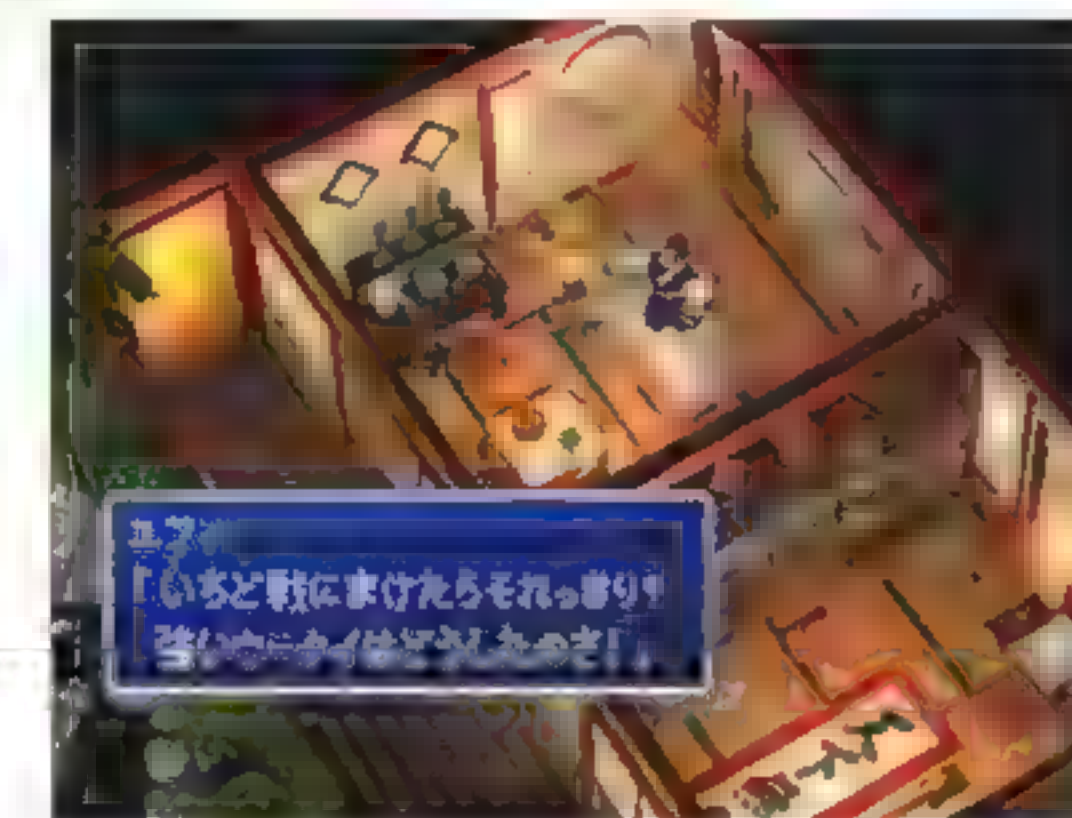
故郷ウータイを訪れたとき、クラウドたちのマテリアを盗んで逃亡するも、さんざんパーティーを引っかきまわしたあげく、ドン・コルネオにつかまったところをクラウドたちに助けられる結果に。その後、心を入れかえたわけではないが、再度マテリアを盗むチャンスをうかがうため、一行とともに旅をつづける。

マテリアをはじめ金品への執着が強く、抜け目のない性格。泣きマネまでしてクラウドたちを手玉に取るなどのズルがしこい一面も。しかし、旅のなかで仲間意識が芽生えていき、最終決戦のさいには星を守る戦いに参加するべく、クラウドたちのもとへ駆けつけた。

⬅つねに優位な立場で話を進めようとする。思いどおりにいかないと怒って逃げ出すあたり、子どもっぽい。

➡コスタ・デル・ソルのお店でマジメにアルバイト……と見せかけて、商品と売り上げ金をごっそり盗み出す。

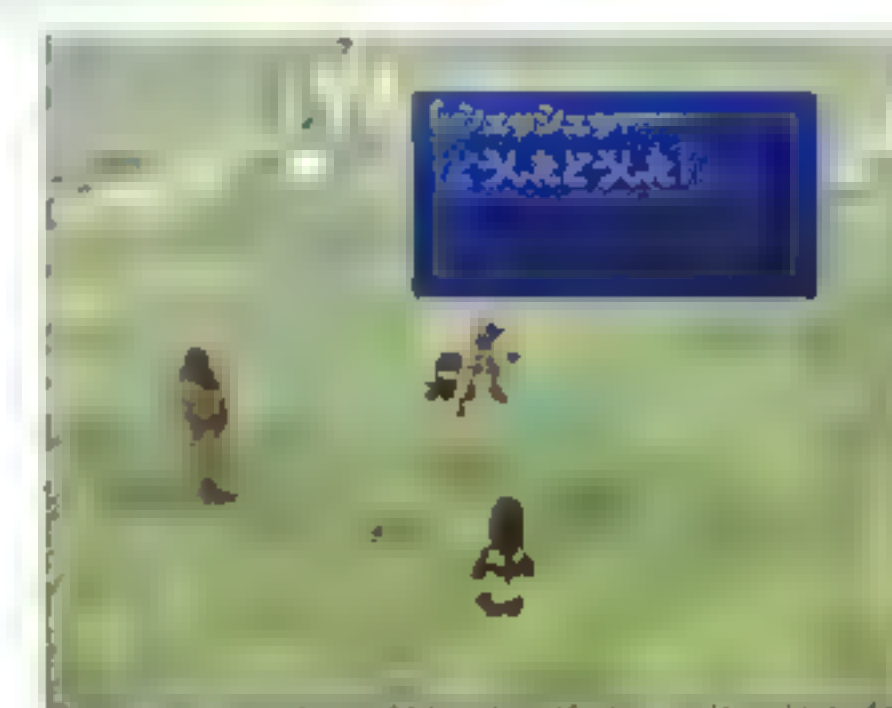
⬅乗り物に酔いやすい体質。運搬船や飛空艇のなかでは、ふだんのさわがしさは影をひそめてしまう。

Topics of Yuffie

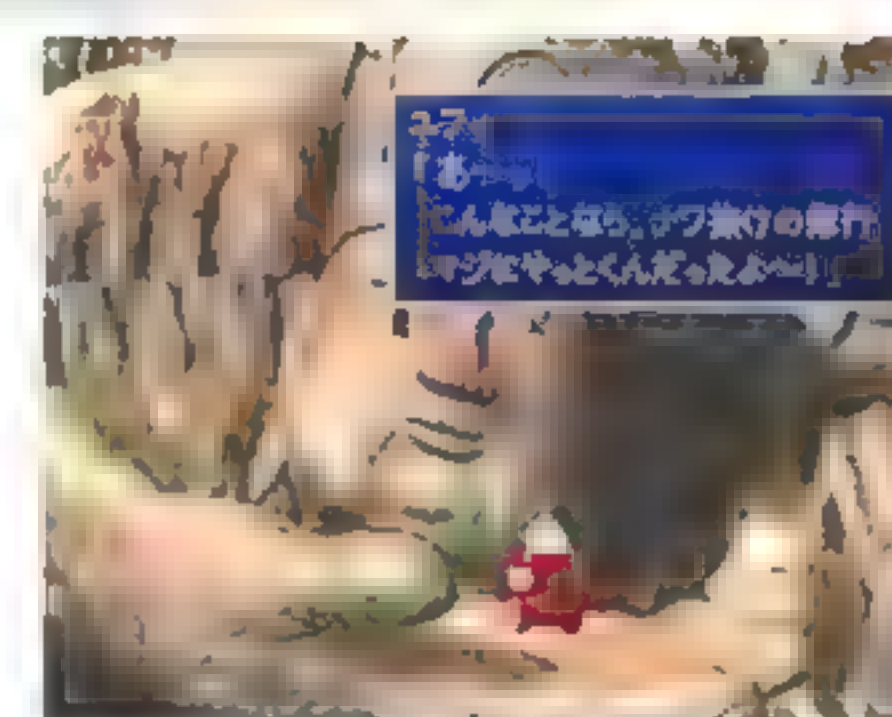
故郷に対する熱い思い

ユフィの故郷ウータイは、かつては栄えた強国だった。しかし、神羅との戦争に敗北してからは、すっかり観光地のようになり、以前のような活気を失ってしまう。この実情に心を痛めたユフィは、祖国が強さを取りもどせば昔のように国が栄えると考え、マテリアを集める旅に出たのだ。わがままで自分勝手な言動が目立つユフィだが、国のためを思って行動する心意気は、16歳の娘にしては立派。

⬆神羅に抵抗しようとしない父親ゴドーの態度に、ユフィはいらだちをつのらせる。

必殺技は『シュシュシュ』

パーティーに加わるさいのやり取りなどで、ことあるごとにパンチをすばやく連打するようなしぐさを見せるユフィ。自分の強さをアピールして相手を威嚇しているつもりなのだろうが、仮に当たったとしても、たいしたダメージはなさそう。むしろ、その動作はどことなくかわいらしい。

⬅腕を振るとき、「シュッシュッ」と口で音を出す。速さを錯覚させようとしている?

見た目はヘンでも一応忍者

奇抜な服装が目をひくユフィだが、由緒正しき忍者の家系に生まれており、巨大な手裏剣を軽々とあつかってみせるなど、忍としての腕前は確か。しかし、いくら素質があるとはいえ、父親に反抗的だったユフィが、幼少期からまともに修行に励んでいたかというと、疑問が残る部分も……?

⬅コルネオにつかまったときには、ナワ抜けの修行をサボっていたことを自白する。

Impressive Words

旅先のさまざまな場面で、持ち前の身勝手さを発揮するユフィ。生意気な小娘といった感じのセリフが多いが、どこか抜けているところもある。

「やい、このツンツン頭! もう1回、もう1回勝負だ!」
――各地の森林：バトル終了後、クラウドたちに再戦を挑もうとして

「知らない知らない! これはアタシとカンケーないって!」
――ウータイ近郊：マテリアを盗もうとしたところで神羅兵と遭遇し、仲間に弁解する

「いちど戦にまけたらそれっきり? 強いウータイはどうしたのさ!」
――ウータイ：寝てばかりいる父ゴドーを非難して

「ハッハッハーッ! そうかんたんに人を信用するなってこと!!」
――ウータイ：盗んだマテリアを返すと言いつつ、クラウドたちをワナにハメて

「あ〜あ〜。『マテリア・ハンター ユフィ』最終回『マテリアよ永遠に……』ってカンジ」
――北の大空洞：分岐点で仲間との別れぎわにつぶやく

ヴィンセント

Vincent Valentine ヴィンセント・ヴァレンタイン

Personal Data

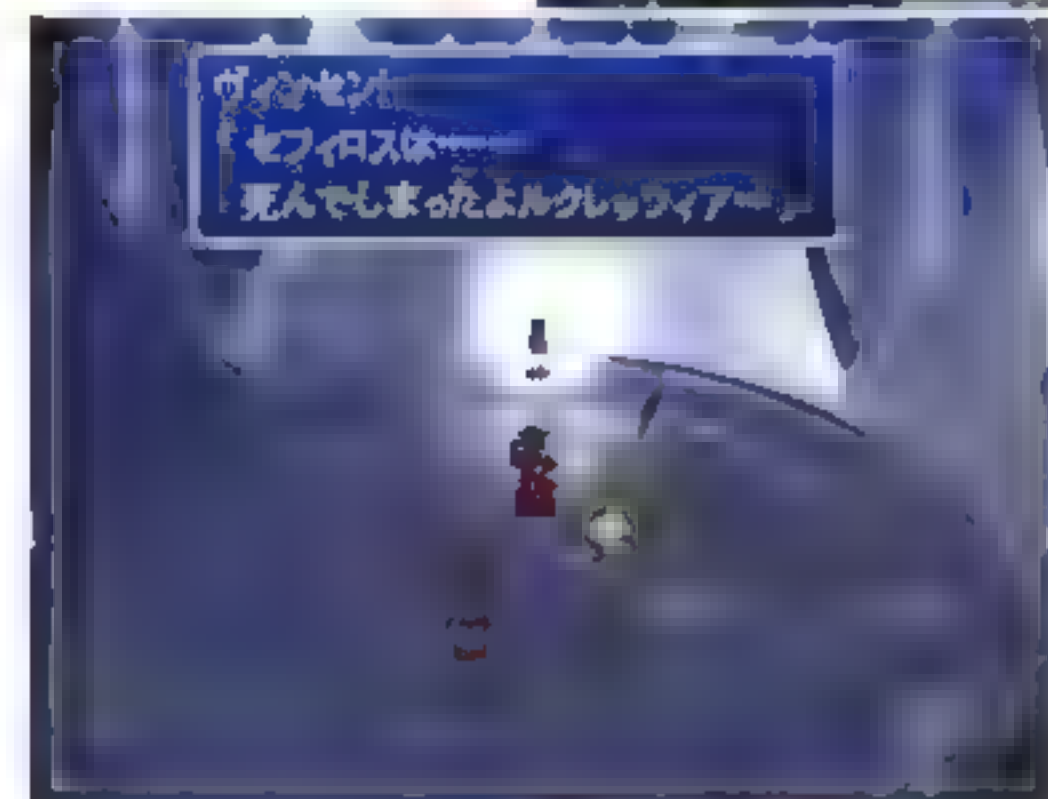
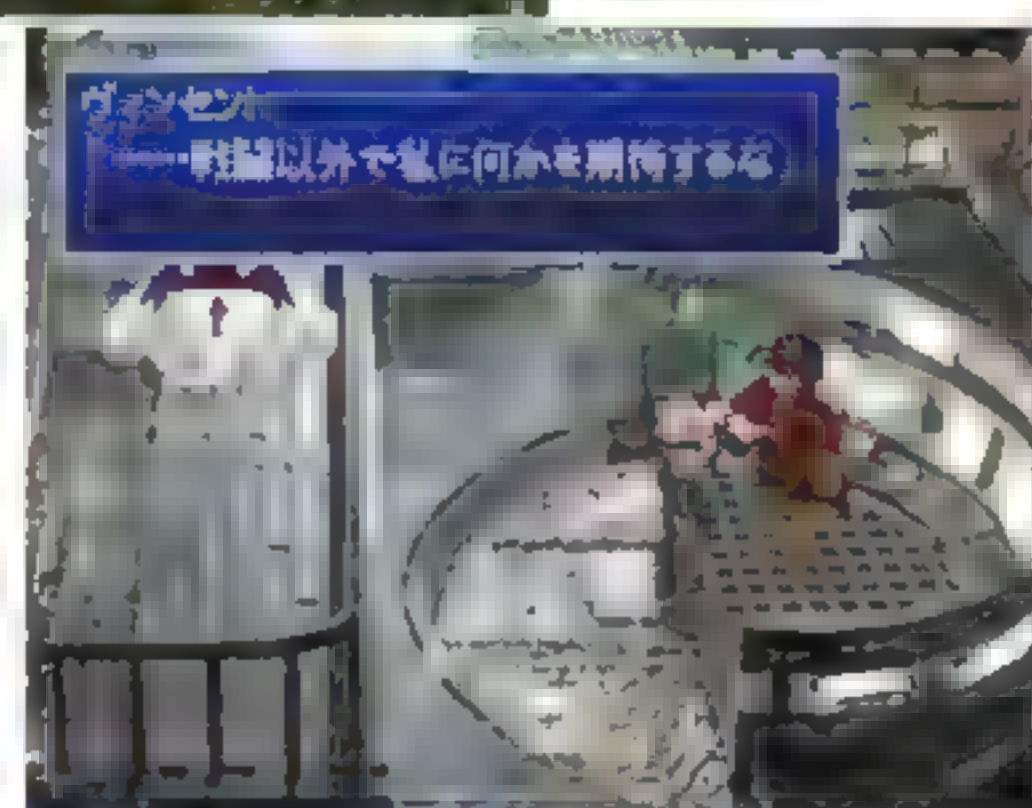
性別	男	誕生日	10／13
年齢	27歳(外見年齢)	血液型	A型
身長	184cm	出身地	?
武器	銃		

悪夢にうなされながら罪の意識に苦しみつづける男

愛した女性ルクレツィアを守れなかったことを己が罪とし、罪悪感にさいなまれながら棺のなかで眠りについていたガンマン。過去に研究員の護衛役として、神羅による古代種再生計画「ジェノバ・プロジェクト」に関わっており、セフィロスの出生について正しく知る数少ない人物でもある。宝条に人体改造手術をほどこされた結果、不老の身体と魔獣への変身能力を持つようになってしまった。クラウドたちが神羅屋敷を訪れたとき、一行がセフィロスを追っていることを知り、同行を申し出てパーティーに加入する。

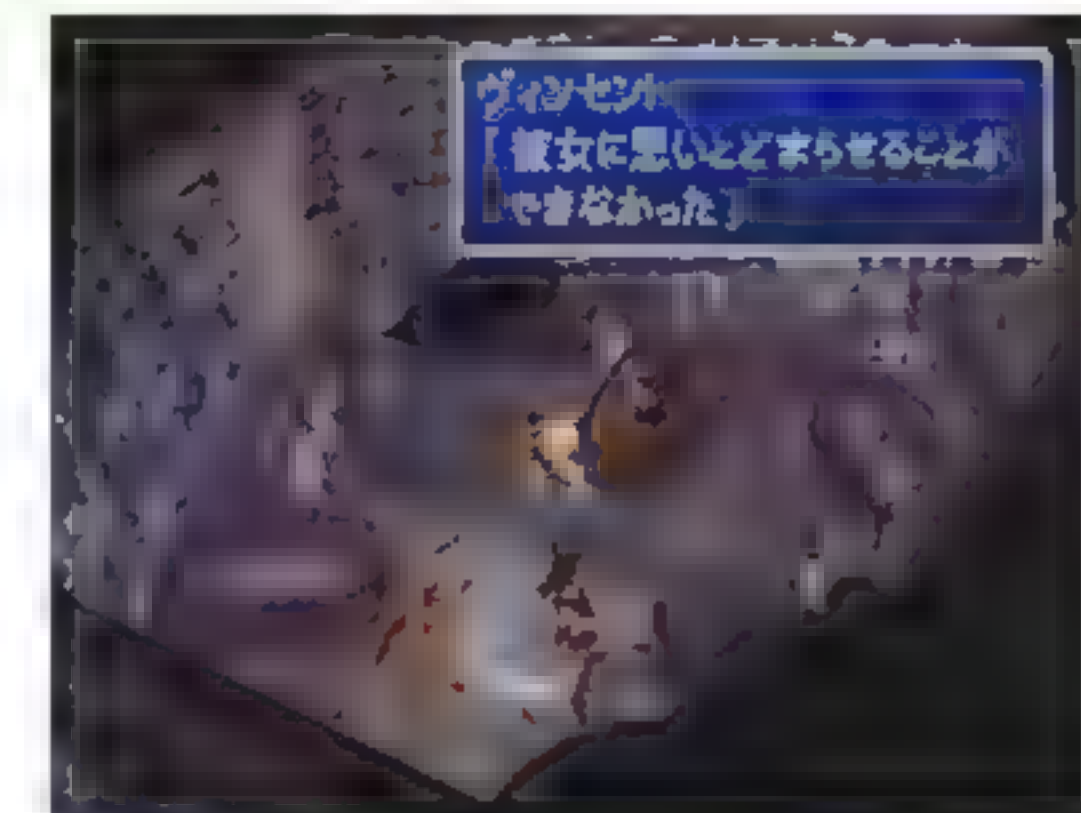
口数が少なく、一見さめた性格のようだが、実際は心優しく繊細な性格。クラウドたちとの出会いを機に、過去を振り返ってばかりの日々に別れを告げ、ふたたび前へと歩みはじめていく。

←かつては神羅の精鋭部隊「タークス」の一員として活躍。派遣先のニブルヘイムで悲劇に見舞われることに。

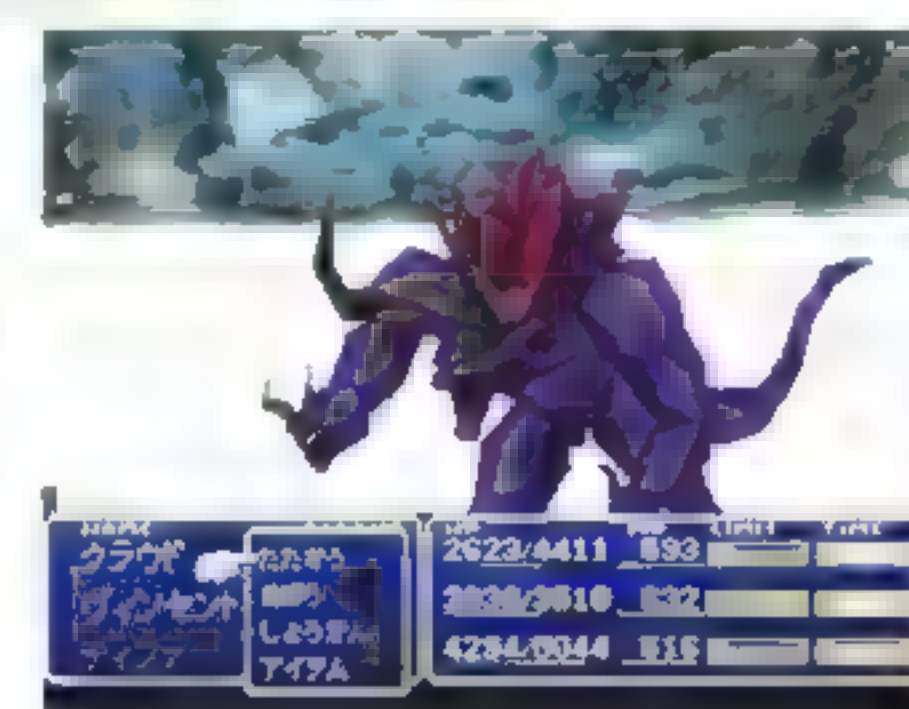
→他人と距離を置きがちなヴィンセント。愛した人を不幸にしてしまったという思いが、彼にそうさせている。

←再会したルクレツィアに「セフィロスは死んだ」と、ウソの報告をするのも、ヴィンセントの優しさゆえ。

Topics of Vincent

ルクレツィアにまつわる悲劇

タークス時代のヴィンセントが想いを寄せていたのが、神羅の科学者であるルクレツィア。しかし、彼女はヴィンセントの求婚を断り、宝条との子を身ごもる。その後、ルクレツィアはジェノバ・プロジェクトの被験者として自身と胎児を提供し、実験の結果、心身に異常をきたしてしまう。彼女を強引にでも止めておくべきだったという後悔から、ヴィンセントは自責の念を抱くようになったのだ。

↑客観的に見ればヴィンセントに落ち度はないが、優しすぎるがゆえ罪の意識にとらわれる。

魔獣の因子を秘めた身体

宝条の人体実験によって、体内に魔獣の因子を埋めこまれたヴィンセント。変身すると、端麗な容姿からは想像もつかない異形の魔獣となり、自身の意志に関係なく、目の前の敵に攻撃を仕掛けてしまう。このような、人間からかけ離れた身体も、ヴィンセントは自身への罰として受け入れている。

←本能のままに敵を倒す殺戮マシーンと化す。相手を全滅させるまで攻撃の手は止まらない。

元タークスはダテじゃない

過去に重要な研究チームの護衛をまかされていただけあって、ヴィンセントの戦闘能力は現役のタークスにもおとらぬほど高い。なかでも銃の腕前は卓越しており、長いあいだ寝ていた人間のワザとは思えぬほど。一方、潜水艦を奪うときには、機械のあつかいが苦手という、意外な弱点を露呈する。

←特殊精鋭部隊出身のわりに機械に弱いのは、20年以上前にはなかったものだから？

Impressive Words

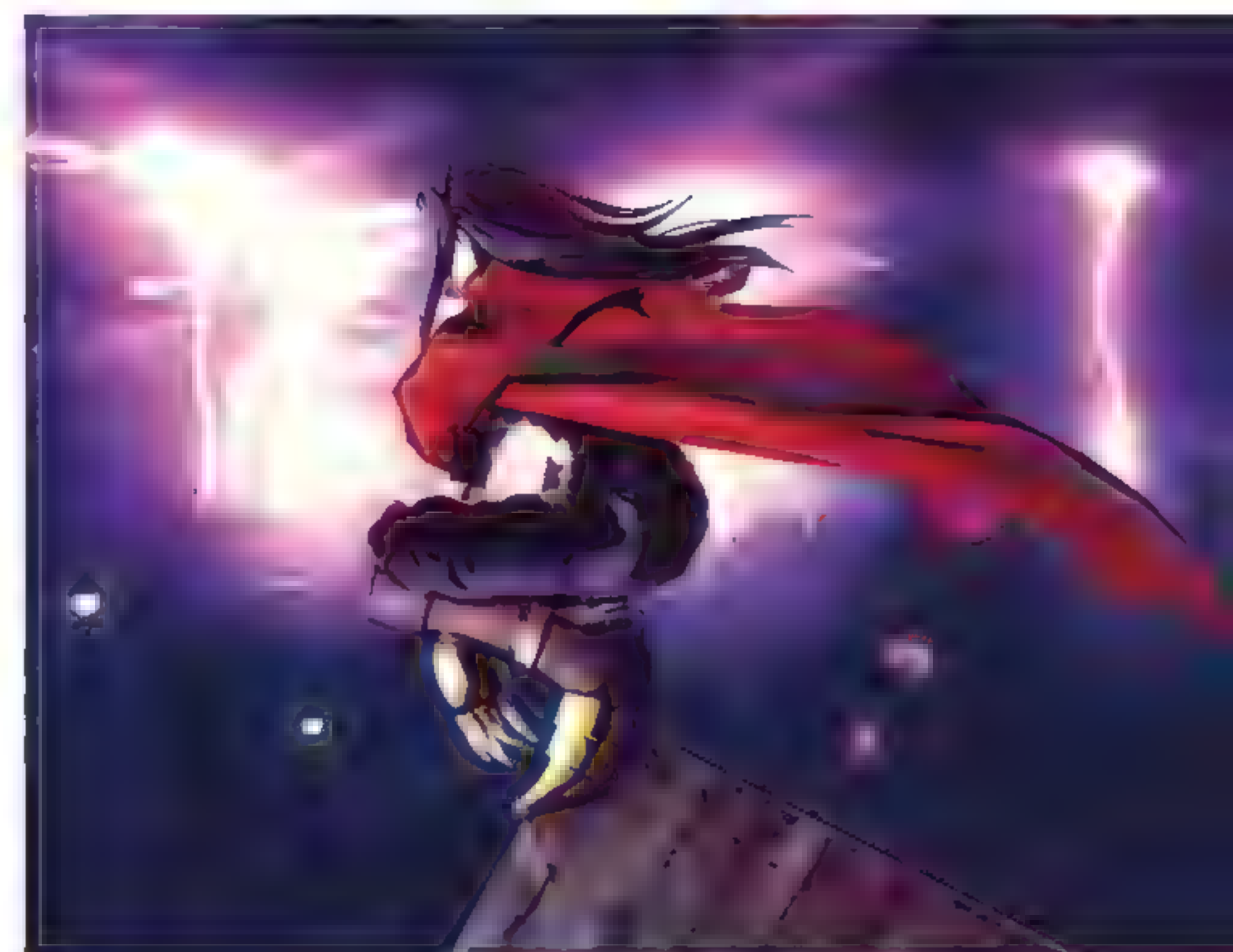
淡々とした口調からは、過去の出来事に対する後悔の念が感じられる。他人を責めることができず、つねに自分自身を追いつめてしまう、不器用な性格なのだ。

「悪夢にうなされる長き眠りこそ私に与えられたつぐないの時間」
――神羅屋敷地下：自分を悪夢から呼び起こしたクラウドたちに向かって

「彼女が、幸せなら私は…かまわない…」
――ヴィンセントの回想：宝条とルクレツィアが抱き合うのを見て

「見ていることしか出来なかった……それが、私の罪……」
――ルクレツィアのほこら：過去を回想し終えて

「眠るべきだったのは……きさまだ、宝条……!」
――魔晄キャノン：妻子をも科学的好奇心の対象としか見ていない宝条に怒りをあらわにして

「あの時に凍りついた私の時間が、今ふたたび動きはじめる……!
セフィロス、今度はおまえが時のはざまで眠りにつく番だ!!」
――星の体内：セフィロスとの最終決戦に闘志を燃やす

シド

Cid Highwind

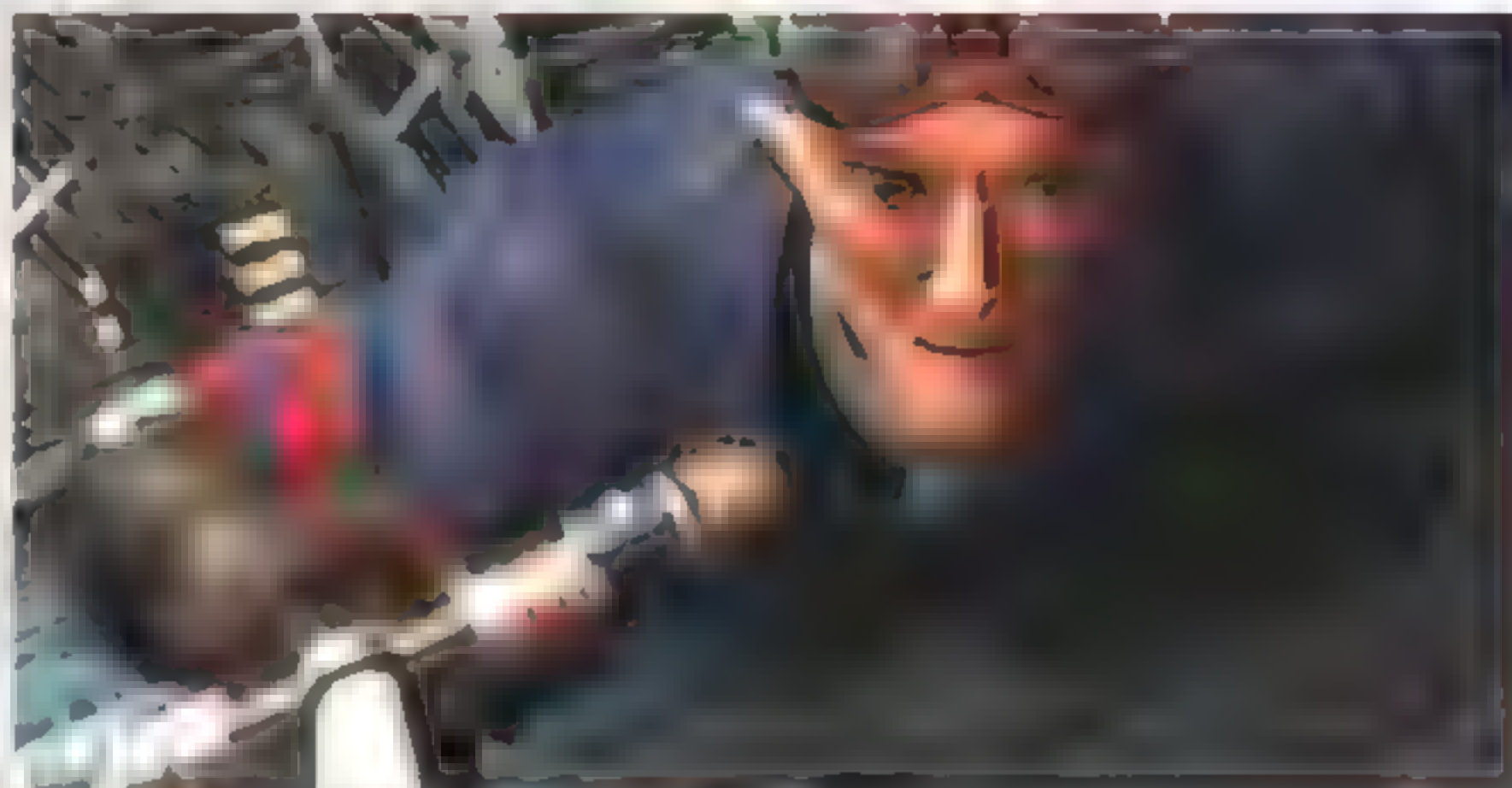
Personal Data

性別	男	誕生日	2／22
年齢	32歳	血液型	B型
身長	178cm	出身地	ロケット村
武器	槍		

宇宙への夢を追いつづける男気あふれるナイスミドル

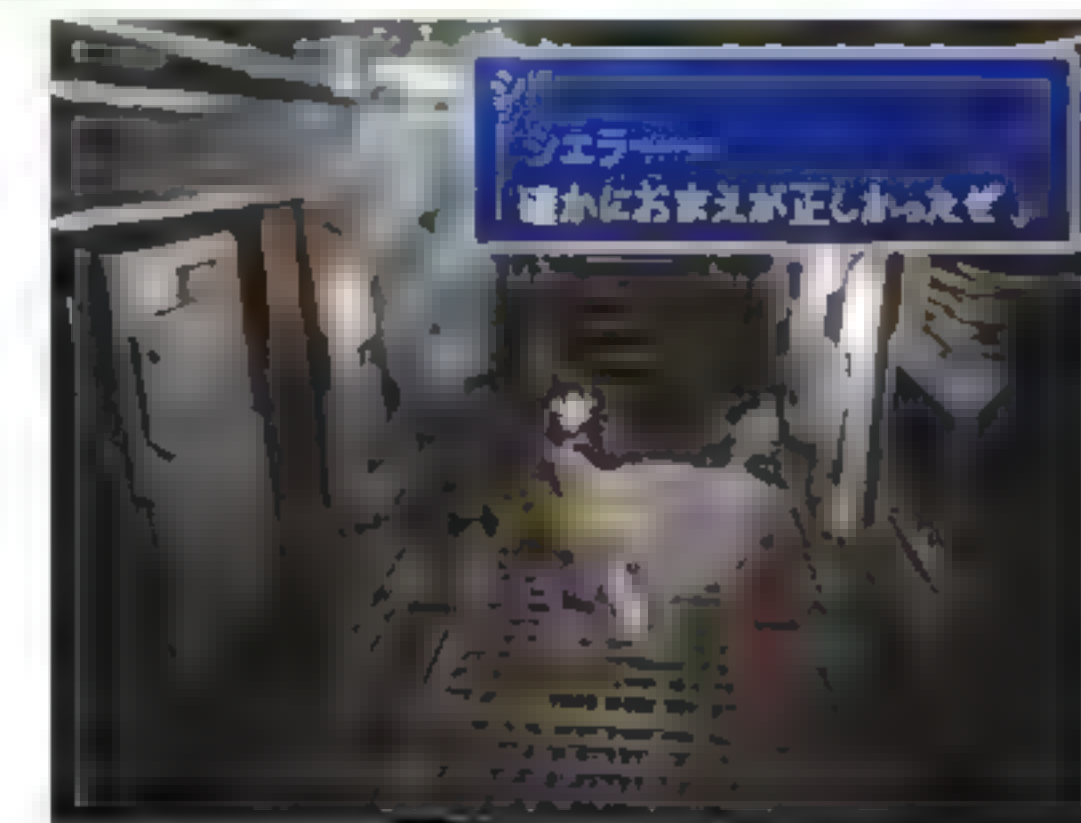
神羅カンパニー宇宙開発部門所属のパイロット。そのすぐれた操縦技術を買われ、史上初の宇宙飛行士となる予定だった。しかし、宇宙ロケット「神羅26号」の打ち上げが失敗に終わり、神羅が宇宙開発に見切りをつけてからは満たされない日々を送ることに。そんな折、クラウドたちと出会い、神羅と敵対する彼らに興味を抱いて仲間に加わる。

一途に夢を追う純粋さや、熱くなったときの行動力など、性格や言動には少年のような部分を残す。リーダーシップに秀でており、クラウドが戦線を離脱したさいには一行のまとめ役として奮闘。物語終盤では、神羅のメテオ破壊作戦に便乗して、長年の夢だった宇宙への飛行を果たす。宇宙から自分たちの星をながめ、星を守るために戦う決意を新たにした。

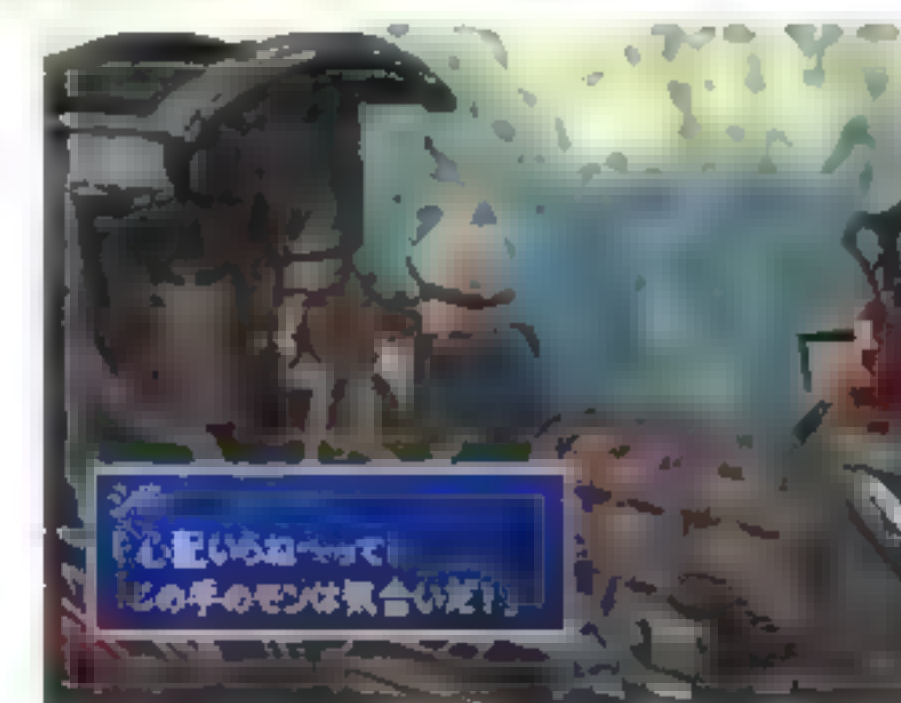
⬆おなかを前に突き出し、背をそらして走るシド。その独特のフォームは、どことなくユニーク。

⬅シドといえばタバコ。バトルに勝ったときに一服するほか、バトル中もダイナマイトの着火に使用する。

Topics of Cid

シエラに対する複雑な感情

過去にシドがパイロットを務めた神羅26号は、結果として打ち上げに失敗してしまったが、その一因がメカニックのひとりであるシエラの仕事の遅さだった。打ち上げ直前までエンジン部に残っていた彼女の命を救うため、シドはみずからロケットを緊急停止させたのだ。この一件を境に、シドは自分の夢を壊されたことに対するいらだちから、シエラに対して何かとつらく当たるようになってしまった。

⬆物語後半、実際に宇宙に出たときに彼女の正しさを知ることになり、以降は態度を改める。

ハートで引っ張る熱血リーダー

クラウドとティファがパーティーから離脱したとき、かわりにリーダーとなったシドは、その直後に神羅とのヒュージマテリア争奪戦をくり広げることになる。就任して早々、負けられない大一番にのぞむが、これを見事に乗り切ってみせ、リーダー代理としての務めを立派に果たした。

⬅リーダー就任前は面倒なことはイヤだと言っていたが、多くの難局を気合いで切り抜ける。

宇宙への夢を追いつづけて

シドにとって、宇宙へ飛び立つことは長年の夢だ。物語の終盤、ヒュージマテリアを使う神羅の作戦を阻止すべく戦っていたにもかかわらず、作戦がロケットを宇宙に飛ばすものだと知るやいなや、態度が急変。「科学の力に賭けてみたい」などと言い、みずから計画を後押ししてしまう。

⬅宇宙へ飛び立つ千載一遇の機会を逃すまいと、クラウドたちの言葉にも耳を貸さなかった。

Impressive Words

あまり考えないでテンポにまかせてしゃべるタイプ。口調は荒く、品のない発言も多いが、ロマンチストな一面もあり、ときにその言葉が仲間の胸を打つ。

「おもしろそうじゃねえか！　オレ様も仲間に入れろ！」
——タイニー・ブロンコ：神羅と戦うクラウドたちに興味を示して

「へ……星を救う船か。……ちょっと熱いじゃねえか。今のはハートにズンと来たぜ。オレ様も男だ！　やったろうじゃねえか！」
——飛空艇ハイウインド：バレットからリーダーを依頼され

「オレ様を誰だと思ってんだ？　天下のシド様だぜ！」
——コレル魔晄炉：ヒュージマテリアを運ぶ神羅軍を自信ありげに追う

「この星は子供みてえなもんだ。でっけえ宇宙の中で病気になっちまって震えてる子供みてえなもんだぜ。誰かが守ってやらなくちゃならねえ」
——飛空艇ハイウインド：宇宙から帰還し、仲間たちに星を救おうと呼びかけて

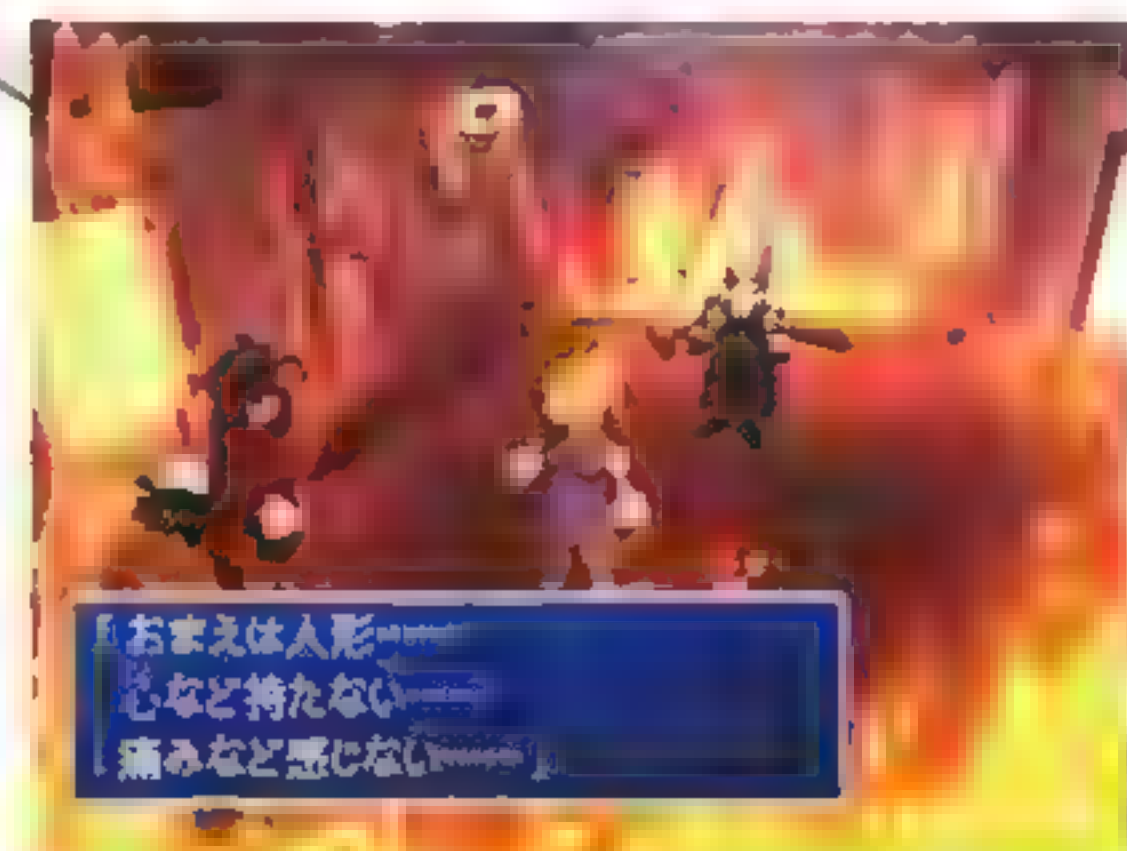
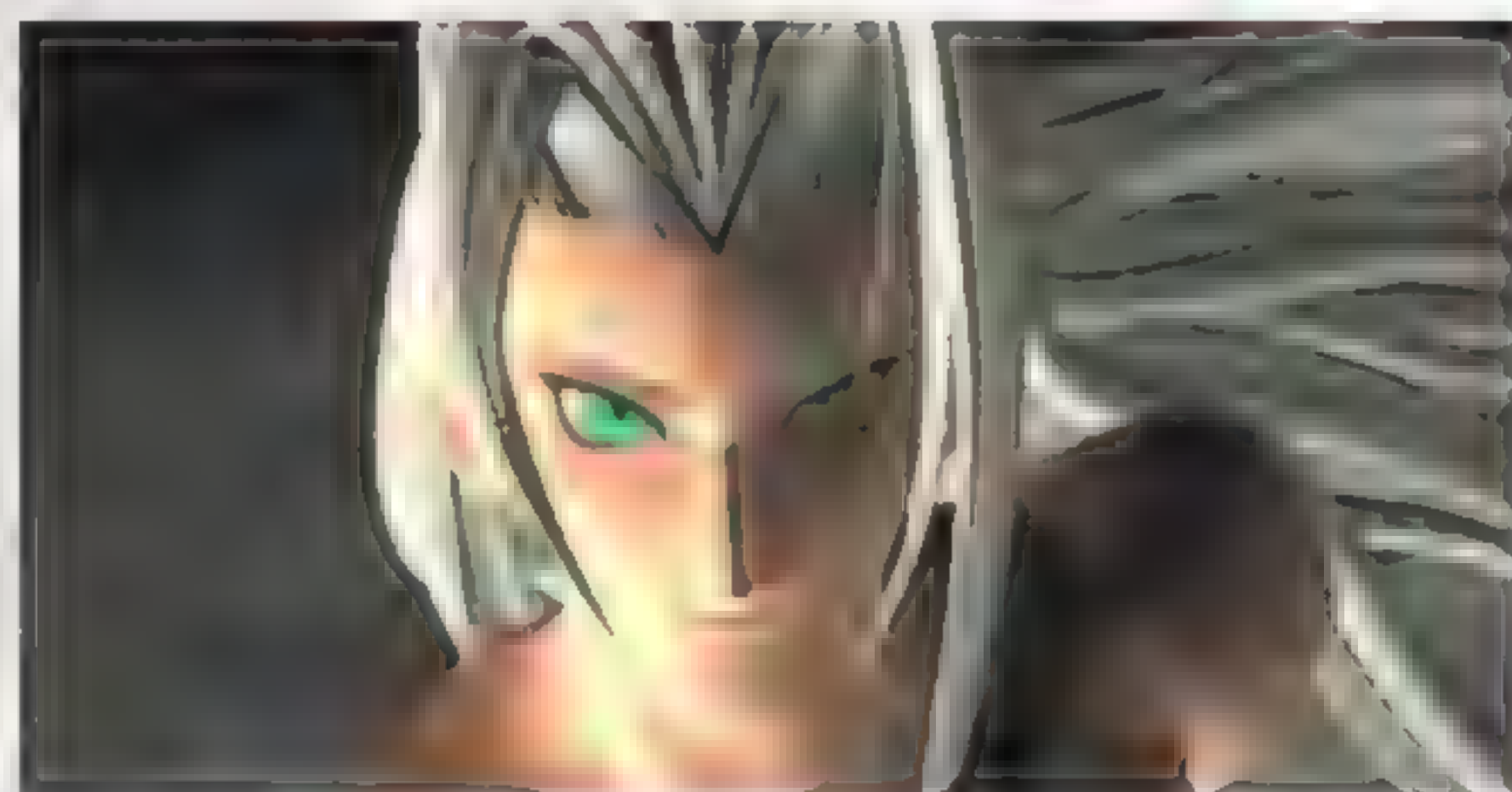
セフィロス
Sephiroth

Personal Data

性別	男	誕生日	?
年齢	20代	血液型	?
身長	?	出身地	ニブルヘイム
武器	正宗		

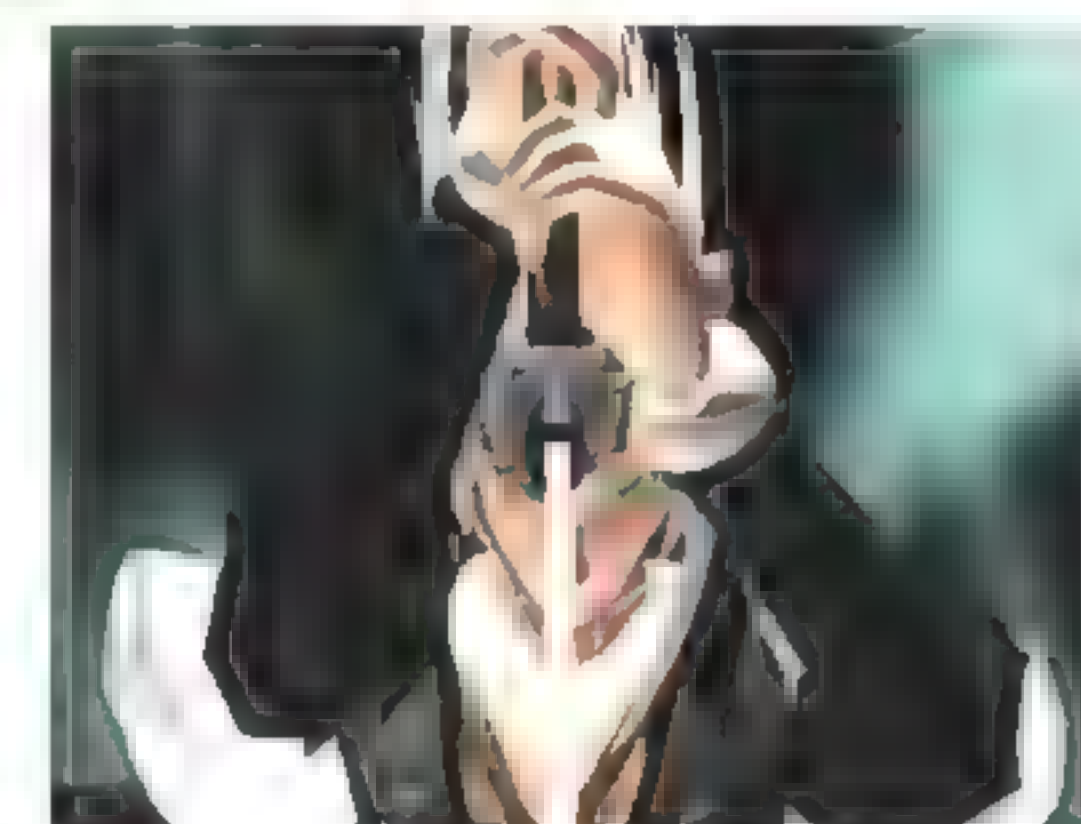
ジェノバの代行者と化した白銀の英雄

かつて英雄として名をはせた伝説のソルジャー。自身がジェノバ・プロジェクトによって人工的に生み出された存在であることを知り、神羅、そして人類に対して憎しみを抱くようになった。ニブルヘイムを焼き払い村人を惨殺した張本人であり、クラウドとティファにとっては、故郷や家族を奪った許しがたい相手。

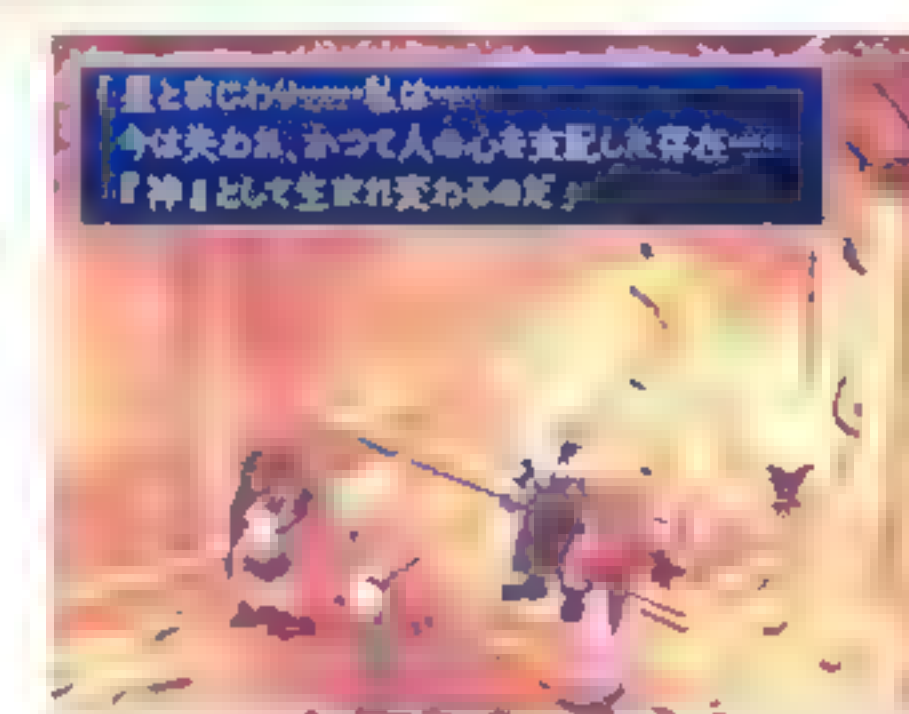
5年前、ニブルヘイムで魔晄炉から転落して絶命するも、強い意志により星へ還ることをこばみ、星の命とも言える精神エネルギーの流れ「ライフストリーム」から多くの知識を獲得。神羅ビルに保管されていたジェノバを己の分身としてあやつり、北の大空洞へと向かわせた。同時にクラウドをはじめとする各地のセフィロス・コピーに呼びかけ、究極の破壊魔法メテオを発動させようともくろむ。

⬆言葉たくみにクラウドを幻惑。彼を人形のように意のままに動かしてメテオを発動させる。

⬅各地のセフィロス・コピーをあやつるかたわら、北の大空洞で自身の肉体を少しずつ再生させていた。

Topics of Sephiroth

母の野望を果たすために

セフィロスが「母」と教えられていたジェノバとは、約2000年前に宇宙からやってきた生命体のこと。ジェノバは「空から来た厄災」と称され、かつて星に住むすべての存在を滅ぼそうとしたものの、わずかに生き延びた古代種によって封印された。セフィロスが星を破滅へと導こうとするのは、母の意志を継ぎ、ジェノバがかつて果たせなかった野望――星そのものの支配を達成するためだ。

⬆セフィロスは古代種の末裔エアリスが野望達成の障害になると判断し、彼女を手にかける。

各地のセフィロスの正体

クラウドたちは旅の途中、何度かセフィロスと対峙するが、このときの相手はじつはセフィロスではなく、神羅ビルから逃げ出したジェノバがセフィロスの姿に擬態したもの。本物のセフィロスは北の大空洞で長い眠りについており、物語終盤にようやく目覚め、クラウドたちと戦うことになる。

⬅セフィロスの思想は、彼に擬態しているジェノバの口からクラウドたちに語られていく。

人間らしかった5年前

狂気にとりつかれる前のセフィロスは、落ち着き払った頼れる先輩といった雰囲気。5年前のニブルヘイム魔晄炉調査のさいは、浮かれるザックスをたしなめたり、一兵卒に過ぎないクラウドにも故郷ということで気を利かせたりなど、クールな人柄のなかにも面倒見の良さが感じられた。

⬅出生の秘密を知るまでは、セフィロスもふつうの人間として生きていたのだ。

Impressive Words

5年前の出来事を境に、性格が一変。一人称も「オレ」から「私」へと変わり、狂気を感じさせる発言が多くなる。クラウドをまどわせるセリフも印象深い。

「ひさしぶりの故郷なんだろ？　どんな気分がするものなんだ？
オレには故郷がないからわからないんだ……」
――クラウドの回想(5年前)：帰郷した感想をクラウドに尋ねて

「オレは選ばれし者。この星の支配者として選ばれし存在だ」
――クラウドの回想(5年前)：自分は古代種だと語って

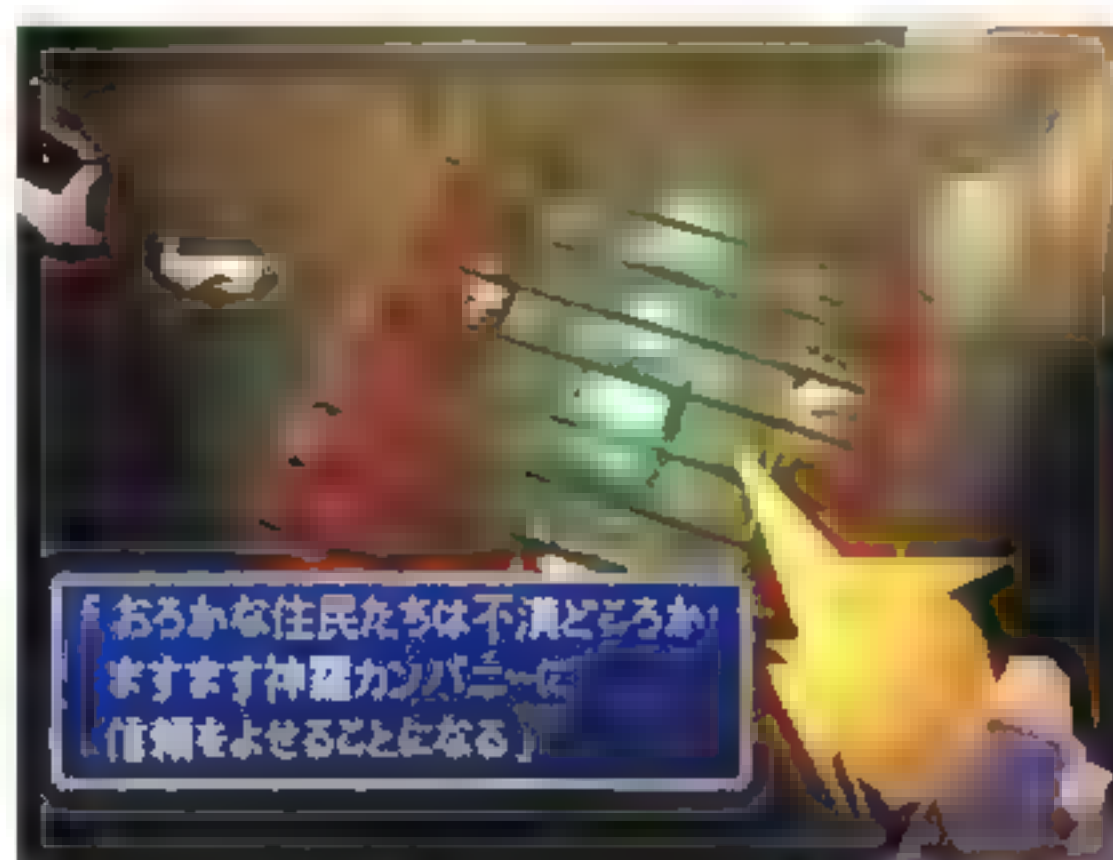
「クックックッ……悲しむふりはやめろ。怒りにふるえる演技も必要ない」
「なぜなら、お前は……人形だ」
――忘らるる都：エアリスとの別れを悲しむクラウドに対して

「考えろ、クラウド。……クラウド？
クックックッ……これは失礼。おまえには名前などなかったな」
――竜巻の迷宮：クラウドがセフィロス・コピーのひとりだと明かして

プレジデント神羅 President Shinra

登場場所 ミッドガル

世界を牛耳る巨大企業のトップ

魔晄エネルギーを管理する神羅カンパニーの社長。神羅の利益をさまたげるものはどんな手段を使ってでも排除する冷酷さを持つ。古代種の伝承にある「約束の地」に豊富な魔晄エネルギーがあると推測し、そこに新たな都市を築く野望を抱いていた。しかし、セフィロスに擬態したジェノバに刺され、志なかばで絶命する。

↑表向きは住民のことを考えているように見せかけつつ、社内では人々を愚民呼ばわりしている。

Impressive Words

「そうだな。キミたちウジ虫を始末するには高価すぎる花火ではあるが……」
——伍番魔晄炉：魔晄炉爆破をもくろんだアバランチをワナにハメて

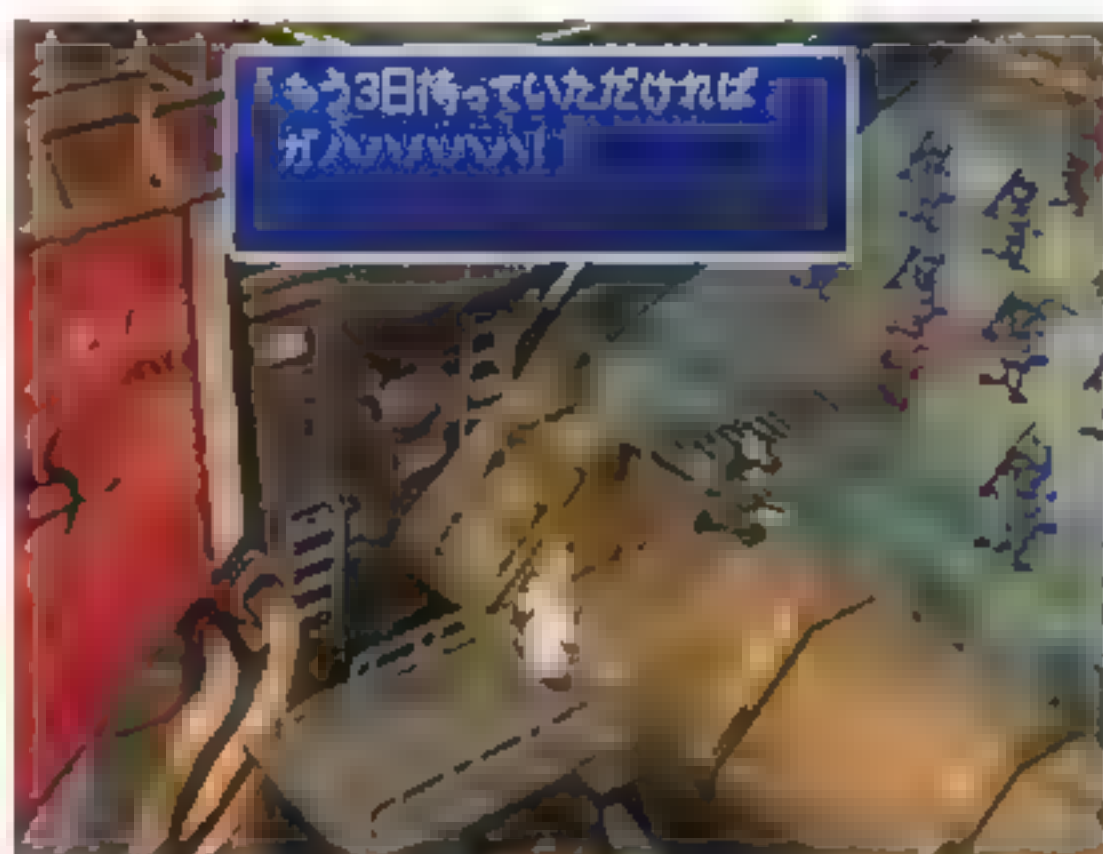
「7番街を破壊する。アバランチの仕業として報道する。
神羅カンパニーによる救助活動。フフフ……かんぺきだ」
——神羅ビル：アバランチをつぶす計画を立てながら

「おやおや、知らないのか？　最近では金と力さえあれば夢はかなうのだ」
——神羅ビル：自身の計画をバレットたちに語り

ハイデッカー Heidegger

登場場所 ミッドガル、ジュノンほか

人望のない腰巾着

神羅カンパニーの治安維持部門統括。目下の者への暴行でストレスを晴らすため、部下からの信頼は非常に薄い。プレジデント神羅にこびて無能さをごまかしていたが、社長交代後は能力のなさをルーファウスに見透かされ、無下なあつかいを受けることに。その原因がクラウドたちにあるとして、一方的にうらみをつのらせる。

↑ことあるごとに「ガハハハ」と品のない笑いかたをするのも、人から嫌われる理由のひとつ。

Impressive Words

「ガハハハハ！　テロリストどもから7番街の市民を救ったのは神羅カンパニーですからな！」
——神羅ビル：ねじ曲げた報道で住民の支持を得たプレジデントに追従して

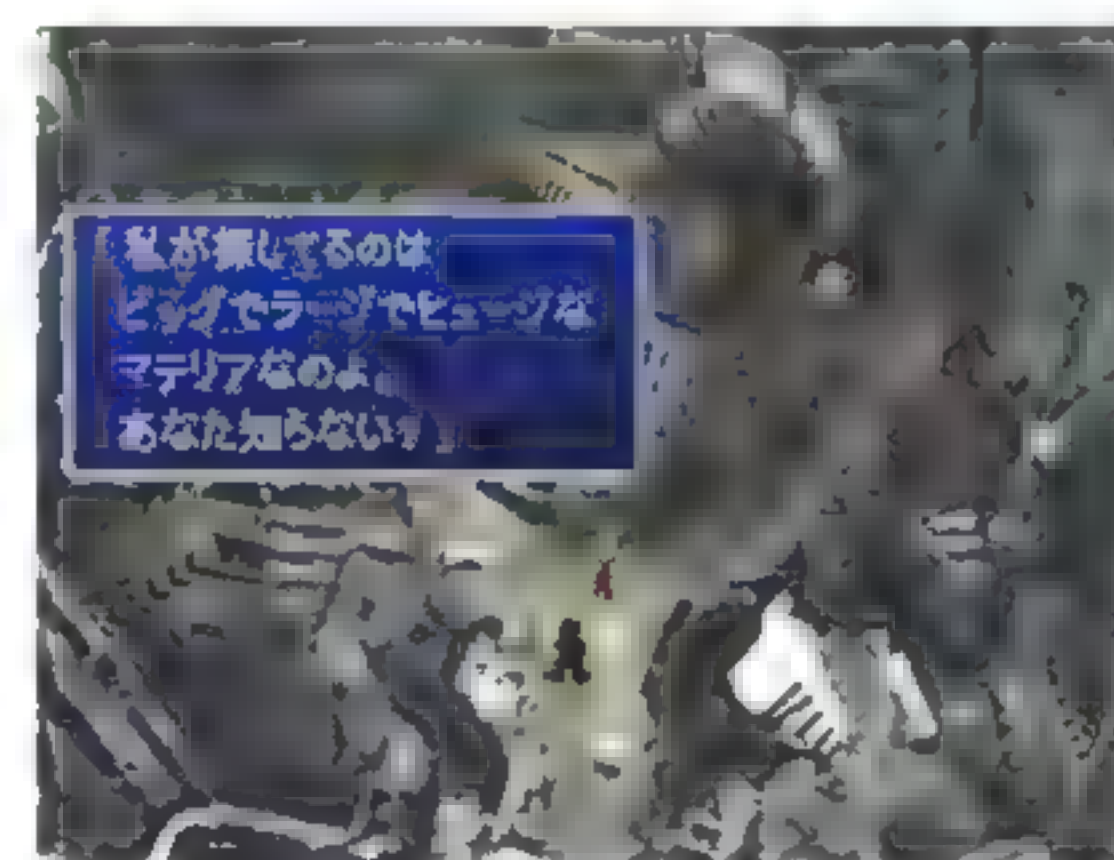
「めんぼくない……です」
——コスタ・デル・ソル：セフィロスとクラウドの両方を取り逃がした責任をルーファウスに追及されて

「社長は死んだ！　オレはオレのやりかたでやる！　ガハハハハハ！」
——神羅ビル：社長室がダイヤウェポンの攻撃を受けたと知り

スカーレット Scarlet

登場場所 ミッドガル、ゴンガガほか

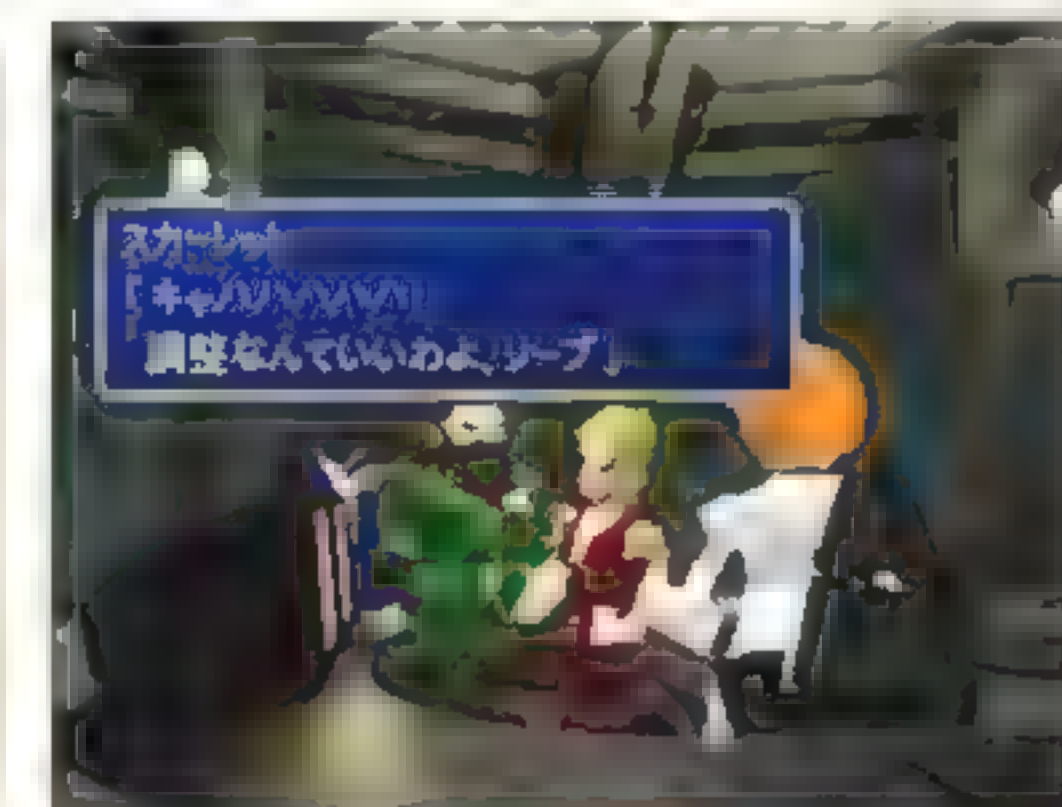
才知に長ける冷血な女性

重役のなかでは唯一の女性である、神羅カンパニーの兵器開発部門統括。平気で人命をもてあそぶ残忍な性格で、コレル村を焼き払い、罪もない人々を惨殺した過去を持つ。物語終盤では、自身が開発した対ウェポン用兵器プラウド・クラッドに乗り、クラウドたちの前に立ちはだかった。「キャハハ」という耳ざわりな高笑いが特徴。

↑ヒュージマテリアの軍事利用にいち早く目をつけるなど、兵器開発者としての能力は確かだ。

Impressive Words

「キャハハハハハ!!　下手な鉄砲はいくら撃ってもあたんないんだよ!!」
——バレットの回想：射撃の腕が悪い神羅兵をののしるように

「ガス処刑は無理だったけど、ここから落ちて水面にたたきつけられて死ぬってのも
ス・テ・キ、かもしれないわね」
——ジュノン：処刑室から逃げ出したティファを砲台の先端に追いつめて

「魔晄キャノンなんて呼ばないで。この新兵器の名前は……シスター・レイよっ!」
——神羅ビル：北の大空洞のバリアを破る新兵器の性能を自慢げに語って

宝条 Hojo

登場場所 ミッドガル、コスタ・デル・ソルほか

人の道をはずれた狂気の科学者

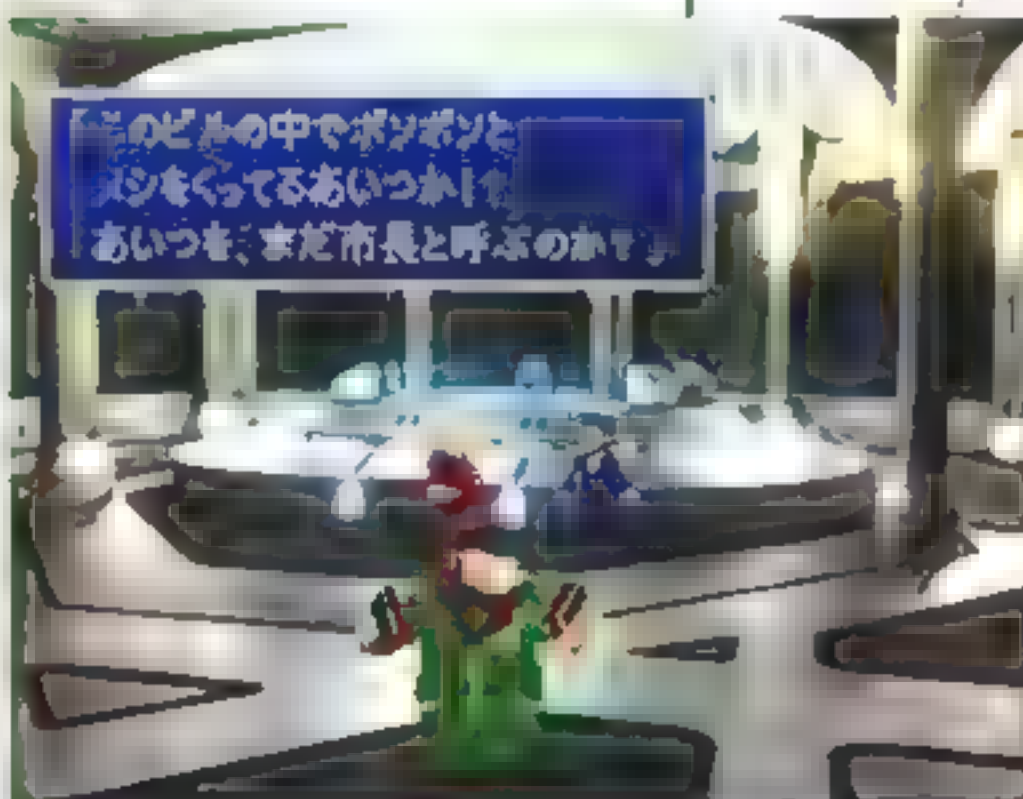
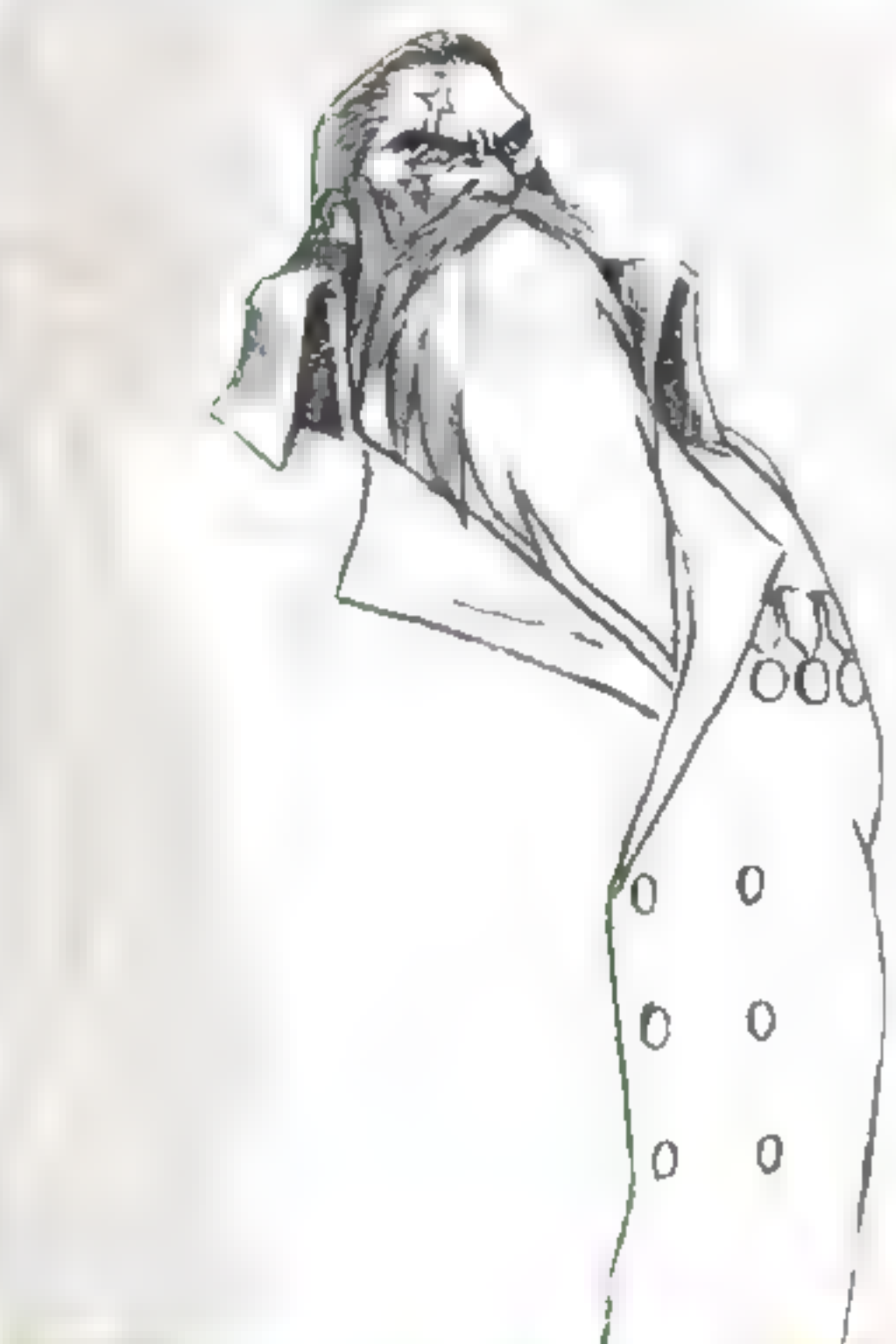
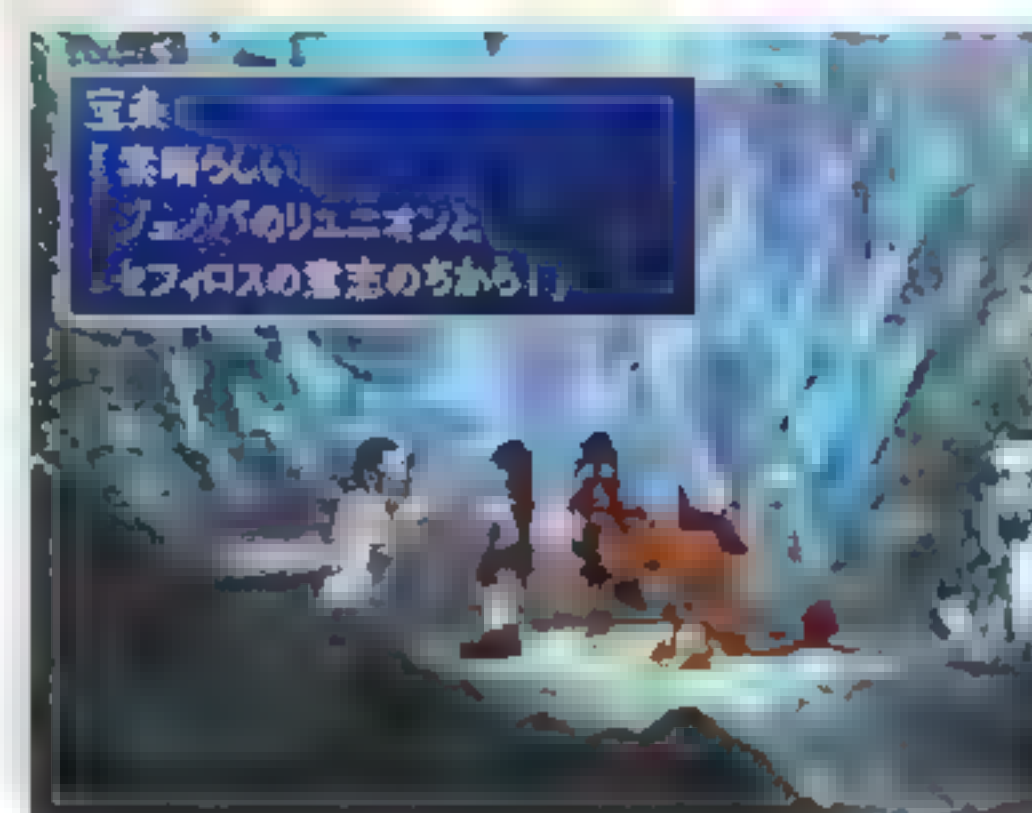
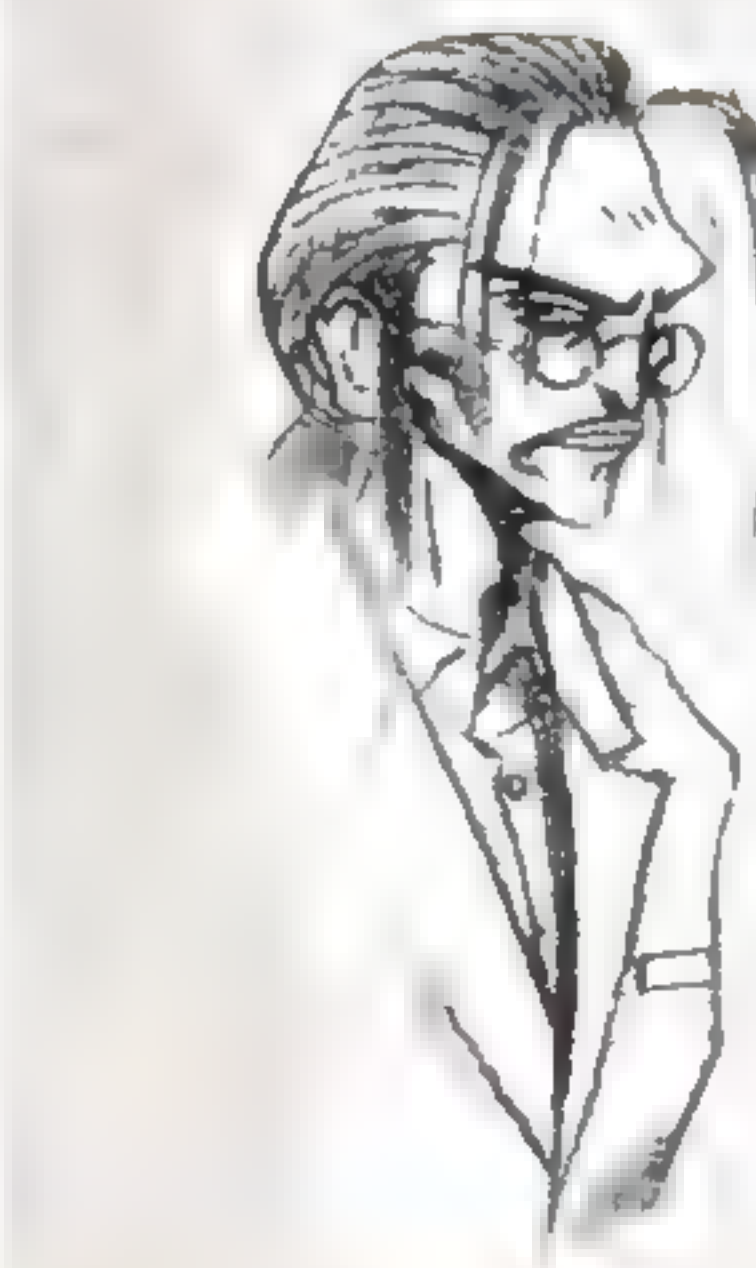
己の好奇心に従ってひたすら実験をくり返す、神羅カンパニーの科学部門統括。人工的に古代種を生み出す研究である「ジェノバ・プロジェクト」に参加し、責任者のガストが失踪したのちは、彼の後任を務めた。そのほか、自身の仮説にもとづいた「セフィロス・コピー実験」を独断で行ない、その経過を観察している。

↑自身を天才と称しながら、科学的センスに欠けるとの自覚も持ち、ガストへの劣等感を抱く。

Impressive Words

「滅びゆく種族に愛の手を……どちらも絶滅まぢかだ」
——神羅ビル：エアリスとレッドXIIIを交配させようとして

「クックックッ……素晴らしい……。私の実験がパーフェクトに成功したわけだな」
——北の大空洞：セフィロス・コピーとして動いたクラウドを満足そうに見て

「セフィロスのやつ私が父親だと知ったらどう思うかな。
あいつは私のことを見下していたからな。クァックァックァッ!!」
——魔晄キャノン：クラウドたちに自分がセフィロスの父親であることを明かし

パルマー

Palmer

登場場所 ミッドガル、ロケット村

挙動不審なふとっちょ男

神羅カンパニーにおいて、長らく事業が凍結している宇宙開発部門の統括。「うひょ」という奇妙なログセと幼稚な言動のせいか、幹部内でのあつかいもひどく、まるで相手にされていない。プレジデントが刺殺された現場に居合わせたが逃げのびたり、トラックに跳ねられても生きのびたりと、悪運の強さだけは人一倍。

⬆トラックに跳ねられても無事だったのは、不健康な食生活による肥満体型のおかげ？

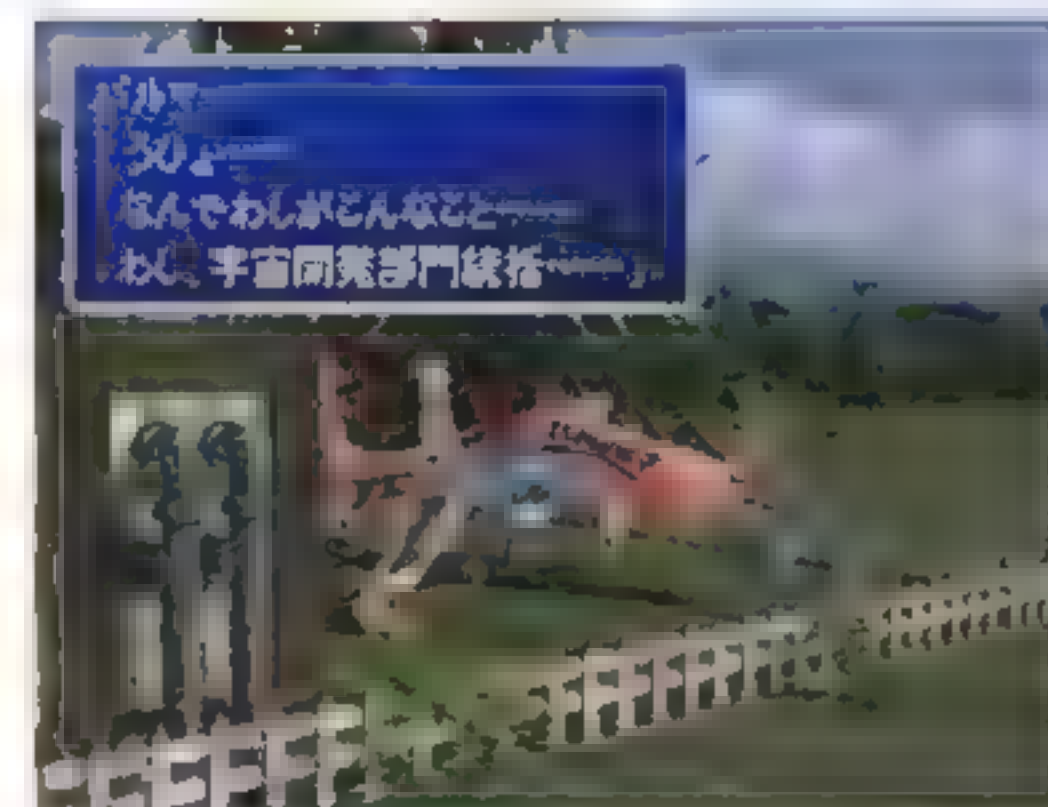
Impressive Words

「値上げ値上げ！　うひょひょひょひょ！　ぜひ我が宇宙開発部にも予算を！」
――神羅ビル：魔晄料金の値上げを決定したプレジデントに頼みこむように

「ふとっちょって言うな～！」
――ロケット村：シドから「役立たずのふとっちょ」呼ばわりされて

「うひょ！　お茶だ！　わしにもちょうだい。サトウとハチミツたっぷりでラードも入れてね」
――ロケット村：紅茶を出そうとするシエラに注文をつけ

リーブ

リーブ・トゥエスティ
Reeve Tuesti

登場場所 ミッドガル

Personal Data

性別	男	年齢	35歳
身長	180cm		

市民を思いやるマジメな幹部

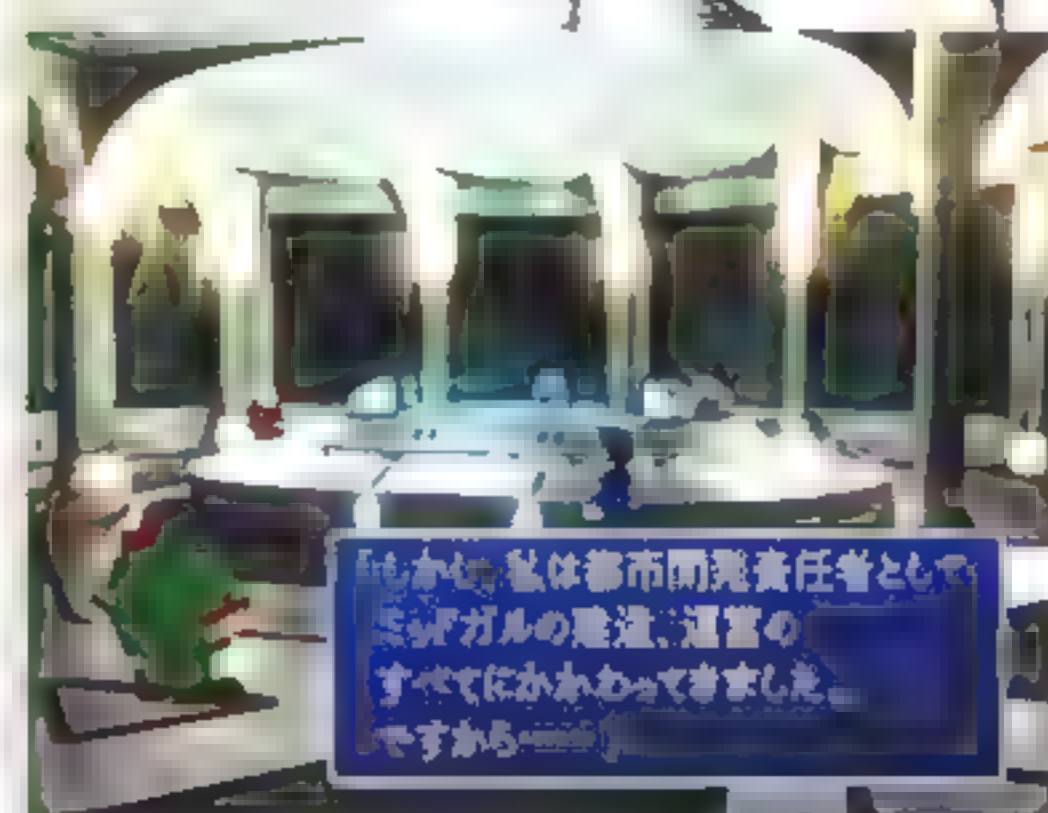
ミッドガルの建設・運営に深く関わってきた、神羅カンパニー都市開発部門統括。奇人ぞろいの幹部勢において唯一まともな人物で、つねに住民の立場を思いやった発言をするが、利益追求型の幹部会議では逆に浮いてしまい、意見を黙殺されている。

じつは「インスパイア」という超能力者であり、無機物に生命を吹きこむことが可能。その能力を使ってケット・シー人形をあやつり、神羅と敵対するクラウドたちの動向をひそかに探っていた。メテオ発動後はケット・シーとして戦うかたわら、ミッドガルの住人の避難活動を仕切る。

⬆物語終盤ではハイデッカーらと対立するも、リーブ本人は拘束されてしまう。

Impressive Words

「プレジデント。これ以上の魔晄料金の値上げは住民の不満をまねき……」
――神羅ビル：魔晄料金の値上げを決定したプレジデント神羅に苦言を呈して

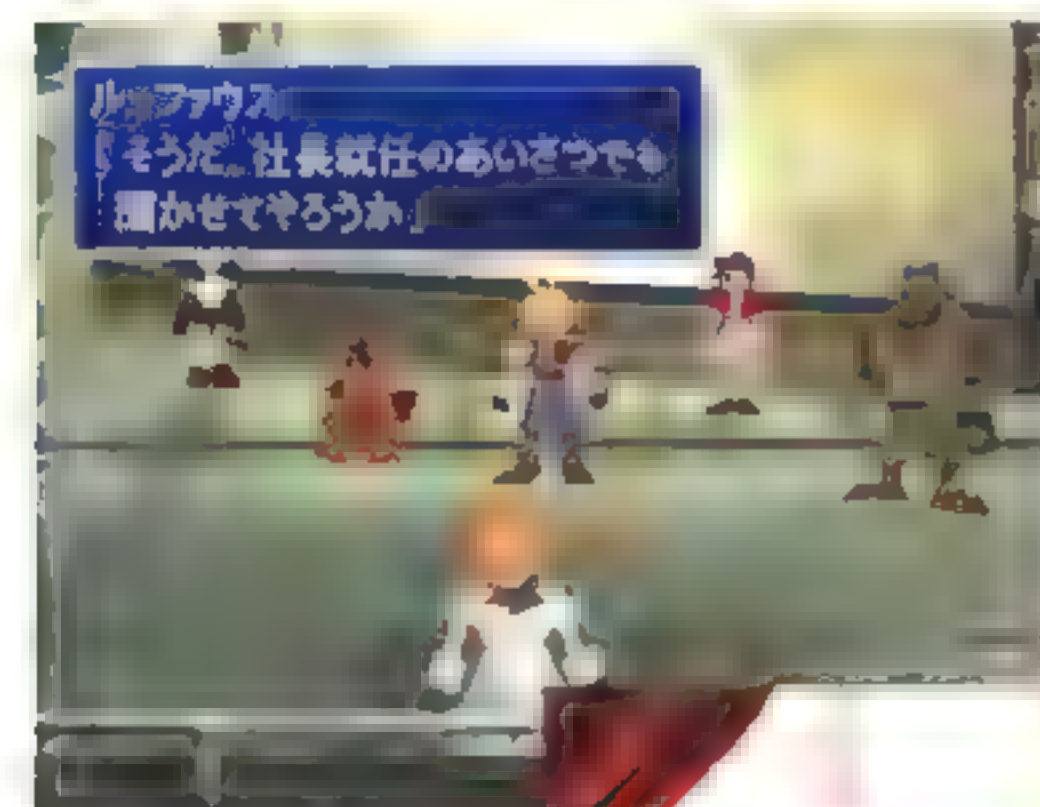
「クラウドたちが来てくれるそうや。邪魔しないでくれよ！」
――神羅ビル：宝条の暴走を止めるためにハイデッカーたちを制して

ルーファウス神羅

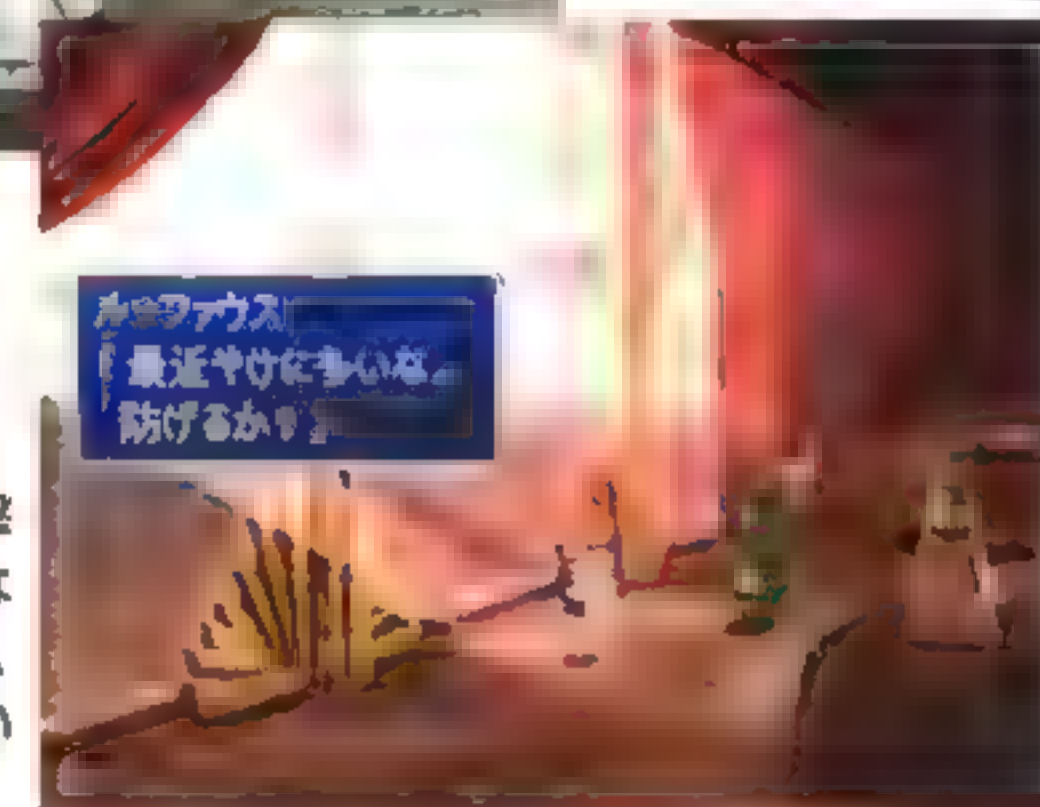
Rufus Shinra

登場場所 ミッドガル、ジュノンほか

野心を燃やす若き指導者

プレジデント神羅の息子で、神羅カンパニーの副社長。プライドが高く、能力のない者に対しては冷酷無情な態度をとる。金の力を利用して人心を得ていた父親とは異なり、恐怖政治で人々を支配するべきという考えの持ち主。プレジデントの死後は、父にかわって社長に就任し、「約束の地」を手中に収めるべくセフィロスを追う一方、同地をめぐってクラウドたちと対立する。

メテオ発動後は、ウェポンとメテオの脅威から世界を守るべく行動。幹部と会議を重ね、計画を練ったうえで実行に移すなど、世界の指導者としてふさわしい働きを見せるが、その手段が星の命をすり減らすものであったため、星を守ろうとするクラウドたちとは敵対関係がつづくことに。ミッドガルがダイヤウェポンに襲われたとき、ウェポンの放った光弾を受け、生死不明となった。

⬅父親とは考えかたがちがうと力説するものの、ティファに「演説好きなのはそっくり」と皮肉を言われる。

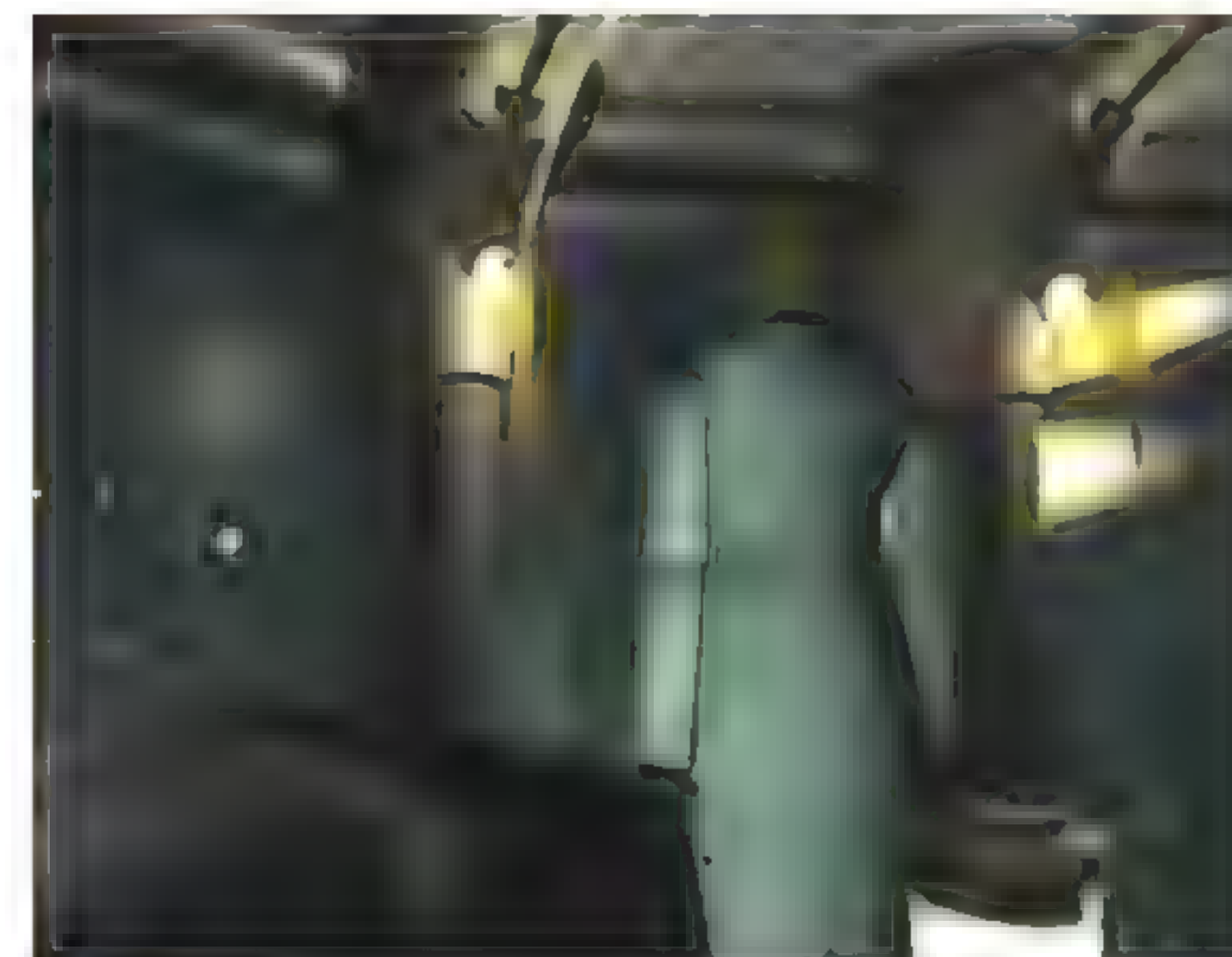
➡突然のウェポン襲撃にもうろたえることなく部下に指示を出し、あらかじめ練られていた作戦で迎え撃つ。

Impressive Words

「恐怖はほんの少しで人の心を支配する。おろかな民衆のために金を使う必要はない。私はオヤジとはちがうのだ」
――神羅ビル：クラウドたちに新社長就任のあいさつを聞かせて

「その笑いかたはやめろ。もうオヤジのときのようにはいかないからな」
――ジュノン：下品な笑いでごまかそうとするハイデッカーに向かって

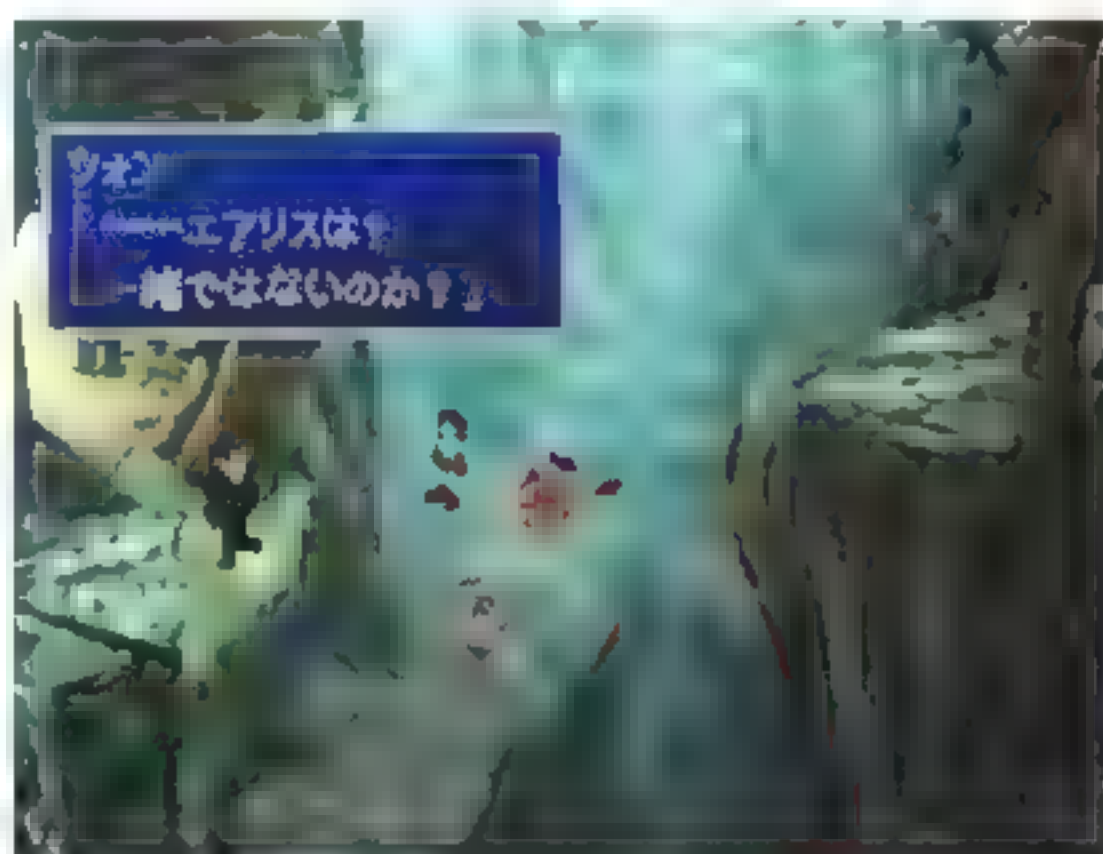
「想像していたとおりのものがここにある。それで良いではないか？　そのカタさが二流科学者の限界だな」
――北の大空洞：「約束の地」は言い伝えだと吐き捨てる宝条に

「魔晄キャノンの砲弾は本当に北の果てまでとどくのだろうな」
――神羅ビル：北の大空洞のバリアを破る作戦会議にて

タークス

ツォン Tseng

登場場所 ミッドガル、古代種の神殿ほか

冷静沈着なタークス主任

神羅カンパニーの総務部調査課、通称「タークス」の主任。まだ若いが、長いあいだ第一線で活躍してきた。つねに冷静な姿勢をくずさず、感情的になることは少ないものの、古くから知るエアリスに対しては、特別な想いを抱く。古代種捕獲の任務についており、エアリスを連れ去るほか、各地でクラウドたちの行く手をはばむ。

⬆エアリスとの付き合いは長く、敵対する立場でありながら、複雑な関係を築いている。

Impressive Words

「スリリングな気分をあじわえたと思うが……楽しんでもらえたかな?」
——神羅ビル：潜入したクラウドたちを捕獲して

「いや……。あまり会えなくなるが元気でな」
——ミスリルマイン：神羅に追われることのなくなったエアリスに向かって

「ハハ……きびしいな。エアリス……らしい……言葉だ」
——古代種の神殿：瀕死の重傷を負いながら

ルード Rude

登場場所 ミッドガル、ウータイほか

黙して語らぬ巨漢

タークスにおけるレノの相棒。彼とコンビを組んで、クラウドたちの前に立ちはだかる。レノとは対照的に口数が少なく、人前でしゃべるのは苦手。スキンヘッドにサングラスという、典型的な強面だが、じつはユーモラスな性格をしており、お茶目な一面を見せることも。敵方であるティファに好意を抱いている。

⬆仕事はちゃんとやると言いつつ、ティファが相手だと手心を加えてしまう。

Impressive Words

「……ティファ」
——ゴンガガ：誰が好きなのかとレノに問いつめられ

「タークスに……レノに……かんぱい」
——ウータイ：休暇中にレノと杯を交わして

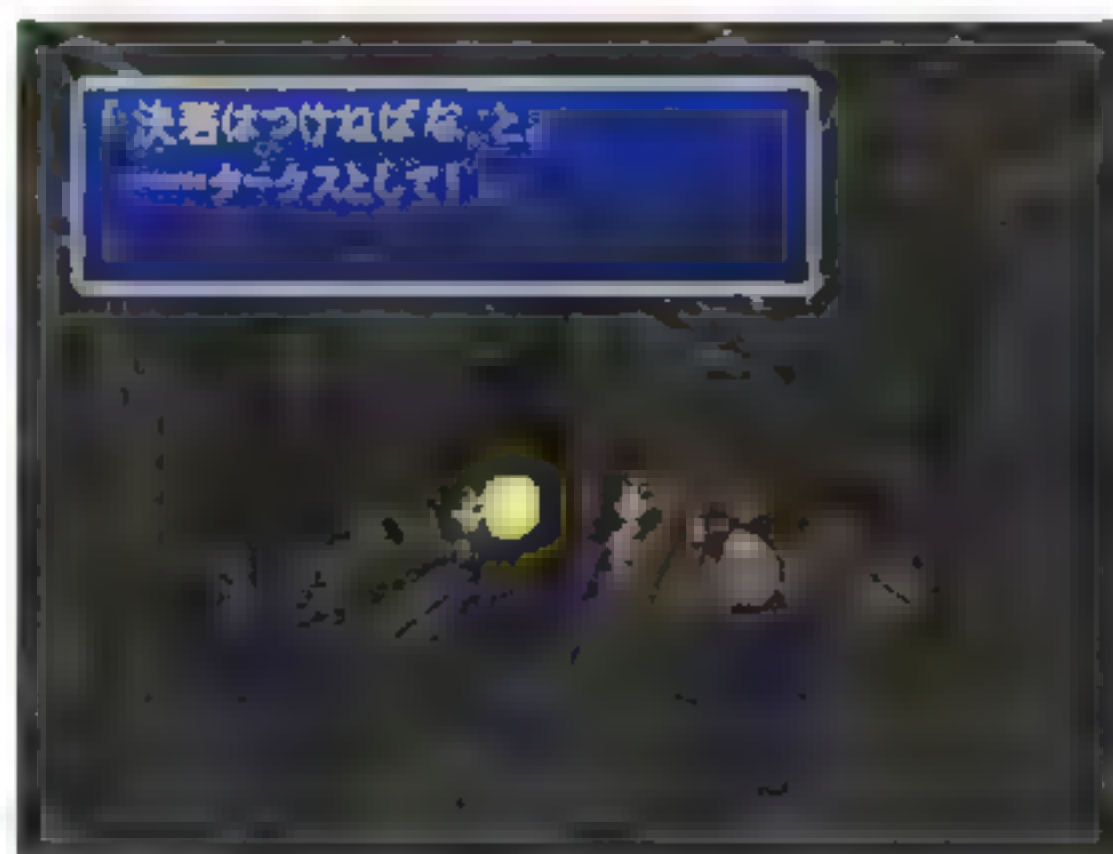
「……ふむな」
——ロケット村：クラウドたちとのバトルに敗れたのち、クラウドに踏まれて

「さて……仕事だ」
——螺旋トンネル：魔晄キャノンへ向かうクラウドたちの前に立ちはだかり

レノ Reno

登場場所 ミッドガル、ウータイほか

プライド高きタークスのエース

ひょうひょうとした態度で仕事にのぞむタークスの青年。不真面目そうに見えるが、じつは仕事に対する熱意にあふれ、ターゲットのクラウドたちと何度も戦うことに。一方、公私の切りわけを徹底しており、ウータイでの休暇中には、クラウドと共闘した。うしろでたばねた真っ赤な長髪と、「〜だぞ、と」というログセが特徴。

⬆クラウドたちと幾度も顔を合わせるうちに奇妙な絆も生まれるが、彼らとなれ合うことはない。

Impressive Words

「タークスのレノさまの邪魔は誰にもさせないぞっ……と」
——七番街プレート支柱：プレート支柱落下を阻止するためにやってきたクラウドたちと対峙して

*「仕事のためにすべてを犠牲にするのがプロじゃない。
そんなのはただの仕事バカだ、と」*
——ウータイ：休暇中に仕事を突っぱねたことに対するイリーナの抗議を受け流し

「いや、今日は非番だ、と」
——ウータイ：クラウドと共闘したのち、クラウド捜索の任務を受けるが、その場は見逃す

イリーナ Elena

登場場所 ウータイ、アイシクルロッジほか

努力家の新人タークス

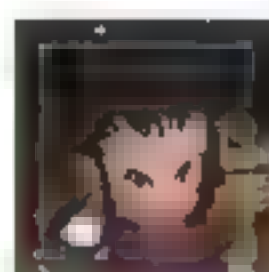
レノの負傷を受けてタークスに抜擢された新人。タークスになったばかりで、ひたむきに仕事をこなそうとする反面、機密をあつかう精鋭部隊の一員だという自覚には欠ける。レノやルードが持つ仕事へのこだわりを理解できず、彼らに不満をぶつけることも。一方で、主任のツォンには想いを寄せており、従順な反応を示す。

⬆敬愛するツォンのカタキを討とうと、クラウドに超高速のパンチを見舞うが……。

Impressive Words

「ルード先輩!　しゃべるの苦手なんだからムリしないでください」
——ミスリルマイン：言葉に詰まるルードに助け船を出して

「レノ先輩!　本当にそれでいいんですか!?　これがプロフェッショナルのタークスなんですか!?」
——ウータイ：休暇中に舞いこんだ仕事を突っぱねたレノに抗議して

「いくら、しらをきってもムダよ。絶対、許せない!!」
——アイシクルロッジ：ツォンのカタキ討ちのためにクラウドの前に現れ

クラウドに想いを託した青年

ザックス

ザックス・フェア
Zack Fair

Personal Data

性別	男	年齢	23歳(享年)
血液型	O型	出身地	ゴンガガ
武器	バスターソード		

登場場所 クラウドの回想

明朗快活で仲間思いなソルジャー・クラス1st。エアリスの初恋の相手で、クラウドの親友でもある。物語中では故人であり、クラウドの回想にのみ登場。5年前にニブルヘイム魔晄炉の調査に向かったとき、出生の秘密を知って暴走したセフィロスを止めようとするも、返り討ちに遭う。その後、クラウドともども神羅屋敷にとらわれ、宝条の実験サンプルとしての生活を強いられることに。クラウドを連れて脱走を図ったが、逃亡中に追っ手の神羅軍に射殺された。

Impressive Words

「なあ、クラウド。気分悪いなら、そのマスクとっちゃえば?」
——クラウドの回想(5年前):乗り物酔いしているクラウドに向かって

「おまえを放り出したりはしないよ。……トモダチ、だろ?」
——クラウドの回想(約3ヵ月前):魔晄中毒で意識のハッキリしないクラウドに向かって

息子思いの快活な女性

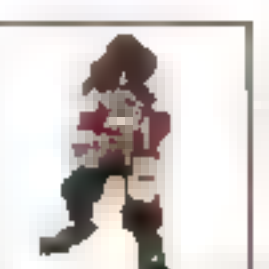
クラウドの母

登場場所 クラウドの回想

早くに夫と死別し、女手ひとつで息子を育ててきた、クラウドの母親。単身都会へ出て行ったクラウドのことを、つねづね心配していた。5年前、帰郷した息子との団らんを楽しむも、数日後、セフィロスによるニブルヘイム焼き討ちの犠牲となる。

Impressive Words

「どれどれ……。晴れ姿、母さんにもよ～く見せておくれ」
——クラウドの回想(5年前):2年ぶりに帰郷した息子の姿を見て

「あんたにはねぇ……ちょっとお姉さんであんたをグイグイ引っ張っていく、そんな女の子がピッタリだと思うんだけどね」
——クラウドの回想(5年前):しっかりした彼女でもいれば安心できるとクラウドに言って

村と娘を守ろうとしたティファの父

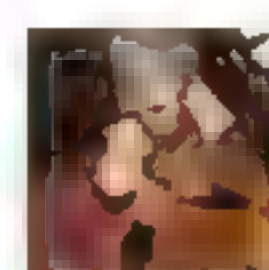
ティファパパ

登場場所 クラウドの回想

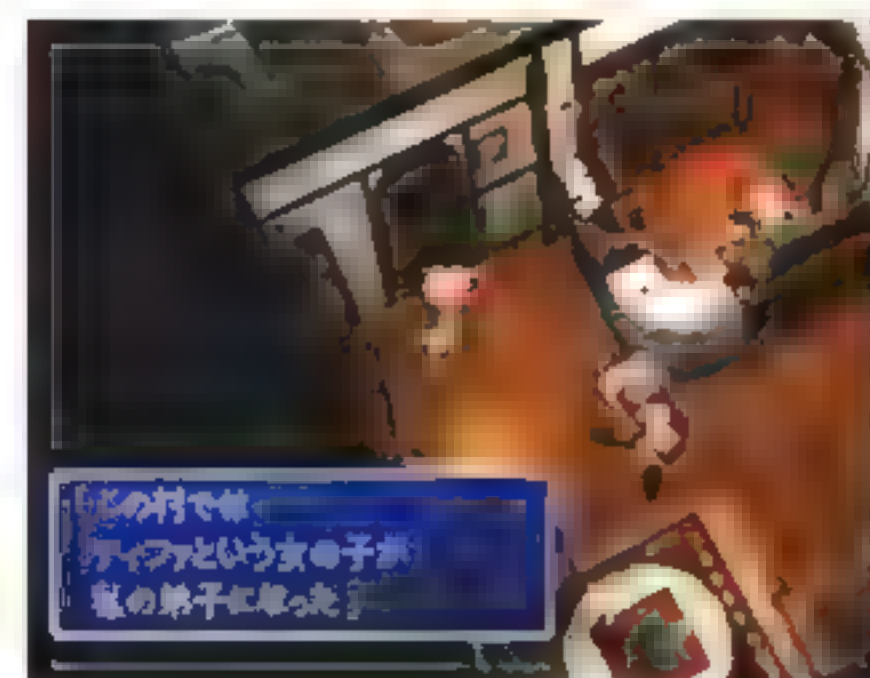
ティファの父親。過去にティファを危険な目に遭わせたクラウドに不信感を抱いており、露骨に冷ややかな態度をとっていた。5年前にセフィロスがニブルヘイムで暴走したとき、彼を止めようとして魔晄炉に向かったものの、逆にセフィロスの手にかかり命を落とす。

Impressive Words

「セフィロス、聞いてくれ。もしものことがあったら……」
——クラウドの回想:5年前、ガイドとしてニブル山へ向かう娘の身を案じて

「クラウド!　どうしてこんなところへティファを連れだしたりしたんだ!」
——クラウドの回想:12年前、ティファがつり橋から落ちた責任をクラウドに追及して

多くの弟子を持つ流浪の格闘家　登場場所 ニブルヘイム(回想)

ザンガン

ザンガン流格闘術の開祖。世界中を旅しており、総勢128人もの弟子を持つ。5年前にニブルヘイムを訪問したとき、ティファの潜在能力を見抜き、彼女に格闘術の手ほどきをした。その後、セフィロスの暴走に巻きこまれ、火の海と化したニブルヘイムで村人を救うため奔走。魔晄炉で重傷を負ったティファを助け出し、ミッドガルまで運んだ。

Impressive Words

「ティファはセンスが良いな。彼女は強くなるぞ」
——クラウドの回想(5年前):ティファを弟子にしたことを語り

「おっ、あんたか!　あんたは正気なんだろうな?」
——クラウドの回想(5年前):神羅屋敷から出てきたザックスに向かって

心優しきエアリスの養母　登場場所 ミッドガル

エルミナ

伍番街スラムのはずれに住む、エアリスの育ての母。15年前、スラムの駅で実母と死別したエアリスを引き取って以来、彼女を我が子のように育ててきた。エアリスの持つ不思議な能力に気づきながらも、娘の幸せを願っている。

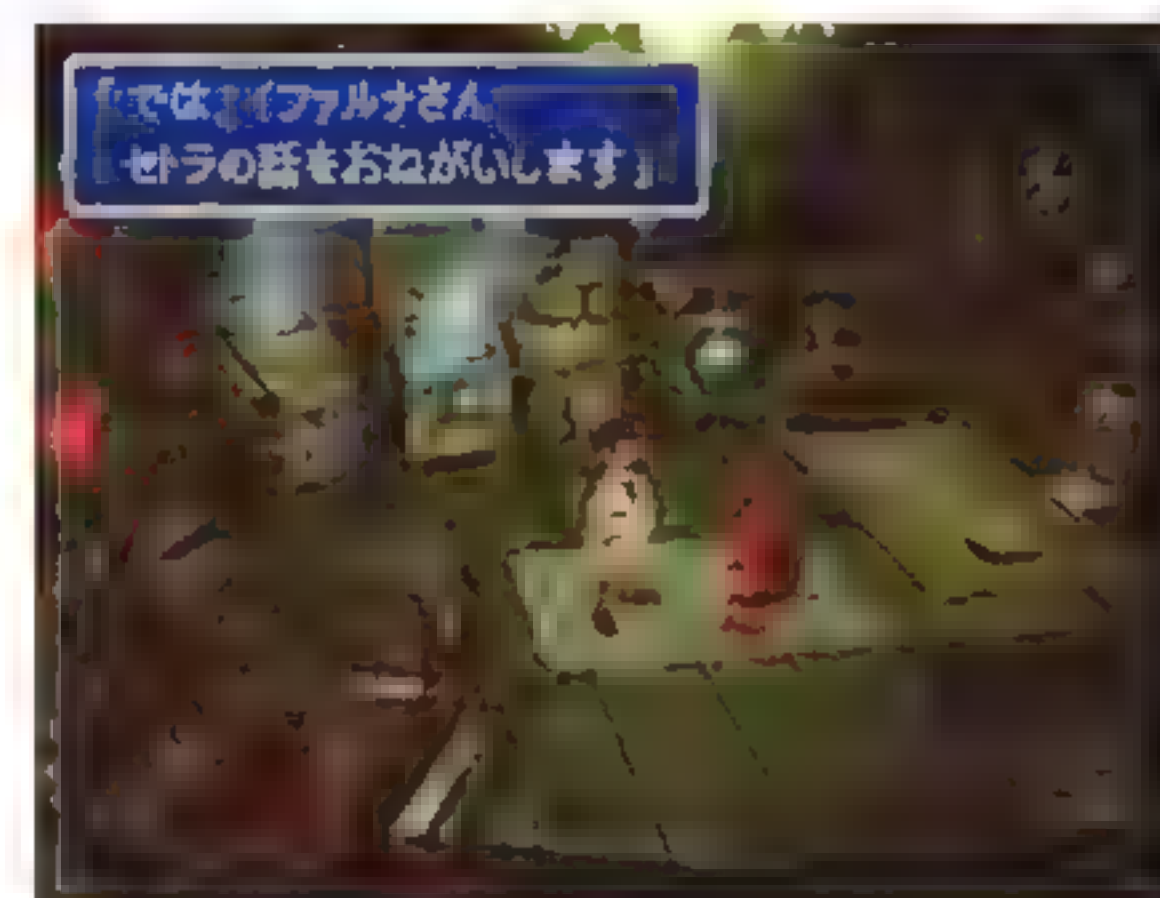
←親の責任を重々理解しているがゆえ、マリンを放って戦うバレットを非難する場面も。

Impressive Words

「おまえ、また狙われたのかい!?　体は!?　ケガはないのかい!?」
——エアリスの家:ボディーガードを連れて帰ってきたエアリスの身を案じて

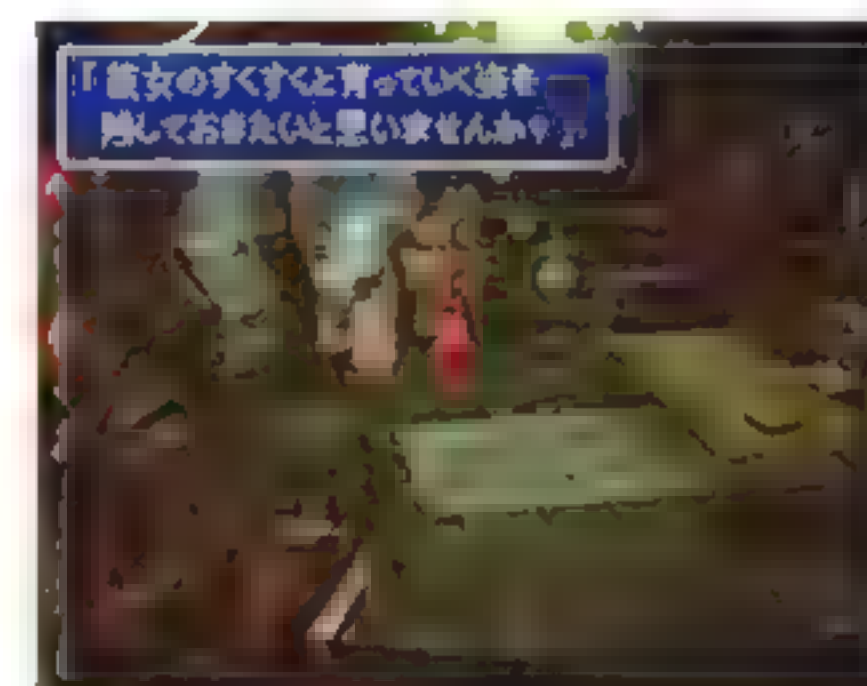
「ソルジャーなんて……。またエアリスが悲しい思いをすることになる……」
——エアリスの家:エアリスと関わらないようクラウドに頼み

古代種を追った悲劇の科学者　登場場所 アイシクルロッジ(映像)

ガスト

エアリスの実父。優秀な科学者で、ジェノバ・プロジェクトの責任者でもあった。ジェノバを古代種とする自身の認識が誤りだと知って神羅を去ったのち、アイシクルロッジで古代種の女性イファルナの協力を得て研究を継続。彼女とのあいだに娘エアリスを授かったが、突如現れた宝条に殺され、研究成果と家族を奪われた。

Impressive Words

「ア、アナタとエアリスはワタシの宝なんです。何があってもはなしません!!」
——アイシクルロッジ(映像):娘の未来を案じるイファルナに向かって

「イファルナ!　エアリスを連れて逃げるんだ!!」
——アイシクルロッジ(映像):宝条に銃を向けられながらも妻子を逃がそうとし

←生まれたばかりのエアリスをかわいがるガスト。しかし、彼女の生後20日目、平穏は破られる。

非業の死をとげたエアリスの実母　登場場所 ミッドガル(回想)ほか

イファルナ

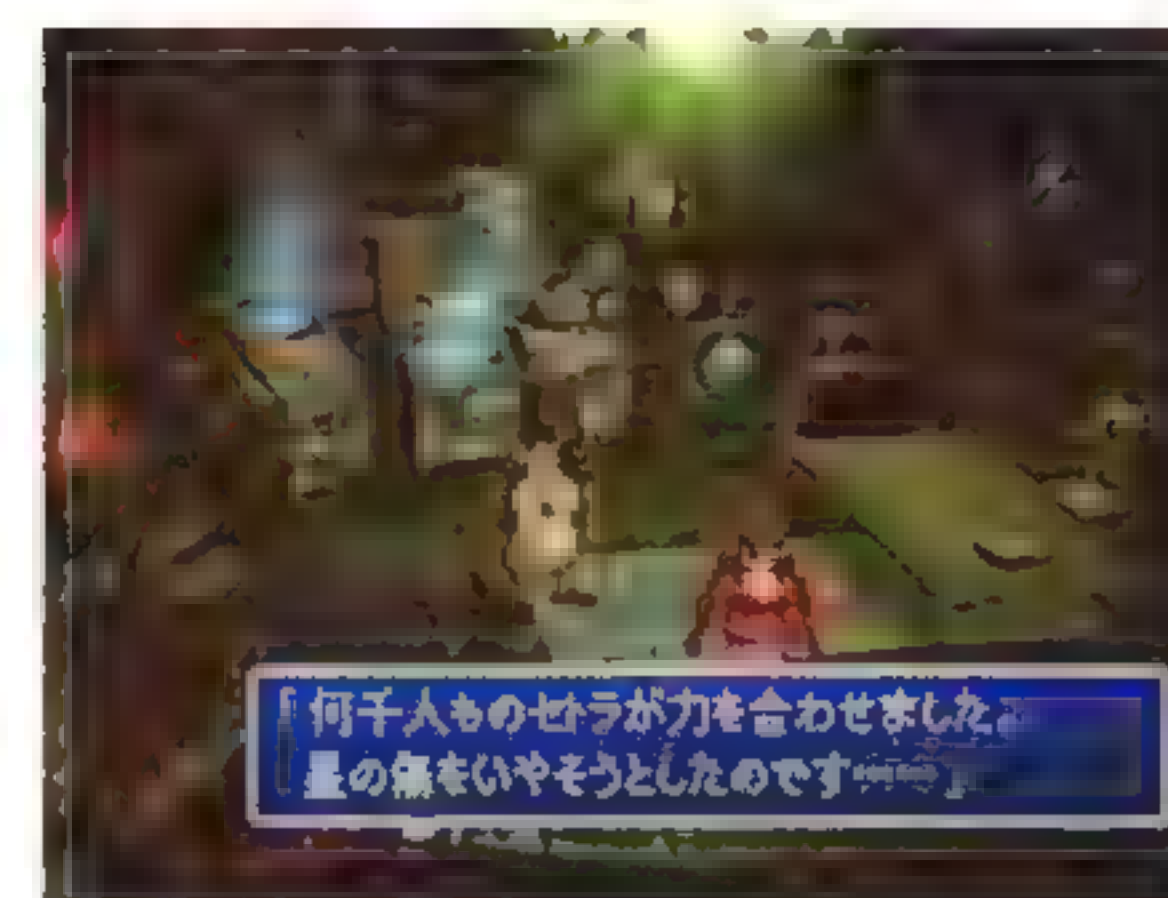
純粋な古代種としては最後の生き残りとなる女性で、エアリスの実母。ガストの研究に協力するうち、彼を愛するようになった。つつましくも幸せな生活を送っていたが、古代種のサンプルを求める宝条によって娘ともどもとらわれの身に。その7年後にエアリスを連れて脱走するものの途中で力尽き、娘をエルミナに託して息絶える。

←物語の15年前、「エアリスを安全なところへ」と言い残し、スラムの駅で息を引き取った。

Impressive Words

「もう、勝手な人ね……でも、エアリスってイイ名前ね!」
——アイシクルロッジ(映像):娘の名前は決めてあると言うガストに

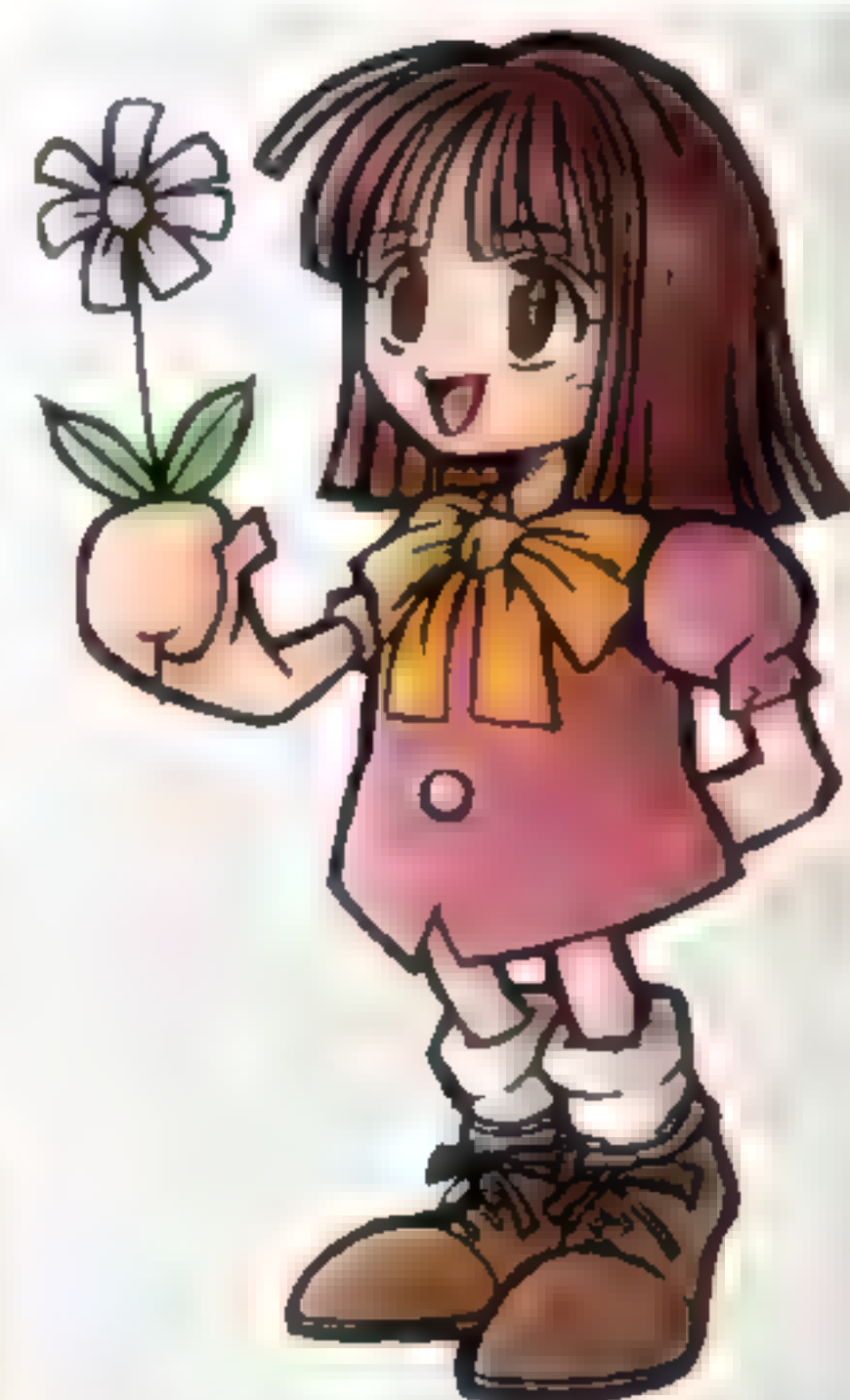
「エアリスは関係ないわ!　わたしさえいれば、いいんでしょ?」
——アイシクルロッジ(映像):宝条から娘を守ろうとして

バレット関係者／レッドXIII関係者

バレットの最愛の娘 マリン
マリン・ウォーレス Marlene Wallace

登場場所 ミッドガル、カーム

Personal Data	
性別	女
年齢	4歳
出身地	コレル村

バレットの養女。バレットの親友であるダインの娘だが、赤ん坊のころからバレットに育てられた。旅立つ彼の意向でエルミナに預けられたのち、リーブによって人質という名目で保護される。その後は、避難先のカームでバレットの帰りを待つ。

⬅セブンスヘブンを切り盛りするティファのお手伝いをするなど、年齢のわりにしっかり者。

Impressive Words

「とうちゃん、泣いちゃダメだよ。おヒゲ、いたいよ!」
——エアリスの家：バレットと再会して

「お花のおねえちゃん?」
——エンディング：ライフストリームの気配を感じ取って

狂気に心を染めた元炭坑夫 ダイン

登場場所 コレルプリズン、コレル村(回想)

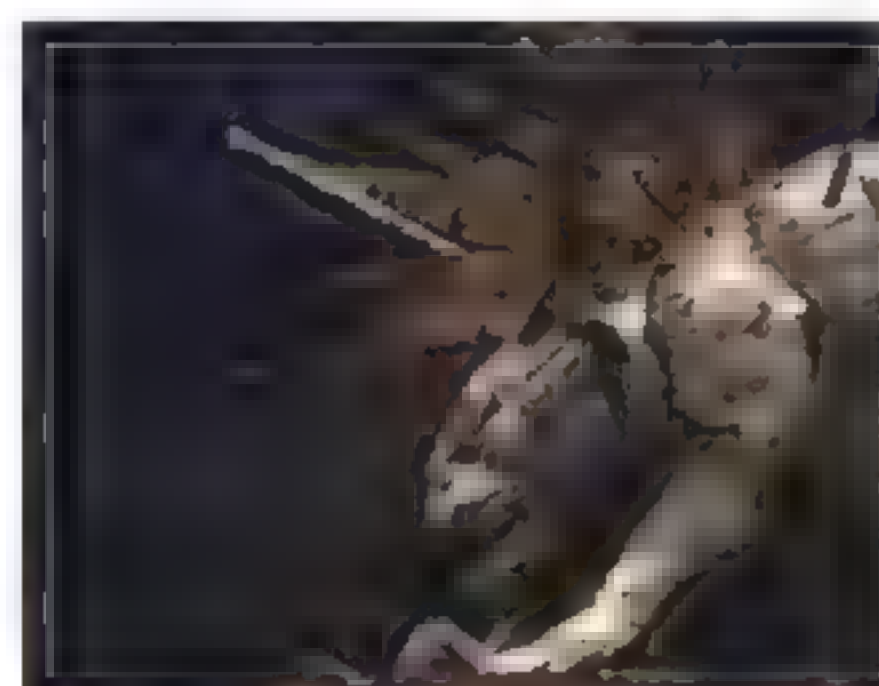
コレルプリズンを仕切る男。バレットの親友であり、マリンの実父でもある。4年前、神羅にコレル村を焼き払われ、左腕と家族を失った。神羅への怒りから狂気にとりつかれ、破壊と殺戮にまみれた日々を送っていたところ、バレットと再会。彼に一騎打ちを挑むも敗北し、娘のマリンを託して崖下に身を投げた。

Impressive Words

「俺は……壊してしまいたかったんだよ……何もかも……このくるった世界も……俺自身も……」
——コレルプリズン：バレットとの一騎打ちに敗れて

谷を守りつづける偉大なる戦士 セト

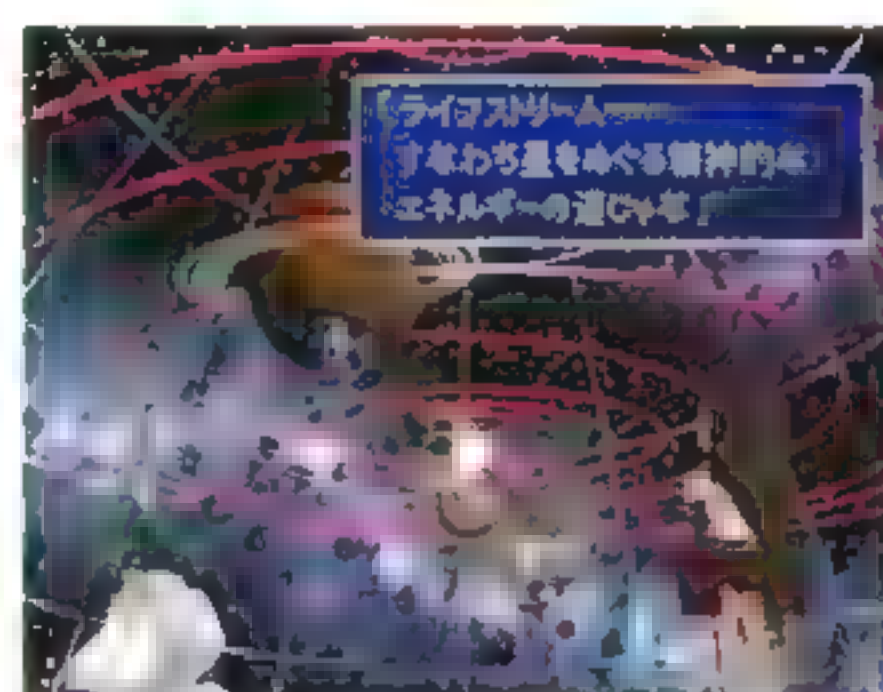
登場場所 ギ族の洞窟

レッドXIIIの父親。かつてコスモキャニオンがギ族に襲われたとき、谷を守るため孤軍奮闘したすえに、敵の毒矢を受けて石化した。事実を知らないレッドXIIIからは裏切り者呼ばわりされていたが、物語中で誤解が解ける。

⬅身体を石にされてしまってからも、数十年に渡って人知れずコスモキャニオンを守りつづけている。

星の未来に思いをめぐらす博学の士 ブーゲンハーゲン

Personal Data	
性別	男
年齢	130歳

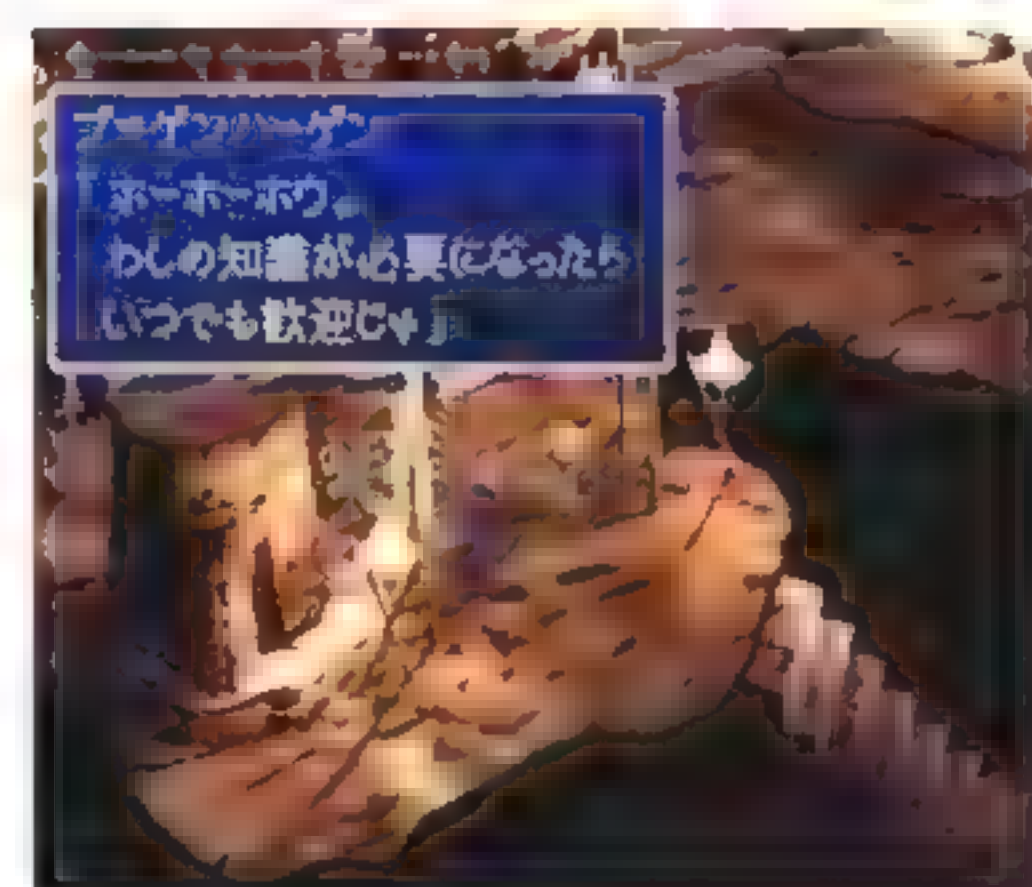
登場場所 コスモキャニオン

コスモキャニオンに住む、星命学の権威。早くに両親を亡くしたレッドXIIIの親がわりで、彼からは"じっちゃん"と呼ばれ親しまれている。豊富な知識を持ちながら好奇心旺盛で、クラウドたちに助言を与えるほか、一時的に旅にも同行した。最終決戦を前に、レッドXIIIに看取られつつ天寿をまっとうする。

⬅自慢の天文台にクラウドたちを招き、ホログラフィを利用して星命学の教えを説く。

Impressive Words

「ホーホーホウ。いかんな、ナナキ。せのびしてはいかん」
——コスモキャニオン：大人のフリをしていたレッドXIIIをたしなめるように

「ナナキよ……クラウドと行け……その目で……耳で……」
——コスモキャニオン：自身の死期に、レッドXIIIに別れを告げる

ユフィ関係者

ウータイの眠れる武人 ゴドー
ゴドー・キサラギ

登場場所 ウータイ

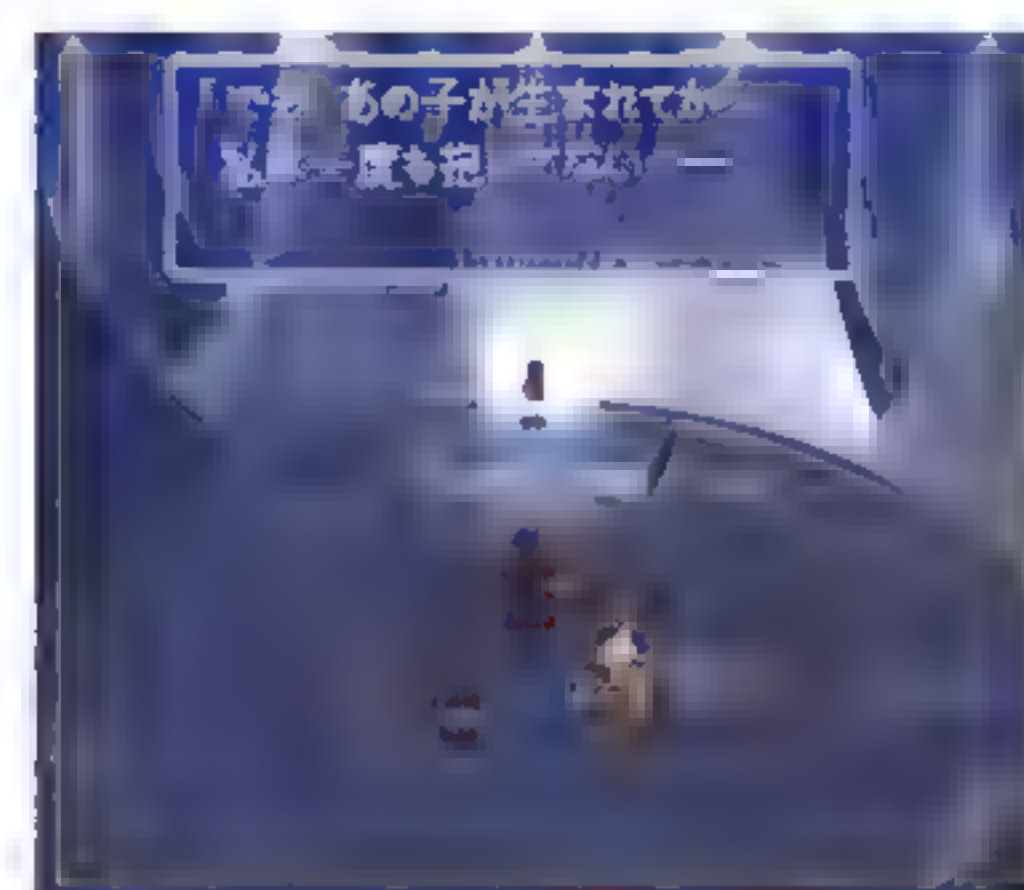
ふだんは寝てばかりいる、ユフィの父親。ウータイの統治者であり、同地方を守る猛者集団「五強聖」の頂点に立つ武人だが、神羅との戦争に敗れてからは力の衝突が争いを生む現実にむなしさを感じ、己の実力を隠すようになった。しかし、娘のユフィにはその真意は伝わらず、ふぬけた父親と認識されてしまう。考えかたの相違から親子ゲンカとなることが多いが、実際は娘の身を案じており、ユフィが五強の塔を制する日を待ちつづけている。

Impressive Words

「……ユフィ?　…………知らぬな、そんな名は。グーゴー」
——ウータイ：ユフィを知らないふりをして昼寝をつづけて

「セ、センス……?　ポリーシー……?　そんなヨコ文字までつかいおって!　この……この不良ムスメが!」
——ウータイ：ユフィとの口ゲンカで

「行ってこい!　最後まで生き残れ!　そして帰って来るのだ!　マテリアを持ってな!」
——ウータイ：五強の塔を制覇したユフィを、マテリアを持ち帰るよう言い含めて旅に送り出す

ヴィンセント関係者

セフィロスを産んだ女性 ルクレツィア
Lucrecia Crescent

Personal Data			
性別	女	血液型	B型
身長	163cm		
誕生日	7／22		

登場場所 ルクレツィアのほこら

ヴィンセントの最愛の女性にして、セフィロスの実母。神羅の優秀な科学者で、ジェノバ・プロジェクトにも参加していた。身ごもった子どもを実験に提供したが、その結果、母体である彼女自身もジェノバ細胞の影響を受け、不死の身体となってしまう。心身の変調に耐えられず、人々の前から姿を消した。

Impressive Words

「消えてしまいたかった……みんなのそばにいられなかった……死にたかった……。でも、私の中のジェノバが私を死なせてくれない……」
——ルクレツィアのほこら：実験の影響で不死の身体になったことをヴィンセントに打ち明けて

「あの子も私と同じ簡単に死ねない体……ねえ、ヴィンセント、あの子は……」
——ルクレツィアのほこら：息子セフィロスの安否をヴィンセントに尋ねる

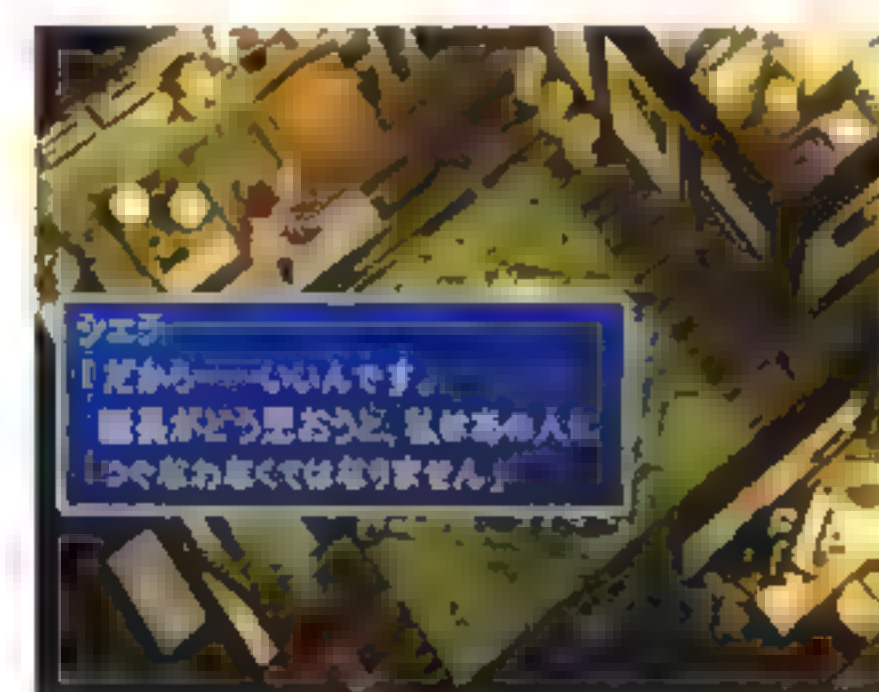
⬅ヴィンセントからの求婚を断り、宝条とのあいだに息子セフィロスをもうけることになる。

シド関係者

すぐれた整備の腕を持つ女性 シエラ

Personal Data	
性別	女
年齢	34歳

登場場所 ロケット村

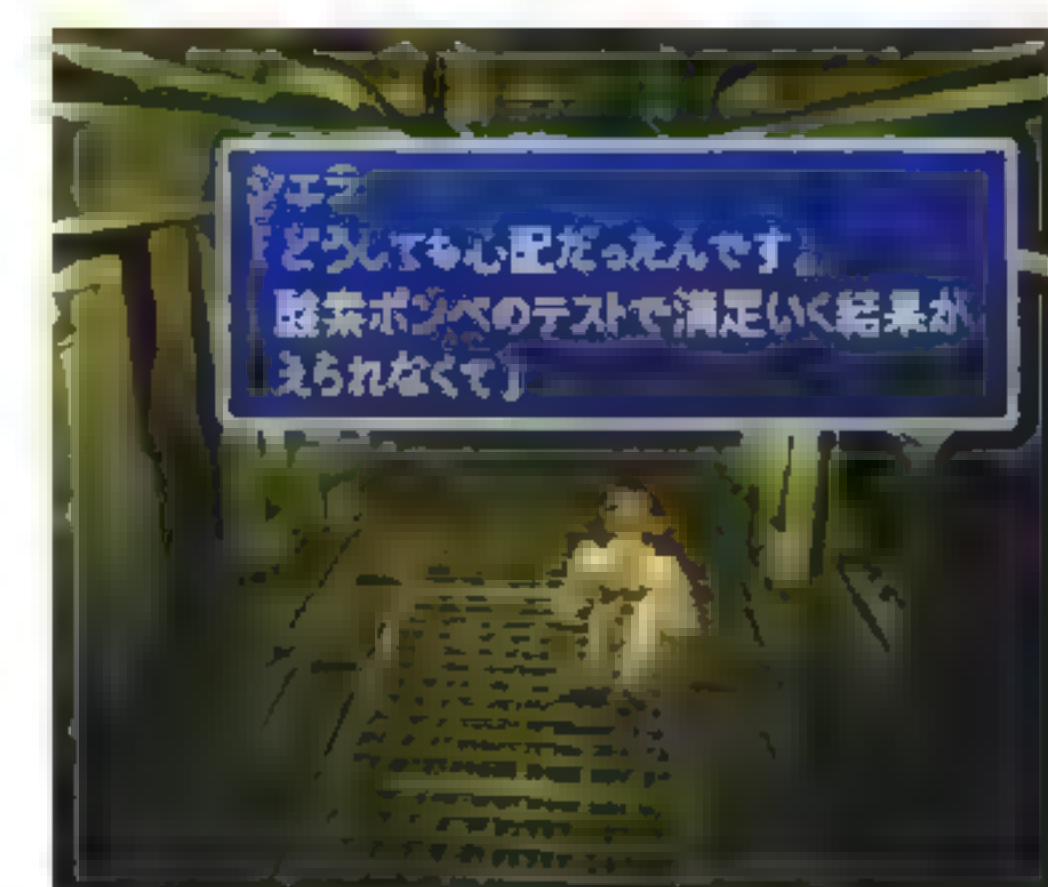
シドの身のまわりの世話もしているメカニック。仕事はていねいだが、作業が遅いという欠点も持つ。過去のロケット打ち上げでは、点検に時間をかけすぎて、発射中止という事態を招いた。そのためシドに厳しい態度をとられていたが、不備を見抜いた正しさがのちに証明され、彼との関係は修復される。

⬅宇宙へ飛び立つというシドの夢をフイにしてしまったことから、彼に負い目を感じていた。

Impressive Words

「私があの人の夢をつぶしてしまったから……」
——ロケット村：シドのキツイ態度の原因が自分にあると言って

「艇長、私です、シエラです。私にかまわず、打ち上げを行なって下さい」
——神羅26号(シエラの回想)：打ち上げ直前まで酸素ボンベのチェックを行ない

アバランチ

アバランチの熱血漢 ・登場場所・ミッドガル

ビッグス

バレット率いる反神羅組織アバランチのメンバーで、星を救うという理念に忠実に行動するひたむきな男。神羅がアバランチをつぶすべく七番街プレートを落とそうとしたとき、スラムを守ろうと奮戦して命を散らす。

←ふだんは面倒見のいい兄貴分だが、酒ぐせは悪い。日ごろのストレスが噴出してしまった？

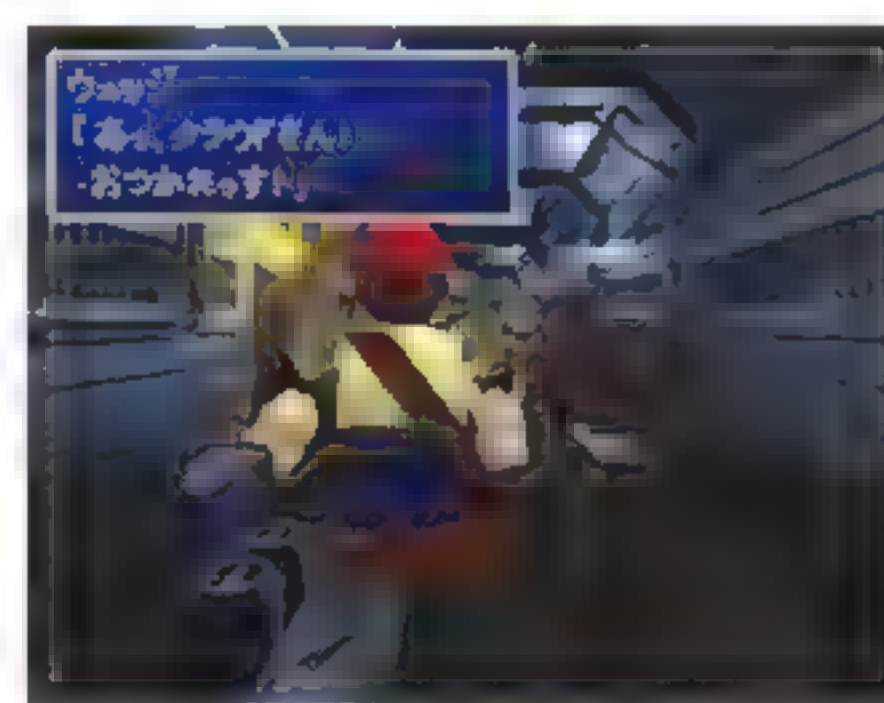
Impressive Words

「反神羅グループ【アバランチ】にソルジャーが参加するなんてスゲエよな!」
——壱番街駅：迫りくる神羅兵を難なくしりぞけたクラウドに感心し

「クラウド……やっぱり……星の命なんて……どうなろうと……興味ないか?」
——七番街プレート支柱：神羅との戦いで瀕死の重傷を負いながら

腰の低めななごませ役 ・登場場所・ミッドガル

ウェッジ

ちょっと小太りなアバランチメンバー。人当たりが良く優しい性格で小心者なため、本来は過激な活動には不向き。星の命を救うことで名をはせたいと考えていたが、スラムを守る戦いで、ほかのメンバーともども犠牲となる。

←語尾に「～っす」をつけるしゃべりかたをし、無愛想なクラウドにも積極的に話しかける。

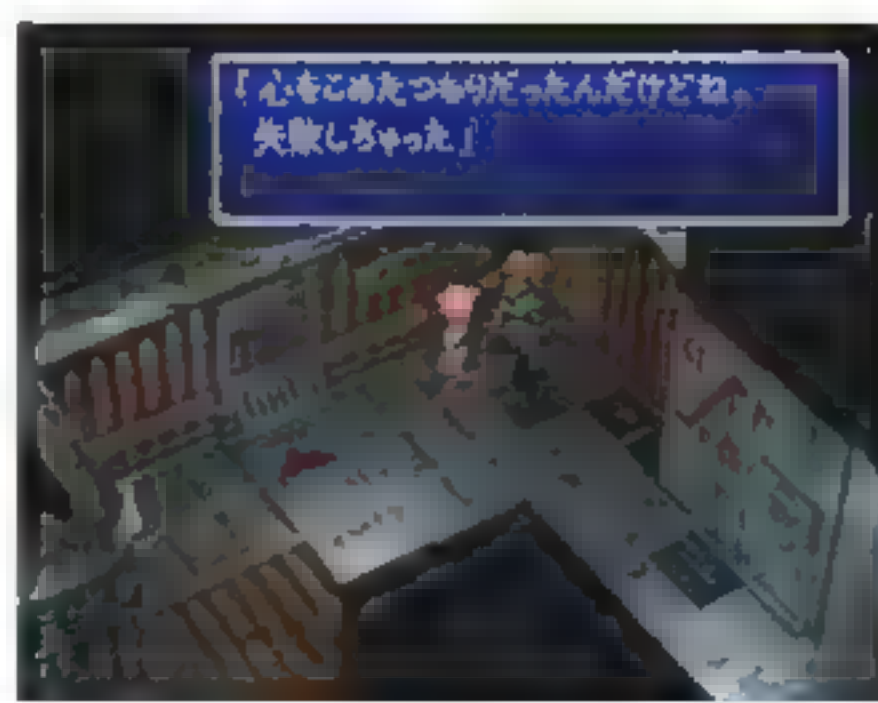
Impressive Words

「ティファちゃんの料理っておいしいっすねえ。パクパク……」
——セブンスヘブン：ティファの料理に舌つづみを打ち

「……クラウドさん……。俺の名前……覚えてくれたっすね」
——七番街プレート支柱：クラウドが自分の名前を呼んでくれたことを喜んで

機械好きな爆弾娘 ・登場場所・ミッドガル

ジェシー

ハッキングやIDカードの偽造、爆弾の精製まで幅広く手がける、アバランチの女性技術士。壱番魔晄炉爆破のさいクラウドに助けられて以来、彼に好意を抱き、積極的にアプローチしていたが、七番街プレートの落下で命を落とす。

←本人のログどおり「うかつ」な性格で、大事な場面で致命的なミスをするのがタマにキズ。

Impressive Words

「うかつ!! 足がはさまって……」
——壱番魔晄炉：脱出時に通路のすき間に足をとらわれて

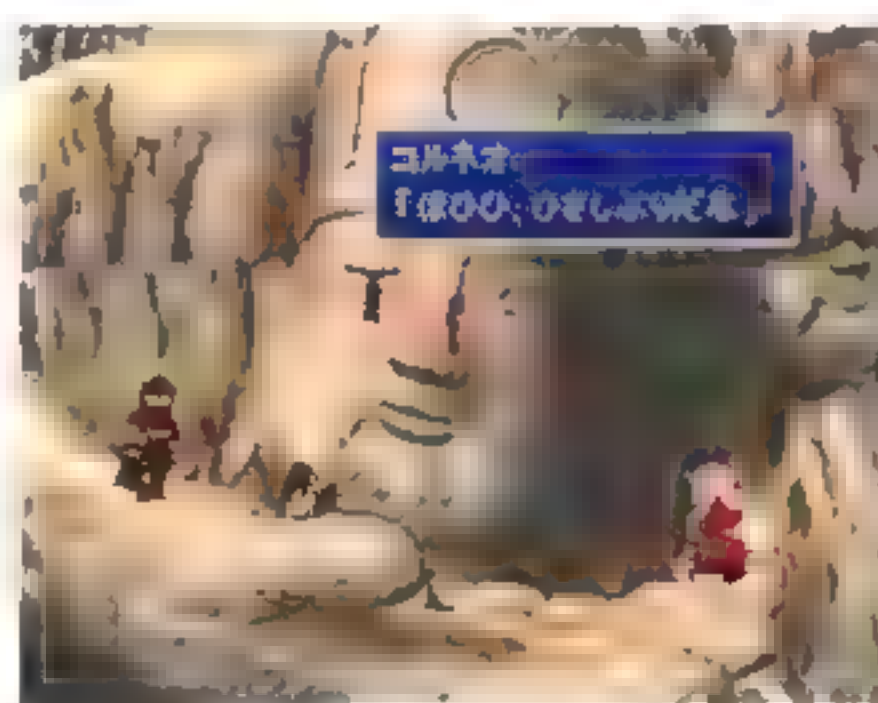
「クラウドといっぱい話せて燃えたわ。私、導火線に火がついたかもよ」
——列車内部：アジトへ帰る途中、クラウドと会話を交わしたのち

ミッドガルの人々

用意周到な好色オヤジ ・登場場所・ミッドガル、ウータイ

コルネオ

ドン・コルネオ

ウォールマーケットを仕切っているボス。大変な好色家として悪名高く、夜な夜な女の子に相手をさせている。アバランチをつぶす神羅の計画に荷担するも、クラウドたちに秘密をもらしたことで、逆に神羅から追われる身となる。

←神羅に追われる身となっても、以前からの趣味である「おヨメさん探し」をつづける。

Impressive Words

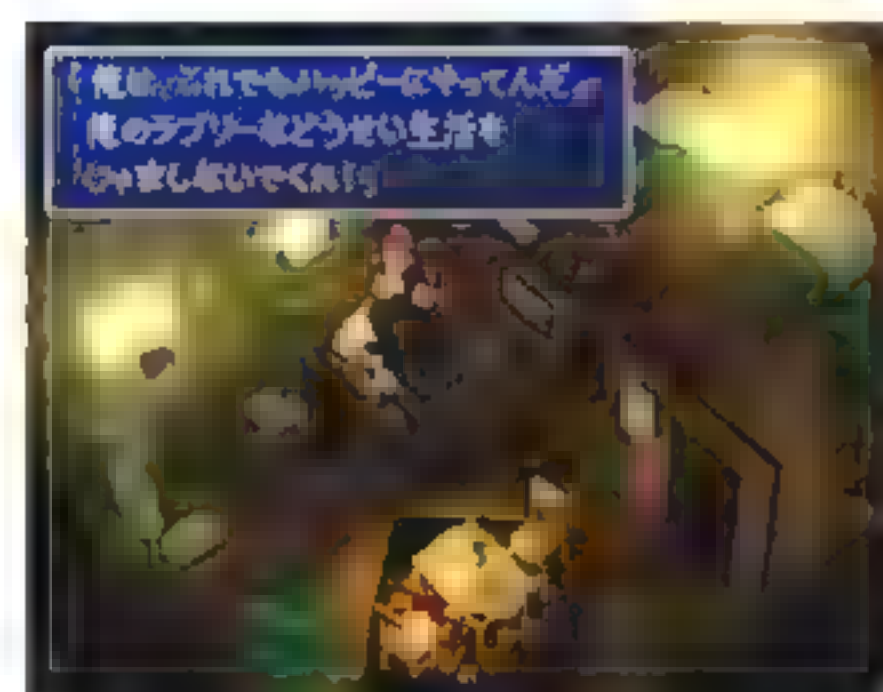
「どのおなごにしようかな? ほひ～ほひ～!」
——コルネオの館：ティファ、エアリス、女装したクラウドを物色しながら

「俺たちみたいな悪党がこうやってプライドをすててまで命ごいするのは、どんなときだと思う?」
——ウータイ：逆転の一手をくり出そうと、クラウドたちに3択の質問を出す

純情なさすらい野郎

ジョニー

・登場場所・ミッドガル、コスタ・デル・ソル

不良のような外見とは裏腹に、純粋な青年。ティファにほのかな想いを抱いており、嫉妬心からかクラウドへの態度は少々キツい。「男を磨くため」と称して旅に出たすえに、コスタ・デル・ソルに腰を落ち着ける。

Impressive Words

「さらば、グッバイ、アディオス! ミッドガル!! ぐっすん……」
——列車内部：ミッドガルとの別れを惜しみながら

苦労の絶えない企業戦士

神羅課長

・登場場所・ミッドガル、ジュノンほか

たびたびクラウドたちと出くわす、神羅カンパニーのサラリーマン。何度も出張の命令に振りまわされるうえ、行く先々で災難に見舞われるハメに。最終的には事実上解雇され、燃えつきてしまう。

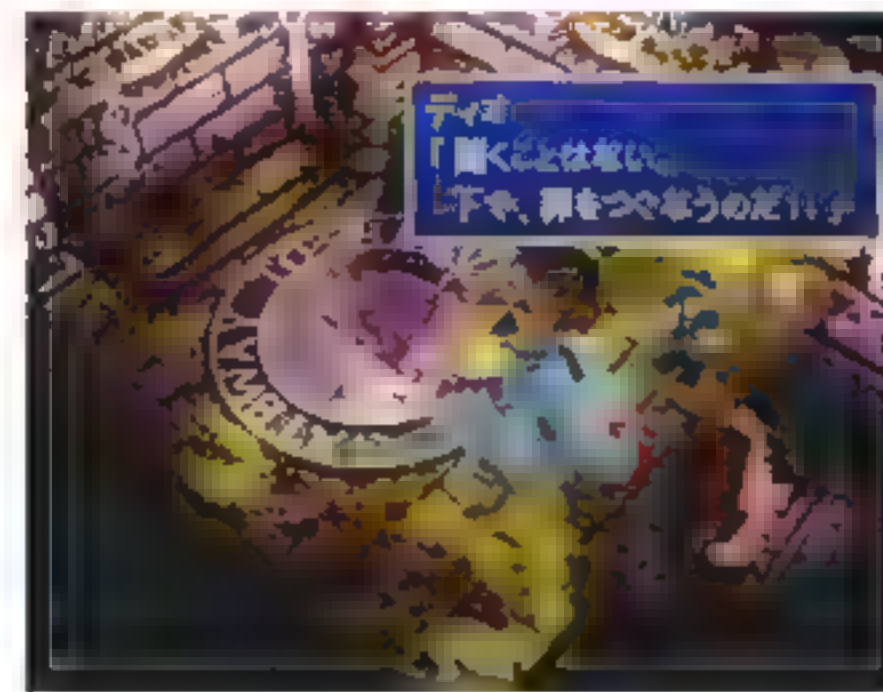
Impressive Words

「これだから終電はまいるよ……はあ……」
——列車内部：アバランチと出くわしたことをなげいて

ゴールドソーサーの人々

熱い戦いを好む気さくな園長 ・登場場所・ゴールドソーサー

ディオ

ゴールドソーサーの園長を務めるナイスガイ。外見にたがわず豪快な性格だが、自分のことを「ディオちゃん」と呼ばせるなどの茶目っ気も持つ。世界中の珍品を集めており、ゴールドソーサー内のバトルスクエアにおいて自慢のコレクションを展示中。そのうちのひとつであるキーストーンを渡す条件として、クラウドを闘技場に挑ませた。

←ふだんは温厚だが、園内の規律を乱す者には厳しく、誤解からクラウドたちを罰する場面も。

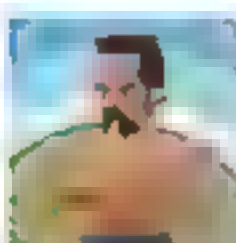
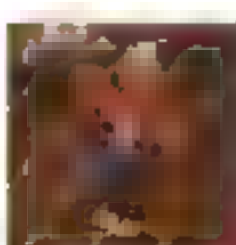
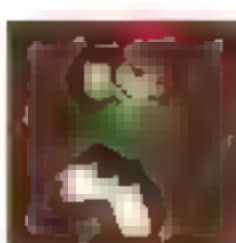
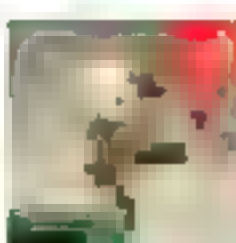
Impressive Words

「私は、ここゴールドソーサーの園長ディオという。気軽に「ディオちゃん」と呼んでくれ」
——ゴールドソーサー：クラウドたちに楽しんでいるかと声をかけて

「ここは、闘技場だ。少年のその力、わたしに見せてくれたまえ」
——ゴールドソーサー：キーストーンをゆずる条件をクラウドに提示して

そのほかのおもなサブキャラクター

ミッドガルの人々

ヒーちゃん
登場場所 伍番街スラム教会
Words 「ヒーちゃんたちねえ、ここのお花ねえ、おせわしてんの」
友達とふたりで、エアリスのかわりに教会の花畑を世話している女の子。

ムッキー
登場場所 蜜蜂の館、コスタ・デル・ソル
Words 「どうだい?　ぼうず。ムッキーの青春サークルに入らないかい?」
ビキニパンツ一丁で現れるマッチョマン。若い男性を見ると、青春や人生のはかなさについて熱く語り出す。

コッチ
登場場所 コルネオの館
Words 「カワイイ女の子とスウィートな恋人どうしを演じてみたかっただけなのに……」
ドン・コルネオの部下その1。ティファがコルネオに選ばれた場合、エアリスに階段から突き落とされる。

ソッチ
登場場所 コルネオの館
Words 「コノヤロ～!　だましやがったな!　やれ!　やっちまえ!!」
ドン・コルネオの部下その2。クラウドがコルネオに選ばれなかった場合、変装を解いたクラウドに倒される。

ドミノ
登場場所 神羅ビル
Words 「市　長　最　高　!!　なんとすばらしいひびき!」
ミッドガルの市長。神羅への腹いせに、クラウドたちにカードキーを賭けてクイズを出す。

ハット
登場場所 神羅ビル
Words 「市民のみなさんにサービスすることこそわたくしたち役人のよろこび」
ドミノ市長の補佐係。クイズのヒントを有料でクラウドたちに提供し、小銭かせぎに精を出す。

チョコボファームの人々

グリン
登場場所 チョコボファーム
Words 「今なら、1匹10000ギルで6匹までおあずかりできますがどうでしょう?」
チョコボファームのオーナー。グリングリンとクリンの祖父で、商魂たくましい老人。

グリングリン
登場場所 チョコボファーム
Words 「今なら『チョコボよせ』を2000ギルで売ってあげるよ。買うかい?」
グリンの孫で、チョコボの管理を担当している。損得勘定に厳しく、幼いながらも商才を発揮する。

クリン
登場場所 チョコボファーム
Words 「グリングリンお兄ちゃんやグリンおじいちゃんを怒らないでね」
グリンの孫娘。両親を失ってから金にがめつくなってしまった、祖父や兄の態度に胸を痛めている。

ジュノンの人々

プリシラ
登場場所 アンダージュノン
Words 「すごいでしょ!　このホイッスルを吹くとイルカさんがジャンプしてくれるの」
イルカと仲良しな女の子。クラウドの人工呼吸で一命を取りとめて以来、クラウドを熱烈に慕うようになる。

神羅隊長
登場場所 ジュノン、海底魔晄炉
Words 「よしっ、新入り!!　特別におまえに決めさせてやる!　得意のキメポーズ、やってみろ!」
新社長歓迎パレードでクラウドが世話になる、怒りっぽい隊長。潜水艦奪取のときに、部下とともに再登場する。

神羅警備兵
登場場所 ジュノン、海底魔晄炉
Words 「自分はくいがのこるであります!　一度も実戦でスペシャルポーズやったことがないであります!」
新社長歓迎パレードでクラウドの面倒を見る先輩兵士たち。クラウドの勝利ポーズを気に入り、特訓をはじめる。

コスタ・デル・ソルの人々

ブッチ
登場場所 コスタ・デル・ソル
Words 「いやあ、ピチピチした女の子でもやとって楽がしたいですなあ」
コスタ・デル・ソルのマテリアショップの経営者。バイトとして雇ったユフィに、マテリアを根こそぎ奪われる。

コレルの人々

ミーナ
NO IMAGE
登場場所 ―
Words ―
バレットの妻。4年前、コレル村が神羅によって焼き払われたときに命を落とす。

エレノア
NO IMAGE
登場場所 ―
Words ―
ダインの妻で、マリンの実母。ミーナと同様に、コレル村が焼失したときに亡くなった。

ゴールドソーサーエリアの人々

コーツ
登場場所 コレルプリズン
Words 「ここはゴールドソーサーのゴミすて場。てめえらもクズなんだよ」
コレルプリズンとゴールドソーサーの仲介役。言葉づかいが荒く、一見適当そうだが、規律には厳しい。

エスト
登場場所 ゴールドソーサー
Words 「おめでとう!!　これで晴れて自由の身よ」
チョコボレーサーのマネジメントを担当する女性。クラウドのレーサーとしての才能に目をつける。

ジョー
登場場所 ゴールドソーサー
Words 「やあ、エスト。今日も美しいね」
相棒のトウホウフハイを駆る超一流のチョコボレーサー。黒いテンガロンハットがトレードマーク。

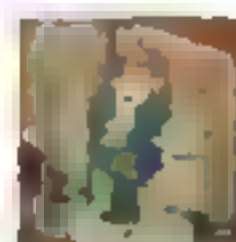
ゴンガガの人々

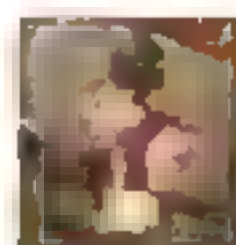
ザックスの両親
登場場所 ゴンガガ
Words 母「6,7年前に手紙がきてガールフレンドができましたって書いてあったけど、あんたかい?」
10年ほど前に村を飛び出した息子の帰りを待つ、ザックスの両親。息子の安否をクラウドたちに尋ねる。

コスモキャニオンの人々

長老ハーゴ
登場場所 コスモキャニオン
Words 「ワシの仕事はこの谷につたわる伝説や星の知識を本にすること」
コスモキャニオンに住む長老のひとり。約束の地について、彼なりの解釈を語ってくれる。

長老ブーガ
登場場所 コスモキャニオン
Words 「古代種といえばガスト博士なのじゃ。時々ここにも来ておった」
コスモキャニオンに住む長老のひとり。ガスト博士と親交があり、古代種に関する話を聞かせてくれる。

ウータイの人々

ゴーリキー
登場場所 ウータイ
Words 「では、この1階の相手はこの力の強聖ゴーリキーがつとめさせていただきます!」
ウータイの五強聖のひとり。一番手としてユフィと戦う、五強の塔1階を守る「力」の強聖。

シェイク
登場場所 ウータイ
Words 「ヘン、何を言うかね!　どこぞのバカ娘よりはオラの方が、よっぽど大人よ!」
ウータイの五強聖のひとり。幼い少年でありながら、五強の塔2階を守る「速」の強聖。

チェホフ
登場場所 ウータイ
Words 「小娘が、いきがっておるとやけどくらいではすまぬぞえ」
ウータイの五強聖の紅一点。古風な雰囲気を漂わせた、五強の塔3階を守る「魔」の強聖。

スタニフ
登場場所 ウータイ
Words 「ユフィ殿。ウータイを思う気持ちはそなたもゴドー様もいっしょ。それだけはお忘れなきよう……」
ウータイの五強聖のひとり。これまで一度も敗れたことのない、五強の塔4階を守る「武」の強聖。

アイシクルエリアの人々

ホルゾフ
登場場所 ホルゾフの小屋
Words 「ここに来るまで、かなり体力を使ったんじゃないのかい?　少し休んでから出発しなさい」
ガイアの絶壁のふもとに住む登山家。冒険者たちに雪山の厳しさを説き、「ほんの少しの休息」を提供している。

ヤマスキー
NO IMAGE
登場場所 ―
Words ―
ホルゾフの友人。ホルゾフとともにガイアの絶壁に挑んだが、己の限界をさとり、みずから吹雪のなかに消えた。

雪女
登場場所 大氷河
Words 「よくもあの汚い温泉にさわった手でこの私に触れたな。おまえたちはゆるさないぞ」
温泉嫌いと噂される雪女。クラウドたちが温泉に触れている場合、怒りに身をまかせて襲ってくる。

チョコボせんにん
登場場所 チョコボせんにんの家
Words 「なんじゃったかのぉ…ぜんぜん思い出せんのぉ」
チョコボについて多くの知識を持つすごい老人。しかし、高齢のためか、記憶を掘り起こすのに時間がかかる。

飛空艇の人々

見習いパイロット
登場場所 飛空艇ハイウインド
Words 「あわ!　いくですか?」
ハイウインドを操縦するパイロット。クラウドたちとの旅を通じて一人前のパイロットに成長する。

ミディールの人々

ドクター
登場場所 ミディール
Words 「本当の彼は別の場所にいるんだ。誰もいったことがないような遠い場所に……ひとりぼっちでね……」
魔晄中毒におちいったクラウドの主治医。クラウドの病状に打ちひしがれたティファや仲間を励ましつづけた。

ULTIMANIA CHECK 『FF』キャラクターin Other Games①

『FF』シリーズのキャラクターは、作品のワクを越え、ほかのゲームにも多数出演している。ここでは、そういったキャラクターが登場する続編タイトルや派生作品を紹介しよう。

コンピレーション オブ ファイナルファンタジーVII

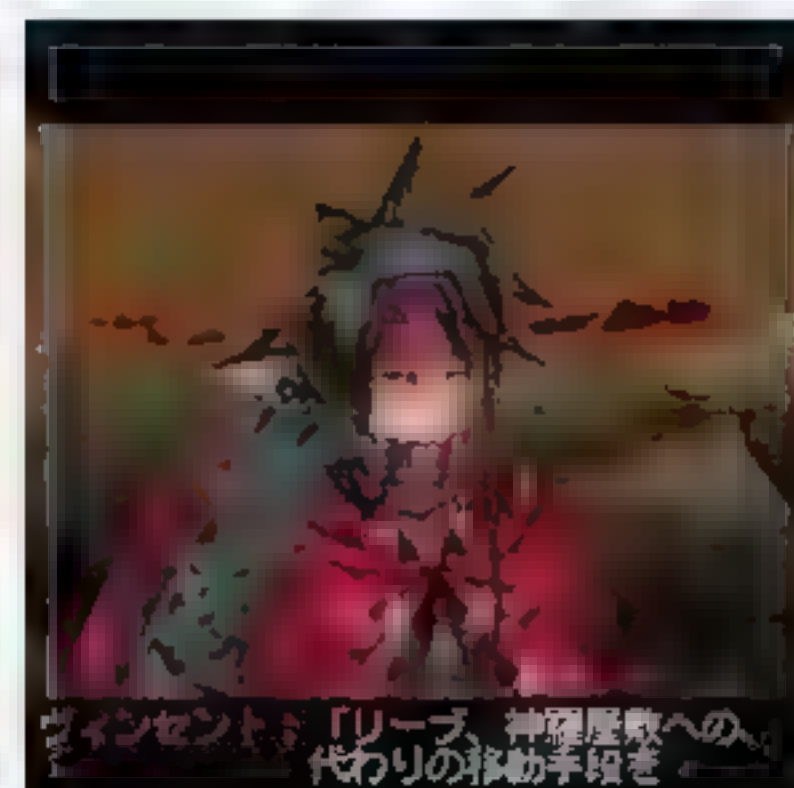
「コンピレーション オブ ファイナルファンタジーVII」とは、『FFVII』から派生した作品群のこと。アクションRPG、ガンアクションRPG、CG映像作品など、多様なジャンルで展開されているのが特徴だ。いずれも『FFVII』の過去や未来のエピソードを描いており、多くのキャラクターが複数のタイトルに出演している。これらの作品によって、本編では描かれない昔の出来事や、その後の物語が明らかになるわけだ。なお、各タイトルが物語上のどの時期に対応しているかは、下の表を参照。

⬅『クライシス コア』の主人公はザックス。彼を見舞う悲劇に至るまでの物語が描かれる。

➡プレイヤーがタークスとなって活動する『ビフォア クライシス』。携帯電話ならではの仕組みも搭載。

⬆『FFVII』の正統な続編としてリリースされた、フルCGの映像作品『アドベントチルドレン』。

⬅オリジナルアニメ作品『ラストオーダー』は、ニブルヘイム事件の様子を独自の解釈で描く。

➡『ダージュ オブ ケルベロス』は、ヴィンセントを主人公としたガンアクションRPGだ。

⬅『ダージュ オブ ケルベロス』の幕間に起こる出来事を取り上げた『ダージュ オブ ケルベロス ロスト エピソード』。

◆「コンピレーション オブ ファイナルファンタジーVII」作品

時期	タイトル	機種／発売日(配信日)
7年前	クライシス コア -ファイナルファンタジーVII-	●プレイステーション・ポータブル ●2007年9月13日
6年前	ビフォア クライシス -ファイナルファンタジーVII-	●携帯電話 ●2004年9月24日
5年前	ラストオーダー ファイナルファンタジーVII(※1)	●DVDビデオ ●2005年9月14日(※2)
3ヵ月前	ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン	●DVDビデオ、UMDビデオ ●2005年9月14日
2年後	ダージュ オブ ケルベロス -ファイナルファンタジーVII-	●プレイステーション2 ●2006年1月26日
3年後	ダージュ オブ ケルベロス ロスト エピソード -ファイナルファンタジーVII-(※1)	●携帯電話 ●2006年11月1日

※1……コンピレーション外の作品　※2……『ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン』の限定BOXに同梱

クライシス コア -FFVII-

クラウド / ティファ / エアリス / ケット・シー / ユフィ / セフィロス / 宝条 / ツォン / レノ / ルード / ザックス / チョコボ / モーグリ

※偵察用ガンブルヘッド(メカ兵器)の名前としてビッグスとウェッジも登場。そのほかのガンブルヘッドにも、『FFX』のブリッツボール選手の名前などがついている

ビフォア クライシス -FFVII-

クラウド / ティファ / エアリス / バレット / レッドXIII(※3) / ケット・シー / ユフィ / ヴィンセント / シド / セフィロス / プレジデント神羅 / ハイデッカー / スカーレット / 宝条 / リーブ / ルーファウス / ツォン / レノ / ルード / イリーナ / ザックス / チョコボ

※ザンガンも登場
※3……作中での名前は「ナナキ」

FFVII アドベントチルドレン

クラウド / ティファ / エアリス / バレット / レッドXIII / ケット・シー / ユフィ / ヴィンセント / シド / セフィロス / ルーファウス / レノ / ルード / ザックス / マリン

※リーブ、ツォン、イリーナも登場。そのほか、序盤のシーンでモーグリのぬいぐるみが映し出される

ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-

クラウド / ティファ / バレット / レッドXIII / ケット・シー / ユフィ / ヴィンセント / シド / 宝条 / リーブ / ルクレツィア

ラストオーダー FFVII

クラウド / ティファ / セフィロス / 宝条 / ツォン / レノ / ルード / ザックス / ザンガン

ダージュ オブ ケルベロス ロスト エピソード -FFVII-

ケット・シー / ヴィンセント / ルクレツィア

※セリフのみでリーブも登場

ファイナルファンタジーXII レヴァナント・ウイング

機種 ニンテンドーDS
発売日 2007年4月26日

『FFXII』のその後の物語を描く『FFXII レヴァナント・ウイング』では、大勢のキャラクターが『FFXII』から引きつづき登場する。さらに、『FFIV』で仲間の名前を変更してくれたネミングウェイと同名のキャラクターとも会えるのだ。

⬅ギルガメッシュと相棒のエンキドゥは『FFXII』でも登場したが、本作では幻獣として姿を見せる。

ほかの『FF』シリーズと共通するキャラクター

チョコボ　モーグリ　ネミングウェイ　ギルガメッシュ

『FFXII』から登場するキャラクター

ヴァン　アーシェ　バッシュ　パンネロ　バルフレア
フラン　ラーサー　バッガモナン　ギジュー　ブワジ
リノ　ノノ　トマジ　カイツ　フィロ
リッキー　エルザ　ラズ

ファイナルファンタジータクティクス

機種 プレイステーション
発売日 1997年6月20日

ファイナルファンタジータクティクス 獅子戦争

機種 プレイステーション・ポータブル
発売日 2007年5月10日

『FF』シリーズ初のシミュレーションRPGとしてリリースされたのが『ファイナルファンタジータクティクス(以下、FFT)』だ。物語の舞台は、『FFXII』のはるか未来の世界とも考えられるイヴァリース中世で、シドやチョコボといった定番のキャラクターだけでなく、『FFVII』などの登場人物も姿を現す。そのほか、サブイベントやミニゲームでも、『FF』シリーズに由来する人物の名前が確認できる。

⬆見たことのあるセリフをしゃべる、花売りの女性。彼女の名前はエアリスというそうだが……。

⬇『FFT』のリメイク作品である『FFT 獅子戦争』には、『FFXII』からバルフレアが出演している。

『FF』シリーズ作品から登場するキャラクター

シド(※1)　チョコボ　モーグリ
VII クラウド　XII バルフレア(※2)

※1……作中での本名は「シドルファス・オルランドゥ」
※2……『獅子戦争』のみに登場

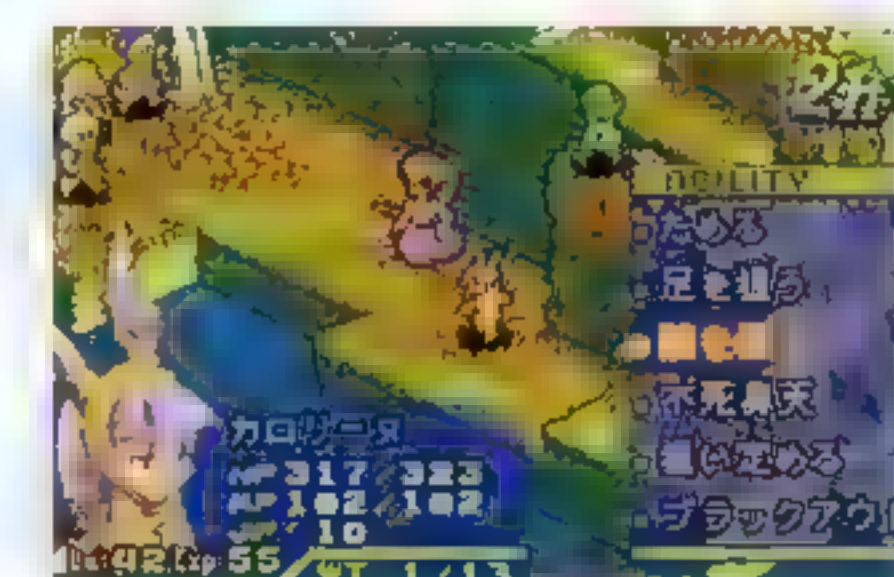
『FF』シリーズ作品に由来するキャラクター名

登場場所	キャラクター名
儲け話	IV ゴードン、レイラ、ポール III ウネ、グツコー　V ギルバート、アンナ VI セッツァー、モグ
秘境・財宝	XI マトーヤ　II ミンウ
書物シナリオ	ビッグス(※3)、ウェッジ　VI エドガー VII コルネオ、ジョー、トウホウフハイ(※4)、レッドセフィロス(チョコボの名前)

※3……作中での名前は「ピックス」
※4……『獅子戦争』では敵ユニットとしても登場

ファイナルファンタジータクティクス アドバンス

機種 ゲームボーイアドバンス
発売日 2003年2月14日

『FFT』の流れをくむ『ファイナルファンタジータクティクス アドバンス(以下、FFT-A)』には、シドやモーグリのほか、のちに発売された『FFXII』のキャラクターも登場する。これは、先行して作られていた『FFXII』の世界観の一部が『FFT-A』に組み入れられたためだ。ちなみに、本作の世界イヴァリースが『FFXII』と同じものかどうかは明かされていない。

⬆人物名をはじめとして団体名や地名などは、『FFXII』と同じであっても、設定が微妙に異なっている場合が多い。

シド(※5)　モーグリ　XII モンブラン
XII ノノ

※クランの初期メンバーとして『FFXII』からモーニ、マッケンロー、カロリーヌも登場
※5……作中での本名は「シド・ランデル」

ファイナルファンタジータクティクス A2 封穴のグリモア

機種 ニンテンドーDS
発売日 2007年10月25日

『FFT-A2 封穴のグリモア』は、『FFT-A』の続編であると同時に、『FFXII レヴァナント・ウイング』の数年後が物語の舞台になっている。『FFXII』のキャラクターたちと再会できるほか、『FFXII』とは別人のシドも協力してくれるのだ。

パンネロ、なんかおもしろいことになってきたみたいだぜ。

⬅ヴァン、パンネロ、アルシド、ハーディは、それぞれ特有のジョブに就いている。

シド　チョコボ　モーグリ　XII ヴァン
XII パンネロ　XII アルシド　XII モンブラン　XII ハーディ

※敵ユニットとして『FFXII』からモーニ、マッケンロー、カロリーヌ、バンサト、カトリーヌも登場

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル

機種 ゲームキューブ
発売日 2003年8月8日

ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル リング・オブ・フェイト

機種 ニンテンドーDS
発売日 2007年8月23日

もともとは任天堂との強力タッグによって生まれた外伝的作品が『ファイナルファンタジー・クリスタルクロニクル(以下、FFCC)』シリーズだ。『FF』シリーズ本編との関連は薄いものの、『FFIX』とのあいだには、モーグリの外見が似ているうえに特別な名前を持つ2匹が姿を見せるという共通点がある。なお『FFXII』には、『FFCC』で出会う人物(ハーディとガーディ)と同名のモーグリが登場。

⬅『FFCC』のアルテミシオンは、しましま盗賊団の一員としてプレイヤーの前に何度も現れる。

➡スティルツキンの結成したモーグリ集団が冒険の手ほどきをしてくれる、シリーズ第2作『リング・オブ・フェイト』。

モーグリ　IX スティルツキン　IX アルテミシオン

FINAL FANTASY® VIII

ファイナルファンタジーVIII

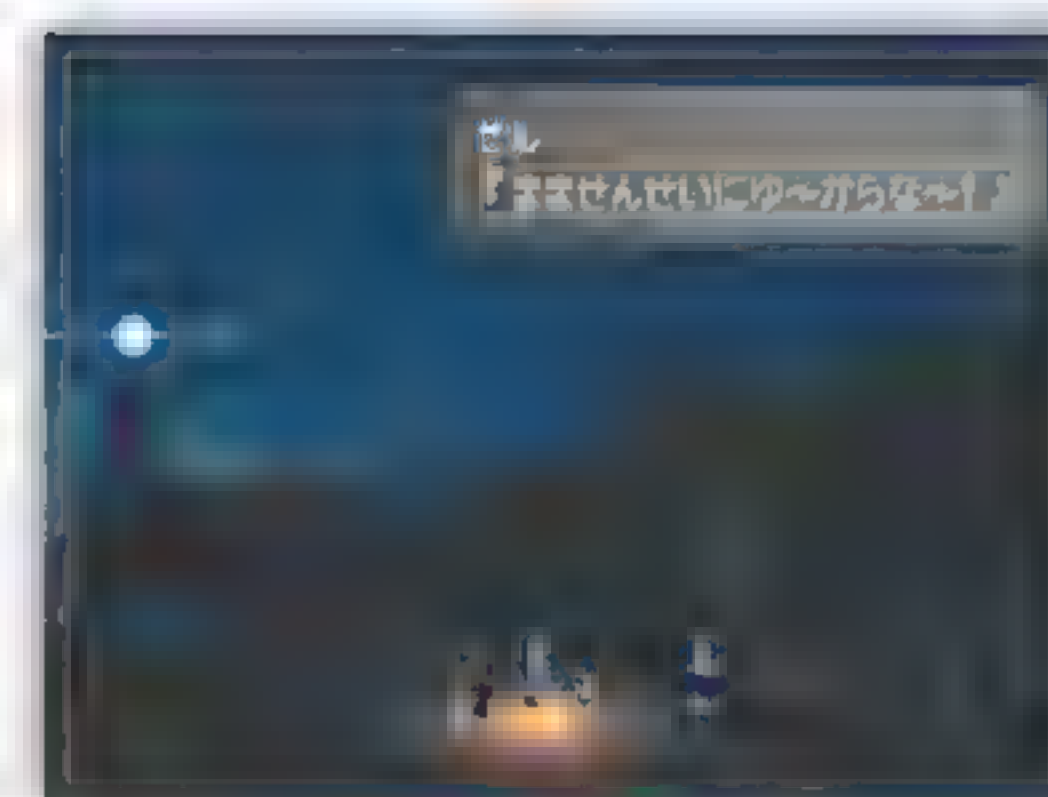
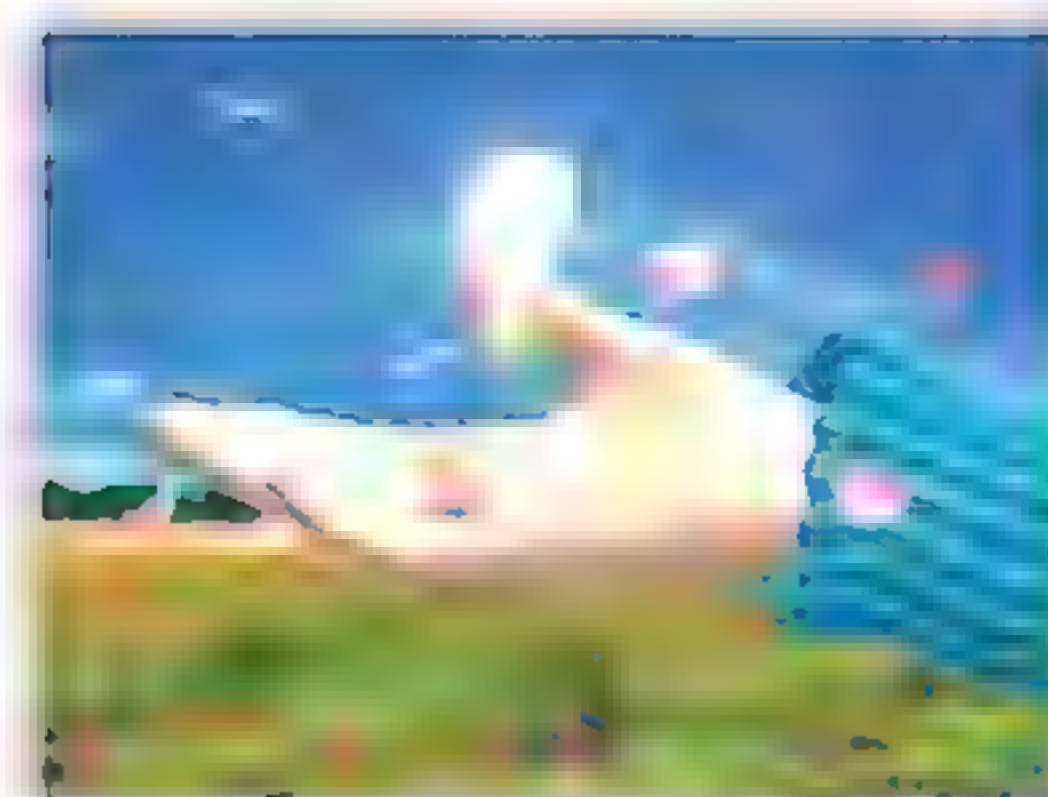
ファイナルファンタジーVIII

作品概要

恋愛や学園生活を物語の中心にすえた異色作。モンスターからドロー（吸収）した魔法やG.F.（召喚獣）を装備してキャラクターを強化するジャンクションシステム、ポケットステーションへの対応など、新機軸も多い。テーマソングを導入した、シリーズ最初の作品。

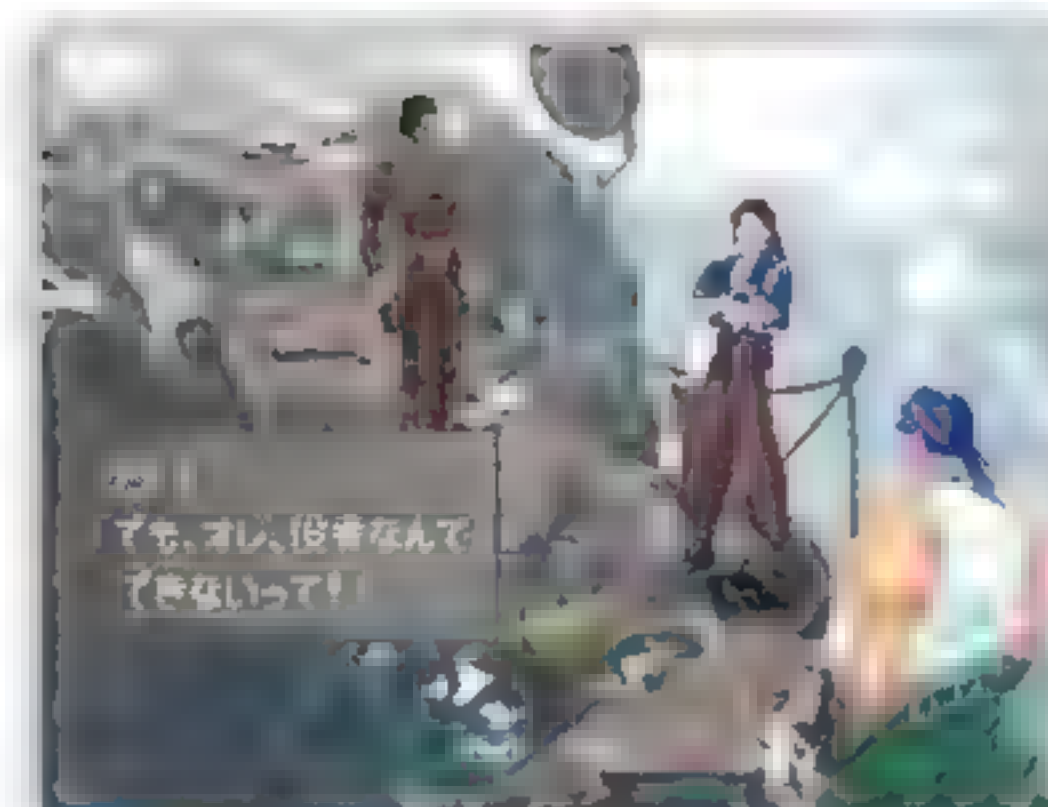
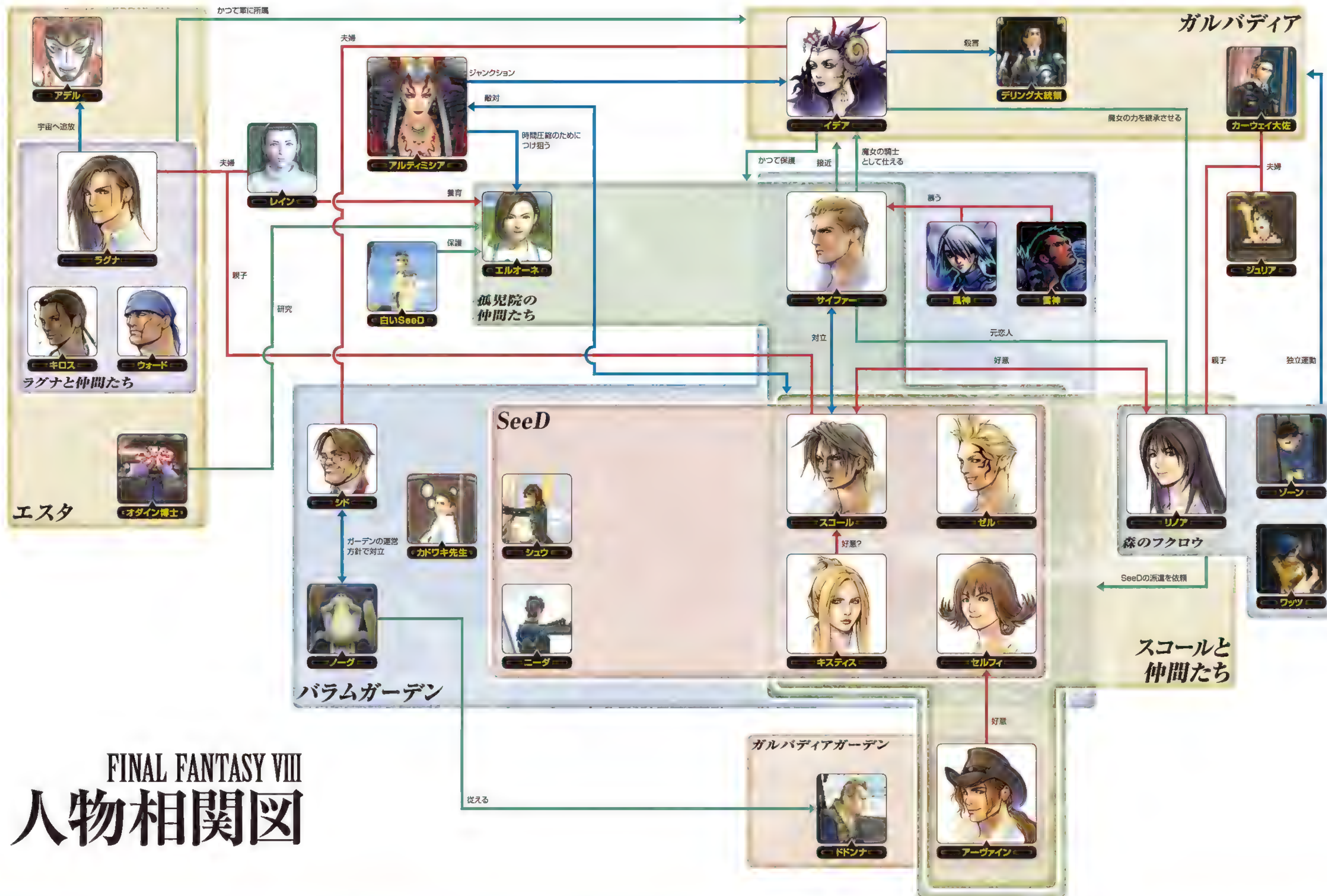
データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーVIII	プレイステーション	1999年 2月11日	8,190円(税込)	※1
ファイナルファンタジーVIII（発売元：エレクトロニック・アーツ・スクウェア）	Windows	2000年 3月23日	9,240円(税込)	※2

※1……アルティメットヒッツ版が2006年7月20日に2,625円(税込)で発売
※2……廉価版が2002年10月3日に7,140円(税込)で発売

STORY

魔女の力をめぐって引き起こされる悲劇に“伝説”のSeeDが立ち向かう

太古より受け継がれる「魔女の力」が存在する世界――人々は17年前まで、魔女アデルが支配する大国エスタによる侵略戦争の脅威にさらされていた。しかし、魔法の力と飛び抜けた科学力とを併せ持ち、圧倒的優位にあったはずのエスタは、ある日を境に完全に沈黙する。長くつづいた「魔女戦争」は当事国が鎖国体制を敷いたことで終戦を迎え、人々は疑念に駆られながらも、訪れた平和な時代を謳歌した。

そして、現在――。謎に包まれたままのエスタへの不安から軍備を増強し、軍事大国となった西のガルバディアが、新たに世に現れた魔女イデアと手を結んで平和をおびやかそうとしていた。傭兵養成学校バラムガーデンに所属する特殊部隊SeeDのひとりスコールは、ガーデンの仲間たちやレジスタンスの少女リノアとともに、ガーデンを激しく敵視するイデアとの戦いへと否応なしに駆り出されていく。それが、失ってしまった過去の記憶を取りもどし、世界の未来を救う旅のはじまりになるとも知らず……。

スコール

Squall Leonhart スコール・レオンハート

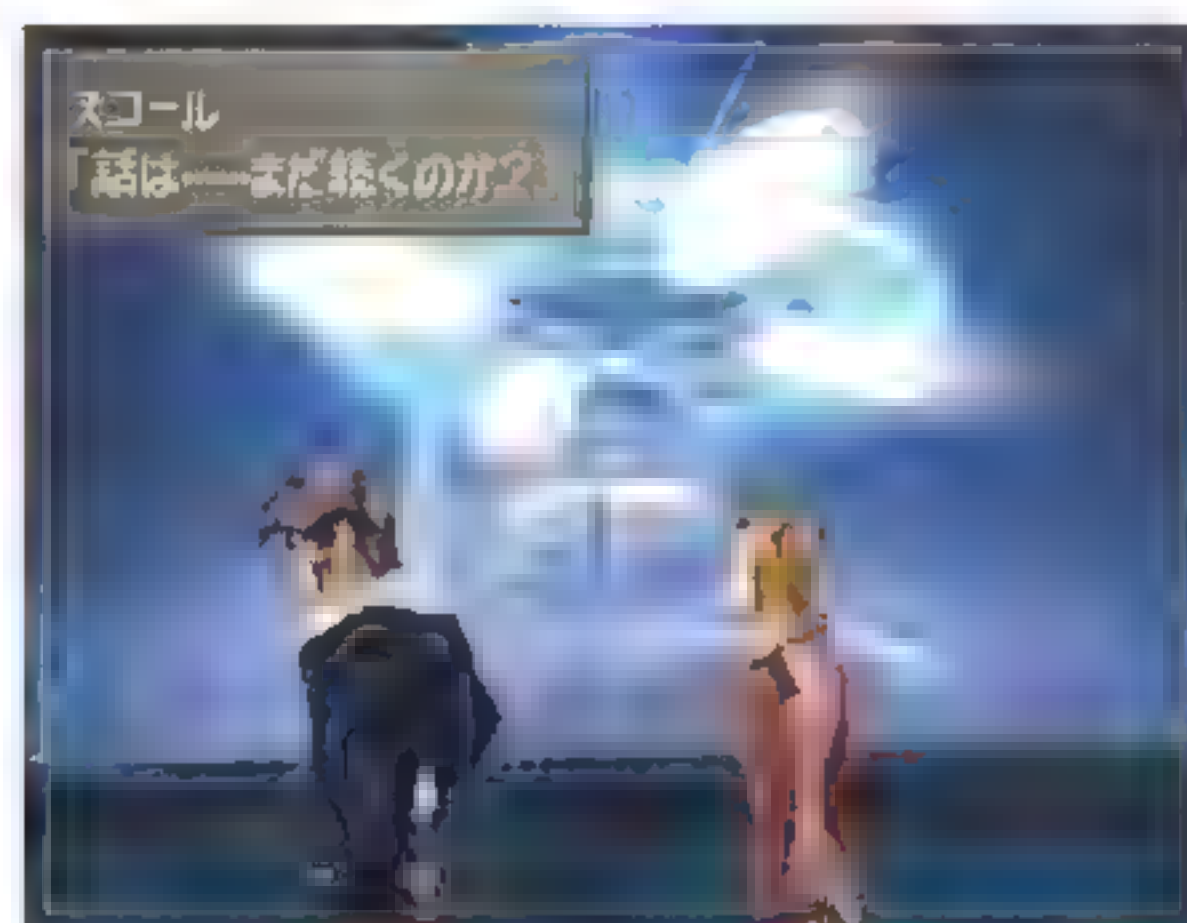
Personal Data

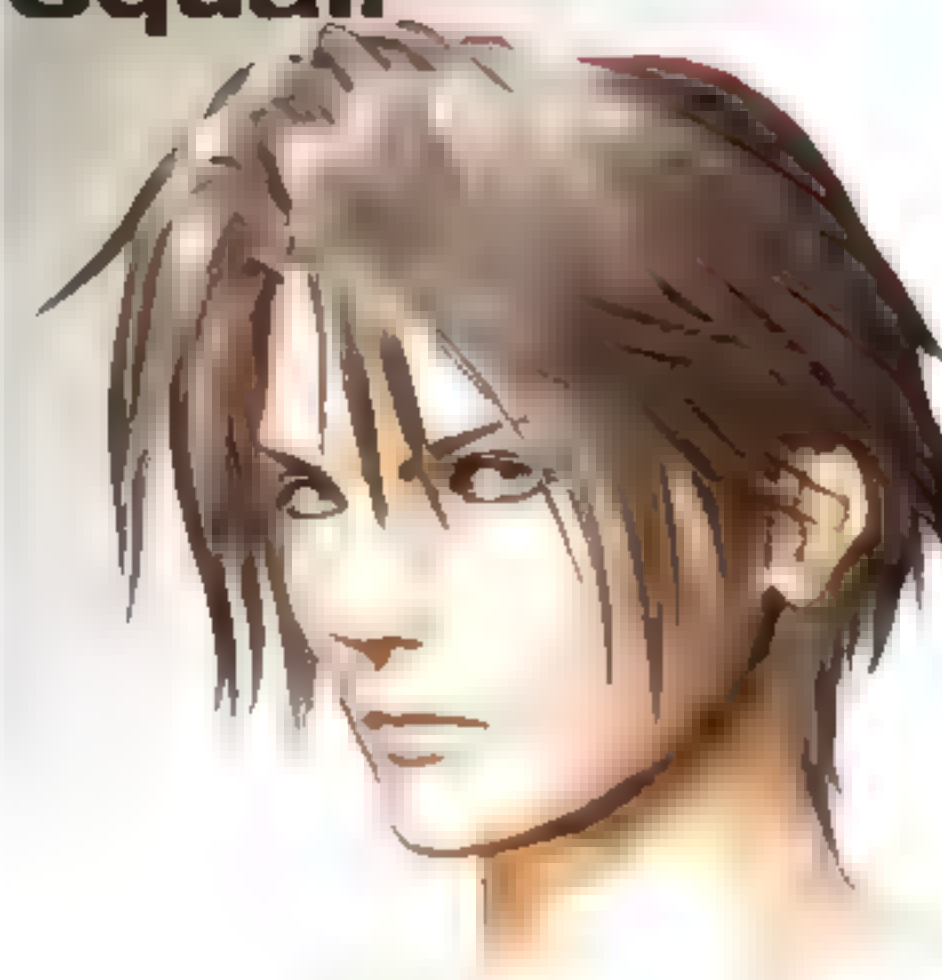
性別	男	誕生日	8月23日
年齢	17歳	血液型	AB型
身長	177cm	武器	ガンブレード
モーションアクター	天尾俊治		

傷つくことを恐れるあまり孤独であろうとする若獅子

傭兵を養成する学園・バラムガーデンに所属し、特殊部隊SeeDの候補生として訓練に励む青年。SeeDの選抜試験に合格したのち、ティンバーのレジスタンス組織「森のフクロウ」のサポートに送りこまれ、そこでリノアと関わったことから、彼の運命は大きく動きはじめる。

精神の一部に常駐させる自律エネルギー体"ガーディアン・フォース(G.F.)"を用いる影響で幼少時の記憶を失っており、過去のつらい思い出が漠然とした恐れとなって、他人を拒絶するかたくなな性格を作り上げてしまっていた。しかし、信頼できる仲間たちとの関わりのなかでしだいにそのカラを破っていき、物語の終盤では、恋をはぐくんだリノアの窮地を救うべく、未来の魔女アルティミシアとの戦いへと果敢に挑む。

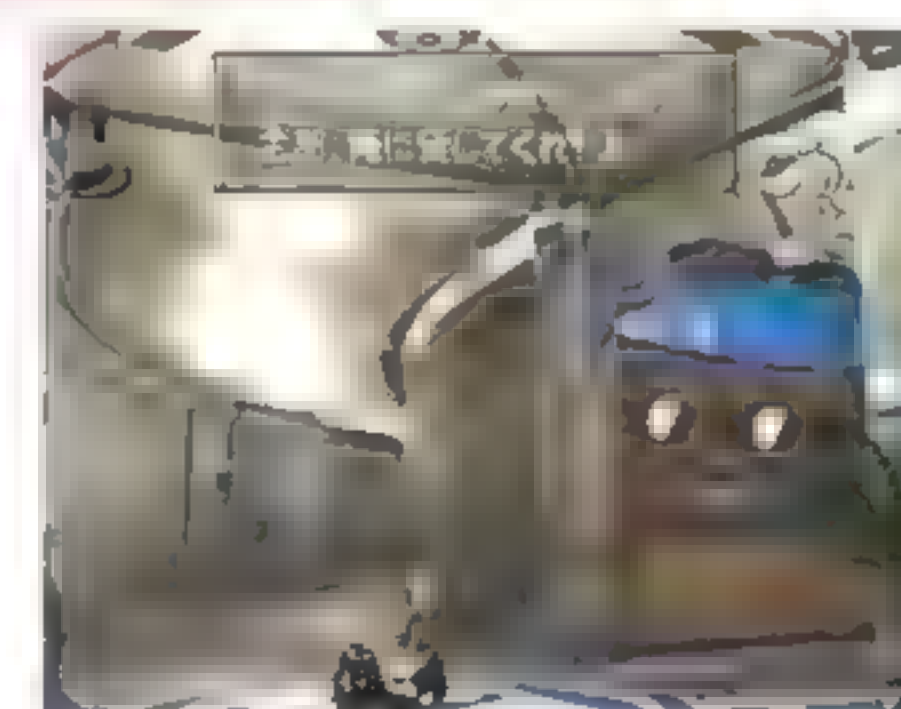
⬆強い自立心を抱くあまり、挑発されるとムキになる。眉間の傷はサイファーとの相討ちによるもの。

⬅物語の序盤は異性から積極的なアプローチを受けても、とことん冷淡に突き放す。

Topics of Squall

誰にも頼らず生きていこうとする決意

優等生のスコールは、ガーデンで知らない者がいないほどの有名人。整ったルックスとクールな物腰にひかれる女子生徒はもちろん、同性からも頼りにされる存在ながら、当人はそうしたなれ合いや仲間意識を徹底して嫌う。それは幼いころに体験した、姉にも等しいエルオーネとの別離の反動からくるもので、二度とそんな思いをしたくないがゆえに、誰とも親しくしないという矛盾した考えにおちいっている。

⬆スコール自身も思い出せないつらい記憶が、孤独を好むポーズを作り上げてしまった。

高いカリスマ性は生まれつき?

誰との関わりも拒絶しようとする姿勢とは裏腹に、気がつけば班長や委員長といった、責任ある立場に置かれてしまうスコール。もちろん有能であることも一因なのだが、何より彼には、無愛想にしていてさえ人を引きつける魅力が備わっている。顔も知らない父親から受け継いだカリスマ性だ。

⬅かっこつけようなどと意識しなくても、決めるべきところはビシッと決める天性の資質。

リノアと過ごした時間がスコールを変える

ティンバーでのリノアとの再会が、ひとりだけの世界に閉じこもろうとするスコールの精神に少しずつ変化をもたらしていく。簡単に心の垣根を跳び越えてくるリノアを、最初はうっとうしく感じていたスコールだったが、いつしか彼女なしではいられなくなってしまった自分に気がつくのだ。

⬅リノアとの出会いはSeeDの就任パーティ。思えばこのときから、スコールは恋の魔法に?

Impressive Words

物語序盤では憎々しいまでにクールな態度で他人に接するが、リノアとの出会いを境に孤高を装う仮面がはがれはじめる。恋とは裸の自分にもどることかも。

「だったら壁にでも話してろよ」
――バラムガーデン：話を聞いてほしいというキスティスに

「あんたの命令はおぼえてる。俺のそばから離れるな」
――デリングシティ：おびえて腕にしがみつくリノアに、安全な場所まで連れ出す命令を守るという意味で

「俺……本当は他人にどう思われてるか、気になって仕方ないんだ。でも、そんなこと気にする自分も嫌で……。だから……自分のこと、他人に深く知られたくなかったんだ」
――ホライズンブリッジ：目覚めないリノアに本心を告白して

「魔女でも……いいさ」
――エスタ国立魔女記念館：封印されかけたリノアを奪還した直後に

リノア

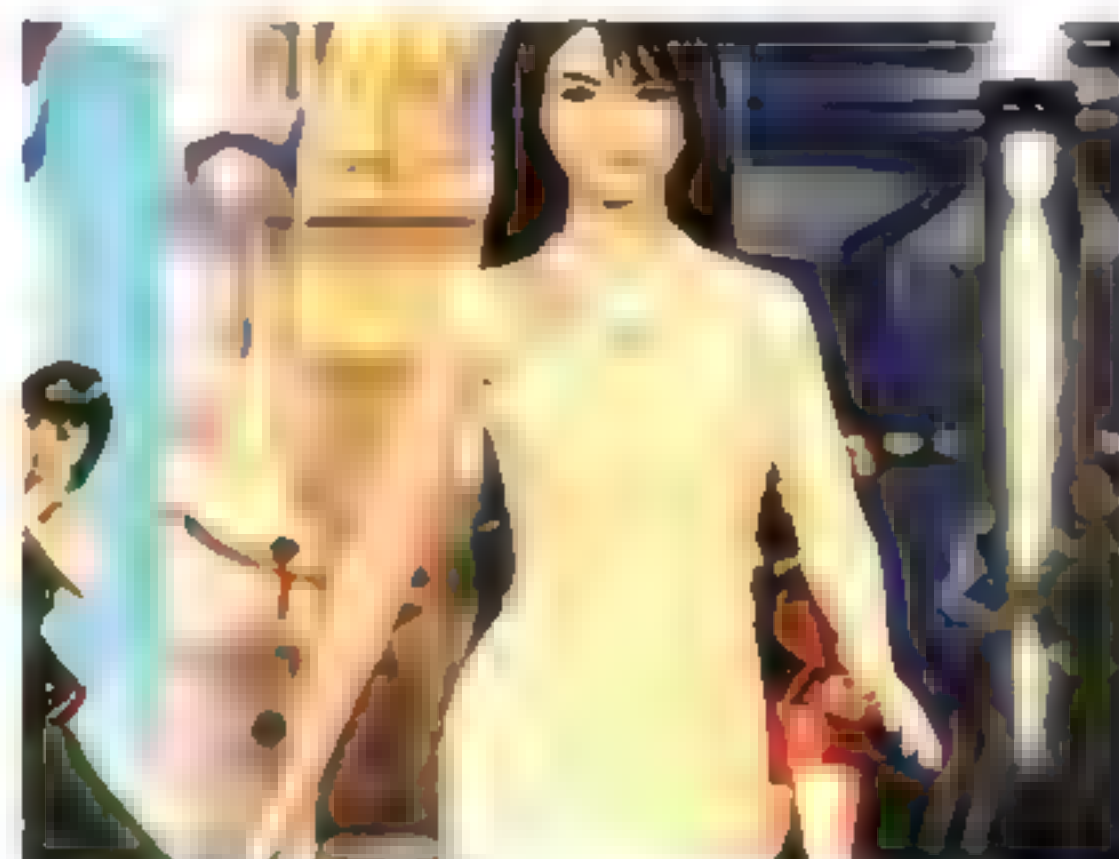
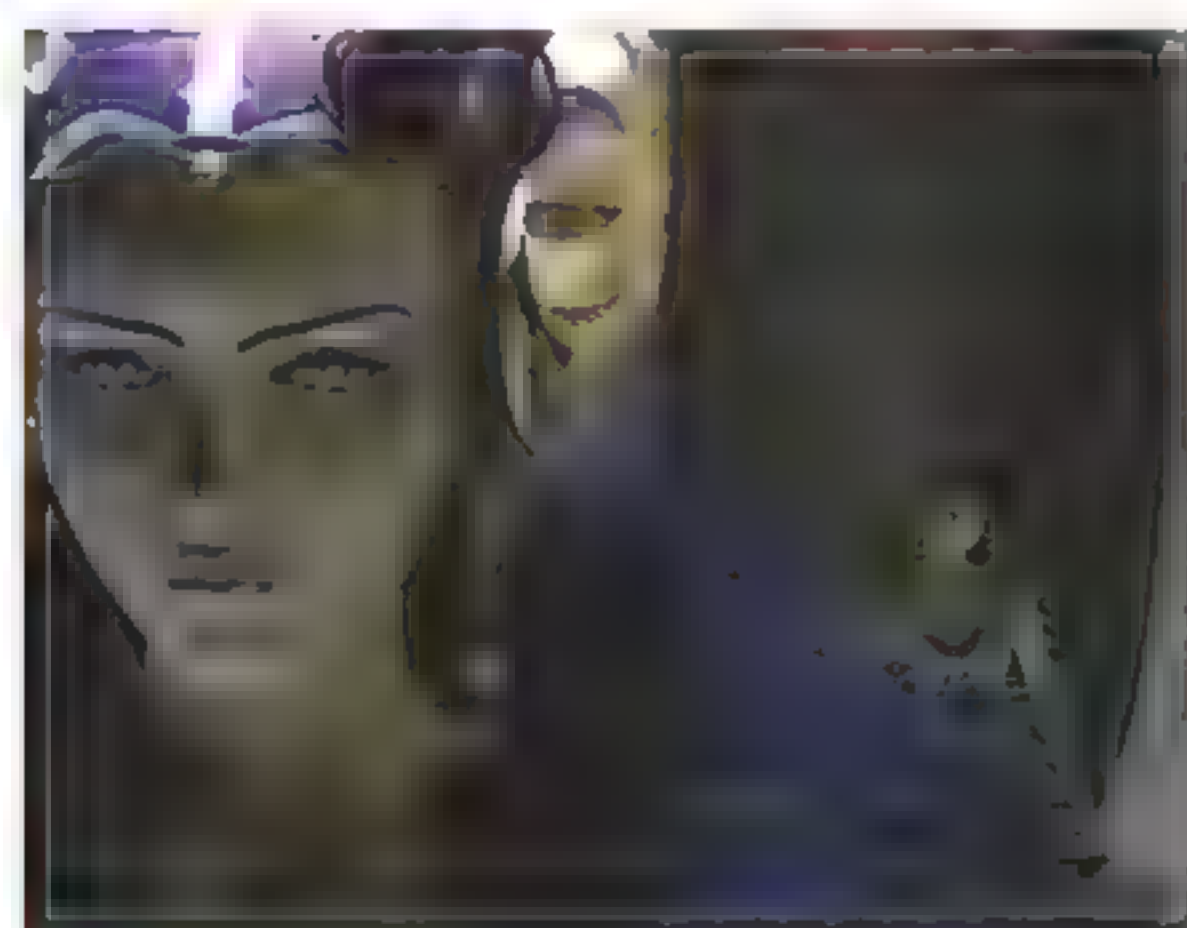
Rinoa Heartilly リノア・ハーティリー

Personal Data

性別	女	誕生日	3月3日
年齢	17歳	血液型	?
身長	163cm	武器	ブラスターエッジ
モーションアクター	青木麻由子		

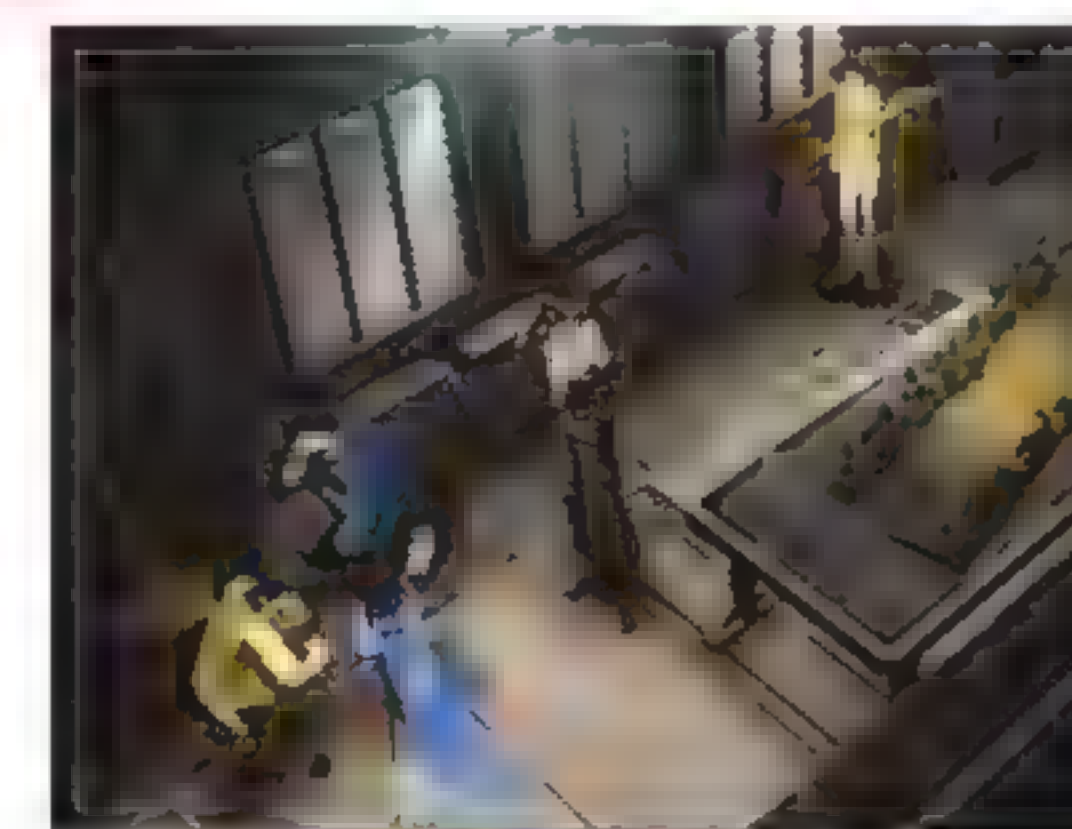
レジスタンスに身を置く 予測不可能な大胆美少女

ティンバー独立を目指すレジスタンス組織「森のフクロウ」に参加する、かわいいけれどちょっと変わった女の子。占領国ガルバディアのデリング大統領を誘拐する計画をくわだて、その助っ人としてSeeD派遣をバラムガーデンに依頼しに行き、スコールとの出会いを果たす。

父親はガルバディア軍の要職にあるカーウェイ大佐。しかし父への反抗から、亡き母の姓を名乗って家を飛び出し、本人は真剣なつもりで反政府活動に精を出している。スコールと知り合ってからは恋愛感情の芽生えもあって、魔女イデアとの戦いで危機的状況下にあるバラムガーデンで行動をともにすることに。その結果、新たな魔女として望まぬ力を受け継いでしまうが、それこそが最後に魔女をめぐる悲劇の連鎖を断つカギとなる。

⬆無愛想なスコールに、初対面だろうとおかまいなしに近づく。この人なつっこさがリノアの持ち味。

⬅魔女にも大胆に接近を図る。あとさきを考えない行動力は敵にも味方にも脅威だ。

Topics of Rinoa

ティンバーは第二の故郷

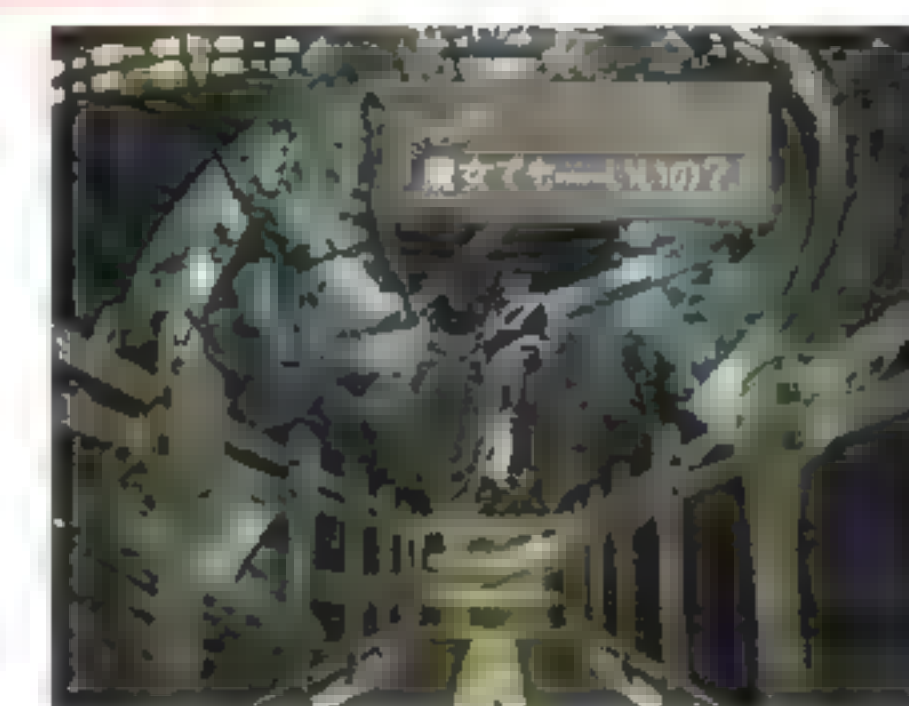
他人と裏表なく接するリノアは、地元出身者でなくとも完全にティンバーに溶けこんでいる。「森のフクロウ」でも、リーダーのゾーンをさしおいて実質的な指導力をふるっており、メンバーたちからは"姫"と呼ばれ、理不尽な行動を恐れられながらも、大切な仲間として愛されていた。行き当たりばったりに見える計画も、ティンバーを大切に想う彼女にしてみれば、臨機応変に最善を尽くしているつもりなのだ。

⬆事態の急変を受け、しゃがみこんでの緊急会議。はたからは、ふざけているように見える。

スコールへの恋に落ちて

魔女イデアの放ったモンスターから助けられたリノアは、そのときスコールが口にした「俺のそばから離れるな」のひとことで、すっかり恋する乙女になってしまう。スコールにしてみれば、この時点では深い意味はなかったのだが、これをきっかけにリノアの積極性は急激な上昇カーブを描くことに。

⬅バラムガーデンのスコールの部屋にも勝手に入りこんで起こしにくる。大胆きわまりない。

"魔女リノア"になってしまって

イデアから離れた魔女の力の、つぎの継承者になってしまったリノアは、驚くほどしおらしく、エスタでの幽閉を受け入れようとする。みんなに恐れられる前に消えてしまいたい……そんな彼女の言葉には、他人とのつながりを大切にして生きてきたリノアゆえの、覚悟と苦悩が表れている。

⬅悲壮な決意をしていただけに、自分を奪い返しにきてくれたスコールに、完全にトリコ。

Impressive Words

リノアの言動は何もかもが型破りで、良くも悪くも相手に強烈な印象を残す。ふつうの女の子にはない言語感覚は、つき合っているうちにクセになってくる?

「もしかして好きな子としか踊らないってやつ?」
「私のことが……好きにな〜る、好きにな〜る。ダメ?」
——バラムガーデン：SeeD就任パーティで、スコールをダンスに誘って

「やっぱり子供の遊びみたいに見えちゃう?　でも、本気なんだよ。痛いくらい……本気なんだよ」
——ティンバー：行き当たりばったりの計画をスコールに批判されて

「またまた、おハロー」
「寝言、言ってたみたいだけど教えません。な、散歩しよっか」
——バラムガーデン：自室で休んでいたスコールを起こしにきて

「ハグハグ。ギュ〜って。触れていたいよ。生きてるって、実感したいよ」
——飛空艇ラグナロク：宇宙空間から生還して、助けてくれたスコールに

キスティス

Quistis Trepe キスティス・トゥリープ

Personal Data

性別	女	誕生日	10月4日
年齢	18歳	血液型	A型
身長	172cm	武器	チェーンウィップ
モーションアクター	本山夏子		

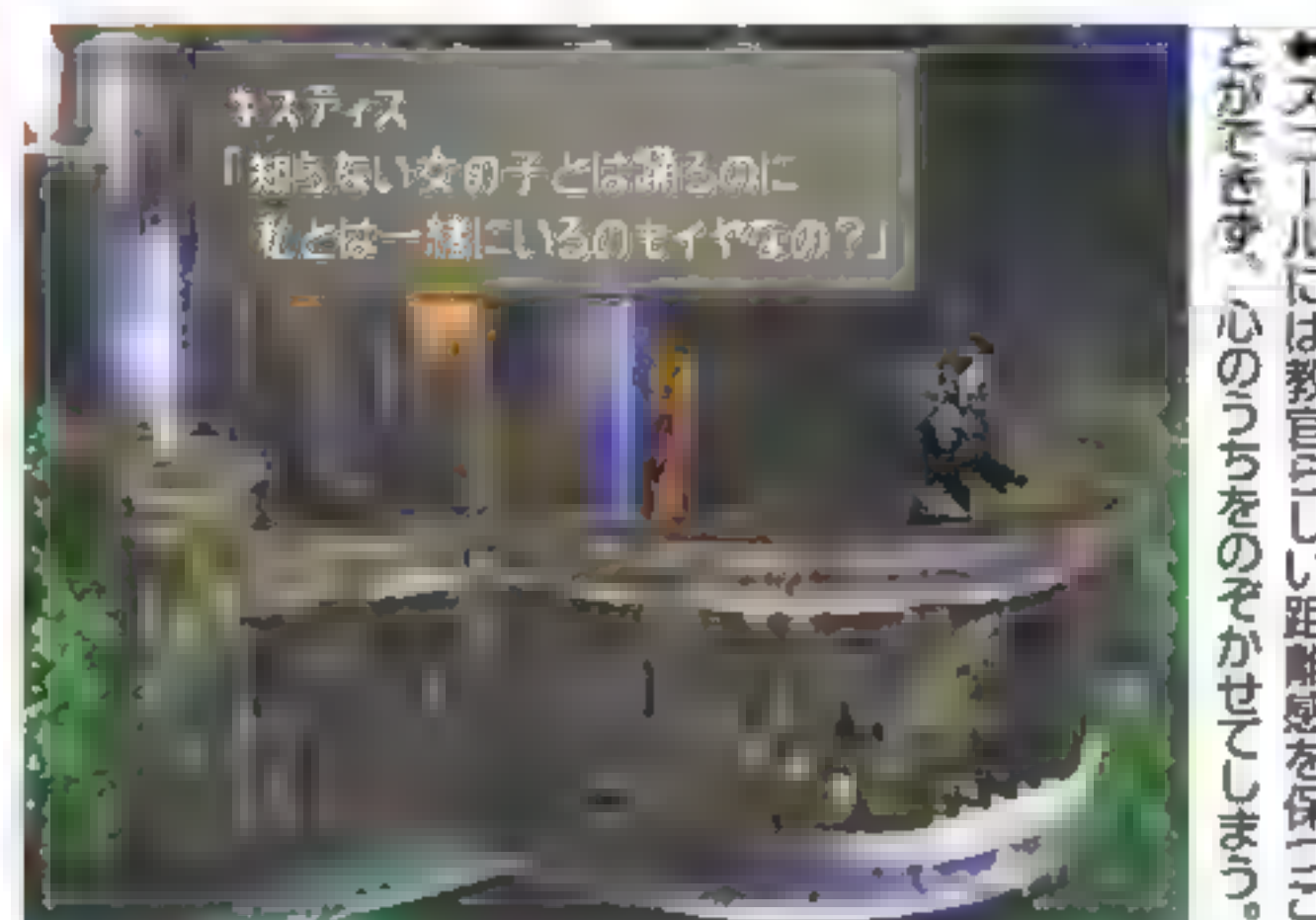
スコールを気にかける同じ年ごろの指導教官

バラムガーデンの現役SeeDでありながら、教員の資格も取得しており、同年代の生徒たちを指導する立場にある女性教官。10歳で入学してからわずか5年でSeeDに合格したという最年少記録の持ち主で、その美貌と才媛ぶりから男女を問わず生徒に支持され、「トゥリーブFC」を名乗る熱心な崇拝者も存在する。

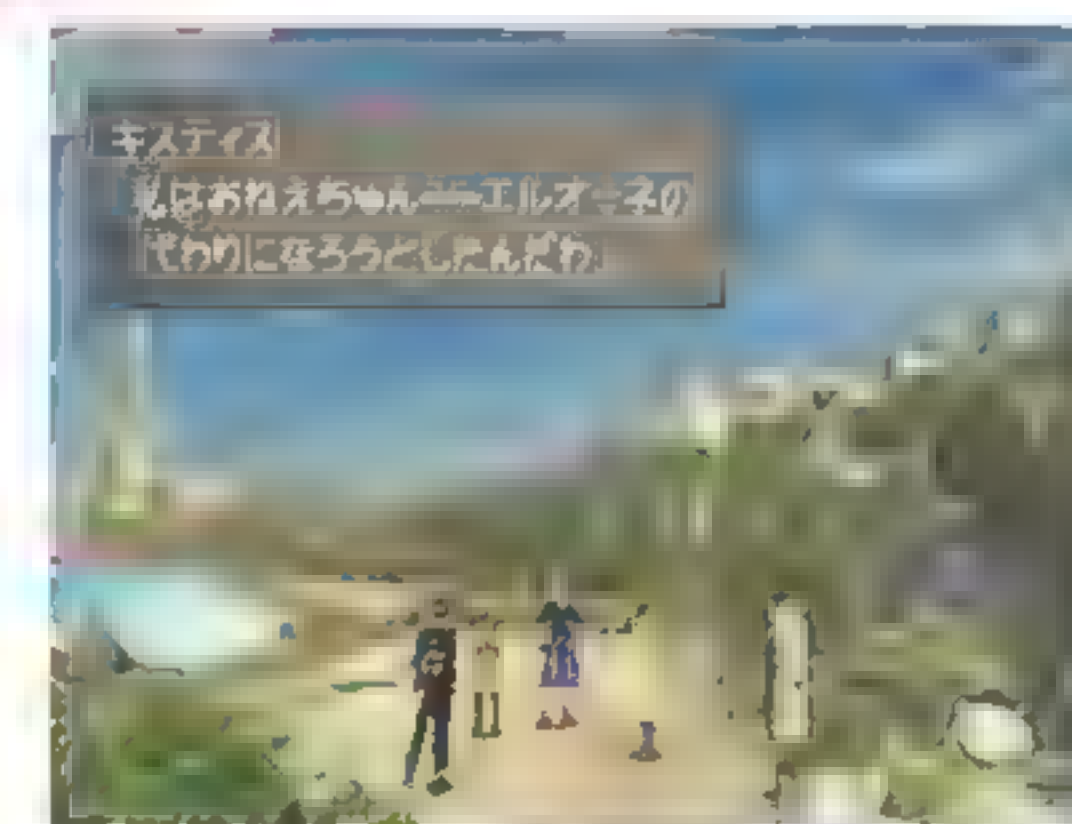
スコールを担当する指導教官だったが、彼のSeeD合格と時を同じくして、実地試験におけるサイファー暴走の責任を問われて教員資格を失ってしまう。その後はスコールたちと行動をともにし、経験豊富なSeeDとして活躍を見せる。

スコールに対しては、教官と生徒という関係を越えた、好意以上の感情を抱いていた。しかし、これはのちに、保護者のような気持ちであったことが判明する。

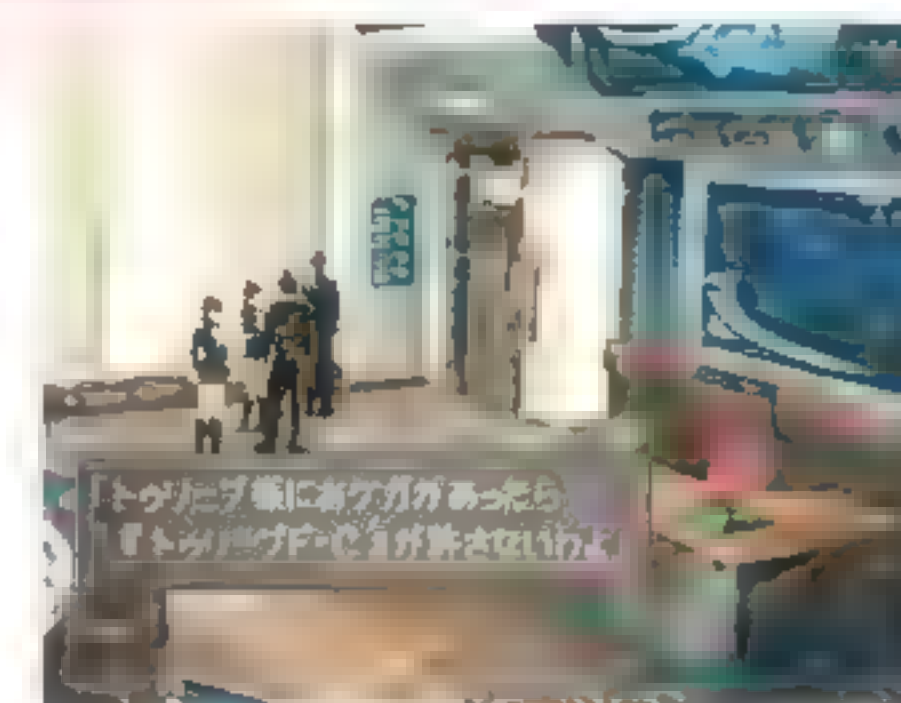
⬆担当教官として「スコール研究家」を自任し、スコールの発言を先読みしてからかうこともある。

⬅スコールには教官らしい距離感を保つことができず、心のうちをのぞかせてしまう。

Topics of Quistis

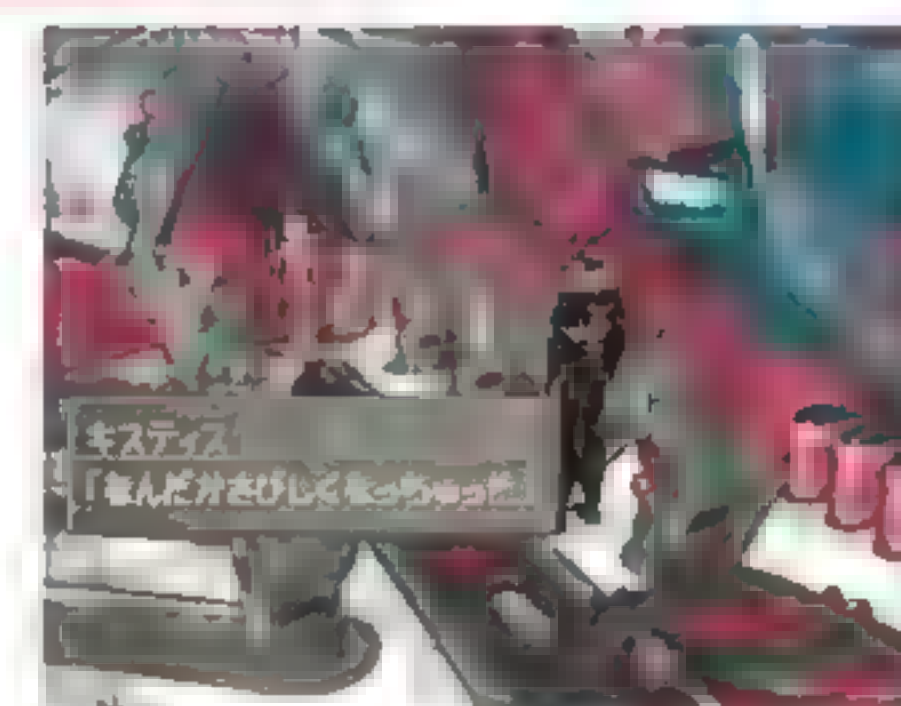
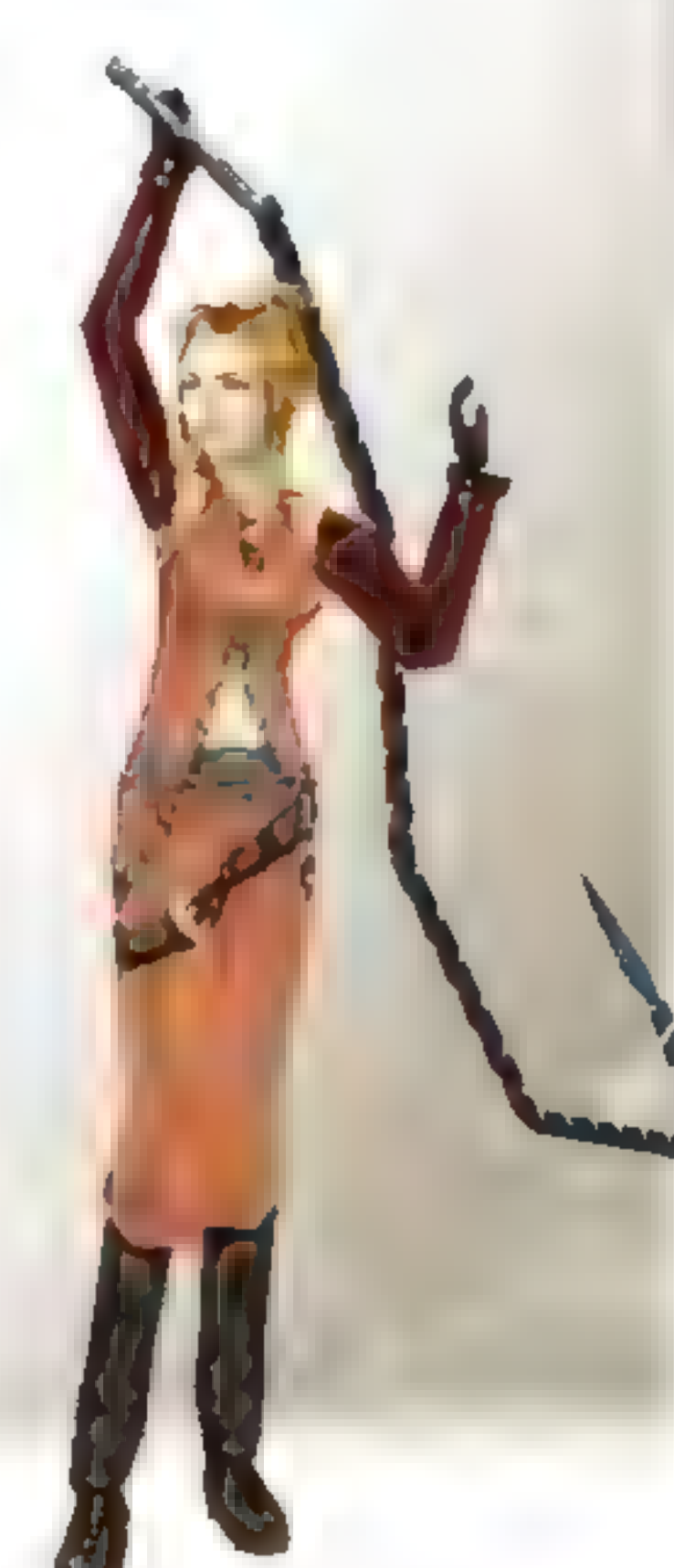
力の代償に奪われた遠い過去

スコールのことが以前から気になって仕方がなかったキスティス。恋に似たその感情は、幼いころ同じ孤児院に暮らしていたスコールを、姉のように守ってあげたいという動機から生じたものだった。早くからSeeDの一員として活動してきた彼女は、使いつづけたG.F.の影響で孤児院時代の記憶をほとんど欠落させており、それがこの気持ちを恋愛感情だと誤認させることになったのだ。

⬆最年少でSeeDに合格できたのは、姉がわりになろうとする強い想いがあったからなのかも。

ファンクラブまである人気者

キスティスのファンが集まって結成された「トゥリーブFC」は総勢28名。彼女が教官の座を追われたあとも活動が変わりなく継続されていることから、同年代の教師をもてはやす一過性のファンクラブではなく、キスティスその人に魅了された者たちの集いであることがうかがえる。

⬅キスティスと一緒にいることが多いスコールは、FC会員から目のカタキにされている?

恋の経験値は低め?

スコールが宇宙を漂うリノアをなりふりかまわず助けたことを受けて、キスティスは自分のためにそれをしてくれる恋人の不在をなげく。ガーデンのエリート街道をひたすらに歩んできた彼女の経歴を考えると、前出のカンちがいも含め、じつは恋愛経験がとぼしいのではないかという疑念もわく。

⬅うらやましいだけに、リノアを手放してしまったスコールを、この直後に激しく叱責する。

Impressive Words

教官を務めていたときには冷静で理知的な言動を見せていたキスティスだが、スコールたちと対等な仲間として行動し出してからは年齢相応の言葉が飛び出す。

「……指導力不足……教官失格。なるほど、納得かな」
――バラムガーデン：スコールに話を聞くのを拒絶されて

「家出娘の反抗とは違うの。これは遊びじゃないの」
――デリングシティ：魔女暗殺計画に口をはさむリノアに

(かんちがいの恋……ってやつ? リノア登場ですっぱりあきらめてたからぜんぜんいいんだけどね)
――トラビアガーデン：子ども時代の記憶を取りもどして

「宇宙にまで行ってリノアを助けたのはなんのためだったの?」
「リノアと一緒にいたいからじゃなかったの?」「バカ」
――飛空艇ラグナロク：リノアを行かせてしまったスコールに

ゼル

Zell Dincht

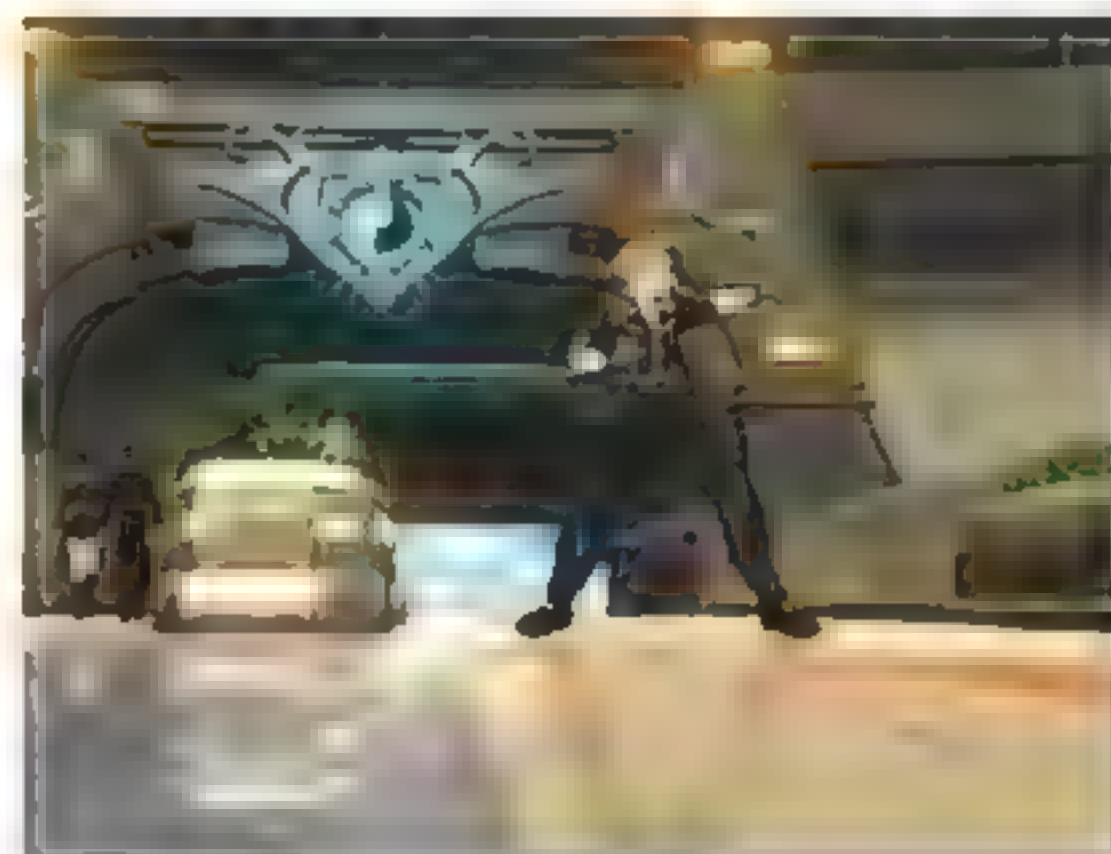
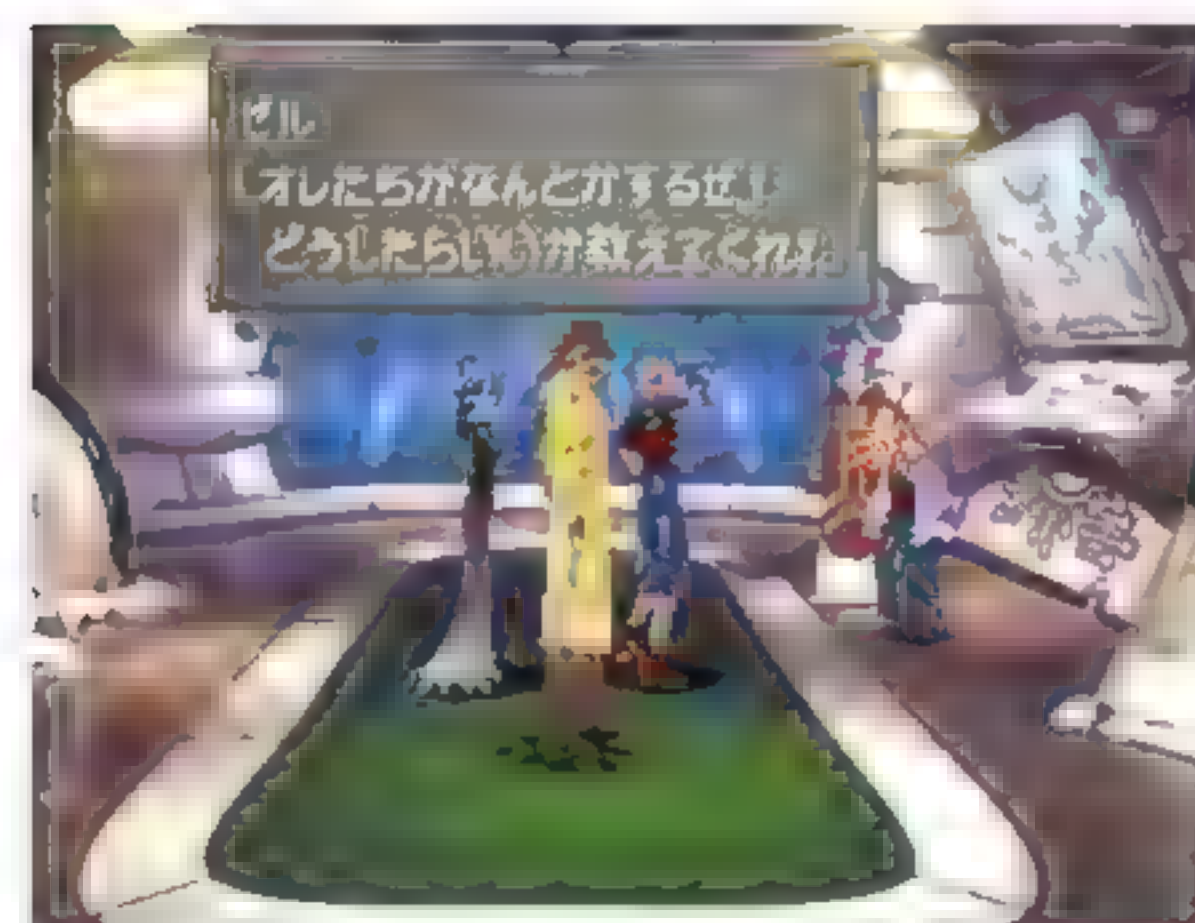
Personal Data

性別	男	誕生日	3月17日
年齢	17歳	血液型	B型
身長	168cm	武器	グローブ
モーションアクター	森田成一		

小柄な身体に熱いハート 人呼んでバラムの暴れん坊

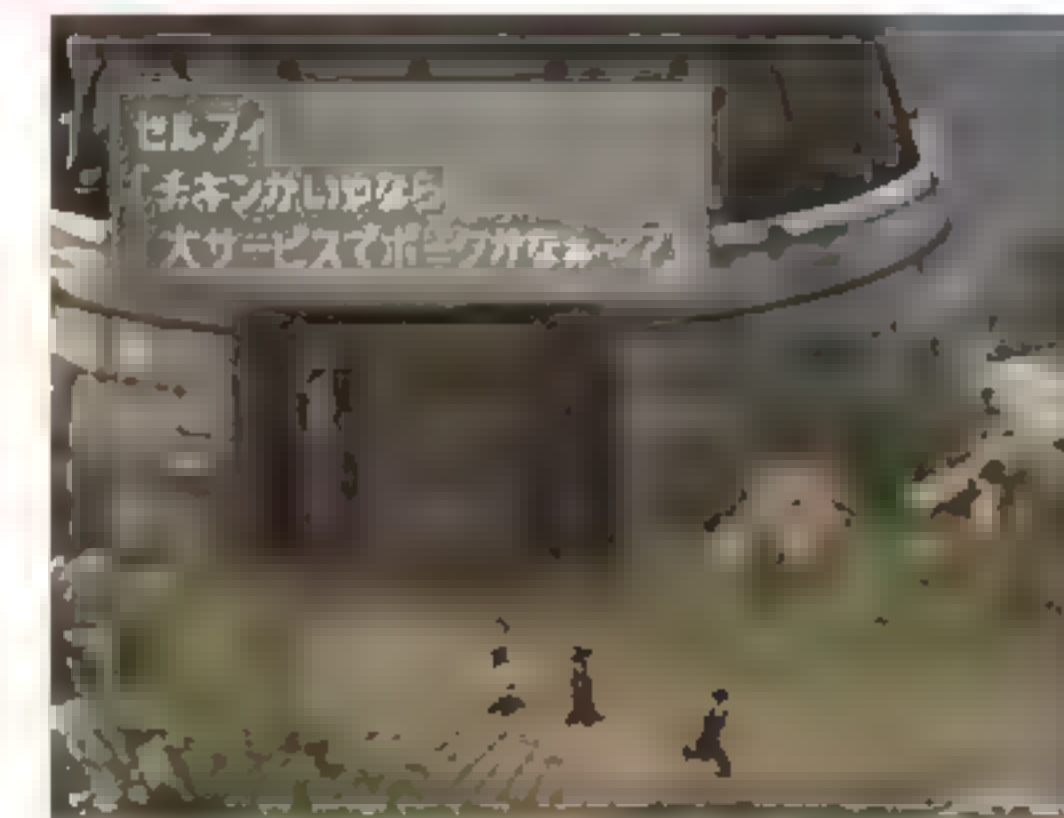
バラムガーデンに所属し、SeeDを目指して学んできた候補生。ドールでの選抜試験ではスコールと一緒の班に振りわけられ、ともに正SeeDに合格することになる。孤児院で育った仲間のひとり。

ガーデンに入学する前はディン家に引き取られてバラムで生活しており、街では誰もが知っている有名人。暴れん坊ゼルの異名をとり、子どものころから奇行と紙一重の騒動をくり広げては、人々に伝説としてほほえましく語られてきた。

落ち着きがなく、つねに身体を動かしていないと気がすまないタイプ。深く考えず、反射的に行動する傾向が強いため、失言におよぶ場面もしばしば見られる。ただ、そうした欠点をおぎなうに十分な勇気と力を備えており、スコールたちにとってかけがえのない仲間。

↑ヒマさえあればシャドーボクシングにいそしむなど、少しのあいだもじっとしていることができない。

←不在のスコールにかわって、エスタでは仲間たちを引っ張るリーダー役を務める。

Topics of Zell

もともとは慎重派だった?

ことあるごとに、サイファーから臆病な"チキン野郎"呼ばわりされるゼル。暴れん坊には似つかわしくない呼び名だが、じつは孤児院時代の彼は、サイファーに一方的にいじめられるおとなしい子どもだった。お互いに記憶を失っているものの、そんな過去があったからこそ、ゼルは本来の性格を否定するように無鉄砲な人格を演じているのかもしれない。選択の局面では確かに、思いのほか常識的だったりする。

↑場合によっては、スコールやセルフィにまでチキンとからかわれるシチュエーションもある。

ガーデンでのゼル伝説

いつもあわただしく走りまわっているゼルだが、ギリギリになるまで動き出さないのか、学生食堂名物のパンにはー度もありついたことがない。禁止されているTボードに乗ってはしゃいだ結果、勢いあまって女子トイレに突っこむという不名誉な伝説を打ち立ててしまったことも。

←パンにはとことん縁のないゼルだが、未来のために戦いつづければ、夢はいつかかなうハズ。

見かけによらず博識な一面も

ときおりうんちくを語り出すゼルを、スコールはどうせ聞きかじりだろうと皮肉って"物知りゼル"と呼ぶが、意外にもその知識は本物。とりわけ海洋探査人工島の由来まで知っていたことについては、スコールも素直に脱帽するしかなかった。もしもふつうに育っていたら、マニア道を極めていた?

←エスタ産で珍しいはずのオダインブランドについても、やけにくわしそうな様子だった。

Impressive Words

こと発言に関しては、脊髄反射レベルで口に出してしまう。重大な危機を招くケースもあるのだが、長いあいだにつちかったクセはそう簡単には改まらない。

「先生、わかったぜ!」
「この大バカ野郎をガーデンに連れ戻すんだな!」
——ティンバー：デリング大統領の前で口をすべらせて

「子供のころサイファーにいじめられたことなんか忘れてもいい。それよりも、今、バラムにいる両親を守るための力がオレには大切だ」
——トラビアガーデン：子ども時代の記憶を取りもどして

「オレがチキン野郎だからか?!……だったら、そうでないことを証明させてくれよ!」
——ルナゲート：イデアの護衛をまかせるのは不安だと言われて

「オレの中の「物知りゼル」が発動しそうだぜ、スコール」
——海洋探査人工島：とっておきの知識を披露しようとして

セルフィ

Selphie Tilmitt セルフィ・ティルミット

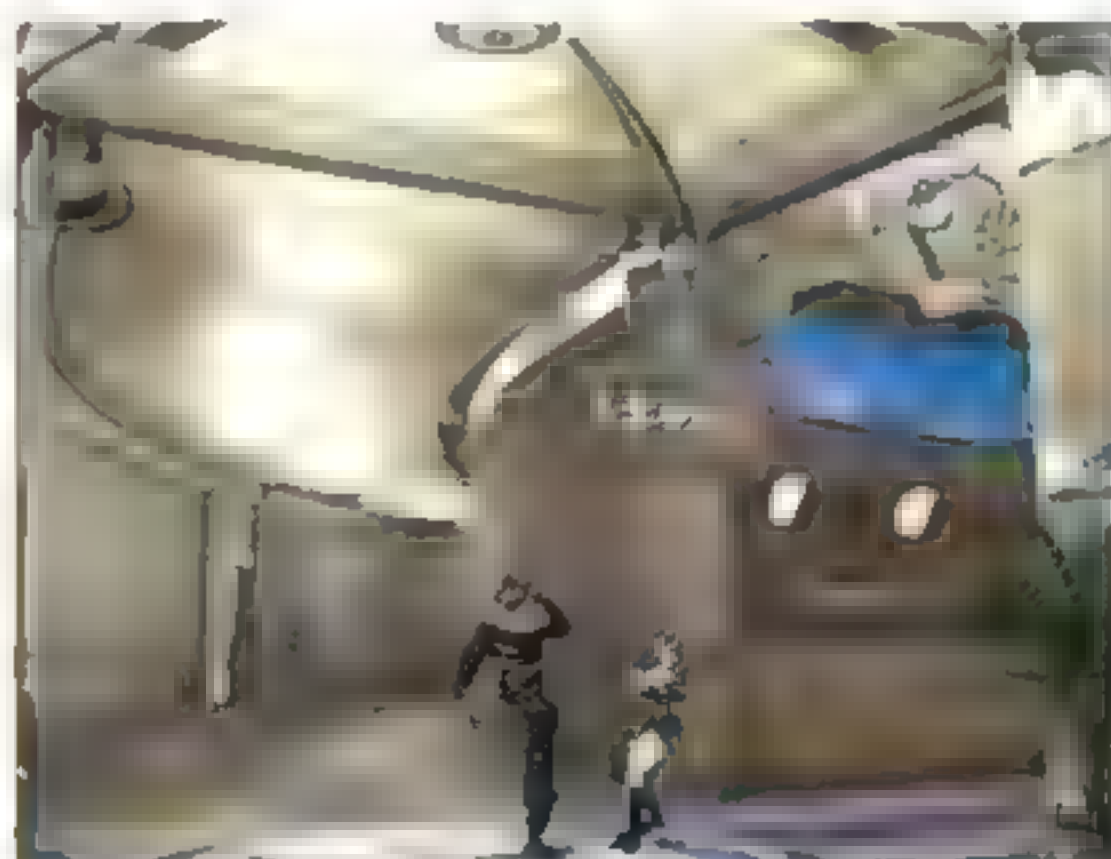
Personal Data

性別	女	誕生日	7月16日
年齢	17歳	血液型	B型
身長	157cm	武器	ヌンチャク
モーションアクター	清水美由紀		

どんなときも笑顔を絶やさない トラビアからきた元気娘

姉妹校のトラビアガーデンから、SeeD選抜試験の当日にバラムガーデンに転校してきた天真爛漫な少女。試験では伝令としてスコールたちB班に合流し、そのおかげもあってか見事に合格を果たす。

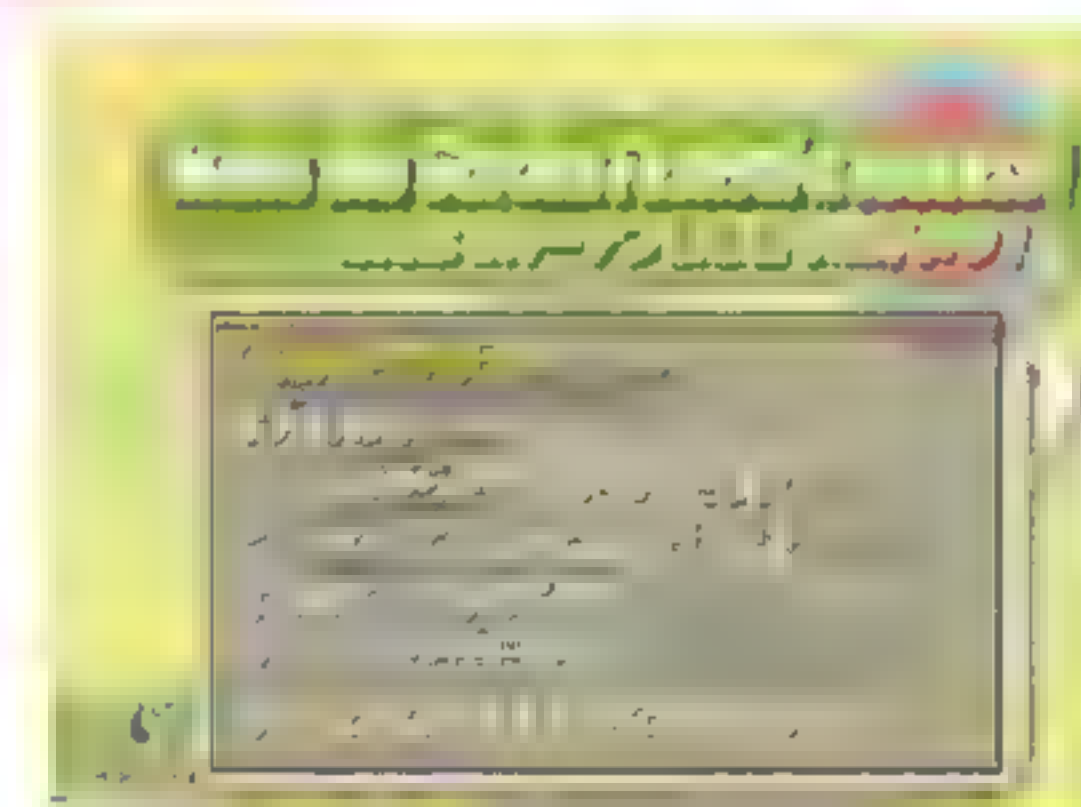
彼女もまた、イデアの孤児院で幼少時を過ごしたひとりであり、12歳のときの野外訓練でG.F.をジャンクションしたせいで記憶をなくしていた。何事にも物怖じしない性格によって仲間たちを引っ張るムードメーカーで、その思い切りの良さはゼルでさえあきれるほど。

あとにしたばかりのトラビアガーデンへの想いは深く、ガルバディア軍のミサイル攻撃を受けて壊滅的状況になった母校の姿に衝撃を受けるが、仲間に気をつかわせぬよう、人前では明るく振る舞い抜く気丈さを見せた。

⬆スコールとは出会い頭にぶつかるコテコテの展開。しかし、ふたりのあいだに恋は芽生えない。

⬅ミサイル基地の爆発で生死不明になるも、想像を超えるバイタリティで見事に生還。

Topics of Selphie

転校早々に学園祭実行委員を買って出る

なり手のなかったバラムガーデン学園祭の実行委員を、転入してくるなり勝手に引き受けるセルフィ。自主独立の気風が強いトラビア育ちということもあるが、何よりもセルフィ自身が、日常とはちがう特別なイベントを起こしてみんなの気持ちを盛り上げたい、と強く思っているからだ。騒動つづきで正式な学園祭はできなかったものの、コンサート開催にまでこぎ着けられたのは、彼女の日ごろの努力のたまもの。

⬆掲示板にも熱心に日記を公開して、戦いのなかの学園生活を楽しいものにしようと奮闘する。

頭のなかではトラビア弁で思考

しゃべりかたに特徴はあるものの、セルフィは基本的に標準語で会話する。しかし、思考は慣れ親しんだトラビア弁で行なうのがつねで、その内容も口に出すものよりはるかに過激。これをふつうの言葉に直し、マイルドなフィルターをかけてから話しているのだから、彼女の頭の回転は相当に速い？

⬅スコールと別行動になるミサイル基地のイベントでは、彼女のナマの思考が明らかに。

夢で出会えるあの人にあこがれ？

"接続"で見る夢に現れるラグナを、セルフィはアイドルのように"さま"付けで呼んでいる。同年代の異性にはほとんど興味を示さない彼女だが、愉快な性格ながら容姿がそれなりに整っているラグナには大人の"みりき"らしきものを感じ取っている模様。ただ、現実には父親と娘ほどの年の差が！

⬅とはいえ、本気であこがれているワケではなく、あくまで物語を見ている観客の気分。

Impressive Words

どこか間延びした独特のペースでしゃべるセルフィだが、真剣なときにはこの傾向は鳴りをひそめる。仲間をなごませるための工夫である可能性もありそう。

「伝令ってつらいね～。はんちょ～まてぇ～……」
——ドール：B班への指令を伝えにきて

「まみむめも!(全然はやらな～い!)」
——掲示板：オリジナルのあいさつがまるで流行せず

(ん?……ついてる?)
——ティンバーの森：ウォードの意識に"接続"され、自分にはついてないハズのモノに気づいて

(なんやねん、このくっさい服。もう～、かゆかゆやんか～)
——ガルバディア軍ミサイル基地：ガルバディア兵に変装して

「SeeD服ってカッコイイよね～。なんかアタマ良さそうにみえるよね～」
——バラムガーデン：SeeDの制服を着て

アーヴァイン

Irvine Kinneas アーヴァイン・キニアス

Personal Data

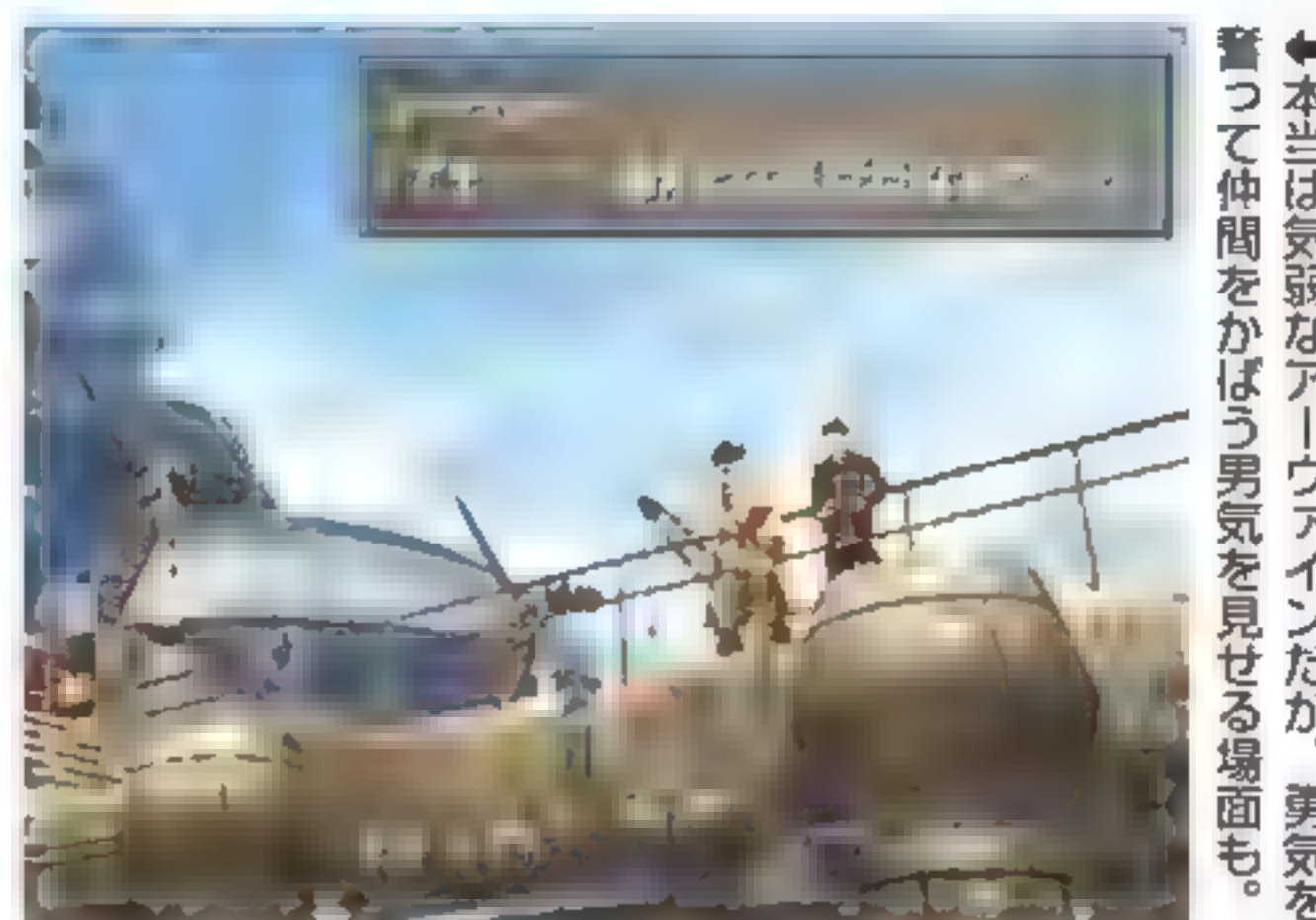
性別	男	誕生日	11月24日
年齢	17歳	血液型	A型
身長	185cm	武器	銃
モーションアクター	加藤一郎		

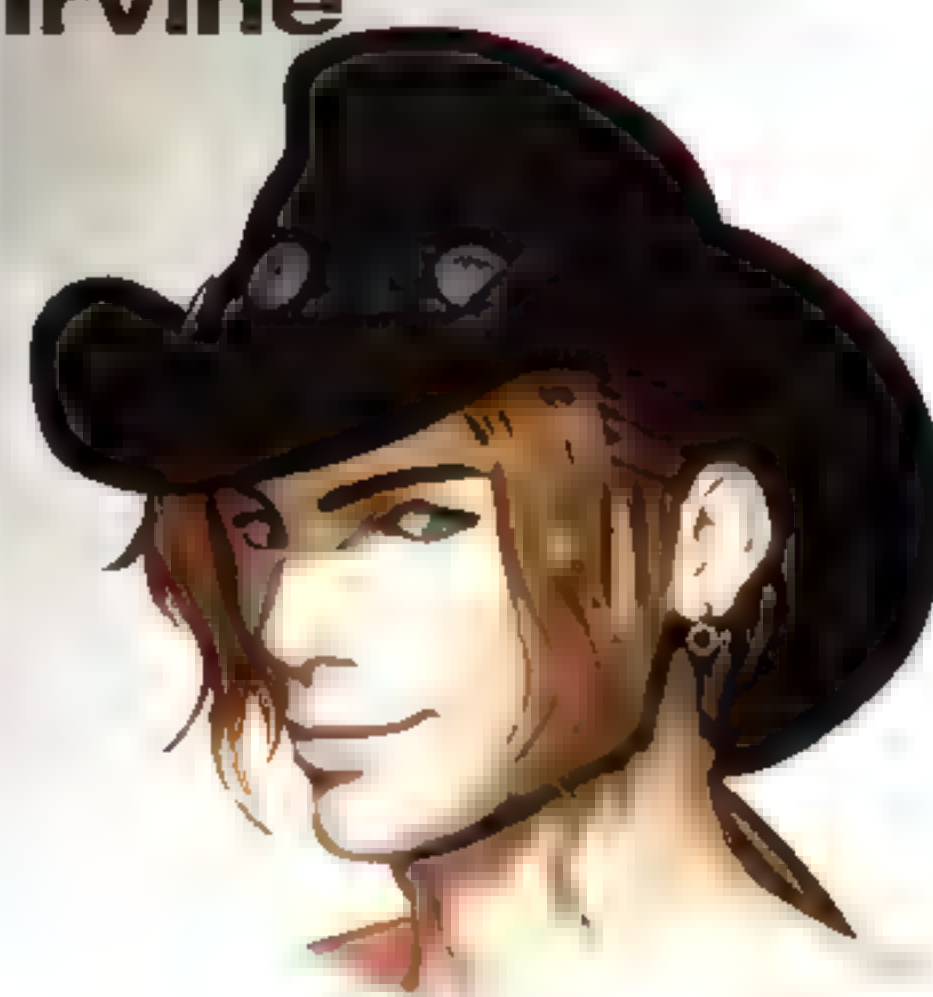
軽口の裏に繊細な心を隠した精密射撃の名手

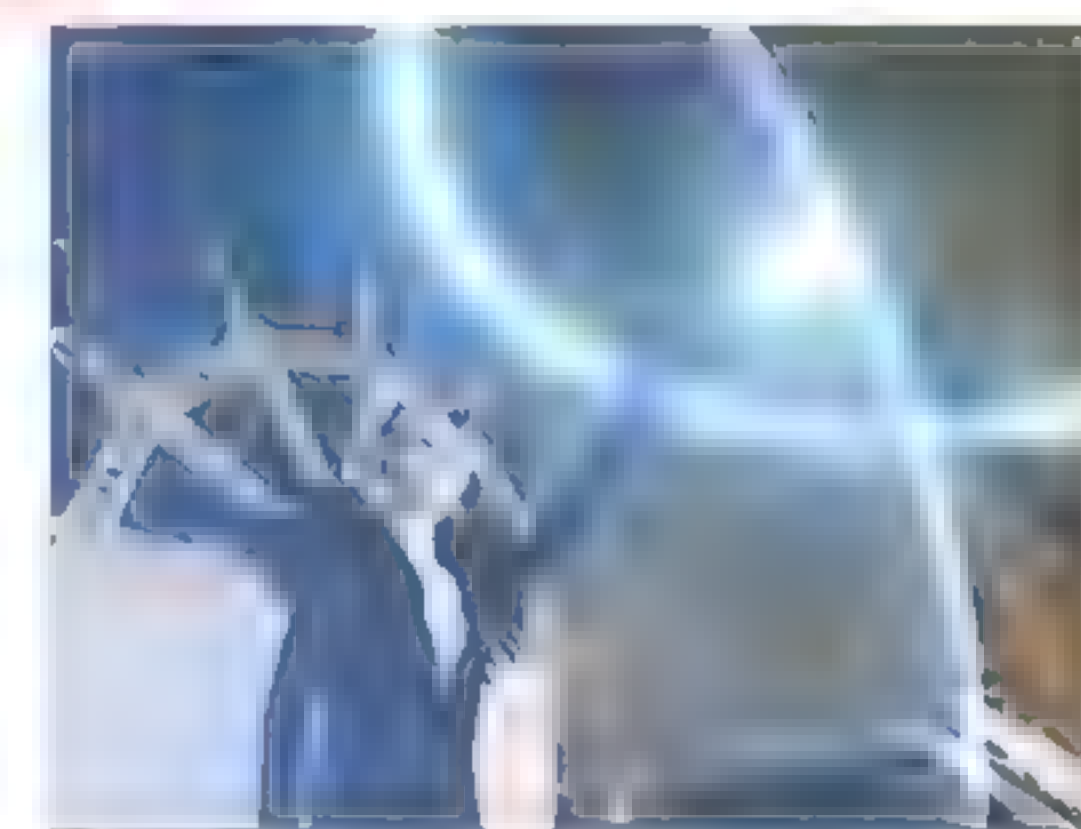
ガルバディアガーデンで訓練を受けてきた狙撃手。ガルバディアの独裁者デリング大統領と手を結んだ魔女イデアを暗殺する指令にもとづき、スコールたちと合流することになる。

女性と見れば口説きにかかり、バラムを田舎と小馬鹿にするなど、スコールたちと対面した当初の印象は、他人の神経を逆なでするのが好きな軽薄男。しかし真実の彼は、自分とはかけ離れた人物を演じていなければ狙撃のプレッシャーに押しつぶされてしまいそうな、極めてデリケートな神経の持ち主だった。

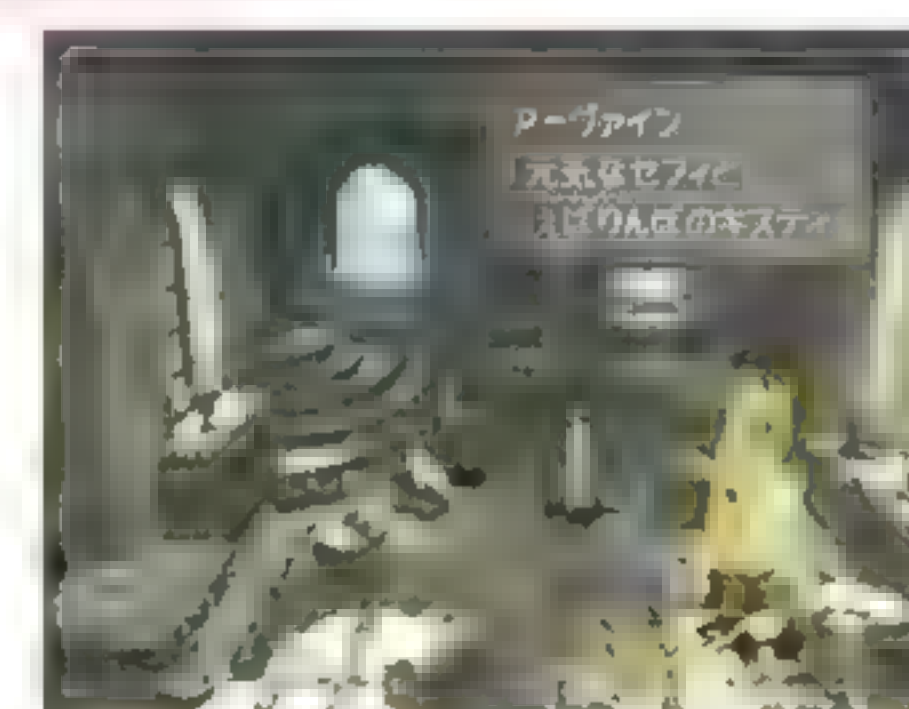
所属を離れてスコールたちと行動しはじめてからは、人を思いやる素顔をのぞかせるようになる。仲間たちのなかではもっとも早く魔女イデアの正体に気づき、ひとり覚悟を固めていた。

⬆相手に嫌われる無神経な人間を装うことで、暗殺任務の重圧にも負けない狙撃手であろうとした。

⬅本当は気弱なアーヴァインだが、勇気を奮って仲間をかばう男気を見せる場面も。

Topics of Irvine

狙撃技術は超一流だが……

SeeDの資格はないものの、ガルバディアガーデンで狙撃手として訓練されてきたアーヴァインの技術は本物。ただし、実戦はただのマトを撃ち抜くのとはちがう。相手が魔女とはいえ直接に命を奪い、歴史さえも変えることになる一発の銃弾――それを発射する引き金の重みに耐えられず、実行の直前になって彼はパニックにおちいる。繊細な心を持つアーヴァインには、暗殺を目的とする狙撃は不向きだった。

⬆なんとか立ち直って放った弾丸は正確に標的をとらえたが、魔力にはばまれて無効化される。

セルフィには特別な好意を

軽い男を演じるのをやめたあとは、アーヴァインはまるで正反対の、異性に声をかけるのも尻込みする純情な男子になってしまう。そんな彼も、セルフィへの気持ちだけは本物だったようで、落ちこんでいた彼女をなんとか元気づけようと奮戦する。それは、幼き日に育んだ想いのつづき……。

⬅幼いころは「セフィ」「アービン」と呼び合っていたふたり。アーヴァインは忘れていない。

謎の鍵をにぎる最後の仲間

6番目のメンバーとして仲間に加わったアーヴァインは、それまでG.F.をジャンクションした経験がなかった。ゆえに記憶障害を起こしておらず、スコールたちが忘れてしまった孤児院時代のことをすべて覚えていた。自分たちの関係と、この戦いに秘められた謎が、彼の口から語られることになる。

⬅自分たちが誰と戦わなければならないのかをスコールたちに語り、失った記憶を呼びもどす。

Impressive Words

反感を買うような言動ばかりが目立つ登場直後にくらべ、暗殺失敗以降は人が変わったようにイイ人ぶりを発揮する。狙撃手のプレッシャーはかくも重いのだ。

「あ、僕の言うことって、人の反感を買うことが多いんだよね。まあ、あんまり気にしないでよ。それが僕と上手につきあうコツさ」
――ガルバディアガーデン：スコールたちと初対面で

「だ、ダメだ、すまない、撃てない。僕、本番に弱いんだ。ふざけたり、カッコつけたりしてなんとかしようとしたけどダメだった」
――デリングシティ：魔女を狙撃しようとして

（がんばれ、僕）
――バラムガーデン　落ちこむセルフィを励まそうとして

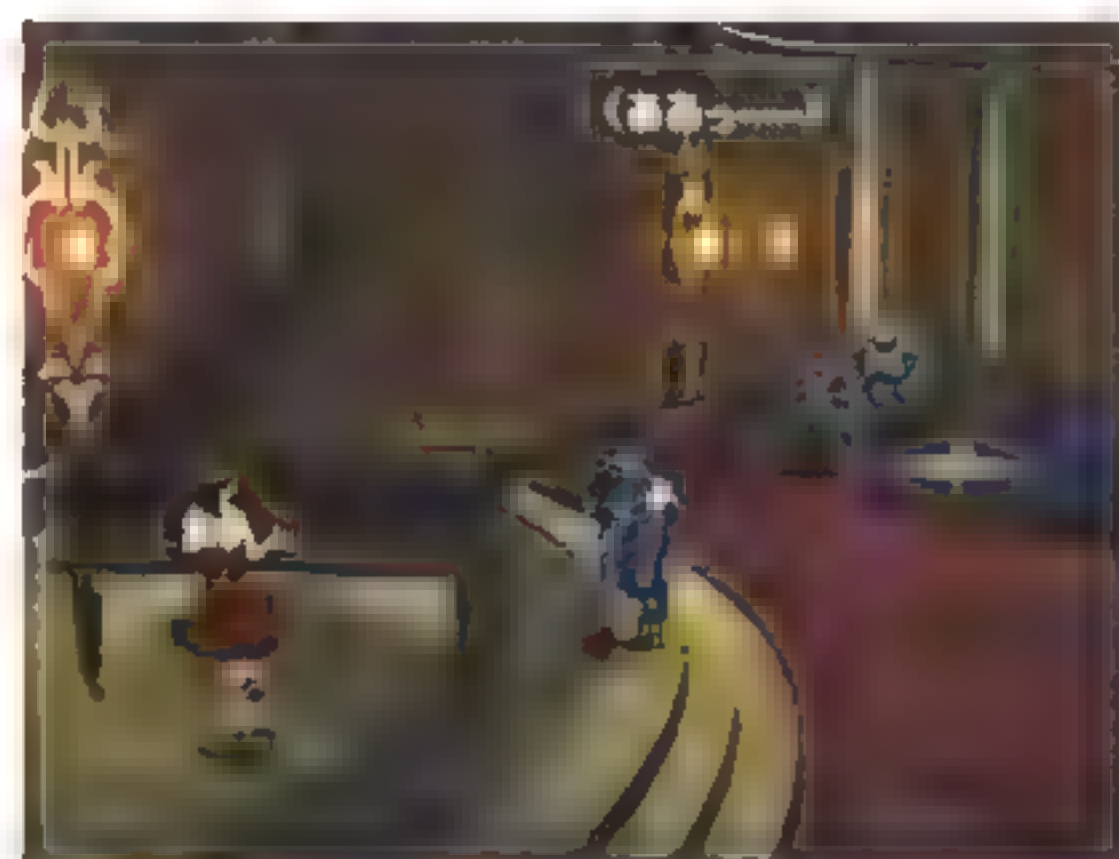
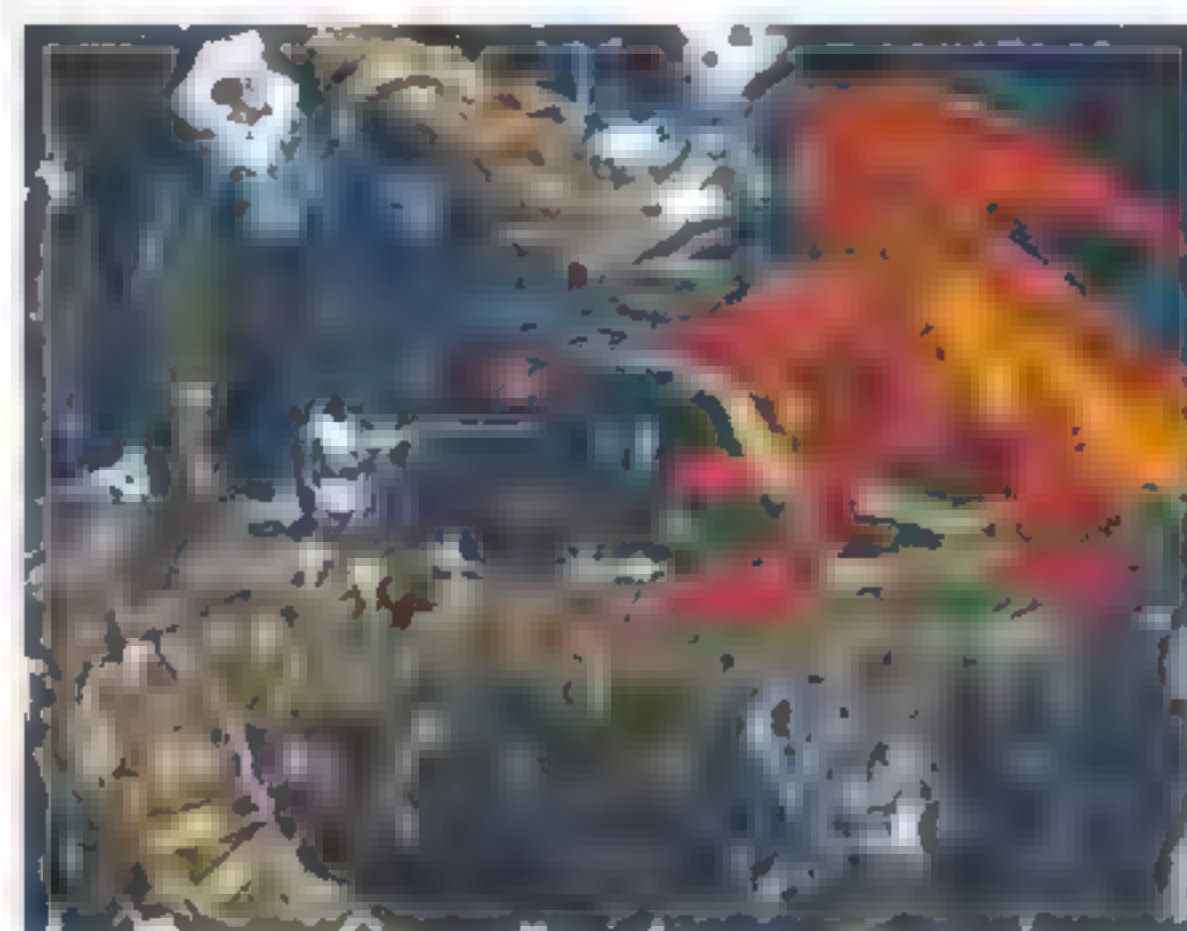
「僕は運命とかに流されてここにいるわけじゃないから。自分で選んだから今、ここにいるんだ」
――トラビアガーデン：イデアと戦う意志を示して

ラグナ
Laguna Loire　ラグナ・レウァール

Personal Data

性別	男	誕生日	1月3日
年齢	27歳(初登場時)	血液型	B型
身長	181cm	武器	マシンガン
モーションアクター	菊間秋彦		

知らずに人をひきつける優しく楽しい好青年

　最初はガルバディア軍兵士としてスコールたちの夢に登場する、報道記者志望の青年。非常にうっかりした性格で、作戦行動時に道に迷ったり、携行すべき地図を取りちがえるなど、兵員の役目をほとんど果たしていない。当人も軍に籍を置く生活に疑問を抱いており、セントラ遺跡の偵察任務で大ケガを負ったのをきっかけに退役する。
　その後、ケガの療養のため滞在したウィンヒルの村に住みつき、レインとエルオーネとのおだやかな生活を送るが、エスタの少女狩りでエルオーネが連れ去られてしまったことから、彼女を取り返すための長い旅におもむく。飾らない人柄と、本質を見失わない確かな判断力によって人望を集め、のちには世界の命運を左右する要職に就くことになる。

⬆無理して格好をつけようとすると緊張のあまり足がつる。こんなところも彼の魅力のひとつ。

⬅旅先で映画の主役に抜擢された。この作品に多大な影響を受けた者も(→P.250)。

Topics of Laguna

■奇妙な夢に現れる人物

　ラグナは、スコールたちが仲間と同時に見る夢――"接続"と呼ばれる現象で精神を飛ばした先に存在する人物。デリングシティを訪れたスコールは当初、街のどこかにラグナがいるのではないかと考えたが、実際に彼らが見ている"あっちの世界"とは、自分たちが誕生するより前に起きた遠い過去の時代の出来事なのだ。そしていま現在、ラグナはエスタの大統領という、とてつもなく重要な立場にいる。

⬆ラグナは"接続"してくるスコールたちを、バトルの手助けをしてくれる"妖精さん"と呼ぶ。

■相手の目線になって対話できる

　ラグナが人を魅了する要因のひとつは、相手とのあいだに心の壁を作らず、その人の視点でものを考えられること。この姿勢は対話の相手が幼い子どもでも、人間以外の種族でも変わらない。真剣に理解してくれる――だからこそラグナと接するのは楽しく、人は彼に頼りたいとも思うのだ。

⬅真剣に交際している大人の女性からすると、あまりにも子どもっぽくて腹が立つ？

■顔も知らないままの子どもの存在

　ラグナがエルオーネの行方を追ってウィンヒルを旅立ったとき、レインは彼の子どもを身ごもっていた。そうとは知らずラグナが旅をつづけるうちに、レインは生まれたばかりの赤ん坊を残して帰らぬ人になってしまう。その子どもとはスコール――つまりラグナはスコールの生き別れの父親だったのだ。

⬅魔女アデルを封印した結果、エスタ大統領にされてしまったという経緯を息子たちに語る。

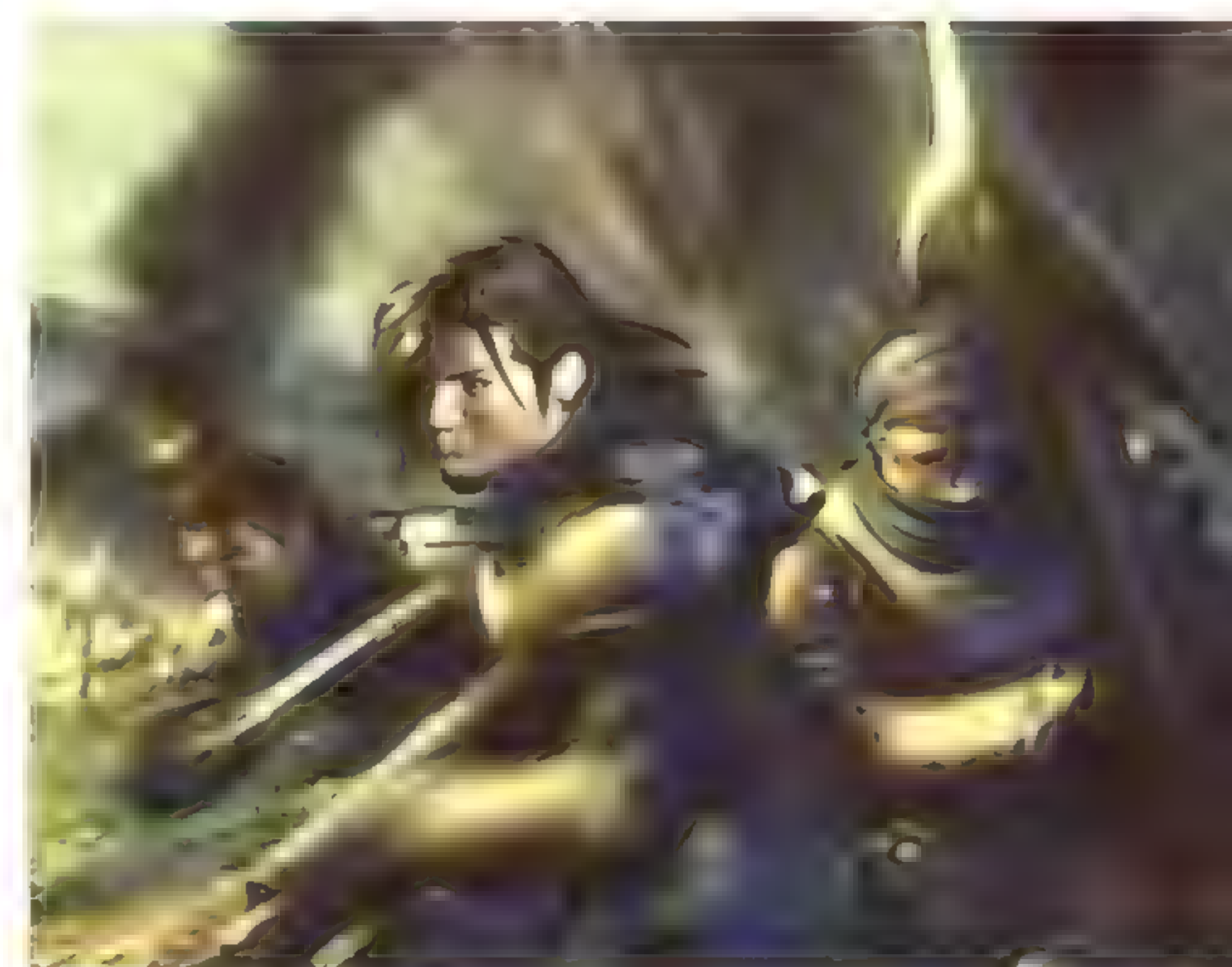
Impressive Words

成長の過程で多くの人が失ってしまう子どもっぽさを、そのまま残して大人になったという印象。無邪気で気取らない言動が、不思議なカリスマ性を生む。

「ぜ、ぜぜん。ど、どぞう」
――デリングシティ：ジュリアを前に緊張して

「罰として……ピヨピヨグチの刑だ!」
――セントラ発掘現場：脱出をあきらめかけたウォードに

「オレ、どうしちまったんだろうな。こんな気持ち……
なんだこれ？　ああ、目が覚めてもこの部屋でありますように!」
――ウィンヒル：旅よりもレインとエルオーネとの生活を大切に思うようになり、その心中の変化を指摘したキロスに

「名前なんかどうだっていいんだ!
中にこもってるハートが大事なんだよ、ハートがよ!」
――ルナティックパンドラ研究所：キロスに言いまちがいを指摘されて

キロス

Kiros Seagill キロス シーゲル

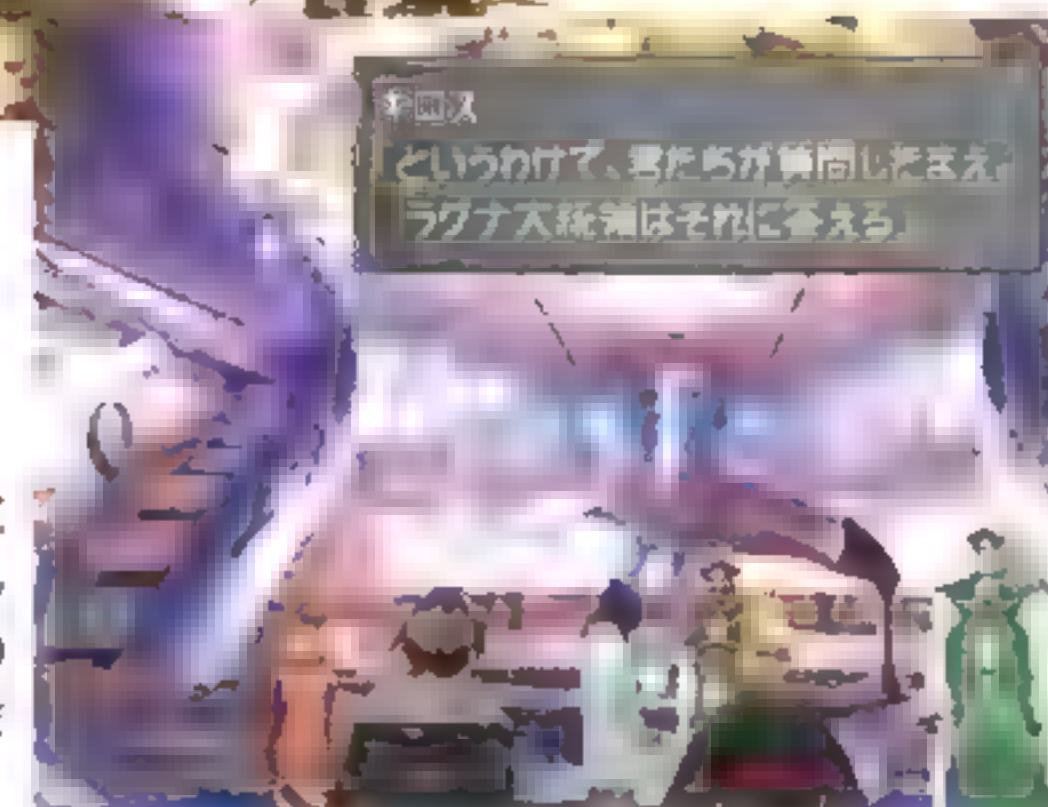
Personal Data

性別	男	誕生日	7月6日
年齢	23歳（初登場時）	血液型	O型
身長	191cm	武器	カタール

人生の舵を友に預けた男

ガルバディア軍に籍を置いていたときに、ラグナとチームを組んでいた兵士。ラグナと同様に、セントラ遺跡での敗走を機に軍を辞したものの、ラグナのいない生活があまりに退屈だったため、重傷を負って行方知れずになっていた彼を捜してウィンヒルまで訪ねてきた。それ以降は村に居候し、ラグナにつき合って自警団のマネごとをしながら過ごしていたが、エルオーネがさらわれたことで彼と一緒に捜索の旅に向かう。

チームの仲間のなかでは一番の年下ながら、軍人時代から大人げないラグナの言動に容赦なくツッコミを入れる役まわりだった。並はずれておっちょこちょいで適当なラグナにいつもあきれ返りながらも、もはや彼という娯楽なしでは暮らせなくなっており、ラグナの波瀾万丈な人生にとことんついていこうと決心している。

⬅スリムな身体に褐色の肌、そして奇妙キテレツな服の趣味を持つ。エルオーネいわく"変な服のおじさん"。

➡ラグナと歩むことに人生の喜びを見いだしたキロス。ツッコミつづけてエスタの中枢までたどり着いた。

Impressive Words

「あんたという娯楽がないと人生は退屈だ」
——ウィンヒル：ラグナとの再会を果たして

（私の中の何かが闘けと命じるのだ）
——ウィンヒル：レインとエルオーネの会話を立ち聞きしながら

「と言いつつ少しはその気のラグナくんであった、と」
——トラビア渓谷：映画のエキストラを依頼されたラグナに

「『いいかげん、1文字しか合わないのははずかしいからやめろ……』と、ウォードが言いたそうにしている視線を痛いほど感じないか、ラグナ君?」
——ルナティックパンドラ研究所：アデルをアゼレと言いまちがえたラグナに

ウォード

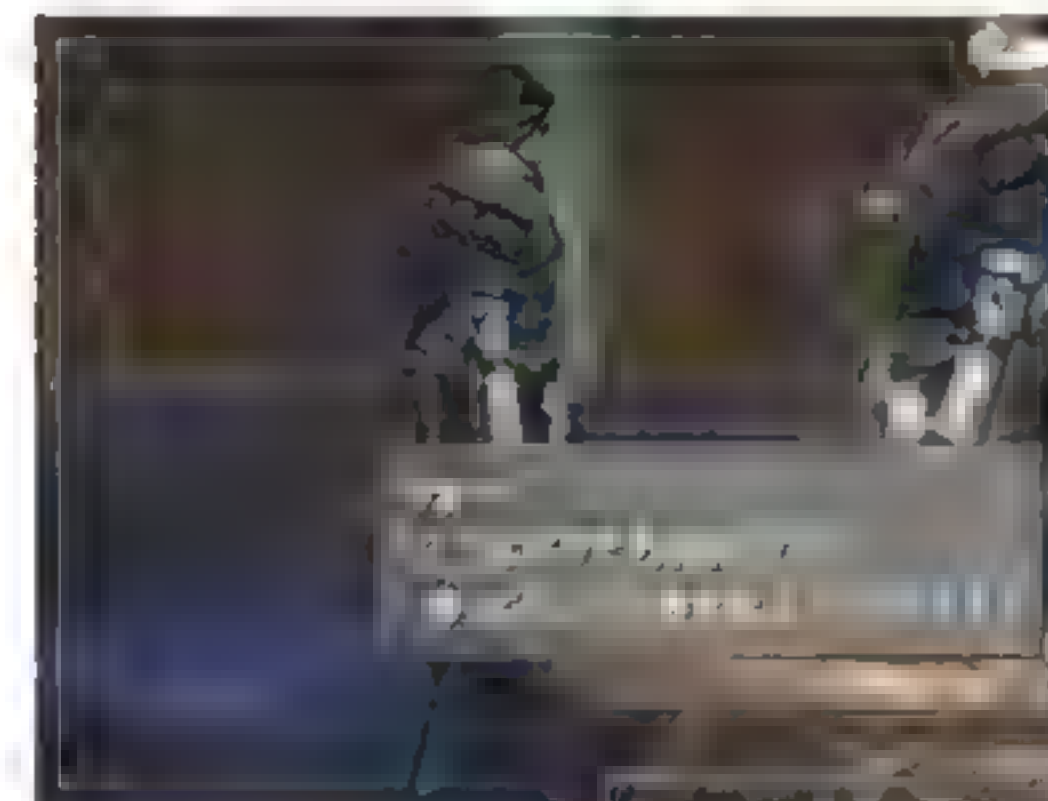
Ward Zabac ウォード ザバック

Personal Data

性別	男	誕生日	2月25日
年齢	25歳（初登場時）	血液型	A型
身長	217cm	武器	ハープーン

声を失っても心を通わせる巨漢

キロスとともに、ラグナを隊長とするチームに所属していた大男。セントラ遺跡から脱出を図るときに、過酷な戦闘の代償として声帯をつぶしてしまい、退役して療養したあとも結局声はもどらなかった。ガルバディア軍を離れてからは、D地区収容所でクリーンアップサービスの仕事に就いていたが、彼もキロスと同様にラグナなしの生活に耐えられなくなっており、ほどなく彼らと合流して、魔女アデルの後継者候補としてエスタ兵に拉致されたエルオーネ捜索の旅に同行することになる。

2メートルを超える体格に加えて、顔に恐ろしげな傷跡を残し、巨大なモリを得物にする怪力の持ち主でもあるものの、豊かで愛嬌のある表情のおかげで威圧感は皆無。言葉を失ってしまったあとも、仲間たちとのコミュニケーションには困っていないようだ。

⬅危険な偵察任務でノドをつぶしてしまうまでは、こわもての外見に似合わず、気さくによくしゃべっていた。

➡キロス同様、エスタの要職に就いたウォード。魔女記念館では兵を制止し、スコールたちを逃がしてくれる。

Impressive Words

「なあ、俺たち戦争にきたんだよな。ティンバー軍の屈強な戦士たちを相手に」
——ティンバーの森：道に迷ったラグナに

「ラグナはジュース飲んでろ。んでよ、あこがれのピアノねえちゃんに見とれてればいいんだよ」
——デリングシティ：バーに行くことになって

「俺たち査定+1だ」
——デリングシティ：ステージに上がったラグナに

「ラグ……ナと……キロ……スと……楽……し……かった……」
——セントラ発掘現場：エスタ兵に追いつめられて

サイファー
Seifer Almasy

Personal Data

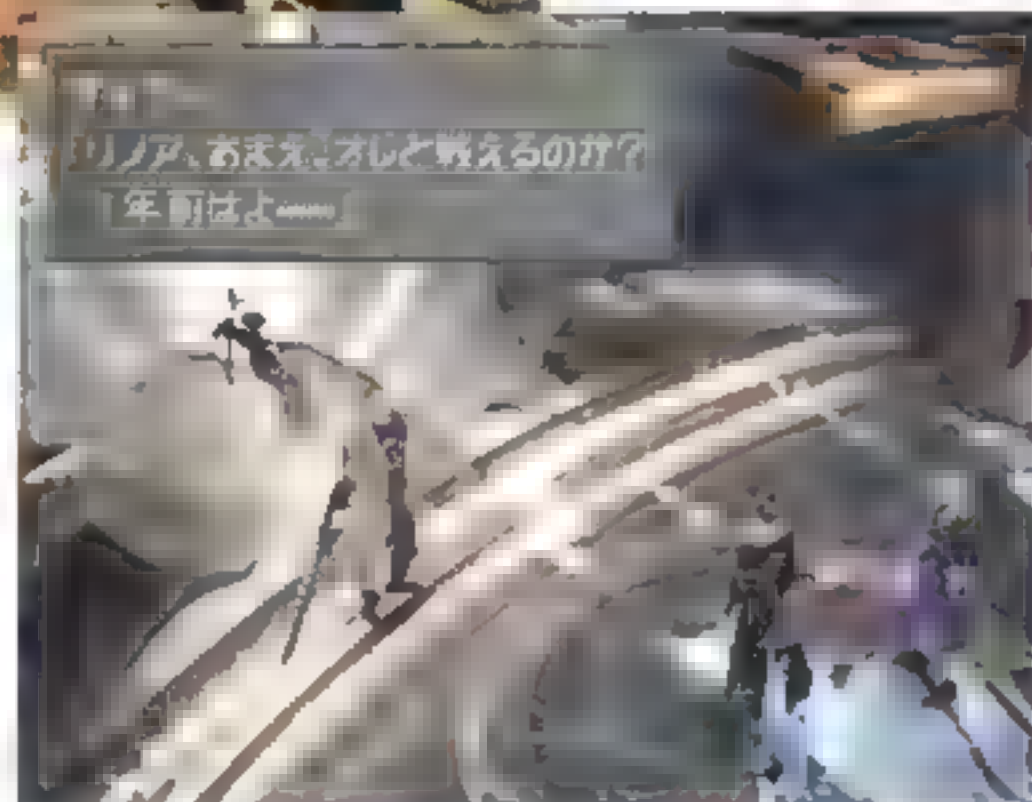
性別	男	誕生日	12月22日
年齢	18歳	血液型	O型
身長	188cm	武器	ガンブレード
モーションアクター	真田知典		

魔女の騎士を夢見る問題児

バラムガーデンの風紀委員長にして、万年SeeD候補生と呼ばれる最大の問題生徒。戦闘能力をはじめとして素質は極めて高く、何度もSeeD選考の実地試験まで進んでいるものの、あまりにも好戦的で命令に従わないため、挑戦はことごとく失敗している。同じガンブレード使いのスコールを昔から目のカタキにしており、たびたび決闘まがいの訓練を仕掛けていた。

リノアとは以前から親しく、彼女の助けになろうとスコールたちの作戦に乱入してデリング大統領を人質に取り、窮地におちいってしまう。そこで生じた心のスキにつけこまれ、魔女イデアの忠実な騎士として、SeeDとガーデンの敵対者となる。スコールたちと同じ孤児院出身でありながら、サイファーが選んだのは皮肉にも、育ての親イデアの望むものとは正反対の道であった。

←幼いころに観たラグナ主演の映画に感化され、あつかいが難しく廃れかけていたガンブレードを武器に選んだ。

→思わせぶりな言葉で揺さぶりをかけるのも勝利への執念ゆえ。生き残ることのみが夢へ近づくすべと信じる。

Impressive Words

「最高だ。俺のチームはチキン野郎と色気づいた兄ちゃんか」
――バラムに向かう車中：保健室の女子を気にするスコールに

「まだ、おあずけか……もう限界だ！　耐えられねえ！ これは犬の訓練か!?」
――ドール：待機任務にイラついて

「おまえは『ホネのあるやつリスト』に入ってるぜ」
――ガルバディアD地区収容所：スコールを拷問しながら

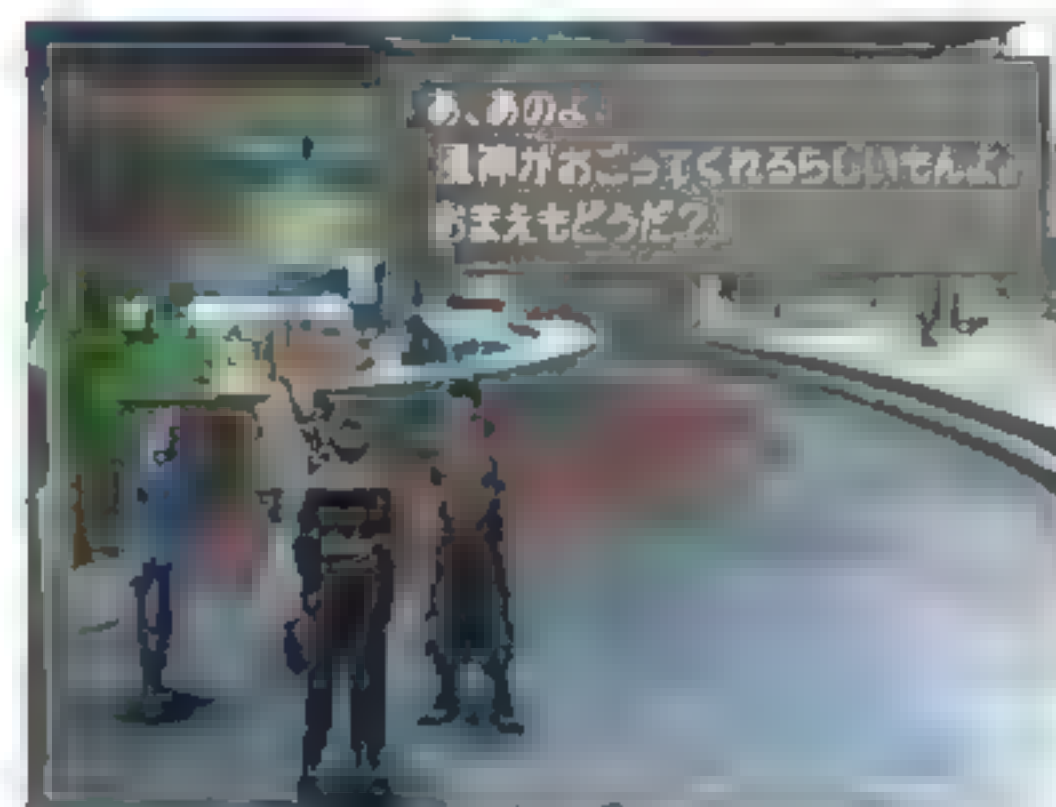
「オレは魔女イデアの騎士だ。 群れて襲いかかるモンスター。そりゃ、おまえたちだ」
――ガルバディアガーデン：スコールたちの前に立ちふさがって

雷神
Raijin

Personal Data

性別	男
年齢	18歳

いかついけれど気のいい大男

バラムガーデンで風紀委員を務める大柄な生徒。サイファーとは強い信頼関係で結ばれた仲間で、彼が魔女の手先となってガルバディア軍についたあとも、異を唱えることなく付き従ってガーデンと敵対する。もっとも、性格的には純粋で、スコールに対してもわだかまりなく接するなど、物事をあまり深刻には考えていない様子。

↑サイファーとは犬猿の仲のスコールにもふつうに話しかけるため、たびたび風神に怒られる。

Impressive Words

「オレたちゃどっちでもないもんよ! オレたちゃサイファー派だもんよ!」
――バラムガーデン：マスター派と学園長派にわかれた争いのなかで

「サイファー、手先はたくさんいるけど 仲間は俺たちだけだもんよ……」
――バラム：魔女の側についたことをとがめられて

「……サイファーのこと頼むもんよ。 もう、わけわからんもんよ。 ……元のサイファーがいいもんよ」
――ガルバディアガーデン：スコールたちに事態の収拾を託して

風神
Fuujin

Personal Data

性別	女	年齢	17歳

熱い友情をうちに秘めた女傑

雷神とコンビを組む風紀委員で、眼帯にショートカットの銀髪という特徴的な外見の美女。余計なことまでしゃべる雷神とは対照的に至って寡黙で、口を開いても極端に省略した言葉で要点のみを伝える。サイファーに心酔しており、彼が決めたことならすべて無条件に肯定するほど。非常に気が強く、年上の雷神を完全に尻に敷いている。

↑ことあるごとに雷神を強烈なローキックでたしなめる。無口なだけに手が出るのが猛烈に早い。

Impressive Words

「全部肯定!」
――バラム：ゼルにサイファーを止めろと言われて

「泣言禁止!」
――バラム：雷神にローキックを放ちながら

「くやしいよ……。スコールに頼るしかないなんて……サイファー!　まだ続けるの?」
――ルナティックパンドラ：魔女の騎士であろうとするサイファーに、はじめてふつうの口調で

シド

Personal Data

性別 男　年齢 40代

Cid Kramer　シド・クレイマー

未来の戦いを見据える教育者

つねにおだやかな笑顔を絶やさず、SeeDを目指す生徒たちを見守るバラムガーデン学園長。特殊傭兵部隊SeeDの理念を提唱し、12年前にガーデンを創立した人物でもある。ただ、もともと傭兵派遣業務をビジネスととらえていないため、経営手腕はお世辞にもすぐれているとは言えず、温厚な性格も災いしてか、出資者であるマスター・ノーグの息がかかったガーデン教師たちからは明らかに軽んじられている。

シドの目的は、きたるべき未来にかならず起こるであろう魔女との戦いに向けて、希望となる戦士たちを育成することにある。若きSeeDを危険な戦場へと派遣するのも、彼らに過酷な戦いに耐え抜く力を養ってほしいがゆえ。しかしながら、この願いの成就は彼にとって、最愛の存在である妻のイデアを失うことを意味していた。

⬅ガーデンの規律を維持しながらも、生徒ひとりひとりの心情を理解しようと心を砕く。まさに教育者の鑑。

➡スコールには何かと指令を与え、成長をうながす。まるで彼が未来に果たす役割を見通すかのように……。

Impressive Words

「ひそひそ……(目立たなくてもがんばるんですよ)」
——バラムガーデン：SeeDに合格したニーダに

「SeeDはなあ、未来のためにまかれたタネだ!　その未来が今なんだよ!　それはあんただってわかってるだろうが!」
——バラムガーデン：ノーグに抗議して

「怒ってますか?　アハハ……そうですよね。私は……えらそうなことを言い続けてイザと言うときに逃げ出したわけですからね」
——イデアの家：ガルバディアガーデンとの戦いを終えたスコールたちに

イデア

Personal Data

性別 女　年齢 ?

Edea Kramer　イデア・クレイマー

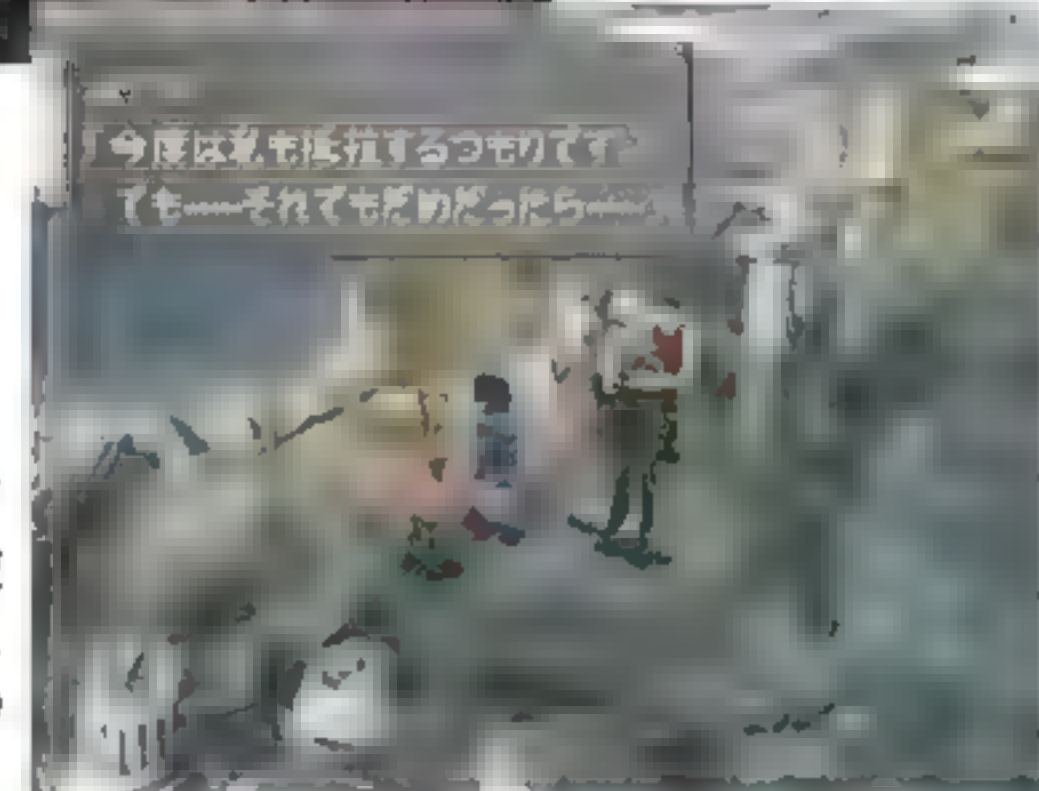
憎悪の意志に支配された魔女

長きに渡った沈黙を破り、表舞台に現れた美しき魔女。世界征服をもくろむガルバディアのデリング大統領に接近し、彼の野望の切り札となる大使に任じられるものの、その就任演説の場でデリングを殺害し、たちまちのうちに全権を掌握して新たな指導者の座に就く。

SeeDに対しては激しい憎悪を燃やし、バラムとトラビアの両ガーデンに向けてミサイルによる攻撃指令をくだす。さらには移動要塞と化したガルバディアガーデンを駆り、ミサイルを逃れたバラムガーデンに直接攻めこんでSeeDに関わるものすべてを消し去ろうとした。

邪悪な存在と思われたが、スコールたちとの戦いに敗れたのち、魔女の力から解放されて正気を取りもどす。本来、孤児たちを育てる心優しき女性だった彼女は、未来の魔女アルティミシアにあやつられていたのだった。

⬅デリングを惨殺したのち、集まった民衆を魔力をこめた演説によって狂熱状態へと導き、魅了の術をほどこした。

➡まるで別人となって真相を語るイデア。彼女はかつてママ先生と呼ばれた、孤児たちの育ての親だった。

Impressive Words

「もう少年ではいたくない?」
「もう戻れない場所へ。さあ、少年時代に別れを」
——ティンバー：進退きわまったサイファーに

「私は恐怖をもたらす魔女として未来永劫舞い続けよう!
おまえたちと私。ともに創り出す究極のファンタジー。
その中では生も死も甘美な夢」
——デリングシティ：デリング大統領を殺害したあとの演説

「この日を待っていました。この日を恐れていました。
今日は善き日ですか?　今日は忌まわしき日ですか?」
——ガルバディアガーデン：魔女の呪縛から解き放たれて

スコール&ラグナ関係者

ラグナを救った小さな村の美女 登場場所 ウィンヒル(ラグナ編)

レイン Raine

ウィンヒルの村でパブを営んでいた、うら若き女性。重傷を負って村にかつぎこまれてきたラグナを看病したのがきっかけで親しくなり、隣家の少女エルオーネとともに3人での共同生活を送るようになる。のちにラグナと結ばれてスコールを宿すが、出産直後に他界してしまう。

←親切で、相手を思いやる優しい心の持ち主。キロスいわく"悪いヤツにだまされるタイプ"。

Impressive Words

「痛い痛いってヒイヒイ泣きながらここに運ばれて来て、それからずっと看病させて……ジャーナリスト志望のくせに言葉使いは汚いし間違えるし、真面目な話になるとすぐに逃げ出そうとするし、イビキはうるさいし寝言だって……」
——ウィンヒル:ラグナと結婚しないのかとエルオーネに聞かれ

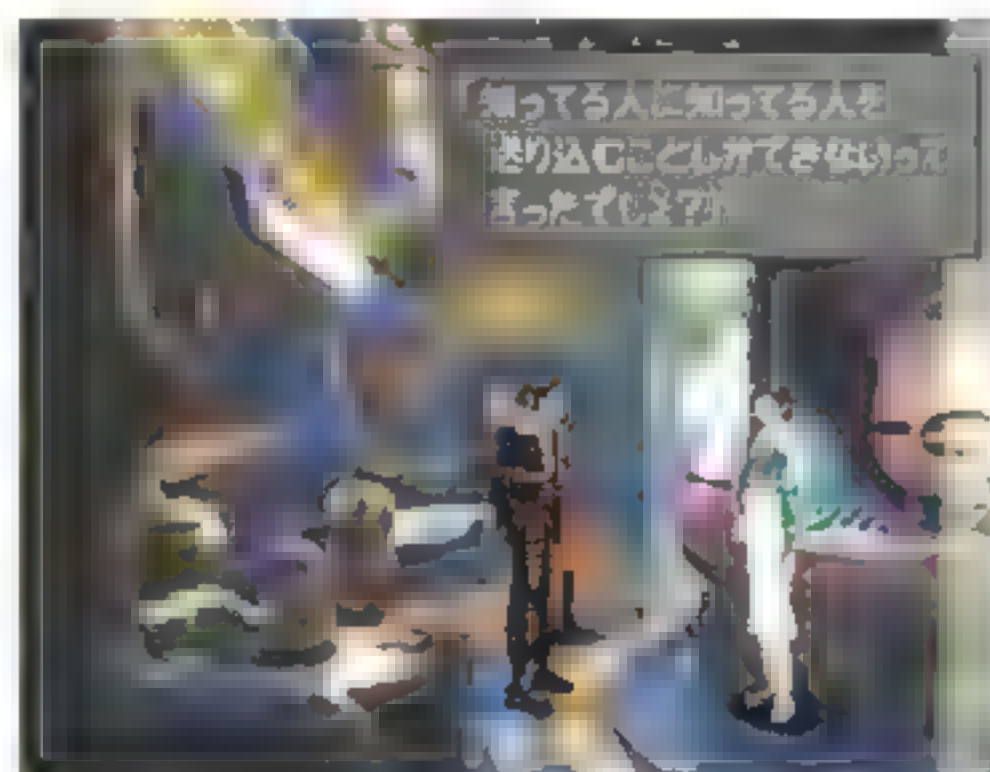
不思議な力を秘めた能力者 登場場所 バラムガーデン、ウィンヒル(ラグナ編)ほか

エルオーネ Ellione

エスタとの戦争で親を亡くし、レインが親がわりを務めていた少女。ラグナにもなついていたが、魔女アデルの後継者候補を集めるエスタにさらわれてしまい、その後も魔女に追われて長い逃亡生活を送ることに。"接続"と呼ばれる、人の意識を別の人間のなかに送る能力を持つ。

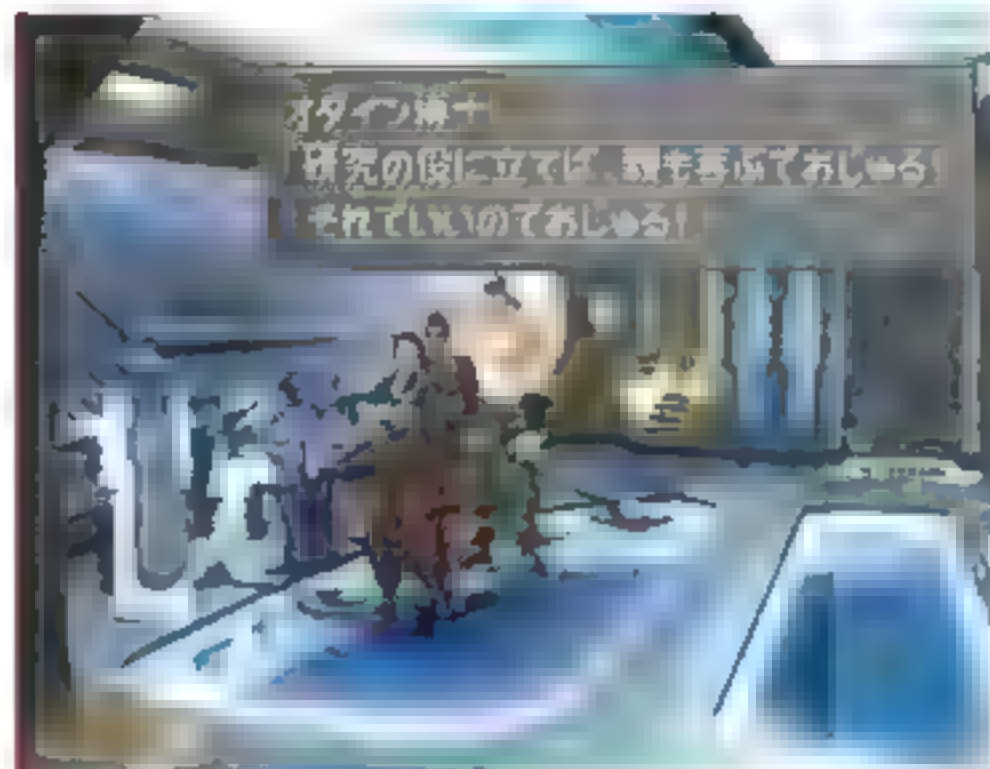
Impressive Words

「(おこられちった)」
——ウィンヒル:ラグナと話して

「あ……今、同じだった。スコール、子供の頃と同じ目したね。子犬みたいな……すがるような……目……」
——ルナサイドベース:スコールをリノアに"接続"して

←イデアの孤児院で暮らしていた時期もあった。彼女との別離が、スコールの面倒な性格の遠因。

徹底して自己中心的な天才研究者 登場場所 エスタ

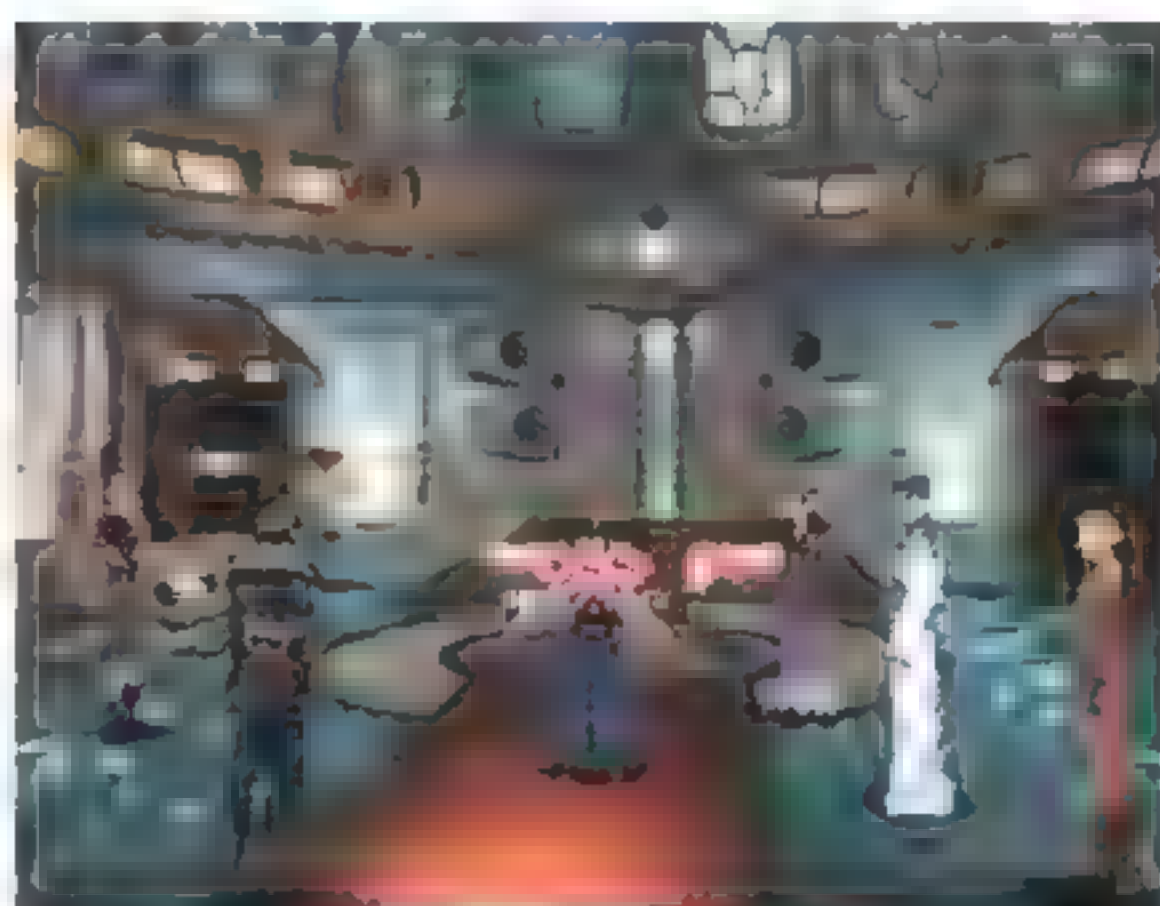
オダイン博士

魔法研究分野の第一人者であり、G.F.の発見者としても名高いエスタの天才科学者。知的好奇心を満たすことにしか興味がなく、そのために誰かに迷惑をかけようが気にもとめない。彼がエルオーネの力を研究した結果、未来のアルティミシアに彼女の存在を知られることになった。

←天才ながら人格に欠陥のある"ひとでなし"。おかげでラグナはエスタを離れられなかった。

Impressive Words

「オダインを人質にするでおじゃるか。バカでおじゃる」
——エスタ:スコールにすごまれて

「やるでおじゃるか! やるでおじゃるか?」
——エスタ:エルオーネが狙われる理由を知られて

リノア関係者

魔女の台頭を阻止せんとする軍幹部 登場場所 デリングシティ

カーウェイ大佐 フューリー・カーウェイ

デリング政権下でガルバディア軍大佐を務めていたが、魔女イデアが大使として政府中枢に入りこむことに危機感を覚え、SeeDによる暗殺計画に助力する。デリングの死後は命令系統からはずされ、事実上の解任状態となった。リノアの父で、自分に反抗する娘のことを案じている。

←軍での影響力を失ってからはカードに興じている。リノアのカードを大切にしている模様。

Impressive Words

「そう呼んでもらえなくなってずいぶんになる」
——デリングシティ:リノアの父なのかと聞かれて

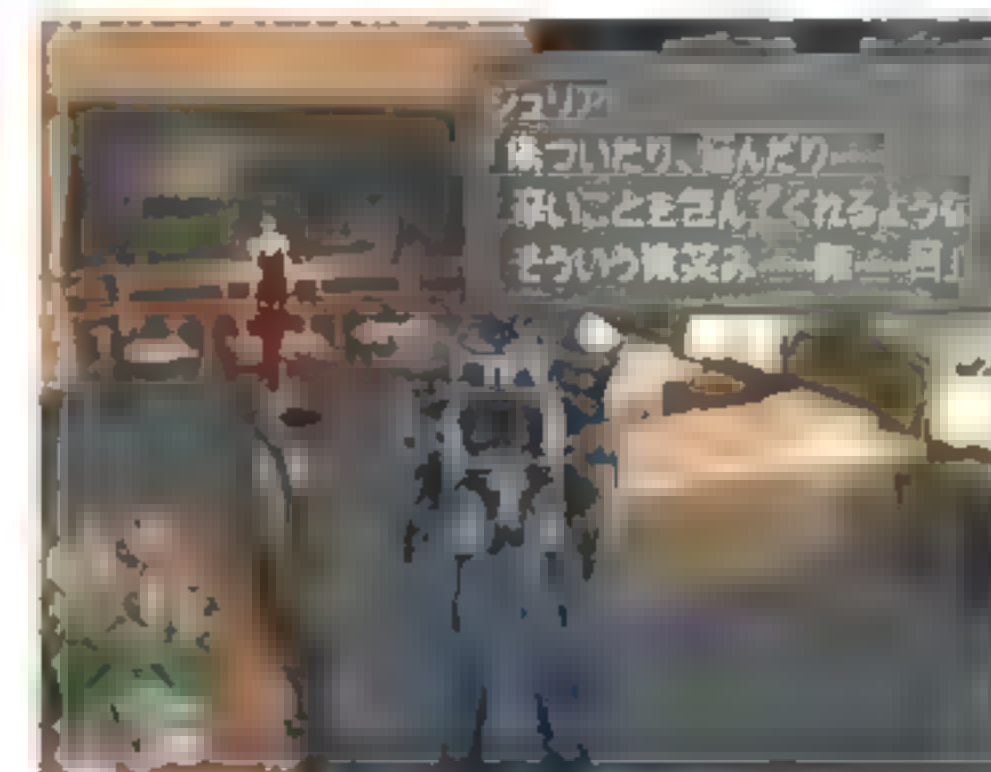
「リノアのこと、頼むよ」
——デリングシティ:訪ねてきたスコールに

ガルバディアが生んだ伝説の歌姫 登場場所 デリングシティ(ラグナ編)

ジュリア ジュリア・ハーティリー Julia Heartilly

ホテルのバーで演奏し、多くの兵隊たちの心をつかんでいた美人ピアニスト。歌手としてのデビュー曲「アイズ・オン・ミー」が大ヒットとなり、世界中に名をはせた。戦場に送られたラグナの帰りを待っていたが、のちにカーウェイ大佐と結婚。リノアをもうけ、早くに世を去った。

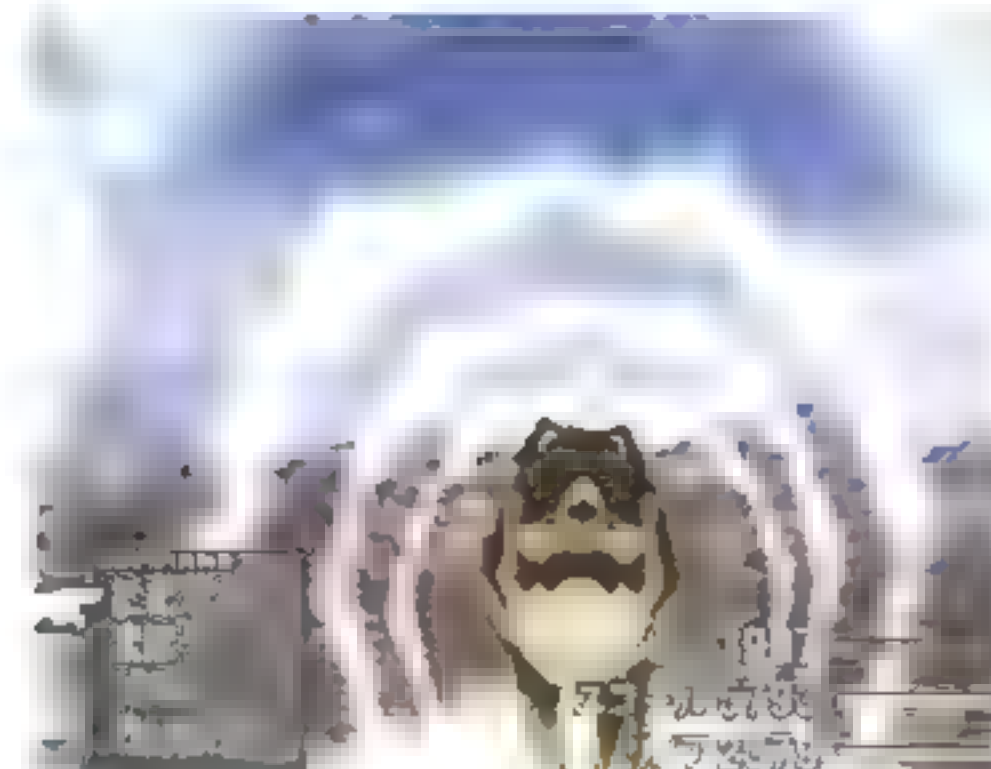
Impressive Words

「私は……歌いたいの。ピアノだけじゃなくて歌いたい」
「あなたのおかげで詞が出来そう」
「あなたが私にヒントをくれたの。きっといい歌ができると思うわ」
——デリングシティ:ラグナとの会話

←ラグナとの出会いに着想を得て書いたはじめての歌が、彼女を大きく羽ばたかせるものとなる。

リノアを守る賢い忠犬 登場場所 (リノアに同行)

アンジェロ Sant' Angelo di Roma

ペットショップでひと目ぼれしたリノアが、自分のこづかいをはたいて買ってきた愛犬。つねにリノアのあとをついてきており、甘えん坊でさびしがりやながら、家族同然にかわいがってくれる大切なご主人のためなら勇敢に戦ってのける。シッポがないのが特徴。

←雑誌「ペット通信」に紹介されている新しい技を、飲みこみよく覚えてリノアを助けてくれる。

◆プロフィール
- 性別…………メス
- 年齢…………2歳
- 体高…………55cm
- 誕生日………12/13
- 好物…………ホワイトチョコレート、お寿司、リンゴ、ヨーグルト、ピーナッツバター
- 嫌いなもの…ドッグフード、香辛料が効きすぎたもの

全校生徒の母親役　登場場所 バラムガーデン

カドワキ先生

バラムガーデンで生徒たちの健康管理をになう保健医。落ち着きがあり、人の気持ちを上手にくみ取れる人物であるため、彼女を慕って悩みを相談しにくる生徒も数多い。ガーデンにミサイルが迫ったときも、生徒たちの治療を最優先に考え、避難しようとしなかった胆力の持ち主。

←シド学園長も彼女の前ではつらい胸のうちを明かす。包容力はまさにガーデンのおっかさん。

Impressive Words

「怪我人に学園長派もマスター派もないだろ」
——バラムガーデン：スコールが争いを静観した場合に

「生徒たちに勇気をあげなさい。あんたはみんなの指揮官なんだからね」
——バラムガーデン：スコールにスピーチをうながして

頼りになる女SeeD　登場場所 バラムガーデンほか

シュウ

スコールの先輩にあたり、現役SeeDとして活躍する女子生徒。ドールでの実地試験のサポートを務めたり、バラムガーデンの内紛では学園長側に立って生徒たちをまとめるなど、非常に有能で、高い統率力を備える。キスティスとは共通の趣味を持ち、気の置けない親友同士。

Impressive Words

「サイファー、何度目?」
——ドールへ向かう上陸艇：万年候補生のサイファーに

「なんか、肩書きあった方がいいでしょ?　私とキスティスで決めたわ」
——バラムガーデン：委員長と呼ばれたスコールに

←教師のキスティスですらあきらめ気味の超問題児サイファーを、正面から叱責できる気の強さ。

バラムガーデンを"動かす"男　登場場所 バラムガーデン

ニーダ

スコールと同期でSeeDに合格した地味な男子生徒。「ガーデンを動かすほどの大きな男になる」という志を抱いていたところ、自走能力を得たバラムガーデンの操舵をまかされることになる。SeeDになっただけあって能力は高く、納涼演芸大会カード勝負で優勝の経歴も。

←シドから気を使われるほどの影の薄さ。ほかの合格者が個性的すぎるという話もあるのだが……。

Impressive Words

「なっ!　ひでぇなぁ。俺だよ、俺。
一緒に、SeeD試験に合格したじゃねぇか」
——バラムガーデン：スコールに誰だと問われて

「ガーデンの操縦は俺が担当する事になったから、よろしく」
——バラムガーデン：ガーデンが移動可能になったことを報告して

暴れん坊に恋する本好き乙女　登場場所 バラムガーデン、バラム

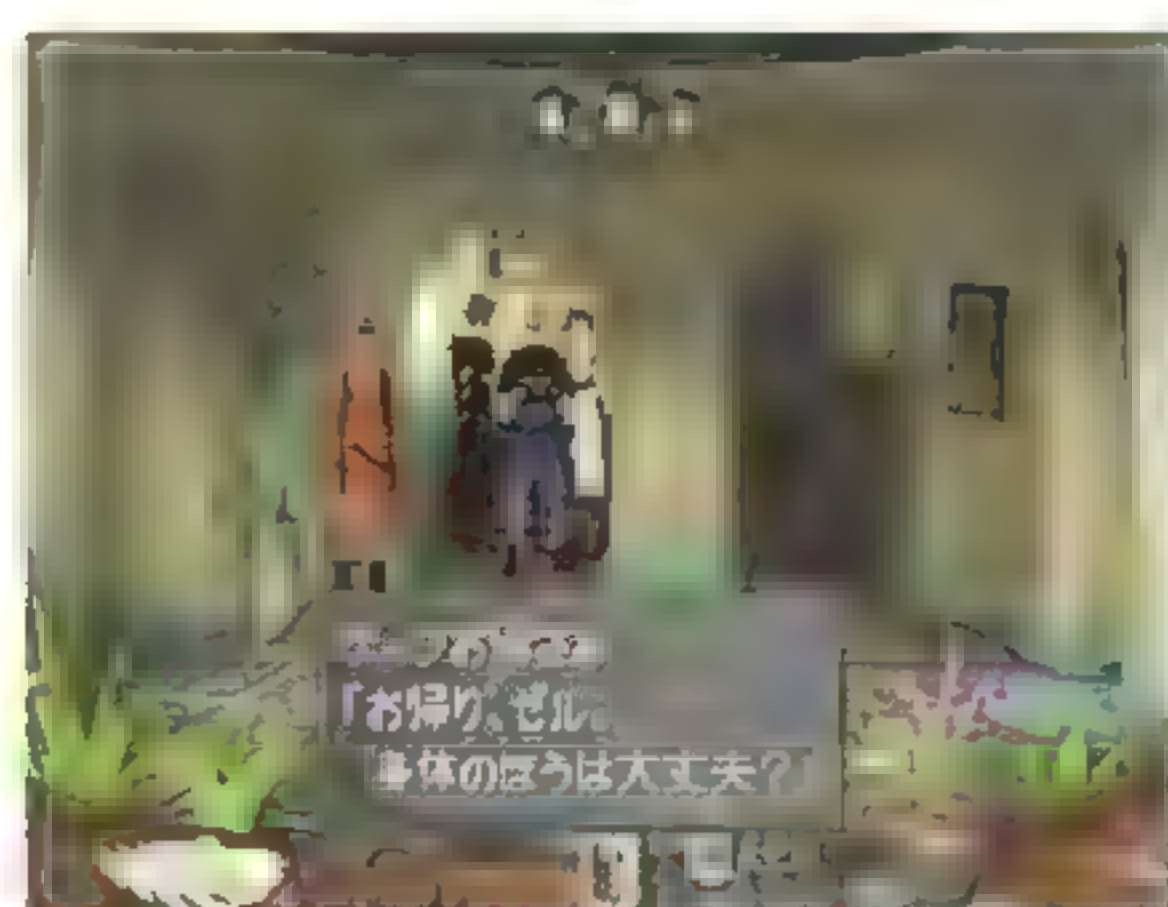
三つ編みの図書委員

純愛小説を好む、バラムガーデン図書委員のひとり。ゼルに想いを寄せているものの、内気なあまりそれを告白できずにいた。のちには、読書向きではない彼のために、ぴったりの本を探してバラムの街まで届けに行くという積極性を見せ、気持ちを伝えることに成功する。

←彼女にモーションをかけるSeeDもいるが、ゼルへの気持ちを知っているほかの図書委員が撃退。

Impressive Words

「欲しい本がありましたら図書委員までどうぞ。どうぞ、ご遠慮なく」
——バラムガーデン：話しかけると

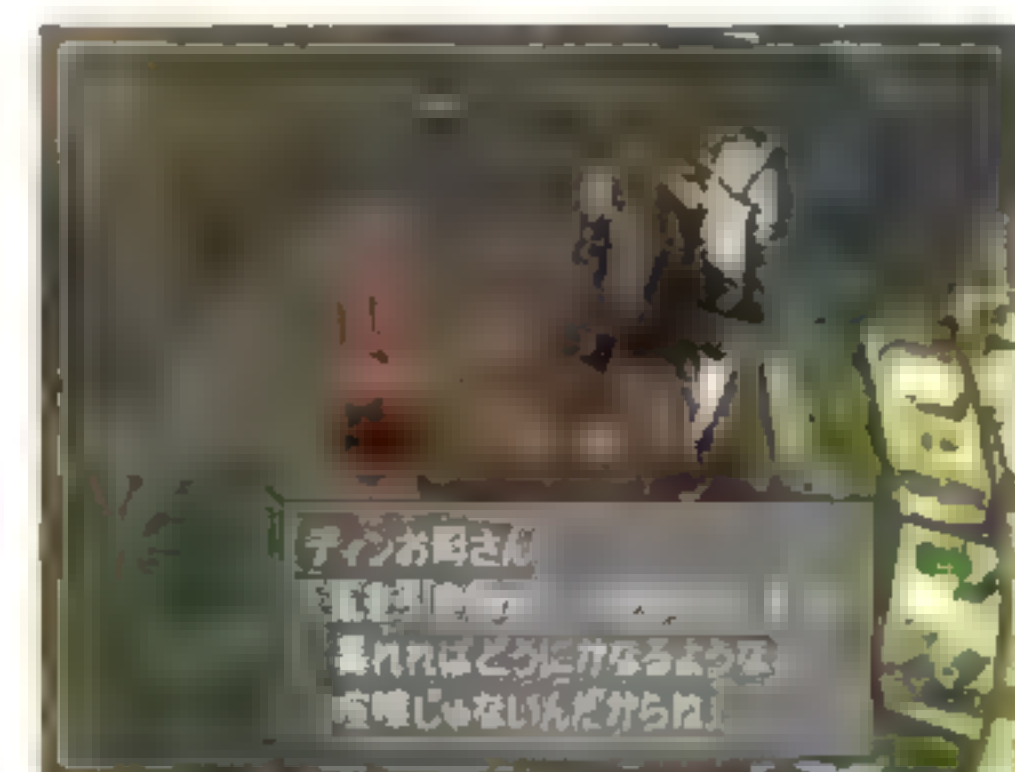
「旅先で、その本を開くたび……いえ、時々でもいい……私のことを、ほんの少しだけでも思い出してくださったら……私はそれだけで胸がいっぱいに……なります……」
——バラム：ゼルに「格闘王003」を手渡して

ゼルの帰りをいつでも待っている養母　登場場所 バラム

ディンお母さん

バラムに住んでいるゼルの母親。温厚なしっかり者で、街の人々からも頼りにされている。幼いころに孤児のゼルを引き取って、ずっと面倒を見てきた。息子が顔を見せにもどるのを心待ちにしており、血はつながっていなくとも、互いに慈しむ本当の親子と呼べる間柄だ。

Impressive Words

「あら、めずらしい!　お友だちも一緒ね?」
——バラム　スコールたちと一緒に訪れたゼルに

「時々は帰ってきなさいね。顔を見せるだけでいいから」
——バラム：帰宅したゼルに

←ガルバディア軍の占領時には率先して住民のパニックを抑えるなど、判断力にもすぐれている。

バラムの2代目やんちゃ小僧　登場場所 バラム

チビ暴れん坊

数々の熱血伝説を残すゼルを兄貴分と慕うわんぱく少年。小柄な身体を活かして情報収集をしたり、スコールたちが占領下のバラムから出るのを手助けしたりと、暴れん坊の名を受け継ぐにふさわしい活躍を見せる。

Impressive Words

「それっ!　スーパー・ミラクル・きーーっく!!!」
——バラム：必殺技を披露して

やんちゃな息子に頭を悩ます母　登場場所 バラム

チビ暴れん坊のママ

言いつけをまるで聞かないチビ暴れん坊の無鉄砲な行動に弱り果てながら、日々の子育てに励む若き母親。ママ本人も常識人に見えて、なかなかに過激な発言をしてのけるあたり、じつはよく似た親子なのかもしれない。

Impressive Words

「無理をしない程度にガツンと一発、食らわせてあげなさい」
——バラム：ゼルに無理はするなと言いつつ

ガルバディアの人々

SeeDとの奇縁が運の尽き　登場場所 ドール、ガルバディアD地区収容所ほか

ビッグス

ガルバディア軍の技術将校。ドール電波塔での初登場時の階級は少佐だったが、派遣される先々でスコールたちに出くわし、敗北するたびに降格の憂き目に遭う。勝負がついたあとも、無人機動兵器を起動してけしかけてくるなど、あきらめが悪くセコい性格。

←部下には理不尽に当たり散らすイヤな上司。減俸処分はガルバディア軍では日常茶飯事らしい。

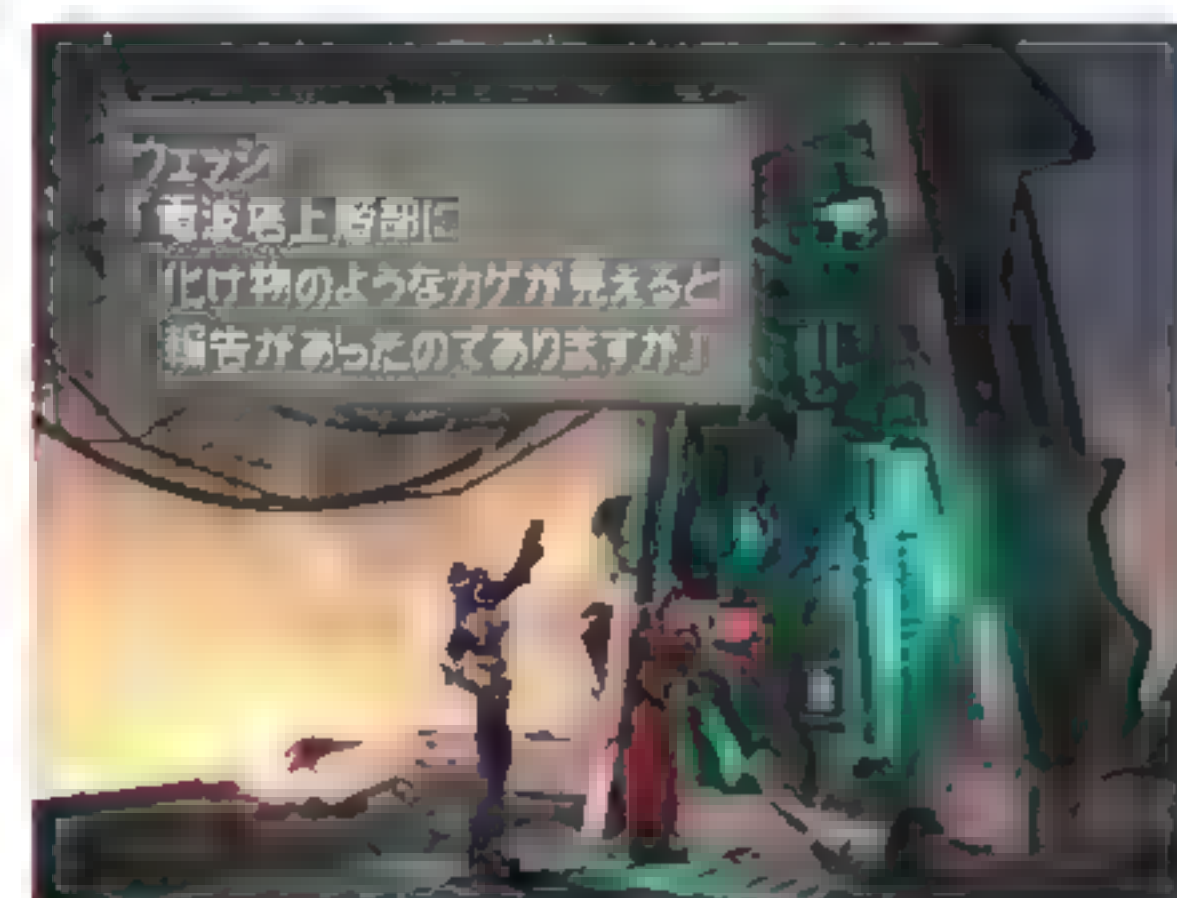
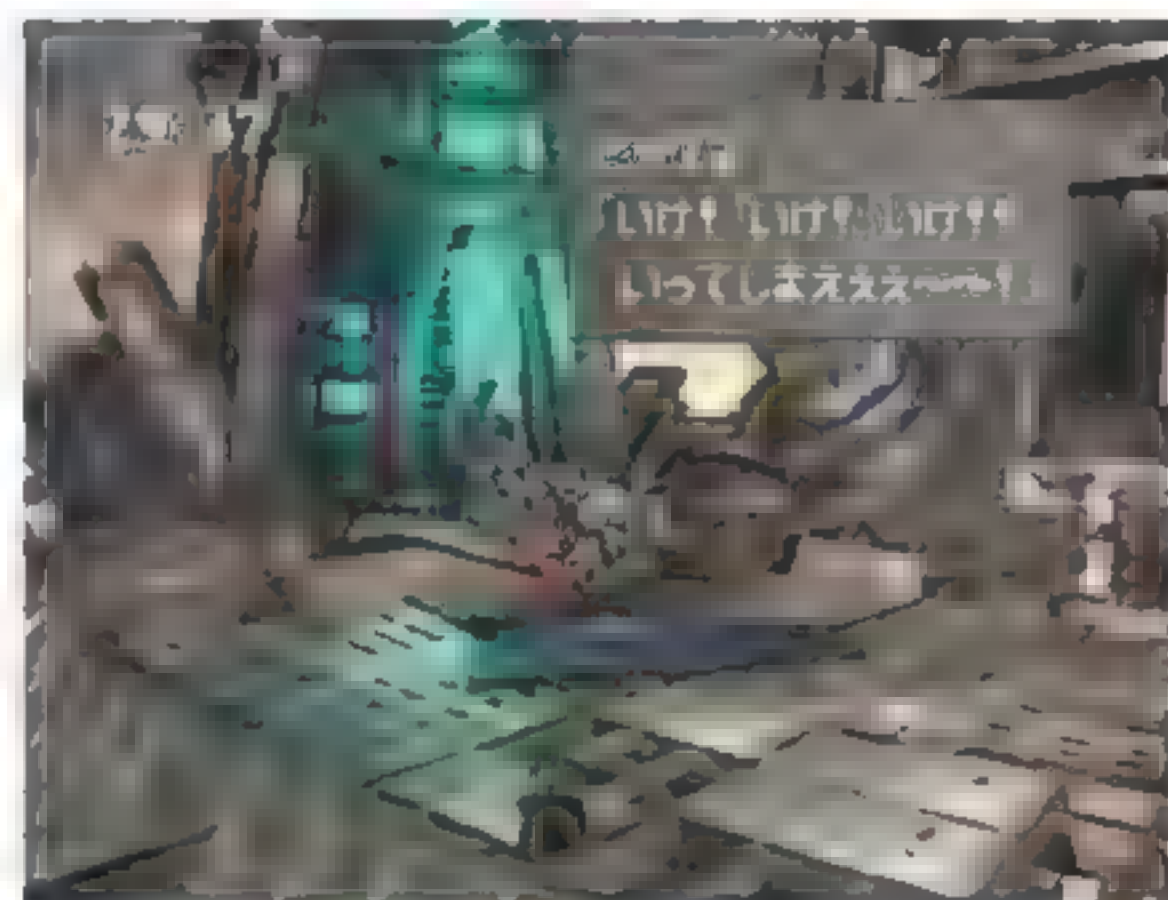
Impressive Words

「こ、ここで会ったが100年目。
　ドールで、つかなかった決着、ここでつけちゃろう」
——ガルバディアD地区収容所：囚人のゼルたちと再会して

「これで、三等兵か……」
——ガルバディアD地区収容所：ゼルたちとのバトルに敗北して

上司との腐れ縁に涙する　登場場所 ドール、ガルバディアD地区収容所ほか

ウェッジ

ビッグスの部下として配属された兵士。上司の失態の連帯責任を取らされ、左遷先にも一緒に派遣されるという、とことんツキのない人生を歩んでいる。基本的にはマジメで、ビッグスのでたらめな命令に耐えながら任務をこなしているが、ストレス過多のあまりキレやすい状態。

Impressive Words

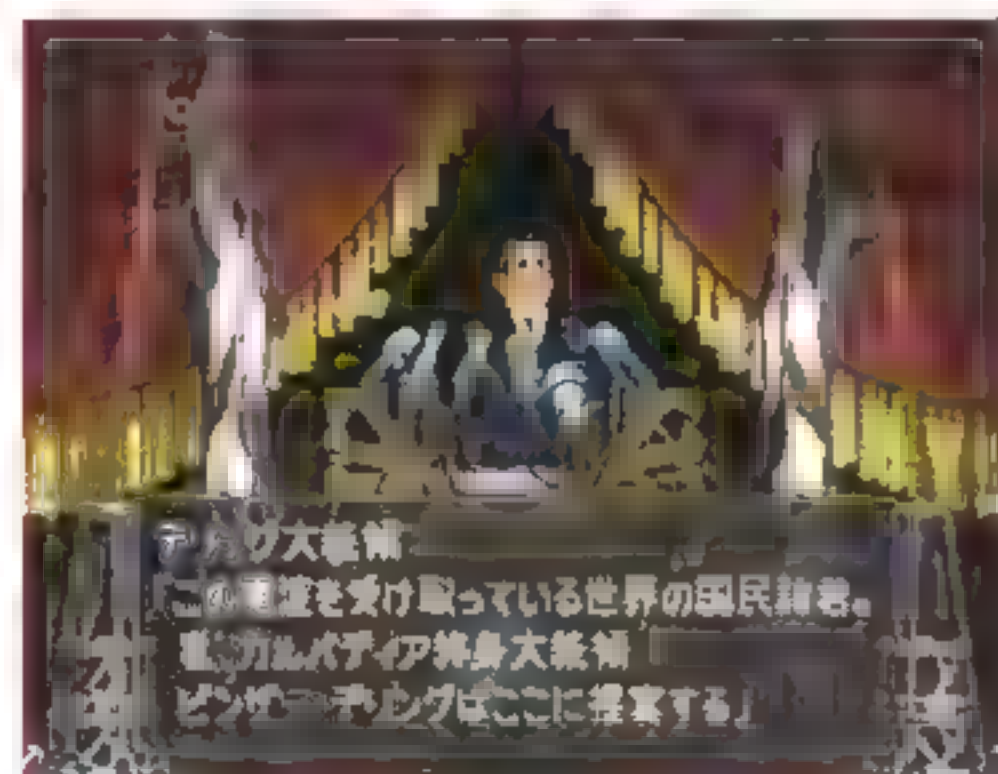
「いいのかなぁ、左遷させられた腹いせに囚人イビろうなんて……」
——ガルバディアD地区収容所：ビッグスのおともをしながら

「や、やめたら給料もらえなくなりますよ」
——ルナティックパンドラ：軍を辞めるというビッグスに

←横暴な上司にガマンも限界まできており、2回目の登場時にはバトル中に突然キレはじめる。

冷酷非道な独裁者　登場場所 ティンバー、デリングシティ

デリング大統領

ガルバディアの終身大統領。敵対国エスタがふたたび攻めてきた場合に備える国力をつけるためという名目で、批判を許さない恐怖政治を行なって強大な権力を得た。さらなる領土拡大をたくらみ魔女イデアを大使としてかつぎ出すも、裏切られて自業自得と言うべき最期をとげる。

←表向きは紳士的だが卑劣で残忍。ティンバーへの侵攻もデリングが中心となって決定された。

Impressive Words

「なるほど……。君たちはガーデンの連中か。私の身に何かあったら
　ガルバディア軍は総力を挙げてガーデンを潰しにかかるぞ」
——ティンバー：サイファーがガーデンの生徒だと知って

「イ、イデア……いったい何を……」
——デリングシティ：予定外の演説をはじめたイデアに

魔女

時間圧縮を望む未来の魔女　登場場所 アルティミシア城

アルティミシア

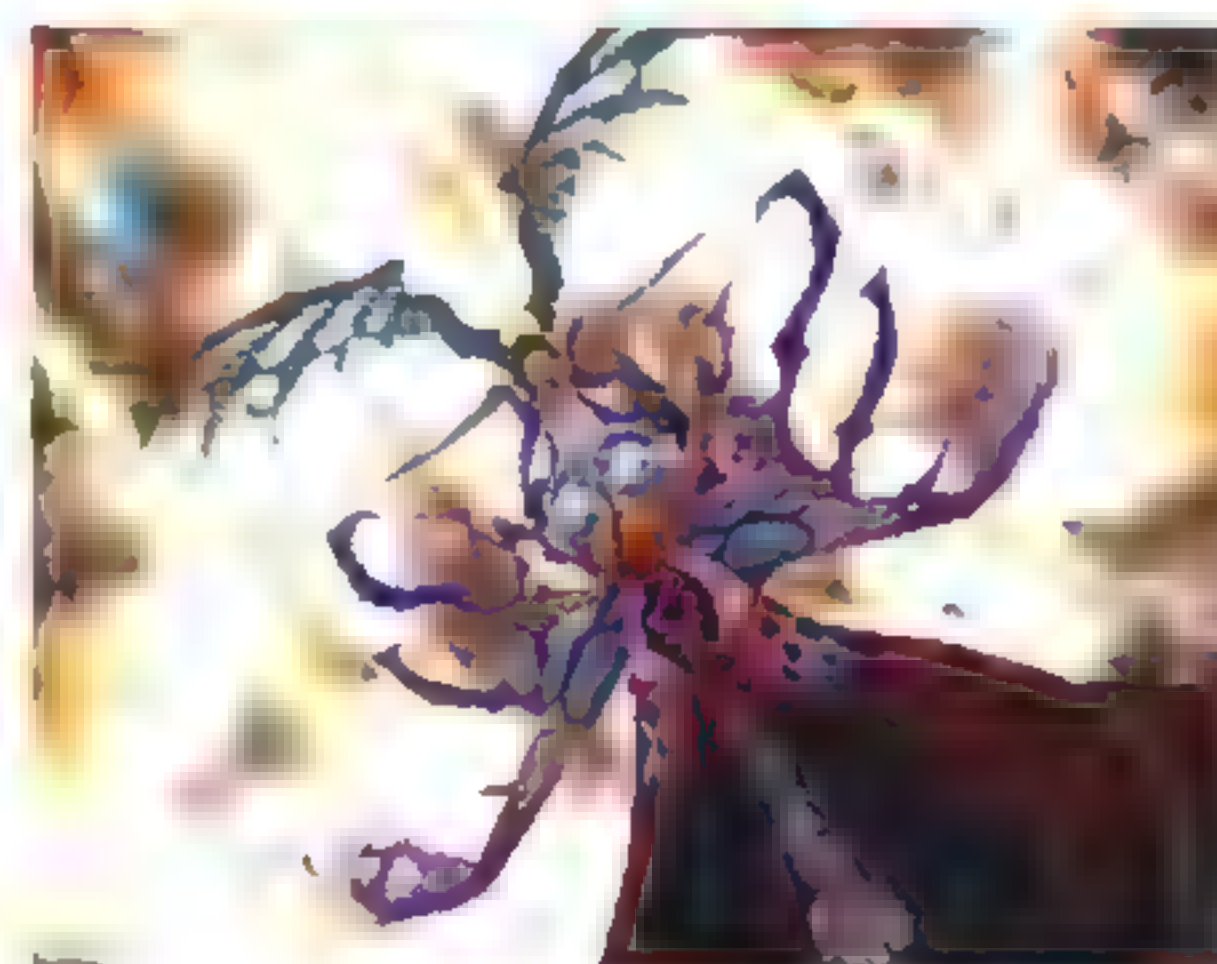
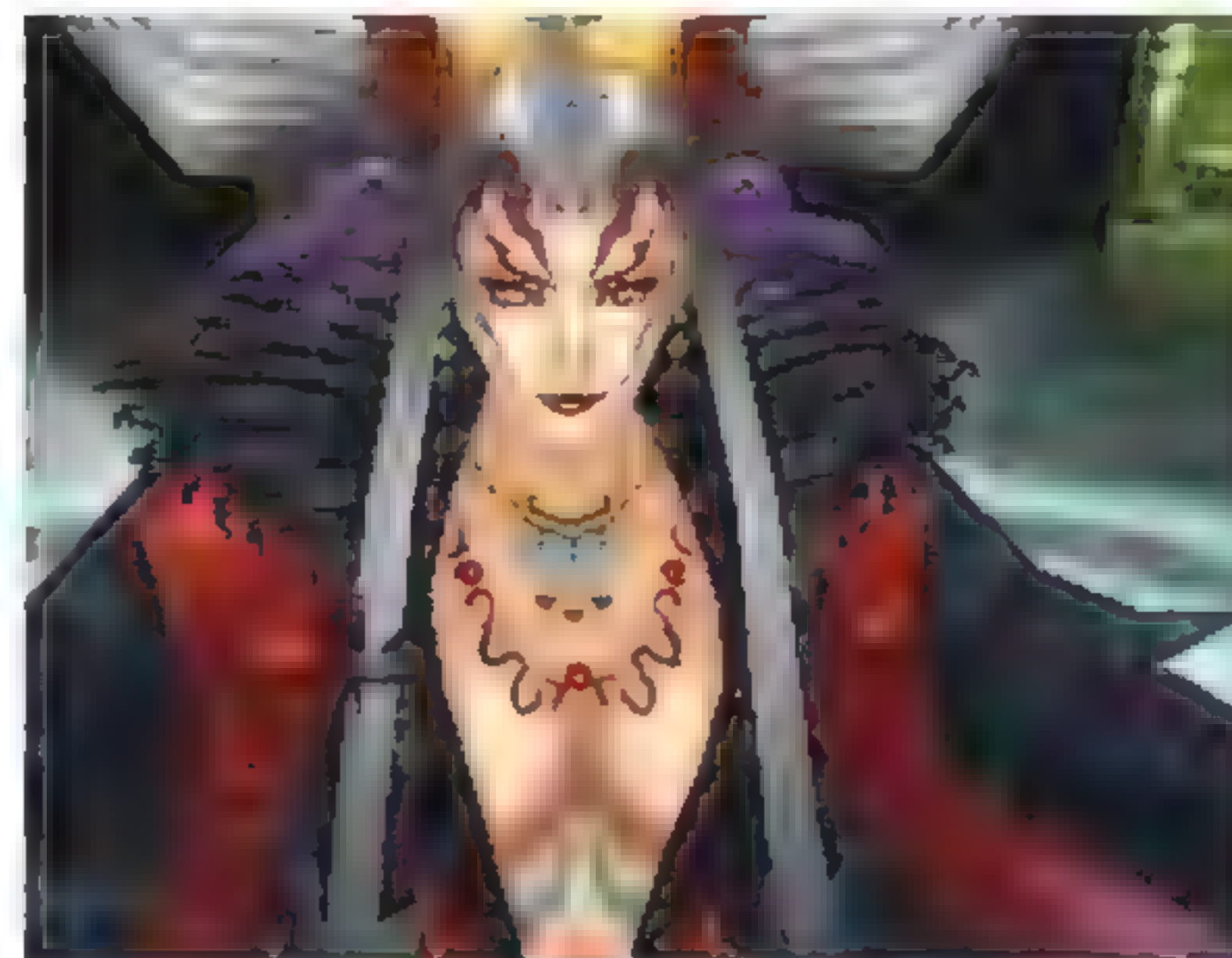
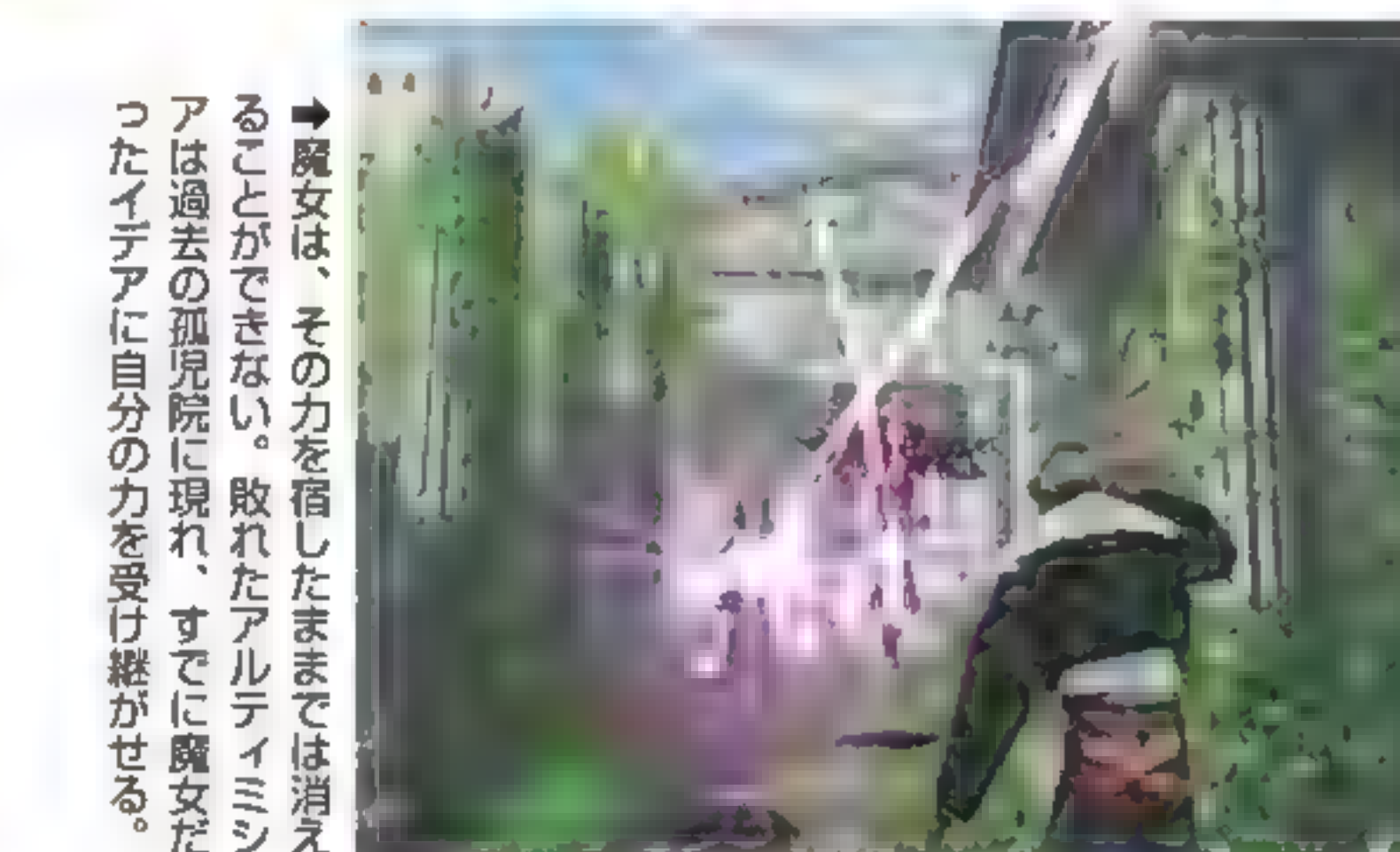
かぎりない怒りに満ちた、はるか未来に存在する恐るべき魔女。その時代に伝わっていた、人間の意識をほかの人間の精神に時空を超えて接続する装置「ジャンクション・マシーン・エルオーネ」を用いて過去の世界の魔女に取りつき、特別な力を持つエルオーネを捕らえようともくろんでいる。

彼女の究極の目的は、エルオーネを使ってさらに過去の時代へと意識を飛ばし、そこで時間魔法のひとつである"時間圧縮"を発動させるというもの。それを実現させることで、過去からスコールたちの生きる現在、そして未来までの時間をすべて圧縮して融け合わせ、アルティミシア以外が存在できない世界を誕生させようとした。

最初は魔女イデアに"接続"し、彼女の記憶を通じてエルオーネの足取りを追おうとしたが、精神を完全に明け渡す選択をして記憶を閉ざしたイデアにこれをはばまれる。あやつり人形にしたイデアがスコールたちSeeDに敗れ、魔女の力がリノアに移ってしまうと、今度はリノアをあやつり、宇宙に封印された邪悪な魔女アデルを解き放とうと画策。復活したアデルを支配して、エルオーネを手中に収めようとする。

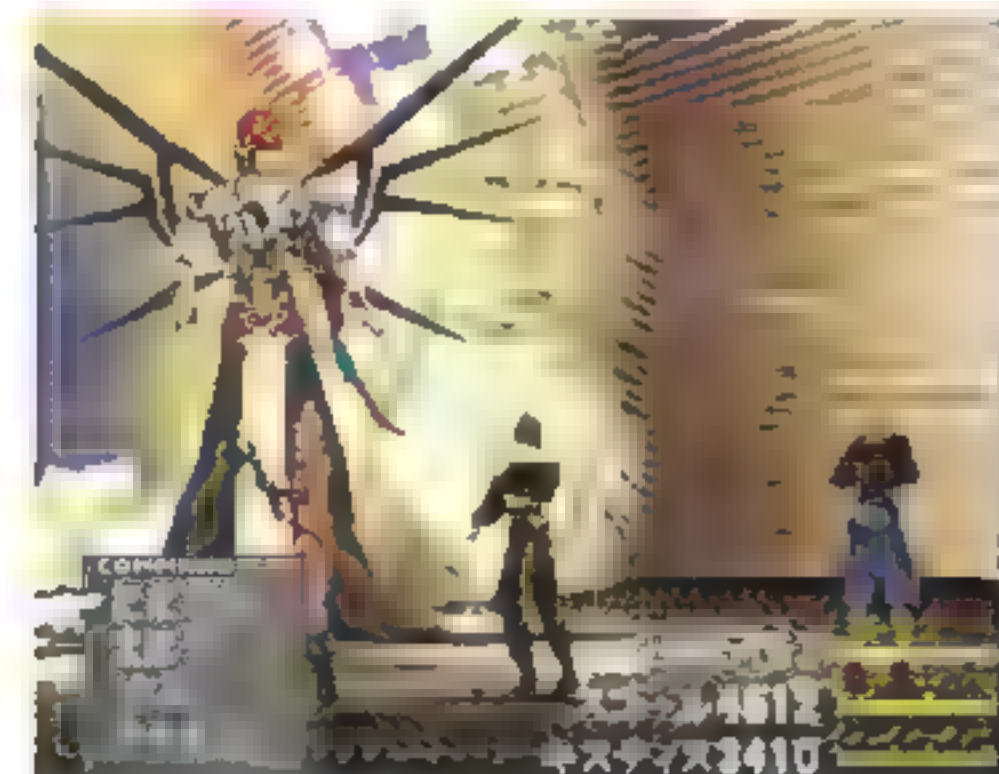
Impressive Words

「SeeD……SeeD……SeeD、SeeD、SeeD!!」
「なぜ魔女の邪魔をする！　なぜ私の自由にさせない!?」
「おまえらの存在など
　時間圧縮のアルゴリズムに溶けこんでしまうがいい!!」
——アルティミシア城：戦いのはじまりに

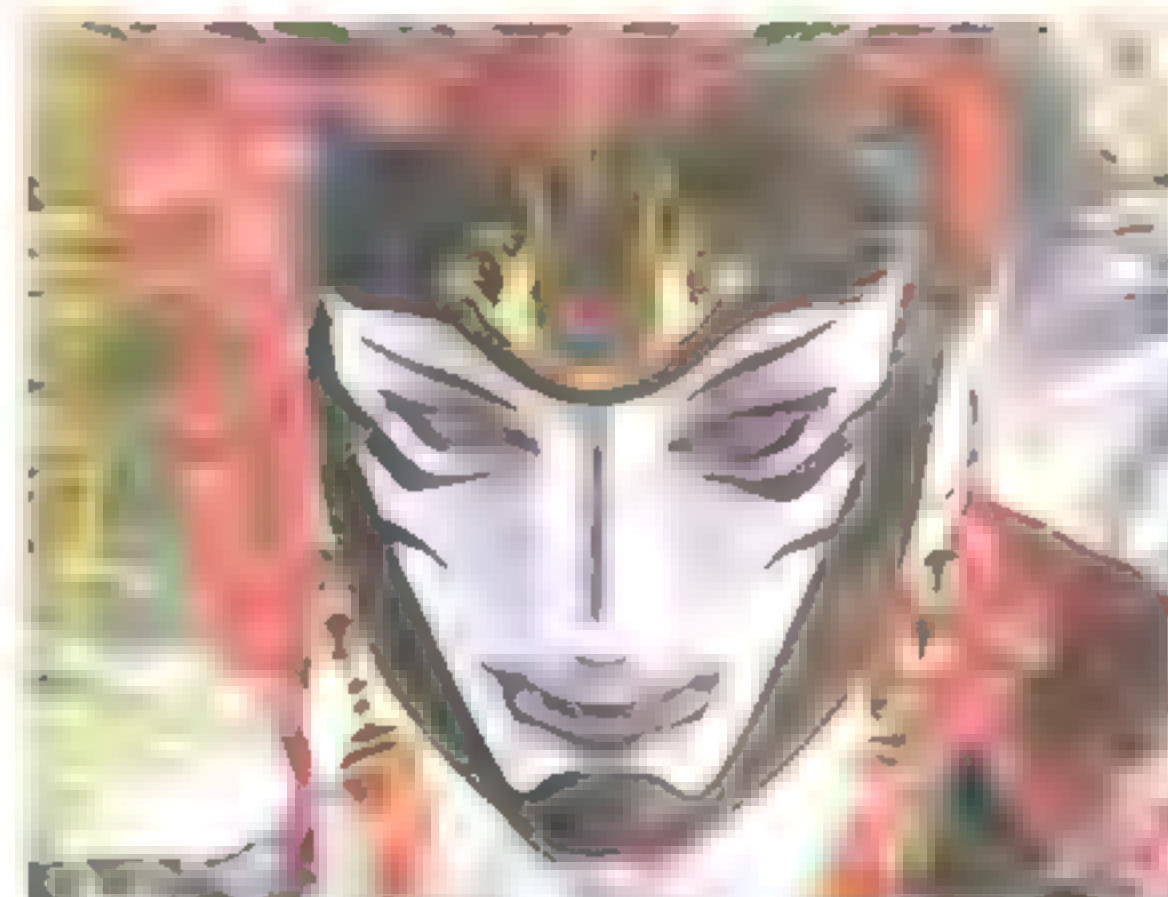
「わたしはアルティミシア。
　すべての時間を圧縮し、すべての存在を否定しましょう」
——最終形態となって

←時間圧縮をはばむべく未来にやってきたスコールたちを、さまざまな形態に姿を変えて迎え撃つ。最後は、顔のない不気味な姿となって襲いかかってきた。

➡魔女は、その力を宿したままでは消えることができない。敗れたアルティミシアは過去の孤児院に現れ、すでに魔女だったイデアに自分の力を受け継がせる。

世界を敵にまわしたエスタの旧支配者　登場場所 ルナティックパンドラほか

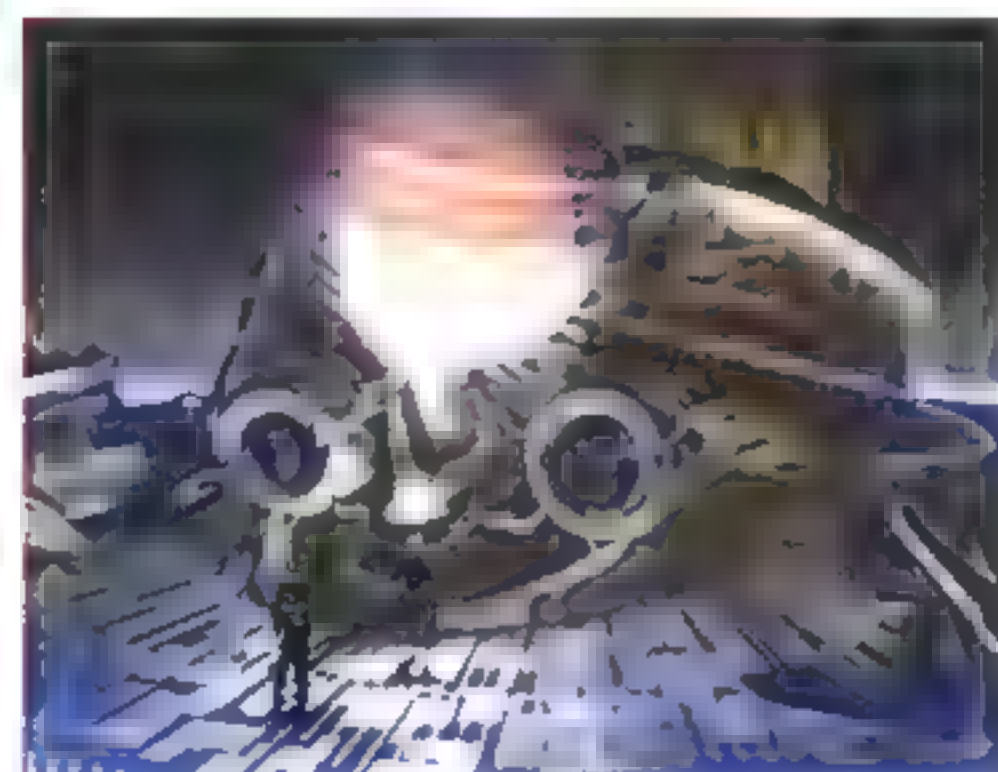
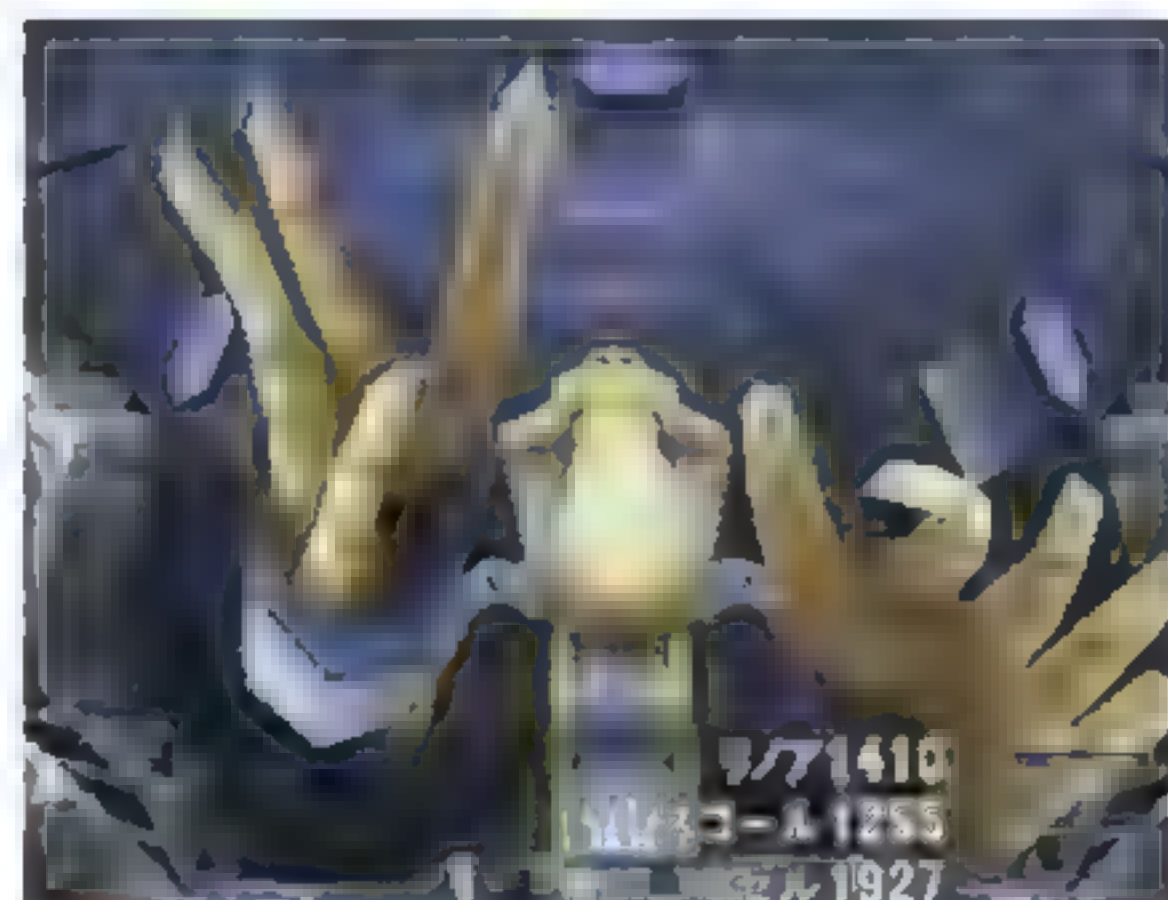
アデル

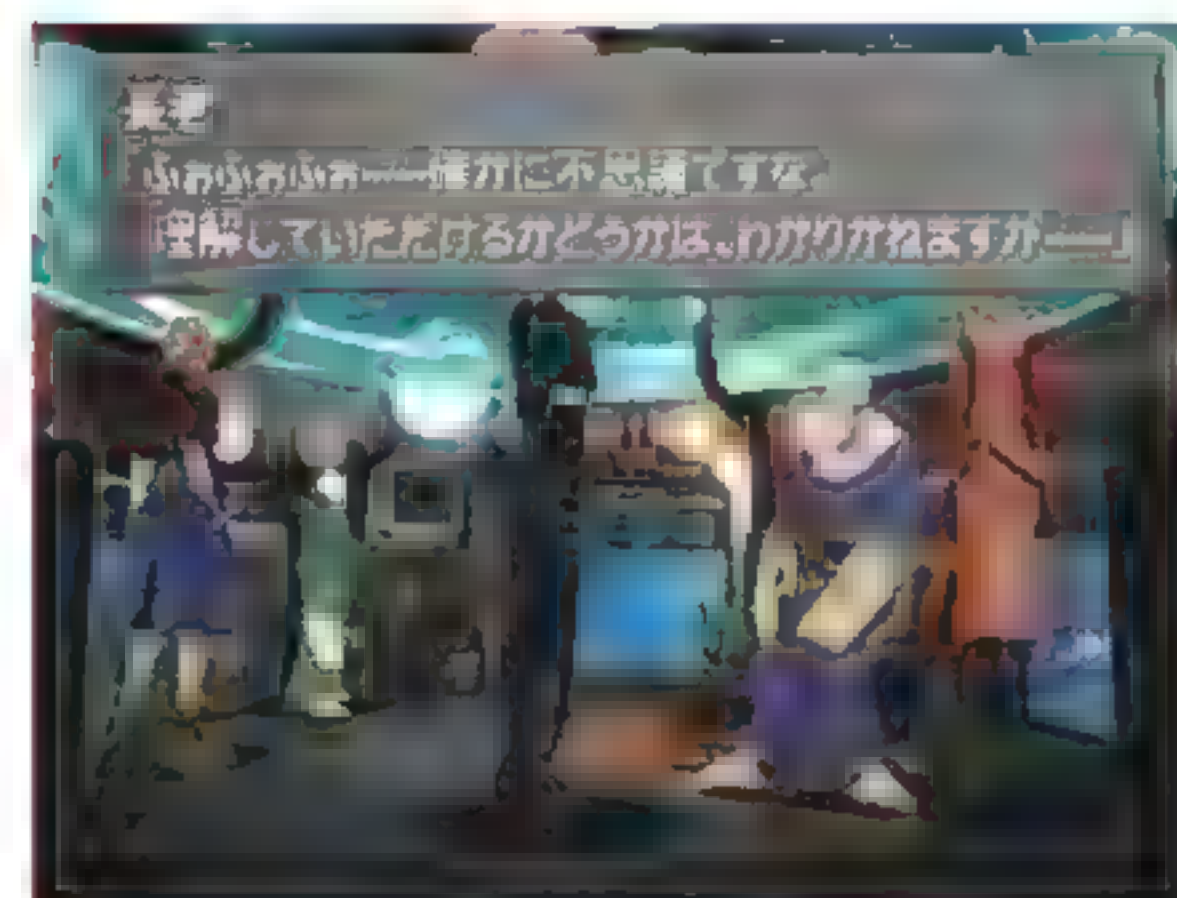
かつてエスタを支配し、受け継いだ力を欲望のままに行使して大戦争を引き起こした魔女。ラグナの活躍によってパッキング技術の結晶であるセメタリーに封印を受け、宇宙空間に放逐され監視を受けていたが、新たな依りしろを求めるアルティミシアの策謀で地上に舞いもどる。

←覚醒したアデルはリノアと合体し、卑怯千万にも彼女の体力を奪いながら戦いを仕掛けてくる。

Impressive Words

「こんな手に乗ると思ったのか?」
——エスタ：エルオーネのホログラムの前に自分を誘いこんだラグナに

ガーデンを裏で支配するシュミ族　登場場所 バラムガーデン

ノーグ

肥大した異形の姿を持つ、バラムガーデンの経営者。SeeD育成を目指すシドに出資し、ガーデン設立を財政面で支援する。シドの理念には何の興味も抱いておらず、SeeD派遣業務を発案して金儲けにふけっていた。シュミ族の特性から、醜い内面が反映されて外見が変化している。

←スコールたちに襲いかかって返り討ちに遭い、すっかりおびえたノーグは繭状の球体に閉じこもる。

Impressive Words

「フシュルルル……3秒・までなーい」
「いま・わかった。シドとイデア・わじからガーデン・のっとる気だ。おまえらも・シドの手先・だな。ゆ・ゆるせん」
——バラムガーデン：スコールの報告を受けて

一族最高の最終形態　登場場所 シュミ族の村

シュミ族の長老

同時代のシュミ族のなかで、ただひとりしかなることのできない究極の姿に変身した者。すぐれた創造をしてこなければ長老には変身できず、偉業をなし得たその手のひらに拝謁を許されるのは最高の名誉とされる。ラグナの縁者であるスコールにひとときの安らぎを与えようとした。

Impressive Words

「せっかく来て頂いたのだから贈り物がしたいのですが……我々シュミ族は何もしない者には何も与えない風習になっております」
——シュミ族の村：スコールに手伝いを依頼して

←村に転がりこんできたラグナの不思議な魅力を深く理解しようとし、ラグナ像の制作を発案。

狡猾なガーデン経営者　登場場所 ガルバディアガーデン、F.H.

ドドンナ

ノーグから、ガルバディアガーデンのマスター兼学園長をまかされている男。偽造した魔女イデア暗殺の命令書を示してスコールたちをあざむき、保身を図った。地位を失ってからは、流れに流れてF.H.にたどり着く。

Impressive Words

「私は……私は……いままでの自分が、はずかしいぃー!!」
——F.H.：拾ってくれた街の人々に感謝して

はるか頭上の世界で働く男　登場場所 ルナサイドベースほか

ピエット

ルナサイドベースに勤務するエスタの技術者で、訪れたスコールを案内してくれる。魔女アデルの封印が解かれたあおりで基地が破壊されたときには、エルオーネたちとともに脱出ポッドに乗りこんで地上へと生還した。

Impressive Words

「結局バック噴射の燃料も尽き、生命維持装置も切れて、二人とも死ぬのがおちだぞ」
——ルナサイドベース：リノアを助けに行こうとするスコールに

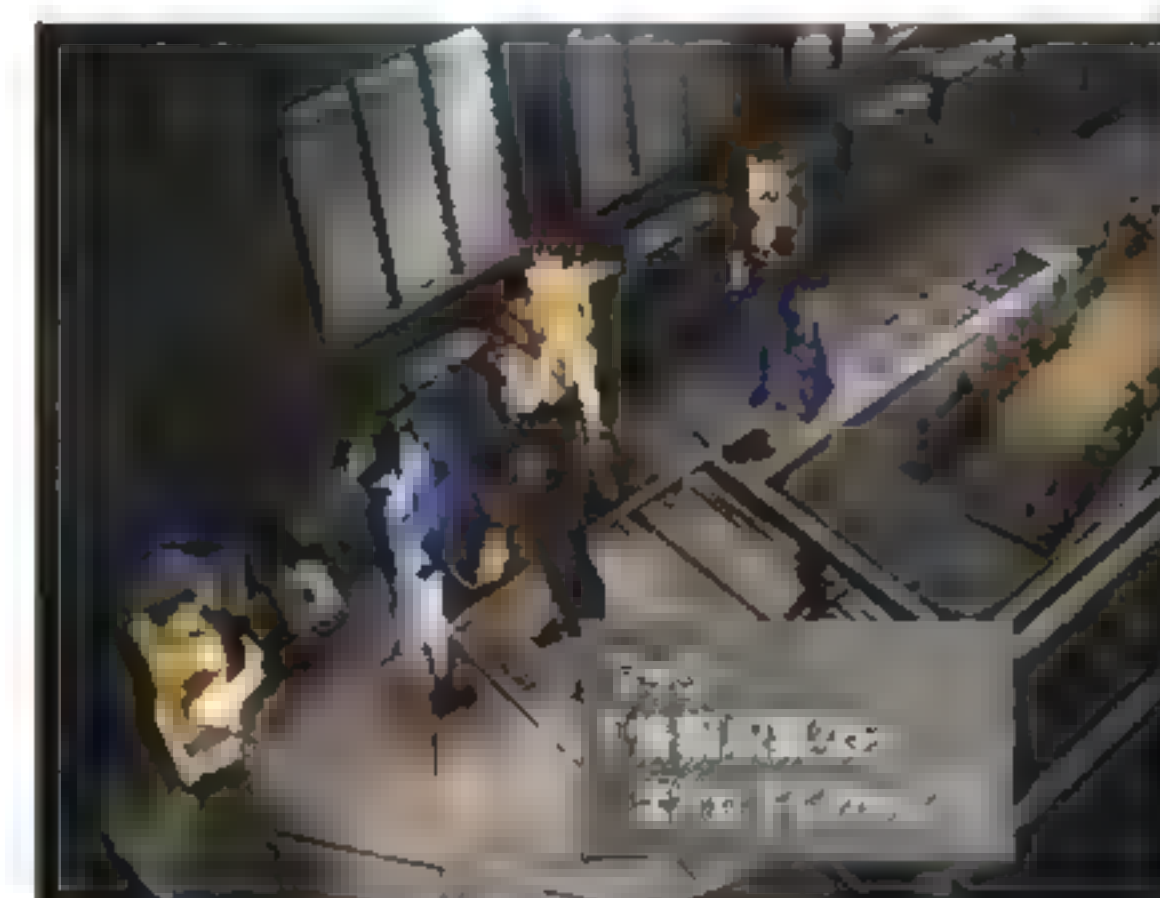
やるときはやる抵抗組織のリーダー　登場場所 ティンバー、白いSeeDの船

ゾーン

ティンバー独立を目標に掲げるレジスタンス組織「森のフクロウ」のリーダー。リノアに実権をにぎられていたり、腹痛を口実にすぐ逃げ出したりするが、いざというときには意外な行動力を発揮する。まだ未成年ながらえっちい写真が大好きで、「となりのカノジョ」なる雑誌を愛読。

←ティンバーから脱出したあとは、メンバーともども白いSeeDの船に拾われて住みこむことに。

Impressive Words

「悪いんだけど、スコールさあ。ウチの姫さま、呼びに行ってくれ」
——アジト列車：寝起きの悪いリノアを起こす役をスコールに押しつけて
「な……!　俺は……言っただろ!!　リノアになにかあったら許さないって!!」
——白いSeeDの船：リノアが意識不明におちいったことに対し、スコールに激高して

情報収集に燃えるゾーンの相棒　登場場所 ティンバー、白いSeeDの船

ワッツ

ゾーンとともに、故郷をガルバディアの支配から解放しようと活動する若者。変装を得意としており、あちこち駆けまわっては情報をかき集めてくる。荒事は大の苦手で、情報収集を名目に危険な役目を逃れようとすることもあるが、リーダー同様、「やるときゃやる」のがモットー。

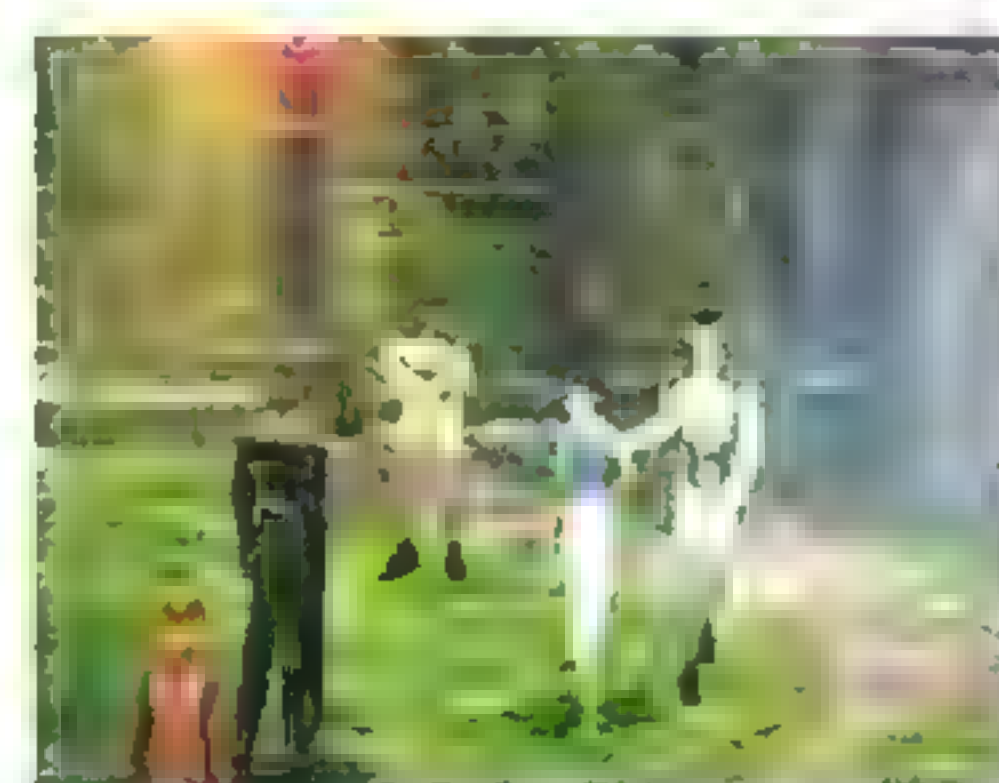
Impressive Words

「ビンザー・デリング極悪人!!」
——アジト列車：デリング大統領誘拐計画を説明しながら
「リノアだって言ってたじゃないッスか!　『戻ってくる』って……『一緒にティンバー独立させる』って!!」
——白いSeeDの船：リノアが意識不明と聞き落ちこむゾーンを励まして

←アジト列車に置き去りにされて、必死にあとを追いかける姿はティンバーの名物になっている。

イデアに育てられたもうひとつの"種"　登場場所 白いSeeDの船ほか

白いSeeD

白い服装で統一された、SeeDを名乗る若者たち。ガーデン出身者ではなく、イデアの船に拾われた孤児たちが成長した姿。あやつられてしまう前のイデアに教えを受け、彼女が去ってからは、イデアの指示を忠実に守ってエルオーネを保護し、船で海を放浪しつづけていた。

←バラムガーデンにしばらく滞在していたエルオーネにも、影のように付き添って警護していた。

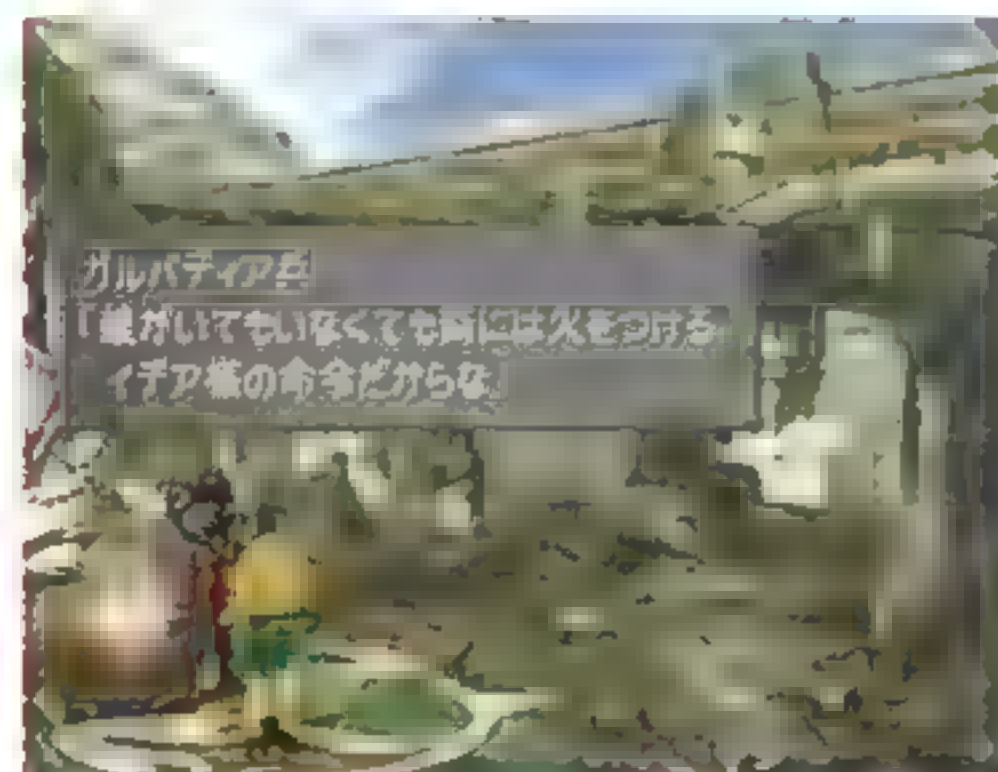
Impressive Words

リーダー「SeeDを作る時に敬礼だけは決まってたってママ先生が言ってたよ」
リーダー「エスタの船があきらめて離れようとしたとき、黙って様子を見ていたエルオーネが何かを叫びながら、エスタの船に飛び移ったんだ。全然エルオーネらしくない行動だった」
——白いSeeDの船：スコールにエルオーネの不在を告げて

各地の人々

非戦主義をつらぬくF.H.の指導者　登場場所 F.H.

ドープ駅長

元エスタの技術者で、フィッシャーマンズ・ホライズン(F.H.)独立を実現させた人物。街がかつて長距離鉄道の中継駅だったことから、最高責任者として駅長と呼ばれている。徹底して武力解決を否定し、街に漂着したバラムガーデンに、思想が相容れないことを理由に退去を迫った。

⬅対話によってモメごとを解決することにこだわるが、いっさい聞く耳を持たない相手には無力。

Impressive Words

「君たちは武装集団だ。暴力による解決が基本だろう?
　我々の主義には合わないのだ」
——F.H.：ガーデン漂着をわびにきたスコールに

「彼らにまかせてはいけない。バトル抜きでは何もできまい。話し合えばわかるさ」
——F.H.：ガルバディア軍をスコールたちに対処させようとするフロー駅長に

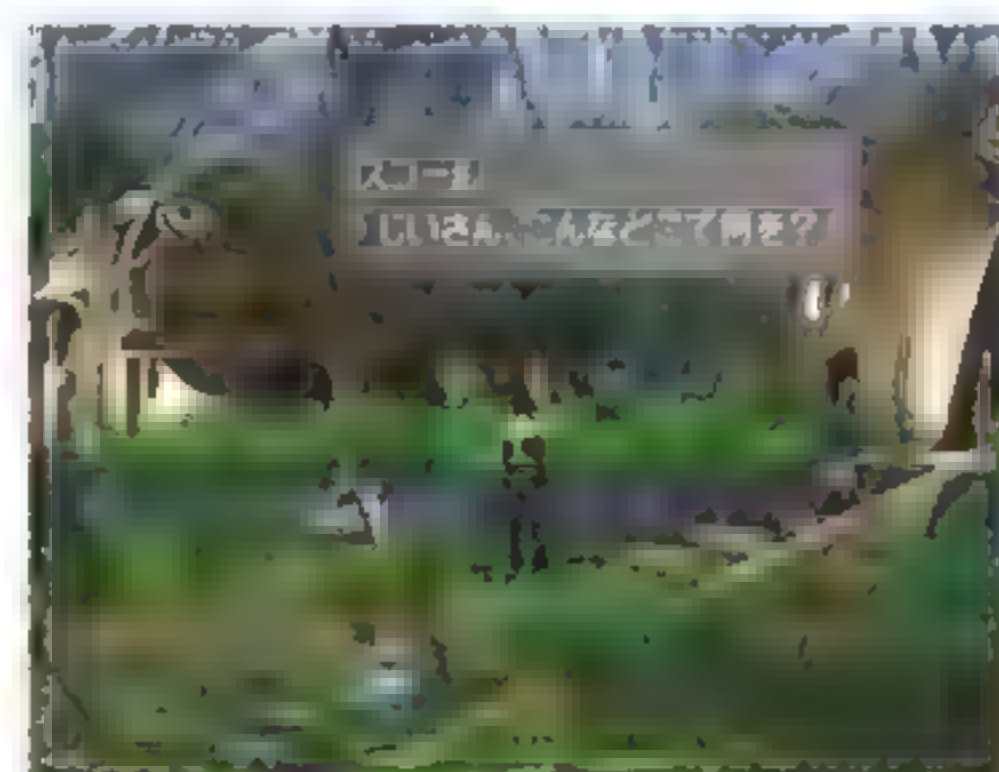
仙人のような釣り好き老人　登場場所 F.H.、シュミ族の村

つりじいさん

いつも釣りにいそしんでいるF.H.のご隠居。スコールを見込んで、何かとちょっかいをかけてくる。かつてはドープと同じく、「百汽長」と呼ばれるエスタの職人頭で、ともに街を興すために尽力した。肩ヒジを張らない生きざまは、住民からあこがれと尊敬のまなざしを受けている。

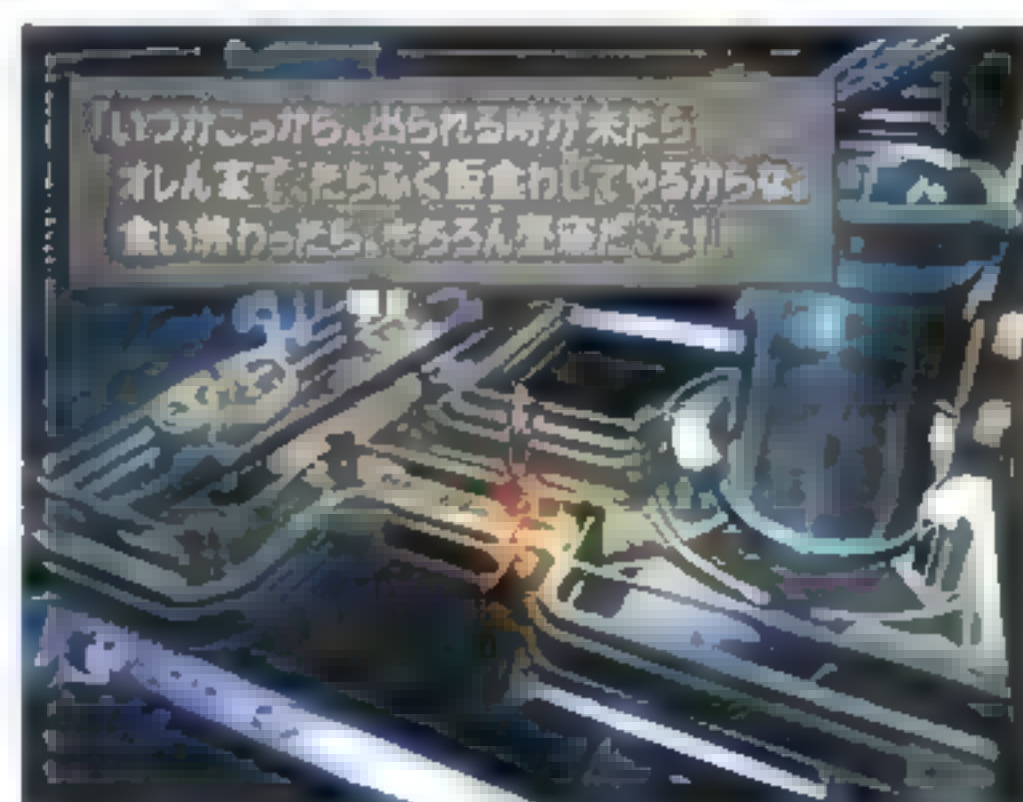
Impressive Words

「調子が上がらんの～。こう……「どかっ」と大物が来んもんかの」
——F.H.：バラムガーデン接近に気づかずに釣りをしながら

「……エスタを変えようとして一番体を張ってた男じゃ」
——F.H.：ドープの過去の映像をスコールに見せながら

⬅遠く離れたシュミ族の村にホログラム技術を提供するなど、交友関係も幅広い大物だ。

獣の姿に高い知能を宿した生物　登場場所 ガルバディアD地区収容所ほか

ムンバ

シュミ族の最終形態のひとつ。逆立った赤い髪には、変身前の創作熱が反映されている。言葉を理解でき、器用で従順なため、劣悪な環境下で強制的に労働を強いられることが多い。血をなめて対象を記憶し、血縁関係まで認識できる。

⬅対等にあつかってくれ、言葉まで教えてくれたラグナへの恩をムンバたちは忘れない。

Impressive Words

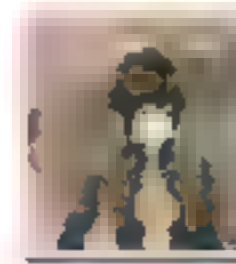
「ラグナ!　ラグナ!」
——ガルバディアD地区収容所：血の味でスコールがラグナの息子だと気づき

「ペコ、ペコ。カンシャ、カンシャ」
——ガルバディアD地区収容所：スコールに感謝の意を表してコテージを渡し

そのほかのおもなサブキャラクター

バラムガーデンの人々

トゥリープFC会員01番
登場場所 バラムガーデン
Words「どうしたらトゥリープ様と仲良くできるんだろうか……」
キスティスに恋いこがれるあまり夜も眠れず、授業中に寝てしまうという男子生徒。SeeDへの道のりは険しい。

トゥリープFC会員02番
登場場所 バラムガーデン
Words「トゥリープ様におケガがあったら「トゥリープF・C」が許さないわよ」
キスティスファンの女子生徒。キスティスとスコールの、バトルでの戦闘不能回数をカウントしている。

トゥリープFC会員03番
登場場所 バラムガーデン
Words「……アンタを見ると、トゥリープ様の戦いの日々が目に浮かぶわ……」
キスティスとスコールが倒した敵の数をカウントしている女子生徒。あこがれのキスティスの手が汚れていくとなげく。

会員NO.109
登場場所 バラムガーデン
Words「これ、結構いいな。集めたくなってきたよ。なんだったら、勝負しようぜ」
トゥリープFCの末席に身を置く生徒。隣にすわっている男からカードを渡され、勝負の道に引きずりこまれた様子。

トゥリープFC会員01の友達
登場場所 バラムガーデン
Words「よう。景気はどうだい?」
オヤジっぽいあいさつをする男子生徒。どんどんふぬけになっていく会員01番を、なんとなく心配している。

キザなSeeD
登場場所 バラムガーデン
Words「三つ編みの子は今日はお休みなの?」
スコールたちの先輩SeeDに当たる気取った男。三つ編みの図書委員を気に入っているが、相手にされていない。

小麦色の図書委員
登場場所 バラムガーデン
Words「あの子は他に好きな人いるし、あの子のためにも妨害してあげなきゃ!」
キザなSeeDに気があるらしい女子生徒。彼の三つ編みの図書委員へのアプローチを張り切って妨害している。

ポニーテールの図書委員
登場場所 バラムガーデン
Words「さぁて、これからが忙しくなるわよ!　私たちが2人をもっと接近させなくっちゃ」
たばねた髪が特徴の、図書委員トリオのひとり。三つ編みの図書委員とゼルの恋を全力で応援している。

ボヤキ3人組
登場場所 バラムガーデン
Words「……ココにいてゴメンナサイ」「……息しててゴメンナサイ」「……生きててゴメンナサイ」
いつも食堂でグチっている男子生徒たち。しかしのちには、そろってSeeDになることができたようだ。

年少クラス男子
登場場所 バラムガーデン
Words「走って、走って誰にも負けない体力をつけてやるぞぉ」
未来のSeeDを目指して努力する少年。ガーデン1Fホールの外周廊下で走りこみ、体力作りに余念がない。

年少クラス女子
登場場所 バラムガーデン
Words「私も、SeeDになるの。がんばるの」
がんばる宣言をする、SeeD志望のけなげな少女。ガルバディアガーデンとの戦闘ではさすがにふるえ上がっていた。

ガーデン教師
登場場所 バラムガーデン
Words「マスター派か?　学園長派か?　マスターのノーグ様に忠誠を誓うか?」
奇妙な制服を着た、規律にうるさい教師たち。いずれもノーグの手の者で、シド学園長に反旗をひるがえした。

バラムの人々

整備士
登場場所 バラム
Words「おまえを待っているうちに俺んとこにも新弟子が入ったぞ」
バラムのレンタカー屋で車の整備をしている親方。暴れん坊ゼルが自分に弟子入りするのを待っていた。

新弟子
登場場所 バラム
Words「あの看板によじ登ってけんすい100回をやり遂げたのはゼル先輩だけですよ～」
レンタカー屋に弟子入りしたばかりの純朴な若者。数々の伝説を作ったゼルを、心の底から尊敬している。

情報屋
NO IMAGE
登場場所 バラム
Words「あんちゃんたち、肝っ玉が小さいネェ。地獄のサタも金次第って言うじゃないか」
ウワサ話を売る男。バラムがガルバディア軍に封鎖されたと聞き、金儲けのチャンスとばかりに街にやってきた。

ティンバーの人々

ボーブ
登場場所 ティンバー
Words 「もちろん、よくボクを殴り倒してた君もボクには十分、魅力的だったさ」
街の平和を守っていると自称する男。昔はパミドールにしょっちゅうぶんなぐられていたが、いまはいい仲であるらしい。

パミドール
登場場所 ティンバー
Words 「血の臭いがする……あたしの気のせいだといいけどね……」
ボーブとカップルの、こわもての女性。若いころはすぐ熱くなっていたが、二十歳を過ぎて丸くなったとか。

ゾーンのそっくりさん
登場場所 ティンバー
Words 「オイラはゾーンじゃないべさ。でも……そう見えたんなら……たいそう嬉しいべさ」
田舎から出てきて、少しティンバーになじんだ男。レジスタンスのリーダー、ゾーンになぜかあこがれている。

アフローラ・パブのマスター
登場場所 ティンバー
Words 「ちょっと……対応に困ってたから助かったよ、ありがとう」
ティンバーでパブを営んでいる男。酒グセの悪い旅人に弱り果てていた。レジスタンス「森のカモ」に所属。

森のキツネの首領
登場場所 ティンバー
Words 「街に変化があったら教えたげるからそれまでここで休んでな」
パブのマスターの奥さんで、腕と料理と美貌で兵士を退けた伝説を持つ。ケンカばかりだが、夫婦仲は良好。

編集長
登場場所 ティンバー
Words 「若者たちよ！　私からのメッセージをおくる！　時間をムダにしてはいけないぞ！」
雑誌ティンバー・マニアックス編集部のチーフ。一度話しかけると、いつまでも思い出話を語りつづける。

アナウンサー
登場場所 ティンバー
Words 「せ、世界の皆さん！　私の姿が見えますか!?　私の声が聞こえますか!?」
ティンバーのTV局に務めるアナウンサー。17年ぶりの電波放送に感激するあまり、思わず取り乱した。

ガルバディアガーデンの人々

腕立て生徒
登場場所 ガルバディアガーデン
Words 「知ってる？　こんなつらい腕立てでも一つだけいいことがあるんだよね」
廊下で腕立て伏せを命じられているガルバディアガーデン生。スカートの女子生徒が通るとうれしそう。

フィッシャーマンズ・ホライズンの人々

フロー駅長
登場場所 F.H.
Words 「私たちは信じているの。話し合いで解決できないことはないってね」
ドープ駅長の妻。ガルバディア軍の侵攻に取り乱し、スコールたちの来訪のせいだと決めつけた。

つり子供
登場場所 F.H.
Words 「ガーデンが突っ込んで来た時も目の前に来るまで、つりやってたんだ！　すげえよなあ～」
桟橋に係留したボートの上で釣りに励む少年。つりじいさんの一番弟子を自任しているが、釣りは恐ろしくヘタ。

店のじいさん
登場場所 F.H.
Words 「わわわしの店潰す気かあああああぁ船だして行ってこーーーーい!!」
つりじいさんいわく「ショップか廃屋か判別不能の店」のあるじ。つり子供に悩まされつつ交流を楽しんでいる。

作業場のおっさん
登場場所 F.H.
Words 「その辺の物は、かなり前に気の良いシュミ族からもらったんだ」
泣く子もだまる修理場のガンコおやじ。すぐれた創り手として、シュミ族のツクリテと互いに尊敬し合う間柄。

トラビアガーデンの人々

トラビアガーデンの先生
登場場所 トラビアガーデン
Words 「せやけど、時々思うよな。特に、この薄ぅなった髪の毛を見ると……」
母校再建への善行を募っている教師。寄付した生徒にはこっそり評価Aをくれるらしい。頭髪に悩みあり。

セルフィの友だち
登場場所 トラビアガーデン
Words 「こんな日は、パラパラっと妖精の贈り物が降るかもしれへんわ」
トラビアガーデン時代のセルフィの友人。彼女の前でスコールにホメられると、セルフィが照れまくる。

ヒョロすけ
登場場所 トラビアガーデン
Words 「俺らは、トラビアガーデンの修理班や」
半壊した母校を立て直すために、得意とする機械修理の分野で貢献する細身の男子生徒。

デブっち
登場場所 トラビアガーデン
Words 「こ、これは！　セルフィさんの個人データ！」
ヒョロすけとコンビを組む、太めの男子生徒。データベースの復旧に汗を流している。

トラビア渓谷の人々

映画監督
登場場所 トラビア渓谷（ラグナ編）
Words 「おぉーーーー!!　なんというリアルな動き!!　すごいぞ!!　キロス君！」
ひとりで撮影までこなす、おそらく超低予算であろう映画の監督。素人のラグナを魔女の騎士役に抜擢した。

ルナティックパンドラ研究所の人々

反アデル派の男
登場場所 ルナティックパンドラ研究所（ラグナ編）
Words 「……あぁ……そのとおりだ！　なんだか、むちゃくちゃだけど、あんたいい！」
魔女アデルの打倒を計画するグループのメンバー。ラグナを見込んで、リーダーになってほしいと頼んだ。

オダイン博士の助手
登場場所 ルナティックパンドラ研究所（ラグナ編）
Words 「世界各地から、強引に娘を連れてくるという噂を耳にしましたが……」
オダインの身勝手さに弱りつつ、その発想の天才性には素直に感服している助手たち。ひとりは反アデル派。

エスタの人々

大統領補佐官
登場場所 エスタ
Words 「人と科学の調和を目指したエスタ……気に入ってもらえるといいが」
エスタを訪れたイデアを迎えにきた男。スコールをルナサイドベースに送る手つづきも行なう。

シュミ族の村の人々

長老のおつき
登場場所 シュミ族の村
Words 「何か持ったら長老にまでなった御方の『手のひら』が見えないでしょ？」
長老に付き従う、口が悪く生意気なシュミ族。もの創りの腕は当代一で、つぎの長老候補と言われている。

ツクリテ
登場場所 シュミ族の村
Words 「『ツクリテ』には我々シュミ族と同じ魂がある」
外の世界を旅してF.H.の職人魂に触れ、多大な影響を受けて創作に没頭するシュミ族の芸術家。

像を造る者
登場場所 シュミ族の村
Words 「けけけけけ『けもの』とはなんですか!!!!」
ラグナの像を造る役目をまかされたシュミ族の若者。スコールたちにシュミ族のことをいろいろ教えてくれる。

そのほかの地域の人々

ちょこ坊
登場場所 チョコボの森
Words 「……ただし使い方と使用許可には『講義料』1000ギルがかかるんだけど」
チョコボの森にいる、チョコボ捕獲のエキスパート。笛はタダでくれるが、いろいろな名目で金銭をせしめる。

コヨコヨ
登場場所 バラムガーデン跡地周辺（フィールドで遭遇）
Words 「エリクサーちょうだい」
来訪した宇宙人。撃墜されたUFOを修理するためにエリクサーを5つ要求し、そのお礼に自分のカードをくれる。

CC団

ジャック
登場場所 バラムガーデン
Words 「君の強さを認めCC団のジャックが相手を挑む！」
スコールがカードゲーム「Triple Triad」で実績を積むと、「カードクラブ団（CC団）」メンバーとして勝負を挑んでくる。

ジョーカー
登場場所 バラムガーデン
Words 「って言っても、CC団でもつまはじきされてる半端者だけどね～」
訓練施設でアイテムを売っている男。リヴァイアサンのカードを持っていて、バトル計の機能も増やしてくれる。

クラブ
登場場所 バラムガーデン
Words 「……ジャック倒した奴久しぶりだ」
CC団四天王の最初のひとり。学生寮付近を歩いているとても無口な生徒で、カード勝負のときだけ口を開く。

ダイヤ
登場場所 バラムガーデン
Words 「2人そろって『ダイヤ』よ」
行き先板前にいつもたむろしている2人組の女生徒。どういうわけか彼女たちはペアで四天王のひとり。

スペード
登場場所 バラムガーデン
Words 「あなたは、あの人に似ている。そしてまた、彼女のような才能も……」
最初にスコールにカードをくれる生徒がその正体。どうやらそうやってカードゲームを普及させているらしい。

ハート
登場場所 バラムガーデン
Words 「クスッ、でも嬉しいかな。最近、私と勝負してくれる人がいなかったのよ」
カードをはじめるや、あっという間に2番手の地位まで腕を上げたというのは、頼れる先輩SeeDシュウ。

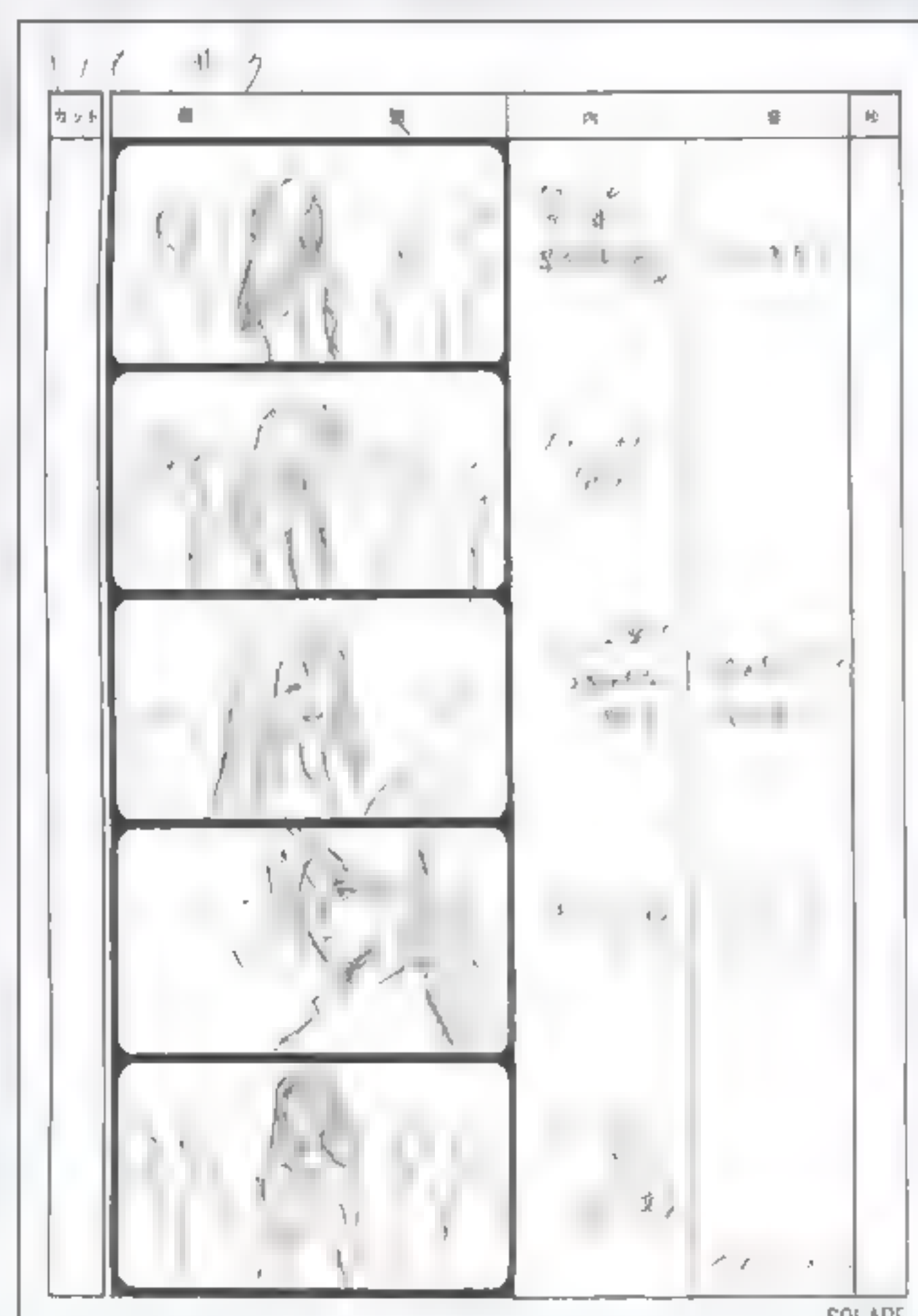
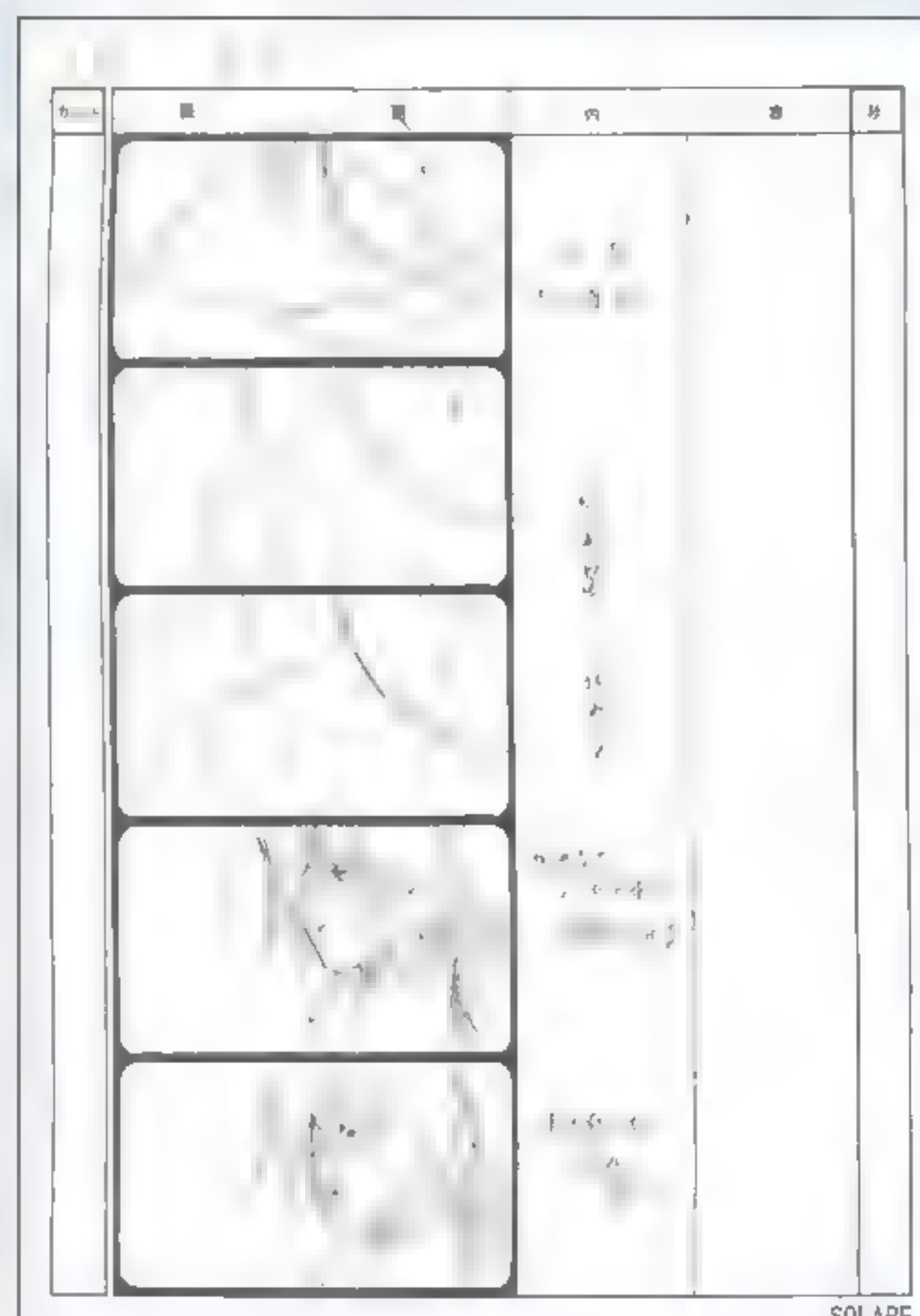
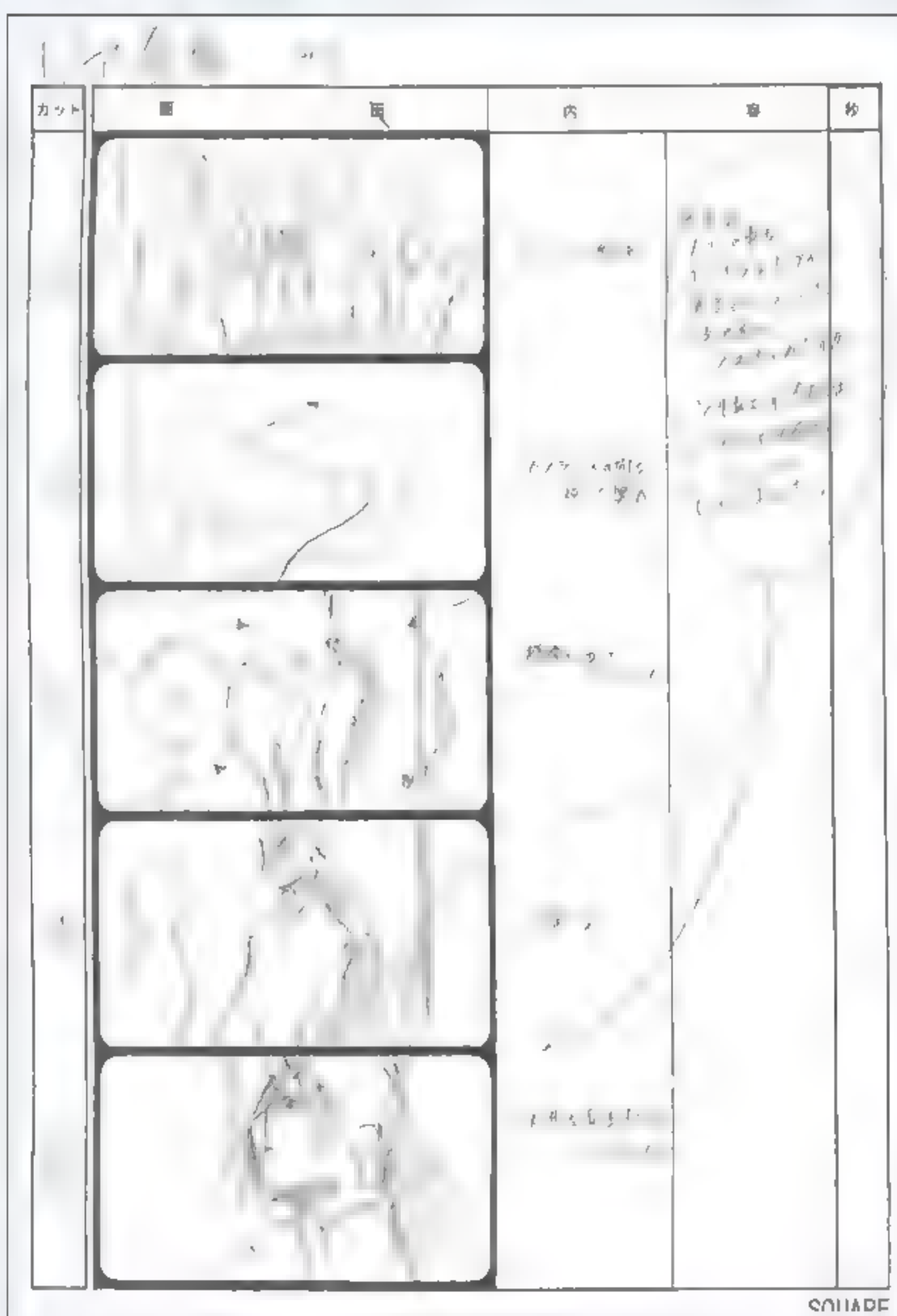
キング
登場場所 バラムガーデン
Words 「久しぶりに制服で登場よ」
CC団最強の座に君臨しているのはなんとキスティス。4年前に引退するまではカドワキ先生がキングだった。

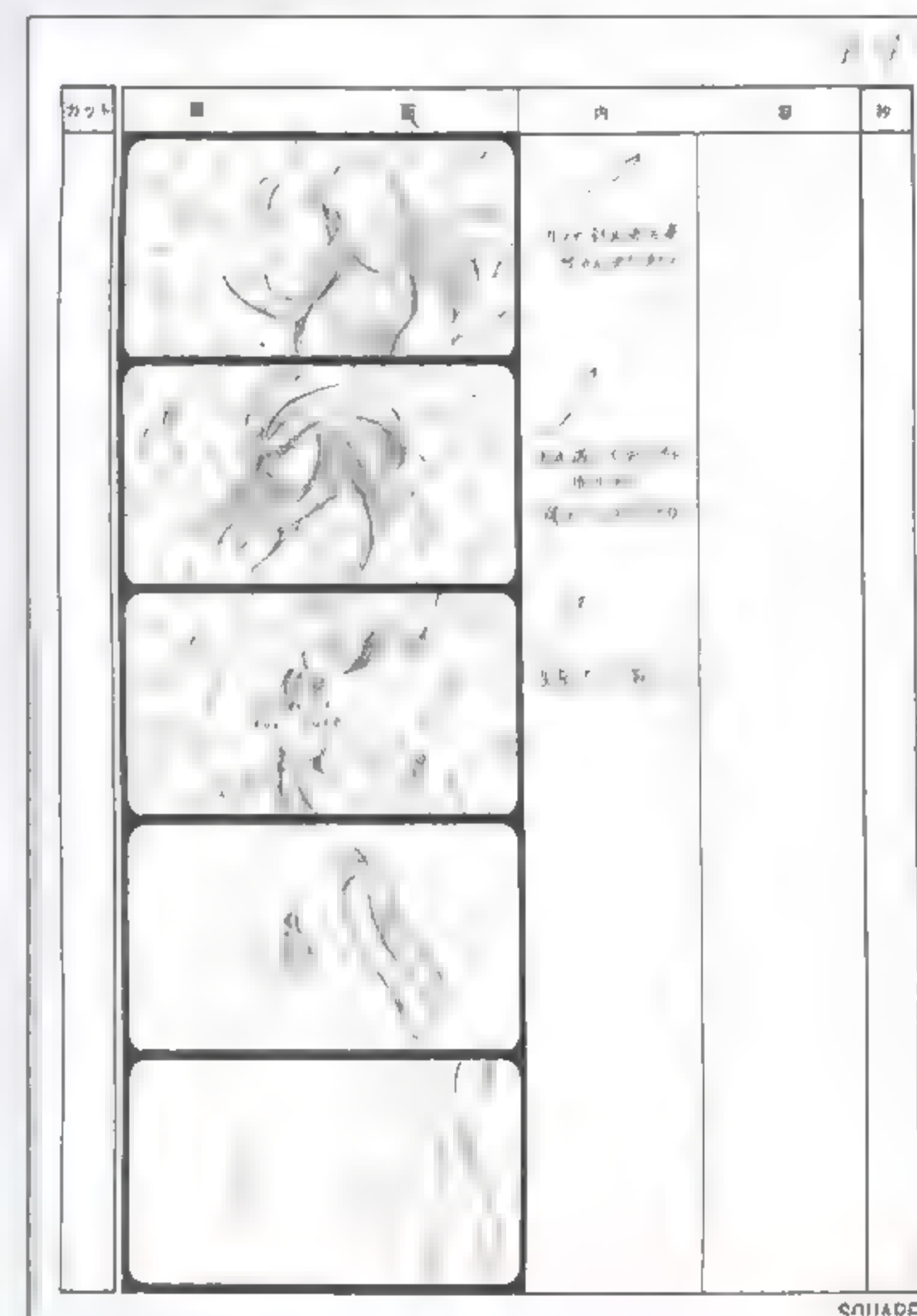
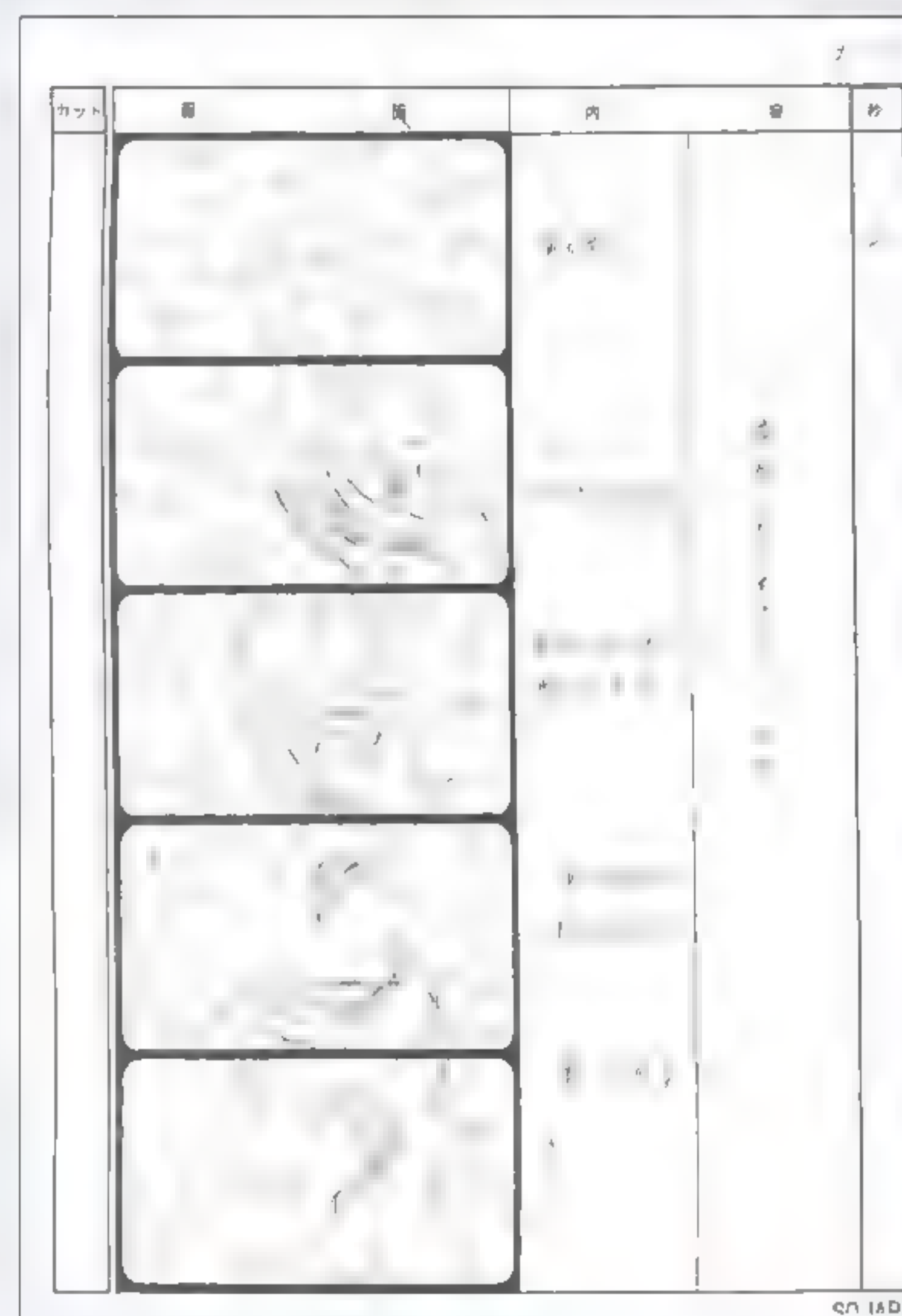
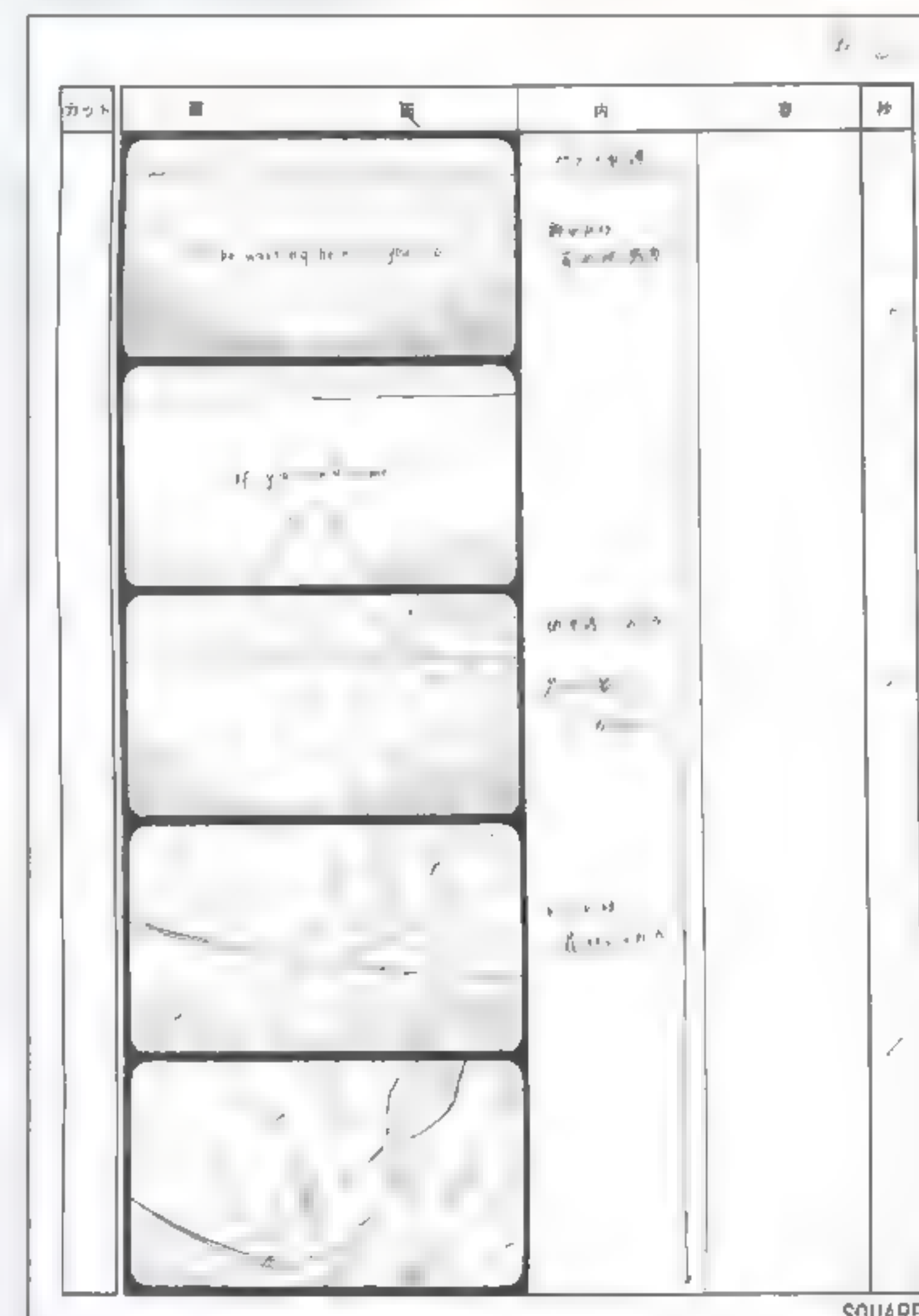
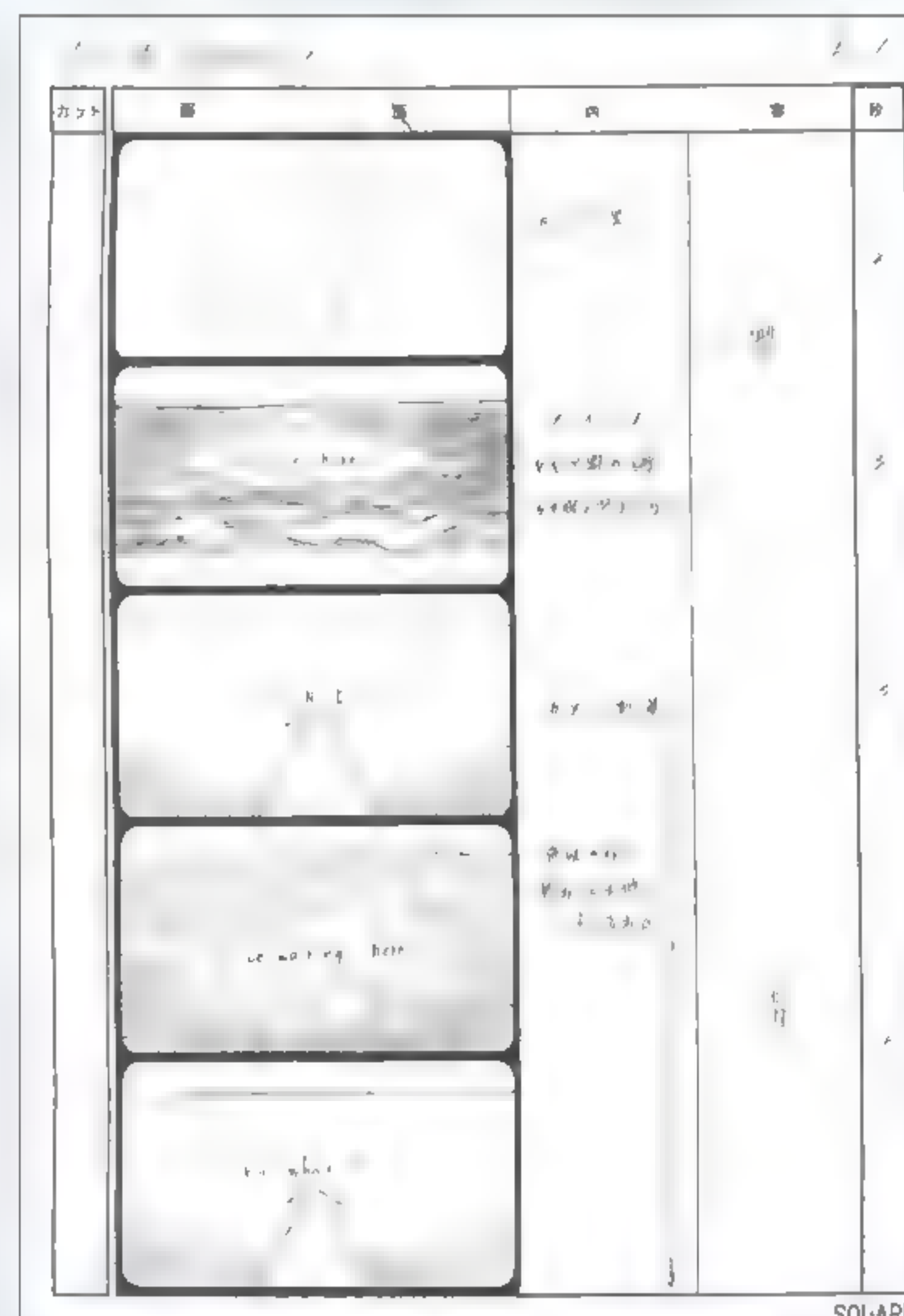
ULTIMANIA CHECK

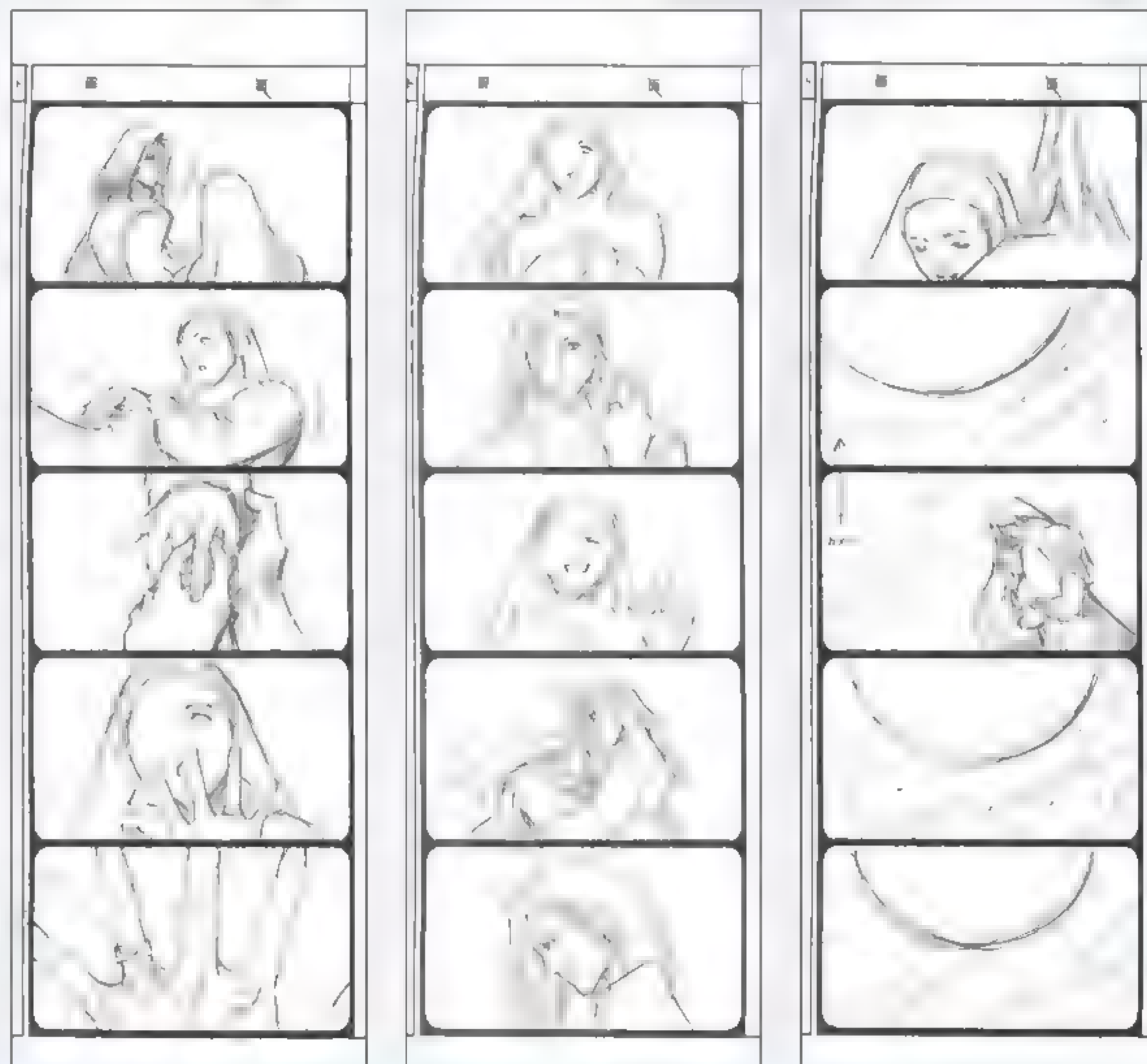
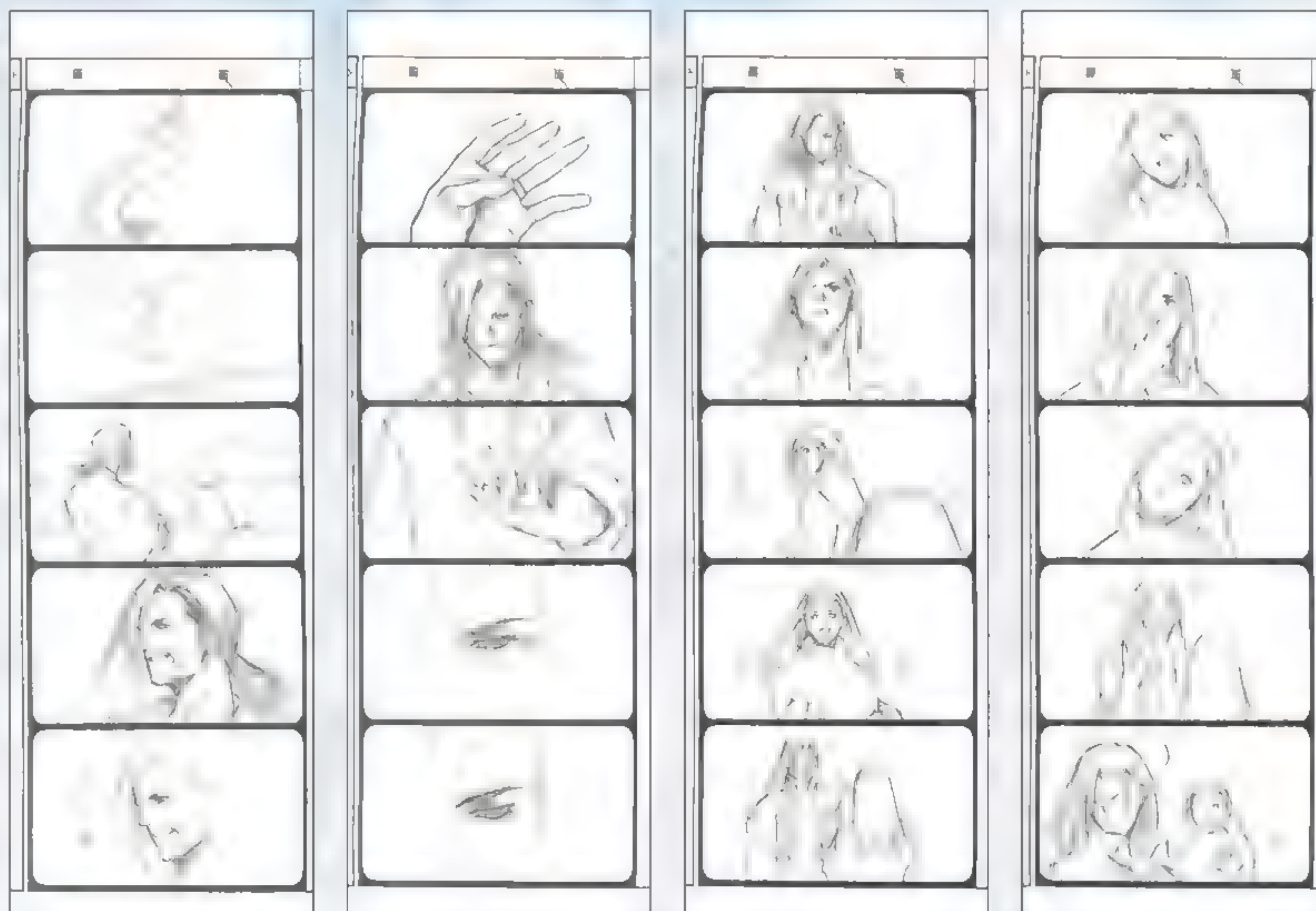
『FFVIII』ムービーコンテ集

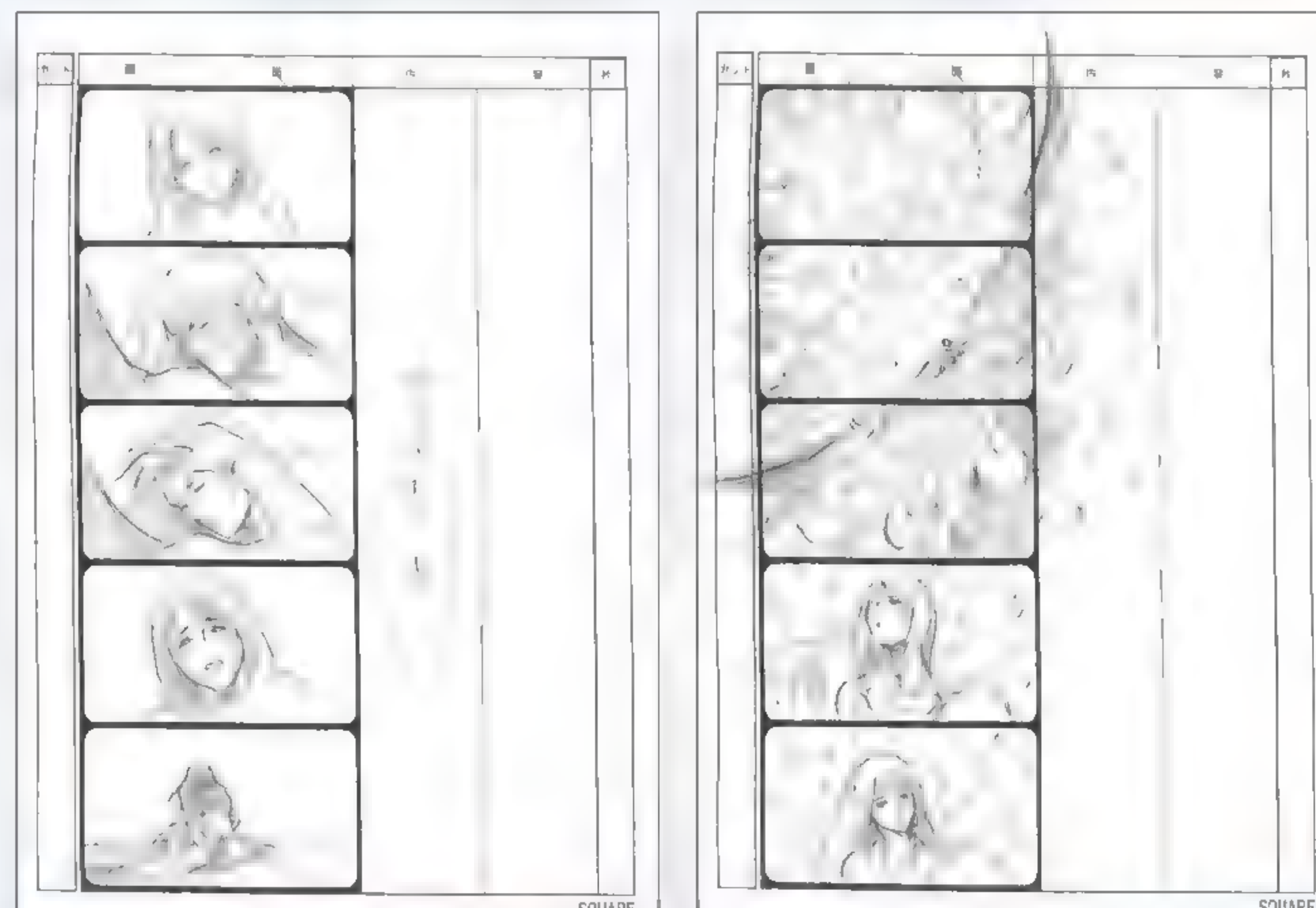
『FFVII』以降の作品では、キャラクターが生き生きと動くCGムービーを制作するために、大量の絵コンテが描かれている。ここでは、野村哲也氏が手がけた『FFVIII』のムービーコンテの一部を初公開しよう。

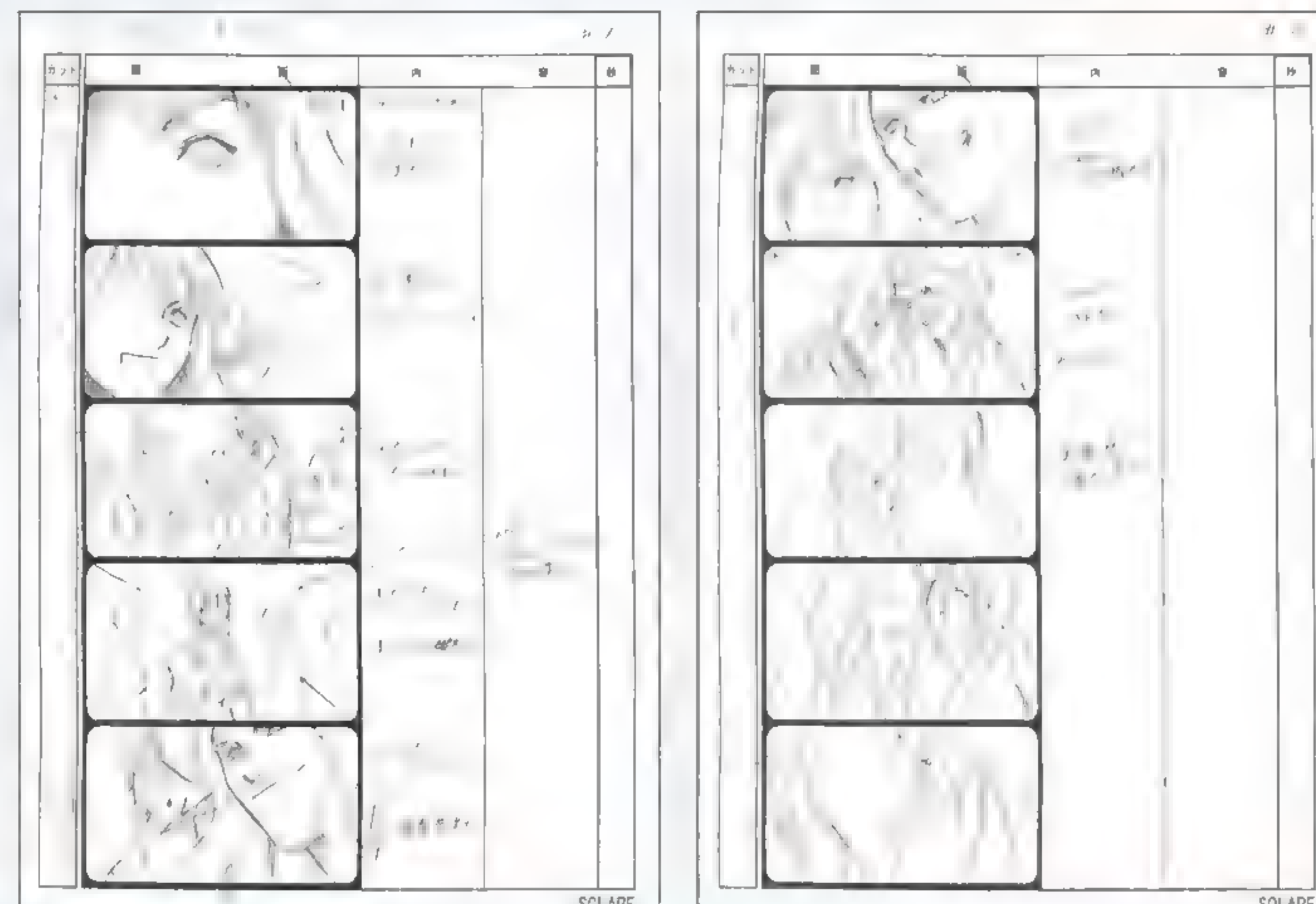
リノア登場

絵コンテの1枚目に書かれた、パーティ風景からスコールへ視点が移動する演出は、実際のムービーではカットされ、天井のドームを通じて流れ星が見えるシーンからスタートする。

オープニング

完成版では、荒野や花畑のシーンにスコールのアップやリノアのうしろ姿が挿入される。『FFVIII』のラストシーンへとつながる重要なイメージがここで提示されているのだ。

ラグナとレイン

ラグナとレインがゲーム中で唯一ムービーに登場する、エンディングのワンシーン。構図やポーズなどが、絵コンテにほぼ忠実な形で映像化されたことがわかる。

エンディング

時間圧縮が行なわれた世界をさまようスコールが、リノアへの想いを道しるべに約束の場所へとたどり着く感動のラストシーン。コンテ段階で情感あふれるものに仕上がっている。

スタッフロール

スタッフロールと同時に流れる、セルフィがハンディビデオカメラで撮ったという仕立ての映像。掲載したコンテは冒頭部分のものだが、演出の再現度は非常に高い。

FINAL FANTASY IX™

ファイナルファンタジーIX

ファイナルファンタジーIX

作品概要

"原点回帰"をテーマに掲げ、幻想的な世界観や頭身の低い登場人物など、シリーズ初期の雰囲気が復活。別の場所での出来事を見られるアクティブタイムイベントが、物語をふくらませている。装備品からアビリティを引き出す成長システムも、シンプルながら奥深い。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーIX	プレイステーション	2000年 7月 7日	8,190円(税込)	※1

※1……アルティメットヒッツ版が2006年7月20日に2,625円(税込)で発売

STORY

青き星ガイアと赤き星テラの クリスタルと命をめぐる物語

すべてのものは、星の核たるクリスタルから生まれてクリスタルに帰る。命の記憶は受け継がれ、星を豊かにしていく……そんな命のことわりを乱す者たちがいた。超文明を築き、他星と"融合"して永遠の命を得るテラの民。彼らは若き星ガイアとテラの"融合"をはかるが、逆に取りこまれる事態を招いてしまう。それでもテラの民は、長き眠りにつきながら、ガイアを自分たちの手に収める時を待っていた。

テラが"融合"を試みてから5000年——ガイアの文明の中心地「霧の大陸」にて、不穏な動きが起こりはじめる。ガイア乗っ取りの尖兵としてテラから送りこまれた"死神"クジャのさしがねにより、女王ブラネ率いるアレクサンドリア王国が各地へ侵攻をはじめたのだ。その都アレクサンドリアにて出会いを果たし、戦乱を止めるべく動き出すジタン、ビビ、ガーネット。それは、彼ら自身の出生の秘密や命の根源たるクリスタルの存在、そして"いつか帰るところ"を知るための、長い長い旅のはじまりだった。

FINAL FANTASY IX 人物相関図

リンドブルム公国

シド
ヒルダ
文臣オルベルタ
夫婦
仕える

ジェノム

ガーランド
クジャ
ミコト
ジタン
反逆
創り出す
創り出す
嫉妬
野望を止めようとする
対抗意識

アレクサンドリア王国

アレクサンドリア王家

ブラネ
ガーネット
ラニ
サラマンダー
ゾーン
ソーン
宮廷魔道士
トット
ベアトリクス
スタイナー
双子
仕える
雇う
雇う
相棒
戦争をそそのかす
養母子
召喚獣を奪おうとする
忠誠
元家庭教師
忠誠
ライバル（のちに好意）
ブラネの死後仕える
侵攻
監禁

タンタラス

バクー
シナ
ブランク
マーカス
ルビィ
ゼネロ
ベネロ
兄貴と慕う
兄弟
親がわりを務める
ガーネットの保護を指示

大切な存在
保護するため誘拐
好意
本当の故郷
旧知の仲

ブルメシア王国

フライヤ
フラットレイ
ブルメシア王
パック
恋人
破門
親子
記憶喪失のところを発見

マダイン・サリ

エーコ
モグ
親友

仲間たち

黒魔道士たち

ビビ
兵器として製造

ク族

クイナ
クワン
クエール
師弟
かつて師事
保護して育てる

侵攻
友だち

ジタン

Zidane Tribal

Personal Data

種族	シッポのある人間(ジェノム)
性別	男
年齢	16歳
利き腕	右

女好きなのがタマにキズ? 行動力あふれる盗賊

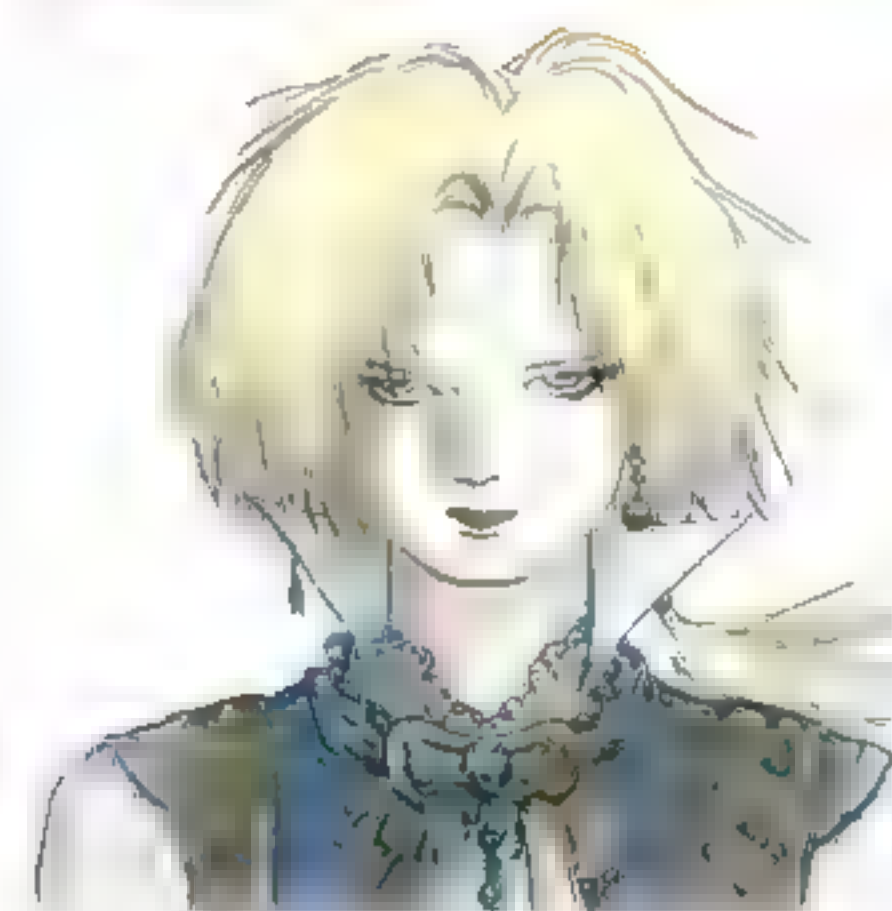
旅芸人一座と盗賊団というふたつの顔を持つ集団「タンタラス」の一員。4歳のときリンドブルムに捨てられていたところを、タンタラスの団長バクーに拾い育てられた。もともと女の子に目がなかったが、"仕事"で誘拐した王女ガーネットに強くひかれ、力になろうと決意。彼女とともに戦乱を止めるべく奔走するうち、自分たちが暮らす星ガイアをめぐる争いに関わることになる。

16歳にしては並はずれた判断力と行動力を持ち、正義感が強い。ひょうきんで人を楽しませるのがうまいものの、その陽気さの陰に、己の出自を知らぬがゆえの孤独さを押し隠していた。旅のなかで「自分が異星テラの民の手により、ガイア侵略の道具として作られた存在だ」という事実に直面。絶望に襲われかかるも、仲間たちとの絆に支えられ、自分のあるべき姿を見いだしていく。

⬅「困った者は見捨てない」「できることは"行動する""しない"の選択のみ」という、独自の行動哲学にのっとって動く。

➡世間知らずのガーネットを支えるが、物語の終盤には、自分を助けようとする人がいることをガーネットから教わることに。

⬅長いシッポを特徴とするテラの民の魂の器「ジェノム」のなかでも、ジタンは魂と意志、そして成長の余地を与えられた特殊な存在。

Topics of Zidane

ジタンの故郷と"いつか帰るところ"

ジタンは13歳のときから2年間、故郷を探す旅に出ていた。結局目的は果たせなかったが、旅を終えてバクーたちに迎えられたときジタンは気づく。たとえ故郷がわからなくても、自分には"いつか帰るところ"がある、と……。

本当の故郷テラを訪れたのちも、ジタンの答えは変わらない。彼の"帰るところ"は自分の大切な人が暮らすガイアであり、昔ならタンタラス、いまは愛するガーネットのもとなのだ。

⬆ジェノムたちの町ブラン・バルが故郷だと気づくが、そこはジタンの求める場所ではなかった。

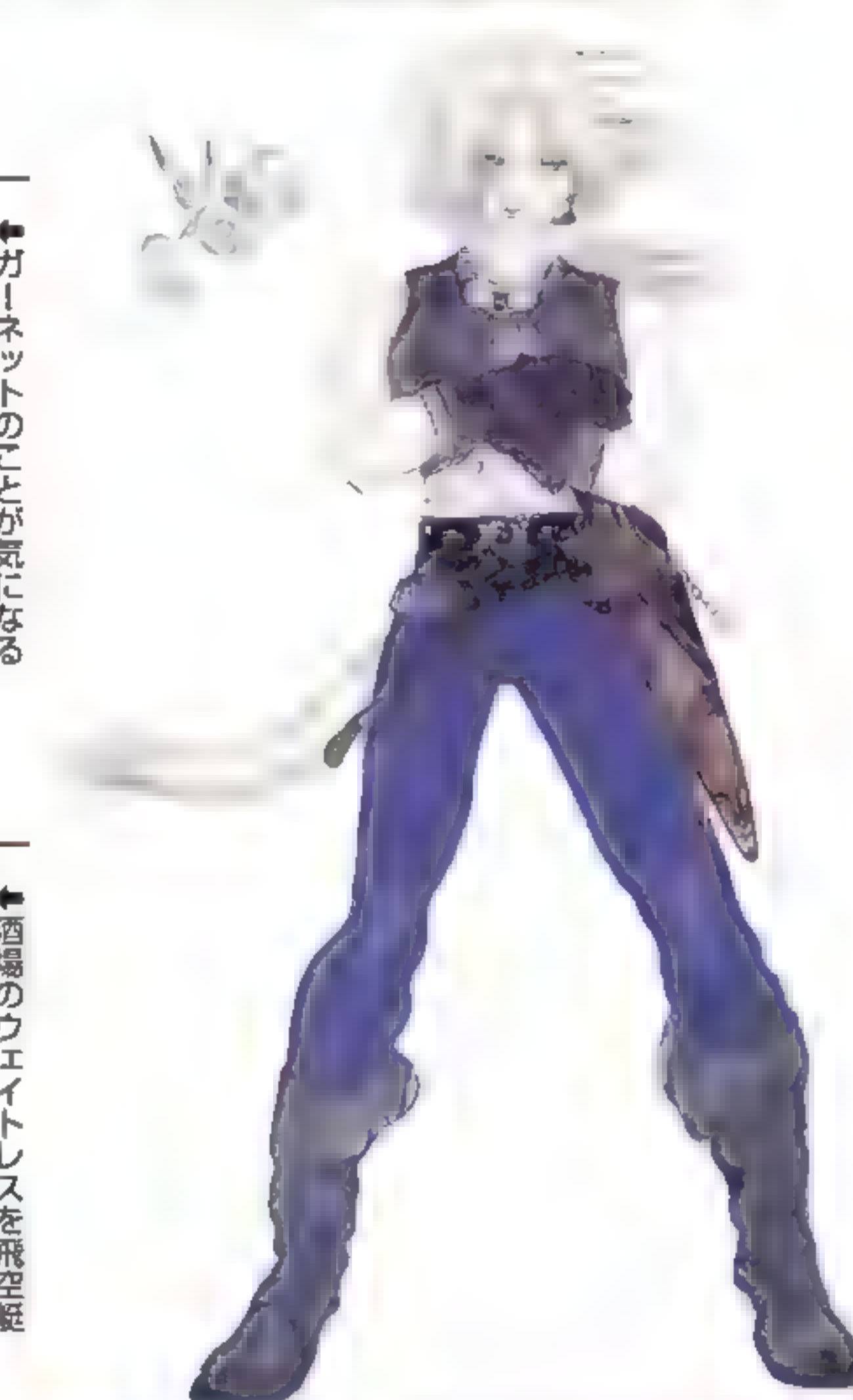
ガーネットの瞳にひかれて

ひと目会ったときからジタンはガーネットに心揺さぶられるが、それは、単に彼女が美しい容姿を備えていたからというわけではない。目の前の景色を拒絶して遠くを見つめるようなガーネットの瞳に、生まれ故郷を知らず孤独な本性を押し隠した自分と、どこか似たものを感じたのだ。

⬅ガーネットのことが気になるあまり、タンタラスを脱退してでも彼女を助けに行こうとする。

ナンパはほどほどに……

自他ともに認める女好きのジタンは、ガーネットと出会ったあとも、かわいい子を見ればつい反応してしまう。リンドブルムの酒場の女の子をナンパし、ラニを見て鼻の下を伸ばし、セーラー服のカワイイ子が出場すると聞いてカード大会に意欲を燃やす……これではガーネットもヘソを曲げて当然?

⬅酒場のウェイトレスを飛空艇デートに誘うが、これがガーネットの怒りを買うことに……。

Impressive Words

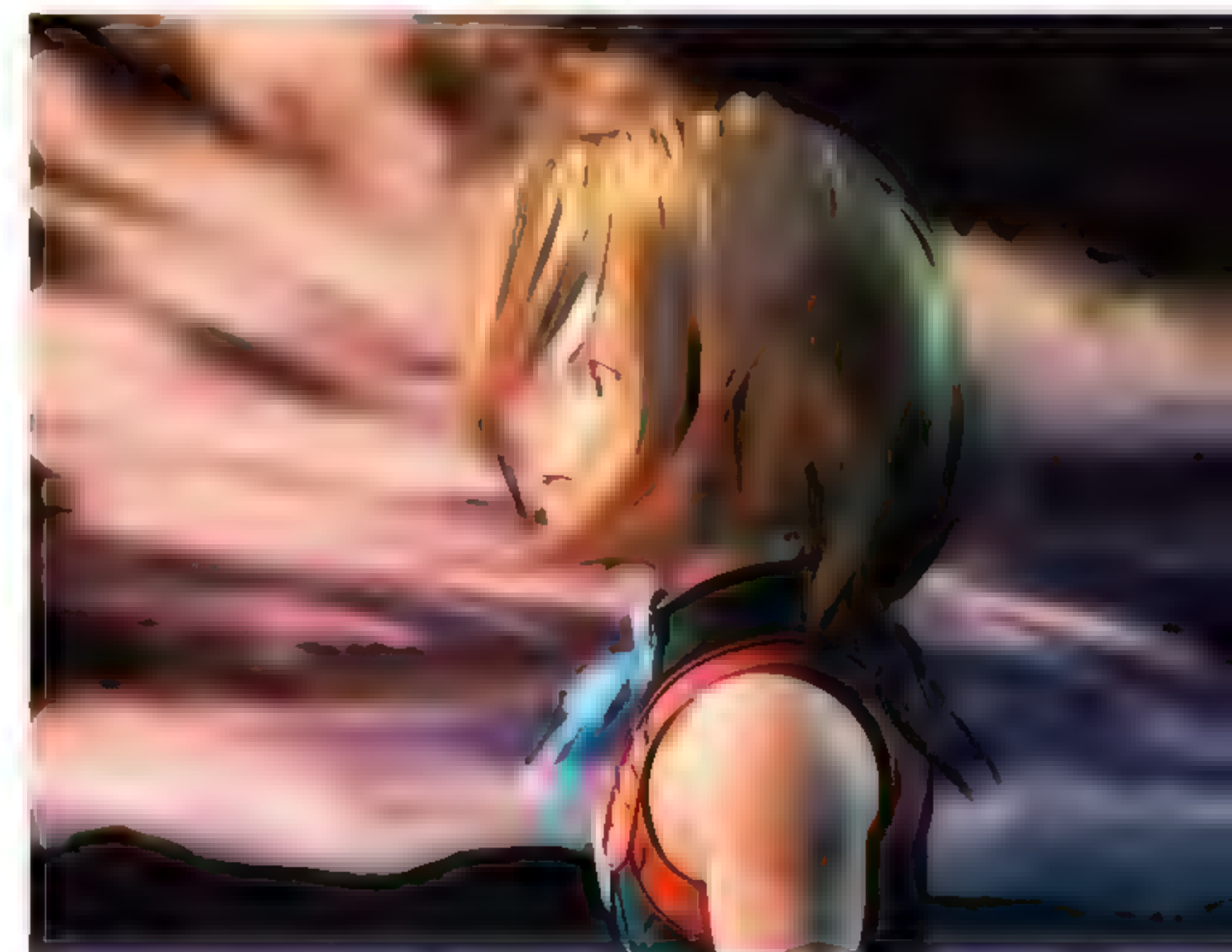
ふざけたなかにも1本筋の通った主義主張が見えるジタンの言葉。大人びた態度をとるが、自分の正体を知ったパンデモニウムでは珍しく取り乱した様子を見せる。

「誰かを助けるのに理由がいるかい?」
——タイトルデモほか

「もちろん、ダガーのムネをかりるわけさ!」
——マダイン・サリ:泣きたいときはどうするのというガーネットの問いをはぐらかし

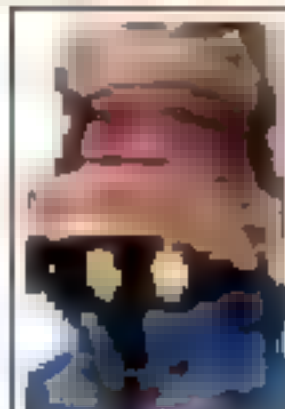
「牙をもつ野生の獣こそ、ムダな殺生はしないもんさ」
——マダイン・サリ:自分にトドメを刺せというサラマンダーに

*「けど……わかってるんだ……。
オレが一番、大バカ野郎だってことぐらい……」*
——パンデモニウム:自分を助けにきた仲間にバカ野郎とつぶやき

「会わせてくれ、愛しのダガーに!!」
——エンディング:ガーネットの前で演技中に正体を現し

ビビ

VIVI Ornitier　ビビ・オルニティア

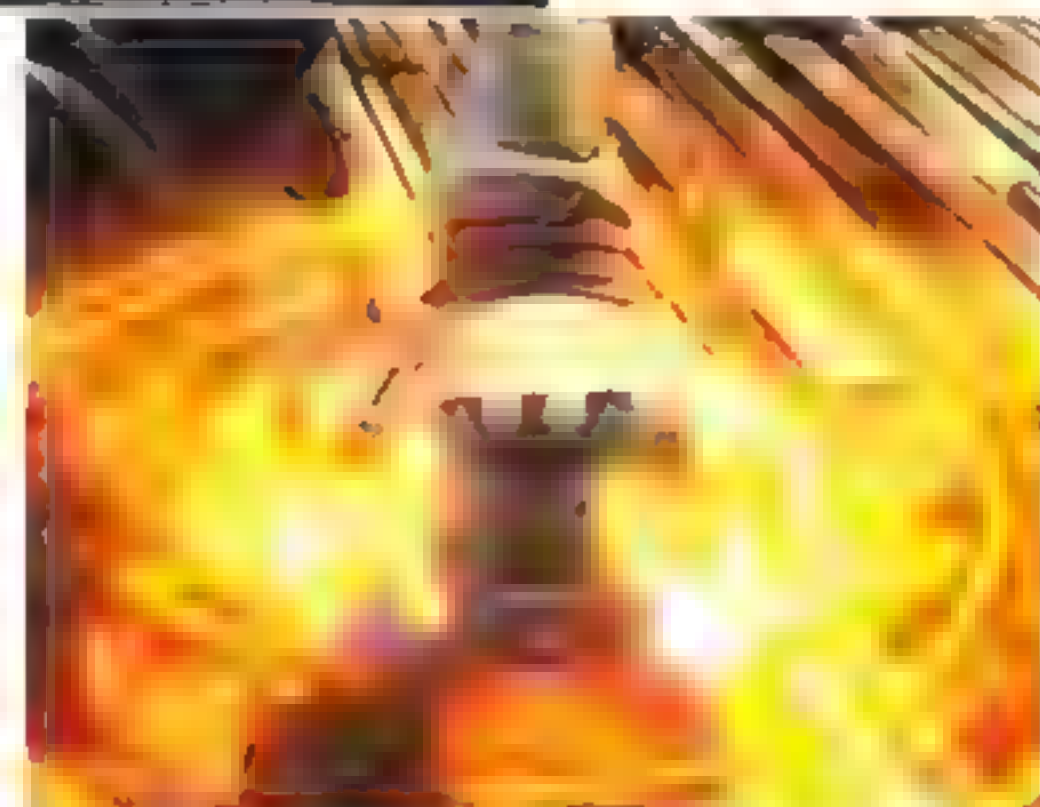
Personal Data

種族	黒魔道士の子ども
[illegible]	男
年齢	9歳（見た目）
利き腕	右

幼いながらに生きる意味を探す黒魔道士の少年

　おどおどしていて、何かと思い悩みがちな少年。アレクサンドリア王国が"霧"から生み出した人型兵器「黒魔道士」の試作品だが、女王のもとに運ばれる途中で仲間とはぐれ、自分の正体も何も知らぬまま、ク族の変わり者クワンに育てられた。おじいちゃんと慕うクワンの死をきっかけに、かねてから興味のあった芝居を観るためアレクサンドリアへ。観劇中にジタンたちのガーネット誘拐騒動に巻きこまれ、行動をともにすることになる。

　世間知らずで動作も判断も遅く、当初は周囲に頼らなくては何もできなかった。しかし、「戦争のために造られた」という己の正体や、「すべての命が死で区切られたかぎりある時を生きる」という事実を知って、少しずつ成長。仲間や各地の人々の営みを見つめ、己に許された時間のなかで少しでも彼らの力になろうとする。

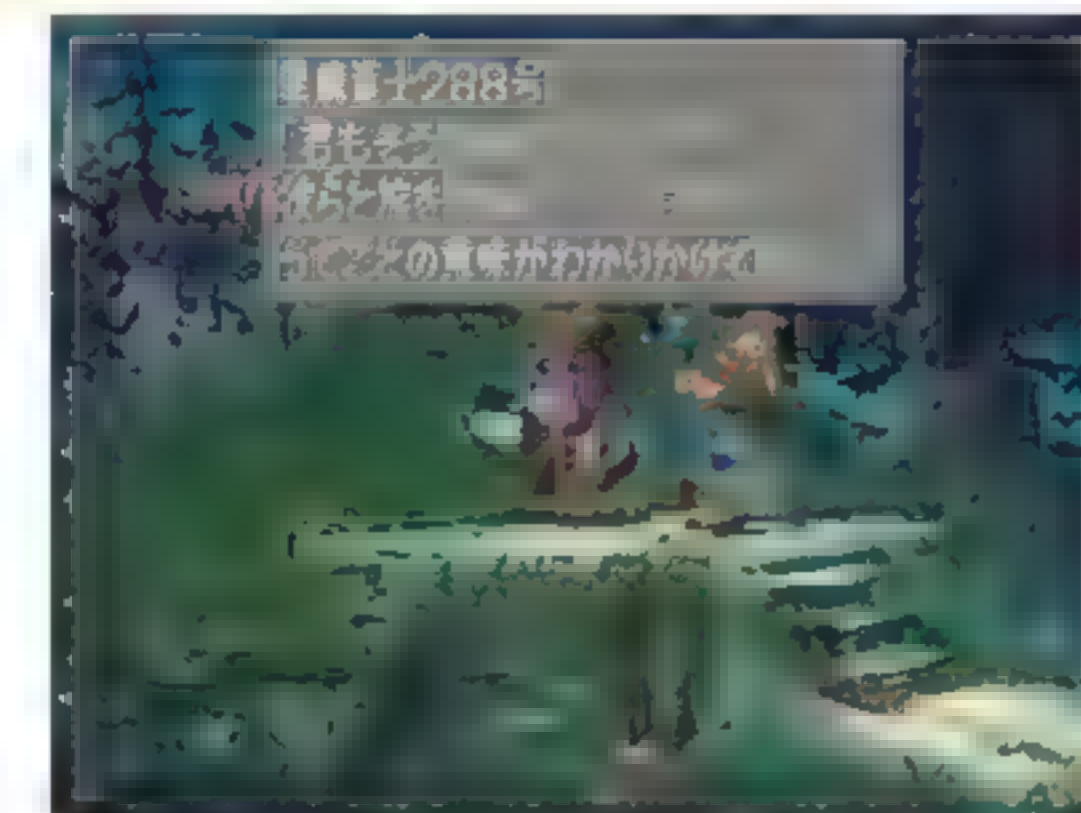
⬅純真無垢で、優しい心の持ち主。自分がどんなに大変な状況に置かれても、ヒドイ言葉で傷つけられても、仲間や人々を気づかう。

➡黒魔道士のなかでも並みはずれた力を秘めるビビ。黒のワルツ3号の非道な行為を目の当たりにして、その潜在能力を覚醒させる。

⬅人殺しの道具を造らせまいとして、ザ・ソウルケージを倒す。それは、ビビの仲間がこれ以上増えないことを意味していた……。

Topics of VIVI

この星に生きるものとして

　当初は生と死の一般的な意味さえ知らなかったビビ。だが、無知ゆえに彼は出会った事実をまっすぐ受け止め、悩み、彼なりの答えを見つけていく。生き物はいずれ「止まる」こと。自分が人殺しのために造られたこと。でも、運命は変えられること——。

　数多くの生と死を見つめて冒険を終えたとき、ビビは仲間に別れを告げる。旅のなかで彼らに教わったとおり、己がはぐくんだ思い出を星に還すために。

⬆黒魔道士の村で、自分と同じく自我に目覚めた仲間に出会ったことが、ビビに転機をもたらす。

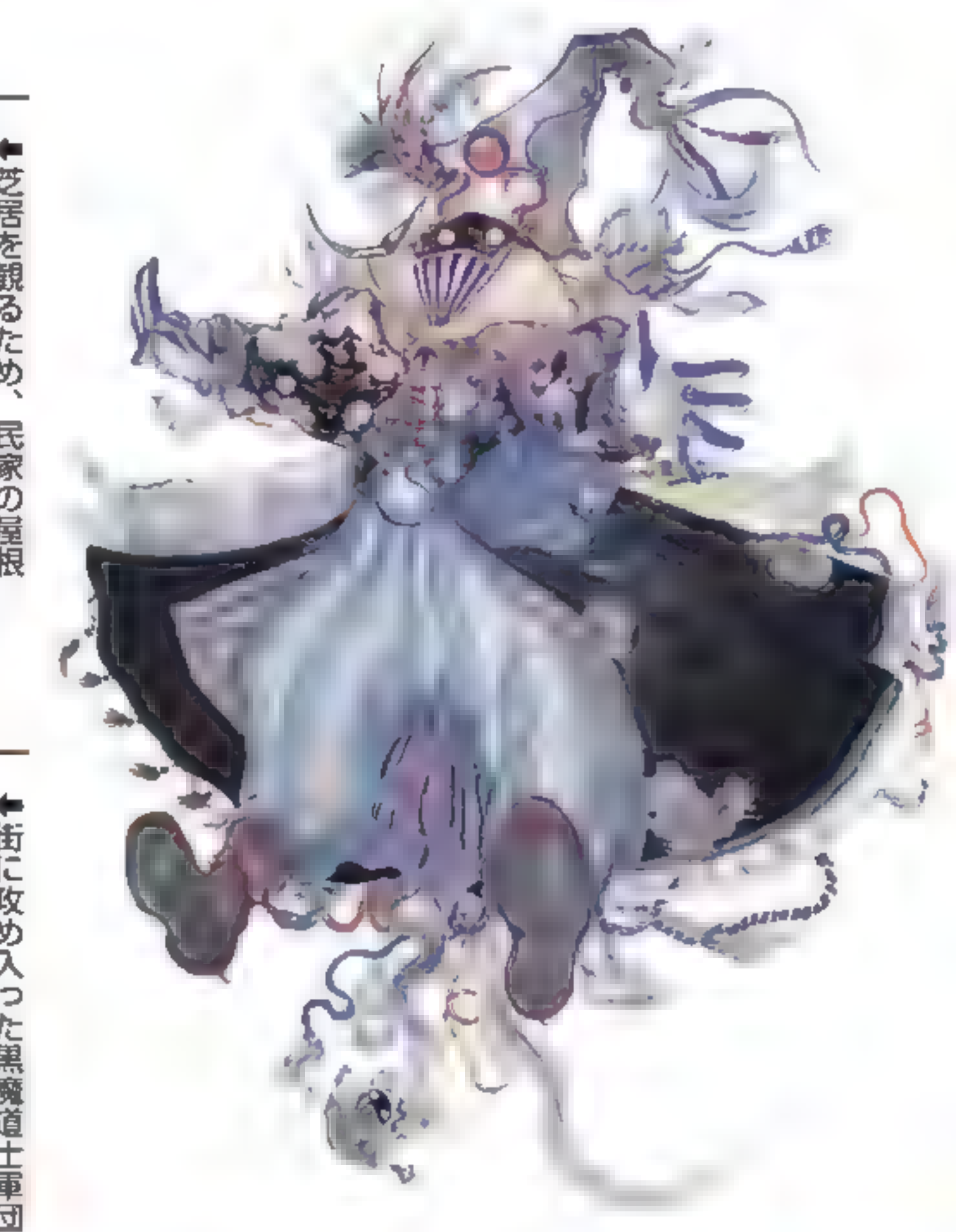
高いところは苦手

　造られて間もないころにビビは、黒魔道士の製造を監督していたゾーン＆ソーンの不注意で、カーゴシップから落下してしまった。これがきっかけで、ビビは高所恐怖症に。物語中、屋根の上やイーファの樹といった高い場所に行くたびにおじけづいては、パックやエーコに励ましを受ける。

⬅芝居を観るため、民家の屋根づたいに観客席へ忍びこもうとするも、おびえて立ち往生。

災難つづきのビビの旅路

　ビビは何かとトラブルに巻きこまれやすい。アレクサンドリアでは観劇直前にチケットがニセと判明し、魔の森では魔物に食べられかけ、ダリの村では工場から逃げ出したと誤解されてタル詰めに。また、黒魔道士軍団の被害者からは一方的に忌み嫌われてしまう。どれもビビに落ち度はないのだが……。

⬅街に攻め入った黒魔道士軍団の一員とまちがわれ、リンドブルム兵に保護される場面も。

Impressive Words

自分の正体は何か、生きるとはどういうことか——思い悩んでばかりのビビだが、旅のなかで少しずつ何かをつかんでいく様子がセリフにハッキリ現れている。

*「生きてるってこと証明できなければ、
死んでしまっているのと同じなのかなぁ……」*
——タイトルデモより

*「だけどボクは……、ボクがどんな人間なのかを知りたいんだ。
もしかしたら……人間じゃないのかもしれないけど……」*
——ブルメシア：先へ進むのが怖くないのかと言うフライヤに

*「そう思ったのは、ボクが人殺しの道具じゃないからだよね?
なんだか、難しいことといっぱいで、よくわかんないことだらけだけど、
ボク、それがわかったから……いいんだ」*
——黒魔道士の村：死をいたむ心を理解したと黒魔道士288号に語り

「ボクの記憶を空へあずけに行くよ……」
——エンディング：この世に別れを告げて

ガーネット

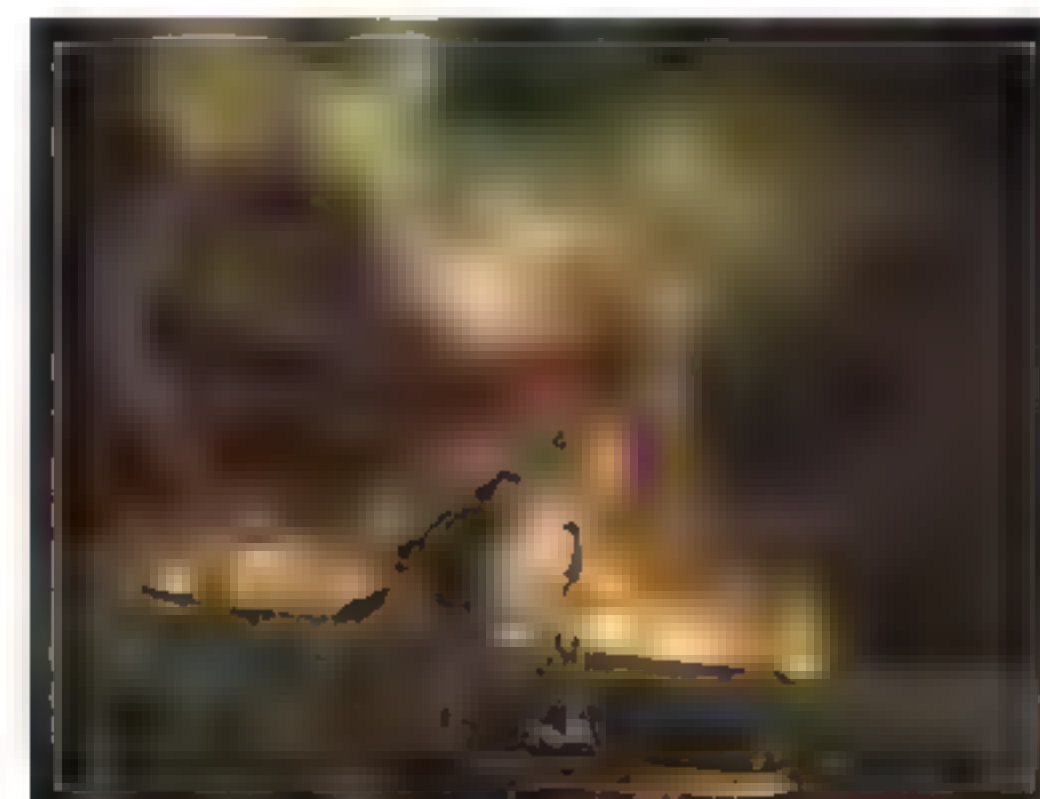
Garnet Til Alexandros 17th (Dagger) －ガーネット・ティル・アレクサンドロス17世(ダガー)－

Personal Data

種族	人間
性別	女
年齢	16歳
利き腕	右

「本当の自分」を模索しながら成長していくお姫様

アレクサンドリア王国史上最高の美姫とうたわれる王女。じつはマダイン・サリの召喚士の末裔で、6歳のときアレクサンドリアに漂着していたところを女王ブラネに拾われたのだが、彼女自身には当時の記憶がない。ブラネが1年ほど前から人が変わったように侵略計画に精力を注ぎはじめたことに心を痛め、16歳の誕生日に城を脱出。おじ様と慕うリンドブルム大公シドに母のことを相談すべく、自分の"誘拐"をジタンに依頼したのをきっかけに、「ダガー」という偽名で冒険の旅に出る。

物語開始当初は世間知らずでひとりよがりな部分が目立つが、仲間、とりわけジタンとの交流が彼女に変化をもたらすことに。母と慕うブラネの死、守るべき国の崩壊……と衝撃的な事態に立てつづけに直面するもそれらを乗り越え、女王にふさわしい人物へと成長していく。

⬅ガーネットの夢のなかで幾度も再生される、嵐のなかで小舟に揺られる光景……その意味は、彼女の出生の秘密とともに明かされる。

➡他国侵略を開始した母を説得できるのは自分だけだと思いつめ、仲間に睡眠薬を盛って抜け出すという思い切った行動に出ることも。

⬅長い黒髪の持ち主だが、物語中にバッサリ切ってショートカットに。自国を守れず後悔ばかりしていた自分に踏ん切りをつける。

Topics of Garnet

本当の名はセーラ

王女としてはガーネット、冒険者としてはダガー、と物語中ふたつの名を持つ彼女だが、本名はセーラという。故郷マダイン・サリがクジャに破壊されたとき、母とともに小舟で脱出してひとり助かったセーラは、亡くなったばかりのアレクサンドリア王女ガーネットにそっくりだったため、「ガーネット」として育てられたのだ。ときおり彼女の脳裏に悪夢として浮かぶ嵐の日の光景は、実母との最後の記憶である。

⬆ガーネットの本名や素性は、物語の終盤にマダイン・サリの召喚壁を調べると明らかになる。

迷える王女が女王となるまで

次期女王として育てられながらも、ガーネットは己の境遇に漠然と違和感を感じていた。その原因は出生の秘密とともに判明するが、それでも彼女は当初の予定どおり周囲の期待に応え、女王となる。血筋の上で義務はなくとも、養母のあやまちをつぐない国を守るのが歩むべき道だと悟ったのだ。

⬅女王になった直後に国が襲われ、ショックで口がきけなくなるが、少しずつ立ち直っていく。

お気に入りの劇「君の小鳥になりたい」

ガーネットは、エイヴォン卿という有名な劇作家の恋愛活劇「君の小鳥になりたい」を、セリフをそらで言えるほど気に入っている。それを知っているブラネは、自身も好きなこの劇を娘の誕生日に上演させようと、劇団タンタラスを呼び寄せた。彼らの狙いがガーネットだとも知らず……。

⬅舞台上で急きょヒロインを演じることになっても、好きな劇だけに堂々と役柄をこなす。

Impressive Words

最初のうちは悩んでばかりだが、終盤に見せる芯の強さや包容力は一国の女王にふさわしい。ジタンが好きなのに素直になれず、ひねくれた言動をとることも。

「「王女らしく」ではなく、本当の自分を確かめたいの……。……でも……」
——タイトルデモより

*「あら、わたくしは全然気にしていませんわ。
楽しんでいらっしゃればよろしいんじゃないですか?」*
——リンドブルム城：別の女性と自分をまちがえてデートに誘ったジタンにイヤミをこめて

(……わたしのせいで、アレクサンドリアの街があんなになってしまったの……?)
——リンドブルム城：国を守れなかった後悔から失語症におちいり

「今までのわたしを覚えていてね……」
——アレクサンドリア城：髪を切る直前にジタンに呼びかけ

「ジタンがわたしたちを守ってくれたように……守ってあげたいの……ジタンを……」
——パンデモニウム：ひとりでガーランドとの決着をつけようとするジタンを制し

スタイナー

Adelbert Steiner アデルバート・スタイナー

Personal Data

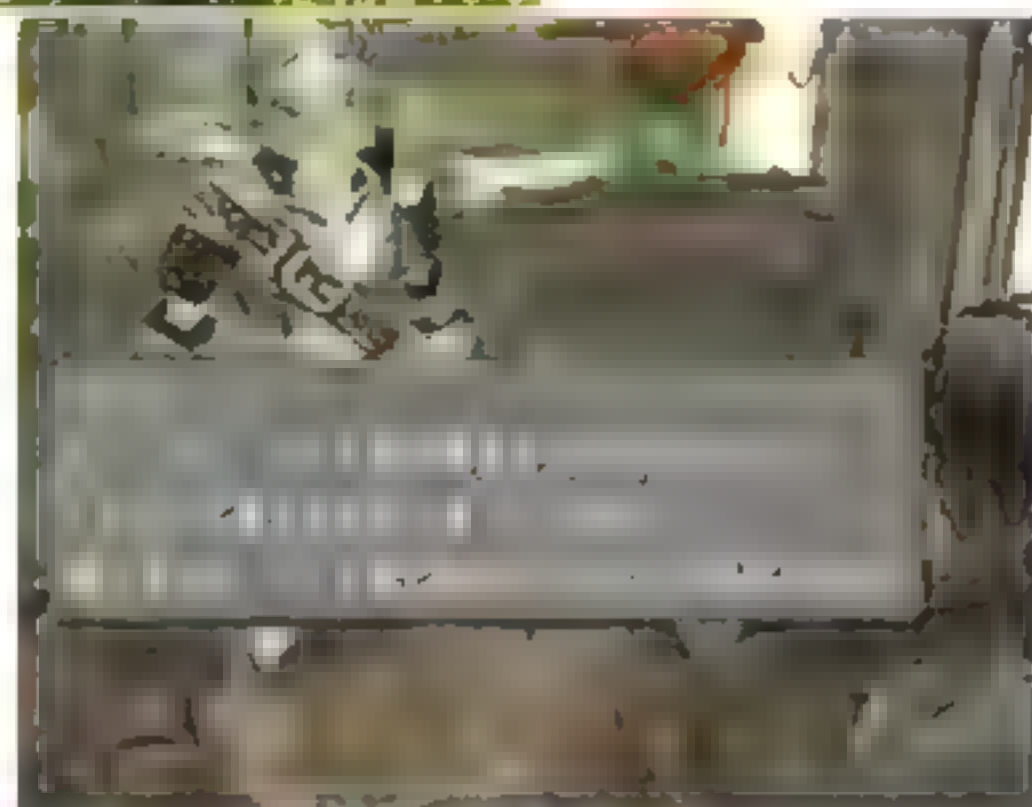
種族	人間
性別	男
年齢	33歳
利き腕	右

王家のためにすべてを捧げる きまじめな騎士

アレクサンドリア王家に絶対的な忠誠を誓う騎士。マジメすぎるがゆえに融通が利かず、一面的にしか物事をとらえられない。幼いころ戦火のなかから自分を助けてくれた騎士にあこがれ、16歳で騎士となった。男性兵だけで構成されるプルート隊の隊長だが、あまり活躍することができず、多くの軍功をあげて女王ブラネの信任も厚い女将軍ベアトリクスをライバル視している。

誕生祝いの席で行方をくらました王女ガーネットを城に連れもどすべく、彼女と"誘拐犯"ジタンを追って、そのまま冒険の旅に出た。王家の意向に従うことこそ己が使命と考えていたものの、母の暴挙を止めようとするガーネットと、娘の身をおびやかしてまで力を欲するブラネとの板ばさみに。そうしたなかで、忠節とは何か、自分が生きる道とは何かをしだいに見つめ直していく。

⬅ガーネットを心から大切に思い、全身全霊をこめて尽くそうとするものの、彼女の気持ちがわからずカラまわりしてばかり。

➡母国の悪行を各地で見聞きしてなお、女王を信じつづけるスタイナー。だが、それは真実から目をそむけることでしかなかった。

⬅不気味な色をした薬をうまいといって飲み干し、強烈な匂いで人を選ぶギサールのピクルスに夢中になる。食の求道者の資格あり？

Topics of Steiner

33歳で自分探し

年齢のわりに世間知らずで青臭いところがあるスタイナーだが、それは彼が18年にもおよぶ騎士生活のなかで思考を放棄していたことと無関係ではない。主君が定める規範に盲目的に従うことで、彼は自己判断から逃げてきたのだ。しかし、トットやバクーといった人生の先輩に指摘され、また、ジタンやビビ、そして守るべき存在ガーネットまでが進むべき道を模索するのを見て、スタイナーにも変化が生じる。

◆ **人生の先輩によるスタイナー評**

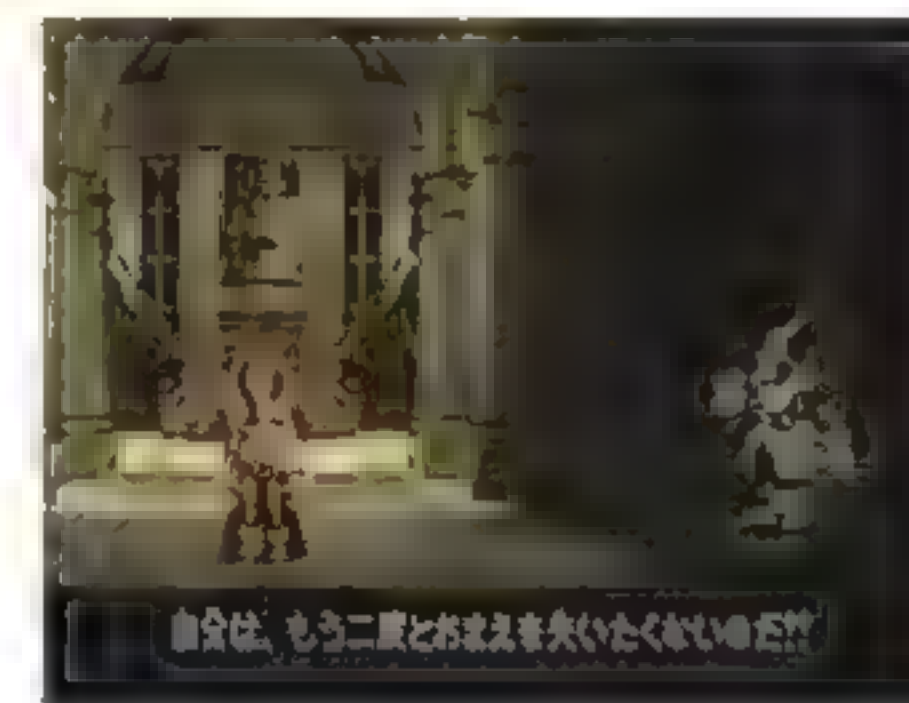
- 「そんな一本調子では、ままならぬことも多かろう？」「ふぉっふぉっ。見た目に似合わず、お若いの」(モリッド)
- 「スタイナー殿……おわかりか？　それは何もしないという判断をしているのですぞ」(トット)
- 「まったく、おつとめ御苦労なこった……が、おまえさん、自分自身がいったい何をしたいのか、考えたことはあんのかい？」「ちったあジタンと一緒に行動して、おまえさんも変わってるかと思ったが……。自分、自分て言いながら、自分のねえ奴だな……」(バクー)

プルート隊は最強であるっ!?

スタイナーは、大陸一の剣士との呼び声も高いベアトリクスに、23歳のとき御前試合で勝利を収めたことがある。その報償としてスタイナーが望んだのが、プルート隊の結成だった。女性上位の風潮が強いアレクサンドリア王国において、男性のみからなるプルート隊は異質の存在だ。

⬅隊員はスタイナーを含め9名。隊の名は200年前活躍した「プルート隊三勇士」に由来。

カンちがいからはじまった恋

好敵手として長年火花を散らせてきたスタイナーとベアトリクスだが、その関係は物語中盤から一変する。エーコがジタンにあてたラブレターを偶然目にしたことで、相手が自分に想いを寄せている、とお互いにカンちがいしてしまうのだ。以来ふたりは、異性として意識し合うように……。

⬅エンディングでは、スタイナーがベアトリクスに告白。終わり良ければすべて良し？

Impressive Words

騎士の使命にこだわっていたものの、周囲の影響でしだいに軟化。盗賊と見下していたジタンをひとりの男と認め、自分の意志で大切なものを見つけていく。

「人の為に生きることは真に自分の為なのか。教えて欲しい。
何のために人は生きるのか……」
——タイトルデモより

「ままなろうとなかろうと、正しいことをする、それが一番なのである!」
——物見山：一本調子な様子をモリッドにたしなめられて

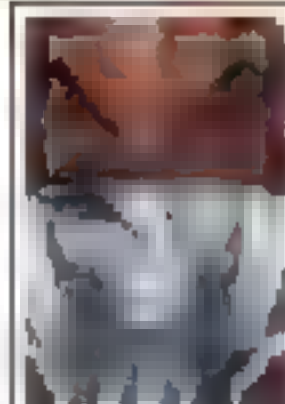
「ジタン殿、ビビ殿、頼りにしているぞ!」
——アレクサンドリア城：ベアトリクスとフライヤを助けるべく、ガーネットをジタンたちにまかせて引き返し

「自分は姫さまとアレクサンドリアと、そして……
そして、ベアトリクス!　おまえをも必ず守ってみせる!!」
——アレクサンドリア：ベアトリクスとともにクジャの軍と応戦しながら

フライヤ

Freija Crescent フライヤ・クレセント

Personal Data

種族	ネズミ族（ブルメシアの民）
性別	女
年齢	21歳
利き腕	左

行方知れずの恋人を捜す 勇ましくも美しい女竜騎士

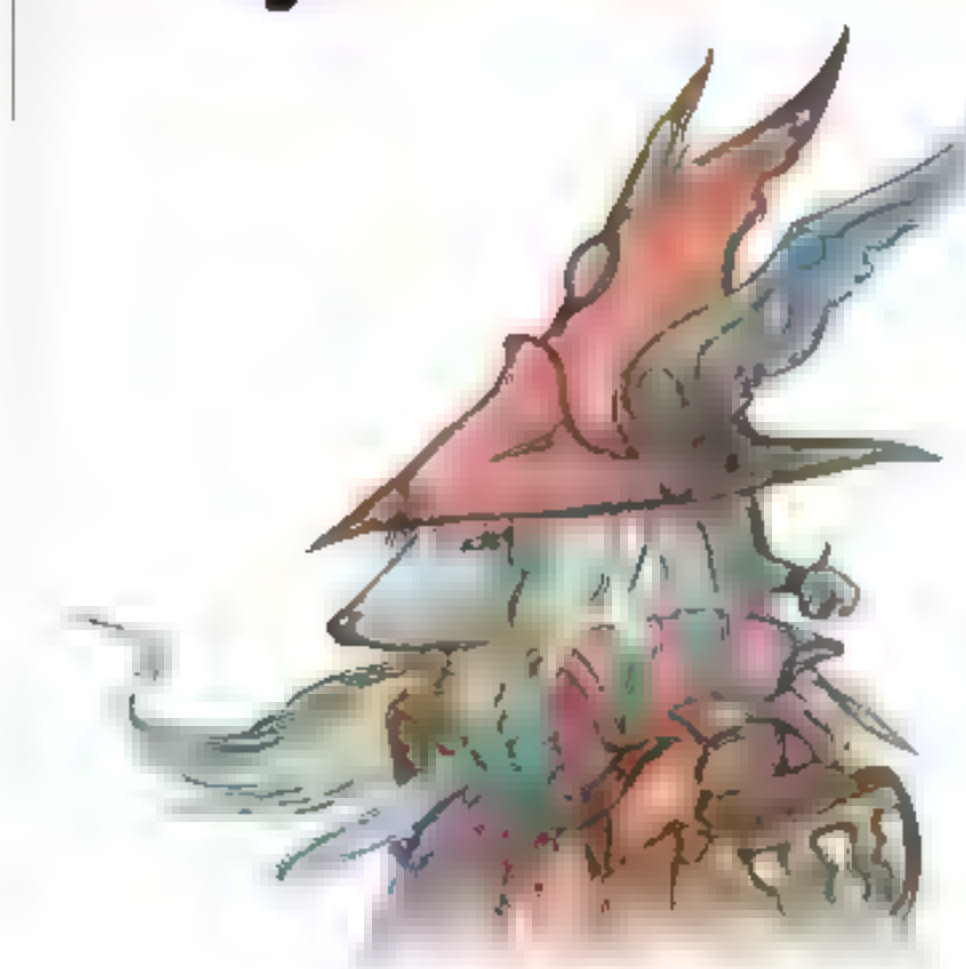
古めかしい言葉づかいを用いる、容姿端麗なネズミ族の女性。驚異的な跳躍による一撃を得意とするブルメシアの精鋭戦士「竜騎士」のひとりだが、5年前、修行の旅からもどらぬ恋人フラットレイの消息を求めて国を飛び出し、以来、母国への出入りを禁じられている。ジタンとはフラットレイを捜しつつ1年ほど行動をともにした仲であり、狩猟祭開催を機にリンドブルムを訪れたところで再会。折しもブルメシアの危機を知り、ジタンたちと一緒に救援に向かったことを皮切りに、世界をめぐる陰謀に巻きこまれていく。

つねに騎士としての精進をおこたらず、女らしさをつとめて排除しているものの、言動の端々に女性的な柔和さ、淑女の気品が漂う。冷静沈着で、命の大切さを深く理解するがゆえ、無謀な仲間をいさめることも多い。

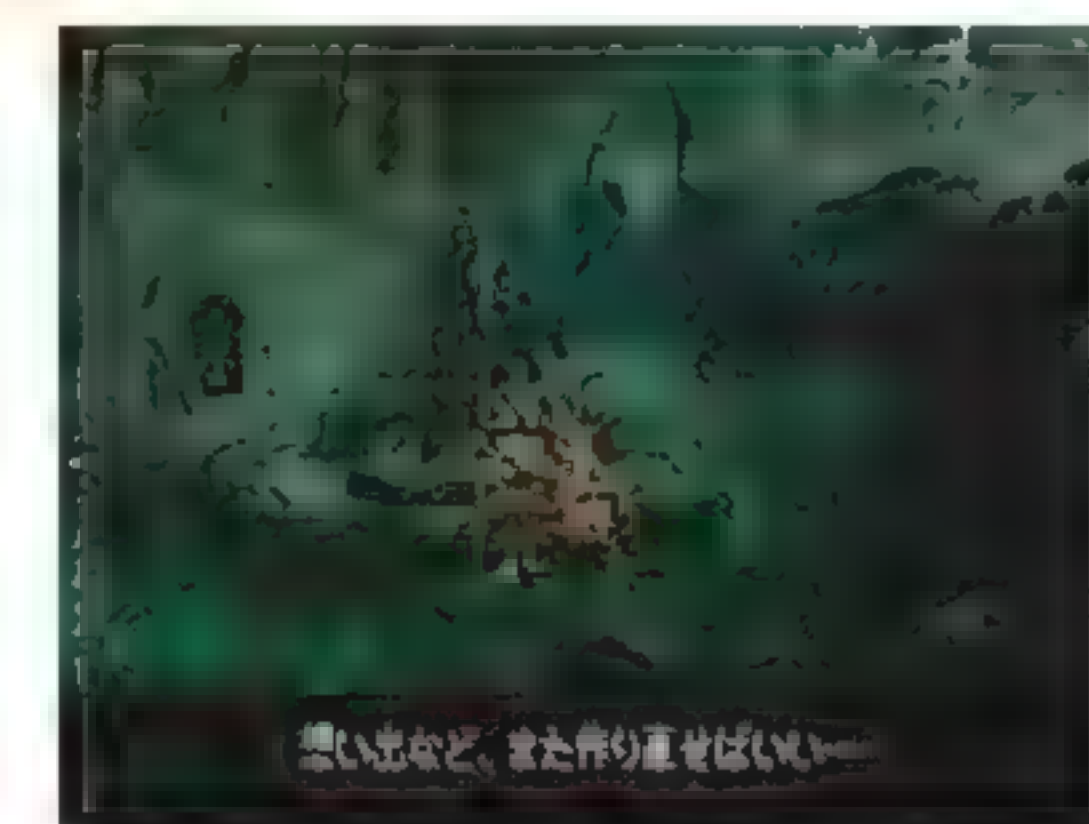
⬅ブルメシア王に勘当された身であり、ブルメシアに興味がなさそうに振る舞うが、実際はぬぐいがたい愛着を祖国に抱いている。

➡恋人としてフラットレイと過ごした期間は実質数カ月に満たない。その至福の思い出を心の支えとし、彼との再会を待ちわびていた。

⬅ふだんは落ち着いているものの、意外に血の気が多いところがあり、初対面であるサラマンダーと火花を散らすひと幕も……。

Topics of Freija

生きる道をくれた人――フラットレイ

孤児だったフライヤは、祖国の英雄的竜騎士フラットレイにあこがれて16歳で竜騎士の称号を獲得。ほどなく彼と恋仲になる。以来、彼女にとってフラットレイは、生きるすべてだった。

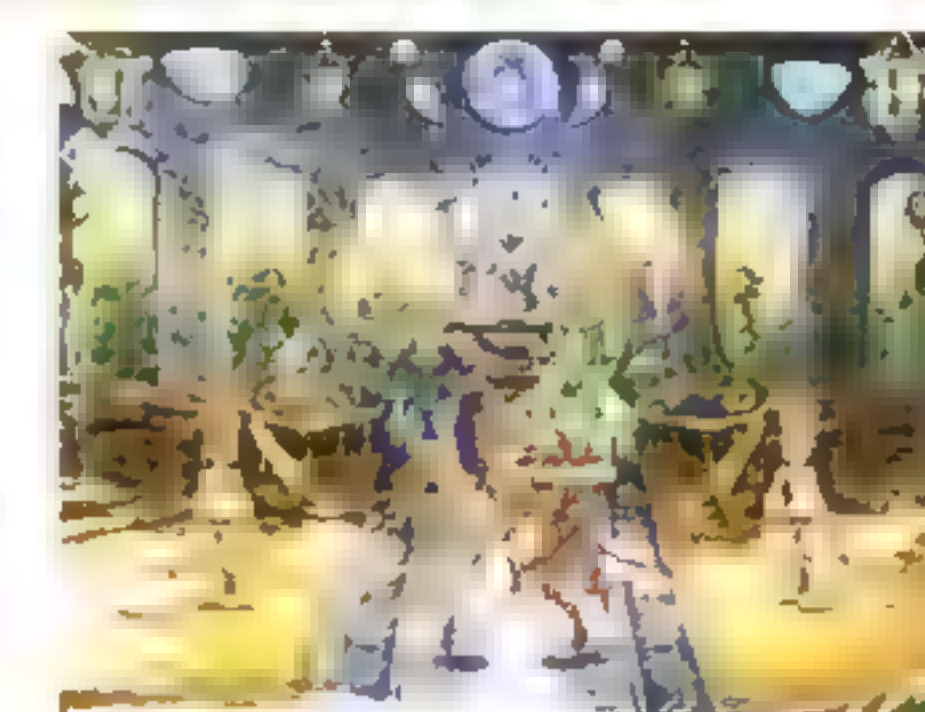
物語中、フライヤはフラットレイと再会を果たすも、彼はすべての記憶を失っていた。その事実はフライヤを絶望の淵に突き落とすが、同時に、恋人に頼っていた己を振り返り、自分の愛を見つめ直すきっかけを与える。

⬆エンディングでふたりは、何もないところからふたたび思い出を築き上げることを決意する。

ジタンとの出会いは3年前

フライヤがジタンとはじめて出会ったのは、彼女がフラットレイを追って旅に出た2年目のことだ。当時失意に沈んでいたフライヤは、前向きな明るさと揺るぎない行動哲学を持つジタンから少なからず影響を受けることに。それ以来、口には出さないものの、フライヤは彼に感謝している。

⬅フライヤの心が以前より強くなったと感心するジタンだが、そうさせたのはほかならぬ彼。

ネズミ族伝統のダンス

ブルメシアと並ぶネズミ族の国クレイラは、魔法で砂嵐を起こして国を守っている。その砂嵐を強化すべく魔力のこもった伝統のダンスが行なわれるのがならわしだが、物語中ではフライヤもこれに参加。クレイラの巫女にまざって優美なダンスを披露し、武だけの女ではないところを見せてくれる。

⬅槍で戦ういつもの勇ましい姿とはちがった、フライヤの意外な一面が見られるシーン。

Impressive Words

「～じゃ」をつけるような古風な言葉づかいが特徴。何かにつけて恋人フラットレイのことを思い出すあたりに、彼の存在の大きさがうかがえる。

「思い続けることの辛さより、忘れられることが怖いのじゃ……」
――タイトルデモより

「こんな時にあなたは何処におるのじゃ？　私にはあなたが必要だというのに……」
――リンドブルム：フラットレイを思い返し

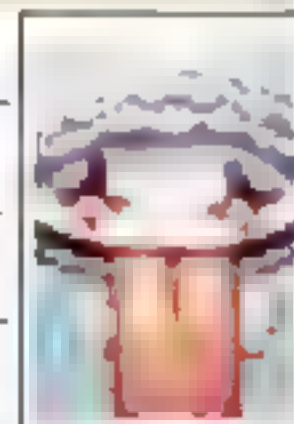
*「国を出て、はや5年……。この地の夢を幾度見たことか。
いや、この地の夢を見ぬ夜なぞ無かった！」*
――ブルメシア：出入りを禁じられていた祖国に足を踏み入れ

「笑止！」
――アレクサンドリア：自分にわびろと言うサラマンダーに

「愚直は美徳じゃ……ただ、生きてさえおればな……」
――トレノ：サラマンダーの生きかたをフラットレイと重ね

クイナ
Quina Quen

Personal Data

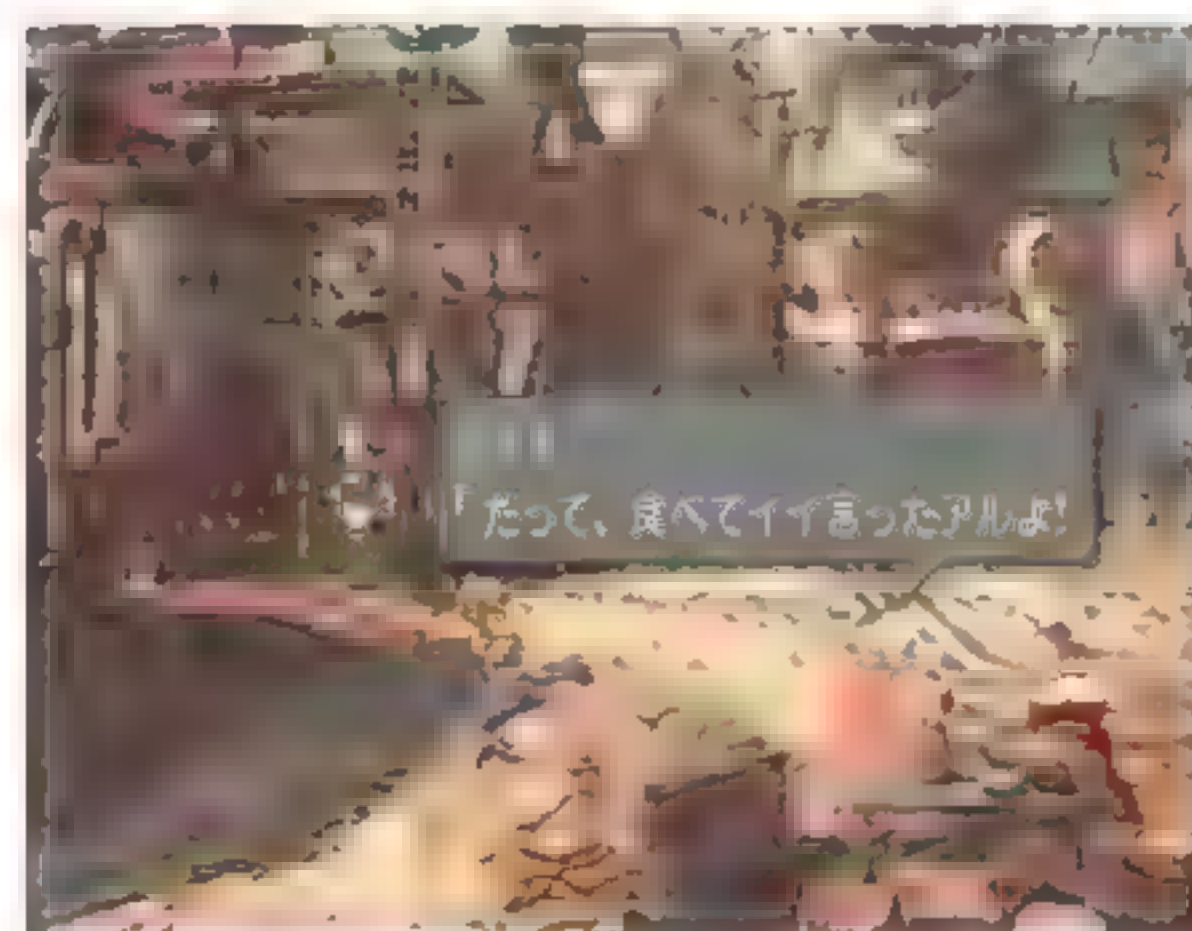
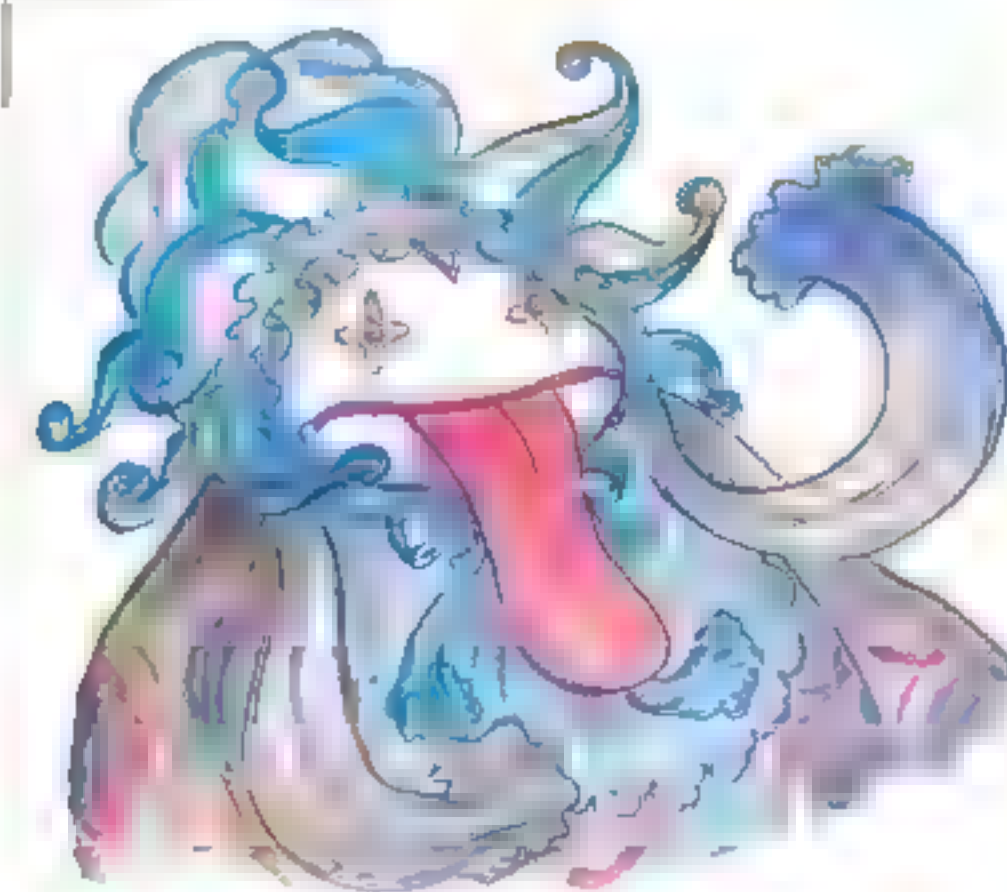
種族	ク族
性別	?
年齢	70～90歳?
利き腕	両利き

美味か否かが何より大事 あくなき食の求道者

食材の発見と美食の追究に全力をかたむける謎多き種族、「ク族」の若者。リンドブルム近郊にあるク族の沼で、師匠クエールと暮らす。カエルが大好物だが、地元のカエルの味に満足し切っていたため、見かねた師匠に背を押されて食の見聞を広める旅に出ることに。おいしいもののありかに案内してくれそうなジタンたちについていき、人生すなわち食の道の奥深さを悟っていく。

どんな非常事態に置かれてもマイペースをつらぬき、食の追究を第一に行動。「アイヤ～」「～アルね」といったユーモラスな口調もあって、仲間内になごやかな空気を吹きこむ。手にした巨大なフォークは、イキのいい食材をすぐに仕留めて口に運ぶための一族共通の装備品で、武器としても使うことができる。

⬆道中でさまざまな食べ物を知るが、やっぱりカエルが一番好き。機会あらばカエルとりに精を出す。

⬅「買う」という意味を知らずに売り物をたいらげてしまい、代金を払えと迫られる。クイナ最大のピンチ?

⬅食通というだけではなく、料理人としても一流。アレクサンドリア城のコックやエーコに、料理のアドバイスを送る場面も。

Topics of Quina

かくもけわしき食の道

新しい場所を訪れては、その土地の美味なるものを探して奔走するクイナ。各地におけるクイナの食をめぐる行動をざっとまとめると右のようになる。

⬅右にあげたほか、カエルに変身したシドを食べようと考える場面も……。

◆クイナのおもな食探究

- 砂しかない街に失望するも、街に満ちる砂が甘くて美味なことを発見【クレイラの街】
- チョコボの卵の匂いをかぎつけ、黒魔道士たちに追い払われる【黒魔道士の村】
- 頭に変わった色のポンポンを持つモグに興味をひかれ、食べようとする【コンデヤ・パタ】
- 川から釣り上げられ、エーコの料理を指導。魚釣りに夢中になるうち仲間に置いていかれ、あとを追って川へ飛びこむ【マダイン・サリ】
- 海岸に漂着。食い逃げ犯として露店でシメられ、ジタンに助けられる【リンドブルム】

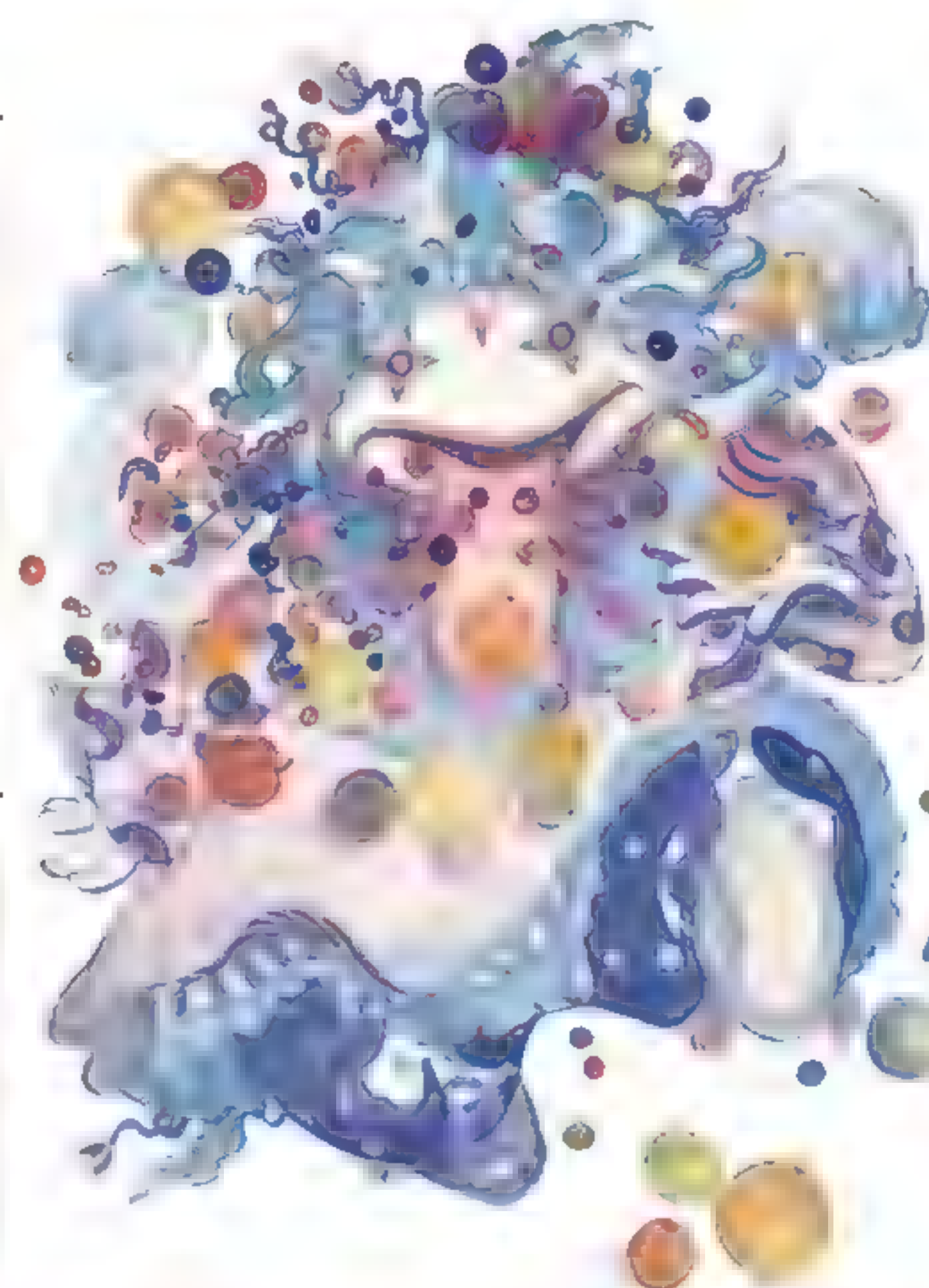
男性? 女性? クイナの性別

ク族には性別の概念がなく、子孫を残す原理も解明されていない。クイナも性別不明だが、コンデヤ・パタでは結婚式に似た儀式「神前の儀」をビビと受けることに。また、地脈の祠でジタンの相棒に選ばれて「ワタシ、うれしいアルよ!」と喜ぶなど、その反応は女性的と言えなくもない……?

⬅「幸せアル」と言いながらビビに迫る、ちょっとドキドキ(?)な神前の儀のひと幕。

狩猟祭に現れた「謎の食通」

クイナは本格的に物語に関わる前に、リンドブルムの狩猟祭で登場している。もっとも姿は見せず、参加者のひとり「謎の食通選手」として場内の話題にのぼるのみ。モンスターを仕留めた数を競うのが狩猟祭本来の目的なのだが、クイナ自身はいろいろなものを食べる機会だと思って参加したようだ。

⬅獲物を狩ったそばから食べてしまうため、係員は狩猟数の計測に苦労していた模様。

Impressive Words

クイナの言動は物語を通じてユーモラス。いついかなるときでも美味なものを探し、何事も食に結びつけるその生きかたは、感動的なほどだ。

「好きなことやってて悪いアルか!!
だけど……、たまには叱って欲しいアルよ……」
──タイトルデモより

「……あのカエルの王様を食っておくべきだったアル……」
──デザートエンプレス：絶体絶命の危機に立たされて

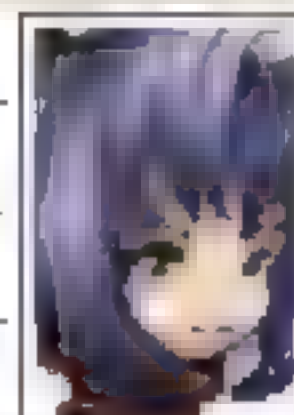
「ク族のことわざでは、こういうふうに言うアル……
「残り物にはおいしいものがアル」!!」
──地脈の祠：残りものだからクイナと組んだと言うジタンに

「食べてみるまで本当の味はわからないアル!
ワタシ世界を旅してそのコトわかったアルよ!」
──地脈の祠：土のガーディアンと対峙し

エーコ

Eiko Carol エーコ・キャルオル

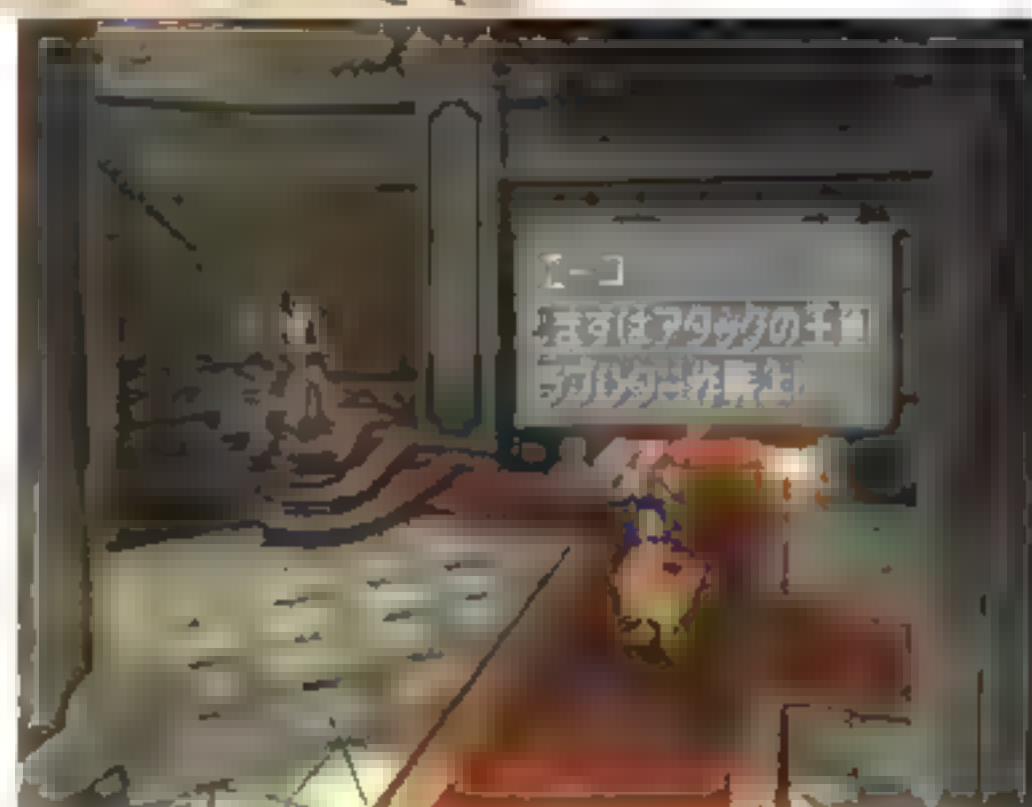
Personal Data

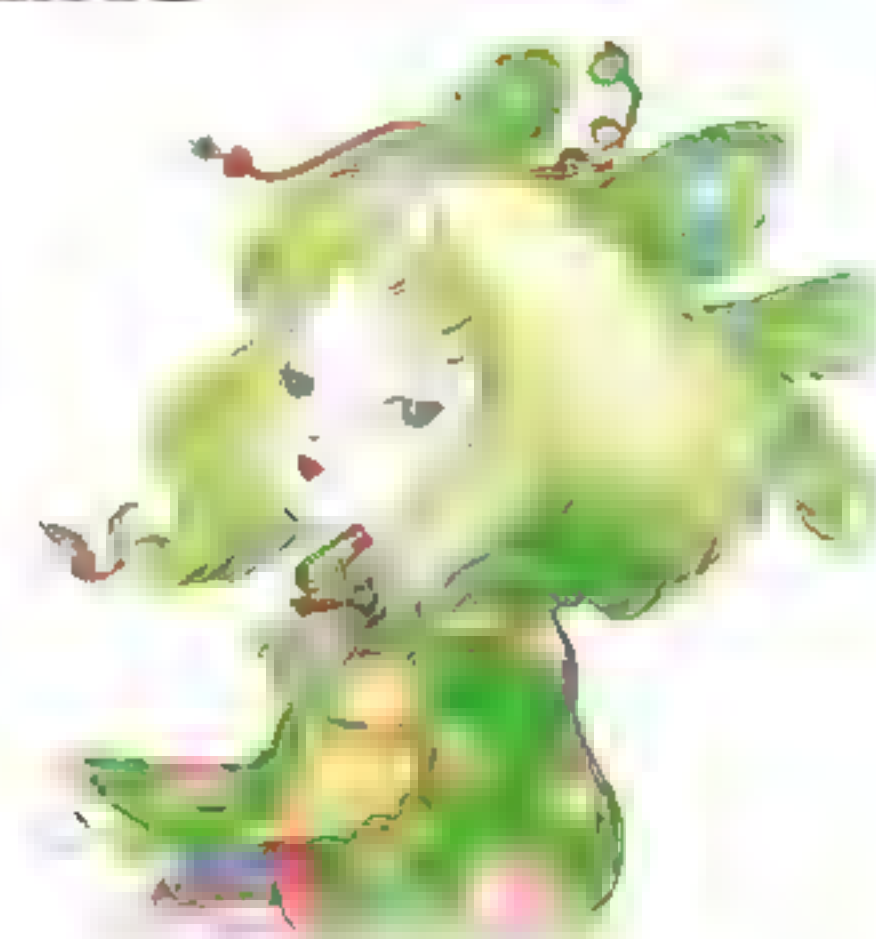
種族	ツノがある人間
性別	女
年齢	6歳
利き腕	右

ジタンに恋する おしゃまな召喚士の少女

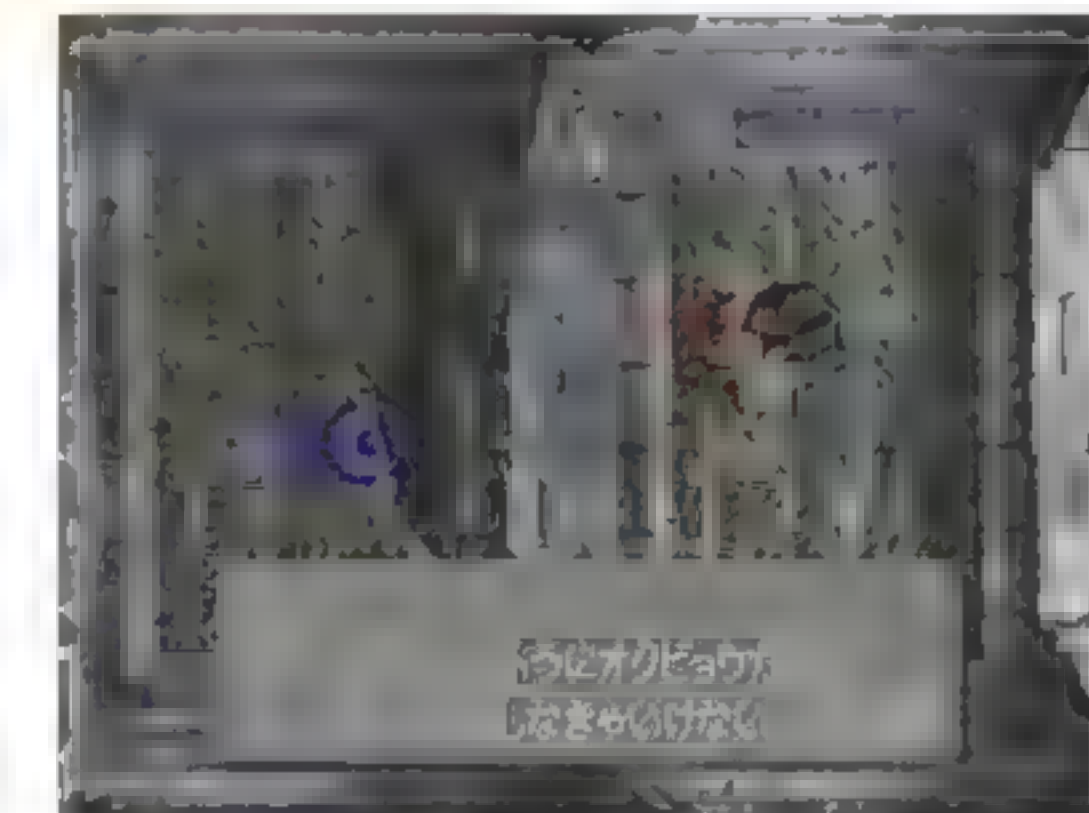
なかば伝説上の存在である召喚士一族の末裔。10年前に壊滅状態におちいったマダイン・サリの生き残りのなかから誕生した。一人前のレディにあこがれる明るくおませな女の子で、年齢に不相応なほどかしこく気くばりもあり、一を知って十を知る応用力の高さを見せる。

生まれてすぐに両親を失い、かわって自分を育ててくれた「おじいさん」も1年前に逝去。以来、話し相手がモーグリだけの環境に耐えがたいさびしさを覚えつつ、村の宝である召喚壁と宝珠を管理しながら暮らしていた。コンデヤ・パタへ食料調達に出かけたときにジタンたちと遭遇。ひとめぼれしたジタンやその仲間たちから離れたくない思いと、「16歳になるまで村を出るな」というおじいさんの遺言との板ばさみになって悩むが、クジャの陰謀を知ったこともあってジタンたちに同行する。

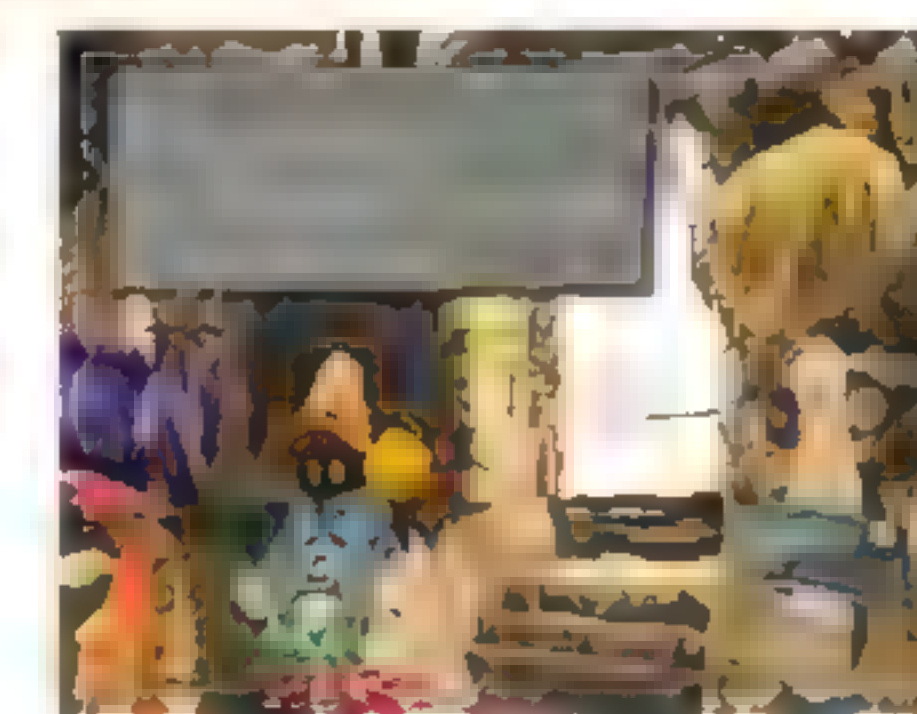
⬅額のツノは召喚士の証で、これを通じて召喚獣やモーグリたちと交感する。また、背中の羽根は、ときおじいさんがくれた飾り。

➡出会ったときからジタンに恋し、お手製の料理やラブレターなどで何度もアプローチを試みるも、まったく相手にしてもらえず……。

⬅アレクサンドリアの危機には、自分と同じく最後の召喚士であるガーネットと協力し、伝説の召喚獣アレクサンダーを呼び出した。

Topics of Eiko

■ 恋敵は大切な同胞

ジタンに夢中になったエーコは、はじめのうちはガーネットを恋のライバルと見なし、対抗意識を燃やしていた。しかし、旅をつづけるなかで、しだいに彼女とジタンの仲を応援する立場になっていく。ジタンとガーネットのあいだに自分が入る余地がないと思い知らされたというのもあるが、ガーネットの正体が自分と同じマダイン・サリの召喚士だと知ったことで、同胞意識が強くなったのだろう。

⬆ジタンと相思相愛なのに素直になれないガーネットに、10歳年下ながらオトナのアドバイス？

■ 大好きな親友、モグ

マダイン・サリにはモーグリが大勢いるが、エーコと一番仲良しなのは、同い年の女の子、モグ。小柄なモグはエーコのふところに隠れ、いつも一緒に行動している。しかし、モグの正体はじつは召喚獣。モグがその秘密を明かし、エーコを守って姿を消すとき、エーコはまたひとつオトナになる。

⬅エーコとモグはともに一人前のレディになることを誓い、互いにリボンを交換し合っている。

■ 料理だったらエーコにおまかせ？

ジタンたちと出会ったエーコは、彼らを村に招き、手作り料理でもてなそうとする。メニューは「げんこつイモのシチュー」と「とれたての焼き魚」。なかでもシチューには自信満々で取りかかるが、モーグリの話では、頭のボンボンが取れそうになるほどマズく仕上がる場合もあるらしい……。

⬅料理の味はプレイヤーの行動で分岐。マズいときはジタンが言いにくそうに感想を述べる。

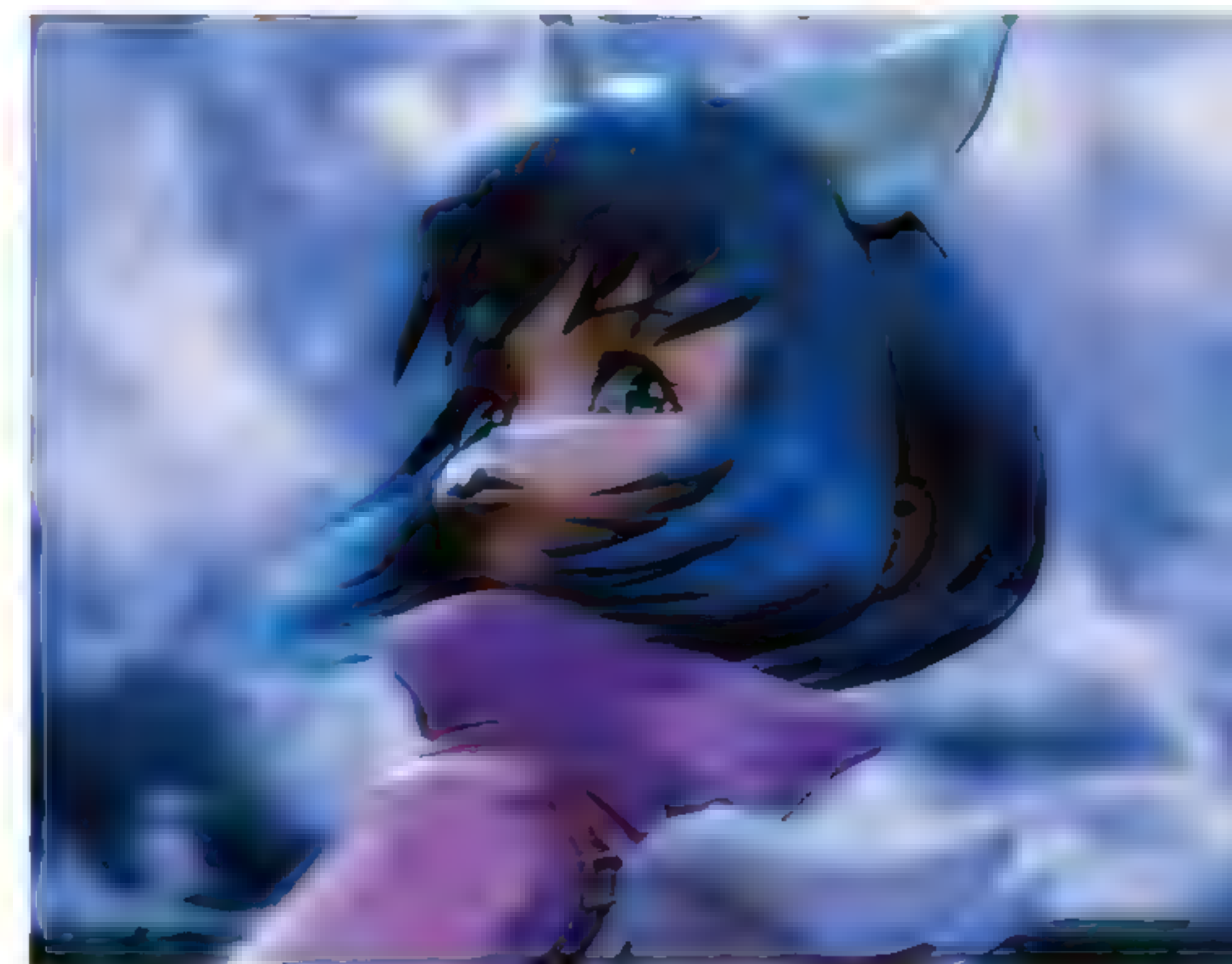
Impressive Words

6歳とは思えないほど語彙が豊富で、気取った言葉を背伸びして使用。元気でニギヤカだが、孤独を恐れてカラ元気を出しているようなところもうかがえる。

「大丈夫だなんて思わないで……。
一人でいると、さみしさがいっぱいやってくるの……」
──タイトルデモより

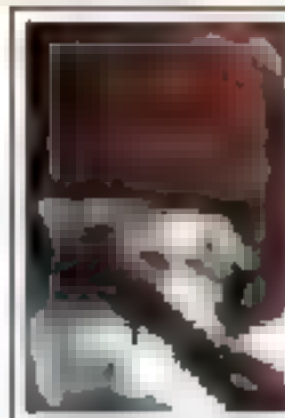
「『はっこうのびしょうじょ』って言葉、
エーコのためにあると思わない？」
──マダイン・サリ：自分の生い立ちをジタンたちに語り

「エーコはいつだって元気いっぱいよ！（でも本当は、
ジタンの心のスキマにさえ入ることができなくて涙が出そうなのよね……）」
──アレクサンドリア：トットにいつも元気そうだと言われて

「その新しい劇場艇も速くなったって自慢してたのもおじさ……
オホン！　おとうさんじゃないのっ!?」
──エンディング：養父となったシドとともにアレクサンドリアへ向かおうとして

サラマンダー

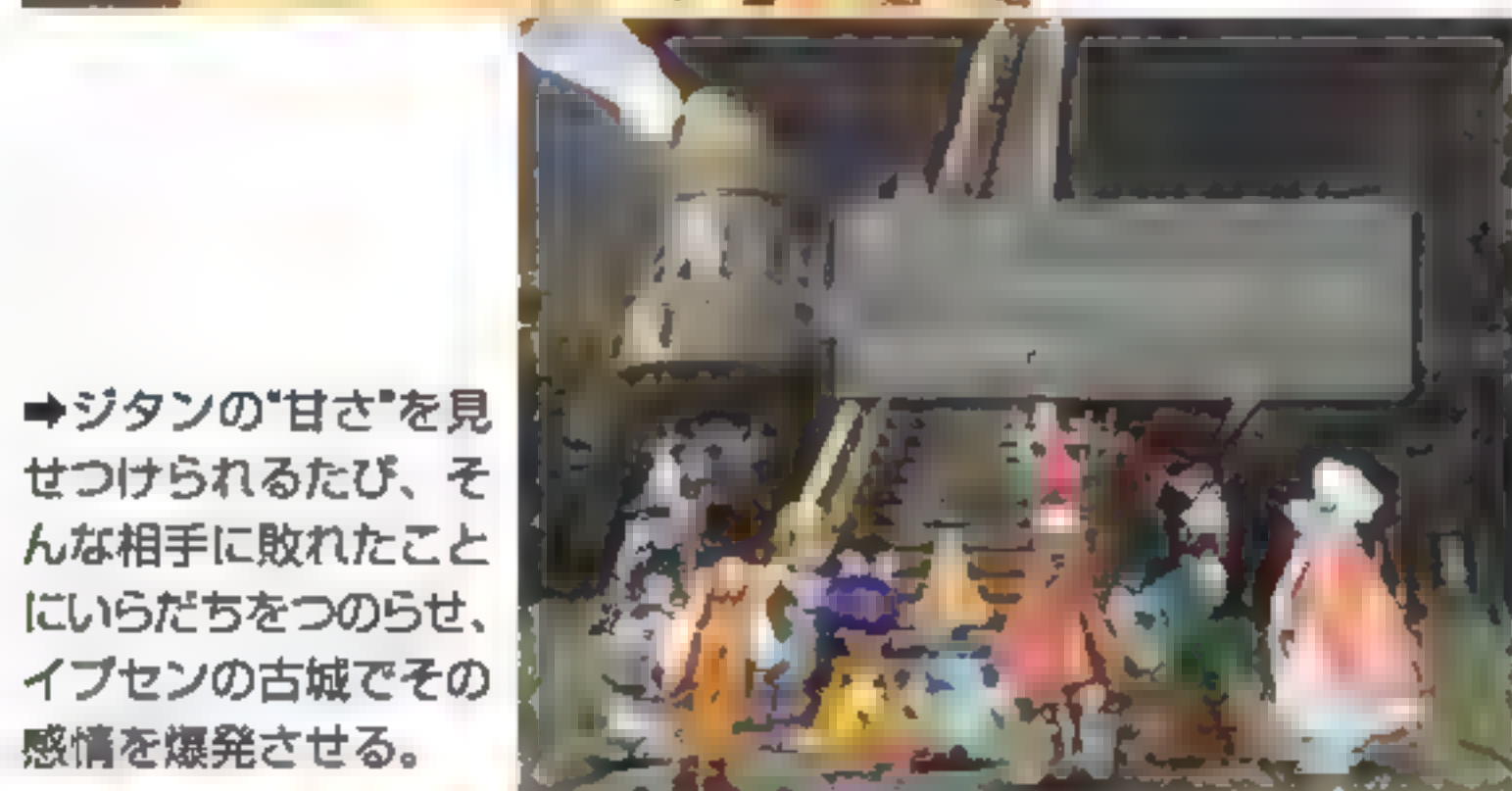
Salamander Coral

Personal Data

人間
男
26歳
石

ジタンをライバル視する孤高の拳闘家

裏稼業界No.1の実力者として畏怖される、凄腕の闘士。頭髪が燃えさかるような赤い色をしていることから「焔色(ほむらいろ)のサラマンダー」の異名をとる。天涯孤独の身で、幼少時から頼れる者が周囲に誰ひとりおらず、己の拳ひとつで世間の荒波をくぐり抜けてきた。とてもクールで口数が少なく、他人をまったく信用しない。

トレノで用心棒をしていた2年前、盗みに入ったジタンをつかまえようとしてワナにはめられ、逆に自分がおたずね者に。以来、指名手配を受けながらもジタンを捜してきた。ブラネの雇う刺客としてジタンの前に現れ、一騎討ちを挑んで敗れるが、自分にトドメを刺さなかったジタンの行動が理解できず、その人物像を見極めるために同行。紆余曲折を経てジタンの器の大きさと己の未熟さを思い知ると同時に、人との絆を理解していく。

⬅卑怯な手口が大嫌い。エーコを人質にジタンたちを脅迫した相棒ラニを見かぎり、彼女を追い出してジタンに真っ向勝負を申しこむ。

➡ジタンの"甘さ"を見せつけられるたび、そんな相手に敗れたことにいらだちをつのらせ、イプセンの古城でその感情を爆発させる。

⬅かつて用心棒として働き、いまや自分の指名手配書があちこちに貼られるトレノの街にて、ジタンと出会った当時を回想する。

Topics of Salamander

ジタンを追う理由

サラマンダーがジタンを追ってきたのは、自分をハメたことへの復讐のためではない。己に匹敵する実力を垣間見せながらも戦いを避けたジタンの行為がどうしても納得できなかったからだ。だが、いざジタンと再会すると、モヤモヤはますますふくらむ。なぜ勝負に負けた自分を生かすのか？　なぜ力があるくせに弱い者とつるむのか？　──それらの疑問は、サラマンダーの生きる理由探しにつながっていく。

⬆イプセンの古城でジタンとの競争に勝つが、結果的に、自分が彼にかなわないことを痛感。

一触即発！　サラマンダーVSフライヤ？

コワモテで人に敬遠されがちなサラマンダー。フライヤと出会ったときも、目つきのせいで彼女に因縁をつけられ、あわやケンカになりかかる。相性最悪かと思いきや、トレノではジタンとの因縁を彼女に打ち明ける場面も。戦士として相通じるものがあればこそ、火花も散らすし心情も吐露するのだろう。

⬅テラへの道を開くべく4つの祠を同時に攻略するときも、フライヤとペアを組むことになる。

相棒ラニとのその後

ブラネに雇われた当初、サラマンダーは賞金かせぎの女性ラニとともに行動していた。だが、マダイン・サリでラニが手柄を得ようと先走ると、「卑怯者とは手を組まない」と言ってコンビを解消。それきり縁が切れたかに見えたが、エンディングでは彼女と旅をしている。なんだかんだで仲がいい？

⬅ガーネットを祝福すべくアレクサンドリアを目指すサラマンダー。そのかたわらにはラニが。

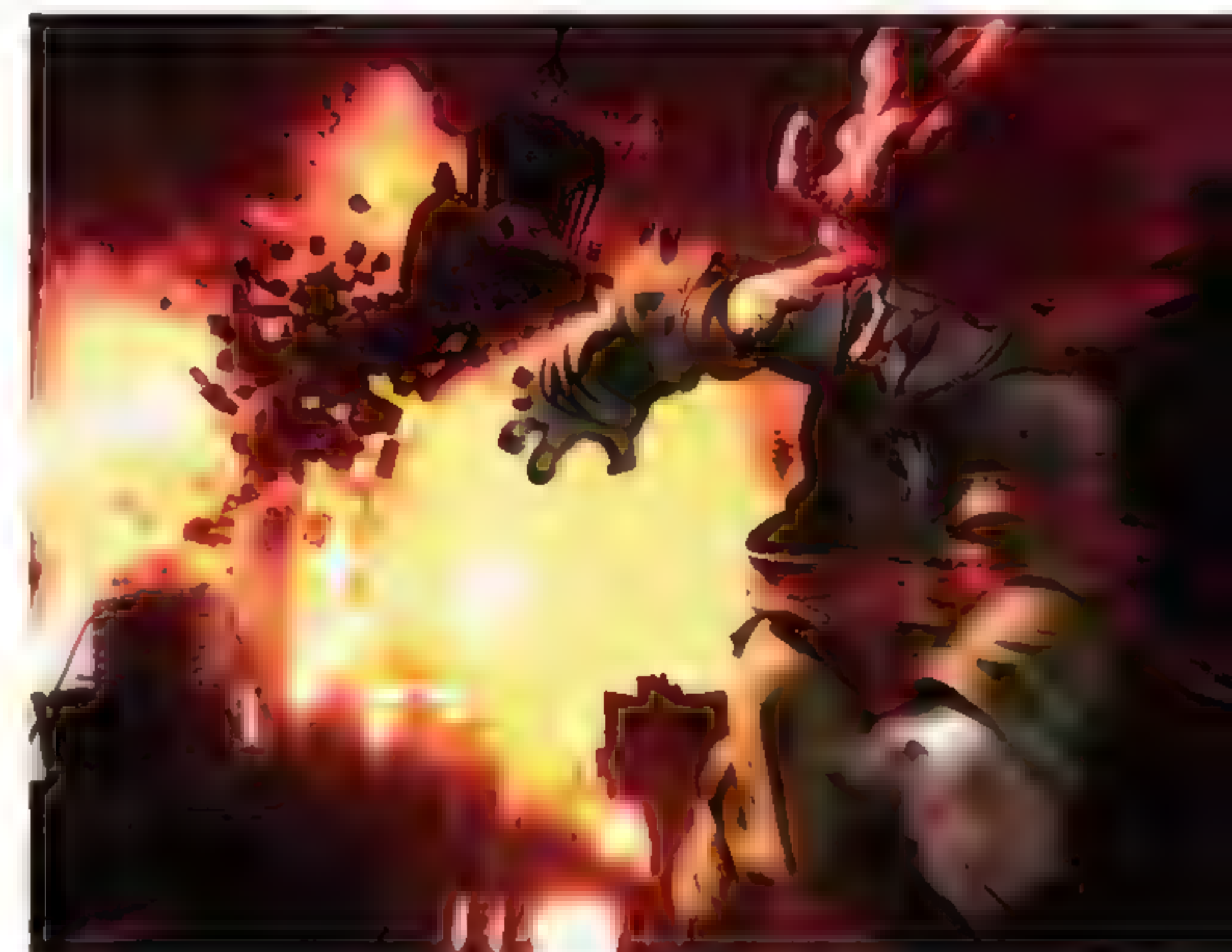
Impressive Words

人とほとんど話をせず、たまに口を開いてもぶっきらぼう。とりわけジタンにはケンカ腰で接するが、旅の後半に己を見つめ直すと、物腰も少しやわらかくなる。

「自分が、何をしたいか。何が出来るのか。
今、その答えを出せというのか……」
──タイトルデモより

「……言え！　殺さなかった理由はなんだ!?」
──マダイン・サリ：自分にトドメを刺さなかった理由をジタンに問いただし

「仲間……？　それが、仲間、なのか……？」
──イプセンの古城：仲間だからと言って自分を助けるジタンに

「まるで、どこぞの誰かさんみてえだ……。
力の使い道を探すことから逃げて、
強い相手を探すことばかりしていた……」
──火の祠：火のガーディアンの姿に、過去の自分を重ねて

クジャ

Kuja

Personal Data

種族	ジェノム
[illegible]	男

定められた運命に逆らう美しく残虐なガイアの死神

霧の大陸の戦乱を陰で扇動している人物。アレクサンドリア女王ブラネに"霧"を利用した黒魔道士の製造法を伝授し、召喚獣の利用法を吹きこんで、大陸全土に混乱をもたらした。腰まで届く銀髪と雪のように白い肌を持つ中性的な美青年だが、非常に残忍かつサディスティックな性格で、自己愛が強く主張が激しい。

その正体はテラの民の魂の器「ジェノム」。ジタンの兄的存在で、弟に寄せられた期待とその潜在能力に嫉妬し、生後間もないジタンをガイアに投げ捨てた過去を持つ。テラの管理者ガーランドの指示でガイアに戦乱を起こすべく行動しつつ、ひそかに彼への反逆を画策。魂を喰らう船インビンシブルで召喚獣の力を吸い取り、ガーランドに対抗する力をたくわえ彼を手にかけるも、己の余命がわずかと知って狂乱。テラもガイアもすべてを滅ぼす破壊の権化と化す。

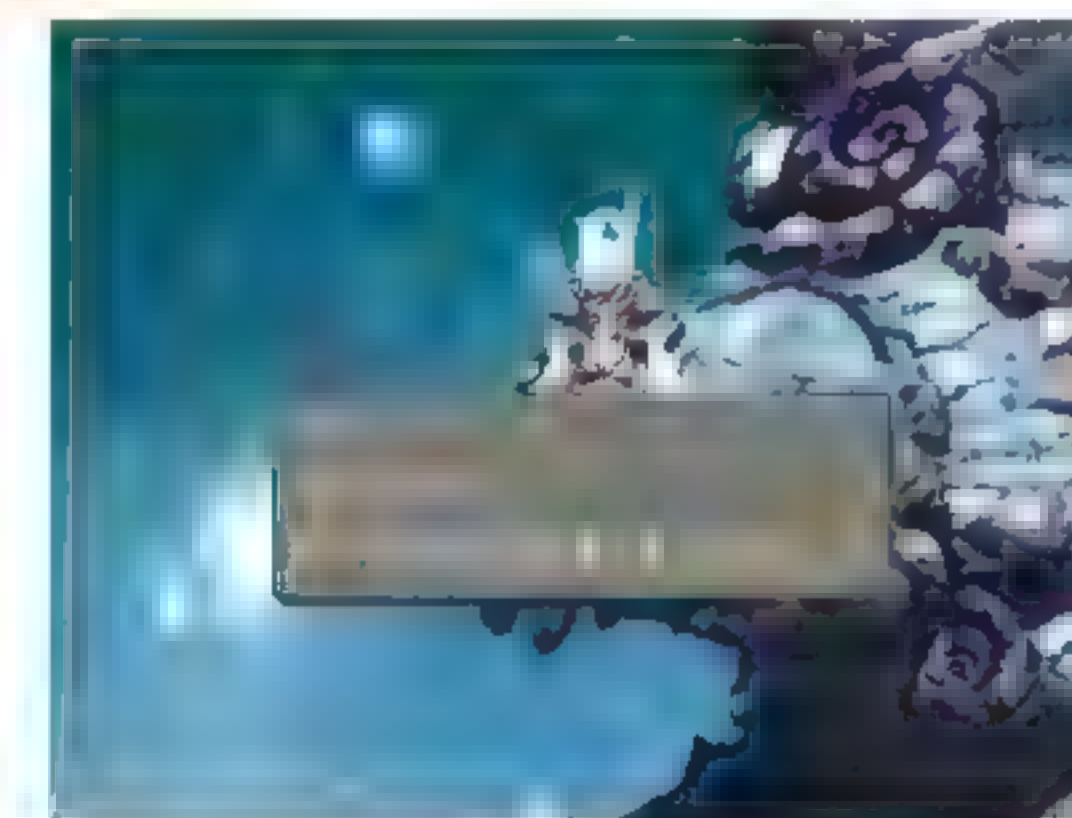
←黒魔道士たちを人形とさげすんでいたものの、彼自身も命の残り火少ない、テラの民の捨てゴマに過ぎない。

↑ジェノムのなかでも強すぎる意志を持って生まれた異端者で、主人であるガーランドに刃向かうが、その魂胆は見透かされていた。

Topics of Kuja

ジェノムの宿命にあらがい

クジャの強すぎる意志は魂の器たるジェノムとしては欠点だが、ガーランドはそこに目をつけ、クジャをガイアに送りこんだ。テラの民の魂がガイアの民の魂を駆逐できるよう、ガイアに戦乱をもたらす「死神」として……。

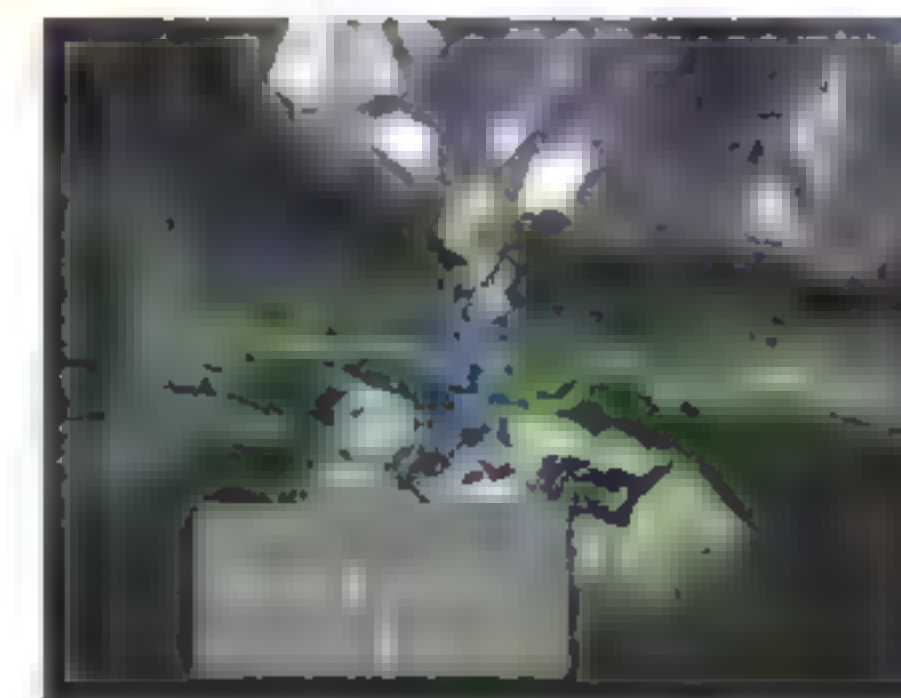
しかし、クジャはテラの道具として使われるのを嫌い、己の手で世界を支配しようとした。方向性はどうあれ、意志の力で道をひらこうとしたクジャの生きかたは、非常に人間的と言える。

↑運命を自力で変えようというクジャの生きざまは、結果的にジェノムたちに希望を与えた。

眠らない街のキング

クジャは、霧の大陸での住居を、同地でもっとも華やかな街トレノに置いている。そこでの彼は、「キング」という名の貴族として、ほかの有力者たちとともに街に君臨。屋敷で連日オークションを開き、各地の傑作珍品がとんでもない額で取り引きされる様子を、芝居を楽しむようにながめているのだ。

←屋敷を管理するオークショニアとしか応対しないため、巷ではキングの正体は謎。

"弟"ジタンへの嫉妬

特別な存在として造られ、将来を嘱望されていたジタンは、突然変異としてうとまれるクジャにとって嫉妬の対象だった。クジャがことあるごとに自身の力を誇示するのは、その劣等感の裏返しだ。生きる力にあふれ、ジェノムとしての運命を否定するという点では、ふたりは似ているのだが……。

←ジタンに敵意をむき出しにしていたクジャだが、最後の最後にジタンを生かそうとする。

Impressive Words

まるで芝居の一節のような詩的な表現が多く、自分で自分の言葉に酔って、長々と話をつづける。しかしそんな余裕も、己の命にかぎりがあると知るまでのもの。

「悪くないよ……臭気をまきちらすネズミどもと、
あのみにくい象女さえ視界に入らなければ、だけどね」
——トレノ：ブルメシアはどうだったかとオークショニアに尋ねられ

「さあ僕のかわいい小鳥よ、僕のもとへおいで。
そして、僕が夢幻の世界へといざなってあげよう」
——アレクサンドリア城：ガーネットを魔法で眠らせ

「ブラネ、生の執着者たるおまえの役目も終わりだ。
魂の牢獄で指をくわえて第二幕を観劇するといい」
——イーファの樹：ブラネに攻撃を定めながら

「僕が死ぬだって？　そんなことがあるわけないだろう？
あるはずがないんだよ！　ハハハ……」
——デザートエンプレス：ガーランドに傷つけられた身体を抱え

タンタラス

剛気あふれるタンタラスの頭領

バクー

Baku

Personal Data
種族 人間
性別 男　年齢 44歳
登場場所 劇場艇プリマビスタ、南ゲート(ボーデンアーチ)ほか

ジタンを育てた、タンタラスの団長。少々乱暴だが、豪快で部下思いな人柄から、団員たちに慕われている。戦火のなかで生まれて孤児となった人物で、戦争を収めた先代リンドブルム大公シド8世に感銘を受け、彼の力となるべくタンタラスを結成。以来、団の表と裏の顔を使いわけ、大公一門に協力してきた。

ブラネの不穏な動きを警戒したシド9世の依頼で、ガーネットを保護すべく彼女の"誘拐"を部下とともに決行。魔の森でジタンやガーネットと別れるが、その後も彼らに力を貸す。

⬅部下には比較的寛容なものの、目にあまると判断した場合は、"必殺技"でお仕置きする。

Impressive Words

「一度、手に入れると決めた宝は、どんな状況におちいっても必ず手に入れる! これが、おまえも知っているタンタラスのオキテ、第一条だ!」
——アレクサンドリア：女王になったガーネットとの恋に悩むジタンに

素直になれないジタンの先輩

ブランク

Blank

Personal Data
種族 人間
性別 男
登場場所 劇場艇プリマビスタ、魔の森ほか

➡無鉄砲なジタンが気になるらしく、憎まれ口をたたきながらも、なにかと彼の世話を焼く。

ジタンやマーカスの兄貴分。かつてはリンドブルムの貧民街でも札つきのワルと呼ばれていた。ガーネット誘拐後、暴走した魔の森からジタンたちを逃がすのと引きかえに石化。仲間に助けられてもとにもどったのちは、バクーたちとともにジタンを見守る。一見クールで無愛想だが、面倒見が良く義理堅い。

Impressive Words

「おまえのそのストレートな性格、ホント、むかつくぜ……」
——劇場艇プリマビスタ：「困っている女はほうっておけない」と言ってガーネットを助けに行こうとするジタンに

「危なっかしくて、見てられねーな! どいてな、俺が手本を見せてやる」
——魔の森：プラントブレインと戦うジタンたちに加勢し

ブランクを慕う陰の実力者

マーカス

Marcus

Personal Data
種族 人間
性別 男
登場場所 劇場艇プリマビスタ、南ゲート(山頂の駅)ほか

コワモテな外見に似合わず、礼儀正しくマジメな青年。リンドブルムの貧困層の出身で、以前はブランクを敵視していたものの、とある事件をきっかけに「兄キ」と慕うようになった。ブランクが魔の森の魔力で石化すると、もとにもどす手立てを求めて奔走。道中でガーネットとスタイナーに出会い、行動をともにする。

⬅言葉づかいや見かけによらず常識人。バクーやスタイナーにツッコミを入れることも多い。

Impressive Words

「俺が兄キって呼ぶのはブランクの兄キだけっス!」
——鉄馬車：アニキとは誰かとガーネットに尋ねられ

(お、俺、鼻血が出そうっス……)
——アレクサンドリア城：いい雰囲気のスタイナーとベアトリクスをブランクとともに見守り

タンタラス

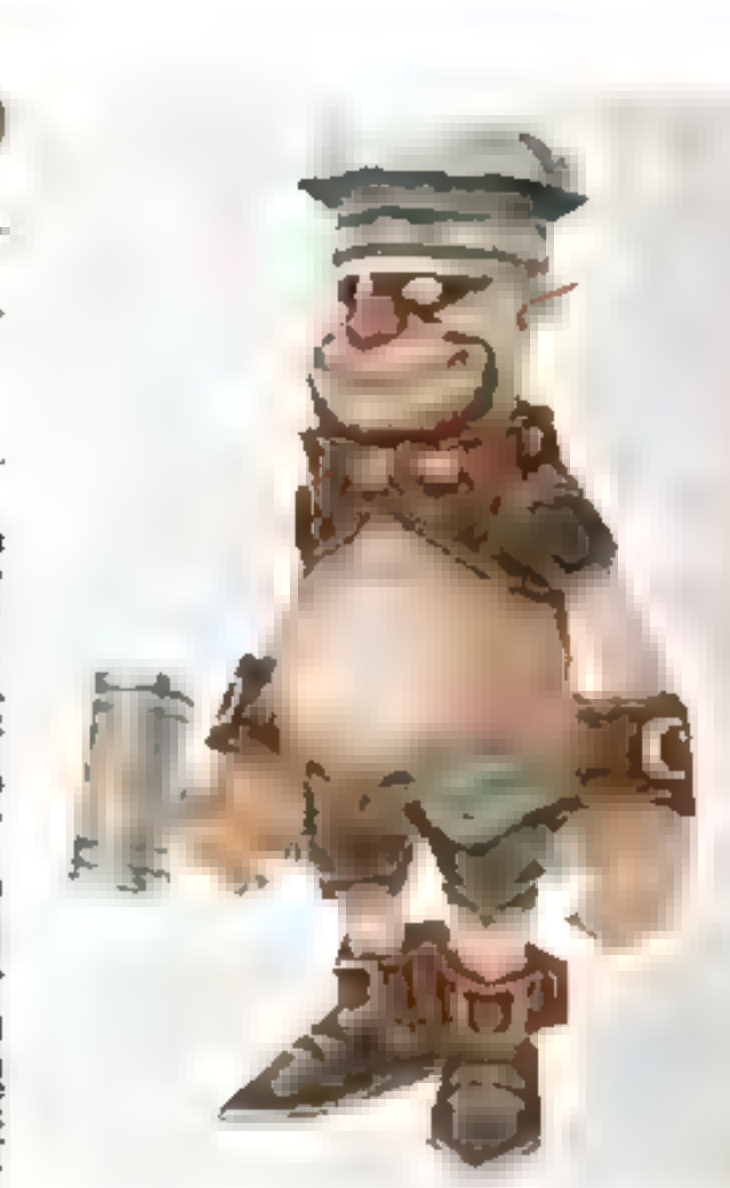
こだわり多きエンジニア

シナ

Cinna

Personal Data
種族 人間
性別 男
登場場所 劇場艇プリマビスタ、南ゲート(ボーデンアーチ)ほか

タンタラスの一員である飛空艇技師。自分が最初にエンジンを手がけた劇場艇プリマビスタがタンタラスの手に渡ったことから、タンタラスに加入した。愛用のとんかちを肌身離さず大切にしているほか、人形と一緒に寝たり美食にこだわったりと、いろいろマニアックな面を持つ。語尾に「～ずら」をつけるのがクセ。

⬅どこへ行っても自分の趣味を優先してマイペースをつらぬき、バクーや団員の手を焼かせる。

Impressive Words

「おいらのガーネット人形……いったいどこへいったずら。あれがないと安心して眠れないずら」
——劇場艇プリマビスタ：ガーネット人形を探して

「そうと決まればもう一個「まんまるカステラ」食べるずら!」
——山頂の駅：特産品に夢中になるうち鉄馬車に乗りそこねて

タンタラスの紅一点

ルビィ

Ruby

Personal Data
種族 人間
性別 女
登場場所 劇場艇プリマビスタ、アレクサンドリア

⬆団員唯一の女性で、劇ではヒロインを演じるが、ガーネット誘拐時の舞台では彼女に出番をとられた。

アネゴ肌できっぷの良い女性。とある田舎の出身で、郷土の名産品「すべすべオイル」を愛用し、地元の方言で話す。ガーネット誘拐のごたごたで劇場艇が墜落したさいアレクサンドリアに取り残され、仲間との再会を待ちつつ同地の小劇場立ち上げに力を尽くす。

Impressive Words

「ちょっと、ジタン、聞いてえなぁ。このコ、ムチャクチャやねん!」「ちょっと!! そんなことってどういう意味やのん!?」
——劇場艇プリマビスタ：ガーネットに出演準備を邪魔されたとジタンに訴えて

「あんたは飛べるで! ジタン、あんたなら高く飛べるで!」
——アレクサンドリア：落ちこんだジタンを励まし

よく似た兄弟団員

ゼネロ&ベネロ&……

Zenero&Benero&……

Personal Data
種族 人間
性別 男(&女)
登場場所 劇場艇プリマビスタ、アレクサンドリアほか

シナの紹介で入ったメンバー。ハサミのような手をしており、「～でよ」となまった口調で話す。ゼネロとベネロのふたり兄弟と思われているが、じつはゲネロ、デネロ、ペネロ、ベネ子、ゼネ子、ゲネ子、デネ子、ペネ子を含め5男5女の10人兄妹。

Impressive Words

「ゼネロを当てるでよ!」
——アレクサンドリア：「シャッフルゲーム」でゼネロがどれかを当てさせて

アレクサンドリア王国の人々

ブラネ
Brahne Raza Alexandros 16th
ブラネ・ラザ・アレクサンドロス16世

Personal Data
種族 人間
性別 女　年齢 39歳
登場場所 アレクサンドリア城、レッドローズほか

夫の死により道を見あやまった女王

アレクサンドリア王国第16代女王。盾突かれるのが大キライで頭に血がのぼりやすいが、君主としては賢明な人物であるため、民に慕われてきた。最愛の夫を亡くし憔悴していたところをクジャにつけこまれ、征服欲や支配欲といった悪しき部分が肥大化。黒魔道士軍団を整備して各国に攻め入り、娘としてかわいがってきたガーネットさえも、その体内に宿る召喚獣を奪おうとして危機にさらす。さらには己の協力者だったクジャの力をも手に入れようとするが、兵器として利用していた召喚獣を逆にあやつられて負傷。ふくれあがった欲望を生命力もろともクジャに吸い取られ、息を引き取る。

←聖獣アレクサンダー召喚のカギとなる宝珠を各地から奪うが、それはクジャの思うツボだった。

Impressive Words

「あのいまいましいサルか!」
——アレクサンドリア城：自分の邪魔ばかりするジタンに腹を立て

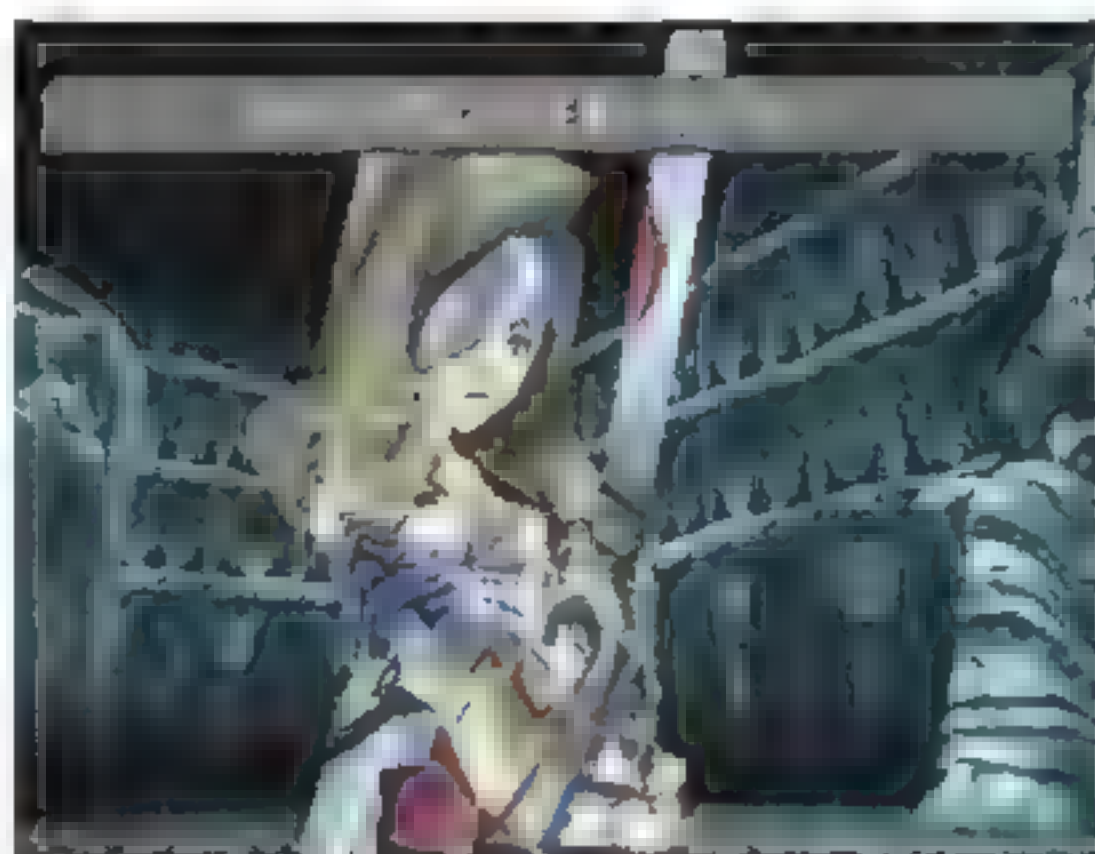
「……あのなめくさった若造に思い知らせてやる時がきたか」
——イーファの樹周辺：クジャに攻撃の狙いを定めながら

「もう……私にはなにもない……からっぽだ……よ……」
「私は……思うとおりに……生きた……。……だから……おまえも……おまえの……思う……とおり……に……生き……なさい……」
——イーファの樹：息を引き取る直前にガーネットに言い遺し

ベアトリクス
Beatrix

Personal Data
種族 人間
性別 女　年齢 28歳
登場場所 アレクサンドリア城、ブルメシアほか

王家に忠誠を誓う麗しの聖騎士

アレクサンドリアが誇る、百戦錬磨の女将軍。幼少時から天才剣士と呼ばれ、いまやその実力は霧の大陸一とされる。愛剣セイブザクイーンを振るい、長年に渡って王家と国の守護に全力を注いできた。ブラネが他国侵略を開始すると、世間に冷血女と非難されながらも軍事作戦を決行。だが、ブラネがガーネット抹殺に乗り出したことで己のあやまちを悟り、主君にそむいてジタンたちに加勢した。ブラネ亡きあとは新女王ガーネットを補佐し、ジタンたちを援護する。口調や立ち振る舞いすべてに凛とした美しさが漂い、戦場を離れて見せる素顔は優しい。

髪かき上げ　立ち姿

↑軍を率いてブルメシアやクレイラに侵攻。ジタンたちとは三度戦い、すべて彼女の圧勝に終わる。

Impressive Words

「フッフッフッ……私も甘く見られたものだ。百人斬りの異名を持つ私にとって、おまえたちなど、虫ケラに等しいわ!」
——ブルメシア：ジタンたちとはじめて対峙し

「私は、このようなことのために技を磨いてきたわけではなかったはずなのに……」
——レッドローズ：ブラネの方針とそれに従う己に疑問を抱き

「今宵、この命が露と消えようとも私は一向に構いませぬ!」
——アレクサンドリア：スタイナーとともに街を守りながら

ゾーン&ソーン
Zorn&Thorn

Personal Data
種族 たぶん人間
性別 男　年齢 88歳
登場場所 アレクサンドリア城、氷の洞窟ほか

弱きをくじき強きにへつらう魔道士コンビ

アレクサンドリア王家に仕える双子の老人。立場は宮廷道化師だが、その身にたくわえた魔法の知識を活かして働くことが多い。強者と見ればしっぽを振る日和見主義者で、魔道士としての実力は高いものの言動にムダが多く、肝心なときにドジを踏む。女王ブラネの手足となって幾度もジタンたちの邪魔をし、主君亡きあとは新たに女王となったガーネットに取り入ろうとして失敗。うしろ盾を求めてクジャのもとに走るも、捨てゴマにされて悲惨な末路をたどる。

←名前が濁点ではじまるゾーンは濁点なしではじまる「おじゃる」、名前に濁点がないソーンは濁点ではじまる「ごじゃる」がログセ。

ゾーン　ソーン

Impressive Words

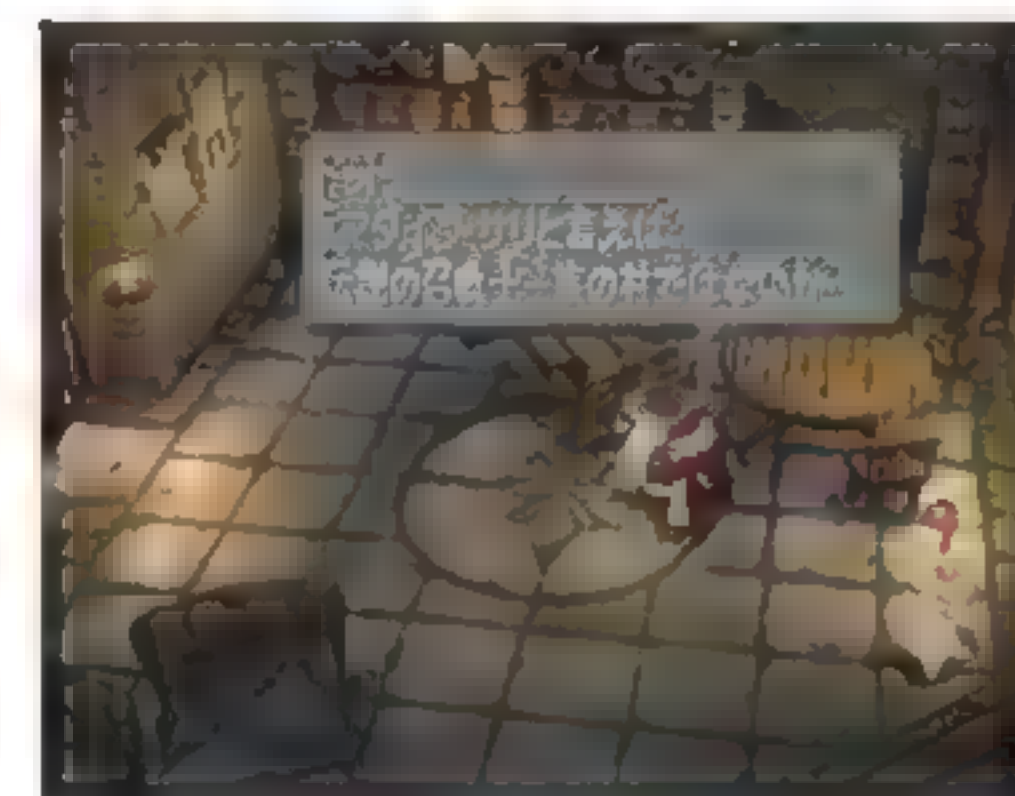
ゾーン「われら、後ろ盾なくては生きていけないのでおじゃる」
——アレクサンドリア城：ブラネに追い返されて

ソーン「こっけいな話でごじゃる! 所詮、道具は道具にしか過ぎないのでごじゃる!」
——ヒルダガルデ1号：自分たちのことを棚に上げ、命惜しさにクジャに協力する黒魔道士たちを小馬鹿にして

トット
Tot

Personal Data
種族 人間
性別 男　年齢 52歳
登場場所 トレノ、ガルガン・ルーほか

ガーネットの敬愛する先生

あらゆる分野に通じ、とりわけガイアに関して深い興味を抱く高名な学者。古くからアレクサンドリア王家に仕え、ガーネットが王国に漂着したときもその場に居合わせた。ガーネットの家庭教師を務めていたが、1年前にブラネに解雇されてトレノに移住し、研究生活を送っていたところで、白金の針を探すガーネットと再会。以後、彼女やジタンたちの良き相談役となる。思慮深くおだやかな人格者だが、思索にふけると周囲が見えなくなってしまう。

←エーコを通じて、伝説とされていた召喚士一族が実在することを知り、心を動かされる。

→幅広い知識でジタンたちに貢献。ブリ虫にされたシドをもとにもどすためにも奮闘するが……。

Impressive Words

「今でもこの老いぼれは、姫さまの味方でございます」
——トレノ：再会したガーネットに協力を約束し

「ほっほっ、これは手厳しい……」
——アレクサンドリア城：エーコに「エラそうなおじさん」と呼ばれて

リンドブルム公国の人々

発明家でもある気さくな大公

シド

Cid Fabool 9th

Personal Data
種族 人間
性別 男　年齢 35歳
登場場所 リンドブルム城、トレノほか

リンドブルム公国の現統治者。霧機関を発明して戦乱の世に平和をもたらした父の跡を継ぎ、16歳で大公となった。自身も発明家の顔を持ち、新たな動力・蒸気機関を用いた新型飛空艇の開発に力を注いでいる。ブラネの亡き夫とは親友の仲で、王女ガーネットの出生の秘密も知っており、友の遺言で王女のことを頼まれていた。アレクサンドリアの不穏な動きに気づくと、バクーにガーネットの保護を頼み、自身はブラネとの交渉の道を模索。ガーネットの女王即位後も、彼女と世界のために力を貸す。物語の直前に、浮気した罰として妻にブリ虫に変えられており、その後もカエルになったりと、自業自得とは言えさんざん辛酸をなめる。

➡一国の主とは思えぬほど親しみやすい人物。ガーネットには「おじさま」と慕われている。

Impressive Words

「あう～。ブリ虫の姿になってから頭もブリ虫級になったようだブリ」
――リンドブルム：新型飛空艇2号機の開発に難航し

「よっしゃ！　ここでワシがやらねば誰がやるケロ！」
――デザートエンプレス：人質にされた仲間たちの救出に乗り出して

*「おお……ついに人の姿に戻ったケロ！
これで3号機の建造に本格的に着手できるブリ！　……」*
――リンドブルム：人間の姿にもどるが変身時の言葉づかいが抜けず

魔法をあやつる美しき公妃

ヒルダ

Hildagarde Fabool

Personal Data
種族 人間
性別 女　年齢 27歳
登場場所 グルグ火山、リンドブルム城

シド9世の后。機械の専門家である夫とは対照的に、魔法を得意としている。本来は温厚な女性だが、浮気した夫を怒りのあまりブリ虫に変え、完成したての新型飛空艇で家出してしまった。物語の後半、クジャに捕らわれていたところをジタンたちに発見されて帰国。夫と仲直りし、ともにジタンたちを支援する。

➡たまに夫婦ゲンカはするがシドの最愛の妻であり、新型飛空艇には彼女の名がついている。

Impressive Words

「そのヒゲは……まあ、あなたなのですね!!」
――グルグ火山：目の前のカエルの正体がシドだと気づき

「今度浮気しようとした時は、ブリ虫じゃ済ませませんからね！」
――リンドブルム城：夫をもとにもどす前に警告して

シドの忠実なる側近

文臣オルベルタ

Minister Artania

Personal Data
種族 人間
性別 男　年齢 51歳
登場場所 リンドブルム城、リンドブルム

シド8世の時代からリンドブルム城に務める有能な大臣。施政を留守にしがちなシド9世を支え、彼と国のために力を尽くす。ヒゲのリボンがチャームポイント。

Impressive Words

*「兵員を復興作業に回そう、
一日も早く民の暮らしを取り戻すのだ」*
――リンドブルム：アレクサンドリア軍により壊滅した城下町で復興を指図し

ブルメシア王国の人々

ブルメシアを治める厳格な王

ブルメシア王

King of Burmecia

Personal Data
種族 ネズミ族（ブルメシアの民）
性別 男　年齢 49歳
登場場所 クレイラの街

ネズミ族の国ブルメシアの統治者。気性が激しく厳格な人物として知られるが、ひとり息子のパックにだけは甘い。約30年前にアレクサンドリア王国と交戦し、当時のリンドブルム大公シド8世の調停で休戦。以来、リンドブルム公国と友好関係を結びながらも、独自の政策によって武力を増強し、国勢を維持してきた。4年前、ブルメシアの閉鎖性を指摘して国外に出ようとした竜騎士フラットレイと対立し、彼と、彼を追おうとしたフライヤの両名を、国内出入り禁止処分にしている。

➡ブラネ率いるアレクサンドリア軍に侵略されてクレイラに逃れるが、そこでも悲劇に直面。

Impressive Words

「これ、待たぬかパック！　久しぶりに会ったと申すに！」
――クレイラの街：5年ぶりに再会したパックがフラットレイを捜しに出ていこうとするのを見て

記憶をなくした祖国の英雄

フラットレイ

Fratley

Personal Data
種族 ネズミ族（ブルメシアの民）
性別 男　年齢 25歳
登場場所 クレイラの街

フライヤの恋人である、ブルメシア最強の竜騎士。外界に目を向けぬ自国の将来を憂い、また、高名な剣士ベアトリクスと手合わせしたい欲求に駆られて、6年前に国を飛び出した。過酷な旅のなかで記憶喪失となるが、クレイラの危機を知るや竜騎士の血に導かれるようにして同地に駆けつけ、フライヤと再会する。

➡助けに訪れたクレイラの街で、王とかつての恋人に偶然再会するが、何も思い出せず……。

Impressive Words

*「フライヤ、おまえなら大丈夫だ。自分の力を信じるんだ。
そして、自分の運命を信じるんだ」*
――フライヤの回想：旅立つ前にフライヤに言い残し

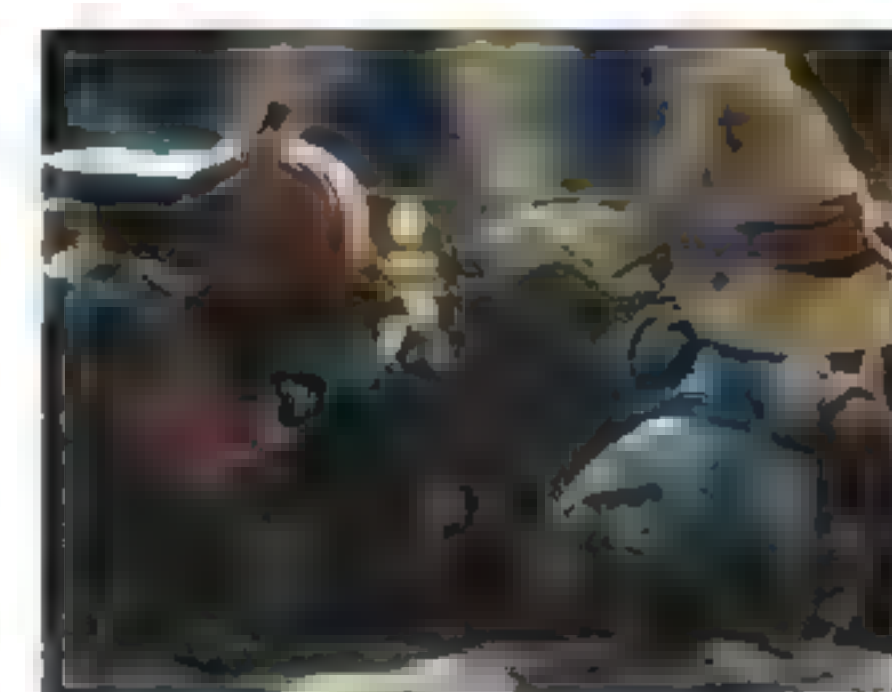
*「竜騎士……。そう、私は竜騎士だった……。
だが、今はそれ以上のことを思い出せぬ……」*
――クレイラの街：フライヤたちを前にしても過去を思い出せず苦悩して

口は悪いがしっかり者の王子

パック

Puck

Personal Data
種族 ネズミ族（ブルメシアの民）
性別 男　年齢 14歳
登場場所 アレクサンドリア、クレイラの街

ちょっと生意気だが、すばしこくてかしこいネズミ族の少年。その正体はブルメシアの王子で、閉鎖的な自国に疑問を覚え、フライヤより1ヵ月遅れて諸国放浪の旅に出た。アレクサンドリアでビビと知り合い、彼のはじめての友だちに。その後、フラットレイとともにクレイラを訪れ、ビビや父王と再会する。

➡慣れない雑踏に困惑していたビビを「家来」にし、彼と協力して芝居の観客席にもぐりこむ。

Impressive Words

「俺の家来になれば、今日の芝居を見せてやる！　家来になるか!?」
――アレクサンドリア：街で出会ったビビを「家来」に誘い

*「すまない、フライヤ……。まだ会わせるべきじゃないと思ってたんだけど、
ほら、クレイラがこんなことになってしまったからな……」*
――クレイラの街：フラットレイが記憶をなくしたことをフライヤに説明し

ク族

クイナの偉大なる(?)師匠

クエール

Quale

Personal Data
種族 ク族
性別 ?
登場場所 ク族の沼、クワン洞

クイナと一緒に生活していたク族。現状に満足して成長のきざしを見せない弟子クイナを見かね、修行を積ませようとジタンたちに同行させる。クワンの弟子にあたるが、師匠の言う「食即是空」が理解できず、彼と訣別していた。物語終盤にビビを仲介としてクワンの残留思念と対話し、わだかまりを解く。

←カエルとりの腕をみがくクイナを見守り、彼が成長すると卒業試験と称して戦いを挑む。

Impressive Words

「アイヤ～。ここのカエルだけで満足してるとは、
おまえはまだまだ食の道は遠いアルね」
──ク族の沼：地元のカエルが一番だと言うクイナをさとし

「……あんなヘンクツジジィなんか知らないアルな」
──ク族の沼：ビビに「おじいちゃん」のことを尋ねられて

博識なビビの「おじいちゃん」

クワン

Quan

Personal Data
種族 ク族
性別 ?
登場場所 ビビの回想、クワン洞

→食即是空を唱えて弟子クエールと対立し、彼と住んでいた沼を出たが、死後に和解。

トレノ近郊の洞で暮らしていたク族。偶然ビビを拾い、成長したら食べるつもりで育てていたものの、無邪気に自分を慕うビビに情が移り、さまざまな知識を伝授した。ふたりで暮らすうちに究極の食理論「食即是空」の極意を悟り、絶食の果てに衰弱死したが、彼が授けた日々の教えはビビのなかで生きつづけている。

Impressive Words

「ビビ！　ワタシは食せずして食す究極の食を悟ったアルよ!!」
──ビビの回想：ビビに食即是空の理を得たと伝えて

「おお、ビビ……。大きくなって……いないアルな」
「ビビがワタシを想像する限り、ワタシはビビのそばにいるアル……」
──クワン洞：残留思念となってビビに呼びかけ

ブラネの刺客

貴族暮らしを夢見る女ハンター

ラニ

Lani

Personal Data
種族 人間
性別 女　年齢 19歳
登場場所 アレクサンドリア城、フォッシル・ルーほか

斧を使いこなす賞金かせぎの女性。グラマーな美人で一見上品そうだが、ちょっとしたことでキレてボロを出す。ブラネの刺客としてサラマンダーとともにジタンたちを追うも、功をあせってエーコ誘拐という卑怯な策に走り、相棒に愛想をつかされることに。のちに己の行動を反省し、ジタンたちに謝罪する。

←狩猟祭にも参加。「美の狩人」などとみずから名乗るあたりに自意識の高さがうかがえる。

Impressive Words

「私を誰だと思っているの？　私に狙われて逃げられた人はいないのよ。覚えておきな、この美の狩人ラニの名を!」
──アレクサンドリア城：兵士に注意されて

「……どういうつもりよ？　焔〈ほむら〉のダンナ!」
「くっ……覚えてなさい!　いつかあんたを狩ってやるわ!!」
──マダイン・サリ：サラマンダーにコンビを解消されて去りぎわに

黒魔道士

黒魔道士

Black Mage

Personal Data
種族 黒魔道士
登場場所 ダリの村、黒魔道士の村ほか

タイプA（1～99番）
タイプB（100番台）
タイプC（200番台）

"霧"から造られた軍事兵器

アレクサンドリア軍が抱える人造人間(ゴーレム)。クジャから製法を教わった女王ブラネが、ゾーン＆ソーンを監督とし、ダリの村で造らせている。製造時期によってA、B、Cの3タイプにわけられ、後半にできたものほど兵士としての完成度は高い。

本来は魂のない人形だが、しだいに自我に目覚める者が出現。彼らは人殺しの道具として使われることを嫌って外側の大陸に逃れ、自分たちだけの村を作り、ドワーフと物々交換をして暮らしている。

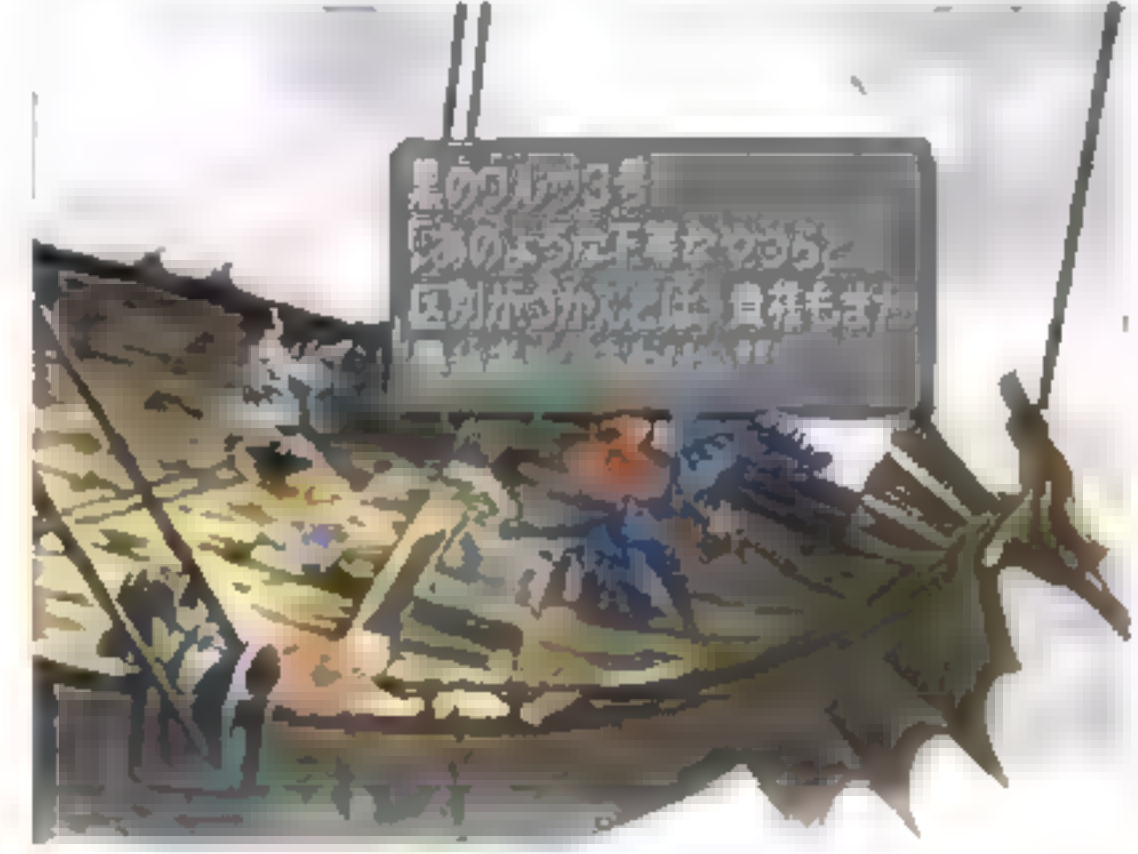
←アレクサンドリア軍の手先としてファイアやブリザドの魔法を駆使し、ブルメシアやクレイラ、リンドブルムをつぎつぎと陥落させていく。

→自分たちがいつか「止まる」と知った黒魔道士の村の住人の一部は、その運命から救ってやるとのクジャの言葉につられ、悪行に荷担してしまう。

黒のワルツ

特別に強化された黒魔道士

Personal Data
種族 黒魔道士

ガーネットをブラネのもとへ連れもどす使命を帯びた強化黒魔道士。ワルツ＝3拍子ということで計3体存在する。背に黒い翼を持ち、使える魔法も強力。

←意思があり、通常タイプの黒魔道士たちを「何も考えられない下等な作りもの」と見くだしている。

黒のワルツ1号

登場場所 氷の洞窟

猛吹雪を起こしてガーネットたちの気を失わせ、そのスキに彼女を連れ去ろうとしてジタンと対決。手にした鈴で氷の巨人シリオンを召喚する。

黒のワルツ2号

登場場所 ダリの村

1号よりはるかに上の能力を持つと自負する黒のワルツ。ガーネットを眠らせて連れ帰ろうとするが、彼女やジタン、スタイナーの抵抗に遭い敗北。

黒のワルツ3号

登場場所 カーゴシップ、鉄馬車

カーゴシップを追跡してきた黒のワルツ。甲板でジタンたちに敗れた結果、戦闘本能のみが残り、壊れかけた身体を抱えてガーネットを追う。

Impressive Words

黒のワルツ1号「そのまま眠っていれば苦しまずに済んだものを……」
──氷の洞窟：目覚めたジタンの前に姿を現し

黒のワルツ2号「我が名は黒のワルツ2号!
全ての能力が1号の上をゆく。抵抗など、考えるだけムダだ!」
──ダリの村：ジタンたちと対峙し

黒のワルツ3号「この黒のワルツに逆らうつもりか!
おのれ!　黒魔道士兵ふぜいがっ!!」
──カーゴシップ：ビビを守ろうとする黒魔道士たちを見て

黒のワルツ3号「我の存在理由ハ勝ち続けルことのみ!!」
──カーゴシップ：ジタンたちに敗れて異常をきたし

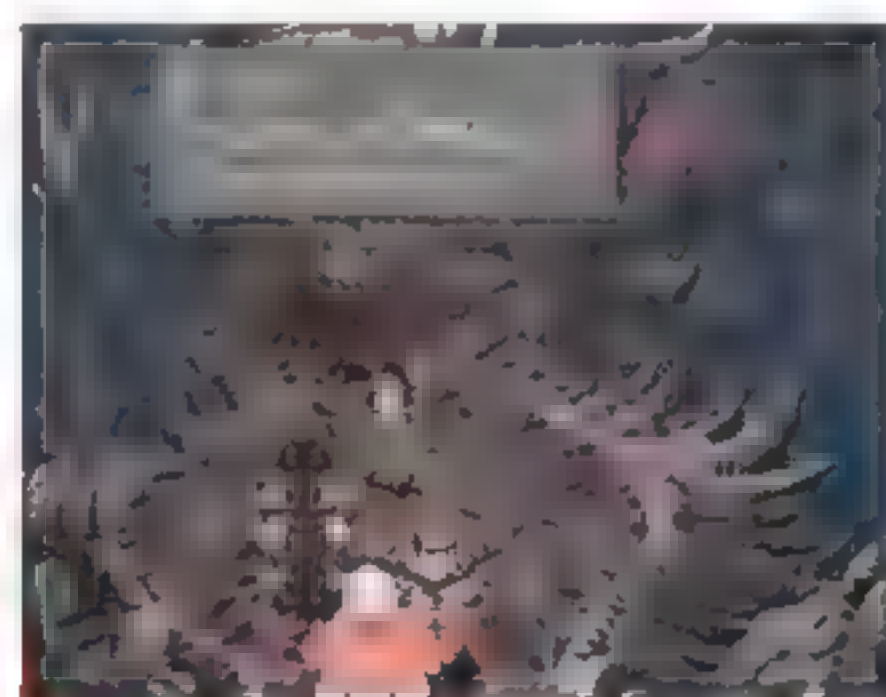
ガーランド
Garland

Personal Data
種族 ジェノム
性別 男
登場場所 インビンシブル、パンデモニウムほか

悠久の時を刻む「テラの管理者」

テラの民が復活する日に備え、彼らの魂を管理する存在。テラの民の魂を受け入れる器である人造人間「ジェノム」のひとりであり、5000年以上も昔から生きつづけ、ジタンやクジャ、ミコトを含め今日生きるジェノムたちを創造してきた。感情を持たず、物事の要不要を冷徹かつ柔軟に見極める。

強すぎる意志を持つクジャを危険視しつつも利用してきたが、物語の中盤、彼が自分へ露骨に逆らいはじめたのを見かねてガイアに介入。クジャが集めた召喚獣の力を回収し、彼がになってきた「ガイアを乱す」という役割を、本来その任務を帯びるべきジタンに与えようとする。クジャの暴走により命を落とすも、その後も精神体として存続。クリスタルに生命の記憶が受け継がれる事実を最終決戦に向かうジタンたちに教え、彼らに希望を託して消滅した。

➡意に反する動きが目立ちはじめたクジャを切り捨てようとして、結果的に返り討ちに遭う。

⬅命を循環させつづけたいとの願いが、彼に道具としての運命を受け入れさせていた。

Impressive Words

「少々度が過ぎたようだな、クジャよ……」
──インビンシブル：クジャがアレクサンダーを手に入れるのを阻止して

*「つけられた名を己が証とするか……
どうやら貴様も青い月の光に惑わされたようだ」*
──テラ：ジタンにお前は何者かと問いかけ

「生も死も越えたこの世界で時を刻むこと、それが私の意味であり望みだ……。絶対的な存在である『管理者』としてな!」
──パンデモニウム：ジタンたちと対峙し

「たとえそれが、たったひとつの目的を果たすためだけに創られた命であったとしても、私は、この世に生を受けたことに感謝している……」
──記憶の場所：消滅するまぎわにつぶやき

感情を知らぬジタンの"妹"

ミコト
Mikoto

Personal Data
種族 ジェノム
性別 女　年齢 15歳（見た目）
登場場所 ブラン・バル、黒魔道士の村ほか

➡ジタンや、ジェノムと対の存在である黒魔道士たちの生きる姿が、彼女を少しずつ変える。

ジタンの代役として「ガイアを乱す」ため、ガーランドに造られたジェノムの少女。ジタン同様、意思と感情を持って子どもの状態で誕生した、ジタンの妹とも言うべき存在である。テラの道具としての運命を当然と見なし、自分と同じ立場にジタンを置こうとするが、逆に彼とその仲間に感化されていく。

Impressive Words

「おかえりなさい……」「ここが、あなたのあるべきところ……」
──ブラン・バル：ジタンを迎え入れて

「バ、バカなことを!!」
──黒魔道士の村：ジタンに妹あつかいされて動揺し

「たとえ、つくられた目的が過ちだったとしても、それを克服した生命が生まれたってこと……私たちはその記憶を絶やしたくないと思った。そう思うのは不自然なこと?」「私たちがこの世に生を受けたことは、決して間違いじゃなかった……」
──エンディング：クジャがジェノムに与えた希望をかみしめ

ガーランドが造った「テラの人形」

ジェノムたち

Personal Data
種族 ジェノム
登場場所 ブラン・バルほか

テラの民の魂の容器として用意された者たち。テラ因子から造られており、ガイア因子である"霧"から造られた黒魔道士と対をなす存在である。ブラン・バルでテラの民の復活を待ちながら時を過ごしていたが、クジャの暴走でテラが破壊されると、ジタンたちの手引きで避難。ガイアに築かれた黒魔道士の村で暮らすことになる。

⬅別の魂を受け入れるために造られたがゆえに、成長という概念がなく、感情を持たない。

Impressive Words

*「この青い光が赤い光となる時が、我々の肉体に魂が移る時……」
「時が来たら我々には魂が注がれる……。その時に我々の肉体は成長を始める……」*
──ブラン・バル：ジタンに話しかけられて無機的に語り

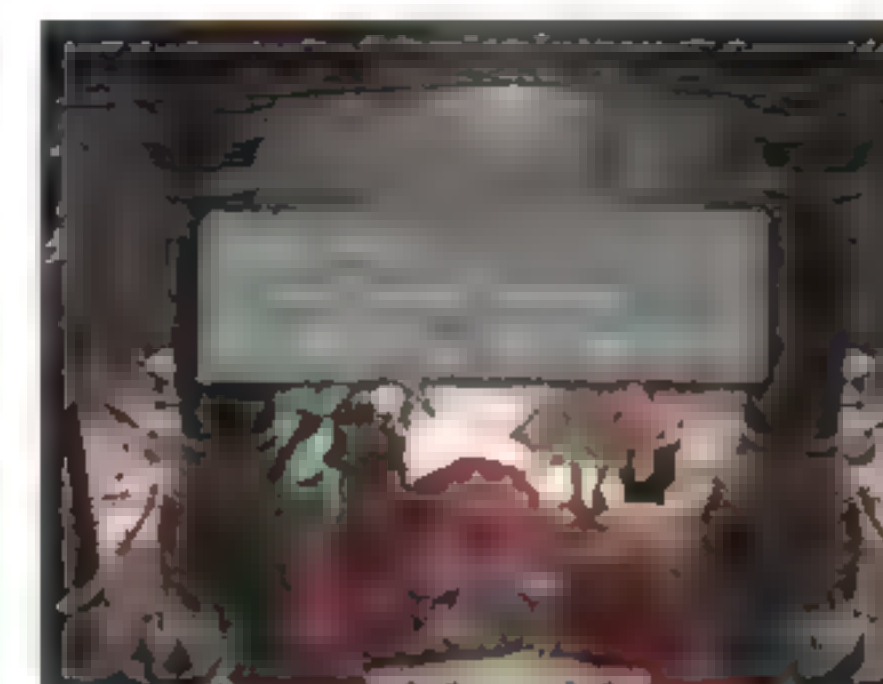
「……いったいどれぐらいに設定されているのだ?　おまえたちの知能レベルは……」
──黒魔道士の村：黒魔道士たちの無邪気な会話にあきれて

リッチ
マリリス
クラーケン
ティアマット

テラの民がつかわした祠の守護者

カオスたち
Chaos

Personal Data
登場場所 4ヵ所の祠ほか

テラへの転移ゲートを封印する祠のガーディアン。水のクラーケン、火のマリリス、風のティアマット、土のリッチの4体で、各属性をつかさどる4つの祠をそれぞれ守ってきた。テラを目指すジタンたちに倒されるが、記憶の場所にて、強化された状態で再登場する。

⬆記憶の場所に現れるカオスはクジャが造り出したもの。祠でのカオスは、単に「ガーディアン」と呼ばれる。

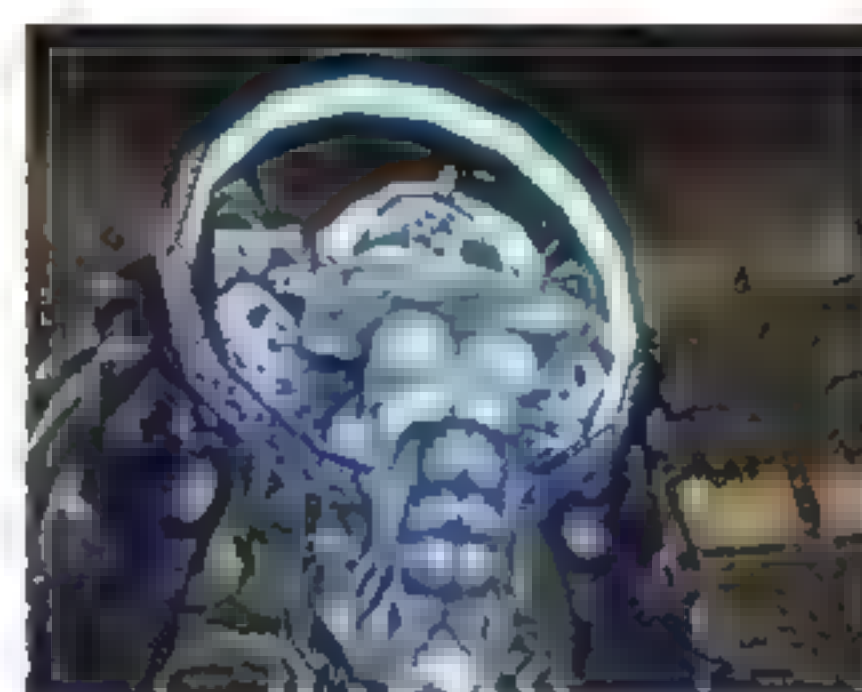
Impressive Words

リッチ「貴様等のような下等な生命が、テラへ向かっていったい何とする?」
──地脈の祠：ジタンとクイナのペアと対峙し

マリリス「強化された我らガーディアン、『カオス』の力、存分に思い知れ!」
──記憶の場所：ジタンたちと対峙し

死への恐怖が生んだ化け物

永遠の闇
Eternal Darkness

Personal Data
登場場所 絶望の丘

⬆クジャと死闘をくり広げたのち「絶望の丘」という異次元の世界へ飛ばされたジタンたちの前に現れる。

野望達成を目前に余命わずかと悟ったクジャの、恐怖や絶望、憎悪が呼び覚ました存在。クリスタルを介する生命の輪廻を否定し、テラやガイアを含む世界すべてを無に還そうとする。ジタンたちの前に立ちはだかる最後の敵。

Impressive Words

「何も無ければ、恐怖する必要すら無くなる……それはおまえたちが真に望む世界……」
──絶望の丘：無に還るようジタンたちに呼びかけ

「私はいつでも復活する。この世に生あるものと、そして死が存在する限り……」
──エンディング：ジタンたちとの戦いに敗れ、その意志の強さを認めつつ言い残し

モーグリ&チョコボ

エーコの親友の風変わりなモーグリ

モグ

Mog

Personal Data
種族 モーグリ?(召喚獣)
性別 女　年齢 6歳
登場場所 コンデヤ・パタ山道ほか

エーコと同じ日・同じ年に生まれた小柄なモーグリ。じつはマディーンという召喚獣で、エーコと一緒にいたくてモーグリのフリをしてきた。グルグ火山でエーコが危機にさらされたときに身を投げ出して彼女を守るが、代償としてそれまでの姿を維持できなくなり、以降は召喚獣として彼女に力を貸す。

←召喚獣なのでサイズを自在に変更でき、頭のボンボンや毛並みもほかのモーグリと異なる。

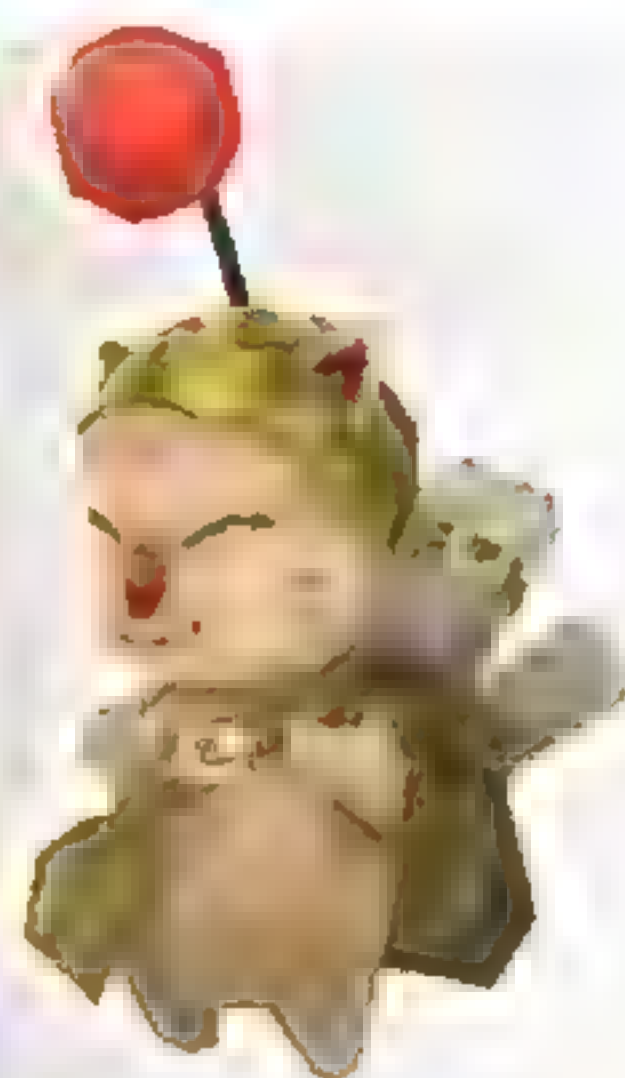
Impressive Words

「エーコのそばにいたかったから、モグの姿になってたの。でも心配しないで。いつでもエーコを守ってるクポ……」
——グルグ火山：召喚獣としての力を解放し

モーグリ界のヒーロー

スティルツキン

Stilzkin

Personal Data
種族 モーグリ
性別 男
登場場所 各地

→旅先で仕入れたものを売ることで旅費の足しにしており、ジタンたちを相手にも商売する。

黄色っぽい旅装束を身にまとった、さすらいのモーグリ。多くのモーグリとちがって語尾に「クポ」をつけずに話すことができ、知識豊富で頼りになる存在として、モーグリたちの尊敬とあこがれを集めている。アレクサンドリアで羽を休めていたが、ジタンたちとほぼ同時期に旅を再開。一行の行く先々に姿を見せる。

Impressive Words

「ありがとよ、これでまたしばらく旅を続けられそうだ」
——各地：ジタンたちに商品を買ってもらい

「また旅にでも出かけようかな?」
——モグネット本部：モグネット復旧後、ふたたび旅立ちを決意して

気弱なモグネット管理者

アルテミシオン

Artemicion

Personal Data
種族 モーグリ
性別 男
登場場所 アレクサンドリア城下町、モグネット本部

不健康そうな外見になよなよした性格をしたモーグリ。モーグリたちのお手紙配達機関「モグネット」の管理人兼配達員だが、手紙を分別する機械の調整に必要なすべすべオイルを肌の手入れに使って、機関を立ちゆかなくしてしまった。人に言うのが怖くて黙っていたところをジタンたちに助けてもらう。

←手紙を届けられなくなった責任を感じつつ、誰かが何とかしてくれるのを待っていた。

Impressive Words

「モグネット配達員のアルテミシオンです。どうして、ちゃんと手紙を配達しないのかって?　そ、それはちょっと言えないクポ……」
——アレクサンドリア：手紙をきちんと届けられない理由を口ごもり

「自分のおハダがすべすべになって嬉しくて、でもみんなの楽しみを奪っちゃって……、反省!」
——モグネット本部：モグネット復旧後、自分の行動を反省

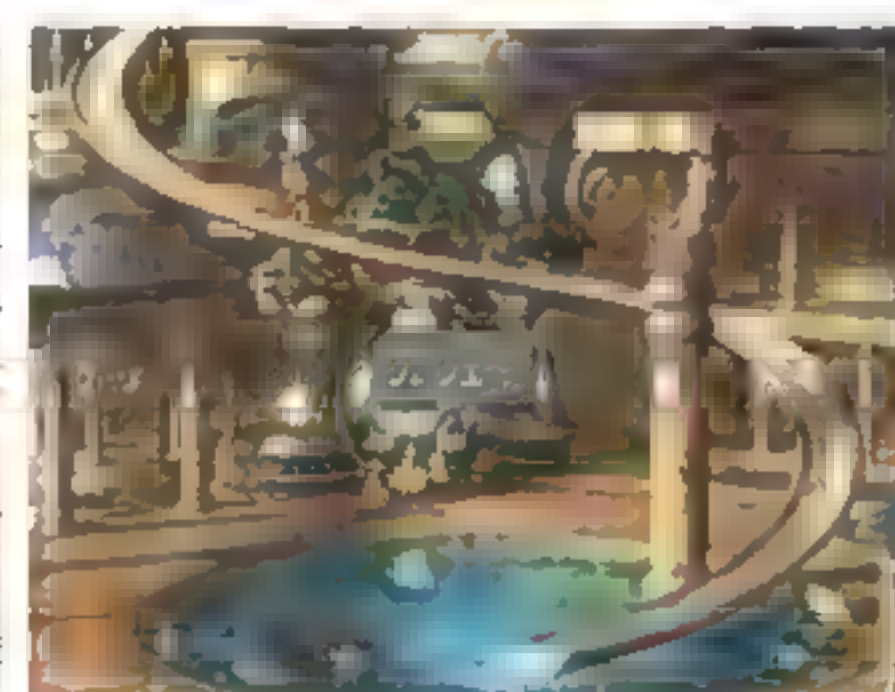
幻の楽園を目指すチョコボ

チョコ

Choco

Personal Data
種族 チョコボ
性別 ?
登場場所 チョコボの森、チョコボの入り江ほか

仲間とはぐれたチョコボ。一緒に暮らしていたモーグリのメネの紹介でジタンと冒険をはじめ、夢に現れるデブチョコボの言葉を手がかりに、幻の楽園「チョコボの桃源郷」を探す。途中で4つの形態に進化し、最終的には空が飛べるように。

→たどり着いたチョコボの桃源郷は、ジタンやメネとは暮らせない場所。悩んだチョコは……。

チョコの進化形態

浅瀬チョコボ　山チョコボ　海チョコボ　空チョコボ

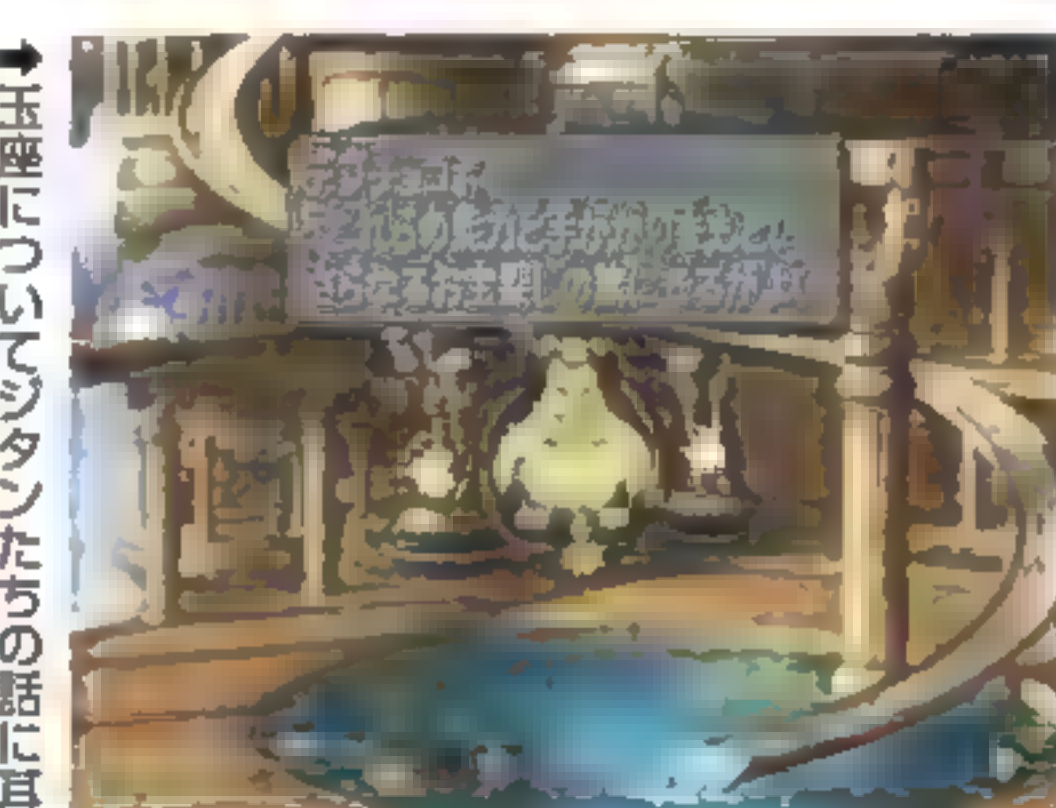
威厳あふれるチョコボの王様

デブチョコボ

Fat Chocobo

Personal Data
種族 チョコボ
性別 ?
登場場所 チョコボの桃源郷

チョコボの桃源郷を治める、チョコボたちの王様。チョコが桃源郷に帰ってくる日を待ち望み、チョコの夢のなかに姿を見せて、彼を自分のもとへ導く。並はずれて大きな体格をしており、海のように広く寛容な心を持つ。

→玉座についてジタンたちの話に耳を傾けるデブチョコボ。カードゲーム「クアッドミスト」もたしなむ。

Impressive Words

「望郷者チョコよ、よくぞ来た……。我こそはデブチョコボ!　この桃源郷のあるじである!!」
——チョコボの桃源郷：チョコを歓迎し

「この桃源郷を拒む者がいようとはな……。まぁ、そういう生き方も良いのかもしれん」
——チョコボの桃源郷：チョコの決断を知り

商魂たくましいチョコの親友

メネ

Mene

Personal Data
種族 モーグリ
性別 男
登場場所 チョコボの森、チョコボの入り江ほか

ジタンとチョコを引き合わせたモーグリ。チョコの大の親友で、一緒にチョコボの桃源郷へ行くことを夢見ている。ちゃっかり者で抜け目がなく、ジタンに『ここほれ！チョコボ』で宝を発掘させてひともうけを狙う。

Impressive Words

「ん～～～可愛くない女の子なら見た」
——チョコボの森：ガーネットを見たかと聞かれ

「かんむりょうクポ……」
——チョコボの桃源郷：あこがれの地に足を踏み入れ

黒魔道士の村の人気者

ボビィ=コーウェン

Personal Data
種族 チョコボ
性別 ?
登場場所 黒魔道士の村

黒魔道士の村で生まれたチョコボの赤ちゃん。当初はタマゴの状態で、クイナに食べられそうになる場面もあったが、黒魔道士たちに守られて物語終盤にふ化する。ちなみに、名前の頭文字をとると「ボコ」になる。

そのほかのおもなサブキャラクター

ブルート隊

ブルツェン(プルート隊No.2)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「ワイマールのやつなんですけどね、やっぱりあいつは城下町のパブのペイリーちゃんと……」
コッヘルと並び「当代きっての情報収集コンビ」とされるモヒカン青年。ガーネット誘拐時はジタンに鎧を奪われた。

コッヘル(プルート隊No.3)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「へえ、そうなんだ……。ブルツェン君はいつも情報が早いねえ」
ブルツェンともども情報通として知られる、茶髪で太り気味の青年。ガーネット誘拐時はブランクに鎧を奪われた。

ラウダ(プルート隊No.4)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「僕は、こんな兵隊の格好をしているより本当は、文章を書いて日々の糧を得たいんです……」
プルート隊員だが、兵員として無理やりかき集められたらしく、ひそかに脱退を考えている。文章を書くのが得意。

トジェボン(プルート隊No.5)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「働いてますよ、はいはい、働いていますよ」
三国一の大砲の名手とうたわれる男。足が非常に速く、いつも城内を走りまわっている。

バイロイト(プルート隊No.6)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「お! もしかして、スタイナー隊長も健康のために登られてるのですかな?」
隊の結成当時からいる老人で、隊員たちのことをよく知っている。健康のために塔の階段をのぼるのが日課。

ワイマール(プルート隊No.7)
登場場所 アレクサンドリア城、アレクサンドリア
Words 「ねえ、今度、トレノへでも遊びにいこうよ」
城下町の女の子のことはすべて知っているというナンパな男。もっとも、顔は良いが性格はイマイチとの声が……。

ハーゲン(プルート隊No.8)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「姫様は、このハーゲンにおまかせあれっ!! 熱血～～～っ!!」
プルート隊員では珍しく、非常にやる気に満ちた青年で、「熱血～～～！」がログセ。城下町の地理に明るい。

メルゲントハイム(プルート隊No.9)
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「ぐぅ～っ、おなか減ったっすぅ～～～っ」
昨年の砲弾運びレースの優勝者。体格が良く、いつも腹を空かせている。語尾に「～っすぅ」をつけるのがクセ。

アレクサンドリアの人々

もりつけ名人
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「ガーネット様の好物は桃色プディングなのねぇ～っ」
「～ねぇ」がログセの、全部で4人いる宮廷料理人のひとり。もりつけの名人で、ガーネットの好物を知っている。

かまど名人
登場場所 アレクサンドリア城、アレクサンドリア
Words 「ブラネ様の好物は、しましまコウモリのカラアゲなのねぇ～っ」
ブラネの好物を知る、火加減調節の名人。城下町の復興作業時は、フライパンでクギを打ってダグにたしなめられる。

たまねぎ名人
登場場所 アレクサンドリア城、アレクサンドリア
Words 「ブラネ様の部屋は3階なのねぇ～っ」
宮廷料理人のひとりで、たまねぎ料理の名人。ブラネ女王の部屋の位置を知っている。

たまご名人
登場場所 アレクサンドリア城
Words 「とてぇ～も薄ぅ～く、きれい～に焼いてぇ～っ」
アレクサンドリア城の宮廷料理人のひとり。たまごを薄くきれいに焼くのが得意。

4本腕の男 (裏通りのジャック／ギルガメッシュ)
登場場所 アレクサンドリア、トレノ、ダゲレオ
Words 「本当の名前を知りたい? ふふふふっ、強くなったら教えてあげるよ」
カードにくわしい自称トレジャーハンター。各地に出没し、さまざまな名で呼ばれるが、本当の名前はギルガメッシュ。

イリア
登場場所 アレクサンドリア
Words 「もうチケットを落とさないようにねっ!」
転んだビビを助け起こしてチケットを拾ってくれる、快活な少女。同じ街に祖父母がいるが、彼らとは別の家に住む。

カバオ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「ぐふふ、僕の大切な3枚のカード、誰にも見つからないところに隠したんだ」
カードゲーム好きな宿屋の息子。運動が苦手だったが、ビビとかけっこを重ねるうちに心身ともに成長をとげる。

かばおばさん
登場場所 アレクサンドリア
Words 「うちのひとがあまりにも頼りないから、カバオをしっかりと教育しているんですよ」
カバオの母で、さかなおやじの妻。ふがいない夫のかわりに息子のカバオを鍛えようとしている。

さかなおやじ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「へ、へえ。あいすみませんです……」
宿屋を経営している魚人間。カバオの父で、かばおばさんの夫。気が弱く、客に押し切られることもしばしば。

ニコライ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「彼女が来ない……フラれちゃったのかな?」
何かと間の悪い若者。ミシェルという彼女がいるが、のちにハネムーンが街の襲撃と重なり中止になってしまう。

ミシェル
登場場所 アレクサンドリア
Words 「おっかし～な、ここで待ち合わせって言ってたのに、あの人ったら、いったいいつになったら来るのかしら?」
ニコライの彼女。ニコライとはすれちがいが多く、「彼はタイミングが悪い」とこぼす。

アシュリー
登場場所 アレクサンドリア
Words 「みんながはやく元の生活を取り戻せば、小劇場も活気づくと思うのですが……」
酒場「明けの明星亭」のマスター。物語中盤からは酒場をマギーにゆずり、自身はルビィとともに小劇場を経営する。

マギー
登場場所 アレクサンドリア
Words 「私がこの店の店主になったら、まず最初にこの階段を直そうかしら……」
アシュリーから酒場「明けの明星亭」の経営を引き継いだ女性。新オーナーとして張り切っている。

ミック
登場場所 アレクサンドリア
Words 「さっそく広場のチケットブースに立ち寄ってくるといいよ」
親切な青年。お芝居のチケットの使いかたやカードゲームのやりかたなどを、ビビに教えてくれる。

ダグ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「ばっかやろー、おめーそれでも料理人かよ! 大事な商売道具でクギが打てるかってんだよ!!」
道具屋の店主。ふだんは無口だが、じつはなかなかこだわりのある男。

花売り娘
登場場所 アレクサンドリア
Words 「ブラネ様の時代はいろいろあったけど私にとってはよい時代だったと思うの」
広場で花を売る娘。尊敬するブラネの死をいたみ、バラのリースを城に贈った。プルート隊のワイマールに言い寄られる。

ライアン
登場場所 アレクサンドリア
Words 「僕がプルート隊に入って活躍したら、みんな絶対プルート隊を尊敬しだすと思うなあ」
アレクサンドリアに住む青年。いまどきの若者には珍しく、プルート隊への入団を考えている。

看板屋のダンテ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「がんばって看板を作ったかいがあるってもんだなぁ～～～～っ」
カバのような外見をした看板屋のオヤジ。みずから看板を取りつけた小劇場の評判が良いのでゴキゲン。

ネコ好きトム
登場場所 アレクサンドリア
Words 「僕の飼っていたミャウがどこかへ行っちゃったよう……」
ミャウという名の茶色のネコを飼っている少年。しょっちゅうミャウを見失い、街中を探しまわっている。

トムの母
登場場所 アレクサンドリア
Words 「うちの息子ったら、どこへ行ったのかしら? いつもネコと遊んでばっかりいて……」
ネコ好きトムの母親で、まだ年若い女性。息子はネコを捜しているが、彼女のほうは、そんな息子を捜している。

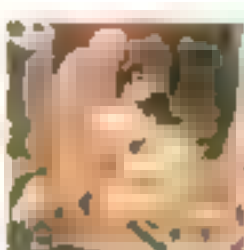
劇場艇プリマビスタの人々

オーケストラ団員
登場場所 劇場艇プリマビスタ
Words 指揮者「景気づけに演奏するぞ!」
指揮者、トランペット奏者、シンバル奏者、ドラム奏者、バイオリン奏者の5人。音楽でタンタラスを盛り上げる。

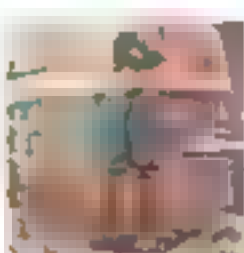
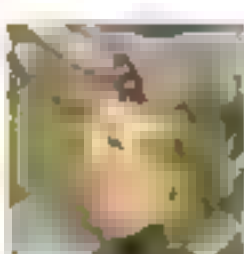
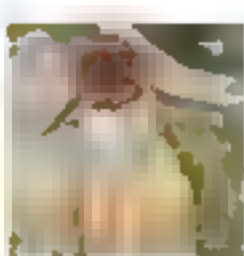
ダリの村&物見山の人々

村長カプー
登場場所 ダリの村、アレクサンドリア
Words 「そこのキミ……気がちるから出ていってくれたまえ!」
金にうるさいが支持者は多い豪腕村長。新女王ガーネットが黒魔道士製造工場の廃止を決定すると直訴に出向く。

宿屋の親父ハル
登場場所 ダリの村
Words 「やってられないよ。何をやっても失敗ばかり。きまって、周りが俺の足をひっぱるんだ」
村長カプーの弟。兄に反対していたせいで工場事業の利益が得られず、くやしい思いを飼いネコの前でぶちまける。

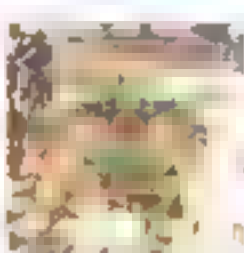
ダリの村&物見山の人々

鼻たれ小僧グド
登場場所 ダリの村
Words 「ぼく、お父さんの代わりなんです。一泊100ギルですけど泊まりますか～?」
宿屋の親父ハルの息子。父がやる気をなくして酒場に入りびたりはじめた物語後半からは、彼が宿屋の受付を担当。

わんぱく小僧ヤチャ
登場場所 ダリの村
Words 「へへへっ、おいら達お金持ちになるんだ! ブラネ女王バンザイ!」
いつも村の通りを走りまわっているワンパク少年。鼻たれ小僧グドの兄貴分。

畑のおばば
登場場所 ダリの村
Words 「今じゃ、畑をつぶしてみんな地下で大忙し。ブラネ女王様のお考えとはいえおかしいと思わないかい?」
村長カプーの母。畑をつぶすなどして工場事業を優先する息子に反対しつづけている。

看板娘エプ（エプ=サポード）
登場場所 ダリの村、物見山
Words 「あっ、お姉ちゃんまた来てくれたんだ!『耳寄り情報』を新しくしたから、見ていってね!」
武器屋の看板娘。工場づとめの母の代理で店頭に出ている。店内のカードゲームに関する張り紙は彼女の趣味。

エイシャ
登場場所 ダリの村
Words 「せっかくですからためたお金で娘と旅行にでも行きたいのですが……」
看板娘エプの母。物語終盤にはバイトのマリー＆ジェフに店をまかせ、念願だった娘と水入らずの旅行に出発。

孝行娘スライ
登場場所 ダリの村
Words 「モリッドさん、カーゴシップが来なくなってから元気がなくって、ちょっと心配なんです」
母は亡く、工場づとめの父のかわりに酒場で働く少女。モリッドと親しく、のちに彼の世話をしてその死を看取る。

スライの父
登場場所 ダリの村
Words 「すまないね、昼は準備中なんだよ」
酒場の本来の店主。当初は地下工場の人員にかり出されていたが、工場が廃止されたのちは酒場の店主に復帰した。

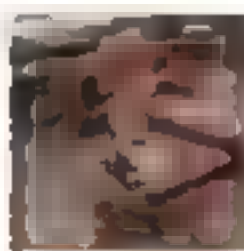
やんちゃ娘マリン
登場場所 ダリの村
Words 「あたしチョコボが大好きなの! だからこうして、耳をすませば……」
村に住む幼い少女。チョコボが大好きで、「チョコボの歌」を無邪気に歌っている。

クリスタ
登場場所 ダリの村
Words 「アレクサンドリア城の惨事から無事に戻ってこられた村長さんって頼りになるわ～」
村長カプーを大変頼りにしている女性。やんちゃ娘マリンと同じく「チョコボの歌」を歌う。

トルード
登場場所 ダリの村
Words 「あ～あ、早く帰りたい! カードゲームしたい!」
工場への入口が隠された風車小屋で働いている若者。三度の飯よりもカードゲームが好き。

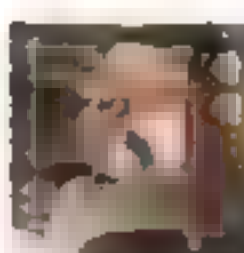
村の男ヤフ
登場場所 ダリの村
Words 「キミかわいいねぇ～。近くに見晴らしのいいところがあるんだけど、良かったら一緒に見にいかない?」
工場につづく地下室入口の見張りを命じられている若者。かなり軽い性格で、ガーネットをナンパする場面も。

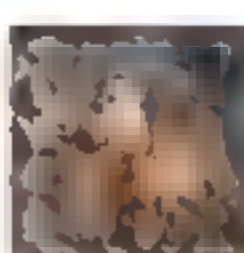
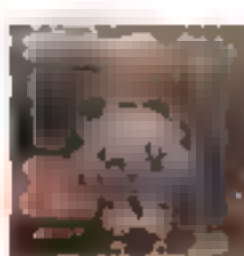
モリッド
登場場所 物見山
Words 「ブルマン、キリマン、モッカ。この3種類の豆のコーシーを飲んでみたいの」
カーゴシップの見張りをしている飛空艇好きの老人。コーヒーに目がなく、伝説の3種のコーヒー豆を味わうのが夢。

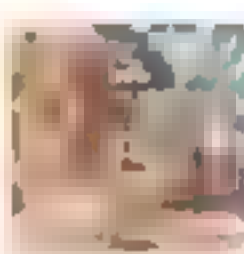
リンドブルム城の人々

ゼボルト機関長
登場場所 リンドブルム城、ダゲレオ
Words 「ダメだったバイ、大公さん!」「あげなもんじゃ、10分も飛ばんですよ!」
「～バイ」を語尾につける、飛空艇開発の中心人物。のちに新動力発明のヒントを探しにダゲレオを訪れる。

船乗りのエリン
登場場所 リンドブルム城、トレノ、ヒルダガルデ3号
Words 「チャンピオン、船乗りのエリン。決勝戦に出場させて頂きまっす!」
セーラー服がよく似合う女性パイロット。カードゲームチャンピオン「エリン・ザ・ブリ虫マスター」として有名。

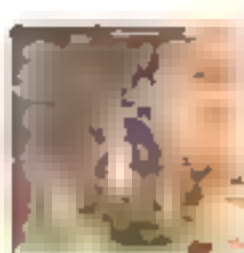
老人ウマエーダ
登場場所 リンドブルム城
Words 「アレはワシが27の時やった……。……。グゥ～……グゥ～……」
長話の好きな老人。話しているうちに名前の字幕が「話の長い老人ウマエーダ」に変わり、眠ってしまう。

リンドブルム・商業区の人々

アリス
登場場所 リンドブルム
Words 「じゃあ、最後のひとつだし……、かわいいあなたにサービスしちゃう♥」
しっかり者で気が利く道具屋の店主。バンスの姉。街が襲撃されたあとは、ドラグースといい雰囲気に?

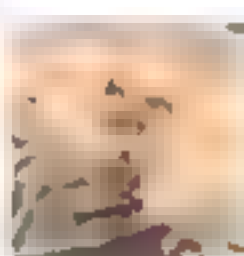
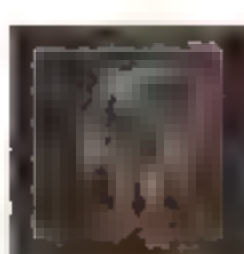
バンス
登場場所 リンドブルム
Words 「帰って来てるなら、ほうこくしなよ。おれたちだってタンタラスなんだぞぉ!」
ジタンの顔なじみの少年。タンタラスにあこがれ、アジトによく顔を出す。ルシェラの友人でアリスの弟。

ルシェラ
登場場所 リンドブルム
Words 「さっすがタンタラス! もうお姫さまにきめぜりふつかったの?」
バンスの友人。タンタラスにあこがれ、バンスと一緒にアジトに顔を見せる。ジタンと仲良し。

ドラグース
登場場所 リンドブルム
Words 「ん? ああ、そうだと思ってさっき注文しておいたぜ」
武器屋の店主。アリスに気があるようで、彼女の店が崩壊したのちはその面倒を見る。かつては工場区にいたらしい。

ハンナ
登場場所 リンドブルム
Words 「今日は品ぞろえが悪いのよね～、南ゲートがこわれちゃったからかしら……?」
カバの姿をした色黒の女性。道具屋の品数がいつもより少ないことをボヤいている。

トーレス
登場場所 リンドブルム
Words 「まったく、覚えが悪いのぉ、武器の出来は火で決まるんじゃぞ」
合成屋の主人。街が襲撃を受けたとき、手を負傷して仕事ができなくなり、息子ウェインに店を一任することに。

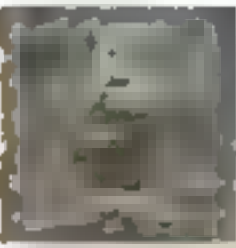
ウェイン
登場場所 リンドブルム
Words 「おやじに一から教えてもらう! そして、おやじのようなりっぱな合成屋になってみせる!」
合成屋の店頭に立つ若者。父トーレスとは仕事の姿勢をめぐり対立していたが、父の負傷をきっかけに成長する。

ピクルスばあさん
登場場所 リンドブルム
Words 「悪いけどね、アンタの知り合い、食い逃げしようとしたんだよ!」
露店でギサールの野菜のピクルスを売るおばあさん。スタイナーやクイナにピクルスを試食させ、売りこみをかける。

青白い顔のサム
登場場所 リンドブルム
Words 「ゲホッ、ゲホホッ……油くさいリンドブルムの空気はデリケートなボクには合わないゲホッ」
リンドブルム名物の狩猟祭見物のためによそからやってきた男。リンドブルムの空気が肌に合わず、せきこんでいる。

ウズ
登場場所 リンドブルム
Words 「みんなには悪いけど、僕には誰もかなわないねッ!」
広場にいる男。以前からトレーニングを積んでいたらしく自信満々で狩猟祭に挑むも、結局は優勝できずに終わる。

ドルフ
登場場所 リンドブルム
Words 「狩猟祭休みはいいよね、家族とゆっくり過ごせるから!」
マーシャの父で、エレナの夫。ふだんは戦闘艇ヴィルトガンスに乗っているが、狩猟祭休暇で一時的に街へもどった。

エレナ
登場場所 リンドブルム
Words 「パパ、もうすぐ帰ってくるわよ」
マーシャの母で、ドルフの妻。休暇をもらった夫と娘マーシャとで、つかの間の家族団らんを楽しむ。

マーシャ
登場場所 リンドブルム
Words 「パパ……、ママぁ……! どこ行っちゃったのぉ? わたしをひとりにしないで……」
ドルフとエレナの娘。家族で楽しいひとときを過ごすも、街が襲撃を受けて両親とはぐれてしまう。

オリビエ（兄）
登場場所 リンドブルム
Words 「おまえ、すぐ泣くからやだよ」
商店通りにいる少年。ジョバンナの兄で、よく彼女を泣かす。ピクルスが好物らしい。

ジョバンナ（妹）
登場場所 リンドブルム
Words 「お兄ちゃんあそんでよっ」
商店通りにいる少女。オリビエの妹で、兄によく泣かされているようだが、すぐにケロっと立ち直る。

カードマニアのゴン
登場場所 リンドブルム
Words 「鳥もいいよね～! バードマニアになろっかなぁ」
カードゲーム好きの青年。部屋に巣を作った小鳥にいらだっていたが、のちに「鳥もいいよね」と態度が軟化。

グッポじいさん
登場場所 リンドブルム
Words 「おぉ～そうじゃった! 今日一日なにをして過ごすか考えようとしておったのじゃった!」
商業区を歩いている老人。年のせいか忘れっぽく、自分が何をしようとしていたかも忘れてしまう。

リンドブルム・商業区の人々

リョウ
登場場所 リンドブルム
Words 「すっげぇ……あんなの振り回してみてえなあ」
ヒサリンと一緒に武器屋にいる若者。陳列されているような武器を使いこなすことにあこがれている。

ヒサリン
登場場所 リンドブルム
Words 「ねえ、リョウ、まだなの？　こんなお店、つまんないよぉ……」
リョウと一緒に武器屋にいる女性。自分は道具屋のほうに行きたいが、リョウが陳列品に夢中で移動できず不満顔。

プリシラ
登場場所 リンドブルム
Words 「ねえ、あなた聞いた？ アレクサンドリアで劇場艇が大爆発を起こして街に落ちたって!」
広場にいる若い娘。ブラネ女王が即位して以来、アレクサンドリアは物騒な話ばかりだとウワサする。

ポプリばあさん
登場場所 リンドブルム
Words 「狩猟祭料理に便利なざるつぼはいらんかえ～」
広場で「ざるつぼ」を売っている老婆。つぼ屋は儲からないが、好きなことをしているからいいのだ、と語る。

マーガレットばあさん
登場場所 リンドブルム
Words 「今じゃエアキャブがあるが、昔はチョコボで移動したんだよ」
エアキャブ完成以前の様子を知っているおばあさん。街が襲撃されたとき、黒魔道士の攻撃で目が傷ついてしまう。

ロックじいさん
登場場所 リンドブルム
Words 「チョコボーイハットをかぶってな、女の子にキャーキャー言われとった!」
エアキャブがなかった時代の話や、近くに野生のチョコボがいるということを教えてくれる老人。

司祭テウドール
登場場所 リンドブルム
Words 「狩猟祭に参加するのならばここで心を清めてから行くのだ」
商業区に建つ教会の司祭。狩猟祭に参加する者に必要な気構えとは何かを説く。

ヤップ
登場場所 リンドブルム
Words 「起きてよ～、おばあちゃん!」
教会にいる子ども。司祭の話を聞きながら眠りこけてしまった祖母を起こそうとしている。

チェレン
登場場所 リンドブルム
Words 「この地方の人々は元々、狩猟民族だったんだ。狩猟祭はそのころに始まったしきたりなのさ」
教会にいる若者。リンドブルム地方の人々はもともと狩猟民族であることなどを教えてくれる。

ロッチ
登場場所 リンドブルム
Words 「この教会もシド1世が建てたのさ、狩猟の伝統を伝えていくためにね」
教会にいる男性。シド1世はかつて狩猟祭で優勝した人物だ、と話す。

ティファニー
登場場所 リンドブルム
Words 「わたし狩猟祭なんて大きらい!　だって、わたしのお父さんったら毎年おおケガして帰ってくるんだもん!」
教会通りにいる女性。以前から狩猟祭がイヤだったのに加え、今年はファングに襲われるという災難に……。

じじい
登場場所 リンドブルム
Words 「ゆっけ～い!　ザグナルちゃん!!」
狩猟祭を盛り上げようと、ひときわ凶悪なモンスター「ザグナルちゃん」を会場に放つ、人さわがせな老人。

イワン
NO IMAGE
登場場所 (リンドブルム)
Words ——
商業区で「イワンの魚屋」を営む漁師。狩猟祭の参加者としてはおなじみの人物で、優勝候補にあげられている。

ベルナ
登場場所 リンドブルム
Words 「常に最高の食材を使うのがボクのモットーでしゅよ!」
リンドブルム城の料理長。「～でしゅ」と幼児言葉で話すため威厳に欠けるが、昨年の狩猟祭で優勝した実力者。

フィリッポ
登場場所 リンドブルム
Words 「行け～っ、プルートた～いっ!」
商業区でポンチョと人形遊びをする、カバの少年。ミニブラネやプルート隊といった王族フィギュアが自慢。

ポンチョ
登場場所 リンドブルム
Words 「へっへ～!　そんなヘンテコな奴ら、シドの飛空艇団でやっつけてやるよっ!」
商業区でフィリッポと人形遊びをする少年。シドの飛空艇団のフィギュアを持っている。

マロン
登場場所 リンドブルム
Words 「突然空から飛空艇が降ってきて危うくつぶされるところだったわよ」
街がアレクサンドリア軍の襲撃を受けた時期に登場する女性。飛空艇が降ってきたときの様子を説明してくれる。

ジャスティン
登場場所 リンドブルム
Words 「オレはやめないぜ……信じる道を突き進むだけさ!」
アレクサンドリアに抵抗するグループ「ヴィジランツ」のリーダー。アレクサンドリア兵ニコルの知り合い。

ニコル
登場場所 リンドブルム
Words 「もし、そのリーダーがジャスティンと名乗る者なら……私の代わりに、伝えてください」
アレクサンドリア兵のひとり。ジャスティンの反アレクサンドリア活動をやめさせたいと考えている。

技師のガビン
登場場所 リンドブルム
Words 「おやっさんが作るスープが、食べられなくなるなんてよぉ……」
工場区壊滅後に登場する技師。工場区の酒場でラグーのスープが食べられなくなったことを残念がる。

油屋のセス
登場場所 リンドブルム
Words 「ったく、まいっちまうな。店も商品もぜんぶパァだよ」
アレクサンドリア軍の襲撃で崩壊した街に登場。店も商品も台無しになった、と怒っている。

リンドブルム・工場区の人々

ラグー
登場場所 リンドブルム
Words 「おっ、ジタンか!　最近顔を見せなかったが元気そうだな!」
居酒屋「死の宣告」の店主でジタンの古なじみ。沈黙のスープ、暗闇のなべといった恐ろしげな名のメニューが自慢。

リリアン
登場場所 リンドブルム
Words 「あら、なにかご注文かしら？」
居酒屋「死の宣告」のウェイトレス。ジタンが思わずナンパするほど美人で、シドが浮気した相手もおそらく彼女。

ウィジット
登場場所 リンドブルム
Words 「"霧"機関を開発したシド8世は猫を飼ってたんだ」
バクのような姿をした工場区の男。技師たちはみな、シド8世にならってネコを飼っているのだと教えてくれる。

ガス
登場場所 リンドブルム
Words 「さっすが違いますなぁ～。鉄材を使っている家なんて他の街じゃ絶対に見られませんぜ!」
近隣の村からやってきた男。工場区の建物の構造や狩猟祭の様子にしきりに感心している。

クージョー
登場場所 リンドブルム
Words 「カァ～ッ、うっめ～!」
居酒屋「死の宣告」で一杯引っかけている男。大変おいしそうに酒を飲む。

ロスコ
登場場所 リンドブルム
Words 「仕事の後にひっかけるこの一杯は格別だよに～!」
居酒屋「死の宣告」で一杯引っかけている、バクのような外見をした技師。仕事のあとで酒を飲むのが喜び。

シグじいさん
登場場所 リンドブルム
Words 「わしとピクルスどっちを取るんじゃ……ばあさんはピクルスとこたえるじゃろなぁ……」
ピクルスばあさんの夫。妻がピクルス売りに夢中で自分の相手をしてくれない、と居酒屋でグチっている。

ビリー
登場場所 リンドブルム
Words 「おえ～っ!!　なんだ？　あのなべ、一体なにが入ってたんだ～!?」
居酒屋の前で気持ち悪そうにしている若者。居酒屋で出された「暗闇のなべ」が口に合わなかったらしい。

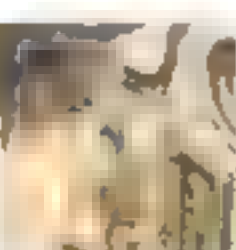
ニミッツ
登場場所 リンドブルム
Words 「エアキャブは俺たちの魂がこもった力作だからな」
工場区の技師。エアキャブは自分たち技師の力作だから乗るときはクツぐらい脱げ、と注文をつける。

ハンク
登場場所 リンドブルム
Words 「この石像はシド8世が亡くなった時いまの大公さまが作らせたものなんだ」
シド8世の像の前にたたずむ男。シド8世の像が作られたいきさつを教えてくれる。

マロロ
登場場所 リンドブルム
Words 「飛空艇の機関部は前にあっちゃ、安定はするけど、パワーが出ねえんだ!」
工場区で働く技師のひとり。飛空艇の機関部はうしろに置いたほうがパワーが出る、と力説している。

リンドブルム・工場区の人々

ヤコフ
登場場所 リンドブルム
Words 「どうしてこう技師ってのには変わり者が多いんでしょうなぁ?」
工場区を歩いている男性。リンドブルムの技師たちに変わった人が多いことを、なげくように口にする。

ルドルフ
登場場所 リンドブルム
Words 「聞いておどろくなよ～! ジョーキ機関のプロトタイプさ!」
一軒家に住む技師。蒸気機関の試作品を室内に置いているが、そのせいで室内が蒸し暑くなり、参り気味。

ルプタ
登場場所 リンドブルム
Words 「ねえねえ、聞いて! ぼくね、大っきくなったらりっぱなギシさんになるんだ」
工場区にいる少年。大きくなったら立派な飛空艇技師になり、大きな飛空艇を作るのが夢らしい。

バラキ
登場場所 リンドブルム
Words 「狩猟祭はモンスターが街ん中あばれまわるだろう? だから狩猟祭の後はいつも街の修理で大忙しさ!」
狩猟祭終了後、ウィジットと入れかわるように現れる男。狩猟祭のあとの街の修理に追われている。

リンドブルム・劇場街の人々

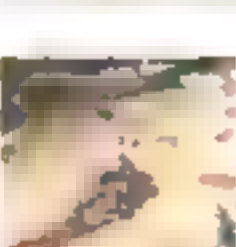
カードの達人
登場場所 リンドブルム
Words 「強くなるにはとにかく場数だ。勝負事はもまれて強くなるもんだ」
駅前通りに立っている、カードゲームの達人。カード好きの少年に頼まれ、彼を弟子にする。

ロウェル
(ロウェル=ブリッジス)
登場場所 リンドブルム、アレクサンドリア
Words 「恵まれないアレクサンドリアの人たちに、ボクのホットな愛をわけてあげるとするよ～」
劇場街のアイドルスター。自他ともに認める美男子だが演技はイマイチ。のちにアレクサンドリアの小劇場へ向かう。

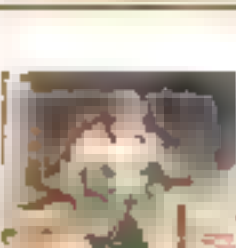
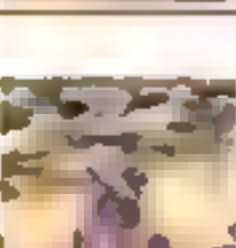
ファンクラブ会長
登場場所 リンドブルム
Words 「私達は舞台じゃなくて、ロウェル様を観に来たんだし!」
ロウェルファンクラブの会長。紺色の髪、紫色の服が目印で、ファンクラブ会員たちの先頭に立っている。

会員番号3,12,36,44,56番
登場場所 リンドブルム
Words 会員番号36番「さっすが、ロウェル様! 男性にも人気があるなんて、やっぱり彼ってもおサイッコ～!!」
ロウェルのファンたち。ロウェルがモーグリの着ぐるみを着て出ていったのに気づかず、彼の出待ちをしている。

会員番号28番
登場場所 リンドブルム
Words 「うぅ、マリサったら、なにやってんのかしら～!?」
ロウェルファンのひとり。ファンクラブ会員のマリサと待ち合わせしていたが、待ちきれずに先へ行ってしまう。

会員番号29番
(マリサ)
登場場所 リンドブルム
Words 「あれれ、確かここで待ち合わせって言ってたのに……」
ロウェルファンクラブの一員で、ちょっと太めの少女。待ち合わせ相手の会員番号28番に置いていかれてしまった。

ミケル
(芸術家志望の／芸術修行中の／自称芸術家の)
登場場所 リンドブルム
Words 「ぼくの芸術と君の演技を一緒にしないでほしいな!!」
絵描きの青年。友人ロウェルにアトリエを避難場所にされている。物語が進むにつれ、肩書きと絵のテーマが変わる。

ティム
登場場所 リンドブルム
Words 「ここならカードの相手を探すのにはこまらないぜっ!」
駅前通りにいる男。劇場街ではカードゲームが大流行している、と教えてくれる。

トーマス
登場場所 リンドブルム
Words 「困ったものだよ、ワシというものがありながら……」
劇場街で、妻であるリタと一緒にいる男性。リタがロウェルのファンなのでヤキモチを焼いている。

リタ
登場場所 リンドブルム
Words 「心配してるみたい、愛してるのはこの人なのに」
劇場街にいる夫婦のうち妻のほう。ロウェルファンだが、愛しているのは夫のトーマスだけだとか。

ポッポじいさん
登場場所 リンドブルム
Words 「わしゃここに来るハトにエサをやるのが好っきでのぉ」
駅前通りのベンチによく腰かけている老人。ハトが好きで、しょっちゅうエサをやっている。

マリアンヌ
登場場所 リンドブルム
Words 「エアキャブは便利で良いのだけれど、もっと上品なデザインにできないのかしら?」
エアキャブ駅にいる、貴族風の女性。エアキャブのデザインが無骨なことが不満な様子。

リンドブルム・劇場街の人々

アリシア
登場場所 リンドブルム
Words 「お願いです! 私の夫がいるんです、エアキャブを工場区へ飛ばしてください!」
街が襲撃されたときに登場する女性。夫の仕事場である工場区へ行かせてくれ、と駅員に頼む。

モリー
登場場所 リンドブルム
Words 「ママ、どうしたのかちら? 泣きむしさんなっちゃったわ」
アリシアの娘。まだ幼い少女で、父に何が起こったのかも、母が取り乱しているわけも理解できていない。

デボン
登場場所 リンドブルム
Words 「キル、キル、キル! あぁ、もう聞きたくない!」
アレクサンドリア軍に街が襲撃されたときに登場。友だちが逃げ遅れて黒魔道士に殺されたらしい。

ゲートの人々

機械主任
登場場所 南ゲート
Words 「確かに僕は若いです! いろいろ経験不足です! だからどんな困難だって歓迎します!」
5ヵ月前にボーデンアーチでの仕事に着任した、まだ年若い主任。城にもどったら新型飛空艇の建造に参加する予定。

作業員のハンス
登場場所 南ゲート
Words 「なんだか世の中おかしい……。オバケがでるってうわさもあるし、そもそも南ゲートってなんで壊れたんだ」
南ゲートの修復作業に従事している男。何だか世の中おかしいと、いつもつぶやいている。

マリー
(バイトの)
登場場所 南ゲート、鉄馬車、ダリの村
Words 「実はあたし……彼と話すのは今日がはじめてなんです! もっと早く勇気を出しておけば良かった!」
アイテム屋「ヴェガ」の売り子。以前からジェフが好きで、店をなくした彼を励ますうちに相思相愛の仲となる。

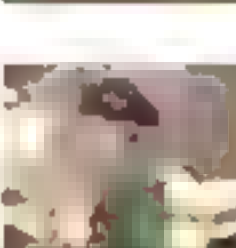
ジェフ
(プーの／バイト見習いの／バイトの)
登場場所 南ゲート、ダリの村
Words 「今じゃ、ふたりでいることが自然で、ひとりだった頃の気持ちがうまく思い出せないくらいなんです」
アイテム屋「アルタイル」の元店主。店が人手に渡って落ちこんでいたところをマリーに励まされ、恋人同士になる。

背の低いゲート兵
登場場所 南ゲート
Words 「言っておくけど、ピクルス好きに悪いヤツはいない!!」
ギサールの野菜のピクルスを詰めた袋にガーネットを隠したスタイナーを検問する。本人いわく誤解されやすいタチ。

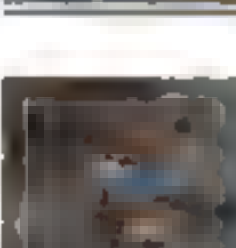
背の高いゲート兵
登場場所 南ゲート
Words 「そういえばあのときの、ズタ袋さげたおじさん! 今思えばやっぱり怪しかったよね?」
ゲートを守るふたり組のリンドブルム兵のうち、背の高いほう。背の低いゲート兵のなだめ役。

鉄馬車マニア
登場場所 南ゲート
Words 「山頂の駅へようこそ! 鉄馬車の仕組みはご存じかな?」
鉄馬車(ベルクメア)のマニア。鉄馬車事業の操業時期や、鉄馬車が動くしくみなどを教えてくれる。

トレノの人々

オークショニア
登場場所 トレノ
Words 「ブルメシアの方は、いかがでございましたか?」
キング家主催のオークションを取り仕切っている人物。主人キング(=クジャ)の要望に沿った品を用意する。

クイーン・ステラ
登場場所 アレクサンドリア、トレノ
Words 「わらわは、この世にちらばる星のコイン「ステラツィオ」を集めているザマス」
トレノの大貴族クイーン家の女主人で、「ステラツィオ」というコインのコレクター。笑い声や口調がどこか下品。

酒場のオヤジ
登場場所 トレノ
Words 「……ん? おお、そのシケた面はマーカスじゃねぇか!」
バクーとマーカスの知り合いである、酒場の主人。無愛想な男だが、100ギルで休憩させてくれる。

酒場のアネゴ
登場場所 トレノ
Words 「あんた、トレジャーハンターだね? あたしにゃツラがまえでわかるのさ」
酒場にいる色っぽいお姉さん。現在のジタンのトレジャーハンターランクを教えてくれる。

ナタリー
登場場所 トレノ
Words 「マリオ! そんな娯楽にうつつを抜かすようでは、支配者にはなれないわよ!」
弟マリオとともに雑居区に住むたくましき少女。貴族に成り上がることを夢見ており、大人びた言葉を好んで使う。

マリオ
(雑居区の)
登場場所 トレノ
Words 「でもナタリーお姉ちゃん、カードゲームはキゾクが自分のケイザイリョクをコジするために……」
ナタリーの弟でカードゲームが得意。口達者で生意気だが、その言葉のほとんどは姉の受け売り。

トレノの人々

ヒッポ
登場場所 トレノ
Words 「おれこの前、ネミングウェイのカード手にいれたんだぜ!」
雑居区に住む、ナタリー&マリオ姉弟の友人。ネミングウェイのカードを、姉弟の野望のために用立てる。

使用人のマルコ
登場場所 トレノ
Words 「どうだったい?　劇は面白かったか?」
以前ビビをアレクサンドリア行きの飛空艇に乗せるよう便宜をはかってくれた人物。カードゲーム大会時にビビと再会。

ばあさん
登場場所 トレノ
Words 「ここナイト家の主人はそこにモンスターを飼っててね」
ナイト家でショップの店番をしている人物。主人ナイトの意向に従い、強がる冒険者をモンスターと戦わせる。

ビショップ
(カルドナ=ビショップ)
NO IMAGE
登場場所 トレノ
Words ――
トレノの大貴族ビショップ家の主人。道楽で合成屋を経営したりトットを援助したりするほか、カードゲームも得意。

ネズミ族

ガル
登場場所 ブルメシア、リンドブルム
Words 「ありがとよ、兄ちゃん……。子供が生まれたら見に来てくれ……」
ブルメシアの男性。アレクサンドリア軍侵攻のときに負傷してジタンに助けられ、その後リンドブルムで再会する。

ウェイ
登場場所 ブルメシア、リンドブルム
Words 「あの子たちが新しいブルメシアを担っていってくれれば……」
ガルの妻。妊娠中に夫妻でジタンに助けられ、リンドブルムに逃れて出産。再会したジタンに子ども5人を紹介する。

ブルメシア兵グレイ
登場場所 ブルメシア、リンドブルム城
Words 「ウェイ!　ガル!　大丈夫か?」
負傷したガルと、その身重の妻ウェイをブルメシアから避難させた兵士。のちにリンドブルム城でフライヤと再会する。

ブルメシア兵ダン
登場場所 ブルメシア、クレイラの街
Words 「言ってみろっ!　なぜブルメシアを襲ったんだっ!?」
フライヤの知人。祖国を崩壊に追いこんだ黒魔道士たちを憎み、その怒りをビビにぶつけようとする。

ブルメシアの民レアリー
登場場所 ブルメシア、クレイラの街
Words 「なにが起こっても、子供たちだけは守りたいわ……」
ダンの妻。カブとコブというふたりの子どもがいる。ブルメシアが襲撃されたとき、家族とともにクレイラへ逃れた。

ブルメシアの子カブ
登場場所 ブルメシア、クレイラの街
Words 「ブルメシアから出たの、ボク、初めて!」
ブルメシア兵ダン&ブルメシアの民レアリー夫妻の子ども。コブよりもやや年長らしい。

ブルメシアの子コブ
登場場所 ブルメシア、クレイラの街
Words 「砂嵐の音がうるさくて、まいっちゃう!」
ブルメシア兵ダン&ブルメシアの民レアリー夫妻の子ども。カブの口マネをすることが多い。

ブルメシア兵ジル
登場場所 クレイラの街
Words 「ここの奴らは、ちょっと話し掛けにくいけどけっこう良い奴ばかりみたいだな!」
ブルメシアからクレイラに逃れてきた兵士。祖国と勝手がちがうクレイラに、とまどいながらもなじもうとする。

ブルメシアの民ロレーナ
登場場所 クレイラの街
Words 「クレイラの民が私たちを招き入れてくれて、ほんとうに助かったよ!」
ブルメシアからクレイラに逃れてきたネズミ族の女性。ブルメシア兵ジルのそばに寄り添っている。

ブルメシア兵ギド
登場場所 クレイラの街
Words 「敵が攻めてきたら、クレイラの民のため、ひとはだ脱いでやろうじゃねえかっ!!」
ブルメシアからクレイラに逃れてきた兵士のひとり。威勢がいい。

ブルメシア兵ディン
登場場所 クレイラの街
Words 「これは何かが起こる前触れだな……」
ブルメシアからクレイラに逃れてきた兵士のひとり。ギドにくらべて慎重な物言いをする。

クレイラ大祭司
登場場所 クレイラの街
Words 「クレイラを取り巻く砂嵐の力を強めれば、敵もあきらめて帰ってくれることでしょう」
クレイラを統治する年老いた祭司。クレイラの民の例にもれず、温厚でのんびりした人物。

樹の神官ウィラン
登場場所 クレイラの街
Words 「ブルメシアの方々が抵抗されてますが、倒しても倒しても、次々と化け物たちが……」
クレイラの神官。フライヤからジタンへの伝言を預かる。クレイラ襲撃時はジタンの誘導で避難することに。

空の神官ミュラン
登場場所 クレイラの街
Words 「ただいま、これより先へお通しするわけにはいきません」
クレイラに住む神官のひとり。ジタンが大聖堂の奥へ進もうとすると制止する。

砂の神官サトレア
登場場所 クレイラの街
Words 「クレイラへお客様が来られるのはかれこれ百年ぶりになります」
フライヤをブルメシア王に会わせるために大聖堂へ案内した神官。クレイラ襲撃時はジタンの誘導で避難する。

陽の神官フレディ
登場場所 クレイラの街
Words 「武門を重んじるようになったブルメシアの民との争いを避けるため、この樹に移り住むようになりました」
クレイラに住む神官のひとり。ブルメシアの民とクレイラの民の過去の歴史を教えてくれる。

杜の神官キルデア
登場場所 クレイラの街、ダゲレオ
Words 「私はいかにクレイラ、そしてブルメシアが閉ざされた環境にあったかを痛感しました」
街の案内役をつとめる神官。クレイラの崩壊に巻きこまれるが逃げのび、物語終盤にダゲレオでジタンと再会する。

夜の神官ドネガン
登場場所 クレイラの街
Words 「おやおや、みなさん穏やかではありませんねえ……」
宿屋で休憩させてくれる神官。大変のんびりしており、非常事態に直面しても決して急ごうとしない。

風の巫女アイリーン
登場場所 クレイラの街
Words 「私たちは古来よりの伝統を守り続けているので、その踊りの持つ魔力はブルメシア以上だと言われています」
クレイラの巫女のひとり。クレイラの民が魔力が高い民族であることを教えてくれる。

月の巫女クレア
登場場所 クレイラの街
Words 「弦が切れた……。不吉な……」
クレイラの巫女のひとり。ハープを奏でることでクレイラの周囲に砂嵐を発生させ、国を守っている。

花の巫女シャロン
登場場所 クレイラの街
Words 「エプロンをした変な人のお友達ですか?」
水の巫女シャノンと一緒に展望台にたたずんでいる巫女。食べものを探すクイナに、シャノンともどもビックリする。

水の巫女シャノン
登場場所 クレイラの街
Words 「私たち、この場所がとっても好きですの」
クレイラの巫女。国を取り巻く砂嵐をながめるのが好きで、花の巫女シャロンと一緒に展望台から景色を見ている。

星の巫女ニーナ
登場場所 クレイラの街
Words 「アイテムなら少しはありますが……」
クレイラに住む巫女のひとり。ジタンたちにアイテムを売ってくれる。

ブルメシア兵ドイル
登場場所 リンドブルム
Words 「フライヤさんがいつ戻ってきてもいいように、生き残った仲間たちとがんばりますよ」
ブルメシアの兵士。リンドブルムでフライヤと再会し、祖国復興のために力を尽くすつもりだと話す。

ドワーフたち

天守りのカツミ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「実は最近トンと夫婦になる者がおらんで、99組で止まってしまっているのだド」
コンデヤ・パタの神主。村で唯一「神前の儀」を執り行なうことができる。最近、儀式を受ける者が少ないのが悩み。

道知りのカンスケ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「南東の森は、崖をぐる〜っと回り道して、東の方に行ってから入らねばなんねド」
周辺の地理にくわしい男性。コンデヤ・パタの入口におり、村のあいさつ「ラリホッ！」が言えない者は通さない。

客むかえのミチヨ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「ハッ!　おめ、オラのこと見つめてただドな!　アッツイ視線を今感じただド!」
道知りのカンスケとともに来訪者を出迎える、ドワーフの女性。うしろ姿に自信があるらしい。

根走りのキクノスケ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「うまいもんばっか食べて生きていければ幸せだドなあ……」
ドワーフの少年。おいしいものを食べることが大好きで、とりわけ「山ブリ虫のぴっちり和え」が好物。

ドワーフたち

空見のカスミ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「山に抱かれ、樹に芽吹き、陽の恵みを受けた里、それがコンデヤ・パタだド」
根走りのキクノスケの姉。コンデヤ・パタは山、樹、陽の恩恵を受けている、と回廊にたたずみながら語る。

犬追いのデンスケ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「オラ、いつの日かこのコロスケひっつれて、ホーローの旅に出るんだド」
ドワーフの少年。いつかは飼いイヌのコロスケとともに放浪の旅に出たいと思っている。

大麦ぐらいのスエキチ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「こんなええ天気の日に、仕事なんてやってられねード」
宿屋の主人。もっとも、宿屋のことは妻である水とぎのオシズにまかせて、自分はゴロゴロしてばかり。

水とぎのオシズ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「だあれのおかげで飯食えてると思ってるド!」
宿屋を営むドワーフの女性。大麦ぐらいのスエキチの妻で、ぐうたらな夫にかわって一生懸命働いている。

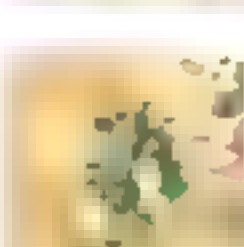
茶ききのゼンベエ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「そろそろウチのデンエモンも、ヨメをもらわねばなんねえド……」
宿屋で井戸端会議をしている男性。デンエモンという息子がおり、息子のヨメ探しに頭を悩ませる。

かしまし娘ユウ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「こうやって茶をくみかわしながらくっちゃべってる時が一番幸せだド」
宿屋で井戸端会議をしている女性。デンエモンのヨメには誰がいいかと、お茶を飲みながら話し合っている。

鳥やどりのカンナ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「こんなにひょろっちいヨメじゃ「聖地」に旅立つこともできねード」
宿屋で井戸端会議をしている女性。ガーネットはデンエモンのヨメにするには細すぎる、と勝手に品定めをする。

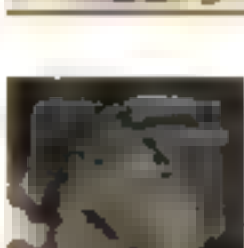
空筒のギヘエ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「この里では飲み物は貴重だドから、こうやって、よっく味わって飲んでるだド」
宿屋で井戸端会議をしている男性。かしまし娘ユウたちとともに、茶を飲みながら話に花を咲かせている。

石づちのゴンスケ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「これこそがコンデヤ・パタのシンボル、『おみこし舟』だド!」
神社にいるドワーフの男性。神社に置かれたおみこし舟はコンデヤ・パタのシンボルだ、と得意げに話す。

神かつぎのカンゾー
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「なんで今日はおまえみたいなめんこいもんがやって来たドか?」
ドワーフの神官のひとり。ビビを黒魔道士の村の者だとカンちがいし、石づちのゴンスケとともに歓迎する。

木組みのガジロー
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「オラ、いつの日かオミツちゃんとこのおみこし舟の上で結ばれたいド」
神社にいるドワーフの男性。いつかは光取りのオミツと結ばれ、ふたりで「聖地」に旅立ちたい、と思っている。

光取りのオミツ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「この里で男と女が結ばれるにはお陽様の祝福が必要だド……」
木組みのガジローの恋人。まだ自分たちは未熟だから「神前の儀」を受けるには値しない、と考えている。

門まつりのキンタ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「だめだド!　ここを通れるのは、『神前の儀』を受けた者だけだド!」
ドワーフの神官のひとり。山道へつづく神社の出口をふさぎ、神前の儀を受けた者しか通そうとしない。

具売り娘オハツ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「あたりまえだド!　勝手に食べたら盗むのと同じだド!」
クイナを食べもの泥棒とカンちがいする、お店の女性。ドワーフの基準では愛らしい人物のようだ。

実運びのサンキチ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「オハツちゃんはいつ見てもあいらしいだドなあ……」
道具屋にいるドワーフ。オハツが好きなのか、彼女のことを「あいらしい」と評する。

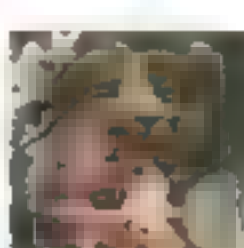
金つみのトウマ
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「山を登るも谷を越えるも武器しだい!　買ってけだド!」
コンデヤ・パタの露店で武器などを売って生計を立てている、ドワーフの少年。

番つがいのウコン
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「ラリホッ!　それじゃあ「聖地」に旅立つドか?」
山道への道をふさぐドワーフのひとり。神前の儀を終えキンタの通行許可を得たジタンたちを山道へと見送る。

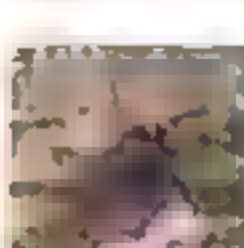
番つがいのサコン
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「最近食い物ドロボーが出てこまってるド」
ウコンの双子の兄弟。ウコンとともに、最近出没する食べ物ドロボー(正体はエーコ)をつかまえようとしている。

自我のある黒魔道士たち

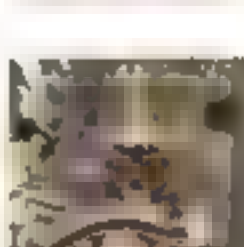
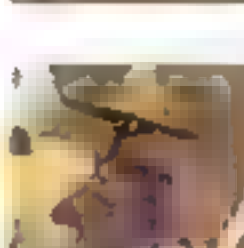
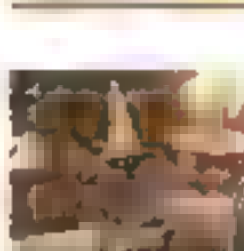
黒魔道士12号
登場場所 デザートエンプレス
Words 「この先に行かせちゃダメだって言われてるから……」
クジャの甘言に乗せられ村を出た者のひとり。デザートエンプレスで出口をふさいだり、仕掛けを起動させたりする。

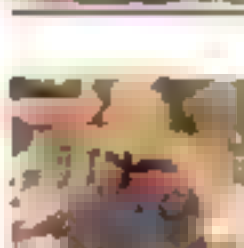
黒魔道士69号
登場場所 デザートエンプレス
Words 「……ぼくたちのしてることって悪いことなんだよね?」
寿命を延ばしてやるとのクジャの言葉に乗せられ村を出た黒魔道士。クジャの命令どおり砂時計のワナを作動させる。

黒魔道士24号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「こうやって葉っぱのすきまから光見てると……きれいだよねえ」
黒魔道士の村の住人。黒魔道士の村の入口に立ち、葉っぱのすきまから光をながめている。

黒魔道士32号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「「じょーだん」って……なに?　こわいもの?」
クロネコ合成屋の棚の上に腰かけている黒魔道士。「冗談」という言葉の意味を知らない。

黒魔道士33号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「いつ生まれるのかな?　ぼくね、ときどきあっためてあげてるんだ」
111号と一緒にチョコボのタマゴの世話をしている黒魔道士。物語後半にボビィ＝コーウェンをふ化させ、喜ぶ。

黒魔道士44号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「最近むくむく体が大きくなるんだ……ぼく、食べ過ぎなのかな?」
最近ちょっと太り気味の黒魔道士。個体差が出はじめたせいというより、ただの食べすぎが原因らしい。

黒魔道士55号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「いつまでぼくら……このチョコボ舎を見ていられるんだろ?」
タマゴから生まれてくるチョコボのためだけにチョコボ舎を建てたのだ、と説明してくれる黒魔道士。

黒魔道士56号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「でもまた土から出てきて、いっしょにあそぼって、言ってくれるんだよね?」
36号とともに村へ逃げてきた黒魔道士。動かなくなった36号の墓の前で、彼がもとどおり動き出すのを待っている。

黒魔道士78号
登場場所 黒魔道士の村、グルグ火山
Words 「みんなが幸せになったらいらなくなるのかな?　でもそしたら魔法もいらないってことなのかな?」
「ぶき」の意味を知らない武器屋経営者。クジャに誘われてエーコ誘拐に手を貸すも、のちに己の罪を悟り後悔する。

黒魔道士87号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「あ、そう言えば、水だけじゃなく時間も、流れる、って言うんだって!!」
DISC4冒頭のイベントに登場。テラからやってきたばかりのジェノムたちと、水や時間について話す。

黒魔道士111号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「生まれたら何て名前つけてあげよっかな……」
33号と同じく、チョコボのタマゴの世話係。タマゴの世話のため、クジャに命を延ばしてやると誘われても村に残った。

黒魔道士123号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「ボクら、いつか止まってしまうのなら、「おんがく」を聞きたいってこのきもちはいったい何のためにあるんだろう……」
宿屋にある「ボクらの村」という絵の作者。芸術家肌で、「おんがく」にも興味を持ち、宿屋の蓄音機のそばにいる。

黒魔道士144号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「そういやクジャって奴、この大陸に何か秘密があるようなことを……」
黒魔道士の村の一員。外側の大陸を訪れたばかりのジタンたちに、クジャの目撃情報をくれる。

黒魔道士163号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「え?　れ、例のもの?　え～っと……」
道具屋を経営している黒魔道士。ジタンから「例の物」という単語を聞き、なんのことなのかを勉強する。

自我のある黒魔道士たち

黒魔道士189号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「288号くんはかしこいから、こういうのを、「こたいさ」って言うんだって教えてくれたんだよ」
村に住む黒魔道士のひとり。最近になって村のみんなに個体差が出はじめた、という話をする。

黒魔道士192号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「クロネコ合成屋へようこそ!」
茶色いネコを飼っている、「クロネコ合成屋」の主人。店名は「黒魔道士とネコの合成屋」を略したものらしい。

黒魔道士234号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「あ……おとまりですか?」
宿屋を営んでいる黒魔道士。宿の壁にかかった「森を歩けば」というタイトルの絵は自作のもの。

黒魔道士239号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「いらっしゃ……え?　あ、あの……なな、なにをおもとめですか?」
武器屋を開いている黒魔道士。当初は外部の人間であるジタンたちにとまどい気味だったが、最後は慣れた様子に。

黒魔道士288号
登場場所 黒魔道士の村
Words 「君もそうじゃないのかい? 彼らと旅をすることで、生きてる、ってことの意味がわかりかけてきた……」
村一番の思索家。自分たちの運命を誰よりも早く悟り、ビビに、生きていくとは何かを考えるきっかけを与えた。

エスト・ガザの人々

司祭
登場場所 エスト・ガザ
Words 「ワタシは黙って見ていただけじゃよ」
「ああ見えてもスゴイ」らしい7代目司祭。エーコが連れ去られる様子を平然と見過ごし、ジタンたちの怒りを買う。

ガッツ
登場場所 エスト・ガザ
Words 「ちょっかい出さねぇであっち行けよ!!」
訪問客のひとり。リサにお熱で、ときどき祭壇でデートしており、彼女にちょっかいを出すジタンを嫌う。

リサ
登場場所 エスト・ガザ
Words 「ウルサイのがいるから、また今度、ね」
ガッツと祭壇でデートしている少女。本人はガッツにあまり興味がないらしく、ジタンに誘われると乗り気になる。

ダゲレオの人々

調べ物をしている男
登場場所 ダゲレオ
Words 「おおおおお!!　わきあがるイマジネーション!!　今すぐしたいクリエーション!!!」
伝説の男ネミングウェイの名づけのテクニックを学んだという男。特定の条件でパーティーメンバーの名前を変更してくれる。

老人（ククロ）
登場場所 ダゲレオ
Words 「家庭をかえりみず、そして妻をなくして、それからすべてがはかなくなってここで暮らしておったのじゃ……」
かつては名うての鍛冶屋だったという老人。珍品「魔法の指先」を渡すとエクスカリバーを鍛えてくれる。

召喚獣ほか

ラムウ
登場場所 ピナックルロックス
Words 「道はひとつではなく、どの道をゆくかはそなた自身が選ぶということ、忘れぬようにな」
雷帝と呼ばれる召喚獣。母の暴挙を止めるべく召喚獣を求めるガーネットに、「勇者の物語」を作る試練を与える。

ラグタイムマウス
登場場所 各地の森
Words 「クイズターイム!!!」
森のなかに現れ、「FFIX」に関する○×クイズをジタンたちに出す不思議な存在。16問すべてに正解するといいことが?

歴史上の人物

エイヴォン
NO IMAGE
登場場所 —
Words —
ガーネットの尊敬する、500年以上昔に活躍した劇作家。代表作は「星に願いを」「君の小鳥になりたい」。

イプセン
NO IMAGE
登場場所 —
Words —
偉大なる冒険家。彼が発見したテラ文明の遺跡は、その名を取って「イプセンの古城」と呼ばれる。

コリン
NO IMAGE
登場場所 —
Words —
イプセンの親友と伝えられる人物。「お前が行くと言ったから」との理由でイプセンに同行したという。

ゴゴ
NO IMAGE
登場場所 —
Words —
人の生き写しのような人形を造ったと言い伝えられる天才造形師。幻のフィギュア3部作の制作者として有名。

セーブモーグリ

モグオ
登場場所 （ワールドマップの各地）
Words 「いたずらに呼び過ぎクポッ、ぶふぇっ!」
ワールドマップで「モーグリのたてぶえ」を吹くと現れるセーブモーグリ。用もないのに呼ばれつづけるとキレる。

クポ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「もし、メモリーカードにセーブしたくなったら、ボクたちモーグリに話しかけるクポ～～～ッ!!」
物語の最初に登場するモーグリ。セーブモーグリから力を借りる方法をビビに教えてくれる。クッポの弟。

モッシュ
登場場所 アレクサンドリア城、モグネット本部
Words 「これでモグネットも活気を取り戻せるクポ!　○○通もの手紙を配達してくれてありがとクポ!」
アレクサンドリア城に住みついているモーグリ。クジャの襲撃で城が崩壊したあとは、モグネット本部に姿を見せる。

モスコ
登場場所 劇場艇プリマビスタ、南ゲート（トレノアーチ）
Words 「ルビィってひとは、変な言葉を使うクポ!」
魔の森に墜落した劇場艇にいるモーグリ。物語の終盤には、森の石化を逃れトレノアーチの切り株に避難していたことが発覚。

モンティ
登場場所 魔の森、ピナックルロックス
Words 「なんとか、魔の森の外に出ることができたずら～」
魔の森で20年間暮らしていたが、森が石化したときにシナと一緒に脱出。以来、シナの「～ずら」口調が移ってしまう。

モイス
登場場所 氷の洞窟、ク族の沼
Words 「あっついやんけクポ～!　何さらすんじゃワレクポ～!　はっ、動けるやんけクポ!　おおきにクポ～!」
ルビィと似た言葉づかいで、ちょっとガラが悪いモーグリ。黒のワルツ1号のせいで氷づけにされていた。

グーモ
登場場所 ダリの村
Words 「モイスからの手紙?　う～ん……モイスは苦手クポ……、でも読むクポ……」
宿屋のロビーにいるモーグリ。苦手にしていたモイスから、「氷漬けにされた」という手紙を受け取ることに。

クモップ
登場場所 ダリの地下
Words 「スティルツキンがボクのところへ遊びにきたクポ!」（手紙のなかのセリフ）
工場にあるタルに隠れていたモーグリ。スティルツキンが自分のもとに立ち寄ったことを喜び、モックに知らせる。

モック
登場場所 リンドブルム城、フォッシル・ルー、リンドブルム城
Words 「リンドブルムが復興して良かったクポ!　フォッシル・ルーはどうもニガテだクポ!」
リンドブルム城の客室に住むが、アレクサンドリア軍襲撃時は避難しに城を出ていたため、仲間に心配される。

モードン
登場場所 リンドブルム
Words 「おともだちが小劇場を作るのクポ?　楽しそうクポね～～～～～～～～～」
宿屋でセーブできるためジタンに重宝されるモーグリ。街が襲撃を受け復興していくあいだもずっと宿屋にいる。

モンテ
登場場所 リンドブルム城
Words 「どどどど、どういうことなのクポ～ッ?」
地竜の門にいるモーグリ。自分と同じ城に住むモックが姿を消したことに、モードンの手紙を読むまで気づかなかった。

モグミ
登場場所 ギザマルークの洞窟
Words 「あ、あたいの主人が、この大きなベルの中に入って……出られなくなったんです!」
モグタの新妻。結婚式を挙げた直後に夫がベルに閉じこめられ、ジタンに助けを求める。最終的には3匹の子持ちに。

アトラ
登場場所 ブルメシア
Words 「スティルツキンはとってもかっこいいモーグリだクポよ～っ!」
スティルツキンのことを知らなかったが、彼の訪問を受け、「スティルツキンはカッコイイ」と感想をもらす。

グリモ
登場場所 南ゲート（ボーデン駅）
Words 「バイトのマリーちゃんの片想いを見ていると、とても胸が苦しくなってくるクポ……」（手紙のなかのセリフ）
マリーの片想いの様子をドキドキしながら見守っている。ドキドキするのはマリーに恋しているせい?

ナズナ
登場場所 南ゲート（山頂の駅）
Words 「あたいは、ぜったい恋なんかしないクポ!　恋なんかしたって、恋なんかしたって……」
グリモを好きな女モーグリ。彼がマリーに恋している様子を手紙で察し、「自分は恋なんかしない」と機嫌を損ねる。

モグリッヒ
登場場所 トレノ
Words 「ぼ、ぼくたち、な、なかよしだクポ!」
仲良し（?）のイヌに追いかけられているモーグリ。貴族の街トレノの住人であるせいか、名前がどこか貴族風。

セーブモーグリ

モチョス
登場場所 ガルガン・ルー
Words 「う～ん、そういうナズナがグリモのことをにくからず想っているのをボクは知ってるクポ……」
ナズナのグリモへの想いに気づいており、グリモの恋に関する手紙をよこしたナズナの心を思いやる。

モアナ
登場場所 クレイラの幹、モグネット本部
Words 「このままモグネットは消えていってしまうのかしらクポ?」
クレイラの幹に住んでいたが、クレイラ崩壊後はモグネット本部へ。モグネット復旧後は業務に追われる。

モプリ
登場場所 クレイラの街
Words 「実はモプリも役者になってみたいと思ってたクポ……、でも自信がないからやめておくクポ……」
最初は宿屋にいて、街が非常事態におちいると住人ともども大聖堂へ避難する。ひそかに役者を目指しているらしい。

セリノ
登場場所 レッドローズ
Words 「だいじょうぶクポかな?　モプリとスティルツキンは……」
飛空艇で旅する「空飛ぶ女モーグリ」。クレイラがオーディンに破壊されるのを見て召喚獣の恐ろしさを実感する。

クッポ
登場場所 フォッシル・ルー
Words 「ひますぎるので隠れてみたクポッ!　この洞窟のどこかに隠れてるの、見つけられるクポ?」(手紙のなかのセリフ)
アレクサンドリアにいるクポの兄。「ヒマだから」とかくれんぼをしており、ミニゲーム『発掘』で発見される。

モグノシン
登場場所 コンデヤ・パタ
Words 「いまだに慣れないのは、あの、あいさつ"ラリホッ"なのクポ……」(手紙のなかのセリフ)
半年前に付近の山から移住してきたモーグリ。村のドワーフのあいさつ「ラリホッ！」を「ラリクポッ！」と言ってしまう。

モモ
登場場所 黒魔道士の村
Words 「あいさつは"ラリクポッ!"なのクポ!　スティルツキンは意外とオチャメなのクポ!」
ドワーフのあいさつを「ラリクポッ！」だとカンちがいしており、スティルツキンの手紙にまちがったツッコミを入れる。

スズナ
登場場所 コンデヤ・パタ山道
Words 「やっぱり、村に住むのは大変なのねクポ……」
半年前まではモグノシンと一緒に山で暮らしていたモーグリ。ドワーフたちの里に移住した彼を気にかけている。

モッキ
登場場所 イーファの樹
Words 「悲しい瞳クポ?　不思議クポ……。どんな使命を背負っているのクポ?」
イーファの樹にいるモーグリ。ビビの瞳は悲しそうだというモモからの手紙を受け取り、ビビに興味を抱く。

ミモザ
登場場所 ウイユヴェール
Words 「もぉ～、プンプンなのクポッ!」(手紙のなかのセリフ)
怒らせると怖いと言われている女モーグリ。モグネットが不調で手紙が届かないことにイラついている。

モエル
登場場所 ウイユヴェール
Words 「ミ、ミモザを怒らせると恐いのクポ……」
自分と同じくウイユヴェールにいるミモザの、モグネット不調に対する怒りっぷりにおびえている。

モジート
登場場所 デザートエンプレス
Words 「おおっ、こんなところにお客さんだクポ!　さっそくだけど、お手紙の配達をお願いしたいクポ!」
スティルツキンがモグネット不調の謎解明に動き出したということを、書庫にいるモングルに手紙で教える。

モングル
登場場所 デザートエンプレス
Words 「ありがとクポ!　ありがとクポ!　お手紙が届いてうれしいクポ～ッ!!」
書庫の仕掛けで隠された通路の奥にいて、モジートからの手紙をひさしぶりだと言って喜んで受け取る。

モリシア
登場場所 エスト・ガザ
Words 「アルテミシオンったら、だめだって言ったのに……」
モーグリで一番の美女。すべすべオイルを肌の手入れに使った経験があるため、アルテミシオンに極秘の相談を受けた。

モラン
登場場所 グルグ火山
Words 「なるほど～、それで最近、手紙が届かなくなったのクポね～～～」
モリシアからの手紙でアルテミシオンの失態を知り、モグネット本部に苦情を言おうとする。

モンド
登場場所 グルグ火山
Words 「そういえば、モグネット本部のことってあまり良く知らないクポ……」
グルグ火山内の別の場所に住むモランからモグネット本部の場所を聞かれ、自身も知らないということに気づく。

クモーレ
登場場所 イプセンの古城
Words 「確かモグネット本部はチョコボに乗らないと、入れないって話を聞いたことがあるクポよ～～～」
モグネット本部を探すジタンに、「チョコボに乗らなければ入れない場所らしい」と貴重なヒントをくれる。

モーロック
登場場所 ブラン・バル、パンデモニウム
Words 「モグネットって何クポ?　初めて聞くクポ?」
ツボに閉じこめられていたモーグリ。テラにいるせいかモグネットを知らず、初の手紙書きに挑戦する。

モズメ
登場場所 パンデモニウム
Words 「その先は危ないかもしれないクポ……それでも行くクポか?」
パンデモニウムの最深部にいるモーグリ。不穏な空気を察し、ジタンたちが不用意に奥へ進まないよう念を押す。

モゲレオ
登場場所 ダゲレオ
Words 「モイスが言うアレっていうと、もしかして……。分かったクポ!　分かったクポ!　分かったクポ!」
本の宝庫である街ダゲレオの住人。「ダゲレオ」にいるから「モゲレオ」と、名前が非常にわかりやすい。

マダイン・サリのモーグリ

モチャ
登場場所 マダイン・サリ
Words 「でもこの前のは頭のポンポンがとれそうなくらいまずかった……」
マダイン・サリに住むモーグリの一匹。チモモやモーネルと手分けして、エーコの料理を手伝う。

モコ
登場場所 マダイン・サリ
Words 「おれたちモーグリもエーコと召喚壁を守ってきたんだ。変なこと、すんなよ!」
召喚壁の番人を自負するモーグリ。不良っぽい雰囲気を持ち、語尾に「～クポ」をつけず一人称に「おれ」を用いる。

チモモ
登場場所 マダイン・サリ
Words 「魚はどうクポ?　釣りたては焼くだけでおいしいクポ」
小柄なモーグリ。魚釣りが趣味で、ジタンたちをもてなす料理のメニューに「とれたての焼き魚」を推す。

モーネル
登場場所 マダイン・サリ
Words 「旅立つ前に、寝たほうがいいクポ～。寝ると気持ちいいクポ～」
「モーネル」＝「もう寝る」なのかいつも眠そうで、ジタンたちにも「もう寝るクポ？」と言って休憩させてくれる。

モリスン
登場場所 マダイン・サリ
Words 「全てはエーコ嬢の心、おもむくままに……。召喚壁の風が、いつもあなたと共にありますように」
マダイン・サリのモーグリたちのまとめ役。博識で、ていねい語を使いこなし、エーコを「エーコ嬢」と呼ぶ。

そのほかのモーグリ

モグタロー
登場場所 ク族の沼(世界各地)
Words 「おまえも何か教えて欲しいんだな?」
とっても物知りなモーグリ。ゲームのチュートリアルを担当するほか、つぎの目的地のヒントを教えてくれる。

モグジロー
登場場所 ク族の沼(世界各地)
Words 「あんちゃんはホントに物知りだクポ～～」
モグタローの弟分。いろんなことを教えてくれるモグタローの博識ぶりに感心している。

モグタ
登場場所 ギザマルークの洞窟
Words 「クポの実、うまいクポ～～～～～～～ッ!!」
新婚モーグリ。モグミとの結婚式の直後に巨大なベルに閉じこめられ、ジタンに助けられた。クポの実が大の好物。

クルミ
登場場所 アレクサンドリア
Words 「ナワトビ、がんばるクポ!」
プレイヤーのナワトビ・ランキングを教えてくれる女の子。ビビかエーコがパーティーにいないと姿を見せない。

モス
登場場所 モグネット本部
Words 「あれさえあれば……」
モグネット本部にいるモグネット配達人。モグネット本部が機能を再開すると、忙しそうに働き出す。

モグゾー
登場場所 モグネット本部
Words 「おとなモーグリは機械が動かなくて困っているクポ!」
モグネット本部にいる2匹の子どもモーグリの1匹。大人モーグリたちが困っている様子を見つめている。

モグロー
登場場所 モグネット本部
Words 「ここはモグネット本部クポ!」
モグゾーと同じく、モグネット本部で大人モーグリたちを見つめている子どもモーグリ。

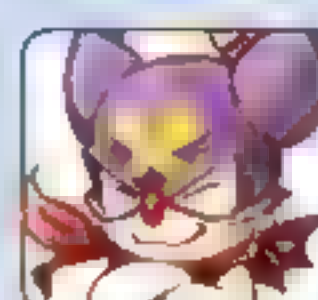
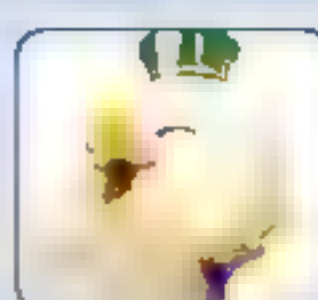
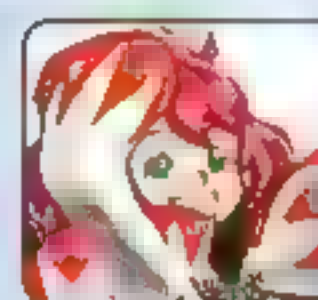
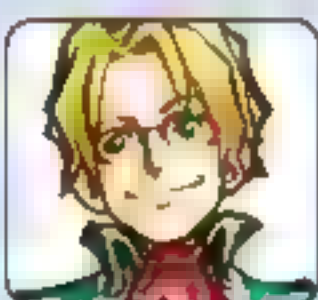
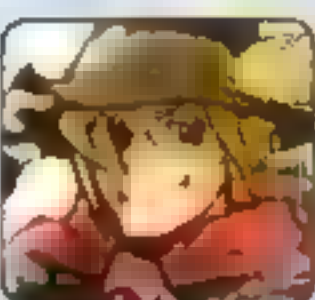
ULTIMANIA CHECK 『FF』キャラクターin Other Games ❷

P.226につづいて、他作品に登場する『FF』キャラクターたちを紹介していこう。こちらでは、『ファイナルファンタジー』のタイトルを冠していないゲームについてまとめてみた。

チョコボが主人公の作品群

『チョコボの不思議なダンジョン』以降、チョコボが主人公を務める作品が、多彩なジャンルで数多くリリースされている。それらの作品では、チョコボをはじめ、モーグリ、シドなどの定番キャラクターや、白魔道士と黒魔道士の格好をした人物がレギュラーで登場しているのだ。ほかにも、作品によっては『FF』シリーズで目にした名前のキャラクターが姿を見せてくれる。なお、これらの作品に登場する白魔道士は女の子でシロマ、黒魔道士はクロマという名前であることが多い。

←『時忘れの迷宮』では、シドはトレジャーハンター、黒魔道士は謎の女性として登場。

レギュラーキャラクター

チョコボ　モーグリ　デブチョコボ
白魔道士　黒魔道士
シド(※1)　シド(※2)　シド(※3)　シド(※4)

※1……『不思議なダンジョン2』『チョコボレーシング』『はたらくチョコボ』
※2……『チョコボスタリオン』　※3……『魔法の絵本』
※4……『時忘れの迷宮』

『FF』シリーズ作品から登場するそのほかのキャラクター

タイトル	キャラクター	役どころ
不思議なダンジョン2	ビッグス、ウェッジ	村にある研究所で実験をしている黒魔道士
	オルトロス	海底遺構ダンジョンの27Fに出現するボス
チョコボレーシング	ミンウ(※5)	ミシディア空中庭園を作った大魔道士
	Ⅶクラウド スコール、ムンバ	条件を満たすとレースで使用できるようになる隠しキャラクター
はたらくチョコボ	マリア、リチャード	操作キャラクターやライバルになる開拓者
時忘れの迷宮	ステラ	街はずれで牧場を営む、シロマの叔母

※5……作中での名前は「ミン・ウ」

↑『FFⅦ』と『FFⅧ』から3キャラクターがゲスト出演している『チョコボレーシング』。

◆ **チョコボが主人公になっているおもな作品**

タイトル	機種	発売日
チョコボの不思議なダンジョン	プレイステーション	1997年12月23日
チョコボの不思議なダンジョン2	プレイステーション	1998年12月23日
チョコボレーシング～幻界へのロード～	プレイステーション	1999年 3月18日
チョコボスタリオン	プレイステーション	1999年12月22日
ダイスDEチョコボ	プレイステーション	1999年12月22日(※6)
はたらくチョコボ	ワンダースワン	2000年 9月21日
チョコボランド	ゲームボーイアドバンス	2002年12月13日
チョコボと魔法の絵本	ニンテンドーDS	2006年12月14日
チョコボの不思議なダンジョン 時忘れの迷宮	Wii	2007年12月13日

※6……『チョコボコレクション』として、『チョコボレーシング』『チョコボスタリオン』『ダイスDEチョコボ』の3枚組で発売

『キングダム ハーツ』シリーズ

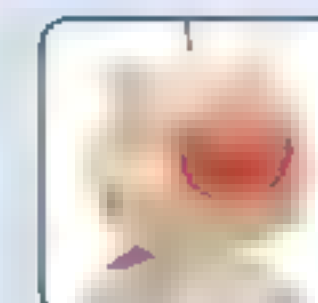
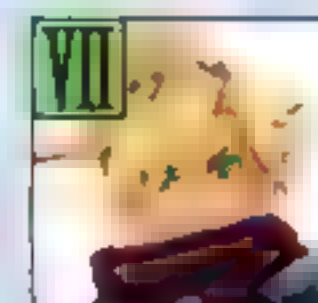
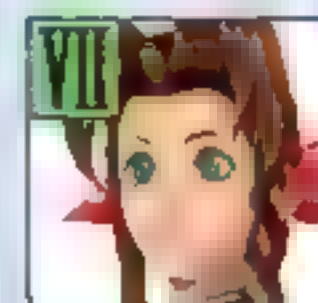
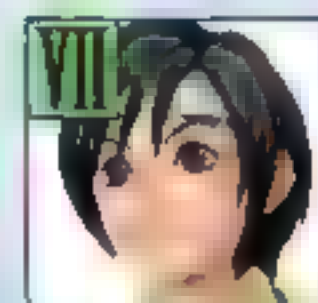
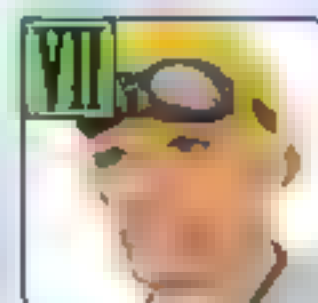
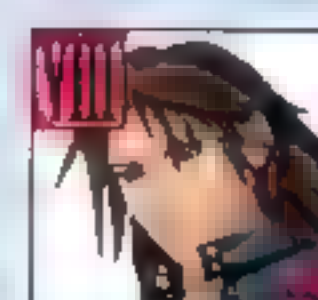
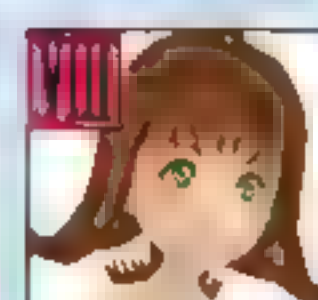
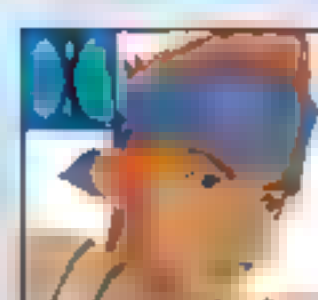
ディズニーとスクウェア・エニックスのコラボレーションによって生まれた『キングダム ハーツ(以下、KH)』シリーズには、『FF』キャラクターが多数出演している。とくに『FFⅦ』の一部のキャラクターは、『KHⅡ』の衣装が『KH』『KH チェイン オブ メモリーズ(以下、KHCOM)』とは異なり、コンピレーション作品での姿で現れるのだ。ちなみに『KHⅡ』のショップ店員には、『FF』シリーズのキャラクターの名前がつけられている。

←『FF』キャラクターとディズニーキャラクターの夢の共演として話題になった『KH』。

←『KHCOM』はゲームボーイアドバンスで発売後、プレイステーション2でリメイクされた。

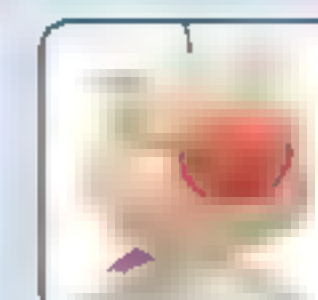
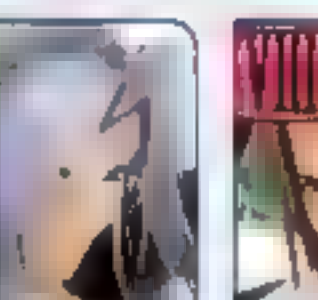
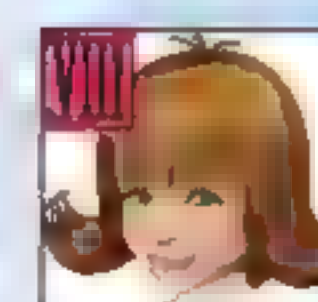
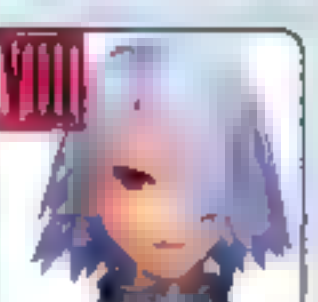
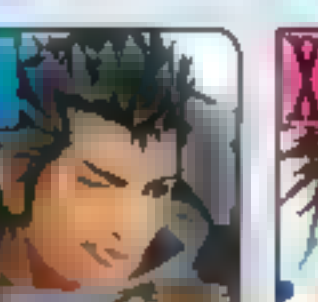
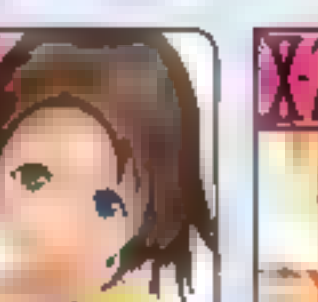
一緒にしないでよ、ワッカ。
何かついてても気づかないほど
ニブいのは、あんただけでしょ。

→『KHⅡ』には、新たに『FFⅥ』『FFⅨ』『FFX-2』からもキャラクターが出演。セッツァーはSFC時代の作品から唯一の登場となる。

『KH』『KHCOM』に登場

モーグリ　クラウド　エアリス　ユフィ　シド
セフィロス(※7)　スコール(※8)　セルフィ　ティーダ　ワッカ

『KHⅡ』でショップ店員として登場

ビッグス、ウェッジ
Ⅶ バレット(※9)、ジェシー、エルミナ
Ⅸ スティルツキン、アルテミシオン、モーグリたち(グーモ、クポ、クモップ、モーロック、モグ、モグジロー、モグタロー、モジート、モッシュ、モンティ)
X ワンツ

※9……作中での名前は「ウォーレス」

『KHⅡ』に登場

モーグリ　セッツァー　クラウド　ティファ　エアリス　ユフィ　シド　セフィロス　スコール(※8)
セルフィ　サイファー　風神(※8)　雷神(※8)　ビビ　アーロン　ユウナ　リュック　パイン

※7……『KH ファイナルミックス』のみに登場　※8……作中での名前は、スコールが「レオン」、風神が「フウ」、雷神が「ライ」

◆ **『キングダム ハーツ』シリーズ作品**

タイトル	機種	発売日
キングダム ハーツ	プレイステーション2	2002年 3月28日
キングダム ハーツ -ファイナル ミックス-	プレイステーション2	2002年12月26日
キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ	ゲームボーイアドバンス	2004年11月11日
キングダム ハーツⅡ	プレイステーション2	2005年12月22日
キングダム ハーツⅡ ファイナル ミックス	プレイステーション2	2007年 3月29日(※10)
キングダム ハーツ Re：チェイン オブ メモリーズ	プレイステーション2	2007年 3月29日(※10)

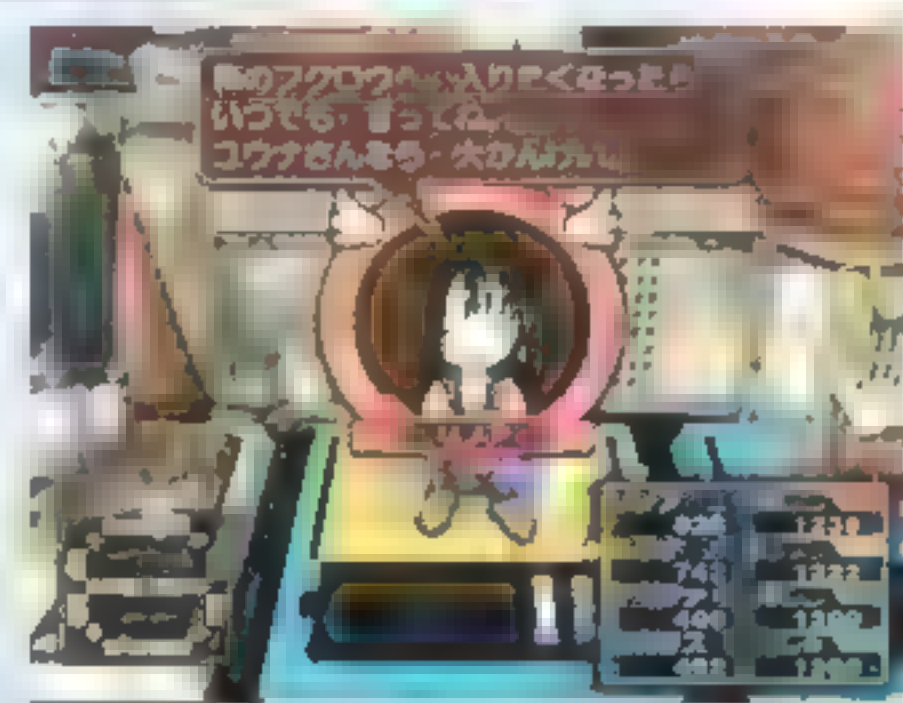
※10……『キングダム ハーツⅡ ファイナル ミックス＋』として2枚組で発売

ドラゴンクエスト&ファイナルファンタジー in いただきストリート Special

機種 プレイステーション2
発売日 2004年12月22日

ドラゴンクエスト&ファイナルファンタジー in いただきストリート ポータブル

機種 プレイステーション・ポータブル
発売日 2006年5月25日

ボードゲーム『いただきストリート(以下、いたスト)』シリーズの5作目と6作目では、『ドラゴンクエスト』シリーズとともに『FF』シリーズのキャラクターやモンスターが出演している。マップのモチーフや音楽も、両シリーズのものが使用されているのが特徴だ。また、『いたストSpecial』では、当時はまだ発売前だった『FFXII』からヴァンやアーシェが登場して注目を集めた。

←各キャラクターは、『FF』本編を連想させるようなセリフをしゃべることがある。

『いたストSpecial』に登場

モーグリ、デブチョコボ、VIII スコール、VIII リノア、IX ビビ、X ティーダ、X ユウナ、X アーロン、X-2 ユウナ、X-2 リュック、X-2 パイン、XI タルタル

チョコボ、VII クラウド、VII ティファ、VII エアリス、VII セフィロス、IX エーコ、XII ヴァン、XII アーシェ

VII ユフィ、VIII キスティス、IX ジタン、XII バルフレア、XII フラン、XII パンネロ、XII バッシュ

『いたスト ポータブル』に登場

エアガイツ

機種 プレイステーション
発売日 1998年12月17日

『FFVII』キャラクターの6人がゲスト参戦しているのが、3Dタイプの対戦格闘ゲーム『エアガイツ』だ。各キャラクターは、『FFVII』のリミット技や、本人にちなんだ名前の技などを駆使してバトルをくり広げる。なお、プレイステーション版に先駆けて、1998年2月にはアーケード版がナムコ(現バンダイナムコゲームス)からリリースされたが、そちらにはクラウドとティファだけが登場。

←クラウド、ティファ、ヴィンセントには、特別なコスチュームが用意されている。

VII クラウド、VII ティファ、VII ユフィ、VII ヴィンセント、VII セフィロス、VII ザックス

『半熟英雄』シリーズ

『半熟英雄』シリーズは、ギャグとパロディが満載のリアルタイム・シミュレーションRPG。このシリーズの2作目以降では、兵士を率いる将軍としてスクウェア・エニックスの他作品のキャラクターたちが友情出演しており、『FF』シリーズからも多数登場。また、将軍以外でも『FF』関連のキャラクターが姿を見せることがある。

←友情出演とは言うものの、キャラクターのグラフィックは、ほかの将軍たちと共通。

→エッグモンスターとして登場するモーグリの姿はダジャレになっていて……。

将軍として友情出演

出演作	キャラクター
第2～4作	II フリオニール、レオンハルト IV カイン、リディア、エッジ(※1)
第3～4作	I ガーランド、マトーヤ　II ミンウ III デッシュ　IV セシル、ローザ V バッツ、レナ、ギルガメッシュ VI ティナ、ロック、ゴゴ VII クラウド、ティファ、エアリス、ユフィ、セフィロス VIII スコール、リノア、セルフィ、サイファー IX ジタン、ガーネット、ビビ、スタイナー X ティーダ、ユウナ、ワッカ(※2)
第4作のみ	II ヒルダ XI ラオグリム、コーネリア、カムラナート、アルド、マート XII ヴァン、アーシェ、バルフレア、フラン

※1……エッジは第2作のみに登場　※2……ワッカは第3作のみに登場

そのほかの登場キャラクター

キャラクター	役どころ
モーグリ	第2～4作でエッグモンスターとして登場
チョコボ	第2作ではゲストとしてイベントに登場、第3～4作ではエッグモンスターとして登場
IV パロム、ポロム	第2作でゲストとしてイベントに登場

◆『半熟英雄』シリーズ作品

タイトル	機種	発売日
半熟英雄	ファミリーコンピュータ	1988年12月 2日
半熟英雄 ああ、世界よ半熟なれ…!!	スーパーファミコン	1992年12月19日
半熟英雄 対 3D	プレイステーション2	2003年 6月26日
半熟英雄4 ～7人の半熟英雄～	プレイステーション2	2005年 5月26日
エッグモンスターHERO(※3)	ニンテンドーDS	2005年 3月24日

※携帯電話版『半熟英雄モバイル』もある(現在はサービス終了)　※3……外伝作品で、ジャンルはRPG

そのほかのおもなタイトル

タイトル	登場キャラクター	解説
『聖剣伝説』シリーズ	チョコボ、モーグリ	チョコボはモンスターやペット、モーグリは村人のほかにステータス異常としても登場
マリオバスケ 3on3	シロマ(白魔道士)、クロマ(黒魔道士)、ニンジャ、モーグリ	条件を満たすと使用できる隠しキャラクター。ほかにもサボテンダーが出演している
クロノ・トリガー	ビッグス、ウェッジ	ミニゲームに登場。『FFVI』の世界から時空を越えて飛ばされてきたという設定
トバル2	チョコボ	クエストモードの特定のダンジョンをクリアすると使用できる隠しキャラクター
ファンタジーアース ゼロ	ビッグス、ウェッジ	ビッグス(作中ではビックス)はマネージャー、ウェッジ(女性)は店員として登場
パラサイト・イヴ	VII クラウド、エアリス	背景にイラストが使われている
バウンサー	VIII アンジェロ	シオンが着ているパーカーの背中のエンブレムやドミニクが持っている人形のモチーフ
アナザー・マインド	VII クラウド　VIII スコール	図書館で読める新聞の4コママンガに登場
『スライムもりもりドラゴンクエスト』シリーズ	シド	メガネをかけた発明家のももんじゃ「シドもじゃ」として登場

FINAL FANTASY X
ファイナルファンタジーX

ファイナルファンタジーX

作品概要

対応機種をプレイステーション2に移した最初の作品。ボイスや表情による心理描写が実現し、映画風の演出が積極的に採り入れられている。アジアンテイストあふれる世界観のほか、戦略性の高いカウントタイムバトルやスフィア盤による成長システムも話題になった。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーX	プレイステーション2	2001年 7月19日	9,240円(税込)	※1
ファイナルファンタジーX インターナショナル	プレイステーション2	2002年 1月31日	8,190円(税込)	※2 ※3
ファイナルファンタジーX／X-2 アルティメットボックス	プレイステーション2	2005年 9月 8日	5,880円(税込)	※3

※1……MEGA HITS!版が2003年1月16日に5,040円(税込)、アルティメットヒッツ版が2005年9月8日に2,940円(税込)で発売
※2……アルティメットヒッツ版が2007年1月25日に2,940円(税込)で発売
※3……映像作品「ファイナルファンタジーX アナザーストーリー　永遠のナギ節」が同梱(アルティメットヒッツ版「FFX インターナショナル」をのぞく)

FINAL FANTASY X INTERNATIONAL
■インターナショナル版

STORY

「死の螺旋」を終わらせるべく若者たちは物語をつむぐ

大いなる脅威『シン』に人々がおびえて暮らす、死の螺旋にとらわれた世界スピラ。一般の民はエボン寺院に心のよりどころを求め、召喚士たちは「命と引きかえに発動される究極召喚こそ『シン』を倒す唯一の手段」とする寺院の教えを信じ、スピラに平穏をもたらすべく旅に出る。究極召喚でも『シン』は完全には死なず、倒されるたびに一定の期間を経て復活するが、それでも『シン』の出現しない時期――ナギ節は、人々の心につかの間の安息をもたらしていた。

ビサイド村の少女ユウナも、ナギ節をもたらそうと決意した召喚士のひとりだった。異世界ザナルカンドからスピラへと迷いこみ彼女と出会った少年ティーダは、召喚士を守る「ガード」として、とまどいながらもユウナに同行する。『シン』に立ち向かう討伐隊の壊滅、明かされる『シン』の正体、そして寺院の裏切り――旅のなか、衝撃の出来事が幾度となくティーダたちを襲うが、彼らはそれを乗り越え、スピラに平和をもたらすべく、自分たちの物語をつむごうとする。

FINAL FANTASY X 人物相関図

討伐隊

チョコボ騎兵隊

ルチル

慕う

エルマ

クラスコ

チャップ

元恋人

兄弟

ガッタ

慕う

ルッツ

幼なじみ

アルベド族

リン

協力

シド

親子

兄妹

アニキ

リュック

ユウナの母

夫婦

親子

いとこ

ユウナ一行

ルールー

姉がわりに面倒を見る

ユウナ

守るべき者

求婚する

幼なじみ

兄がわりに面倒を見る

大切な存在

ワッカ

世話を焼く

ティーダ

親子

ロンゾ族

キマリ

因縁の相手

ビラン

慕う

エンケ

因縁の相手

ケルク

10年前ユウナを託す

元親友

キノック

アーロン

あこがれ

バルテロ

恋人

ドナ

ドナ一行

マイカ

兄弟

あこがれ

イサール

マローダ

パッセ

イサール一行

シェリンダ

ブラスカ

ジェクト

ブラスカ一行

エボン寺院

シーモア

殺害

ジスカル

親子

仕える

トワメル

グアド族

夫婦

シーモアの母

かつて倒す

同化

同化をもくろむ

「シン」

かつて倒す

ユウナレスカ

倒そうとする

いろいろなことを語る

メイチェン

助言

謎の少年

ティーダ

Tidus

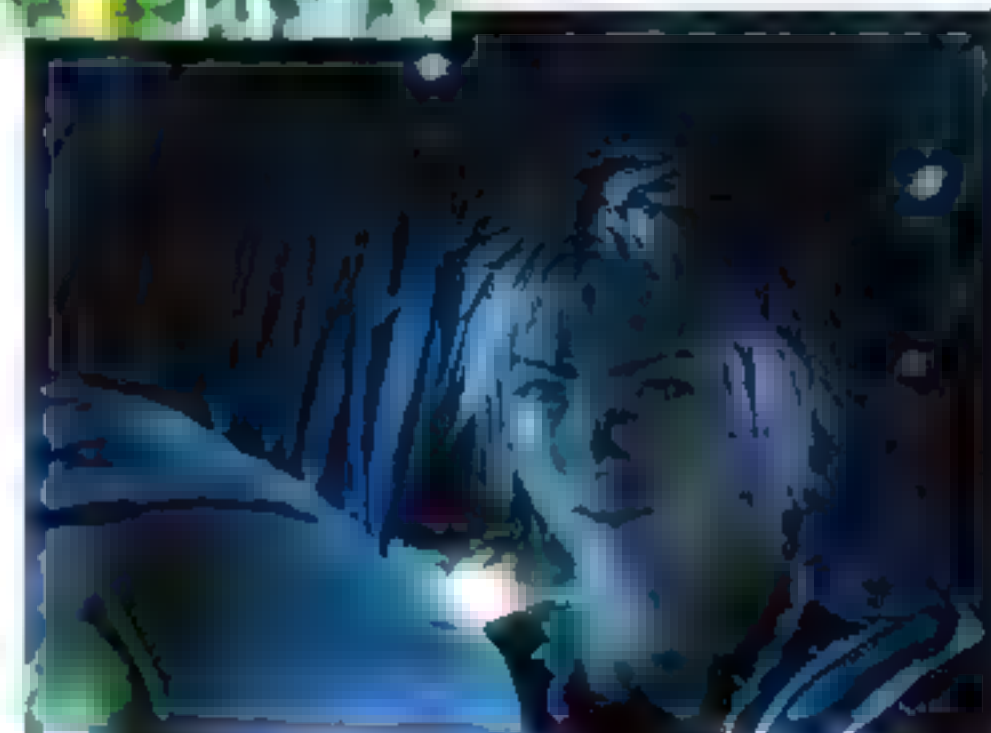
Personal Data

種族	ヒト(幻光体)	年齢	17歳
出身地	夢のザナルカンド	身長	175cm
性別	男	武器	剣
ボイスアクター	森田成一／中村颯斗(幼年期)		
モーションアクター	森田成一		

死の螺旋に終止符を打つべく全力で駆けた青年

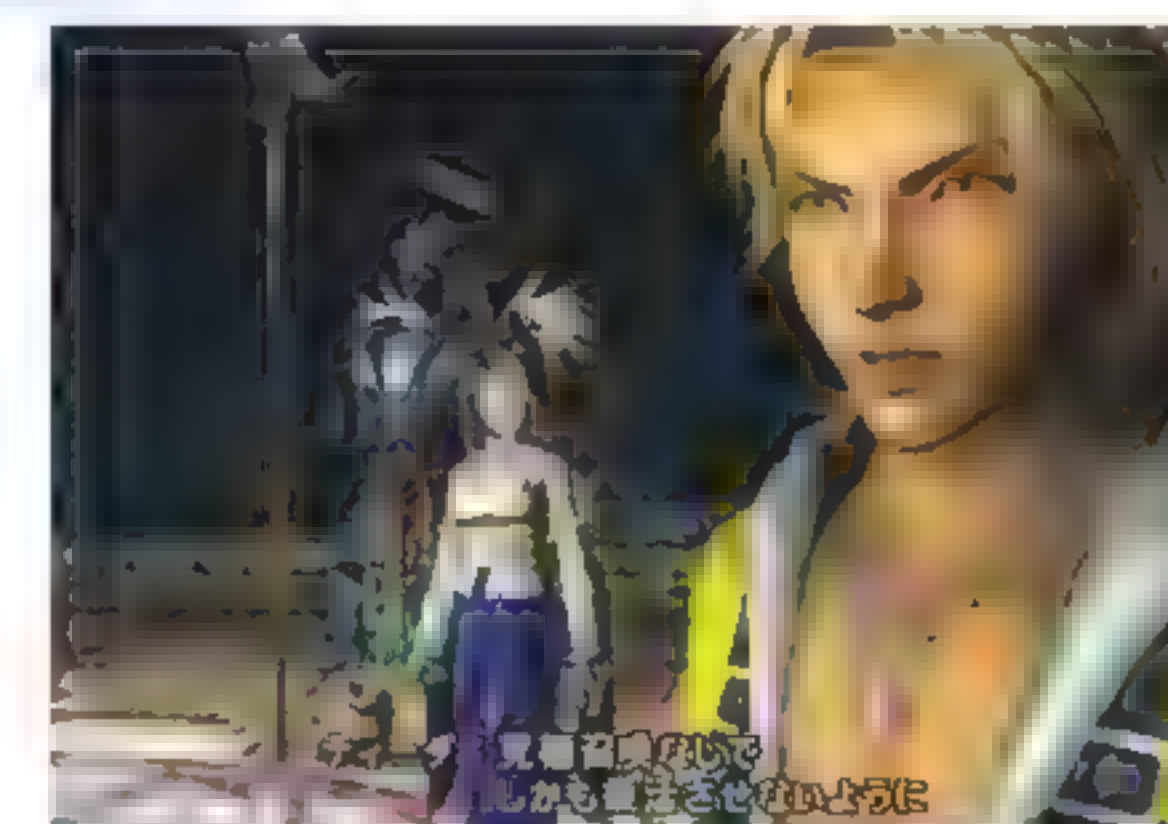
"眠らない都市"の異名をとる街ザナルカンドに暮らす、陽気で快活な青年。行方不明になっている伝説のブリッツ選手ジェクトの息子だが、父を嫌悪しており、比較されることを嫌う。災厄を振りまく魔物『シン』に襲われてスピラと呼ばれる世界へ迷いこみ、事情も飲みこめぬまま、召喚士の少女ユウナの旅に同行することになる。

当初は故郷へ帰りたいと願っていたが、『シン』の正体やスピラの情勢を知るにつれて、『シン』と戦う覚悟を少しずつ固めていく。ユウナの求める「究極召喚」が、術者本人の命と引きかえの行為だと聞き、彼女を死なせない道を懸命に模索。ユウナを死なせずに『シン』を倒す方法――『シン』を生み出す根源エボン＝ジュを倒すことが、自身の消滅を意味すると知っても最後まで戦った。

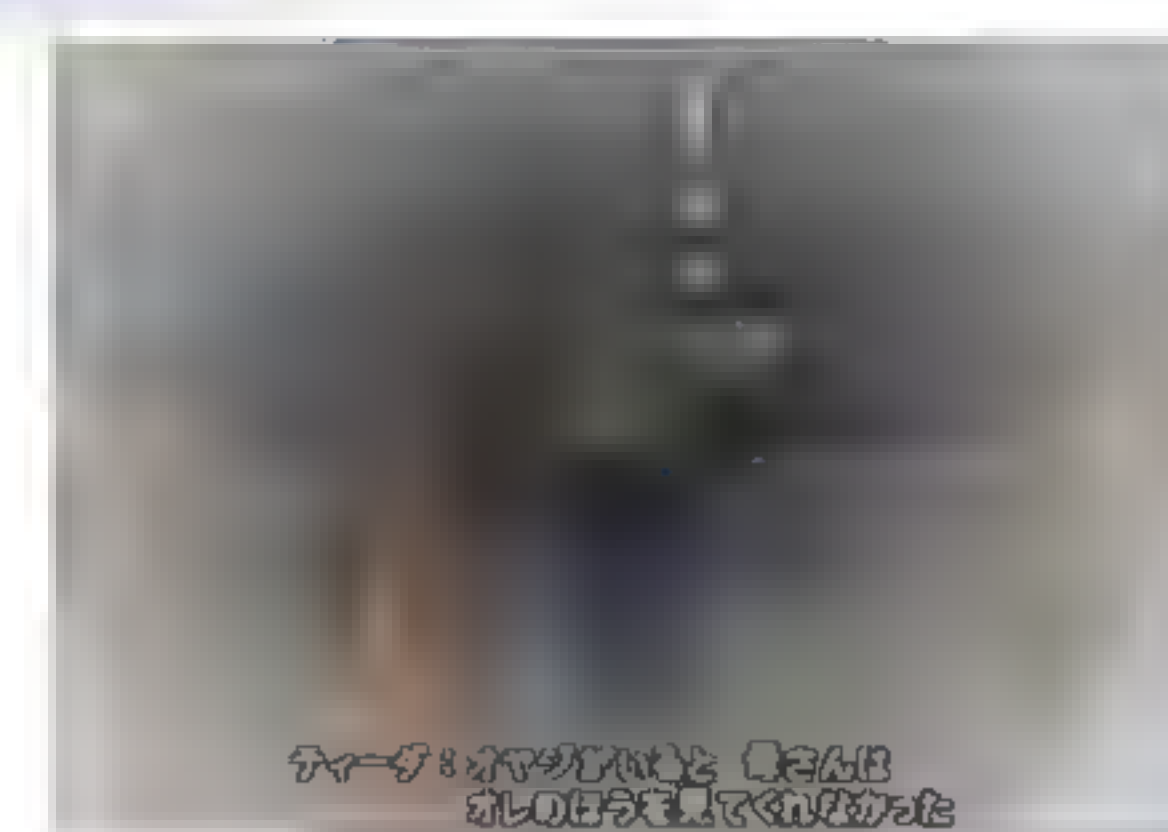
⬅夢のザナルカンドでは、ブリッツボールチーム「ザナルカンド・エイブス」のエースとして、大活躍していた。

➡ずっと信じていた寺院に裏切られたユウナを、優しく励ますティーダ。ふたりはお互いに想いを通わせて……。

Topics of Tidus

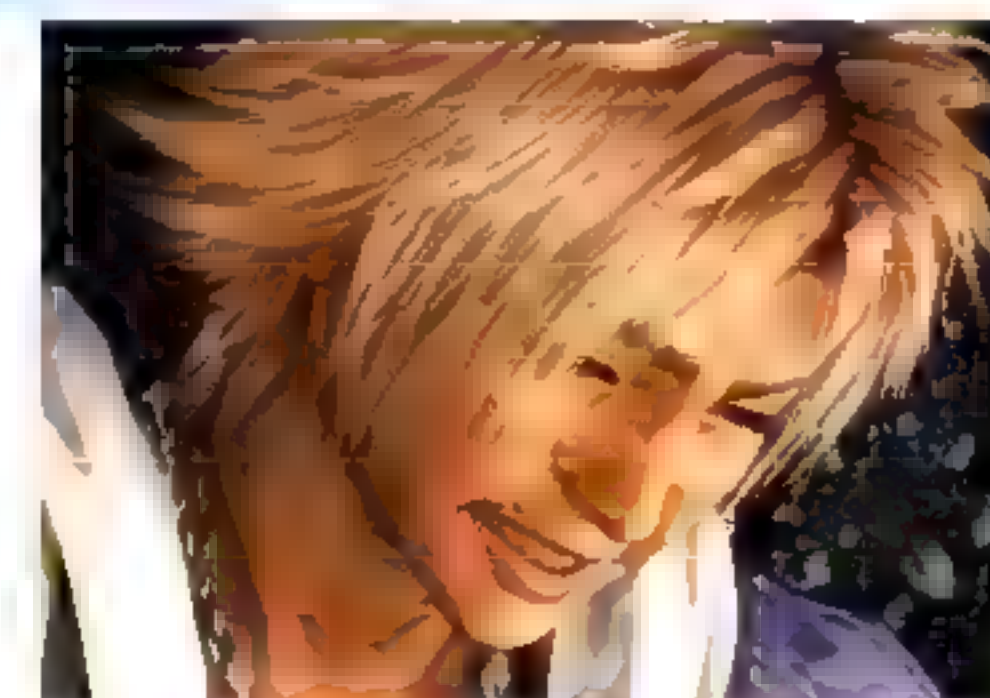
心のままに生きる青年

夢のザナルカンドからやってきたティーダは、エボンの教えをはじめとするスピラの常識を知らない。それゆえに、スピラの人々が疑いもしないことに疑問を抱き、異論を唱える。その姿勢は、はじめのうちこそ周囲からズレていたが、自分自身で解決策を考える力は物語終盤で大きな強みとなり、『シン』を完全に倒すべく、仲間たちを引っ張っていく。

⬆召喚士を死なせずに『シン』を倒すのは不可能とされていたが、ティーダはそれに挑戦する。

父親への反発心の正体

ティーダが父ジェクトを嫌うのは、高圧的で他者を見くだす父の態度が気に入らなかったから。そんな父が人々の人気を集めていたことも不満だった。しかし、根底にあった理由は、いまは亡き母がジェクトの相手ばかりすることに、ティーダがさびしさを覚えたからだ。旅の途中、父にやつあたりしていただけだと気づいたティーダは、この気持ちに整理をつける。

⬆母が父とばかり話し、自分を見てくれないというさびしさから、無意識のうちに父を嫌うようになった。

泣き虫ティーダ

ティーダは幼いころから泣き虫で、ジェクトに散々からかわれていた。成長してあまり泣くことはなくなったが、涙もろいのは相変わらずで、異界で母親と対面したときなど、旅のなかでも幾度となく涙ぐむ。

➡『シン』を倒し、父親と向かい合ったときも、涙がせきを切ったように流れた。

Impressive Words

スピラを訪れた当初は未知の世界に放りこまれた不安を抱えていたが、しだいに持ち前の明るさと行動力を取りもどす。素直な気持ちを飾らずに吐き出し、その言葉が仲間たちを前に進ませることも多い。

「最後かもしれないだろ？　だから、ぜんぶ話しておきたいんだ」

――オープニングほか：旅の終わりを間近に迎え、思い出話を語り出す

「そこにユウナがいる。だったら助けに行く。そんだけッスよ！」

――飛空艇：厳重な警備網が張られるベベルに向かおうとして

「青くてもいい！　オトナぶってカッコつけてさ、
言いたいことも言えないなんて絶対イヤだ！」

――エボン＝ドーム：青臭いことを言うなとさとすワッカに言い返し

「勝手で悪いけどさ！　これがオレの物語だ！」

――「シン」の体内：エボン＝ジュとの最後の戦いを前に

ユウナ
Yuna

Personal Data

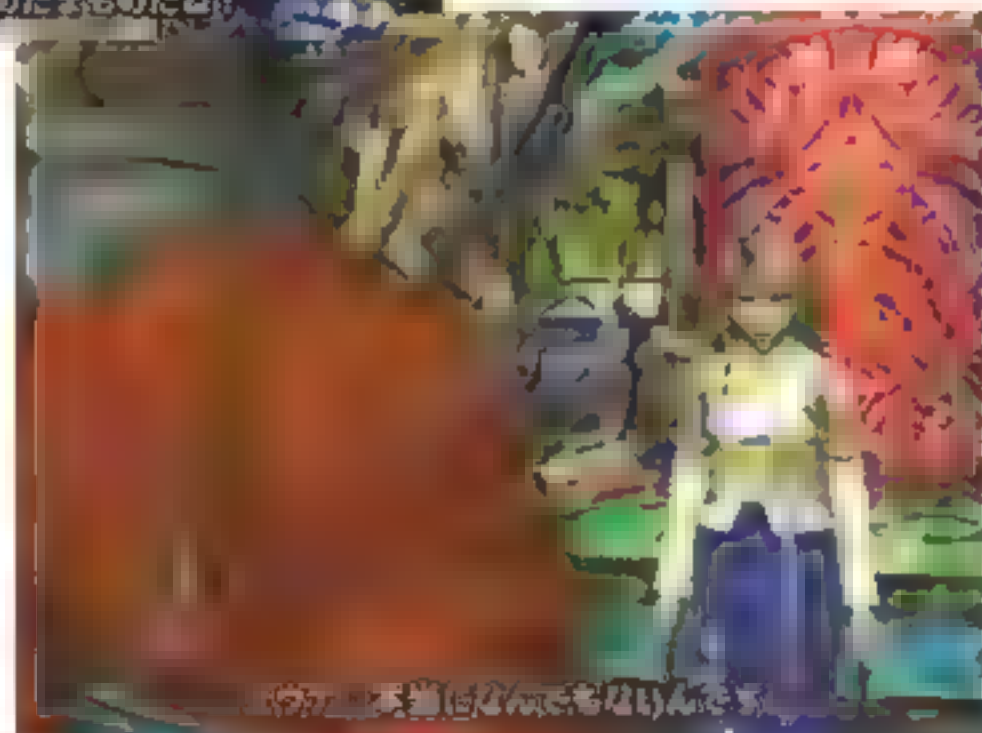
種族	ヒトとアルベド族とのハーフ	年齢	17歳
出身地	ベベル	身長	161cm
性別	女	武器	杖
ボイスアクター	青木麻由子		
モーションアクター	青木麻由子		

重い宿命を背負った召喚士の少女

10年前に『シン』を倒した大召喚士ブラスカの娘。7歳のときに父を失い、キマリに連れられビサイド村へとやってきた。村に住むワッカやルールーに面倒を見てもらいながら育ち、父と同じく召喚士としての道を選ぶ。『シン』を倒しスピラに平和をもたらすため、各地の寺院をめぐる修行の旅に出発。周囲の期待を裏切るまいと、つねに明るく振る舞うことを意識しており、つらさや悲壮感を見せないよう努めている。

旅の途中、正当防衛とはいえエボンの老師シーモアを手にかけ、反逆者の身となってしまう。一時は打ちひしがれたが、寺院に頼らず『シン』を倒そうと決意。『シン』を倒す「究極召喚」が自分だけでなく仲間の命も犠牲にすること、そしてその場しのぎの手段に過ぎないことを知り、別の方法による根本的な解決を目指していく。

⬅父親同士が友人だったこともあり、ジェクトの息子ティーダには、出会って間もなく特別な感情を抱くようになる。

➡仲間に心配をかけまいとして問題をひとりで抱えこむなど、甘え下手な性格。隠しごとやウソをつくのは苦手だ。

Topics of Yuna

ティーダの前ではふつうの女の子

まわりの誰からも「大召喚士の娘」として見られていたユウナにとって、ティーダは自分をふつうの女の子として見てくれたはじめての存在。彼と一緒にいるときは、召喚士の過酷な宿命さえも忘れ、自由に未来を思い描くことができた。「召喚士は究極召喚によって命を落とす」という事実をティーダに隠していたのも、彼との楽しい時間を壊したくなかったからだ。

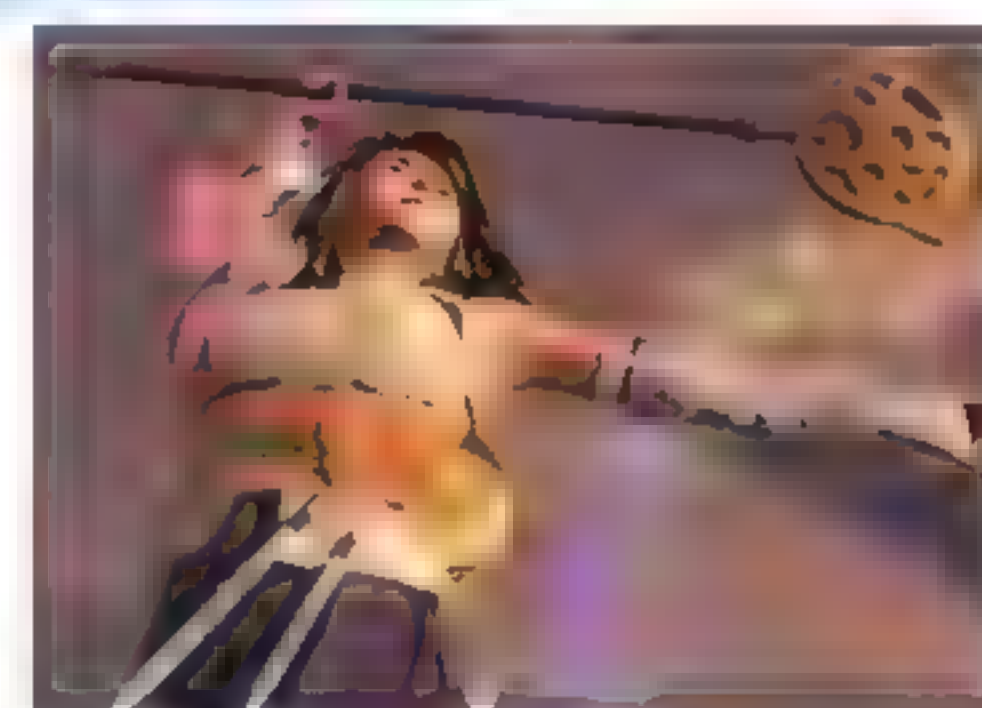
⬆『シン』を倒すと同時に死んでしまうはずのユウナに、未来の話をしてくれたのはティーダだけだった。

ふたりをつなぐ指笛

ユウナはルカでティーダから指笛を教わり、わずかな期間で習得してみせる。この指笛はもともと、人ごみではぐれたときのための合図だったが、「指笛が聞こえたら相手のもとへ駆けつける」という約束を交わしたことで、ふたりにとっては特別なサインとなった。以降、マカラーニャの森などで、ふたりだけにわかる合図として指笛が使われる。

⬆『シン』を倒したあと、海に向かって指笛を吹きつづけるユウナ。理由はもちろん、"彼"を呼ぶため。

哀しい踊り"異界送り"

召喚士は『シン』を倒すほかにも、異界送りという儀式を行なう役割をになう。異界送りは、死者が魔物にならないよう、迷える魂を異界へ導くというもの。悲しみに耐えつつ、ユウナはこの儀式を幾度も行なう。

⬅ユウナの初の異界送りは、キーリカで『シン』の犠牲となった人々のために行なわれた。

Impressive Words

召喚士の使命という重圧につぶされぬよう、ふだんから自分を厳しく律しており、決意に満ちた言葉が多い。一方、ティーダや仲間たちとの何気ない会話のなかには、等身大の少女としての素顔が垣間見られる。

「わたし、『シン』を倒します。かならず倒します」
――ポルト＝キーリカ：『シン』による被害を目の当たりにして

「はい、じゃあ笑顔の練習!」
――ルカ：暗い表情のティーダに「笑って旅をしたい」と告げる

「まやかしの希望なんか、いらない……!」
――エボン＝ドーム：究極召喚では『シン』を完全には倒せないと知り

「ひとつだけお願いがあります。
いなくなってしまった人たちのこと、時々でいいから……思い出してください」
――エンディング：永遠のナギ節の到来をスピラの民に報告して

ワッカ
Wakka

Personal Data			
種族	ヒト	年齢	23歳
出身地	ビサイド村	身長	188cm
性別	男	武器	ボール
ボイスアクター	中井和哉		
モーションアクター	菊間秋彦		

エボンの教えに従順な熱血ファイター

旅をする召喚士の護衛役「ガード」を務める青年。ブリッツボールチーム「ビサイド・オーラカ」のキャプテン兼コーチでもある。幼なじみのルールーや弟のチャップとともに、ユウナの面倒を見てきた。妹同然のユウナを守るため、そして1年前に『シン』に立ち向かって命を落とした弟の仇を討つため、ユウナのガードとして『シン』を倒す旅に出る。

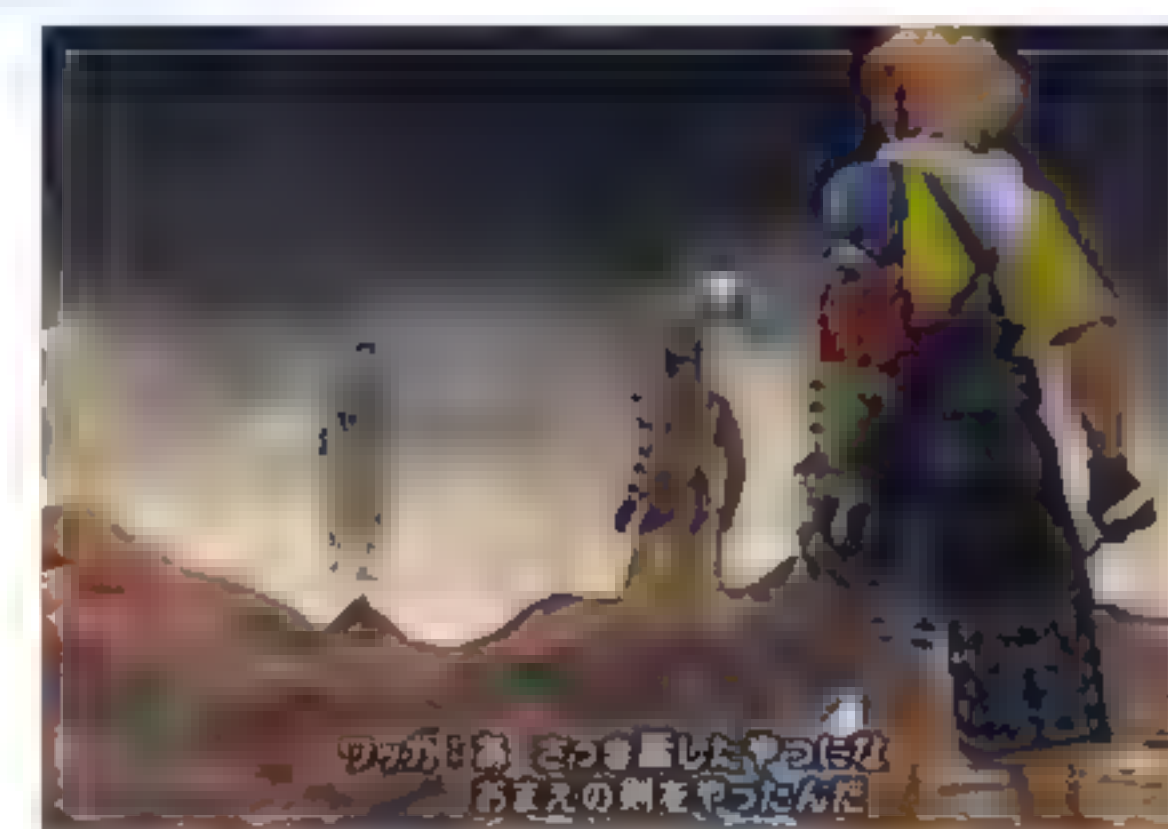
裏表がなく、世話好きな兄貴分といった存在だが、現実から目をそむけがちで、ルールーから厳しい言葉を受けることもしばしば。エボンの教えを守ろうとするあまり意固地になりやすく、教えに反するものを毛嫌いしていた。しかし、教義を陰で裏切る寺院の実態や、召喚士を守ろうとするアルベド族の姿など、旅を通じてさまざまなものを知り、少しずつ考えを改めることになる。

⬅ティーダに弟チャップの面影を重ねるワッカ。弟のために用意した剣フラタニティを渡すなど、何かと世話を焼く。

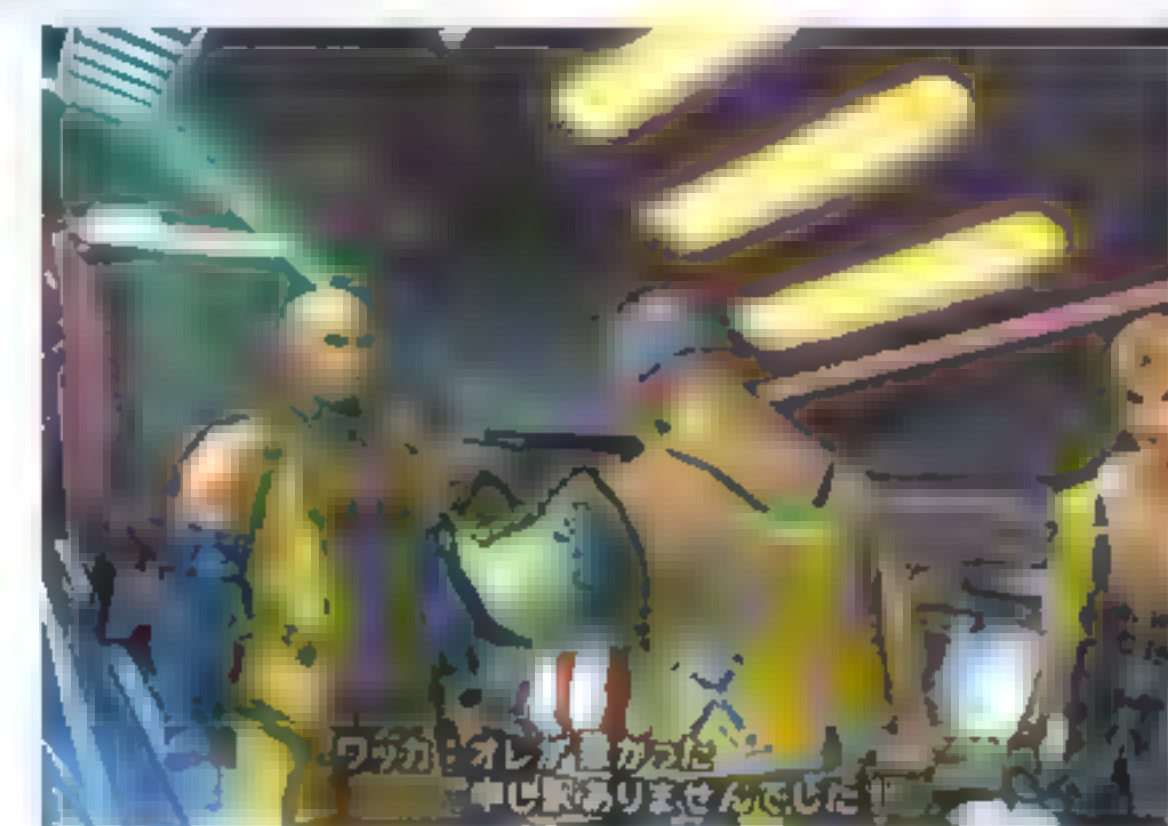
➡うやまうべきエボンの老師シーモアとやむなく戦うハメに。結果として老師を殺めてしまい、罪の意識にさいなまれる。

Topics of Wakka

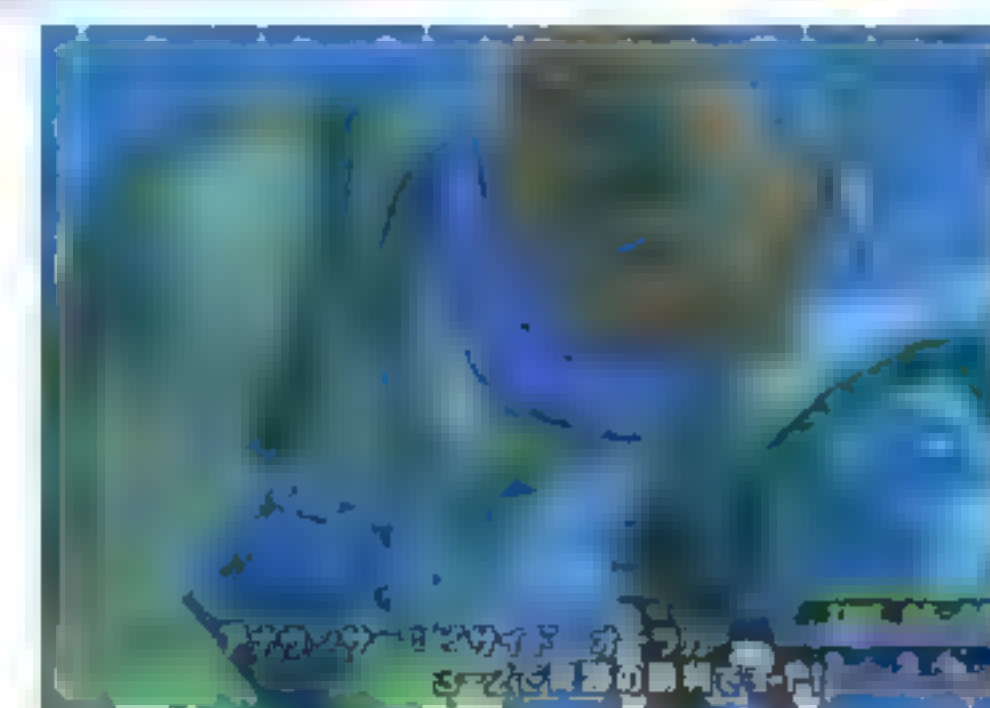
いまは亡き最愛の弟

弟チャップは、幼いころ『シン』に両親を奪われたワッカの唯一の肉親だったが、1年前に命を落とした。何をするときも兄弟一緒だったワッカにとって、弟を失ったという事実は容易には受け入れられない。弟の面影を宿したティーダと出会い、「弟もどこかで生きているのでは」という幻想にも近い希望を抱くが、その甘い考えはルールーに一蹴される。

⬆異界でチャップの幻影と対面したとき、ワッカはようやく弟の死を受け入れ、前へ進む覚悟を決めた。

アルベド族へ偏見を持つ理由

スピラの民はエボンの教えを重んじるが、ワッカはその傾向が顕著で、教えに反する機械や、機械を使うアルベド族をとにかく嫌悪していた。また、チャップが機械を使った作戦で戦死したことも、アルベド族を避ける一因だ。しかし、自分がアルベド族についてじつは何も知らず、理解しようともせずに嫌っていたことに気づき、彼らへの意識を変えていく。

⬆「アルベド＝悪」と思いこんでいたが、最終的には自身の非を認め、アルベドの族長シドに頭を下げる。

ブリッツへの熱き思い

10年間ブリッツボールの選手としてプレイしながら、大会では1勝もできなかったワッカ。引退を決意してもなお未練が残り、せめて最後の大会は勝ちたいという思いから、ワッカはティーダに助力を求める。

⬅旅の途中でルカのブリッツ大会に出場。死力を尽くして戦い、見事に勝利を収めた。

Impressive Words

基本的には陽気で面倒見の良い人物だが、ときおり現実逃避に走る弱さを見せることも。「教えを守る」「機械は許さない」と口にすることで、自分の考えを正当化し、自己防衛を図っているフシがある。

「照れるから、や〜めれ〜!」
——ビサイド村：世話をしてくれてありがとうとティーダに感謝されて

「オレだって、弟の代わりなんてできねぇんだよ……」
——キーリカ寺院：ルールーにティーダはチャップのかわりではないと言われ

「教えに従って暮らしていれば、いつかはつぐなえるんだよ!」
——マカラーニャ湖：リュックとの口論中、人が罪をつぐなえば「シン」は復活しなくなると主張し

「オレ……アルベドのこと、なんにも知らなかった。よく知らないくせに、話聞こうともしねえで……毛ギライしてたんだ」
——飛空艇：アルベド族への偏見を反省して

ルールー
Lulu

Personal Data			
種族	ヒト	年齢	22歳
出身地	ビサイド村	身長	167cm(※1)
性別	女	武器	ぬいぐるみ
ボイスアクター	夏樹リオ		
モーションアクター	吉田羊右子		

※1……ハイヒールとまとめ髪の高さを合わせて175cm

漆黒の衣をまとった 厳しくも優しいユウナの“姉”

ユウナのガードを務める黒魔道士。ワッカの幼なじみであり、彼の弟チャップとは恋人同士だった。過去に二度、ガードとして召喚士に同行した経験があるものの、どちらも『シン』を倒すという目標を果たせないまま旅を終えている。厳しい表情を浮かべることが多く、冷たい雰囲気を漂わせるが、実際は心優しい女性で、ユウナにとっては姉がわりと言える存在。

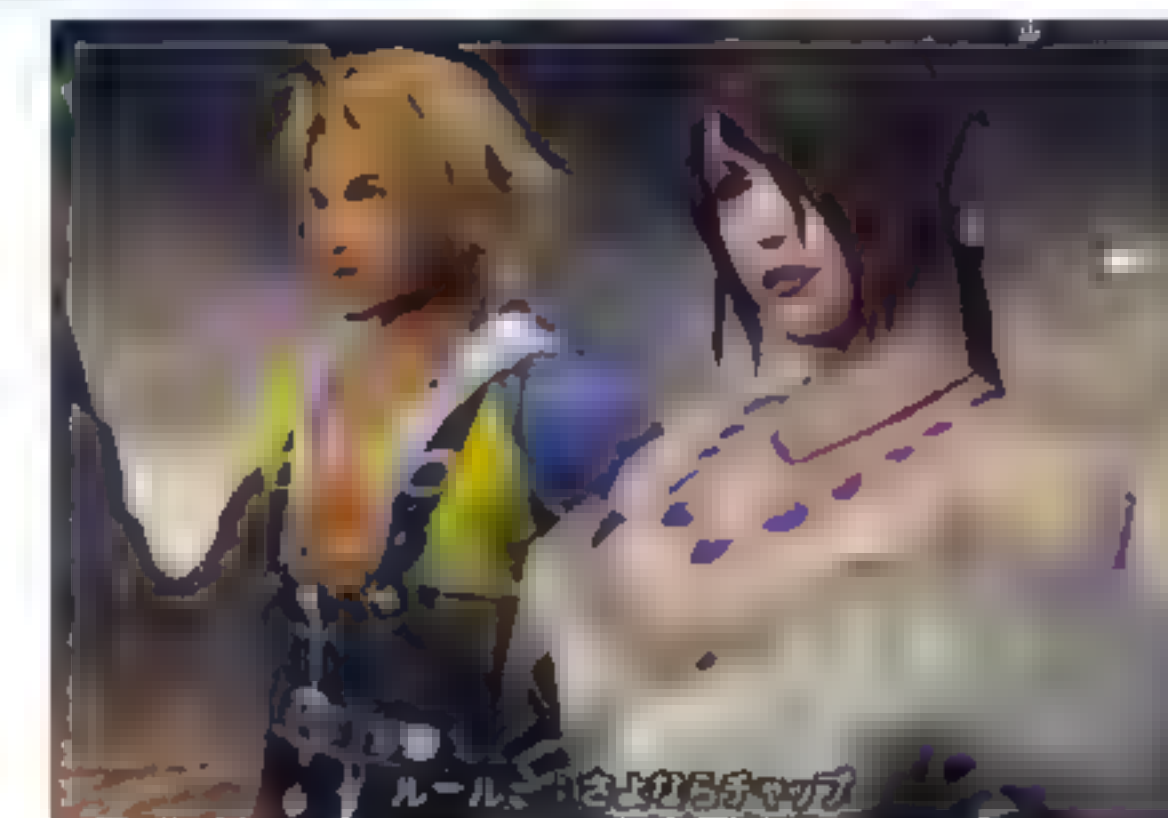
二度に渡るガードの経験を通じて豊富な知識を得ており、スピラについて何も知らないティーダに常識を説くなど、旅先における案内人としての役割を果たす。しかし、一行が究極召喚を捨てる道を選んでからは、知恵袋的な役割を終えることに。自分が持つ知識から離れ、仲間たちとともに悩み考えながら、ユウナを死なせずに『シン』を倒す方法を探っていく。

⬅安易に甘い考えに走るワッカに厳しい言葉を放つのは、彼だけでなく自分自身をも現実から逃げぬよう叱咤するため。

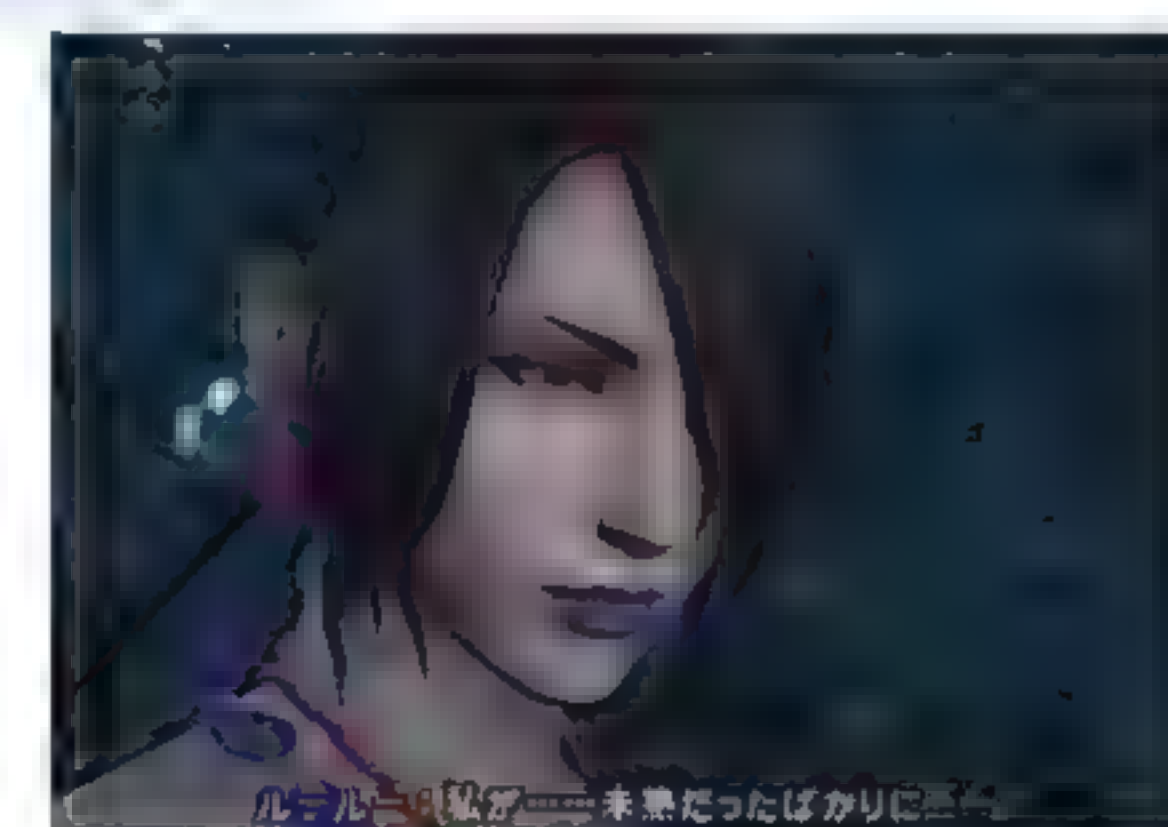
➡幅広い知識を持ちながらも、自分にはまだ知らないことが多いと考え、ティーダの突拍子もない話にも耳を傾ける。

Topics of Lulu

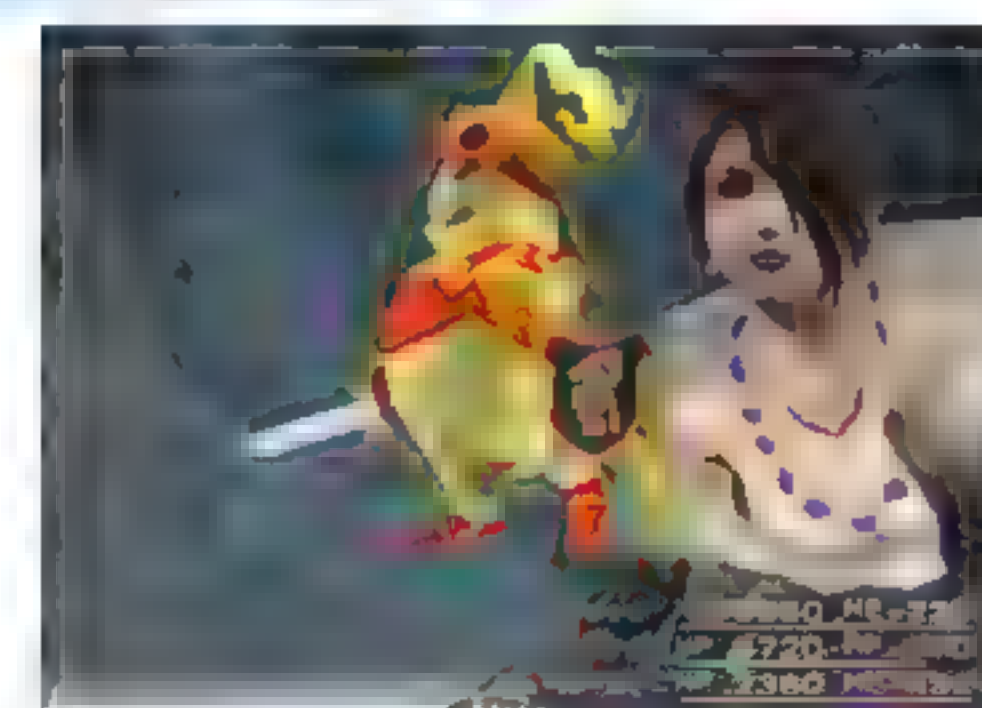
■亡き恋人への想い

ルールーの恋人だったチャップは、『シン』と戦って帰らぬ人となった。弟の死を受け入れようとしないワッカに、ルールーは声を荒らげるが、チャップの死に打ちひしがれているのは彼女も同じだ。ルールーがワッカへ向けた「誰もチャップのかわりにはなれない」という言葉は、失った恋人の代役を別の人に求めぬようにという、自分自身への戒めでもある。

⬆異界で弟の死を乗り越えたワッカを見つめ、ルールーもチャップとの思い出を胸に、前へ進む決意をする。

■二度に渡る過去の失敗

ルールーがガードを務める召喚士はユウナが3人目で、過去2回の旅はどちらも失敗に終わっている。とくに、はじめてガードを務めたときは、守るべき召喚士ギンネムを死なせてしまい、ガードとしての役目を果たせなかったという強い自責の念を抱くことになった。ユウナたちとの旅において、ルールーはそんな過去に背負った心の傷と向き合うことになる。

⬆ナギ平原の洞窟で魔物と化したギンネムと再会。己の無力をわび、彼女を安らかに眠らせるために戦う。

■ルールーのぬいぐるみコレクション

大人の雰囲気漂うルールーの武器は、ぬいぐるみというかわいらしいもの。これはルールーの趣味らしく、モーグリやサボテンダーといった、歴代『FF』シリーズのキャラクターのぬいぐるみを携えてバトルに挑む。

⬅七曜の武器である「ナイト・オブ・タマネギ」のモチーフは、『FFIII』のたまねぎ剣士だ。

Impressive Words

物語序盤は冷たい印象を与えがちなキツめの言葉が多いが、それらは少しずつ減っていく。逆に、心の弱さを感じさせるセリフがしだいに増え、迷いやすく打たれ弱い彼女の本来の性格が現れてくる。

「だって？　でも？　……聞きあきたわ」
――ビサイド村：何かと言い訳をしたがるワッカにいらだち

「よけいなお世話かもしれないけど、ユウナを好きになっちゃダメよ」
――グアドサラム：シーモアとユウナの結婚に異を唱えるティーダにクギを刺す

「もっと悲しいと思ってた。人と別れることに慣れすぎたのかな」
――盗まれた祈り子の洞窟：魔物と化したギンネムを異界へ送り

「ユウナは……強くなった。私は……泣き言を言わずにいるのが、せいいっぱい」
――ガガゼト山：ロンゾ族に己の決意を語ったユウナを見て

キマリ

Kimahri Ronso キマリ＝ロンゾ

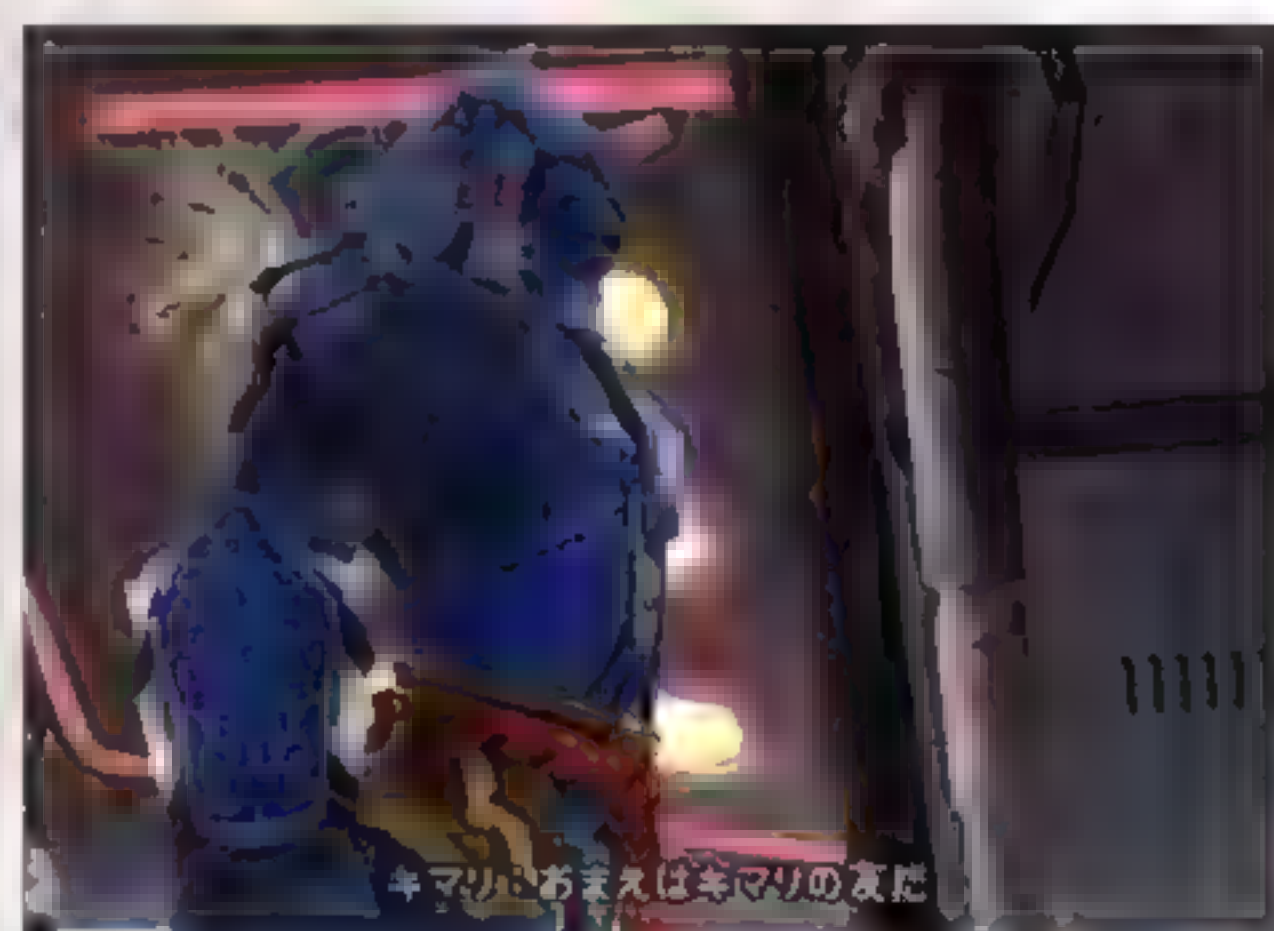
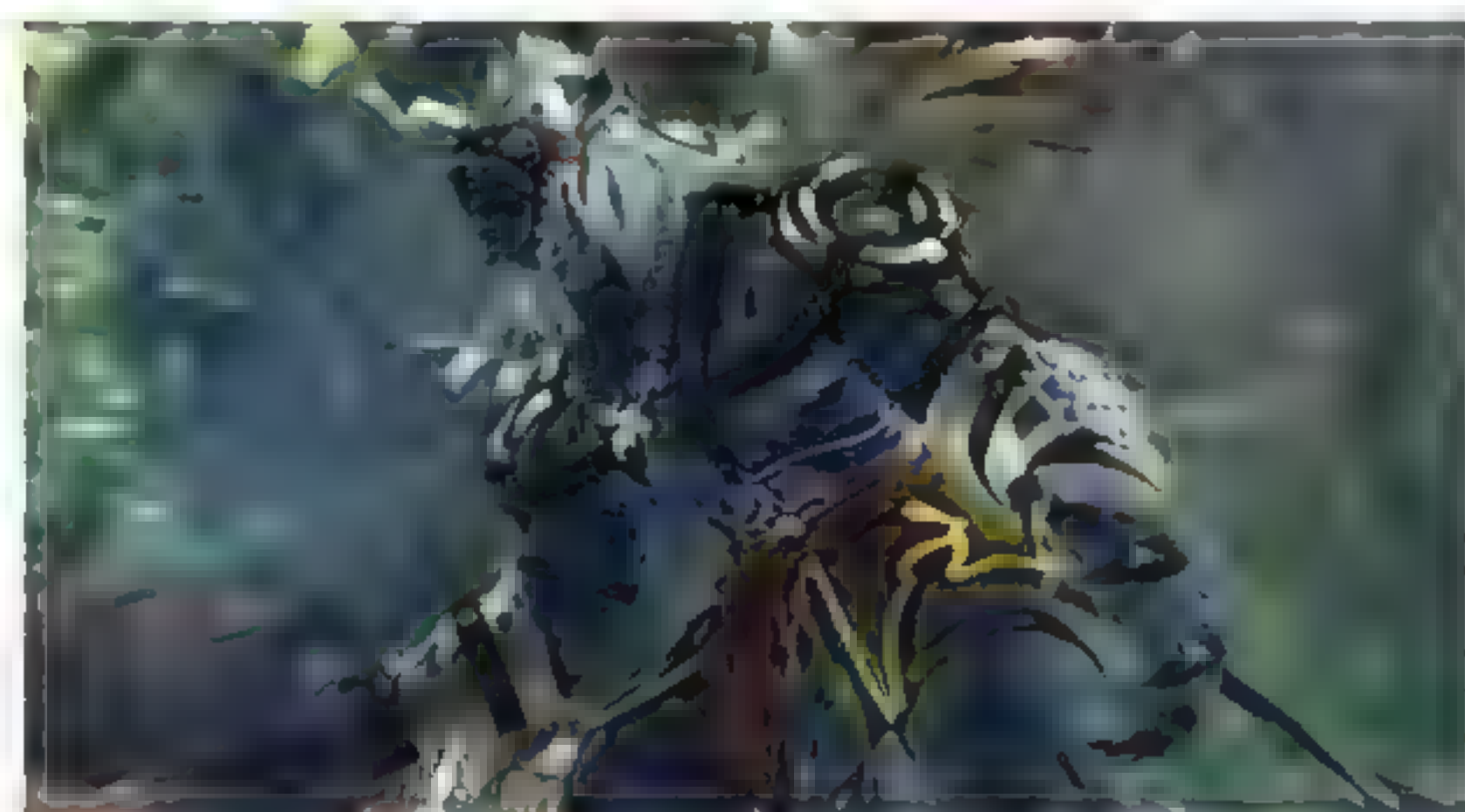
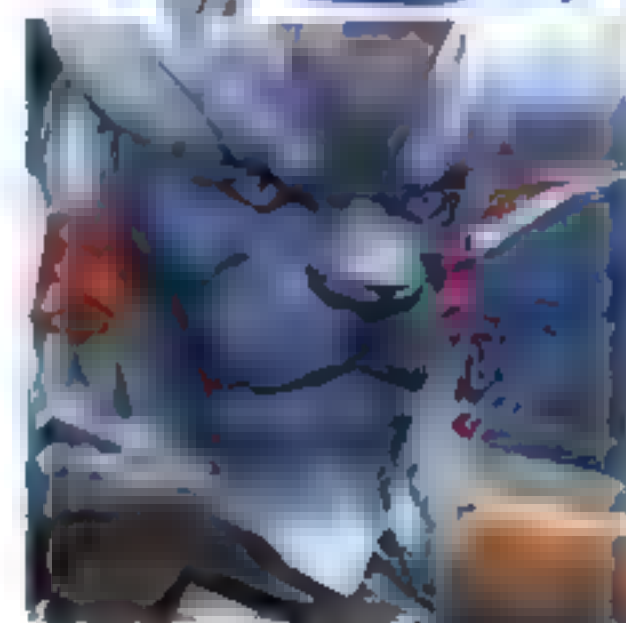
Personal Data

項目	内容	項目	内容
種族	ロンゾ族	年齢	25歳
出身地	ガガゼト山	身長	204cm
性別	男	武器	槍
ボイスアクター	長 克巳		
モーションアクター	村田鉄信		

ユウナを守ることにすべてを捧げた誇り高きロンゾの戦士

ユウナのガードを務める、ロンゾ族の青年。10年前に一族の誇りの象徴であるツノを折られ、恥に耐えかねて故郷ガガゼトから逃げ出した。その後、アーロンの頼みでユウナをビサイド村へ連れてきて以来、ずっと彼女を守りつづけている。寡黙で、自分が認めた相手にしか口を開かず、仲間からも何を考えているかわからないと言われるほど無表情だが、ユウナを守ろうという意志は強い。

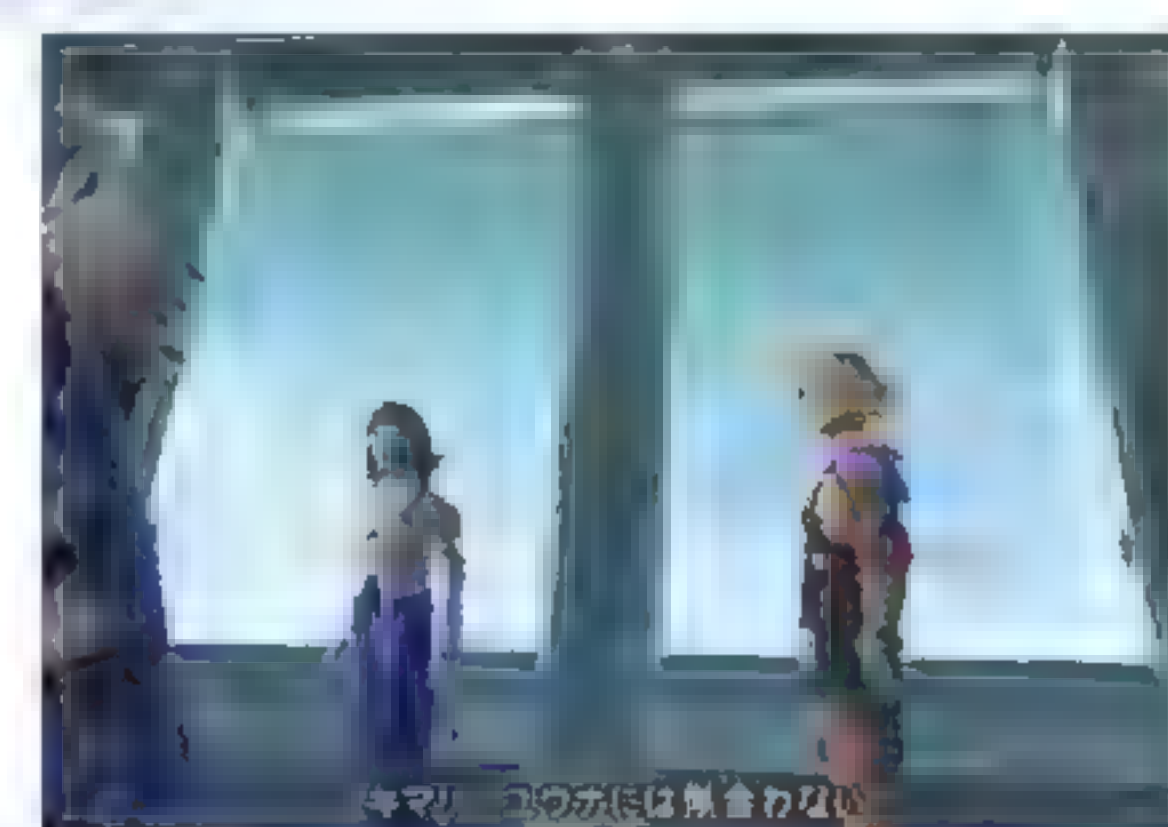
旅の当初、ユウナに近づくティーダを警戒していたが、彼が信頼に足る人物だということを、少しずつ認識していく。故郷ガガゼトに帰還したときに、ツノを失った苦い過去と決別。その後ロンゾ族の同胞の死という悲しみを乗り越え、仲間とともにザナルカンドへと向かった。

⬆ユウナを守ることがキマリのすべて。つねに矢面に立ち、彼女を守るためならどんな身の危険でもいとわない。

⬅旅を通じて少しずつティーダの人間性を認めていき、やがては「ユウナを守りたい」という思いを共有する同志に。

Topics of Kimahri

ビランたちとの確執

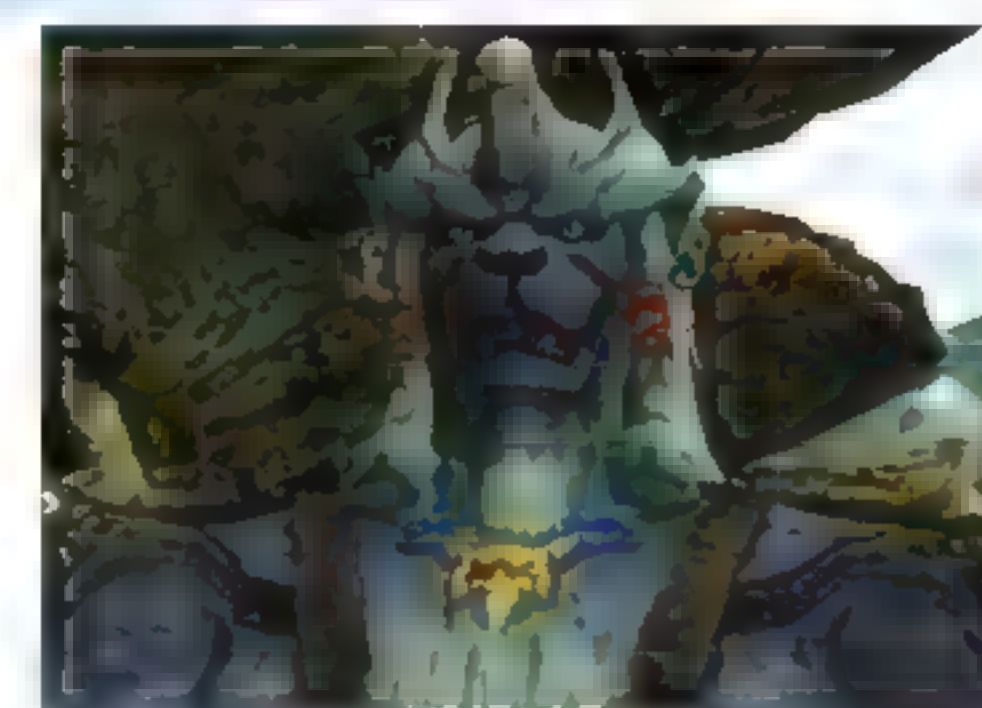
キマリのツノを折ったのは、ロンゾ族でも屈指の猛者であるビランだ。ビランとその子分エンケのふたりとは、ルカで再会したのを皮切りに、旅の途中で何度か顔を合わせることになる。長いあいだビランに侮辱されつづけてきたキマリだったが、故郷ガガゼトでは自身の誇りをかけてビランとエンケに単身戦いを挑み、見事に己の力を証明してみせた。

⬆ロンゾ族にしては小さな身体と折れたツノをバカにされてきたが、因縁の相手に毅然と立ち向かう。

すべてはユウナを守るため

10年前、アーロンの頼みを受けたキマリは、ユウナをベベルからビサイドへと連れていった。はじめは彼女を送り届けてすぐに立ち去るつもりだったが、泣いて呼び止める幼いユウナの姿を見て、彼女を守ることにすべてを捧げようと決意。これを機にキマリはツノを失った絶望から立ち直り、ユウナを守ることに自分自身の生きる意味を見いだしたのだ。

⬆ユウナの身だけでなく、心も守ろうとするキマリ。思い悩んで気弱になる彼女を、優しく励ます。

キマリも「笑顔の練習」

どんなときでも笑顔で旅をしていたい、というユウナの希望を聞き、ティーダはルカで「笑顔の練習」をした。ふだん無愛想なキマリも、こっそりと笑顔の練習をしていたことがジョゼ海岸でわかるのだが……。

⬅キマリなりに努力しているようだが、この顔を「笑顔」と呼べるかは微妙なところ。

Impressive Words

ツノを折られてもなお、誇り高きロンゾの魂を持ちつづけるキマリ。無口な彼が言葉を発するのは、種族の誇りをかけて戦うときと、守るべき存在であるユウナや仲間たちを気づかうときだ。

「ガードが心配すると、ユウナはもっと無理をする。おまえも気をつけろ」
——ジョゼ街道：気丈に振る舞うユウナを見てティーダに忠告する

「今度は勝つ。勝つと決めた」
——ガガゼト山：ビランとエンケのふたりと対峙して

「キマリはおまえを許さない！　ロンゾの怒りが宿った槍で、打ち滅ぼす!!」
——ガガゼト山：同胞のカタキを討つべくシーモアに槍を向けて

「キマリが先に行く。ユウナの前はキマリが守る」
——エボン＝ドーム：ユウナレスカのもとへ向かうユウナの前に進み出て

アーロン

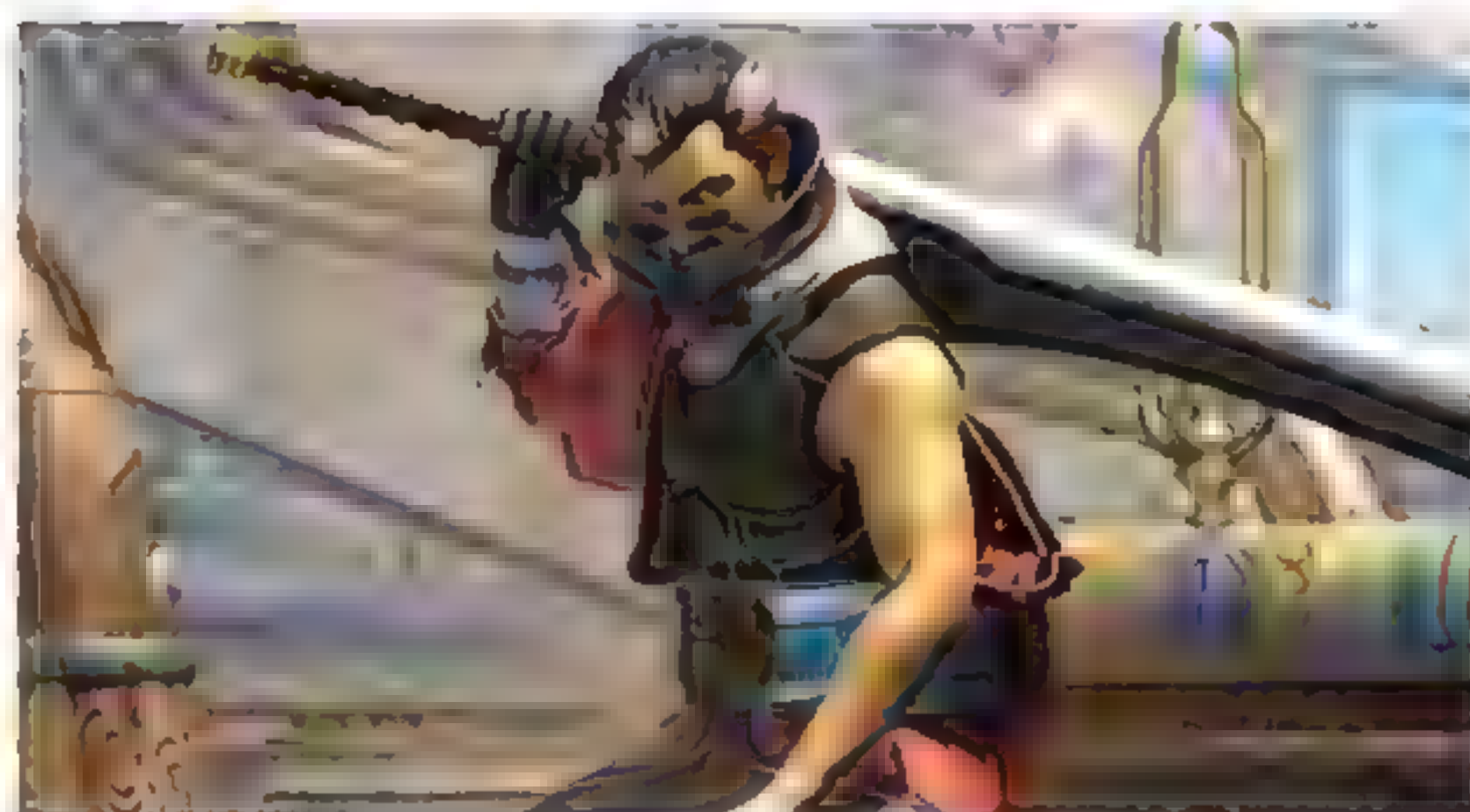
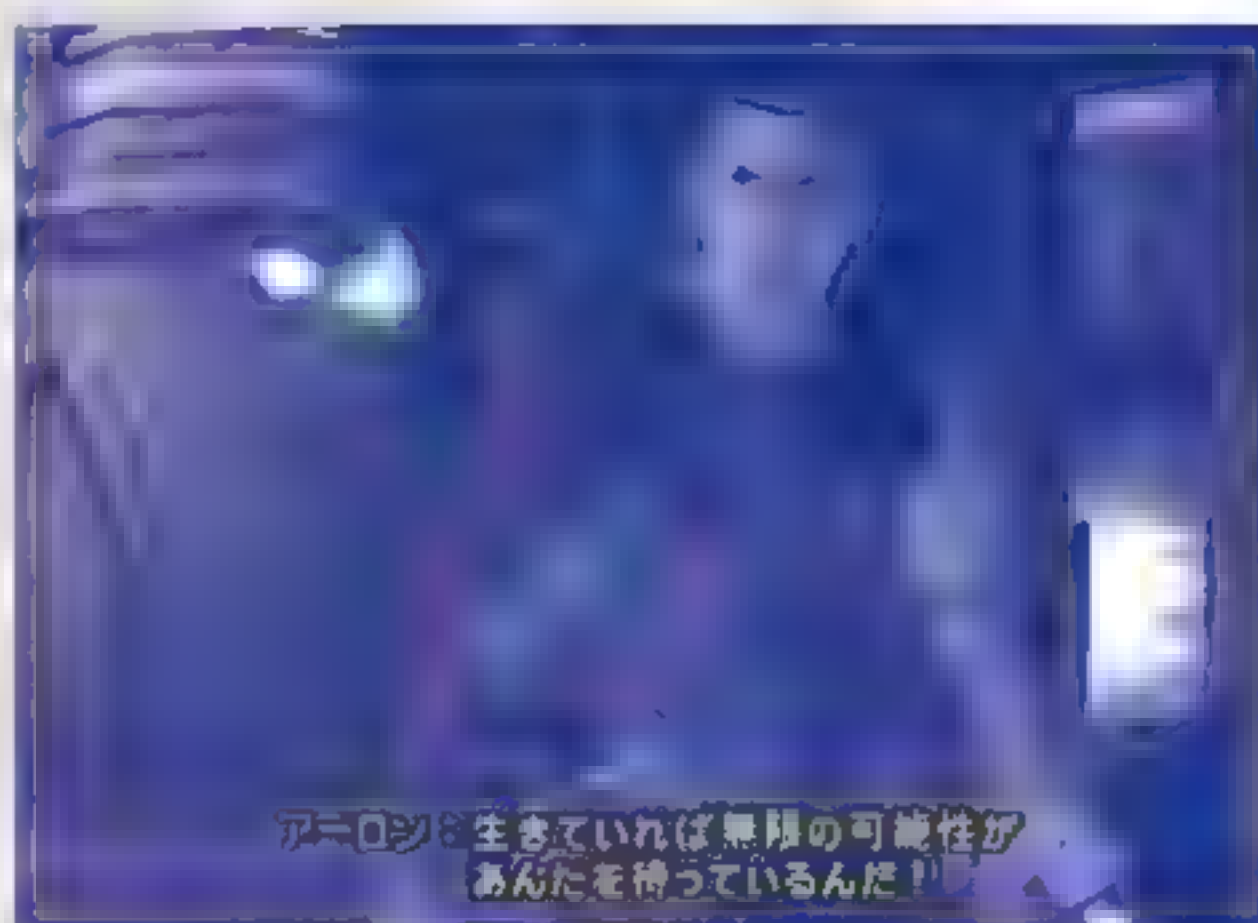
Auron

Personal Data			
種族	ヒト(死人)	年齢	35歳
出身地	ベベル	身長	182cm
性別	男	武器	刀剣
ボイスアクター	石川英郎		
モーションアクター	石井 淳		

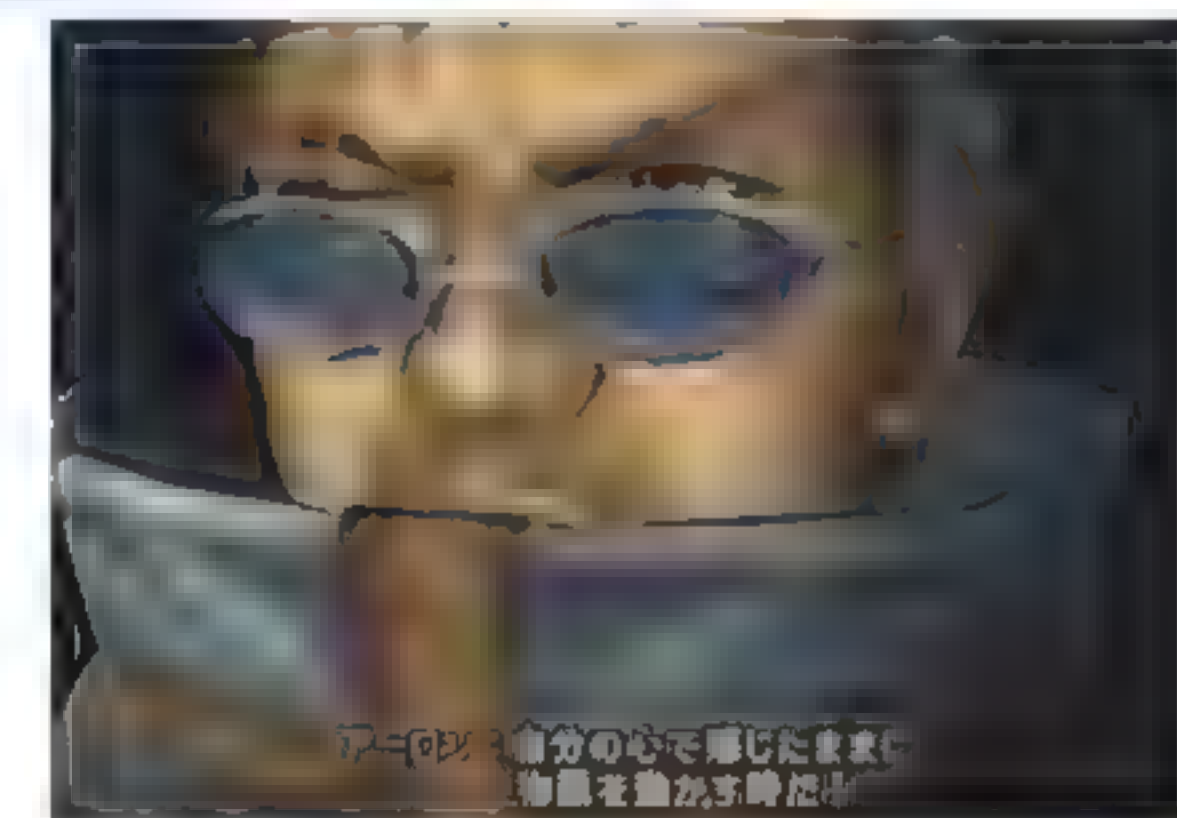
死してなお舞台にとどまった つぎなる物語の導き手

大召喚士ブラスカのガードとして旅をした剣士。スピラの人々には「伝説のガード」と呼ばれている。じつは10年前にすでに死亡しており、それ以降は死人(しびと)として活動。戦友であるブラスカとジェクトの「子どもを頼む」という遺言に従い、ユウナをキマリに託したのち夢のザナルカンドへと渡り、ティーダの後見人を務めていた。『シン』が夢のザナルカンドを襲ったときにふたたびスピラへ渡り、ルカで再会したティーダとともにユウナのガードとして旅に参加する。

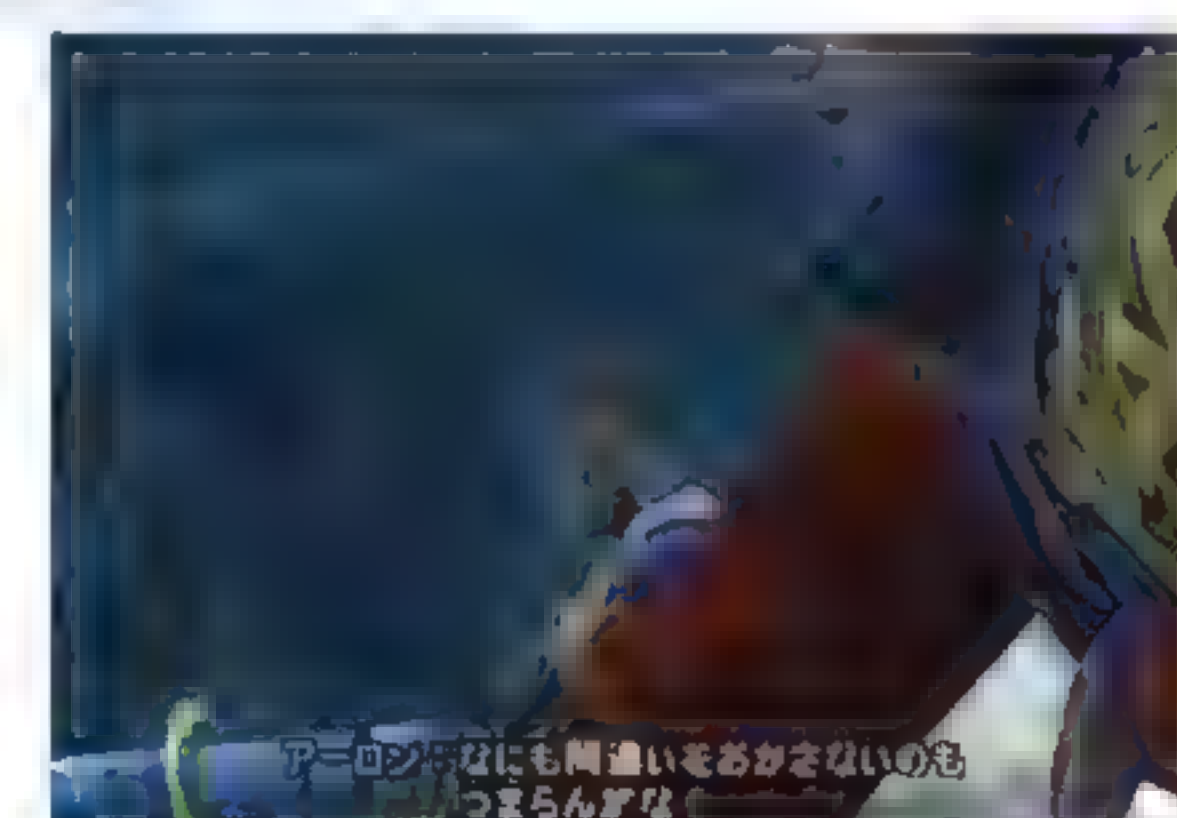
究極召喚の真の意味を知りつつも、あえて何も語らぬままティーダたちを導いた。スピラの宿命である死の螺旋を受け入れるか、断ち切るか——若者たちが決断するときまで、沈黙を守り通す。

⬆エボンの老師キノックは傭兵時代の親友。しかし、久しぶりの再会は、両者の立場や考えかたの差を浮き彫りにした。

⬅若いころはかなりの熱血漢。エボン=ドームでは、感情をむき出しにする若かりし日のアーロンの姿が見られる。

Topics of Auron

■若者たちへの期待

大召喚士のガードとして旅をした経験のあるアーロンは、究極召喚では『シン』を完全には倒せないということを知っている。しかし、かつての彼は無力すぎて、親友たちをムダ死にさせてしまった。そんな後悔から、アーロンは「召喚士を死なせずに『シン』のいない世界を作る」という、過去の自分が果たせなかった願いをティーダたちに託そうとする。

⬆究極召喚の真実が明らかになったとき、与えられたものを受け入れる以外の道を、仲間たちに提示する。

■ティーダの父がわりとなって

ジェクトの頼みでティーダの後見人となったアーロン。ティーダの母の病状を心配したり、ジェクトの"命日"に声をかけたりして、不器用ながらもティーダを思いやってきた。スピラに迷いこんだティーダが不安に耐えかねて叫び散らしても、安易になぐさめの言葉をかけず突き放した態度をとるのは、自力で立って歩けるようにという、"父"としての愛情なのだ。

⬆マカラーニャ湖ではティーダの恋愛模様を気づかってみるなど、アーロンも立派にお父さん気分？

■「伝説のガード」たちの素顔

ジェクトたちが各地に残したスフィアでは、ブラスカ一行の旅の様子を垣間見ることができる。当初アーロンは、傍若無人なジェクトに厳しく接していたが、旅を通じて少しずつ彼との信頼関係を築いていった。

⬅困っている人々を助けようとするジェクトを見て、アーロンは彼への態度を改めはじめる。

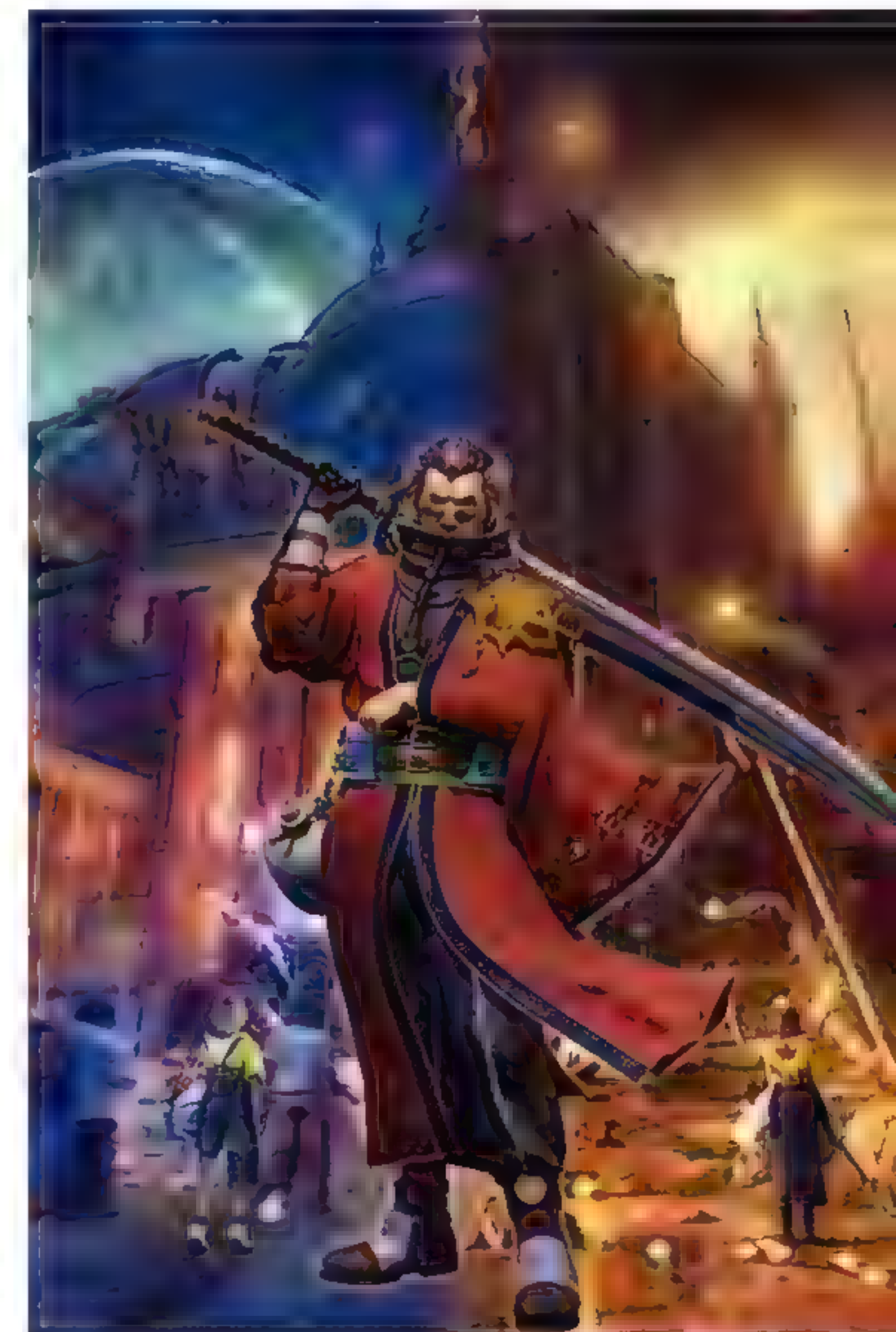
Impressive Words

10年前にも『シン』を倒す旅をしていたアーロンは、重要な意味を帯びた言葉をティーダたちに投げかける。仲間を導くという役割上、落ち着いた態度をとるが、若いころ持っていた熱さが見え隠れすることも。

「覚悟を決めろ。ほかの誰でもない。これは、お前の物語だ」
——夢のザナルカンド：『シン』に飲みこまれるティーダに向かって

「おまえに覚悟があるなら……俺は寺院に敵対してもかまわんぞ」
——マカラーニャ湖：エボン寺院の反逆者となったユウナに対して

「なにかを変えたいと願ってはいたが……結局は、なにもできなかった。それが……俺の物語だ」
——ガガゼト山：伝説のガードと言われていることに対して自嘲気味に

「ブラスカ様、帰りましょう！　あなたが死ぬのは……いやだ……」
——エボン=ドーム(過去)：ブラスカを死なせたくない一心で帰るよう説得する

リュック
Rikku

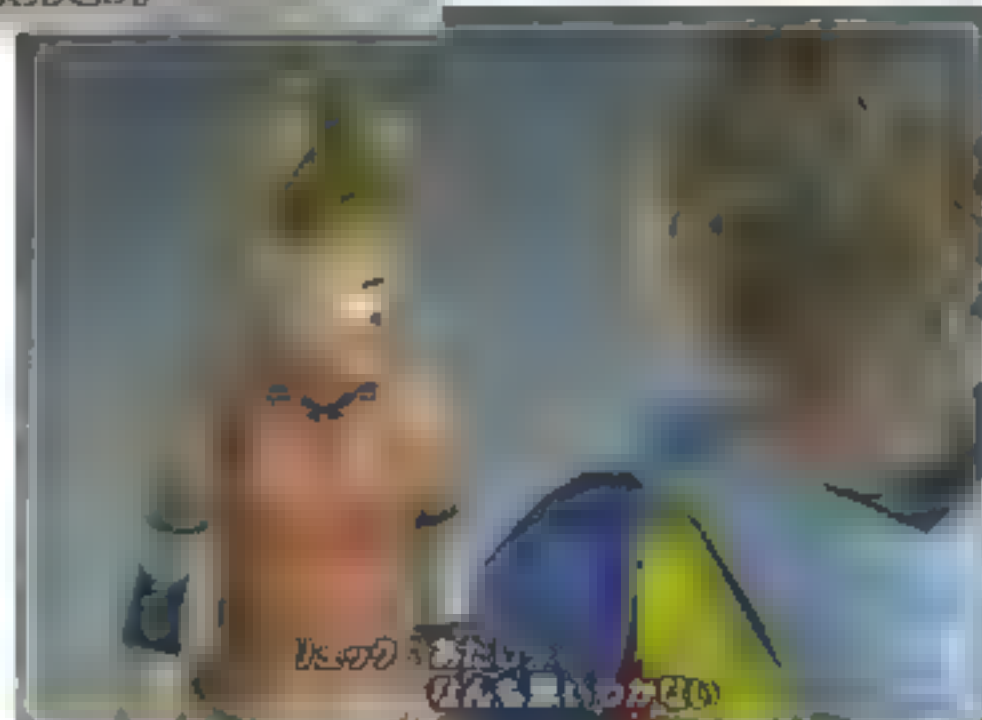
Personal Data

種族	アルベド族	年齢	15歳
出身地	ビーカネル島	身長	158cm
性別	女	武器	グローブ
ボイスアクター	松本まりか		
モーションアクター	清水美由紀		

召喚士を守るための道を探しつづける少女

アルベド族の族長シドの娘。スピラで嫌悪されているアルベド族でありながら、迫害に臆することなくつねに明るさを失わず、前向きに物事を考える。スピラの平和のために召喚士が犠牲にならなければいけないという理不尽さに納得がいかず、召喚士に旅をやめさせるべく各地で活動していた。幻光河でユウナを無理やり保護しようとしたとき、以前海の遺跡で助けたティーダと再会。これを機に、いとこでもある召喚士のユウナを守るため、彼女のガードとして一行の仲間に加わる。

感情豊かで子どもっぽさを漂わせるものの、冷静な判断をくだす能力と、決意したことを曲げない意志の強さを持つ。エボンの教えを客観的に見つめるアルベド族の立場から、スピラの人々にとっての"常識"に疑問を投げかけ、召喚士を死なせない道を模索していく。

⬅年齢のわりにしっかりした考えの持ち主だが、仲間たちと一緒にさわぐときなどの軽めな言動は、年相応のもの。

➡ユウナを死なせないですむ方法を、ティーダとともに必死に考える。ときにはあせりから弱音を吐いてしまうことも。

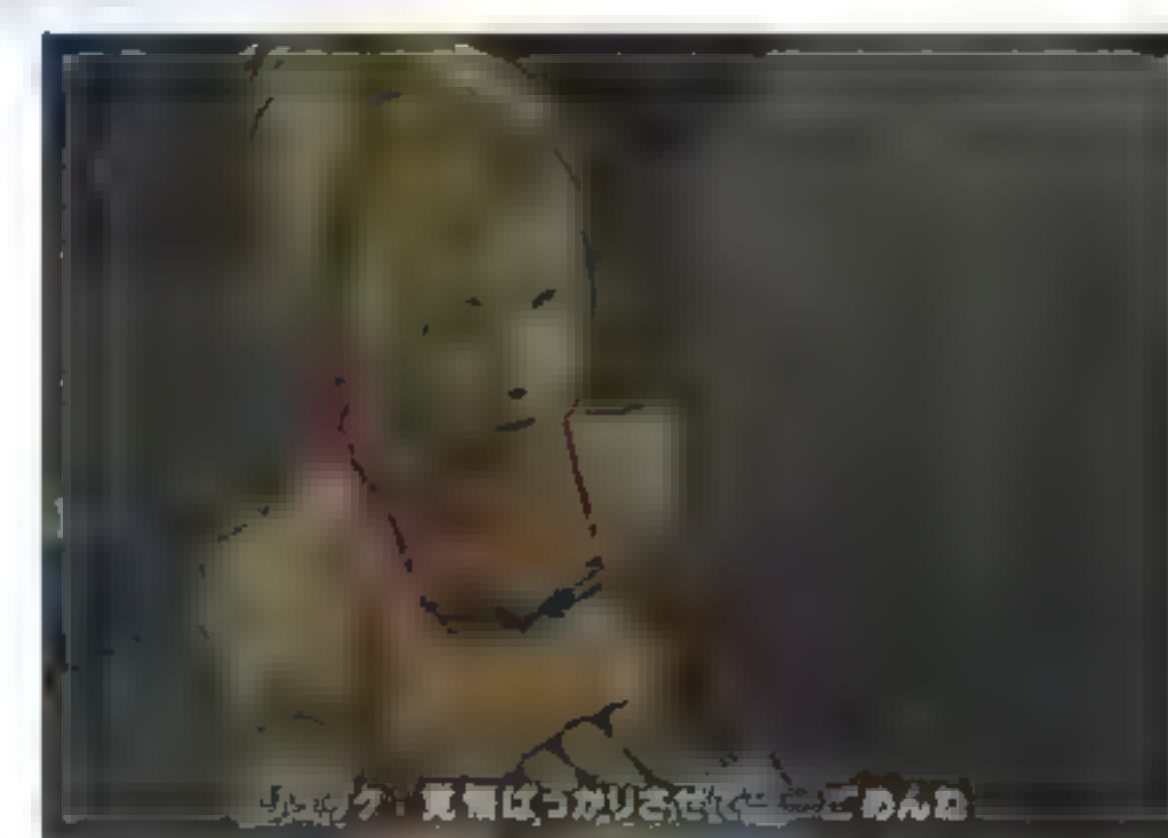
Topics of Rikku

リュックはいつでも「考え中」

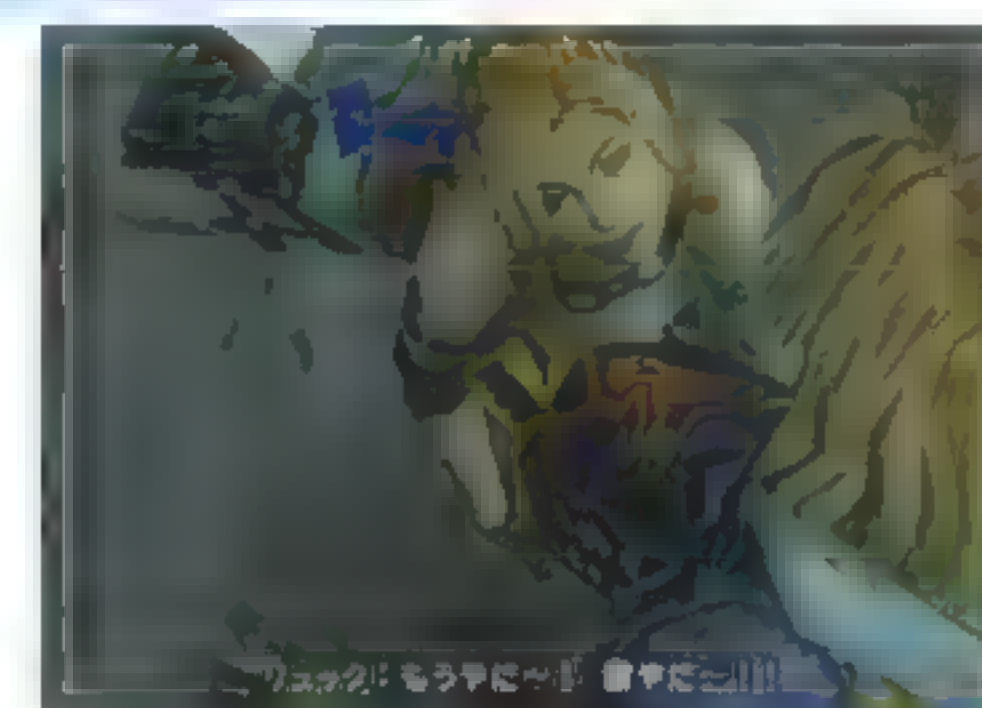
アルベド族は「反エボンの民」と呼ばれ、エボンの教えに異を唱えている。リュックも、エボンの教えが根拠のないまやかしだとうすうすカンづいており、エボンに押しつけられたスピラの常識に疑問を持つ。教えを信じるだけでなく、自分の頭で考えなくてはダメだ——そう思うからこそ彼女は、どうすれば召喚士を守れるかを絶えず考えつづけているのだ。

⬆エボンの教えを信じこみ、物事の本質に目を向けないワッカの姿勢に、リュックはいらだちを隠せない。

大好きな「ユウナん」のために

物語序盤では、リュックは「シン」を倒すために召喚士だけが犠牲になることは認められないと考えていたが、ユウナのガードとして旅するうちに、彼女の意志を尊重したいとも思いはじめる。しかし、それはユウナが究極召喚の犠牲になるのを認めたということではない。リュックは、ユウナの意志と命の両方を守ることを決意し、その方法を探そうと頭をしぼる。

⬆召喚士という立場ゆえ、つねにつらい選択を強いられるユウナを、リュックは優しく気づかう。

雷が大の苦手

リュックは雷が大嫌い。幼いころ、アニキの放った『サンダー』が運悪くリュックに直撃して以来、雷恐怖症になってしまったのだ。一行が雷平原を越えるさいに、いやがってダダをこねる姿は、まるで幼子のよう。

⬅泣き叫んで休憩を訴えるリュック。このときばかりは雷から逃げることで頭がいっぱい。

Impressive Words

「ニギヤカ担当」を自称するほど明るく元気なリュックだが、単なるにぎやかしではなく、マジメにユウナの身を案じている。なお、「ユウナ」を「ユウナん」と発音してしまうのは、アルベド族のなまりゆえ。

「思い出は優しいから甘えちゃダメなの!」
——グアドサラム：故人に会えるという異界に、あえて立ち入ろうとせず

「知ってるけどさ～!　リクツじゃないんだよ～!」
——雷平原：雷はやむことはないからさっさと平原を抜けたほうがいいと言うアーロンに向かって

「あたしはユウナを守りたい。誰にも文句は言わせない」
——マカラーニャ寺院：アルベド族がガードをしていることを不審がる僧官に

「引き返せなんて言わないよ。でも考えようよ!　ユウナ助かる方法、考えようよ!」
——ガガゼト山：旅の目的地が近づき、仲間に訴えかけるように

シーモア

Seymour Guado

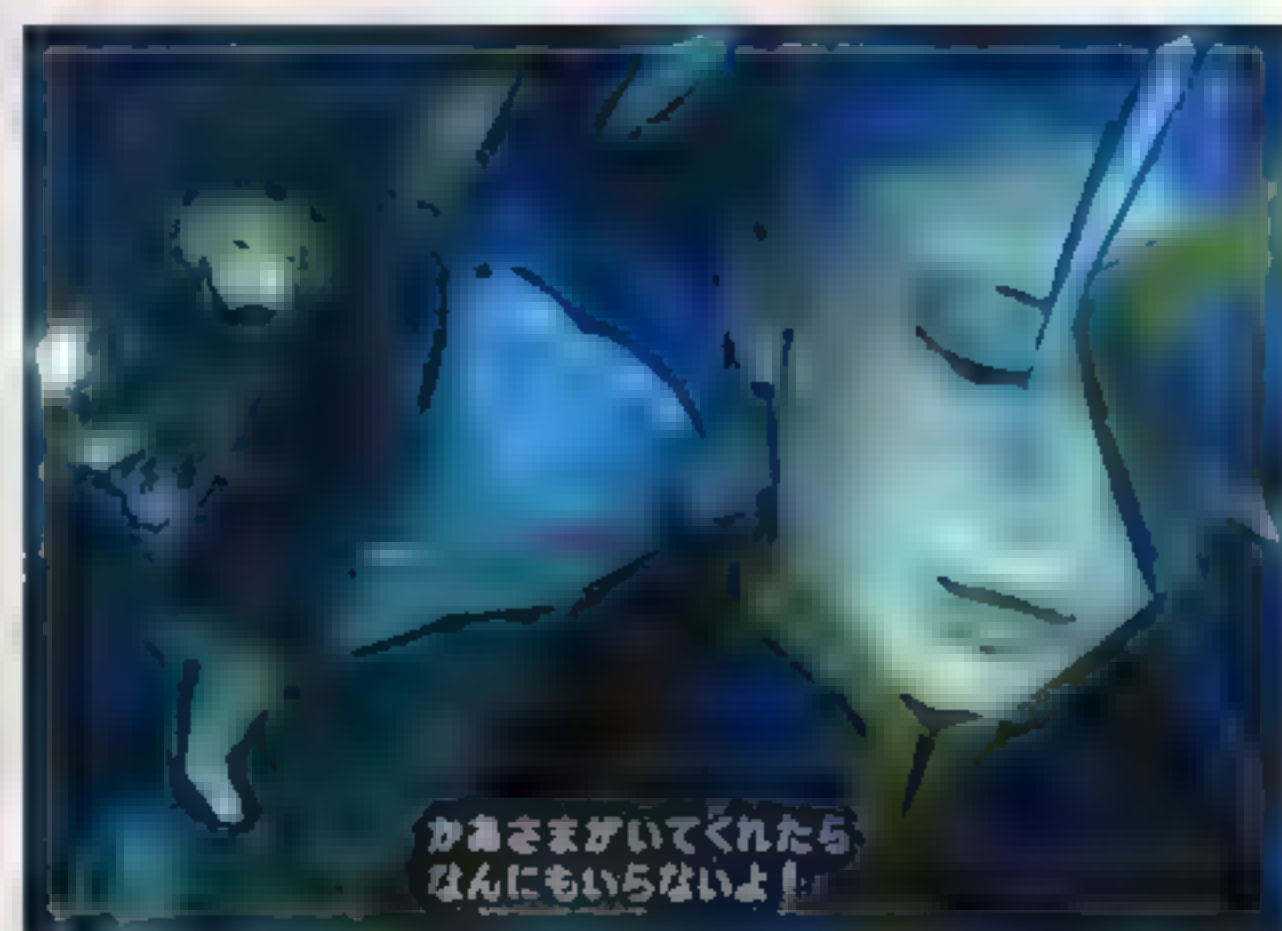
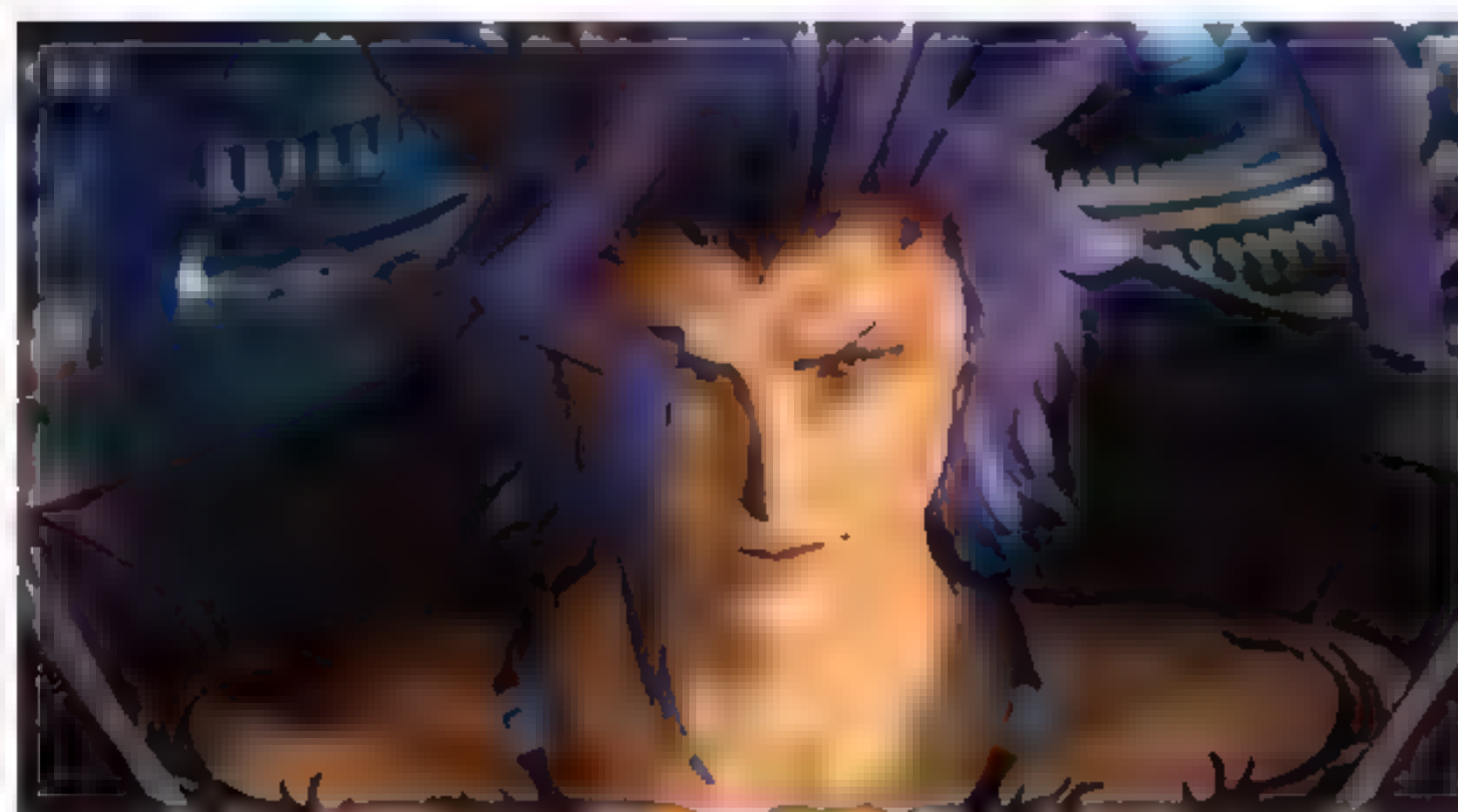
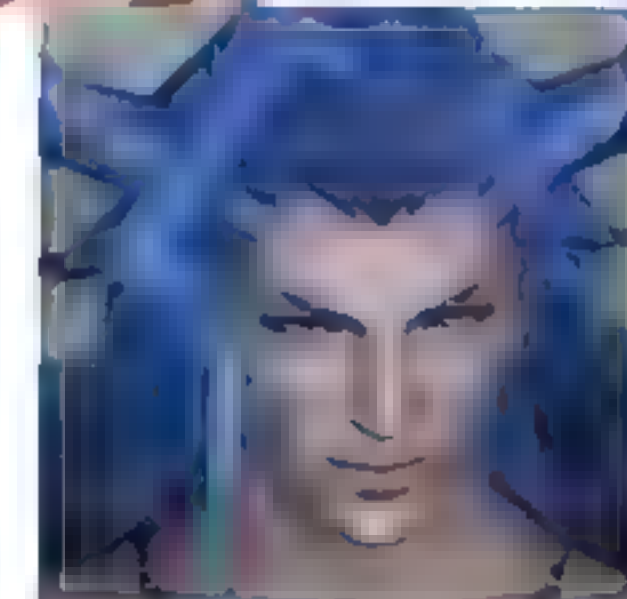
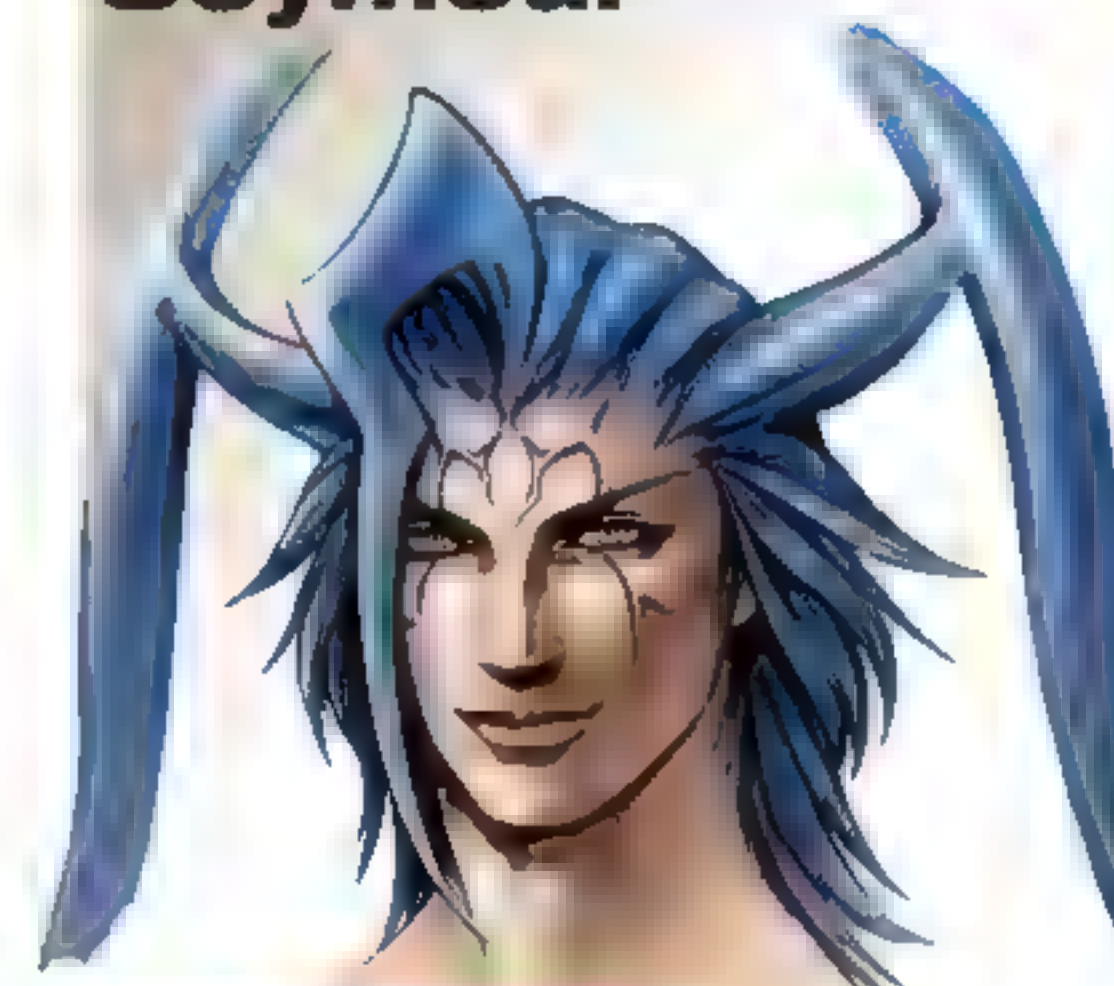
Personal Data

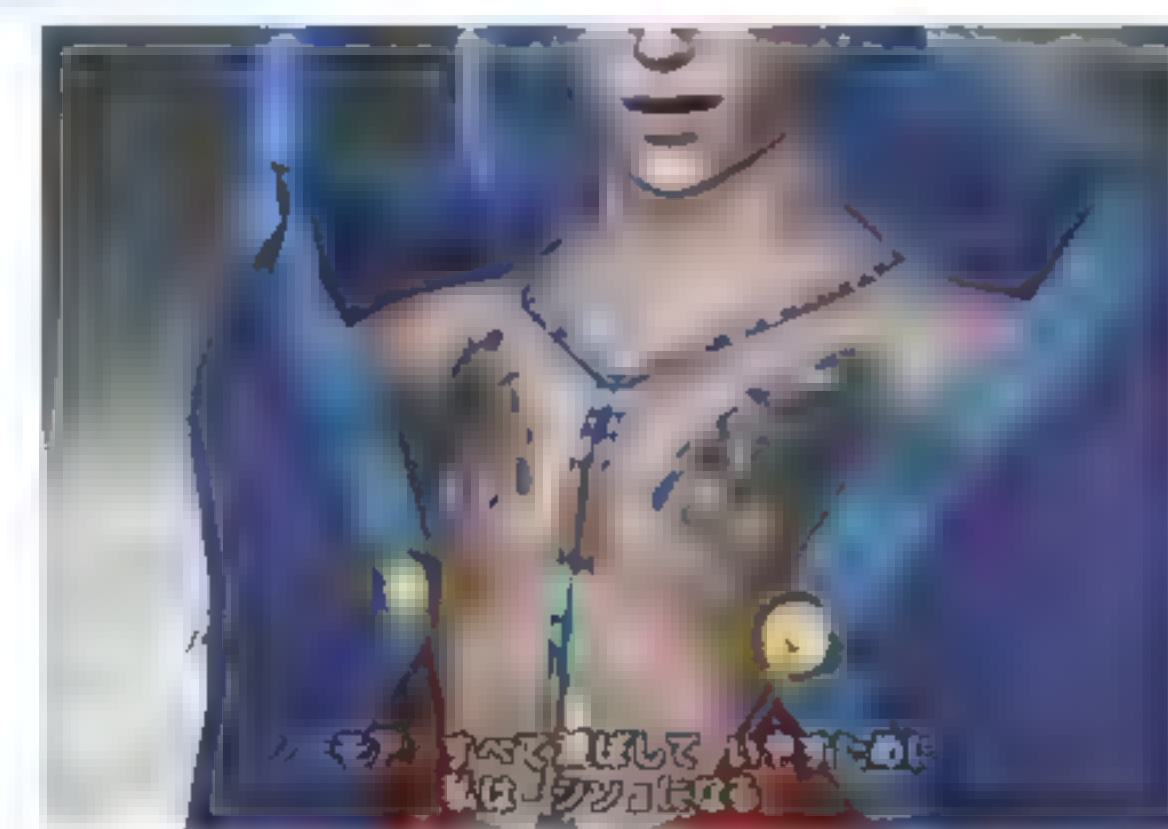
種族	グアド族とヒトとのハーフ	年齢	28歳
出身地	グアドサラム	身長	187cm
性別	男	武器	杖
ボイスアクター	諏訪部順一		
モーションアクター	加藤一郎		

死に魅入られた哀しき青年

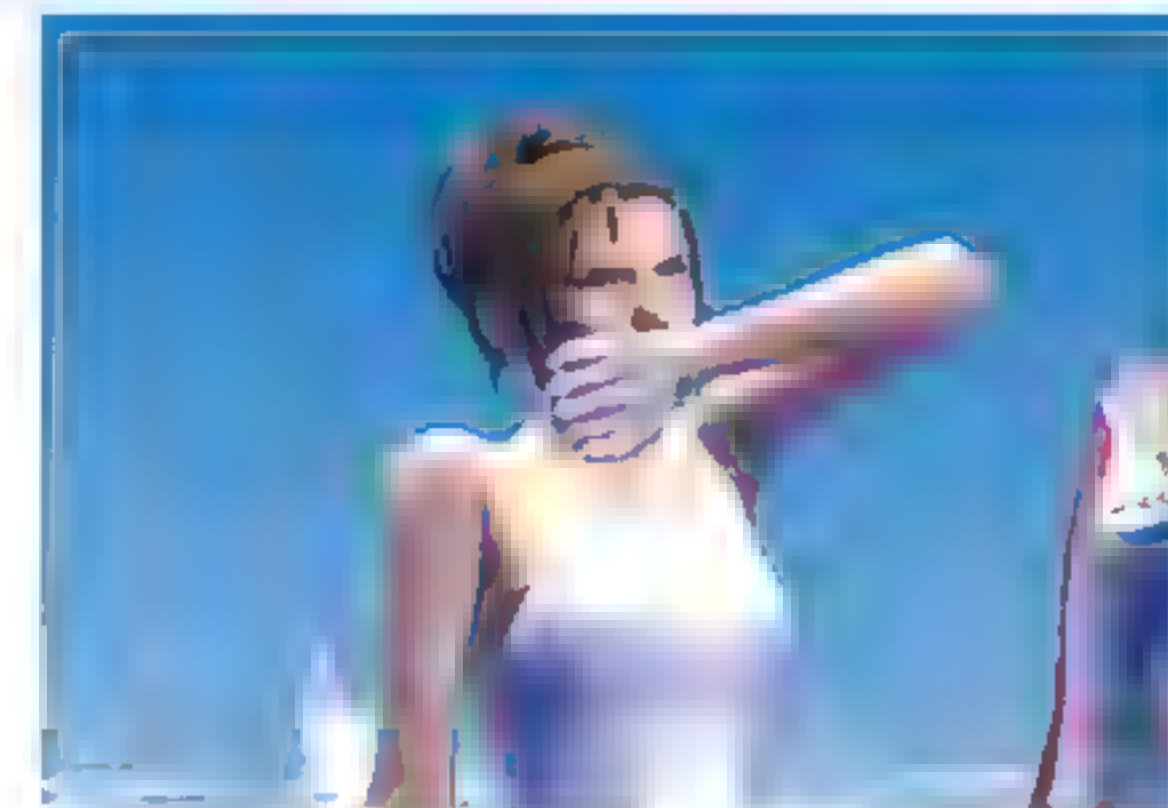
グアド族の族長でもある、エボンの若き老師。グアド族の先代族長ジスカルとヒトの女性とのあいだに生まれ、異種族間の架け橋となる人物だと期待されているが、幼いころは純粋なグアド族でないという理由で迫害されていた。召喚士として並はずれた能力を持ち、自身の母を祈り子とする召喚獣アニマを従える。

エボンの老師でありながら、禁じられた機械を用いて「シン」を倒す作戦「ミヘン・セッション」に理解を示すなど、一見、懐が深い人物。しかし、実際は死によってスピラを悲しみから解放しようとする危険な思想の持ち主であり、自身が「シン」になるという計画のためにユウナを利用するつもりでいた。ユウナを守ろうとしたティーダたちと対決して命を落とすものの、死人として世にとどまり、何度も一行の前に立ちはだかる。

⬆物腰がやわらかく、人当たりも良い。社交的で才知にも長けるなど、魅力のある人柄でスピラの民から支持を得る。

⬅部族から疎外された幼少期、シーモアにとって唯一の心の支えが母親だった。母との死別が、彼の心を闇に落とす。

Topics of Seymour

■ 母への慕情と父への憎悪

ヒトの血を引くシーモアは、幼少期にグアド族から迫害され、一族の分裂を恐れた父ジスカルの命令によって母親とともに流刑を受けた。その後、衰弱した母は自身の死期が近いことを悟り、息子がひとりでも生きていけるだけの力を与えようと、祈り子となりその身を犠牲にしてしまう。母を失ったシーモアは、己と母を見捨てた父を憎み、やがて彼を暗殺する。

⬆最愛の母の死により負った心の傷が、みずから「シン」となってスピラに終焉をもたらす決意をさせた。

■ ユウナとの複雑な関係

自身が「シン」となることを望むシーモアには、己を究極召喚獣の祈り子にしてくれる召喚士が必要だった。そこで彼が手に入れようとしたのが、大召喚士の娘ユウナ。はじめのうちこそマジメに求婚していたが、野心がバレてからは手荒な手段を取りはじめる。ただ、ユウナを求める姿勢には、計画に必要という理由だけでなく、好意があったようにも見える。

⬆ユウナの唇は奪えても、彼女の心までは奪えなかったシーモア。ユウナに拒絶された彼の心境は……。

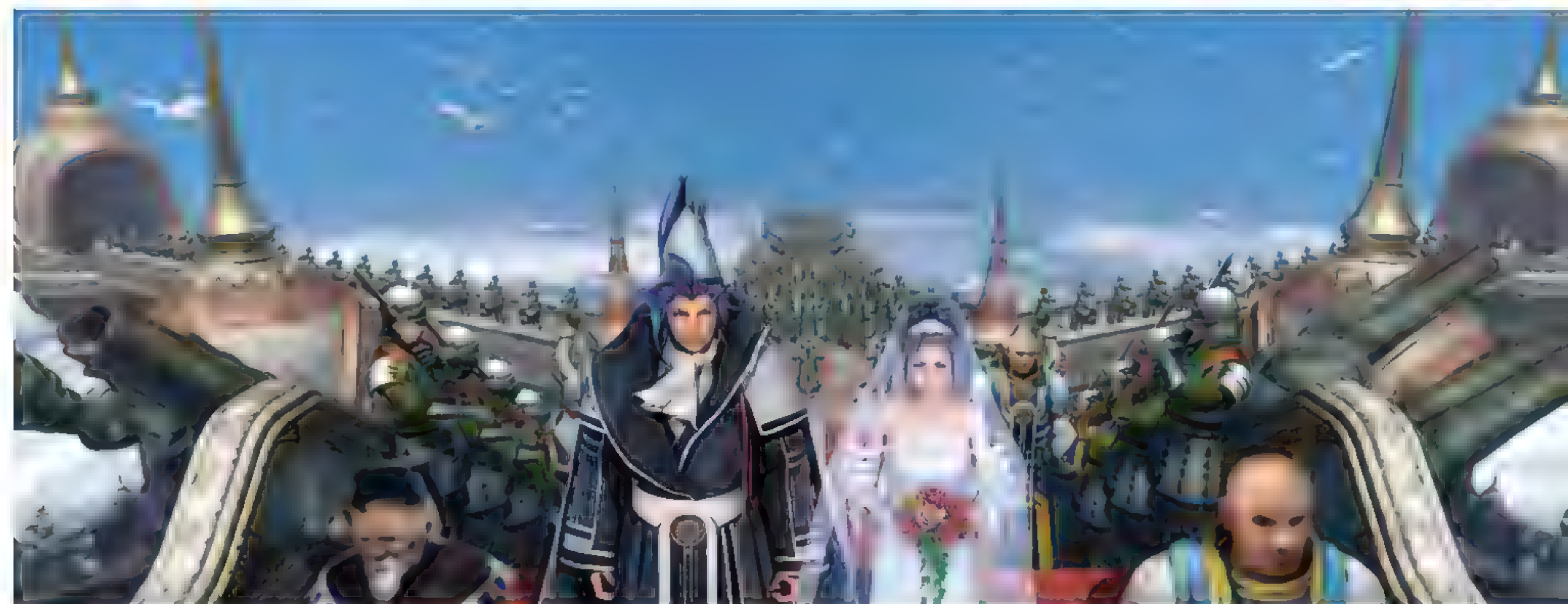
Impressive Words

当初は人の良い紳士を演じていたが、父親暗殺が発覚したのを機に本性を見せるように。死によってスピラを悲しみから救うというその信念は、狂気に満ちている。

「ならば私が支えとなりましょう。ユウナレスカを支えたゼイオンのように」
──ジョゼ海岸：ミヘン・セッションの犠牲を目の当たりにして気落ちするユウナに向かって

「あなたの力と命を借りて私は新たな「シン」となり……スピラを滅ぼし、そして救う」
──聖ベベル宮：ユウナたちに己の目的を語り

「私が新たな「シン」となれば、おまえの父も救われるのだ」
──ガガゼト山：ティーダに向かって挑発的に

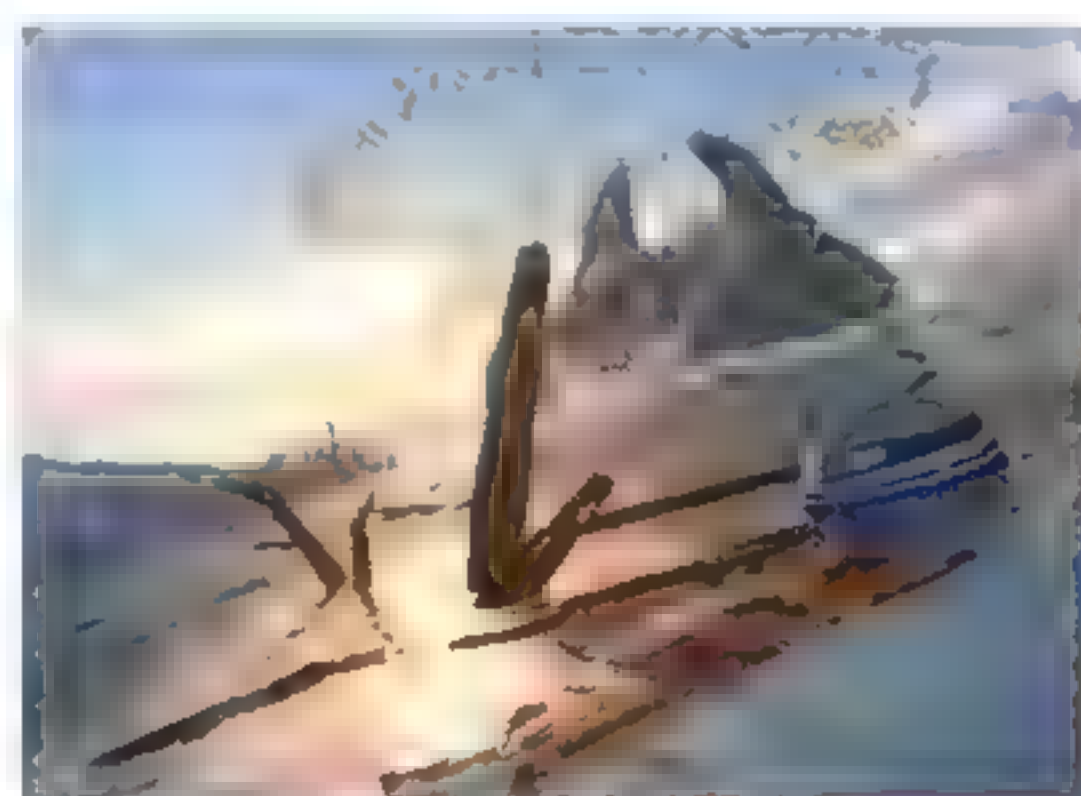
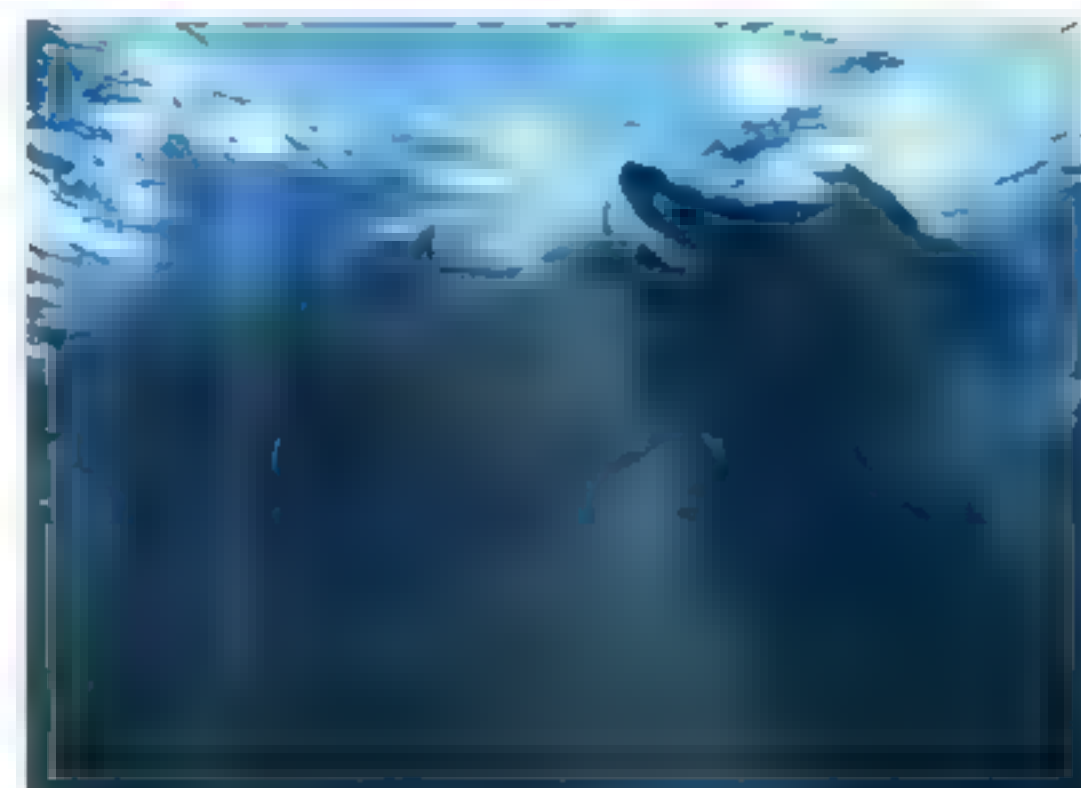
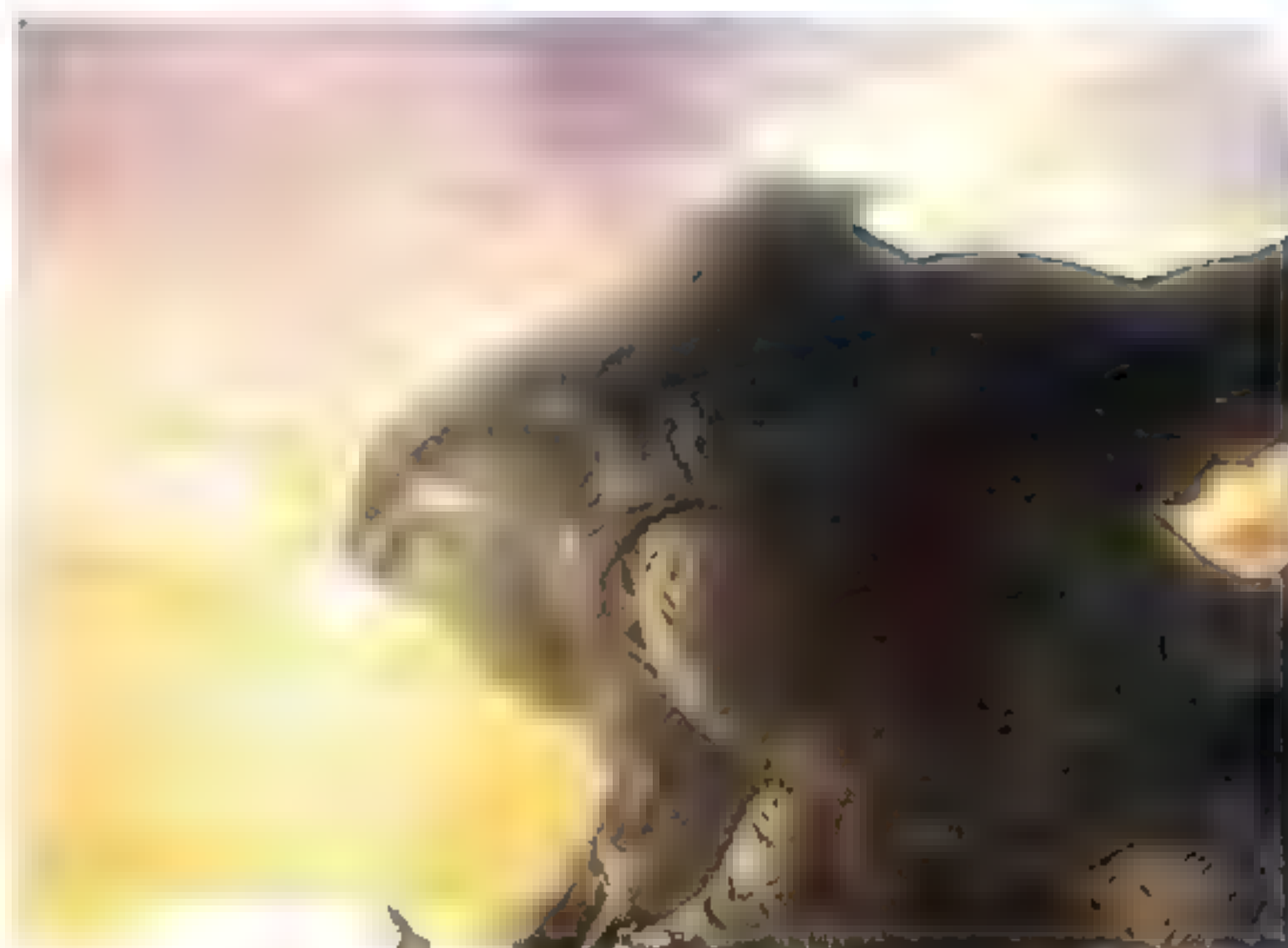
「私を消すのは、やはりあなたか」
──「シン」の体内：4度目の戦いののち、ユウナに異界送りされる

『シン』

Sin

「罪」の名を持つ夢の世界の番人

スピラの街を破壊し、人々を苦しめる魔物。夢のザナルカンドを召喚しているエボン＝ジュを守るための存在であり、エボン＝ジュの邪魔となり得るものを片っ端から排除する習性を持つ。エボン寺院の教えにより、スピラの民には「人々に与えられた罰」「人々の罪が形になったもの」として認識されているが、実際は人々の行ないに対して審判をくだすような性質はない。

通常の攻撃を受けつけず、究極召喚でしか倒されることはないが、倒された場合は、体内のエボン＝ジュが『シン』を倒した究極召喚獣に乗り移り、新たな身体を形成する。そのため、1000年ものあいだ倒されては復活をくり返し、スピラの人々に恐怖を与えつづけてきた。

物語中、ユウナやティーダが倒そうとしている『シン』は、ティーダの父ジェクト（ブラスカの究極召喚）を核とするもの。『シン』としての活動期間がまだ短く、ジェクト本人の意志がわずかに残っているため、祈りの歌を聴いておとなしくなるなどの特徴がある。

⬅南洋の拠点として栄えたポルト＝キーリカは、『シン』の襲撃により無惨な姿となってしまう。

➡マカラーニャ湖の底では、ふだんはどう猛な『シン』がおとなしく祈りの歌に聴き入っていた。

エボン／エボン＝ジュ

Yevon/Yu Yevon

永遠の夢を呼ぶ召喚士

約1000年前、繁栄を極めたザナルカンドを統治していた、すぐれた召喚士。ベベルとの戦争で滅亡寸前となったザナルカンドの姿を残すため、住民すべてを祈り子として夢のザナルカンドを召喚し、自身は永遠に召喚のみをつづける存在、エボン＝ジュとなった。

⬅長い時を経て、エボン自身の意志は消え失せ、『シン』の体内でただ召喚をくり返すだけの存在となっている。

⬅召喚獣に乗り移ることで、新たな『シン』を作り上げる。この連鎖を断ち切るため、ティーダたちはエボン＝ジュと戦う。

ユウナレスカ

Yunalesca

Personal Data			
種族	ヒト（死人）	出身地	ザナルカンド
年齢	20代後半	身長	173cm
ボイスアクター	小柳洋子		

究極召喚を生んだ女性

召喚士エボンの娘。スピラ史上はじめて『シン』を倒したとされ、その功績から大召喚士とは別格の存在として人々にあがめられている。『シン』を倒したのちも死人となって世にとどまりつづけ、ザナルカンドを訪れた召喚士たちに究極召喚を授けてきた。『シン』を完全には消せないと知りながらもそうしてきたのは、人々を絶望させないためであり、究極召喚こそがスピラの滅亡を防ぐ唯一の手段と考えていたが、究極召喚をこばんだユウナたちにより倒される。

⬅根本的な解決にはならない究極召喚だが、それだけがスピラに残された希望と主張する。

➡1000年前の美貌を保っているかと思いきや、その実体はすでに魔物と化している。

Impressive Words

「『シン』はスピラが背負った運命。永遠に変えられぬ宿命です」
——エボン＝ドーム：大広間にたどり着いたユウナたちに、『シン』復活の仕組みを告げる

「悲しい闇に生きるより、希望の光に満ちた死を」
——エボン＝ドーム：究極召喚を拒絶したユウナたちに向かって

「ああ……ゼイオン、許してください。希望の光を失って、スピラは悲しみの螺旋に落ちる……」
——エボン＝ドーム：ユウナたちとの戦いに敗れ

ジェクト
Jecht

Personal Data

種族	ヒト(幻光体)	出身地	夢のザナルカンド
性別	男	年齢	30代中盤
身長	190cm		

ボイスアクター：矢田益男
モーションアクター：山崎秀樹

粗野で照れ屋な父親

夢のザナルカンドにてブリッツボールのスター選手として名高かった、ティーダの父親。高慢かつ自信過剰で、言動も荒々しいが、本当は心優しい。息子への愛情表現が苦手で、素直に優しくできなかったため、ティーダから反感を買っていた。

10年前、海でのトレーニング中に『シン』に触れたことでスピラへと運ばれてしまう。その後、ベベルにてブラスカに声をかけられ、自分の故郷へ帰る目的で彼の旅にガードとして同行。スピラをめぐるうちに、旅の意味やブラスカの覚悟を知り、彼を守ることを決意する。ブラスカが究極召喚を得るときには、みずから祈り子に志願し、見事に『シン』を討ち倒した。しかし、「『シン』を倒した究極召喚獣が新たな『シン』となる」という呪われた宿命に、自身も巻きこまれてしまう。

⬅ジェクトなりにティーダのことを思ってはいたが、愛情を息子にうまく伝えられず、親子の溝を生んでしまった。

➡スピラにきたばかりのころは、ブラスカの旅が重い使命を背負ったものと知らず、緊張感に欠ける言動を見せていた。

Impressive Words

「泣くぞ。すぐ泣くぞ。絶対泣くぞ。ほ～ら泣くぞ!」
――ティーダの夢ほか：ティーダをからかうように

「あいつ……泣き虫だからな。
誰かついててやんねえと、心配で心配でよ」
――エボン=ドーム(過去)：アーロンに息子ティーダのことを託して

「へっ!　背ばっか伸びてヒョロヒョロじゃねえか!
ちゃんとメシ食ってんのか、ああん?」
――『シン』の体内：10年ぶりにティーダと再会し

「じゃあ、まあ、なんだ、その……ケリ、つけっか」
――『シン』の体内：息子との対決を前に

ブラスカ
Braska

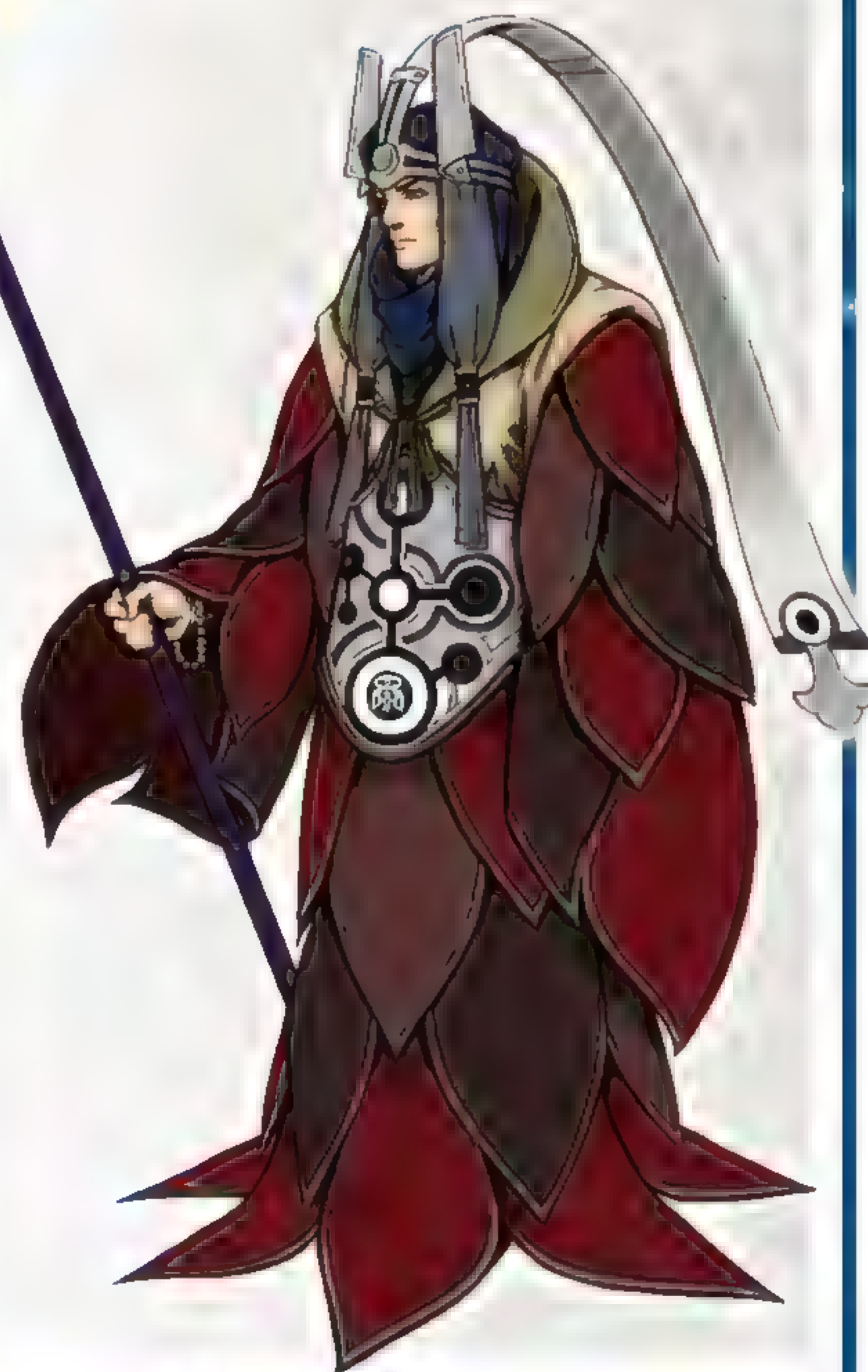
Personal Data

種族	ヒト	出身地	ベベル
性別	男	年齢	35歳(享年)

ボイスアクター：鈴木琢磨

スピラの悲しみを消そうとした大召喚士

10年前に『シン』を倒してスピラにナギ節をもたらした、ユウナの父親。いまでこそ『シン』を倒した英雄としてたたえられているが、ベベルで僧官を務めていたころは、教えにそむく一族であるアルベド族の女性と結婚したため、周囲から"落ちこぼれの僧官"と呼ばれていた。妻が『シン』に殺されたのをきっかけに召喚士となり、旅の果てに『シン』を打ち倒し、同時に命を落とす。

穏和で心が広く、つらい旅のなかでも笑顔を忘れなかった人物。その生きかたや意志の強さは、娘のユウナにしっかりと受け継がれている。

⬅アーロンとジェクトのふたりのガードを連れて、過酷な旅路も明るさを失うことなく歩んだ。

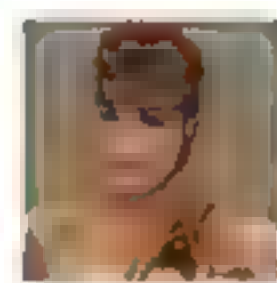
➡自分の犠牲がスピラ中の悲しみを消し去ると信じて究極召喚を手に入れ、発動させたが……。

Impressive Words

「落ちこぼれの召喚士とザナルカンドから来た男、
上官がすすめた縁談を断り出世の道からはずれた僧兵。
そんな連中が『シン』を倒したら、きっと痛快だぞ」
――ジェクトのスフィア(ベベル)：旅立つ前、ジェクトをガードにスカウトして

「ユウナの未来を作るのはユウナなんだ。思いどおりに生きてごらん。
それがどんな道であろうと、父さんは応援するぞ」
――ブラスカのスフィア(ガガゼト山)：旅の終点を間近に迎え、娘にメッセージを残す

「私のために悲しんでくれるのはうれしいが……
私は悲しみを消しに行くのだ。
『シン』を倒し、スピラをおおう悲しみを消しにね」
――エボン=ドーム(幻影)：アーロンに死んでほしくないと懇願されるが、みずからの意志をつらぬく

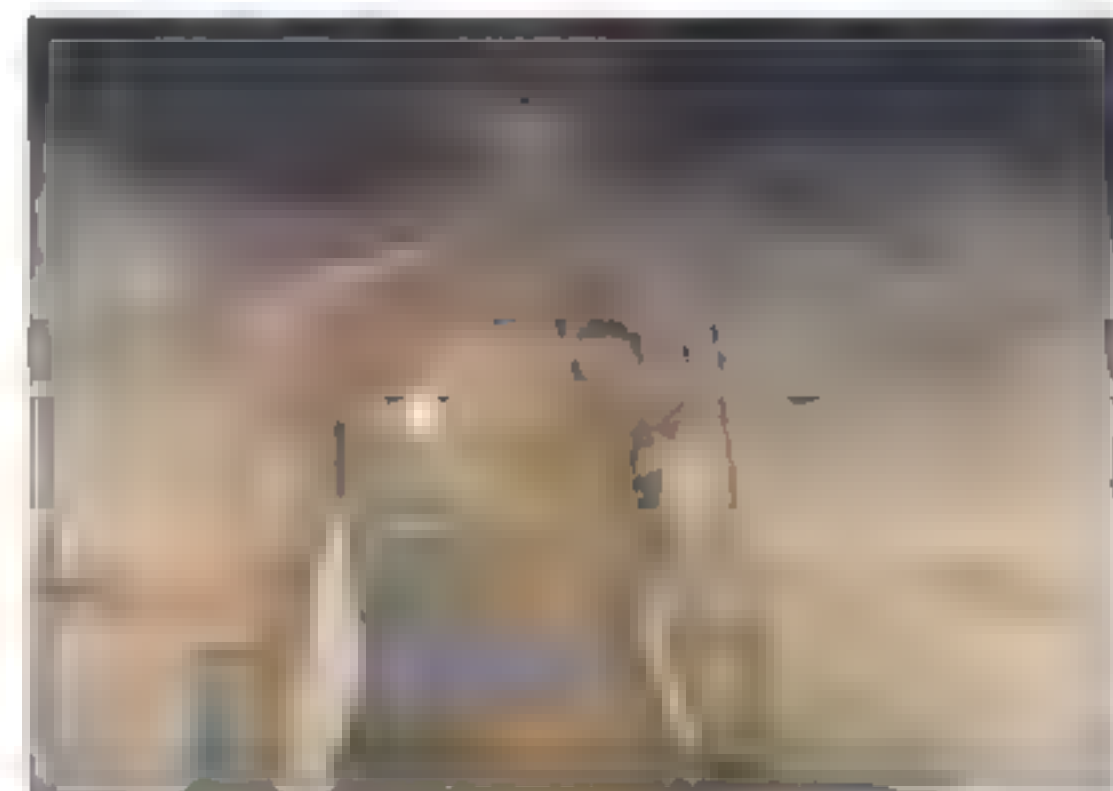
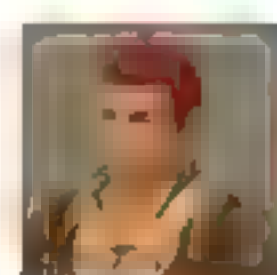
ビサイド討伐隊

『シン』に挑んで散った青年

チャップ Chappu

Personal Data
- 種族：ヒト
- 性別：男
- 年齢：10代後半（享年）

登場場所：——（異界）

目鼻立ちがティーダに似ている、ワッカの弟。ルールーの恋人で、いずれは彼女と結婚するつもりでいた。兄と同じくブリッツボールの選手だったが、愛する人を『シン』から守りたいという思いから、ブリッツをやめて討伐隊に入隊。1年前、エボンの教えに反する機械を使ったジョゼ海岸防衛作戦に参加し、『シン』と戦って命を落とす。

幼いころに両親を亡くしたため、親がわりとなって面倒を見てくれた兄への感謝の気持ちは大きかった。ただし、兄とちがってエボンの教えにはあまりこだわらなかったらしい。

戦場に向かったワッカの幼なじみ

ルッツ Luzzu

Personal Data
- 種族：ヒト
- 性別：男
- 年齢：23歳
- ボイスアクター：石野竜三

登場場所：ビサイド島、ミヘン街道ほか

ビサイド討伐隊に所属している青年。ワッカやチャップの幼なじみで、チャップを討伐隊に誘った当人であるため、彼の死に深く責任を感じている。『シン』を倒そうと、後輩のガッタを引き連れてミヘン・セッションに参加した。

←物語中のティーダの行動で生死が分岐する。生き残った場合は故郷に帰り、村の警護につく。

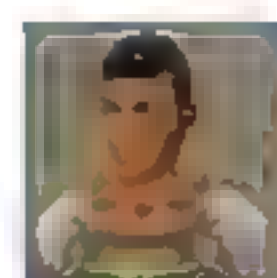
Impressive Words

「ちょっと行って『シン』を倒してくるから、待ってろよ」
——ミヘン街道：ミヘン・セッションの現場へ向かいながらティーダに声をかけ

「もう話す機会がないかもしれないから…、あやまっておきたいことがある」
——キノコ岩街道：チャップのことをワッカにわびようとして

血気盛んな新米隊員

ガッタ Gatta

Personal Data
- 種族：ヒト
- 性別：男
- 年齢：17歳
- ボイスアクター：神谷浩史

登場場所：ビサイド島、ミヘン街道ほか

ビサイド討伐隊の隊員。先輩のルッツとともにミヘン・セッションに参加する。若さゆえか気持ちが先行しがちで、前線で『シン』と戦うことだけを考えていたため、司令部の防衛という後方支援係にまわされて不満を抱く。

←ルッツ同様、生死が分岐。生き残った場合は、亡きルッツにかわって後輩の指導に精を出す。

Impressive Words

「オレだっていつまでも新米じゃないんです!」
——キノコ岩街道：『シン』との戦いで後方支援係にまわされたことに納得がいかず、ルッツに抗議して

「ほんとは……心細いんだけどさ、後輩の前じゃ泣き言なんか言えないしな」
——ビサイド村：抱えていた不安をティーダにもらして

チョコボ騎兵隊

冷静で勇ましい女隊長

ルチル Lucil

Personal Data
- 種族：ヒト
- 性別：女
- 年齢：25歳
- ボイスアクター：大原さやか

登場場所：ミヘン街道、キノコ岩街道ほか

ジョゼ討伐隊に所属する、チョコボ騎兵隊の隊長。戦闘能力と指揮能力の双方にすぐれ、部下からの信望は厚い。ミヘン・セッションの失敗で部隊が壊滅したあとは、騎兵隊を再編制すべく、エルマとクラスコを連れ、旅をつづける。

←多くの犠牲者を出したミヘン・セッションでは、切りこみ隊長を務めながらも生還した。

Impressive Words

「余裕があるのは結構だが、作戦準備は一刻を争う」
——ミヘン街道：作戦準備中にユウナたちと話しているルッツたちを見とがめて

「道がなければ切り開けばいい」
——幻光河：シパーフを使わずに河を渡ることを決めて

元気が取り柄の猪突猛進娘

エルマ Elma

Personal Data
- 種族：ヒト
- 性別：女
- 年齢：19歳
- ボイスアクター：桃森もも

登場場所：ミヘン街道、キノコ岩街道ほか

ルチル直属の部下である、チョコボ騎兵隊の隊員。かわいらしい見た目に反してなかなかキモがすわっており、戦いに関しては抜群のセンスを持つ。隊長のルチルに心酔し、彼女にどこまでもついていくつもりでいる。

←ルチルが目をかけている同僚のクラスコに対しては、嫉妬ゆえか、冷たい態度を取る。

Impressive Words

「チョコボが見つかったら騎兵隊を再建しまっす!」
——ジョゼ寺院：新たなチョコボを探すとユウナに告げて

「さっすがルチル隊長!」
——幻光河：道がなければ切り開けばいいとのルチルの言葉に感銘を受けて

チョコボを愛する気弱な男

クラスコ Clasko

Personal Data
- 種族：ヒト
- 性別：男
- 年齢：19歳
- ボイスアクター：山口勝平

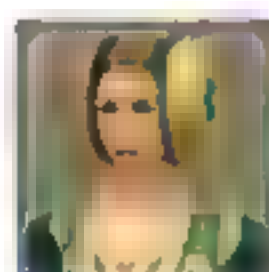
登場場所：ミヘン街道、キノコ岩街道ほか

チョコボ騎兵隊の一員。要領が悪く度胸もないが、チョコボの気持ちを感じ取れる能力を買われてチョコボ騎兵隊員に抜擢された。隊長のルチルには恩義を感じつつも、自分が兵士に向いているかどうかには疑問を抱いている。

←ティーダのアドバイスしだいでは、騎兵隊をやめ、チョコボ飼育係として働きはじめる。

Impressive Words

「た〜いちょ〜う! 待ってくださ〜い!」
——ジョゼ寺院：チョコボの走るスピードについていけず置いてきぼりを食い

「チョコボの気持ちがなんとな〜く伝わってくるんだよね」
——マカラーニャ湖：チョコボの考えがわかることを説明して

召喚士の育成にすべてを捧げる女性

ベルゲミーネ Belgemine

Personal Data	
種族	ヒト(死人)
性別	女
年齢	？
ボイスアクター	藤井佳代子

登場場所 ミヘン街道、レミアム寺院ほか

ユウナの旅先で修業の相手となってくれる召喚士。じつは死人であり、やや浮世離れしている。かつて打倒『シン』を目指して旅をしていたが、志なかばで倒れて以来、若い召喚士の育成を己が使命とし、スピラにとどまっていた。

←召喚獣同士を戦わせてユウナに修業をさせるだけでなく、召喚士としてのありかたも説く。

Impressive Words

「おまえの召喚獣と私の召喚獣で、ひとつ腕比べといこう」
——ミヘン街道：ユウナとの初対面時、修業に協力を申し出て

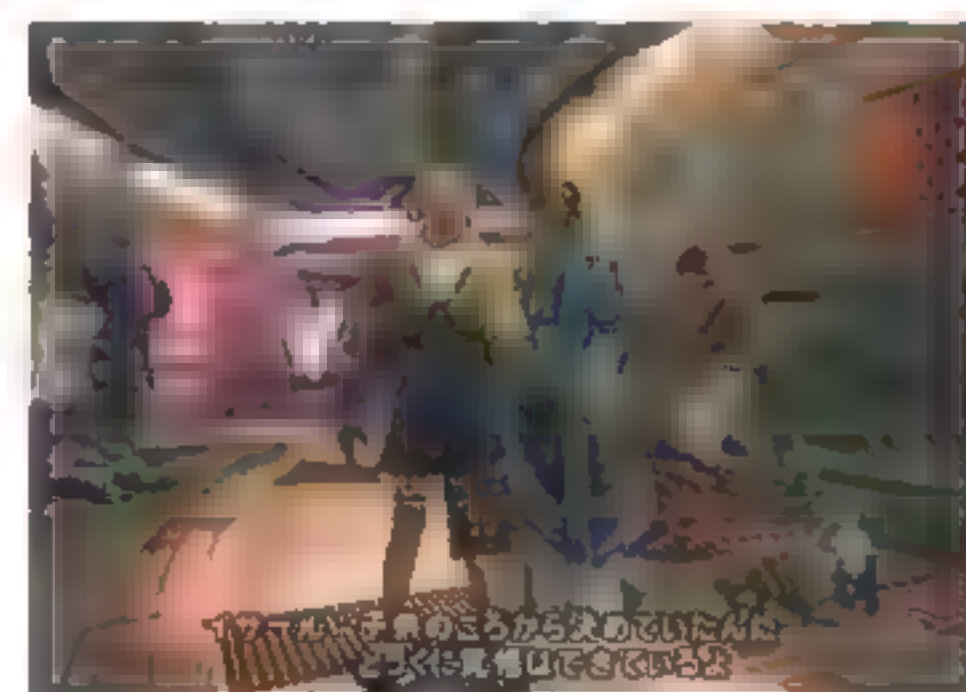
「若く未熟な召喚士の修業に力を貸す……それが私の役目だ」
——レミアム寺院　自分が死人であることをユウナたちに明かして

大召喚士を目指す穏和な青年

イサール Isaaru

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	26歳
ボイスアクター	陶山章央

登場場所 ジョゼ寺院、聖ベベル宮ほか

ブラスカにあこがれて召喚士となった青年。弟ふたりをガードにして各地を旅していた。温厚な性格で、どんなときでも紳士的に振る舞う。ユウナが反逆者となったときには、寺院からの命令に逆らえず、やむなく彼女と戦った。

←見た目どおりの柔和な青年だが、『シン』を倒すためなら命をなげうつほどの覚悟を持つ。

Impressive Words

「どちらが先に『シン』を倒せるか、競争といったところかな」
——ジョゼ寺院：初対面のユウナを激励し

「寺院の命令は絶対だ。たとえブラスカ様のご息女といえど……やらねばならん」
——聖ベベル宮：寺院から脱走しようとするユウナたちを待ちかまえて

プライドの高いユウナのライバル

ドナ Dona

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
年齢	24歳
ボイスアクター	葛城七穂

登場場所 キーリカ寺院、ジョゼ寺院ほか

恋人のバルテロを唯一のガードとする召喚士。ユウナと同様に、究極召喚を求めて旅をしていた。自尊心が強く高飛車で、ユウナと顔を合わせるたびにキツイ言葉を放っていたが、少しずつ召喚士としての重圧に思い悩んでいく。

←飛空艇ではティーダに助言を請う場面も。彼女の進んでいく道は、ティーダの答えしだい。

Impressive Words

「ガードは量より質。数に頼るなんて、あさはかね」
——キーリカ寺院：大勢のガードを連れているユウナを見て

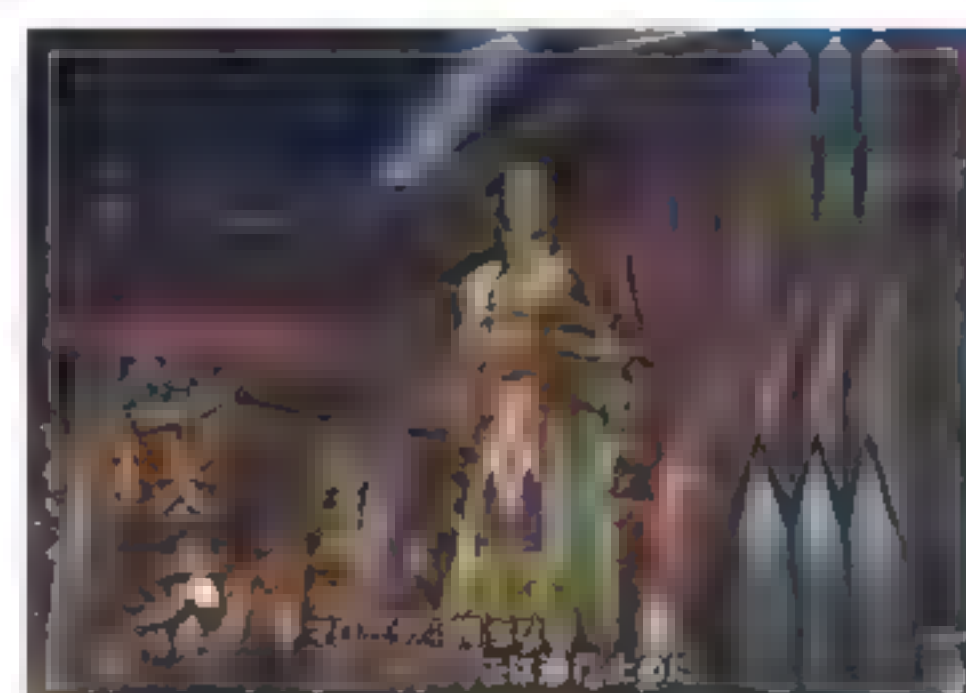
「それもいいかもね……バルテロとふたりで、遠くへ逃げちゃおうかな」
——飛空艇：旅をやめてもいいとティーダに言われて

兄を支える武闘派ガード

マローダ Maroda

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	22歳
ボイスアクター	中井将貴

登場場所 ジョゼ寺院、聖ベベル宮ほか

イサールの弟。召喚士である兄のガードとして、ともに旅をしている。礼儀正しい兄とは対照的に、ややくだけた口調で話す。ジョゼ寺院を訪れたティーダに、召喚士が消える噂について話し、ガードとして注意をうながした。

←物語終盤ではエボン寺院に泣きつかれてしまい、兄弟3人そろってベベルの警護にあたる。

Impressive Words

「くわしーコトはわかんねーけど、とにかくおめーらも気ィつけろや」
——ジョゼ寺院：召喚士が行方不明になる事件が多発していると忠告して

「オレもよ、旅の終わりにアニキが死ぬなんてイイ気分じゃねーよ」
——飛空艇：究極召喚の真実を知ったティーダに

愛する女のために生きる巨漢

バルテロ Barthello

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	24歳
ボイスアクター	石丸 純

登場場所 キーリカ寺院、ジョゼ寺院ほか

恋人のドナを守るため、彼女の旅に同行するガード。「伝説のガード」アーロンにあこがれてガードとなった。威圧感のある見た目ゆえに誤解されがちだが、本来は優しい人物。ドナが誘拐されたときは、必死に彼女を捜した。

←じつはお茶目なバルテロ。照れ屋なわりに、決めポーズで自分の肉体をアピールしてみせる。

Impressive Words

「握手……してくれないか。アーロン……いや、アーロンさん!」
——ジョゼ寺院：あこがれのアーロンに握手を求めて

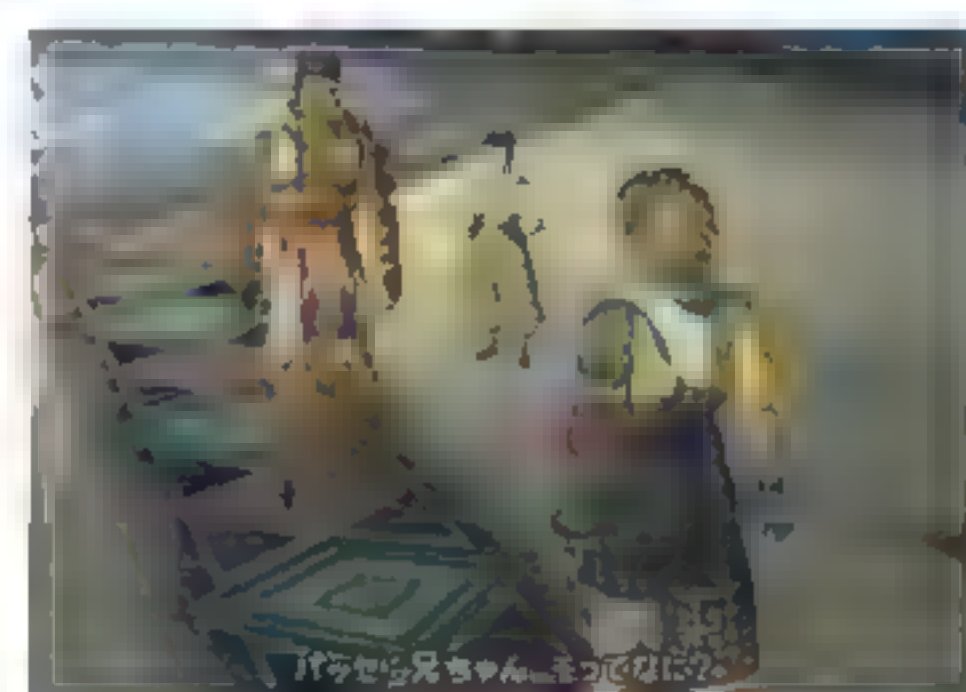
「でも!　あいつにもしものことがあったら……」
——マカラーニャの森：ドナとはぐれてしまい取り乱して

幼いながらも頑張るガード

パッセ Pacce

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	10歳
ボイスアクター	くまいもとこ

登場場所 ジョゼ寺院、聖ベベル宮ほか

イサールとマローダの弟。長兄のガードとして旅に同行し、少しでも兄たちの役に立とうと努力しているが、まだまだ知らないことが多い。召喚士の宿命についても理解しておらず、「召喚士はイケニエ」という言葉に疑問を示す。

←好奇心旺盛で、わからないことがあると、兄やまわりの人たちになんでもどんどん聞いてみる。

Impressive Words

「なになに～?　なんのお話～?」
——ジョゼ寺院：兄たちの難しい話に首を突っこんで

「ねえ……イケニエってなに?　召喚士はイケニエだってアルベドの人が言ってたんだ」
——アルベドのホーム：やってきたティーダに素朴な疑問をぶつける

語りたがりの物知りじいさん
メイチェン Maechen

・登場場所・ミヘン街道、幻光河ほか

Personal Data

種族	ヒト?
性別	男
年齢	?
ボイスアクター	鈴木琢磨

世界各地で歴史の真実を探求するかたわら、旅人にその土地にまつわる伝承などを語る老人。エボンの僧官でも知らないことを知っているなど、幅広い知識を持つが、ひとたび語りはじめるとなかなか話が終わらないのがタマにキズ。

←歴史だけでなく、地学や生物学にも精通。まるで、スピラで知らないことはないかのよう。

Impressive Words

「語ってもいいですかな?」「つまらんのう……」
——各地：話したいことがあるときの決まり文句

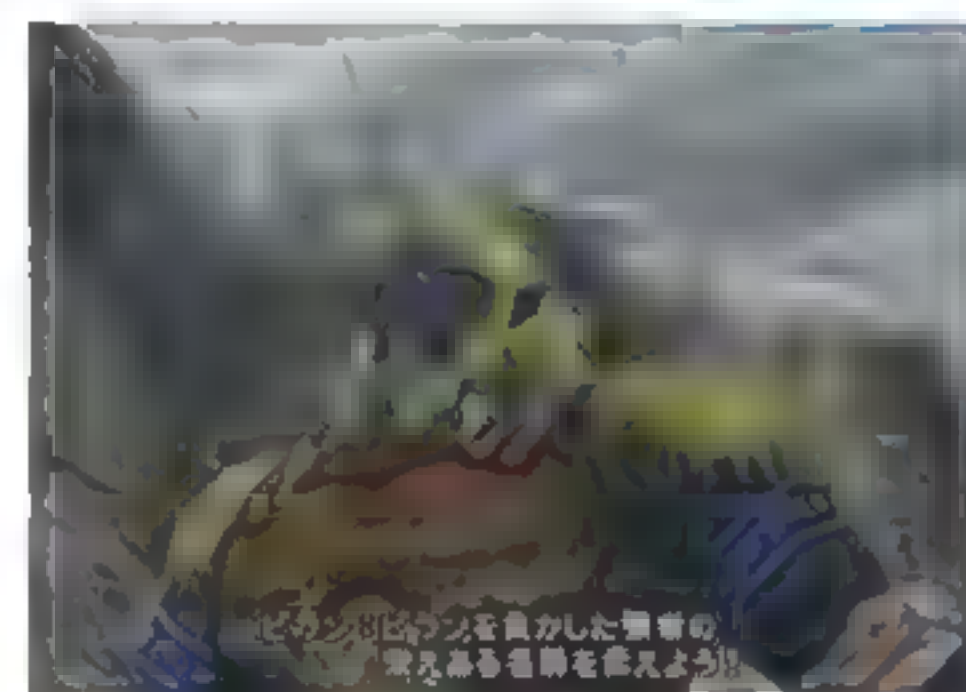
「いやいや、証拠などありゃせんのですがな」
——各地：伝承などの説明のあと、話を締めくくるように

誇り高きロンゾの勇士
ビラン Biran Ronso
ビラン＝ロンゾ

・登場場所・ルカ、ガガゼト山ほか

Personal Data

種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	20代後半
身長	250cm
ボイスアクター	三宅健太

ロンゾ族きっての勇者。キマリのツノを折った張本人で、彼を弱いロンゾと侮蔑していたが、キマリがガガゼトへもどったときには、成長した彼の力を認めた。ユウナ一行を守るためにシーモアと戦い、名誉の戦死をとげる。

←強い者は素直に認めるビラン。キマリの成長を喜び、彼の栄誉を霊峰ガガゼトに知らしめる。

Impressive Words

「キマリは小さいロンゾだ。背が低い、顔が見えない、ビランとエンケがわからない」
——ルカ：10年ぶりに再会したキマリをバカにして

「ビランが八つ裂きにしてくれよう!」
——ガガゼト山：キマリの行く手をはばんで

疑うことを知らないエボンの僧官
シェリンダ Shelinda

・登場場所・ミヘン街道、幻光河ほか

Personal Data

種族	ヒト
性別	女
年齢	19歳
ボイスアクター	長沢美樹

寺院つきの僧官として働くことを夢見る、駆け出しの巡回僧。エボンの教えを忠実に守り、人々に教えを説きながら各地を旅している。物語後半に寺院が混乱すると、聖ベベル宮の門衛監督官へと大出世を果たす。

←スピラの幸せを願って一生懸命力を尽くすが、無意識のうちに善意を押しつけてしまいがち。

Impressive Words

「倒せる倒せないの問題ではないのです。教えに反することが問題なのです」
——ミヘン街道：機械を使用するミヘン・セッションに苦言を呈して

「あなたたち、ユウナ様になんてことするんですか!」
——聖ベベル宮：ユウナに銃を向けた門衛を制して

ビランにつぐ剛の者
エンケ Yenke Ronso
エンケ＝ロンゾ

・登場場所・ルカ、ガガゼト山ほか

Personal Data

種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	20代後半
身長	240cm
ボイスアクター	石丸 純

ビランを「大兄」と慕い、彼と一緒に行動するロンゾ族の戦士。ビランとともに、ガガゼト山を登ろうとしたキマリの前に立ちはだかった。キマリの実力を認めたのち、ユウナを追うシーモアを止めるべく戦いを挑み、命を落とす。

←キマリをあざけるような口ぶりだが、同族のよしみでか、旅の注意をうながしてくれることも。

Impressive Words

「あわれなキマリ! ツノをなくし、召喚士もなくす!」
——幻光河：召喚士の失踪事件が多発していると忠告して

「ツノなし! ツノなし!」
——幻光河ほか：ツノをなくしたキマリをあざけるように

店の再興を夢見る商人
23代目 オオアカ屋 O'aka XXIII

・登場場所・連絡船リキ号、連絡船ウイノ号ほか

Personal Data

種族	ヒト
性別	男
年齢	30歳
ボイスアクター	宇垣秀成

先祖代々の屋号を守り、スピラ中を渡り歩く行商人。金にがめつく、暴利とも思える値段で商売することも。ユウナに亡き妹の面影を見ており、ユウナが反逆者になっても協力を惜しまなかった。

Impressive Words

「オオアカ屋、よろしく!」
——各地：売り物を見せる前の決めゼリフ

「たとえ反逆者でも、俺はユウナ様の味方だからな!」
——聖ベベル宮：追われる身となったユウナに向かって

引っ込み思案な追っかけ青年
ワンツ Wantz

・登場場所・幻光河、ガガゼト山ほか

Personal Data

種族	ヒト
性別	男
年齢	22歳
ボイスアクター	山口隆行

ユウナを追って各地に現れる、23代目オオアカ屋の弟。内気な性格で、ユウナと直接話そうとはしない。物語後半、ユウナをかばった罪で投獄された兄の意志を継ぎ、24代目オオアカ屋を名乗る。

Impressive Words

「姉さんが生きてたら こんなふうに戦ったのかな……」
——異界：召喚士だった亡き姉にユウナのことを報告して

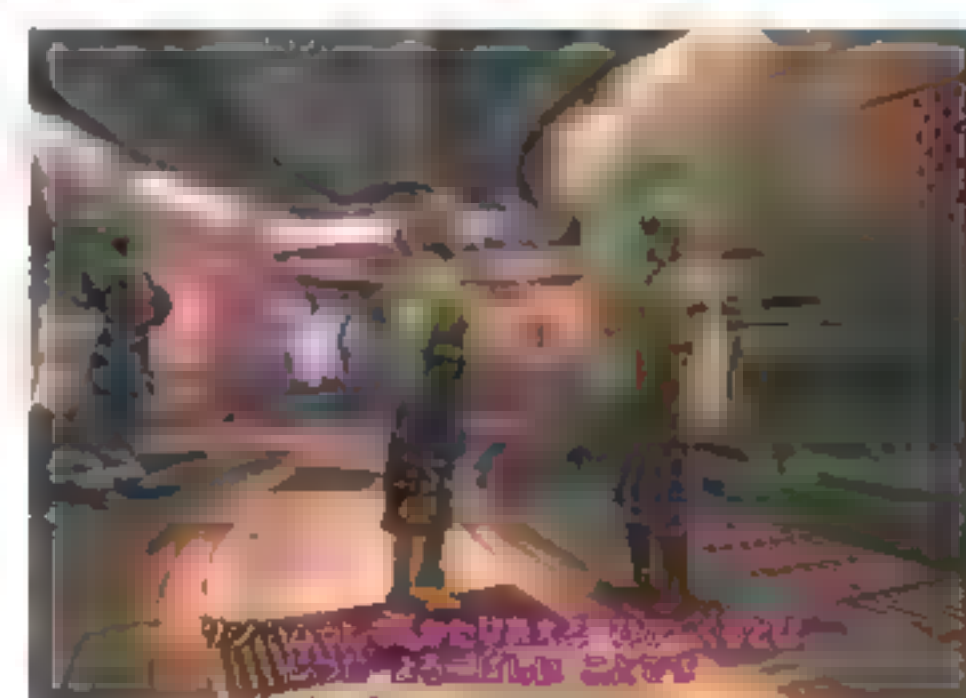
「兄さんの代わりに、ちゃんと仕事しないとね」
——ガガゼト山：投獄された兄にかわって商売し

商才に長けた若き経営者
リン Rin

・登場場所・ミヘン街道、飛空艇ほか

Personal Data

種族	アルベド族
性別	男
年齢	35歳
ボイスアクター	咲野俊介

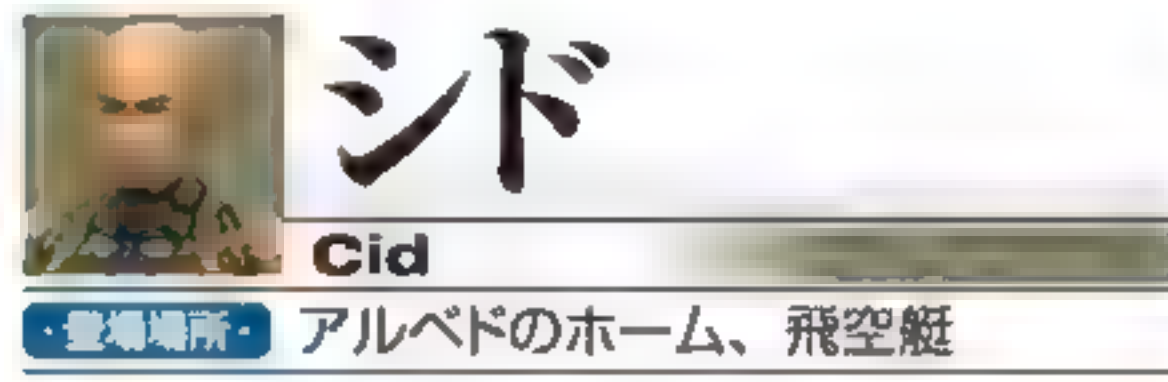
スピラの各地に点在する、宿と道具屋を兼ねた施設「旅行公司」のオーナー。つねに落ち着きはらった態度で、余裕のある振る舞いを見せる。アルベド族と他種族との交流に力を入れており、ティーダにアルベド語の手ほどきをした。

←アルベド語辞書をすべて集めたティーダとの会話では、アルベド語で語り合えることを喜ぶ。

Impressive Words

「マギレヤキセ。「はじめまして」という意味ですな」
——ミヘン街道の旅行公司：初対面のティーダにアルベド語であいさつ

「みなさまの勝利を確信しておりますので」
——飛空艇：エフレイエに襲われたとき、通常どおり商売をして

リュックの家族

シド
Cid

Personal Data	
種族	アルベド族
性別	男
年齢	37歳
身長	192cm
ボイスアクター	坂口候一

登場場所 アルベドのホーム、飛空艇

頑固一徹なアルベドの長

アルベド族の族長。リュックとアニキの父親で、ユウナの伯父にあたる。冷静さに欠けるが度胸はあり、一族を牽引する力は確か。アルベドのホームがグアド族に襲われたときには、海底からサルベージしていた飛空艇で脱出。以後、移動から『シン』への攻撃まで、ティーダたちを空から幅広く手助けする。

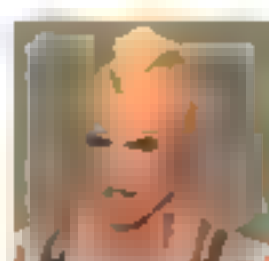
↑豪快で行動力は抜群だが、勢いにまかせて後先を考えないため、リュックにはあきれられている。

Impressive Words

「チアミオミミソヨノマハ、ヤサユルエザミミッセヨソガ」
（機械のいいところはな、また造ればいいってことだ）
——飛空艇：グアド族に襲われてボロボロになったホームを破壊して

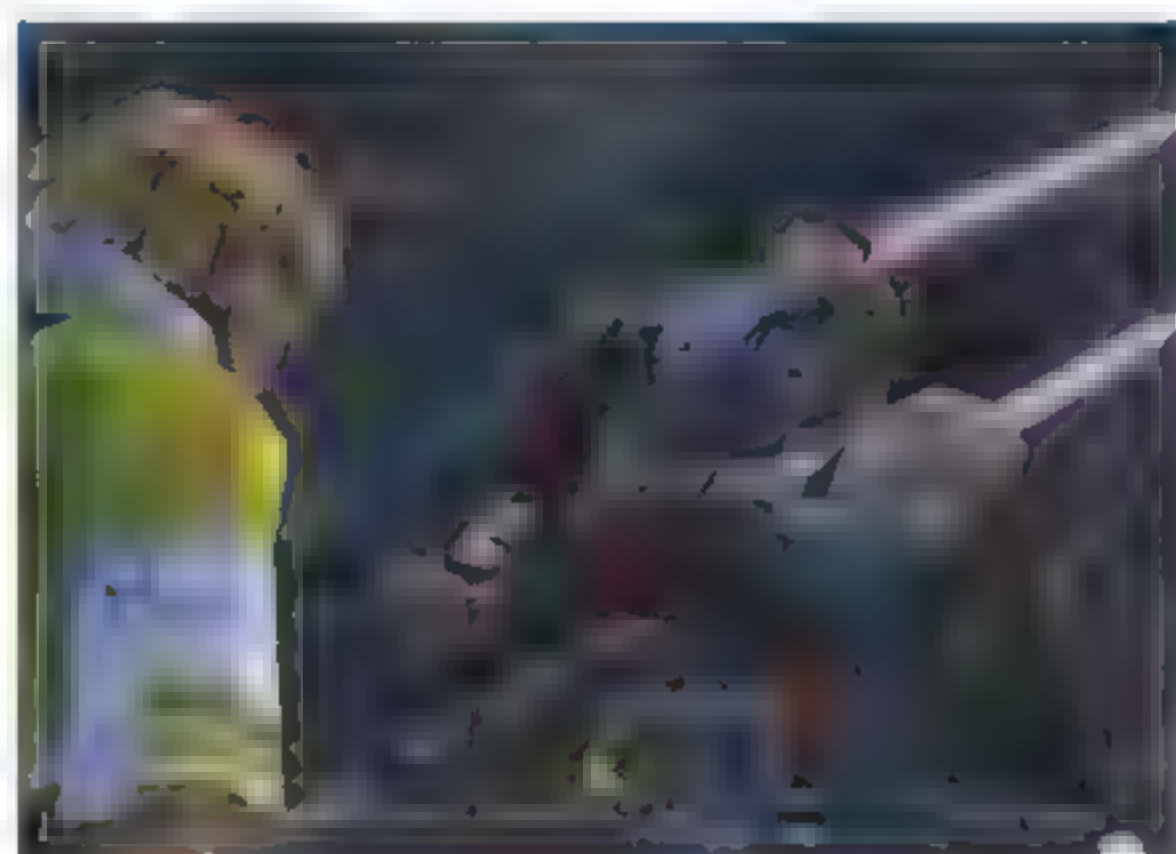
「定めだかなんだか知らねえが、だまって姪っ子を死なせられっか!」
——飛空艇：ユウナの旅を無理やりにでもやめさせると言い切って

「世の中にゃいろんなヤツがいる。いいヤツもいれば、イヤなヤツもいる。そんだけの話よ」
——飛空艇：アルベドに偏見を抱いていたことを謝罪するワッカを笑って許し

アニキ
Brother

Personal Data	
種族	アルベド族
性別	男
年齢	18歳
ボイスアクター	山口隆行

登場場所 海の遺跡、飛空艇ほか

本名不詳のみんなの兄貴

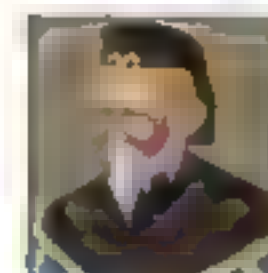
モヒカン頭が特徴的な、リュックの兄。「アニキ」の名は、もともとは妹から呼ばれていたもので、いつの間にか一族全体からそう呼ばれるようになった。直情型で考えるのが苦手など、父親ゆずりな性格をしており、感情のままに叫び散らすこともしばしば。物語の後半では、飛空艇の操縦を担当する。

↑アルベド語しか話せないため、ティーダとはボディランゲージでのコミュニケーションを試みる。

Impressive Words

「リューック!! トタギシミミユテウアナハ!」（リューック!! オヤジに言いつけるからな!）
——マカラーニャ湖：召喚士の保護を邪魔するリュックに向かって

「トタギ! マッキンギュンヂアンニョフガ!」（オヤジ! 発進準備完了だ!）
——飛空艇：襲撃されたアルベドのホームから飛空艇で離脱を図り

「リュック、た……のむ」
——飛空艇：『シン』との戦いを前に、かたことの公用語でティーダに話す

エボンの老師

螺旋の世界を守りつづける老師
マイカ
Yo Mika

Personal Data	
種族	ヒト（死人）
性別	男
年齢	99歳（公称）
ボイスアクター	岩崎ひろし

登場場所 ルカ、聖ベベル宮

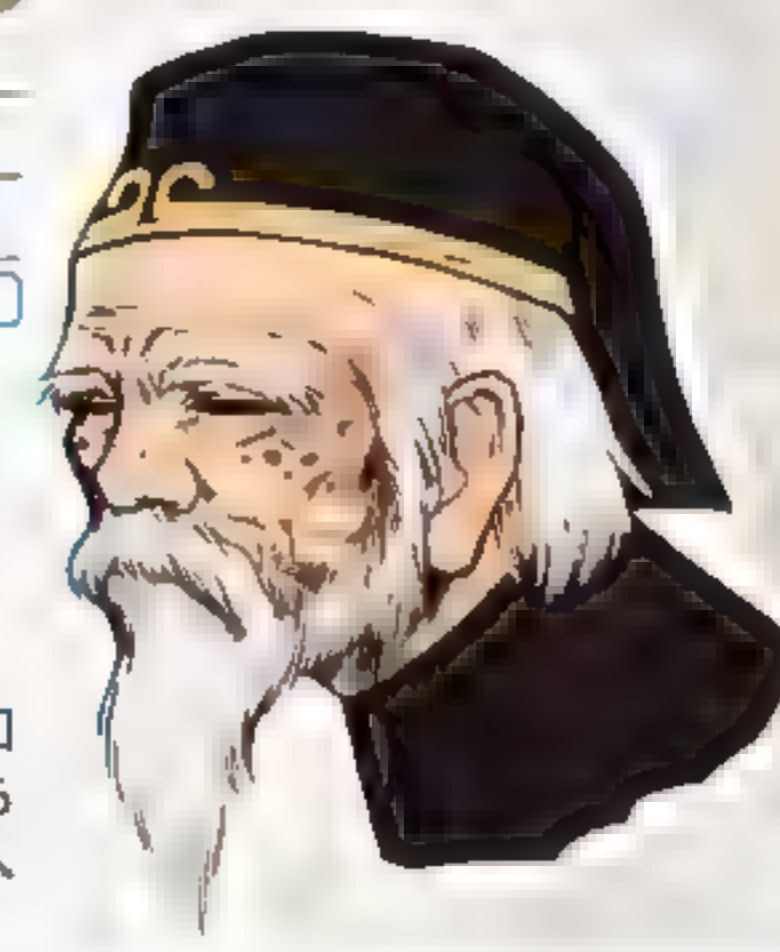
スピラを統べるエボン寺院の頂点に立つ総老師。死人を否定する寺院の長でありながら、死人として世にとどまっている。表向きは人当たりの良い大老だが、実際は冷徹かつ狡猾な人物。『シン』は不滅だということを伏せ、スピラの民にまやかしの希望をもたらしていた。死の螺旋にとらわれた現状に異を唱えたユウナを寺院の障害と判断し、反逆者の烙印を押す。

←究極召喚が消滅したと知ると、スピラ滅亡は避けられないと決めつけ、異界へと逃げ去った。

Impressive Words

「変わらぬことこそエボンの真実。継続こそがエボンの真実」
——聖ベベル宮：裁判にかけられたユウナに隠された真実を明かし

「あの娘はエボンの秩序を乱す。生かしてはおけぬ」
——聖ベベル宮：ユウナを反逆者とし、シーモアに処刑を命じて

野心にとりつかれ堕ちた僧
キノック
ウェン=キノック
Wen Kinoc

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	30代中盤
ボイスアクター	宇垣秀成

登場場所 キノコ岩街道、聖ベベル宮

スピラ中の僧兵の指揮権をにぎる、エボンの老師。かつては僧兵であり、アーロンとは親友同士だったが、優秀な僧兵だった彼に対してコンプレックスを抱いていた。おだやかそうな外見からは想像もつかないほど非情な性格で、汚い手段を用いながら、水面下でシーモアと権力争いを展開。反逆者ユウナの処刑におもむくシーモアをけん制するべく彼に同行するも、逆に謀殺された。

Impressive Words

「どうせ失敗する作戦だ。
少しでも長く夢を見させてやるさ」
——キノコ岩街道：ミヘン・セッションの視察に訪れて

「悪いな。エボンの秩序のためだ」
——聖ベベル宮：ユウナとシーモアの結婚式に乗りこんだティーダたちに銃を突きつけて

「本来なら副長になるのはおまえさんだったんだ。
結局、最後までおまえさんを超えられなかった」
——アーロンのスフィア（ベベル）：ブラスカのガードとして出発するアーロンを見送り

秩序と誇りを重んじるロンゾの長
ケルク
ケルク=ロンゾ
Keik Ronso

Personal Data	
種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	50代
ボイスアクター	坂口候一

登場場所 聖ベベル宮、ガガゼト山

エボンの老師でもある、ロンゾ族の族長。正義感が強く厳格な性格で、スピラの秩序を乱すものには容赦ない。

エボン最高法廷においてシーモアの父親殺しを知るやいなや、寺院を見かぎり老師を辞任。反逆者となったユウナがガガゼト山を登ろうとしたとき、一度は彼女の行く手をはばむが、寺院と敵対してでもスピラのために戦おうとするユウナの覚悟に心を打たれ、彼女への協力を決意する。

←真にスピラのために行動しているのは、寺院ではなくユウナだと悟り、道を開いた。

Impressive Words

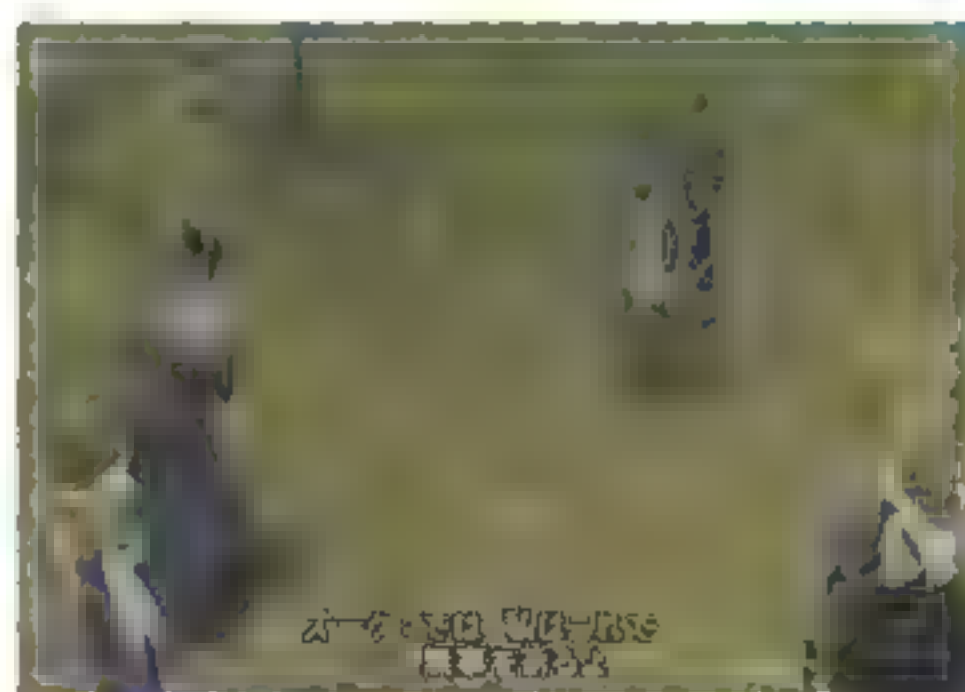
「召喚士ユウナよ。汝の思いはハガネより硬い。ロンゾの強者が束になろうと、汝の意志は曲がらぬであろう」
——ガガゼト山：ユウナの決意を聞いて

エボンの僧官

心優しきルールーの恩師
ズーク Zuke

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	30代後半
ボイスアクター	石丸 純

・登場場所・ ナギ平原

ベベルで僧官を務めている元召喚士。1年前にビサイド村を訪れたとき、ルールーとワッカをガードにしたが、その旅はナギ平原にて断念してしまった。ルールーたちが反逆者として追われていると知り、忠告をしにやってくる。

←旅をやめてもかつてのガードを気づかい、身の危険をかえりみずナギ平原まで足を運んだ。

Impressive Words

「今や君らはエボンの敵だ。寺院にも近づかない方が賢明だね」
――ナギ平原：ユウナたちに処刑命令が出ていることを告げて

「今度は最後まで行けるといいね。なによりも君自身のためだ」
――ナギ平原：ルールーを激励し

祈り子

夢の終わりへの導き手
謎の少年(バハムートの祈り子)

Personal Data	
種族	祈り子
性別	男
ボイスアクター	夏樹リオ

・登場場所・ 夢のザナルカンド、聖ベベル宮ほか

聖ベベル宮にまつられている、祈り子の少年。たびたび夢のザナルカンドを訪れており、同地が『シン』に襲われたときには、混乱するティーダの前に現れて意味深な忠告を残した。以降も、夢のザナルカンドに関する秘密をティーダに教えたり、『シン』を倒すカギとなるエボン＝ジュの正体をユウナに告げたりと、さまざまな助言をもたらす。

←ティーダに、夢のザナルカンドや彼自身の正体を伝え、信じがたい現実を突きつけた。

Impressive Words

「はじまるよ。泣かないで」
――夢のザナルカンド：『シン』が襲来したとき、ティーダに向かって

「キミは、夢を終わらせる夢になれるかもしれない……」
――ガガゼト山：夢のザナルカンドの正体をティーダに告げて

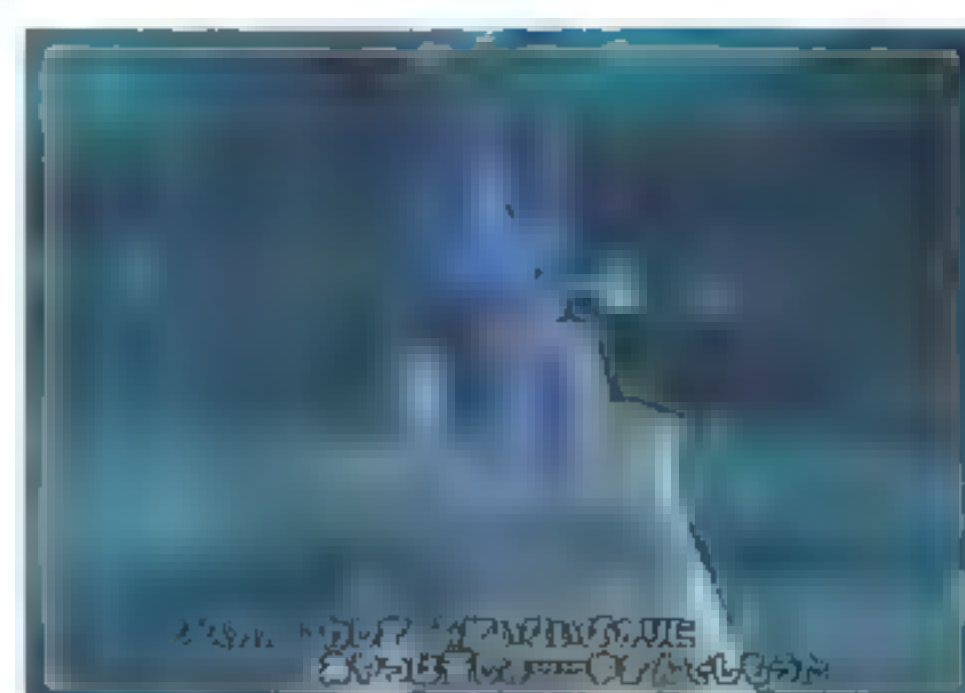
グアド族の有力者

息子に謀殺されたグアドの先代族長
ジスカル Jyscal Guado

ジスカル＝グアド

Personal Data			
種族	グアド族		
性別	男		
年齢	50代	身長	175cm
ボイスアクター	佐藤正治		

・登場場所・ ジスカルのスフィア

かつてエボンの老師を務めた、シーモアの父。グアド族の前族長でもあり、エボンの教えをグアド族に広めるなど、他の種族との交流に尽力した。しかし、伝統に反してヒトの女性をめとったことで同族の一部から批判を浴び、やむなく妻子をバージ寺院へと島流しにしてしまう。10年前にシーモアを流刑から解放し、それ以降は彼を側近として重用してきたが、心に深い傷を負ったシーモアの憎しみを消すことはできず、彼に暗殺される。

←世間の批判から妻子を守れなかったことに自責の念を抱き、最期まで悔やんでいた。

Impressive Words

「これを見る者よ、シーモアを止めてくれ。息子を……たのむ」
――ジスカルのスフィア：スフィアに遺言を残して

スピラ初の究極召喚の祈り子
ゼイオン Zaon

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男

・登場場所・ グアドサラム(映像スフィア)

ユウナレスカの夫であり、彼女ともども『シン』を倒した偉人として語られる存在。ユウナレスカの究極召喚の祈り子となって、史上はじめて『シン』を倒すのに成功した。しかし、のちに自身が『シン』へと成りかわり、数百年に渡って人々を苦しめてしまうことになる。

呪われし召喚獣の祈り子
シーモアの母

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
ボイスアクター	藤井佳代子

登場場所 バージ＝エボン寺院、エボン＝ドーム(過去の映像)

グアド族の前族長ジスカルの妻。グアドの伝統に反した結婚が一族分裂の危機を招いたため、息子のシーモアともどもバージ寺院へ流された。数年後、己の死期を悟り、息子にひとりでも生きていける力を与えようと、みずから彼の究極召喚「アニマ」の祈り子となる。

Impressive Words

「わたしを召喚して『シン』を倒しなさい。そうすれば、みんなあなたを受け入れてくれる」
――エボン＝ドーム(幻影)：みずからシーモアの究極召喚の祈り子になろうとして

「あの子をゆがめてしまったのは、わたしのあやまち……」
――バージ＝エボン寺院：シーモアの過去をユウナたちに語り

グアド族長に仕える執事
トワメル Tromell Guado

トワメル＝グアド

Personal Data	
種族	グアド族
性別	男
年齢	54歳
ボイスアクター	石野竜三

・登場場所・ グアドサラム、マカラーニャ寺院

ジスカル、シーモアの2代に渡り、族長の側近を務める老人。ジスカルの跡を継いだシーモアに心酔し、大きな期待を寄せているが、彼が抱える心の闇には気づいていない。シーモアとユウナの結婚話を、積極的に進めた。

←はじめはユウナたちに友好的だったが、シーモアを殺されてからは一行を敵視するように。

Impressive Words

「シーモア様は……このスピラに生きるすべての者の未来を照らす光となるでしょうな」
――グアドサラム：ヒトとグアド族のあいだに生まれたシーモアをたたえて

「グアドの問題はグアドが解決します」
――マカラーニャ寺院：シーモアが父を殺めた証拠を隠滅するため、ジスカルのスフィアをたたき割って

母親

夫を深く愛した女性
ティーダの母

Personal Data	
種族	ヒト(幻光体)
性別	女
ボイスアクター	長沢美樹

・登場場所・ ティーダの回想

夢のザナルカンドに住んでいたティーダの母親。夫のジェクトに夢中で、息子にはほとんどかまっていなかったため、ティーダには日ごろからさびしい思いをさせていた。ジェクトが行方不明になると、心労からしだいに衰弱し、9年前、幼いティーダを残して帰らぬ人となる。

Impressive Words

「ちょっと待っててね」
――ティーダの回想：ジェクトとの会話中に話しかけてきた息子にうわの空で返し

「そんなに……そんなにお父さんがきらい? 死んでしまったら、きらいだってことも伝えられないのよ」
――ティーダの回想：父親が帰ってこなくてもいいと言うティーダをたしなめて

種族を越えた愛に生きた女性
ユウナの母

Personal Data	
種族	アルベド族
性別	女

登場場所 ――(異界)

アルベド族族長シドの妹。アルベドのホームを訪れたブラスカと出会って恋に落ち、駆け落ち同然に結婚した。この行動が兄の怒りを買い、絶縁されてしまうことに。娘のユウナが4歳になったころシドと和解したものの、ホームへ向かう途中に船が『シン』に襲われ、命を落とした。

ブリッツボール選手

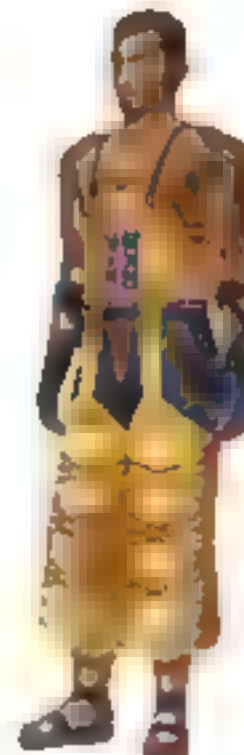
ビサイド・オーラカ
Besaid Aurochs

23年連続初戦敗退という大会記録を持つ最弱チーム。しかし、ティーダの加入により、ほかのチームに引けを取らぬほどの強豪に成長する。

ダット
年齢 18歳　ボイスアクター 石野竜三

登場場所 ビサイド島、ルカ=スタジアムほか

Words *「やっと起きたっすか〜!?ワッカさんが待ってるっすよ〜!」*

幼さの残る頑張り屋。ボールが落ちてくると目をつぶってしまうなど、まだまだ未熟な面が目立つ。

レッティ
年齢 21歳　ボイスアクター 神谷浩史

登場場所 ビサイド島、ルカ=スタジアムほか

Words *「足パスも練習したほうがいいっすか?」*

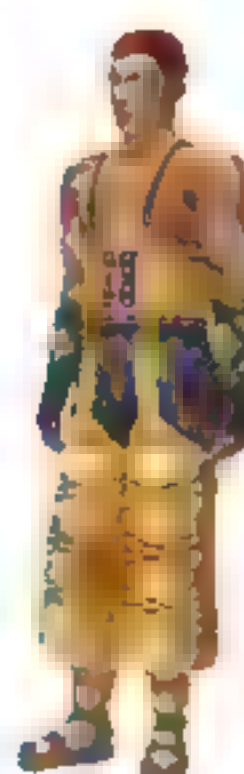
腕のイレズミと無精ヒゲが特徴。手でのパススローには定評があるが、足技は苦手としている。

ジャッシュ
年齢 19歳　ボイスアクター 諏訪部順一

登場場所 ビサイド島、ルカ=スタジアムほか

Words *「ルカのヤツらに一服盛ってやりたいぜ! じゃなくて一泡吹かせてやりたいぜ!」*

見た目は派手で怖そうだが、じつは陽気な青年。ティーダにも気さくに話しかけてくる。

ボッツ
年齢 18歳　ボイスアクター 鈴木琢磨

登場場所 ビサイド島、ルカ=スタジアムほか

Words *「出場できるのは5人だから ひとりはベンチか……だ、誰だろう?」*

鼻にばんそうこうをつけた赤毛の青年。チームに貢献できているかつねづね不安がっている。乗り物に弱い。

キッパ
年齢 20歳　ボイスアクター 山口隆行

登場場所 ビサイド島、ルカ=スタジアムほか

Words *「がんがん攻めまくって、キーパーにラクさせてくれよ」*

ちょっと太めなキーパー。なぜかゴワーズの女性陣にちやほやされ、ボッツにうらやましがられる。

Impressive Words

オーラカ一同「せいいっぱい、がんばる!」

——ビサイド村:ティーダにチームの目標を聞かれ

オーラカ一同「優勝だ! 優勝だ! 優勝優勝優勝だ!」

——ビサイド村:チームの目標は優勝しかないとティーダにゲキを飛ばされて

ルカ・ゴワーズ
Luca Goers

『すべてを兼ね備えた最強軍団』と称されるチーム。連絡船にてティーダと火花を散らし、大会では決勝戦でビサイド・オーラカと激突する。

ビクスン
ボイスアクター 咲野俊介

登場場所 キーリカ寺院、連絡船ウイノ号ほか

Words *「祈願だぁ? われらルカ・ゴワーズは常勝だ! 祈願など必要ない!」*

ゴワーズのキャプテンにしてエースストライカー。プライドの高いスター選手で、多数のファンがいる。

アンバス
登場場所 キーリカ寺院、連絡船ウイノ号ほか

Words *「くくく……、毒気にやられたヤツにたよるなんて、オーラカもせっぱつまってんなァ」*

ルカ・ゴワーズの主力選手のひとり。ほかのチームメイト同様、ビサイド・オーラカをバカにしていた。

グラーブ
ボイスアクター 神谷浩史

登場場所 キーリカ寺院、連絡船ウイノ号ほか

Words *「遺跡じこみのテクってのを見せてもらおうじゃないか」*

近年実力を伸ばしてきたゴワーズの選手。選手控え室までやってくる熱烈なファンがついている。

ドーラム
登場場所 連絡船ウイノ号、ルカほか

Words *「オーラカのあのコ、ちょっとカワイイじゃない」*

ゴワーズの女性ディフェンダー。オーラカのキッパを気に入り、ついつい"かわいがって"しまう。

バルゲルダ
登場場所 連絡船ウイノ号、ルカほか

Words *「あんたもカワイイ顔してるじゃない。かわいがってあげようか?」*

ドーラムとコンビを組む褐色肌の女性。カワイイ男子に目がなく、キッパを"かわいがる"。

ラウディア
登場場所 連絡船ウイノ号、ルカほか

Words *「討伐隊が大敗したそうだな。ふん、当然の結果だ」*

ゴワーズのキーパー。なれ合いを嫌い、チームメンバーともつるむことのない孤高の男。

キーリカ・ビースト
Kilika Beasts

大召喚士オハランドの流れをくんだ、伝統あるチーム。『シン』の襲撃を受けた地元を励ますため、チーム一丸となりブリッツの試合にのぞむ。

ラーベイト
登場場所 ポルト=キーリカ

Words *「街の復興はほとんど終わったぞ。あとはあっちの道を修理するだけだ」*

キーリカ・ビーストのフォワード。練習時間をなげうって、『シン』に破壊された街の修復に従事している。

イスケン
登場場所 ポルト=キーリカ

Words *「チームの仲間には迷惑をかけたが、倍の働きをしてつぐなうつもりだ」*

『シン』に襲撃されたとき毒気にやられてしまった選手。しばらくして、無事にチーム復帰を果たす。

ヴーロヤ
登場場所 ポルト=キーリカ

Words *「今度こそオハランド様から受けついだキーリカ魂を見せてやる」*

オハランドにあこがれる、キーリカ・ビーストの主将。隻眼のコワモテで、日々練習を欠かさぬ努力家。

クワルカン
登場場所 ポルト=キーリカ

Words *「次の大会にそなえて練習したいけど仕事が忙しくてヒマがないのよね」*

幼い妹をつれてポルト=キーリカで酒場を営む女店主。酒場の仕事とブリッツ選手を兼任している。

ディム
登場場所 キーリカ寺院

Words *「決めポーズの練習をするヒマがあったら、もっと熱心に祈ればいいのにね」*

キーリカ・ビーストの女性選手。ブリッツよりガッツポーズの練習に熱を入れるニザルートにあきれている。

ニザルート
登場場所 キーリカ寺院

Words *「今度こそ優勝してこのポーズでかっさいを浴びてやるワケだ」*

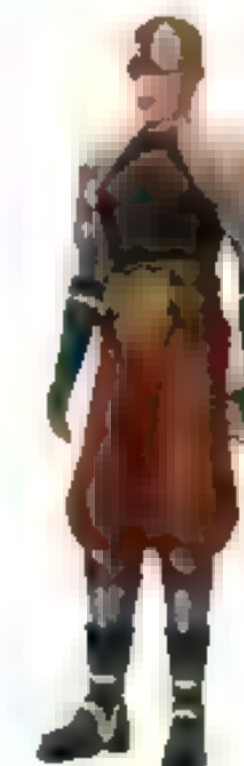
キーリカ・ビーストのキーパー。ひたすらガッツポーズの練習をつづける目立ちたがり屋。

アルベド・サイクス
Al Bhed Psyches

大会初戦のオーラカの相手チーム。召喚士であるユウナを誘拐しようとした。アルベドのホームが襲撃されたのちは、飛空艇に避難する。

エイガー
登場場所 飛空艇

Words *「くそっ! グアドのやつらめ! この借りはブリッツで返すぜ!」(アルベド語で)*

一流のブリッツの腕を持つ選手。アルベドのホームを奪ったグアドへのうらみをブリッツで晴らそうとする。

ブラッパ
ボイスアクター 中井和哉

登場場所 ルカ=スタジアム、飛空艇

Words *「いろいろ迷惑をかけたが、これで許してもらえるか」(アルベド語で)*

ルカでユウナを誘拐した犯人のひとり。飛空艇に避難したのちは、せまい部屋のなかで走りこみをしている。

ベリック
ボイスアクター 石川英郎

登場場所 ルカ=スタジアム、飛空艇

Words *「ルカではすまないことをしたな。召喚士を守りたかったんだ」(アルベド語で)*

アルベド・サイクスの主将。ユウナ誘拐の実行犯のひとりで、のちに誘拐の件をティーダたちにわびる。

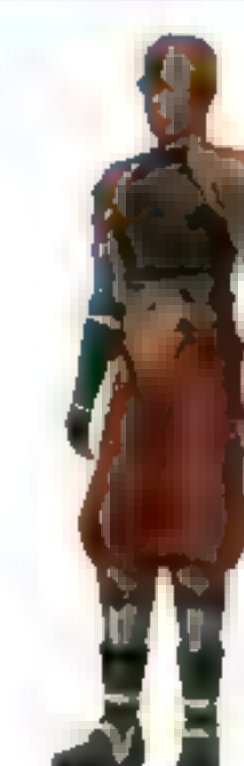
ユーダ
登場場所 飛空艇

Words *「ホームで少し休養したらルカに戻る予定だったのに……」(アルベド語で)*

幼少期からブリッツひと筋で育った女性選手。戦いの絶えない飛空艇での暮らしにおびえている。

ラッカム
登場場所 飛空艇

Words *「アルベド・サイクスはみんな無事よ。試合にも参加できるわ」(アルベド語で)*

ほかのチームメイトと同様、飛空艇に避難した女性選手。階段を使ってトレーニングをしている。

ルムニク
登場場所 飛空艇

Words *「ホームをなくして悲しむみんなを、ブリッツで励ましたい!」(アルベド語で)*

アルベド・サイクスが誇る鉄壁のキーパー。飛空艇に乗りこんだあとも屈伸運動で身体を鍛えている。

ブリッツボール選手

バシク=ロンゾ

登場場所 ルカ

Words 「御山の仲間が命を落としても涙は流さない。悲しみに耐えて戦うのがロンゾの心意気だ」

打倒ルカ・ゴワーズを目指す選手。強引なドリブルと力強いシュートがウリのパワーファイター。

アルゲ=ロンゾ

登場場所 ルカ

Words 「ツノにかけて誓った優勝を逃がした。優勝するまで故郷には帰れない」

誇り高きロンゾ・ファングの一員。強い者や勇敢な者には、たとえロンゾ族でなくても最大級の敬意を払う。

ガズナ=ロンゾ

登場場所 ルカ

Words 「ケルク大老は御山を守って戦死した。あれこそロンゾにふさわしい死にざま」

ロンゾ・ファングの主将。ロンゾ族のブリッツ選手のなかではただひとり、漆黒のツノを持つ。

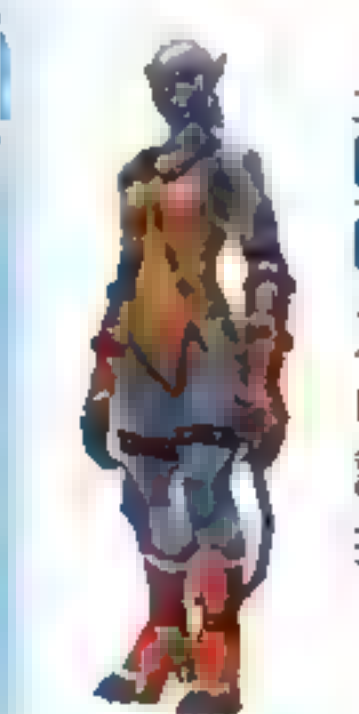
ロンゾ・ファング
Ronso Fangs

豪快なパワープレイを持ち味とする、ロンゾ族のチーム。大会が開催されてからずっとルカにいたため、シーモアによる虐殺をまぬがれた。

ヌベイ=ロンゾ

登場場所 ルカ

Words 「オーラカの選手は真の勇者。りっぱなツノがふさわしい」

ロンゾ・ファングの女性ディフェンダー。謙虚で礼儀正しく、他者からさまざまな技能を学ぼうとする。

イルガ=ロンゾ

登場場所 ルカ

Words 「誇り高き勇武の民ロンゾはいかなる敵とも正々堂々戦う」

男性顔負けのプレーをこなす女性選手。エボンの教えを尊んでいたが、物語後半は寺院に不信感を抱く。

ザムジ=ロンゾ

登場場所 ルカ

Words 「ロンゾ族はすぐれた体力の持ち主。だが体力だけにたよっていては勝てない」

ロンゾ・ファングのキーパー。ロンゾ族の弱点を冷静に分析し、スピードや技術の重要性を考察する。

ギエラ=グアド

登場場所 グアドサラム

Words 「多くの仲間を失い、グアド族は悲しみにとらわれている。ブリッツボールで仲間の心をいやせないだろうか……」

グアド族としての誇りを大切にしている男性。つねにグアド族全体のことを考え、思い悩んでいる。

ザジ=グアド

登場場所 グアドサラム

Words 「たまにはグアド・グローリーをはなれ、他のチームでプレイしてみたいものだ」

グアド・グローリー以外のチームでのプレイを望む選手。契約金しだいではアルベド族とも手を組むと言う。

ナバラ=グアド

登場場所 グアドサラム

Words 「グアドの新たな指導者となるのはこの私だ……くくく」

シーモアをライバル視する、グアド・グローリーの主将。シーモア亡きあと、次期グアド族長の座を狙う。

グアド・グローリー
Guado Glories

グアドサラムに本拠地を置くグアド族のチーム。ティーダ一行がシーモアと敵対したのちも、一選手として態度を変えずに接してくれる。

オーデ=グアド

登場場所 グアドサラム

Words 「ブリッツを通してスピラの民がひとつになればよいのですが」

ていねいな言葉づかいで話す、グアド族の女性選手。向上心が強く、ヒトの技にも興味を示す。

パ=グアド

登場場所 グアドサラム

Words 「あんたビサイド・オーラカのティーダでしょ。大会で見てから注目してたんだ」

ヒトにも気さくに接する女性。大会でティーダのプレイに目をつけ、一緒にプレイしようと誘ってくる。

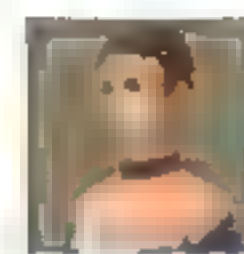
ノイ=グアド

登場場所 グアドサラム

Words 「同じブリッツ選手として忠告しておく。グアドサラムに近づくのはやめておけ」

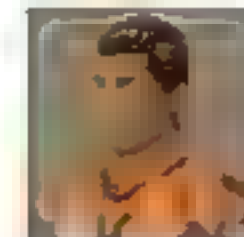
グアド・グローリーのキーパー。礼儀正しい好漢で、他種族に対してもわけへだてなく接する。

そのほかのおもなサブキャラクター

ブリッツボール選手(フリー)

ビルーチャ

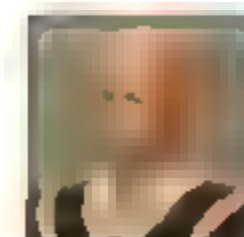
登場場所 ビサイド村

Words 「私が選手だってこと、主人や息子には秘密にしておいてくださいよ」

ビサイド村に住む漁師の妻。ふつうの主婦に見えるが、じつはハイレベルなブリッツの腕前の持ち主。

タツ

登場場所 ポルト=キーリカ

Words 「やっと毒気が晴れて家族のことも思い出せたが……みんな「シン」にやられて異界に行っていたよ」

突然の「シン」襲来で愛する妻子を失った男。自身も「シン」の毒気に冒され、記憶喪失となっていた。

メップ

登場場所 キーリカ寺院

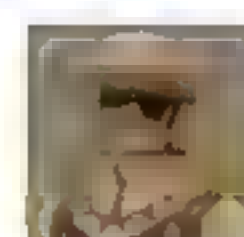
Words 「たまには汗を流すのもよいものですね。選手だったころを思い出します」

キーリカ寺院の僧官。かつては現役のブリッツ選手で、キーリカ・ビーストの主将を務めていた。

キユリ

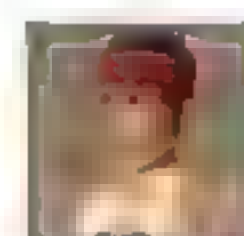
登場場所 連絡船ウイノ号

Words 「あたしもまだまだ修行が足りないね。航海中に練習しとくよ」

連絡船ウイノ号の女性乗組員。フリーのブリッツ選手でもある。

ウェッジ

登場場所 ルカ

Words 「さてと、警備の仕事に戻るか。みんなのスタジアムを守らないとな」

ルカ=スタジアムで警備をしている男。ビッグスという相棒がいる。

ザリッツ

登場場所 ルカ

Words 「いつ「シン」に襲われるかわからない船で働くのはもうごめんだ」

「シン」への恐怖から、船乗りを引退してしまった男。海からスフィアプールへと活躍の場を移す。

シャーミ

登場場所 ルカ

Words 「もう! スピラにとって大事なニュースなのよ。邪魔しない、邪魔しない!」

連日スピラの様子を報道しつづける女性レポーター。放送中に話しかけてくるティーダに迷惑している。

シュウ

登場場所 ルカ

Words 「楽しかったけど、少し疲れちゃった。応援する側に戻ることにするわ」

ルカのカフェにいるショートカットの女性。カフェのモニターでブリッツを観戦している。

ジュマル

登場場所 ルカ

Words 「娘を喜ばせたくてスカウトを受けましたが、ついていくのがせいいっぱいでしたよ」

ルカにいる子煩悩な父親。一家そろってブリッツのファンで、本人はキーパーとして奮闘する。

ゼブ=ロンゾ

登場場所 ルカ

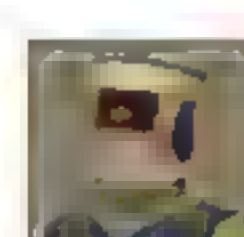
Words 「僧兵はベベルに逃げていった。民を見捨てるとはなさけない」

あえてフリー選手の立場を選んだロンゾ族。マイカ消滅後の僧兵の態度にいきどおりを見せる。

ニーダ

登場場所 ルカ

Words 「俺、飛空艇には乗らないよ。乗り物に酔いやすいんだ」(アルベド語で)

アルベド族のフリー選手。乗り物に弱く、ほかのアルベド族が飛空艇に乗りこんだあともルカに残った。

ビッグス

登場場所 ルカ

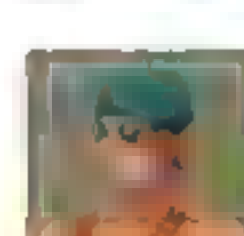
Words 「あなたとプレイできて光栄ですよ。ありがとうございます」

ルカ=スタジアムの守衛を務める男。相棒のウェッジと同様、フリーのブリッツ選手でもある。

キョウ

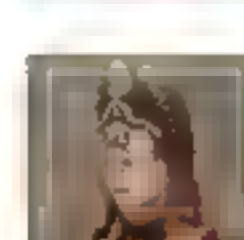
登場場所 ジョゼ寺院

Words 「おっと! もう任務に戻らねば……。では諸君、武運を祈る!」

ジョゼ寺院の警護係となった討伐隊員。ミヘン・セッションの失敗を経験し、寺院の思想を重んじるようになる。

ロップ

登場場所 ミヘン街道・旅行公司

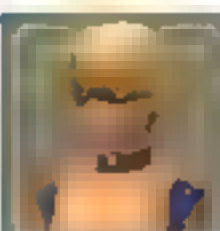
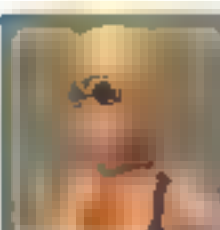
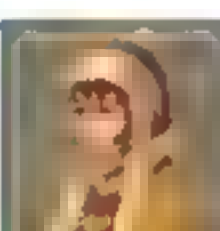
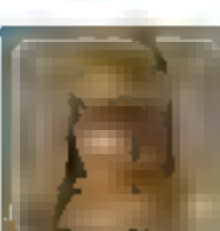
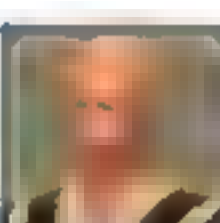
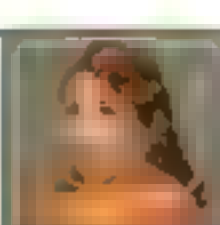
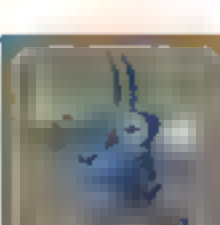
Words 「今度、旅行公司に泊まりに来い。朝まで語りあかそうじゃないか」

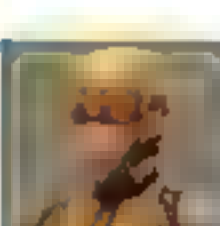
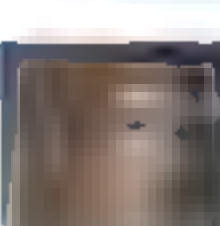
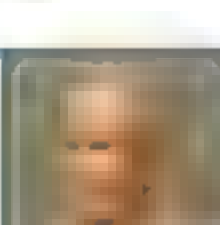
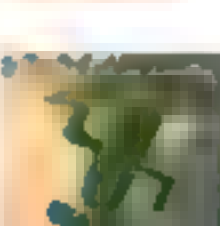
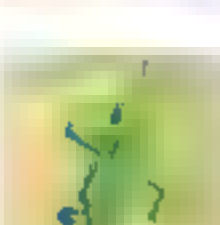
リンの旅行公司ミヘン街道支店の店員。旅行公司では、宿泊の案内を担当する。

ミユウ

登場場所 幻光河

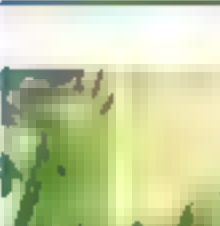
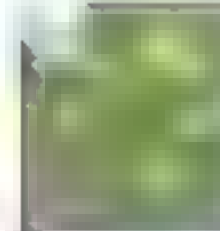
Words 「自分の将来ぐらい自分で考えて決めねばなるまい」

討伐隊に所属する女性。ミヘン・セッションの生き残りで、今後の身の振りかたを熟考している。

ブリッツボール選手（フリー）

ユマ＝グアド
登場場所 グアドサラム
Words 『グアド族は今まで同様に大会に参加できるそうです。ルカ市民の心の広さに救われました』
グアドサラムに住む女性選手。祖父、祖母、弟とともに暮らしている。言葉づかいがていねいで、態度も柔和。

ミフューレ
登場場所 雷平原・旅行公司　ボイスアクター くまいもとこ
Words 『雷をよけるのもスリルがあるけど、ブリッツも楽しかったわ。じゃあ、またね』
リンの旅行公司雷平原支店の女性店員。それなりに大きい店舗をひとりで切り盛りする。

リーナ
登場場所 マカラーニャ寺院
Words 『誰も迎えに来てくれないッス……』（アルベド語で）
マカラーニャ湖でのユウナ誘拐作戦に参加したアルベド族の少女。仲間とはぐれてしまい、寒さに参っている。

ネーダー
登場場所 ナギ平原
Words 『ごめんね。つきあえるのはここまでなの。リンさんにまかされた店を経営しなきゃ』
リンの旅行公司ナギ平原支店をまかされているアルベド族の女性。職業柄、スピラの公用語も堪能。

スパンダ
登場場所 ナギ平原
Words 『大召喚士様に追いつめられた『シン』が最後の力で大地を裂いたという言い伝えです』
ナギ平原の谷の淵で、ひとりたたずんでいる女性。平原の裂け目にまつわる言い伝えを教えてくれる。

デューレン
登場場所 ナギ平原
Words 『かつて大召喚士ヨンクン様はこの地で修行をつんだのだ』
ミヘン・セッションの生き残り。討伐隊を再編制しようと隊員たちに呼びかけている。

ソーニャ
登場場所 ジョゼ寺院
Words 『ともに学んだ僧官が寺院を出ていってしまいました』
ジェクトシュートの練習に明け暮れている、「ブリッツファン Lv1」の僧官。好きなチームはキーリカ・ビースト。

各地の人々

ヒクリ
登場場所 ミヘン街道　ボイスアクター 夏樹リオ
Words 『ユウナさま、ナギセツつくってくれる?』
ミヘン街道でユウナたちが出会う女の子。母親とともにユウナのナギ節を心待ちにしている。

シパーフ使い
登場場所 幻光河　ボイスアクター 諏訪部順一
Words 『シパーフ乗る～?』
シパーフをあやつって人や荷物を運んでいる、ハイペロ族の商人。間延びしたしゃべりかたが特徴。

ケヤック
登場場所 アルベドのホーム　ボイスアクター 石川英郎
Words 『エボン……グアド……』
アルベドの青年。グアド族によるアルベドのホーム襲撃時に、リュックの目の前で息を引き取った。

ワンツの姉
登場場所 ――（異界）
Words ――
23代目オオアカ屋の妹。召喚士として旅に出たが、旅先で帰らぬ人となった。ユウナと似ているらしい。

訓練場のオヤジ
登場場所 ナギ平原
Words 『ここは昔日の英雄ミヘン様が討伐隊のために設立した訓練場じゃよ』
ティーダたちにモンスターを集めさせるかたわら、とんでもないモンスターを作り出す、ただならぬ老人。

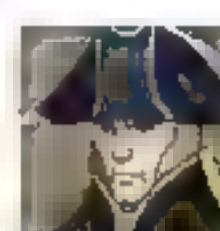
サボテンダーの里の門番

トーメ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。水くみが日課の、のんびり屋。

ロビビア
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。とろいトーメにイライラしている。まだまだ半人前。

チャパ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。最近、50まで数えられるようになった。人なつっこくて注意力散漫。

アレク&アロヤ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番の兄弟。とても仲が良く、いつでも一緒にいる。

バーチェラ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。新しい物好きのせっかち屋。

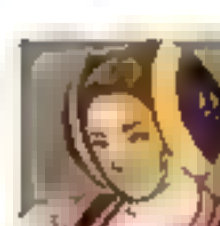
ロベイラ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。宝箱に閉じこめられてしまうほどのうっかり屋。

イスラヤ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。里一番の哲学者で、かなり用心深い。

エリオ
登場場所 サヌビア砂漠、飛空艇
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。砂漠の外の世界に興味を持ち、期待を胸に旅立つ。

フライレ
登場場所 サヌビア砂漠
Words ――
サボテンダーの里の門番のひとり。いつの間にか輪に加わっている、ズルいタイプ。

過去の偉人

ガンドフ
登場場所 ――
Words ――
スピラ史上初の大召喚士。雷平原に「サボテンダー？」を封印した人物でもある。

オハランド
登場場所 ――
Words ――
大召喚士のひとり。かつてはキーリカに住み、ブリッツの選手として名をはせていた。現在はブリッツの神様的存在。

ヨンクン
登場場所 エボン＝ドーム（幻影）
Words ――
大召喚士のひとり。召喚士になる前は討伐隊に所属しており、ナギ平原の谷底で修行を積んだとされている。

ミヘン
登場場所 ――
Words ――
討伐隊のもととなった組織「赤斬衆」を創設した人物。彼が通った街道に名前が残っており、銅像も建てられている。

ギンネム
登場場所 盗まれた祈り子の洞窟
Words ――
ルールーがはじめてガードについた召喚士の女性。召喚獣ようじんぼうとの契約を果たしたのち、力尽きた。

オメガ
NO IMAGE
登場場所 ――（オメガ遺跡）
Words ――
700年前に反逆者として処刑された僧官。処刑されたのち魔物と化して、遺跡を荒らす冒険者を襲う。

ビリガン
NO IMAGE
登場場所 ――
Words ――
雷平原に避雷塔を建て、旅の安全を確保した功労者。アルベド族であるがゆえ、歴史には名を残さなかった。

ULTIMANIA CHECK

『FF』シリーズ声優リスト

『FFX』以降、いくつかの『FF』関連作品で導入されているボイスの担当声優は、DS版『FFⅣ』発売の時点で百数十人にもおよぶ。その配役やプロフィールを一挙に紹介しよう。

略号の見かた

- [II]……『FFII』(プレイステーション版&PSP版)
- [IV]……『FFIV』(ニンテンドーDS版)
- [AC]……『FFVII アドベントチルドレン』
- [LO]……『ラストオーダー FFVII』
- [DC]……『ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-』
- [CC]……『クライシス コア -FFVII-』
- [X]……『FFX』
- [X-2]……『FFX-2』(『ラストミッション』含む)
- [XII]……『FFXII』
- [TVA]……テレビアニメ
- [OVA]……オリジナルビデオアニメ
- [TV]……アニメ以外のテレビ番組
- [映画]……映画
- [吹替]……海外作品(アニメ作品を含む)の吹きかえ
- [舞台]……舞台演劇
- [ゲーム]……テレビゲーム
- [etc]……そのほか

※五十音順に掲載

声優	『FF』シリーズの出演	そのほかのおもな出演作
青木麻由子	[LO] タークス・散弾銃(女) [X] [X-2] ユウナ	[TVA]「アクエリアンエイジ」山王依子 [TV]「あぐり」かよ、「夫婦。」梶川由香里、「恋の時間」広田恵子、「おいしいプロポーズ」受付嬢 [吹替]「バーナビー警部」カリ・バーナビー [ゲーム]「キングダム ハーツ」セルフィ、「フリフオンライン」オープニングナレーション&女性キャラクター
青野 武	[IV] カイナッツォ、ジオット王	[TVA]「宇宙戦艦ヤマト」真田志郎、「ちびまる子ちゃん」さくら友蔵('95年~)、「ドラゴンボール」ピッコロ大魔王、「DRAGON QUEST-ダイの大冒険-」ハドラー、「ゼロの使い魔」オスマン [ゲーム]「武蔵伝Ⅱ ブレイドマスター」マオ、「メタルギアソリッド」ロイ・キャンベル
秋野ひとみ	[IV] アンナ、トロイア神官	[TV]「侵略放送バンドレッタ」レギュラー出演、「妄想ビームⅡ」レギュラー出演、「夢☆おうえん隊」レギュラー出演、「BAT corp.」レギュラー出演 [舞台]「魔王降臨」イレーヌ=ストレイボウ、「動物園2SIDE」マリア、「私が今この世界に生きていることを」 [etc] web広告「平日15時の幸せチャージ」
秋元羊介	[XII] ジャッジ・ベルガ	[TVA]「機動武闘伝Gガンダム」東方不敗、「機動戦士ガンダムSEED」シーゲル・クライン、「タッチ」上村監督、「君が主で執事が俺で」大佐、「ひぐらしのなく頃に」海江田校長、「うたわれるもの」ニウェ [OVA]「ジャイアントロボ」衝撃のアルベルト [ゲーム]「キングダム ハーツⅡ」ザルディン
浅川 悠	[DC] シャルア	[TVA]「ラブひな」青山素子、「あずまんが大王」榊さん、「スクールランブル」刑部絃子、「Fate/stay night」ライダー、「ラーゼフォン」ミヅキ・立花、「君が主で執事が俺で」南斗星 [映画]「機動戦士Zガンダム」ロザミア・バダム [ゲーム]「スターオーシャン Till the End of Time」ネル・ゼルファー
天田益男	[X] [X-2] ジェクト	[TVA]「剣風伝奇ベルセルク」ピピン、「コードギアス 反逆のルルーシュ」草壁、「BLEACH」アランカルもどき、「トライガン」モネヴ・ザ・ゲイル [TV]「ビーファイターカブト」冷血鎧将ムカデリンガー(声) [吹替]「パワーレンジャー」ジーニー、「ファンタスティック・フォー」ザ・シング
池田恭祐	[AC] デンゼル	[TVA]「フルーツバスケット」草摩夾(幼年期) [TV]「さわやか3組」小川治、「女王の教室 エピソード1~堕天使編~」生徒 [映画]「NARUTO-ナルト- 大興奮!みかづき島のアニマル騒動だってばよ」ツキヒカル [吹替]「ブラザー・ベア」コーダ、「チャーリーとチョコレート工場」チャーリー・バケット
池田昌子	[CC] ジリアン	[TVA]「銀河鉄道999」メーテル、「エースをねらえ!」竜崎麗香、「愛少女ポリアンナ物語」ルース・カリウ [TV]「ウルトラマンメビウス」ウルトラの母(声) [吹替] オードリー・ヘプバーン(持ち役)、「クレイマー、クレイマー」ジョアンナ・クレイマー [ゲーム]「サクラ大戦2~君、死にたもうことなかれ~」真宮寺若菜
石井康嗣	[XII] バッガモナン	[TVA]「神秘の世界エルハザード」藤沢先生、「スクールランブル」五島玄海、「勇者王ガオガイガー」大河幸太郎、「ファイナルファンタジー:アンリミテッド」オスカー、「PAPUWA」原田ウマ子、「頭文字D」鈴木政志 [吹替]「パワーパフガールズ」モジョ・ジョジョ [ゲーム]「餓狼伝説3」山崎竜二
石川英郎	[AC] [DC] ケット・シー [X] [X-2] アーロン [X-2] トーブリ	[TVA]「NARUTO-ナルト-」うちはイタチ、「BLEACH」浮竹十四郎、「探偵学園Q」遠山金太郎、「リングにかけろ」志那虎一城 [OVA]「新ゲッターロボ」流竜馬 [TV]「天才!志村どうぶつ園」ナレーション [ゲーム]「キングダム ハーツ」レオン(スコール)、「半熟英雄4 ~7人の半熟英雄~」四次元ボイルド
石塚運昇	[XII] 司祭	[TVA]「ポケットモンスター」オーキド博士、「DRAGON QUEST-ダイの大冒険-」バラン、「頭文字D」藤原文太、「カウボーイビバップ」ジェット・ブラック、「機動戦士ガンダム00」セルゲイ・スミルノフ、「史上最強の弟子ケンイチ」逆鬼至緒 [ゲーム]「ロマンシング サガ-ミンストレルソング-」キャプテン・ホーク
石野竜三	[X] [X-2] トワメル、ダット [X] ルッツ	[TVA]「機動戦士Vガンダム」ゲトル・デプレ、「新機動戦記ガンダムW」張五飛、「はいぱーぽりす」トミィ藤岡、「ガンパリスト駿」嘉村巌 [TV]「ポケモン☆サンデー」ルカリオ&ゴンベ、「おかあさんといっしょ・あそびだいすき」遊び歌担当 [ゲーム]「エアガイツ」佐助、「戦国BASARA」長曾我部元親
石丸 純	[II] [吹替?] パルテロ [X] ズーク、エンケ	[TVA]「スパイダーマン」マット・マードック [TV]「知るを楽しむ」ナレーション、「にっぽん釣りの旅」ナレーション、「レディス4」ナレーション [映画]「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙」タムラ [ゲーム]「幻想水滸伝V」ゼガイ [etc]「K-1グランプリ」記者会見の司会
石丸博也	[IV] エッジ	[TVA]「マジンガーZ」兜甲児、「史上最強の弟子ケンイチ」アパチャイ・ホパチャイ [TV]「獣拳戦隊ゲキレンジャー」シャッキー・チェン(声) [吹替] ジャッキー・チェン(持ち役)、「冒険野郎マクガイバー」アンガス・マクガイバー [ゲーム]「エアガイツ」増田光司、「鉄拳」レイ・ウーロン
石村知子	[XII] カイツ	[TVA]「ハーメルンのバイオリン弾き」オカリナ、「ロックマンエグゼ」大山チサオ、「宇宙海賊ミトの大冒険」年賀睦月、「ジバクくん」ダルタニアン、「GEAR戦士電童」エリス・ウィラメット [OVA]「異次元の世界エルハザード」ファトラ [吹替]「ボブとはたらくブーブーズ」ディジー
市村正親	[AC] レッドXIII	[TV]「マイ☆ボス マイ☆ヒーロー」榊喜一、「バンビ~ノ!」宍戸鉄幹、「ハタチの恋人」鈴木風太 [吹替]「ナイトメアー・ビフォア・クリスマス」ジャック・スケリントン [舞台]「モーツァルト!」モーツァルトの父、「ペテン師と詐欺師」フレディ、「ミス・サイゴン」エンジニア、「オペラ座の怪人」ファントム
伊藤 歩	[AC] [LO] [DC] ティファ	[TV]「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」沢村飛鳥(現在)、「トップキャスター」山田佳奈 [映画]「スワロウテイル」アゲハ、「チェケラッチョ!!」中村渚、「リリイ・シュシュのすべて」久野陽子、「キトキト!」藍、「遠くの空に消えた」サワコ先生 [etc] CM「ザ・サントリーオールド」、CM「UR賃貸住宅」
糸 博	[XII] 元老院議員	[TVA]「とっとこハム太郎」ロコの祖父、「あたしンち」じーちゃん、「D.Gray-man」ゲオルグ、「F-エフ-」赤木総一郎 [TV]「ライバル日本史」ナレーション [吹替]「24-TWENTY FOUR- シーズンVI」フィリップ・バウアー、「ラッシュアワー」トーマス・グリフィン [ゲーム]「サイキックフォース2012」濯頂玄信
井上和彦	[CC] アンジール	[TVA]「美味しんぼ」山岡士郎、「NARUTO-ナルト-」はたけカカシ、「機動戦士Zガンダム」ジェリド・メサ、「蒼き流星SPTレイズナー」アルバトロ・ナル・エイジ・アスカ、「キャンディ・キャンディ」アンソニー・ブラウン [吹替]「リトル・マーメイド」エリック [ゲーム]「遙かなる時空の中で」橘友雅
今井由香	[XII] ラーサー	[TVA]「ファイナルファンタジー:アンリミテッド」ユウ・ハヤカワ、「おジャ魔女どれみ」ゆき先生、「星界の紋章」ジント・リン、「デュエルマスターズ」角古れく太 [ゲーム]「テイルズ オブ デスティニー」ルーティ・カトレット [etc] ドラマCD「FFT-Aラジオエディション」マーシュ・ラデュウユ
岩崎ひろし	[X] マイカ	[TVA]「出ましたっ!パワパフガールズZ」寅坊竜太(フィーバーマン)、「ブーンドックス」ラッカス [TV]「功名が辻」島津義弘、「葵・徳川三代」酒井忠世 [吹替]「オースティン・パワーズ:デラックス」ミニ・ミー、「スター・ウォーズ」C-3PO [舞台]「妻と社長と九ちゃん」九ちゃん
宇垣秀成	[X] [X-2] 23代目オオアカ屋、キノック	[TVA]「機動武闘伝Gガンダム」アルゴ・ガルスキー、「PAPUWA」近藤イサミ、「カレイドスター」苗木野力、「爆走兄弟レッツ&ゴー!!」星馬改造、「味楽る!ミミカ」アジマル・アマグリ [TV]「爆竜戦隊アバレンジャー」無限の使徒ヴォッファ(声) [ゲーム]「鉄拳5」巌竜、「龍が如く」真島吾朗
大川 透	[AC] ルーファウス神羅	[TVA]「鋼の錬金術師」ロイ・マスタング、「攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX」サイトー、「機動戦士ガンダムSEED」ウズミ・ナラ・アスハ、「PAPUWA」土方トシゾー、「BLEACH」狩矢神、「ネオ アンジェリーク Abyss」ニクス [ゲーム]「聖剣伝説4」仮面の導師、「ストリートファイターⅢ 3rd STRIKE」リュウ
大木民夫	[XII] 大僧正アナスタシス	[TVA]「闘将ダイモス」三輪防人、「攻殻機動隊 S.A.C. 2nd GIG」ローランド [OVA]「神秘の世界エルハザード」ストレルバウ [吹替]「オーシャンズ11」ソール・ブルーム、「グラディエイター」マルクス・アウレリス [ゲーム]「ゼノギアス」シゲヨシ・イノウエ艦長、「鬼武者」ギルデンスタン
大塚明夫	[XII] ジャッジ・ガブラス	[TVA]「ブラック・ジャック 21」ブラック・ジャック、「ふしぎの海のナディア」ネモ船長 [OVA]「機動戦士ガンダム0083」アナベル・ガトー [映画]「GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊」バトー [吹替] アントニオ・バンデラス(持ち役) [ゲーム]「キングダム ハーツ」アンセム、「メタルギアソリッド」ソリッド・スネーク
大塚周夫	[XII] ドクター・シド	[TVA]「美味しんぼ」海原雄山、「機動戦士ガンダム00」イオリア・シュヘンベルグ、「ドラゴンボール」桃白白、「名探偵ホームズ」モリアーティ教授 [吹替]「チキチキマシン猛レース」ブラック魔王、「ピーター・パン」フック船長、「ムーラン」ファ・ズー、「トイ・ストーリー」ハム
大塚芳忠	[LO] タークス・[illegible](男)	[TVA]「機動戦士Zガンダム」ヤザン・ゲーブル、「機動武闘伝Gガンダム」チボデー・クロケット [TV]「仮面ライダー電王」デネブ(声)、「真相報道バンキシャ!」ナレーション [吹替]「フルハウス」ダニー・タナー、「ロード・オブ・ザ・リング」アラゴルン [ゲーム]「キングダム ハーツⅡ」シグバール
大友龍三郎	[XII] ジャッジ・ザルガバース	[TVA]「ドラゴンボールZ」ダーブラ、「ONE PIECE」サー・クロコダイル、「勇者警察ジェイデッカー」冴島十三 [TV]「獣拳戦隊ゲキレンジャー」ゴリー・イェン(声)、「未来戦隊タイムレンジャー」ドン・ドルネロ(声) [吹替]「24-TWENTY FOUR- シーズンIV」ハビーブ・マルワン
大西小西	[IV] スカルミリョーネ、兵士、シドの弟子	[TV]「特救指令ソルブレイン」一条アキラ、「カミングホーム」城田恭太、「翔ぶが如く」大久保伸熊 [舞台]「バレンタイン☆キッス」飽田先生、「終わらない僕たちの夜~The spring time of life~」生徒会長、「前橋市立南高校演劇部」小西よしかず
大林隆介	[XII] ジャッジ・ギース	[TVA]「らんま1/2」天道早雲、「超時空要塞マクロス」エキセドル・フォルモ、「機動戦士ガンダムZZ」ラカン・ダカラン、「シグルイ」宗像進八郎、「BACCANO! -バッカーノ!-」バルトロ・ルノラータ、「味楽る!ミミカ」押牛パパ [OVA]「機動警察パトレイバー」後藤喜一 [吹替]「青春!カリブ海」ノリス教授
大原さやか	[II] [吹替?] ルチル [X-2] ナーダラ	[TVA]「xxxHOLiC」壱原侑子、「もやしもん」長谷川遥、「ぱにぽにだっしゅ!」五十嵐先生、「カレイドスター」レイラ・ハミルトン、「ハチミツとクローバー」原田理花、「ARIA The NATURAL」アリシア・フローレンス、「コードギアス 反逆のルルーシュ」ミレイ・アッシュフォード、「うたわれるもの」ウルトリィ
大和田伸也	[CC] ホランダー	[TV]「水戸黄門('78~83年)」渥美格之進、「華麗なる一族」石橋局長、「渡る世間は鬼ばかり」中村編集長、「暴れん坊ママ」吉田吾郎、「いい旅夢気分」ナレーション [映画]「黒帯 KURO-OBI」郷田英久、「踊る大捜査線 THE MOVIE」安住警視庁副総監 [吹替]「ライオン・キング」ムファサ
岡村真吾	[IV] 兵士、シドの弟子	[舞台]「ストラルドブラグ~魔神邂逅~」法王庁の召使、「終わらない僕たちの夜~The spring time of life~」KAI
置鮎龍太郎	[DC] ネロ	[TVA]「鋼の錬金術師」スカー、「テニスの王子様」手塚国光、「BLEACH」朽木白哉、「SLAM DUNK」三井寿、「新機動戦記ガンダムW」トレーズ・クシュリナーダ [ゲーム]「キングダム ハーツⅡ」セッツァー、「武蔵伝Ⅱ ブレイドマスター」ロートシルト、「遙かなる時空の中で」アクラム
小尾元政	[II] フリオニール	[TVA]「女神候補生」ゼロ・エンナ、「超GALS!寿蘭」黒井達樹、「スターシップ・オペレーターズ」神崎キスカ、「とっとこハム太郎 はむはむぱらだいちゅ!」大原カズヤ [OVA]「Memories Off」伊波健 [吹替]「ショベルカーディグスとはたらく車たち」ディグス [ゲーム]「サモンナイト4」アルバ
折笠奈緒美	[IV] ルカ、トロイア神官	[TVA]「G-onらいだーす」三浦ヤスコ、「超重神グラヴィオン」ユミ [TV]「アキハバラ情報局」レポーター [舞台]「13」真由子、「動物園」ハエ、「LINK」めぐみ [etc] イベント「世界最大の恐竜博2002」セイモくん(声)
折笠富美子	[DC] シェルク	[TVA]「BLEACH」朽木ルキア、「銀魂」柳生九兵衛、「ぱにぽにだっしゅ!」片桐姫子、「獣神演武」侘姫達丹、「電脳コイル」ヤサコ、「コードギアス 反逆のルルーシュ」シャーリー・フェネット、「最終兵器彼女」ちせ、「かいけつゾロリ」エルゼ、「苺ましまろ」松岡美羽、「あたしンち」立花みかん
甲斐田裕子	[IV] ローザ、バルバリシア	[TVA]「獣神演武」鱗盟詔韓、「マリア様がみてる」築山三奈子、「怪物王女」リザ・ワイルドマン、「ぽてまよ」高見盛京、「くじびきアンバランス」橘いづみ、「一騎当千」呂蒙子明 [ゲーム]「戦国BASARA」まつ [吹替]「ER緊急救命室」ニーラ・ラスゴートラ
かかずゆみ	[AC] [DC] ユフィ	[TVA]「ドラえもん」源静香('05年~)、「創聖のアクエリオン」シルヴィア・ド・アリシア、「ストラトス・フォー」本庄美風、「ヴァンドレッド」ディータ・リーベライ、「BLEACH」りりん、「仙界伝 封神演義」妲己、「遊☆戯☆王」真崎杏子、「ヒカルの碁」藤崎あかり [ゲーム]「シスター・プリンセス」春歌
鹿賀丈史	[IV] ゴルベーザ	[TV]「料理の鉄人」美食アカデミー主宰、「有閑倶楽部」松竹梅時宗、「振り返れば奴がいる」中川淳一、「静かなるドン」鳴戸竜次 [映画]「悪霊島」金田一耕助、「デスノート」夜神総一郎 [舞台]「レ・ミゼラブル」ジャン・バルジャン、「ペテン師と詐欺師」ローレンス、「ジキル&ハイド」ジキル&ハイド

声優	『FF』シリーズの出演	そのほかのおもな出演作
Gackt	[DC] G(ジェネシス) [CC] ジェネシス	[TV]「風林火山」上杉謙信 [映画]「MOON CHILD」ショウ [etc] シングルCD「12月のLove song」「忘れないから」「ありったけの愛で」「BLACK STONE」「Metamorphoze～メタモルフォーゼ～」「届カナイ愛ト知ッテイタノニ抑エキレズニ愛シ続ケタ…」「REDEMPTION」、CM「フジカラー」
加瀬康之	[XII] ラスラ	[TVA]「NARUTO-ナルト-」カンクロウ、「エア・ギア」五所瓦風明、「BLEACH」狩能雅忘人、「金色のガッシュベル!!」マエストロ [吹替]「ザ・バットマン」バットマン、「4400 未知からの生還者」カイル・ボールドウィン [etc] ドラマCD「FFT-Aラジオエディション」シド・ランデル
葛城七穂	[X] [X-2] ドナ	[TVA]「おジャ魔女どれみ」関先生、「魔法先生ネギま！」天ヶ崎千草、「蒼穹のファフナー」羽佐間容子、「夢のクレヨン王国」クラウド [吹替]「プリズン・ブレイク シーズン2」パム・マホーン、「ER緊急救命室」アビー・ロックハート、「メントーズ」ペギー・ケイツ [ゲーム]「ソウルキャリバーIII」雪華
加藤木賢志	[XII] トメッチ	[TVA]「ロックマンエグゼ」ファイアマン、「ふたりはプリキュア」木俣 [吹替]「ティーン・タイタンズ」アクアラッド [ゲーム]「幕末恋華 新選組」大石鍬次郎、「ヴィオラートのアトリエ」ロードフリード・サンタール、「グローランサーVI」マクスウェル
神谷浩史	[X] [X-2] レッティ [X] ガッタ	[TVA]「さよなら絶望先生」糸色望、「ハチミツとクローバー」竹本祐太、「ぱにぽにだっしゅ！」犬神つるぎ、「機動戦士ガンダム00」ティエリア・アーデ、「マクロスF」ミハエル・ブラウン、「月詠-MOON PHASE-」森丘耕平、「Fate／stay night」間桐慎二 [ゲーム]「戦国無双2」浅井長政、「学園ヘヴン」西園寺郁
神奈延年	[X-2] ヌージ、リアン	[TVA]「ファイナルファンタジー：アンリミテッド」黒き風、「マクロス7」熱気バサラ、「GetBackers-奪還屋-」美堂蛮、「剣風伝奇ベルセルク」ガッツ、「PROJECT ARMS」高槻涼、「ZOMBIE-LOAN」赤月ユーリ、「NARUTO-ナルト-」薬師カブト [ゲーム]「アンジェリーク」風の守護聖ランディ
岸　祐二	[AC] ヤズー	[TVA]「こちら葛飾区亀有公園前派出所」ボルボ西郷 [OVA]「ツバサ TOKYO REVELATIONS」桃生封真 [TV]「激走戦隊カーレンジャー」陣内恭介(レッドレーサー) [舞台]「レ・ミゼラブル」アンジョルラス、「ミス・サイゴン」ジョン [ゲーム]「CAPCOM VS. SNK」ケン、「義経紀」源頼朝
桐井大介	[XII] ブワジ	[TVA]「うたわれるもの」オボロ、「天元突破グレンラガン」アイラック・コイーガ、「桜蘭高校ホスト部」銛之塚崇、「メルヘヴン」アリババ、「きらりん☆レボリューション」黒木旭 [TV]「超星艦隊セイザーX」ナレーション、「カルチャーSHOwQ～21世紀テレビ検定～」コカケイくん(声)
銀河万丈	[IV] フースーヤ、クルーヤ [AC] [DC] リーヴ	[TVA]「機動戦士ガンダム」ギレン・ザビ、「装甲騎兵ボトムズ」ジャン・ポール・ロッチナ、「北斗の拳」サウザー、「獣神演武」慶狼、「メルヘヴン」バッボ [TV]「FNS地球特捜隊ダイバスター」博士(声)、「開運！なんでも鑑定団」ナレーション [ゲーム]「メタルギアソリッド」リキッド・スネーク
釘宮理恵	[IV] パロム、ポロム	[TVA]「鋼の錬金術師」アルフォンス・エルリック、「ハヤテのごとく！」三千院ナギ、「ゼロの使い魔」ルイズ、「灼眼のシャナ」シャナ、「銀魂」神楽、「BLEACH」黒崎夏梨、「ロザリオとバンパイア」白雪みぞれ、「うたわれるもの」カミュ [ゲーム]「THE IDOLM@STER」水瀬伊織
楠　大典	[AC] [LO] [CC] ルード	[TVA]「テニスの王子様」真田弦一郎、「MAJOR」榎本監督、「トランスフォーマー ギャラクシーフォース」ギャラクシーコンボイ、[吹替]「ER緊急救命室」グレゴリー・プラット、「24-TWENTY FOUR- シーズンIV」カーティス・マニング [ゲーム]「コード・エイジ コマンダーズ」キルロイ
くまいもとこ	[X] [X-2] パッセ	[TVA]「PAPUWA」パプワ、「カードキャプターさくら」李小狼、「ちょびっツ」すもも、「鉄人28号('04年)」金田正太郎、「爆転シュート ベイブレード」木ノ宮タカオ、「シャーマンキング」チョコラブ・マクダネル [ゲーム]「エアガイツ」ジョー、「ときめきメモリアル2」赤井ほむら
玄田哲章	[IV] ヤン [DC] アスール	[TVA]「トランスフォーマー ザ☆ヘッドマスターズ」コンボイ、「魔神英雄伝ワタル」龍神丸、「クレヨンしんちゃん」アクション仮面(郷剛太郎) [TV]「報道特捜プロジェクト」ナレーション [映画]「機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙」ドズル・ザビ [吹替] アーノルド・シュワルツェネッガー(持ち役)
倖田來未	[X-2] レン	[映画]「西遊記」偽三蔵法師 [etc] シングルCD「real Emotion／1000の言葉」「Crazy 4 U」「LOVE&HONEY」「恋のつぼみ」「奇跡」「Hot Stuff feat. KM-MARKIT」「Butterfly」「D.D.D. feat. SOULHEAD」「Shake It Up」「feel」「愛のうた」「BUT／愛証」「anytime」
郷里大輔	[DC] WRO隊長 [XII] ギルガメッシュ	[TVA]「機動戦士ガンダム」ドズル・ザビ、「キン肉マン」ロビンマスク、「世紀末救世主伝説 北斗の拳」ウイグル獄長、「魁!!男塾」江田島平八、「キューティーハニー」ナレーション [OVA]「機動警察パトレイバー」山崎ひろみ [吹替]「きかんしゃトーマス」ディーゼル [ゲーム]「鉄拳3」三島平八
小林正寛	[AC] [DC] バレット	[TVA]「はじめの一歩」ジェイソン尾妻 [TV]「仮面ライダーカブト」根岸、「ハゲタカ」大河内伸彰、「白い巨塔('07年)」安西信也、「聖者の行進」猪瀬辰雄 [映画]「ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃」武田光秋 [舞台]「ヴェニスの商人」グラシアーノ、「悔しい女」高田悟
小柳洋子	[X] ユウナレスカ	[TVA]「花より男子」葵うらら [舞台]「赤シャツ」マドンナ、「COLORS II シャンソンと愛のモルナールあえ(理想の夫編)」娘、「夢・桃中軒牛右衛門の」浙江省(秋瑾)
小山武宏	[XII] ラミナス国王、ダラン	[TVA]「名探偵コナン」服部平蔵、「フルメタル・パニック？ふもっふ」美樹原寛二、「ガサラキ」豪和乃三郎、「SPEED GRAPHER」神谷勝二、「LAST EXILE」ヴィテリアス・グラミス、「コードギアス 反逆のルルーシュ」片瀬 [吹替]「アグリー・ベティ」ブラッドフォード [ゲーム]「キングダム ハーツ」ドアノブ
小山力也	[XII] バッシュ	[TVA]「攻殻機動隊 S.A.C. 2nd GIG」クゼ・ヒデオ、「獣神演武」虎榻豪散、「ソウルイーター」死神様、「うたわれるもの」ハクオロ [TV]「ジャンプ！○○中」ナレーション [吹替]「24-TWENTY FOUR-」ジャック・バウアー [舞台]「ヴェニスの商人('01年)」アントーニオ [ゲーム]「アンジェリーク エトワール」聖獣の光の守護聖レオナード
槐　柳二	[IV] ミシディア長老	[TVA]「天才バカボン」レレレのおじさん、「チキチキマシン猛レース」ドクターH、「タイムボカン」木江田博士、「めぞん一刻」音無老人、「ドラゴンボールZ」大界王 [吹替]「ライオンキング」ラフィキ [ゲーム]「風の伝説ザナドゥ」ナレーション、「スナッチャー」ハリー・ベンソン
斎藤志郎	[XII] ミゲロ	[TVA]「出ましたっ！パワパフガールズZ」ファジー・ラムキンス、「MUSASHI-GUN道-」リョウゲン [TV]「特救指令ソルブレイン」田代巡査 [吹替]「ロード・オブ・ザ・リング」マゴット [ゲーム]「レイトン教授と不思議な町」チェルミー警部、「サクラ大戦3～巴里は燃えているか～」ジャン・レオ
榊原良子	[XII] ヨーテ	[TVA]「機動戦士Zガンダム」ハマーン・カーン、「スペースコブラ」アーマロイド・レディ、「ヘルシング」インテグラ、「逮捕しちゃうぞ」木下かおる子 [OVA]「ロードス島戦記」カーラ(レイリア)、「機動警察パトレイバー」南雲しのぶ [TV]「ニュースステーション」ナレーション [映画]「風の谷のナウシカ」クシャナ
坂口候一	[X] [X-2] シド [X] ケルク	[TVA]「天元突破グレンラガン」ジャモイチ、「デュエル・マスターズ チャージ」三国、「きらりん☆レボリューション」持田望夫、「メルヘヴン」エドワード、「アークエ・ファミリー」ダートゥー、 [TV]「百獣戦隊ガオレンジャー」ヤバイバ(声)、「天才てれびくんMAX」タマ部長(声)
坂口芳貞	[XII] 最長老ウバル=カ	[TVA]「蟲師」ムジカ、「人狼 JIN-ROH」塔部八郎 [OVA]「ロードス島戦記」ギム [TV]「翔ぶが如く」関勇徳、「葵・徳川三代」中村一氏 [吹替]「スター・ウォーズ(TV版)」ダース・ベイダー、「名探偵ポワロ」ジャップ警部 [ゲーム]「サクラ大戦3～巴里は燃えているか～」レオン
坂本真綾	[AC] [CC] エアリス	[TVA]「桜蘭高校ホスト部」藤岡ハルヒ、「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」ルナマリア・ホーク、「天空のエスカフローネ」神崎ひとみ [吹替]「スター・ウォーズ」パドメ・アミダラ、「朱蒙」ソソノ [舞台]「レ・ミゼラブル」エポニーヌ [ゲーム]「鋼の錬金術師3 神を継ぐ少女」ソフィ・ベルクマン

声優	『FF』シリーズの出演	そのほかのおもな出演作
咲野俊介	[X] [X-2] リン [X-2] ベクレム	[TVA]「MAJOR」茂野英毅、「ノエイン もうひとりの君へ」篠原真琴、「銀牙伝説WEED」ブルー [TV]「重甲ビーファイター」ブラックビート(声) [吹替]「NIP／TUCK マイアミ整形外科医」クリスチャン・トロイ、「ギルモア・ガールズ」ルーク [ゲーム]「鬼武者2」雑賀孫市、「龍が如く2」柏木修
櫻井孝宏	[AC] [LO] [DC] [CC] クラウド	[TVA]「獣神演武」劉煌孟甜、「ZOMBIE-LOAN」橘思徒、「今日からマ王！」渋谷有利、「コードギアス 反逆のルルーシュ」枢木スザク、「D.Gray-man」神田ユウ、「.hack//G.U.」ハセヲ、「金色のガッシュベル!!」高嶺清麿 [吹替]「GOAL!」サンティアゴ・ムネス [ゲーム]「バウンサー」シオン・バルザード
佐藤銀平	[BC] タークス・二丁拳銃(男)	[TVA]「サムライチャンプルー」ジン、「闘牌伝説アカギ～闇に舞い降りた天才～」偽アカギ、「クレイモア」リグ [TV]「夫婦道」中森健太 [舞台]「ウィンズロウ・ボーイ」ディッキー・ウィンズロウ、「片手の鳴る音」三崎義男、「ライン」草太 [ゲーム]「キングダム ハーツII」サイクス
佐藤正治	[X] ジスカル	[TVA]「キン肉マン」バッファローマン、「甲虫王者ムシキング 森の民の伝説」アダー、「剣勇伝説YAIBA」宮本武蔵 [TV]「爆竜戦隊アバレンジャー」邪命神デズモゾーリャ(声) [映画]「ハーメルンのバイオリン弾き」オーボウ [吹替]「きかんしゃトーマス」デューク [ゲーム]「トバルNo.1」ノーク
下屋則子	[II] マリア [IV] リディア	[TVA]「マドレーヌといっしょに」マドレーヌ、「神無月の巫女」来栖川姫子、「まめうしくん」あずきちゃん、「かみちゃまかりん」九条姫香、「マリア様がみてる」桂 [吹替]「24-TWENTY FOUR- シーズンII」メーガン [ゲーム]「半熟英雄 対 3D」カトリイヌ、「ヴィオラートのアトリエ」ヴィオラート・プラターネ
柴田秀勝	[XII] グラミス皇帝	[TVA]「鋼の錬金術師」キング・ブラッドレイ、「マジンガーZ」あしゅら男爵、「銀河鉄道999」機械伯爵、「NARUTO-ナルト-」三代目火影 猿飛、「ONE PIECE」モンキー・D・ドラゴン [TV]「仮面ライダーストロンガー」ジェネラルシャドウ(声)、「獣拳戦隊ゲキレンジャー」大地の拳魔マク(声)
菅生隆之	[XII] レダス	[TVA]「ヒートガイジェイ」ジェイ、「BLEACH」斬月、「地獄少女」輪入道、「天元突破グレンラガン」ナレーション [TV]「葵・徳川三代」小西行長 [吹替] ジャン・レノ(持ち役)、「24-TWENTY FOUR- シーズンIII」ラモン・サラザール [ゲーム]「鬼武者3」ジャック・ブラン
鈴木省吾	[AC] [DC] ヴィンセント	[TV]「貴太ですッ！」伊達太郎 [映画]「郷愁」四郎 [舞台]「ロックミュージカル BLEACH」更木剣八、「Abbey～アビィ～」サカモト、「12-twelve-」陪審員 [etc] CM「資生堂アクアレーベル」ナレーション、CM「紅茶花伝」ナレーション、CM「ジャックスカード」ナレーション
鈴木琢磨	[X] [X-2] ブラスカ、メイチェン、ボッツ	[TVA]「魁!!クロマティ高校」林田慎二郎、「ボブとはたらくブーブーズ」ボブ、「ゼロの使い魔」コルベール、「流星のロックマン」金田金太郎、「ロックマンエグゼ」シャークマン、「ゾイド-ZOIDS-」ジーク、「ゼロ デュエル・マスターズ」プロフェッサー・マーチ [etc] CM「ゆうちょ」マスマス君(声)
鈴村健一	[AC] [LO] [CC] ザックス [X-2] ギップル、エイド	[TVA]「獣神演武」岱燈獅騰、「ZOMBIE-LOAN」赤月知佳、「円盤皇女ワるきゅーレ」時野和人、「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」シン・アスカ、「銀魂」沖田総悟、「D.Gray-man」ラビ、「十二国記」楽俊 [TV]「仮面ライダー電王」リュウタロス(声) [ゲーム]「キングダム ハーツII」デミックス
陶山章央	[X] [X-2] イサール [X-2] トレマ	[TVA]「きらりん☆レボリューション」風真宙人、「ガンパレード・マーチ～新たなる行軍歌～」滝川陽平、「マクロス7」フィジカ・S・ファルクラム、「WOLF'S RAIN」ヒゲ、「超者ライディーン」鷹城竜光、「天元突破グレンラガン」神速のシトマンドラ [ゲーム]「サクラ大戦」大神一郎
諏訪部順一	[AC] [LO] [CC] ツォン [X] [X-2] シーモア、ジャッシュ [X-2] マスター	[TVA]「テニスの王子様」跡部景吾、「鋼の錬金術師」グリード、「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」スティング・オークレー、「BLEACH」グリムジョー・ジャガージャック、「灼眼のシャナ」"狩人"フリアグネ、「Fate／stay night」アーチャー [etc]「マツモトキヨシ」店内放送ナレーション
沢海陽子	[XII] ジャッジ・ドレイス	[TVA]「大江戸ロケット」玉屋清吉、「シャーマンキング」リゼルグ・ダイゼル、「Yes!プリキュア5」アラクネア、「交響詩篇エウレカセブン」ミーシャ、「コヨーテ ラグタイムショー」マルチアーノ [OVA]「バトルアスリーテス大運動会」アイラ [ゲーム]「鋼の錬金術師 翔べない天使」カミラ
園崎未恵	[XII] アーシェ	[TVA]「祝！(ハピ☆ラキ)ビックリマン」聖太子ジェロ、「ウィッチブレイド」蘇峰玲奈、「こみっくパーティー」長谷部彩、「アークエ・ファミリー」イエンズ [吹替]「24-TWENTY FOUR-」キンバリー・バウアー [ゲーム]「サクラ大戦V～さらば愛しき人よ～」九条昴、「ぷよぷよフィーバー」アルル
蘇武健治	[X-2] バラライ	[TVA]「ハングリーハート」笹尾和行 [TV]「ぐるぐるナインティナイン」世界オカルン滞在記ナレーション [舞台]「アコロン長屋」朗読 [etc] CM「小学館 美的」ナレーション、CM「エイデン！」ナレーション、CM「青雲アモーレ」ナレーション、CM「ムーニーマン汗スッキリパンツタイプ」ナレーション
多比良　健	[X-2] ダチ	[TVA]「ぐるぐるナインティナイン」ナレーション、「U-CDTV」ナレーション、「汐留スタイル！」ナレーション、「真夜中の嵐」ナレーション [etc] DVD「SUPER GT 2006」ナレーション、DVD「小林カツ代キッチンスタジオ・加藤和子のおいしい人生」夢の語り部
武田航平	[XII] ヴァン	[TV]「仮面ライダーキバ」紅音也、「ハピふる！」レギュラー出演、「正しい王子のつくり方」野田隼人、「花ざかりの君たちへ～イケメン♂パラダイス～」北花田航平、「マイ☆ボス マイ☆ヒーロー」平塚隆介 [映画]「クローズZERO」千田ナオキ、「あかね空」栄太郎 [舞台]「赤毛のアン」ギルバート
武虎	[XII] ハバーロ	[TVA]「BLACK CAT」アッシュ、「BLEACH」ナキーム、「BACCANO!-バッカーノ-」エドワード・ノア、「トランスフォーマー ギャラクシーフォース」デモリッシャー [TV]「Kawaii!JeNny」クマ吉(声) [吹替]「プリズン・ブレイク」ベンジャミン、「堕ちた弁護士 ニック・フォーリン」ジェイク・ストラカ
田坂秀樹	[XII] レックス	[TVA]「ヴァンドレッド」ドゥエロ・マクファイル、「ラーゼフォン」五味勝、「ストラトス・フォー」宮沢翼、「おとぎ銃士 赤ずきん」フェレナンド、「ぺとぺとさん」関谷現右衛門定任、「SoltyRei」ラリー・アンダーソン [吹替]「ホミサイド／殺人捜査課」マイク・ケラマン [ゲーム]「アヴァロンの鍵」アリューシャ
田中敦子	[DC] ロッソ	[TVA]「獣神演武」紅英、「働きマン」梶舞子、「超者ライディーン」天賀井玲子、「うたわれるもの」カルラ [映画]「GHOST IN THE SHELL／攻殻機動隊」草薙素子 [吹替]「24-TWENTY FOUR- シーズンIV」オードリー・レインズ、「フレンズ」フィービー・ブッフェ・ハニガン [ゲーム]「ストリートファイターIII 3rd STRIKE」春麗
茶風林	[XII] ギジュー	[TVA]「ちびまる子ちゃん」永沢君男、「名探偵コナン」目暮十三、「BLEACH」グランドフィッシャー、「ひぐらしのなく頃に」大石蔵人、「蒼天の拳」呉東来 [OVA]「機動戦士ガンダム0083」ベルナルド・モンシア [TV]「ぐるぐるナインティナイン」脳林寺ナレーション、「ビーロボカブタック」スパイドン(声)
長　克巳	[X] [X-2] キマリ	[TVA]「ロックマンエグゼ」Dr.ワイリー、「バンブーブレード」川添珠姫の父、「BACCANO!-バッカーノ-」モルサ・マルティージョ [TV]「葵・徳川三代」内藤清成 [舞台]「評決」検事、「妻と社長と九ちゃん」松兼利夫 [ゲーム]「スターオーシャン Till the End of Time」ランカー
黒葛原未有	[AC] マリン	[TVA]「愛してるぜベイベ★★」坂下ゆずゆ、「蟲師」兎澤綺(幼年期) [吹替]「宮廷女官チャングムの誓い」チャングム(幼年期)、「FBI失踪者を追え！ 2」ジェシカ・オーウェン、「ドクター・フー」クロエ、「ロッタちゃんのはじめてのおつかい」ロッタ
津野田なるみ	[XII] ヴェーネス	[TVA]「美少女戦士セーラームーン セーラースターズ」大気光(セーラースターメイカー)、「クレヨンしんちゃん」売間久里代 [OVA]「Piaキャロットへようこそ!!2 DX」双葉涼子 [吹替]「ピノキオ」ランプウィック [ゲーム]「ときめきメモリアル」伊集院レイ、「私立ジャスティス学園」鮎原夏
鉄野正豊	[X-2] ガリク	[TVA]「NARUTO-ナルト-」ゲンショウ、「Z.O.E Dolores,i」アクセル [吹替]「スパイダーマン」ハリー・オズボーン、「ボーイ・ミーツ・ワールド」ジャック・ニューマン [舞台]「アルジャーノンに花束を」ジョー・カープ、「親の顔が見たい」純一 [ゲーム]「サクラ大戦V～さらば愛しき人よ～」東日流火

声優	「FF」シリーズの出演	そのほかのおもな出演作
てらそままさき	[XII] ウォースラ	[TVA]「SAMURAI 7」カンベエ、「蒼天の拳」潘光琳 [TV]「仮面ライダー電王」キンタロス(声)、「仮面ライダーBLACK」世紀王シャドームーン(声)、「忠臣蔵～決断の時」菅谷半之丞、「大岡越前」夏目甚八 [吹替]「ER緊急救命室」ルカ・コバッチュ、「スター・ウォーズ」ベイル・オーガナ
冬馬由美	[DC] WRO副長	[TVA]「もやしもん」A・オリゼー、「英國戀物語エマ」エマ、「ああっ女神さまっ」ウルド、「新機動戦記ガンダムW」サリィ・ポォ [OVA]「ロードス島戦記」ディードリット [ゲーム]「ヴァルキリープロファイル」レナス・ヴァルキュリア、「ゼノギアス」エレハイム・ヴァン・ホーテン
時田貫司	[IV] 船長、兵士	[舞台]「バレンタイン☆キッス」キウイ、「終わらない僕たちの夜～The spring time of life～」緑山タカシ
徳本恭敏	[XII] トマジ	[TVA]「わがまま☆フェアリー ミルモでポン！」結木摂、「シグルイ」大坪、「DEATH NOTE」粟鳥新義 [OVA]「鬼公子炎魔」炎魔 [舞台]「壊れた時計が動くとき」柏尾、「きみとぼくの声」アシカガ
飛田展男	[X-2] サノー、チャップ、ドンガ [XII] ヴェイン	[TVA]「ちびまる子ちゃん」丸尾末男、「機動戦士Zガンダム」カミーユ・ビダン、「機動武闘伝Gガンダム」ウルベ・イシカワ、「BLEACH」蔵人、「NARUTO-ナルト-」エビス、「キディ・グレイド」シニストラ、「ロックマンエグゼ」ラウル [ゲーム]「アンジェリーク」水の守護聖リュミエール
巴　菁子	[XII] ゲルン王	[TVA]「忍たま乱太郎」食堂のおばちゃん、「サラリーマン金太郎」中村加代、「ハーイあっこです」大里ユキエ、「ポコニャン！」菊の助の母 [吹替]「わんぱくダック夢冒険」ベンティナ・ビークリー、「ザ・シンプソンズ」クラバーベル先生、「ふたりは友達？ウィル＆グレイス」ロザリオ
豊口めぐみ	[AC] イリーナ [illegible] タークス・短銃(女) [X-2] パイン、タロ、ダーリン	[TVA]「鋼の錬金術師」ウィンリィ・ロックベル、「バンブーブレード」千葉紀梨乃、「BLACK LAGOON」レヴィ、「機動戦士ガンダムSEED」ミリアリア・ハウ、「マリア様がみてる」佐藤聖 [ゲーム]「半熟英雄4～7人の半熟英雄～」カトリイヌ、「ガンパレード・オーケストラ」石田咲良
永井一郎	[IV] シド	[TVA]「サザエさん」磯野波平、「機動戦士ガンダム」ナレーション、「ドラゴンボール」カリン様、「ど根性ガエル」町田先生、「MONSTER」Dr.ライヒワイン [TV]「獣拳戦隊ゲキレンジャー」マスター・シャーフー(声) [吹替]「ヘラクレス」ピロクテテス(フィル)、「トイ・ストーリー」スリンキー
中井和哉	[X][X-2] ワッカ	[TVA]「ONE PIECE」ロロノア・ゾロ、「銀魂」土方十四郎、「xxxHOLiC」百目鬼静、「サムライチャンプルー」ムゲン [TV]「アッコにおまかせ！」ナレーション、「ウルトラマンマックス」ウルトラマンマックス(声) [ゲーム]「キングダム ハーツII」ライ(雷神)、「戦国BASARA」伊達政宗
中井将貴	[X][X-2] マローダ [X-2] ヤイバル	[TVA]「超ロボット生命体トランスフォーマー マイクロン伝説」ラッド、「アガサ・クリスティーの名探偵ポワロとマープル」ジェイムズ、「電脳冒険記ウェブダイバー」ジャン・J・ジャカール、「BLEACH」理吉、「るろうに剣心」猿次郎 [ゲーム]「ポンコツ浪漫大活劇バンピートロット」マジョラム
仲木隆司	[XII] 元老院議員	[TVA]「美味しんぼ」中川得夫、「YAWARA!」祐天寺豪造、「忍たま乱太郎」内木小丸、「新造人間キャシャーン」アクボーン [OVA]「銀河英雄伝説」グルーゼンシュタイン、「機動警察パトレイバー」佐久間教官 [吹替]「ツイン・ピークス」ローレンス・ジャコビー [ゲーム]「ガングレイヴ」ノートン
長沢美樹	[X][X-2] シェリンダ	[TVA]「吸血姫美夕」美夕、「新世紀エヴァンゲリオン」伊吹マヤ、「それいけ！アンパンマン」クリームパンダ [映画]「Yes!プリキュア5 鏡の国のミラクル大冒険!」ダークルージュ [ゲーム]「エリーのアトリエ」エルフィール・トラウム(エリー) [etc] ドラマCD「アニメ店長」星井ラミカ
中田あすみ	[CC] シスネ	[TVA]「マーメイドメロディーぴちぴちピッチ」七海るちあ、「ひまわりっ！」ゆすら [TV]「天才てれびくん」レギュラー出演、「ディズニーチャンネル リズム・スクエア」レギュラー出演、「葵・徳川三代」春姫 [舞台]「I2―自分の中の"アタシ"… アタシの中の"自分"…」理沙
中田譲治	[DC] ヴァイス、グリモア	[TVA]「ケロロ軍曹」ギロロ伍長、「NARUTO-ナルト-」バキ、「ヘルシング」アーカード、「BLOOD＋」アンシェル・ゴールドスミス [TV]「超獣戦隊ライブマン」大教授ビアス [ゲーム]「キングダム ハーツII」ルクソード、「ドラゴンクエスト モンスターバトルロード」モリー、「エアガイツ」三島拳
中村勇斗	[X] ティーダ(幼年期)	[TV]「ガッコの先生」村田友也、「トリック」純平、「コーリュー」優希、「バツイチ駆け込み尼寺探偵局」高木将大、「高原へいらっしゃい('03年)」
夏樹リオ	[DC] ルクレツィア [X][X-2] ルールー、ヒクリ [X] 謎の少年 [X-2] ベンゾ	[TVA]「GetBackers-奪還屋-」ヘヴン、「ながされて藍蘭島」遠野さん、「デジモンアドベンチャー02」井ノ上京 [OVA]「バトルアスリーテス 大運動会」神崎あかり、「神秘の世界エルハザード」陣内菜々美 [ゲーム]「キングダム ハーツII」フウ(風神)、「To Heart2」ルーシー・マリア・ミソラ
浪川大輔	[LO] タークス・ロッド(男)	[TVA]「うたわれるもの」ベナウィ、「BLACK LAGOON」ロック(岡島緑郎)、「シグルイ」藤木源之助 [OVA]「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」アルフレッド・イズルハ [吹替]「スター・ウォーズ」アナキン・スカイウォーカー [ゲーム]「スターオーシャン2 Second Evolution」クロード・C・ケニー
納谷悟朗	[IV] テラ	[TVA]「ルパン三世」銭形警部、「宇宙戦艦ヤマト」沖田十三 [TV]「仮面ライダー」ゲルショッカー首領(声)、「仮面ライダーBLACK RX」クライシス皇帝(声)、「サインはV」ナレーション [映画]「風の谷のナウシカ」ユパ [吹替]「スター・ウォーズ」オビ=ワン・ケノービ、「コンバット！」ヘンリー
野沢那智	[LO][DC][illegible][illegible]	[TVA]「新・エースをねらえ！」宗方仁、「釣りキチ三平」鮎川魚紳、「ヘルシング」アレクサンド・アンデルセン神父 [吹替] アラン・ドロン(持ち役)、ブルース・ウィリス(持ち役)、クリント・イーストウッド(持ち役) [ゲーム]「キングダム ハーツ Re：チェイン オブ メモリーズ」ヴィクセン
野島昭生	[XII] オンドール侯	[TVA]「英國戀物語エマ」リチャード・ジョーンズ、「プロゴルファー猿」ナレーション、「∀ガンダム」シド・ムンザ、「DARKER THAN BLACK-黒の契約者-」ディケイド [OVA]「銀河英雄伝説」ヘルクスハイマー [吹替]「ナイトライダー」K.I.T.T.、「CSI：科学捜査班」ギル・グリッソム
乃村健次	[AC] ロッズ	[TVA]「PAPUWA」マジック、「アイシールド21」大田原誠、「BLEACH」ヤミー、「げんしけん」久我山光紀、「PEACE MAKER鐵」原田左之助、「ハングリーハート WILD STRIKER」釜田豪三 [TV]「救急戦隊ゴーゴーファイブ」獣男爵コボルダ(声) [ゲーム]「アンリミテッド：サガ」イスカンダール
氷青	[illegible] リノ	[TVA]「君が主で執事が俺で」朱子、「ロックマンエグゼ」黒井みゆき、「おジャ魔女どれみ」小竹哲也、「ふたりはプリキュア Splash Star」篠原先生、「ロビーとケロビー」ラビハート [ゲーム]「シスター・プリンセス」白雪、「マブラヴ」神代巽、「夜明け前より瑠璃色な」鷹見沢菜月
平田広明	[XII] バルフレア	[TVA]「ONE PIECE」サンジ、「NARUTO-ナルト-」不知火ゲンマ、「攻殻機動隊 S.A.C. 2nd GIG」ギノ、「金田一少年の事件簿」いつき陽介 [吹替]「パイレーツ・オブ・カリビアン」ジャック・スパロウ、「ER緊急救命室」ジョン・カーター [ゲーム]「テイルズ オブ イノセンス」リカルド・ソルダート
深見梨加	[XII] フラン	[TVA]「美少女戦士セーラームーン」愛野美奈子(セーラーヴィーナス)、「ふたりはプリキュア」レギーネ(小山翔子)、「家庭教師ヒットマンREBORN!」沢田奈々、「カレイドスター」ドナ・ウォーカー [吹替]「フレンズ」モニカ・ゲラー・ビング、「プリティ・ウーマン」ビビアン・ワード
藤井佳代子	[X] ベルゲミーネ、シーモアの母	[TVA]「機動戦士Zガンダム」ロザミア・バダム、「若草物語ナンとジョー先生」メアリ・アン、「獣神ライガー」八神冴子、「魔神英雄伝ワタル」聖龍妃、「七つの海のティコ」洋子・シンプソン、「ロミオの青い空」ジェシカ [映画]「MEMORIES」咲子 [舞台]「深川安楽亭」小菊

声優	「FF」シリーズの出演	そのほかのおもな出演作
藤岡　弘、	[LO] ザンガン	[TV]「仮面ライダー」本郷猛、「おもいッきりイイ!!テレビ」食材バカ一代レポーター、「特捜最前線」桜井哲夫 [映画]「日本沈没」小野寺俊夫、「日本以外全部沈没」石山新三郎、「逆境ナイン」校長 [吹替]「ムーラン」シャン・ユー [ゲーム]「シェンムー」芭月巌 [etc] CM「セガサターン」せがた三四郎
藤原啓治	[AC][LO][CC] レノ	[TVA]「クレヨンしんちゃん」野原ひろし、「ケロロ軍曹」ナレーション、「鋼の錬金術師」マース・ヒューズ、「機動戦士ガンダム00」アリー・アル・サーシェス [吹替]「チャーリーとチョコレート工場」ウィリー・ウォンカ [ゲーム]「キングダム ハーツ チェイン オブ メモリーズ」アクセル
古島清孝	[X-2] ウノー、ベライ	[TVA]「マーメイドメロディーぴちぴちピッチピュア」浜崎雅宏、「Venus Versus Virus」草薙与識、「のだめカンタービレ」玉木圭司、「ポケモン不思議のダンジョン 時の探検隊・闇の探検隊」カクレオン [TV]「獣拳戦隊ゲキレンジャー」双幻士ハク(声) [ゲーム]「幻想水滸伝V」ドルフ
程嶋しづマ	[IV] セシル	[TVA]「ドキドキ♡伝説 魔法陣グルグル」クロコ、「ブギーポップは笑わない」城之内久志、「DEAR BOYS」小原充 [舞台]「ストラルドブラグ～魔神邂逅～」副官エリゴール、「魔王降臨」シーザ・ストレイボウ、「言葉」ダニー [ゲーム]「クロックタワー3」デニス・オーヴェン
堀川りょう	[IV] ギルバート、ゼロムス	[TVA]「ドラゴンボールZ」ベジータ、「聖闘士星矢」アンドロメダ瞬、「名探偵コナン」服部平次、「GS美神」横島忠夫 [OVA]「機動戦士ガンダム0083」コウ・ウラキ、「銀河英雄伝説」ラインハルト・フォン・ローエングラム [舞台]「バレンタイン☆キッス」天馬ツバサ、「不死病2006」那由多
巻島直樹	[XII] ダグザ	[TVA]「SAMURAI 7」マンゾウ、「行け！稲中卓球部」耕次郎、「LAST EXILE」コスタビ、「太陽の勇者ファイバード」ガードファイヤー、「勇者特急マイトガイン」ライオボンバー、「黄金勇者ゴルドラン」空影、「ダーティペア」ムギ＆ナンモ [ゲーム]「テイルズ オブ ジ アビス」ウルシー
松本まりか	[X][X-2] リュック	[TVA]「シュガシュガルーン」ショコラ、「蒼穹のファフナー」遠見真矢、「ぷるるんっ！しずくちゃん」のりりん [TV]「MUSIC JAPAN」ナレーション、「Channel a」ナレーション、「ホタルノヒカリ」室田鈴子、「戦場のガールズライフ」坂井珠子、「純情きらり」高野薫子 [舞台]「Endless SHOCK」リカ
三国由奈	[XII] パンネロ	[TV]「ちきゅう屋駄菓子店」レギュラー出演、「永遠の君へ」桜井真鶴、「NHK高校講座 情報A('03～04年)」 [映画]「魂萌え！」山田栄子、「ハート・オブ・ザ・シー A heart of the sea」浅田つぐみ [舞台]「三文オペラ」伊藤和美 [etc] webドラマ「由奈のECOってHAPPY!」岡西由奈
三宅健太	[DC] ガイ [X] ビラン	[TVA]「恋風」佐伯耕四郎、「BACCANO!-バッカーノ-」ベルガ・ガンドール [TV]「轟轟戦隊ボウケンジャー」ガイ(声) [吹替]「ER緊急救命室」マイケル・ガラント [ゲーム]「武蔵伝II ブレイドマスター」デュカス、「ドラゴンクエストソード 仮面の女王と鏡の塔」試練の騎士、「龍が如く」ユウヤ
最上莉奈	[AC] 少女	[吹替]「ヒヤシンスブルーの少女」ハンナ、「チャグムの誓い」ソングム(幼年期)、「パイレーツ・オブ・カリビアン 呪われた海賊たち」エリザベス・スワン(幼年期)
桃森すもも	[X][X-2] エルマ	[TVA]「七人のナナ」ナナっぺ、「モアモア」ケサラン・パサラン、「ぷるるんっ！しずくちゃん」ツラランさん、「はじめの一歩 Champion Road」木村つぐみ、「あたしンち」岩木の弟
森川智之	[AC][LO][illegible] セフィロス	[TVA]「今日からマ王！」ウェラー卿コンラート、「ONE PIECE」エネル、「D.Gray-man」ティキ・ミック、「ZOMBIE-LOAN」篭甲、「剣風伝奇ベルセルク」グリフィス [吹替]「マトリックス(TV版)」ネオ [ゲーム]「アンジェリーク エトワール」聖獣の鋼の守護聖エルンスト、「CAPCOM VS. SNK」リュウ
森久保祥太郎	[AC] カダージュ	[TVA]「魔術士オーフェン」オーフェン、「GetBackers-奪還屋-」天野銀次、「NARUTO-ナルト-」奈良シカマル、「テニスの王子様」切原赤也、「MAJOR 2nd season」茂野吾郎、「PAPUWA」沖田ソージ [TV]「おはスタ」怪人ゾナー [映画]「スプリガン」御神苗優 [吹替]「ラマになった王様」クスコ
森田順平	[CC] ラザード	[TVA]「デルトラクエスト」ジョーカー、「NARUTO-ナルト-」宝亀 [TV]「3年B組金八先生」乾友彦、「功名が辻」酒井忠次、「轟轟戦隊ボウケンジャー」創造王リュウオーン(声＆人間体) [吹替]「北京バイオリン」劉成 [ゲーム]「スターオーシャン Till the End of Time」ビウィグ
森田成一	[X][X-2] ティーダ [X-2] シューイン	[TVA]「BLEACH」黒崎一護、「MAJOR 2nd season」佐藤寿也、「BACCANO!-バッカーノ-」クレア・スタンフィールド、「リングにかけろ1」高嶺竜児 [OVA]「聖闘士星矢 冥王ハーデス冥界編」ペガサス星矢 [吹替]「ハイスクール・ミュージカル」トロイ・ボルトン [ゲーム]「戦国BASARA2」前田慶次、「金色のコルダ」火原和樹
安原聡美	[X-2] ルブラン、ブクタク	[TVA]「ピーチガール」中学の友達 [映画]「もも子、かえるの歌がきこえるよ。」吉沢先生 [吹替]「トエンティマン・ブラザーズ」ジェイン、「裸足の1500マイル」メイビス [舞台]「花が降ってくると思う～チェリィと光の道～」
山口　健	[XII] オンドール侯の側近	[TVA]「魁!!男塾」富樫源次、「世紀末救世主伝説 北斗の拳II」アイン、「DRAGON QUEST-ダイの大冒険-」フレイザード、「キン肉マン キン肉星王位争奪編」アシュラマン、「ドラゴンボールGT」四星龍、「トランスフォーマー ザ☆ヘッドマスターズ」ブラー、「BLACK LAGOON」イブラハ
山口隆行	[illegible] レオンハルト [X][X-2] アニキ、クラスコ、ワンツ、キッパ	[TVA]「HAND MAID メイ」早乙女和也、「SAMURAI DEEPER KYO」十二神将・真達羅、「ぷちぷり★ユーシィ」アルク、「ながされて藍蘭島」てるてるまっちょ、「東京アンダーグラウンド」ライチ、「スターシップ・オペレーターズ」加瀬タイシ、「マシュマロ通信」クローブ [ゲーム]「アヴァロンの鍵」ダグリス
山路和弘	[AC][DC] シド	[TV]「仮面ライダー剣」烏丸啓、「仮面ライダー電王」レオイマジン(声)、「ひとつ屋根の下2」寺田繁 [映画]「渋谷物語」野田宏、「WHITE OUT」吉兼孝義 [舞台]「MA マリー・アントワネット」ボーマルシェ、「深川安楽亭(近畿ブロック公演)」男、「屋上庭園／動員挿話」並木／宇治
山寺宏一	[IV] カイン	[TVA]「蒼天の拳」霞拳志郎、「カウボーイビバップ」スパイク・スピーゲル、「新世紀エヴァンゲリオン」加持リョウジ、「アンパンマン」チーズ [OVA]「覚悟のススメ」葉隠覚悟 [映画]「GHOST IN THE SHELL／攻殻機動隊」トグサ [TV]「おはスタ」司会 [吹替] エディ・マーフィ(持ち役)、「アラジン」ジーニー
ゆかな	[XII] ミュリン	[TVA]「あずきちゃん」野山あずさ、「真・女神転生デビチル」要未来、「フルメタル・パニック！」テレサ・テスタロッサ、「ふたりはプリキュア」雪城ほのか、「BLACK CAT」リンスレット・ウォーカー、「コードギアス 反逆のルルーシュ」C.C [ゲーム]「エアガイツ」クレア・アンダーソン
若本規夫	[IV] ルビカンテ [XII] アルシド	[TVA]「サザエさん」アナゴ、「ドラゴンボールZ」セル、「カウボーイビバップ」ビシャス、「ハヤテのごとく！」ナレーション、「あずまんが大王」ちよ父 [TV]「人志松本のすべらない話」ナレーション、「投稿！特ホウ王国」ナレーション [ゲーム]「キングダム ハーツII」ゼムナス、「バウンサー」ドゥラガン・C・ミカド
渡辺明乃	[X-2] シンラ、ハナ	[TVA]「ソウルイーター」リズ＝トンプソン、「カレイドスター」アンナ・ハート、「コードギアス 反逆のルルーシュ」ヴィレッタ・ヌゥ、「灼眼のシャナ」"夢幻の冠帯"ティアマトー、「うたわれるもの」ドリィ＆グラァ [ゲーム]「チョコボの不思議なダンジョン 時忘れの迷宮」謎の黒魔道士

FINAL FANTASY® X-2

ファイナルファンタジーX-2

ファイナルファンタジーX-2

作品概要

『FFX』の2年後を描く、シリーズ初の純粋な続編。バトル中でもドレス(ジョブ)が変えられるドレスアップシステム、シナリオの分岐、2周目の存在など、挑戦的な試みが多数盛りこまれている。さらなる続編『FFX-2 インターナショナル+ラストミッション』ものちに登場。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーX-2	プレイステーション2	2003年 3月13日	8,190円(税込)	※1
ファイナルファンタジーX-2 インターナショナル+ラストミッション	プレイステーション2	2004年 2月19日	7,140円(税込)	※2
ファイナルファンタジーX/X-2 アルティメットボックス	プレイステーション2	2005年 9月 8日	5,880円(税込)	※3

※1……アルティメットヒッツ版が2005年9月8日に2,940円(税込)で発売
※2……アルティメットヒッツ版が2007年1月25日に2,940円(税込)で発売
※3……映像作品「ファイナルファンタジーX アナザーストーリー 永遠のナギ節」が同梱

ファイナルファンタジーX-2
FINAL FANTASY X-2
INTERNATIONAL+LAST MISSION
■インターナショナル版

STORY

「永遠のナギ節」を迎えたスピラを ふたたび危機が襲う

召喚士ユウナの活躍でスピラが『シン』の脅威から解放され、2年の時が経過した。人々は恐怖におびえずにすむ幸せをかみしめる一方で時代の変化にとまどい、過去のわだかまりを抱えながら新たな道を模索。ユウナも、2年前の戦いで失った大切な存在ティーダのことを引きずりつつ、「スフィアハンター・カモメ団」の一員として、新たな道を歩み出す。

そんななか、青年同盟と新エボン党という反目し合うグループのリーダーが同時に姿を消し、両グループは一触即発の状態に。時を同じくして、『シン』の消滅とともに消えたはずの召喚獣たちが暴走をはじめる。そうした事件の背後には、1000年前の破壊兵器ヴェグナガンと、それを動かそうとするティーダそっくりの古代の青年、シューインの存在があった。

開戦も辞さぬ様子の青年同盟と新エボン党。戦時下に最愛の人と引き裂かれたうらみからスピラ滅亡をもくろむシューイン。機械戦争の悲劇をふたたび起こさぬためにも、ユウナは奥の手――"愛"の力によってすべてを解決しようと試みる。

FINAL FANTASY X-2 人物相関図

新エボン党
バルテロ
バラライ

青年同盟
ドナ
ルチル
エルマ
クラスコ
ヤイバル
マローダ
ベクレム
ヌージ

ビサイド島民
ビサイド・オーラカ
ダット
レッティ
ジャッシュ
ボッツ
キッパ
チャップ
ワッカ
ルールー

古代ザナルカンド人
シューイン
レン

アカギ隊関係者
マキナ派
ギップル

カモメ団
パイン
ユウナ
リュック
アニキ
マスター
ダチ
シンラ

ユウナの元ガード
ティーダ

シェリンダ
トーブリ

ロンゾ族
キマリ
ガリク
エイド
リアン

グアド族
トワメル

イサール

こども団
ハナ
タロ
パッセ

ルブラン一味
ルブラン
サノー
ウノー

トレマ
ワンツ
23代目オオアカ屋

アルベド族
リン
発掘キャンプ
ベンゾ
ナーダラ
シド

創設
相思相愛だがケンカ中
対立
補佐
同士討ちの
きっかけを作る
ほれこむ
疑念
恋人
静観
争いを止めようとする
スピラを滅ぼす
のに協力を頼む
野望を食い止
めようとする
シンクロ
加入
シゴく
戦友
キツく
あたる
かつて所属
兄弟
夫婦
兄弟
会いたいと願う
いとこ
好意
突撃イン
タビュー
仲良し
協力
対抗意識
助力を請う
兄妹
幼なじみ
旧知の仲
親子
コンサー
トに協力
反発
慕う
兄弟
手伝う
ライバル視
兄弟
憎悪
お嬢と慕う

ユウナ

Yuna

Personal Data

種族	ヒトとアルベド族とのハーフ	年齢	19歳
出身地	ベベル	身長	162cm
性別	女	得意ドレス	ガンナー
ボイスアクター	青木麻由子		
モーションアクター	青木麻由子		

明るい自分を演じて新たな旅に出たスピラの英雄

死の螺旋にとらわれた世界スピラに、「永遠のナギ節」と呼ばれる平和な日々をもたらした大召喚士。2年前、大いなる脅威『シン』を倒すのと引きかえにかけがえのない人ティーダを失い、空虚な思いを抱えつつ、人々の相談役として忙しい毎日を過ごしていた。そんななか、元ガードでいとこのリュックに誘われ、各地のお宝スフィアを集める「スフィアハンター・カモメ団」に加入。スフィアを求めて各地をめぐるうちに古代の機械ヴェグナガンの存在を知り、その暴走を止めるべく立ち上がる。

旅立ちのきっかけはティーダそっくりの青年が映るスフィアを見たことであり、当初は彼との思い出にとらわれていた。しかし、人々が新たな時代の波にとまどいながらも未来を模索しているのを知り、過去に立ち止まったままの己をかえりみ、本当の意味で前へと歩み出す。

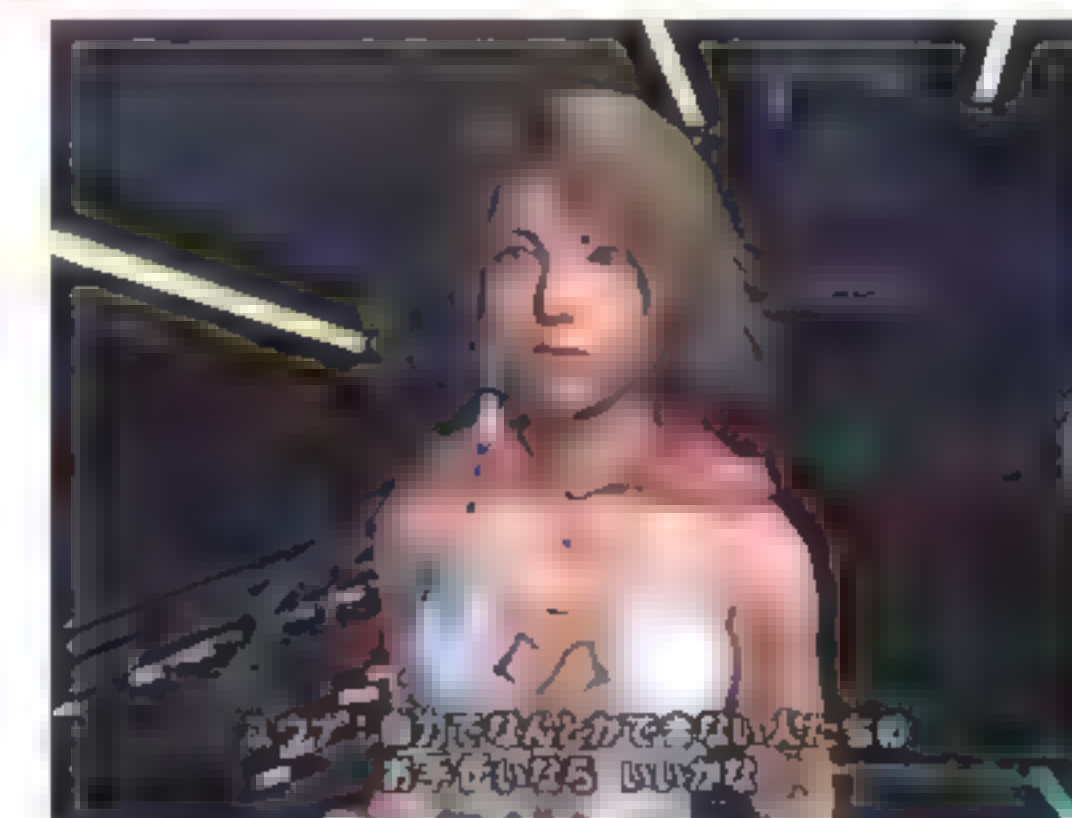
⬅リュック、パインと3人で「ユリパ」と名乗る。ユウナの衣装は、英雄の身分がバレないようリュックが用意した。

➡召喚士時代に旅した各地を、2年の時を経て再訪。変わっていくもの、変わらないものをその目で確かめていく。

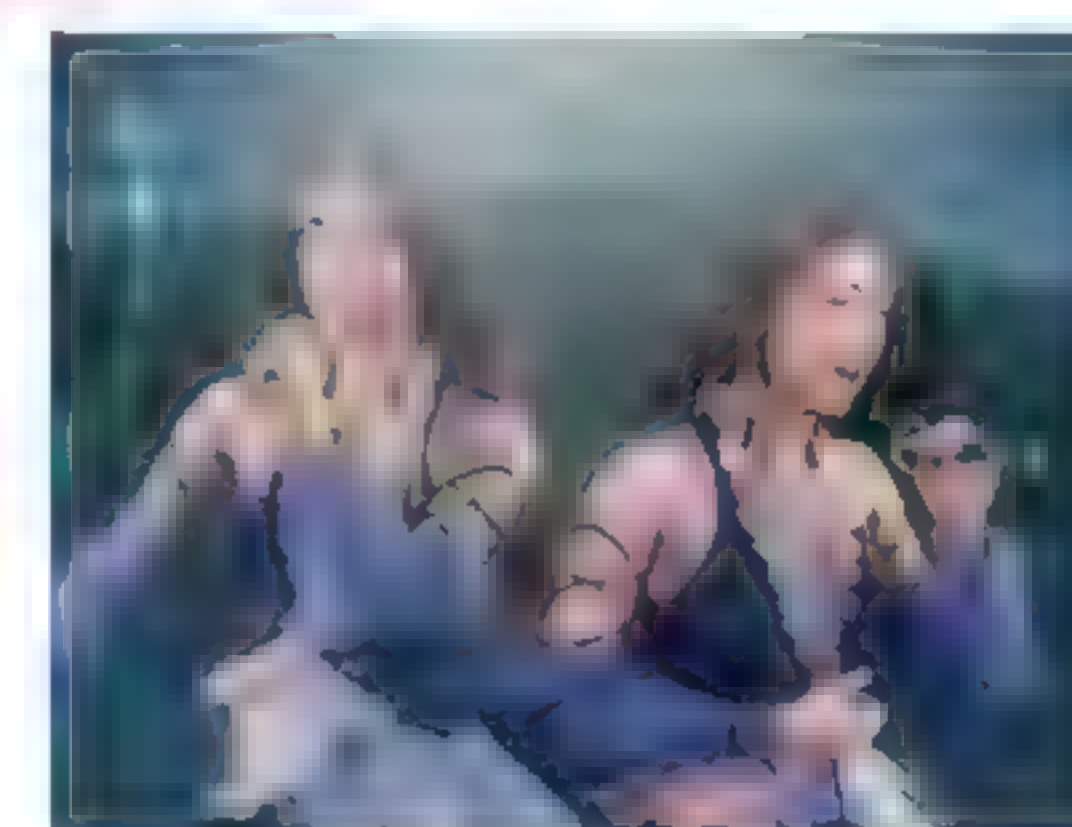
Topics of Yuna

変わりたくても変われない?

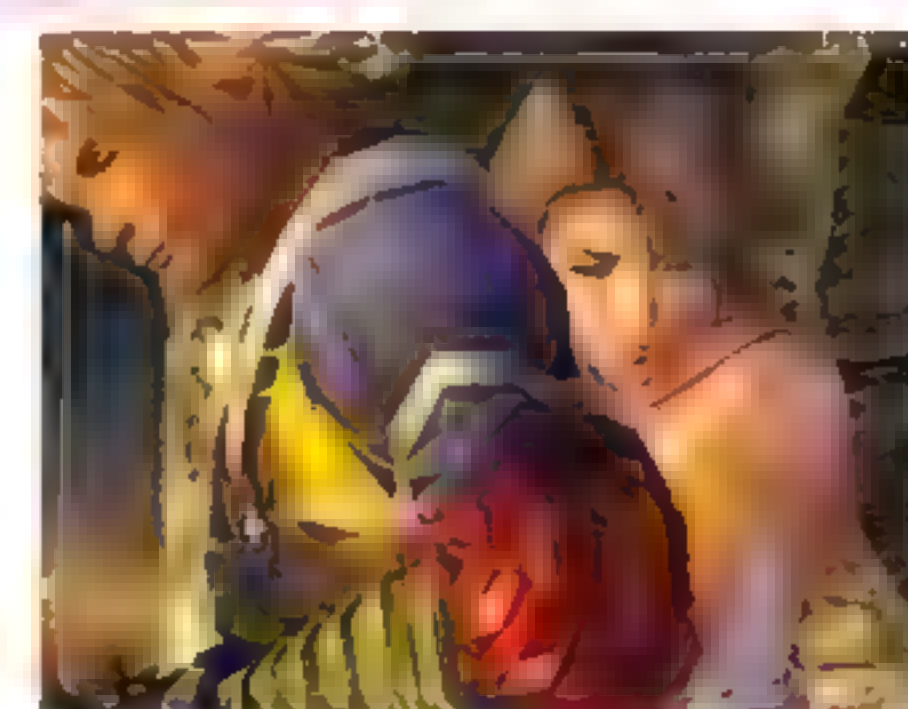
「X-2」のユウナの言動は、2年前とは別人のように明るく軽い。英雄として頼られる日々に疲れ、大召喚士という身分を隠そうとしているのもあるが、何より面倒ごとを背負いがちな自分がイヤで、変わりたいと思ったからだ。

とはいえ、本来マジメで自己犠牲精神の強いユウナが、困った者を目にして放っておけるはずもない。結局、各地のもめごとを解決し、スピラの危機を救いに乗り出すことになる。

⬆先頭に立って動くのではなく、あくまで助っ人の立場でいようとするのが、以前とのちがい。

レンの想いを受け止めて

ユウナたちは「ドレスフィア」を使ってさまざまなドレスに着替えて戦う。なかでもユウナが使う歌姫のドレスフィアには、1000年前の機械戦争で命を落としたザナルカンドの女性レンの意識が焼きついていた。元召喚士として死者の念を受け止めやすいこともあり、ユウナはレンと同調。彼女の恋人でありこの世に絶望したシューインが、ヴェグナガンを使ってスピラを滅ぼすのを、愛の力で止めようとする。

⬆スピラの人々の心をつなぐためコンサートを開いたユウナは、歌ううちにレンとシンクロする。

"キミ"と会うための旅の結末

"キミ"――ティーダにもう一度会いたいという理由で旅に出たユウナだが、きっかけとなったスフィアはティーダと無関係だった。しかし、道中で彼女は自分の心に確かにティーダがいると気づき、心のなかの彼とともに未来へ歩きはじめる。

⬅スフィアを追ってもティーダには会えないが、彼を想うユウナの心しだいで奇跡は起こる。

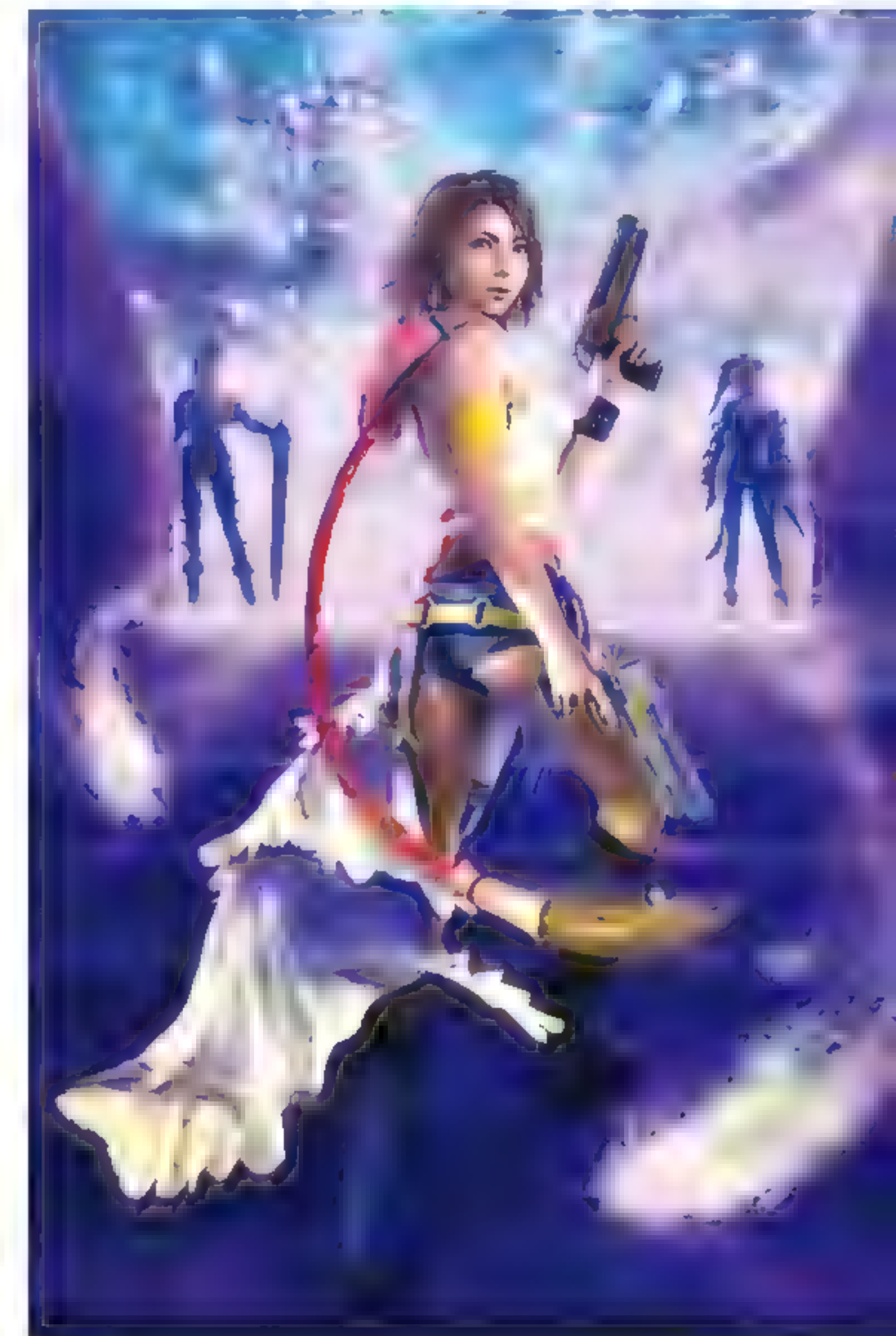
Impressive Words

以前のようなていねいな言葉づかいをワザと避け、何も考えずに楽しくさわごうとしていたユウナ。しかし、それが不自然だと途中で気づき、素の自分を出すようになる。なお、「ムカツク」はリュックのマネらしい。

「レンって誰よ。なんか……ムカツク」「レンって誰だっつーの!」
――飛空艇：スフィア映像でティーダそっくりの人物がレンと口走っていたのを気にして

(キミを探して、旅に出た――でも、つながる先に、キミはいない。それでも私、旅していたいんだ。つながる先を確かめたいよ。キミが――いなくても)
――飛空艇：スフィアの青年がティーダではないと知りつつ、前に進む決意を固め

「誰かが死ぬとか、いなくなるとか、最初から決まってる戦いは、いやなんだ」
――異界：自爆してヴェグナガンを破壊すると申し出たヌージを制し

(私は泣いたり笑ったり、怒ったあとで笑ったり。変わっていくんだ、そうやって。それが私の、素敵な物語)
――エンディング：カモメ団の仲間とともに大空を飛びながら独白

リュック

Rikku

Personal Data

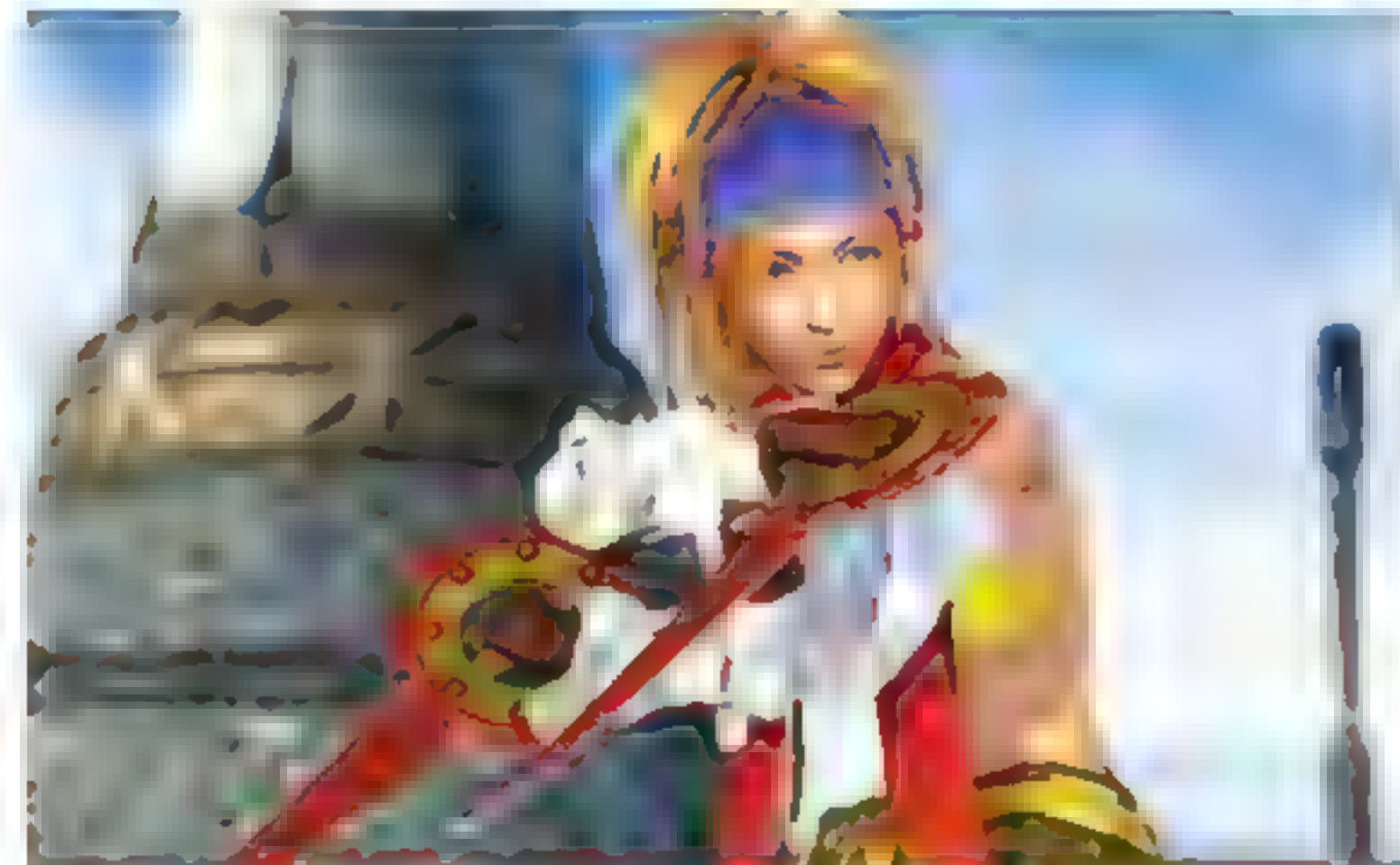
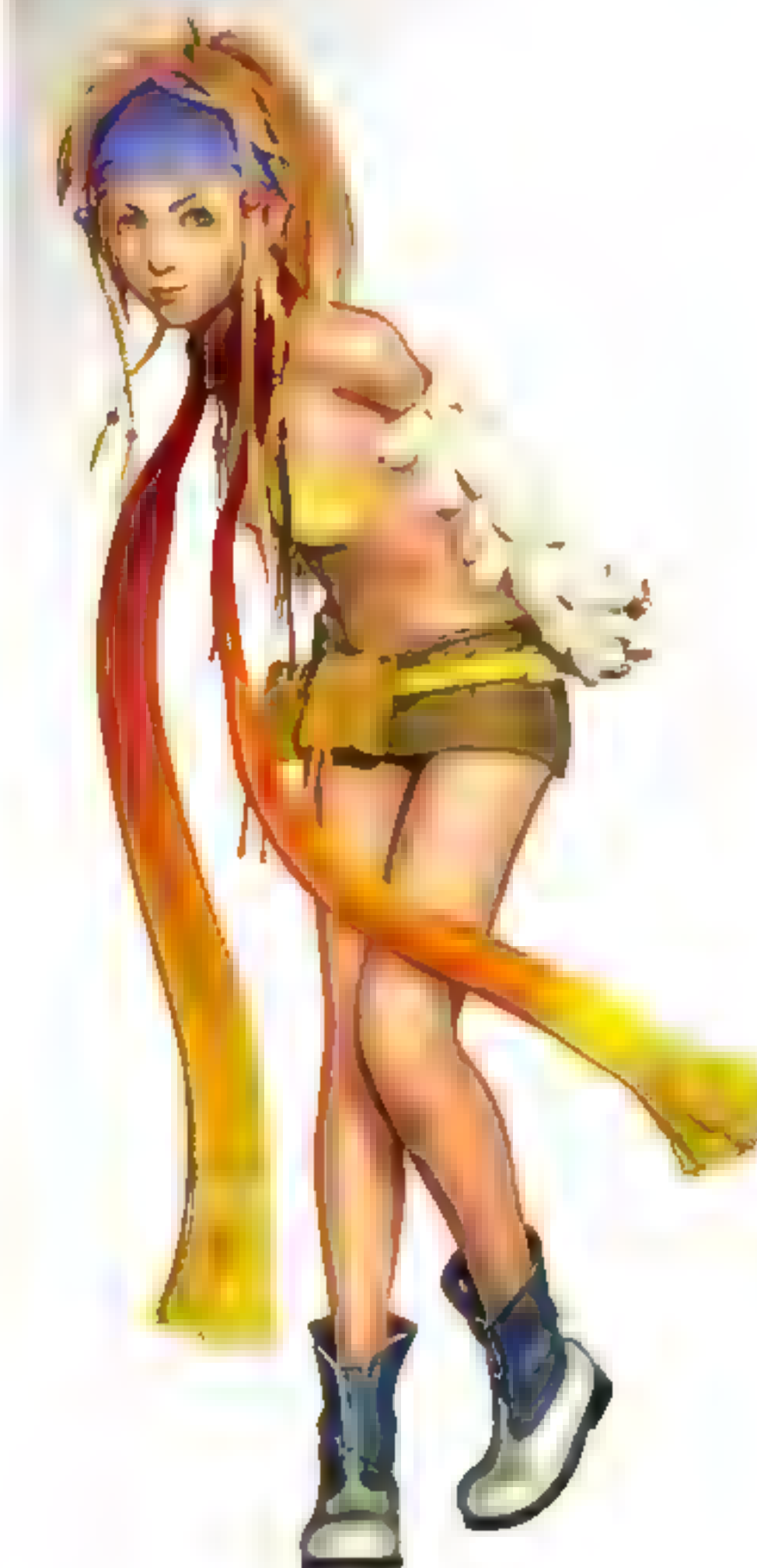
種族	アルベド族	年齢	17歳
出身地	ビーカネル島	身長	159cm
性別	女	初期ドレス	シーフ
ボイスアクター	松本まりか		
モーションアクター	松田夏穂		

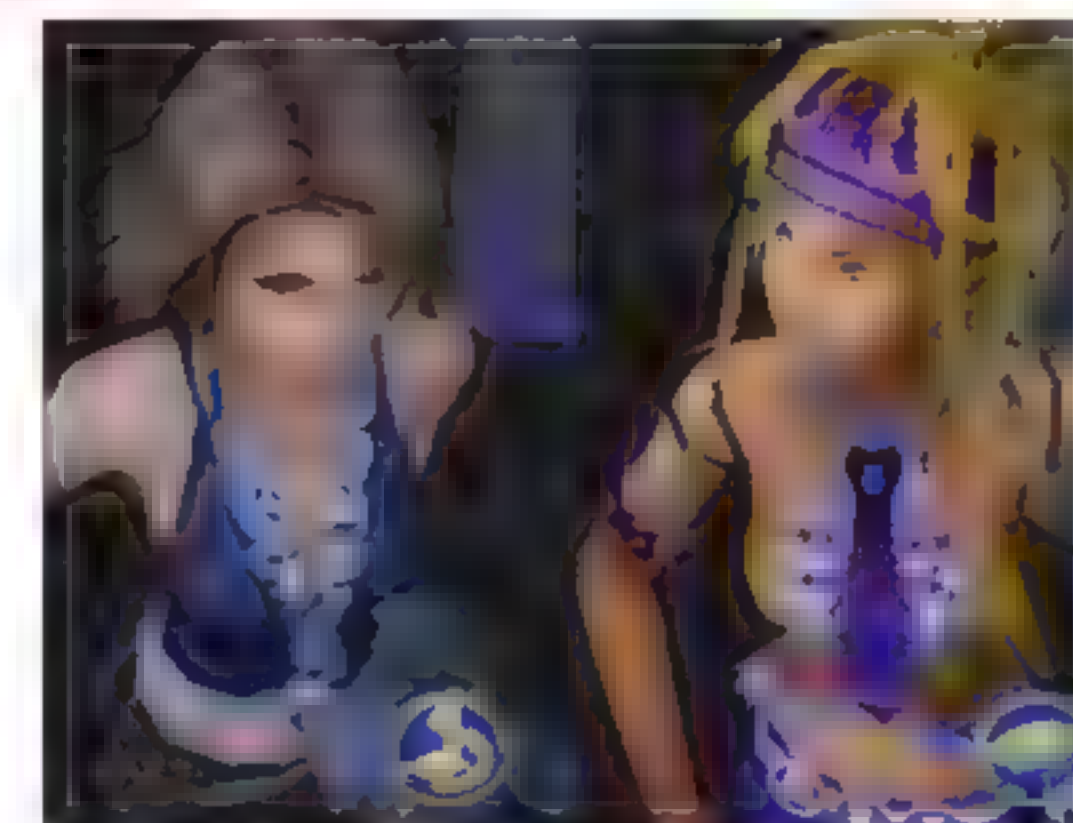
お宝探しも人助けも楽しむのが第一！ カモメ団の「ニギヤカ担当」

ユウナの母方のいとこであり、2年前に彼女のガードを務めた元気娘。お祭りさわぎと身体を動かすことが大好きで、いつも忙しく飛びまわっていないと気がすまない。アニキとともにカモメ団を立ち上げてスフィアハントをするなか、ティーダによく似た人物が映ったスフィアを発見。スピラが平和になったのに幸せそうに見えないユウナを心配し、彼女が新たな一歩を踏み出せるようにとスフィアを見せてカモメ団に誘った。

ティーダとの思い出にしばられたままのユウナや、過去を引きずったパインを引っ張るが、冒険の果てに彼女たちがそれぞれの道を見いだすのに対し、自身は成長した様子を見せない。リュックが自分の物語をつむぎ出すのは、カモメ団の後日談である『FFX-2 ラストミッション』の冒険を終えたあとになる。

⬅深刻な旅ではないのもあって、何かとハメをはずしがち。ガガゼト山の温泉で、ユウナやパインとふざけ合う場面も。

➡苦手だった雷も、修行の成果で平気に。とはいえ、物語終盤に雷平原の雷が激化すると、恐怖心がふたたび顔を出す。

Topics of Rikku

お祭りだったらリュックにおまかせ

『シン』を倒す旅でもニギヤカ担当を自称していたリュックだが、2年たったいま、そのニギヤカさはパワーアップ。バラバラになった人々の心をつなごうとユウナがコンサートを開いたさいは、自分はバックコーラスであるにもかかわらず、率先してリハーサルを行なう。また、幻光河でイベント屋のトーブリが2度目のライブを企画したときには、周囲に止められても喜々として飛び入り参加しようとするのだ。

⬆ユウナと一緒にミニゲーム風のリハーサル。飛空艇のマスターいわく「ノリノリだ〜よ？」。

親子ゲンカの結末は

リュックの父であるアルベド族の族長シドと、兄であるアニキは、目下のところ大ゲンカ中。リュックは兄の立場に賛同し、それゆえ父のものとは別の飛空艇セルシウスで飛びまわっている。物語後半にはユウナの意見もあって父を自分たちの飛空艇に乗せることになり、親子ゲンカはいったん収束。それでも相変わらずシドとアニキの衝突は絶えず、リュック自身も、干渉したがりな父にうんざり顔だ。

⬆結婚前の娘なんだからもっとおしとやかにしろ、と説教するシドに、ムキになって反論。

ギップルとのアヤしい関係？

リュックとマキナ派のギップルは、同じアルベド族という以上に仲がいい。とくにリュックのほうは、シドの娘ではなく個人としてあつかわれたがったり、ギップルにからかわれて真っ赤になったりと、どうやら彼に気がある様子？

⬅リュックと昔付き合ってたというギップルの冗談を聞いて不自然なほど赤面。アヤしい……。

Impressive Words

無理して旅を盛り上げようとしていた感のあった2年前とちがって心底旅を楽しんでおり、あまりのさわがしさにパインたちもあきれるほど。物語終盤には、ユウナとパインの成長を見てあせるひと幕も……。

「ユ・リ・パ、レディ。ミッション・スタート!」
——オープニング：ユウナに扮したルブランのコンサートを阻止すべくユウナとパインに合図

「なんで〜？　じみ〜なスフィアハンターなんてつまんないよ」
——飛空艇：すんごいスフィアをゲットしたことで面倒に巻きこまれないかと危惧するダチに

「あたしは知りたい。あんたのこと、もっと知りたいもん」
——キノコ岩街道：過去にヌージと何があったかをパインに聞きたがって

「なんかさ……。なんか、あたしだけ置いていかれてる？
ユウナは変わろうとしてる。パインだってすっごく変わったし」
——飛空艇：周囲に取り残されてあせる気持ちをユウナに打ち明け

パイン

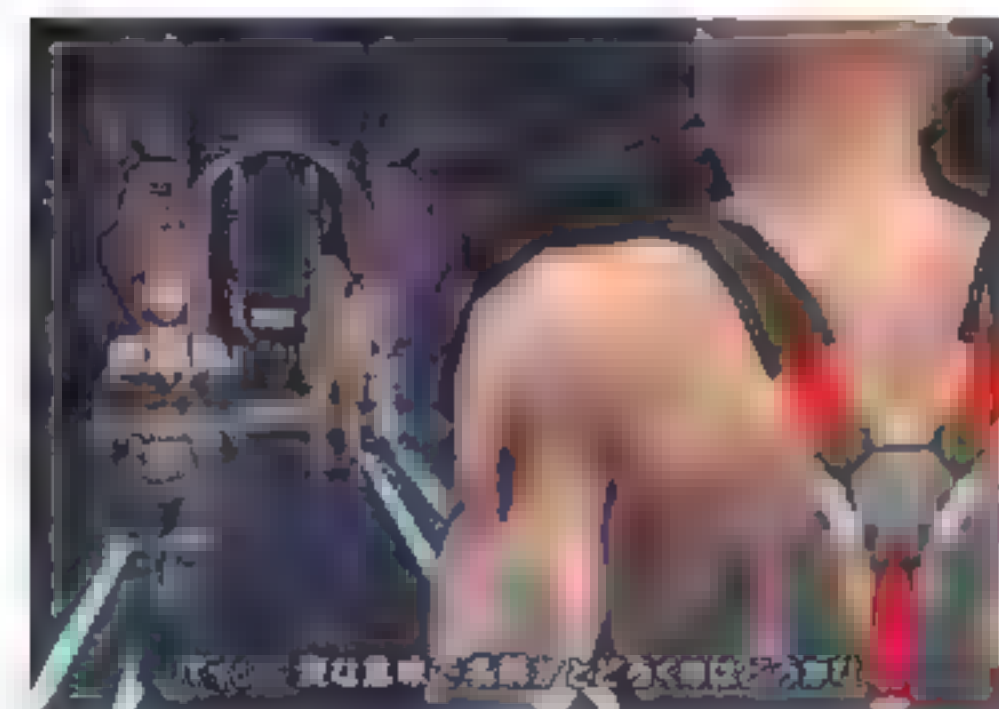
Paine

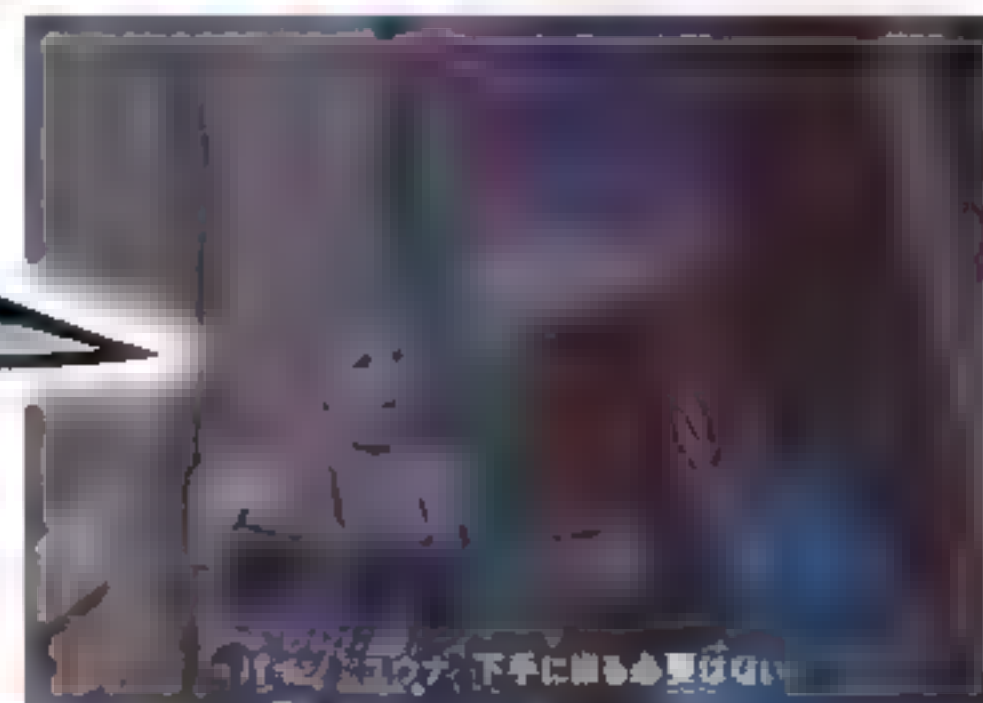
Personal Data			
種族	ヒト	年齢	18歳
出身地	不明	身長	165cm
性別	女	初期ドレス	戦士
ボイスアクター	豊口めぐみ		
モーションアクター	[illegible]		

内面を隠した女剣士 求める宝は過去の真実

中性的でクールな雰囲気を漂わせるカモメ団メンバー。ユウナより少し前に入団した先輩で、冷静かつ一歩引いた視点から、お祭り好きなカモメ団員を引きしめる。

2年前、エボン寺院が直属の精鋭部隊「アカギ隊」を極秘裏に新設しようとしたとき、その候補生の班のひとつで記録係をしていた。スフィアハンターをはじめたのは、当時同じ班にいた仲間がバラバラになるきっかけとなった事件の真相を探るためであり、また「空飛ぶ船に乗る」という2年前からの夢をかなえるためでもある。

当初は内面に踏みこまれることを嫌い、己の過去について触れられるのを避けていたが、旅が進むにつれて、しだいにユウナたちとうち解けるように。過去を否定するような態度をとってきた自分こそが過去にこだわっていたことに気づき、自然体を取りもどしていく。

⬅舞い上がった一同に冷や水を浴びせる役まわりだが、ときおり周囲につられて調子に乗り、あとで恥じ入ることも。

➡2年前の仲間であるヌージたちには、親愛の情を抱きつつも過去のわだかまりが解けず、不自然に冷たい態度をとる。

Topics of Paine

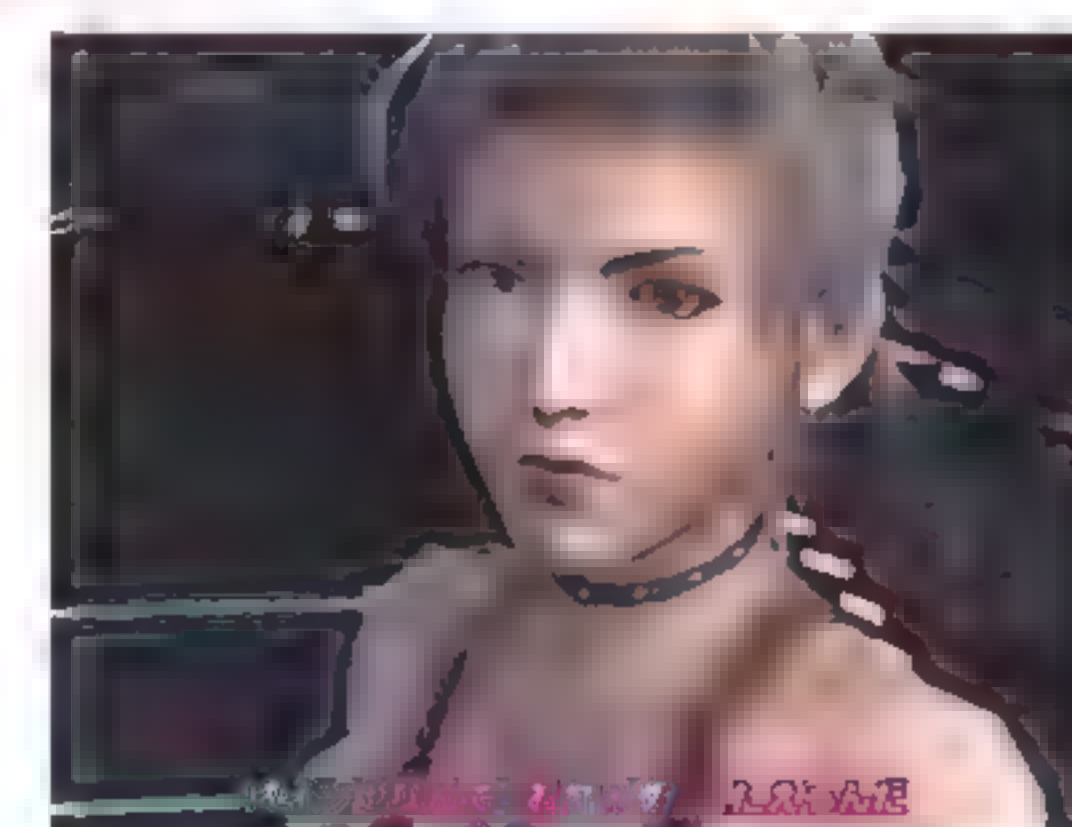
■アカギ隊候補生と過ごした過去

「シン」が消えたのちに生まれた3つの思想グループの各指導者――ヌージ、バラライ、ギップルの3人とパインは、2年前にアカギ隊候補生の班で行動をともにし、夢を語り合った仲。だが、隊の最終選抜試験のさい、彼らは不可解な同士討ち事件を体験したのち寺院に追われ、散り散りになってしまう。事件の真実を見つけて、夢と希望に満ちていた当時の自分を取りもどすことが、彼女自身も気づかぬひそかな願いだ。

⬆パインが撮影した班の行動記録「アカギスフィア」には、当時の映像が残っている。

■アルベド語を学んだ理由

いまだスピラの異端的存在であるアルベド族の言葉を、パインは完璧にマスターしている。2年前、アルベド語もスピラの共用語もあやつるギップルと出会った彼女は、別の言葉を学べば世界が広がるのではと考えたのだ。

もっとも、ただアルベド語を学んだだけでは、パインの世界は変わらなかった。まず自分から心を開かないと世界は広がらない――彼女がそれに気づいたのは、ユウナたちのおかげである。

⬆ふだんはアルベド語ができるのを隠し、突然流ちょうに話し出すため、周囲はビックリ。

■パイン先生の尊敬ポイント

パインは、周囲の者に対する「尊敬ポイント」をひそかに数えている。相手に感心できるような言動があれば加点し、がっかりしたら減点する、といった具合だ。もっとも、点数に応じて何が起きるのかは、パイン本人にしかわからない。

⬅しつこく過去を聞き出そうとするリュックには減点4で、総ポイント47点に。

Impressive Words

無口で、ときおり吐く言葉は「シメる」「ひんむく」などキツいものが多い。過去を詮索されることを極度に嫌っていたものの、旅の後半にはみずから事情を話し、自分を支えてくれた仲間に感謝する。

「あんたたちのことは尊敬してるし信頼もしてる。仲間だと思ってるよ。それだけじゃダメか?」
――キノコ岩街道：リュックに過去のことを聞かれるが口をつぐみ

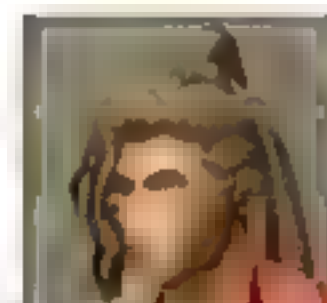
「じゃ、シメてひんむくか」
――ビーカネル砂漠：ルブラン一味の戦闘服を探す途中にサノーが出向いてきたのを見て

「ずっと過去を追いかけてきたけど――
取り戻したいのか、そうじゃないのか、時々、わからなくなる」
――飛空艇：甲板でユウナに過去を打ち明け

「簡単に言うと、あんたたちのおかげで私もずいぶん変わったってこと」
――ジョゼ寺院：ユウナとリュックに感謝を述べて

元アカギ隊

ヌージ

Nooj

登場場所 青年同盟本部、ポルト=キーリカほか

Personal Data

種族	ヒト	年齢	21歳
性別	男	身長	188cm
ボイスアクター	神奈延年		
モーションアクター	石井 淳		

“死にたがり”の異名をとる青年同盟リーダー

「シン」討伐隊を母体とし、スピラの改革を志すグループ「青年同盟」の盟主。不死身と呼ばれた討伐隊員時代、大勢の仲間が犠牲となったジョゼ海岸防衛作戦にて瀕死の重傷を負い、半身を機械に改造された。自分だけが生き残ったという負い目と、機械に頼らねば生きられない己への嫌悪から、心のどこかで死に場所を求めている。

2年前、アカギ隊の最終選抜試験中に同士討ち事件を体験し、生き残ったもののシューインにとりつかれて同じ班の仲間に発砲。以来、シューインの思念を潜在下に宿らせつづけてきた。青年同盟を率いつつ、事件の引き金となった機械ヴェグナガンの破壊を極秘裏に試みるも失敗。弁明のためかつての仲間と会合するなかでシューインの思念から解放され、その新たな器とされたバラライにヴェグナガンを使わせまいとして異界へ向かう。

←候補生仲間から裏切り者と誤解されながらも、シューインが言う「ヴェグナガン」の謎を独力で解こうとしていた。

Impressive Words

「諸君、今こそ立ち上がり、真実を我らの手に!」
――ポルト=キーリカ:キーリカ寺院のスフィアを手に入れようと同盟員に呼びかけ

「俺の中にある何かが今も死をほしがっている。わずかに残った生身の部分か、それとも埋め込まれた機械の部分か。あるいは別の何者か。そいつが命を憎んでいる」
――ヌージのスフィア:ルチルに弱音を吐き

「究極の幻想だ」
――異界:愛の力でシューインを説得するというユウナにあきれて

「どこへ行っても、どうにかなるさ。俺たちは生きてるし、ナギ節はつづく」
――エンディング:バラライ、ギップルとともに演説し

元アカギ隊

柔和にして切れ者の新エボン党議長

バラライ

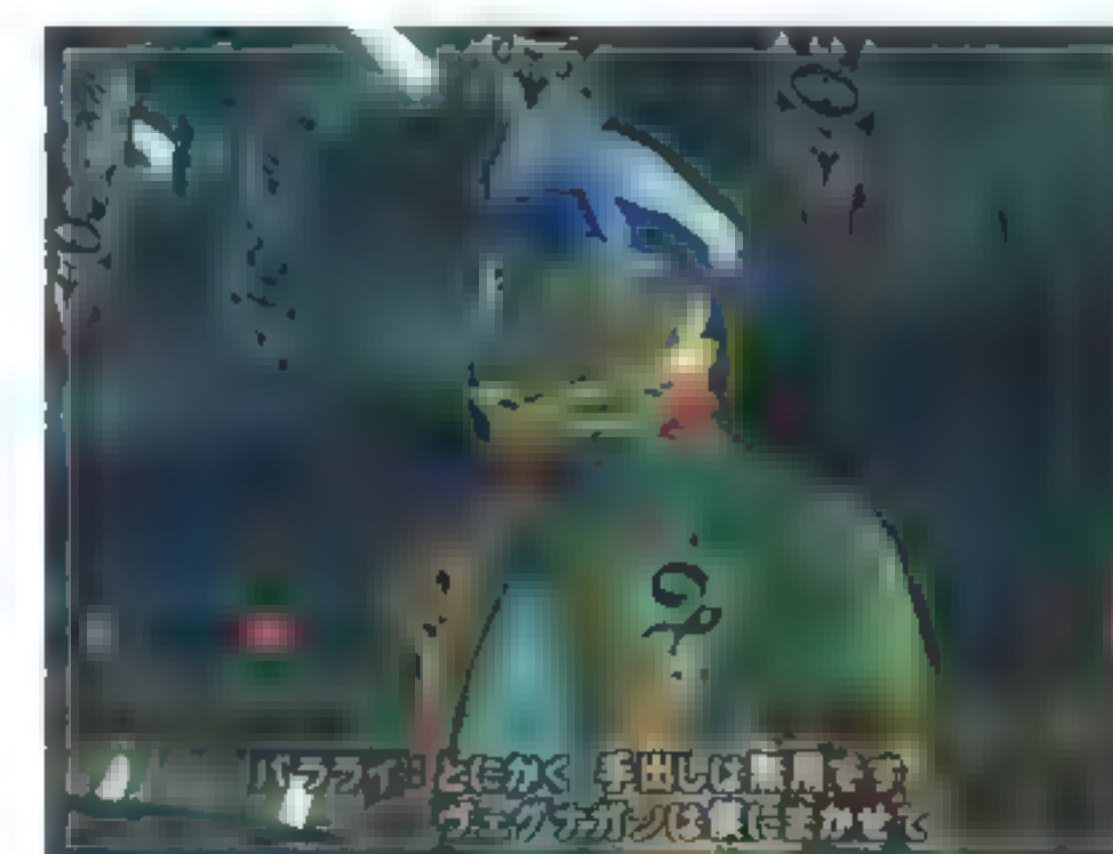
Baralai

登場場所 ベベル、異界ほか

Personal Data

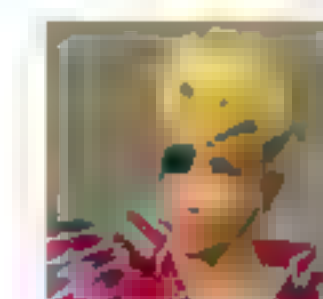
種族	ヒト	年齢	20歳
性別	男	身長	176cm
ボイスアクター	蘇武健治		
モーションアクター	[illegible]		

エボン寺院を母体とする「新エボン党」の議長。理知的で温和な優男だが信念のためには強引な手段も辞さず、議長の座に就いたのも、独裁をたくらむ前議長を見てクーデターを起こした結果である。

ヌージやギップルと同じく元アカギ隊候補生で、ヌージたちと別れたのちは僧官としてエボン寺院中枢にもぐりこんだ。ヴェグナガンの危険性を知るがゆえにその存在を隠してきたが、力の独占が目的だと誤解されてヌージやカモメ団と対立。その後、動揺したスキにシューインに身体を乗っ取られ、ヴェグナガンを起動させてしまう。

↑知略家にして武芸の達人。ヴェグナガンの暴走を恐れ、ユウナたちを近づけまいとする。

Impressive Words

「僕らだって、壊せるものならとっくにそうしている。でも、あれに触れてはいけないんだ。君らもヌージも、それがわかっていない」
――アンダーベベル:ヴェグナガンを破壊しにきたユウナたちの前に立ちふさがり

「忘れていたんだ。僕たちは生まれたときから一緒に大きな船に乗っていた。スピラという船に」
――エンディング:ヌージ、ギップルとともに演説し

ノリは軽いが思慮深いマキナ派リーダー

ギップル

Gippal

登場場所 ジョゼ寺院、異界ほか

Personal Data

種族	アルベド族	年齢	18歳
性別	男	身長	181cm
ボイスアクター	鈴村健一		
モーションアクター	森田成一		

完全オリジナルの機械製造を目指すアルベド族のグループ「マキナ派」の若き頭領。スピラの未来をこの手で創り出そうという情熱を内に秘めている。

ヌージたちと同じ班に所属していた元アカギ隊候補生で、部隊解散のさい自分たちに発砲したヌージを裏切り者とも断じ切れず、またエボン寺院側についたバラライを信用することもできずに、中立の立場で彼らの動きを静観。両者の率いるグループが全面衝突を起こす事態を危惧して三頭会談を試みるも、シューインがバラライの身体を器に暴走をはじめたため、ヴェグナガンを打倒しようと立ち上がる。

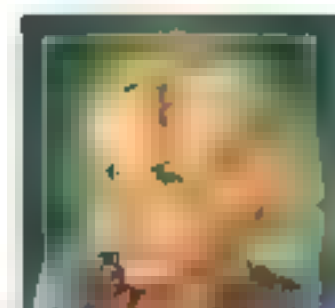
↑リュックやアニキを昔からよく知るが、女性にモテるため、色事と無縁なアニキからの受けは悪い。

Impressive Words

「生ユウナ様か」「イイ感じじゃねえかよ」
――ジョゼ寺院:初対面のユウナをまじまじと見つめて

「もう「シン」の時代じゃないんだ。いつまでもあんたに頼っちゃあカッコつかないってこと。自分の世話は自分でするさ」
――ジョゼ寺院:ジョゼ寺院に出た魔物を退治しようというユウナの申し出を断り

物語のカギをにぎる人物

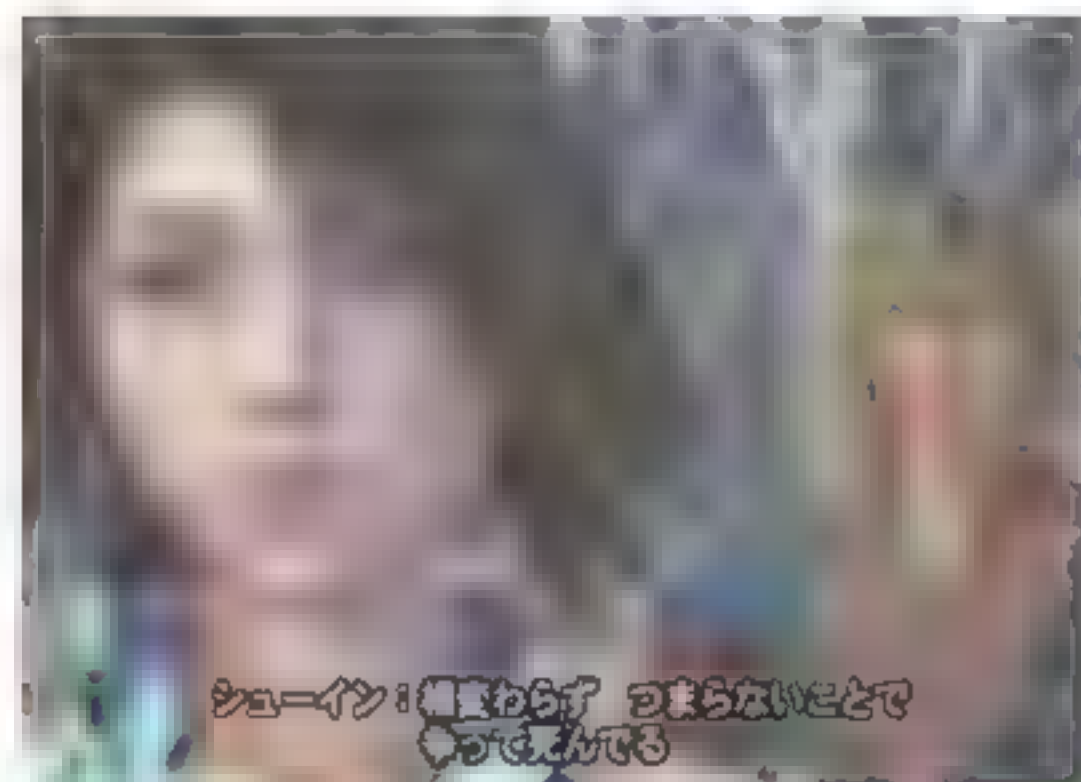
シューイン
Shuyin

登場場所 異界、封印の洞窟ほか

Personal Data

種族	ヒト(古代ザナルカンド人)		
性別	男	身長	176cm
ボイスアクター	森田成一		
モーションアクター	森田成一		

機械戦争の悲劇が生んだ憎悪の塊

古いスフィアに映っていた、ティーダそっくりの若者。その正体は古代に栄えたザナルカンドの住人である。機械戦争のときに恋人のレンと引き裂かれそうになり、戦争を終わらせるために敵国ベベルの秘密兵器ヴェグナガンを奪おうとして失敗。恋人ともども射殺され、そのときのうらみや悲しみ、憎悪の念が、1000年ものあいだスピラにとどまりつづけることになった。

やがて姿形をともなって動き出したシューインの負の思念体――シューインの"影"は、2年前のアカギ隊最終選抜試験にて候補生らの心を狂わせ、同士討ちという惨事を引き起こす。そのさい候補生のひとりヌージにとりつき、以来彼の意識の底に潜伏してきたが、物語中にバラライに憑依し直してヴェグナガンを起動。自分と恋人を死に追いやったスピラを無に帰そうとする。

←容姿はティーダとうりふたつだが別人。ユウナを恋人レンだと思いこみ、ともにスピラを滅ぼそうと呼びかける。

Impressive Words

「召喚士を守るにはああするしかなかったんだ! 自分ならどうするか考えろよ! 出してくれよ! あいつに……会わせてくれ」
――きっかけのスフィア:ベベルの牢獄にて、出してくれと叫び

「このろくでもないスピラも、君を守れなかった俺も――
ヴェグナガンで跡形もなく消してやる。
もう一度ふたりで消えよう。力を貸してよ、レン」
――異界:ユウナをレンとカンちがいしたまま、一緒にスピラを滅ぼそうと言い

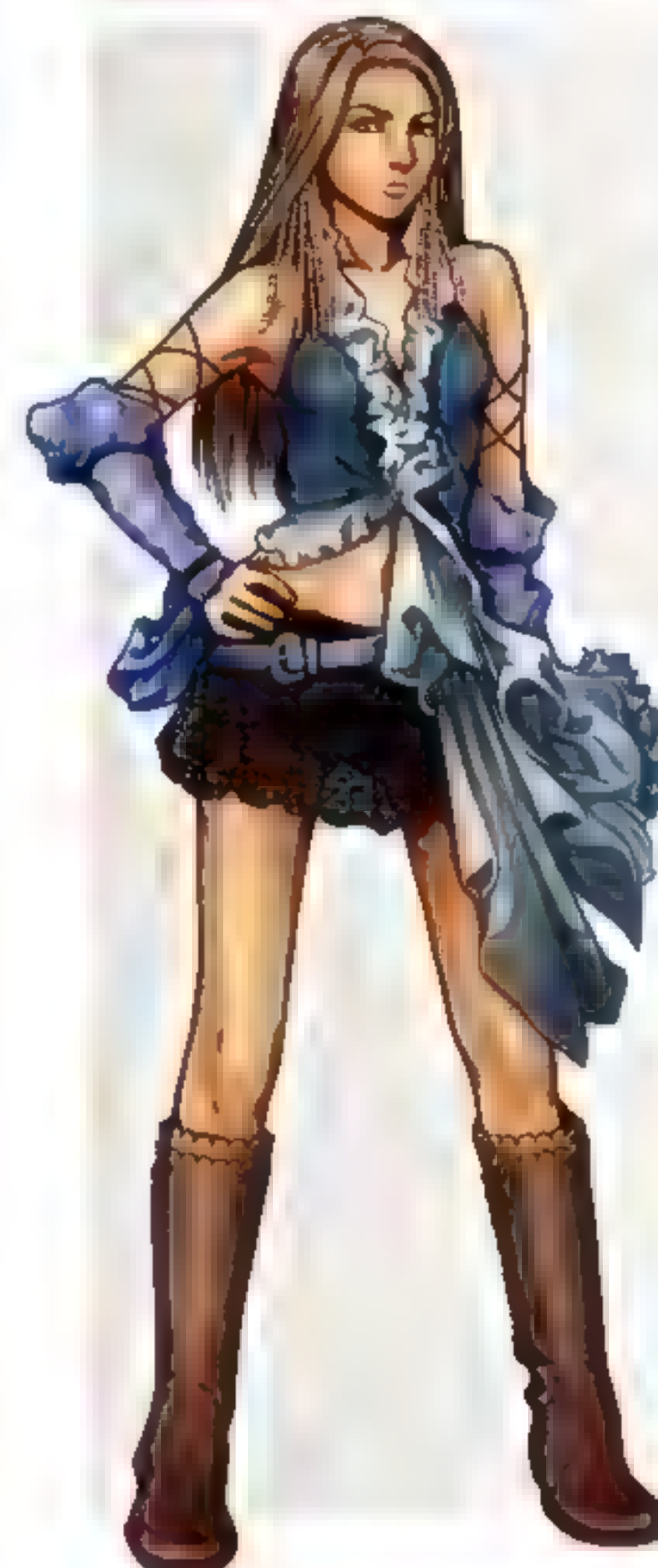
「解き放て、ヴェグナガン!」
――異界:ヴェグナガンの力を解放して

非業の死をとげた古代の歌姫

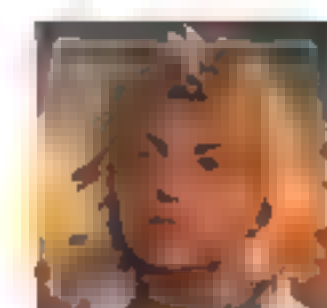
レン
Lenne

登場場所 異界、雷平原

Personal Data

種族	ヒト(古代ザナルカンド人)		
性別	女	身長	169cm
ボイスアクター	倖田來未		
モーションアクター	倖田來未		

1000年前のザナルカンドに生きた、シューインの恋人。すぐれた召喚士であると同時に、熱狂的な人気を集める歌姫でもあった。自分の意識が焼きついた歌姫のドレスフィアを通じ、その現在の持ち主であるユウナに想いを伝えて、スピラ滅亡をはかる恋人の暴走を止めようとする。

Impressive Words

「もう充分だよ。
君の気持ちだけで、
胸がいっぱい。
だから、もうやめよう。
帰ろうよ」
「新しい歌、聴かせてあげる」
――異界:シューインをなだめて

ユウナにとって大切な"キミ"

????(ティーダ)
Tidus

登場場所 異界、エンディング

Personal Data

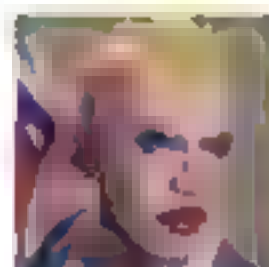
種族	ヒト(幻光体)	年齢	17歳(消滅時)
性別	男	身長	175cm
ボイスアクター	森田成一		
モーションアクター	森田成一		

ガードとして、そして愛する者として、『シン』と戦うユウナを支えた青年。夢の街の住人として召喚された存在で、『シン』を倒すと同時に自身も召喚主を失って消滅した。2年たったいまもユウナの心に残りつづけており、展開によっては祈り子たちの起こす奇跡によって復活をとげる。

←ティーダと一緒に歩きたいとユウナが強く願った場合、ビサイド島の浜辺にティーダが現れ、ユウナと再会を喜び合う。

Impressive Words

「ただいま。……ただいま」
――エンディング:ビサイド島の浜辺に現れ、再会したユウナと抱き合い

「俺がユウナのことを、ユウナが俺のことを、
お互い大事に思ってればさ、そしたら大丈夫!」
――エンディング:ザナルカンド遺跡にて、
またティーダが消えてしまわないかと心配するユウナに

カモメ団

ユウナに片想いするカモメ団のリーダー

アニキ Brother

Personal Data
種族 アルベド族
性別 男　年齢 20歳
ボイスアクター 山口勝平
モーションアクター 森田成一

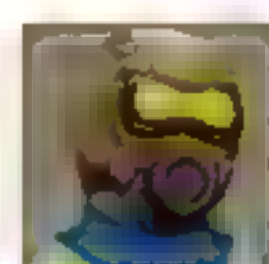
登場場所 飛空艇、ルカ

周囲に本名を忘れられたリュックの兄。父シドとケンカ別れし、幼なじみのダチとともに新たな飛空艇を発掘、カモメ団を立ち上げた。飛空艇の操縦を担当しており、以前にも増してオーバーなアクションで仲間の士気を盛り立てる。

←ユウナに近づきたい一心で、スピラの共用語もある程度習得。しかし恋の成就は見えず……。

Impressive Words

「リーダーは俺だ！　俺に聞け！」
――飛空艇：スフィア争奪戦に参加しようとユウナに呼びかけたリュックに怒り

「俺、ユウナの背中が好きなんだ」
――飛空艇：自分ではなく遠くを見るユウナのほうが好き、という複雑な男心をマスターに打ち明け

自他ともに認める天才少年

シンラ Shinra

Personal Data
種族 アルベド族
性別 男
年齢 11歳
ボイスアクター 渡辺明乃

登場場所 飛空艇、ルカほか

「～だし」がログセの、少々生意気なアルベド族の少年。ドレスフィアや通信スフィアといった発明品をつぎつぎに生み出し、カモメ団の活動を支える。大人顔負けの知識を持ち、頭の回転も速いが、根っこの部分はまだまだ子ども。

←コインを使ったミニゲーム、「スフィアブレイク」の達人。ルカでの大会ではユウナとも腕を競う。

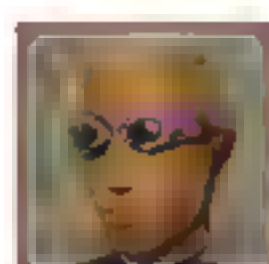
Impressive Words

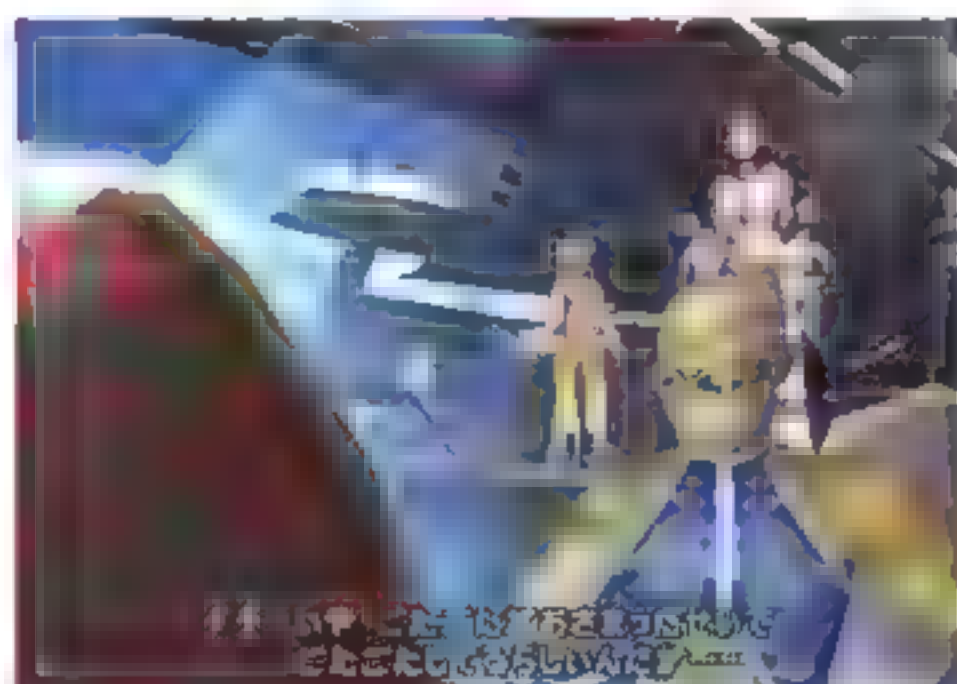
「僕、いろいろ知ってるし」「僕まだ子供だし」
――飛空艇：何かを説明するときと、説明できず困ったときの決まり文句

「Hi　Hi　Hi　カモメ団♪　Hi　Hi　Hi　カモメ団♪」
「いけ　いけ　いけ　カモメ団♪　とべ　とべ　とべ　カモメ団♪」
――飛空艇ほか：自作のカモメ団テーマソングを口ずさみ

頼れる？　カモメ団の計画係

ダチ Buddy

Personal Data
種族 アルベド族
性別 男
年齢 20歳
ボイスアクター 多比良建

登場場所 飛空艇、ルカほか

アニキの幼なじみで、カモメ団の初期メンバー。2年前はシドたちとともに飛空艇に乗っていた。おおざっぱで無責任な部分はあるものの、スフィア波検索装置を駆使して各地の動きを探り、カモメ団の行動計画を練る。

Impressive Words

「カモメ団、どこ行く？」
――飛空艇：仲間に黙ってガガゼト山の温泉に入って帰還し

のんびり屋のキャビンバー店主

マスター Barkeep

Personal Data
種族 ハイペロ族
性別 男
ボイスアクター 諏訪部順一

登場場所 飛空艇ほか

アニキに拾われてカモメ団入りしたハイペロ族。タダ同然でバーの店主として働き、アニキのグチの聞き役を務めるが、雷平原でユウナのコンサートの準備をしているときに運命の相手を見つけ、ひと足早く幸せ者になる。

Impressive Words

「一緒にするな～よ？」
――飛空艇：孤独な者同士と共感を求めるアニキを冷たく突き放し

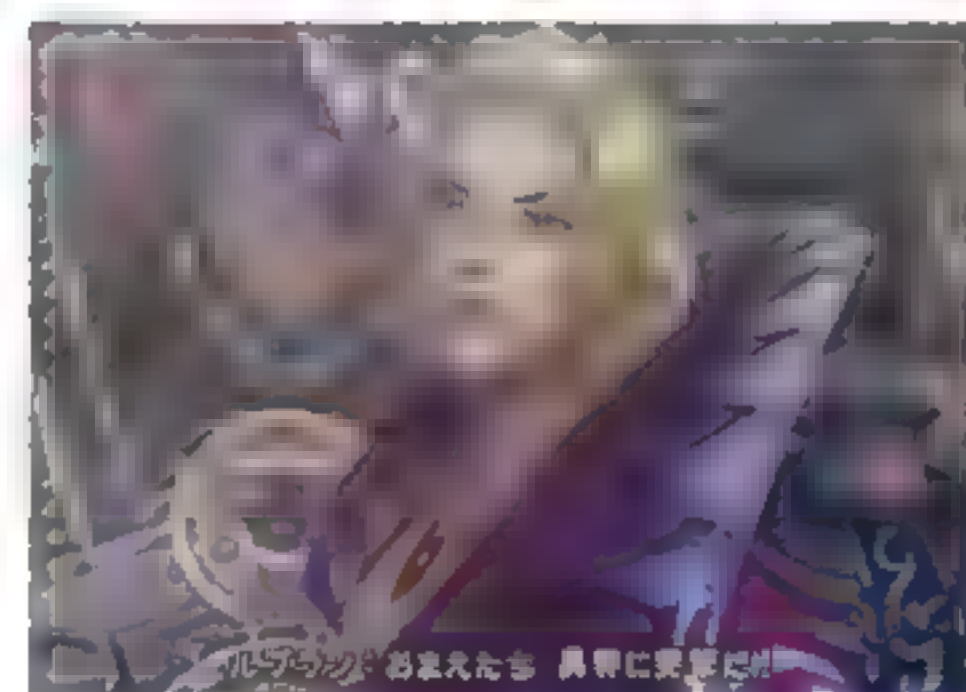
ルブラン一味

強引だが情にもろいアネゴ

ルブラン Leblanc

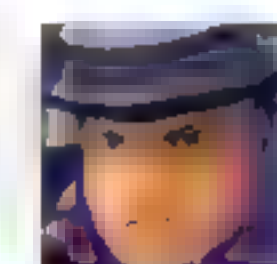
Personal Data
種族 ヒト　性別 女
年齢 トップシークレット※
ボイスアクター 安原麗子
※自称21歳、尋ねると蹴られる

登場場所 ガガゼト遺跡、ルブランのアジトほか

スフィアハンターグループ「ルブラン一味」の女リーダー。自分が一番でないと気がすまず、ユウナたちに何かと対抗する。のちに、恋する相手ヌージの目的とカモメ団の目的が一致していると知り、カモメ団と共闘することに。

←通称"お嬢"。何かとムチャを言うものの、度量が広く面倒見は良いため、部下から慕われている。

Impressive Words

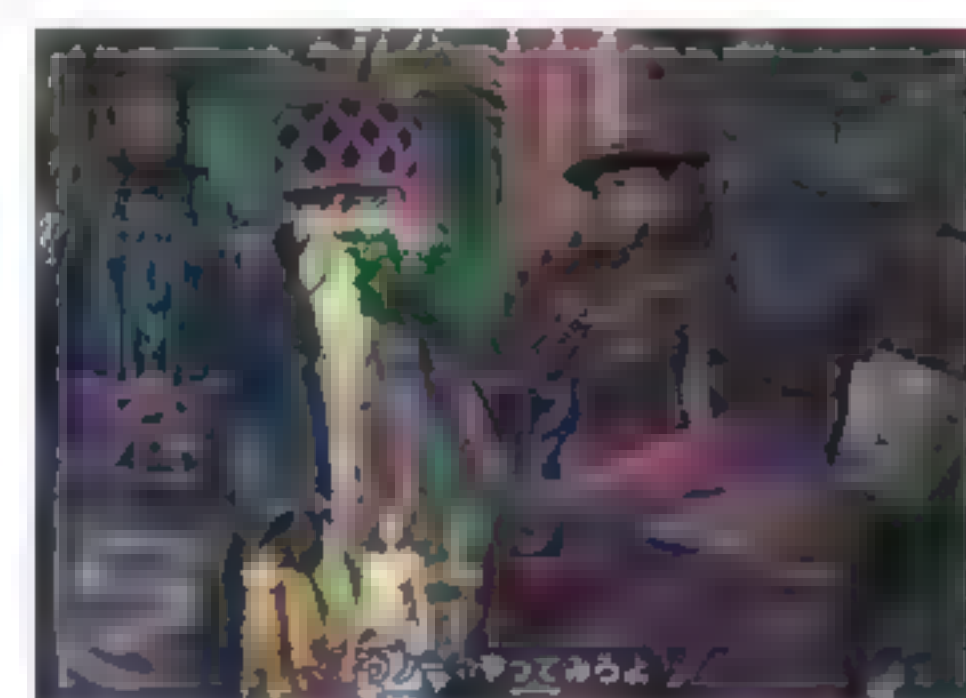
「ざまーみな、カモメ団。このルブラン様と張り合おうなんて1000年早いよ！」
――ルブランのスフィア：カモメ団からすんごいスフィアを盗み出し

「今度会えるのはいつだろうねえ……。会えない時間の長さが重いったらないよ」
――ルブランのアジト：ヌージを見送ってひとりごとをもらし

力仕事を得意とするルブランの右腕

ウノー Ormi

Personal Data
種族 ヒト
性別 男
年齢 22歳
ボイスアクター 古島清孝

登場場所 ガガゼト遺跡、ルブランのアジトほか

相棒サノーとともにルブランを支える武闘派幹部。かつてはエボンの僧兵として汚れ仕事を請け負い、寺院解散で行き場をなくしたところをルブランに拾われた。単純でドジを踏むことが多いが、どこか憎めない人物。

←ヌージが姿を消しルブランが落ちこんだときは、彼女を励まそうと、サノーと一緒に知恵をしぼる。

Impressive Words

「ダハハハハハ！　ミッション終了！」
――ルカ：偽ユウナを追うリュックとパインを、サノーとふたりではさみ撃ちにし

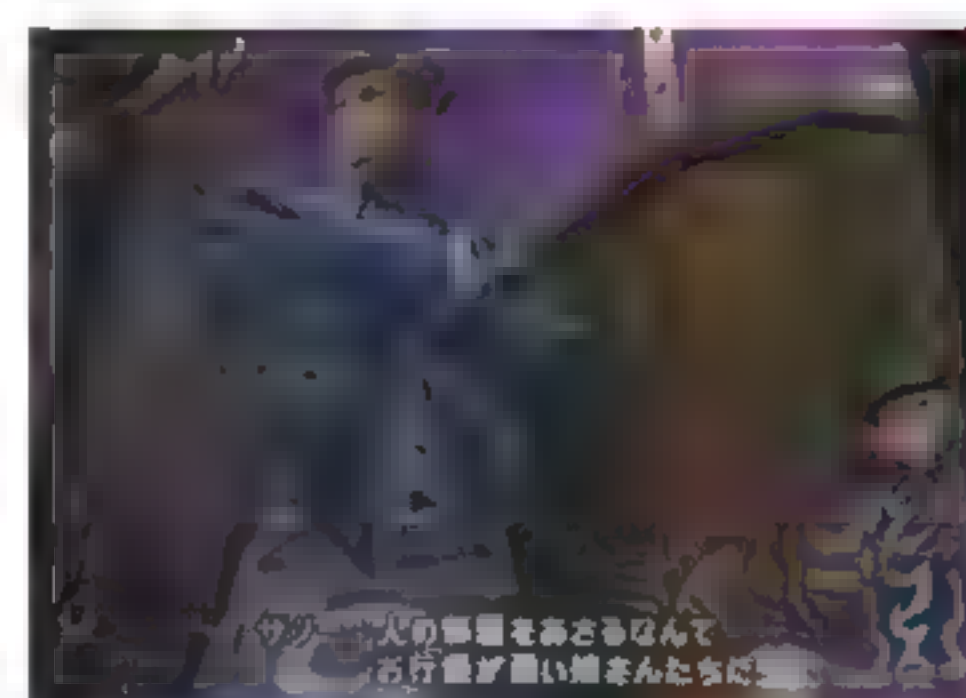
「いや～、悪い悪い。わざわざ探してもらっちゃって。あの……返してくれないの？」
――ジョゼ街道：スフィアを横取りしたユウナたちに近づき

頭脳仕事に長けたルブランの左腕

サノー Logos

Personal Data
種族 ヒト
性別 男
年齢 26歳
ボイスアクター 飛田展男

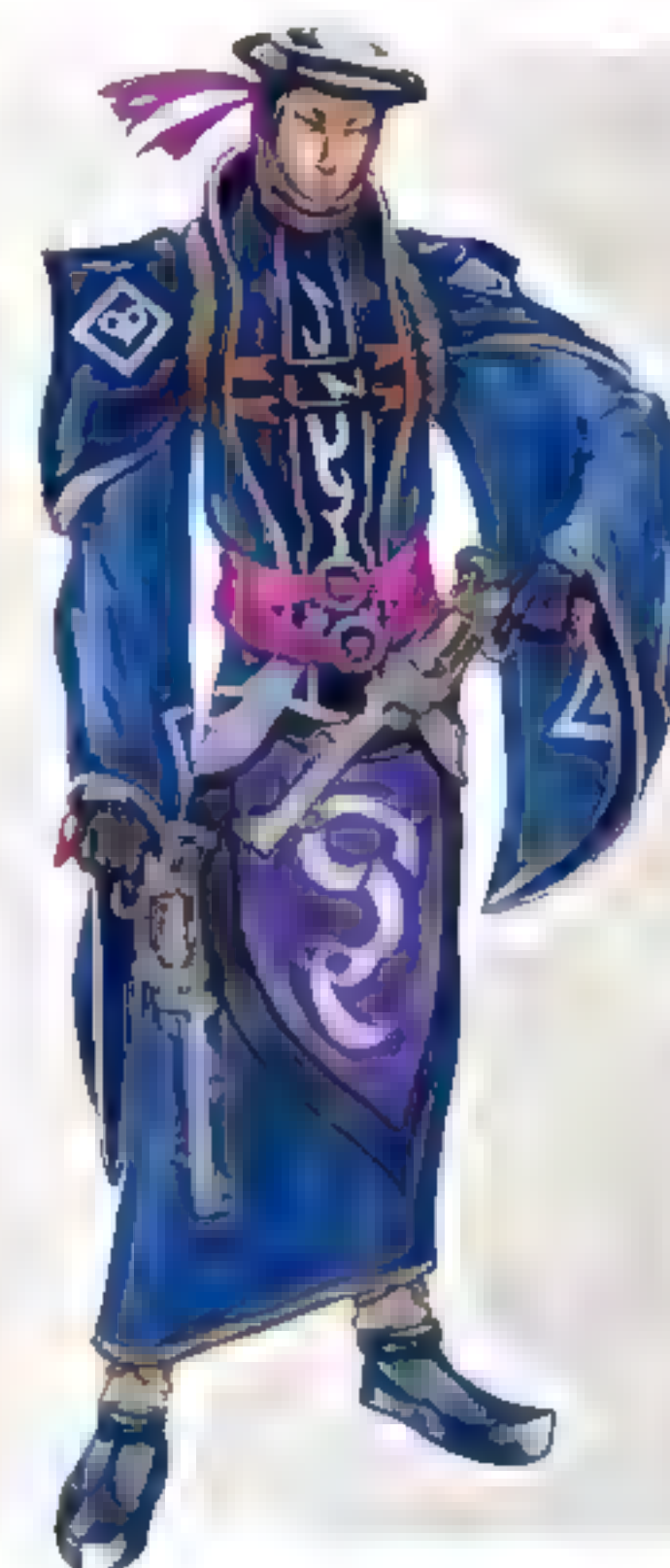
登場場所 ガガゼト遺跡、ルブランのアジトほか

ルブラン一味の頭脳担当。ウノーとは僧兵時代からコンビを組んでおり、ミスの多い相棒をフォローしようとするが、本人もしっかり者とは言いがたい。クールに見えて内面は熱く、"お嬢"ルブランのために最後まで尽くす。

←時代がかった言いまわしが特徴。じつはユウナたちをスフィアに隠し撮りする趣味が……。

Impressive Words

「こっちだよ、娘さん」
――ルカ：偽ユウナを追うリュックとパインの前に立ちふさがり

「あんたたちがどうしようと勝手だが、お嬢には黙っていてくれよ」
――ルブランのアジト：アンダーベベルの記録2を見たユウナたちにクギを刺し

ビサイド島の人々

父となる自分にとまどう元ガード
ワッカ Wakka

Personal Data

種族	ヒト		
性別	男	年齢	25歳
身長	188cm		
ボイスアクター	中井和哉		

登場場所 ビサイド村、通信スフィア(ビサイド島)ほか

ユウナの元ガード。『シン』を倒してまもなく、幼なじみでガード仲間のルールーと結婚した。半年前に妻が妊娠して以来、子どもの誕生を待ち望む思いと、親の顔も知らない自分が立派な父になれるかという不安とで揺れている。

←ブリッツボールもご無沙汰で、なまって"ぷにぷに"になった身体をリュックにからかわれる。

Impressive Words

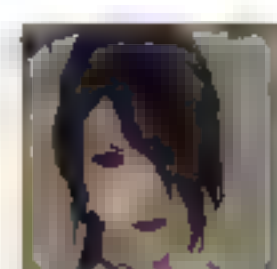
「なあ、父親ってのは、
どんな顔して子供を迎えりゃいいんだろうな?」
——ビサイド村：父となる心構えができないとユウナにもらし

「「こうあるべきだ」って考えにすぐ縛られちまうんだ。
でもよ、結局、俺は俺なんだよな」
——ビサイド村：型にこだわるのをやめると決意し

"ユウナの姉"からひとりの母へ
ルールー Lulu

Personal Data

種族	ヒト	年齢	24歳
性別	女	身長	167cm※
ボイスアクター	夏樹リオ		

※ハイヒールとまとめ髪の高さを合わせて175cm

登場場所 ビサイド村、通信スフィア(ビサイド島)

姉がわりとしてユウナを見守ってきた、知識豊富な女性。ユウナのガードとしての旅を終えたいまはワッカの妻となり、彼の子を宿している。怒りっぽかった2年前とくらべてずいぶん落ち着き、慈愛に満ちた態度でユウナをさとす。

←物語終盤に男の子を出産。悩んでばかりのワッカを前進させたくて、息子の命名を一任する。

Impressive Words

「こういうことって、きっと自然と変わるの。
たぶん自分で変えるより、ずっと素敵に」
——通信スフィア(ビサイド島)：無理して変わろうとするユウナに

「だから隣にいるんでしょ。
こう見えても、けっこう頼りにしてるんだから」
——ビサイド村：ワッカとふたりだけの世界を作り

青年同盟のスパルタ教官
ベクレム Beclem

Personal Data

種族	ヒト
性別	男
年齢	25歳
ボイスアクター	咲野俊介

登場場所 ビサイド村、通信スフィア(ビサイド島)ほか

青年同盟入りしたビサイド島民の指導役として、島に派遣された同盟員。討伐隊でのチャップの戦友で、友の兄であるワッカに以前から興味を抱いていた。エボン寺院時代の因習を徹底的に排除しようとし、ワッカたちの反感を買う。

←チャップが尊敬していたというワッカがあまりに頼りないことに失望し、彼につらく当たる。

Impressive Words

「どいつもこいつも二言目には「思い出」か」
——ビサイド島：思い出が自分の力だとユウナが言うのを聞き、吐き捨てるように

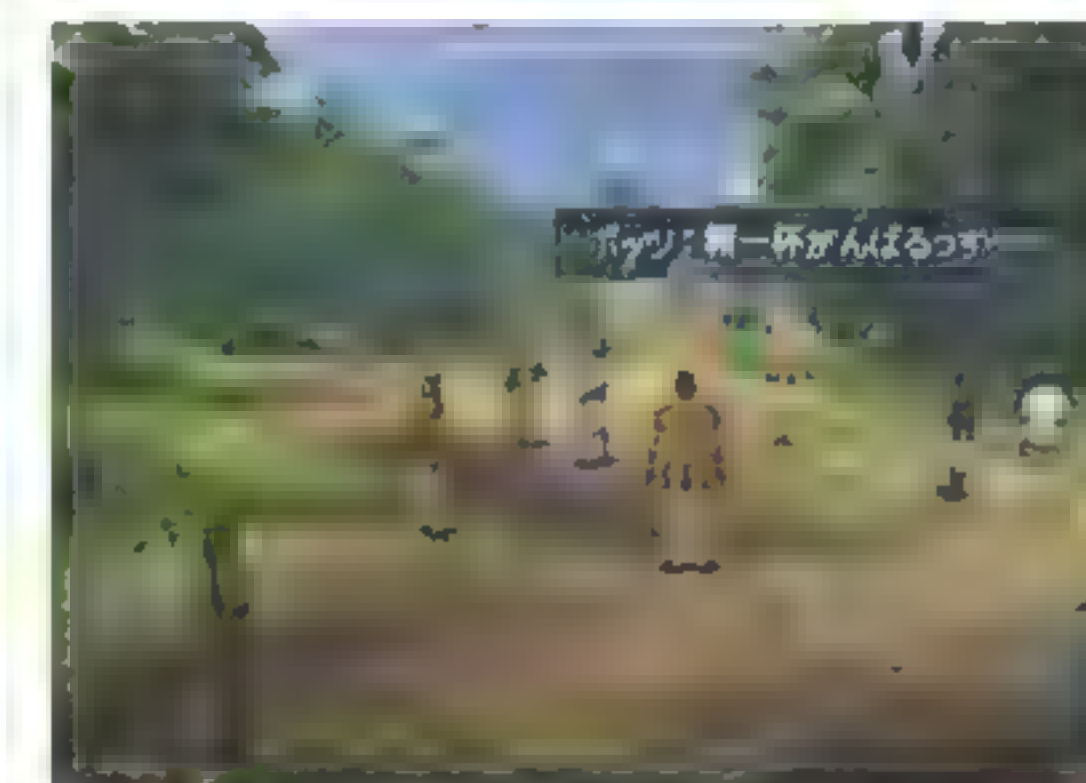
「どうだかな。あいつよりも、
弟の方がよっぽど頼りになったがね」
——通信スフィア(ビサイド島)：あとはワッカにまかせて大丈夫と言うユウナに

ワッカも属していたブリッツボールチーム
ビサイド・オーラカ Besaid Aurochs

登場場所 ビサイド島、通信スフィア(ビサイド島)ほか

ビサイド島のブリッツボールチーム。スピラ最弱のチームと長年バカにされていたが、2年前の大会で躍進をとげ、一目置かれるようになった。もっとも、各選手の技術はあまり成長していない。

物語中盤に、チームごと青年同盟入りすることを決意。同盟本部から派遣されてきた鬼教官ベクレムにしごかれ、悲鳴をあげる。

↑同じ村で育ったユウナを、スピラの英雄ではなく妹のような存在として暖かく迎える。

↑「精一杯がんばる」がモットーだが、ベクレムのあまりにキツい訓練を受け、かけ声も弱く……。

ダット Datto

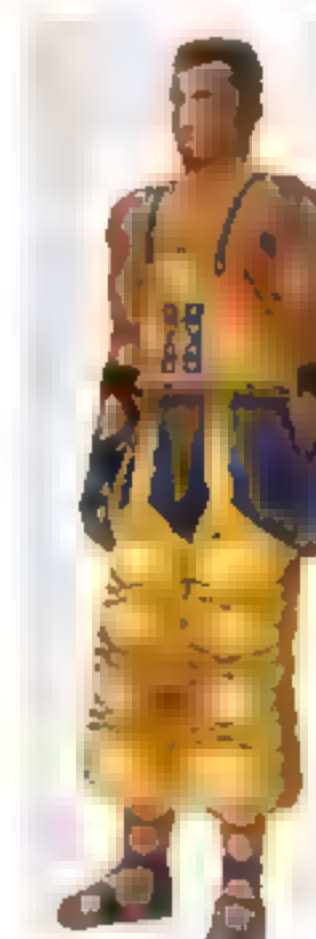
年齢 20歳　ボイスアクター 石野竜三

少々地味だが、何事にも一生懸命な青年。いつもの習慣でエボン式の礼をしてしまい、寺院の因習を嫌うベクレムの怒りを招く。

Impressive Words

「ユウナちゃん、がんばってよ。
応援してるからさ!」
——ビサイド島：ユウナを励まして

レッティ Letty

年齢 23歳　ボイスアクター 神谷浩史

浅黒い肌に無精ヒゲを生やしたメンバー。ベクレムの戦闘訓練にがんばって耐えるが、そもそも青年同盟の目的を理解していない。

Impressive Words

「とりあえず青年同盟に入ってみたけど、
いったい何する組織なんだ?」
——ビサイド島：練習をしながらつぶやき

ジャッシュ Jassu

年齢 21歳　ボイスアクター 諏訪部順一

イレズミに金髪といった派手な外見が特徴的な青年。のんきで人当たりが良く、軽い調子でいろいろな話題を振ってくる。

Impressive Words

「ユウナちゃん、そういう服も
意外と似合ってるんじゃない?」
——ビサイド島：ユウナの新しい服をホメて

ボッツ Botta

年齢 20歳　ボイスアクター 鈴木琢磨

選手としてはパッとしないせいか、少々弱気な発言が目立つ若者。父となる日が間近に迫ったワッカへ、突撃インタビューをする。

Impressive Words

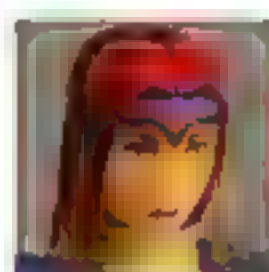
「ワッカさん、
父親になる気分はどうっすか?」
——通信スフィア(ビサイド島)：ワッカにインタビューして

キッパ Keepa

年齢 22歳　ボイスアクター 山口隆行

ぽっちゃり体型が目を引く、オーラカの守護神。ブリッツの先輩でありコーチだったワッカが悩む様子を、冷静に見つめている。

Impressive Words

「ワッカさん、吹っ切れたような
吹っ切れてないような……」
——ビサイド島：洞窟からもどったワッカについて語り

青年同盟

ヌージの腹心である元騎兵隊長
ルチル
Lucil

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
年齢	27歳
ボイスアクター	大原さやか

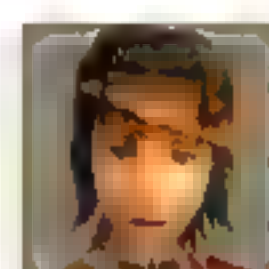
登場場所 青年同盟本部、キノコ岩街道ほか

討伐隊のエリート、チョコボ騎兵隊を統率していた女性。当時の部下を連れて青年同盟に加入し、中隊長としてヌージを補佐している。理知的で落ち着きがあり、戦士として高い実力を持ちつつも、決してそれをひけらかさない。

⬅物語終盤には、青年同盟主催の武闘大会の最終戦にて、ユウナたちの前に立ちはだかる。

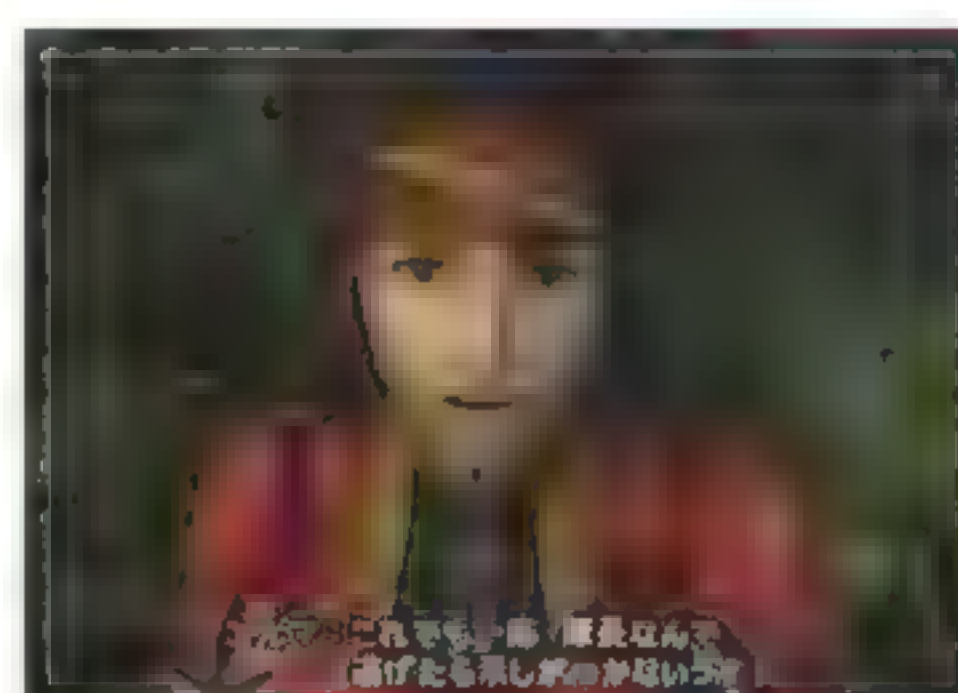
Impressive Words

「かつてのあなたに戻ったようなお言葉ですね」
――ヌージのスフィア：死を願うようなことを言うヌージをいさめて

「我らの力は未来への道を切り開くためにある。たとえば……子供たちが剣を持たずに済む未来をめざして」
――キノコ岩街道：武闘大会後、盟主代行として演説し

ミーハーながらも実力ある戦士
エルマ
Elma

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
年齢	21歳
ボイスアクター	桃森すもも

登場場所 青年同盟本部、キノコ岩街道ほか

ルチルを心から敬愛する、見た目かわいい元チョコボ騎兵隊員。現在は青年同盟の隊長として一小隊をまかされている。クールで知的な盟主ヌージにあこがれ、親衛隊という名のファンクラブのリーダーも兼任しているらしい。

⬅青年同盟のためとあらばユウナにも刃を向けるが、深刻な様子ではなく、どこか楽しそう。

Impressive Words

「ごぶさたでっす！ 雰囲気かわりましたー？」
――キノコ岩街道：ユウナとの2年ぶりの再会を喜び

「隊長～！ あたし、やりました～！」
――キノコ岩街道 武闘大会準決勝でユウナに勝利し、ルチルに喜びを伝え

カラまわりしがちな同盟員
ヤイバル
Yaibal

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	20歳
ボイスアクター	中井和哉

登場場所 ミヘン街道、キノコ岩街道ほか

カモメ団入りする少し前のユウナに青年同盟入りを打診した青年。当時は使い走りだったが、再会時には自分の部隊を率いるほどに出世していた。ユウナの大ファンで、彼女のコンサートをきっかけに、平和な未来を創ることを誓う。

⬅初登場は映像作品『永遠のナギ節』。新エボン党を敵視していたが、のちに考えを改める。

Impressive Words

「初めてお会いした時は、下っぱでしたが……今ではほら、部下もたくさん」
――キノコ岩街道：再会したユウナに、現在の立場を自慢げに説明し

「我が部隊はさっそく雷平原に向かいコンサート会場を警護する。ヤイバル隊出発！」
――通信スフィア（キノコ岩街道）：ユウナのコンサートを聴きに向かい

肉体労働が得意な元ガード
マローダ
Maroda

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	24歳
ボイスアクター	中井和哉

登場場所 青年同盟本部、ベベルほか

ユウナと同時期に旅をしていた召喚士イサールの弟。永遠のナギ節到来後、兄も弟パッセもそれぞれ別の道を歩み出し、彼自身は青年同盟に入った。情報収集役として活動しながらも、お人好しな兄の行くすえを見守っている。

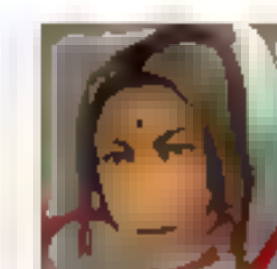
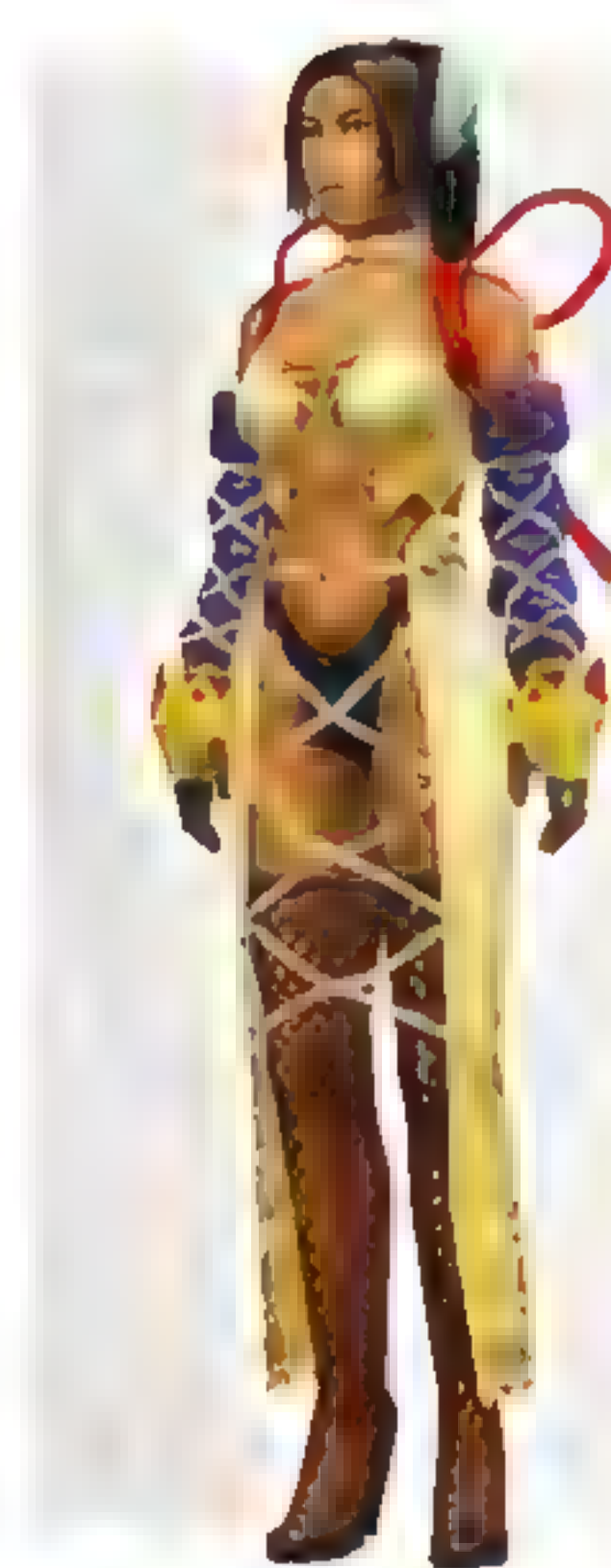
⬅展開によっては、兄に巻きこまれる形で同盟員をやめ、混乱したベベルの警備につくことに。

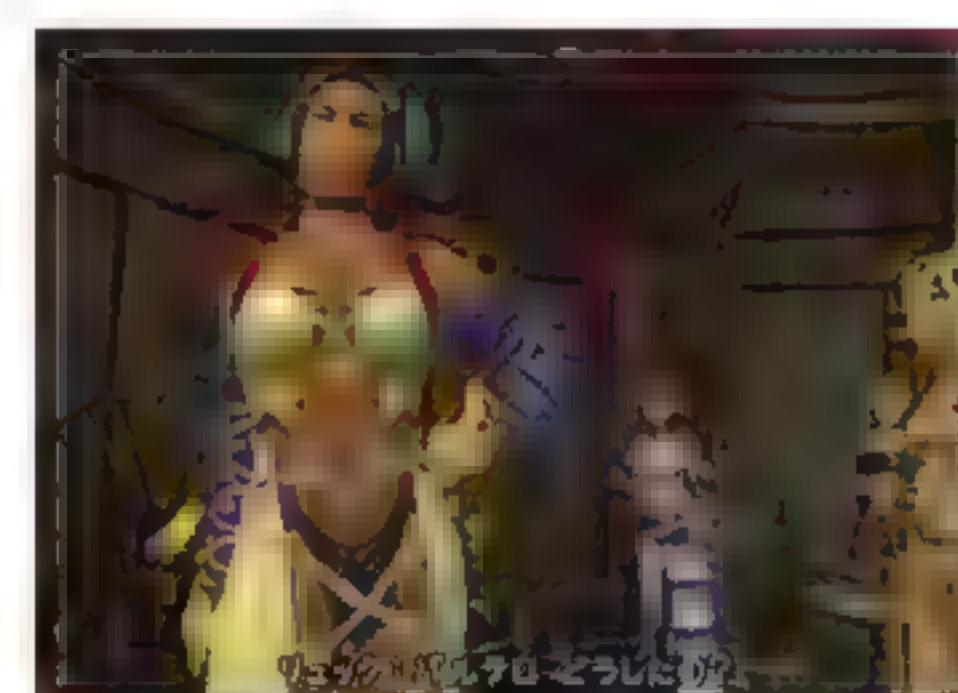
Impressive Words

「おかげさんで、青年同盟に入って、大活躍っつーとこだ」
――キノコ岩街道：ユウナたちと2年ぶりに再会し

「美点っつうのは他人が見て決めるもんだっての。自分でわかるようなもんじゃあねえんだぞ」
――通信スフィア（ガガゼト山）：変わらないのが美点だと自分で言うイサールに

恋人との仲に悩む元召喚士
ドナ
Dona

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
年齢	26歳
ボイスアクター	葛城七穂

登場場所 ポルト＝キーリカ、通信スフィア（キーリカ島）ほか

2年前、召喚士としてユウナと張り合っていた女性。ガードでもあった恋人バルテロと一緒に暮らしはじめるも、思想のちがいが原因で別れてしまった。本音ではヨリをもどしたいが、プライドの高さが災いし、仲直りできずにいる。

⬅青年同盟派ゆえに新エボン党派のバルテロと意見が合わなくて、勢いで家を追い出してしまう。

Impressive Words

「私は青年同盟派。バルテロは新エボン党派。一緒に暮らすのは難しいわ」
――ポルト＝キーリカ：バルテロを追い出す場面をユウナたちに目撃され

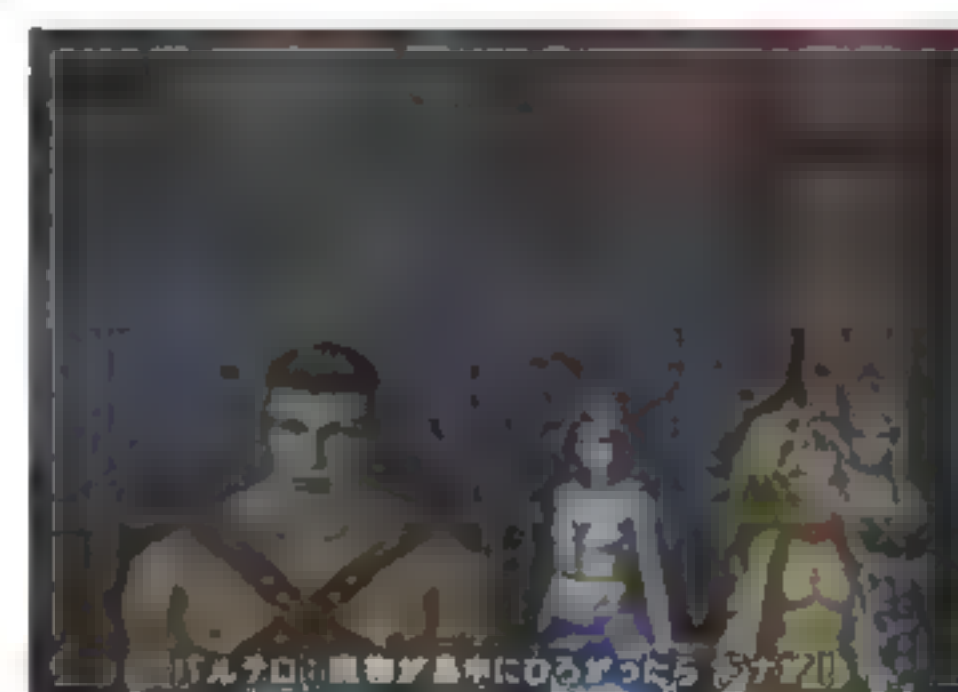
「こんなに恥をかかせたんだから落とし前はつけてもらうわ。そうね、一生かけて償ってもらおうかしら」
――ポルト＝キーリカ：バルテロに遠まわしにプロポーズして

新エボン党

コワモテながら心優しい男
バルテロ
Barthello

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	26歳
ボイスアクター	石丸 純

登場場所 キーリカ寺院、ポルト＝キーリカほか

ドナの恋人であり元ガード。新エボン党に入ったのが原因で、青年同盟入りしたドナの怒りを買い、一緒に住んでいた家を追い出されてしまった。ロベタだがドナを心から愛しており、なんとか彼女のそばにもどりたいと思っている。

⬅キーリカ寺院に魔物があふれたときには、村にいるドナを守りたい一心でただひとり奮戦する。

Impressive Words

「召喚士の時代は終わっても俺は生涯ドナのガード！ドナを守ることが俺の生きる道！」
――キーリカ寺院：ドナへの想いをユウナたちにぶちまけ

「ガード失格なんて言わないでくれ。これからずっと離れないから！」
――ポルト＝キーリカ：ドナのもとに駆けつけて許しを請い

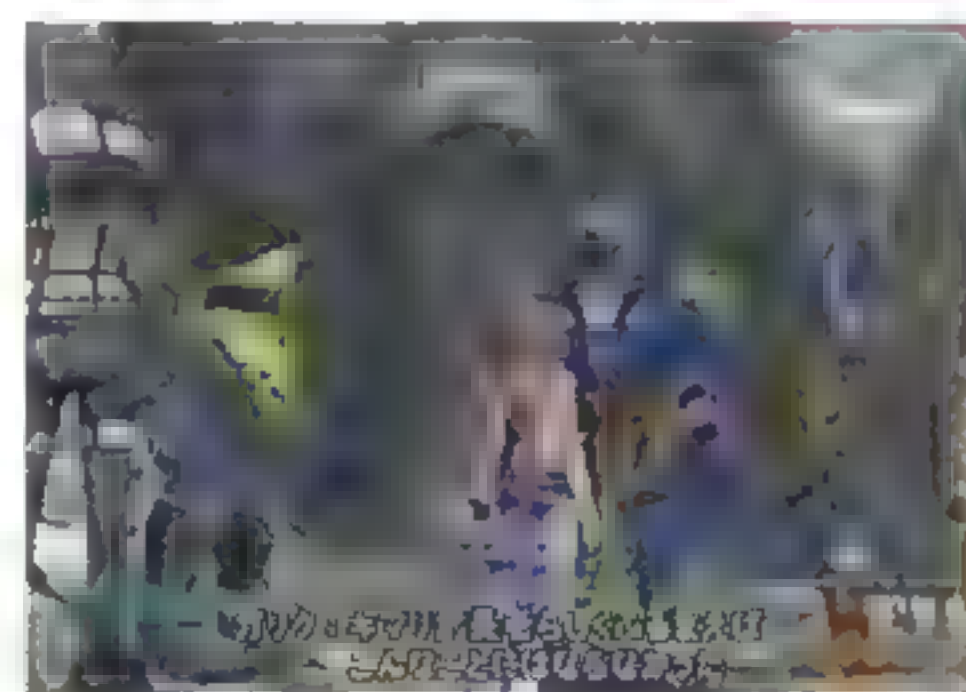
ロンゾ族

ロンゾの未来に悩める新長老
キマリ
キマリ=ロンゾ
Kimahri Ronso

登場場所 ガガゼト山、通信スフィア(ガガゼト山)

Personal Data

種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	27歳
身長	204cm
ボイスアクター	長克巳

ユウナを育て、ガードとしても同行したロンゾ族。『シン』との戦いのあとは、グアドの族長シーモアのせいで激減した一族を、長老としてまとめてきた。グアド族への復讐にはやる若衆を抑えるために、日夜心を砕いている。

←平和的解決を望む姿勢を軟弱と非難されることも多いが、それでも信念をつらぬこうとする。

Impressive Words

「長老は難しい。キマリは悩んでいる」
——ガガゼト山：2年ぶりに再会したユウナに悩みを打ち明けて

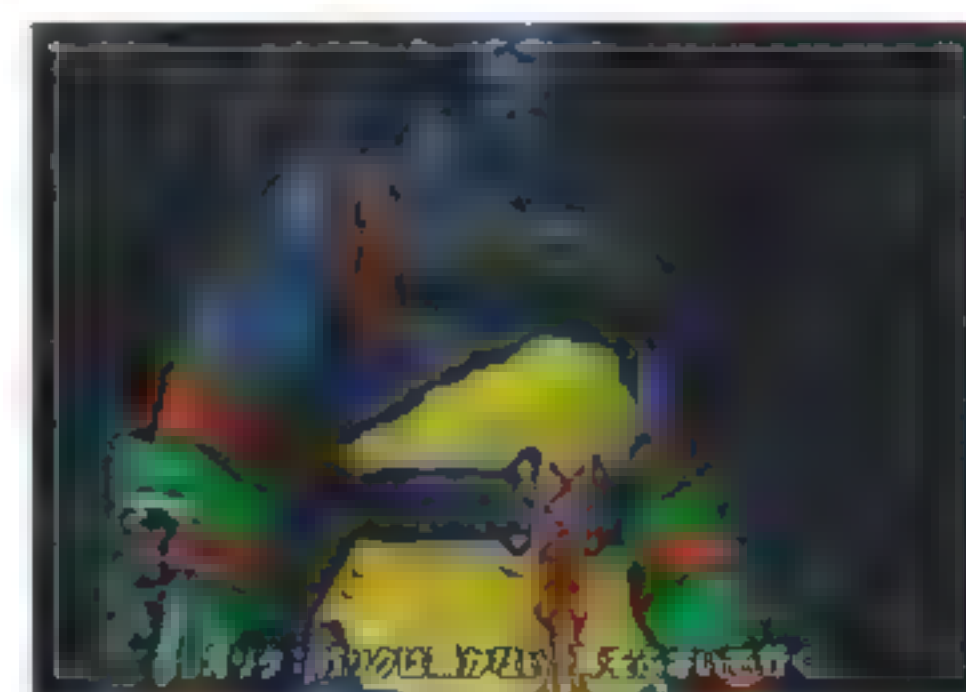
「なくしたものを振り返るより進むべき道を見ていたい。ロンゾの未来だ」
——ガガゼト山　自分の像にツノをつけることを断り

グアド族への復讐をもくろむ若き戦士
ガリク
ガリク=ロンゾ
Garik Ronso

登場場所 ガガゼト山、通信スフィア(ガガゼト山)

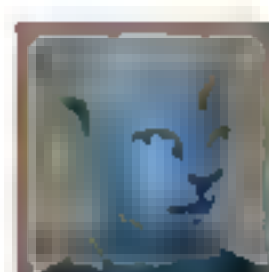
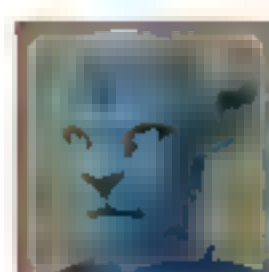
Personal Data

種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	23歳
ボイスアクター	鉄野正豊

血の気が多く好戦的なロンゾ族の青年。2年前に多くの同胞を死に追いやったグアド族を憎み、若衆を集めてグアド族の襲撃を計画している。争いごとを避けたがるキマリを長老らしからぬ臆病者と考え、意見の衝突が絶えない。

←ロンゾの軍勢を率いてガガゼト山を降りていくガリク。ユウナの説得が彼の心を揺り動かす？

Impressive Words

「ユウナはスピラを救った。だがロンゾはまだ救われない」
——ガガゼト山：初対面のユウナに、現状への不満をぶつけて

「ロンゾが立ち上がらなかったら誰がグアドを裁くのだ!」
——ガガゼト山：ユウナに出陣を止められて

キマリを慕う双子の兄弟
リアン & エイド
リアン　Ian Ronso
エイド　Ayde Ronso

登場場所 ナギ平原、雷平原ほか

尊敬する長老キマリの折れたツノを治す方法を求めて、ガガゼト山を飛び出した少年たち。兄リアンがしっかり者なのに対し、弟エイドは兄の陰に隠れてばかりいたが、旅を通じて自分の意志を表現できるようになっていく。

リアン　Personal Data

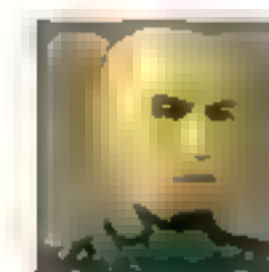
種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	11歳
ボイスアクター	神奈延年

エイド　Personal Data

種族	ロンゾ族
性別	男
年齢	11歳
ボイスアクター	鈴村健一

Impressive Words

リアン「リアンとエイドは、たくさん聞きました。ユウナ様とキマリ長老の旅の物語」
——ナギ平原：初対面のユウナに話しかけて

エイド「ふたりで決めました。これからもどんどん旅に出て多くの人々に出会うと」
——ガガゼト山：旅を経て抱いた決意をキマリに語り

アルベド族

親子ゲンカが絶えない熱血無鉄砲オヤジ
シド
Cid

登場場所 ザナルカンド遺跡、雷平原ほか

Personal Data

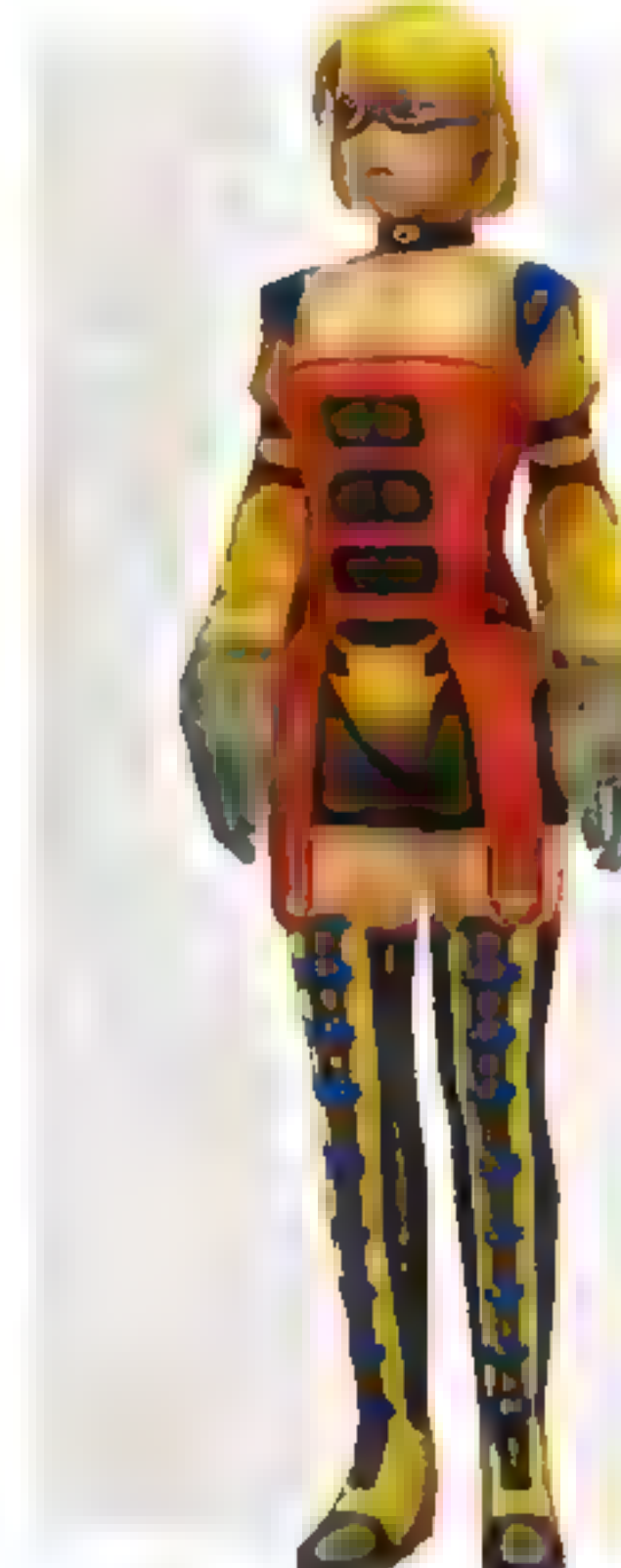
種族	アルベド族
性別	男
年齢	39歳
身長	192cm
ボイスアクター	坂口候一

アルベド族の族長。ザナルカンド遺跡を観光地化して金をかせぎ、2年前に失ったホームの再建を目指している。もっとも、一族はみな各自の道を歩みはじめており、賛同者があまり見つからないのが不満な様子。現在アニキとケンカ中。

←物語終盤には雷平原の洞窟にもぐりこみ、魔物に襲われたところをユウナに助けられる。

Impressive Words

「こいつらのせいで、商売あがったりよ。これじゃあホームの再建もいつになるやら……」
——雷平原：観光客にイタズラして商売を邪魔するサルにうんざりし

「へっ、俺は時代遅れってわけか。やってらんねえな」
——飛空艇：リュックやユウナに考えかたが古すぎだと言われて

発掘現場を仕切る姉御
ナーダラ
Nhadala

登場場所 ビーカネル砂漠、通信スフィア(ビーカネル砂漠)ほか

Personal Data

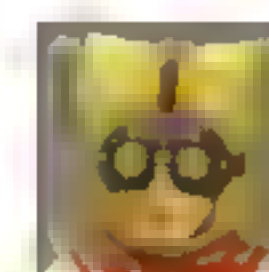
種族	アルベド族
性別	女
年齢	34歳
ボイスアクター	大原さやか

ビーカネル砂漠に張られた発掘キャンプの中心人物。使えそうな機械パーツを発掘しては、ジョゼ寺院にいるマキナ派に届けている。人を勢いに乗せるのがうまく、依頼と称してカモメ団を便利に使うことも多い。シドとは旧知の仲。

←ギップルの紹介状を見て、ユウナが職に困っているとカンちがいし、発掘要員として採用する。

Impressive Words

「そうかいそうかい、退治してくれるかい!それじゃよろしく頼むよ!」
——通信スフィア(ビーカネル砂漠)：アンラ・マンユ退治をカモメ団に押しつけ

「でも、こんなの大したことないさ。ホームがぶっとんだ時に比べればね」
——ビーカネル砂漠：壊滅状態となったキャンプを見やり

サボテンと人間の橋渡し役
ベンゾ
Benzo

登場場所 ビーカネル砂漠、通信スフィア(ビーカネル砂漠)

Personal Data

種族	アルベド族
性別	男
年齢	12歳
ボイスアクター	夏樹リオ

サボテン語が理解できる唯一の人物。サボテンダー自治区のリーダーであるサボテンのマルネラの代弁者として、砂漠の危機を救ってくれとカモメ団に頼む。自分の内面をあまり見せないが、砂漠の外に出たいという夢を抱いている。

←まだ子どもだが、とても礼儀正しい。通訳のさいは「だそうです」を最後にかならずつける。

Impressive Words

「「ベンゾはいつも言っています　シンラのようになりたいと」だそうです。恥ずかしいなあ、もう!」
——通信スフィア(ビーカネル砂漠)：マルネラの通訳をした結果、自分の気持ちがシンラにバレて

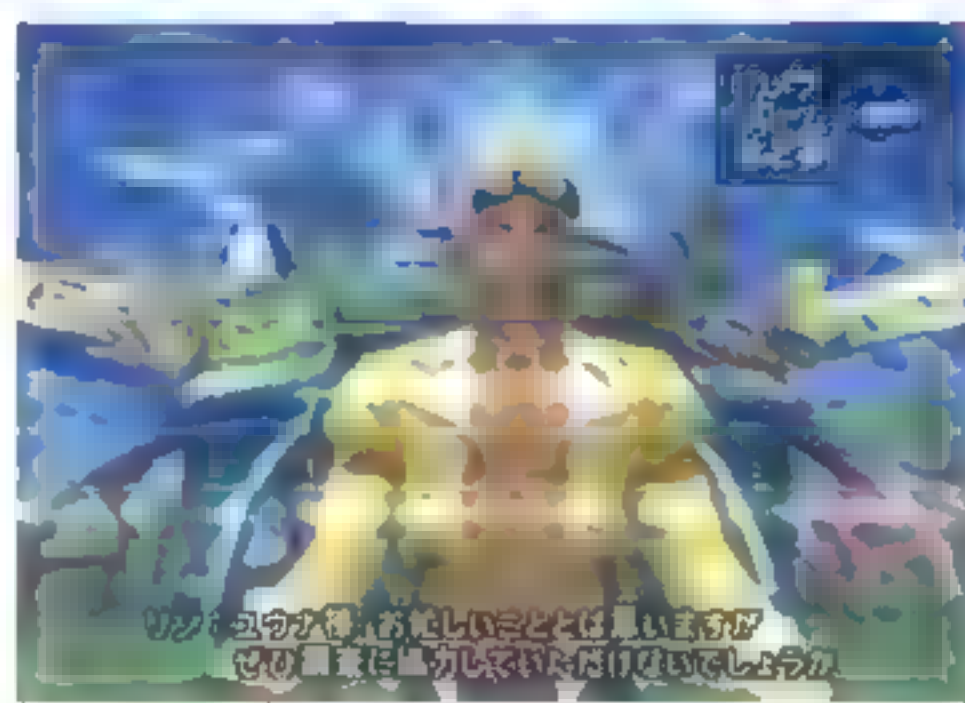
商人

野望はマキナ全盛時代の創世

リン Rin

Personal Data	
種族	アルベド族
性別	男
年齢	37歳
ボイスアクター	咲野俊介

登場場所 ルカ、ミヘン街道ほか

スピラの一大チェーン店「旅行公司」のオーナー。エボン寺院を気にする必要がなくなったため、マキナを使う商売を大々的にはじめた。また、新たな娯楽「スフィアブレイク」の大会を開いたりと、世界中に存在感を広めつつある。

←本拠地ミヘン街道に頻発する、マキナをめぐる怪事件の調査をユウナに依頼するが……？

Impressive Words

「自分のホームが欲しくなりまして。今はそのための商売です」
——通信スフィア(ガガゼト山)：自分の夢についてシドに語り

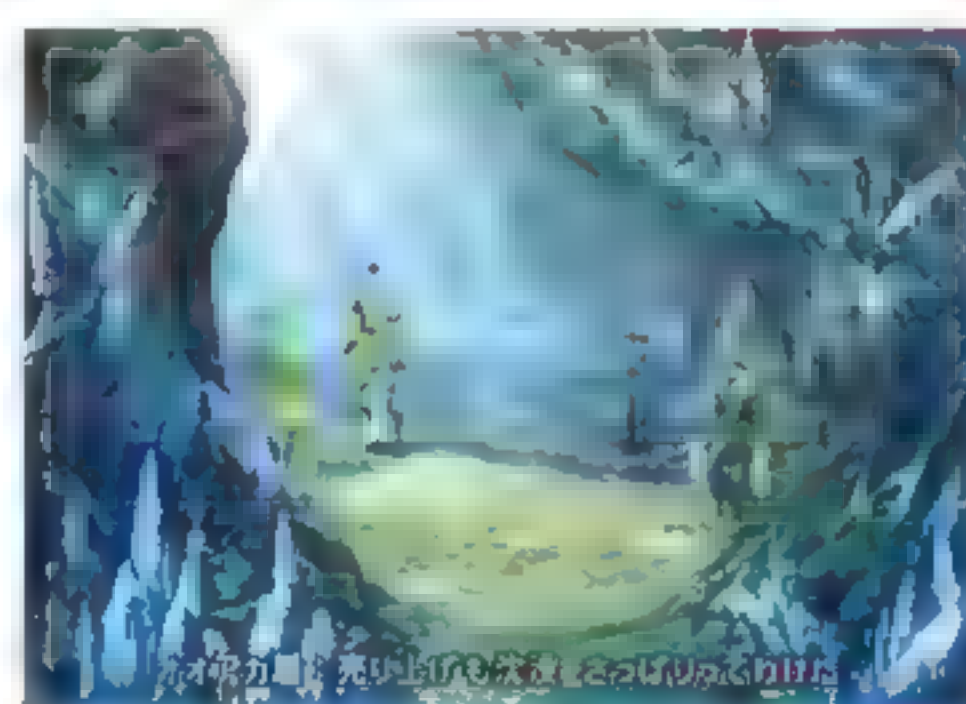
「スピラに眠る巨大な力を取り出し、機械の動力とする研究を進めております」
——ミヘン街道：事件の真相がバレて野望を語り

借金取りに追われる商人

23代目オオアカ屋 O'aka XXIII

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	32歳
ボイスアクター	宇垣秀成

登場場所 マカラーニャの森、ビーカネル砂漠ほか

2年前にユウナたちを支援した、自称由緒正しき商人。旅行公司すべてをオオアカ屋支店にする夢を持つ。『シン』が倒されてすぐに商売を再開し、マカラーニャ湖畔の旅行公司を買い取ったものの、利益が出せず借金取りから逃亡中。

←寺院が湖に沈没したせいで参拝客が店に立ち寄らなくなり、10万ギルもの借金を負ってしまった。

Impressive Words

「ここで会ったがオオアカ屋！　見逃してくれっ！」
——マカラーニャ湖畔：借金取りに追われながらユウナたちに懇願し

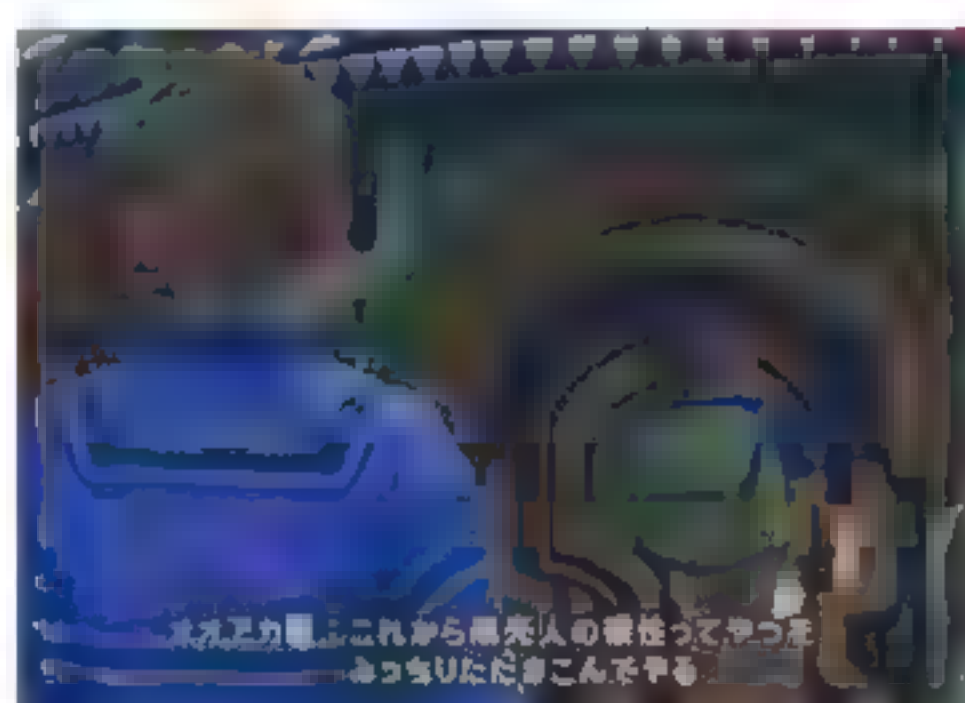
「オオアカ屋〜♪　よろしくね〜♪」
——通信スフィア(ガガゼト山)：温泉につかりながら客引き用の歌をひねり

兄に振りまわされる青年

ワンツ Wantz

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	24歳
ボイスアクター	山口隆行

登場場所 マカラーニャの森、通信スフィア(マカラーニャの森)ほか

23代目オオアカ屋の弟。2年前、兄が投獄されたのを受けて24代目の屋号を継いだが、すぐに兄が現場に復帰したため立場を失い、1年前に家出した。家にもどりたいとは思っているものの、いまさら引っこみがつかずにいる。

←展開によっては兄の待つ家にもどり、商売人のなんたるかを、改めて兄から教わることになる。

Impressive Words

「1年も家出してると、いまさら帰りづらいんだよなあ。兄さん、まだ怒ってるかな……」
——通信スフィア(マカラーニャの森)：家の前でウロウロし

「だって兄さん、突然復帰するんだもの。僕、立場なくなって、それで……」
——マカラーニャの森：兄に家出の言い訳をして

各地の人々

レポーターに転身した元僧官

シェリンダ Shelinda

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
年齢	21歳
ボイスアクター	長沢美樹

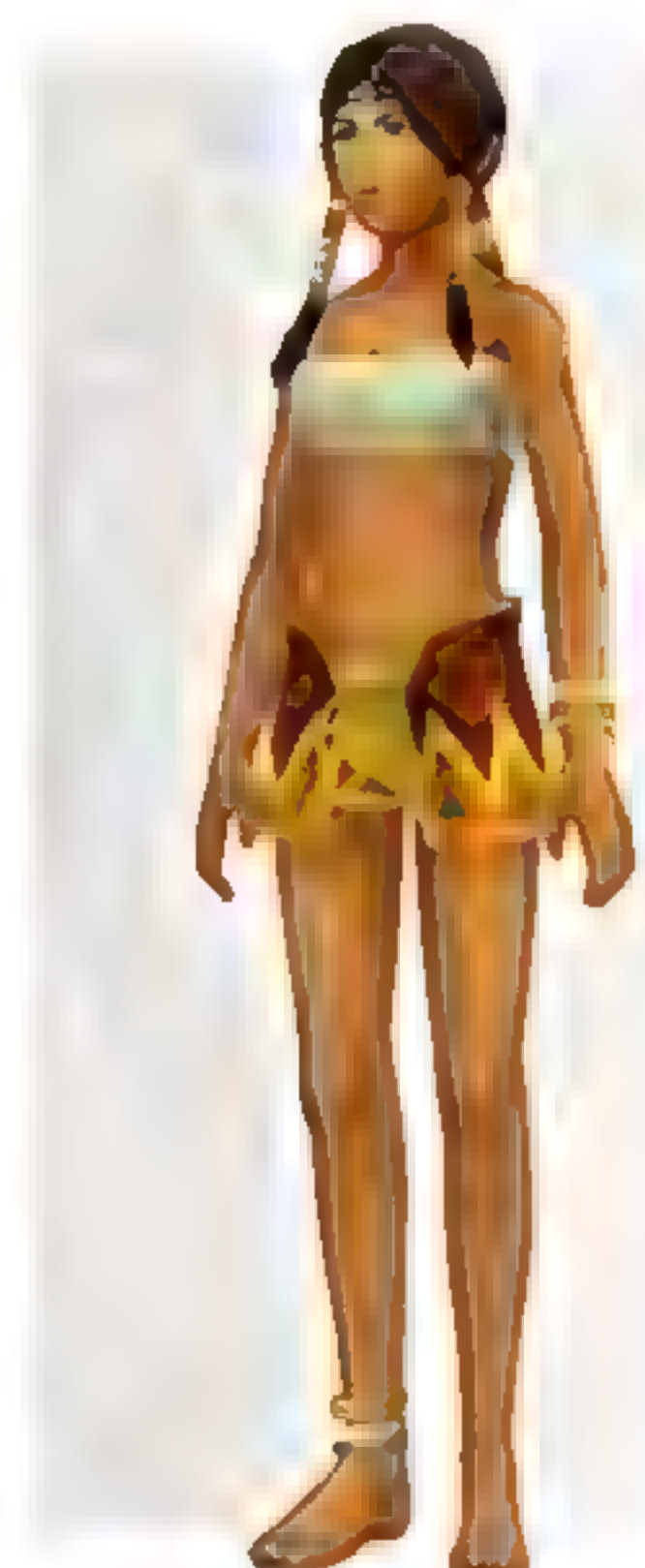
登場場所 ルカ、通信スフィア(ルカ)

ルカの新米レポーター。『シン』が倒される少し前に、念願だったベベル寺院づとめの僧官となったものの、一方的に他人に頼られることに疲れて寺院を飛び出した。レポーターも頼まれ仕事ではあるが、現在の境遇を楽しんでいる。

←偶然居合わせたユウナにインタビュー。マジメすぎた昔にくらべて機転も利くようになった？

Impressive Words

「ここで本日の特別ゲスト！大召喚士ユウナ様で〜す！」
——ルカ：そばにいたユウナに突撃インタビュー

「寺院を建て直そうってがんばってたんですけど……なんでも他人に頼って押しつける人ばかりで疲れちゃって」
——ルカ：寺院を出たいきさつを語り

チョコボをこよなく愛する少女

ヒクリ Calli

Personal Data	
種族	ヒト
性別	女
年齢	13歳
ボイスアクター	夏樹リオ

登場場所 ミヘン街道、通信スフィア(ミヘン街道)

2年前、究極召喚を求める旅をしていたユウナに、ミヘン街道で無邪気に声をかけた少女。「チョコボに乗って旅をする」という幼いころからの夢をかなえるべく、ミヘン街道にわずかに残るチョコボをつかまえようと奮闘する。

←以前からは見ちがえるほどに成長したヒクリ。チョコボに乗るためユウナたちの力を借りる。

Impressive Words

「私のこと、おわかりになりませんか？」
——ミヘン街道：2年ぶりに再会したユウナに声をかけて

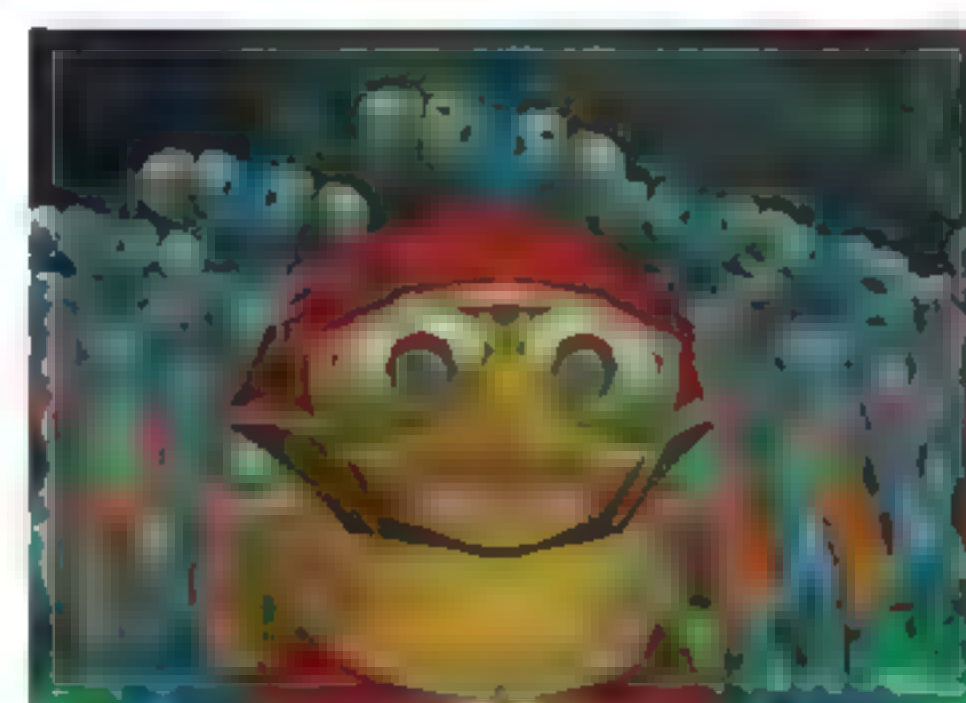
「チョコボだー！」
——ミヘン街道：チョコボを見つけて喜び

スピラを盛り上げようとするイベントプロモーター

トーブリ Tobli

Personal Data	
種族	ペルペル族
性別	男
年齢	31歳
ボイスアクター	石川英郎

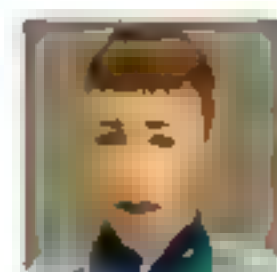
登場場所 幻光河、飛空艇ほか

「ういうい！」をログセとする企画屋。ペルペル族のなかでも、とくに早口でせわしない。楽しいイベントで人々の心をつなぐという夢を持ち、幻光河でライブを企画。雷平原でのユウナのコンサートにも協力する。借金取りが最大の敵。

←大勢のハイペロ族を部下に抱え、人海戦術でイベントを宣伝。事務所はグアドサラムにある。

Impressive Words

「ういうい、お任せください。用意しますよ、宣伝チーム！」
——幻光河：ユウナのコンサートに協力すると約束して

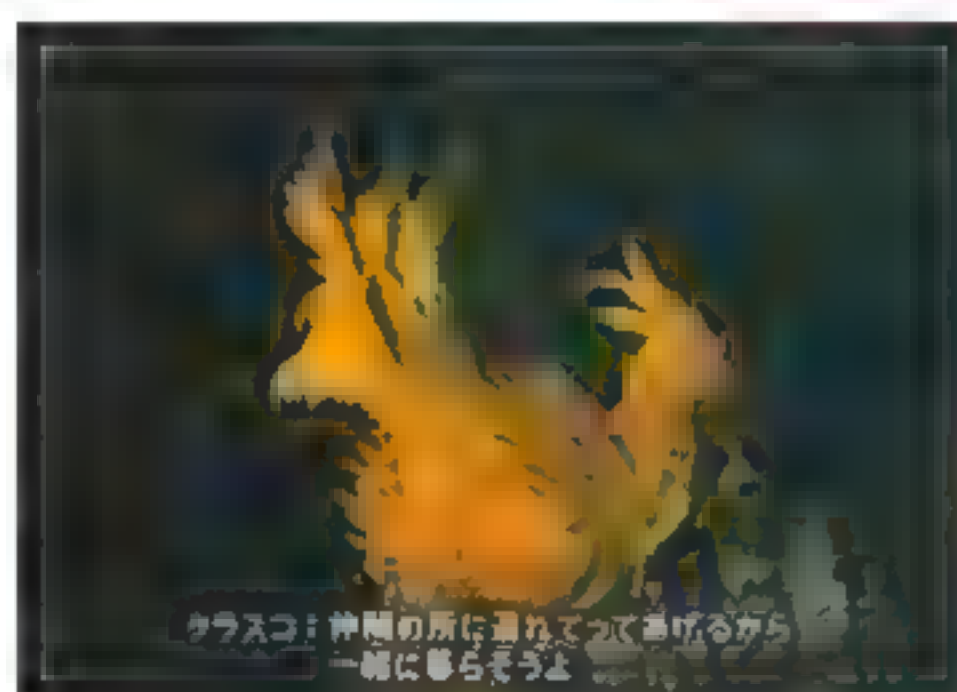
「夢だったんですよ、私。みんなの心をつなぐ役に立つことが」
——幻光河：2回目の幻光河ライブを大成功させて満足し

各地の人々

自分の居場所を求める青年

クラスコ Clasko

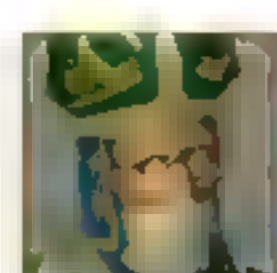
・登場場所・ キノコ岩街道、ナギ平原ほか

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	21歳
ボイスアクター	山口隆行

気弱でうだつがあがらないものの、チョコボと会話できるという特技を持つ若者。元チョコボ騎兵隊員で、周囲の討伐隊員に流されるようにして青年同盟入りしたはいいが、相変わらず自分が本当にしたいことを探しつづけている。

⬅展開しだいではナギ平原の訓練場跡地にチョコ牧場を開設。チョコボに囲まれて幸せに暮らす。

Impressive Words

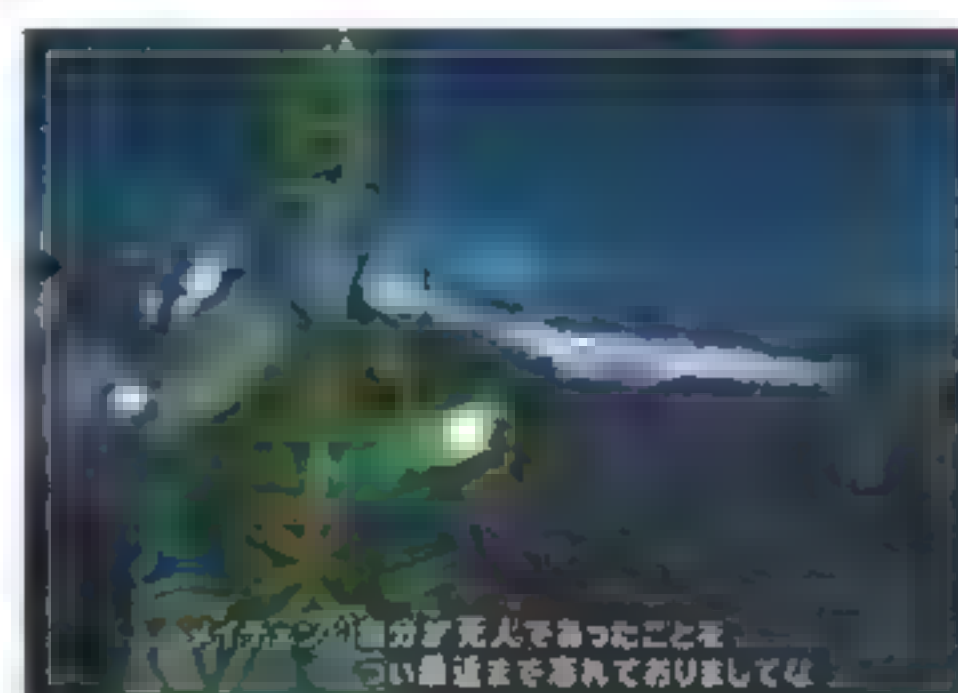
「僕、自分の居場所を探したいんです。
飛空艇に乗せてください!」
――キノコ岩街道：一念発起してユウナに頼み

「ここだ……ここなら、
僕の進むべき道を見つけられる気がする」
――ナギ平原：乗せてもらっていたカモメ団の飛空艇から降り立ち

1000年前のことにもくわしい老人

メイチェン Maechen

・登場場所・ 青年同盟本部、ルブランのアジトほか

Personal Data	
種族	ヒト(死人)
性別	男
年齢	?
ボイスアクター	鈴木琢磨

物知りで語りたがりの老人。2年前と同じく各地に現れ、世界情勢や機械戦争時代の話、はてはヴェグナガンの秘密まで、多くのことを教えてくれる。じつは1000年前のザナルカンド人で、死人としてこの世にとどまっていた。

⬅ユウナとの握手がきっかけでレンと握手した過去の記憶がよみがえり、己の正体を思い出す。

Impressive Words

「2年ぶりにお会いできたことを記念して……
語ってもよいですかな?」
――青年同盟本部：2年ぶりにユウナと再会して

「人はつながっとるのです。いなくなった人とも、
また会えるかもしれませんぞ」
――ルブランのアジト：ティーダについて語ったのちユウナに

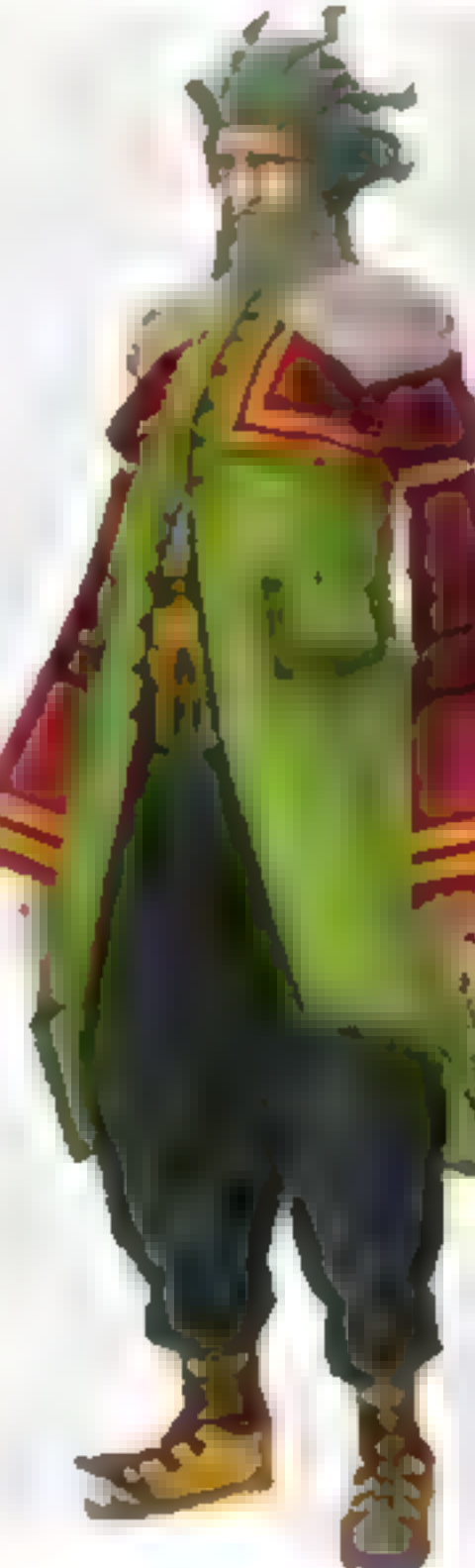
希望を見失ったグアド族

トワメル トワメル=グアド Tromell Guado

・登場場所・ マカラーニャの森、グアドサラム

Personal Data	
種族	グアド族
性別	男
年齢	56歳
ボイスアクター	石野竜三

グアドの族長に代々仕えてきた老人。ジスカル、シーモアと主人を立てつづけに失い、マカラーニャの森でロンゾの復讐におびえつつ暮らしていた。森で暮らす楽器亜人種たちの演奏に心を打たれ、生きる目的を見いだしていく。

⬅展開しだいでは新たな族長となり、残された自身の命をグアド族のために捧げる決意をする。

Impressive Words

「シーモア様亡き後、
グアド族は死人も同然にございます」
――マカラーニャの森：自分たちグアド族の現状をユウナに語り

「妙なる調べとはこのことですな。
我らグアドはあの音色に救われたようなものです」
――グアドサラム：ベライたちの演奏に耳を傾けながら

観光ガイドとなった元召喚士

イサール Isaaru

・登場場所・ ザナルカンド遺跡、ベベルほか

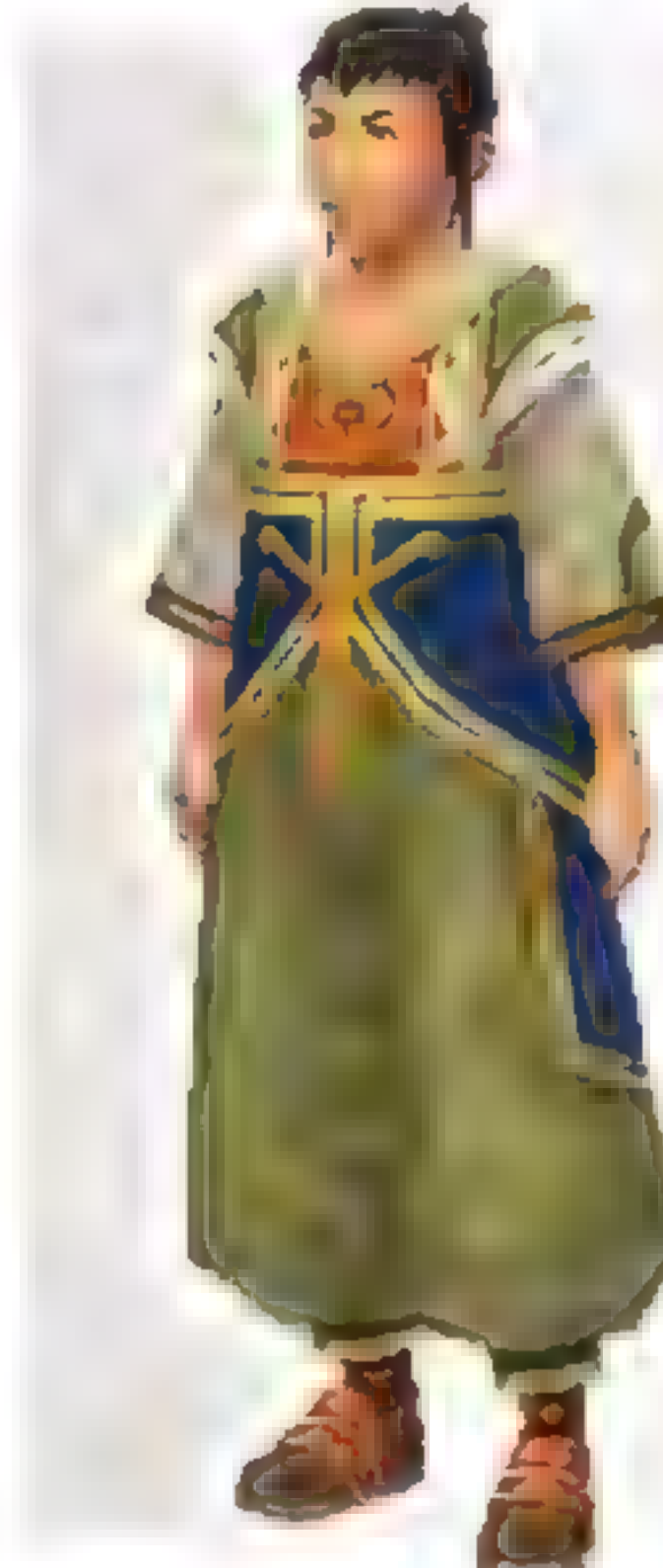
Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	28歳
ボイスアクター	陶山章央

2年前、召喚士の旅をしていた青年。かつて聖地として目指したザナルカンド遺跡で、いまは観光ガイドを務める。吹っ切れたように明るいが、困った者を放っておけない点は変わらず、展開によっては人助けのためベベルへ向かう。

⬅ガイドとして働く姿は2年前のイサール像をくつがえすものだが、根本的には変わっていない。

Impressive Words

「ザナルカンド遺跡は、
いつでも君たちを待ってるよ!」
――ザナルカンド遺跡：観光ガイドとしてユウナたちを見送り

「変わらないことが僕の美点。
そう受け取ってくれないか」
――通信スフィア(ガガゼト山)：温泉につかりながらマローダに

無邪気なスフィアハンター

パッセ Pacce

・登場場所・ ザナルカンド遺跡、ベベルほか

Personal Data	
種族	ヒト
性別	男
年齢	12歳
ボイスアクター	くまいもとこ

イサールの末の弟。2年前は、自分がしていることの意味も知らずに兄のガードを務めていた。現在はタロ、ハナという子どもだけのメンバーでスフィアハンター・こども団を結成。リーダーとして、危険な場所にも張り切って向かう。

⬅寺院の最高機密が眠るアンダーベベルにまで宝探しに潜入するなど、幼いながらも行動力は抜群。

Impressive Words

「タロ、ハナ、準備いい?」
――ザナルカンド遺跡：お宝探しのため遺跡の奥へ向かい

「子供、子供ってうるさい!」「こども団! しゃきーん!」
――通信スフィア(ベベル)：自分たちを追い出そうとする新エボン党員をやっつけて

捨てることこそ最強の道との境地を得た者

トレマ Trema

・登場場所・ 聖ベベル廟

Personal Data	
種族	ヒト(死人)
性別	男
ボイスアクター	陶山章央

新エボン党の創設者。スピラの真実を探ろうと人々に呼びかけ、過去のスフィアを集めさせておいてそれを独占し、1年前に失踪した。じつは死人で、『シン』に対抗する力を討伐隊に身につけさせようと、2年前までナギ平原にモンスター訓練場を設置。やがて「強くなるには過去を捨てるべし」との結論に至り、集めたスフィアを壊して聖ベベル廟にひそんでいたところ、同地を訪れたユウナたちと対立する。

Impressive Words

「人は過去に縛られずにはいられない。ゆえに未来に目を向けるためには過去を封印せねばなるまい」
「ふりむく心は弱くなる。いっさいの過去を――そう、すべてを捨てし者だけに、「すべてを超えし者」となる資格がある」
――聖ベベル廟：ユウナたちを前に自説を展開し

「おまえがおまえであることに、
いかなる意味もありはしない……」
――聖ベベル廟：過去を捨てる自分は自分じゃないと言うユウナをあざ笑い

そのほかのおもなサブキャラクター

異界の者たち

アーロン
登場場所 異界(声のみ)、ギップルスフィア　ボイスアクター 石川英郎
Words *「いいや、悪あがきだ。ユウナ……終わらせてやれ」*
死したのちもスピラにとどまり、ユウナのガードを務めた剣士。最終決戦に挑むユウナに、姿を見せずに助言する。

ジェクト
登場場所 異界(声のみ)　ボイスアクター 天田益男
Words *「ヤツがぶっ放したらおしまいだ！　時間制限あり、延長なしの一本勝負だ！」*
12年前に夢のザナルカンドからスピラに現れ、アーロンやブラスカと旅した男。かつての仲間とともにユウナを励ます。

ブラスカ
登場場所 異界(声のみ)　ボイスアクター 鈴木琢磨
Words *「ユウナには仲間がいるじゃないか」*
12年前に大召喚士となったユウナの父。声のみの存在として、ヴェグナガンと戦う娘に優しくアドバイスを送る。

シーモア(シーモア=グアド)
登場場所 バラライのスフィア　ボイスアクター 諏訪部順一
Words *「結構——おまえの身柄は私が預かる。いずれ寺院に戻れるように、アカギ隊員としての記録も消そう」*
スピラを滅ぼそうとしてユウナたちに倒されたエボンの老師。2年前、寺院から追われるバラライをかくまっていた。

キノック(ウェン=キノック)
登場場所 アカギスフィア4　ボイスアクター 宇垣秀成
Words *「アカギ隊員選抜、最終演習——始め！」*
シーモアと権力争いをして殺害された老師。2年前、ヌージたちアカギ隊の候補生らを封印の洞窟に送りこんでいた。

チャップ
登場場所 戦友のスフィア　ボイスアクター 飛田展男
Words *「『親代わり』なんて言うのやめて、もうちょっと肩の力抜けよ。兄ちゃんは兄ちゃんでいいんだ」*
3年前に世を去ったワッカの弟。スフィアを通じて、ワッカに自然体でいるよう呼びかけ、前進のきっかけを与える。

祈り子の少年
登場場所 異界　ボイスアクター 夏樹リオ
Words *「せめて誰かに伝えようとしたけど影にひきずりこまれて——魔物と一緒になっちゃった」*
バハムートの祈り子。『シン』消滅と同時に眠りについたはずだったが、シューインの影響を受けて暴走してしまう。

各地の人々

タロ
登場場所 ザナルカンド遺跡、ベベルほか　ボイスアクター 豊口めぐみ
Words *「えーと……ヒントは？」*
こども団のメンバー。パッセやハナよりも行動がワンテンポ遅く、ポーズを決めるタイミングもズレがち。

ハナ
登場場所 ザナルカンド遺跡、ベベルほか　ボイスアクター 渡辺明乃
Words *「もう！　『る』でしょ！」*
こども団に所属する女の子。いつも張り切っており、頼りないタロの尻をたたくようにしてお宝ハントにおもむく。

ダーリン
登場場所 飛空艇　ボイスアクター 豊口めぐみ
Words *「運命のめぐりあい～？」*
物語後半にマスターが見つけるハイペロ族の恋人。愛に飢えたアニキに、マスターとのアツアツ具合を見せつける。

イナミ
登場場所 ビサイド村
Words ——
物語終盤に誕生する、ワッカとルールーの息子。名の意味はアルベド語で「未来」。展開によっては名前がつかない。

チョコボ運動家
登場場所 ミヘン街道　ボイスアクター 諏訪部順一
Words *「ああそうさ、俺だよ！　ホバーを壊したのも、機械を暴走させたのもな！」*
ミヘン街道にチョコボを呼びもどそうとしている青年。展開によっては、運動に熱を入れるあまり犯罪に手を染める。

銀色公司のリーダー
登場場所 ナギ平原
Words *「だったらせめて……ムスコのヨメ探しに協力してくれんか？」*
ナギ平原でアトラクション施設を開いている公司のひとつ「銀色公司」の経営者。奥手な息子のためにヨメを探す。

楽器亜人種

ポルン
登場場所 ポルト=キーリカ、飛空艇、幻光河
Words *「空飛ぶ船とは便利なものだ。なんたる速さで飛ぶのだろうか」*
ポルト=キーリカで飛空艇に拾われる3人組のひとり。ハープ亜人種。カモメ団の景気づけ用の甲板ライブで演奏する。

ダラヤ
登場場所 ポルト=キーリカ、飛空艇、幻光河
Words *「オラはフナヨイでダメだなや。かわりにドンガがタイコをたたくだ」*
3人組のひとりでタイコ亜人種。物語序盤にトーブリ主催で仲間とライブをする予定だったが、飛空艇に酔って断念。

プカラ
登場場所 ポルト=キーリカ、飛空艇、幻光河
Words *「アニキさん、いい人だヨ。おそうじ道具をもらったサ」*
飛空艇に拾われる3人組のひとり。のんきなラッパ亜人種で、アニキに掃除を押しつけられてもそうと気づかず喜ぶ。

ベライ
登場場所 マカラーニャの森、グアドサラムほか　ボイスアクター 古島清孝
Words *「スピラを守った祈り子様も滅びの力に敗れ去る。この森もまた滅ぶだろう。そして我らも、また同じ……」*
ドンガやプクタクとともにマカラーニャの森に住むハープ亜人種。森の滅亡を予言し、自分たちも消えようとするが？

ドンガ
登場場所 マカラーニャの森、グアドサラムほか　ボイスアクター 飛田展男
Words *「オラたちネムネムしていたら、ふしぎなユメをみたっぺよ」*
ベライとプクタクの仲間。タイコ亜人種で、展開によってはポルンたちのかわりに、物語序盤の幻光河ライブに出演。

プクタク
登場場所 マカラーニャの森、グアドサラムほか　ボイスアクター 安原聡美
Words *「祈り子様が言ってたんだヨ。大地をゆるがす、大きな力にひきこまれちゃったってサ」*
ベライやドンガと一緒にいるラッパ亜人種。森とともに滅ぶつもりだったが、展開によってはグアドサラムに移住する。

サボテンたち

マルネラ
登場場所 ビーカネル砂漠、通信スフィア(ビーカネル砂漠)
Words *「我々、自治区のサボテンはもともとサボテンダーなのです」(ベンゾの通訳)*
サボテンたちのリーダー。魔物から砂漠を守るべくカモメ団に援助を求める。名の意味はサボテン語で「おばあちゃん」。

ロビビア
登場場所 ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。修行のためオアシスから旅立つと言い残すも、実際はその場で道草を食っていた。

トーメ
登場場所 ビサイド島、ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。オアシスよりもたくさんの水を見ようと考え、南の島ビサイドへ旅に出ていた。

ロベイラ
登場場所 ルブランのアジト、ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。せまい場所が大好きで、最高の寝心地を求めてルブランの宝箱に入り、閉じこめられる。

アレク&アロヤ
登場場所 ナギ平原、ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーの仲良し兄弟。肉体労働は兄アレクが担当。ナギ平原でチョコボと出会い、ふたりで背に乗って遊ぶ。

イスラヤ
登場場所 雷平原、ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。哲学者気質で賢者と呼ばれる。先祖「サボテンダー？」の足跡をたどり、雷平原へ向かった。

チャパ
登場場所 キーリカの森、ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。クァールのふさふさのヒゲを気に入り彼とトモダチになる。以前より少し背が伸びた？

エリオ
登場場所 ガガゼト山、ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。ガガゼト温泉で"大きなお兄さん"鉄巨人と仲良くなり、その案内で雪を見る。

バーチェラ
登場場所 ポルト=キーリカ、ビーカネル砂漠、通信スフィア(キーリカ島)
Words ——
門番サボテンダーのひとり。お金が大好きな女の子で、金持ちを探すうち、ドナがへそくりを貯めこんでいるのを発見。

フライレ
登場場所 ビーカネル砂漠
Words ——
門番サボテンダーのひとり。悪いサボテンダーにそそのかされ、サボテンダーの穴に閉じこもってしまう。

ULTIMANIA CHECK

『FF』シリーズを彩るフィギュア

『FF』のキャラクターに関するグッズのなかで、とくにバリエーションが豊富なのがフィギュアだ。2006年～2008年に発売されたものを中心に、代表的なフィギュアを振り返ってみよう。

FFIII(DS版)

■トレーディングアーツmini ファイナルファンタジーIII SQEX

347円(税込)

DS版の主人公たちを立体化。全7種類で、レフィアはジョブの異なる4つのバージョンがある(ほかの主人公はひとり1ジョブ)。

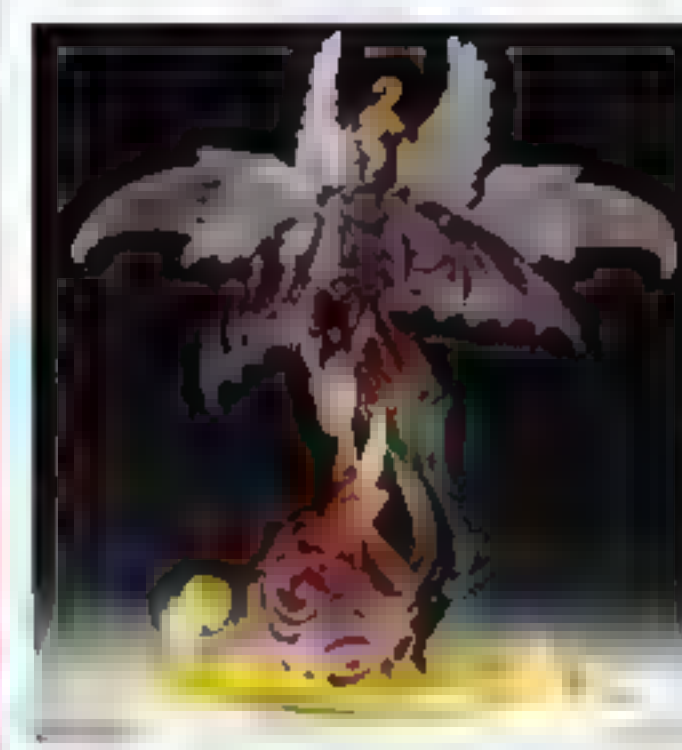
FFIV(DS版)

■トレーディングアーツmini ファイナルファンタジーIV SQEX

347円(税込)

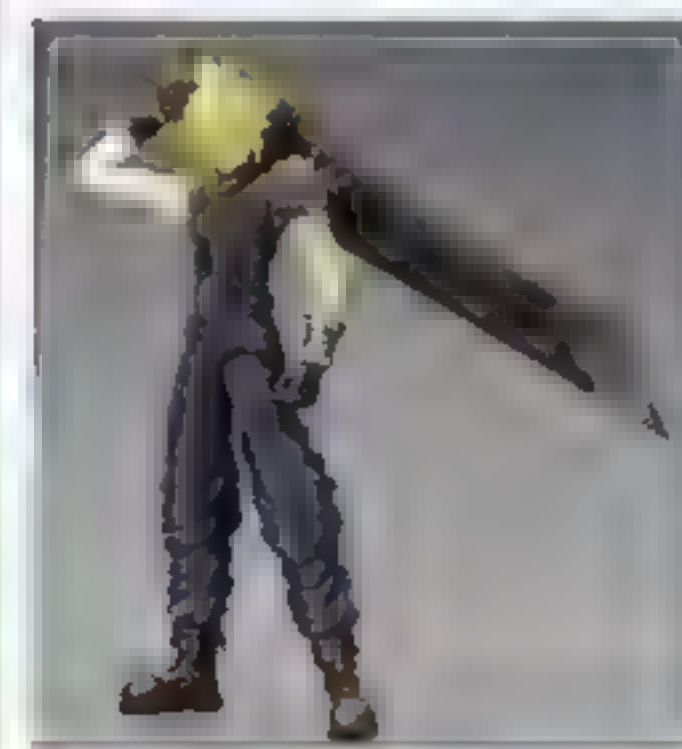
DS版『FFIV』を題材としたトレーディングフィギュア。セシル、カイン、ローザ、リディア、シド、エッジの全6種類。

FFVI

■ケフカ SQEX

2,415円(税込)

最終決戦におけるケフカの姿を再現したスタチュー。魔法の詠唱をイメージさせるエフェクトがほどこされている。

FFVII

■クラウド プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

『FFVII』の主人公・クラウドの関節可動型フィギュア。愛剣であるバスターソードも同梱されている。

FFVII

■ティファ プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

ティファをモチーフにしたアクションフィギュア。両手のパーツは、素手のものとグローブ装着中のものがある。

■エアリス プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

首や手足を動かせる、エアリスのフィギュア。初期装備のガードロッドがセットで、多彩なディスプレイが可能。

■レッドXIII&ケット・シー プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

レッドXIIIとケット・シーのコンビが立体化。どちらも可動式で、ケット・シーをレッドXIIIにまたがらせることができる。

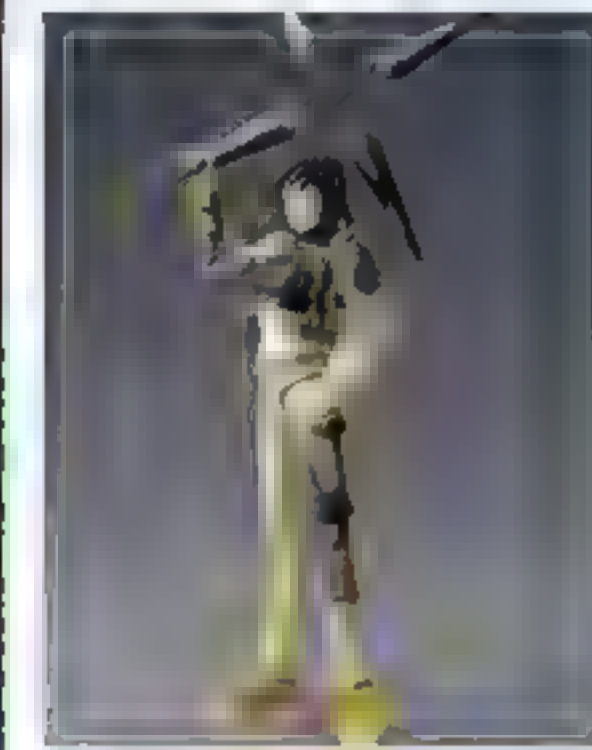
■ヴィンセント プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

初期装備のクイックシルバーが同梱された可動式フィギュア。髪やマントなどはゲーム中のものを忠実に再現。

※ SQEX ……発売元:スクウェア・エニックス(http://www.square-enix-shop.com/jp/)

FFVII

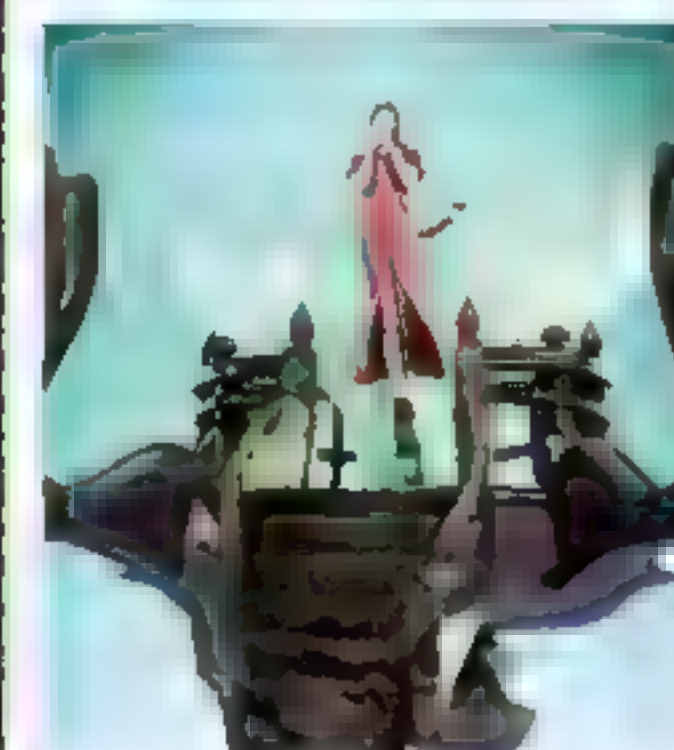
■ユフィ プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

左肩や左脚のこまかいギミックも立体化した、ユフィの可動式フィギュア。武器の巨大手裏剣が同梱されている。

■セフィロス プレイアーツ SQEX

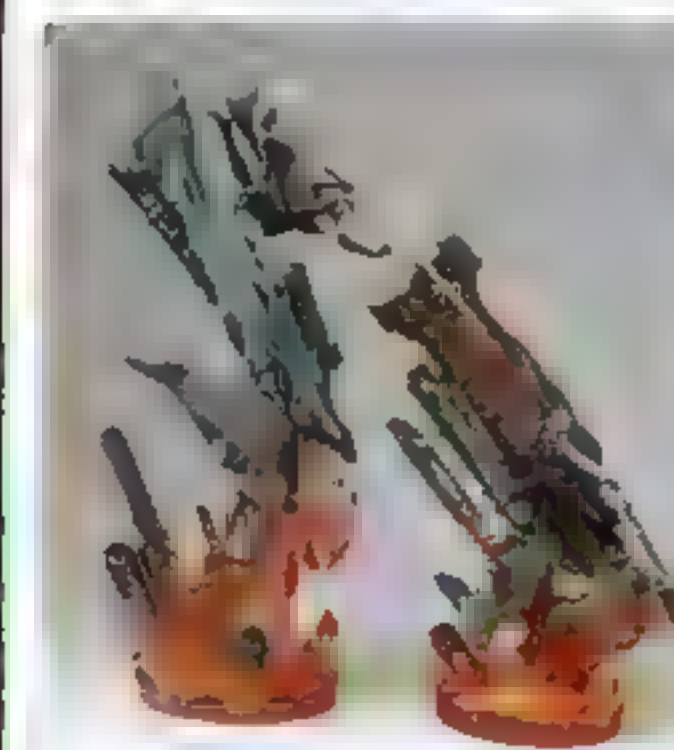
3,990円(税込)

セフィロスのアクションフィギュア。武器の正宗が別パーツになっているだけでなく、髪型も忠実に立体化されている。

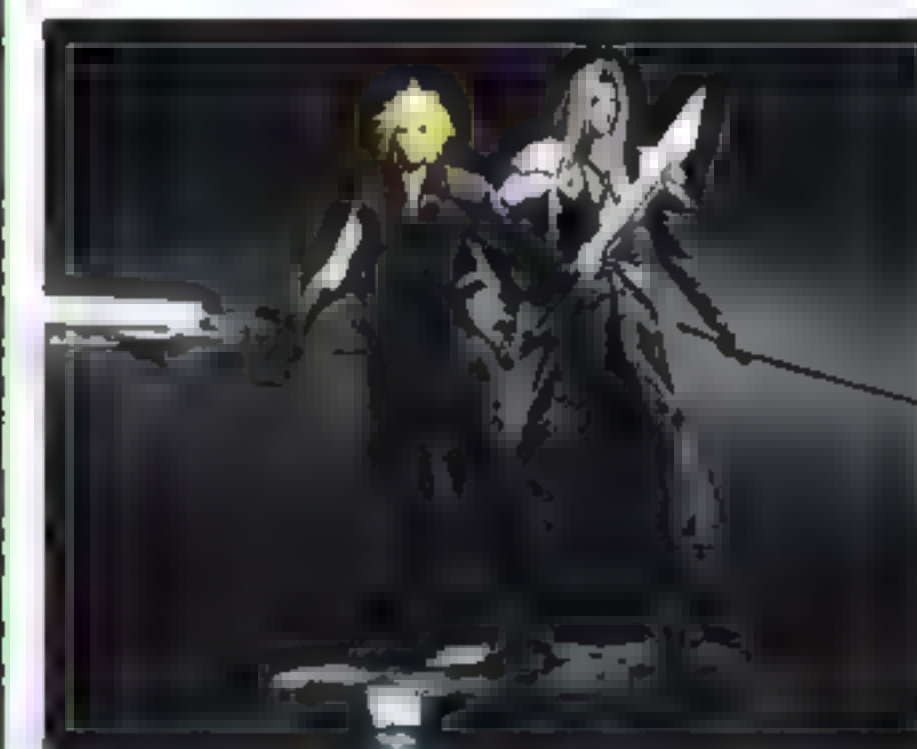
■エアリス スカルプチャーアーツ SQEX

27,300円(税込)

忘らるる都で祈りを捧げるエアリスをイメージしたポリストーンスタチュー。クリア素材も多く使った豪華な作り。

FFVIIAC

■クラウド/セフィロス スカルプチャーアーツ SQEX

各26,040円(税込)

2種類のスタチューを合体させれば、宿命の対決シーンを再現できる。写真の配色のものは、公式ショップ(※1)や公式サイトでの限定販売。

■クラウド/セフィロス マスターピースアーツ SQEX

各49,350円(税込)
※クラウドは発売中、セフィロスは発売日未定

クラウドおよびセフィロスのマルチマテリアルスタチュー。布や革など、さまざまな素材で服の質感を再現している。

FFVIIAC

■ティファ プレイアーツ SQEX

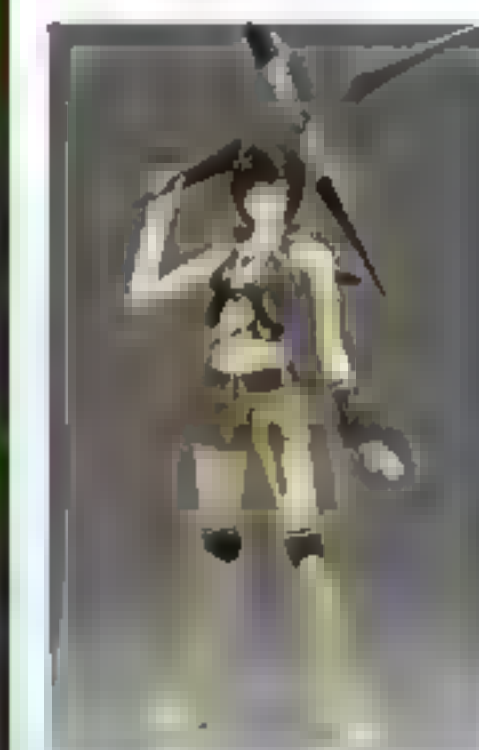
3,990円(税込)

ティファの関節可動式フィギュア。両手の換装用として、素手のパーツもセットになっている。

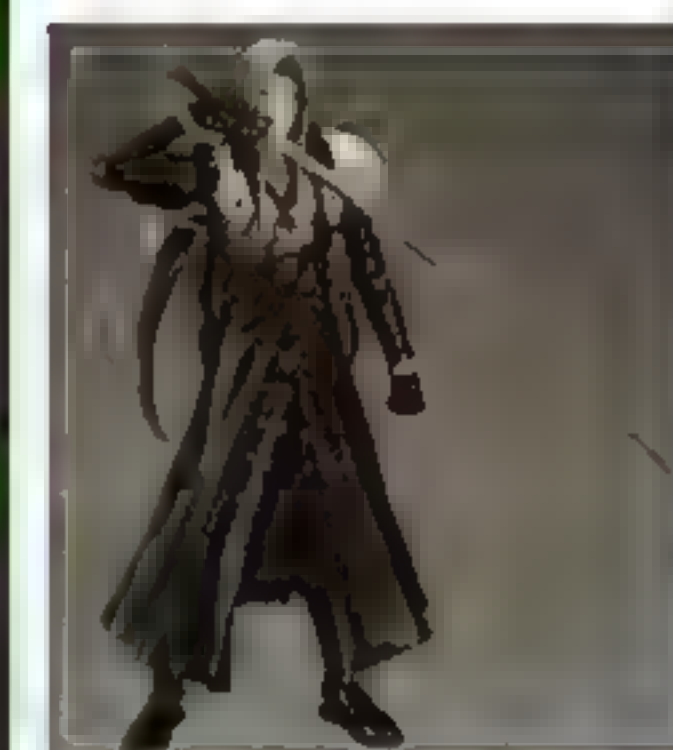
■ヴィンセント プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

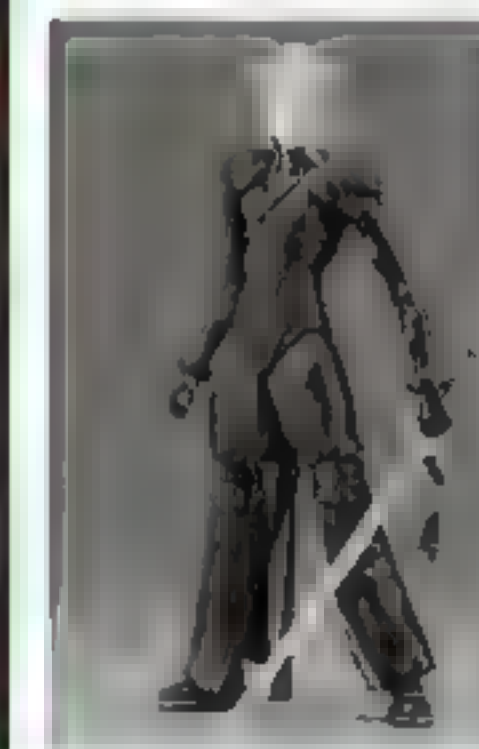
可動式フィギュアとして、ヴィンセントを立体化。『DC-FFVII』で使う銃・ケルベロスが同梱されている。

■ユフィ プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

作品ごとに服装が一変するユフィの『FFVIIAC』仕様アクションフィギュア。巨大手裏剣のパーツも同梱されている。

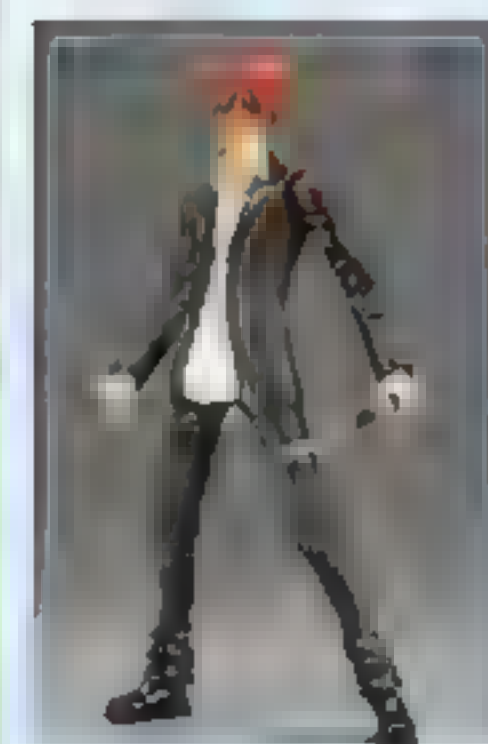
■セフィロス プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

セフィロスのアクションフィギュア。正宗のパーツに加えて、にぎり手と開き手のパーツもセットになっている。

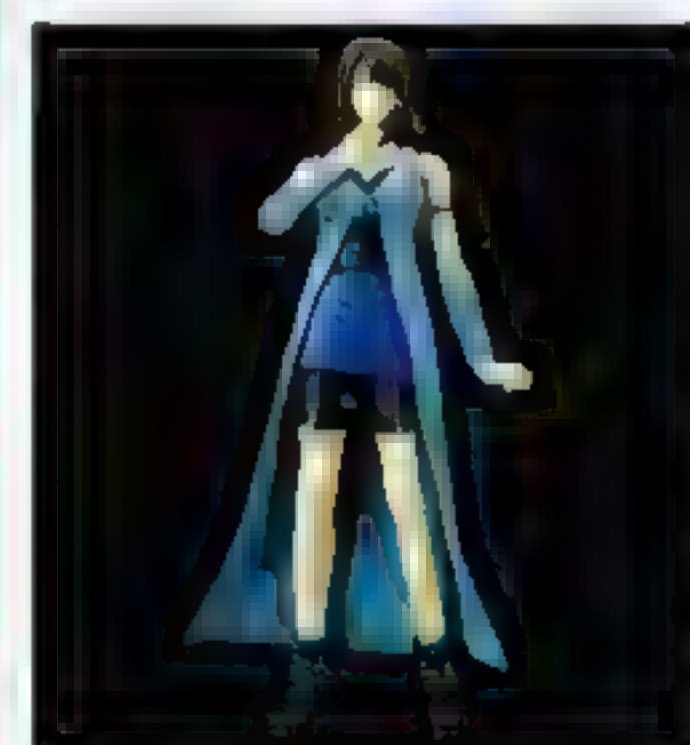
■カダージュ プレイアーツ SQEX

3,990円(税込)

愛剣・双刃を持ったカダージュのフィギュア。足の関節を大きく動かせるよう、腿のすそは曲げることができる。

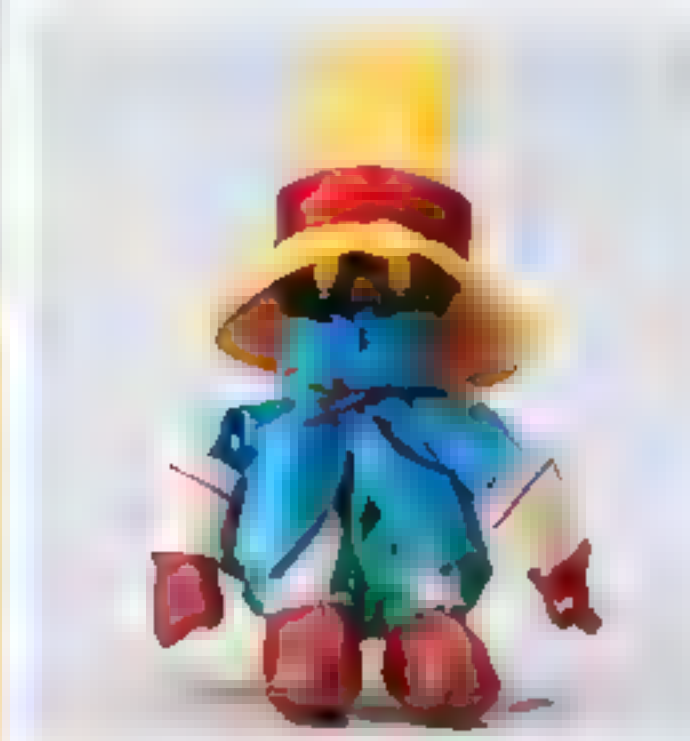
※1……スクウェア・エニックス公式ショップ「SHOW CASE」(http://www.square-enix.co.jp/showcase/)

FFVII AC

■レノ プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
レノをモチーフにしたアクションフィギュア。ロッドを持つ手は着脱でき、素手の状態でのポージングも可能。

FFVIII

■スコール プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
『FFVIII』の主人公・スコールの可動式フィギュア。ペンダントやガンブレードも原作どおりに立体化されている。

■リノア プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
リノアのアクションフィギュア。人差し指を立てた手のパーツがセットになっており、得意のポーズも再現できる。

■セルフィ プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
関節可動式で立体化されたセルフィ。セットのヌンチャクは鎖の部分が変形でき、さまざまな持たせかたが可能。

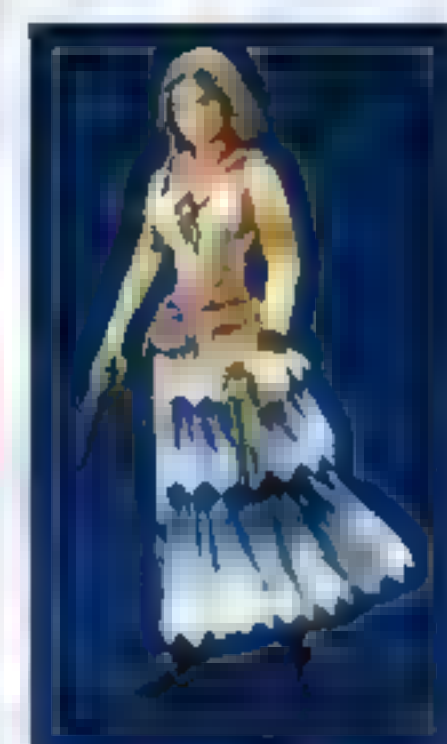
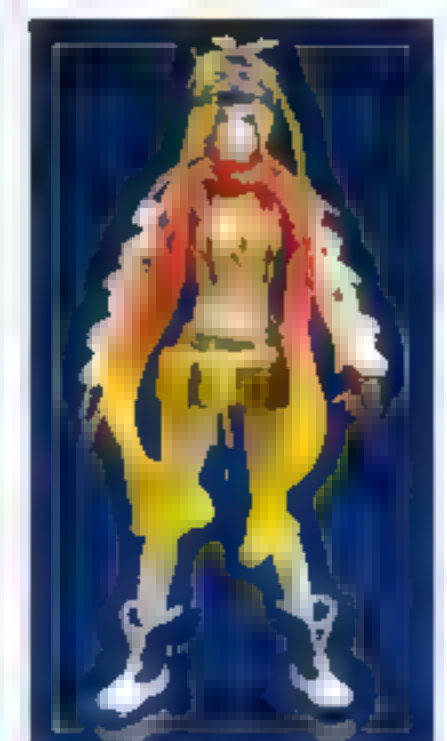
FFIX

■ビビ
(非売品)
『FFIX』の予約特典として配布されたもの。布や合皮を使用しており、とてもやわらかい人形に仕上がっている。

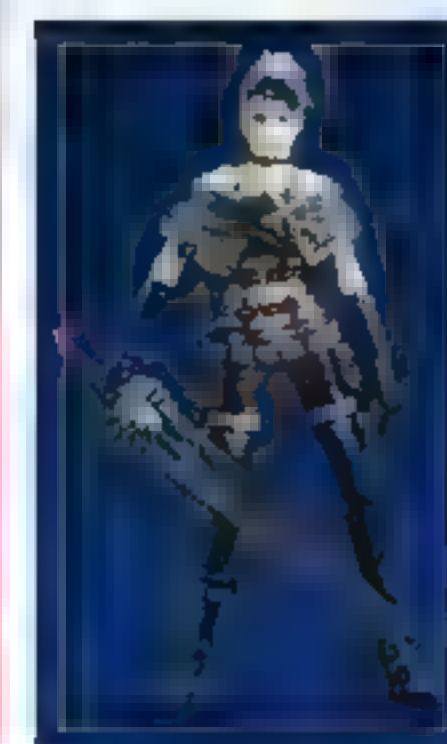
FFX

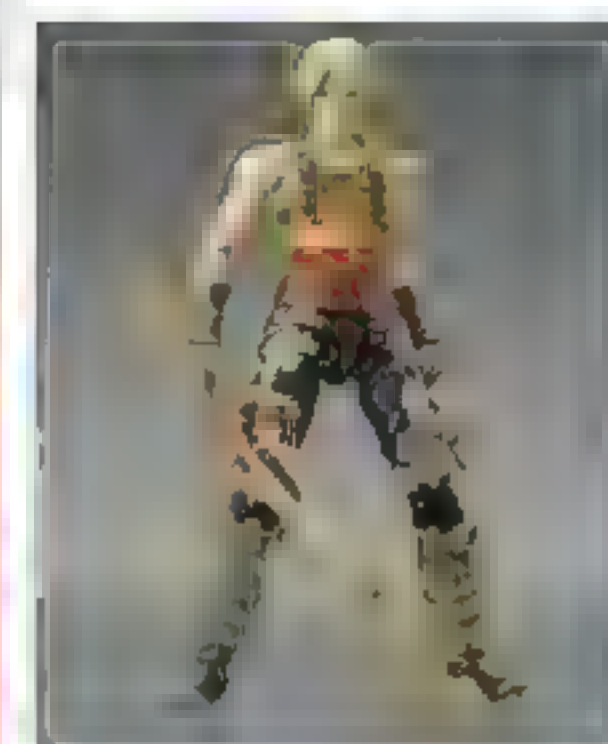
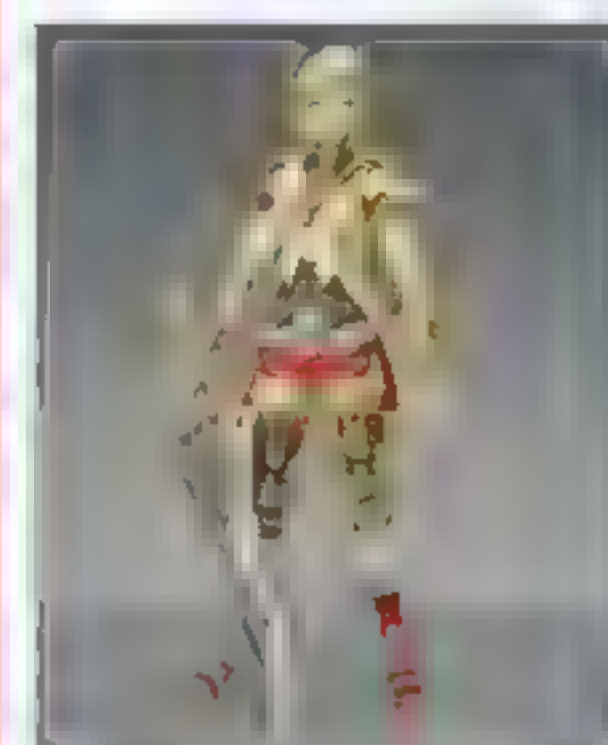
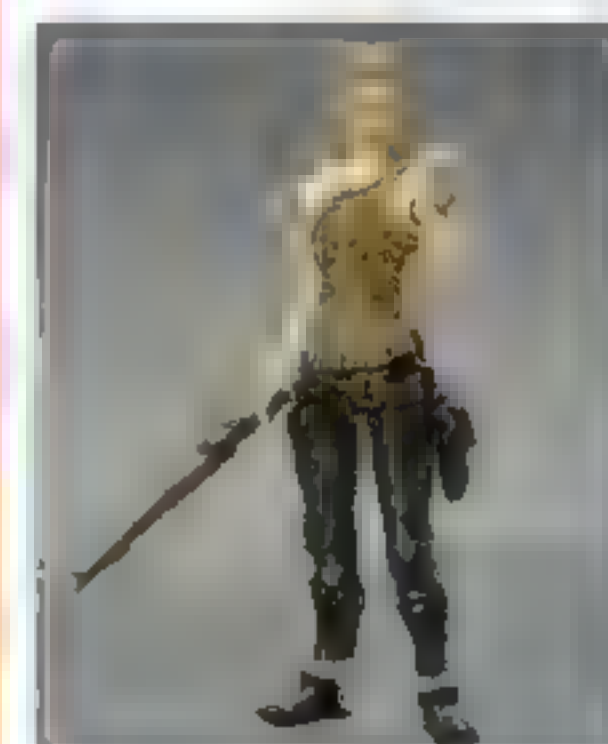
■ティーダ プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
主人公であるティーダの可動式フィギュア。にぎり手が別パーツになっており、付属のフラタニティを持たせられる。

■ユウナ プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
首や手足の関節が動かせるフィギュアで、帯や袴の模様がこまかく再現されているうえ、初期装備のロッドも同梱。

■アーロン プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
太刀がセットになった、アーロンの可動式フィギュア。パーツを換装すれば、上着をはだけた姿にすることも可能。

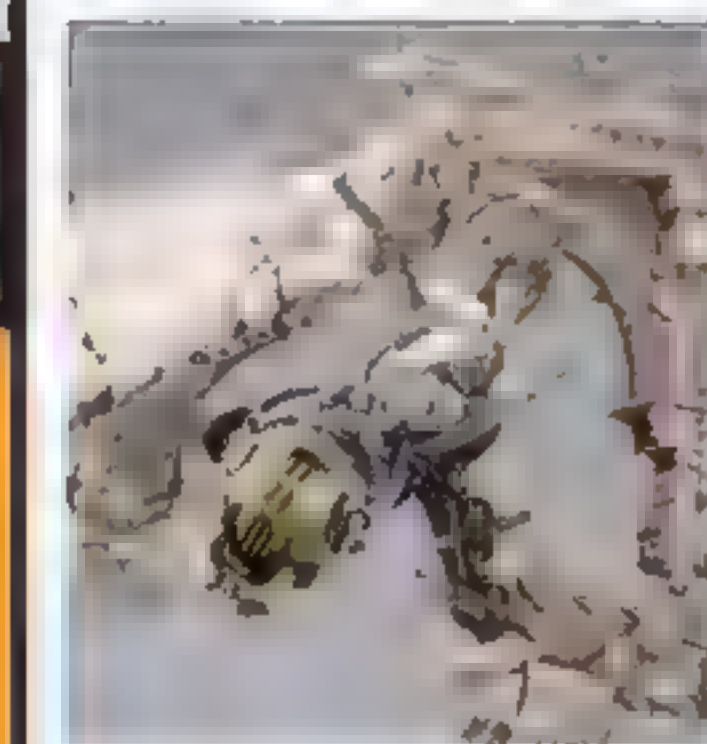
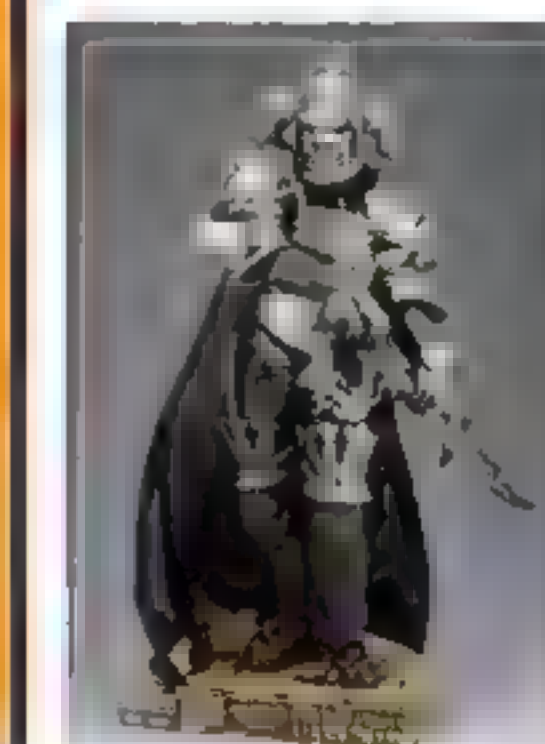
FFX-2

■ユウナ プレイアーツ SQEX
3,129円(税込)
ガンナーにドレスアップしたユウナのアクションフィギュア。銃を持つ手のパーツと素手のパーツがセット。

■リュック プレイアーツ SQEX
3,129円(税込)
初期装備のドレスであるシーフの姿をしたリュックの可動式フィギュア。両手のパーツは素手のものに換装可能。

FFX-2

■パイン プレイアーツ SQEX
3,129円(税込)
『FFX-2』で登場したパインのフィギュア。戦士のドレスの象徴である剣が同梱されており、自由に着脱できる。

FFXII

■ヴァン プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
『FFXII』の主人公・ヴァンのアクションフィギュア。物語の中盤で手に入る覇王の剣がセットになっている。

■アーシェ プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
アクションフィギュアとして再現されたアーシェ。物語の重要なカギをにぎる契約の剣が別パーツで同梱。

■バルフレア プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
自称主人公のバルフレアをアクションフィギュア化。物語の中盤で手に入る銃・ベテルギウスが付属している。

■ガブラス プレイアーツ SQEX
3,990円(税込)
ジャッジマスター・ガブラスの可動式フィギュア。別パーツである2本の剣は、柄を連結させることが可能。

FFXII

■バルフレア&フラン スカルプチャーアーツ SQEX
46,200円(税込)
エアバイクに乗ったバルフレアとフランが、ラバナスタ王宮の敷地内を飛びまわるシーンを再現したスタチュー。

■ガブラス マスターピースアーツ SQEX
49,350円(税込)
ジャッジマスター・ガブラスの1／4スケールスタチュー。素材にはポリレジンのほか、合皮やサテン生地を使用。

オムニバス

■トレーディングアーツmini vol.1 SQEX
347円(税込)
トレーディングを目的としたデフォルメフィギュア。クラウド、リノア、ユウナ、ヴァン、パンネロの5種類。

■トレーディングアーツmini vol.2 SQEX
347円(税込)
スコール、ティファ、アーロン、アーシェ、バッシュのいずれかが封入されているトレーディング用フィギュア。

■ポーション with トレーディングアーツmini (発売元：サントリー)
934円(税込)
※販売終了
2007年11月発売の清涼飲料水、ポーション第3弾に付属された『FFVII』キャラクターのフィギュア。全8種類がある。

※ SQEX ……発売元：スクウェア・エニックス(http://www.square-enix-shop.com/jp/)

FINAL FANTASY® XI
ONLINE
ファイナルファンタジーXI

ファイナルファンタジーXI

作品概要

ファイナルファンタジー初の多人数同時参加型オンラインRPGとして登場。世界中のプレイヤーたちと協力しながら仮想世界ヴァナ・ディールでの冒険を楽しむ。新しいエリアやジョブ、モンスターなどを提供する拡張データディスクが追加発売されている。

データ

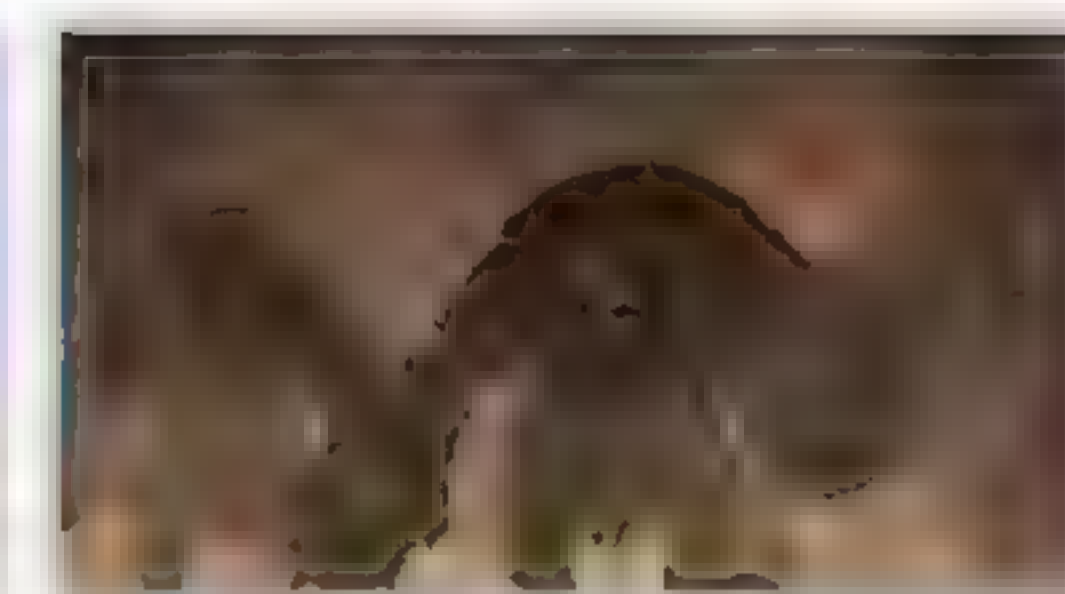
タイトル	機種 PS2	Win	XB360	発売日	価格(※1)	注
ファイナルファンタジーXI	○			2002年 5月16日	8,190円(税込)	※2
ファイナルファンタジーXI		○		2002年11月 7日	オープン	
ファイナルファンタジーXI ジラートの幻影 拡張データディスク	○	○		2003年 4月17日	4,179円(税込)/オープン	
ファイナルファンタジーXI ジラートの幻影 オールインワンパック2003	○	○		2003年 4月17日	8,190円(税込)/オープン	★A
ファイナルファンタジーXI エントリーディスク	○	○		2003年 6月12日	5,040円(税込)/オープン	
ファイナルファンタジーXI プロマシアの呪縛 拡張データディスク	○	○		2004年 9月16日	4,179円(税込)/オープン	
ファイナルファンタジーXI プロマシアの呪縛 オールインワンパック2004	○	○		2004年 9月16日	8,190円(税込)/オープン	★B
ファイナルファンタジーXI エントリーディスク2005	○	○		2005年 3月 3日	5,040円(税込)/オープン	★A
ファイナルファンタジーXI アトルガンの秘宝 拡張データディスク	○	○		2006年 4月20日	4,179円(税込)/オープン	
ファイナルファンタジーXI オールインワンパック2006	○	○	○	2006年 4月20日	8,190円(税込)/オープン	★C
はじめてのファイナルファンタジーXI(発売元:ソースネクスト)		○		2007年 5月11日	2,079円(税込)	★C
ファイナルファンタジーXI アルタナの神兵 拡張データディスク	○	○	○	2007年11月22日	4,179円(税込)/オープン	
ファイナルファンタジーXI ヴァナ・ディール コレクション	○	○	○	2007年11月22日	8,190円(税込)/オープン	★D

※1 …「オープン」はWindows版がオープン価格であることを示す
※2 …限定版「2002 SPECIAL ART BOX」が2002年9月26日に9,240円(税込)で発売
★A……「ジラートの幻影」が同梱
★B……「ジラートの幻影」「プロマシアの呪縛」が同梱
★C……「ジラートの幻影」「プロマシアの呪縛」「アトルガンの秘宝」が同梱。ただし、「はじめてのFFXI」では、拡張コンテンツのレジストレーションコードのみ別途購入が必要
★D……「ジラートの幻影」「プロマシアの呪縛」「アトルガンの秘宝」「アルタナの神兵」が同梱

FINAL FANTASY XI ONLINE ファイナルファンタジーXI ジラートの幻影
■『ジラートの幻影』

FINAL FANTASY XI ONLINE ファイナルファンタジーXI プロマシアの呪縛
■『プロマシアの呪縛』

FINAL FANTASY XI ONLINE ファイナルファンタジーXI アトルガンの秘宝
■『アトルガンの秘宝』

FINAL FANTASY XI ONLINE ファイナルファンタジーXI アルタナの神兵
■『アルタナの神兵』

STORY

それは、冒険者ひとりひとりがつむぎ出す かけがえのない「絆」の物語

天晶暦862年、神々に祝福された世界ヴァナ・ディールに、大きな戦争があった。「闇の王」が率いる獣人血盟軍と、人類4国が団結したアルタナ連合軍との戦争――水晶大戦。2年にわたり繰り広げられた未曾有の戦乱の末、闇の王は討ち取られ、アルタナ連合軍は勝利を収める。しかし、平穏は長くはつづかなかった。またもや獣人たちが各地で不穏な動きを見せはじめたのだ。これに対し、かつての連合軍諸国は有効な手を打てずにいた。ふたたびわきあがった互いへの疑心から正規軍の派遣を躊躇したためだった。

そんな時代に、人々の希望となる者たちが現れる。己の信念に従って、国家や身分にとらわれず行動する勇気ある者たち――「冒険者」。各国はこぞって彼らに事件や問題の解決を依頼するようになり、冒険者たちが世界を動かす要となっていく。「冒険者の時代」がはじまったのだ。彼らは立場を越えて互いに助け合い、それぞれの絆を育て、ともに世界を駆けた。そして、いま……また1人、新たな冒険者がヴァナ・ディールの大地に、自身の足跡を刻みはじめる……。

FINAL FANTASY XI 人物相関図

中央三大陸

タブナジア侯国
- タブナジア侯爵家：ロシュフォーニュ
- タブナジア地下壕：チェブキー兄妹、プリッシュ、ウルミア
- ロシュフォーニュ →（敵対?）→ デスティン国王
- タブナジア侯国 →（かつての宗主国）→ サンドリア王国
- チェブキー兄妹 →（恐れる）→ プリッシュ
- プリッシュ ―（親友）― ウルミア

ノーグ
- ギルガメッシュ、ライオン
- ノーグ →（かつて仕えた）→ タブナジア侯国
- ギルガメッシュ ―（義理の親子）― ライオン
- ギルガメッシュ →（警戒）→ 大公兄弟
- ライオン ―（同盟）― アルド

アルタナ四国

サンドリア王国
- ドラギーユ家：デスティン国王、クレーディ王女、ピエージェ王子、トリオン王子
- デスティン国王 ―（親子）― クレーディ王女、ピエージェ王子、トリオン王子
- ピエージェ王子 ←（対立）→ トリオン王子
- サンドリア国教会：シャマンド教皇
- シャマンド教皇 →（次期国王に推す）→ ピエージェ王子
- シャマンド教皇 →（調査を依頼）→ ルーヴランス
- クリルラ →（仕える）→ ピエージェ王子
- クリルラ ←（好意?）→ トリオン王子
- ラーアル →（仕える）→ トリオン王子
- サンドリア王国 ←（対立）→ 獣人血盟軍
- サンドリア王国 →（支援）→ 冒険者たち

ジュノ大公国
- アルマター機関：ナグモラーダ、エシャンタール
- 大公親衛隊：ウォルフガング
- 大公兄弟：カムラナート、エルドナーシュ
- マート
- アルマター機関 →（仕える）→ 大公兄弟
- ウォルフガング →（仕える）→ 大公兄弟
- ウォルフガング →（師事）→ マート
- マート →（試練を課す）→ 冒険者たち
- 天晶堂：アルド、フェレーナ
- アルド →（警戒）→ 大公兄弟
- アルド ―（義理の兄妹）― フェレーナ

バストゥーク共和国
- シド →（大統領に推薦）→ カルスト
- カルスト ―（親子）― コーネリア
- コーネリア ―（友人）― グンバ
- カルスト →（任命）→ ミスリル銃士隊
- ミスリル銃士隊：アヤメ、ナジ、アイアンイーター、フォルカー、ザイド
- ナジ →（ライバル視）→ アヤメ
- フォルカー →（負い目）→ ザイド
- アヤメ →（かつて修行）→ ライオン
- バストゥーク共和国 →（支援）→ 冒険者たち

ウィンダス連邦
- 天の塔：セミ・ラフィーナ、星の神子
- セミ・ラフィーナ →（護衛）→ 星の神子
- 天の塔 →（警戒）→ アジドマルジド
- アジドマルジド ―（兄妹）― アプルル
- アジドマルジド →（師事）→ 三博士
- 三博士：シャントット、コルモル、ヨランオラン
- ウィンダス連邦 →（支援）→ 冒険者たち

獣人血盟軍
- 闇の王
- 獣人勢力：オーク帝国、クゥダフ兵団、ヤグード教団
- 獣人勢力 →（復活させようとする）→ 闇の王
- 獣人血盟軍 ←（敵対）→ 冒険者たち

東方諸国
- テンゼン
- テンゼン →（調査におもむく）→ 獣人血盟軍

冒険者たち
- ヒューム、エルヴァーン、タルタル、ミスラ、ガルカ
- 冒険者たち →（渡航）→ 近東地域

禁断の口
- ケット・シー
- ケット・シー →（協力を依頼）→ 冒険者たち
- 不可侵協定

近東地域

アトルガン皇国
- サラヒム・センチネル：ナジャ・サラヒム
- ナジャ・サラヒム →（傭兵として雇う）→ 冒険者たち
- 聖皇ナシュメラ2世 ―（スポンサー）― ナジャ・サラヒム
- ラズファード宰相 →（仕える）→ 聖皇ナシュメラ2世
- アフマウ →（仕える）→ 聖皇ナシュメラ2世
- 不滅隊：ラウバーン
- ラウバーン →（護衛）→ 聖皇ナシュメラ2世
- ラズファード宰相 →（掌握）→ 不滅隊
- ガッサド →（協力）→ ラズファード宰相

アシュタリフ号
- ルザフ
- ルザフ →（?）→ アトルガン皇国

蛮族
- マムージャ蕃国、トロール傭兵団、死者の軍団
- 蛮族 ←（対立）→ アトルガン皇国

冒険者たち

Adventurers

Personal Data

種族	ヒューム、エルヴァーン、タルタル、ミスラ、ガルカ
所属国	サンドリア王国、バストゥーク共和国、ウィンダス連邦

己の信念にもとづきヴァナ・ディールを駆ける自由人たち

20年前に起きた人類対獣人の大戦「水晶大戦」が終結したのち、急速に頭角を現してきた勇気ある者たち。国家に所属しながらも地位や身分にとらわれず、みずからの信念に従って行動。庶民のちょっとした頼みごとから、国家の存亡に関わる重大事まで、ヴァナ・ディールで起こるあらゆる諸問題を解決するための人材として、官民問わずに頼られている。

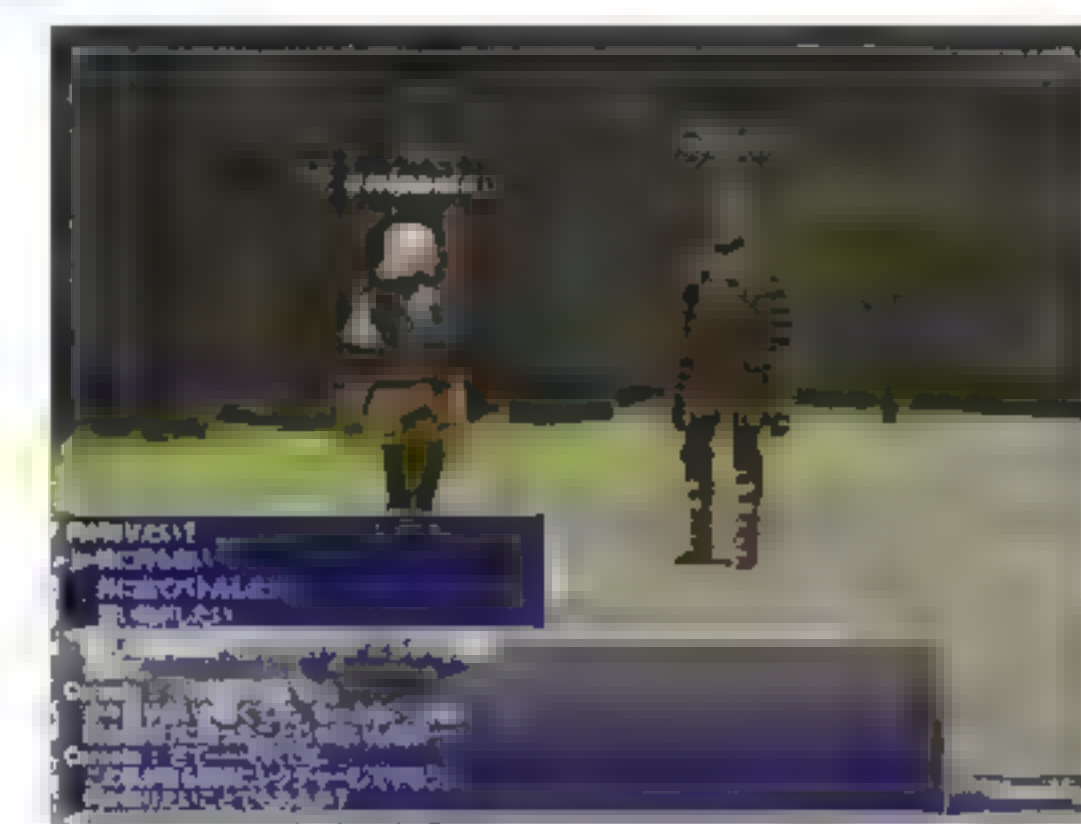
冒険者たちは基本的に各人自由に行動しており、"～しなければならない"という義務はない。モンスターを倒し治安を守る者、合成技術を磨き職人としての道を求める者、歴史を探求し世界の秘密を探る者、あるいは傭兵として身を立てる者――さまざまな種類の夢を抱き、彼らはヴァナ・ディールを動かしていく。

↑大戦後の情勢不安や、獣人勢力の台頭などにともない、冒険者は時代に必要とされる形で現れた。

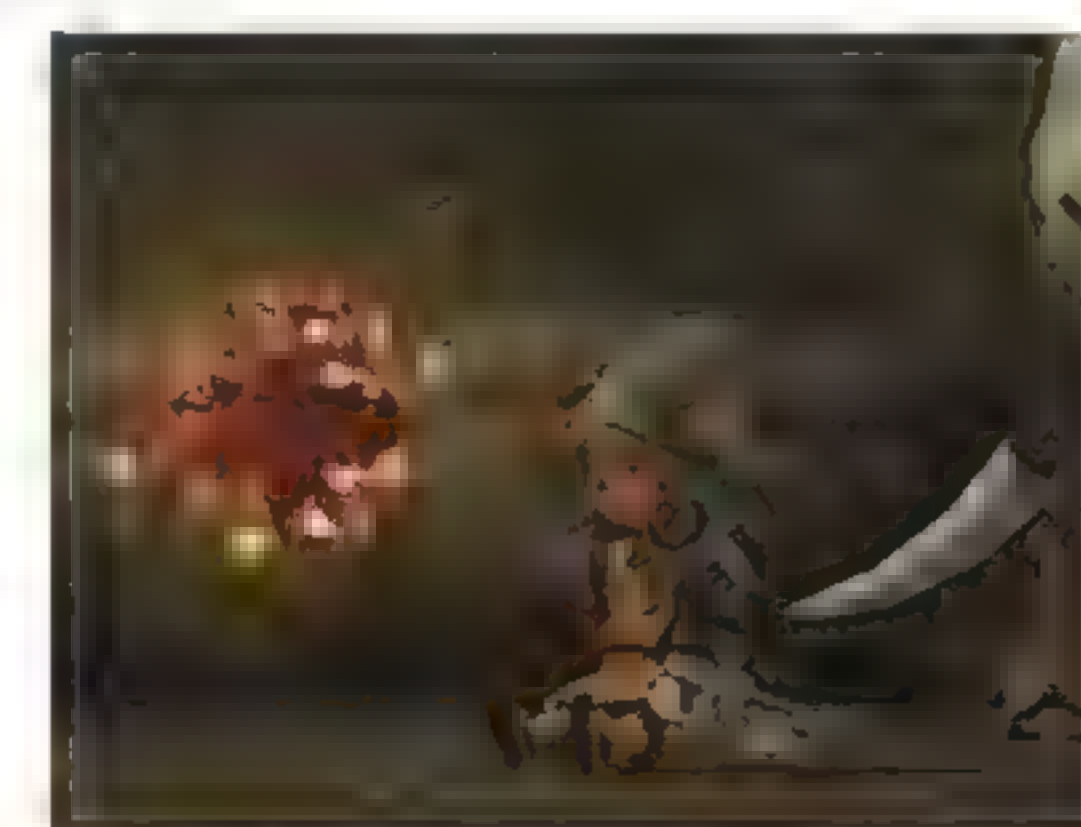
←「ジョブ」と呼ばれる技能体系を習得し、ジョブごとに多様な能力を発揮する。

Topics of Adventurers

プレイヤーの分身となるキャラクター

冒険者は、ゲーム内におけるプレイヤーの分身だ。種族や性別、顔立ちや背の高さまで、プレイヤーの好みに応じたキャラクターを作成できるようになっている。また、キャラクターの背景設定はとくになく、ゲーム中に勝手にセリフをしゃべるといった、プレイヤーの意思によらない言動をすることもない。プレイヤーは思うがままにキャラクターを作り、まさしく自分が主人公となって冒険を楽しめるのだ。

↑作成したキャラクターが、プレイヤーが選択した国を訪れるところから、冒険ははじまる。

「ジョブ」と「スキル」で作り上げられる個性

多彩な武器のあつかいに長ける戦士、魔法で仲間を癒す白魔道士……など、冒険者は選択した「ジョブ」の能力を活かして冒険をくり広げていく。就いたジョブによってできることはかぎられており、ジョブの選択が冒険者の能力のカギとなるのだ。さらに、武器や魔法の習熟度を示す「戦闘スキル」や、材料を集めてアイテムを作り出す「合成スキル」といった要素により、いろいろな個性づけをすることができる。

↑スキルをうまく育てれば、「剣の達人にして熟練の鍛冶師」といった冒険者にすることも可能。

所属国の公認冒険者として

冒険者は、ヴァナ・ディールにある3つの国のコンクエスト(治安維持の貢献度にもとづく国家間の勢力争い)の戦力という側面も持つ。自国の冒険者が活躍するほど国の勢力が拡大するため、各国はさまざまな形で彼らを支援しているのだ。

←ミッションやクエストを解決していけば、いずれは国家の重大事にも関わるようになる。

◆所属国となる国家

サンドリア王国 The Kingdom of Sand'Oria

クォン大陸北方に位置する封建制の国家。国民の大半は誇り高きエルヴァーン族であり、いまも騎士道を重んじる古き伝統が息づいている。

バストゥーク共和国 The Republic of Bastok

クォン大陸南方に位置する産業立国。人口が多く機知に長けたヒューム、腕力があり英知に秀でたガルカが両輪となって発展させてきた。国土の大半は草もまばらな荒野だが、地下資源には恵まれている。

ウィンダス連邦 The Federation of Windurst

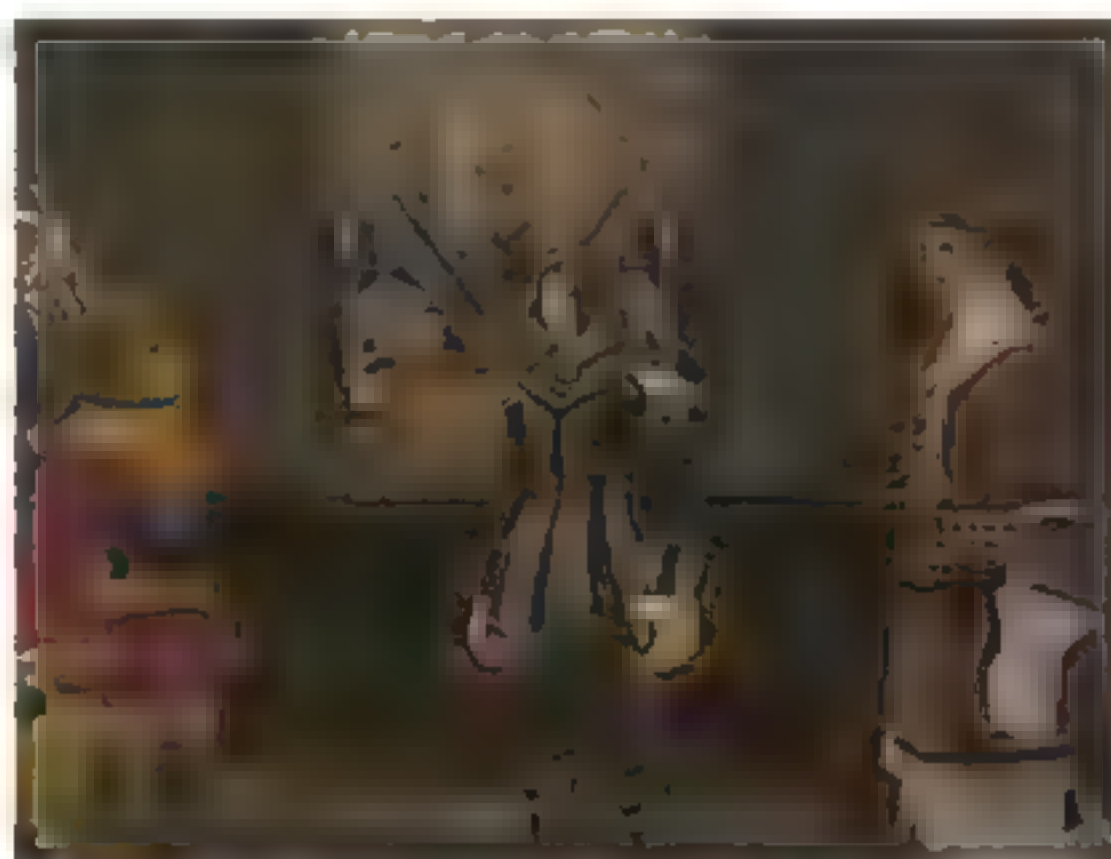
ミンダルシア大陸南部に広がる連邦制の国家。魔力豊富なタルタルと、狩猟民ミスラが住む。大国の威勢は失われてひさしいが、いまでも魔法を修めんとする者が目指す学都であることに変わりはない。

5つの種族

THE FIVE RACES

プレイヤーが冒険者として選べるのは、"女神アルタナの子"と呼ばれる5つの種族だ。彼らはヴァナ・ディールにおける"人類"であり、それぞれの種族ごとに独自の身体的特徴や文化を有している。

ヒューム Hume もっとも人口が多い技術の民

ヴァナ・ディールで人数が一番多い種族。身体的な能力においてはとくにすぐれた点がないものの、知恵が深く、技術力に秀で、経済的な嗅覚がするどい。もともと民族としては国家を持たなかったが、400年ほど前、クォン大陸の南部にガルカと協力してバストゥーク共和国を建国。工業を中心とした経済大国として発展させてきた。

⬆とくに長所がない反面、目立った短所もなく、どんな事態にでも対応できる柔軟性が魅力。

Male Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

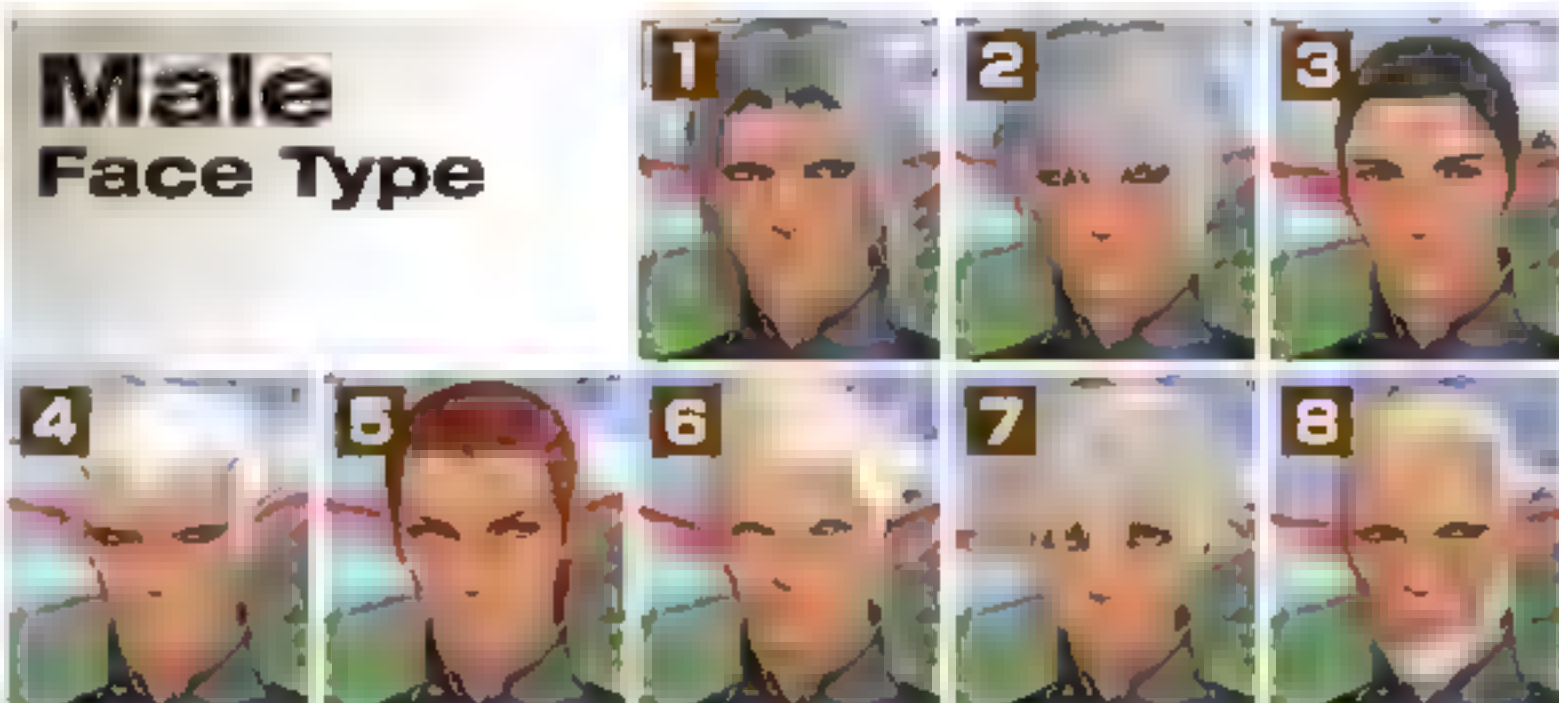
Female Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

エルヴァーン Elvaan 誇り高き戦闘民族

すらりとした長身と、剣のようにとがった耳が特徴の種族。心身ともに力強い戦士の民で、誇り高く質実剛健を尊ぶ気風を持つ。また、信心深く清貧を心がける性格ゆえか、商才はあまりない。クォン大陸の北部ではサンドリア王国を建国。一時は大陸全土に覇を唱えるほどの勢力を誇ったが、当時の気概はいまも失われてはいない。

⬆恵まれた肉体を持ち、武器を手に戦うことが得意。信心深いがゆえに聖職者になる者も。

Male Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

Female Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

タルタル Tarutaru 小柄で愛らしい魔力の子

とても小さい身体の民。幼形成熟するため、他種族にくらべると非力で打たれ弱い。その一方、世界で最初に魔法を発見した民族だけあって、魔力のあつかいにすぐれる。伝承では、はるか昔に星の導きによってミンダルシア大陸南端へと至り、ウィンダス連邦を興したという。そのため、星月を信奉する独特の文化を持つ。

⬆愛くるしい見た目に、豊富な魔力を秘める。その力で、昔はエルヴァーンと大陸の覇を競った。

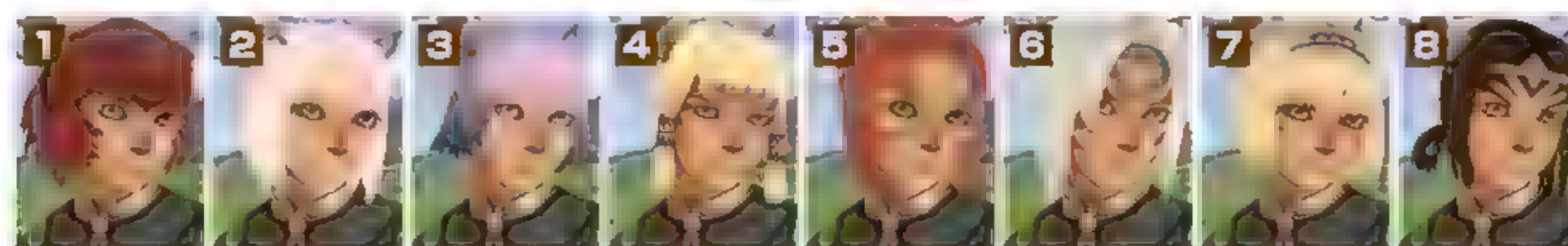
Male Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

Female Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

ミスラ Mithra 猫のように俊敏なハンター

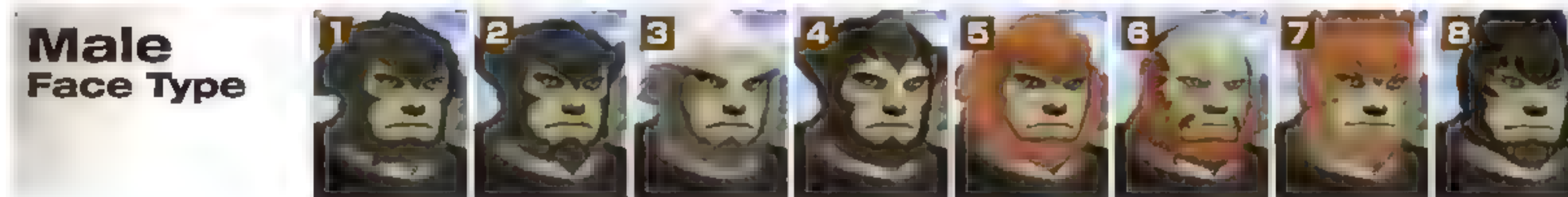
獣のような耳とシッポを持つ狩猟民族。俊敏性に長け、鋭敏な五感を誇る。物事にこだわらない性格の者が多い反面、自然に対する愛着が強い。南方のミスラの本国とウィンダスは古くから交流を持つが、連邦領内への定住が公式に認められたのはごく最近のこと。

⬅外で見かけるのは女性ばかり。独特の風習が関係しているらしいが……。

Female Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

ガルカ Galka 屈強な肉体を持つ少数部族

たくましい巨躯を持ち、体力にすぐれた種族。600年ほど前までゼプウェル島で暮らしていたが、獣人アンティカ族により都を滅ぼされた。生きのびた少数が故郷を脱出してクォン大陸にたどり着き、ヒュームとともにバストゥークを建国したという歴史を持つ。

⬅魔力はとぼしいが、頑強な肉体を持つ。男性しか生まれず、転生により新しい世代を残す。

Male Face Type 1 2 3 4 5 6 7 8

ジョブ

JOB

冒険者は「ジョブ」と呼ばれる技能体系を習得しており、ジョブに就くことでアビリティや魔法を行使できる。ジョブは基本となるスタンダードジョブと、経験を経て習得できるエキストラジョブに大別される。

●スタンダードジョブ

戦士 Warrior　武器のエキスパート

- SPアビリティ：マイティストライク
- おもな特性・アビリティなど：挑発、バーサク
- 得意な武器：両手斧、片手斧

多彩な武器をあつかえる闘士。モンスターや獣人との戦いのなかで自然発生的に生まれたジョブで、攻守の切りかえも自在にこなす。一番の得意武器である斧以外に、さまざまな得物を振るうことができるが、東方伝来の刀などは使えない。

モンク Monk　己の身を武器とする格闘僧

- SPアビリティ：百烈拳
- おもな特性・アビリティなど：マーシャルアーツ、気孔弾
- 得意な武器：格闘武器

鋼のように鍛え上げた肉体を持つ武術家。拳打による肉弾戦を得意とし、体内をめぐる気をあやつる。現在の主流は、東方伝来の体術とサンドリアの修道院伝統の拳術を融合させたもので、双方の利点が巧みに組み合わせられた格闘体系を誇る。

白魔道士 White Mage　聖なる力で救いを差し伸べる癒し手

- SPアビリティ：女神の祝福
- おもな特性・アビリティなど：女神の印、女神の慈悲
- 得意な武器：片手棍
- 得意な魔法：回復魔法、神聖魔法

傷を治す回復魔法と、聖なる力で敵を払う神聖魔法を得意とする魔道士。人々に救いをもたらし邪を退けるという性質から、サンドリアではアルタナ信仰と密接に結びつき、聖職者兼白魔道士となる者も多い。教義的な観点から刃物はタブー。

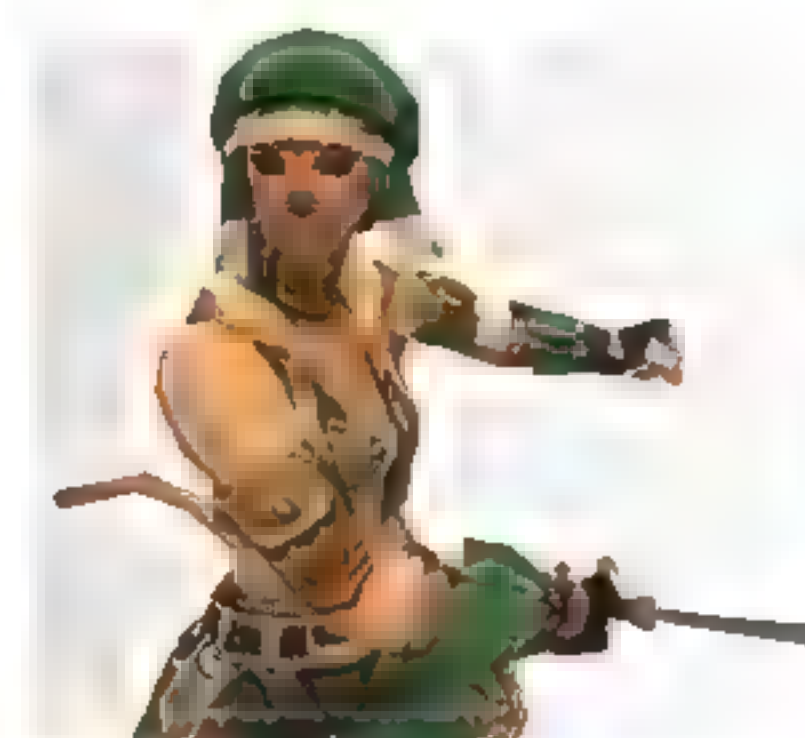
黒魔道士 Black Mage　精霊の力を自在にあやつる魔法使い

- SPアビリティ：魔力の泉
- おもな特性・アビリティなど：精霊の印、コンサーブMP
- 得意な武器：両手棍
- 得意な魔法：精霊魔法、暗黒魔法

自然に宿る精霊の力を具現化し、ときには暗黒の力を借りた呪詛までもあやつる攻撃的な魔法使い。魔法発祥の地ウィンダス連邦が誇る戦闘魔導団には、数多くの黒魔道士が魔戦士に登用されており、同国の主戦力になっている。

赤魔道士 Red Mage　魔法のみならず剣術をも修めたテクニシャン

- SPアビリティ：連続魔
- おもな特性・アビリティなど：ファストキャスト、コンバート
- 得意な武器：片手剣、短剣
- 得意な魔法：弱体魔法、強化魔法

白魔法で味方を支援したり、黒魔法で敵を攻撃したりするだけでなく、剣を手に近接戦もこなす万能の士。弱体や強化など、さまざまな魔力を対象に付与することを得意とするほか、魔法をすばやく詠唱する技術を駆使して臨機応変にスタンスを変えるのも得意。

シーフ Thief　あの手この手で敵を翻弄する

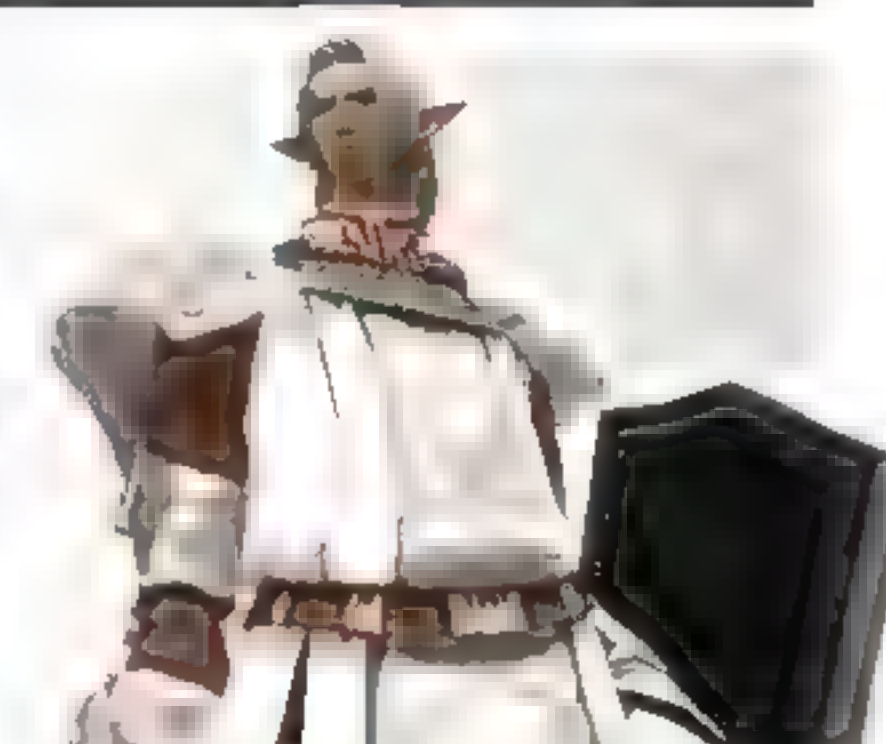
- SPアビリティ：絶対回避
- おもな特性・アビリティなど：ぬすむ、不意打ち
- 得意な武器：短剣

すばやくトリッキーな動きで相手を手玉に取る遊撃手。盗賊の技術をバトルや冒険向けに活かした数々の技を持ち、敵からアイテムを盗んだり、だまし討ちを仕掛けたりと変幻自在。それらの技は、仲間の協力によって真価を発揮する。

●エキストラジョブ

ナイト Paladin　身を賭して仲間を守る盾

- SPアビリティ：インビンシブル
- おもな特性・アビリティなど：シールドバッシュ、かばう
- 得意な武器：片手剣
- 得意な魔法：神聖魔法

誇りを胸に抱く高貴なる騎士。剣と盾のあつかいに秀でるうえ、白魔法をも使いこなす。サンドリアが誇る騎兵の技に端を発するジョブで、現在はサンドリアの騎士叙任試験官の老人バラシエルが、その技法を冒険者に伝えている。

暗黒騎士 Dark Knight　己の業を刃に宿す騎士

- SPアビリティ：ブラッドウェポン
- おもな特性・アビリティなど：暗黒、ラストリゾート
- 得意な武器：両手鎌、両手剣
- 得意な魔法：暗黒魔法

悲しみを背負い黒き刃を振るうアウトロー。重い一撃をくり出す大型の武器と、暗黒魔法のあつかいが得意。その根底にはガルカが古来より伝える「暗黒剣」の思想があり、ミスリル銃士隊No.2ザイドは、その求道者として知られる。

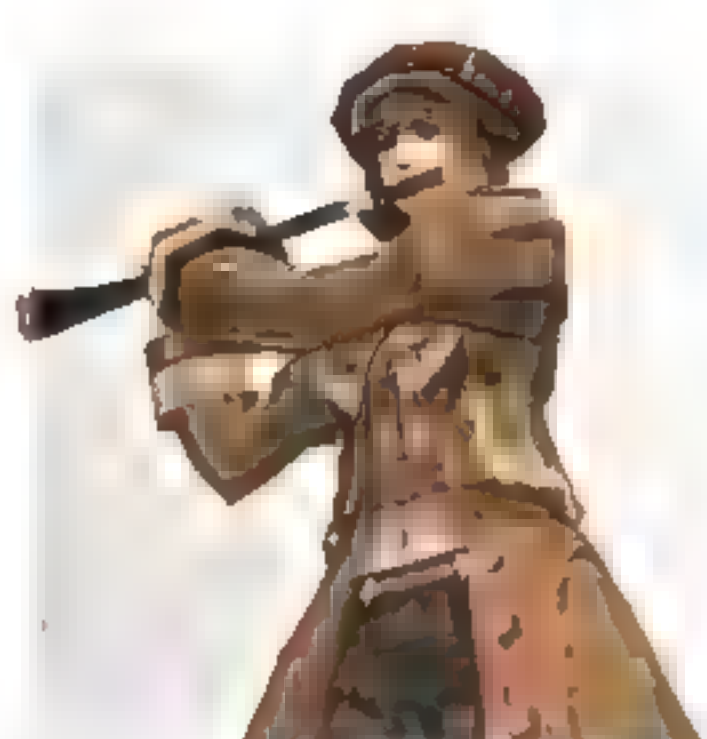
獣使い Beastmaster　モンスターと心を通わせる

- SPアビリティ：使い魔
- おもな特性・アビリティなど：あやつる、よびだす
- 得意な武器：片手斧

あらゆる動植物の生態に通じる、モンスター研究の専門家。モンスターをあやつり、ペットとして使役する能力を持つ。高名な獣使いとしては、ジュノでチョコボ厩舎を経営するブルートゥスがおり、彼は後進の指導にも余念がない。

吟遊詩人 Bard　想いをつまびく唄い人

- SPアビリティ：ソウルボイス
- おもな特性・アビリティなど：レジストサイレス、ナイチンゲール
- 得意な武器：短剣
- 得意な魔法：呪歌

仲間を癒し、その心を鼓舞する、旅のアーティスト。歌声や楽器の音色によって魔法に似た力を発揮する「呪歌」の使い手で、管楽器や弦楽器も弾きこなす。現在歌われる詩の多くは、伝説の詩人ルーウェンハートによるものだという。

狩人 Ranger　一発必中の腕前を誇る射手

- SPアビリティ：イーグルアイ
- おもな特性・アビリティなど：狙い撃ち、乱れ撃ち
- 得意な武器：弓、クロスボウ、銃

敵の察知能力にすぐれ、遠距離からの射撃を得意とするハンター。さまざまな長射程武器を手に、敵を射抜く。生来のハンターであるミスラにはこのジョブを生業とする者が多く、ウィンダスのペリィ・ヴァシャイ族長も高名な狩人のひとりだ。

「ジラートの幻影」

侍 Samurai　刀に己の魂を映す剣士

SPアビリティ　明鏡止水
おもな特性・アビリティなど　黙想、八双
得意な武器　両手刀

切れ味鋭い東方の武器「刀」を手にした志士。東方の独特な剣術を修め、明鏡止水の極意によって数多の技を矢継ぎ早にくり出す。近年、東方より伝来したジョブ体系で、ノーグの頭領ギルガメッシュは、その道を極めた達人として知られる。

忍者 Ninja　闇に忍ぶ冷酷無比な暗殺者

SPアビリティ　微塵がくれ
おもな特性・アビリティなど　二刀流、散華
得意な武器　片手刀
得意な魔法　忍術

東方伝来の暗殺術を会得した刺客。二刀をあやつる独自の刀術と、忍び道具を用いて不思議な効果を発揮する「忍術」を駆使して、敵を葬る。侍と同じくノーグに多くの使い手がおり、なかでもヨミは伝説の忍者として語り継がれている。

竜騎士 Dragoon　竜を従え槍を振るう古流の騎士

SPアビリティ　竜剣
おもな特性・アビリティなど　コールワイバーン、ジャンプ
得意な武器　両手槍

長大な槍を手に、飛竜とともに空を舞う騎士。驚異の跳躍力による上空からの槍撃は、騎兵の突撃にも匹敵する威力を持つ。その技法は代々サンドリア王国に伝えられていたが、"ラストドラグーン"エルパラシオンを最後に廃れていた。

召喚士 Summoner　おおいなる獣たちを従える魔道士

SPアビリティ　アストラルフロウ
おもな特性・アビリティなど　契約の履行、神獣の攻撃
得意な武器　両手棍
得意な魔法　召喚魔法

召喚魔法を用いて、古き神の力の一部を「召喚獣」としてあやつる異端の魔法使い。召喚は、水晶大戦時のウィンダスの英雄カラハバルハが神々の書を紐解いて編み出した魔法体系。しかし、その強大な力は彼自身をも落命させてしまったという。

「アトルガンの秘宝」

青魔道士 Blue Mage　青き力のトリコとなった半人半魔の魔法剣士

SPアビリティ　アジュールロー
おもな特性・アビリティなど　ブルーバースト、ブルーチェーン
得意な武器　片手剣
得意な魔法　青魔法

近東の国アトルガン皇国が誇る「蒼き獅子」。魔物の魂を取りこみ、魔物の力を再現する青魔法の使い手として、人からも魔物からも恐れられている。皇国には青魔道士のみで編成された「不滅隊」が存在し、元首である聖皇の護衛として名高い。

コルセア Corsair　心意気と運に命を賭ける無頼の徒

SPアビリティ　ワイルドカード
おもな特性・アビリティなど　ファントムロール、クイックドロー
得意な武器　銃、短剣

海運国家イフラマド王国の末裔によって伝えられた海賊の流儀。伊達な三角帽子と連装短銃を身につけ、ダイスとカードを用いた戦闘遊技を得意とする。皇国に滅ぼされたイフラマド王国の遺志を継ぎ、多くのコルセアが皇国に対抗してゲリラ活動を展開している。

「アトルガンの秘宝」

からくり士 Puppetmaster　オートマトンとともに歩む人形使い

SPアビリティ　オーバードライヴ
おもな特性・アビリティなど　アクティベート、マニューバ
得意な武器　格闘武器

自動人形「オートマトン」をあやつり、各地をさすらう大道芸人。人形を使った芸で客を喜ばせ、その軽ワザを活かした体術で敵を打ち倒す。オートマトンはアトルガン皇国の高名な人形師ガッサドにより開発され、いまも進化をつづけている。

「アルタナの神兵」

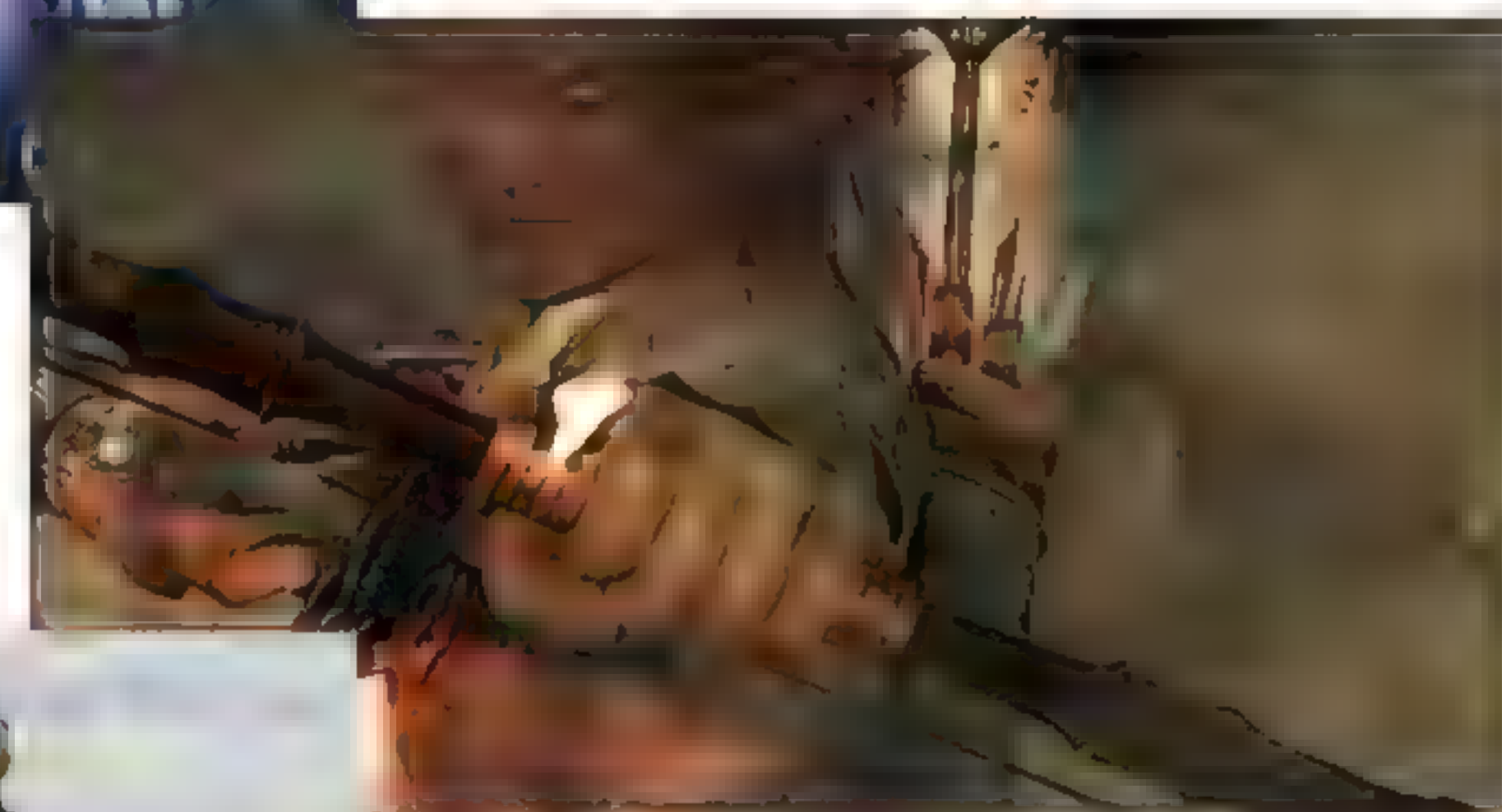
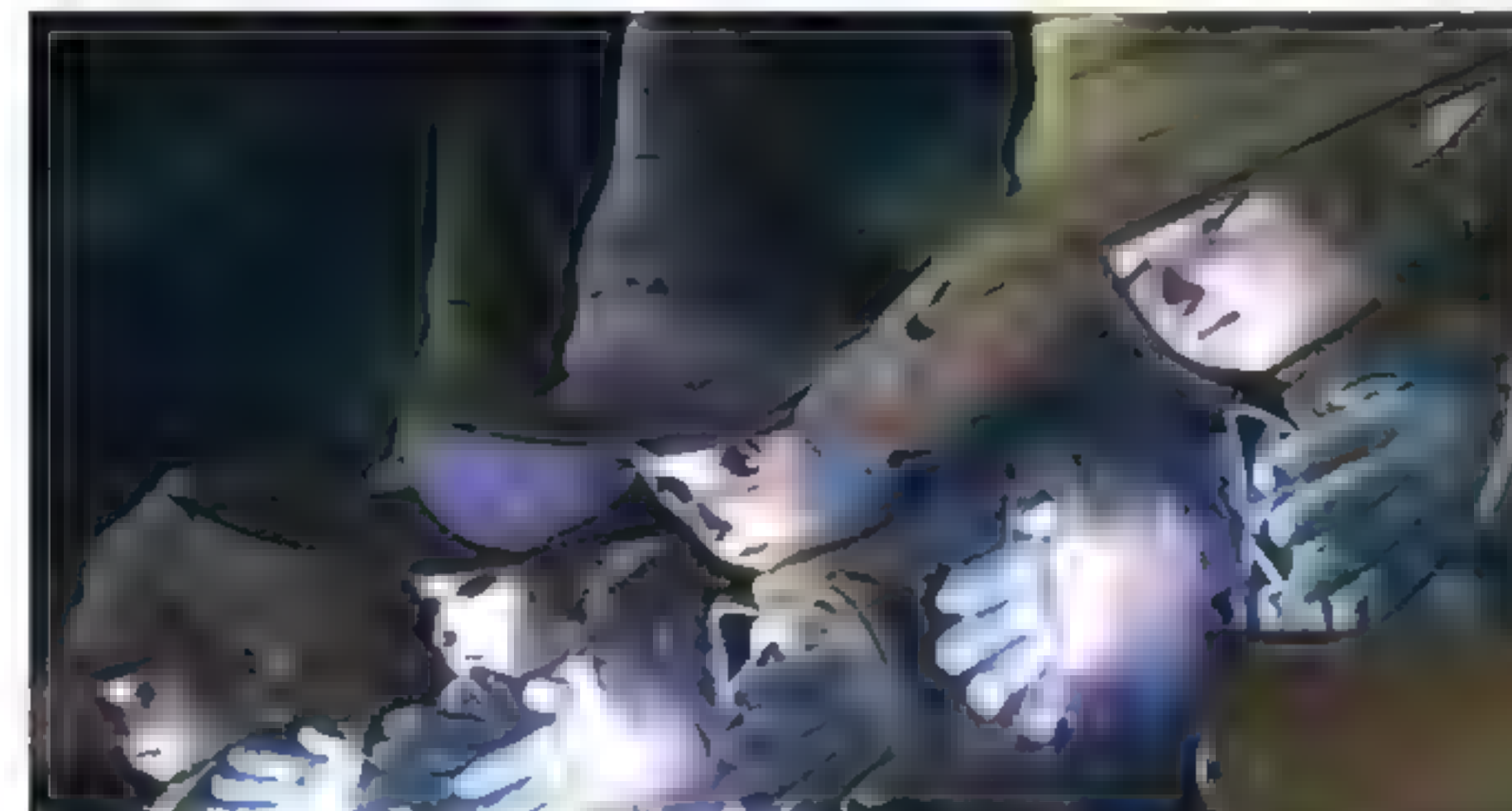
踊り子 Dancer　戦場に華を添える戦闘舞踏家

SPアビリティ　トランス
おもな特性・アビリティなど　ステップ、フラリッシュ
得意な武器　短剣

武踊「クリークタンツ」を修め、水晶大戦時に活躍したダンサー。クリークタンツは闘技と舞技が融合した踊りで、幻惑的なそのステップは、どんな絶望的な戦場にあっても味方を奮い立たせ、同時に敵をおじけづかせたという。

学者 Scholar　権謀術数を駆使して戦いを制する軍略家

SPアビリティ　連環計
おもな特性・アビリティなど　白のグリモア、黒のグリモア
得意な武器　片手棍、両手棍
得意な魔法　布陣、計略

戦術魔道大典「グリモア」に精通した軍学者。バストゥークの名軍師シュルツ派の軍学を身につけ、魔法を大胆に取り入れた戦術で味方に勝利を呼びこむ。天候さえも制すると言われるその鬼謀は、水晶大戦におけるアルタナ連合軍勝利のひとつの原動力となった。

勇猛果敢な王子にして剣豪

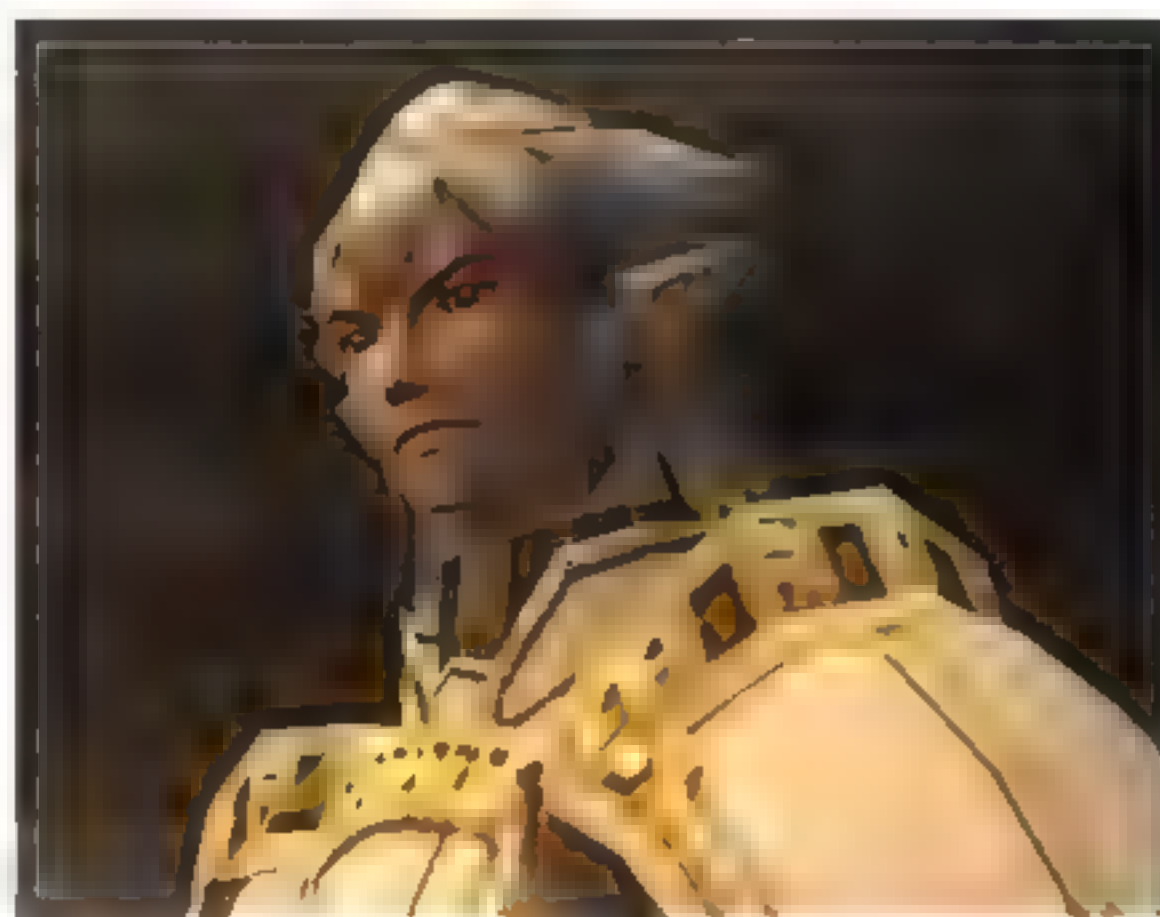
トリオン王子

Trion I d'Oraguille

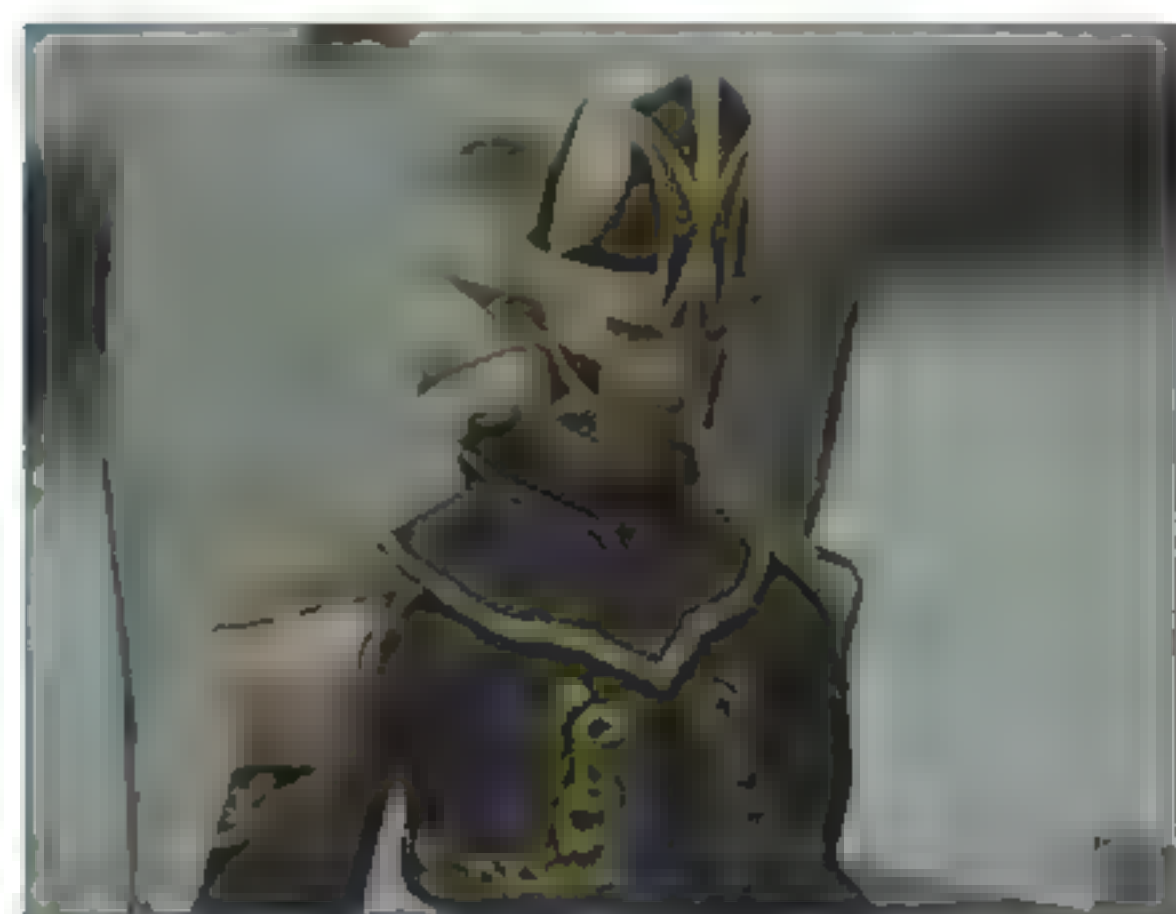
Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城、フェ・インほか

サンドリア国王デスティンの第一子。血気盛んな性格で、剣の道に打ちこみ、みずから王立騎士団を率いて外征におもむくことも多い。彼ら騎士たちの信頼も厚く、もっとも有力な王位継承者でもある。致命的に字がヘタで、「キャリオンワームのダンスのごとき筆跡」らしい。

←慎重で文人肌の弟ピエージェを頼りなく思い、顔を合わせるたびに言い争いをしてしまう。

Impressive Words

「ヴァナ・ディールの未来のために………行け、サンドリアの勇士よ!」
——ドラギーユ城：独断で闇の王復活阻止の勅命を出して

*「我こそはサンドリア第1王子、トリオン。
怒れる獅子たちの咆哮に震えあがるがいい!」*
——フェ・イン：聖剣を奪ったオークの軍団との決戦にのぞみ

敬虔なる知性派の王子

ピエージェ王子

Pieuje I d'Oraguille

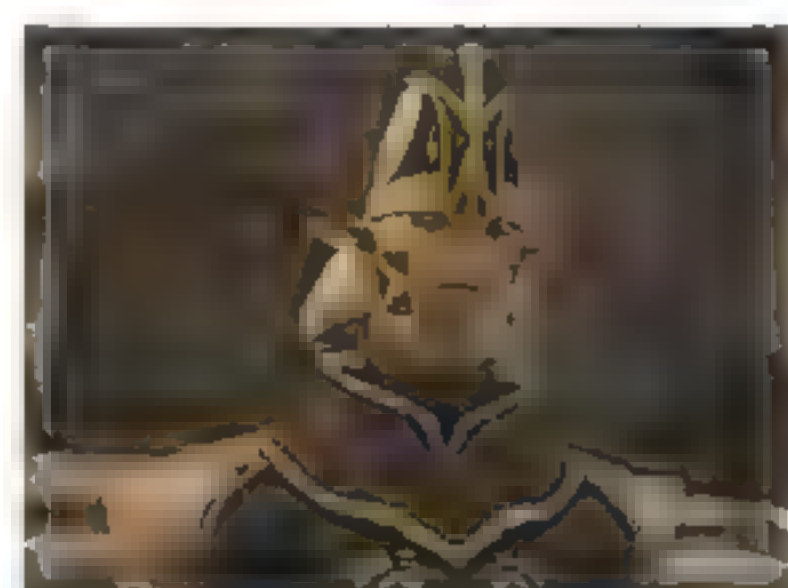
Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城、フェ・インほか

ドラギーユ王家の三兄妹の次兄。勇猛な兄トリオンとは対照的に、慎重かつ冷静で、兄妹のなかではもっとも信心深い。サンドリア国教会が出資する神殿騎士団の指揮官でもあるため、教会と深いつながりを持つ。兄との不仲が取りざたされているが……？

Impressive Words

*「たいしたものだ。そなたの働きには、みなが感謝している。
兄の暴走があったとは言うものの、な」*
——ドラギーユ城：闇の王の復活を阻止した冒険者をねぎらい

「兄上、我々はあなたを待っている。必ずや……!」
——フェ・イン：オークの軍団との決戦にのぞむ兄を見送り

←マジメな性格だが、冒険者を利用して兄トリオンとクリルラの仲を引っかきまわす一面も。

心優しく美しい王女

クレーディ王女

Claidie I d'Oraguille

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 女
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城、北サンドリアほか

トリオンとピエージェの妹。亡き王妃ローテに似て、優しく誠実な淑女で、ふたりの兄が仲たがいする様子に心を痛めている。自身の成人の儀に現れた叔父ロシュフォーニュが、ドラギーユ王家に敵対する者として追われていることに疑問を感じ、彼に行動の真意を問いただす。

←王族の一員でありながら、飾らない性格。一介の冒険者にも、誠意をもって対応する。

Impressive Words

*「冒険者として、サンドリア王国の発展に
寄与してくださることを期待しています。どうぞ頑張ってください」*
——ドラギーユ城：冒険者に怒鳴り散らすシャルヴァトをいさめて

「あの人は私たちに何かを伝えようとしている気がするのです……」
——ドラギーユ城：ロシュフォーニュの話を聞くよう兄ふたりを説得し

大戦前後の混乱を収めた賢王

デスティン国王

Destin R d'Oraguille

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

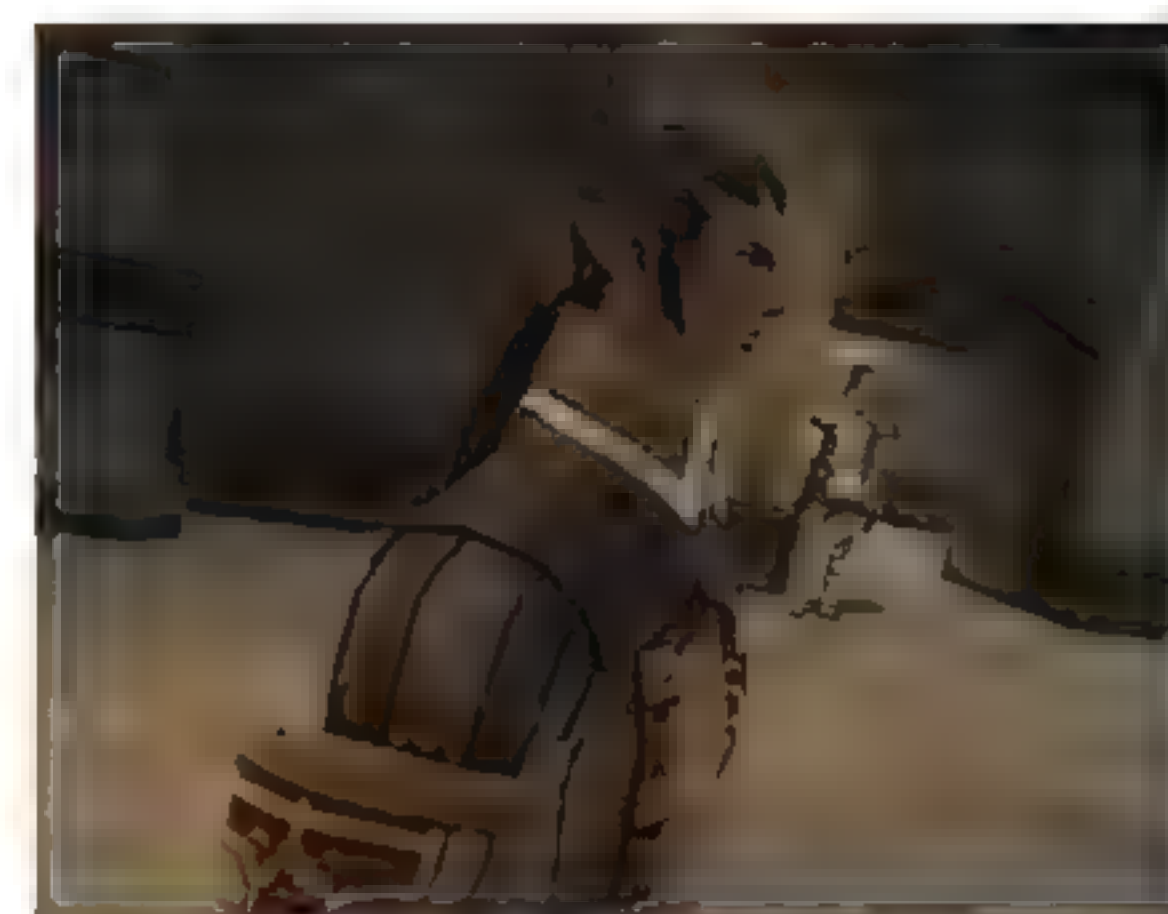
登場場所 ドラギーユ城、龍王ランペールの墓ほか

第26代サンドリア国王。天晶暦851年の即位から現在まで、水晶大戦を筆頭に数々の難局を乗り切った名君で、国家間にくすぶっていた遺恨を捨てて連合軍の結成に寄与した広い心を持つ。現在は病に伏しつつも、沈みがちな国民士気を憂い、龍王が遺した「聖剣」の探索に乗り出す。

←勇猛なトリオンと思慮深いピエージェ、どちらを後継者にするかという問題に頭を悩ませる。

Impressive Words

*「もっとも大切にしなければならないのは、我々を信じ続けてくれた民だ。
彼ら1人1人が築いた礎の上にわしらは立っておるのだからな」*
——ドラギーユ城：オークの軍団との戦いを指揮しつつ

「ハッハッハ、お前も面白い冗談を言うようになったな、ハルヴァー?」
——ドラギーユ城：トリオンの結婚相手に自分の妹を勧めるハルヴァーに

有能だが堅物な頭脳派

ハルヴァー宰相

Halver M Borel

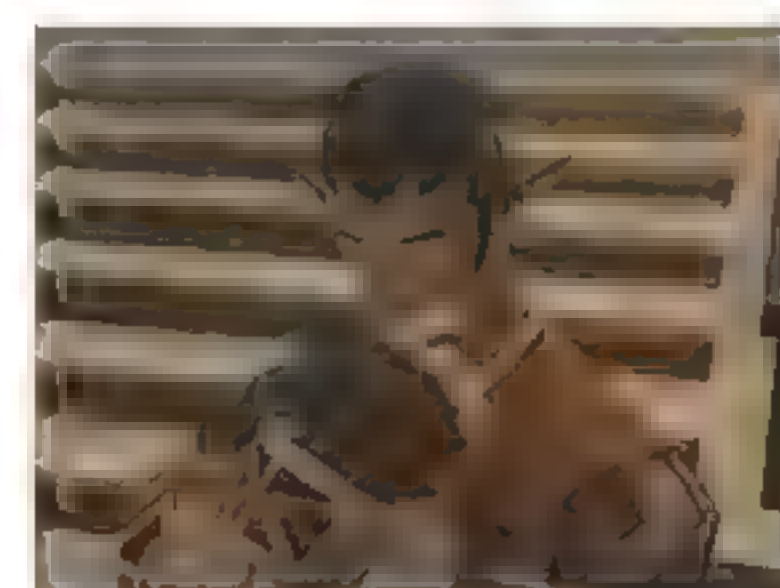
Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城、南サンドリアほか

療養中のデスティン国王にかわり、政治をつかさどるサンドリアの宰相。頭が切れ生真面目な性格だが、エルヴァーンらしく傲慢で熱しやすい一面も。国家の行くすえを心配して胃痛に悩まされながら、的確に国の舵を取っている。嫁ぎ遅れた妹がひとりいるらしい。

Impressive Words

*「おお、他国にはどう説明したものか?　サンドリアが他国の
嘲笑の的になるなど、決してあってはならぬことだ!」*
——ドラギーユ城：自国が監視する地で起こった闇の王復活のきざしを聞き

「私の妹なぞどうでしょう?　我が妹ながら器量よし、気だてよし!」
——ドラギーユ城：トリオンの花嫁候補に悩む国王に妹を推して

←意外に気さくで、庶民の家にみずから足を運ぶこともある反面、他国の者に対しては高圧的。

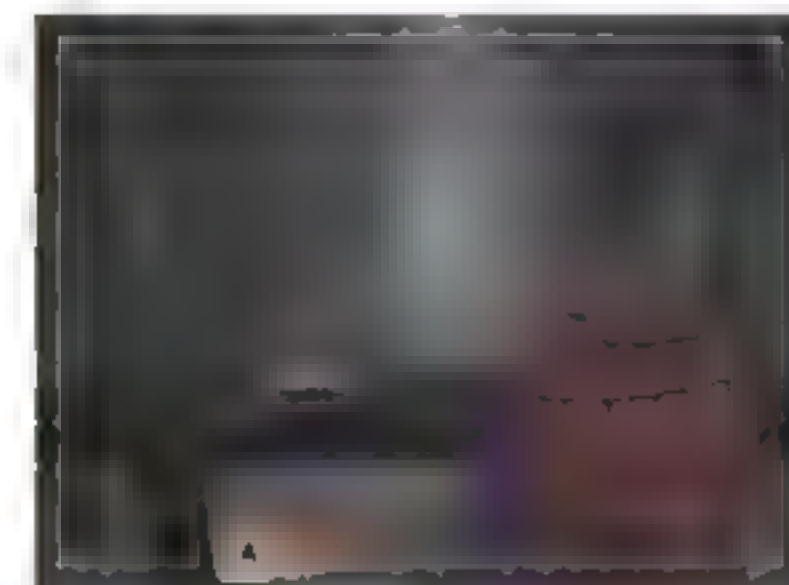
裏の顔を持つ大聖堂の主

シャマンド教皇

Shamonde P Grauche シャマンド・P・グラーシュ

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 北サンドリア、ドラギーユ城ほか

暁の女神アルタナを信仰するサンドリア国教会の最高権力者。格式や伝統を重んじるあまり、狭量な言動が目立つ。「私利私欲を捨てて神に奉仕すれば楽園へ導かれる」と説く一方で、王室とのつながりを深めており、なかでも信心深いピエージェを次期国王にしようと暗躍する。

←何かとうしろ暗いウワサがつきまとう人物。大聖堂から街を望む目に映るのは果たして？

Impressive Words

「……あの冒険者め、余計なことを……」
——北サンドリア：オークに連れ去られた子どもを救出した冒険者を遠くから見つめ

*「まったく、トリオン王子は、
物事の表と裏を考えるということを知りませんからな」*
——北サンドリア：ピエージェと語り合いつつ、トリオンを中傷して

サンドリア王国の人々

トリオンの忠実な懐刀

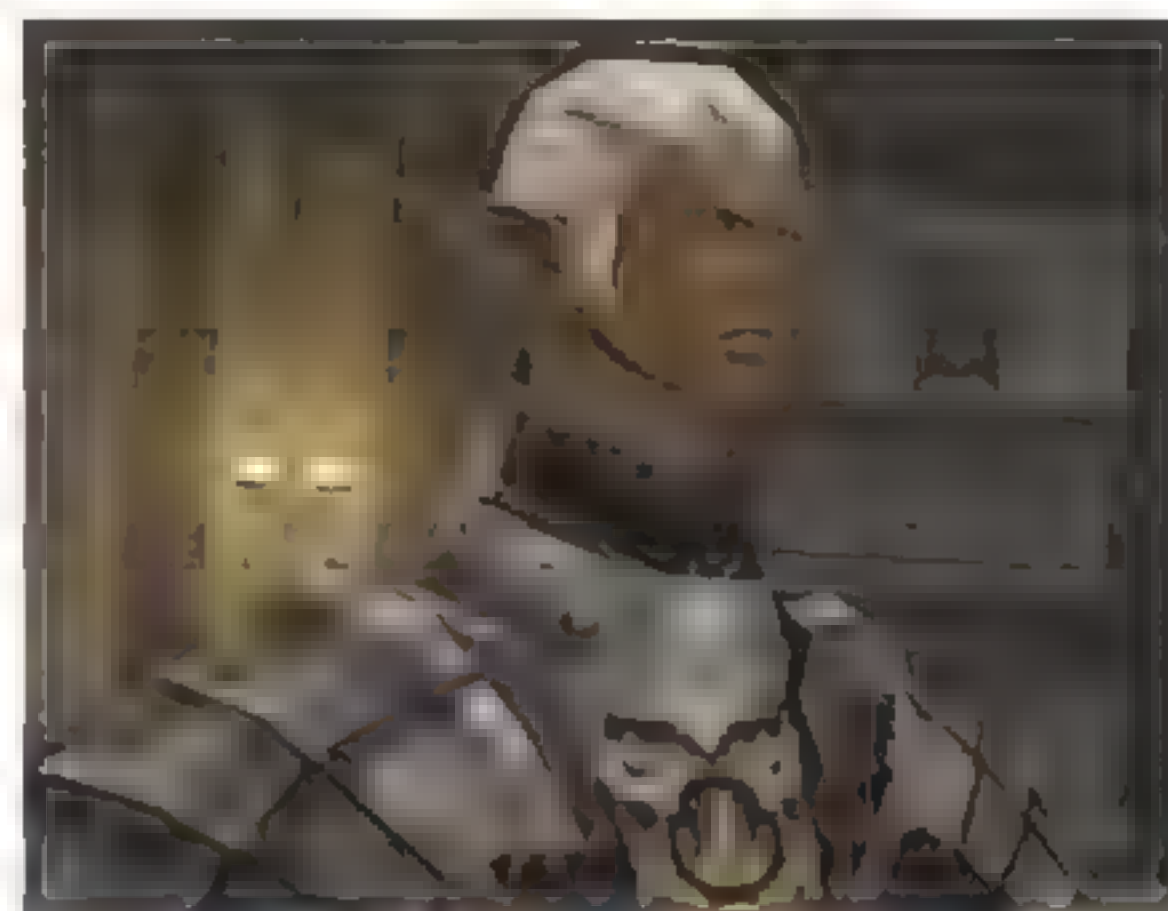
ラーアル

Rahal S Lebrart　ラーアル・S・ルブラール

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城、ゲルスバ野営陣ほか

外征を主任務とする王立騎士団の団長。幼いトリオン王子の守役を務めた実直な武人で、霊剣ドラグヴァンディルを手に、領内に居すわるオーク兵の駆逐に力を注ぐ。騎士であると同時に邪竜を狩るドラゴンスレイヤーであり、邪竜に支配されかけた友人を封印した過去を持つ。

←子爵の位を持つ気高い騎士。義に厚く情け深い一方で、必要とあらば非情に徹する。

Impressive Words

「たとえ今は罪なき竜だとしても、悪しき印を持つならば退治せねばならないのが、ドラゴンスレイヤーとしての私の使命」
——メリファト山地：新たな飛竜の誕生を目にして

「私はお前を待っていた、いつか過ちに気づき戻ってくるだろうと」
——ウガレピ寺院：解任されたうらみを口にする元副騎士団長に

王国一の剣技を誇る麗人

クリルラ

Curilla V Mecru　クリルラ・V・メクリュ

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 女
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城、北サンドリアほか

王都の治安をになう神殿騎士団の長。以前行われた王国剣術大会でトリオンを破り、王国一の剣豪として名をはせた。他人に厳しく自分にはなお厳しいが、女性らしいこまやかな配慮も見せる。じつはトリオンとの試合のさいに左目を失明しており、その薬の手配を冒険者に頼む。

Impressive Words

「暁の女神さまの教えは信じてるわ。でも、あそこの空気が、ね」
——ドラギーユ城：サンドリア国教会への違和感を口にして

「私はまた剣の稽古に戻るとします。しばし剣に集中したいので、決してお呼びにならぬよう、お願いします。……決して」
——ドラギーユ城：トリオンがほかの女性といるところを目にして

←トリオンとは互いに気になる者同士だが、ふたりとも不器用で、仲はなかなか進展しない。

敵か味方か、暗躍する貴公子

ロシュフォーニュ

Rochefogne I Tavnazia　[illegible]

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 タブナジア侯国

登場場所 ドラギーユ城、ホルレーの岩峰ほか

水晶大戦末期に滅亡したタブナジア侯爵家、唯一の生き残り。大戦時に死んだものと思われていたが、最近になってサンドリアに姿を現した。ドラギーユ家に敵対するような態度をとり、龍王の聖剣を先に得ようと奔走するが、その目的は謎に包まれている。

←大戦時に侯国を見捨てたドラギーユ家にうらみを抱きつつも、姉ローテの追憶にひたる。

Impressive Words

「俺は何としてでもドラギーユ家よりも先に聖剣を手に入れなければならない。それが我がタブナジアの歩まねばならぬ道だ」
——北サンドリア：クレーディの成人の儀に乱入して

「あなたたちはあの危険極まりない剣に対してあまりにも無知だ!」
——北サンドリア：聖剣の危険性をドラギーユ家の面々に説き

花に思いを託した貴婦人

王妃ローテ

Leaute I d'Oraguille　ローテ・I・ドラギーユ

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 女
出身地 タブナジア侯国

登場場所 ドラギーユ城

デスティンの亡き妃であり、トリオンたちの生母。タブナジア侯国の息女であったが、16歳のときデスティンに見そめられ、ドラギーユ家に嫁ぐ。聡明かつ柔和な性格から全国民に慕われたものの、15年前に亡くなった。

Impressive Words

「おまえはまた、あの惨劇を繰り返すつもりですか……」
——ドラギーユ城：ロシュフォーニュが見た幻覚にて

王城専属の口うるさい庭師

シャルヴァト

Chalvatot

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 ドラギーユ城

ドラギーユ城の草木の世話をする、頑固で口やかましい老人。代々ドラギーユ家の王妃に仕える家に生まれ、自身も亡きローテに尽くした。いまでも王妃を慕い、その墓が立つ城の庭を彼女が好んだ花で満たしている。

Impressive Words

「貴様、姫様に優しいお言葉を頂いたからといって、調子に乗らんことだな」
——ドラギーユ城：クレーディが去ったあと冒険者にクギを刺して

ロシュフォーニュの謎多き協力者

ヴォーダラム

Vauderame

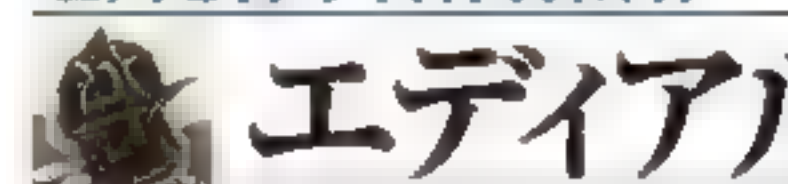
Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 タブナジア侯国

登場場所 ジュノ下層、ホルレーの岩峰ほか

"竜胆のヴォーダラム"の名を持つ盗賊。秘密組織「天晶堂」の一員であり、ロシュフォーニュの配下でもある。大戦前に名をはせた「アタルフォーネ盗賊団」のメンバーで、祖国タブナジアの復活を目指し暗躍中。

Impressive Words

「……どこぞの冒険者相手に滅多なことを言うな、ロシュフォーニュ」
——龍王ランペールの墓：聖剣のことを冒険者にもらすロシュフォーニュに

聖剣を探す自称冒険者

エディアルク

Eideiaic

登場場所 ホルレーの岩峰、バタリア丘陵

龍王ランペールの至宝「聖剣」を追う、サンドリアの冒険者。フルフェイスの兜をかぶっており、その素顔をうかがうことはできない。本人は、国からの依頼で聖剣の調査をしていると言うが……？

Impressive Words

「失礼、紹介が遅れた。私はあなたと同じ冒険者、エディアルク」
——ホルレーの岩峰：獣人兵器を破壊した冒険者に声をかけて

サンドリアを再統一した英雄

龍王ランペール

Ranpeerre R d'Oraguille　ランペール・R・ドラギーユ

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 龍王ランペールの墓

第24代サンドリア国王であり、100年にもおよんだサンドリアの二王朝時代を終結させた英雄。王国再統一後は、黒龍ヴリトラをみずから討伐するなど武名をとどろかせる一方、国内の調和に身を捧げた慈愛の王でもあった。

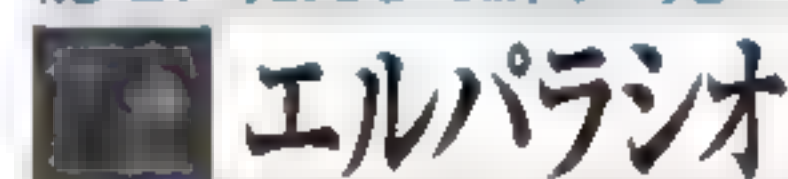
Impressive Words

「我らが国に灯る儚き、しかしそれがゆえに美しき光を絶やさないでくれ」
——龍王ランペールの墓：己の子孫たちに言い残して

龍王に仕えし"王国の兜"

エルパラシオン

Erpalacion B Chanoix　エルパラシオン・B・シャノア

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 龍王ランペールの墓、ウガレピ寺院

ランペール王時代の王立騎士団長。王の右腕として数々の武勲を立てたが、祖国の統一後まもなく、任務中に突然姿を消した。彼を最後に一度竜騎士の流儀が途絶えたため、"ラストドラグーン"とも呼ばれる。

Impressive Words

「生きるんだ、力強く……。お前の生はお前だけのものじゃないのだから」
——ウガレピ寺院：冒険者が連れた飛竜を抱きしめ

過去にしばられた銃士筆頭

フォルカー

Volker

Personal Data	
種族	ヒューム
性別	男
出身地	バストゥーク共和国

登場場所 大工房、王の間ほか

バストゥーク大統領が選任する精鋭「ミスリル銃士隊」の隊長。20年前の大戦において、闇の王を討った英雄とされる。部下からの信頼が厚く、堅実に任務をこなす姿は評価が高い。しかし、自身は亡くなった叔父ウルリッヒの暗いウワサにうしろめたさを感じ、葛藤の日々を送る。

←実際に闇の王を討伐したのはザイドだが、国内の事情からフォルカーの手柄とされた。

Impressive Words

「今の隊長の座には奴がつくべきだったのだ……」
――大工房：北の地でザイドを目撃した冒険者に

「ミスリル銃士となり、その隊長にもなったが、待っていたのは この真実か!? そしてその真実も隠されるような薄っぺらい信頼か!?」
――大工房：叔父ウルリッヒの罪を知って取り乱し

業と悲しみを背負う最強の暗黒騎士

ザイド

Zeid(War Crowd)

Personal Data	
種族	ガルカ
性別	男
出身地	バストゥーク共和国

登場場所 ベドー、王の間ほか

ミスリル銃士隊のNo.2にして、ガルカに伝わる「暗黒剣」当代随一の使い手。闇の王を討ち取り大戦を終結させた当人であるが、手柄をフォルカーにゆずり、それを伏せたまま国を出た。闇の王の残党である闇の血族を狩る一方で、冒険者たちに暗黒剣の流儀を伝えている。

Impressive Words

「おまえの刃は黒く輝いているか?」
――ベドー：暗黒騎士の先達として冒険者に問いかけ

「奴の憑き物を落とさねば、闇の血族の骸をいくら重ねようとも、 バストゥークを覆う闇を晴らすことはできん……」
――王の間：祖国のための人柱となるべく冒険者に刃を向けて

←祖国の未来を憂うがゆえに放浪するザイド。だが、過去にしばられるフォルカーを見かねて……。

実直なガルカ銃士

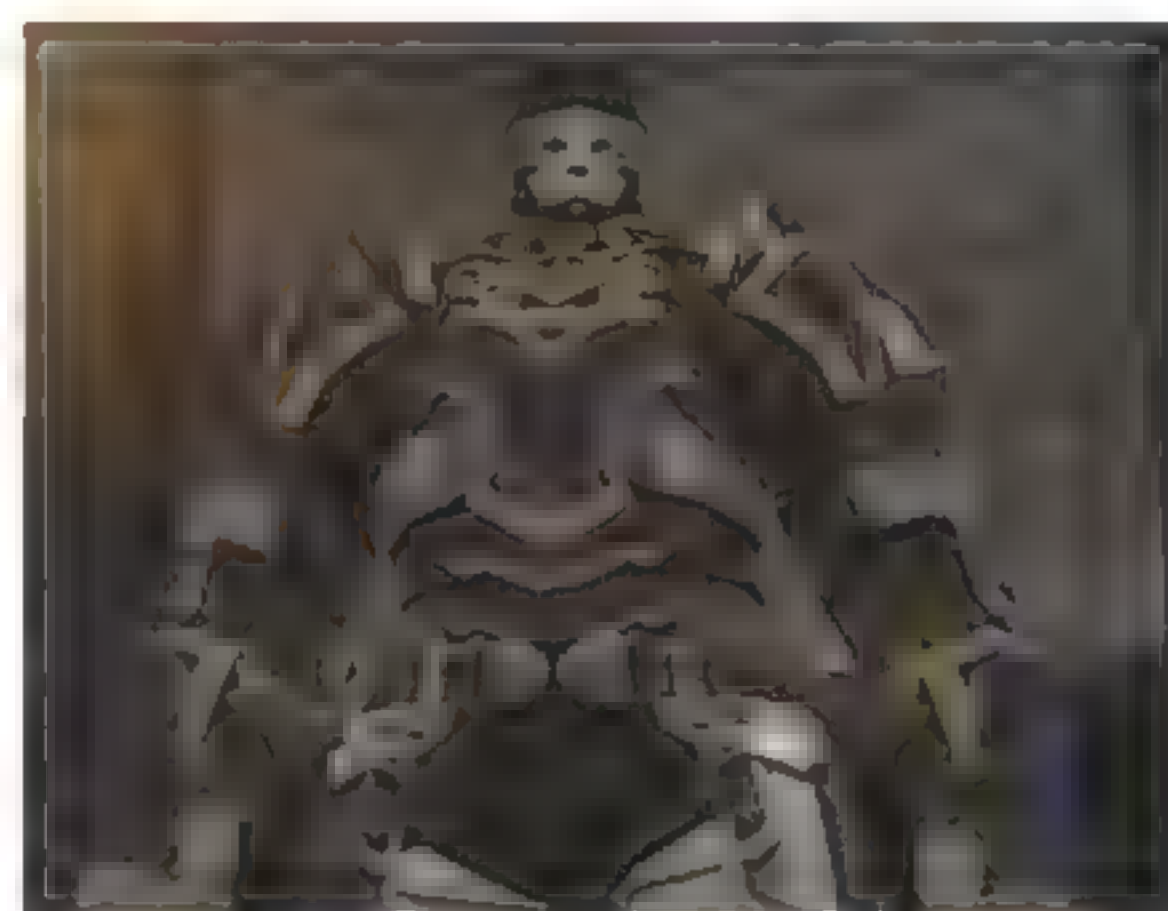
アイアンイーター

Iron Eater

Personal Data	
種族	ガルカ
性別	男
出身地	バストゥーク共和国

登場場所 大工房

ザイドの不在を支えるミスリル銃士隊のNo.3。ガルカの高名な剣士ウェライに師事し、のちに師にさとされて両手斧の才を開花させた。生真面目な軍人気質の持ち主だが、物事の本質を見極める静かな瞳を備える。立場上、ヒュームとガルカのあいだで板ばさみになることが多い。

←ヒュームからさげすまれ、同族から裏切り者となじられ――それでも彼は国を支えようとする。

Impressive Words

「バストゥークに君が貢献してくれていることには 違いないと信じるよ。……そして私自身もね」
――大工房：利己的な大臣の様子を見て

「今はガルカの歴史の転換点にあると考えているのだろう……」
――大工房：放浪するザイドに思いをはせて

若くして銃士となった女侍

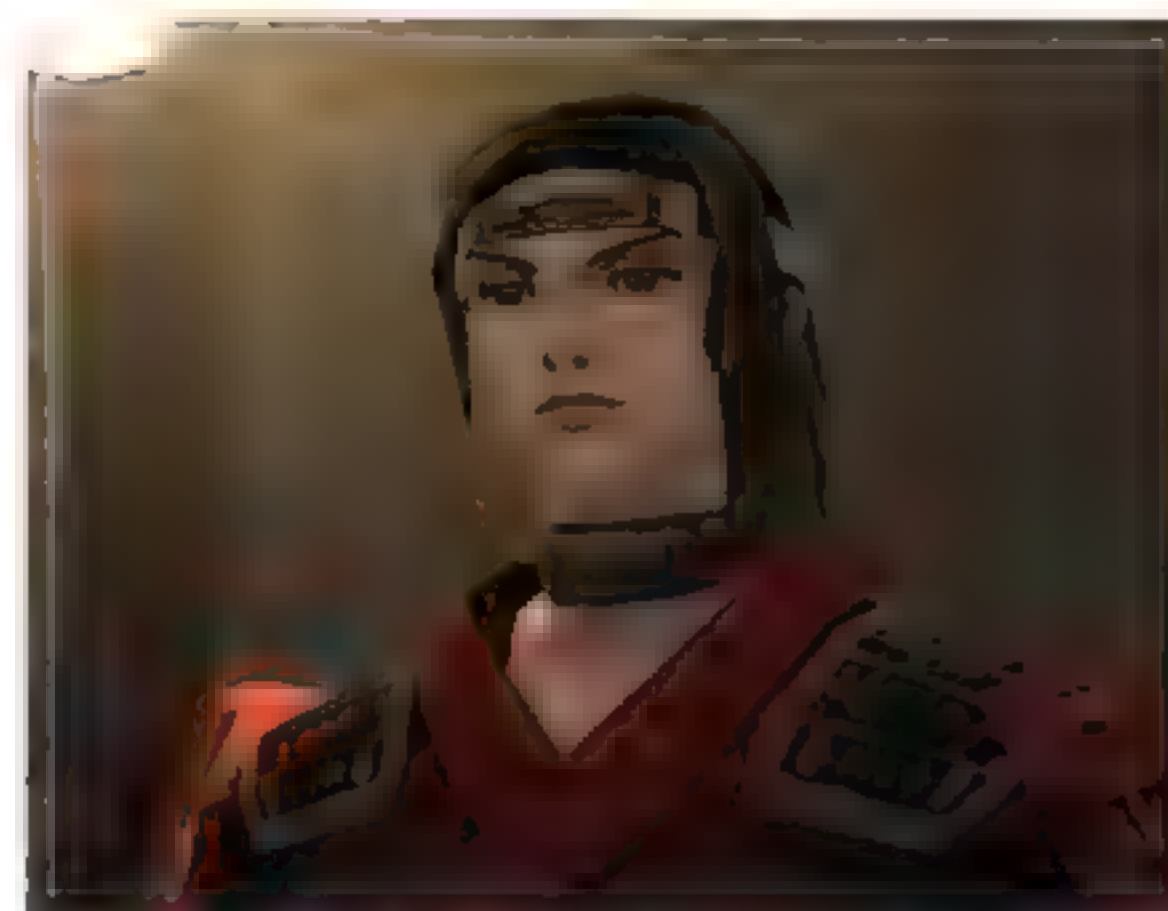
アヤメ

Ayame

Personal Data	
種族	ヒューム
性別	女
出身地	バストゥーク共和国

登場場所 大工房、ワールンの祠ほか

史上最年少でミスリル銃士に抜擢された、隊のNo.4。東方とつながりを持つノーグで修行し、武の道を修めた侍でもある。歳のわりに沈着冷静で、どんな事態にも落ち着いた態度で当たるため、重要な任務に就くことが同期のナジよりも多い。「刀は抜かぬためにある」が信条。

←同じく最年少で隊に入ったナジとはいいコンビ。冷静なアヤメも、彼には気安い態度を見せる。

Impressive Words

「刀は抜かぬためにある。銃は撃たぬためにある。 それが、父や母より受け継いだ私の信念です」
――ノーグ：己の信念をギルガメッシュに語って

「先輩に口答えするものじゃないわよ。No.5のナジ君」
――大工房：失態の言い訳をするナジに

共和国でもっとも有名な門番

ナジ

Naji

Personal Data	
種族	ヒューム
性別	男
出身地	バストゥーク共和国

登場場所 大工房、クフィム島ほか

アヤメと同期で入隊した、ミスリル銃士隊のNo.5。あこがれの銃士になったが、軽い言動やおっちょこちょいなところが災いしてか、任務はもっぱら大統領府の門番などの雑務ばかり。何かにつけてアヤメとくらべられるため、彼女に対してライバル心を燃やす。

Impressive Words

「まったく……人を門番門番っていっつもバカにして……」
――大工房：祖母の伝言を冒険者から聞いて

「最近、アヤメの奴、何か変だと思うんだよ。どうも、 やる気がないっつうか……。なんていうか、限界を感じ始めてる気がするんだ」
――大工房：アヤメが銃士を辞めるのではと心配して

←ナジの仕事と言えば門番。他国の者から「バストゥークを代表する門番」と言われるほどだ。

魔法にも長けた冷静な役人

ルシウス補佐官

Lucius

Personal Data	
種族	ヒューム
性別	男
出身地	バストゥーク共和国

登場場所 大工房

バストゥークの内政全般を担当する大統領補佐官。カルスト大統領の腹心であり有能な官吏だが、初ミッションをこなした新米冒険者にねぎらいの言葉をかけるなど、温かい面を持つ。直情径行で誤解されがちなカルストを支え、公務を円滑に進めるべく尽力する。

←個人で研究するほど魔法の知識が深く、バストゥークに魔法技術を定着させた功労者でもある。

Impressive Words

「これからもよろしく頼む。バストゥークはまだまだ人材を必要としている」
――大工房：ミッションを果たした冒険者を激励して

「そうだ! そう言えばまだ聞かせて頂いてませんよ。 工房長がプレジデントを推薦なさった理由」
――大工房：シドにカルストを大統領に推した理由を無邪気に尋ねて

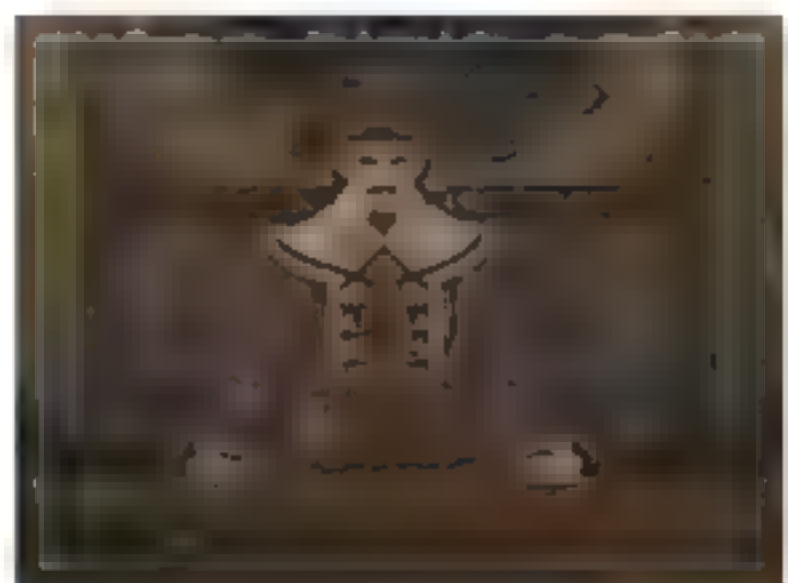
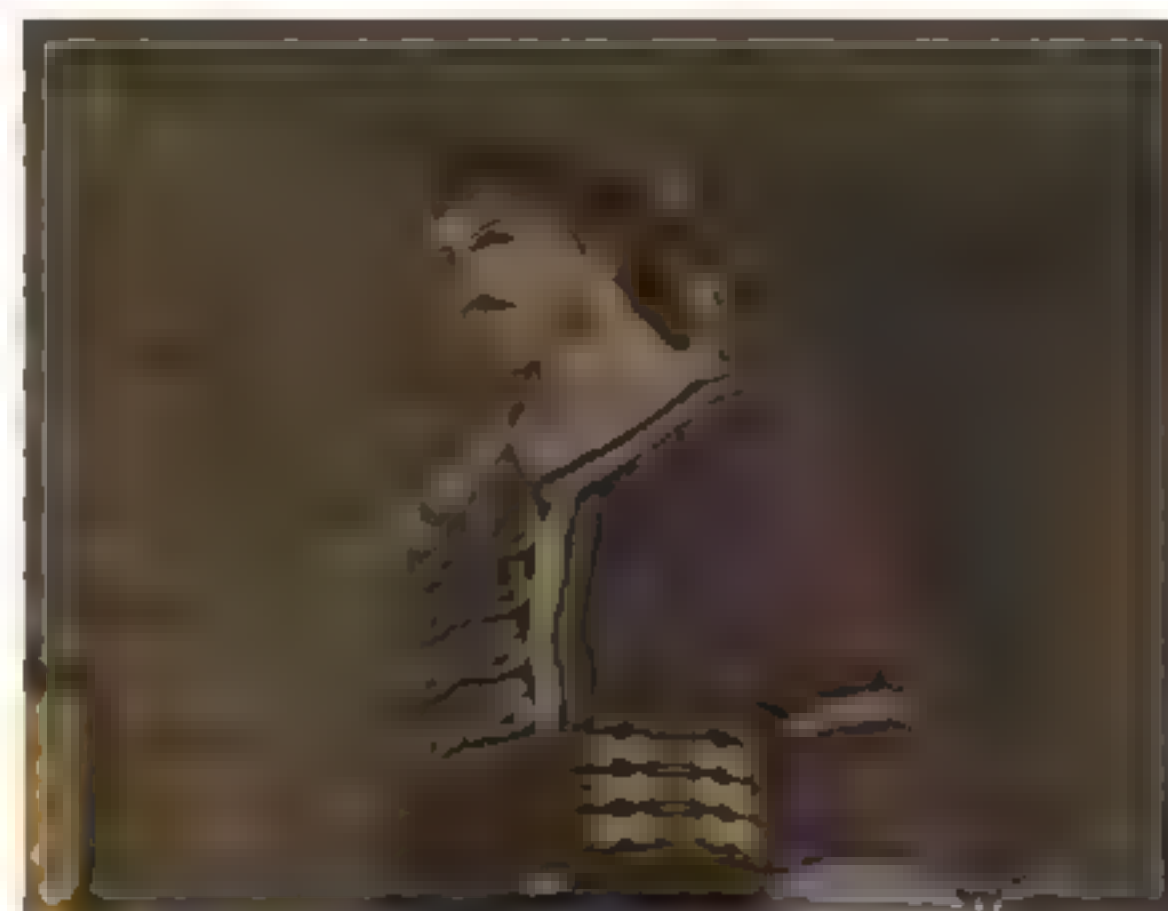
口は悪いが人情味あふれる大統領

カルスト

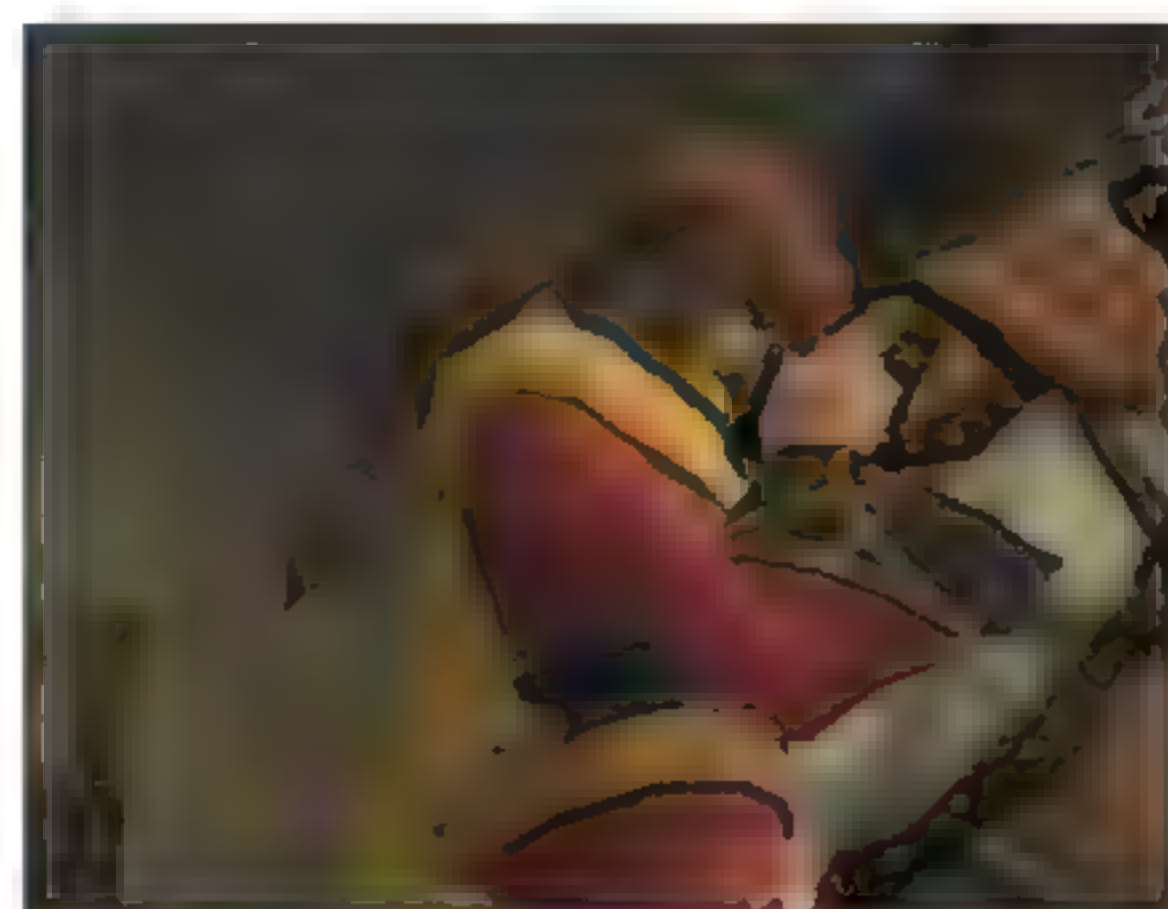
Richter Karst

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 大工房

バストゥーク共和国の現大統領。官僚として大統領府で働いていたが、2年前に工房長シドの推薦で大統領に就任した。堅い信念を持つ実利主義者で、口が悪いことも手伝って評判はあまりよろしくない。しかし、それは自身の優しさや情を素直に表せない不器用さのためである。

←"大統領閣下"と呼ばれるのが嫌いらしく、"プレジデント"と呼ばないと不機嫌になる。

Impressive Words

「本当の目的は他国の内実調査と、おまえのような人員の育成」
――大工房：他国へ冒険者を派遣する理由を問われて

*「利己的でかまわん。自分の利益のためにミッションをこなしてくれ。
その重圧に苦しむのは、どこぞの大統領や隊長の仕事だ」*
――大工房：闇の王復活の阻止に向かう冒険者を気づかい

ヒュームとガルカの融和に身を捧げる少女

コーネリア

Cornelia Karst

Personal Data
種族 ヒューム
性別 女
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 大工房、バストゥーク鉱山区ほか

カルストのひとり娘。名前は「誰からも愛された銃士」コーネリアから取られた。対立するヒュームとガルカの架け橋になろうと、鉱山区のガルカ居住地に出入りしている。思いこみが激しく、正義感が強くて潔癖な性分ゆえ、成果のために手段を選ばぬ父とはケンカが絶えない。

Impressive Words

「少しでもヒュームとガルカの壁を取り除ければな、って思うのだけど……」
――バストゥーク鉱山区：冒険者に自分の考えを話して

*「ねえ、お父様……。やっぱり……自分の力で何かできるなんて
思い上がりなのかな？　結局偽善でしか、ないのかな……」*
――大工房："大統領の娘"としての自分を隠してきたことを振り返り

←身分を隠し一個人として種族融和を目指す。カラまわりしていることに気づき、落ちこむ場面も。

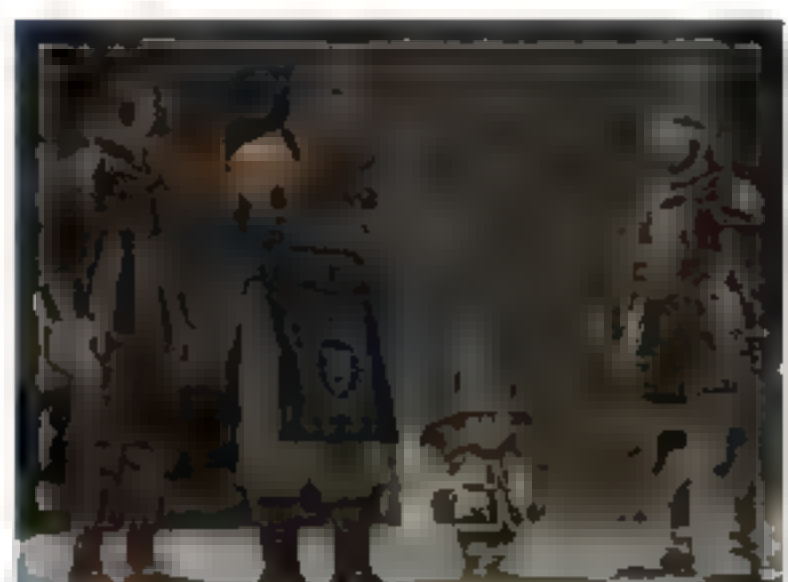
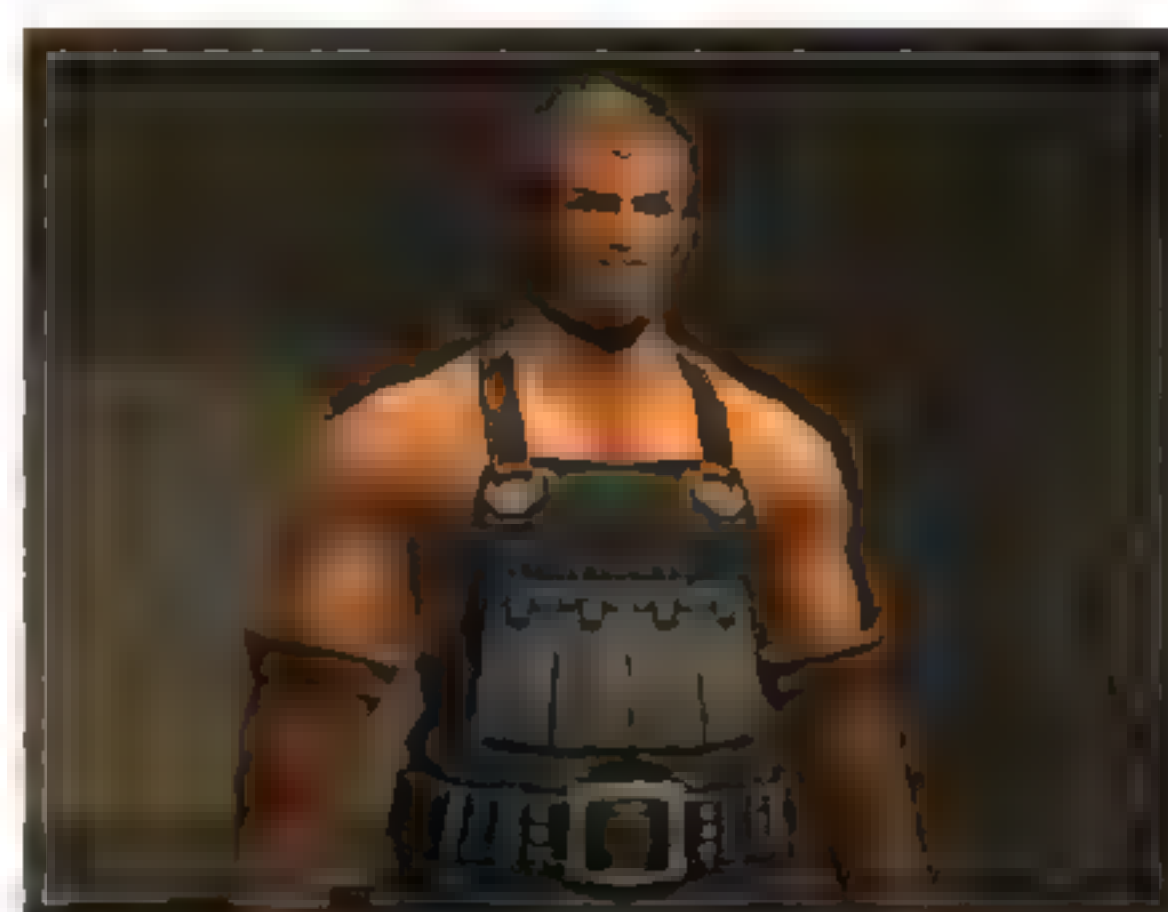
バストゥーク発展の最大の功労者

シド工房長

Cid

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 大工房

バストゥークの大工房を取りしきる工房長。機械動力で航行する「機船」を完成させて以来、数多くの発明や研究で国の発展に寄与してきた。大戦時には、飛空艇の開発にたずさわり、砲術隊をみずから率いた英雄でもある。研究者肌だが、身分を問わず人と接する開けっぴろげな性格。

←共和国の最重要人物で、国政への発言力も大きい。カルストを大統領に推薦したのもシドだ。

Impressive Words

*「少なくともこいつの政治屋としての技術は信用できると思ったよ。
技術屋の勘さ。それに……あいつ、わかりやすいだろ？」*
――大工房：カルストを推薦した理由をルシウスに問われて

「相変わらず素直になれぬ奴じゃのう……」
――大工房：「気分が悪い」と言いつつも上機嫌のカルストを見送り

その身に秘密を宿したイタズラ小僧

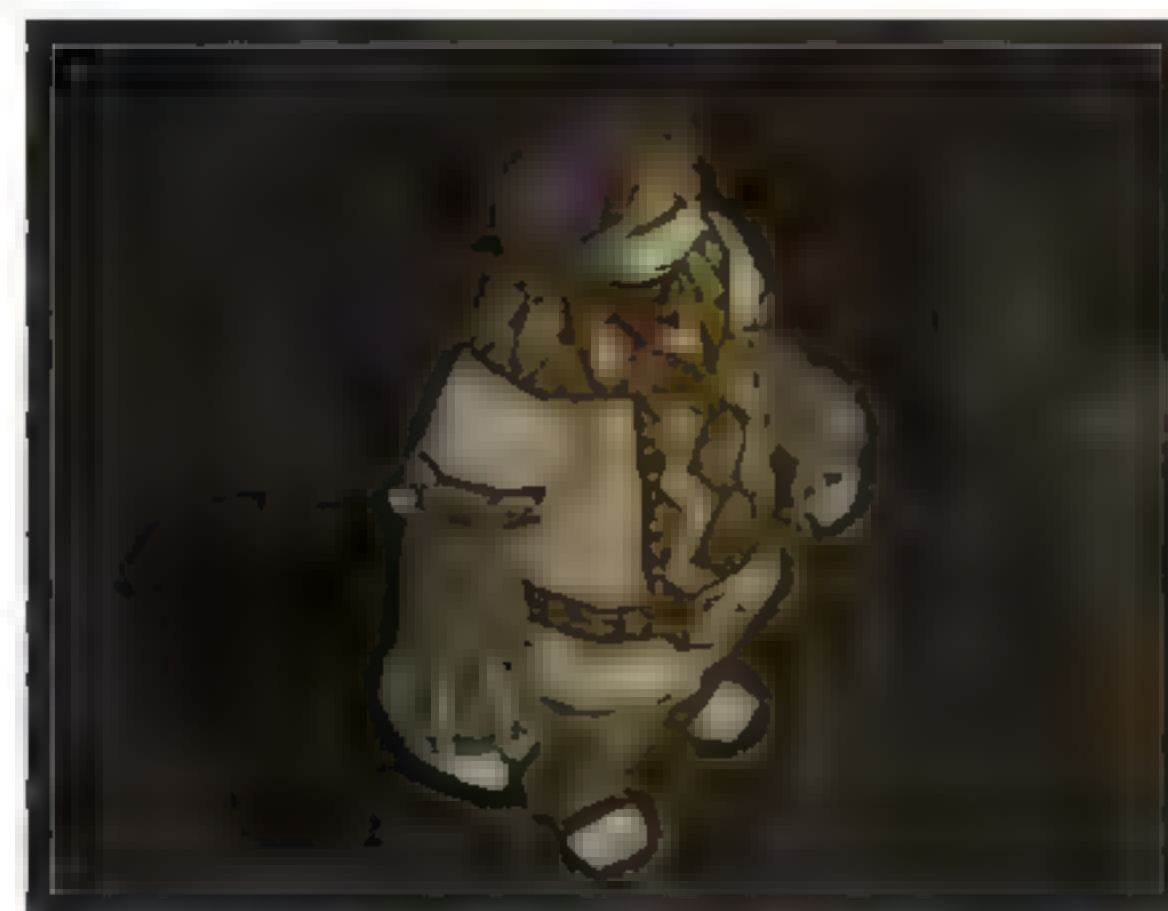
グンパ

Gumbah

Personal Data
種族 ガルカ
性別 男
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 バストゥーク鉱山区

鉱山区に住むガルカの子ども。生意気でイタズラ好きだが、妙に博識で大人びたところがある。じつは、一族の記憶を受け継ぐ「語り部」。その正体を隠して過ごしてきたものの、一緒に暮らしていたガルカの古老ウェライが転生の旅に出て以来、自身の秘めた役割に悩みはじめる。

←転生前の記憶を持つため、自分が生まれる前の出来事や、ガルカの伝承にもくわしい。

Impressive Words

「後に残る人たちのことが心配だったんだろうな」
――バストゥーク鉱山区：転生の旅に出たウェライを思い出し

*「ガルカの民に問う！
我々は、語り部がいなければ記憶を紡ぐことのできない種であったのか!?」*
――バストゥーク鉱山区：己の役目を受け入れる覚悟を固めて

ガルカの心の拠りどころだった古老

ウェライ

Werei

Personal Data
種族 ガルカ
性別 男
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 グンパの回想、アイアンイーターの回想

かつては剣豪として名をはせた、バストゥークに住むガルカの最長老。ガルカの指導者である「語り部」ラオグリムを30年前に失ってからは、一族の心の支えとなっていた。しかし、みずからの死期が近いことを悟り、転生するべく姿を消してしまう。

Impressive Words

「己の道は己が拓け。おまえに教えることは、もう……ない」
――アイアンイーターの回想：アイアンイーターに師として言葉を贈り

*「けれどこれだけは言わせてくれ。おまえは、迷っているはずだ。
自分にしかできないことがあるのではないか、と」*
――グンパ宛の手紙より：最後に伝えるべきことを手紙に託して

←若いころは剣の達人として名高かった。まだ未熟であったザイドを破ったこともある。

新たな語り部を自称する主従

ポーヴァル&ガブット

Povall & Gabbot

登場場所 バストゥーク鉱山区

200年の記憶を継いだ語り部を名乗るポーヴァルと、彼の従者ガブットのガルカ二人組。実際には真っ赤なニセモノで、ウェライを失った一族の弱みにつけこんで甘い汁を吸おうとした。アイアンイーターの依頼を受けた冒険者により、そのたくらみを見破られて追放される。

←新たな語り部の降臨を触れまわるガブット。半信半疑ながら、ガルカの多くは彼らに従う。

Impressive Words

ポーヴァル「汝、語り部の記憶を疑うなかれ」
――バストゥーク鉱山区：本物の語り部なのかと疑うガルカたちに

*ガブット「もう先代のラオグリム様や暗黒騎士ザイドや
長老ウェライの行方を捜す必要はないのだ」*
――バストゥーク鉱山区：自分たちに従うようガルカたちに告げて

ウィンダスの未来を憂う若き大魔道士

アジドマルジド

Ajido-Marujido

Personal Data
- 種族 タルタル
- 性別 男
- 出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ウィンダス石の区、ホルトト遺跡ほか

ウィンダス五院のひとつ、口の院の現院長。英雄カラハバルハにあこがれて猛勉強し、師であるシャントット前院長のシゴキにも耐え、学校卒業と同時に院長に就任した。ウィンダスに忍び寄る危機をいち早く察知して行動を起こすが、急進的すぎるため危険分子と見なされている。

←意志が強くて遠慮がない性格。思いこんだら誰にも止められないのは、師匠ゆずりかも？

Impressive Words

「ここは、タルタル。キミは、ウィンダス」
——ウィンダス水の区：「ここはどこ?」と尋ねる新米冒険者を茶化し

「何もしようとはしないのか？　何も感じないのか？
俺は、やりとげてみせる。この国を、ウィンダスを、恐怖から救ってやる!」
——天の塔：力を失った「神々の書」をセミ・ラフィーナに示して

心配症でお節介焼きな手の院院長

アプルル

Apururu

Personal Data
- 種族 タルタル
- 性別 女
- 出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ウィンダス森の区、ホルトト遺跡ほか

魔法の人形兵「カーディアン」の製造をになう手の院の院長。アジドマルジドの妹でもある。五院のなかでもとくに財政難に苦しむ手の院を立て直すのに奔走する一方、暴走しがちな兄のせいで気苦労が絶えない。カーディアンの反乱の原因となった父の、汚名を晴らそうと奮闘する。

Impressive Words

「おにいちゃんみたいなニセニセ天才には、ぜ〜ったい無理よ!」
——内ホルトト遺跡：事を急ぎすぎる兄に反対して

「ひどいです、神子さま。おにいちゃんは、ワカラズヤでバカでトンマだけど
私には、たったひとりのおにいちゃんなんです!」
——天の塔：危険分子として捕らえられた兄の釈放を星の神子に直談判して

←父ゾンパジッパが開発したカーディアンを我が子のように思い、温かく成長を見守る。

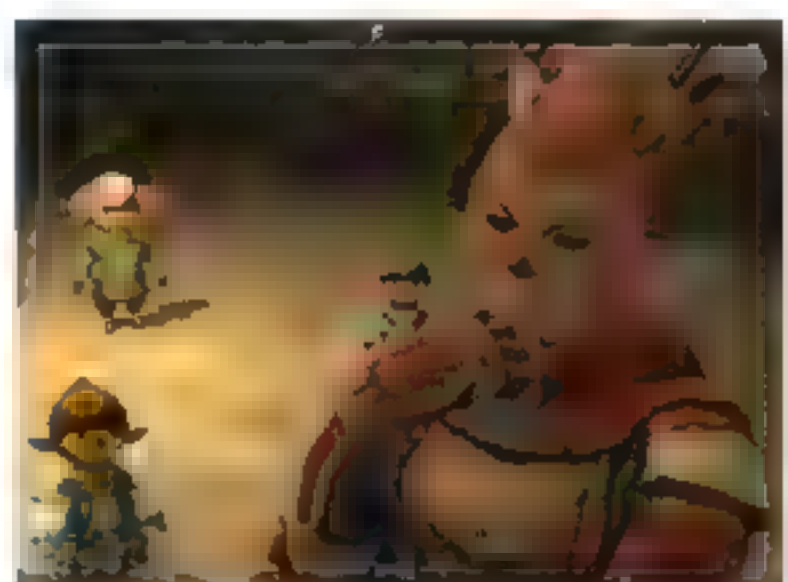
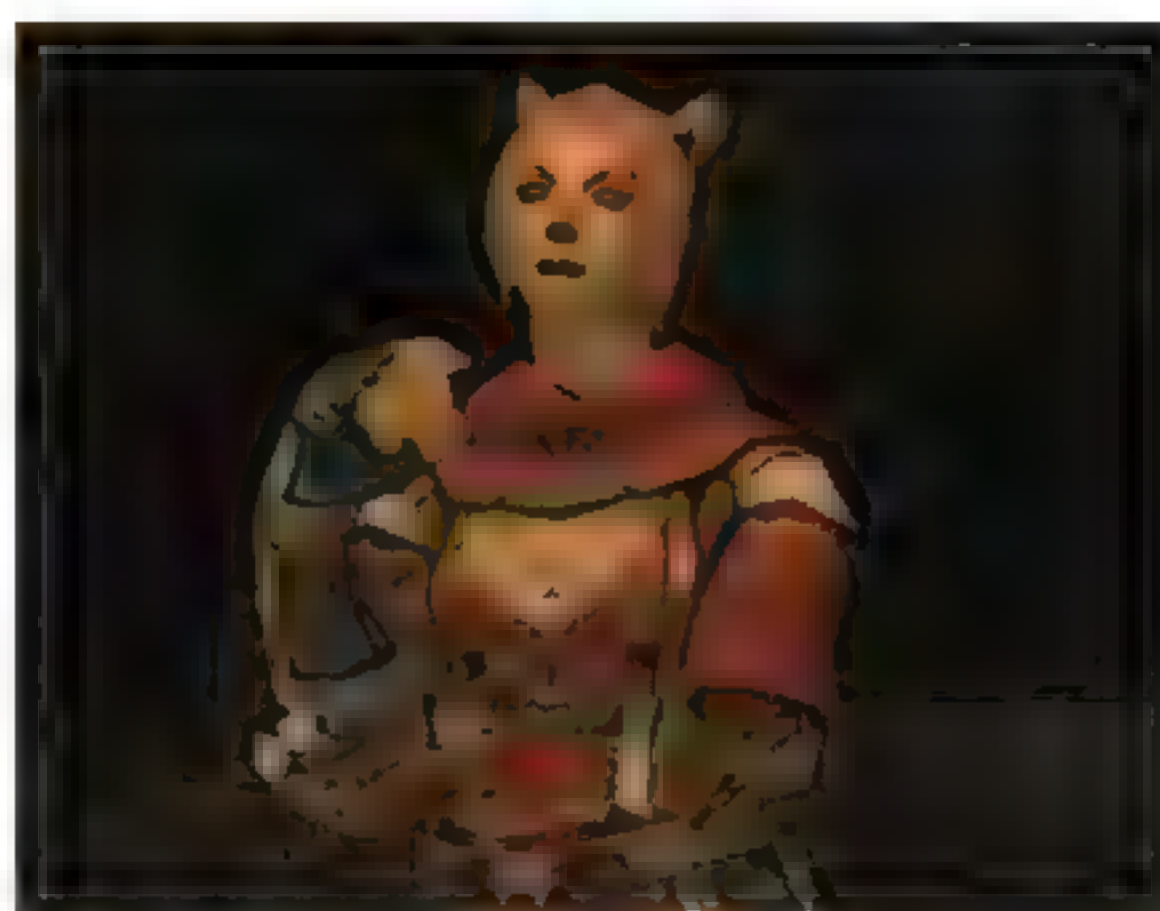
ウィンダスを根城にする泥棒ミスラ

ナナー・ミーゴ

Nanaa Mihgo

Personal Data
- 種族 ミスラ
- 性別 女
- 出身地 カザム

登場場所 ウィンダス森の区、ホルトト遺跡ほか

トレジャーハンターを自称するミスラのシーフ。子分のミスラふたりとともに盗みを働いて生活していることから、「泥棒ミスラ」と呼ばれる。国の重要機密を盗み出したかと思えば、街の子どもたちに出し抜かれることもあるなど、スゴ腕なのかどうかは判断に悩むところ。

←ウィンダス森の区を根城に活動している。語尾を伸ばした、甘ったるい口調が特徴的。

Impressive Words

「あなた、なぁにぃ?　あたしと仲良くなりたいのぉ?」
——ウィンダス森の区：根城を訪れた冒険者に"あいさつ"を要求して

「さぁ、そうとわかったら、このナナー・ミーゴさまも、
仲間に入れてもらってちょっとはおいしい汁を吸わせてもらわなきゃあ」
——ウィンダス森の区：自分に依頼を寄せたヴォーダラムに裏があると見抜き

星月を読む"女神の生まれ変わり"

星の神子

Star Sibyl

Personal Data
- 種族 タルタル
- 性別 女
- 出身地 ウィンダス連邦

登場場所 天の塔、トライマライ水路ほか

連邦を導く最高指導者。ウィンダス石の区にそびえる天の塔に暮らし、星々を映す天文泉から未来を読んで、国の行くすえを定めることを務めとする。当代の星の神子は、水晶大戦時から現在に至るまで国を導いてきたが、最近では、とくに外交面において弱腰な姿勢が目立つ。

←代々の星の神子は女神アルタナの生まれ変わりとされているため、在職中は個人名を持たない。

Impressive Words

「どこの空の下にいようと、私は、あなたという輝ける星を見守っています」
——天の塔：ジュノ大使館へ赴任する冒険者を激励して

「星々よ……教えて……。私はどうしたらいいの……。
教えて……カラハバルハ……。……私を助けて……カラハバルハ……」
——魔晶石が見せた幻影：内に秘めた恐れを吐露して

命を賭して戦火から国を救った英雄

カラハバルハ

Karaha-Baruha

Personal Data
- 種族 タルタル
- 性別 男
- 出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ？

先代の目の院院長にして、召喚魔法を編み出した希代の天才。大戦のさなか、首都ウィンダスがヤグード教団軍に攻めこまれたとき、星月の守護獣フェンリルを召喚。たったひとりで教団軍を撃退したものの、自身は命を落とした。星の神子とは特別な関係にあったらしい。

Impressive Words

「ええ、この魔法は召喚と名づけたいと思っています」
——？：新たに編み出した魔法を星の神子に説明して

「星の神子さま。私を信じてください。
必ず、ウィンダスは滅びの運命から逃れることが出来るはずです」
——？：気弱になる星の神子を励まし

←古くより伝わる「神々の書」から、偉大なる獣を従える「召喚」の技法を作り上げた。

星の神子に仕えるミスラの戦士

セミ・ラフィーナ

Semih Lafihna

Personal Data
- 種族 ミスラ
- 性別 女
- 出身地 カザム

登場場所 天の塔、バルガの舞台ほか

星の神子を護衛する守護戦士のリーダー。類まれな弓の腕を持ち、ウィンダスに住むミスラの次期族長とも目される。生真面目で職務に忠実な反面、視野がせまくなりやすい。何事も星の神子を中心にして考えがちで、神子の心の平穏を乱すアジドマルジドを警戒している。

←守護戦士は孤児となったミスラで構成される。セミ・ラフィーナも孤児で、母の名も知らない。

Impressive Words

「彼がなにをつかみ、何をしようと企んでいるのか、私に報告しなさい。
ウィンダスの平和を壊す者は、だれであろうと許さない……」
——天の塔：アジドマルジドの監視を冒険者に依頼して

「それに……私の過去を……。なぜ、誰も知らない?」
——ウィンダス森の区：自身の出生についての疑問をペリィ・ヴァシャイにぶつけて

ウィンダス連邦の人々

最強にして最悪の淑女

シャントット

Shantotto

Personal Data
種族 タルタル
性別 女
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ウィンダス石の区、天の塔ほか

ウィンダス政府「元老院」の首席であり、国が誇る"三博士"のひとり。その気位はユタンガ火山より高く、気性はグスタベルグ山脈よりも荒けずりと評される。比類なき魔力を持つ英雄だが、現在は引退して、石の区の自宅で悠々自適に暮らす。結婚し忘れたことが唯一の心残り。

←一見お上品なご婦人だが、実態は傍若無人そのもので、訪れる冒険者に無理難題を吹っかける。

Impressive Words

「あら！　わたくし、ブチ切れますわよ」
——ウィンダス石の区：冒険者に身がわりになるよう迫るが断られ

*「オホホホ！　でも、想像すると血が騒ぎますことね！
よござんす、その提案を支持いたしますわ」*
——ル・ルデの庭：新コンフリクト「ブレンナー」の開催に同意して

魔法学校の夢見がちな校長先生

コルモル

Koru-Moru

Personal Data
種族 タルタル
性別 男
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ウィンダス石の区、天の塔ほか

ウィンダスの魔法学校である耳の院の元院長で、三博士のひとり。すでに引退しているが、現院長セーダルゴジャルが行方をくらましたため、臨時で校長を務める。ロマンティストの夢想家なうえ、マイペースな性格。恋多き男で、現在はモジジちゃんという女の子と文通している。

Impressive Words

*「うう……、なにか用か……？　ワシは今、闇の王と死闘を繰り広げ、
助けた姫からあっつあつのチュ〜〜〜を……」*
——ウィンダス石の区：訪れた冒険者に寝ぼけて夢の内容を話し

（あのとき、出会ったラススちゃん……。かわいい研究者であった）
——天の塔：クリスタル戦争時の出来事を回想して

←いつも自宅で居眠りしているが、これでも三博士。シャントットたちとは学生時代の同窓だ。

几帳面なマンドラゴラ研究家

ヨランオラン

Yoran-Oran

Personal Data
種族 タルタル
性別 男
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ウィンダス石の区、天の塔

鼻の院の元院長にして、シャントットやコルモルと並ぶ三博士のひとり。博士のなかでは良識派で知られるが、几帳面な性格が災いして、ムチャクチャをしでかすシャントットたちの尻ぬぐいをさせられることが多い。また、モンスターのマンドラゴラを研究する大家でもある。

←ふたりの博士とはちがって、理論を重視。もっとも、その理論がまともかどうかは……。

Impressive Words

*「行き当たりばったりで実験するのではなく、論理的に、
式と解の形に落とし込んでから初めて自分の論理を展開するのが学者と……」*
——天の塔：星の木の不調を解消すべく集まった博士たちに自説を展開して

「うむ、さすがコルモル！　興味ある仕事だけは、とても素早いな！」
——天の塔：珍しく仕事が早かったコルモルに

まめまめしい図書館長

トスカポリカ

Tosuka-Porika

Personal Data
種族 タルタル
性別 男
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ウィンダス水の区

連邦が誇る魔法図書館である目の院の現院長。就任以来20年に渡り無欠勤で勤め上げたマジメな人物で、本の管理には人一倍口やかましい。真実の歴史書と呼ばれる禁書「神々の書」をひと目見たいと願う。

Impressive Words

「真実に目をむければ、目の院院長として皆に顔向けできぬ……」
——ウィンダス水の区：力を失った神々の書を手に

師の無念を晴らすべく研究に励む美女

ルクスス

Rukususu

Personal Data
種族 タルタル
性別 女
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 フェ・イン、ウガレピ寺院ほか

ウィンダスの生物研究所である鼻の院の院長。現在は、北の地でゴーレムの研究に勤しむ。それというのも、異端の説を唱えて非業の死をとげた師イルクイルの仇を討ちたいがため。オバケとオニオンが苦手らしい。

Impressive Words

「あたしたちタルタルの祖先を導いたのは、いったい誰だったのか」
——ウガレピ寺院：師イルクイルの研究の足跡を訪ねて

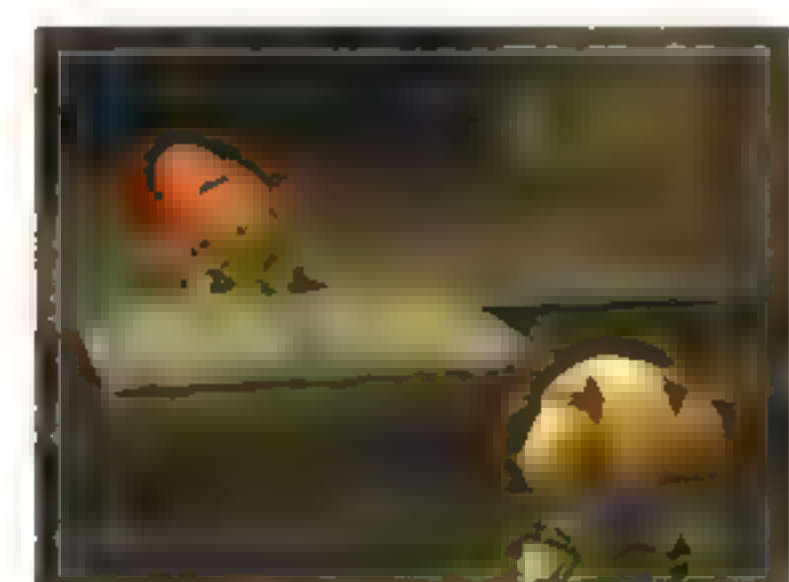
天の塔の出入りを管理する受付嬢

クピピ

Kupipi

Personal Data
種族 タルタル
性別 女
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 天の塔

天の塔の書記官。塔に出入りする人をチェックしたり、自国所属の冒険者の窓口になったりしている。語尾に「〜なのです」とつけるログセのせいで話し口調はかわいらしく聞こえるが、実際は容赦のない毒舌家。

Impressive Words

「説明は終わったのです。早く行け！　……なのなのです」
——天の塔：冒険者に用件を伝え終えて

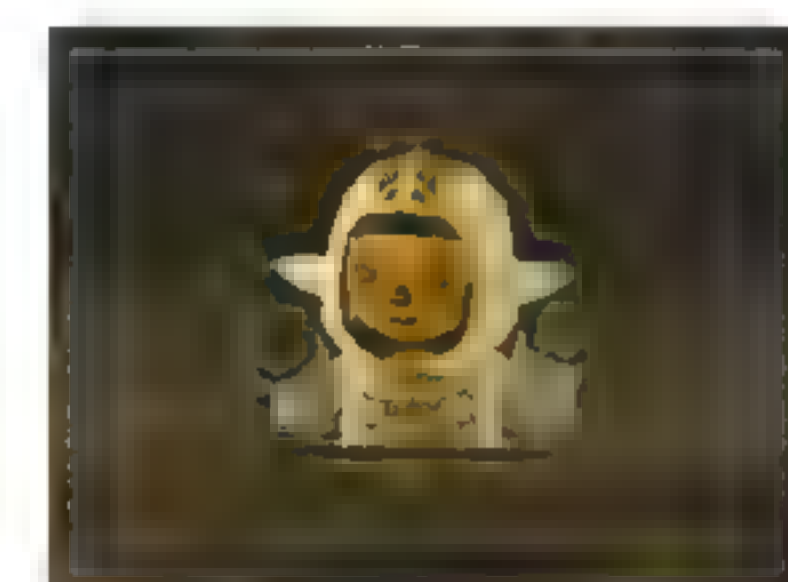
貫録あふれる天の塔の生き字引

ズババ

Zubaba

Personal Data
種族 タルタル
性別 女
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 天の塔

星の神子の世話役を務める侍女の長。侍女のなかでは最長老で、説教グセがあることから「天の塔の主」と恐れられる。星の神子の身を誰よりも案じ、彼女を不安にさせるアジドマルジドを目の仇にしている。

Impressive Words

「口の院院長にはあれほど気をつけよと言ってあったろうに！」
——天の塔：アジドマルジドに協力した冒険者に説教

魔動兵を開発した人形師

ゾンパジッパ

Zonpa-Zippa

Personal Data
種族 タルタル
性別 男
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 ボヤーダ樹、ウィンダス水の区〔S〕ほか

カーディアンを発明した手の院の前院長であり、アジドマルジドとアプルルの実父。自尊心が強く天才と自称するが、カラハバルハには劣等感を抱いていた様子。大戦後、カーディアンに反乱を起こされ行方不明となった。

Impressive Words

「高名・異才・美麗の3拍子揃ったタルタルとは我のことなり！」
——ボヤーダ樹：長々と自己紹介をはじめる

ウィンダスに暮らすミスラの族長

ペリィ・ヴァシャイ

Perih Vashai

Personal Data
種族 ミスラ
性別 女
出身地 カザム

登場場所 ウィンダス森の区、カルゴナルゴ城砦〔S〕ほか

魔性の弓「光の弓」を引いて以来、両目を閉ざしつづけるミスラの狩人。大戦時にエルシモ島から援軍として送られた部隊の隊長であり、現在はウィンダスに住むミスラをたばねる長である。冒険者に狩人としての道を説く。

Impressive Words

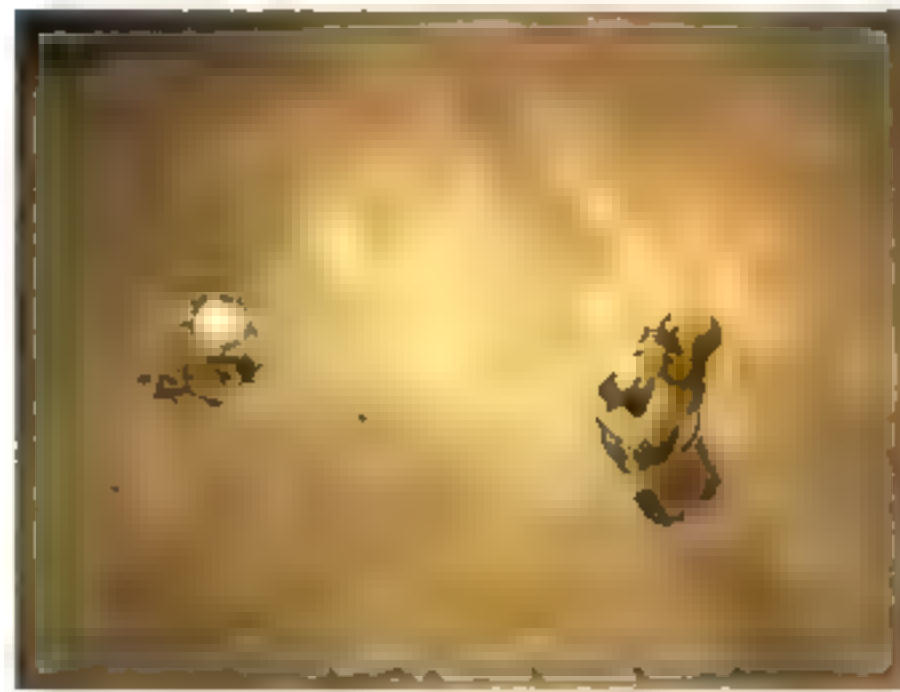
「あたしの心にあるウィンダスが、お前の胸にもあることを祈ろう」
——ウィンダス森の区：風に新たなる時代の到来を感じて

子どもたちの手でよみがえった謎の魔動兵

ジョーカー

Joker

登場場所 ウィンダス石の区、ウィンダス港ほか

カラハバルハの邸宅として用意された空き家、通称"英雄の家"にひっそりと隠されていたカーディアン。スターオニオンズ団の子どもたちが持っていた魔導球を取りこみ復活した。

←何か大切な"やらなければならないこと"があったと言うが、それを思い出せずにいる。

Impressive Words

「……ワタシ★ハ……　オバケ　デハ　アリマ★セン」

――ウィンダス石の区：スターオニオンズ団に「オバケさん」と呼ばれて

「すべてが集えば、すべてが分かる。
ただ、その「時」がくるかは、おまえたち人の力次第。「時」を作るのだ」

――外ホルトト遺跡：冒険者に呼びかけて

暴走した野良カーディアンのリーダー

エースカーディアン

Ace Cardians

登場場所 ホルトト遺跡、トライマライ水路ほか

ウィンダス周辺で暗躍する、野生化したカーディアンの最上位機たち。もともとは大戦で運用された人形だったが、終戦後に突然下位のカーディアンともども反乱を起こし、開発者であるゾンパジッパをどこかへ連れ去った。以来、ホルトト遺跡を拠点に何かたくらんでいるという。

Impressive Words

「逝きし死者の持ち物を、生ける愚者が持つことは許されぬ。
さぁ、ミスラ。われらが王の持ち物をどこへ隠したのだ?」

――内ホルトト遺跡：ナナー・ミーゴに盗品を返すよう迫り

「われらは王の下に集い、我らの未来を作るのだ!」

――外ホルトト遺跡：カーディアン討伐に訪れたセミ・ラフィーナに

←エースを頂点としたナンバーがつけられており、下位の者は上位の者に従うよう設計されている。

ウィンダスの平和を守る(?)正義の一味

スターオニオンズ団

Star Onion Brigade

登場場所 ウィンダス港、ウィンダス石の区ほか

ウィンダス港の倉庫裏を根城にする、タルタルとミスラの子どもたち。団長のコーロラコロを筆頭に、"大人が知ってて知らないふりをしているウィンダスの悪いところを直す"べく、正義の活動に励む。いまのところ、泥棒ミスラことナナー・ミーゴに目をつけている。

←総勢7人の子どもたちで構成。"正義のイチミ"と自称するが、良くも悪くも子どもらしい。

Impressive Words

コーロラコロ「正義と勇気とタマネギと!　愛と夢のあるカギシッポ!
ぼくら、正義のイチミ!　スターオニオンズ団～っ!」

――ウィンダス港：通りかかった冒険者に自己紹介して

コーロラコロ「ちゅうもーく!　これから泥棒ミスラを捕まえにいくぞ!」

――ウィンダス港：ナナー・ミーゴが出入りするオバケの家の鍵を見つけて

公明正大なガルカの語り部

ラオグリム

Raogrimm

Personal Data
種族 ガルカ
性別 男
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 魔晶石が見せる幻影、王の間ほか

30年前に組織された、3カ国合同北方調査隊の隊長。当時のミスリル銃士隊No.1で、ガルカの主導者「語り部」でもあった。北の地におもむいたときにウルリッヒの裏切りに遭い、コーネリアとともに命を落としたが……。

Impressive Words

「やはりな……。奴らはそのようなこと、知ろうともせんか」

――魔晶石が見せた幻影：ヒュームたちの独善さにため息をつき

強さと優しさを兼ね備えた女銃士

コーネリア

Cornelia

Personal Data
種族 ヒューム
性別 女
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 魔晶石が見せる幻影、オグビィの回想ほか

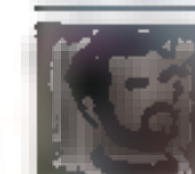
調査隊の一員だったミスリル銃士。種族や身分にとらわれず、万人に優しく接したことから「誰からも愛された銃士」と呼ばれる。ラオグリムをウルリッヒの凶刃からかばい、命を散らせた。

Impressive Words

「私にも……見つかるかな?守るべき何かが……」

――オグビィの回想：ラオグリムのさとしを聞いて

狭量な差別主義者

ウルリッヒ

Ulrich

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 バストゥーク共和国

登場場所 魔晶石が見せる幻影、バストゥーク港ほか

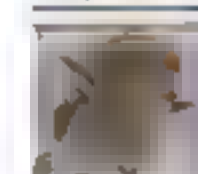
調査隊に参加したミスリル銃士で、フォルカーの叔父。種族差別主義者でガルカや獣人を見くだしており、種族融和を目指すラオグリムとは対立しがちだった。帰国後に銃士隊の隊長となったが、まもなく不審な死をとげる。

Impressive Words

「無様だな、ラオグリムよ!」「前からおまえは、気にくわなかったんだよ!」

――魔晶石が見せた幻影：ラオグリムに剣を突き立て

密命を受けた王立騎士

フランマージュ

Francmage M Mistalle
フランマージュ・M・ミスタル

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 サンドリア王国

登場場所 魔晶石が見せる幻影、南サンドリアほか

調査隊を監視するべく派遣されたサンドリアの騎士。典型的なエルヴァーン気質の持ち主で、自国への忠義に厚い反面、他国の人間をさげすむ。成果がなかった調査からもどったある夜、何者かに襲われ命を落とした。

Impressive Words

「なんだと!?　ラオグリムの……!?　知らぬ、ラオグリムは事故で死んだのだ!!」

――魔晶石が見せた幻影　ボストーニュ監獄で不慮の死をとげ

この研究に殉じた学者

イルクイル

Iru-Kuiru

Personal Data
種族 タルタル
性別 男
出身地 ウィンダス連邦

登場場所 魔晶石が見せる幻影、ウィンダス石の区ほか

調査隊に参加した学者。ルクススの師であり、タルタルのルーツを探る研究の手がかりを求めて北の地へと向かった。帰国後はさらに研究を進めるべくウガレピ寺院におもむいたが、得体の知れない影に殺されてしまう。

Impressive Words

「おそらく私は、この研究を終える前に、闇に飲まれるのだろう」

――イルクイルの日記より：調査隊の生き残りがつぎつぎと怪死していると知り

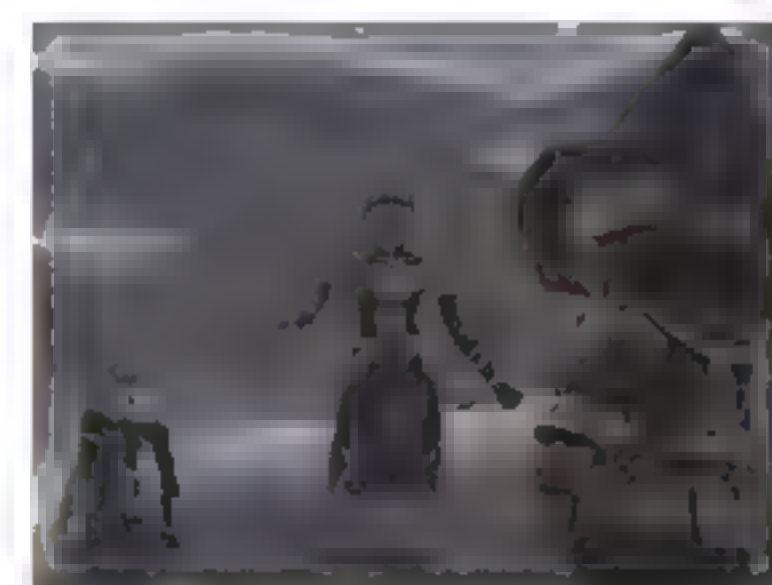
イルクイルの友であり名うての傭兵

ヨー・ラブンタ

Yow Rabntah

Personal Data
種族 ミスラ
性別 女
出身地 カザム

登場場所 魔晶石が見せる幻影、ル・ルデの庭ほか

エルシモ島の集落カザムの、火の部族出身の狩人。友人であるイルクイルの傭兵という名目でかつて調査隊に参加したが、帰郷後にやはり非業の死を迎えた。そのかたわらには強力な弓があったというが?

Impressive Words

「あたしゃもううんざりだよ、こんな陰気な土地は」

――魔晶石が見せた幻影：北の地を包む異様な気配を感じて

カムラナート
Kam'lanaut

Personal Data
種族 ヒューム?
性別 男
出身地 ?

登場場所 ル・ルデの庭

アルタナ連合をまとめあげたカリスマ

ジュノ大公国を治める大公。30年ほど前、まだ漁村であったジュノにエルドナーシュとともに流れ着き、村の人々に助けられた恩を返すべく尽力して、同地を都市国家にまで成長させた。水晶大戦においてアルタナ連合を提唱して人類の勝利に貢献したほか、クリスタル合成法の発見、飛空艇の開発、コンクエスト政策の提唱など、その偉業は枚挙にいとまがない。不思議なことに、容姿はジュノにはじめて現れたときとまったく変わりないという。

⬅数々の功績を打ち立てているが、出自や過去はいっさい不明。

Impressive Words

「新任の大使館員か。私がジュノ大公・カムラナートだ」
——ル・ルデの庭：呼び寄せた冒険者に名乗り

「これらの石にはクリスタルと同種の力が秘められている。不純で汚らわしいが、はるかに強力だ」
——ル・ルデの庭：冒険者が持ち帰った魔晶石を確かめて

「獣人どもも、おおきな力に導かれているということか……」
——ル・ルデの庭：獣人勢力の陰にあるものを感じ取り

「闇の王の復活か……。しょせんは獣人のやからと気にとめてもいなかったのだが……」
——ル・ルデの庭：冒険者からの報告を受けて

エルドナーシュ
Eald'narche

Personal Data
種族 ヒューム?
性別 男
出身地 ?

登場場所 ル・ルデの庭

不思議な力を持ったカムラナートの兄弟

左眼を大きな眼帯で覆った、カムラナート大公の兄弟。大公と同じく、30余年のあいだまるで変わらず、その姿や言葉づかいは少年そのものだ。広い知識を持つうえ、人の心を読み取るなどの不可思議な能力を持ち、政務を行なうカムラナートのそばについて口出しすることを許されているほど政治的判断にすぐれた天才児。ときには、カムラナートにだまって大公親衛隊を動かし、自分の興味の趣くままに行動することも……？

Impressive Words

「はじめまして、僕はエルドナーシュ。よろしく」
——ル・ルデの庭：大公に面会する冒険者にあいさつして

「魔晶石か……。どういうことなんだろ？　気をつけないと、ね。僕らの世界は、だれにもあげられないから」
——ル・ルデの庭：魔晶石について考えをめぐらせて

「何か面白いこと、なかったの？　いや、言わなくてもいいよ」
——ル・ルデの庭：不思議な力で冒険者の記憶を読み取り

⬅無邪気な話しかたをするものの、その言動にはときにスゴ味が感じられる。大公以上に謎めいた存在だ。

獣人に憎しみを抱く秘密結社のボス
アルド
Aldo

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 タブナジア侯国

登場場所 ジュノ下層

ジュノの秘密組織「天晶堂」の若き頭領。大戦中に天涯孤独となったが、ノーグの首領ギルガメッシュの紹介で天晶堂の先代頭領グレッゾの養子に迎えられた。姿を消した義妹フェレーナの行方を追ううちに、冒険者とともに世界を守る戦いに身を投じる。

⬅ジュノの裏社会を牛耳っており、大公親衛隊でもうかつに手を出せないほどの力を持つ。

Impressive Words

「オレには関係のないことだ。獣人と関わりあうのは、もうごめんだ」
——ジュノ下層：獣人拠点に侵入する手立てを冒険者に尋ねられ

「ウォルフガングよ、わかってないな？　ここは俺の家。俺の家にいる人間は、俺の客人だ。俺の客人を罪人呼ばわりする気か？」
——ジュノ下層：冒険者を捕らえるべく現れたウォルフガングに警告し

人と獣人の融和を願う乙女
フェレーナ
Verena

Personal Data
種族 ヒューム
性別 女
出身地 ジュノ大公国

登場場所 ジュノ下層、オズトロヤ城ほか

天晶堂の先代頭領グレッゾの娘で、アルドの義理の妹。心優しくやわらかな雰囲気を持ち、偏見の目で見られがちなジュノのゴブリンにもわけへだてなく接する。獣人と意識を交感する能力があり、ゴブリンのフィックブリクスと心を通わせるが……。

Impressive Words

「悪さをする獣人と間違われて危険かもしれないって、いつも言ってるのに……」
——ジュノ下層：ひとりで外出したフィックブリクスを心配して

「わたしたちみんなが、この想いを分かちあえたなら、きっと……、きっともう争いなんてなくなるのに」
——オズトロヤ城：フィックブリクスに向けて

⬅確かな絆を築き上げるフェレーナとフィック。しかし、ふたりには残酷な運命が——。

平和を願うゴブリンの子ども
フィックブリクス
Fickblix

Personal Data
種族 ゴブリン
性別 男
出身地 ジュノ大公国

登場場所 ジュノ下層、オズトロヤ城ほか

ジュノ下層にあるゴブリンの店「ジャンク屋マックビクス」に暮らすゴブリンの男の子。人と獣人とがいつか手を取り合う世界を夢見ている。獣人による被害がふたたび拡大するのを憂うフェレーナを見かねて、ヤグードたちを説得に向かうが……。

⬅人々から偏見の目で見られてもくじけることなく、人と獣人の融和の道を考えつづける。

Impressive Words

「こうしてみんなと話できる。フィック、それがとてもうれしい」
「だから、フィック、もし芽が出なくてもムダだと思わない」
——ジュノ上層：自分が植えたタネに文句をつける人間の子どもに

「……姉ちゃん……誰も……悪く……ない……憎んじゃ……ダメ……」
——オズトロヤ城：フェレーナに向けて

己の責務にしばられた親衛隊長

ウォルフガング

Wolfgang

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 ジュノ大公国

登場場所 ル・ルデの庭、ジュノ上層ほか

ジュノの防衛とカムラナート大公の警護を務める大公親衛隊の隊長。正義感は強いものの、職務を最優先に考える傾向があるため、市民からは堅物な冷血漢だと思われている。ジュノ上層に住むモンブロー医師とは幼なじみ同士だが、親衛隊に入隊してからは疎遠になっているらしい。

←ともに幼少期を過ごしたモンブローに冷たく当たる。仲の良い幼なじみだったはずだが……。

Impressive Words

「他国の大使と頻繁に接触を持つのは、いらぬ誤解を招くことになるぞ」
——ル・ルデの庭：診察のために大使館を訪れたモンブローに忠告して

「昔、ジュノに2人の幼なじみの少年がいてな。いつも一緒に街の中を走りまわっていて、いろんなイタズラもした」
——バタリア丘陵：モンブローとの思い出を冒険者に語り

人々の安息を願う医師

モンブロー

Monberaux

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 ジュノ大公国

登場場所 ジュノ上層、ル・ルデの庭ほか

ジュノ上層で医院を営む医者。魔法には頼らず、医術によって人々をいやすことを生業とする。ケガ人や病人とあれば誰にでも治療をほどこし、貧しい者からは料金さえとらない優しい人柄。ウォルフガングとは幼なじみで、懸命になるあまり心がせまくなりがちな彼を心配している。

Impressive Words

「前にも言わなかったかい、病気に国境はないって。医者と患者がいるだけさ。国籍も地位も関係ないよ」
——ル・ルデの庭：ウォルフガングの忠告に持論を返して

「ガラスを通さなくても、ジュノはとてもキレイに見えるよ」
——バタリア丘陵：少年のころウォルフガングに言った言葉をくり返し

←おおらかな性格をしており、相談相手としても住人に慕われる。"病気に国境はない"が信条。

冒険者を手荒に導く"限界じいさん"

マート

Maat

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 ジュノ大公国

登場場所 ル・ルデの庭、バルガの舞台ほか

ル・ルデの庭にある大公宮の片隅で、日夜トレーニングに励む老人。その正体は希代の格闘家で、大公親衛隊の武術の師である。見どころのある冒険者たちに無理難題を吹っかけ、彼らの秘めた素質を引き出して限界を突破させる趣味があることから、"限界じいさん"の異名を持つ。

←ジュノがまださびれた漁村であったころからこの地におり、街の人々を見守りつづけている。

Impressive Words

「いやならやめてもいいんじゃぞ」
——ル・ルデの庭：限界を超えようとする冒険者に

「長きに渡ってワシとお前さんとで紡いできた限界をめぐる物語もついに最終章をむかえようとしておる……」
——ル・ルデの庭：いくつもの限界を超えてきた冒険者を見つめて

秘宝を求めるトレジャーハンター

ルト・ミュリラー

Luto Mewrilah

Personal Data
種族 ミスラ
性別 女
出身地 ?

登場場所 ジュノ上層、ジャグナー森林ほか

近東から伝わった"鏡"を探すミスラのハンター。世界各地の秘宝について調べており、ジュノで鏡の持ち主らしい人物の聞きこみをしている。こびたような口調と、両手をクネクネとすり合わせる仕草がクセ。

Impressive Words

「世界中のお宝を狙っているの。とりわけ今注目してるのは、近東のお宝よ」
——ジュノ上層：協力を申し出る冒険者に

"鏡の守り手"の意志を継ぐ少女

パロメッタ

Palometa

Personal Data
種族 ヒューム
性別 女
出身地 アトルガン皇国

登場場所 ジュノ港、エルディーム古墳ほか

父の死後に盗み出された"冥闇の鏡"を、母ラウラーナとともに探す少女。鏡の行方を追って、近東の大国アトルガン皇国からジュノに渡ってきた。フェローが持つ鏡に縁を感じ、冒険者とフェローに協力を依頼する。

Impressive Words

「私……、私、ぜったいに冥闇の鏡を取り戻したいの!」
——ジュノ港：アトルガンを離れた理由を語り

"導きの鏡"を持つ冒険者

フェロー

Fellow

登場場所 ジュノ上層、ジャグナー森林ほか

(※名前は下記の64種類から選択。プレイのしかたにより、種族、性別、性格が変化する)

"導きの鏡"に従ってジュノにやってきた者。自身が持つ鏡と、パロメッタが探す鏡に何か関係があるのではと思い、彼女に協力を申し出る。鏡の捜索をつづけるうちに出会った冒険者に運命的なものを感じ、しだいに信頼関係を築いていくことに。

Impressive Words

「「失われた鏡」ですか……。機会があれば、ぜひその本も読んでみたいですね」
——ランデブーポイント："鏡"の手がかりとなる本について冒険者と話し

「天照らす光よ……その光輝を以って、浄化を為す白刃となれ!」
——冒険者との共闘："導きの鏡"の力を引き出して

◆フェローの名前とフェイスタイプの一覧

[illegible]	[illegible]				フェイスタイプ
ヒューム♂	フェリツ Feliz	フェルディナンド Ferdinand	グンナー Gunnar	マッシーモ Massimo	
	オルドリッチ Oldrich	ジークヴァルト Siegward	テーオバルト Theobald	ゼンジ Zenji	
ヒューム♀	アメリタ Amerita	ベアトリス Beatrice	ヘンリエッタ Henrietta	ジェシメイ Jesimae	
	カリン Karyn	ナナコ Nanako	シャルレーン Sharlene	ジークヒルデ Sieghilde	
エルヴァーン♂	シャナンディ Chanandit	ドゥルマイユ Deulmaeux	デムレズィノ Demresinaux	エフィールゴ Ephealgaux	
	ゴルディヴァル Gauldeval	グラフマルト Grauffemart	ミガイフォング Migaifongut	ロミディアン Romidiant	
エルヴァーン♀	アルミティ Armittie	カドゥプレ Cadepure	クレリテ Clearite	エピレヴ Epilleve	
	リヤベル Liabelle	ノティマ Nauthima	ラディール Radille	ヴィメシュ Vimechue	
タルタル♂	バルファル Balu-Falu	ブルグラダルグ Burg-Ladarg	エーゴリューゴ Ehgo-Ryuhgo	コルウィペルウィ Kolui-Pelui	
	ノクムアックム Nokum-Akkum	サヴルキヴル Savul-Kivul	ビンジャキャンジャ Vinja-Kanja	ヤーガウミガ Yarga-Umiga	
タルタル♀	キュパパ Cupapa	ジャジュジュ Jajuju	カロココ Kalokoko	マホヤヤ Mahoyaya	
	パクララ Pakurara	リポケケ Ripokeke	ヤワワ Yawawa	ユファファ Yufafa	
ミスラ	フィグ・ラーヴ Fhig Lahrv	クマ・タギャワン Khuma Tagyawhan	ピミィ・ケッティル Pimy Kettihl	ラカ・マイモーヴ Raka Maimhov	
	サユ・バンジャオ Sahyu Banjyao	スフィ・ウチヌゥマ Sufhi Uchnouma	ツィム・ノマンゴ Tsuim Nhomango	ヨリ・コルパカ Yoli Kohlpaka	
ガルカ	ドゥリブ Durib	ジャピワ Dzapiwa	ジュゴワ Jugowa	ムギド Mugido	
	ボルダイ Voldai	ワグエ Wagwei	ザヤグ Zayag	ゾルドフ Zoldof	

世界の動向を探るエージェント

ライオン

Lion

Personal Data
種族 ヒューム　性別 女
出身地 ?
登場場所 ノーグ、ワールンの祠ほか

ノーグの頭領ギルガメッシュの、血のつながらない娘。闇の王復活のたくらみを阻止するため、冒険者とともに動く。闇の血族を狩るザイドや、ノーグと縁が深い天晶堂のアルドとは旧知の仲。

Impressive Words

*「闇の王が、復活……？　まさか、ほんとうに……あの戦いの日々がかえってくるというの？
憎しみと、哀しみの日々が……」*

――バーニングサークル：闇の血族のたくらみを知り

海賊たちをまとめあげる隻眼の武人

ギルガメッシュ

Gilgamesh

Personal Data
種族 ヒューム　性別 男
出身地 タブナジア侯国
登場場所 ノーグ

バストア海の海賊たちを牛耳るノーグの頭領で、侍としての道を極めた達人。東方をはじめ、さまざまな大陸との交流を持つ。ジュノ大公にただならぬものを感じ、娘のライオンを派遣して情報収集にあたらせている。

Impressive Words

「冗談じゃねえ！　このまま黙って連中の好きになんか、させてたまるかってんだ！」

――ノーグ：ある情報を冒険者から聞き

カザムのミスラをたばねる族長

ジャコ・ワーコンダロ

Jakoh Wahcondalo

Personal Data
種族 ミスラ　性別 女
出身地 南方
登場場所 カザム

エルシモ島にあるミスラ自治区カザムの現族長。決断の早さと的確さ、そして抜群の行動力で、カザムをミスラの一大居留地に発展させてきた。かつてギルガメッシュに助けられたことがあり、彼にひとかたならぬ信頼を抱いている。

Impressive Words

*「あたしは、カザムの族長ジャコ・ワーコンダロ。
旅人よ、ここではあたしがルール。ルールを乱さないように」*

――カザム：カザムを訪れた冒険者にクギを刺して

古寺に現れた謎の賢人

グラビトン

Grav'iton

Personal Data
種族 ?　性別 女
出身地 ?
登場場所 生贄の間、セルテウスの回想

獣人トンベリ族の本拠地ウガレピ寺院にいるという老人。ぶっきらぼうながら、英知を感じさせる雰囲気を持つ。出くわしたギルガメッシュに、いずれもう一度自分のところを訪ねよと言い残し、その姿を幻のように消したらしい。

Impressive Words

*「おまえたちの幸運なんか、祈ってやったりはしないよ。
泣き言なんか吐くまえに、やれることをやるんだね」*

――生贄の間：世界の危機を冒険者に伝えて

力ある「石」より生まれた伝説の戦士　登場場所 ラ・ロフの劇場ほか

クリスタルの戦士

Fighters of the Crystal

古代人により召喚された、いにしえの5人の戦士。それぞれが人類5種族に似た姿をしているものの、その肌や髪は白一色で、不気味な紅の瞳を持つ。黒くまがまがしい武具を手に、冒険者を襲う。伝承では、ヴァナ・ディールに災いが満ちたとき、世界に希望をもたらすべく現れるとされているが……。

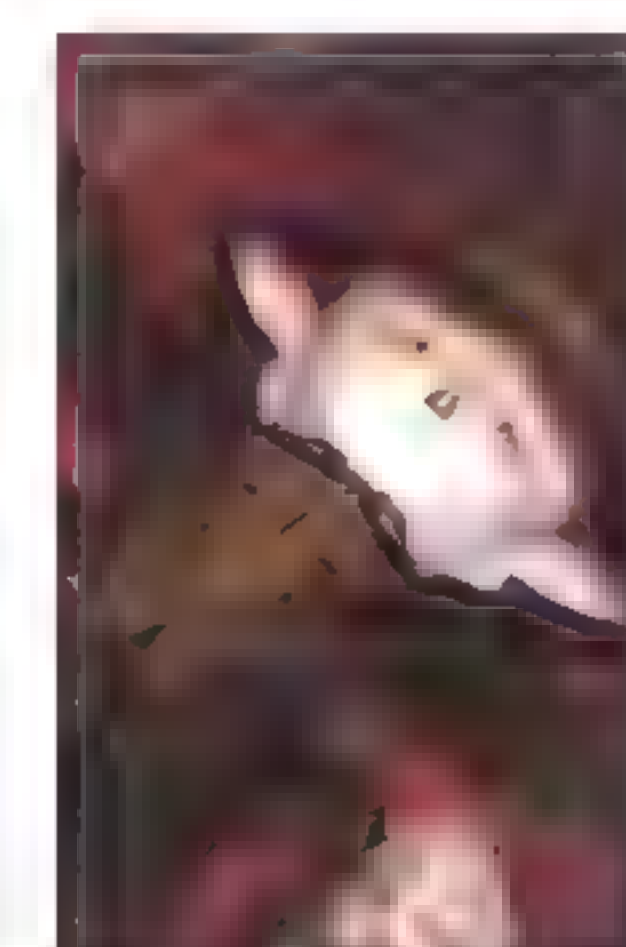
←ひとりひとりが神に匹敵するとも言われる恐るべき力を持つ。

Ark Angel TT

タルタル男性を思わせる風貌のクリスタルの戦士。巨大な鎌を振りまわすうえ、多彩な黒魔法で冒険者を苦しめる。

Impressive Words

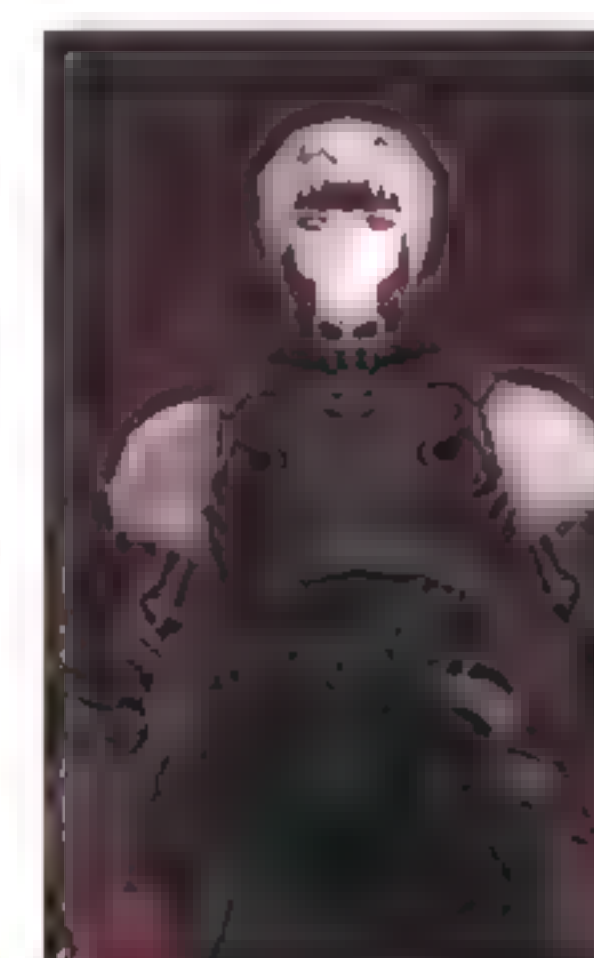
*「内なる「怯懦」が、
おまえたちを押しつぶす……」*

――ラ・ロフの劇場：冒険者と対峙して

Ark Angel HM

ヒューム男性の姿をした、クリスタルの戦士のひとり。両手の二刀と忍術を駆使して、冒険者たちの前に立ちふさがる。

Impressive Words

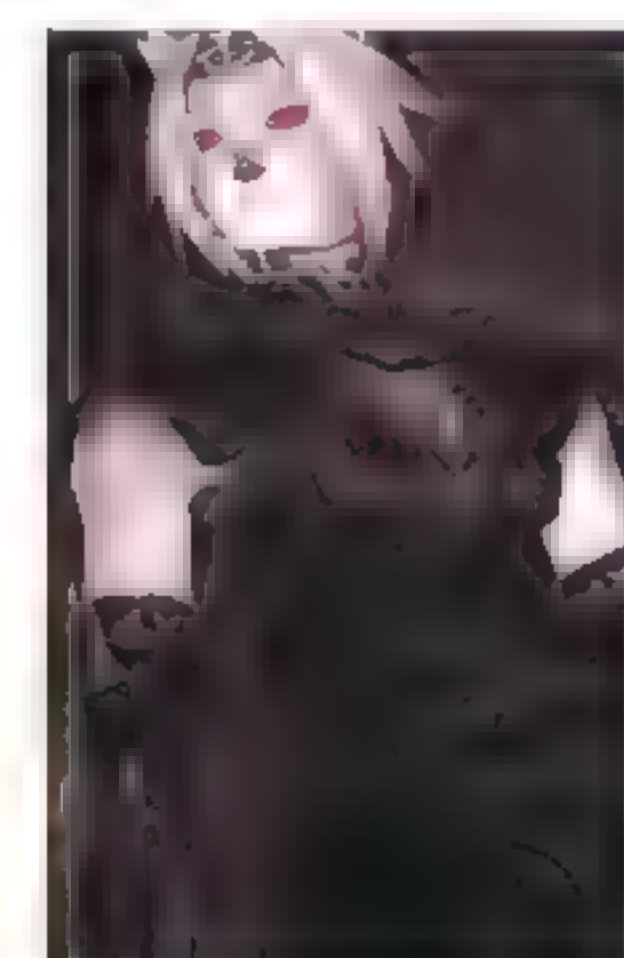
*「内なる「無知」が、
おまえたちをうつろにする……」*

――ラ・ロフの劇場：冒険者と対峙して

Ark Angel MR

クリスタルの戦士のひとり。すさまじい片手斧の技とすばやい動き、そして野獣を呼び出す能力で、冒険者を翻弄する。

Impressive Words

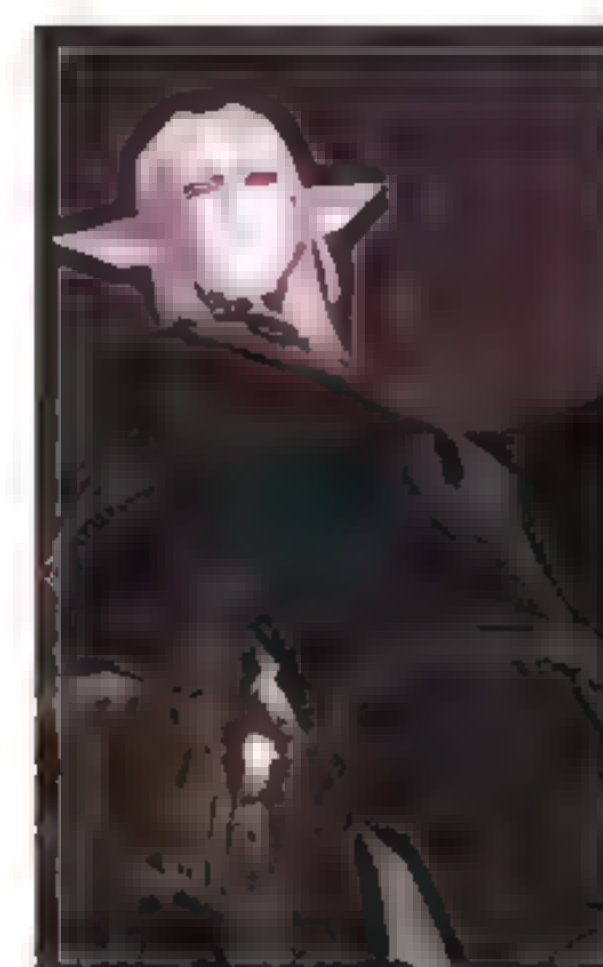
*「内なる「嫉妬」が、
おまえたちをかじりとる……」*

――ラ・ロフの劇場：冒険者と対峙して

Ark Angel EV

大ぶりな剣と盾をたずさえた、クリスタルの戦士。美しいエルヴァーン女性の姿をしているが、そこに温かみはない。

Impressive Words

*「内なる「驕慢」が、
おまえたちを腐らせる……」*

――ラ・ロフの劇場　冒険者と対峙して

Ark Angel GK

屈強なガルカの姿をした、クリスタルの戦士のひとり。両手刀を手に、召喚したワイバーンとともに冒険者に襲いかかる。

Impressive Words

*「内なる「憎悪」が、
おまえたちを焼きこがす……」*

――ラ・ロフの劇場：冒険者と対峙して

天衣無縫な"忌むべき子"

プリッシュ

Prishe

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 女
出身地 タブナジア侯国

登場場所 タブナジア地下壕、ジュノ大公国ほか

タブナジア地下壕の自警団のリーダーを務める豪快な少女。"忌むべき子"として、タブナジアの人々に恐れられてきた。冒険者との出会いをきっかけに地下壕を出て、「世界の終わりに来る者」をめぐる戦いに巻きこまれていく。

←世界をむしばむ「虚ろなる闇」に深い関わりがあり、その身には魔晶石が宿っている。

Impressive Words

「そうだ、なにがあるかわかんねぇんだぞ!
俺よりも先に、この島を冒険するんじゃねぇ! 遠慮ってもんを知れ!」
――リヴェーメ岩塊群：自分を出し抜いて岩塊群を訪れたチェブキー兄弟に怒りをぶつけ

「おまえは人間だ。だから、おまえは自分で決めろ」
――天象の鎖：世界の終わりを望むのかと冒険者に問いかけ

清らかな声を持つ歌姫

ウルミア

Ulmia

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 女
出身地 タブナジア侯国

登場場所 タブナジア地下壕、ミザレオ海岸ほか

プリッシュの親友。地下壕の長老デスパシエールの孫娘で、かつてはタブナジア大聖堂の聖歌隊に所属していた。その歌声は、タブナジアでもっとも美しいと評される。地下壕を出たプリッシュに同行しつつ、大聖堂に伝わる神の歌「石の記憶」の秘密を追う。

Impressive Words

「いくどとなく人の歴史を焼き払っても、この歌だけは決して失われず、
私たちを導くしるべとなる歌……」
――ミザレオ海岸：神の歌の由来を冒険者に説明して

「みなさんはプリッシュを手にかけようと言うのですね?」
――ジュノ上層：プリッシュを犠牲にしようと言う仲間たちに

←皆が忌み嫌うプリッシュを大切に思っており、いつも彼女のことを気にかけている。

冒険者の前に現れる謎の少年

セルテウス

Selh'teus

Personal Data
種族 ?
性別 男
出身地 ?

登場場所 デルクフの塔、ジュノ上層ほか

霊獣バハムートの復活と同時に、デルクフの塔に現れた神秘的な少年。塔で起こった事故の重要参考人として、ジュノの機密組織「アルマター機関」に追われている。偶然に出会った冒険者に、不思議なアミュレットを託すが、はたしてその目的とは……?

←冒険者にアミュレットを渡した直後、大公親衛隊の面々の前から、こつぜんと姿を消した。

Impressive Words

「「虚ろなる闇」が呼ぶ声。それに答える自らの「虚ろなる闇」の声。
だからこそ人は「虚ろなる闇」から逃れることはできない」
――ル・メトの園：虚ろなる闇の声にまどわされる冒険者たちに

さわがしいトラブルメーカー

チェブキー兄妹

Chebukki Brothers

Personal Data
種族 タルタル
出身地 タブナジア侯国

登場場所 タブナジア地下壕、ルフェーゼ野ほか

いつも一緒に行動している、タブナジア地下壕のおさわがせ3人組。兄妹そろって日和見主義者でお金や権力に弱いが、プリッシュには頭が上がらない。彼女とともにタブナジア群島から大陸に渡り、長く行方不明の父親を捜すかたわら、権力をにぎろうとジュノの高官に近づく。

マッキーチェブキー

Makki-Chebukki

草色の髪をした、兄妹の長男。3人のなかでは言い出しっぺになることが多い。弓の腕前はなかなかのもの。

チェルキキ

Cherukiki

三兄妹の末妹で、白魔法を得意とする。水色の髪をしていて、ふたつにくくったヘアスタイルがお気に入り。

クッキーチェブキー

Kukki-Chebukki

黒魔法をあやつる、兄弟の次男。兄マッキーが言ったことを深く考えず実行に移す。燃えるような赤毛が特徴。

Impressive Words

チェルキキ「とうちゃーん!」クッキー「あいたかったよー!」
マッキー「かわいい子供たちだよー!」
――ウィンダス石の区：ヨランオランを勝手に父親と決めつけて

マッキー「メー!」クッキー「テー!」チェルキキ「にょおおおー★」
――天象の鎖：3人で協力して究極魔法メテオ(?)を使って

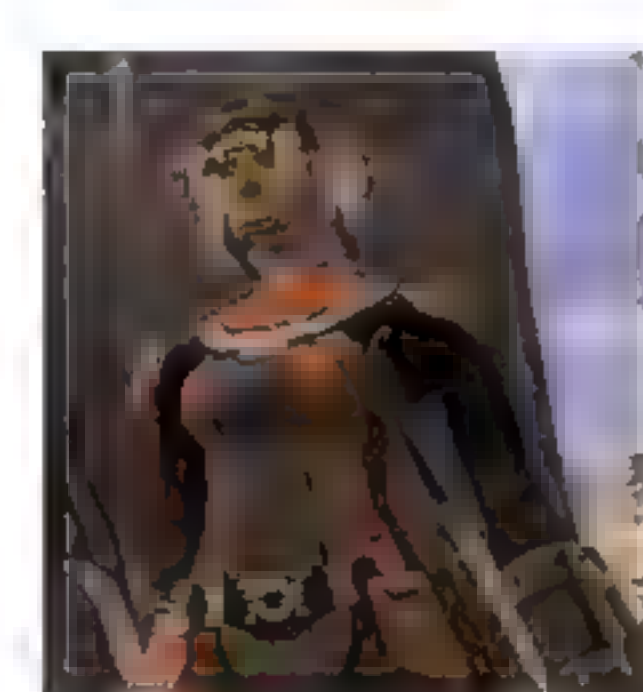
執念深い処刑人姉妹

罪狩りのミスラ

Mithran Trackers

Personal Data
種族 ミスラ
性別 女
出身地 南方

登場場所 アットワ地溝、ビビキー湾ほか

南方のミスラ本国から来訪した三姉妹。ミスラの正義にもとづき"罪"を狩る「罪狩り」の役目を負っている。本国に争いを振りまいた「魔晶石」がタブナジア発祥のものと知り、その罪を狩り取らんとする。ちなみに「スカリー」という名は、罪狩りとしての偽名。

スカリーX

Shikaree X

三姉妹の末妹で、手練の獣使い。「魔晶石」をめぐる今回の仕事が、罪狩りとしての初仕事なので張り切っている。

スカリーY

Shikaree Y

罪狩りのミスラ姉妹の次女。大鎌を軽々と振りまわす腕利きの暗黒騎士だが、むやみに血を見たがるアブナイ性格。

Impressive Words

スカリーY「今すぐに、アタシに石を渡してちょうだい」
――ウィンダス石の区：ヨランオランに魔晶石を渡すよう迫り

スカリーZ

Shikaree Z

姉妹をまとめる長女。妹たちとちがって、落ち着きのある態度で人と接する。竜騎士としてすぐれた才を持つ。

鳳凰を連れし東よりの使者

テンゼン

Tenzen

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男
出身地 東方

登場場所 ジュノ大公国、ソ・ジヤほか

「虚ろなる闇」調査のため、東方の国からやってきた武士。霊獣フェニックスを封じた霊刀「鳳凰丸」をたずさえ、東方独特の口調で話す。クリスタルと「虚ろなる闇」の秘密を追ううちに冒険者やプリッシュと出会い、「世界の終わりに来る者」と戦うべく愛刀を振るう。

←世界を守るためには冒険者を殺すことが必要だと知り、葛藤のすえに戦いを挑んでくる。

Impressive Words

「……我輩の名はテンゼン。ひんがしの国に生を受け、武士の名乗りを許されし者でござる」
——ル・ルデの庭：エシャンタールに謁見して名乗りをあげ

「還りなん、いざ！　第5の母なるクリスタルへ！」
——シュ・メーヨ海上空：冒険者に刃を向けて

没落した家の再興を目指す青年騎士

ルーヴァランス

Louverance Mistalle

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 セルビナ

登場場所 ギルド桟橋、大工房ほか

家の汚名をそそごうとする騎士。サンドリア大聖堂から密命を受け、プリッシュの恩人であるタブナジアの枢機卿ミルドリオンの行方を追っている。二面的な性格の持ち主で、正義感あふれる熱血漢かと思えば、非情な判断をくだすなど、その豹変ぶりはほとんど別人のよう。

Impressive Words

「ミスタルの名にこびりついた汚名をそそぐことはいまだ叶わず……」
——ギルド桟橋：ミスタル家の調査に訪れた冒険者に

「世界を救う、これ以上の正義はありませんからね……そうでしょう？ルーヴァランス・ミスタル？」
——ギルド桟橋：シドの伝言を冒険者から聞かされ、ひとりつぶやき

←直前に顔を合わせていたにもかかわらずそれを覚えていないなど、不審な点が多々ある。

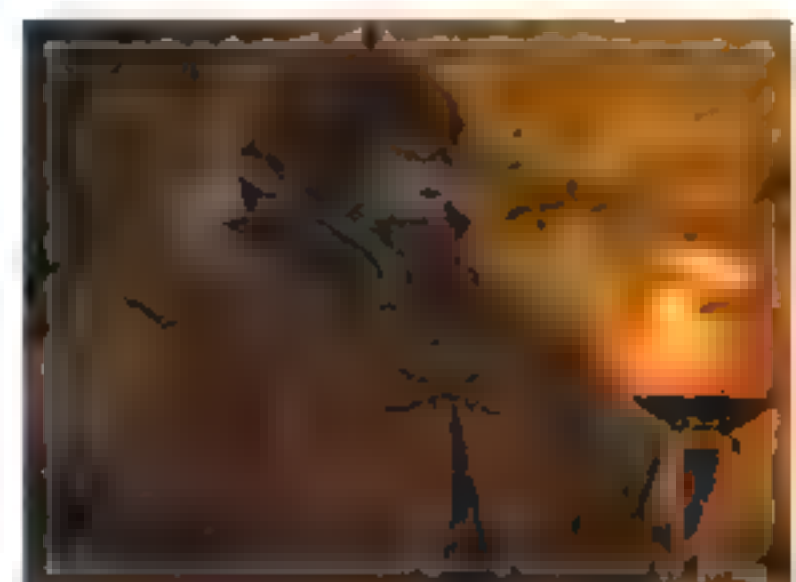
モブリンを守る世捨て人

ジャボス

Jabbos

Personal Data
種族 ガルカ
性別 男

登場場所 2716号採石場、大工房ほか

獣人モブリンの地底都市ムバルポロスで暮らしてきたガルカ。純朴な平和主義者で、モブリンたちが人間に憎しみを抱くことに心を痛めている。冒険者との出会いをきっかけに、ムバルポロスを出てヴァナ・ディールを救う戦いに身を投じる。

←モブリンたちを守りたいと思うあまり、100年に渡って、彼らとともに過ごしてきた。

Impressive Words

「男神のこと……あがめたりしてる……。人をすべて……ほろぼそうとしてる……。でも……約束する……俺が……やめさせる……」
——2716号採石場：謎の少年を追う冒険者の前に現れて事情を話し

「人だけでなく……モブリン……みな……助けるためだ……」
——2716号採石場：ムバルポロスから出る決意を固めて

謎多きジュノの麗人

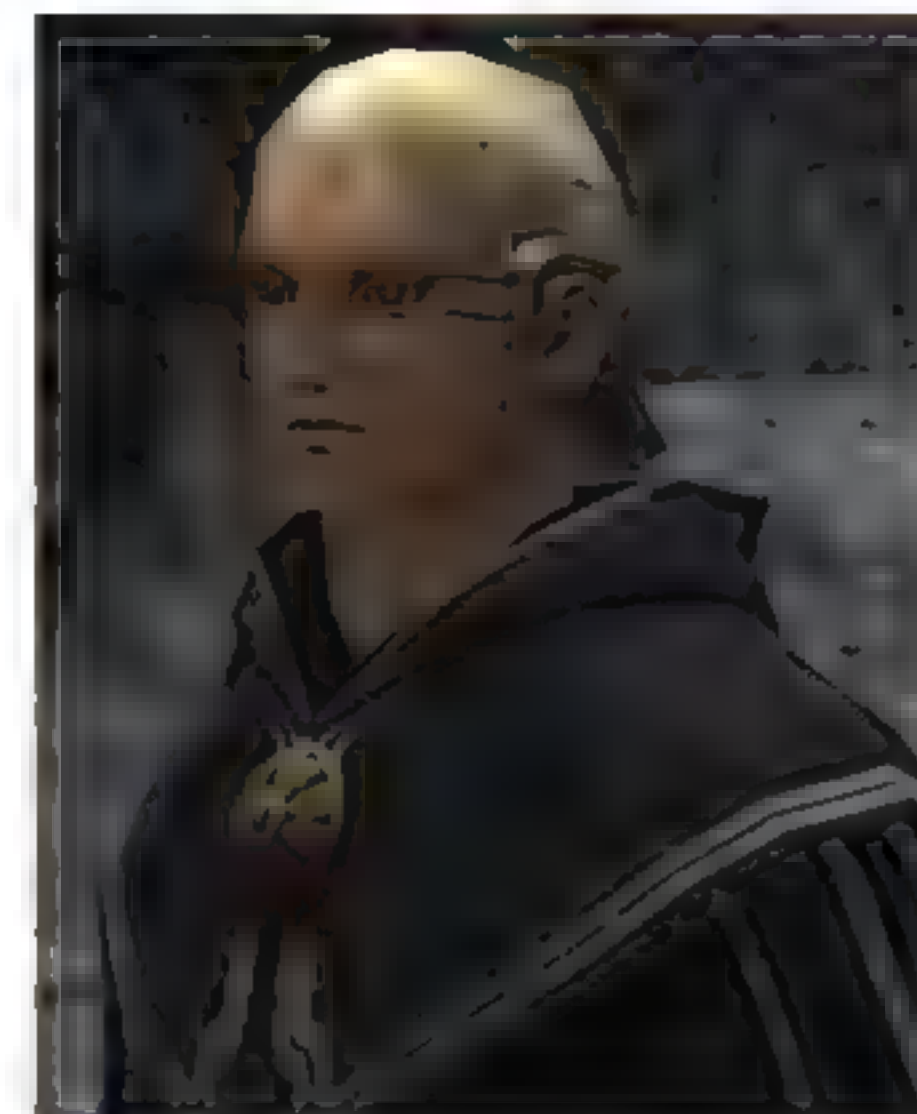
エシャンタール

Esha'ntarl

Personal Data
種族 ヒューム？ 性別 女
出身地 ？
登場場所 ル・ルデの庭ほか

ジュノ大公国の高官であり、アルマター機関の幹部。大公カムラナートの不在時にはその代理を務め、他国からの使節に応対することも許されている。クリスタルの輝きを守るため、アルマター機関を動かすが……？

Impressive Words

「案ずることはありません。私は、いたずらに留守を預かる役を申しつけられたわけではありません」
——ル・ルデの庭：カムラナートとの直接面談を願うテンゼンに

野心あふれるジュノの外交官

ナグモラーダ

Nag'molada

Personal Data
種族 ヒューム？ 性別 男
出身地 ？
登場場所 ジュノ上層、プロミヴォンほか

ジュノ大公国の外交官を務めるが、実はアルマター機関の幹部のひとりでもある。自身の野望を達成すべく、冒険者たちを利用しようとたくらむが……。

Impressive Words

「……それが知りたいからこそ、その少年とやらを目覚めさせる必要があるのです」
——ジュノ上層：セルテウスの身柄を預かろうとモンブローの医院に詰めかけて

人を滅ぼさんとする空の覇者

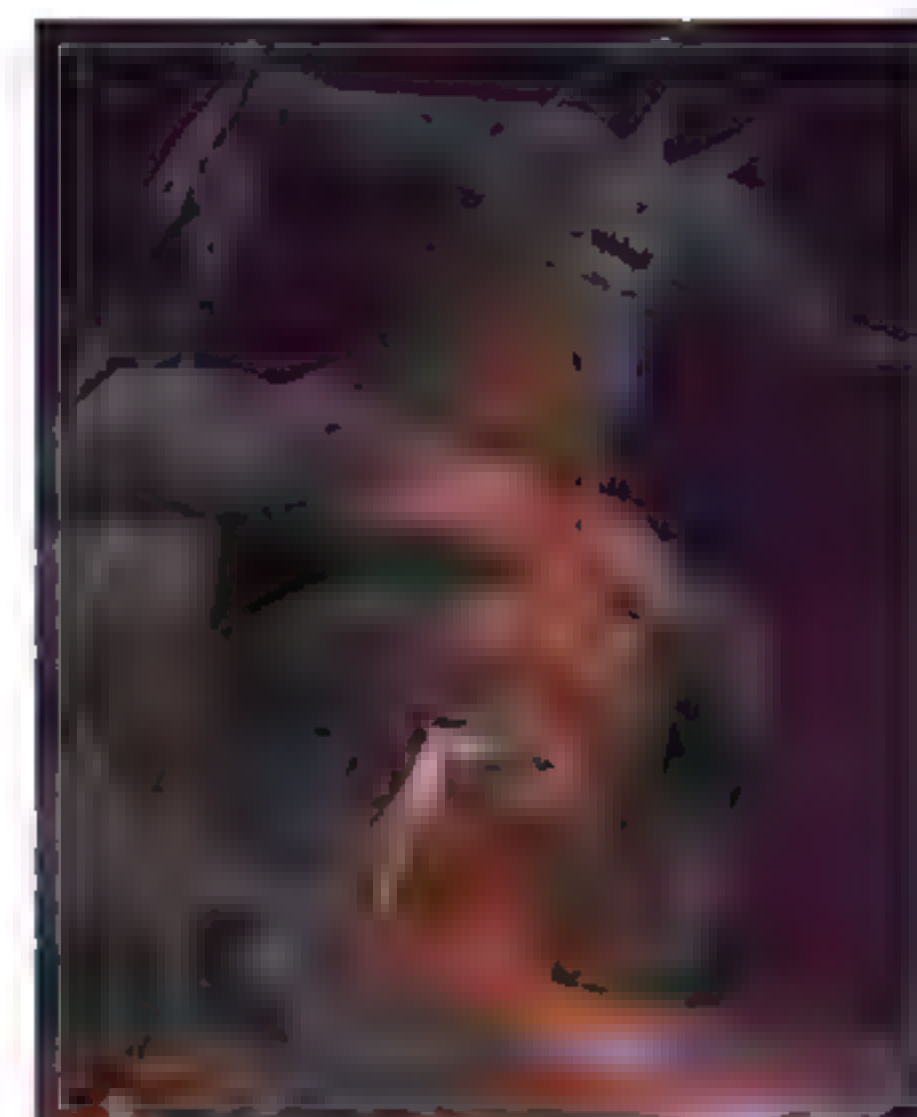
登場場所 帝龍の飛泉ほか

バハムート

Bahamut

真龍の王にして、五霊獣の1体。シュ・メーヨ海の奥底で眠りについていたが、突如として現世に降臨。何者かと結んだ「世界の終わりに来る者が生まれ落ちたとき、人間すべてを滅ぼす」という契約を果たそうと、人類に宣戦布告する。

Impressive Words

「現れるときが来た！　世界の終わりに来る者が……！今こそ聖戦のとき！　我が下に集え！　神の血を流すがため！」
——シュ・メーヨ海上空：長き眠りから復活し、真龍の一族に呼びかけ

夢の世界の支配者

登場場所 異界の口

ディアボロス

Diabolos

ヴァナ・ディールに棲まう五霊獣の1体。夢をつかさどる存在で、「虚ろなる闇」によって肉体を失った者の魂に安息を与えるべく、夢の世界「デュナミス」を作り出した。自身のもとを訪れた冒険者をデュナミスに閉じこめようとする。

Impressive Words

「虚ろニ 体を食わレ それヲ 失ってモ その心ハ 私ノ 夢の中デ 永遠と 生き続けル」
「……さァ 私の夢ヲ 受け入レル のダ」
——異界の口：冒険者を夢の世界に引きこもうとして

金にがめつい豪腕ネコ社長

ナジャ・サラヒム

Naja Salaheem

Personal Data
- 種族 ミスラ
- 性別 女
- 出身地 ？

登場場所 アトルガン白門

傭兵派遣会社「サラヒム・センチネル」のミスラの社長。会社のあらゆることを自身の気分のみで決めるワンマン経営者で、お金のためなら何でもやってのける。アトルガン皇国へとやってきた冒険者をサギまがいの手口で入社させるが、それが会社の命運を揺るがすことに。

←性格は勝手気ままで傍若無人。愛用のモーニングスターを突きつけて、社員をおどしたえする。

Impressive Words

「耳かっぽじってよ〜く聞きな……。ここは、あたいのシマ。あんたらは、あたいのステゴマ。代わりなんざ、いくらでもいるんだよっ!」
——アトルガン白門：待遇に抗議するライファルをどなりつけ

「うちがいかに優良企業で社員が幸せか、伝わってくるようじゃないかー♪」
——アトルガン白門：社員勧誘用のパンフレットを作りながら

ナジャ社長に振りまわされる気弱な部長

アブクーバ

Abquhbah

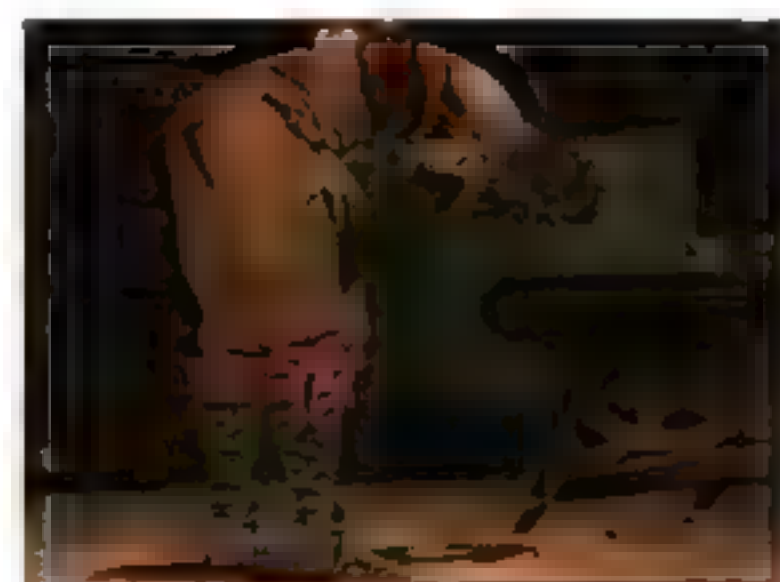
Personal Data
- 種族 ヒューム
- 性別 男
- 出身地 ？

登場場所 アトルガン白門

サラヒム・センチネルの人事部長。ナジャ社長の腹心であり、社長の身勝手にさらされる一番の被害者でもある。社員全員の顔と名前を覚えているなど人事担当としての能力は高いはずなのだが、いかんせん気が小さく、ナジャに呼ばれただけで縮み上がってしまう。

Impressive Words

「社長の「トゲトゲ」で粉砕骨折レベルってやつです。ふひー」
——アトルガン白門：傭兵としての勤務評価を冒険者に伝えて

「ナジャ社長、御愛用のトゲトゲの手入れは、僕の大事な任務だったのに……よりによって、黒錆を浮かせてしまうなんて!!」
——アトルガン白門：自分の失態を冒険者に話し

←社長におびえつつも、彼女のために尽力する。ときおり責任を冒険者に押しつけるのはご愛敬？

東方情勢にくわしいヤグード傭兵

ゲッショー

Gessho

Personal Data
- 種族 ヤグード
- 性別 男
- 出身地 ミンダルシア大陸?

登場場所 アトルガン白門

冒険者と同期にサラヒム・センチネルに入社した、ヤグードの傭兵。もとはミンダルシア大陸を根拠地とするヤグード教団の一員だったが追放され、エラジア大陸に渡ってきたというのだが……。

←同じく傭兵であるライファルと懇意になり、互いの意図を隠しつつ、ともに皇国の内情を探る。

Impressive Words

「素浪人の身でござれば。御主と同様、うっかり「さらひん・せんちなる」に仕える足軽の身となり申した……」
——アトルガン白門：冒険者に自身の素性を語り

「もはや、是非もなし。月照、参る!!!」
——？

双蛇の大国を導く君主

聖皇ナシュメラ2世

Nashmeira

Personal Data
- 種族 ？
- 性別 女
- 出身地 アトルガン皇国

登場場所 アルザビ皇宮

エラジア大陸に覇を唱えるアトルガン皇国の最高権力者。先皇ジャルザーンの崩御にともない、即位した。しかし、その後、獣人蛮族の反乱が相つぎ、国内の治安が急速に悪化。にもかかわらず、公の場に姿を見せないため、民衆からいぶかしがられている。

←話し口調から、女性であるらしいことはわかるが、それ以外の種族や年齢などはいっさい不明。

Impressive Words

「……わらわの願い、そなたらの働きにより叶おうぞ……」
——アルザビ皇宮：ラズファードの働きに声をかけて

「……わらわの傭兵。そして、従者サラヒム。……わらわのため、皇国のため、よくぞ幽霊船の正体をあばいてくれた……」
——アルザビ皇宮：幽霊船アシュタリフ号の調査をした冒険者をねぎらい

聖皇を支える若き執政

ラズファード宰相

Razfahd

Personal Data
- 種族 ヒューム
- 性別 男
- 出身地 アトルガン皇国

登場場所 アルザビ皇宮、ナイズル島ほか

数々の難題を抱えた皇国の舵を取る宰相。若年ながら才知に富み、聖皇の意向を受けて国政をつかさどっている。武断的な思想の持ち主で、反乱を起こした蛮族の鎮圧や東方諸国との戦争に注力。その一方で、聖皇直属の親衛隊である「不滅隊」を掌握し、何かを探させているという。

Impressive Words

「与えられた役割だけを果たし、それ以外のことには……目をつぶり、耳をふさぐよう、心がけよ。それが、御身を保つただひとつの道なのだ」
——アルザビ皇宮：ぞんざいな口ぶりでナシュメラをいさめて

「陛下は……、御一人では何もできない」
——アルザビ皇宮：ナシュメラに思いをはせて

←聖皇ナシュメラとは深い関係にあるらしく、ときに彼女に対して声を荒げる場面も。

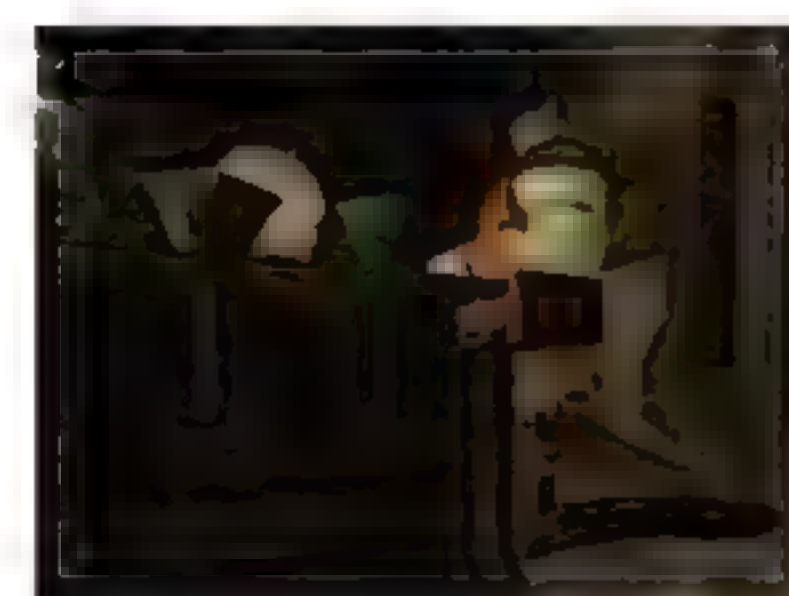
オートマトン開発の父

ガッサド

Ghatsad

Personal Data
- 種族 ガルカ
- 性別 男
- 出身地 アトルガン皇国

登場場所 アトルガン白門、アルザダール海底遺跡群ほか

自動人形「オートマトン」を発明した天才人形師。50年前に、世界初のオートマトン「メネジン」を開発したことで先皇ジャルザーンに取り立てられて以来、王命で開発をつづけてきた。その目的は、単に軍事や娯楽のためだけではないようだが……。

←ジャルザーンの崩御後は、ラズファードより資金援助を受け、彼の意に沿って研究をつづける。

Impressive Words

「そうだな……私の研究の手伝いをする気があるなら、1体だけ、人形を譲ってやらんでもないぞ」
——アトルガン白門：オートマトンを求める冒険者に

「「鈴」はつけた、と宰相どのに伝えよ」
——アルザダール海底遺跡群：不滅隊の隊員にラズファードへの伝言を託し

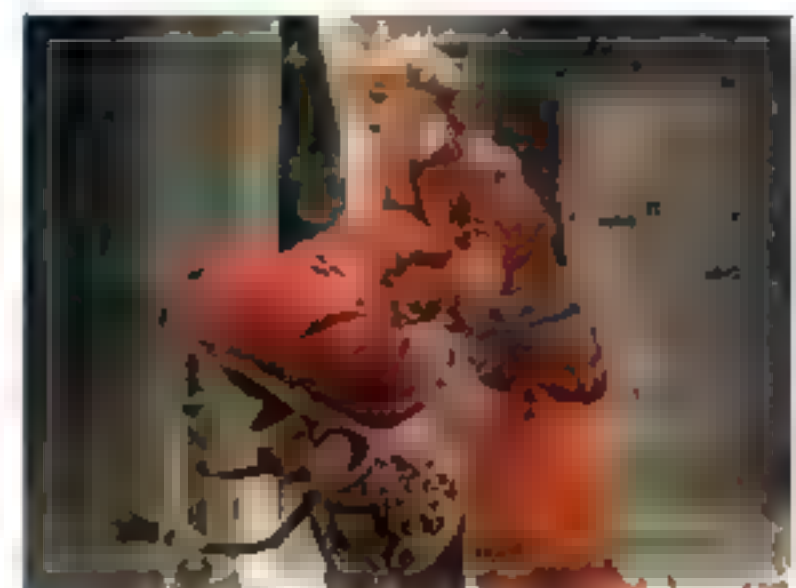
聖皇に仕える可憐なからくり士

アフマウ

Aphmau

Personal Data
種族 ヒューム
性別 女
出身地 アトルガン皇国

登場場所 アルザビ皇宮、アトルガン白門ほか

宮廷傀儡師として聖皇ナシュメラ2世のそば近くに仕える、天真爛漫な少女。"無手の傀儡師"との異名を持つからくり士で、アヴゼンとメネジンという2体のオートマトンをあやつる。聖皇の勅命を伝えるべく向かったサラヒム・センチネル本社にて、冒険者と出会うことに。

←わがままで子どもっぽい性格をしているが、ラズファードの前では委縮した様子を見せる。

Impressive Words

*「あなた、マウのこと、連れ戻しにきたの？
いや！ いやよ。マウには、まだやることがあるの！」*
——アトルガン白門：アフマウ捜索の命を受けた冒険者に

「どうしよう？ このままじゃまた、ボ相に怒られちゃう……」
——アルザビ皇宮：カラハバの歓迎式で失態を演じて

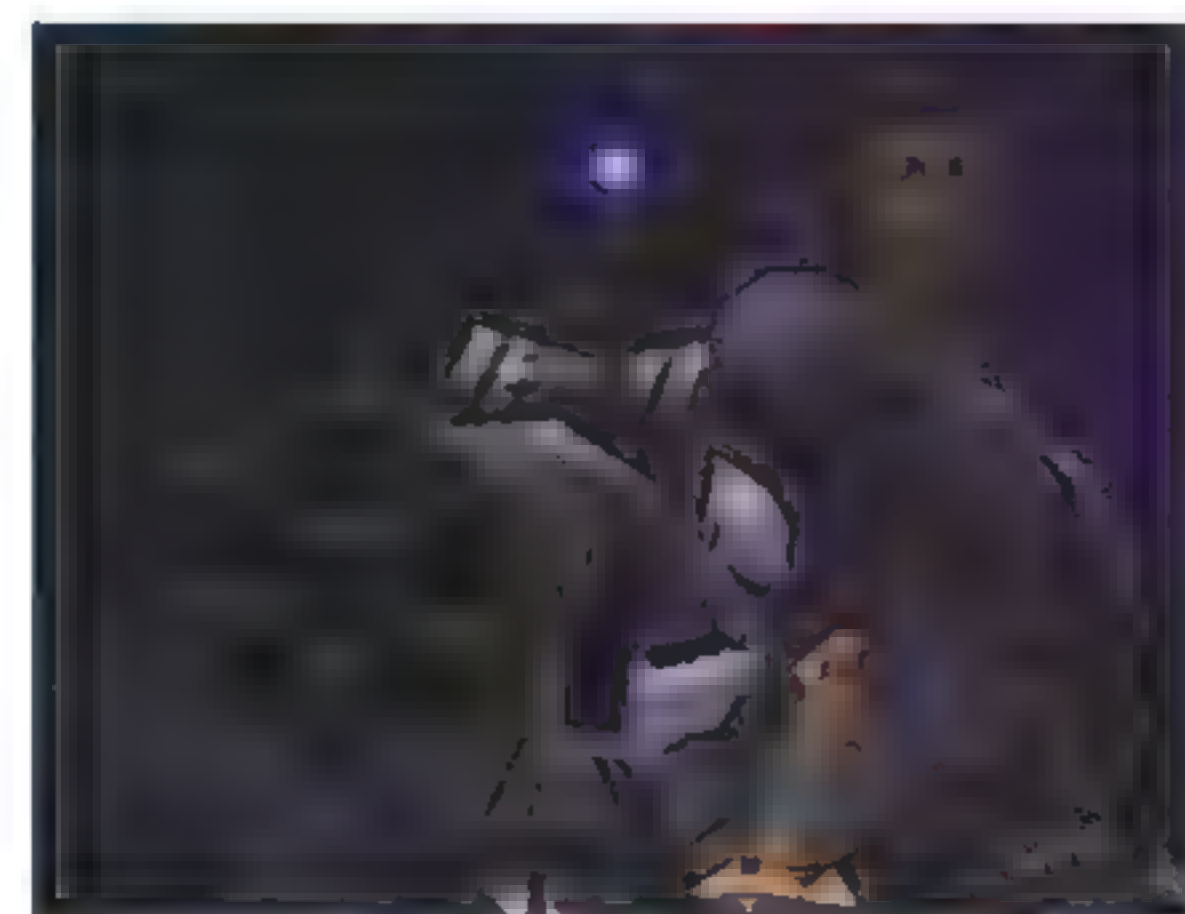
皇国海軍を脅かす幽霊船の首領

ルザフ提督

Luzaf

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 ？

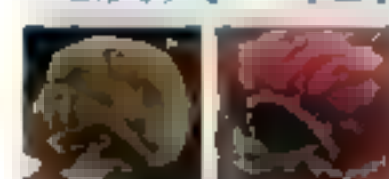
登場場所 アシュタリフ号、ナイズル島ほか

暗碧海に出没する幽霊船アシュタリフ号の首領。屍のごとき不気味な乗員を配下としているが、その物腰には高貴な雰囲気も漂わせている。はたして、その正体とは……。

Impressive Words

*「聖皇のためならば、民のいかなる犠牲も厭わず……逆らう勢力があれば、
武力をもって根絶やしにする。そういう国だ。今も昔もな……」*
——ナバコ処刑場：アトルガン皇国への憎しみを語り

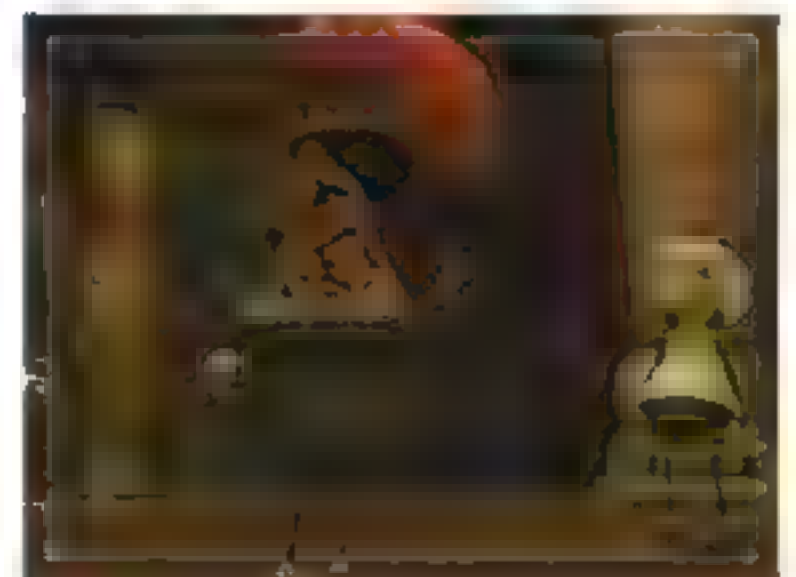
「……目的……か……。いずれ、わかる」
——アシュタリフ号：目的を問われて

←彼の指揮する"幽霊船"と呼ばれるボロボロの船体の戦艦も謎に包まれている。

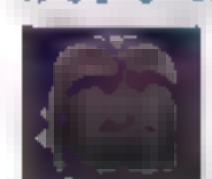
正反対の性格をしたオートマトンコンビ

メネジン＆アヴゼン

Mnejing & Ovjang

登場場所 アルザビ皇宮、アトルガン白門ほか

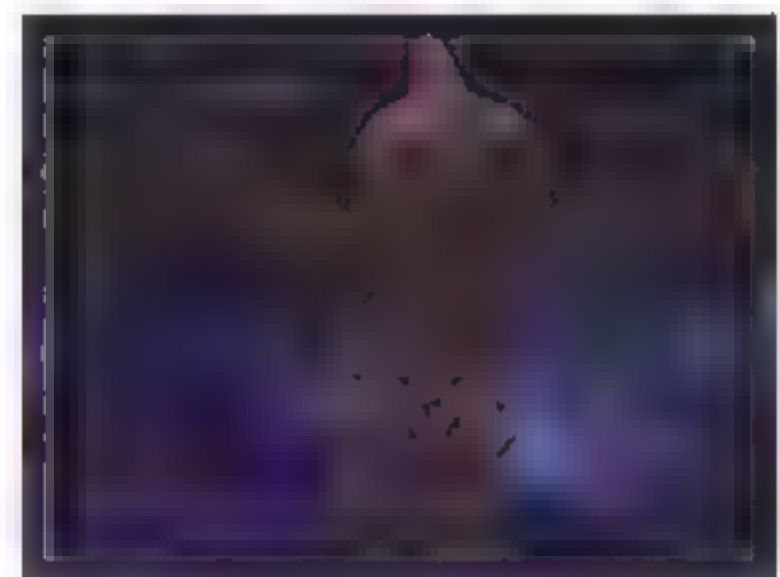
アフマウに従う2体のオートマトン。威厳を備えた甲冑姿の人形がメネジン、帽子をかぶった尊大な人形がアヴゼン。アフマウの思いを代弁したり、ときにハッパをかけたりして、彼女を支えていく。

Impressive Words

*アヴゼン「ナンチャッテ♪」
メネジン「……かわいくないぞ」*
——アルザビ皇宮
聖皇のマネをするアヴゼンにメネジンがツッコミを入れて

皮肉屋の妖精

フリット

Flit

登場場所 アシュタリフ号

ルザフの腰ぎんちゃくに納まっている小悪魔。臆病な一方で非常にずる賢く、道化のような振る舞いで場を乱す。忠実なルザフのほかの部下とはちがい、ときには主人の思惑を無視した行動をとることも。

Impressive Words

「提督には絶対服従！ ……でしたね。はいはい、黙りますとも」
——ナバコ処刑場：余計な口出しをルザフに止められて

皇国を守護する"天駆ける剣"

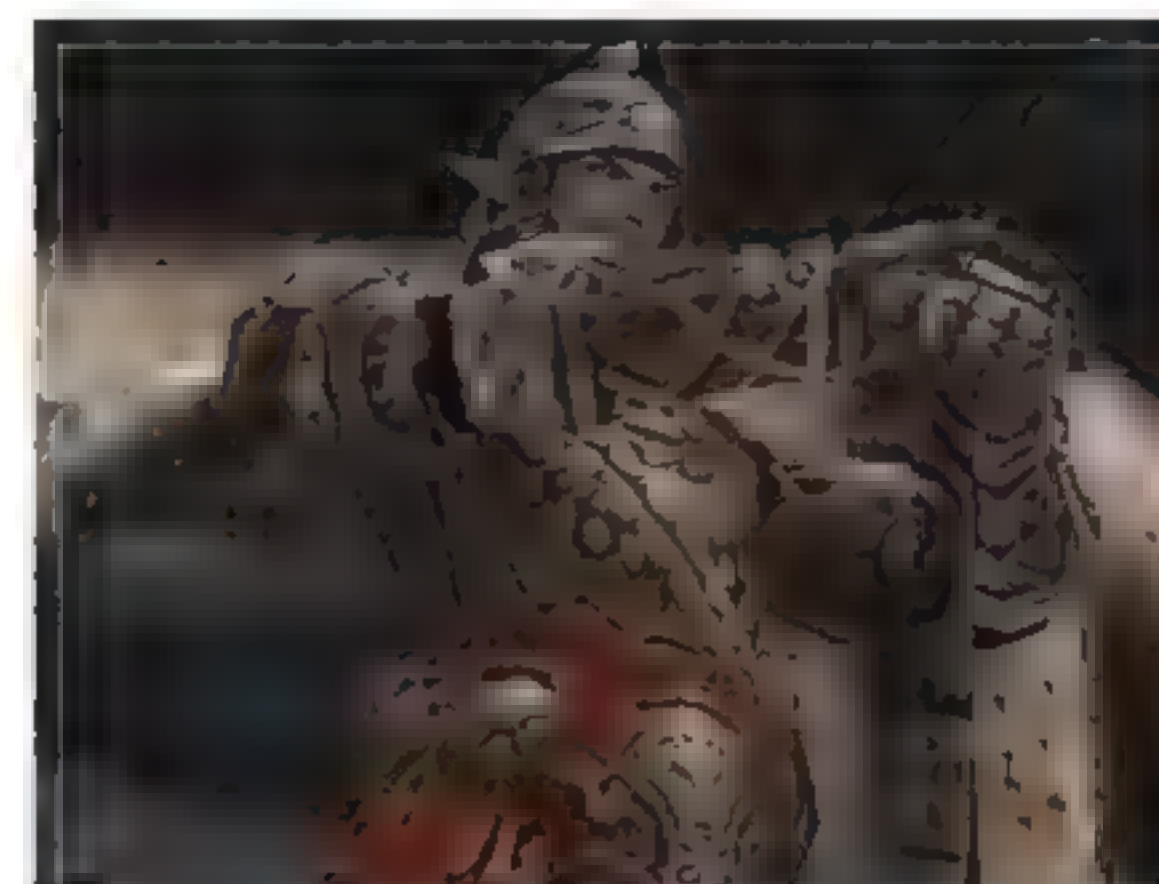
天蛇将ルガジーン

Rughadjeen

Personal Data
種族 エルヴァーン
性別 男
出身地 ？

登場場所 アルザビ

若くして皇国国防の全権をになう天蛇将軍に抜擢された、エルヴァーンの青年。ほかの五蛇将とともに、皇国に加護をもたらす秘宝「魔笛」を守っている。かつては皇国の西部方面軍に所属する大隊長であったが、その有能さゆえに上官の反感を買い、左遷された過去を持つ。

←皇国と聖皇を守ることに使命を燃やす。ほかの五蛇将をスカウトしたのもルガジーンだ。

Impressive Words

「勝利の栄光を聖皇さまに捧げん!!」
——アルザビ：蛮族による皇都襲撃を前に

*「単身、敵の都に乗り込むような勇敢な傭兵と、
くつわを並べて戦えること、私は誇りに思うぞ」*
——アトルガン白門：思い出の品を届けた冒険者に言葉をかけ

血気にはやる炎の刃

炎蛇将ガダラル

Gadalar

Personal Data
種族 ヒューム
性別 男性
出身地 ？

登場場所 アルザビ

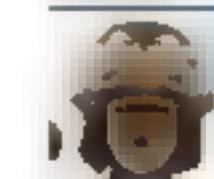
五蛇将のひとりで、炎の魔法を得意とする魔道士。東方戦線に加わったときには、あまりに凶悪な戦いぶりから「羅刹」と呼ばれ、敵に恐れられた。乱暴極まりない性格の持ち主だが、部下思いなところもある。

Impressive Words

「ハハハッ、ウジ虫めッ！ もがけッ、うめけッ、のたうちまわれッ!!」
——アルザビ：皇都を襲撃した蛮族に攻撃を仕掛け

跳ねっ返りな"水和ぐ盾"

水蛇将ミリ・アリアポー

Mihli Aliapoh

Personal Data
種族 ミスラ
性別 女
出身地 ？

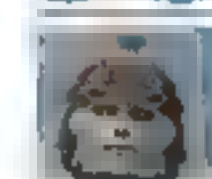
登場場所 アルザビ

まだ若年の身でありながら五蛇将のひとりに選ばれた、ミスラの少女。勝気な性格で、見ず知らずの傭兵（冒険者）には素っ気ない態度をとるが、聖皇に対する忠誠心は高いようだ。

Impressive Words

「はい、これ。あの時の路銀だよ。べ、別にお礼とかじゃないからねッ！」
——アルザビ：蛮族の手から自分を救い出してくれた冒険者にお礼を渡し

己の意地をつらぬく"土噛みし拳"

土蛇将ザザーグ

Zazarg

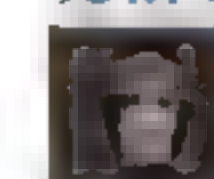
Personal Data
種族 ガルカ
性別 男
出身地 ？

登場場所 アルザビ

五蛇将として皇都を守る豪放な拳士。確かな戦術眼を持つ剛勇の将軍として知られる一方、兵士と寝食をともにする気さくな人物でもある。どうやら、アトルガン皇国の出身ではないようだが……。

Impressive Words

「敵さん、もう勝ったつもりでいやがる。ひとつ、オレたちが教育してやろうぜ！」
——アルザビ：蛮族による皇都襲撃を前に

覚悟を撃ち放つ"風纏う弓"

風蛇将ナジュリス

Najelith

Personal Data
種族 ヒューム
性別 女
出身地 ？

登場場所 アルザビ

おだやかな人柄の、五蛇将の一角をになう女性。東国の英雄「ヨイチ」と並ぶ天才射手として名高い。やわらかい物腰で、傭兵にも親切に接するが、ときおりさびしげな一面を見せることも。

Impressive Words

「この戦い……みなの心をひとつにすれば、必ず勝てます……」
——アルザビ：蛮族による皇都襲撃を前に

傍若無人な全権特使
カラババ
Karababa

Personal Data
種族：タルタル
性別：女
出身地：ウィンダス連邦

登場場所：アトルガン白門、エジワ蘿洞ほか

ウィンダスからアトルガンに派遣された特命全権大使。おとものカーディアン「キング・オブ・ハーツ」とともに、皇国の視察に訪れた。到着早々に聖皇との謁見をすっぽかし、町のド真ん中で攻撃魔法をぶっ放したうえ、機密となっている遺跡を勝手に調査するなど、やりたい放題。

←特徴的な笑いかたといい、性格といい、ウィンダスでも有名な"あの博士"を思わせるが……。

Impressive Words

「もちろん、ここまで話を聞いた以上「行かない」という選択肢はございませんことよ」
——アトルガン白門：冒険者に強制的に話を聞かせたのち

「わたくし、ブチ切れましたわ」
——ナバゴ処刑場：襲いかかってきたキマイラに魔法を放ちつつ

西よりきたる誇り高き賢者?
ライファル
Raillefal

Personal Data
種族：エルヴァーン
性別：男
出身地：サンドリア王国

登場場所：アトルガン白門

元サンドリア神殿騎士を自称する傭兵。ナジャ社長にだまされてサラヒム・センチネルに入社するが、会社のことはかえりみず、皇国の内情を探っている。エルヴァーンらしい偉そうな態度は、どこぞの王子を思わせる。

Impressive Words

「届けて参れ。名高き賢者ライファルから預かったと言ってな」
——アトルガン白門：国元に送る書状を冒険者に預け

カラババの命を受けた偵察役
ロディンコミディン
Rodin-Comidin

Personal Data
種族：タルタル
性別：男
出身地：ウィンダス連邦

登場場所：アトルガン白門、ル・ルデの庭ほか

特使カラババの命令で、オートマトンの性能を調べるよう命じられた調査員。アルザビのオートマトン工房の内部をのぞこうと右往左往しているうちに、当のカラババが到着。彼女から、キツイ制裁を受けるハメに。

Impressive Words

「シャンっ……じゃなくて、カラババ様。くだんの冒険者があそこに……」
——アトルガン白門：カラババの名前をまちがえて呼びそうになり

ライファルとつながる密偵
トラビアルス
Travialce

Personal Data
種族：エルヴァーン
性別：男
出身地：サンドリア王国

登場場所：アトルガン白門、ル・ルデの庭ほか

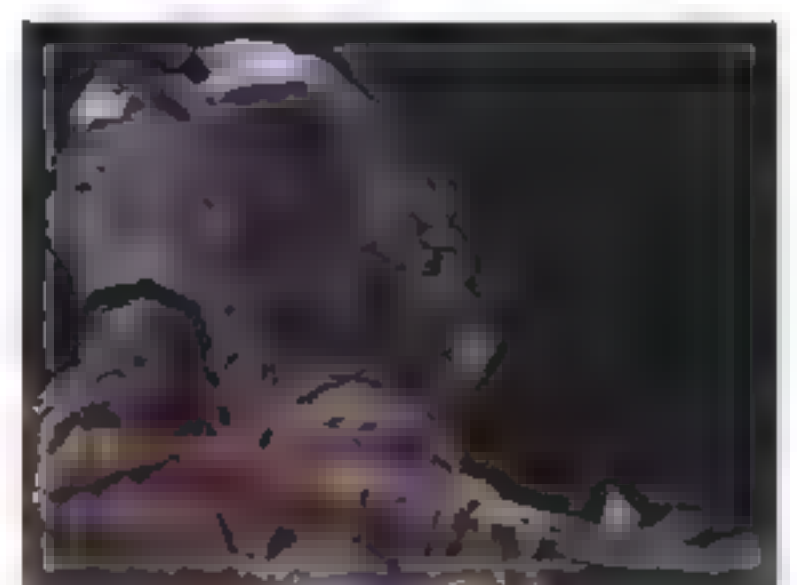
ライファルを陰で守りつづける諜報員。東方の忍びの技を修めた男で、サンドリア王立騎士団長ラーアルの指令によって動いていた。のちに、国元へと帰還したライファルと冒険者をつなぐ連絡役となる。

Impressive Words

「いずれにせよこの件については、またライファル様より文がまいりましょう」
——アトルガン白門：ゲッショーにライファルの近況を伝えて

地獄で戦いつづける伝説の黒騎士
冥路の騎士
Dark Rider

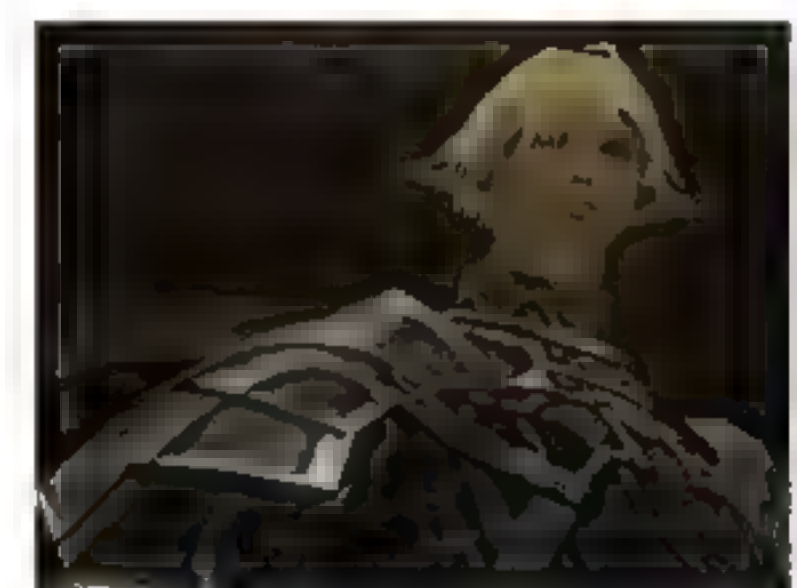
登場場所：バフラウ段丘、ワジャーム樹林ほか

エラジア大陸の伝承に語られる騎士。地獄を戦場に永遠の戦いに身を置くと言われる存在だが、ここ最近になって皇国領内での目撃報告が相ついでいる。目撃者によれば、小山のような巨獣にまたがっているらしい。

←エラジア大陸の各地では、冥路の騎士の乗馬のものらしい巨大な足跡が見つかっている。

気弱だが根性のある傭兵仲間
ファルズン
Falzum

Personal Data
種族：エルヴァーン
性別：男
出身地：?

登場場所：アトルガン白門、士官学校

冒険者と同じ時期にサラヒム・センチネルへ入社した傭兵。気弱な性格が災いして、勤務評価はとても低い。のちに、会社付属の傭兵士官学校に入学。教官ロンジェルツのシゴキに耐えながら、自分なりに成長していく。

Impressive Words

「ボクは勇者じゃない……。ボクはっ……けれど、ボクはっ! エースなんだぁぁぁっ!!」
——士官学校：「おお勇者よ、情けない」と皮肉を言うロンジェルツに反論して

心優しく面倒見のいい優等生
ヤスミール
Yasmeel

Personal Data
種族：ヒューム
性別：女
出身地：?

登場場所：士官学校

ツァヤ出身の士官候補生。成績優秀なうえに気立ての良い美人で、「委員長」とも呼ばれる。落ちこぼれがちなファルズンを心配し、彼を支えようと奮闘。祖国の自警団にいたころは、特殊部隊に所属していたらしいが?

Impressive Words

「軍隊では万事、先を予測して行動する癖をつけておくと後で楽よ」
——士官学校：訓練の前にファルズンにアドバイスを送る

たたき上げの鬼軍曹
ロンジェルツ
Rongelouts

Personal Data
種族：エルヴァーン
性別：男
出身地：サンドリア王国

登場場所：士官学校

サラヒム士官学校の主任教官。数々の死線をくぐり抜けてきた歴戦の勇士で、候補生たちを「ウジ虫ども」と呼びつつ、竹刀片手に地獄の訓練を課す。なぜか、ファルズンにはとくに厳しく当たる。

Impressive Words

「いいか。ここでは、私が絶対である! 貴様らウジ虫には、なんの価値もない」
——士官学校：入学式で候補生たちに訓示して

才能をひけらかす貴公子
ネオザリヤ
Neosaliat

Personal Data
種族：エルヴァーン
性別：男
出身地：サンドリア王国

登場場所：士官学校

士官候補生のひとりで、モニヨン伯爵家の御曹司。サンドリアの大学を首席で卒業した有能な人材だが、経歴を鼻にかけ、同級生にも小バカにした態度をとる。傭兵に身をやつしたのには何か理由があるようだが……。

Impressive Words

「おっと、失敬。冒険者崩れの間違いだったかな?」「まあ、せいぜい頑張りたまえ」
——士官学校：入学式で顔を合わせた冒険者に

おしゃべりなミスラコンビの片割れ
トカ・テルポスカ
Tohka Telposkha

Personal Data
種族：ミスラ
性別：女
出身地：?

登場場所：アトルガン白門、士官学校

ウワサ好きなうえにおしゃべり好きな、士官候補生のミスラ。士官学校に入る前からの友人であるクベと、いつも話に花を咲かせている。ホレっぽいところもあり、御曹司のネオザリヤに恋心を寄せる場面も。

Impressive Words

「ねえ。わたし、やっぱ帰るわ。だって噂が本当なら、この学校って……」
——士官学校：学校にまつわるウワサを思い出し不安を口にして

トカの怒りっぽい親友
クベ・イジューラ
Kubhe Ijyuhla

Personal Data
種族：ミスラ
性別：女
出身地：?

登場場所：アトルガン白門、士官学校

士官候補生のひとりで、トカの相棒。ふだんはアトルガン白門の噴水広場でたむろしている。いつも何かに怒っており、不平不満を口にしがち。そのやかましさから、教官にはトカともども「ネズミっこ」と呼ばれる。

Impressive Words

「……でも、あいつ見るからにトロそうじゃん……。いいよ、エリートのアタシが先鋒でも」
——士官学校：BCG演習を前にして

アルタナの神兵 水晶大戦当時の人々

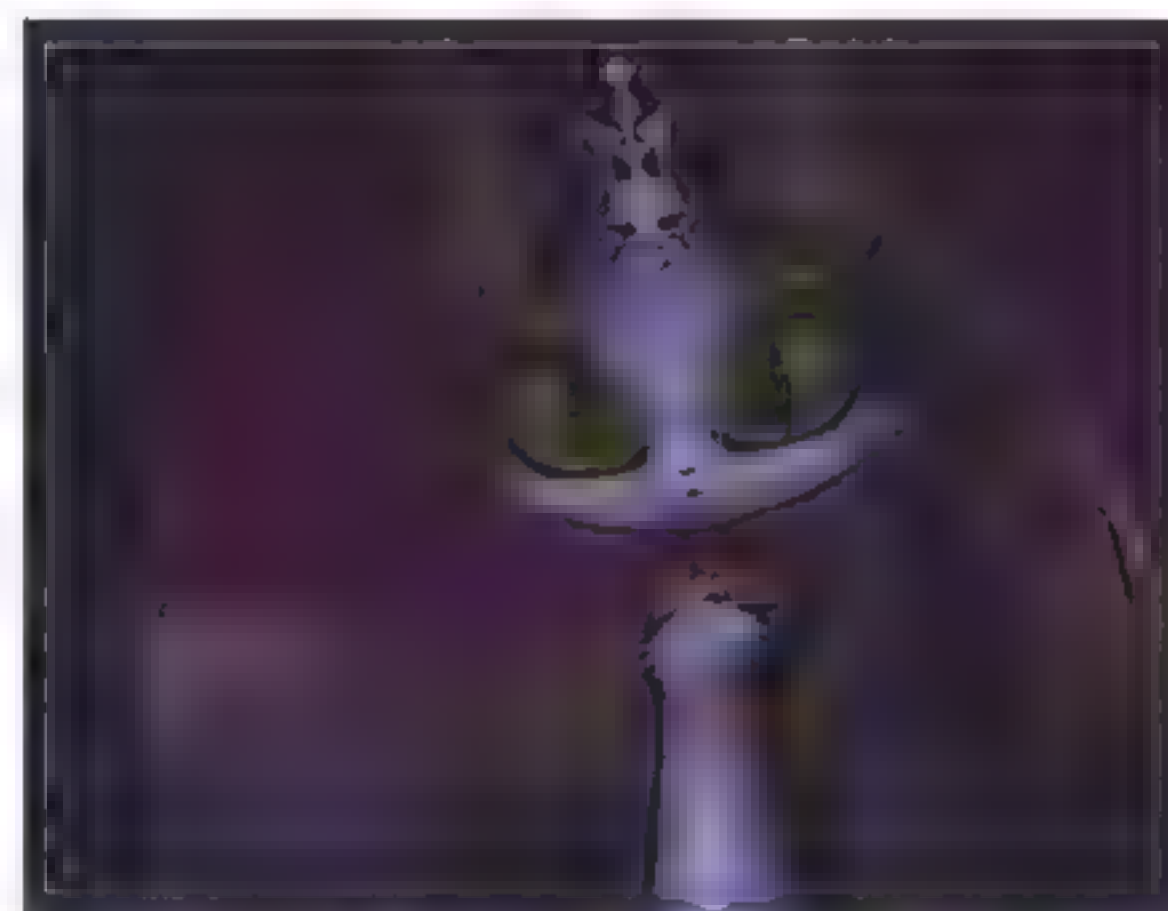
時をかけるおしゃべりな獣人

ケット・シー

Cait Sith

登場場所 ウォークオブエコーズ

冠とマントで着飾った、謎の小柄な獣人。ヴァナ・ディール各地の「禁断の口」を通って現代と水晶大戦の時代とを行き来できるようになった冒険者の前に現れ、戦乱のために流される嘆きの涙を少しでも減らす手伝いをしてほしいと依頼する。

⬅戦乱の時代に現れるという伝説の戦士「暁の神兵」を捜しているらしい。

Impressive Words

「……マガーツ、ボシーのあるトコロー♪
アーカツキーのシンペイさんが、おりたちてー♪」
――ウォークオブエコーズ：「暁の神兵」の歌を歌いながら姿を現して

「ねえ、アタクシのおシゴトを手伝ってくださらない?」
――ウォークオブエコーズ：出会った冒険者に協力を依頼して

勇気にあふれる少年騎士

エグセニミル

Excenmille Aurchiat

Personal Data
- 種族 エルヴァーン
- 性別 男
- 出身地 サンドリア王国

登場場所 南サンドリア〔S〕、ジャグナー森林〔S〕

ノルバレンに広大な領地を持つ名門オルシャー家の跡取り息子。大人たちだけに国の危機をまかせておけないと、同年代の子どもたちを率いて「少年騎士団」を結成。団長として、数々の奇抜な作戦を展開する。

Impressive Words

「まだお前のこと、信用したわけじゃねーけど、次の作戦会議にもぜってー参加しろよ!」
――ジャグナー森林〔S〕：危機を救ってくれた冒険者に

少年たちを心配する従騎士

アルテニア

Altennia Borel
アルテニア・ボーレル

Personal Data
- 種族 エルヴァーン
- 性別 女
- 出身地 サンドリア王国

登場場所 南サンドリア〔S〕、ジャグナー森林〔S〕

サンドリア王立騎士団の従騎士。ムチャをしがちなエグセニミルたち少年騎士団のことを心配しており、任務の合間をぬって、彼らの面倒を見ている。のちのサンドリア宰相ハルヴァーと同じ家名を持っているようだが?

Impressive Words

「あら?　エグセニミル。こちらの方は……もしかして新しい騎士団員?」
――南サンドリア〔S〕：少年騎士団と一緒にいた冒険者に目をとめて

軍学を世に広めた軍師

シュルツII世

Gunther Schultz
グンサー・シュルツ

Personal Data
- 種族 ヒューム
- 性別 男
- 出身地 ?

登場場所 エルディーム古墳〔S〕

200年前のバストゥークにその人ありと言われた名軍師シュルツと同姓同名の男。いにしえより伝わる戦術書「グリモア」の携帯化に成功し、シュルツ流軍学を広めた。気さくな人柄で、いまだ「学究の徒」を自認する。

Impressive Words

「シュルツ流軍学は「知行合一」。実践を重んじます」
――エルディーム古墳〔S〕新たに軍学を学ぶ者となった冒険者に

黒き面の連邦軍最高司令官

ロベルアクベル

Robel-Akbel

Personal Data
- 種族 タルタル
- 性別 男
- 出身地 ウィンダス連邦

登場場所 カルゴナルゴ城砦〔S〕

ウィンダス連邦軍のすべてを掌握する大魔元帥。顔全体に黒い包帯を巻きつけており、その素顔を見た者はいない。非情かつ好戦的で、勝つためには手段を選ばず、みずから最前線に立つこともいとわない。

Impressive Words

「……しかし、今のは……鳥の浅知恵め……小賢しい……」
――カルゴナルゴ城砦〔S〕：奇襲してきたヤグード教団軍を撃退して

ヴァナ・ディールに戦乱をもたらした憎悪の権化

闇の王

Shadow Lord

登場場所 王の間

世界を恐怖で覆い、水晶大戦を起こした張本人。獣人勢力を支配下においてアルタナの民の殲滅を宣言。天晶歴862年からおよそ2年に渡り、クォン、ミンダルシア両大陸に未曾有の戦禍をもたらした。

⬅見上げるような巨体に闇の力をあふれさせ、柱の如き大剣をいともたやすく振りまわす。

Impressive Words

「さあ、来い、人の子よ!　死ですら、もう俺をとめることはできぬのだ!
我が憎しみ、思い知らせてくれる!!」
――王の間：挑みかかってくる冒険者に

誇り高い赤き狼

ミュゼルワール

Mieuseloir B Enchelles

Personal Data
- 種族 エルヴァーン
- 性別 男
- 出身地 サンドリア王国

登場場所 南サンドリア〔S〕、バタリア丘陵〔S〕

サンドリアの赤狼騎士隊を率いる隊長。生粋の武人であり、敵対する者には容赦ないが、自身が認めた勇士には敵味方問わず敬意を払う。のちに、その腕を買われて多国籍教導部隊「ハイドラ戦隊」に編入されることに。

Impressive Words

「おもしれぇ……死にてぇヤツから、かかってきやがれっ!」
――カンパニエバトル：獣人血盟軍との戦いにのぞみ

共和国軍を支える頭脳

アーリーン

Erlene

Personal Data
- 種族 ヒューム
- 性別 女
- 出身地 ?

登場場所 エルディーム古墳〔S〕

エルディーム古墳に陣を張るバストゥーク共和国軍所属の軍学者。シュルツII世に軍学を学んだ門下生のひとりで、共和国軍参謀長ウルブレヒトの同僚でもある。拠点を訪れた冒険者に、軍学者となる道を示す。

Impressive Words

「グリモアを読んでもらう方が早いわね。「読書百遍、義自ずから通ず」って言うでしょ?」
――エルディーム古墳〔S〕：軍学を学ぼうとする冒険者にグリモアを示し

南方から到着した牙持つ娘

ギオ・モルコット

Ghyo Molkot

Personal Data
- 種族 ミスラ
- 性別 女
- 出身地 オルジリア大陸

登場場所 ウィンダス水の区〔S〕、カルゴナルゴ城砦〔S〕

オルジリア大陸からやってきたミスラの義勇軍「猛虎団」の団長。南方独特のなまり口調が特徴的なミスラで、傭兵団を組織し、ウィンダスを救うべく来訪した。釣りは巨大魚メガロドンを釣りあげるほどの腕前。

Impressive Words

「こっちの大陸の獲物のこと考えたらはよ腕ふるいとうて、たまらんかったで!」
――ウィンダス水の区〔S〕：ウィンダスのミスラたちと合流して

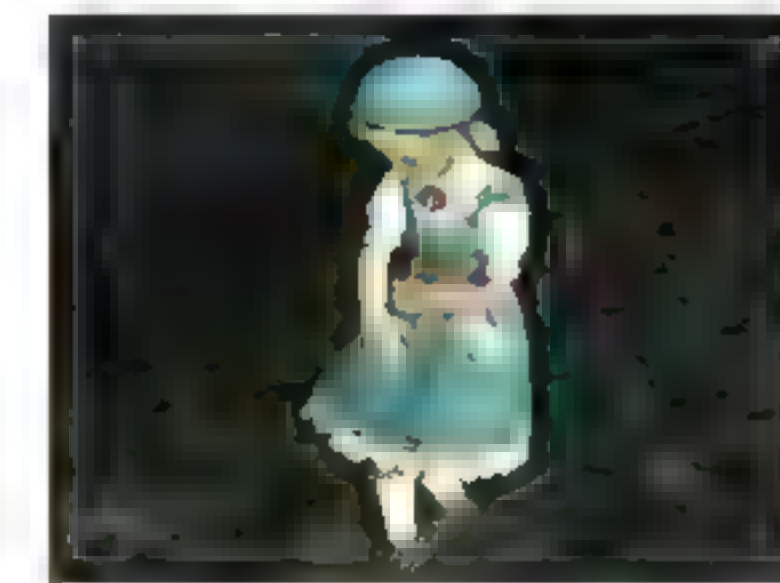
ダンスにかける未来のスター

ライラ

Laila Brilioth

Personal Data
- 種族 ヒューム
- 性別 女
- 出身地 バストゥーク共和国

登場場所 ジャグナー森林〔S〕

武踊「クリークタンツ」を継承するブリリオート家の少女。練習ばかりの毎日に飽き飽きしていたが、とある出来事をきっかけに、ダンスへの情熱を取りもどす。20年後の世界では、高名な踊り子となっている。

Impressive Words

「なんだろう、この気持ち……。胸が熱くなってくる……」
――ジャグナー森林〔S〕：不思議な笛の音を聞いて踊り出し

そのほかのおもなサブキャラクター

サンドリア王国の人々

バラシエル
登場場所 南サンドリア
Words 「貴殿が剣の腕を磨きたいのなら、わしの出す課題を受けてみよ、どうだ?」
王立騎士団の元騎士叙任試験官。冒険者にナイトの資質があるかどうか試すべく、さまざまな試練を課す。

シラヌス
登場場所 ボストーニュ監獄、ゲルスバ野営陣ほか
Words 「赤子の竜の血を浴び、ついに我が肉体は完全な竜となる!」
ラーアルの親友だった竜騎士。邪竜に意志を奪われたところをラーアルに封印されたが、冒険者を利用して復活を図る。

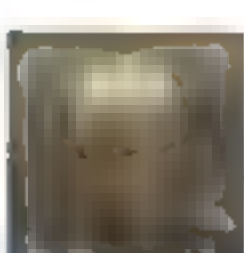
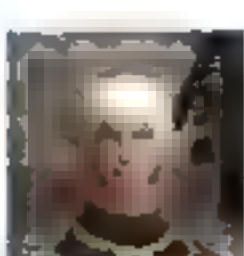
ギャリッジョ
登場場所 サンドリア港
Words 「みんなに釣った魚を持ちよってもらって、その合計数で競うことにしたんだ」
サンドリア港の名物「釣り兄弟」の兄のほう。弟と腕くらべをしており、冒険者にフナを釣って集めるよう頼む。

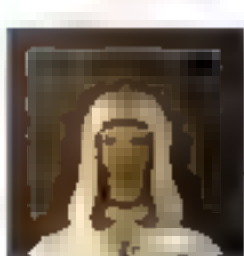
ジューレ
登場場所 サンドリア港
Words 「どっちの腕が上なのかって話になると、いつも大ゲンカさ」
「釣り兄弟」の弟のほう。兄に負けない釣り好きで、勝負に勝つため、釣り仲間に声をかけてフナを集めている。

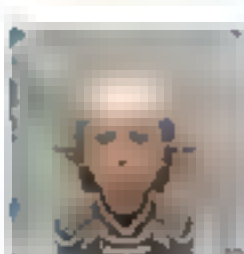
ノヴァルモージュ
登場場所 ボストーニュ監獄
Words 「もし君がシャドウの魂を解放してやった時はそっと祈りを捧げてやってほしい」
日の光を浴びられない病をわずらった牢番。モンスターのシャドウにさらわれ、特殊な戦闘訓練を受けた過去を持つ。

エグゾロッシュ
登場場所 南サンドリア、北サンドリアほか
Words 「う～ん。こんな装備ではまだまだやつらには太刀打ちできないな……」
王立騎士団の隊長。装備品の選定に並々ならぬこだわりがあり、武器屋に通いつめている。

アイルベーシュ
登場場所 北サンドリア、南サンドリアほか
Words 「うぇーん……うぇーん……お父さーん、どこ行っちゃったの……?」
エグゾロッシュの息子。釣りが好きなのだが、釣り竿を買ってくれるはずの父とはぐれ、迷子になってしまう。

ターミラ
登場場所 南サンドリア
Words 「困ったわねえ……。誰かウデの立つ冒険者でもいれば助かるんだけど……」
「雑貨のターミラ」を営む老婆。訪ねてきた冒険者に、注文品の材料となる黒虎の牙を取ってくるよう頼む。

ブルゲール
登場場所 サンドリア港、ボストーニュ監獄
Words 「金を産まねぇやつはここにいなくてもいいんだからな?」
サンドリア屈指の商社「ブルゲール商会」の会長。金に意地汚く、犯罪スレスレのアブない仕事もやってのける。

ヴィジャルタール・カフュー
登場場所 ドラギーユ城、南サンドリアほか
Words 「ここは未来の世界?　そんな馬鹿なことあるはずがない……」
王家の秘宝「ピエールエラン」の力で時を越えた騎士。200年前のサンドリア分裂時代の英雄と伝えられるが?

エグセニミル
登場場所 北サンドリア
Words 「長旅、御苦労。…………ハハハハハッ、愉快だっ。そうか、あやつら怒っていたか」
20余年に渡る遠征から帰還した騎士で、かつての少年騎士団長。国家間競技「コンフリクト」の再開を提言する。

レンブロワ
登場場所 南サンドリア
Words 「よかったら蜂蜜を集めてきてくれないかな?　人手不足でさ、頼むよ」
槍兵通りで「レンブロワ食料品店」を営む商人。急な注文をさばくべく、材料の蜂蜜を取ってくるよう冒険者に頼む。

ルジヌ
登場場所 サンドリア港
Words 「店を出してから、2年になるんだけど、お客なんか、ちっとも来やしないのよ」
港の裏路地にひっそりと建つ「ルジヌ魔法用品店」の店主。店の宣伝をしようと、冒険者にチラシをくばらせる。

アーベリオン
登場場所 西ロンフォール
Words 「いたたた……くそっ、塗り薬さえ忘れて来なければ……」
西ロンフォールの森を警備する兵士。いつも妻特製の薬を持ち歩いているが、薬を忘れた日にケガを負ってしまう。

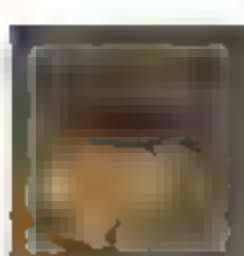
ラミネール
登場場所 南サンドリア
Words 「こんにちは、配達に来ました!」
南サンドリアの大通りを駆ける少年。病気の母の薬代をかせぐべく、配達の仕事をしてお金を作っている。

バストゥーク共和国の人々

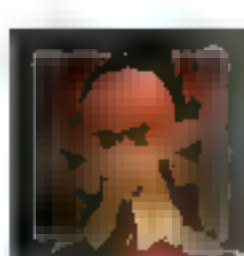
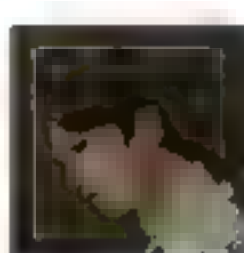
インビンシブルシールド(ギヌヴァ)
登場場所 大工房
Words 「コンフリクトに関して、質問があるだと?　我輩は、質問を許可した覚えはない」
第三共和軍団長で、海戦を得意とする歴戦の司令官。コンフリクト再開に尽力し、選手のスカウトに余念がない。

カエデ
登場場所 バストゥーク港
Words 「うちのおねえちゃん、侍で、銃士様なの。ご近所でも有名だから知ってるかな」
アヤメの妹。姉のかっこよさにあこがれ、自分も刀をあつかえるようになりたいと考えるが、父エンセツの猛烈な反対にあう。

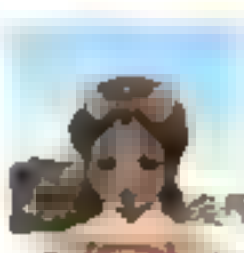
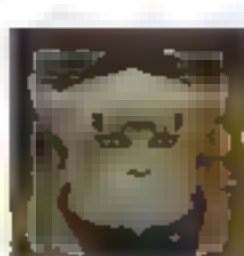
エンセツ
登場場所 バストゥーク港
Words 「いつかはあの子にも本当のことを告げなければいけないと思ってはいるのですが……」
アヤメとカエデの父。ノーグの海賊船の船員だったが、伝説の忍者ヨミと結婚して足を洗い、バストゥークに移住した。

カゲトラ
登場場所 バストゥーク港
Words 「ふん、ガキにまで気づかれるとは間抜けな男だ」
天晶堂バストゥーク支店の一員。かつてはノーグのヨミに心を寄せていたため、エンセツとは恋敵だった。

カルメロ
登場場所 バストゥーク港
Words 「僕には大切な人がいた」「そう、まるでセイレーンのように美しい人だった」
酒場「蒸気の羊亭」にいる詩人。かつて愛した女性への想いをつづった歌を、氷河に沈めてほしいと冒険者に託す。

エルキ
登場場所 バストゥーク鉱山区
Words 「私の代わりに碑石を訪ねて来てもらえないでしょうか……」
パルブロ鉱山の初期開発者を曽祖父に持つ青年。鉱山開発の秘められた歴史を調査するよう、冒険者に依頼する。

バベン
登場場所 バストゥーク鉱山区
Words 「ヒュームたちには誇りが必要だった。自分たちの力で鉱山を開拓したという名目の……」
パルブロ鉱山を開いた初期開拓者のひとり。その功績をヒュームのものとするために身を引いた過去を持つ。

ロー・ラッテ
登場場所 バストゥーク鉱山区
Words 「え?　かあちゃんからお土産預かってきてくれたの!?　ありがとう!!」
自宅で母ンブ・ラッテの帰りを待つ健気なミスラの少女。母が冒険者だと信じているが、実際はドロボウ。

ミシェア
登場場所 バストゥーク商業区
Words 「エルヴァーンの娘がこのバストゥークで一旗上げられたら……それって素敵じゃない?」
クラウツ橋に住むエルヴァーンの彫金師。ギルドにこそ所属していないが、持ち前の反骨精神で腕前を上げている。

ヒルダ
登場場所 バストゥーク港
Words 「店をまた始めたのですが、まだまだみんなに迷惑をかけることばかりで……」
「蒸気の羊亭」を切り盛りする女将。夫はシドの弟分だったが、シドが開発した新爆薬の暴発で亡くなった。

ライバート
登場場所 大工房、バストゥーク港
Words 「工房長の邪魔をするな。それは大工房全体の損失だ」
シドの助手を務める、極度に無愛想なガルカ。ヒルダの夫とは、同期に工房に入ったライバル同士だった。

ダイドッグ
登場場所 バストゥーク鉱山区
Words 「銃士になんぞなって、ヒュームの連中にこびへつらうなんざ、最低だな」
最後の語り部ラオグリムと同い年のガルカ。亡きラオグリムのことが気に入らず、いまなおライバル視をつづける。

ブリジッド
登場場所 バストゥーク商業区
Words 「あらあら、アカぬけない冒険者さんね」
「未来のファッションリーダー」を自称する少女。通りかかる冒険者を呼び止め、流行のファッションを勧める。

オグビィ
登場場所 バストゥーク港
Words 「酒を断ち見えぬ真実があれば、酒をくらい見える真実もある」
現代のモンクの技を完成させた格闘家。亡き銃士コーネリアの師匠で、見どころのある冒険者に彼女の思い出を語る。

サリマー
登場場所 バストゥーク商業区
Words 「まあ!　ワイルドオニオンね。ちょうどそれを使った料理を考えていたところなの」
商業区の商家に住む婦人。料理を趣味としており、冒険者が届ける食材を買い取ってくれる。

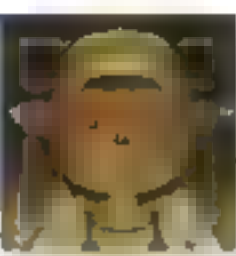
アロイス
登場場所 大工房
Words 「おお!　トカゲの卵をもってきたのだな!　これはわしの大好……」
バストゥークの工務省大臣。国家機密に関わる重大な品だといつわって、冒険者に好物のトカゲの卵を取りに行かせる。

ウィンダス連邦の人々

ハックルリンクル
登場場所　ウィンダス港
Words　「ううっ。おちこみ～」「ウワーン!　僕はクビになるんだ～!」
アジドマルジドの代理を務める口の院の魔道士。おっちょこちょいで、同僚のクロイドモイドに迷惑をかける。

クロイドモイド
登場場所　ウィンダス港
Words　「私はごまかそうなどとは言ってませんよ。悪事は必ず露見するものなのです」
ハックルリンクルとともに口の院に勤める魔道士。理知的で、相棒が起こす騒動に冷静なツッコミを入れる。

オールル
登場場所　ウィンダス港
Words　「私の専属の患者にならない……？　いい夢、見させてあげるわよ……？」
口の院に所属する状態異常研究家。25年もの年月を研究に捧げ、珍しい状態異常に冒された患者を嬉々として迎える。

ケナパケッパ
登場場所　ウィンダス水の区
Words　「……僕の……言う……こと……、……わかってくれて……ありがと……」
極度に引っこみ思案な鼻の院の研究者。話すのが得意ではなく、自分の言うことを理解してくれた冒険者に感謝する。

ケルトト
登場場所　ウィンダス水の区
Words　「ここ数日は最悪だったんだ。夢の中で「大いなるもの」に捕まってさー」
鼻の院の瞑想室で、「心」を研究する女性。夢の世界にもくわしいらしく、不思議な声を聞くこともしばしば。

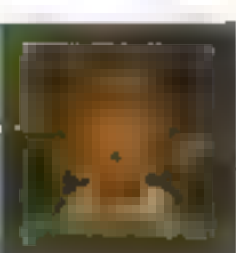
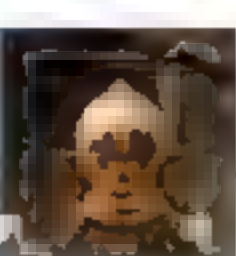
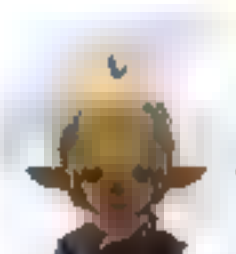
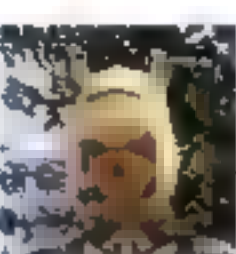
リーペホッペ
登場場所　ウィンダス水の区
Words　「ホヒィ!　なんだッペ～!　この人、やばいッペ～!」
鼻の院で「大いなるもの」に関する実験を取りまとめる研究員。かなりの大食漢で、院の食糧を食べ尽くしてしまう。

ホノイゴモイ
登場場所　ウィンダス水の区
Words　「金はギル風呂にするほどあまってるが、そちにやる金など1ギルもない。帰れ帰れ」
水の区で暮らす、ケチで強欲な悪徳商人。先祖には、国家転覆を狙った"渦の魔道士"ガラズホレイズがいる。

マビ・モルコット
登場場所　天の塔
Words　「元プロ選手やってたアタイに、大鳥の羽根の矢が立ったってわけ」
コンフリクトのコーチ。ミスラ傭兵「猛虎団」を指揮するかたわら、コンフリクト選手のスカウトをする。

セーダルゴジャル
登場場所　ダボイ
Words　「ボクの力で、この先の洞窟にオークの王を封じ込めてあるんだヨ」
現耳の院院長。コルモルのために"モジジ"として文通していたが、そのことが精神的苦痛となって、院を逃げ出した。

みつけるくん
登場場所　ウィンダス水の区、ロ・メーブほか
Words　「ケヒヒヒヒ!　オレ ニ マカセロ!」
セーダルゴジャルの捜索のために作り出された魔法人形。妙に偉そうな口調で、アブナイ言葉を口走る。

ナイコパニィコ
登場場所　ウィンダス水の区、クロウラーの巣〔S〕
Words　「下手な考え休むにタルタル」
魔法新聞社が発行する「週刊魔法パラダイス」の編集長。水晶大戦当時は戦場ジャーナリストとして活躍。

アンジェリカ
登場場所　ウィンダス水の区
Words　「もっと、アンニュイに!」「もっと、はげシック!」「……ふんふん♪」
ウィンダスに滞在中の画家。独特のこだわりを持ち、絵のモデルや画材の調達などの難題を冒険者にふっかける。

チャママ
登場場所　ウィンダス水の区
Words　「あら、あなたはピチチのお友達ね。その様子じゃ……。また何かあったの?」
「ララブのしっぽ亭」を営む女将。スターオニオンズ団の団員ピチチのお母さんで、手作り雑貨の製作が得意。

ホービバムビバ
登場場所　ウィンダス港
Words　「ホービバムビバ」
港の商い舟で「錫杖のホービバムビバ」を経営する店主。店独特のあいさつ「ホービバムビバ」で客を迎える。

ザイヒバウヒ
登場場所　ウィンダス石の区
Words　「英雄カラハバルハ様を、もっともっと、たたえなければならぬ～!」
天の塔の前でいつも演説をぶっているタルタルの男性。演説の内容は、もっぱら亡きカラハバルハの功績について。

イル・ボージア
登場場所　ウィンダス森の区
Words　「ダルメルの大好物のパパカ草が、サルタバルタのクロウラーに食い荒らされちまっててね」
牧場でダルメルを世話するミスラ。ダルメルのエサを食い荒らすクロウラー退治を、冒険者に依頼する。

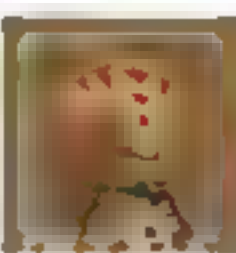
ジュノ大公国の人々

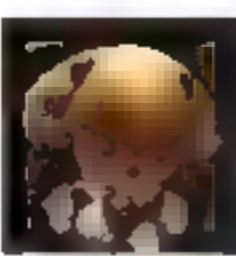
ブルートゥス
登場場所　ジュノ上層
Words　「いいか、チョコボは奥が深いんだ。軽い気持ちで乗ってもらいたくねぇな」
上層でチョコボ厩舎を営む獣使いの大家。冒険者にチョコボの騎乗法のほか、獣使いとしての心得も教える。

ディートムント
登場場所　ジュノ下層、クフィム島ほか
Words　「何か文句あるのか?　獣はちょっとでも甘やかしたらいうことを聞かない」
下層に住む獣使い。チョコボを粗末にあつかっていたが、冒険者とチョコボに息子を助けられて心を入れかえる。

ルーウェンハート
登場場所　ジュノ下層、バルクルム砂丘、ブブリム半島ほか
Words　「幻と消え散ってしまいそうな想いに形を与え、人に伝えていくのが私たち吟遊詩人の仕事……」
「彼の歩いたあとには詩が残る」とまで言われる吟遊詩人。本人は一介の詩人として、各地の安酒場を点々としている。

ガルムート
登場場所　ジュノ上層
Words　「よしよし、ピッタシだ。へへへ、オレ、あの時計塔の整備をやってんのさ」
取り壊しが決まった時計塔の整備士。意気消沈していたが、冒険者の働きで取り壊しが中止になり、気力を取りもどす。

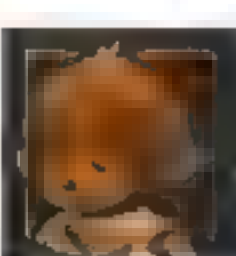
コレット
登場場所　ジュノ上層
Words　「うん……。でもお兄ちゃんのおっきな声を聞いたら、ちょっと元気になった!」
上層で暮らす少女。ガルムートのことを慕っており、時計塔の取り壊し計画を中止すべく、署名集めに協力する。

パンタプッタ
登場場所　ジュノ下層
Words　「ボクのやることを邪魔してばっかり!　お前なんかどっかいっちゃえばいいんだ!」
下層に住む少年。口やかましいトゥーオブソードをうとましく思い、心ない言葉を口にしてしまうが……。

トゥー・オブ・ソード
登場場所　ジュノ下層
Words　「……。ワタシハココニイテハ、イケナインデスカ?」
パンタプッタのお手伝いカーディアン。「お前はいらない」というパンタの言葉に、心をみずから壊してしまう。

クロウモロウ
登場場所　ジュノ下層
Words　「チュルル!!　なんだって僕の邪魔をするんだ!　だいたい僕は……」
幼なじみのチュルルと店を並べる占い師。じつはチュルルのことが好きだが、それを素直に表せずにいる。

チュルル
登場場所　ジュノ下層
Words　「まぁっ、クロウモロウ!　あたしのお客さんに何てこと言うの!　あたしはねぇ……」
クロウモロウと店を並べる占い師。クロウモロウに心を寄せているが、彼のイジワルな対応にいつもケンカをしてしまう。

ミレドシラッド
登場場所　ジュノ上層、デルクフの塔ほか
Words　「ボクは怪盗たちの間では、変装上手で有名でね」
「カメレオンのミレドシラッド」の異名をとる、ルトの相棒。変身グッズを使いこなすが、もとにもどれなくなることも。

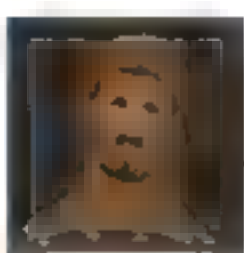
ブラフニクス
登場場所　ジュノ下層
Words　「ゴブリンたち、お前より大きなバッグ持ってる。うらやましいか?」
マックビクスの店にいるゴブリンのかばん職人。取り引きに応じた冒険者のバッグを大きくしてくれる。

イマスケ
登場場所　ジュノ港
Words　「大体な、骨董っちゅうもんには人の魂が宿っとるんだ」
骨董鑑定士の老人。金目当てに骨董があつかわれていることをなげきつつ、冒険者が見つけた遺物の鑑定を請け負う。

シャミ
登場場所　ジュノ港
Words　「中にモンスターが封じ込められてる、っていう、いわくつきのシロモノなんでさぁ」
ジュノ港に陣取るあやしげな行商人。獣人たちが使う貨幣と交換に、いわくつきのオーブを冒険者に渡す。

アトリトゥトリ
登場場所　ジュノ下層
Words　「黒帯はね、武神様が持ってるんだ。だから、その武神様に頼めば貰えるかもよ」
下層の宿屋「海神楼」の宿泊客。黒帯を持つ「武神」についての情報を冒険者に教える。じつは武神本人。

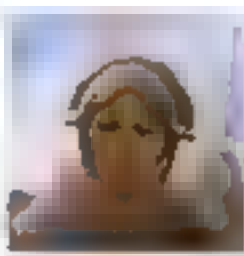
ハリス
登場場所　ル・ルデの庭
Words　「貴公は「虚ろなるモノ」という名を聞いたことはあるか?」
アルマター機関に属する錬金術師。エンプティ類の研究素材を集めるよう冒険者に依頼する。

ザウコ
登場場所　ジュノ下層
Words　「暗くなってきたな……。そろそろ街燈をつける時間だ」
ジュノ警備隊の下層担当。街燈を点火してくれるボランティアを探しており、通りかかった冒険者に声をかける。

セルビナ・マウラの人々

ライチャード
登場場所 マウラ
Words *「どうあってもオレのことを料理人として認めたくないんだな!」*
「船乗りの宿」で働く料理人。厳しい父のもとを飛び出して修行してきたが、行きづまりを感じている。

ヴァルゲール
登場場所 セルビナ
Words *「ふん、あいつの料理など食するに値せんが、まあいい」*
民宿「羊飼いの溜まり場」の料理人で、ライチャードの父。息子に料理の何たるかを伝えようとする。

マチルド
登場場所 セルビナ
Words *「昔の私の宝物だったに違いない、もう1人のアルドがいるのかもしれない」*
職工夫妻の義理の娘。記憶喪失のままセルビナに流れ着いたところを拾われ、いまでは息子アルドと幸せに暮らす。

アベラルド
登場場所 セルビナ
Words *「わしは趣味で、ある人物の研究をしておってな」*
セルビナの村長。冒険家グィンハム・アイアンハートについて調べており、彼が残した碑文を写し取るよう冒険者に頼む。

イザシオ
登場場所 セルビナ
Words *「技術を身につけたいのなら、それなりの腕前があることを見せてもらわねばならん」*
セルビナの片隅で海をながめる老人。訪れる冒険者に、「生き残るための技術」を教えるべく課題を与える。

ヴェラ
登場場所 マウラ
Words *「アンタに授けたサポートジョブは、紛れもない本物だからね」*
冒険者に「おいしい話がある」と持ちかける老婆。取り引きに応じると、イザシオと同じ技術を授けてくれる。

ヌミ・アダリゴ
登場場所 マウラ
Words *「ご不明な点がございましたら、いつでもご遠慮なくお尋ねくださいね」*
ウィンダスから派遣されてきた、マウラを統治する総督。村を訪れた冒険者の相談に乗ってくれる。

エルシモ島・ゼプウェル島の人々

メビ・ジュービリ
登場場所 カザム
Words *「こいつの名前はトンベリーニョ。どうだ、かなり育ちが良さそうな名前だろ」*
ミスラ自治区の住人。拾ったトンベリに「トンベリーニョ」と名づけ、野に帰すまで世話をしている。

マグリフォン
登場場所 カザム
Words *「な、なんと!　なんという奇跡!　ああ、これこそ奇跡の出会い!」*
宿代が払えず困っている青年。"重大な任務"に必要なお金を冒険者に肩代わりさせるが、まったく旅立つ気配がない。

ロマー・ミーゴ
登場場所 カザム
Words *「私は、古い時代のミスラだ……。……この迷い、勝ち負けで答えを出してもらおう」*
カザムの前族長。大戦時は「コブラ傭兵団」を率いて勇敢に戦ったが、現在はジャコに長の位をゆずり隠居している。

ジョクリベ
登場場所 ノーグ
Words *「古来からの伝統を重んじ合成術に頼ることなく「刀」を作っておる」*
ノーグに住む刀鍛冶。刀造りの材料集めを通じて、刀をあつかう心構えと侍としての道を冒険者に教え伝える。

ワシュウ
登場場所 ノーグ
Words *「うちのバカ共は、酒を水のようにガバガバ飲んじまうもんだからさ」*
ノーグの台所を取り仕切る厨房長。ノーグの荒くれ者たちをしかりつけるほどの、肝っ玉のすわった女性。

シビビ
登場場所 ノーグ
Words *「あなたが持ってるその濡れた巻物!　うわぁ、なっつかしいぃ〜〜」*
ノーグに属する女忍者。冒険者が持ってきた巻物が、以前自分たちで作ったものだと気づき、解読方法を教える。

ゾリボ
登場場所 ラバオ
Words *「ワシがノーグで聞いてきた噂話を信じてしまったのじゃろか」*
ゼプウェル島の休息地ラバオの荷運び人。ラバオを出たサンクティアを心配し、彼女の捜索を冒険者に依頼する。

マリョ・コミュージャ
登場場所 ラバオ
Words *「世の中タダほど恐いものはないっていうだろ?」*
各地でお宝を探すミスラ。聖地と呼ばれる遺跡ロ・メーヴで手に入れたお宝を、ギルガメッシュに売りつけようとした。

アルフェザール
登場場所 ラバオ
Words *「石版をみた古代文字をかじった者の調べでは魔法が記されているらしいのです」*
サンドリア大聖堂から調査のために派遣された修道士。発見された石板に記してある魔法を復元しようとする。

タブナジア群島の人々

デスパシエール
登場場所 タブナジア地下壕
Words *「あれほど止めても無駄でした。ウルミアはプリッシュと共に……」*
タブナジアの生き残りをまとめる長老。孫娘のウルミアを溺愛しており、彼女がプリッシュと行動するのを嫌う。

ジャスティニアス
登場場所 タブナジア地下壕
Words *「旅人よ、どこから来てどこへ行こうというのだ?」*
タブナジア自警団の団長。生真面目な性格が災いして、プリッシュのムチャに付き合わされることもしばしば。

エラジア大陸の人々

ラウバーン
登場場所 アルザビ皇宮、アトルガン白門ほか
Words *「貴様の飽くなき力への「渇望」を見せてみろ!　私から贈れる言葉は以上だ」*
聖皇直属の親衛隊「不滅隊」の隊長で、宰相ラズファードの腹心。目にかなった冒険者を青魔道士に仕立て上げる。

リシュフィー
登場場所 アルザビ皇宮、翡翠廟ほか
Words *「……我、山猫の傭兵に追跡を託せり……」*
不滅隊隊士としては珍しい好青年。職務にはどこまでも忠実であり、アフマウの護衛を懸命に務める。

キング・オブ・ハーツ
登場場所 アトルガン白門、ナバゴ処刑場ほか
Words *「オー★マイ ゴッ★デス!!」*
カラババにつき従うカーディアン。非常に高性能なのだが、長い航海のせいで思考回路が正常に働かなくなっている。

ワーウード
登場場所 アトルガン白門
Words *「あなたにも、ワラーラの真理の蛇が見えんことを……」*
辺民街区にいる占い師。不滅隊と関わりを持ち、占いに訪れる者が青魔道士にふさわしいか見定めている。

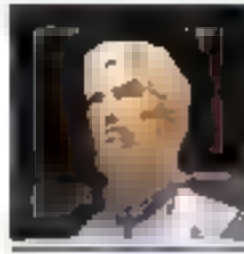
イルキワラキ
登場場所 アトルガン白門
Words *「エリーかわいいよ、かわいいよエリー……」*
自分のオートマトンに逃げられたからくり士。なんとかしてオートマトンを取りもどそうと、冒険者を頼る。

クルタダ
登場場所 アラパゴ暗礁域
Words *「吉と出るか凶と出るか。ふふ、久々に熱くなれそうな賭けだ……」*
イフラマド王国の復興を旗印に掲げる「海猫党」の首領。冒険者に感じるものがあり、コルセアの心意気を伝える。

ズィーハ
登場場所 アラパゴ暗礁域
Words *「それなりの面構えになってきたじゃないか?　クルタダの人物眼が正しかったってことかね……」*
「海猫党」の副長。はじめは冒険者を仲間にすることをシブっていたが、しだいに信頼を強めていく。

バラカフ
登場場所 アトルガン白門
Words *「わしがかつて訪れた地に行って、これに風景を記録してきてくれないかのう?」*
辺民街区に住む老人。風景を記録する「虚像の器」を使って思い出の風景を記録してほしいと、冒険者に依頼する。

フォチャチャ
登場場所 アトルガン白門
Words *「調理の師範を許された黄金の腕を、この国で試すためにやってきたのさ」*
ウィンダス出身の調理師範。息子とふたりでアトルガンに渡り、腕を試している。モンクとしての腕前も達人級。

マウダッド
登場場所 アトルガン白門
Words *「むむむ……。これは、なんとも不思議な味!!　フム、大変美味であった」*
美食集団「エピキュリアンズ」の団長。「蛇舌のマウダッド」の異名を持ち、食に関することには見境がない。

ヤジワ
登場場所 アトルガン白門、ナシュモほか
Words *「天下のダイス振り、ヤジワ姉さんを相手にしようってんだ」*
「ダイス振りのヤジワ」と呼ばれるイカサマ師。引退前に荒かせぎしていたが、最後の最後で自分がだまされるハメに。

ラティーブ
登場場所 アトルガン白門
Words *「イカサマは見抜けなかった奴の負けだって言うじゃねえか」*
アルザビで有名な茶屋シャララトの店主。チャイとコーヒーの味に定評があり、店はいつも繁盛している。

ミシュハル
登場場所 アトルガン白門ほか
Words *「「小さな穴が巨船を沈没させる」という言葉を知ってるかい?」*
皇国軍赤狐隊の隊長。ときには敵とつながることも国防には必要と考え、蛮族のマムージャと密会をつづける。

ファリワリ
登場場所 アトルガン白門
Words *「各地で血湧き肉躍る英雄の話を取材しては、新しい詩を書き糧として参りました」*
流しの吟遊詩人。五蛇将の詩を作りたいと考え、冒険者を付き人として、将軍たちの副官に接近する。

ULTIMANIA CHECK 定番キャラクターの変遷

『FF』シリーズは1作品ごとに独立した世界が舞台になっているが、同じ名前の人物が複数の作品に登場するケースもある。そのなかでもとくに有名な3組の歴史を振り返ってみよう。

定番キャラクター❶ シド

もっとも有名な定番キャラクターがシドだ。作品ごとに外見や設定は異なるものの、飛空艇と深い関係を持つ場合が多い。『FFⅣ』『FFⅦ』ではパーティーメンバーになるほか、『FFⅫ』では敵対者として登場する。

作品	本名	解説	おもな家族構成
Ⅰ(GBA版、PSP版)	シド(?)	GBA版とPSP版のみに、名前が登場。古代ルフェイン人で、飛空船を作ったと伝えられている。	(不明)
Ⅱ	シド	昔はフィン王国の白騎士団隊長だった技師で、飛空船の発明者。フリオニールたちに飛空船を託して死亡。	(不明)
Ⅲ	シド・ヘイズ	一流の飛空艇建造者。バイキングの船を飛空艇に改造した。DS版では幼いルーネスたちの命の恩人でもある。	妻
Ⅳ	シド・ポレンディーナ	飛空艇を開発した、バロン王国の整備技師。パーティーに加わり、自身を犠牲にして仲間のピンチを救う。	妻(故人)、娘
Ⅴ	シド・ブリヴィア	古代図書館に務めている学者。孫とともに、古代文明の遺産である飛空艇の整備や改造を行なった。	孫：ミド
Ⅵ	シド・デル・ノルテ・マルケズ	ガストラ帝国で魔導を研究する科学者。セリスやケフカを魔導戦士にした。飛空艇の改造を提案することも。	(不明)
Ⅶ	シド・ハイウインド	宇宙への夢を抱く、神羅カンパニーのパイロット。クラウドの仲間に加わり、神羅から飛空艇を奪う。	(『DC-FFⅦ-』の時点では)妻：シエラ
Ⅷ	シド・クレイマー	低空飛行が可能なバラムガーデンで学園長を務める、SeeD理念の提唱者。スコールたちを陰から支える。	妻：イデア
Ⅸ	シド・ファブール9世	発明家でもあるリンドブルム大公。諸事情でブリ虫やカエルの姿になりつつも、新型飛空艇の製作を進める。	妻：ヒルダ、(エンディングの時点では)養子：エーコ
Ⅹ	シド	アルベド族の族長。海底から引き上げた飛空艇の責任者として、ティーダたちに協力する。	息子：アニキ、娘：リュック、姪：ユウナ
Ⅺ	シド	バストゥーク共和国にある大工房の工房長。飛空艇の開発者で、国の発展を支えた重要人物でもある。	(不明)
Ⅻ	シドルファス・デム・ブナンザ	アルケイディア帝国で兵器や飛空艇などを開発するドラクロア研究所の所長。人造破魔石の研究を行なう。	息子：バルフレア

定番キャラクター❷ ギルガメッシュ

『FFⅪ』をのぞくと、ギルガメッシュは容姿や武器コレクターという設定、およびエクスカリバーのニセモノ「エクスカリパー」を本物だと思っている点が、ほぼ共通している。一部の作品では相棒のエンキドゥ(エンキドウ)も登場。

作品	解説	エクスカリパーの役割
Ⅰ(GBA版、PSP版)	GBA版とPSP版のみに、ボスとして登場。エクストラダンジョン「いやしの水の洞窟」のB5Fで、最強の剣を手に入れるために、海からの漂着物を探している。	ギルガメッシュが攻撃時に使う
Ⅴ	エクスデス親衛隊隊長。失態がつづき、エクスデスに次元の狭間へ飛ばされる。最後は、バッツたちと友情が芽生え、彼らを助けるために敵を道づれに自爆した。	ギルガメッシュがエクスデス城で入手し、のちのバトルで落とす
Ⅵ(GBA版)	GBA版のみに登場。コロシアムでエクスカリバーを賭けると、それを狙って戦いを挑んでくる。倒せば魔石が手に入り、以降は幻獣として呼び出すことが可能。	ギルガメッシュと戦うのに必要。幻獣になったあとはギルガメッシュが攻撃時に使う
Ⅷ	乱入型のG.F.(ガーディアン・フォース)。オーディンがサイファーに斬られた直後にはじめて姿を現し、バッツを捜していることをにおわせるセリフを言いながら、サイファーを攻撃してしまう。	ギルガメッシュが攻撃時に使う
Ⅸ	スリを働きながら旅をしている男。カードゲームにくわしく、「裏通りのジャック」「4本腕の男」と名乗る。本名は、ある条件を満たしたときに明かされる。	相棒のエンキドゥが、記憶の場所で見つけ出して持ち去る
Ⅺ	ノーグを治める海賊の頭領。滅亡したタブナジア侯国の出身で、ライオンという娘(養女)がいる。あるクエストをクリアすると、彼から無銘刀を受け取り、侍にジョブチェンジできるようになる。	——
Ⅻ	橋の上で通行人から剣を奪う謎の男。リスキーモブとして討伐依頼が出された。討伐後に再会すると、棒きれ(伝説の釣り竿マタムネ)を渡される。	ギルガメッシュが模造品のエクスカレプリカを持っていて、攻撃時に使う

定番キャラクター❸ ビッグス&ウェッジ

「ビッグス&ウェッジ」というコンビも、作品ごとに設定は異なるが、"ふたり一組で登場する脇役キャラクター"という特徴は変わらない。このふたりは『FF』以外の作品にもよく登場する人気者だ(→P.320)。ちなみに、初登場となる『FFⅥ』では、ビッグスの名前が「ビックス」と表記されていた。

作品	解説	ふたりの関係
Ⅵ	物語冒頭にパーティーメンバーとして登場するガストラ帝国兵。ティナを連れてナルシェへ侵攻している最中に、氷づけの幻獣から放たれた光を浴びて姿を消す。	同じ任務にあたっている兵士仲間
Ⅶ	反神羅組織アバランチのメンバー。性格は、ビッグスはマジメでしっかり者、ウェッジは気が弱く腰が低い。七番街プレートの落下に巻きこまれて命を落とす。	ビッグスがウェッジの兄貴分
Ⅷ	ガルバディア軍に所属する兵士。ビッグスは技術将校(少佐)だったが、ふたりともたび重なる任務失敗で降格と左遷をくり返し、三等兵まで下がった。	上官であるビッグスの理不尽な命令に、部下のウェッジが耐え忍ぶ
Ⅹ	ルカ=スタジアムの守衛。ブリッツボールの選手としてスカウトできる。『FFX-2』では、ユウナたちのブリッツチーム「カモメ・ダン」の初期メンバー。	守衛として同じ現場に立つ同僚

FINAL FANTASY XII
ファイナルファンタジーXII

ファイナルファンタジーXII

作品概要

5年もの歳月を費やして制作された超大作。人間ドラマを主軸にした重厚かつ波乱に富むストーリーが展開される。移動と戦闘を画面切りかえなしで行なうアクティブ・ディメンションバトルを筆頭に、ガンビットやライセンスボードといった独創的なシステムが目を引く。

データ

タイトル	機種	発売日	価格	注
ファイナルファンタジーXII	プレイステーション2	2006年 3月16日	8,990円(税込)	※1
ファイナルファンタジーXII インターナショナル ゾディアックジョブシステム	プレイステーション2	2007年 8月 9日	6,800円(税込)	

※1……本体同梱版「プレイステーション2パック」がソニー・コンピュータエンタテインメントからオープン価格で同時発売

ファイナルファンタジーXII
FINAL FANTASY XII
INTERNATIONAL
ZODIAC JOB SYSTEM
■インターナショナル版

STORY

過去の呪縛を断ち切って 自由の空を目指す人々の群像劇

ミストと呼ばれる魔の力に満ちた世界イヴァリース。魔法が当たり前のように存在し、飛空艇が空を飛びかうこの世界はいま、東のアルケイディア帝国、西のロザリア帝国というふたつの軍事大国による戦乱の時代にあった。二大大国は侵略による勢力拡大を図って、周辺の小国をつぎつぎと併合。かつてイヴァリースを統一した覇王の末流であるダルマスカ王国もまた、前バレンディア暦704年にアルケイディア帝国の侵攻を受け、滅亡してしまう。

アルケイディアによるダルマスカ侵攻から2年。ダルマスカの少年ヴァンと王女アーシェは、偶然の出会いをきっかけに、祖国再興と帝国への復讐を目指して旅立つ。過去に負った心の傷ゆえに、未来を見ずにいたふたりだったが、さまざまな人々との出会いが彼らに気づかせる。過去と向き合うとはどういうことなのか、亡き人の思いとは何なのか——。やがて、ふたりはそれぞれの未来に向けて歩み出す。それは、イヴァリースに新たな歴史を築く第一歩でもあった。

FINAL FANTASY XII 人物相関図

ロザリア帝国
アルシド

対立
友人
対アルケイディア戦のために利用したい

アルケイディア帝国
元老院
議員たち
次期皇帝に推す
ソリドール家
グラミス皇帝
対立
親子
ラーサー
ヴェイン
信愛
うとましく思う
従える
親ラーサー派
親ヴェイン派

解放軍
バハーロ
対抗
表向き従う

空中都市ビュエルバ
オンドール侯
組織する

レダス
距離を置きつつ協力
表向き従う
かつて所属
従える

港町バーフォンハイム
レダスの手下たち
リッキー
エルザ
ラズ

ドレイス
同志
ガブラス
ギース
ベルガ
ザルガバース
ジャッジマスター

神都ブルオミシェイス
大僧正アナスタシス

ナブラディア王国
ラスラ

滅亡させる
協力
王位の継承を承認
夫婦
兄弟国
おじと呼ぶ仲
双子の兄弟
汚れ仕事をまかせる

バッガモナン
つけ狙う
盟友
滅ぼそうとする

ヴェーネス
対立
ゲルン王
オキューリア

ドクター・シド
ドラクロア研究所
親子

ラミナス国王
親子
アーシェ
ダルマスカ王家
忠誠
バッシュ
パンネロ
家族同然の仲
ラバナスタ解放軍の同志
忠誠
ウォースラ
戦友
レックス
兄弟
ヴァン
和平調印式潜入グループ

ダルマスカ王国

バルフレア
相棒
フラン
仲間たち
対抗
姉妹
さらう
ヨーテ
ミュリン
エルトの里

ヴァン
Vaan

Personal Data

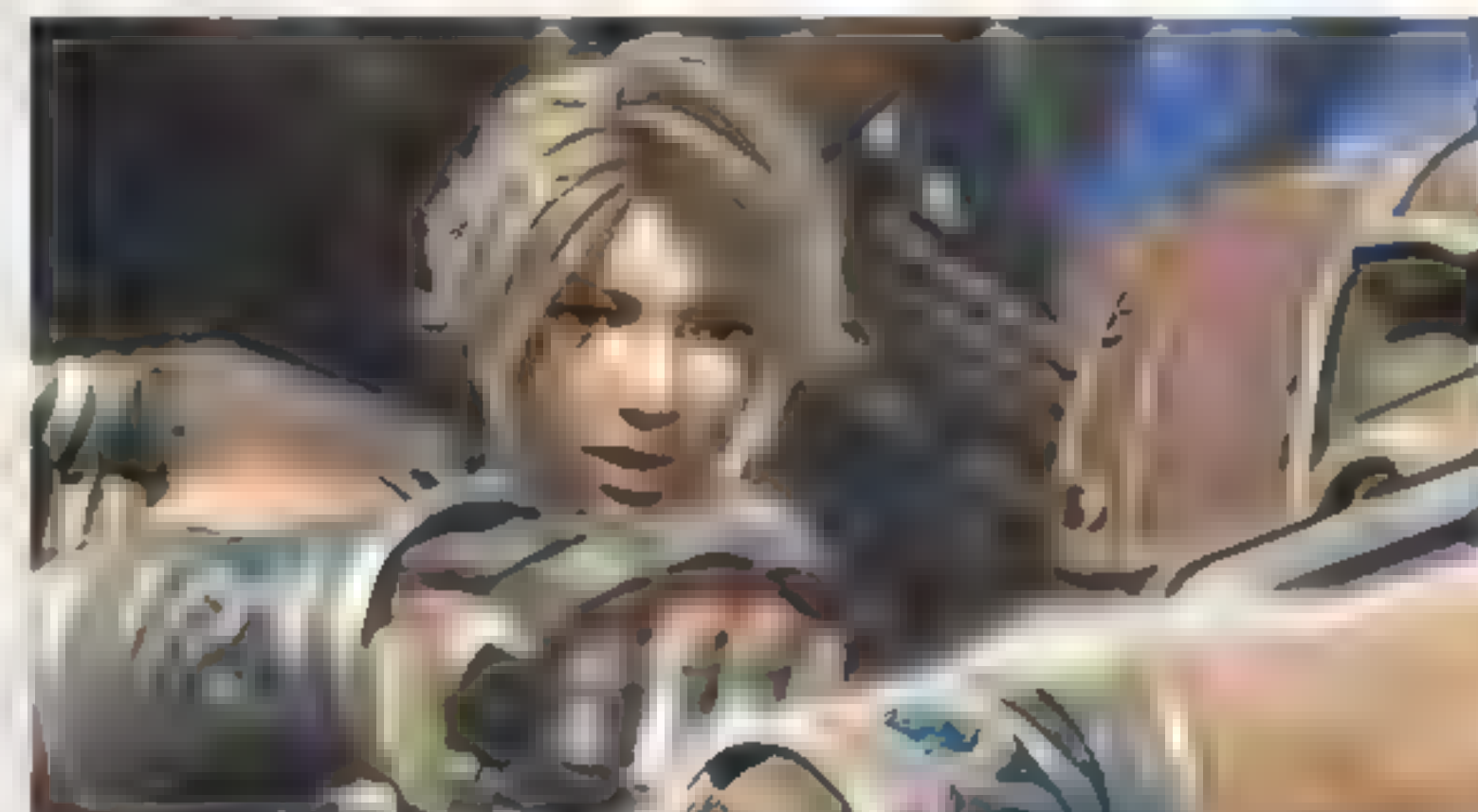
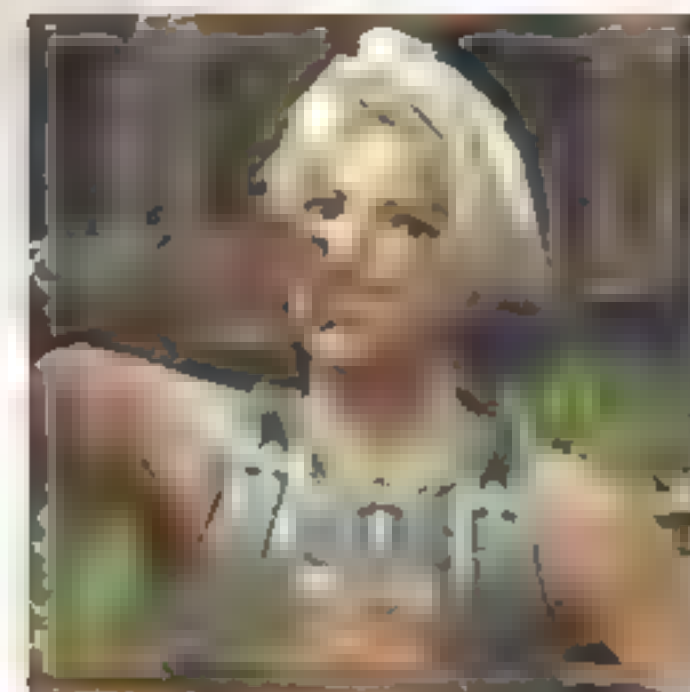
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	17歳	出身地	ダルマスカ王国
身長	170cm	瞳の色	ブルーグレイ
ボイスアクター	武田航平		
モーションアクター	武田航平		

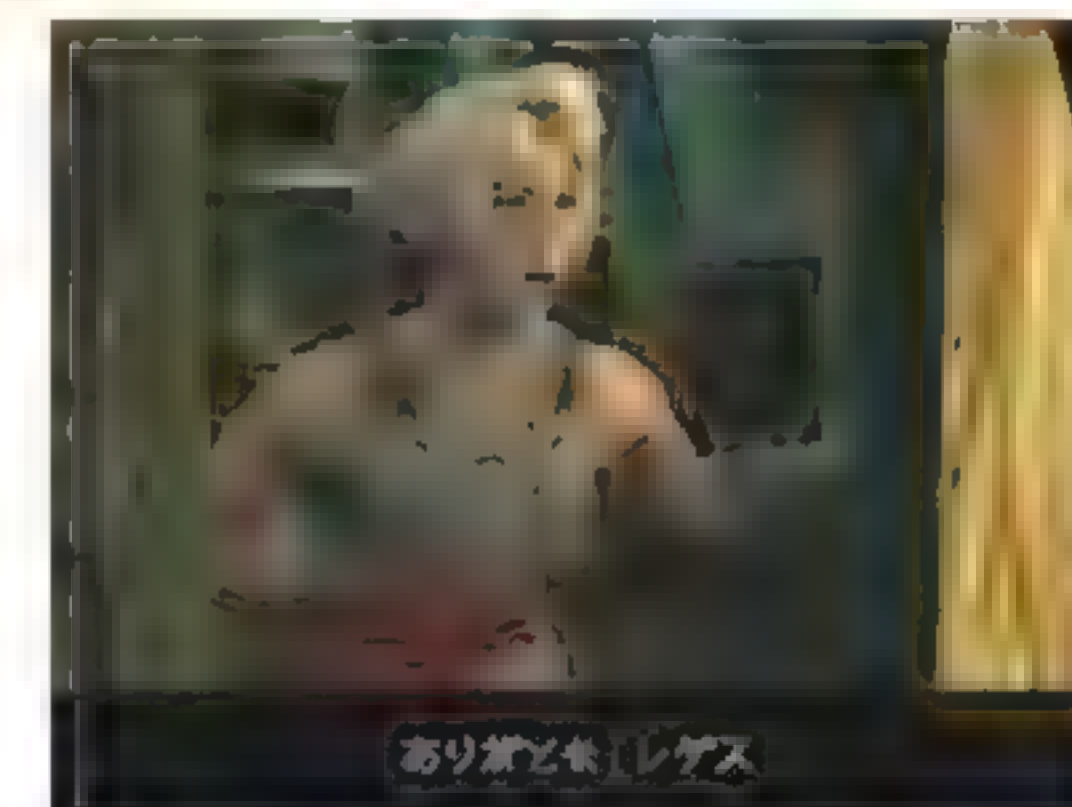
空に自由を求めるダウンタウンの少年

2年前にアルケイディア帝国に滅ぼされた小国、ダルマスカ王国に住む孤児。快活な性格で、孤児仲間からリーダーのように慕われている。12歳のときに流行病で両親を失い、2年前の戦争で兄レックスをも亡くして天涯孤独の身に。以来、道具屋の主人ミゲロの世話になりつつ、帝国兵相手に盗みを働いて生活の糧を得てきた。

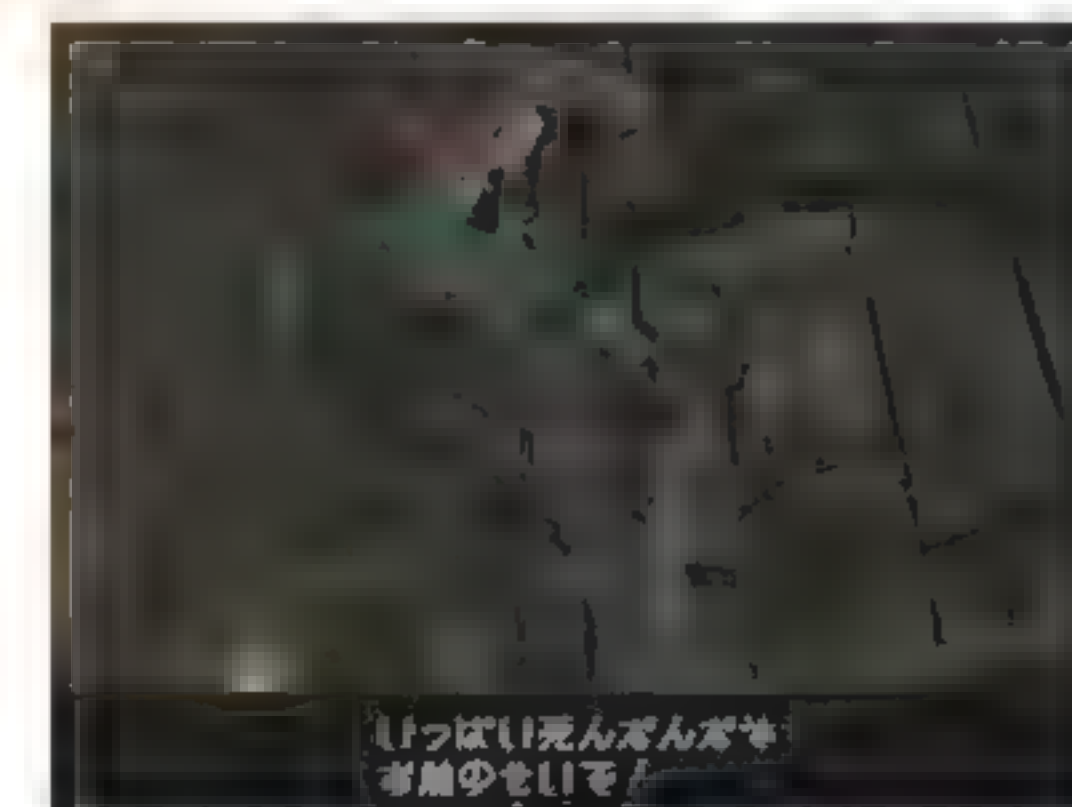
「ダルマスカのものをダルマスカに取りもどす」という思いつきから、アルケイディアが接収したラバナスタ王宮へ、王家の宝を盗み出すべく潜入。脱出の途中、死んだものと公表されていたダルマスカの王女アーシェと出会い、なりゆきから祖国解放の旅に同行することに。祖国の滅亡や兄の死といった過去が彼の心に影を落としていたが、空賊バルフレアをはじめとするさまざまな人々との交流を経て、人間的に大きく成長していく。

⬅あけっぴろげで素直な性格。王女や一国の首脳といった目上の者にも物怖じすることなく、自然に接する。

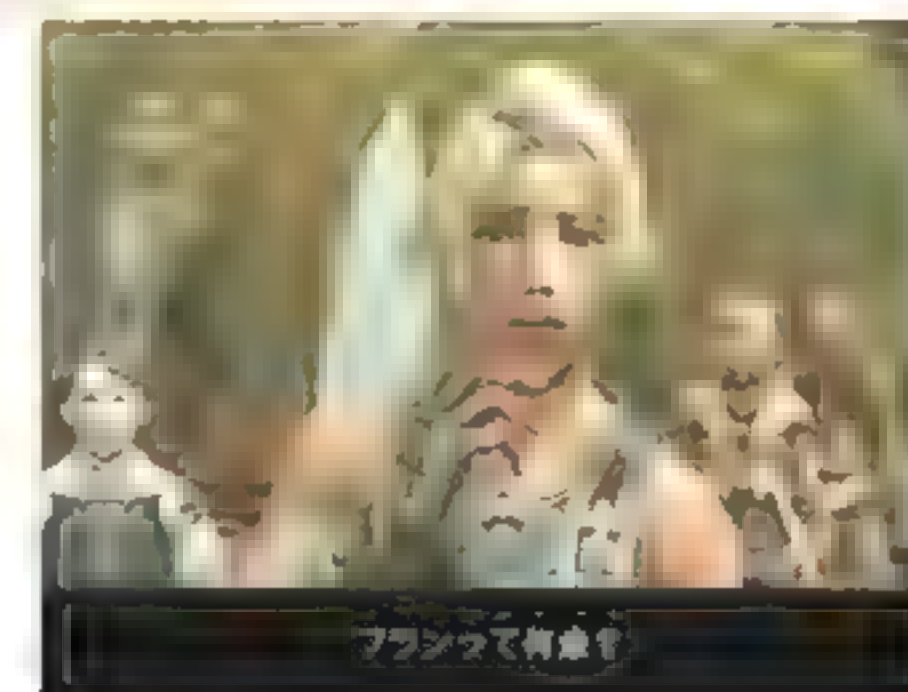
➡兄の死という心の傷を抱えていたヴァン。しかし、旅のなかで真実を受け止め、その過去を克服する。

Topics of Vaan

空へはばたく翼にあこがれて

ヴァンの将来の夢は、飛空艇を駆る自由人「空賊」になること。当初、それは息苦しい現状を忘れるための方便にすぎなかったが、旅を経て、彼の真の夢へと変わっていく。もともと思い切りのいい性格をしたヴァンには空賊の素質があったようで、破魔石の創造主オキューリアに会うときにも「楽しみ」と言ってのけたり、同行する空賊のバルフレアに見こまれて弟子のようにあつかわれたりするのだ。

⬆バーフォンハイムの空賊レダスにも気に入られ、空賊らしいと太鼓判を押される場面も。

亡き兄への疑いを晴らせずに

戦争で兄レックスが亡くなったことは、ヴァンの心にもっとも深い傷を残した。レックスはバッシュによる国王暗殺の共犯者として拷問を受け、周囲から裏切り者と呼ばれたままこの世を去っている。兄は本当に裏切り者だったのか——ぬぐい去れない疑いが、ヴァンの心に陰を落としていたのだ。そのやり場のないヴァンの思いは、兄を陰謀に巻きこんだ張本人バッシュに出会ったとき、一気に爆発する。

⬆口に出せなかった怒りをぶつけるヴァン。その想いに応えて、バッシュは真実を伝える。

空気が読めない少年

王女のアーシェを「お前」呼ばわりしたり、女性であるフランに年齢を聞いたりと、場の雰囲気をつかむのがヘタなヴァンは、うかつな発言で周囲をあきれさせることもしばしば。それでも嫌われた様子がないのは、あっけらかんとした性格のせい？

⬅フランとヨーテの緊迫した会話に難しい顔をしていたかと思えば、フランに年齢を聞く始末。

Impressive Words

当初は、気楽な言葉のなかにも悩みの影がにじんでいたが、過去を克服したあとは、目的意識を持った前向きなセリフが増えていく。一方で、場の空気を察することができず、デリカシーのない発言をすることも。

「オレはいつか、自分の飛空艇を手に入れる。
空賊になって、あの大空を自由に飛び回るんだ」
——王都ラバナスタ：街の上空を飛ぶ飛空艇を見上げて

「兄さんは——兄さんは本当に王様殺しの一味だったのかい？」
——ヴァンの夢のなか：レックスに真相を問いかける

「逃げるのはやめる。ちゃんと目標みつけたいんだ」
——ガリフの地ジャハラ：過去へのこだわりを捨てる決意をアーシェに語る

「兄さんの恨みなんか晴れない。兄さんはもう——いないんだ！」
——リドルアナ大灯台：死者のうらみを晴らせというガブラスに

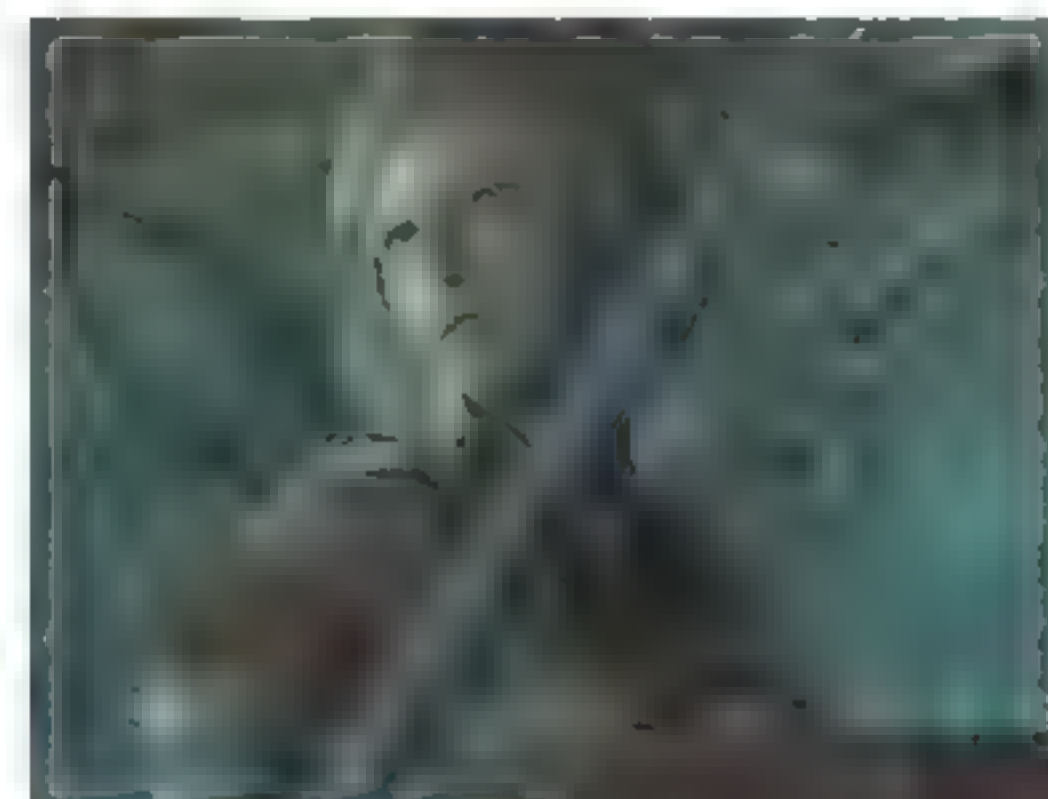
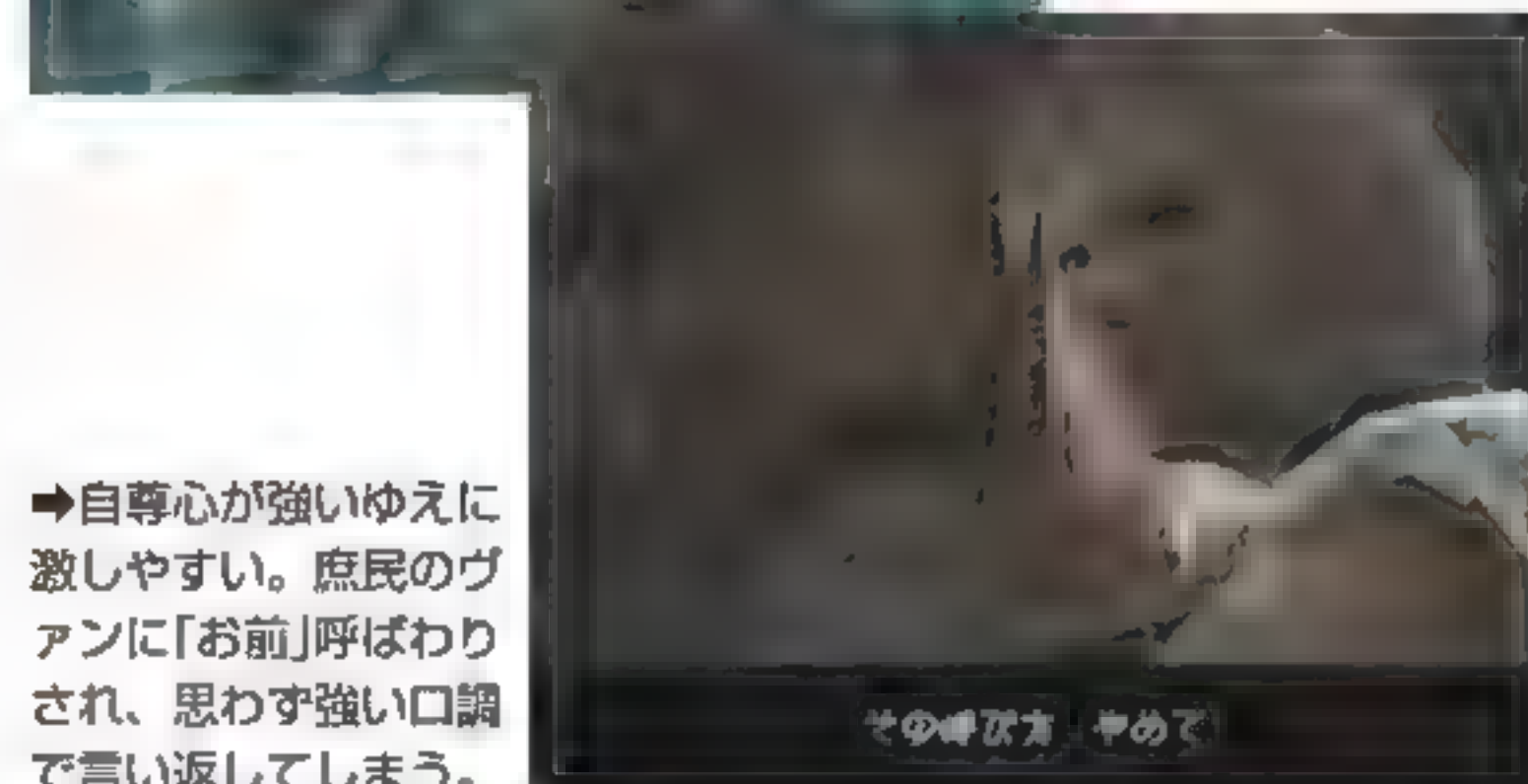
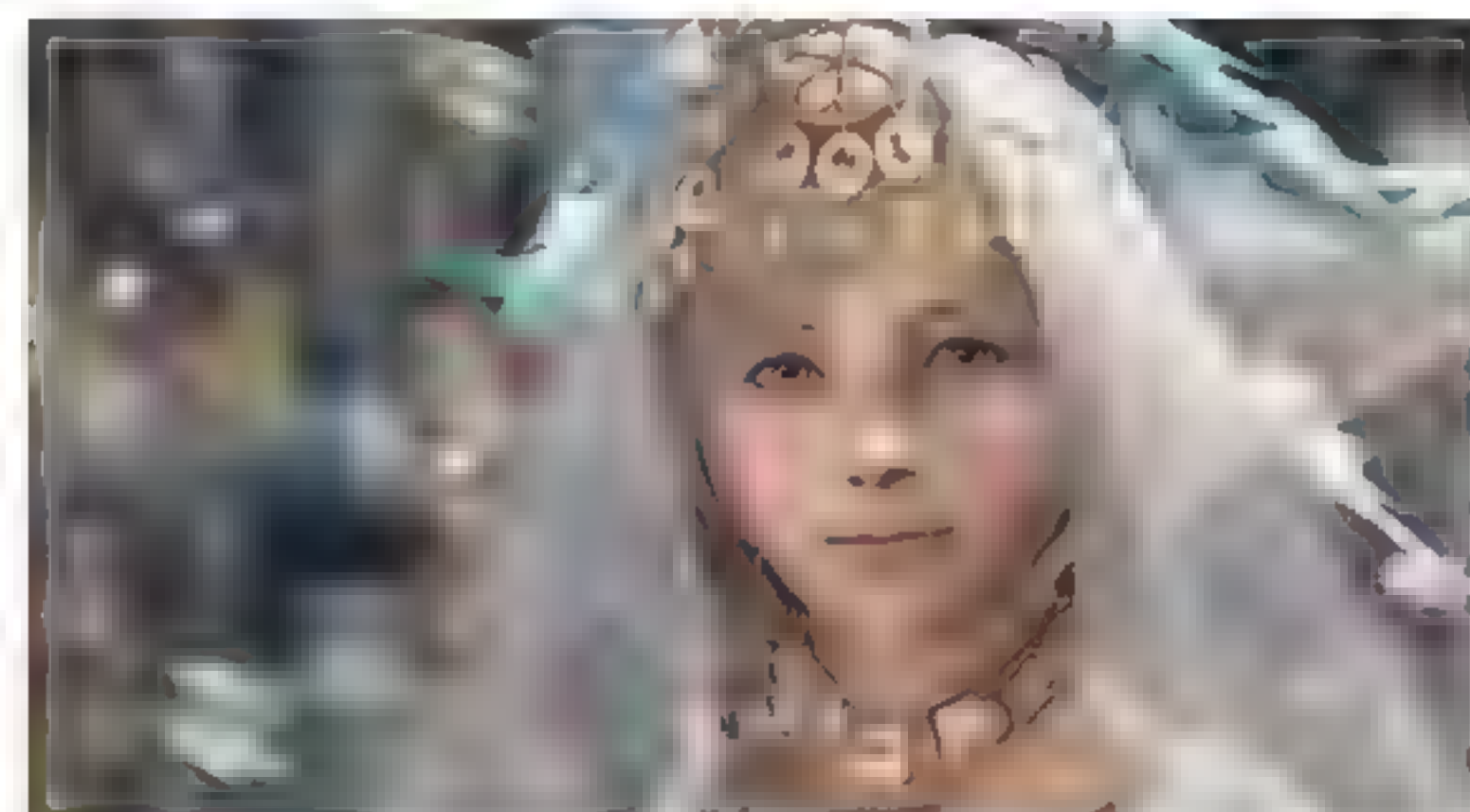
アーシェ

Ashe B'nargin Dalmasca(Amalia)

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	女
年齢	19歳	出身地	ダルマスカ王国
身長	165cm	瞳の色	グレイ
ボイスアクター	[illegible]崎未恵		
モーションアクター	吉川めい		

復讐にとりつかれたダルマスカの誇り高き王女

旧ダルマスカ王国の王女であり、同国の王位継承権を持つ唯一の人物。正義感と意志が強い反面、プライドが高く融通が利かない。2年前のアルケイディア帝国との戦争時に夫ラスラと父王ラミナスをつぎつぎと失い、その悲しみから自害したと発表されたが、実際には帝国の手を逃れて地下に潜伏。ラバナスタ解放軍を組織して祖国再興を願いつつも、身を隠す日々を送っていた。

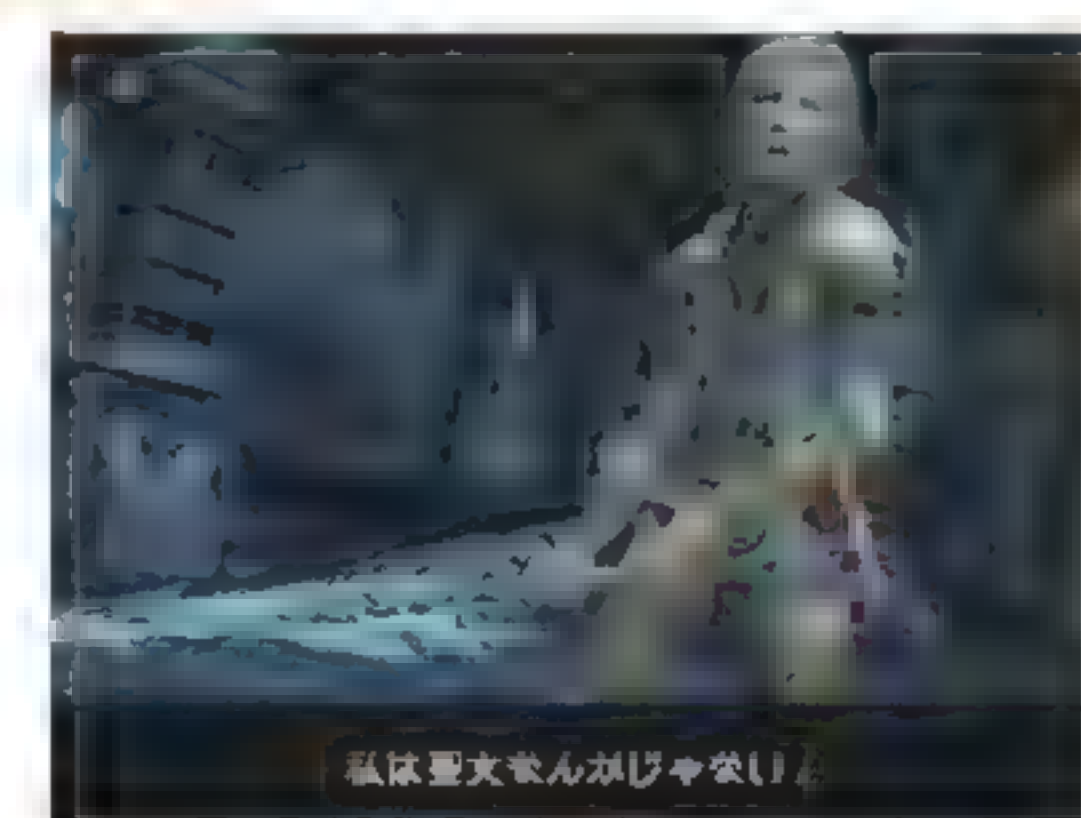
王国の復興という目的を果たすべく戦っていたものの、強大な帝国の力を前に幾度も挫折。より強い力を切望していたときに伝説の「破魔石」の威力を目の当たりにし、その力を手に入れるために旅立つ。大きな力を得て帝国を滅ぼし、死者の無念を晴らす――そう思い定めて突き進む彼女だったが、ヴァンたちとともに旅するうちに、過去と向き合うことの意味を知っていく。

⬅ヴァンたちと出会った当初は、「アマリア」という偽名を使い、ラバナスタ解放軍の闘士として活動していた。

➡自尊心が強いゆえに激しやすい。庶民のヴァンに「お前」呼ばわりされ、思わず強い口調で言い返してしまう。

Topics of Ashe

復讐の刃を求める王女

2年にもおよぶ潜伏生活を送るあいだアーシェを支えていたのは、「帝国への復讐を果たしたい」という一念だった。それが死んでいった者たちの願いであり、復讐をとげて国を再興させるのが王族としての務めだと、彼女は信じている。だが現実は厳しく、アーシェは何度も無力さを味わう。自分に力があれば――その思いゆえに、彼女は復讐を果たすに足る強大な力を求め、破魔石の力にとらわれていくのだ。

⬆破魔石の力により現れる亡き夫ラスラの幻影。その幻が、アーシェの背を復讐へと押す……。

歴史を選ぶ者

破魔石を追ううちにアーシェは、その創造主「オキューリア」と出会う。彼らは、自身の代行者に破魔石を使わせて、歴史を意のままに作り出してきた存在だった。オキューリアは思いどおりにならない帝国を滅ぼすために、アーシェを代行者に選ぶ。だが、旅を通じて復讐の意味を考えてきた彼女はそれを拒否。破魔石の源「天陽の繭」を破壊し、結果的にオキューリアの支配から歴史を解放する役目をになった。

⬆オキューリアからの歴史の解放は、奇しくもアーシェの仇敵ヴェインが目指したものだ。

空賊に"盗まれた"王女様

アーシェはバルフレアに協力を仰ぐときに、「私を盗み出して」と衝撃的な言葉を口にする。それは場の勢いにまかせて言っただけのセリフだったが、その後のアーシェは、まるで自分の言葉をなぞるように、バルフレアにひかれていく。

⬅エンディングでは、バルフレアの決死の行動に、思わず自分の思いを吐露してしまう。

Impressive Words

復讐にこだわっていた物語序盤は、強大な力を手に入れようと必死な様子がにじむ。また、正義感が強く優等生的な性格をしているせいもあって、生真面目なセリフが多いのも特徴。

「『お前』はやめて！」

――空中都市ビュエルバ：ヴァンに「お前」呼ばわりされて

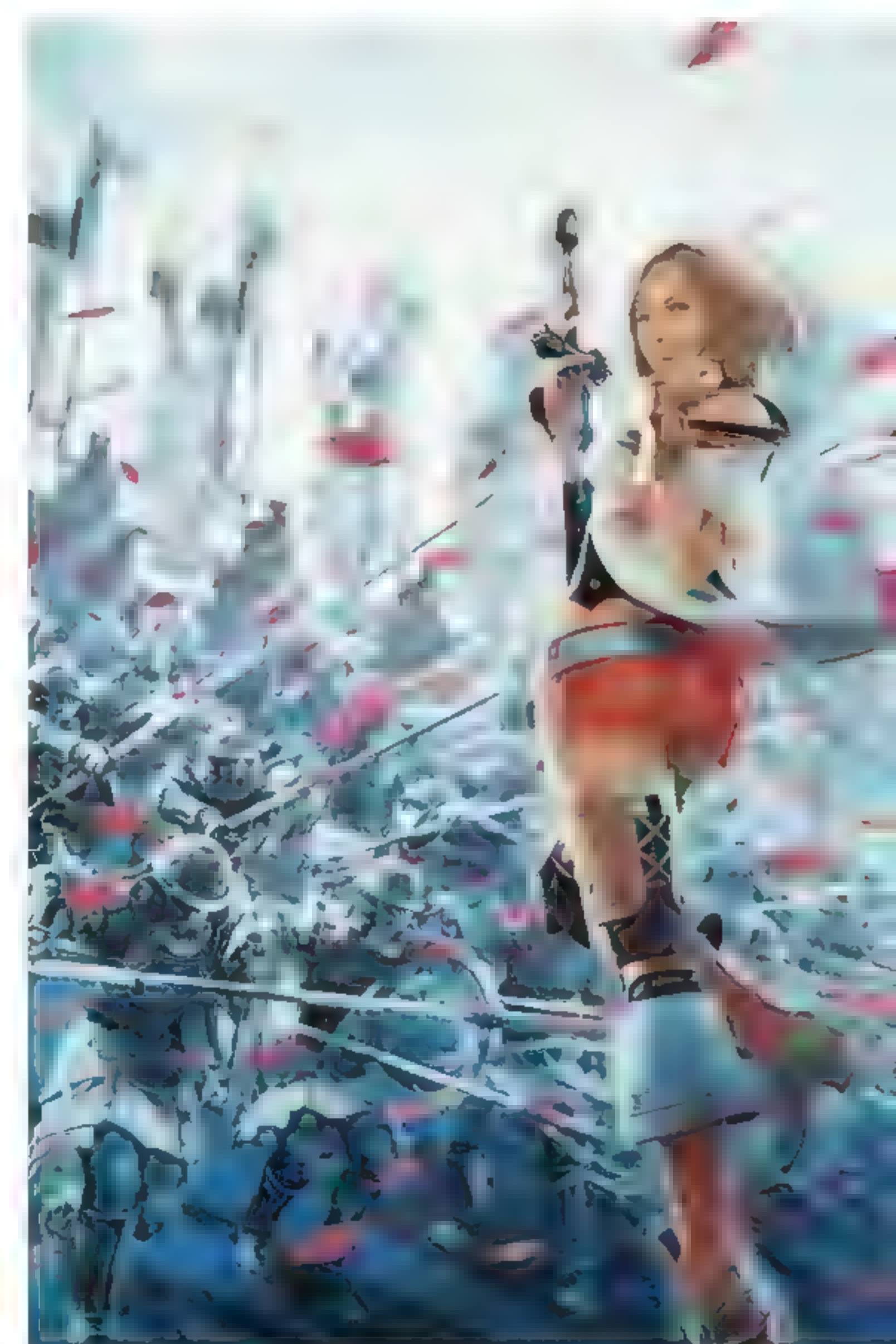
「刃を以って友を助け、刃を以って敵を葬る。
私の刃は破魔石です。死んでいった者たちのため――帝国に復讐を」

――王都ラバナスタ：破魔石の力を知り、復讐の念を強くして

「危険な力だろうと、支えにはなるのよ」

――ヘネ魔石鉱：人造破魔石の危険性を指摘する声につぶやく

「過去を断ち切れば、自由――」

――フォーン海岸：「過去にしばられるな」とバルフレアに忠告されて

バッシュ

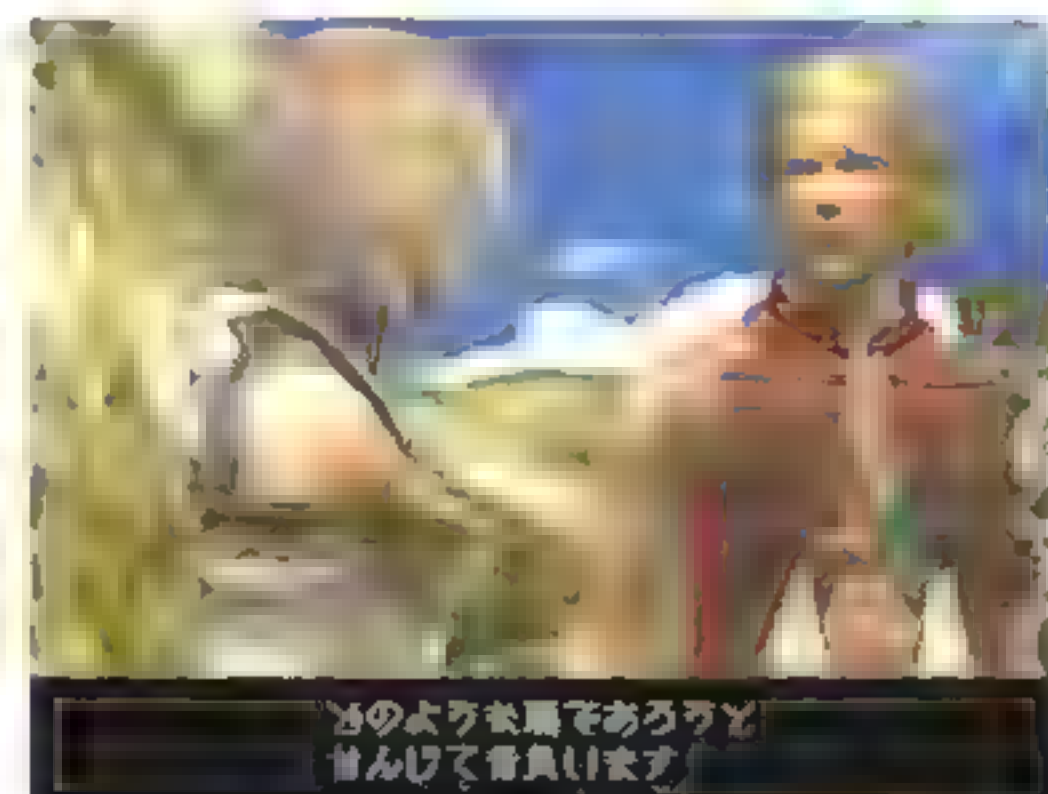
Basch Fon Ronsenburg バッシュ・フォン・ローゼンバーグ

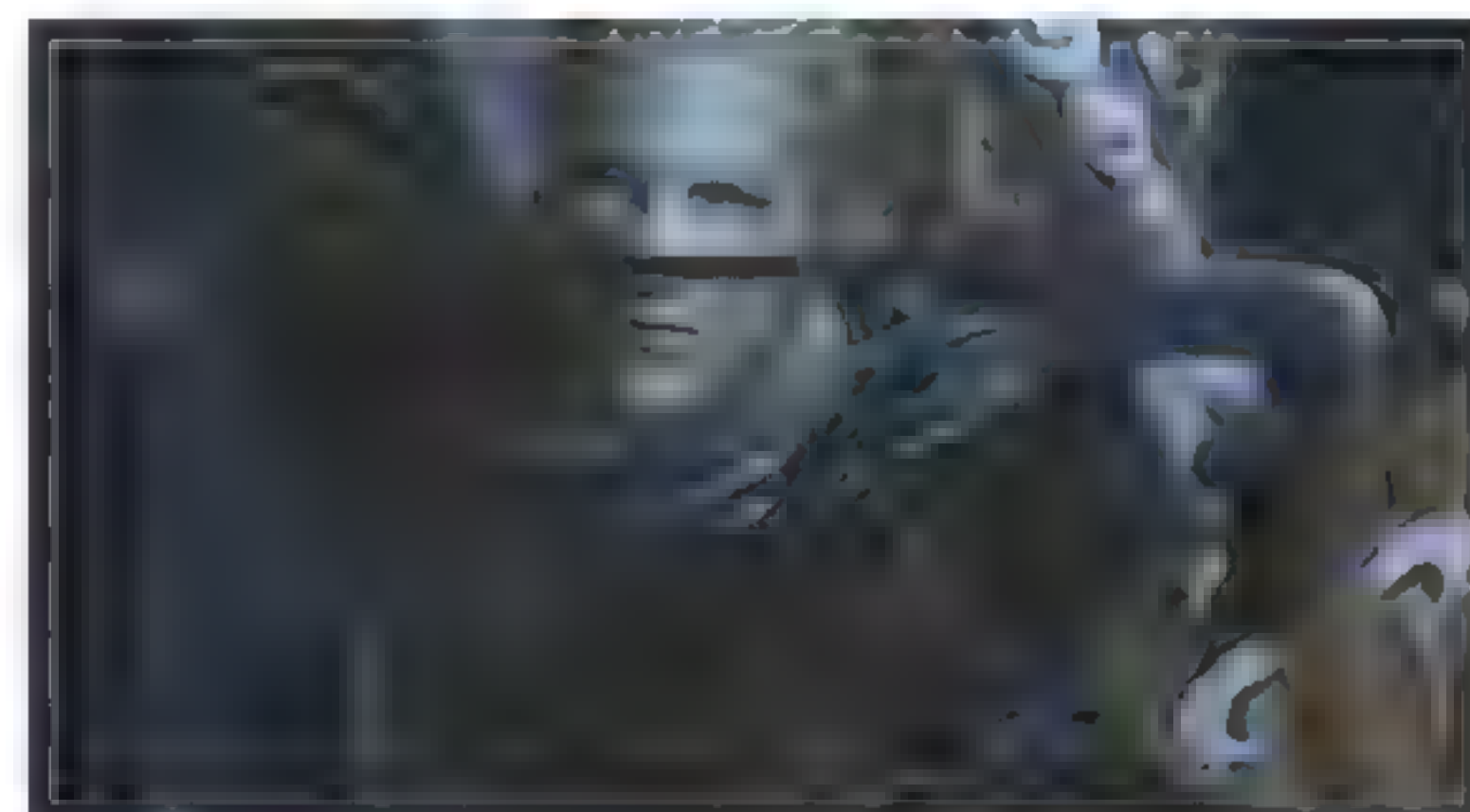
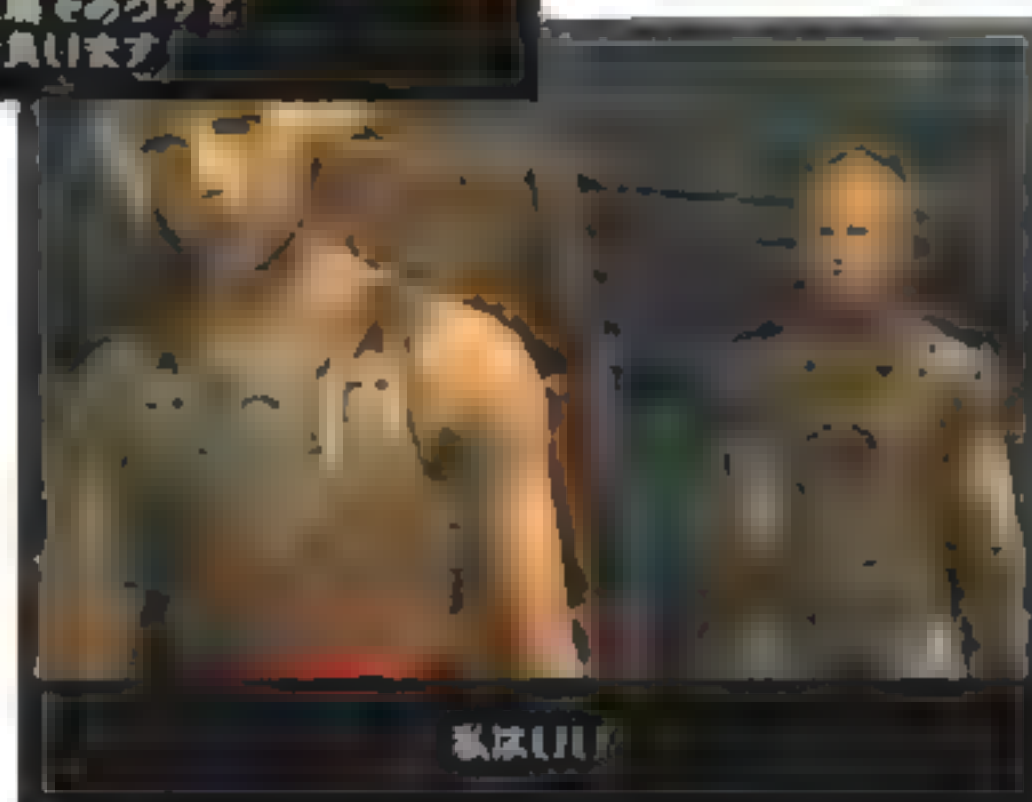
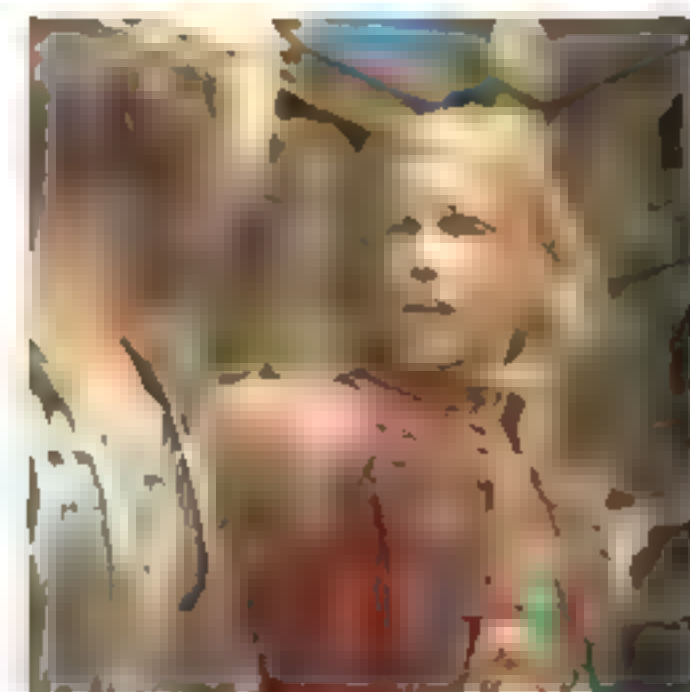
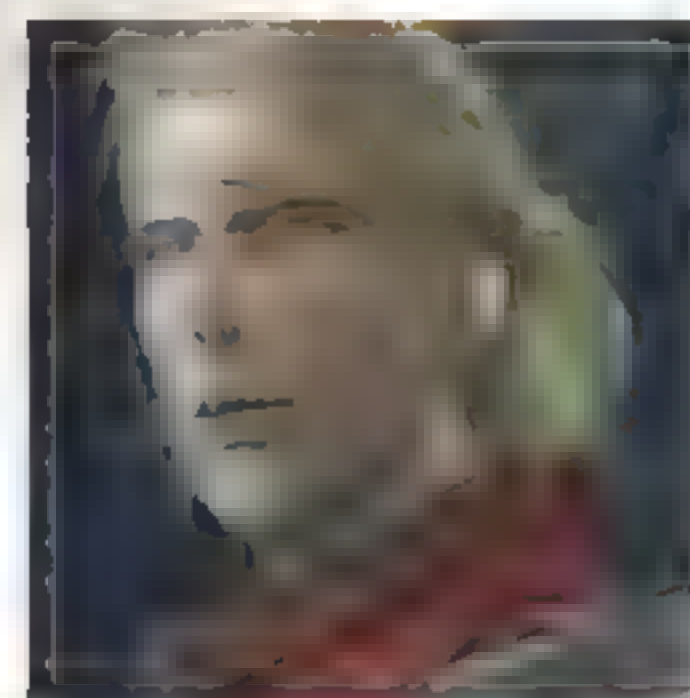
Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	36歳	出身地	ランディス共和国
身長	180cm	瞳の色	ブルーグレイ
ボイスアクター	小山力也		
モーションアクター	[illegible]		

己の騎士道をつらぬく忠義の勇将

かつてダルマスカ王国で国民的人気を誇った将軍。国外の出身ながらラミナス国王の信頼も厚く、誠実で優しい人柄から庶民にも慕われていた。しかし、2年前の戦争で、アルケイディア帝国の陰謀に巻きこまれて国王暗殺の罪を着せられ、いつわりの処刑発表によりその存在を社会的に抹殺されてしまう。実際はナルビナ城塞の地下独居房にとらわれていたが、ヴァンたちとともに脱獄。アーシェを助けるべく彼らに同行することになった。

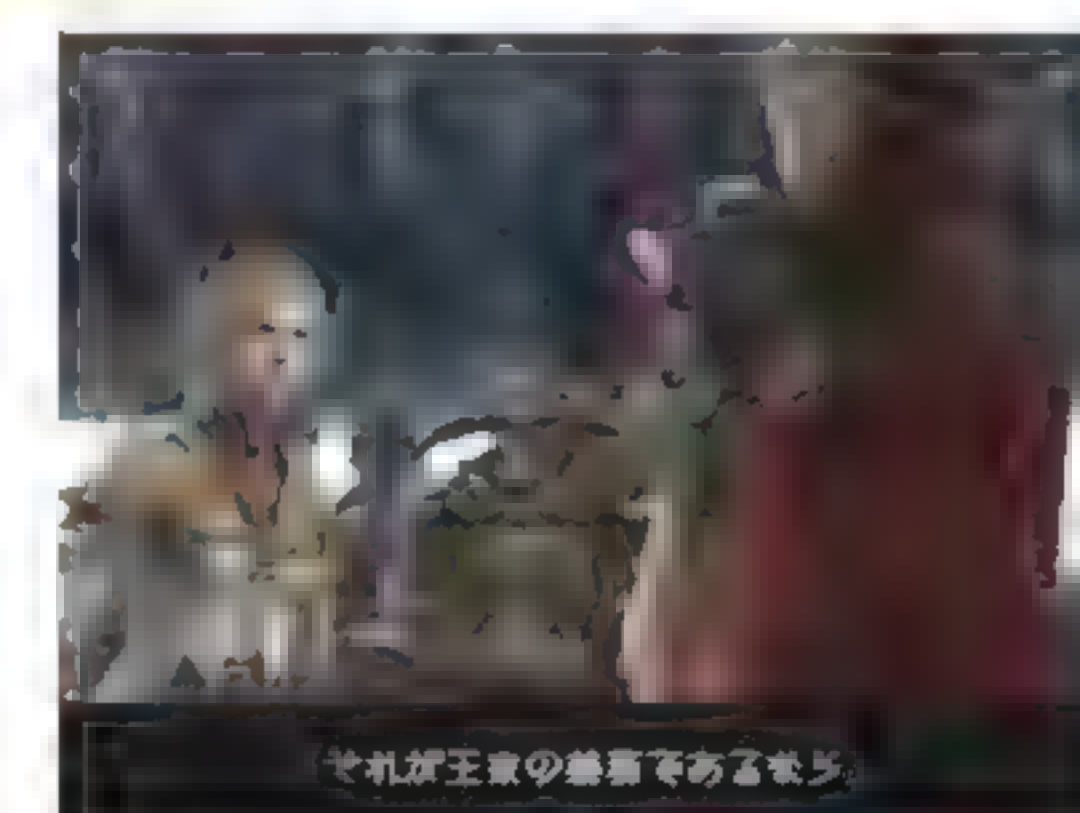
己の汚名を晴らすことよりも、ダルマスカ国民や王位継承者アーシェのことを第一に考え、旅のなかでも補佐役として彼女を支える。それは19年前に、祖国ランディスを帝国の侵攻から守りきれず、滅亡させてしまった過去を持つがゆえ。今度こそ、守るべきものを最後まで守り抜くと誓い、ダルマスカのために奮戦する。

⬅自分の名誉を捨てても、民の平穏を考えるバッシュ。その言葉は人々を守ろうとする決意に満ちている。

➡兄を死なせた張本人だとヴァンに憎まれるも、彼のやり場のない想いを理解し、それを優しく受け止める。

Topics of Basch

置き去りにした家族との因縁

2年前の戦争時に、バッシュに化けてラミナス国王を殺した帝国のジャッジ・ガブラスは、バッシュの双子の弟だ。祖国ランディスが滅亡したとき、バッシュは弟と病気の母を置き去りにしてダルマスカ王国へ亡命した。そうした経緯から、バッシュはガブラスに深く憎まれ、物語中で何度も刃をまじえることになる。しかし、バッシュは兄としてガブラスの思いを受け止めつづけ、最後には和解を果たす。

⬆わだかまりを捨てたガブラスに寄り添う。燃え尽きつつある弟の命を支えるように……。

汚名をも辞さずにつらぬこうとする信念

バッシュは騎士でありながら、みずからの地位や名誉をかえりみることをしない。それは、たとえ自分は恥にまみれても、守るべき者を守るという信念があるから。ゆえにバッシュは、「主君を殺した裏切り者」との汚名をそそぐこともせず、ひたすらにダルマスカのために力を尽くそうとする。そして、その信念を持つからこそ、復讐にこだわって守るべき者を見失いがちなアーシェに苦言を呈するのだ。

⬆国を背負う者にとって本当に守るべきものは何か――ことあるごとにアーシェをさとす。

バッシュ将軍七変化?

登場人物のなかでも、バッシュは服装を変えることが多い。オープニングでのダルマスカ軍の鎧姿から、ちょっと小汚い囚人服まで、そのバリエーションは豊富だ。どんな服でも堂々と着こなしているように見えるのは、将軍としての貫禄ゆえ？

Impressive Words

誰に対してもていねいな態度で接し、言葉も簡潔で実直なのが印象的。口数は決して多くないが、マジメ一辺倒というわけでもなく、ときにはヴァンたちと冗談を言い合う余裕も見せる。

「私はいい。彼を信じてやってくれ」
――バルハイム地下道：レックスの死についてヴァンに真実を語って

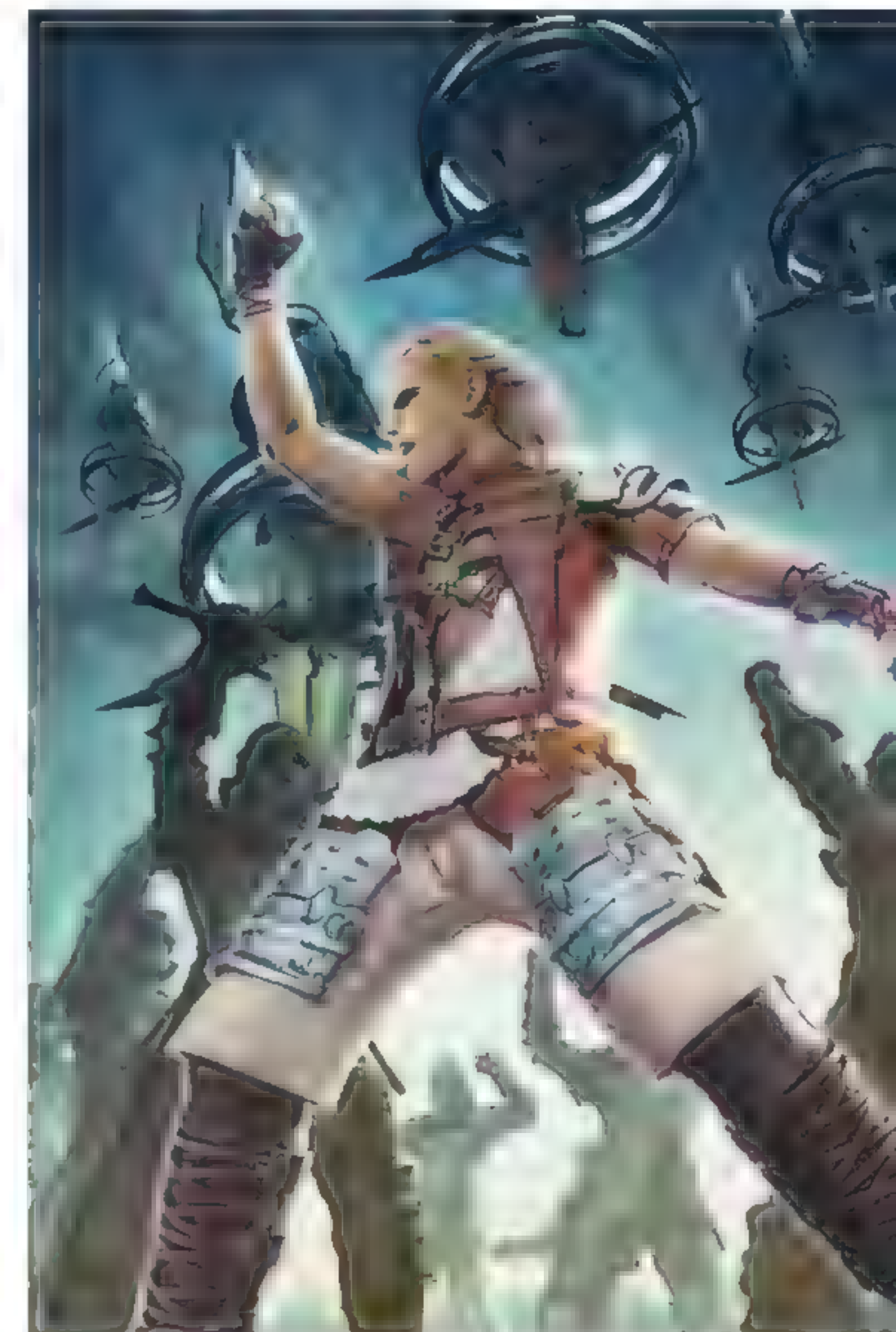
「だからこそ――あがくのだ!」
――軽巡洋艦シヴァ：現実を見ろというウォースラと対峙して

「我々にとっては恥でしょう。しかし民は救われます」
――オズモーネ平原：帝国との和平をしぶるアーシェをさとし

「お前の問いに答えるのが――兄としてのつとめだな」
――空中要塞バハムート：「守りたいものほど守れはしない」と言うガブラスに

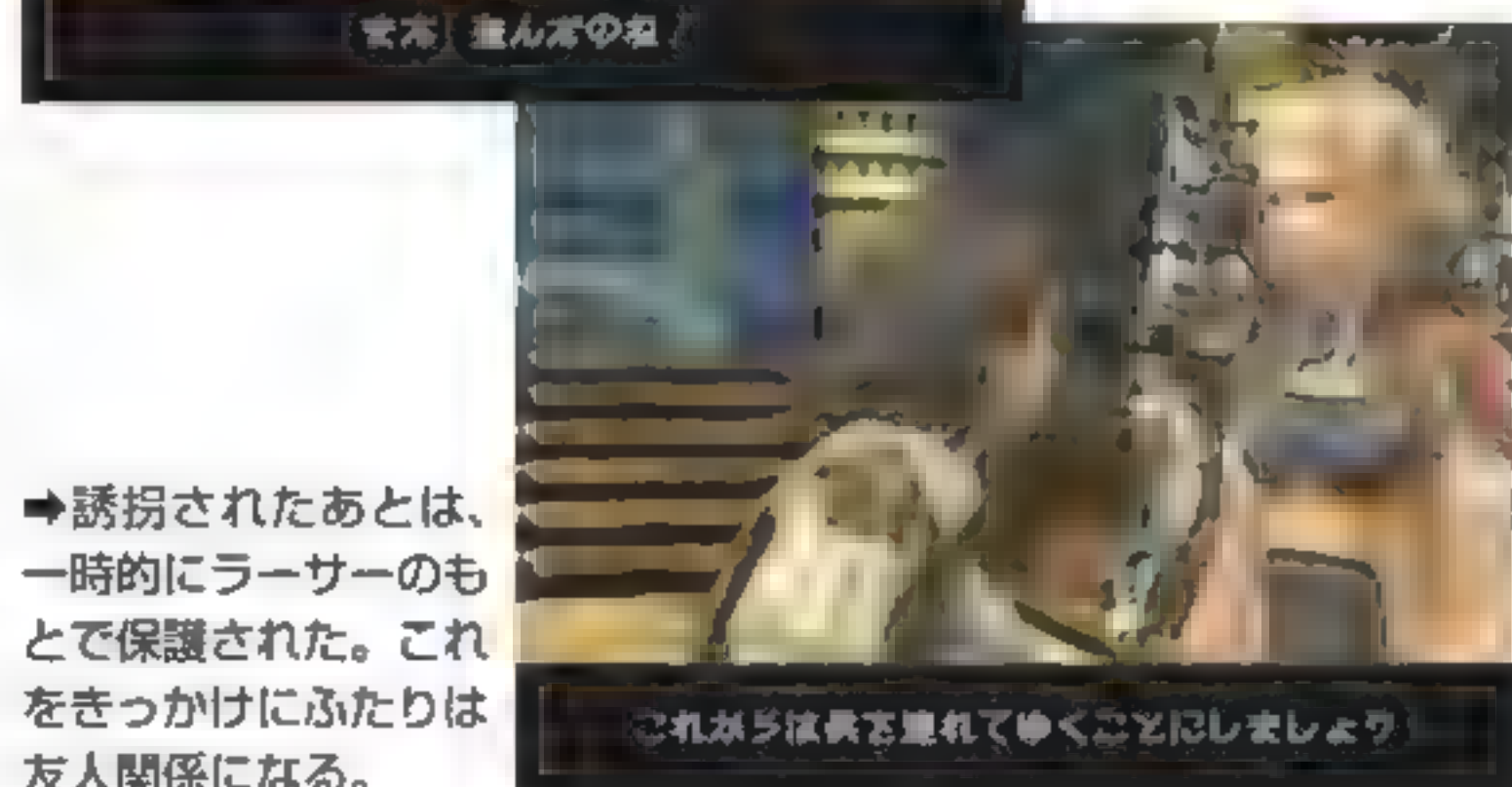
パンネロ

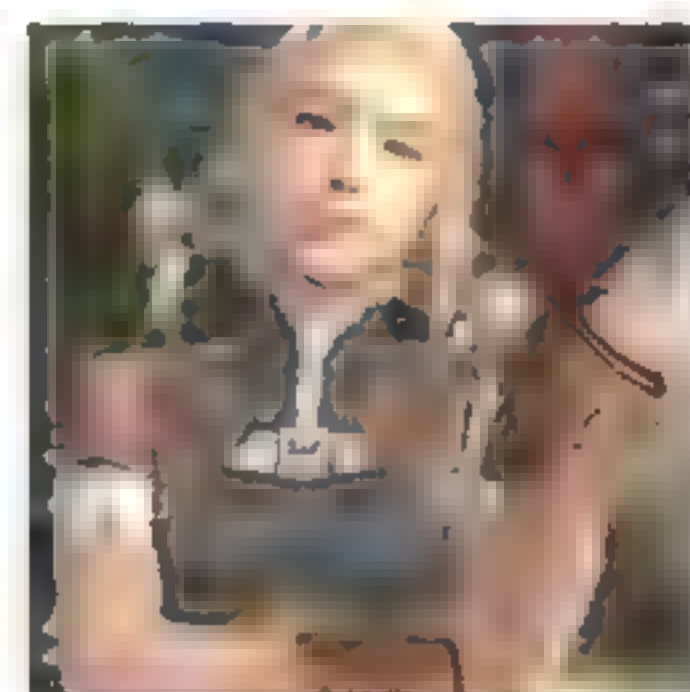
Penelo

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	女
年齢	16歳	出身地	ダルマスカ王国
身長	160cm	瞳の色	ハニーブラウン
ボイスアクター	三国由奈		
モーションアクター	三国由奈		

優しくもたくましい ヴァンの幼なじみ

ヴァンのガールフレンドである、ほがらかな少女。王都ラバナスタでも裕福な商家の末娘として生まれ、踊り子になることを夢見ながら、両親や兄たちにかわいがられて育ってきた。しかし、2年前の戦争で家族を失い、両親の商売仲間であったミゲロに保護され、彼のもとでヴァンとともに生活を営むことに。気立てが良く、ヴァンと一緒にダウンタウンの孤児たちをまとめている。

ラバナスタ王宮に忍びこんだヴァンが賊としてつかまって離ればなれになり、自身もカンちがいから賞金かせぎのバッガモナンに誘拐されてしまう。その後、バルフレアやアーシェと行動をともにしていたヴァンとようやく再会を果たすと、彼と離れたくない一心で旅への同行を決意。その旅のなかでしだいに成長していくヴァンの姿を、温かな眼差しで見守りつづける。

←ヴァンとは家族同然の仲。それゆえに彼相手には遠慮がなく、盗みを働くことを真っ向から非難する場面も。

➡誘拐されたあとは、一時的にラーサーのもとで保護された。これをきっかけにふたりは友人関係になる。

Topics of Penelo

■悲しみを知るがゆえの優しい瞳

パンネロも、ヴァンと同じく戦争で愛する家族を失っているが、彼のように憎しみや復讐にとらわれることはない。それは、彼女が自分のなかで家族の死をしっかりと消化しているから。とはいえ、ヴァンのやり場のない思いも自分のものとして理解できるがゆえに、温かい目で彼を見守ってきた。それだけに、帝都アルケイディスに到着したときの、過去を克服したヴァンの成長ぶりを語る表情は感慨深げだ。

⬆良いところは変わらないまま成長したヴァンを見て、おだやかにほほえむパンネロ。

■ヴァンとの微妙な関係

一緒に育ってきただけあって、パンネロにとってヴァンは特別な存在。盗賊として帝国兵に連行されるヴァンをかばおうと飛び出したり、旅に同行するとき「ひとりはもういや」と強い口調で言ったりするのを見ても、彼の存在の大きさがよくわかる。そういった感情の根底には、恋心めいたものが多分にあるようなのだが、空気の読めないヴァンは、もちろんパンネロの気持ちにまったく気づいていない。

⬆ヴァンを手のかかる弟のように思う一方で、精神的に彼に頼っているフシもある。

■常識的なふつうの女の子

裕福な商家で育ったパンネロは、ヴァンとくらべて分別があって常識的。旅の仲間とはいえ王女様のアーシェにていねいな態度で接したり、じゃれ合うほど親しくなったラーサーに敬語で話しつづけたりするのも、パンネロらしいところだ。

←誰にでも気安く接しすぎるヴァンとはちがい、相手の身分を考えた振る舞いをする。

Impressive Words

素朴でやわらかな言葉づかいが多く、それがパンネロの温かな雰囲気をかもし出している。ヴァンを相手にしているときだけ口にする、構えたところのない口調もかわいらしい。

「本当？　本当に無茶しないんだったら、私がついていっても大丈夫だよね」
——ギーザ草原：ヴァンが何か無謀なことをしようとしていると気づいて待ち伏せ

「ひとりはもういや」
——空中都市ビュエルバ：アーシェに同行するヴァンに自分もついていくと言い切り

「私にとっては、お守りだったんです」
——ヘネ魔石鉱：危険な人造破魔石をパンネロに渡したことを悔やむラーサーを励ますように

「亡くなった人たちの心は、もう動かないんだよ。何があっても、何をしても。目を閉じて思い浮かべる幻みたいに——」
——リドルアナ大灯台：復讐を迷うアーシェの背を見つめて

バルフレア

Balflear(Ffamran mied Bunansa)　(ファムラン・ミド・ブナンザ)

Personal Data

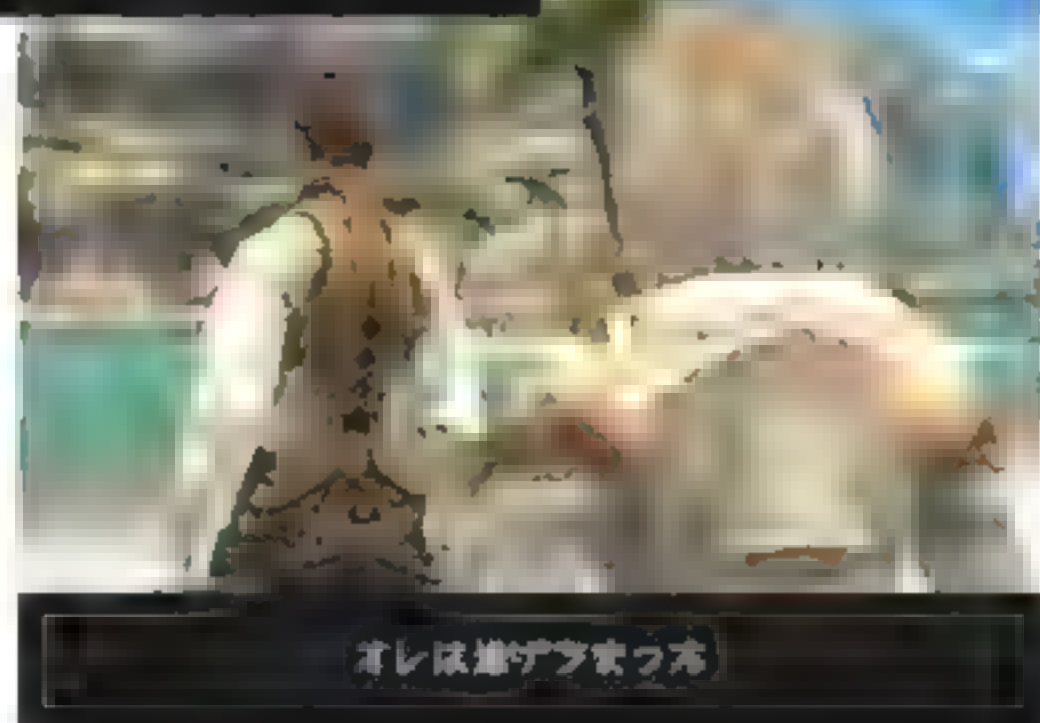
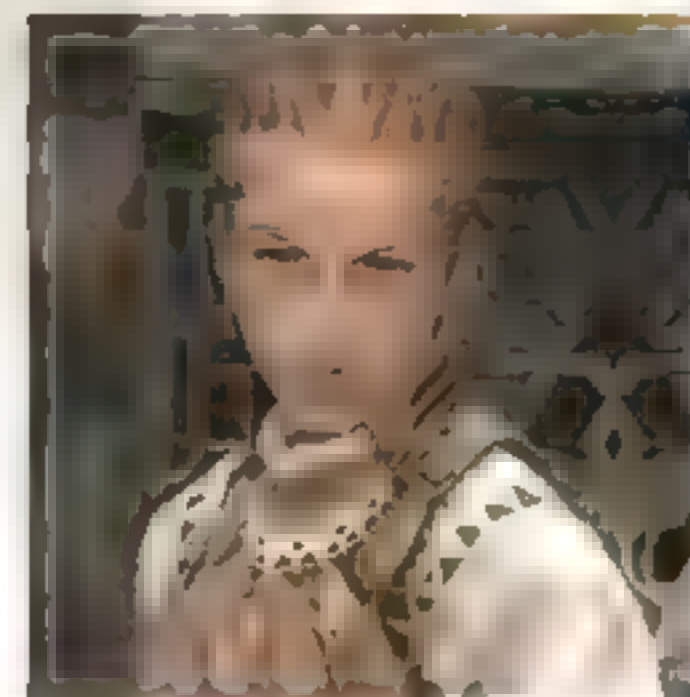
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	22歳	出身地	アルケイディア帝国
身長	183cm	瞳の色	ヘーゼルグリーン
ボイスアクター	平田広明		
モーションアクター	SEAN RYAN		

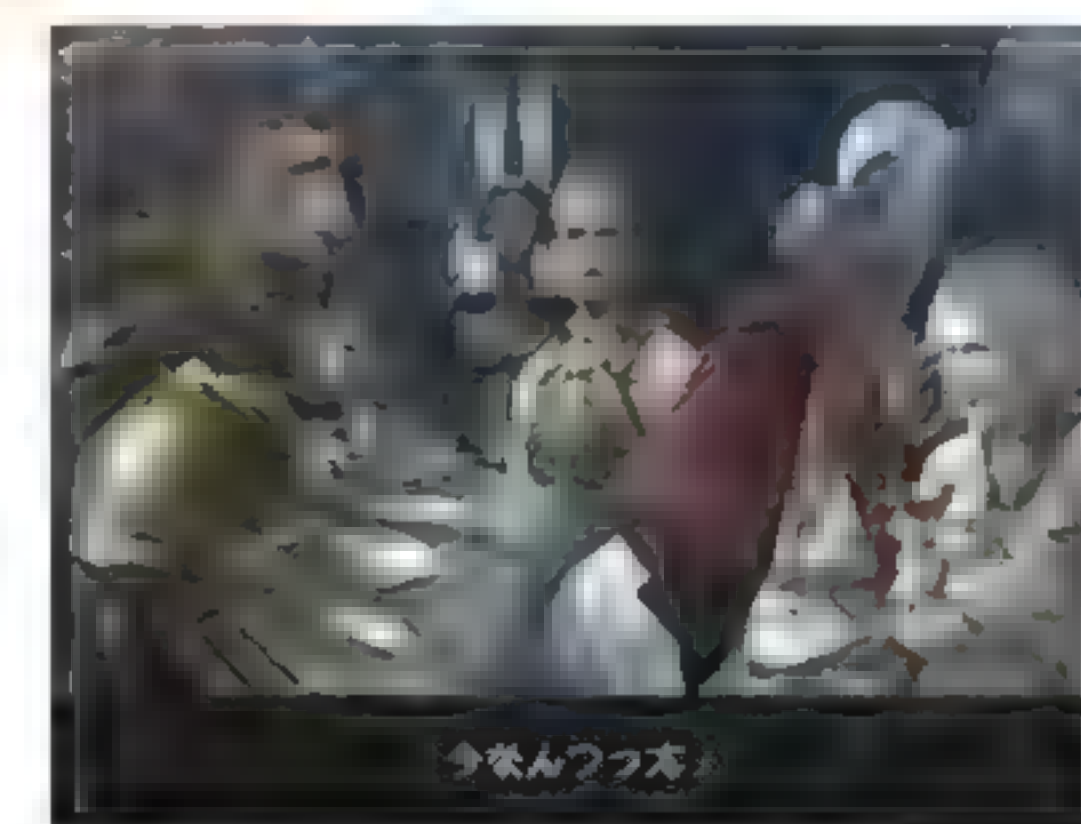
過去の束縛から逃れようと自由の空を飛びつづける空賊

飛空艇シュトラールを駆り、最速の空賊の名をほしいままにする青年。自由を愛し、国家や組織に属さない義賊として名をはせる。キザなセリフもさらりと口にする伊達男で、洗練された立ち振る舞いには貫録すら漂う一方、ときに若さを見せることも。パートナーであるフランとは、種族や性別の差を超えた信頼関係にある。

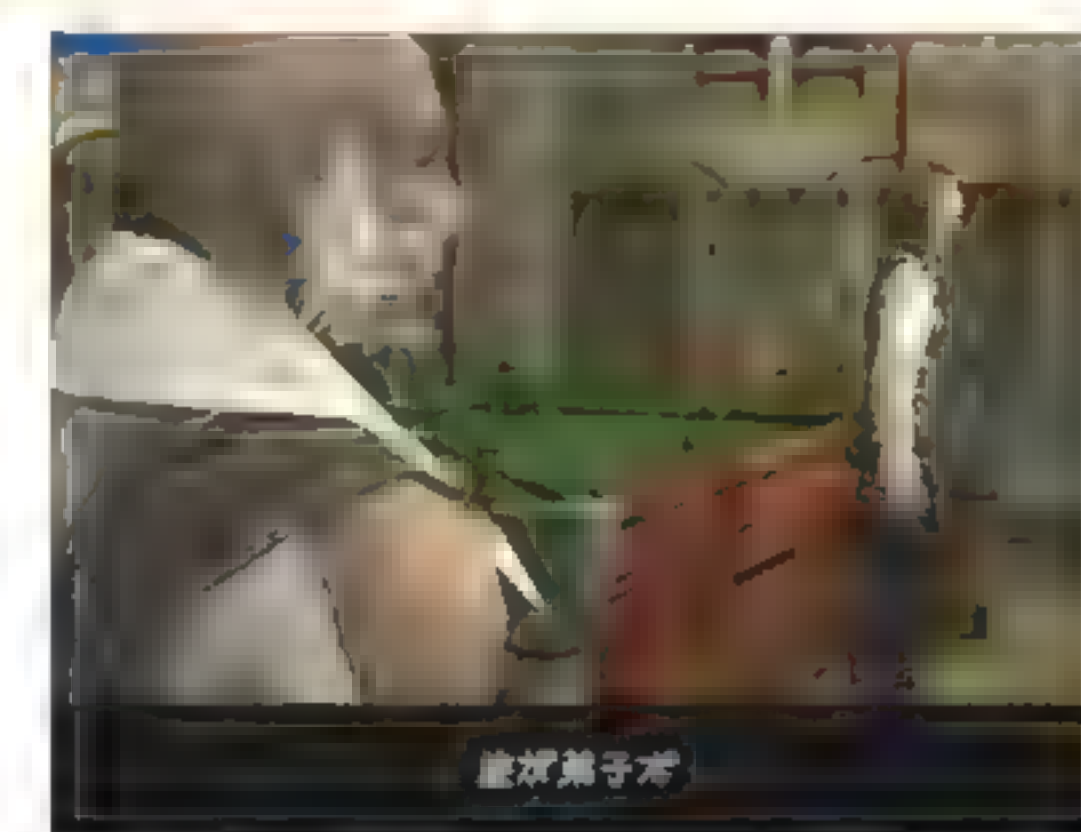
本名は「ファムラン」といい、アルケイディア帝国の有力者シドの息子だが、父との確執から国を出て「バルフレア」と名を変え、空賊として活動してきた。ダルマスカ王家の秘宝を盗むべく忍びこんだラバナスタ王宮でヴァンやアーシェと出会い、彼らに巻きこまれる形で旅に同行。はじめは傍観者を決めこみ仲間ともなれ合わなかったが、事態の背後に父シドの思惑が働いていることに気づき、積極的に関わるようになっていく。

⬅高性能な飛空艇シュトラールを駆る。バルフレア自身も、最速の名に恥じない操縦テクニックの持ち主だ。

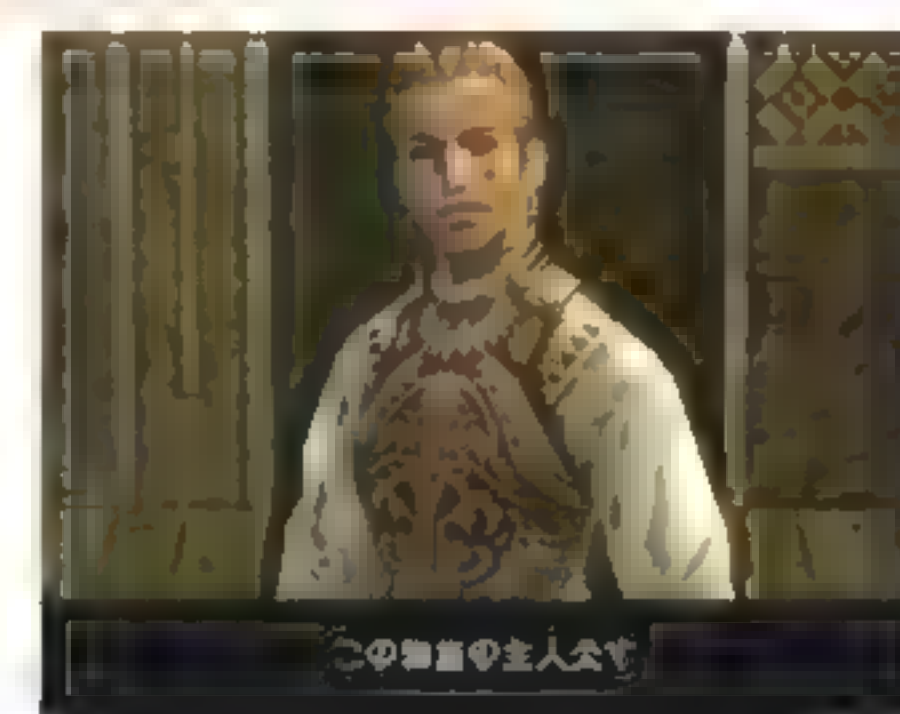
➡自身の過去をアーシェに語るバルフレア。以降、ふたりは過去に縛られた者同士として接近していく。

Topics of Balflear

■ 過去から逃げつづける男

帝国を飛び出す前のバルフレアは、父シドのお気に入りの息子で、将来を期待されていた。しかし、その期待に息苦しさを感じたバルフレアは、父を捨て国外に逃亡したのだ。父親を理解できずに逃げ出した──そうした負い目を抱えるがゆえに、バルフレアは"父親"という存在に過剰に反応してしまう。物語中でも、無邪気に父グラミス皇帝を信じる帝国の皇子ラーサーに、大人げない言葉を吐く場面がある。

⬆逃げつづけてきた父の影をギースの言葉に感じて、思わず冷静さを失ってしまう。

■ ヴァンを見守る先輩空賊

知り合った当初は、ヴァンを青くさい子どもと見ていたバルフレア。しかし、無邪気に空賊へのあこがれを語る彼の姿やその思い切りの良さを見るうちに、バルフレアはヴァンへの期待と信頼を深め、飛空艇の操縦法を教えたり空賊としての心構えを説いたりと、師弟のような関係を築いていく。もっとも、ドライを気取りたいバルフレアは、ヴァンに目をかけている事実を素直に認めたくない様子。

⬆ヴァンをバルフレアの弟子と見るレダスの言葉を否定する。そっけないのは照れ隠しか。

■ オレは"物語の主人公"

バルフレアを語るうえで欠かせないのが、"自分は主人公"発言。侵入した王宮でたまたま出会っただけのヴァンにいきなり言ってみたり、盗んだ飛空艇の速度が遅くて気に入らないときに言ったりと、さまざまな状況で口にするのだ。

⬅ゲーム中の主人公であるヴァンをさしおいて、"自分が主人公だ"と宣言するバルフレア。

Impressive Words

シャレた言いまわしや、偉そうな口ぶりが目立つ。割り切ったところを見せたいのか、ときに突き放した言いかたもするが、父親や自分の過去に関わることについては、ついつい激しい言葉が口をつく。

「ならお前が決めろ。楽になれる方を選べばいい。──どうせ戻らない」
──バルハイム地下道：「兄の思いを勝手に決めるな」とバッシュへ怒りを向けるヴァンに

「たいした自信だな。父親だろうが、結局他人だろ」
──パラミナ大峡谷：父グラミス皇帝を信じ切った様子のラーサーにきつく当たる

「逃げて、自由になったと思い込んでた」「結局、逃げられやしなかったんだ。──だから終わらせる。過去に縛られるのはもういい」
──フォーン海岸：アーシェに自分の身の上を打ち明けて

「主人公は絶対に──死なないの──さ」
──エンディング：崩壊するバハムートに残りながら、心配するアーシェをなだめるように

フラン

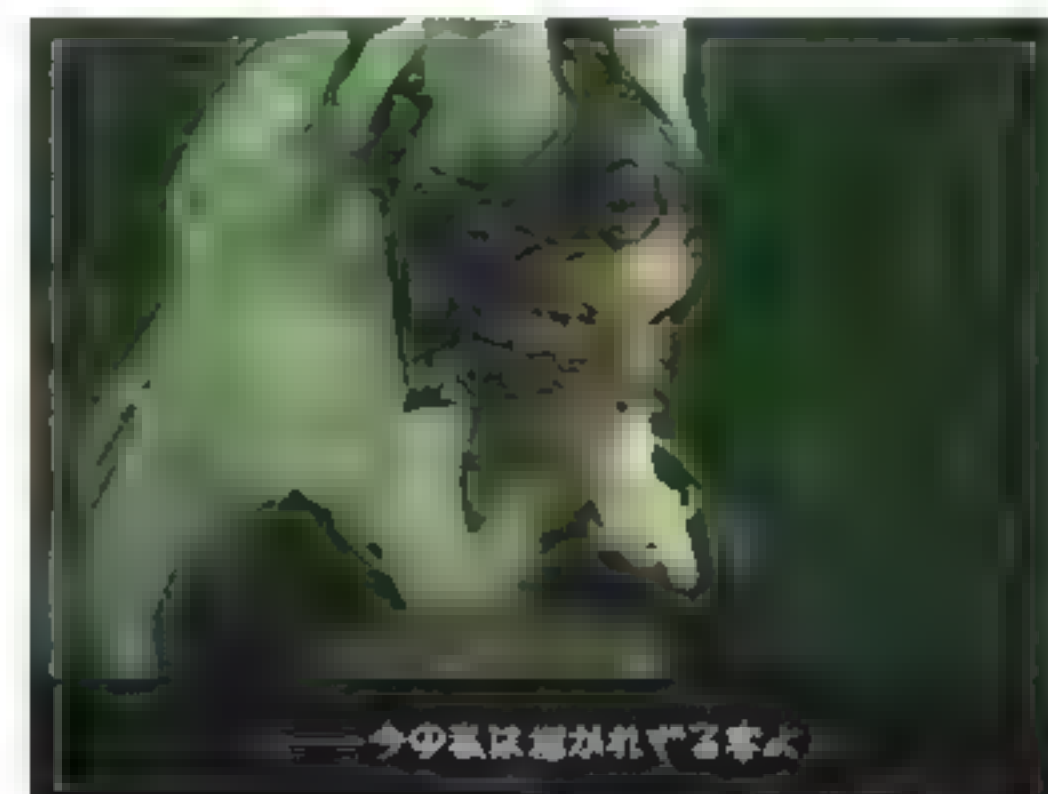
Fran

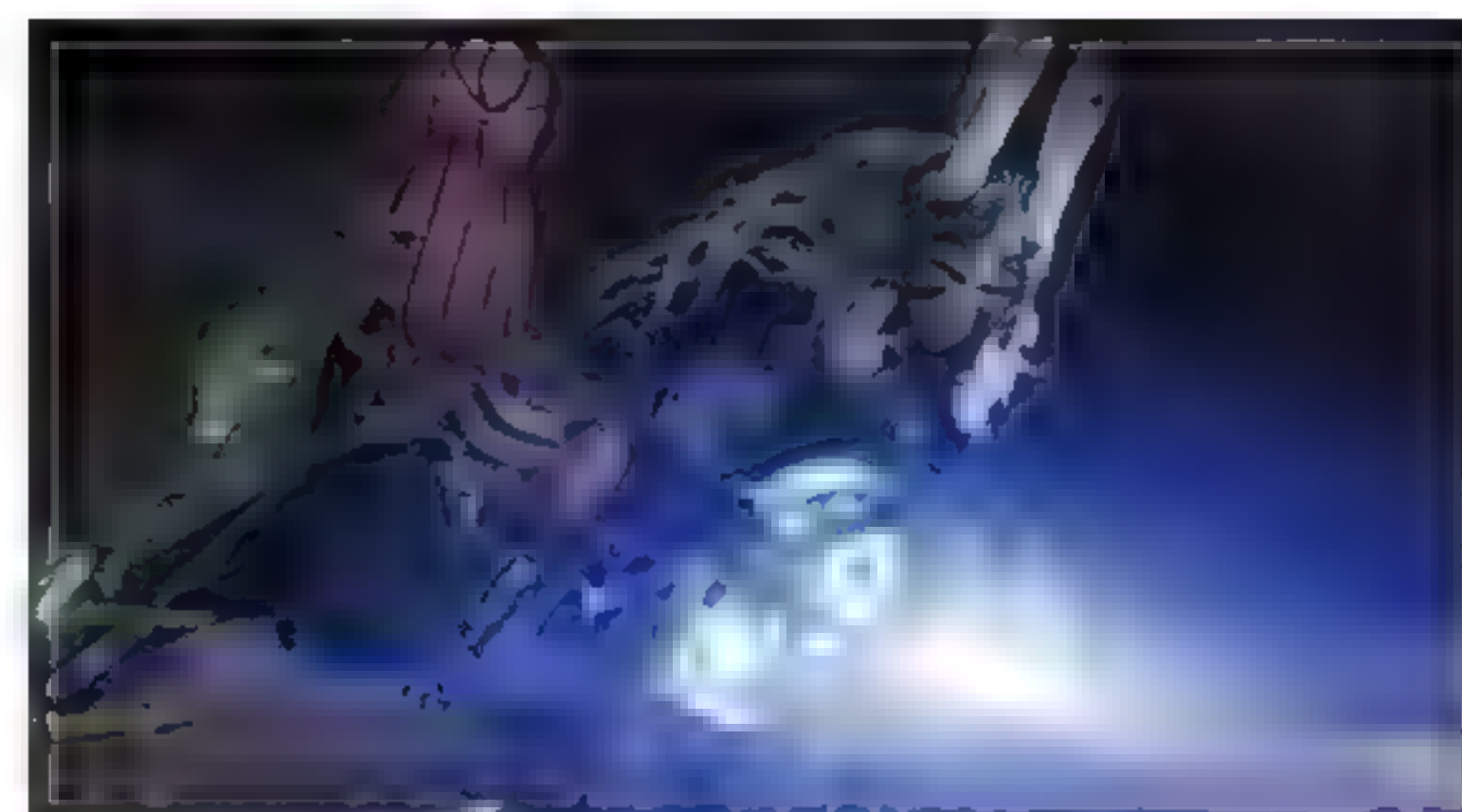
Personal Data

種族	ヴィエラ族	性別	女
年齢	不詳	出身地	エルトの里
身長	187cm（耳を含めると216cm）		
瞳の色	赤茶		
ボイスアクター	深見梨加		
モーションアクター	HIROKO HARADA		

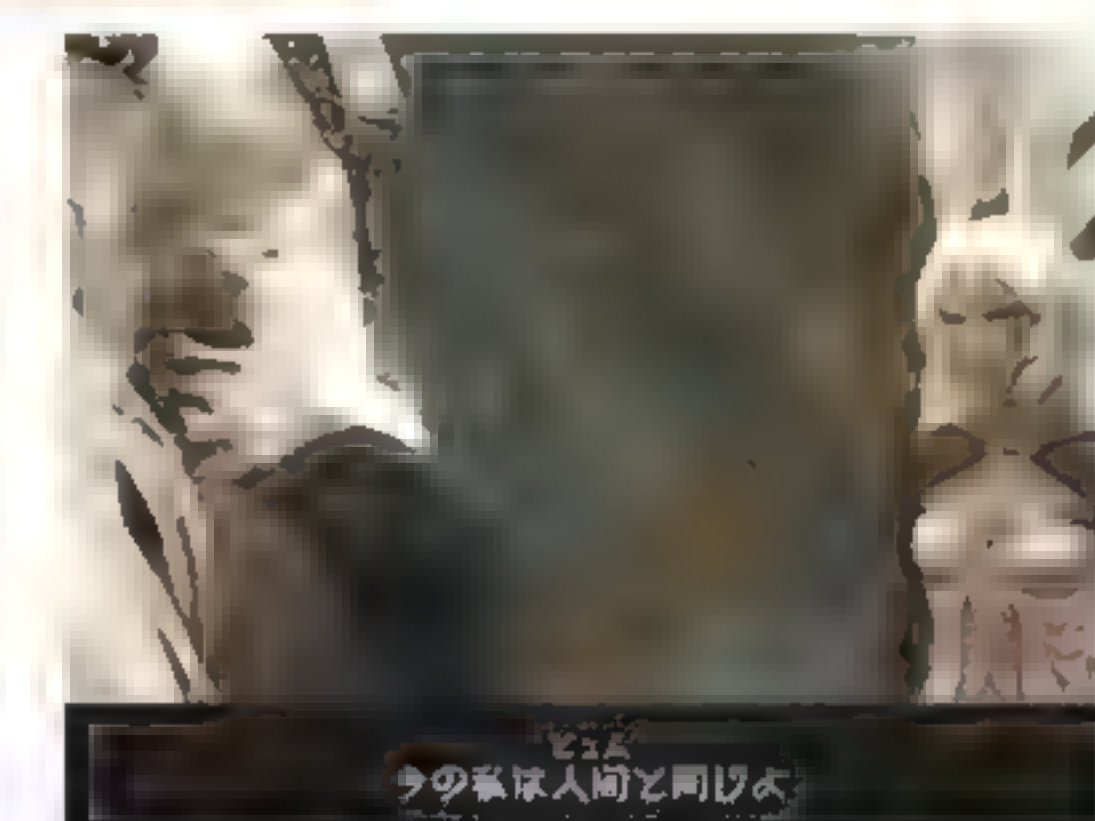
バルフレアと固い絆で結ばれたヴィエラの戦士

ウサギに似た長い耳を持つ森の民、ヴィエラ族の美女。他種族との交流を嫌うヴィエラ族でありながら、故郷の森を捨ててヒュムの社会に混じり、バルフレアと組んで空賊稼業についている。豊富な知識と経験、一族の特徴であるミストへの高い感応能力を持つだけでなく、さまざまな武器や機械のあつかいに精通しており、空賊としての実力は折り紙つき。ふだんは冷静沈着で、謎めいた言葉で周囲に助言を与えるが、いざというときには率先して行動する思いきりの良さも持ち合わせる。

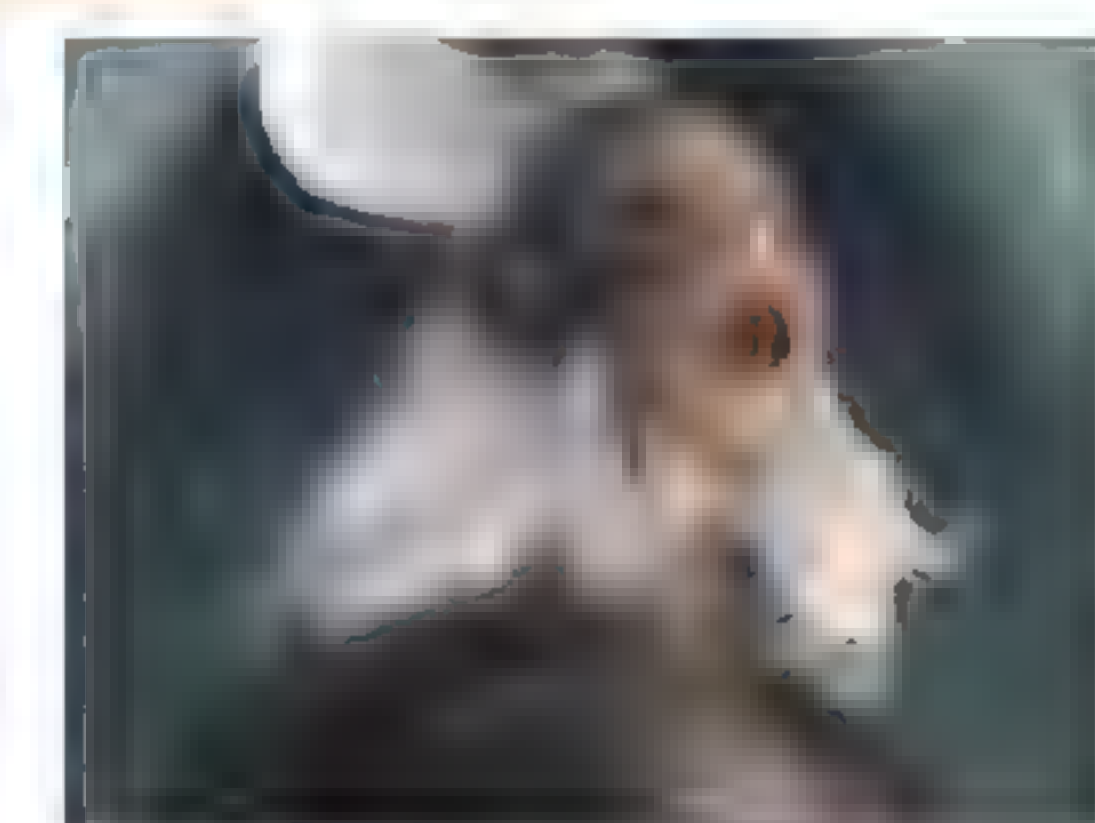
バルフレアと深い信頼関係を築いており、彼に従う形でアーシェたちに同行。最低限の助言を与えるだけという姿勢をくずさずに、仲間たちと接していく。その様子は旅の中心人物であるアーシェやバルフレアが、どのように過去と向き合うのかを見届けるようでもある。

⬅ヴィエラ族であるフランが、己の感情を表に出すことは少ない。仲間と話す口調も淡々としたものだ。

➡古事や伝承の深い知識を持つうえ、機械の操作も得意としており、飛空艇シュトラールの副操縦士を務める。

Topics of Fran

■ 森を捨てたヴィエラとして

フランは文明と隔絶したヴィエラの集落エルトの里の出身だ。だが50年前、彼女は閉鎖的な森を嫌い、一族から切り捨てられるのも覚悟のうえで森を出た。物語の中盤、旅の仲間のために、一度は捨てた故郷の森を訪れた彼女は、姉ヨーテ、妹ミュリンと再会する。しかし、里の長である姉の立場や、精神的に未熟な妹のことを考え、森を出た者として最後まで振る舞い、必要以上に触れ合うことはなかった。

⬆自身のことを「すでにヴィエラではない」と、自分に言い聞かせるように口にするフラン。

■ ヴィエラとしての能力を活かして

旅の仲間のなかでは、フランは知恵袋的な存在。ヒュムの3倍もの寿命がある長命な種族ゆえに博学で、とくに古代の伝承には深い知識を持つ。さらに、イヴァリースに満ちる魔の力「ミスト」を感じ取る感覚も鋭く、そういった知識や能力を活かして仲間にアドバイスをする。ただし、ミストの変化に敏感なために、その異変が身体にまで影響をおよぼし、ときには激しいミストの流れにあおられて暴れ出すことも。

⬆破魔石の暴走の影響で正気を失うフラン。あまりの暴れように仲間たちもたじたじ。

■ バルフレアとの特別な関係

はた目には恋人同士にも見えるフランとバルフレアだが、そう単純な間柄ではない。必要最低限の素気ないやり取りだけで相手の意志をくんだり、無条件でお互いの行動を信じ合ったりと、ほかの人間には入りこめない信頼関係を築いているのだ。

⬅揺るぎない絆で結ばれたフランとバルフレア。ふたりのあいだに余計な言葉はいらない。

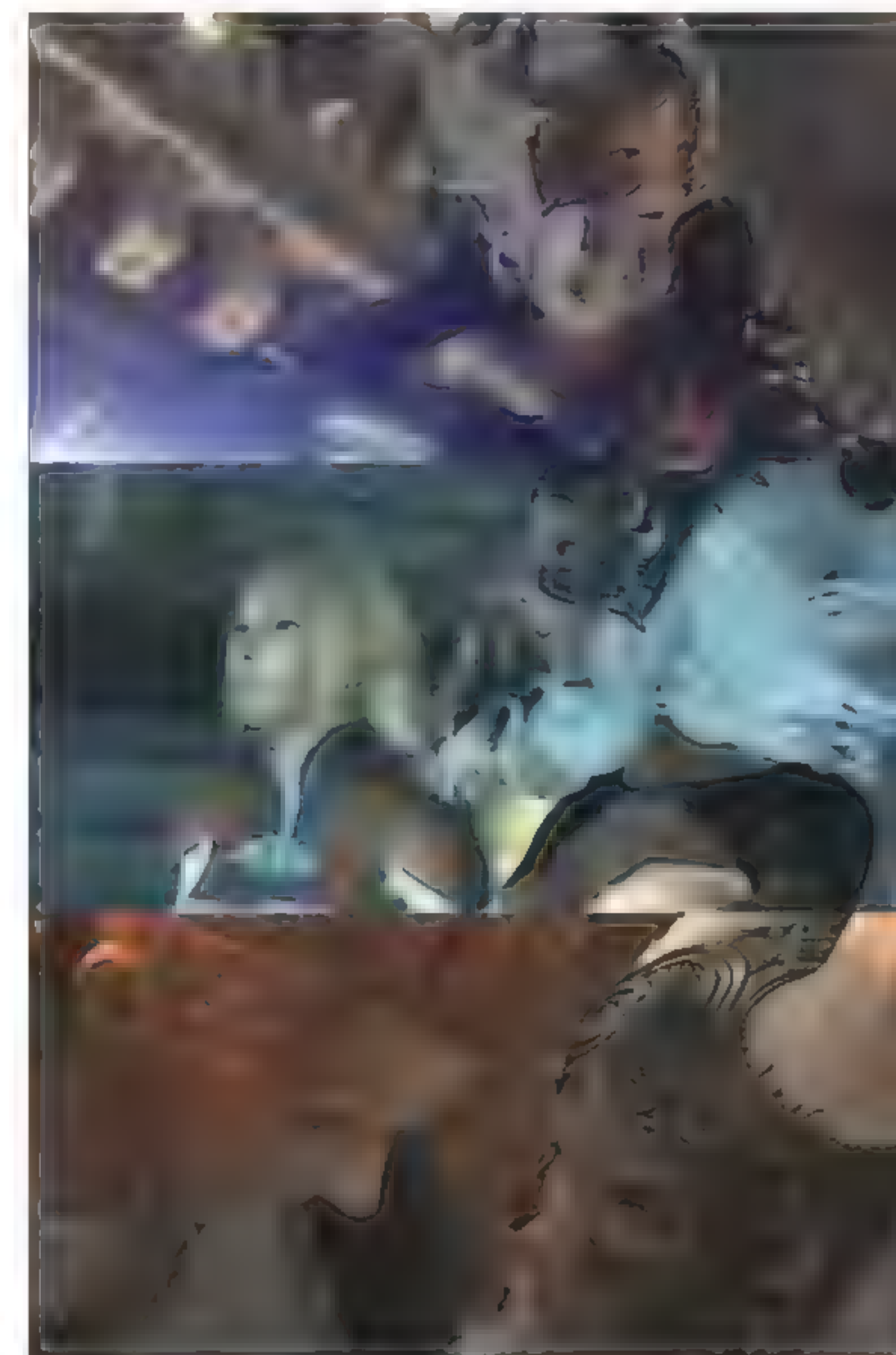
Impressive Words

発言自体あまり多くないフランだが、その言葉からはヴィエラ族らしい考えかたや、バルフレアへの確かな信頼が伝わってくる。伝承や古謡を口にするときの、歌い上げるような口調も印象的だ。

「あ、熱い――ミストが――熱い――！」
――軽巡洋艦シヴァ：破魔石の暴走を感じ取り

*「あなたのためでもあるのよ。焦っているでしょう。
破魔石がそうさせているの？　あなた、意外と顔に出るのよ」*
――ゴルモア大森林：平静を装うバルフレアの焦りを見透かして

「すべてを滅ぼせるでしょうね――あなたが望むなら」
――クリスタルグランデ：破魔石の力を思うアーシェに警鐘を鳴らす

「逃げきってみせて――。最速の空賊バルフレア――でしょう？」
――リドルアナ大灯台：天陽の繭の暴走から逃げるようバルフレアに伝えて

ヴェイン

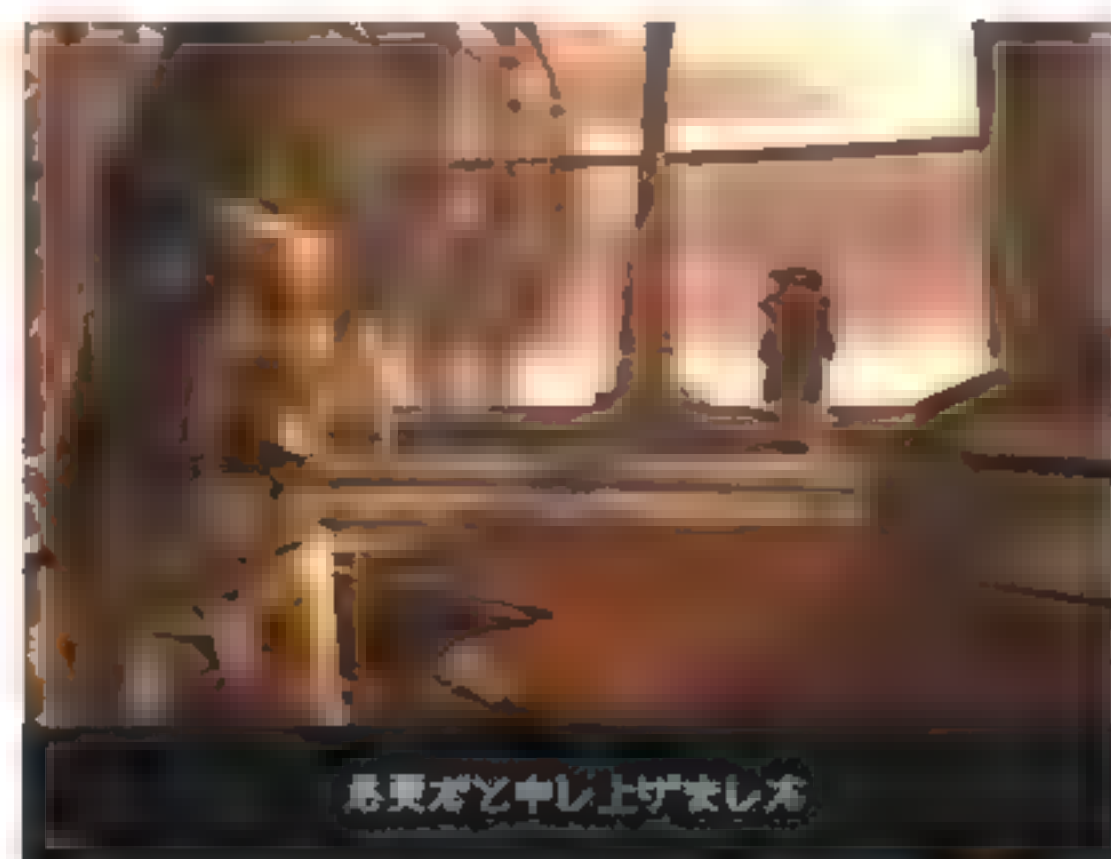
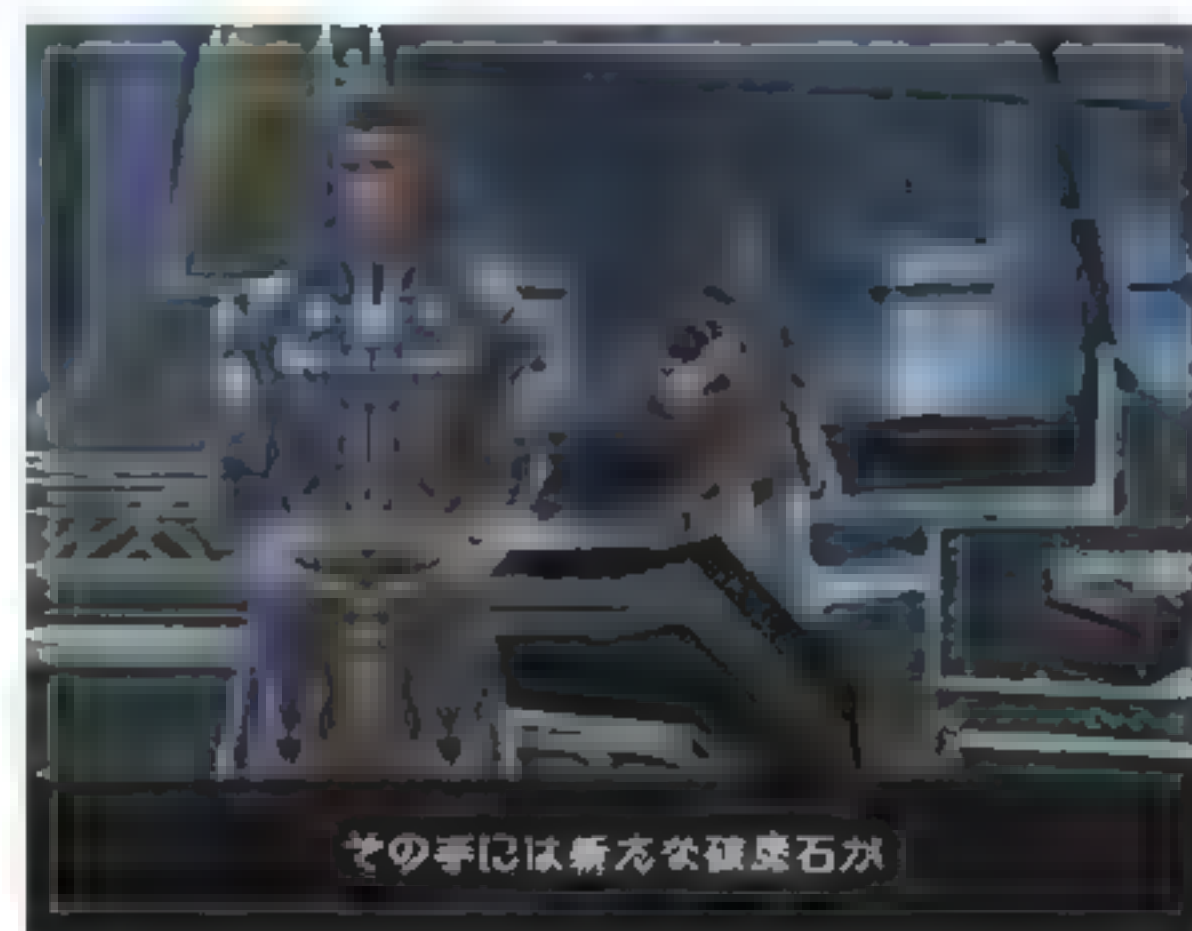
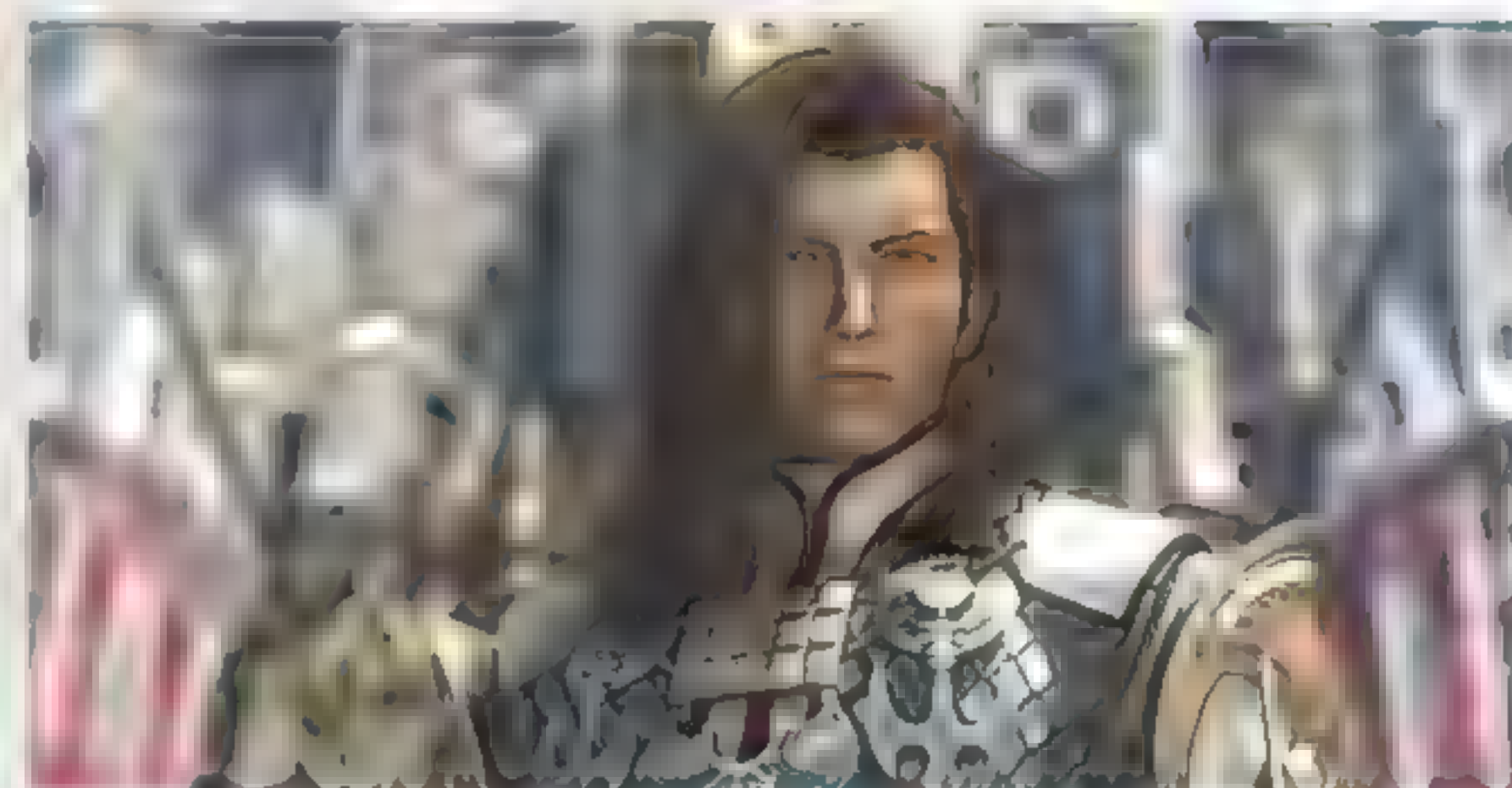
Vayne Carudas Solidor ヴェイン・カルダス・ソリドール

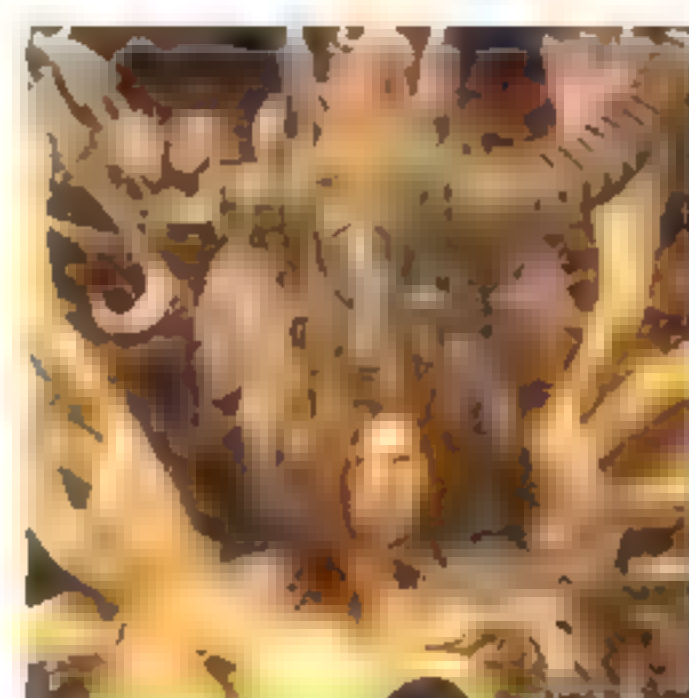
Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	27歳		
出身地	アルケイディア帝国		
ボイスアクター	飛田展男		
モーションアクター	紘長 誠		

覇道をもって新たな歴史を築く野心家

アルケイディア帝国皇帝グラミスの三男であり、次期皇帝の最有力候補。2年前にナブラディア、ダルマスカの両王国を攻略し、バッシュによる国王暗殺を演出した張本人で、ヴァンやアーシェの仇敵である。ロザリア帝国と自国の緊張が高まるなか、あえて大戦を起こし、それに勝利することで一気に戦乱を収めようと画策。父の死に乗じて政敵の元老院を粛清し、帝国の実権を一手ににぎってヴァンたちの前に立ちはだかる。

大戦での勝利を確実なものとすべく、盟友であるシドとヴェーネスの協力を得て「人造破魔石」を開発。着々と戦争の準備を進めていくが、それは「人の手による歴史を作り出す」という盟友たちの意志を受けてのことであり、同時に、ソリドール家の命脈を保つためでもある。

⬆肉親を切り捨てるのもためらわない非情な人物だが、弟ラーサーには親愛の情を抱いている。

⬅国政をつかさどる一方で、ドクター・シドやヴェーネスとともに、オキューリアの支配から脱することを目指す。

Topics of Vayne

■ソリドール家の「血塗られた剣」

16歳のときに、謀反をたくらんだ実の兄ふたりを手にかけて以来、ヴェインは"ソリドールの剣"として一族の汚れ役をつとめてきた。代々皇帝に就任してきたソリドール家の政治生命を保つため、そして弟ラーサーの政治的な潔癖さを保つために、必要とあればいかなる犠牲をも辞さないその姿勢は徹底したもの。物語中でも元老院を排除する口実を作るべく、死病に侵された父皇帝に死を迫りさえする。

⬆ソリドール家にとって必要と判断すれば、父に死を勧める言葉も平然と言ってのけるヴェイン。

■戦略の天才は人たらしの天才?

代々皇帝を輩出するソリドール家では、男子は国民の支持を得るための帝王学を教えこまれる。ヴェインも例外ではなく、政略家の顔と市民に親しみやすい顔とを巧みに使いわけてきた。ダルマスカ執政官の就任式典では、宴の準備をまかされたミゲロに、気さくに話しかけるのだ。

⬅執政官就任式では、巧妙な演説で占領国であるダルマスカ国民の反感を抑えてみせる。

Impressive Words

政争のなかで半生を過ごしてきただけあって、そのセリフには重みや非情さがにじむ。それだけに、ラーサーへの親愛がこめられた言葉は印象深い。

「ソリドールの剣に迷いは不要。その剣を鍛え上げたのは陛下ご自身です」
——アルケイディス皇帝宮：実の父にさえ死を迫る冷徹さを皇帝自身に非難され

「ラーサーはあれでよい」
——アルケイディス皇帝宮：ラーサーの甘さを指摘するシドに

「ならば私を正す力を身につけるのだな」
——空中要塞バハムート：「あなたは間違っている」と意見するラーサーに返し

ラーサー

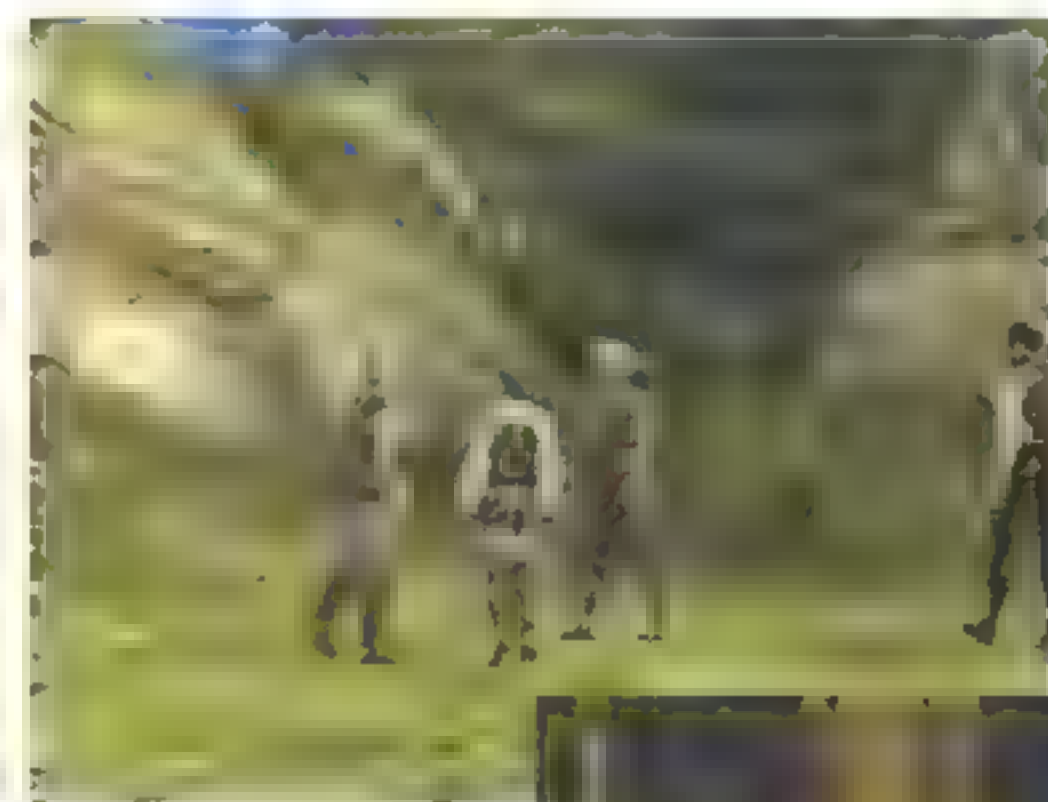
Larsa Ferrinas Solidor (Lamont)

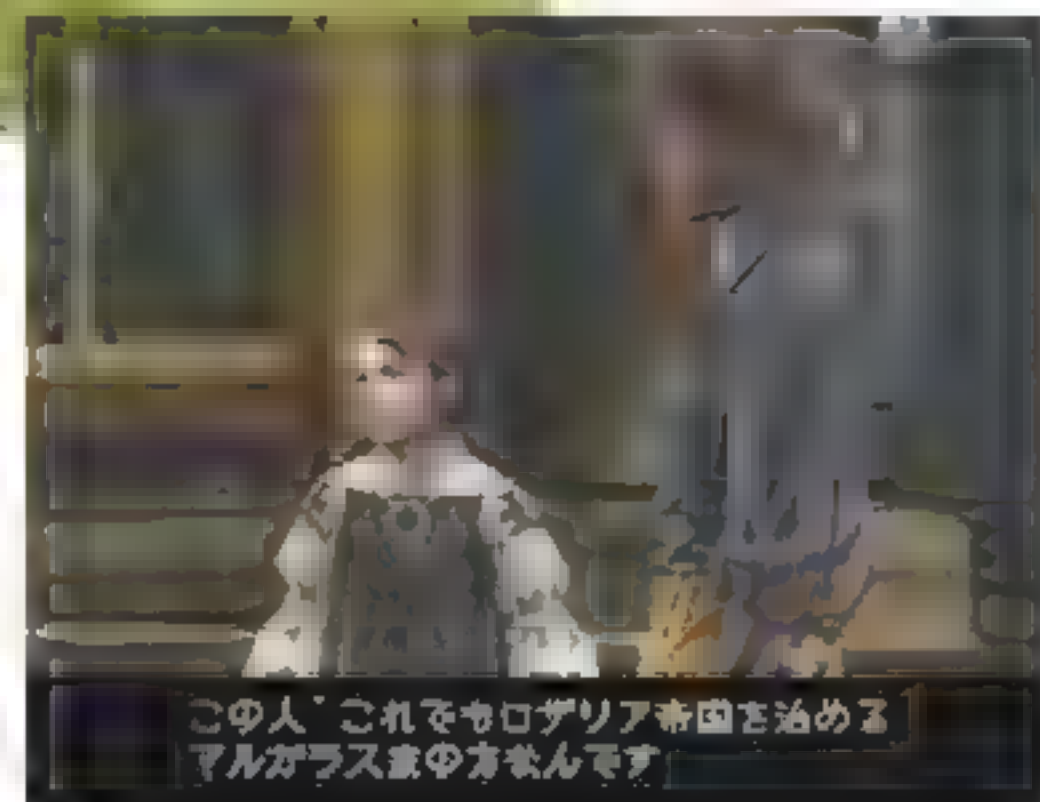
Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	12歳	出身地	アルケイディア帝国
ボイスアクター	今井由香		

平和を理想にかかげる純真な皇子

グラミス皇帝の四男であり、次期アルケイディア皇帝候補のひとり。ソリドール家の男子として幼少時より帝王学を教えこまれ、弱冠12歳にして政治家や軍師が舌を巻くほど政略に精通している。人の心を疑わない純真な性格だが、理想と現実を見定められないあやうさも持つ。

兄ヴェインの疑惑を晴らすべく訪れたビュエルバでヴァンと出会い、「ラモン」という偽名を名乗って同行。帝国の"ゆがみ"を正して平和の道を築こうと模索するが、その行為は敬愛する兄と対立することでもあった。それでも理想を捨てまいとする意志を原動力に、次代の皇帝にふさわしい人物に成長していく。

⬅歳相応に少年らしい部分があり、比較的年齢が近いヴァンやパンネロとじゃれ合うほほえましい場面も。

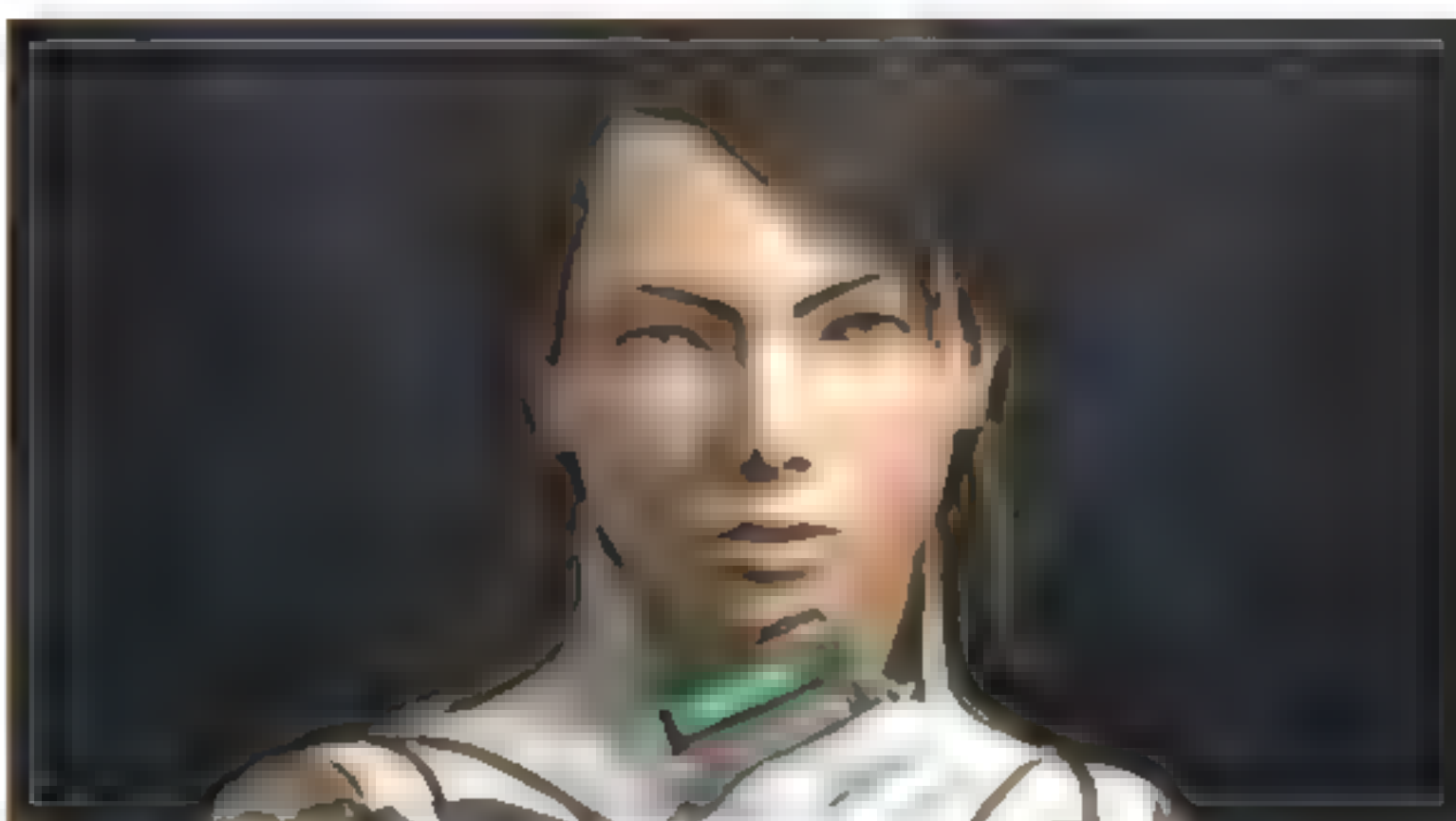
➡平和を願う理想家。敵国であるロザリア帝国のアルシドと交流があり、ともに戦争回避のために動く。

Impressive Words

「僕の名誉にかけて。兄もわかってくれます」
——空中都市ビュエルバ：ヴェインを恐れ、「信じてもいいのか」と言うパンネロに

「隠れた歪みを明らかにしてください。私はその歪みを糾して、帝国を守ります」
——戦艦リヴァイアサン：みずからの決意をアーシェに語り

「戦場になるのはダルマスカなんです！　ラバナスタを第2のナブディスにしたいんですか！　兄は破魔石を持っているんです！」
——ガリフの地ジャハラ：自身の感情のみで帝国との友好を拒否するアーシェに

「卿に賭けたい。卿を信じる」
——アルケイディス皇帝宮：ガブラスへの信頼をあらわに

「僕は——私は！　無力だとしても、あきらめはしません！」
——空中要塞バハムート：道をたがえた兄ヴェインに剣を向けて

ドクター・シド

Doctor Cid / Cidolfus Demen Bunansa

Personal Data

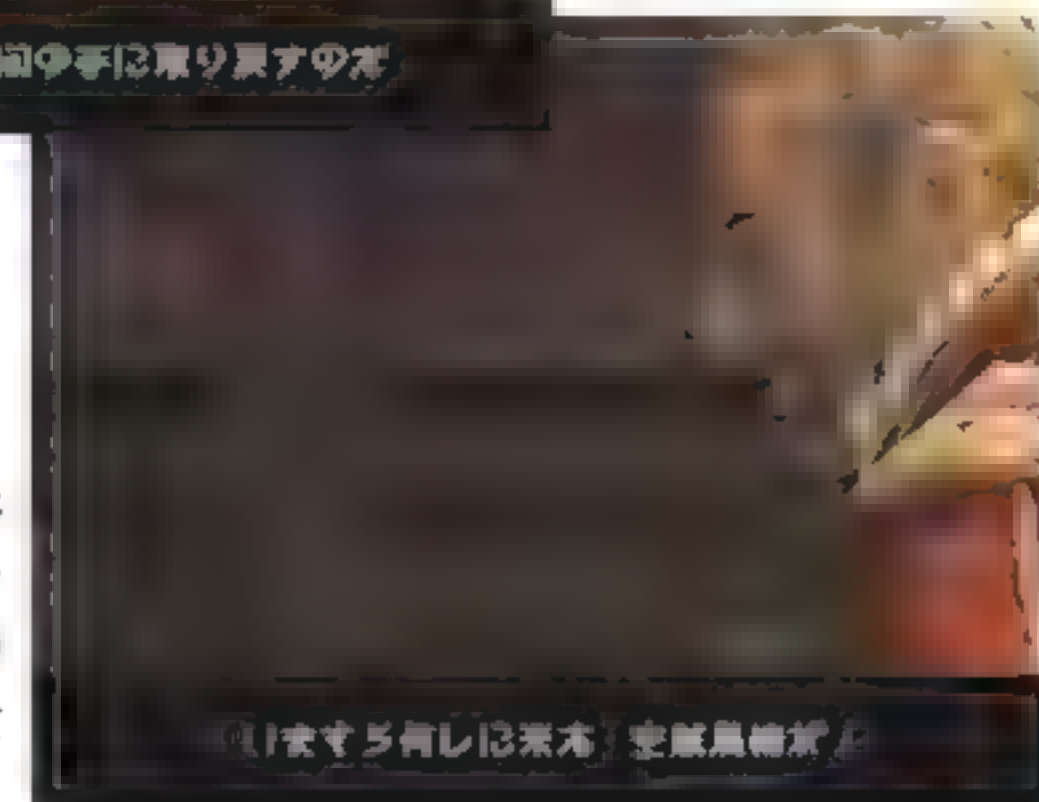
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	58歳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	ドラクロア研究所、リドルアナ大灯台ほか		
ボイスアクター	大塚周夫		

"人が築く歴史"を切望する天才機工士

アルケイディア帝国の秘密機関「ドラクロア研究所」の偏狂な所長。天才機工士にして帝国の名門ブナンザ家の当主であり、バルフレアの父親でもある。

6年前、オキューリアの異端者ヴェーネスと出会い、「歴史を人間の手に取りもどす」という理想のもと、人造破魔石の開発に着手。息子に新時代の旗手となることを期待したが、その思いが束縛を嫌うバルフレアの国外逃亡を招いてしまう。失意のなかでヴェインに目をとめ、理想を同じくする盟友となった。友の野望を達成するためにアーシェを利用し、彼女に同行する息子と対決。長年に渡るわだかまりを解き、自身は命を落とす。

⬅ヴェーネスはふだん人に姿を見せない。その彼と話すシドは「奇怪な独り言をくり返す変人」と思われている。

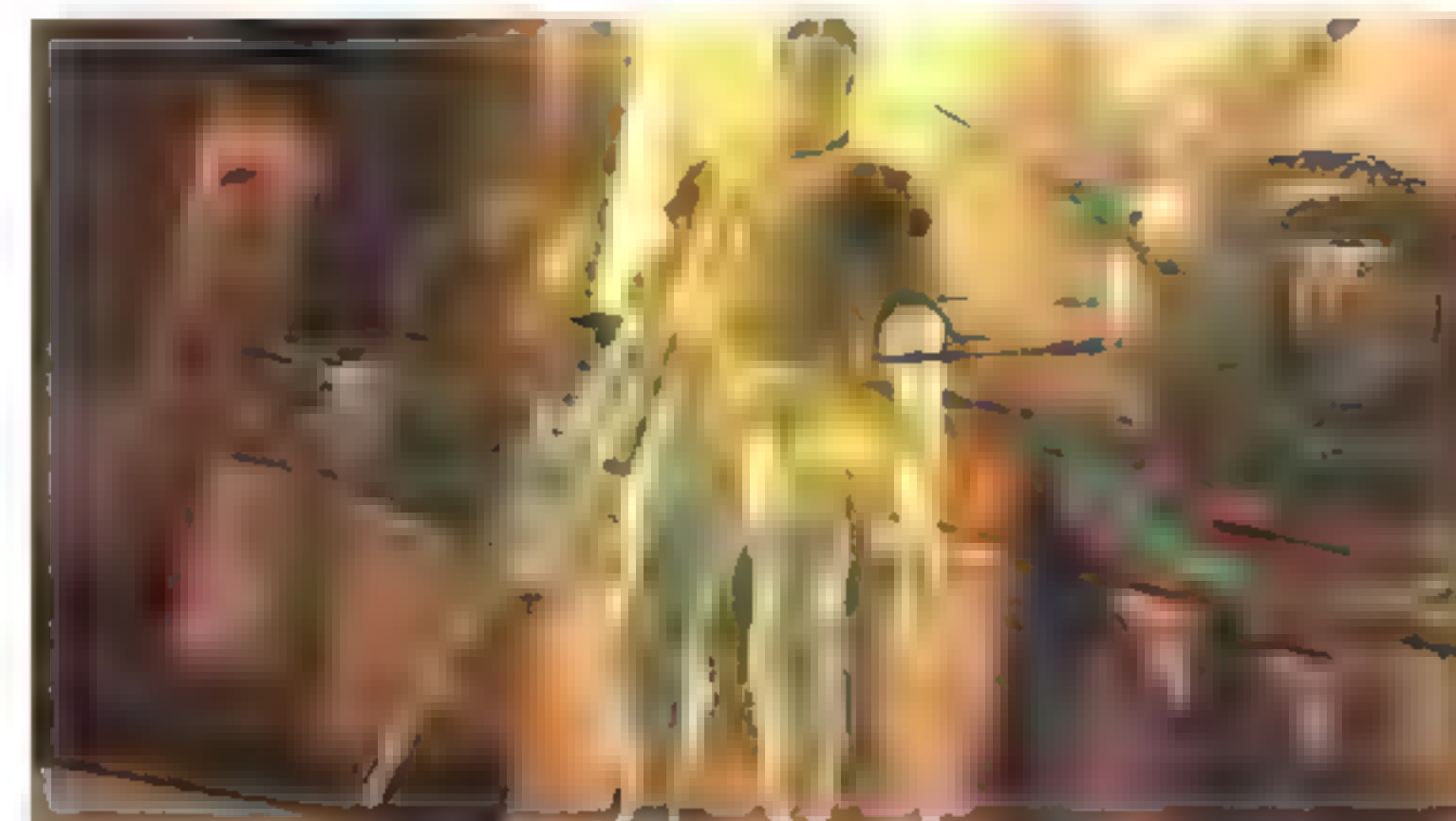
➡自身を裏切った息子に激しい怒りをぶつける。それは、バルフレアに大きな期待を寄せていたがゆえのこと。

Impressive Words

「おう、ヴェイン。執政官職を楽しんでるようだな」
——ラバナスタ王宮：親友ヴェインのもとを訪ね

「貴様、あくまで力を追い求めるか。破魔石が欲しくてたまらんかっ！」
——ドラクロア研究所：破魔石を求めるアーシェを挑発して

「あんたの仕事はこれからだ。神を気取るオキューリアの意思を越えて、歴史を人間の手に取り戻せ」
——アルケイディス皇帝宮：ヴェーネス、ヴェインとともに理想を語り

「神を踏み台にして何が悪い！」
——リドルアナ大灯台：人造破魔石を「オキューリアの石の猿マネ」と吐き捨てるバルフレアに

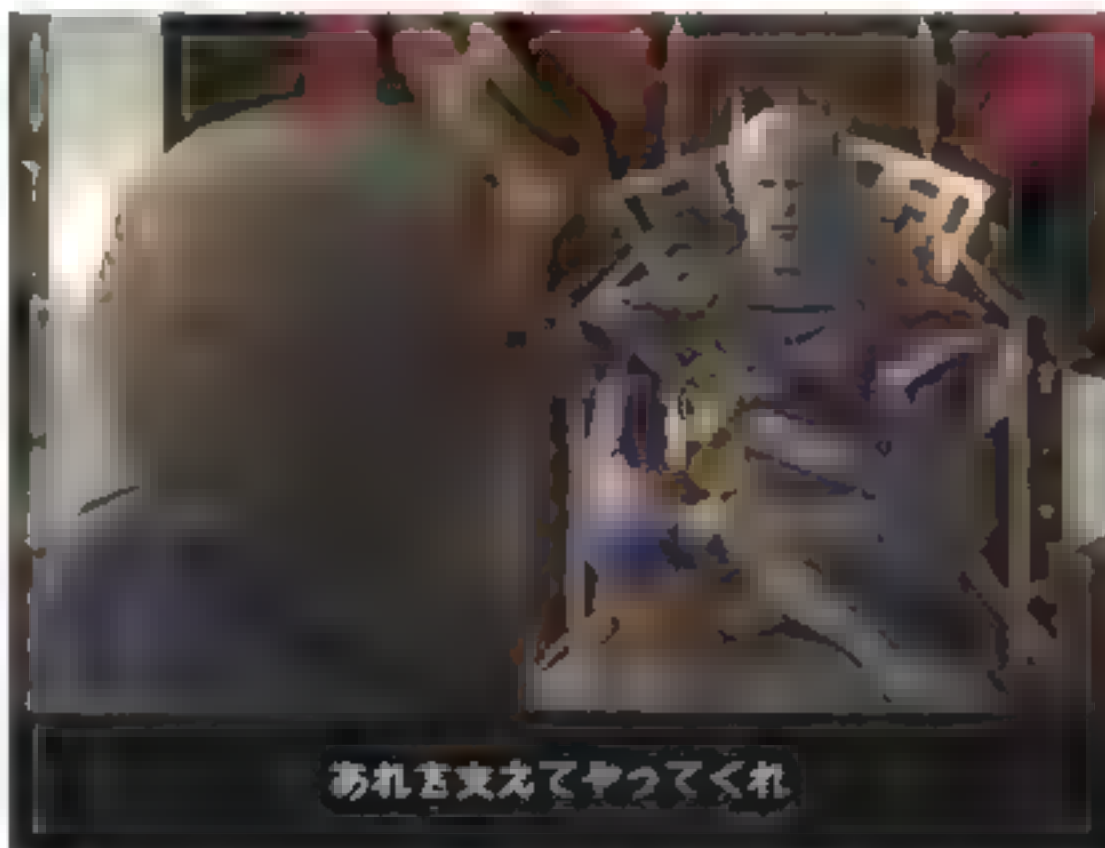
「どうせ逃げるなら、逃げきってみせんか。馬鹿者めが」
——リドルアナ大灯台：己を超えたバルフレアに最期の言葉を送り

アルケイディア帝国の有力者

グラミス皇帝

Gramis Gana Solidor
グラミス＝ガンナ＝ソリドール

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	63歳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	アルケイディス皇帝宮		
ボイスアクター	柴田秀勝		

ソリドール家の行くすえを案じる老皇帝

アルケイディア帝国第11代皇帝。ソリドール家出身の皇帝としては4代目にあたる。かつては侵略による拡大政策を採ってきたが、病に冒された現在は穏健派に転向した。ソリドール家のためには、ヴェインの非情さもラーサーの純真さも必要との考えを持つ。最近のヴェインの独断を警戒してガブラスにその動向を探らせていたものの、息子の動きを抑えるのに失敗。元老院の糾弾を受ける事態におちいり、「ソリドール家の政治生命を保つために死んで、それを口実に元老院を排除すべきだ」というヴェインの進言を悩みつつも受け入れ、みずから命を絶つ。

⬆かつて息子ふたりを犠牲にしたがゆえに、ヴェインとラーサーの対立を見たくないと願う。

Impressive Words

「このグラミスも、老いたな。息子を読みきれんとは」
――アルケイディス皇帝宮：ガブラスからヴェインの動向について報告を聞き

「必要だと？　そうか、必要か――。そちの決まり文句だな。血を流す決断に毛ほどのためらいもない」
――アルケイディス皇帝宮：ヴェインから暗に死を迫られて

元老院

Senator

復権を画策する特権階級

Personal Data			
種族	ヒュム族	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	帝都アルケイディス、アルケイディス皇帝宮		
ボイスアクター	伊藤博、中木隆司		

アルケイディア帝国の政治に多大な影響力を持つ議会の構成員。元老院は共和制移行期に設立された政治機関で、300余年に渡る伝統を誇り、現在の議席にすわるメンバーも古くからつづく特権階級の者ばかりである。代表者はグレゴロス議長。

議員は一致して反ソリドールの立場であり、同家と激しい政争をくり広げてきた。老い先短いグラミスの後継に、自分たちの意のままになりそうなラーサーを立てようと画策。邪魔なヴェインを失脚させるべく追いつめるが、逆に皇帝暗殺の罪を着せられ、ヴェインの独裁体制を許す形となる。

⬅ヴェインの処分を皇帝に迫る元老院議員たち。しかし、これが元老院排除のきっかけとなる。

Impressive Words

「かかる事態を招いた全責任は――
独断で艦隊を動かしたヴェイン殿にあります」
――帝都アルケイディス：ヴェインの処分をグラミスに進言して

「おのれ、たばかったな。このままではすまさんぞ」
――アルケイディス皇帝宮：皇帝暗殺犯として連行されながら

ジャッジマスター

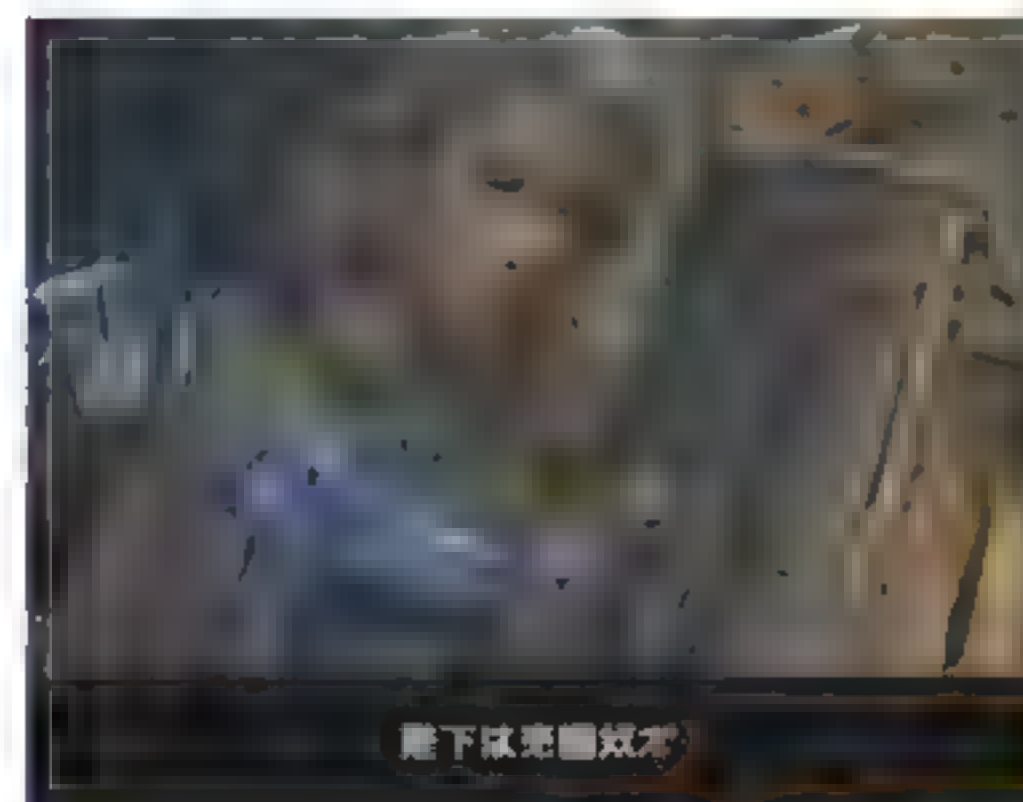
ガブラス

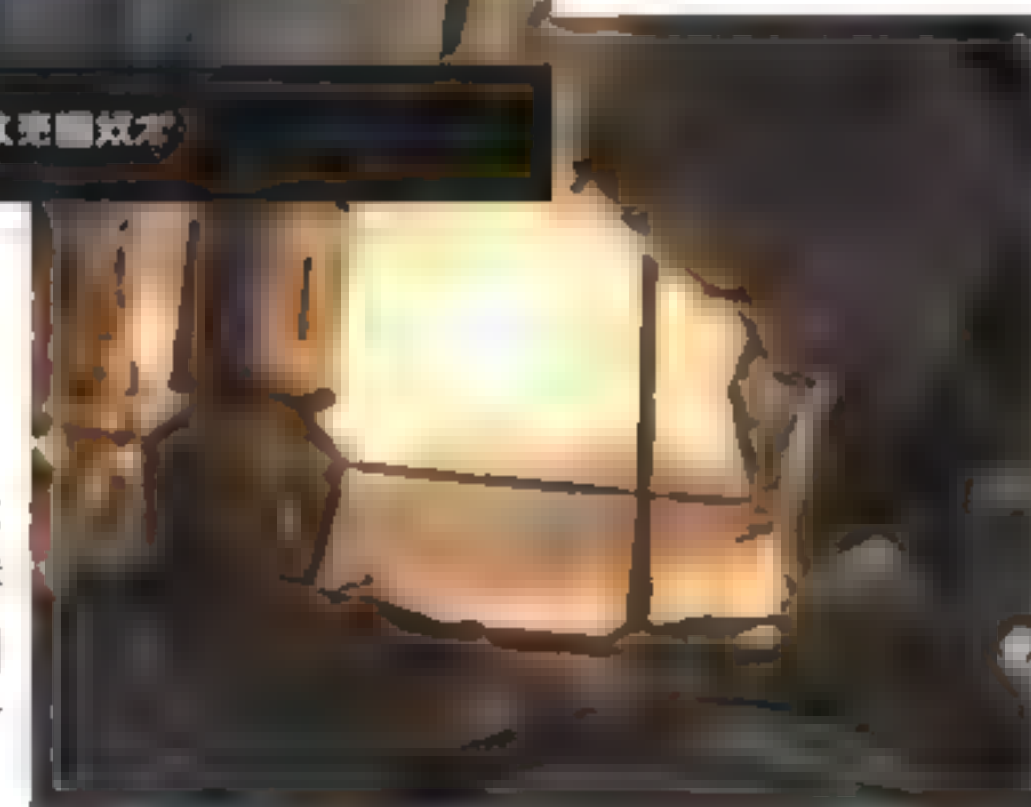
Gabranth (Noah Fon Ronsenburg)

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	36歳	出身地	ランディス共和国
登場場所	リドルアナ大灯台、空中要塞バハムートほか		
ボイスアクター	大塚明夫		

兄への憎悪を胸に秘めたジャッジマスター

アルケイディア帝国の司法機関「ジャッジ」をまとめるジャッジマスターのひとり。バッシュの双子の弟で、母かたの姓である「ガブラス」を名乗る。帝国外の出身ながら、グラミス皇帝に信任され異例の出世を果たした。冷静な武人といった態度の裏で、祖国を守れなかったことを後悔しており、自分と母を捨てた兄バッシュを憎む。

帝国に敵対するバッシュたちを追う一方でヴェインを監視していたが、皇帝の死をきっかけに職務の大半を奪われることに。名ばかりのジャッジとなり下がった自分に信頼を寄せるラーサーを守るべく、彼と対立するヴェインと戦って命を落とす。

⬅2年前の戦争では、兄バッシュになりすましてダルマスカ国王を暗殺し、レックスを死に追いやった。

➡同僚のドレイスとはラーサーを守ろうと誓い合った仲。そんな同志をみずから手にかけることに……。

Impressive Words

「滅んだ国に義理立てとは、つくづく忠犬だな」
――ナルビナ城塞地下牢：滅亡したダルマスカを思いつづけるバッシュを皮肉り

「ランディス共和国は消えました。いまや帝国こそが、わが祖国です」
――アルケイディス皇帝宮：内心を隠しながらグラミス皇帝に

「何ひとつ守りきれず――生き恥をさらしてきた貴様がか！
いいかげんに学んだらどうだ。守るべきものほど守れずに失うとな！」
――リドルアナ大灯台：力なき者を守ると宣言したバッシュに

「俺はジャッジマスターだ。今は野良犬同然だがな」
――空中要塞バハムート：何もかも失った自分をあざけり

「野良犬にも意地はあるのだ！」
――空中要塞バハムート：ラーサーを守るべくヴェインに一撃を加えて

⬅すべてを失い、自暴自棄になるガブラス。しかし、バッシュの言葉を聞き、自身の守るべきものを思い出す。

ギース
Ghis

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	41歳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	ルース魔石鉱、戦艦リヴァイアサン		
ボイスアクター	大林隆介		

打算に生きる狡猾な策士

帝国最強とされる第8艦隊の司令官で、同艦隊の旗艦リヴァイアサンの艦長をつとめるジャッジマスター。2年前ナブディス攻略に関わり消息不明となったジャッジ・ゼクトにかわり、ジャッジマスターに就任した。ずる賢い策謀家で、根まわしや裏工作が得意。その態度はいかにも上流階級の出身者らしくていねいだが、言葉の端々に他者へのさげすみがにじむ。ヴェインの命令を受けてアーシェたちから破魔石を強奪し、その力を自分のためだけに使おうと画策。しかし、不用意に破魔石の力を試したことで石の暴走を招き、第8艦隊ごと消滅した。

↑アーシェを形の上では丁重にあつかうが、皮肉や侮辱の色を含ませるのを忘れない。

Impressive Words

「ご立派ですな、殿下！　名誉ある降伏を拒むとは、まったくダルマスカらしい！」
——戦艦リヴァイアサン：対峙するアーシェを痛烈に皮肉って

「これが神授の破魔石——まさに神々の力だ。
手にした者は第2の覇王か？　ヴェインでなくても、かまわんわけだ」
——戦艦リヴァイアサン：暁の断片の力を確かめ野心をあらわにして

ベルガ
Bergan

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	33歳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	アルケイディス皇帝宮、神都ブルオミシェイス		
ボイスアクター	秋元羊介		

ヴェインを信奉する武闘派

他国への侵攻を主任務とするジャッジマスター。「力こそが正義」と信じる豪放な武人であり、みずから戦場に立つことを好む。武断政治をするであろうヴェインに心酔し、彼を次代の皇帝にしたいと考えていた。物語の中盤では、人造破魔石を移植されて人知を超えた力を身につけ、ヴェインが独裁体制を作り上げるのに協力。さらにヴェインの要請を受けて、破魔石を砕く「覇王の剣」のありかを聞き出すために神都ブルオミシェイスを襲撃した。口を割らない大僧正アナスタシスさえも手にかけたが、駆けつけたヴァンたちにより倒される。

↑覇王の剣を奪おうとするベルガ。人造破魔石の力により、異様なミストを身にまとう。

Impressive Words

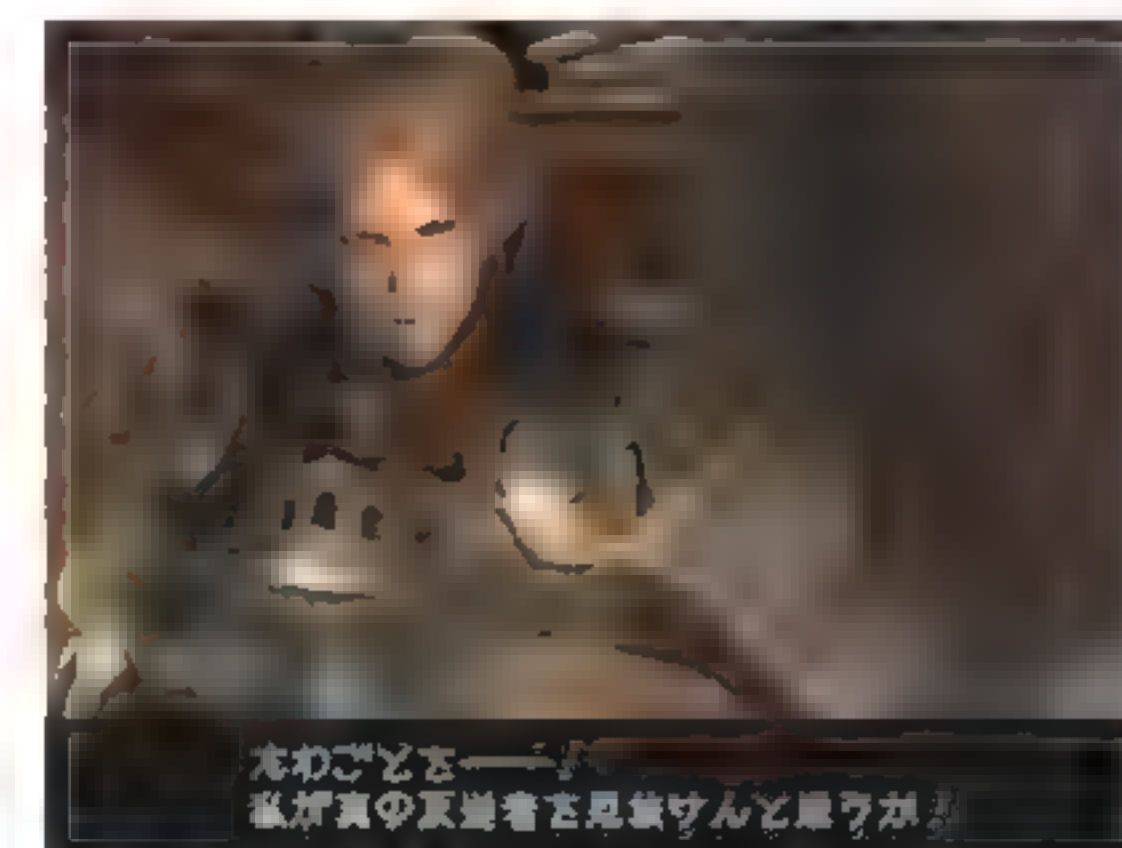
「非情だと？　大いにけっこう！　たとえ肉親であろうと、反逆者は容赦なく討つ。
帝国を背負うものの、あるべき姿ではないか」
——アルケイディス皇帝宮：ヴェインの非情さを警戒するドレイスに反論し

「人間の力を信じず、神などにすがった者の末路よ」
——神都ブルオミシェイス：大僧正アナスタシスを手にかけ

ドレイス
Drace

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	女
年齢	33歳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	アルケイディス皇帝宮		
ボイスアクター	沢海陽子		

ラーサーに理想を託す女傑

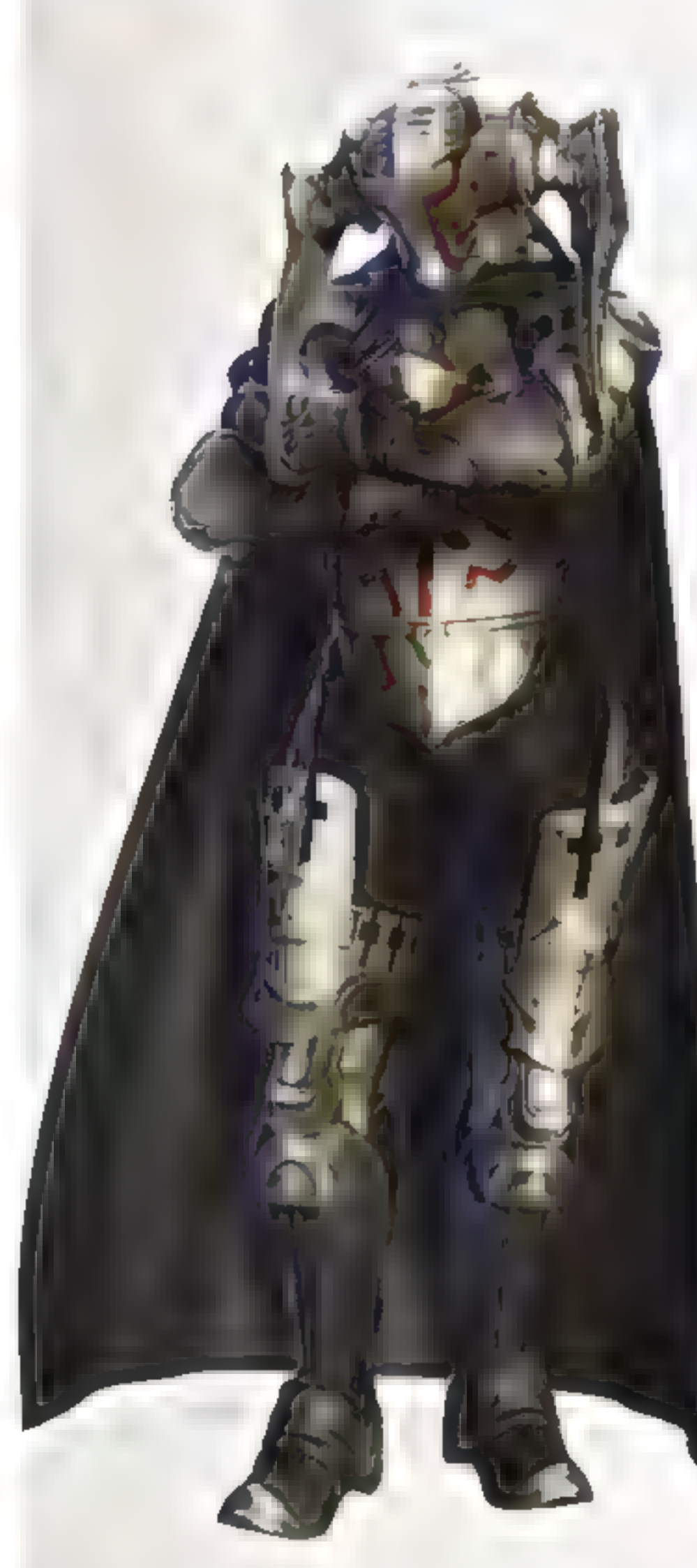
物語中に登場するジャッジマスターのなかで唯一の女性。武術と魔法の双方に長けた実力者で、同僚のガブラスとともにグラミス皇帝に重用されている。才気あふれるラーサーを次期皇帝にしたいとの願望を抱く一方で、身内の犠牲をもいとわないヴェインの非情さを嫌い、根底に大きな野心があるのではと疑ってきた。ジャッジマスターの多くが親ヴェイン派に傾くなか、公然と彼を批判。皇帝の死に乗じて独裁体制を築こうとしたヴェインにたったひとりで反抗するも撃退され、ガブラスにラーサーのことを託したのちに処刑されてしまう。

↑真の反逆者としてヴェインを名指しする。しかし、それがドレイスに悲劇をもたらすことに。

Impressive Words

「元老院の能無しが、驚く顔が目に浮かぶ。あの老人ども——
幼い皇帝を、陰からあやつる気だろうが——ラーサー様は、人形で終わるお方ではない」
——アルケイディス皇帝宮：ラーサーの成長に思いをはせ

「生きのびて——。ラーサー様を、守って——」
——アルケイディス皇帝宮：死の直前、ガブラスにあとを頼み

ザルガバース
Zargabaath

Personal Data			
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	39歳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	アルケイディス皇帝宮、大型空母アレキサンダー		
ボイスアクター	大友龍三郎		

国に心を捧げた忠臣

ジャッジをたばねるジャッジマスターのひとり。寡黙にして冷静な男で、誰が皇帝であろうとも私心なくアルケイディア帝国に尽くし、感情を表に出すことはない。本来は情け深い人物だが、国のためであればいかなる非道をも行なう覚悟を持つ。物語中では、国内に不安が広がり、ロザリア帝国との関係が悪化しつつあるなか、ヴェインの実行力が必要と考えて元老院の粛清とヴェインの独裁に協力。帝国軍の第12艦隊とその旗艦アレキサンダーをまかされ、神都ブルオミシェイスの襲撃や、オンドール侯率いる解放軍との決戦で手腕を振るった。

↑根は良心的な人物。ドレイスに対するヴェインの冷酷な処置に、思わず抗議する場面も。

Impressive Words

「——ロザリアの侵略が迫る今は、ヴェイン殿の力が必要だ」
——アルケイディス皇帝宮：ヴェインを皇帝暗殺の真犯人だと糾弾するドレイスに

「いずれ償うことになろう——」
——大型空母アレキサンダー：ブルオミシェイスでの虐殺を悔い

ラスラ

Rasler Heios Nabradia
ラスラ・ヘイオス・ナブラディア

Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	18歳(享年)		
出身地	ナブラディア王国		
登場場所	オープニング、アーシェの回想		
ボイスアクター	加瀬康之		

戦地に倒れたアーシェの夫

ダルマスカの兄弟国であるナブラディア王国の第2王子で、アーシェの亡き夫。兄弟国同士の同盟を強化し、アルケイディア帝国の圧力に対抗するべくアーシェと結婚、ダルマスカ王家の入り婿となった。しかし、それからわずかひと月で故国は滅亡し、父の仇を討つべく出撃したナルビナ城塞での戦いで、みずからも戦死してしまう。その死は、ラミナス国王の暗殺と同様にアーシェに深い衝撃を与え、彼女が帝国への憎悪を抱くきっかけとなった。物語中では、破魔石が見せる幻影として幾度もアーシェの前に姿を見せ、彼女の復讐心をかき立てる。

↑同盟の象徴としての結婚だが、ラスラとアーシェのあいだには、確かな信頼関係があった。

Impressive Words

「父の仇を! 父の仇を!」
——オープニング:ダルマスカ軍の不利を知りつつも仇討ちにはやり

「ナブラディアとダルマスカ、その同盟の象徴としての政略結婚——誰もがそう言っている」
「王家の義務さ。役割を演じるのは疲れるな」
——アーシェの回想:アーシェに王族の義務を果たすつらさをこぼし

ラミナス国王

Raminas B'nargin Dalmasca
ラミナス・バナルガン・ダルマスカ

Personal Data

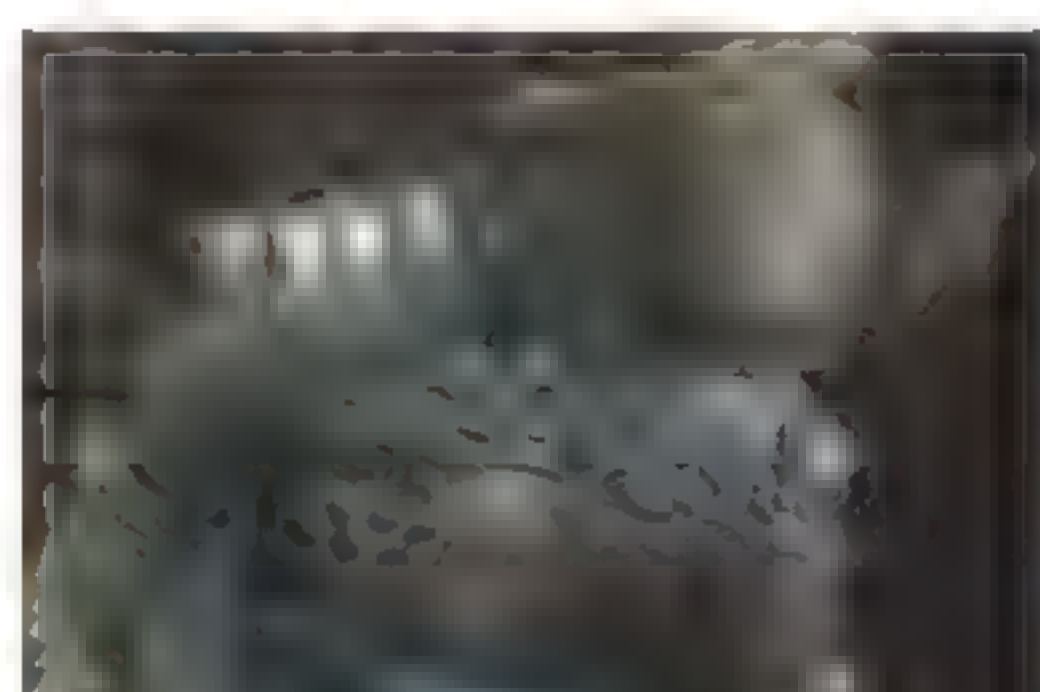
種族	ヒュム族	性別	男
年齢	66歳(享年)		
出身地	ダルマスカ王国		
登場場所	オープニング、ナルビナ城塞		

民の平穏に尽力した名君

アーシェの父であり、ダルマスカ滅亡時の国王。末娘のアーシェ以外に8人の息子がいたが、その全員を戦争や病で亡くした。アーシェとラスラの結婚を取り決めるなどして帝国の侵略を阻もうとしたが、それらの手段がムダになったと知ると、せめて戦火の拡大を防ごうと帝国軍に降服。しかし、和平調印式の場で、ヴェインの計略によりバッシュになりすましたガブラスの手で暗殺されてしまう。その直前、バッシュに自分の身に何かあった場合はアーシェを即位させるよう言い遺していた。

Impressive Words

「ガルテアの加護をそなたらに」
——王都ラバナスタ:ナルビナに出陣するラスラに剣を託し

←娘婿であるラスラの願いを聞き、戦地に送り出す。父や祖国を失った彼の思いに配慮した決断だったが……。

←国外出身のバッシュを将軍にして重用するなど、広い度量を持つ名君だったが、ガブラスの凶刃に倒れた。

レックス

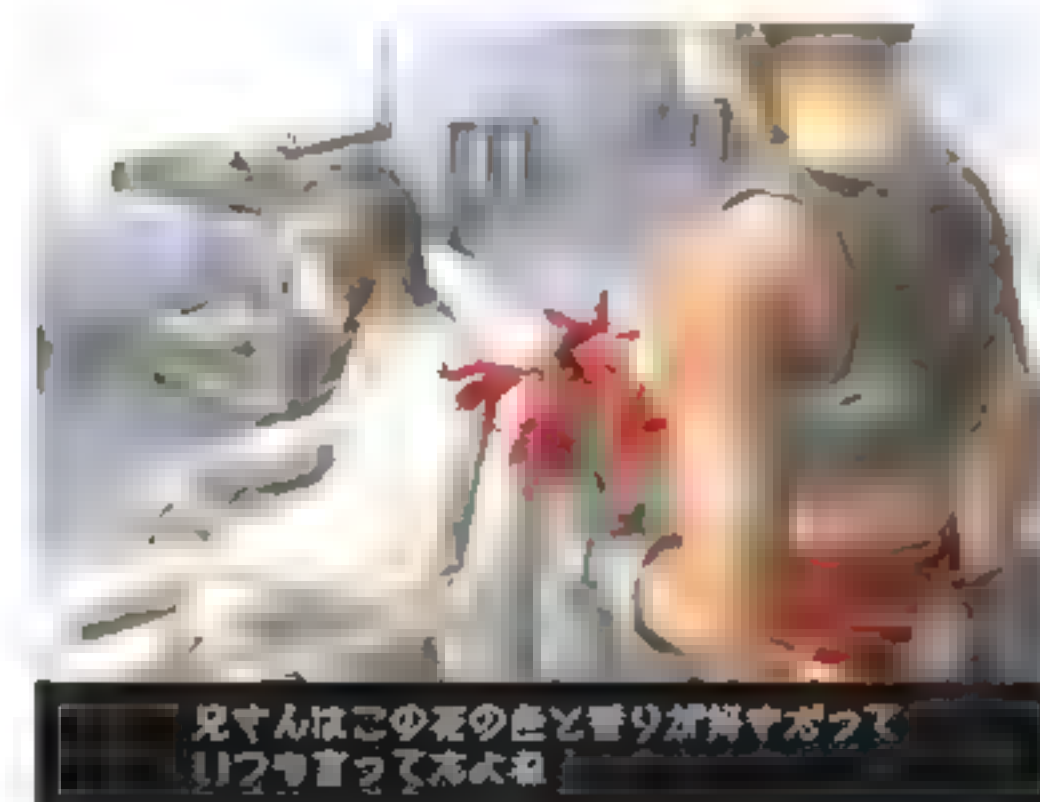
Reks

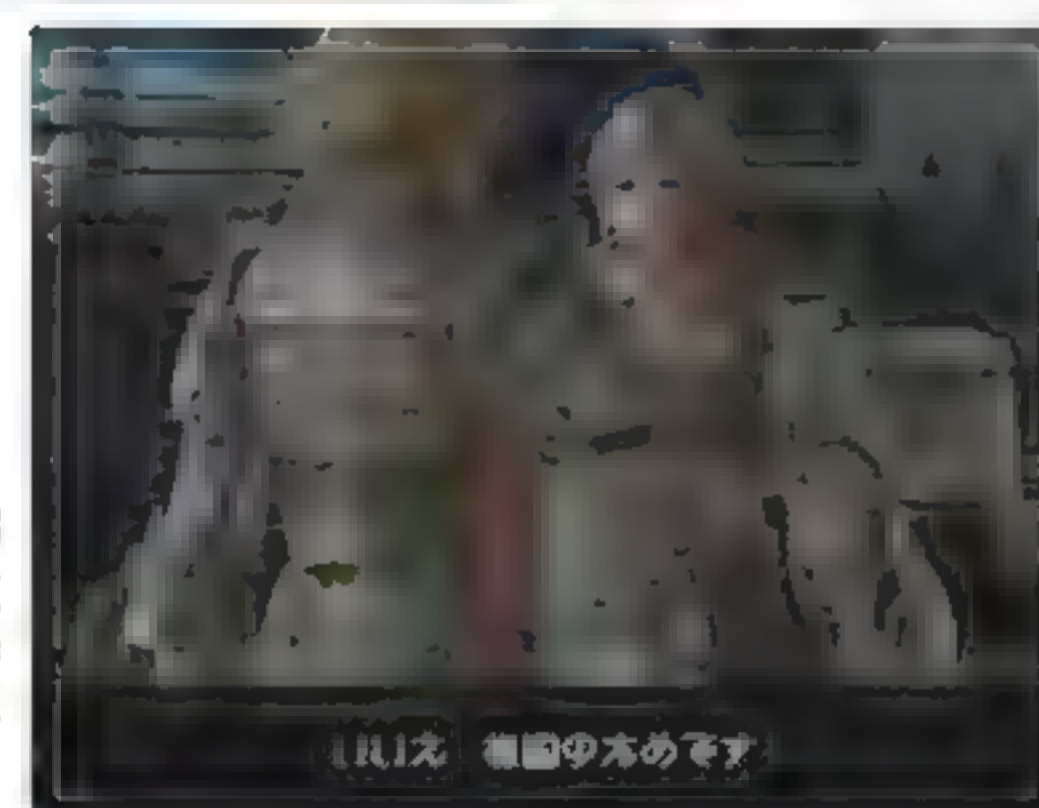
Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	18歳(享年)	出身地	ダルマスカ王国
ボイスアクター	田坂秀樹		

陰謀の犠牲となったヴァンの兄

ヴァンの2歳ちがいの兄。5年前に病で両親を亡くし、弟とふたりでパンネロの両親の世話になっていたが、2年前の戦時下にダルマスカ軍の義勇兵に志願。バッシュの隊に加わり、ラミナス国王暗殺のたくらみを阻止するべく和平調印式の場に潜入した。しかし、バッシュになりかわったガブラスに重傷を負わされたあげく、「バッシュによる国王暗殺」の目撃者に仕立て上げられてしまう。

その後、国王暗殺犯の一味として捕らえられ、薬や魔法により自白を強要されることに。釈放後も取り調べの後遺症で精神を病み、ダルマスカ国民から裏切り者と呼ばれたまま、廃人同然の1年を過ごしたすえに亡くなった。

←志願兵となったが、本来は心優しい少年。ダルマスカ砂漠に咲く香り高い花、ガルバナを愛したという。

→滅びゆく祖国や、弟ヴァンを思って戦いに身を投じたが、そこでは過酷な運命がレックスを待ち受けていた。

Impressive Words

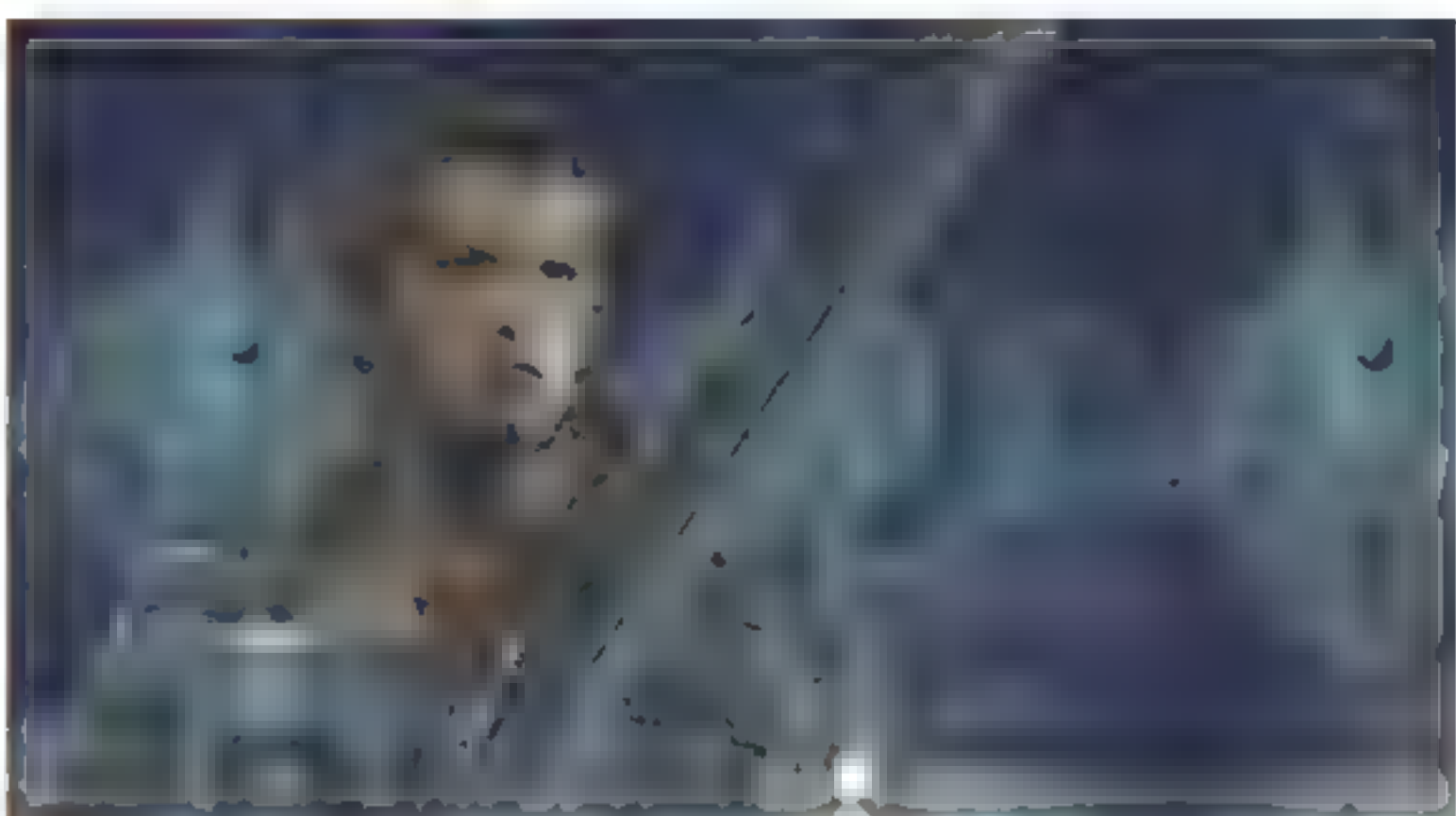
「父と母は死にました。2つ下の弟がラバナスタにいるだけです」
——ナルビナ城塞:バッシュに家族のことを聞かれて

「いいえ、祖国のためです。父や母、多くの同胞のために——」
——ナルビナ城塞:レックスのような民間人までも戦いに巻きこんだと頭を下げるバッシュに

「将軍! ここはオレがなんとかします! 先へ行ってください! さあ! 早く!」
——ナルビナ城塞:追跡してきた帝国兵をひとりで迎え撃つ

「どうして——あなたが? なぜ、こんなことを——?」
——ナルビナ城塞:バッシュに化けたガブラスに刃を突き立てられ

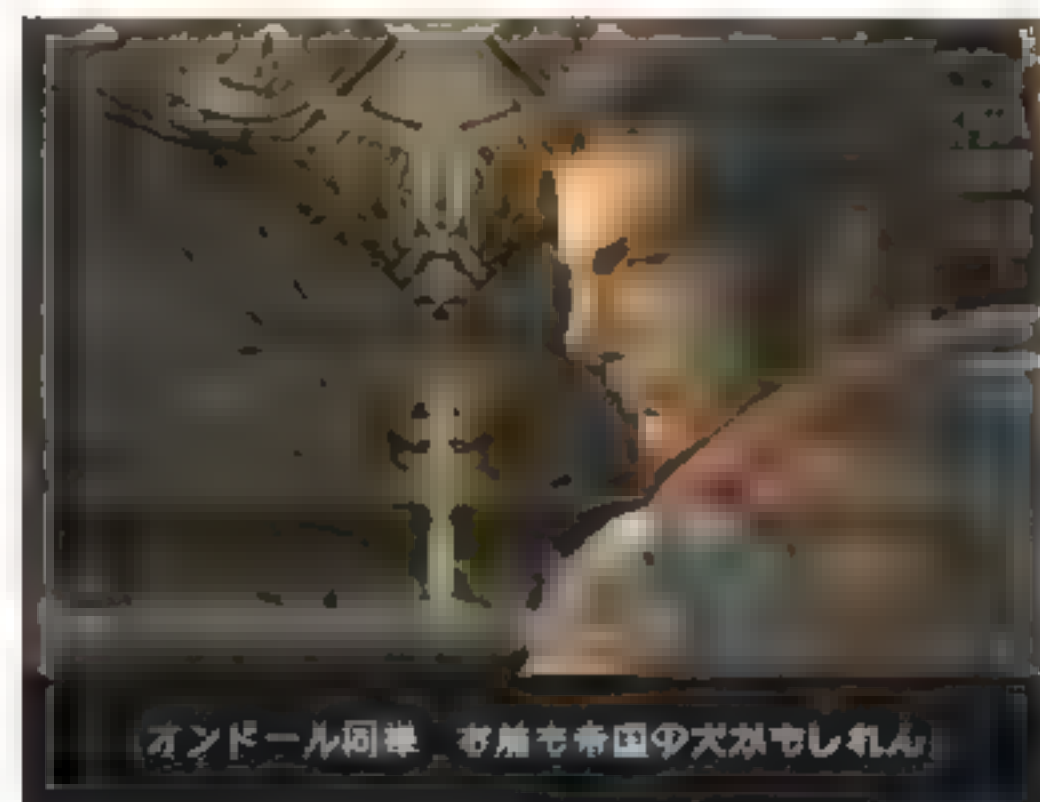
ウォースラ

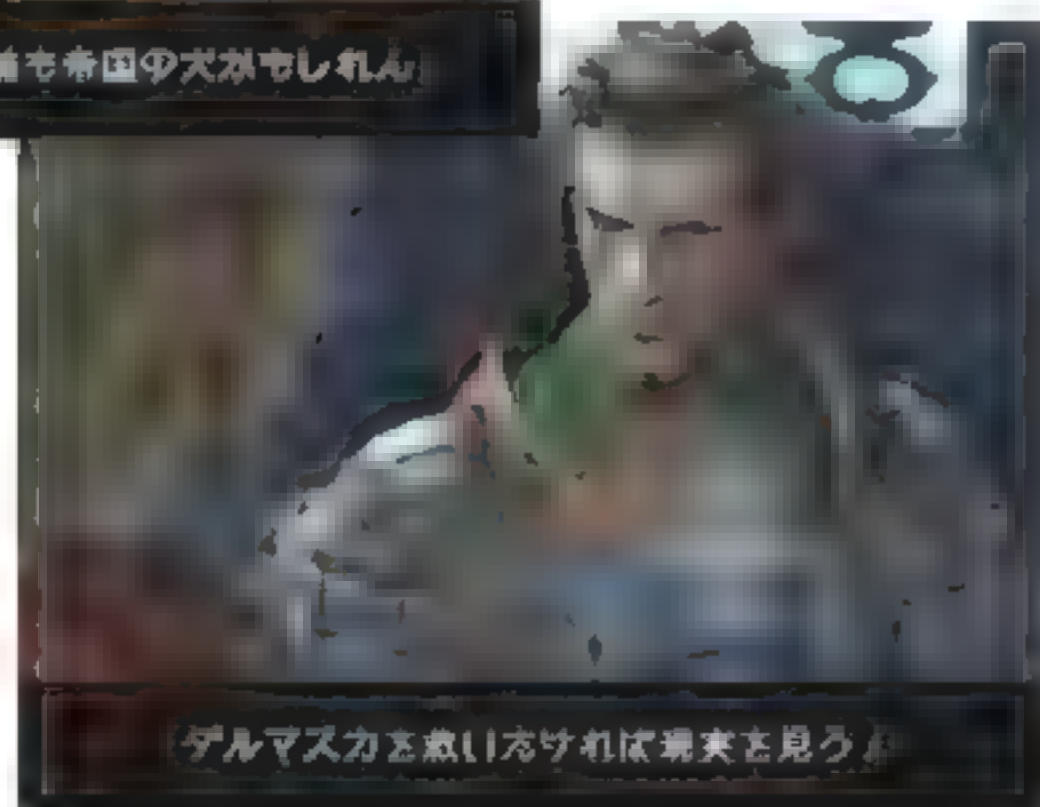
Vossler York Azelas

Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	38歳	出身地	ダルマスカ王国
ボイスアクター	てらそままさき		

祖国の再興に懸ける ダルマスカの猛将

ダルマスカの名門アズラス家出身の、現実的な性格をした将軍。2年前、国王暗殺の報を聞くやアーシェを保護し、地下へと潜伏。ダルマスカの再興を期す彼女を支えながら、ともにラバナスタ解放軍を率いてきた。

アーシェの意向に従って、ダルマスカの完全な独立を勝ち取ろうと、ラバナスタに赴任してきたヴェインの暗殺を計画するも失敗。帝国の強大な力を思い知り、交渉によって帝国の監視下での独立を得ようと模索しはじめる。アーシェの身柄と破魔石をギースに引き渡すが、反抗するヴァンたちに敗れたあげく、破魔石の暴走に巻きこまれ、志なかばにして帰らぬ人となった。

⬅頼る者もいない潜伏生活を強いられていたため疑心暗鬼におちいり、バッシュのことを信じ切れず動揺する。

➡アーシェを裏切り、帝国の軍門にくだる道を選ぶ。それは祖国復活を現実的に考えたうえでの判断だったが？

Impressive Words

「だから言ったんだ。足手まといだってな」
――ナルビナ城塞：レックスを介抱するバッシュにいらだちをぶつけ

「こんな子供なら信じるかもしれんが、
お前の話にはなんの証拠もない。ともに動くわけにはいかん」
――ラバナスタダウンタウン：国王暗殺の真実をバッシュに告げられ

「帝国は戦って勝てる相手ではないっ!
ダルマスカを救いたければ現実を見ろ!」
――戦艦リヴァイアサン：帝国と内通していた事実を認めて

「焦りすぎたのか――お前が戻るのが遅すぎたのか――。
俺はもうお仕えできん。殿下を頼む」
――軽巡洋艦シヴァ：バッシュたちに敗れ、アーシェのことを託し

オンドール侯

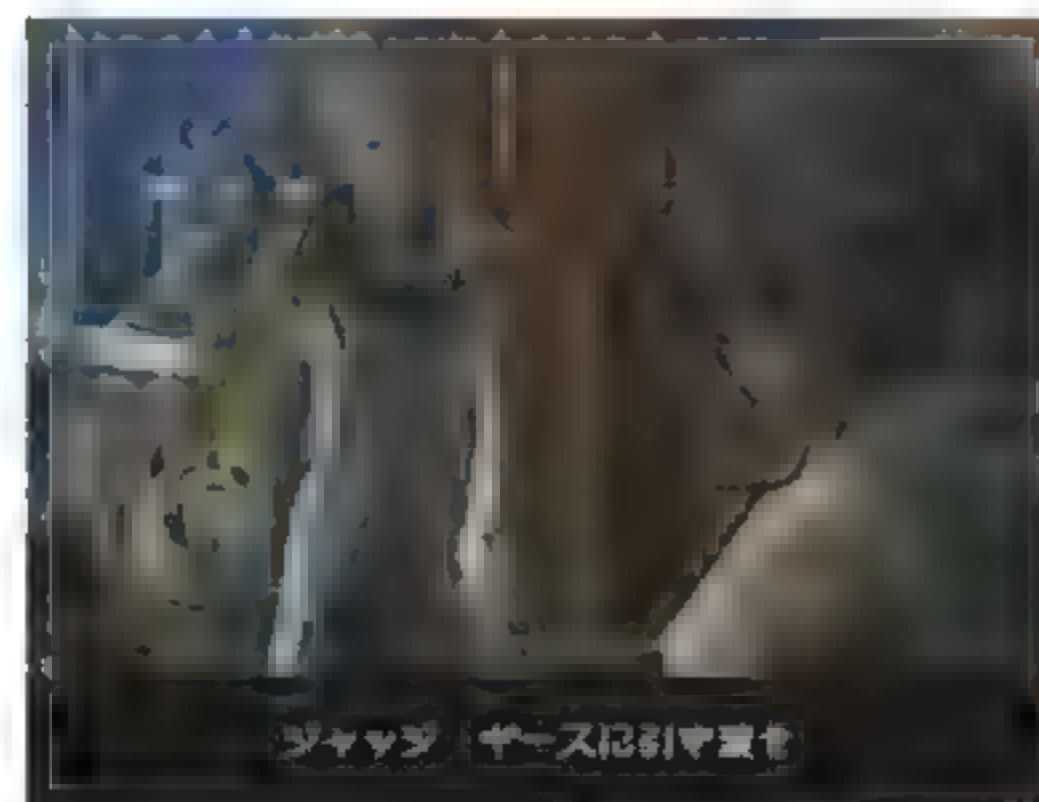
Halim Ondore the Fourth
ハルム＝オンドール4世

Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	61歳	出身地	空中都市ビュエルバ
登場場所	空中都市ビュエルバ、ルース魔石鉱ほか		
ボイスアクター	野島昭生		
モーションアクター	辻長 誠		

各国の情勢を見守る 老獪な政治家

空中都市国家ビュエルバの元首であり、オンドール侯爵家の当主。すぐれた政治的視野を持ち、的確な舵取りによって都市の独立を守る。ラミナスとは盟友同士で、その娘アーシェとも親しい間柄。しかし、ダルマスカとアルケイディアの戦争調停のさい、バッシュの処刑やアーシェの自害など、帝国に有利な発表をした。

帝国に従う姿勢を示しながら、裏では反帝国組織「解放軍」を作り上げ、帝国の影響を脱する機会をうかがっている。ところが、かつて死亡を発表したアーシェたちが現れたことで状況は一変。彼女たちに協力しつつも、自身の立場を守らねばならない苦境に立たされる。

⬅バッシュに協力するときも、「脱獄者を帝国に引き渡す」という自分に有利な状況を用意する周到さを持つ。

➡ゲーム中に挿入される「オンドール回顧録」では、オンドール侯の視点で、そこまでの物語が総括される。

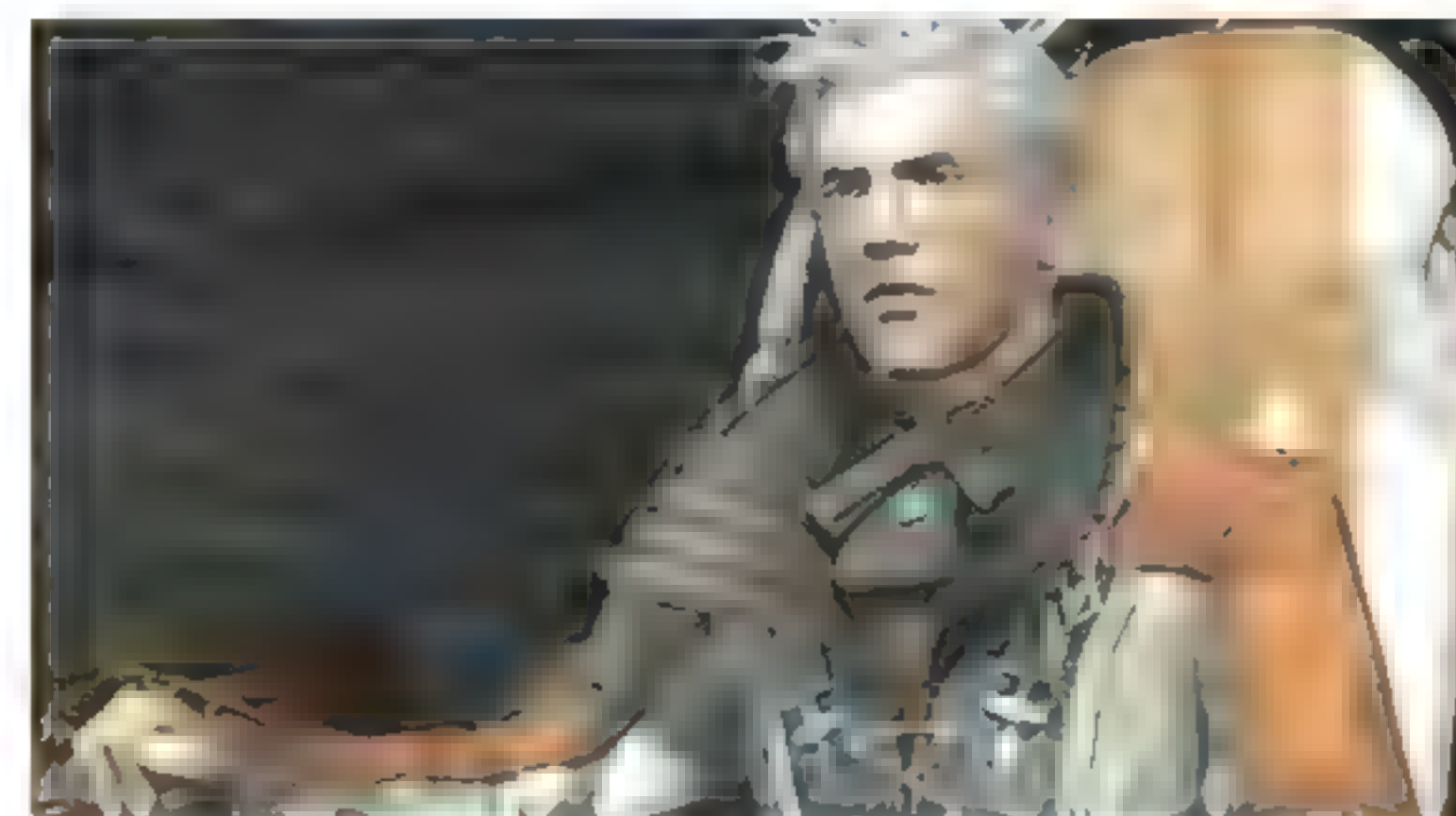
Impressive Words

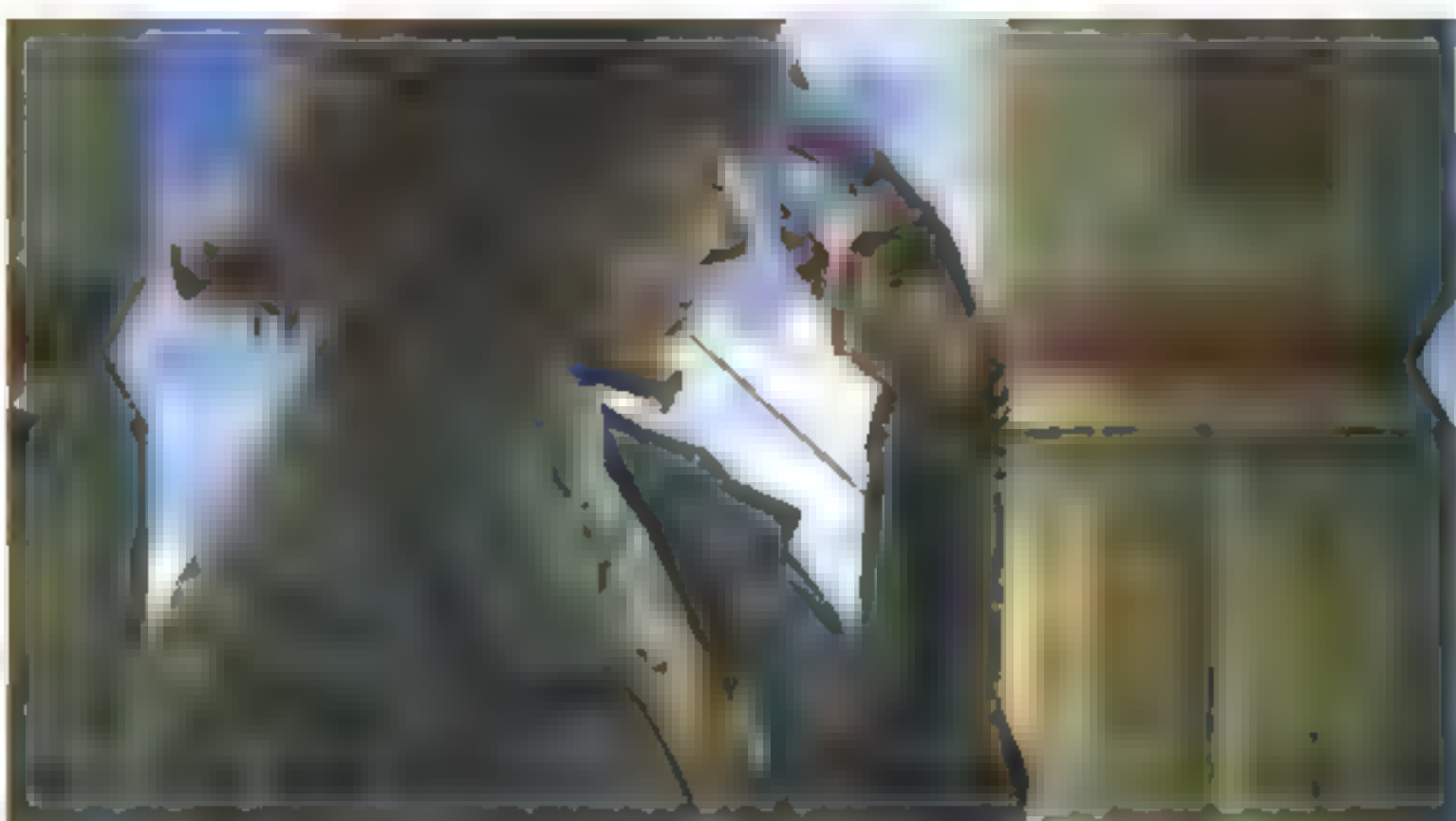
「それはけっこうですが、手綱をつけられるつもりはございませんな」
――ルース魔石鉱：ギースと密約を交わしながらも従属の意思はないことを示し

「つまり貴公は私の弱味か。ヴェインもおさおさ怠りない」
――空中都市ビュエルバ：ヴェインがバッシュを生かしていた意図を読み取り

「王家の証を持たない殿下に、今できることは何ひとつございません。
しかるべき時まで、ビュエルバで保護いたします」
――空中都市ビュエルバ：再会したアーシェを自分の手元にとどめようとして

「我々に失敗は許されないのだ」
――港町バーフォンハイム：「ロザリアと手を組むのか」とレダスに尋ねられて

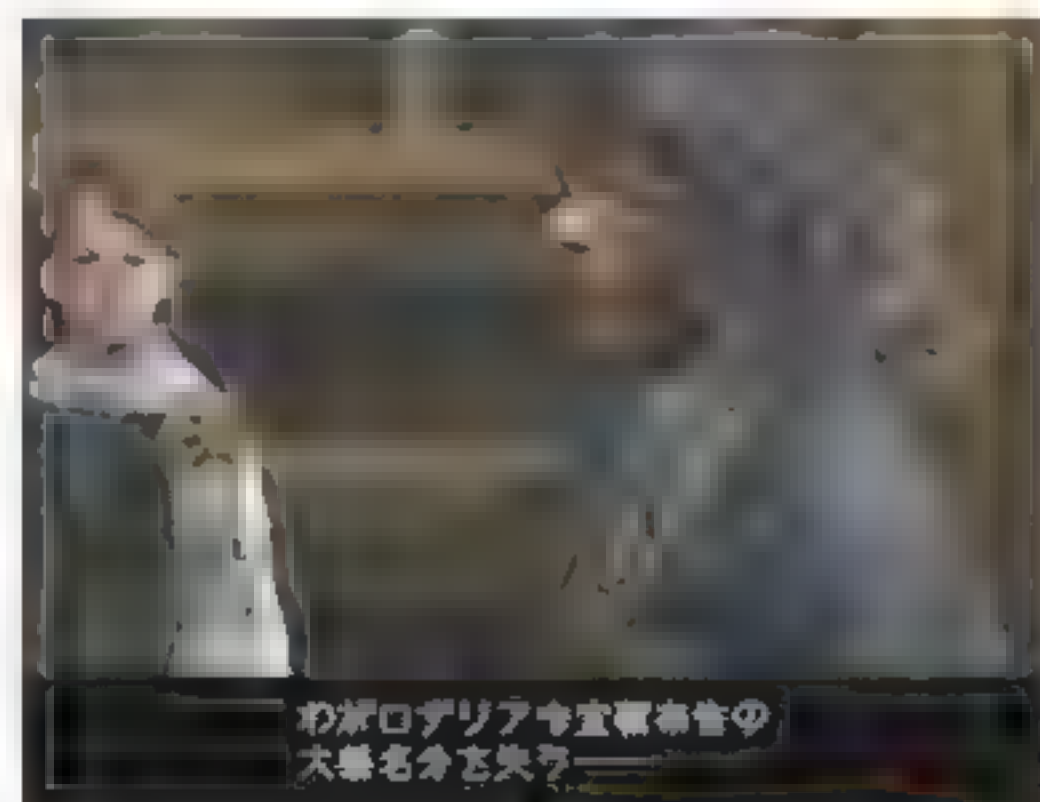
「諸君、生きて帰るぞ!」
――解放軍旗艦ガーランド：帝国軍艦隊との決戦を前に

アルシド

Al-Cid Margrace アルシド・マルガラス

Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	27歳	出身地	ロザリア帝国
登場場所	神都ブルオミシェイス、港町バーフォンハイム		
ボイスアクター	若本規夫		

つかみどころのない ロザリアの貴公子

ロザリア帝国の皇帝を輩出してきた家柄、マルガラス家の青年。ロザリアの諜報部門の統括者で、各国の情勢にくわしい。アルケイディア帝国と敵対する大国の要人でありながら、ラーサーと立場や年齢を超えた親友関係を築いている。大仰な仕草や独特のうさんくさい口調が目立つものの、じつはかなりの切れ者。

ラーサーからアーシェの生存を聞かされ、彼女を和平の糸口にしようとしたが断念。独自に裏工作を展開して、ロザリア国内の戦争推進派を排除する。その一方で配下を駆使して情報を集め、アーシェたちにヴェインの秘密兵器である空中要塞バハムートの存在を知らせた。

←ラーサーと協力し、ロザリア帝国とアルケイディア帝国がぶつかる大戦を食い止めようと手を尽くす。

→女好きのプレイボーイで、つねに美人秘書を従える。アーシェをキザな調子で口説きにかかる場面も。

Impressive Words

「よお、皇帝候補殿。呼び出されてやったぞ」
——神都ブルオミシェイス：ラーサーたちの前に姿を現して

「ダルマスカの砂漠には美しい花が咲くものですな」
——神都ブルオミシェイス：アーシェに自己紹介をしつつ手に口づけて

「それこそ夢物語ですな。現実には戦争が起こりかけてる」
——神都ブルオミシェイス：ふたつの大国が手を取り合う未来を語るアナスタシスに

「うちの情報部はきわめて優秀でして」
——港町バーフォンハイム：先まわりされていたことを驚くヴァンたちに

「だったら、できるだけロザリア軍の侵攻を遅らせるのが私の仕事ですかね。まあ、やってみましょう」
——港町バーフォンハイム：ヴェイン打倒をヴァンたちにまかせ

運命を見る聖人 登場場所 神都ブルオミシェイス

大僧正アナスタシス

Gran Kiltias Anastasis

Personal Data

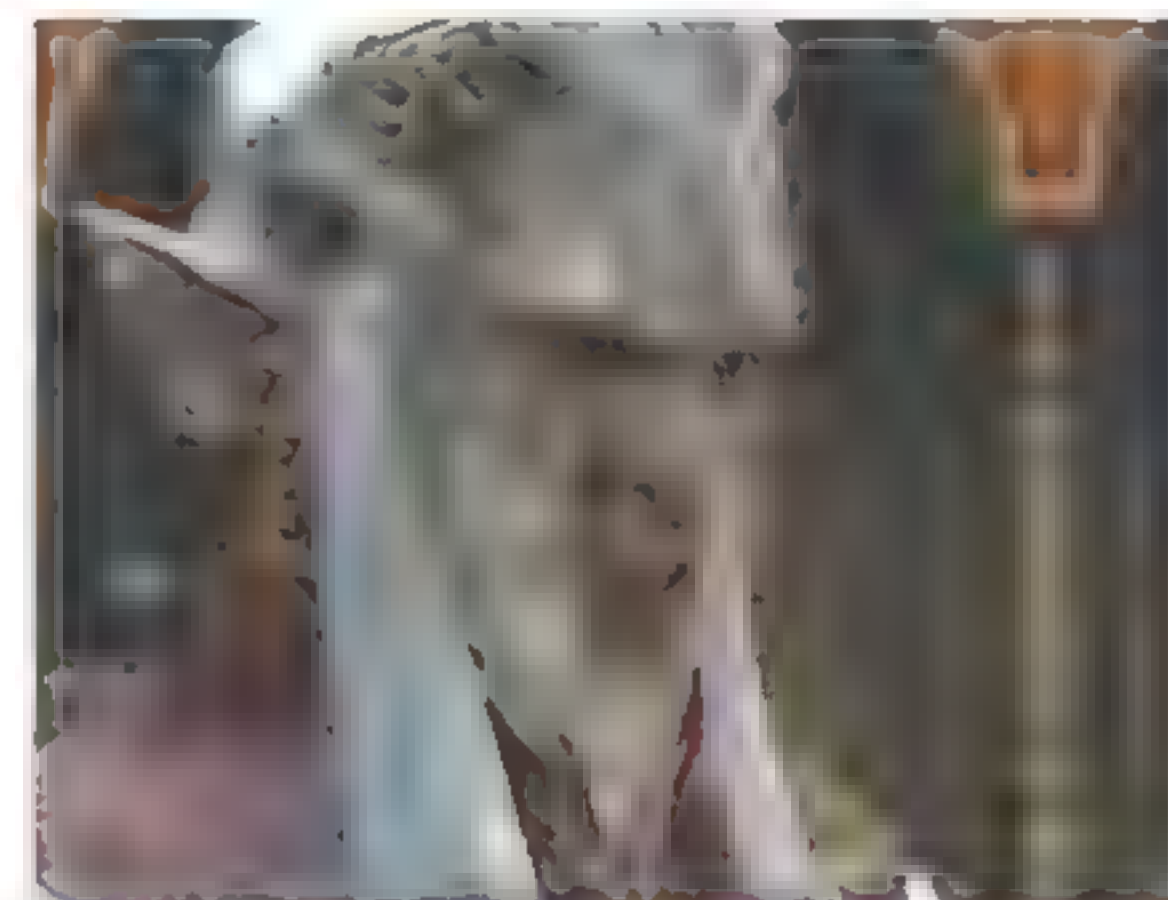
種族	ヘルガス族	性別	男
年齢	184歳(ヒュム換算で120〜130歳)		
出身地	神都ブルオミシェイス		
ボイスアクター	大木民夫		

イヴァリースの宗教キルティア教の最高指導者。夢を通じてすべてを見通すため"夢見の賢者"の異名をとり、ダルマスカの王位継承を承認する立場にある。力のみにこだわるアーシェをさとすべく、覇王の剣のありかを教えるが、剣を求めるベルガの手にかかり最期をとげた。

←アーシェのあやうさを感じ、彼女の祖先である覇王レイスウォールの真意を悟らせようとした。

Impressive Words

「力をもって力に挑むか。まこと人間の子らしい言葉よ」
——神都ブルオミシェイス：破魔石以上の力を求めると宣言するアーシェに

「破魔石を砕く力を——なぜ子孫ではなく他者に託したのか。剣を手にして悟らなければ、王国再興の夢は、夢のままよ」
——神都ブルオミシェイス　アーシェをさとすべく、覇王の剣について語り

レダス

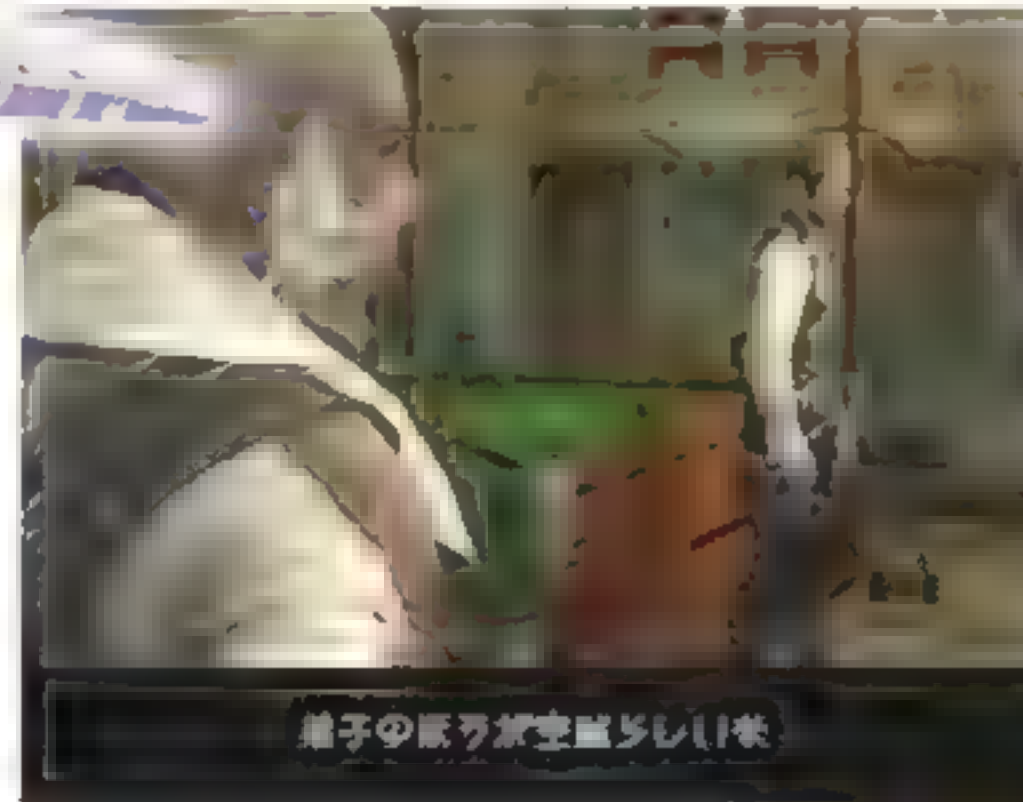
Reddas (Foris Zecht) フォーリス・ゼクト

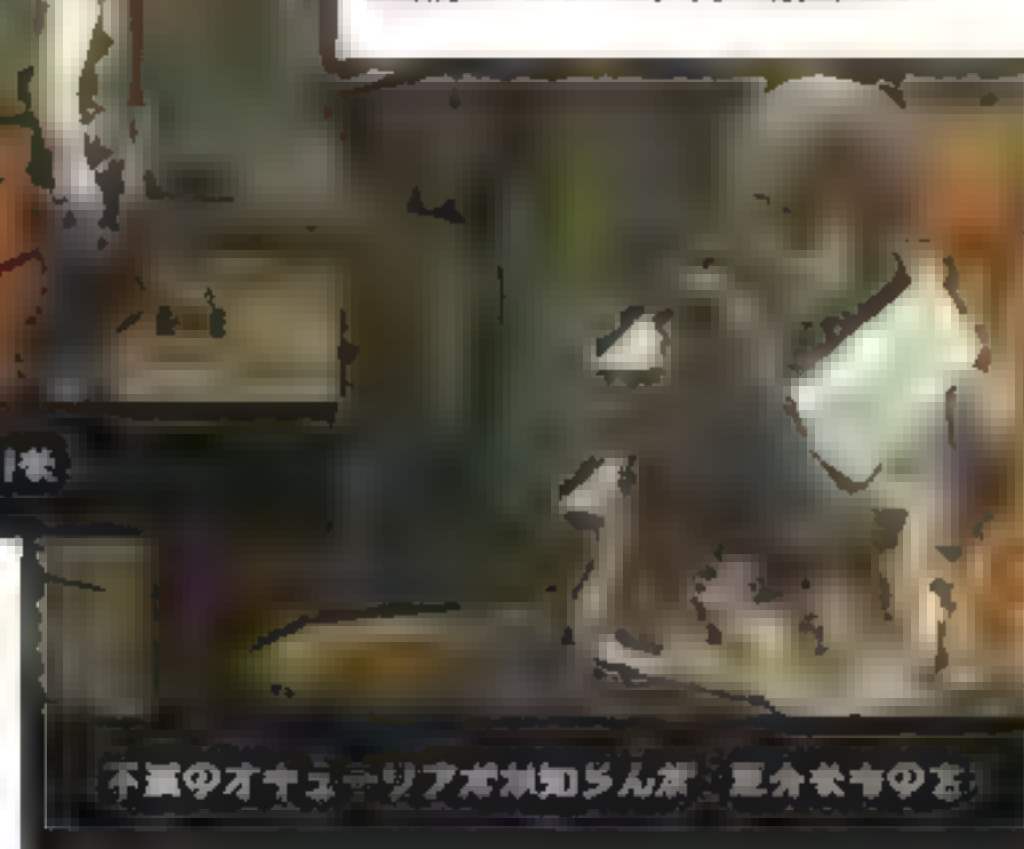
Personal Data

種族	ヒュム族	性別	男
年齢	33歳		
出身地	アルケイディア帝国		
ボイスアクター	菅生隆之		

破魔石の根絶を目指す港町の空賊

2年前に港町バーフォンハイムに現れ、またたく間に町一番の実力者となった空賊。その正体は、破魔石を暴走させてナブラディアの都ナブディスを消滅させた帝国のジャッジマスター、ゼクトである。自身が起こした惨劇の罪をつぐなうべく、破魔石を封印しようと活動してきた。

ヴェインやシドの動向を追ううちにヴァンたちと出会い、彼らとともに破魔石の源である「天陽の繭」のもとへ。「破魔石を捨てて繭を砕く」というアーシェの決断を見届けた直後、暴走した天陽の繭の力からヴァンたちを救い、その命を散らした。

←思い切りのいいヴァンのことを気に入り、バルフレアよりも空賊らしいと笑う場面も。

→破魔石の恐ろしさを身をもって知るがゆえに、石の力を封じることに心血を注ぐ。

Impressive Words

「ナブディスを忘れるな。俺に言えるのは、それだけだ」
——港町バーフォンハイム：力への欲求と恐れを口にするアーシェに

「どれほど長い時が過ぎようと、振り返る過去の幻影は、いつまでも生々しい。過去は、そうやって人を縛る」
——リドルアナ大灯台：復讐に迷うアーシェの背を見つめて

ならず者たち

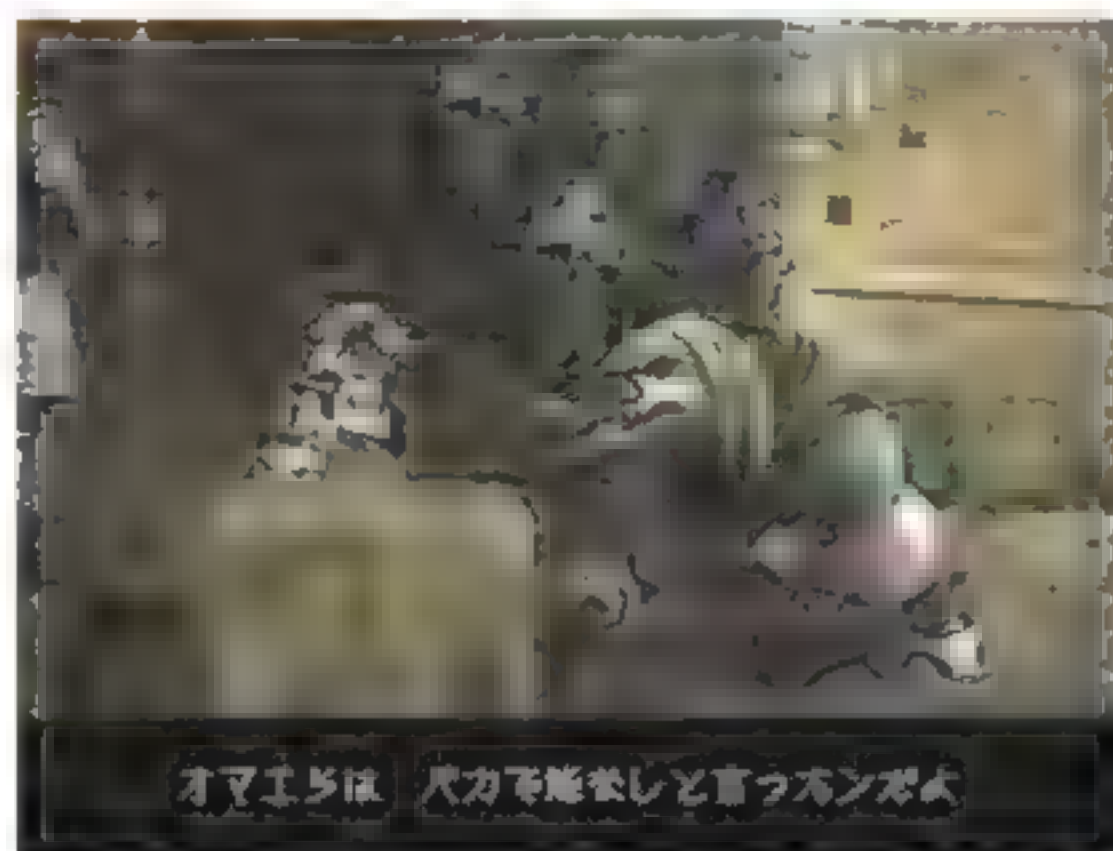
バッガモナン

Ba'gamnan

バルフレアを追う執念深い賞金かせぎ

Personal Data

種族	バンガ族	性別	男
年齢	不詳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	王都ラバナスタ、ルース魔石鉱ほか		
ボイスアクター	石井康嗣		

高額の賞金がかかった空賊のみを狙う、乱暴者の賞金かせぎ。とても粗暴なうえに欲深く、どんなあくどいことも平然とやってのける非情さを買われて、ガブラスの下で汚れ仕事をまかされてきた。バルフレアを目の仇にしており、3人の手下とともに彼の首を狙っていたが、カンちがいからパンネロを誘拐してしまう。

⬆自分の手でバルフレアの首を獲ることにこだわり、そのためなら雇い主の帝国にも牙をむく。

Impressive Words

「何やってンだ、あの女ったらし――！
オレが殺るまで捕まるなって
言っておいたじゃねえかよ！」
――ラバナスタダウンタウン：
帝国兵に連行されるバルフレアを見て

「バールフレアァッ！
てめえの賞金の半分は、
そのガキで穴埋めしてやらぁ！」
――ルース魔石鉱：
バルフレアにバカにされて怒り

リノ

Rinok

Personal Data

種族	バンガ族	性別	女
登場場所	王都ラバナスタ、ルース魔石鉱ほか		
ボイスアクター	氷青		

バッガモナンの手下たちのなかでは紅一点であり、物語中に登場する唯一の女性バンガ族。しかし、その態度や振る舞いに女らしい部分はなく、性格は乱暴きわまりない。

ギジュー

Gijuk

Personal Data

種族	バンガ族	性別	男
登場場所	王都ラバナスタ、ルース魔石鉱ほか		
ボイスアクター	[illegible]		

バッガモナンの小柄でずるがしこい手下。豪快なブワジとは正反対に、まわりくどいやり口を好む。戦いでも、自動弓や魔法などで相手をじわじわと追いつめるのが得意。

ブワジ

Bwagi

Personal Data

種族	バンガ族	性別	男
登場場所	王都ラバナスタ、ルース魔石鉱ほか		
ボイスアクター	桐井大介		

一味のなかでも荒事を得意とするバンガ族。大柄な体格の力自慢で、その腕力と戦闘技術はバッガモナンと肩を並べるほど。3人の手下のなかではまとめ役でもある。

バッガモナン

監獄に君臨する悪漢

ダグザ

Daguza

Personal Data

種族	シーク族	性別	男
年齢	不詳	出身地	アルケイディア帝国
登場場所	ナルビナ城塞地下雑居房		
ボイスアクター	[illegible]		

ナルビナ城塞地下牢の雑居房を牛耳る牢名主。牢獄に収監された身でありながら、牢の外でもウワサになるほど悪名高く、同じシーク族の手下、ガリドーとグイッチを従えて、ほかの囚人たちを力で支配している。牢内の弱者に暴行を加えていたところを、ラバナスタ王宮侵入の罪で投獄されていたヴァンに止められて逆上し、袋だたきにしようとするが、バルフレアの加勢を受けたヴァンに返り討ちに遭う。

モーグリ六兄弟

クランを率いる長兄

登場場所 王都ラバナスタ

モンブラン

Montblanc

りりしい雰囲気を持つ、六兄弟の長男。自分たち兄弟の師匠を死に追いやったモンスターを倒す人材を探すべく、モブ・ハンターの組織「クラン セントリオ」を旗揚げして、そのリーダーを務めている。

Impressive Words

「早速、君の審査を始めるクポ。
合格クポ。モグは決断が早いクポ！」
――王都ラバナスタ：
ヴァンのクラン加入を認めて

飛空艇の整備はお手のもの

登場場所 各地の飛空艇ターミナルほか

ノノ

Nono

緑のツナギと手ににぎった工具がトレードマークの四男。かなりの腕利き機工士で、整備士仲間のモーグリふたりとともにバルフレアの愛機シュトラールの整備を担当している。

Impressive Words

「シュトラールの修理が終わったクポ！
いつでも飛空艇ターミナルから
乗れるクポ！」
――港町バーフォンハイム：
シュトラールの整備を終えて

おっちょこちょいな二男

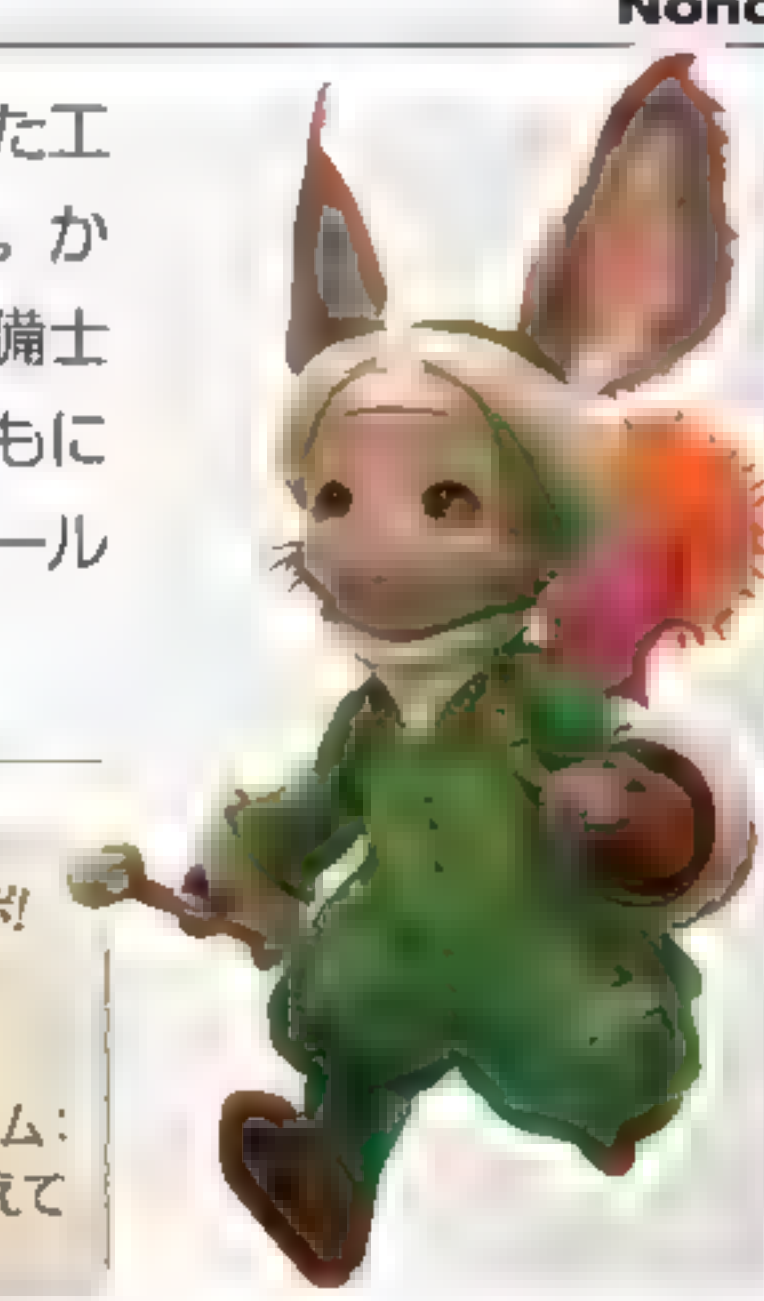
登場場所 王都ラバナスタ

ソルベ

Sorbet

王都ラバナスタの各所に客を瞬間移動させるサービス「モグシー屋」を営む者のひとり。西門の担当で、黄色の服と帽子が目印。かなりそそっかしく、それがもとで騒動を起こすことも。

Impressive Words

「……転んだクポ。それはもう
見事だったクポ。その拍子に、
お菓子とカギを落っことしたクポ」
――王都ラバナスタ：預かったカギを
落とした経緯を語り

鼻眼鏡をかけた南門担当

登場場所 王都ラバナスタ

ホルン

Horne

赤い帽子と服が特徴的なモグシー屋で、兄弟の三男。ラバナスタの南門に陣取って利用客を迎える。糸のように細い目と、鼻のうえにちょこんと乗せた眼鏡がチャームポイント。

Impressive Words

「モグシーへようこそクポ～」
――王都ラバナスタ：
客を迎えてあいさつし

東門担当のモグシー屋

登場場所 王都ラバナスタ

ハーディ

Hurdy

つり上がり気味の瞳をした五男。ソルベやホルンと同じくモグシー屋を営んでおり、青色の制服を着て、王都の街角に立っている。チョコボ屋のガーディとは、兄弟の末に生まれた双子。

Impressive Words

「ヤツを倒すことができる人物を探すため、
みんなバラバラになってたのクポ。
……寂しい時もあったクポ」
――王都ラバナスタ：師の仇を討った
ヴァンにお礼を言いつつ

チョコボを世話する女の子

登場場所 王都ラバナスタほか

ガーディ

Gurdy

六兄弟でただひとりの女の子。背中の翼を使って、いつもふわふわと宙に浮かんでいる。師匠に教わったチョコボ飼育術を活かしてチョコボ屋を開業し、旅人にチョコボを貸し出す。

Impressive Words

「あれはチョコボっていうのクポ」
「で、モグはみんなに
チョコボを貸してるのクポ」
――王都ラバナスタ：はじめて
チョコボ屋を利用するヴァンに

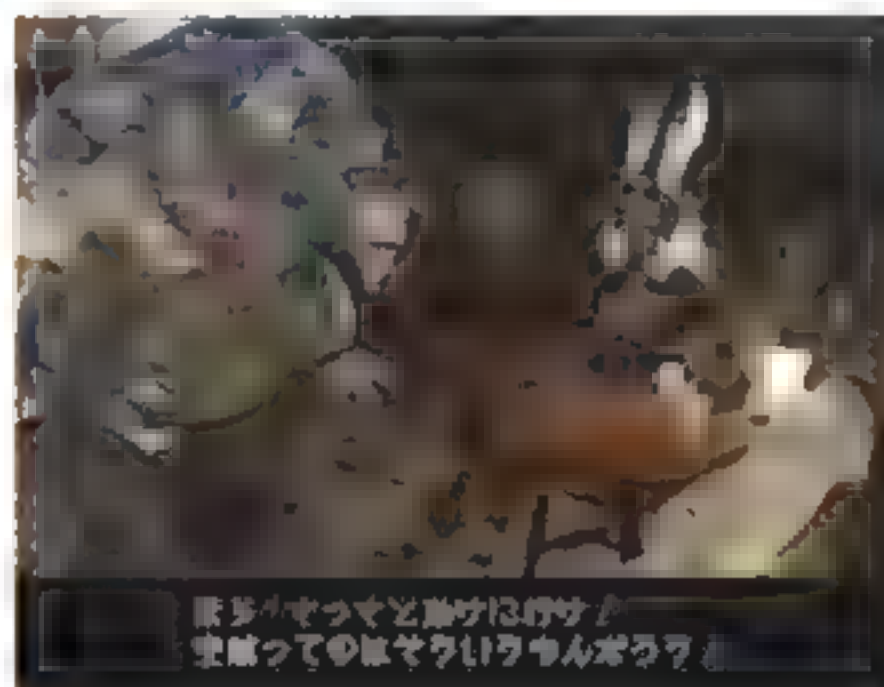
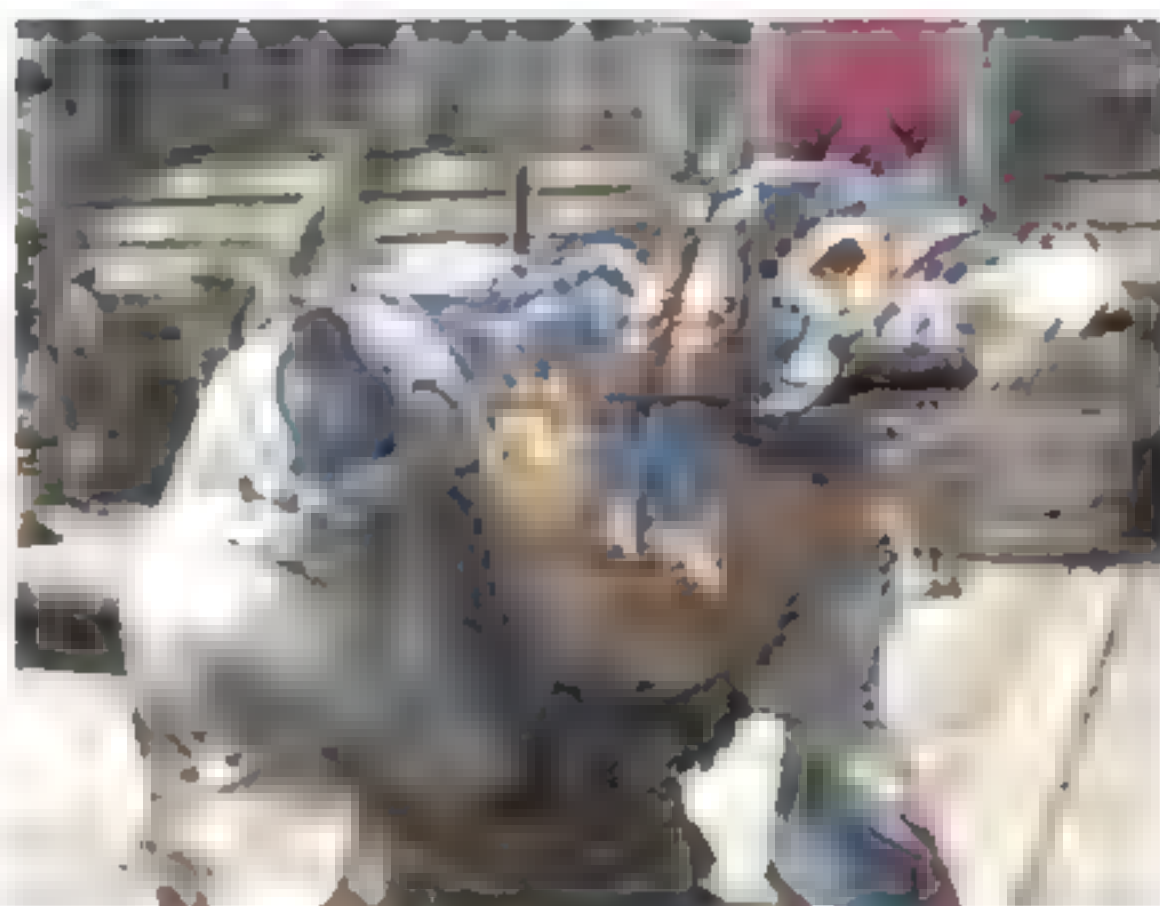
王都ラバナスタの人々

ヴァンとパンネロの親がわり

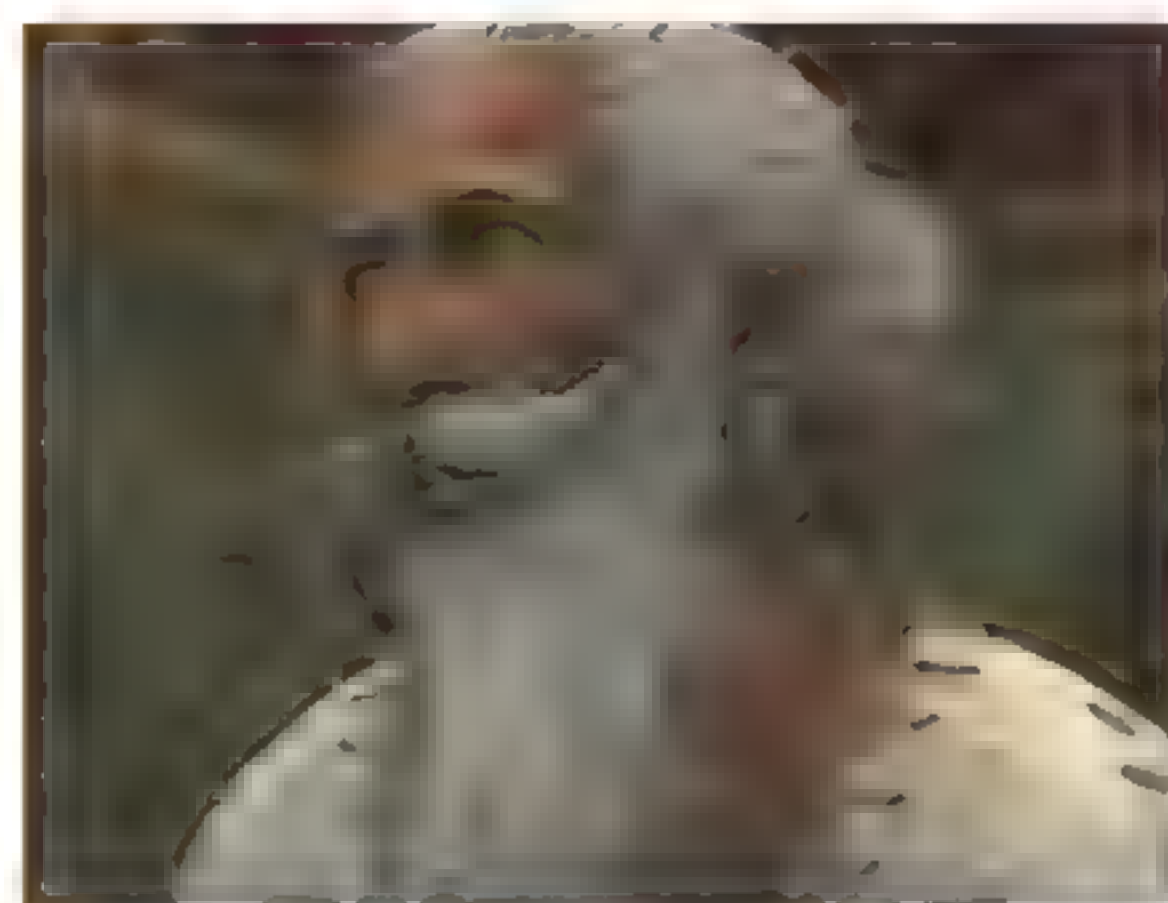
ミゲロ

Migelo

Personal Data
種族 バンガ族 性別 男
年齢 (ヒュム換算で40～50歳)
出身地 ダルマスカ王国
ボイスアクター 斎藤志郎

王都ラバナスタで暮らす、誠実で温和なバンガ族の商人。王都でも有数の道具屋を経営しており、駐留するアルケイディア軍の出入り業者として帝国側にも顔が利く。パンネロの亡き両親と商売仲間だった縁からヴァンとパンネロを引き取り、実の子どものように目をかけてきた。

←パンネロがさらわれたときには、心配のあまりバルフレアのせいだと詰め寄る場面も。

Impressive Words

「あんまり心配させんでおくれよ。まあ、おおごとにならんで何よりだ」
——王都ラバナスタ：ヴァンと帝国兵のもめごとを収めて

「誤解だろうが6回だろうが、
パンネロがさらわれたのは、あんたの責任じゃないか!」
——王都ラバナスタ：バルフレアに食ってかかり

世情に通じるダウンタウンの長老

ダラン

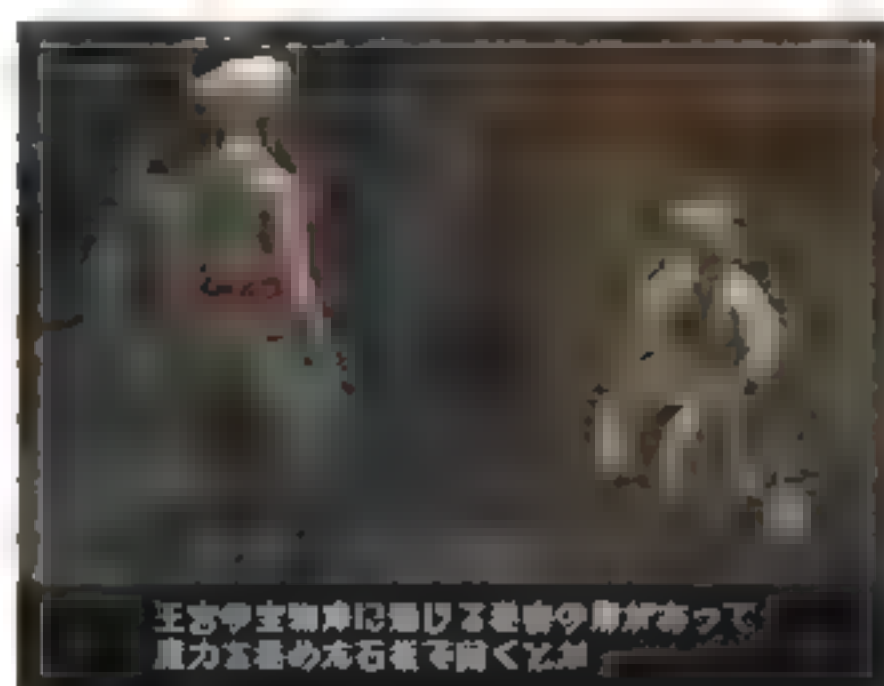
Old Dalan

Personal Data
種族 ヒュム族 性別 男
年齢 推定70歳以上
出身地 ダルマスカ王国
ボイスアクター 小山武宏

ダウンタウンに住む謎多き老人。博識なうえに最新の世界情勢もいち早くとらえていることから、街の者には"物知りダラン"と呼ばれ、頼りにされている。ラバナスタ王宮への侵入ルートを知っているほか、ラバナスタに潜伏する解放軍ともつながりを持つ。

Impressive Words

「だてに物知りとは名乗っとらんよ」
——ラバナスタダウンタウン：早耳だと驚くヴァンに

「ふむ——ガキだと思っとったが、やるようになったのう。
よし、ヴァンよ。お前を見込んで頼みがある」
——ラバナスタダウンタウン：少し見ない間に成長したヴァンを認めて

←王宮に忍びこもうとするヴァンに、侵入経路や必要な道具などに関する情報を与える。

酒場の店員にしてクランの勧誘員

トマジ

Tomaj

Personal Data
種族 ヒュム族 性別 男
年齢 18歳
出身地 ダルマスカ王国
ボイスアクター 徳本恭敏

王都でも指折りの盛況ぶりを見せる酒場「砂海亭」で働く店員。店で働きつつ、クラン セントリオの勧誘員として、酒場を訪れる人材をスカウトしている。顔なじみのヴァンがモブハントに興味を示したのを機にハンターとしての基礎を教え、ヴァンとクランとの縁を作った。

←スカウト役だけあり、口がうまくて説明上手。ヴァンにモブやライセンスのことを教える。

Impressive Words

「こんな魔物がうろついてるせいで運び屋の到着が遅れて
あれこれ品不足でな。だからこうやって誰かに退治を頼んでる」
——王都ラバナスタ：ミゲロのおつかいでやってきたヴァンに事情を説明し

「クランレポートを見せれば、中に入れてもらえるぜ」
——王都ラバナスタ：クラン本部の場所を教えて

ヴァンの元気いっぱいな弟分

カイツ

Kytes

Personal Data
種族 ヒュム族
性別 男 年齢 9歳
出身地 ダルマスカ王国
ボイスアクター 石村知子

ダウンタウンで暮らす戦災孤児のひとり。ヴァンとパンネロを兄と姉のように慕い、ふたりと一緒にミゲロの店を手伝う。錠前はずしが得意で、ミゲロが管理する地下水路への扉を開け、ヴァンの訓練に付き合っている。

Impressive Words

「すっげえ、全部ひとりでやっつけたの。これならデカいのが出てきても平気だよ」
——ガラムサイズ水路：剣の腕を上げたヴァンに驚き

空賊をめざすはりきり少女

フィロ

Filo

Personal Data
種族 ヒュム族
性別 女 年齢 10歳
出身地 ダルマスカ王国

ダウンタウンに住む孤児の少女。ヴァンと同じく空賊に強いあこがれを抱いており、同じ年ごろの子どもたちと「空賊めざそう団」を作って、日々訓練に余念がない。のちにカイツと空賊予備軍「ヴァンネロ」を結成する。

Impressive Words

「さぁ、今日も訓練よ! 今日の課題は、私を探し出すこと」
——ラバナスタダウンタウン
仲間の子どもたちに呼びかけて

クラン セントリオのメンバー

セントリオのエースハンター

カロリーヌ

Kjrn

登場場所 王都ラバナスタ、サリカ樹林

クラン セントリオ所属のヴィエラ族。クランのハンターでは一番の腕利きで、正確無比な弓術を誇る。閉鎖的な故郷に見切りをつけて王都ラバナスタを訪れ、みずからの力を試すべくセントリオに入会した。

Impressive Words

「キャロットを倒すのか? 私も同行させてもらいたい」
——王都ラバナスタ：ヴァンに同行を申し出て

クラン セントリオの知恵袋

マッケンロー

Ma'kenroh

登場場所 王都ラバナスタ

モンブランの古なじみであるン・モゥ族。非力な種族であるため戦いは苦手だが、情報の収集や分析は得意。モブの居場所を調べたり、持ち前の知識でアドバイスを与えたりして、クランのハンターたちをサポートする。

Impressive Words

「私はマッケンロー」
「モンスター退治はできないが、情報収集にはちぃと自信があってね」
——王都ラバナスタ：ヴァンに自己紹介して

親友の仇のモブを狙いつづけ

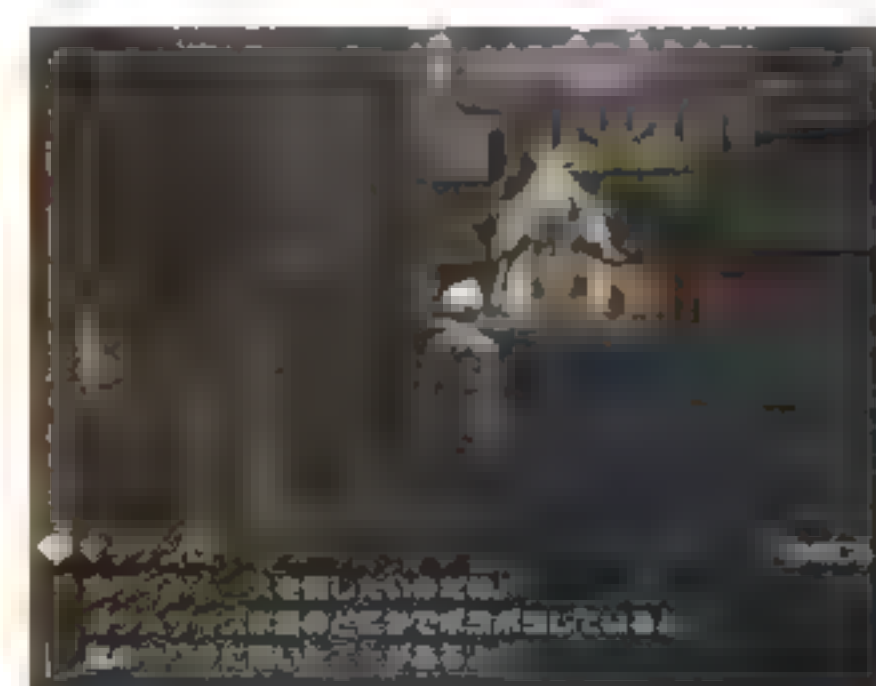
モーニ

Monid

登場場所 王都ラバナスタ、パラミナ大峡谷ほか

バンガ族のハンター。モブのトリックスターに殺害された親友のハンター夫妻の仇を討つべく、夫妻が遺した子どもの面倒を見ながら、あだ討ちの機会を待っている。言葉づかいは荒いが、根は仲間思い。

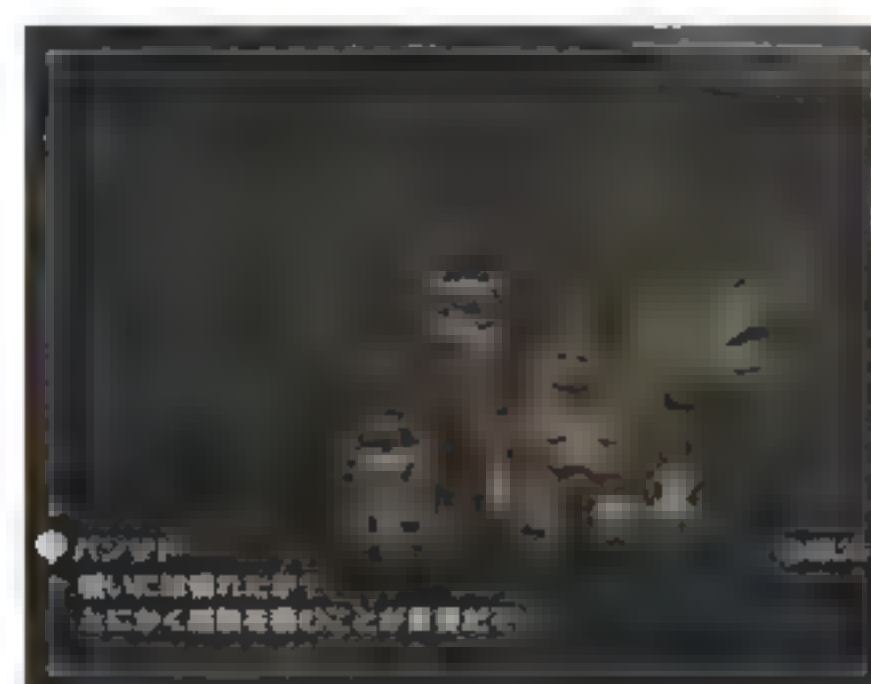
Impressive Words

「オレは何としてでもヤツを倒さなきゃならねえ」
——パラミナ大峡谷：トリックスターとの戦いを前に

愛嬌あふれるのんびり屋

バンサト

Bansat

登場場所 王都ラバナスタ、ギーザ草原

セントリオ所属のシーク族で、自称"セントリオのスーパーアイドルハンター"。ふだんはクラン本部でのんびりしているが、ハンターとしての腕は確か。後輩にあたるヴァンの成長を、ゆったりと見守っている。

Impressive Words

「オマエ、なかなか熱心だよな～。オレも少し見習わないと、だな」
——王都ラバナスタ：ヴァンの仕事ぶりを見て

空中都市ビュエルバの人々

表裏の顔を使いわけるガイドリーダー

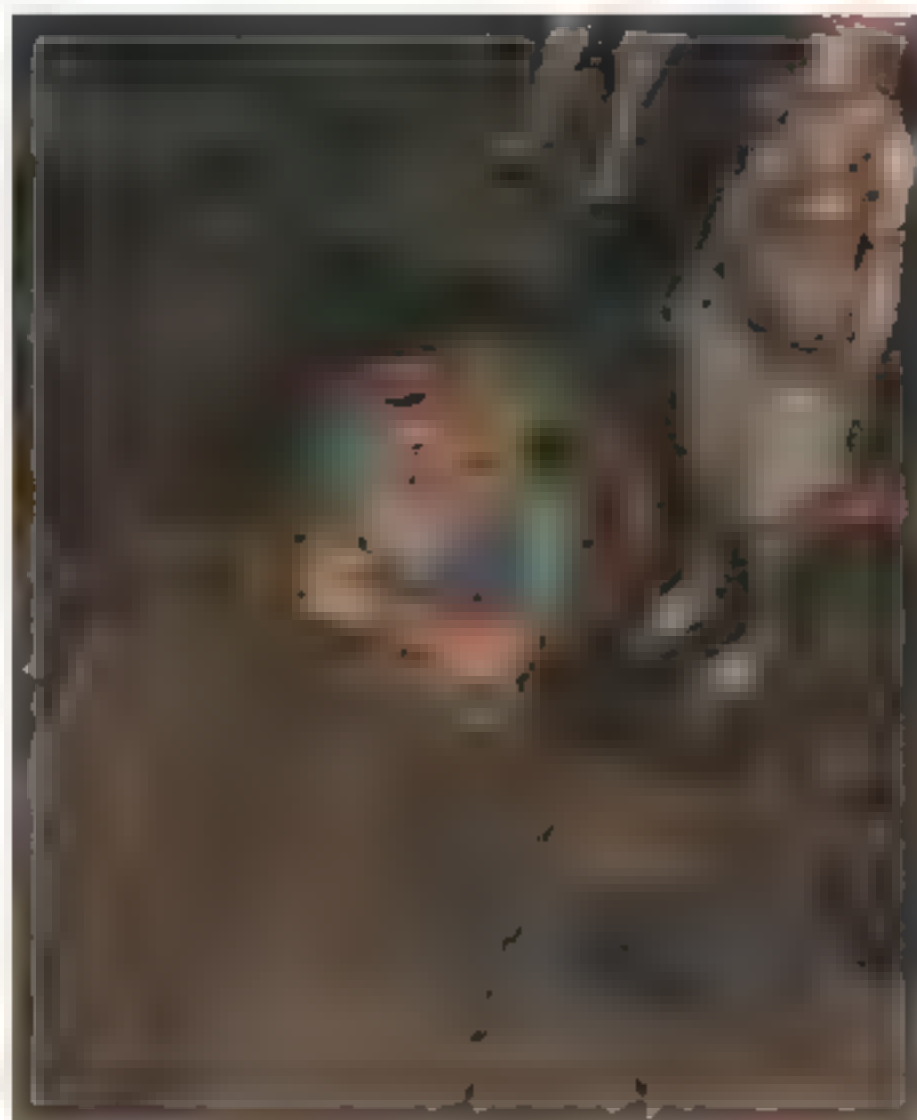
ハバーロ

Havharo

Personal Data
- 種族 ヒュム族　性別 男
- 年齢 29歳
- 出身地 空中都市ビュエルバ
- ボイスアクター 武虎

オンドール侯が編成した反帝国組織「解放軍」の、ビュエルバにおける中心人物。解放軍の表の顔であるビュエルバ観光ガイドのまとめ役を務める。酒場「浮き雲亭」をアジトにして、秘密裏に反帝国活動を展開中。

Impressive Words

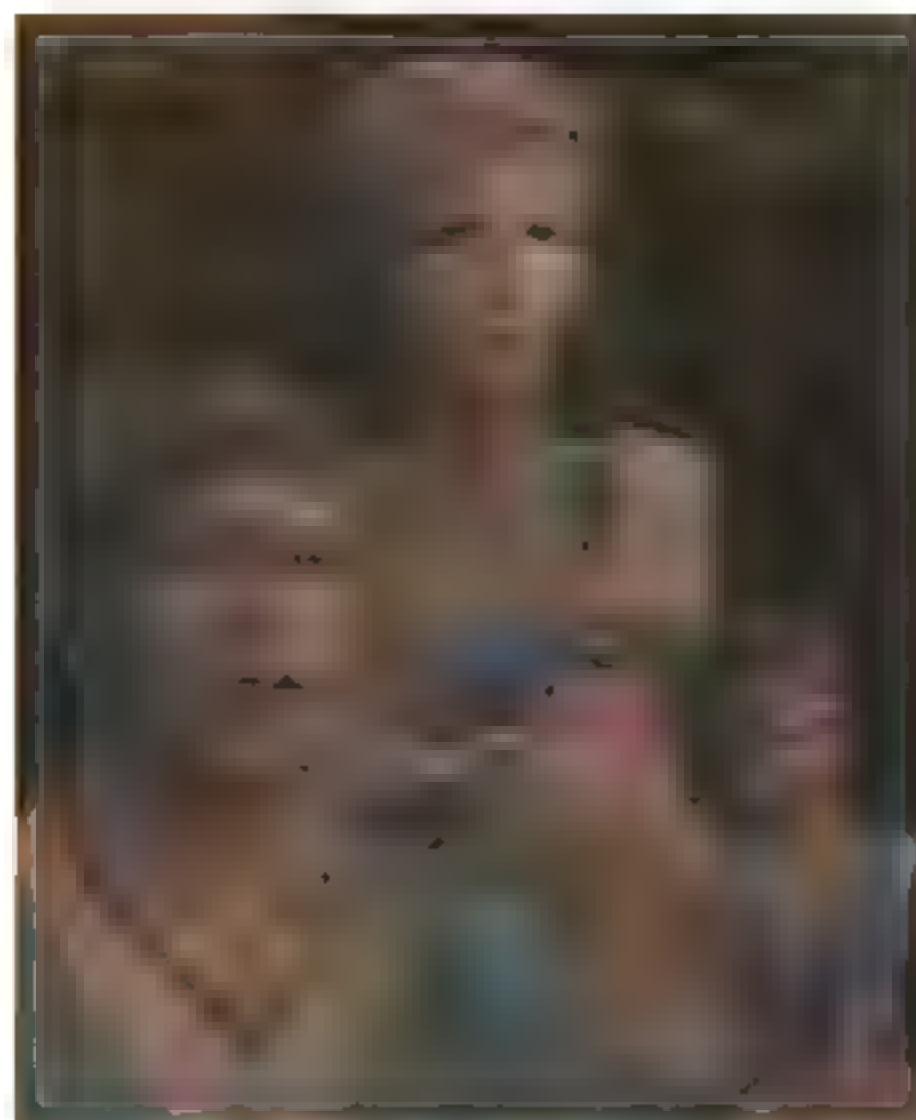
「そこらのガキがローゼンバーグ将軍を名乗るとは思えん。締め上げて背後関係を吐かせろ」
——空中都市ビュエルバ：「オレがバッシュだ」と触れまわっていたヴァンを捕らえて

名物酒場の女将にして解放軍の女房役

メリサ

Melisa

ビュエルバで名の知られた酒場「浮き雲亭」を切り盛りする女マスター。じつは解放軍のメンバーであり、店の奥を組織のアジトとして提供している。ハバーロとは同志であり恋人の関係。彼女の弟いわく"マジこわい"性格らしい。

Impressive Words

「余計なことを言いふらせば……おわかり?」
——空中都市ビュエルバ：ガイドの正体を知ったヴァンに

ガリフの地ジャハラの人々

魔石の伝承をいまに伝える

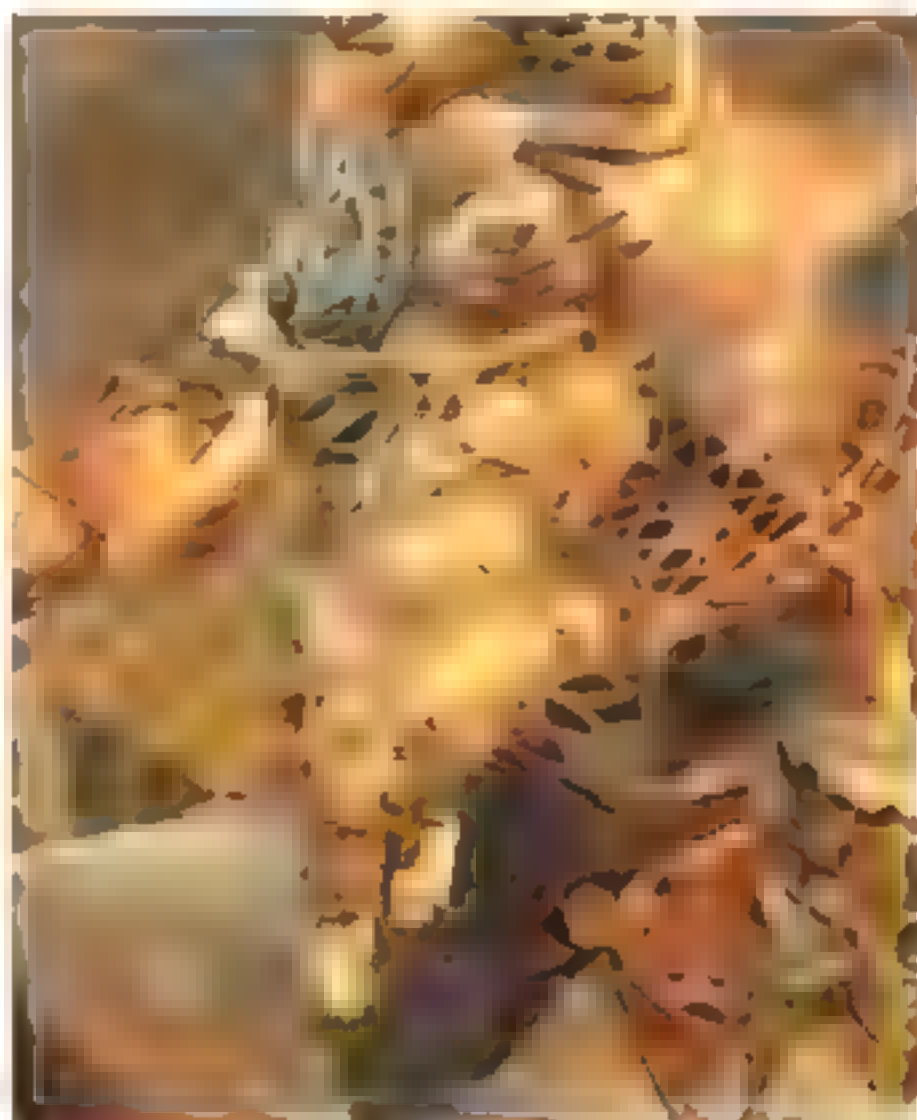
最長老ウバル=カ

Chieftain Uball-Ka

Personal Data
- 種族 ガリフ族　性別 男
- 年齢 （ヒュム換算で70～80歳）
- 出身地 ガリフの地ジャハラ
- ボイスアクター 坂口芳貞

ケルオン大陸の西方に点在するガリフ族の里のひとつ、ジャハラを治める長老。口調はおおらかで、おごそかな雰囲気をまとう。魔石を信奉するガリフのなかでもとくに伝承にくわしく、ヴァンたちに破魔石についての知識を与える。

Impressive Words

「力の失せた、うつろなる石——。飢えておるな。空しさを満たそうと、あらゆる力を求めておる」
——ガリフの地ジャハラ：里を訪ねたアーシェに破魔石の伝承を語りつつ

自責の念にとらわれた男

戦士長スピネル

War-Chief Supinelu

Personal Data
- 種族 ガリフ族　性別 男
- 年齢 45歳（ヒュム換算で29歳）
- 出身地 ガリフの地ジャハラ

ジャハラの戦士長。未熟な自分を助けるべくカトブレパスと戦った兄が、再起不能のケガを負わされたことを悔やみ、兄の仇討ちを志す。近隣のオズモーネ平原で腕をみがいていたときにヴァンたちを見かけ、里での便宜を図ってくれる。

Impressive Words

「……カトブレパスは……兄の仇なのだ。私は何としてでもヤツを倒したい。たとえ、戦いの後に死ぬこととなっても」
——ガリフの地ジャハラ：カトブレパス討伐への意気ごみを語り

エルトの里の人々

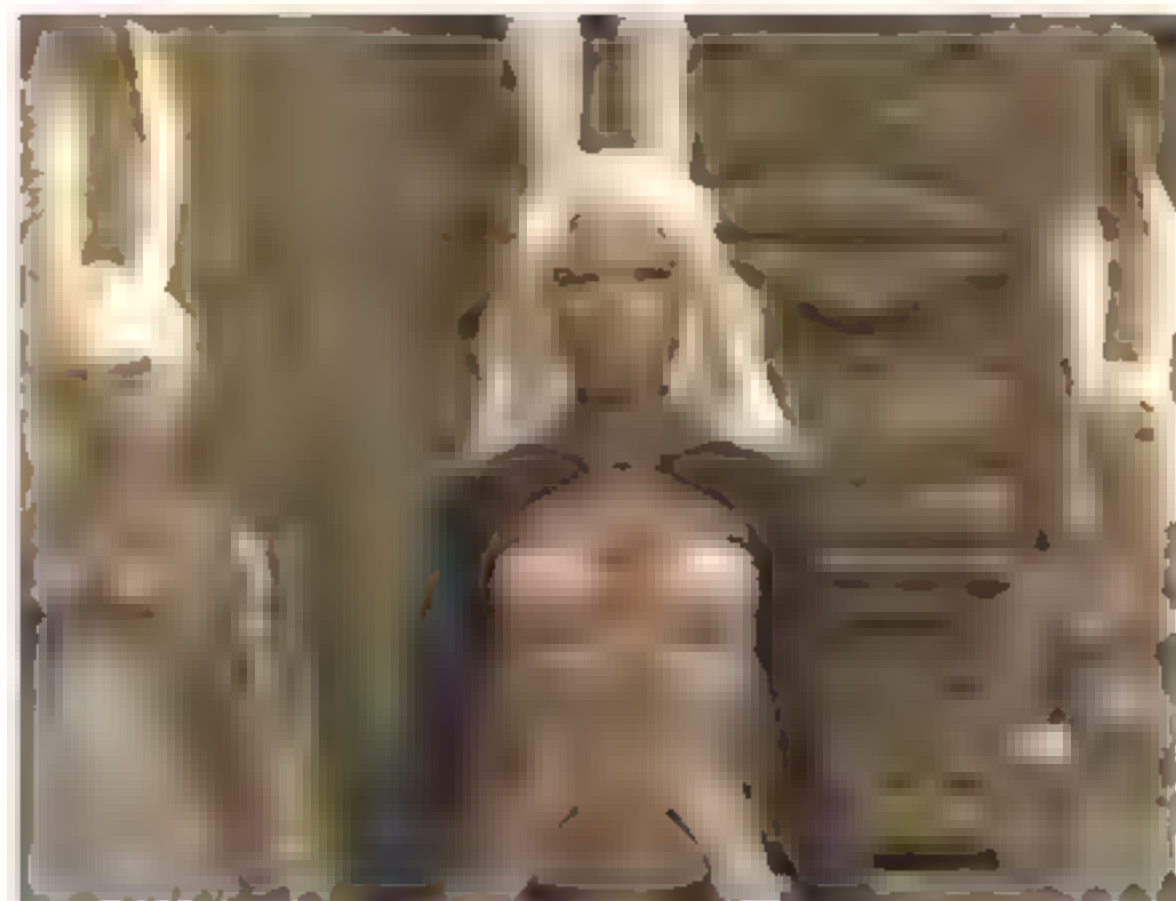
エルトの里長を務めるフランの姉

ヨーテ

Jote

Personal Data
- 種族 ヴィエラ族　性別 女
- 年齢 （ヒュム換算で30代半ば）
- 出身地 エルトの里
- ボイスアクター 榊原良子

ヴィエラの隠れ里「エルトの里」の長。里の掟を絶対のものと考え、厳正な態度で里を治める。その姿勢と森の声を聞く力の強さゆえに、里人の信頼も厚い。しかし、末の妹ミュリンが森から姿を消し、さらに森を捨てた異端の妹フランが里に現れたため、微妙な立場に立たされる。

←姿を消した末妹ミュリンを心配しつつも、里長という立場のため、積極的に動けずにいた。

Impressive Words

「森を捨てたヴィエラは、もはやヴィエラではない。——森を去ったミュリンもな」
——エルトの里：里に舞いもどったフランに

「気をつけろ。森はお前を奪った人間を憎んでいる」
——エルトの里：ふたたび里を去るフランに忠告して

閉鎖的な里に疑問を抱く、フランの妹

ミュリン

Mjrn

Personal Data
- 種族 ヴィエラ族　性別 女
- 年齢 （ヒュム換算で10代後半～20代半ば）
- 出身地 エルトの里
- ボイスアクター ゆかな

ヨーテとフランの妹。森の声を聞いたり、ミストを感じ取ったりする能力に高い素質を秘めるが、まだ歳若いせいか、精神面でやや不安定なところがある。森の外やほかの種族に対する好奇心が旺盛で、外界と断絶した里での生活に疑問を感じて姿を消し、里に動揺を与えた。

Impressive Words

「寄るな!　力に飢えた人間が!」
——ヘネ魔石鉱：人造破魔石の力で正気を失いアーシェに向かって

*「イヴァリースが動こうとしているのに、ヴィエラだけが森にこもっているなんて!
私だって森を出て、自由に生きたいのよ」*
——エルトの里：ヴィエラの掟を説く姉ヨーテに反論し

←森に現れた帝国の人間に興味を抱いたがつかまり、人造破魔石の実験台にされてしまい……。

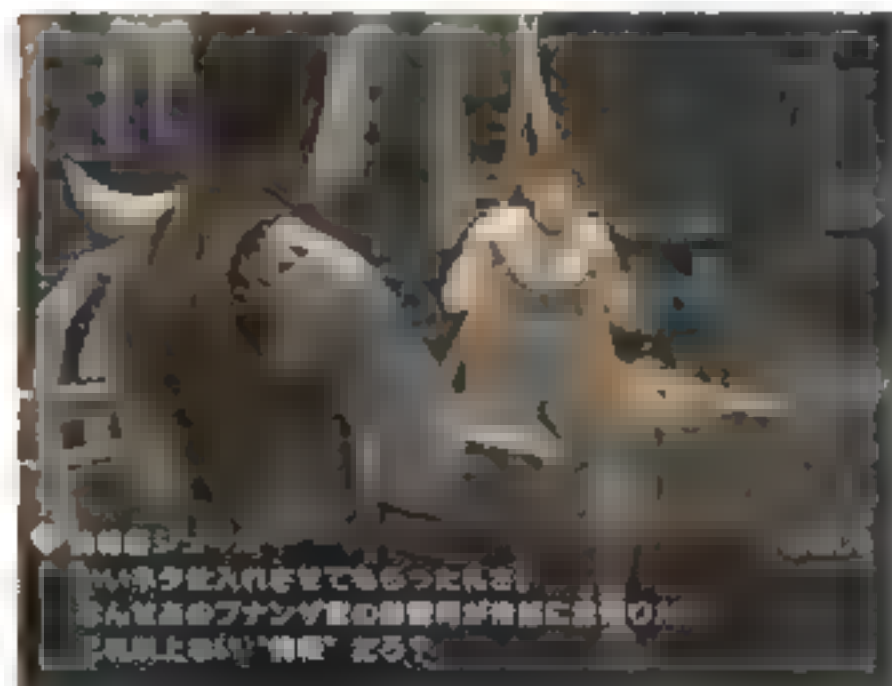
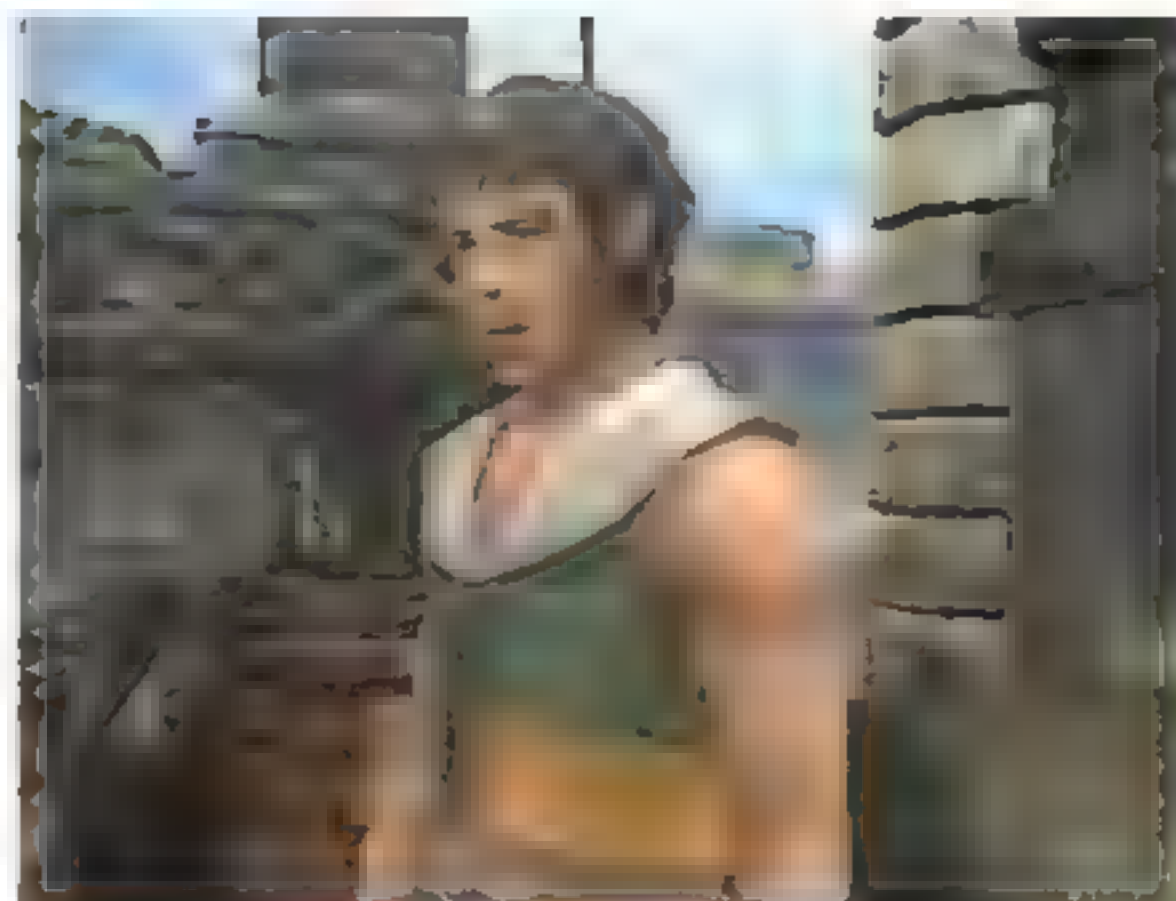
帝都アルケイディスの人々

抜け目のない食わせもの

情報屋ジュール

Jules

Personal Data
- 種族 ヒュム族　性別 男
- 年齢 30歳
- 出身地 アルケイディア帝国

アルケイディス旧市街で暮らすケチな情報屋。街に乱れ飛ぶ情報を売買して生計を立てている。帝都に入りこもうとするヴァンたちに目をつけ、ひと儲けするチャンスととらえて彼らに接触した。帝国から逃亡する前のバルフレアを知っているが、どんなつながりがあるのかは不明。

←意地汚い守銭奴で、にやけ笑いを顔に浮かべつつ、バルフレアにネチっこく話しかける。

Impressive Words

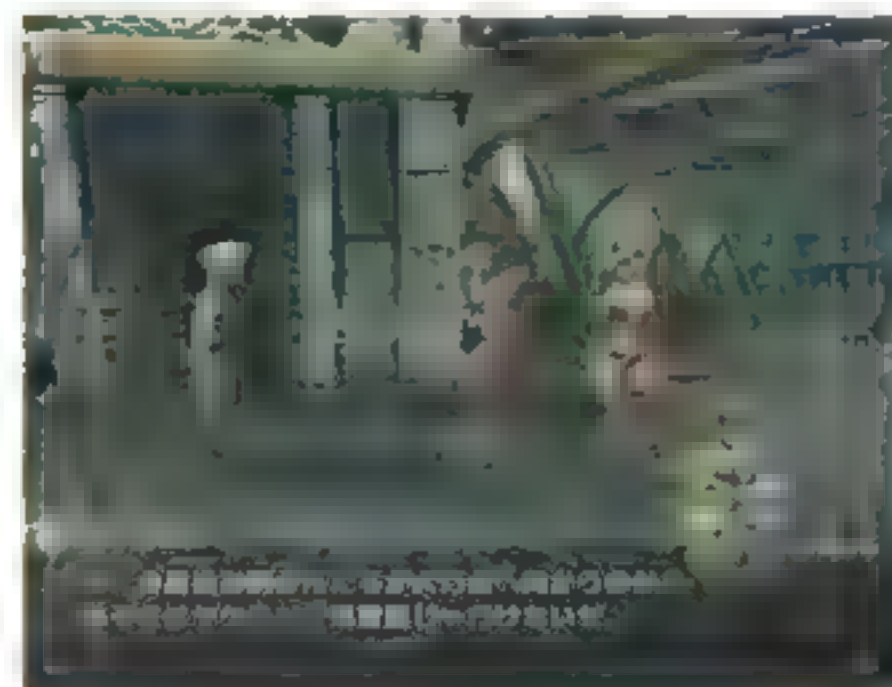
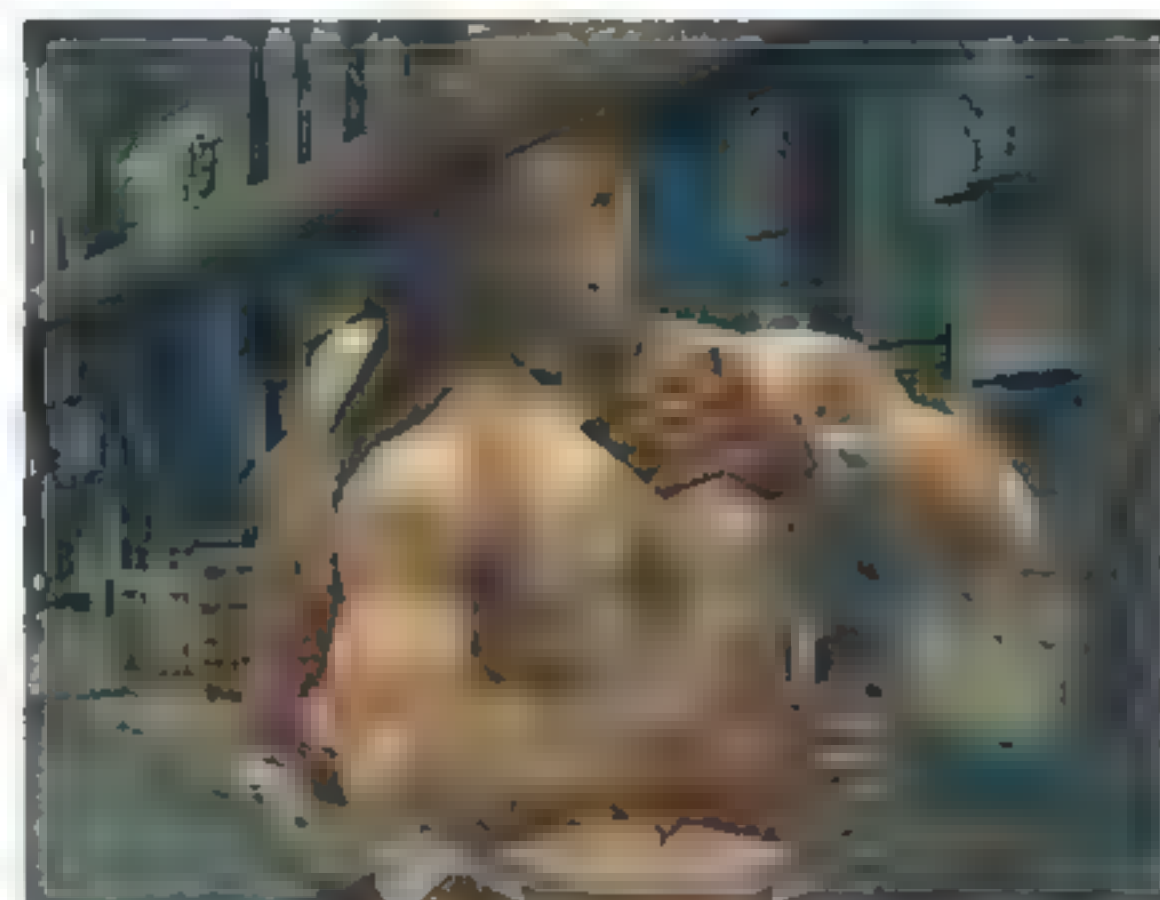
*「アルケイディスでは"情報"こそ力なのよ。情報さえあれば、
たいていの無理は通るねえ。だから情報が商売のタネになるわけ」*
——アルケイディス旧市街：上層部に行く方法を探すヴァンに情報を売りつけようとして

「故郷に帰ってきた実感がわいたろ?　じゃあ親父さんによろしく、ファムラン殿」
——帝都アルケイディス：利用されたことをいきどおるバルフレアに

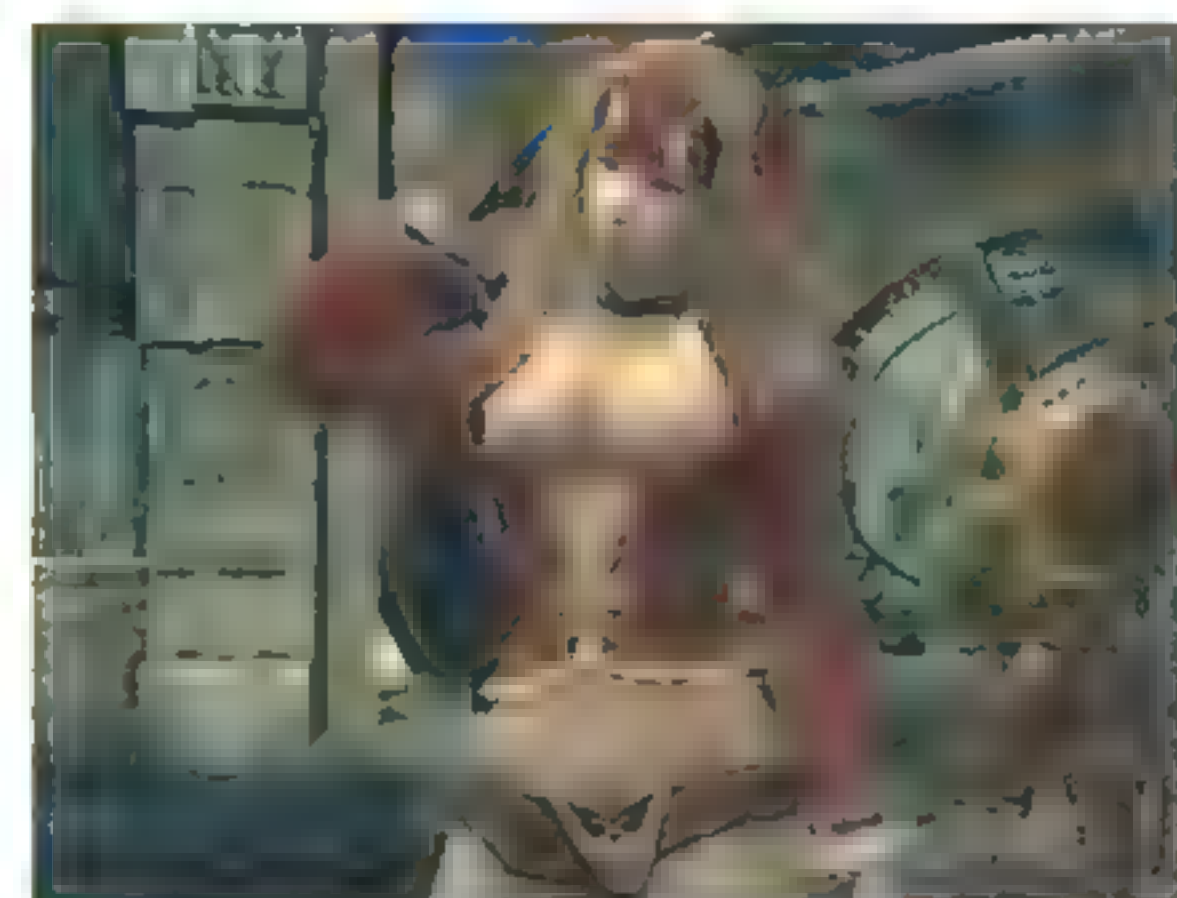
レダス配下の包帯男

リッキー

Rikken

港町バーフォンハイムで暮らす空賊3人組のリーダー格。エルザやラズとともに、レダスの手足となって働く。身体中に包帯を巻き、手に手錠をはめ、イレズミを彫りこんだ姿は恐ろしげだが、実際は気さくで人のよい男。足の速さは町一番だと自負している。

⬅ヴァンたちをよそ者と警戒するエルザとはちがい、一行の世話を親身になって焼いてくれる。

Impressive Words

*「おお、客人か。レダス様との話が終わったなら、
俺たちが幻妖の森について説明するぜ」*
——港町バーフォンハイム：ヴァンに幻妖の森の情報を教えようとして

「いっちまった人の気持ちを決めるのは、結局、生き残った俺たちか……」
——港町バーフォンハイム：レダスの死を知って

港町のけだるげな美女

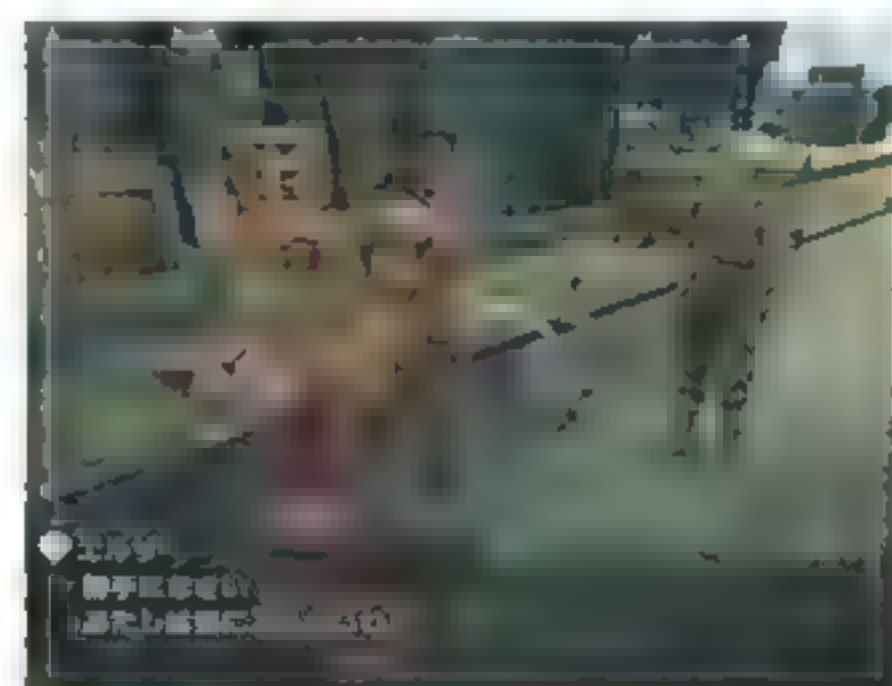
エルザ

Elza

バッグンのスタイルにきわどい服装をした女性。レダスに仕える空賊3人組のひとりで、ほかのふたりと同じく、彼を心の底から尊敬してやまない。怒りっぽく気が強い性格をしており、レダスや仲間以外の者を信用せず、ヴァンたちにも不信の眼差しを向けていた。

Impressive Words

*「リッキー！　見ず知らずの奴に親切にするってのは、
あたし、どうも気が進まないよ！」*
——港町バーフォンハイム：ヴァンに情報を教えようとするリッキーをさえぎり

「あの人……ずっと死に場所を探してたんだ」
——港町バーフォンハイム：レダスの死を知って

⬅レダスがヴァンを気に入っていることに気づいて、少しずつヴァンと打ち解けていく。

騒がしいバンガ族

ラズ

Raz

レダスの陽気でおしゃべりな配下。非常に小柄なバンガ族で、いつも奇妙な帽子をかぶり、頭にはオウムを乗せている。語尾に「〜っス」とつけるのがログセで、とにかくよく転ぶ。自分では人相見が得意だと言うが、エルザによると当たったためしがないとのこと。

⬅身長はヒュム族成人のヒザ丈くらい。落ち着きがないせいか、徒競争でもふらふら走る。

Impressive Words

「大丈夫っス。レダス様との相性はよさそうっスよ」
——港町バーフォンハイム：ヴァンの人相を見て

*「レダス様は、死んで楽になりたがるようなヤワな男じゃなかったっス！
この街を遺していくのは無念に決まってるっス！」*
——港町バーフォンハイム：レダスの死を知って

ヴェーネス

Venas

登場場所　アルケイディス皇帝宮、空中要塞バハムートほか

Personal Data

種族	オキューリア族	年齢	数万年単位
出身地	古代都市ギルヴェガン		
ボイスアクター	津野田なるみ		

人の情熱に魅せられた、オキューリアの異端者

"不滅なる者"を自称してイヴァリースの歴史をあやつる種族オキューリアのひとり。一族のなかでは若く、神を気取って歴史を動かす自分たちに疑問を抱き、短い生を必死に生きる人間にあこがれを感じていた。6年前、ギルヴェガンに迷いこんだシドと出会い意気投合。「歴史を人間の手に取りもどす」というシドの願いをかなえるべく、一族の秘密である破魔石についての知識を与え、シドが見こんだヴェインに最後まで協力する。

⬆人の世界で過ごすうち、シドとヴェインに愛着を抱き、親友と言える関係を築くようになった。

Impressive Words

*「私は助言を与えたにすぎない。あれを完成させたのは、君たち人間の力だ。
素晴らしいものだ——わずか6年で。人間の情熱は想像も不可能も越えて進む」*
——アルケイディス皇帝宮：人造破魔石を完成させたシドとヴェインに感嘆しつつ

*「破魔石の歴史は終わった。
世界はもはや、不滅なる者を必要とはしない。君の歩みを見届ける。共にゆこう」*
——空中戦艦バハムート：ヴァンたちとの最終決戦を前に、ヴェインに呼びかけ

ゲルン王

Gerun King

登場場所　古代都市ギルヴェガン

Personal Data

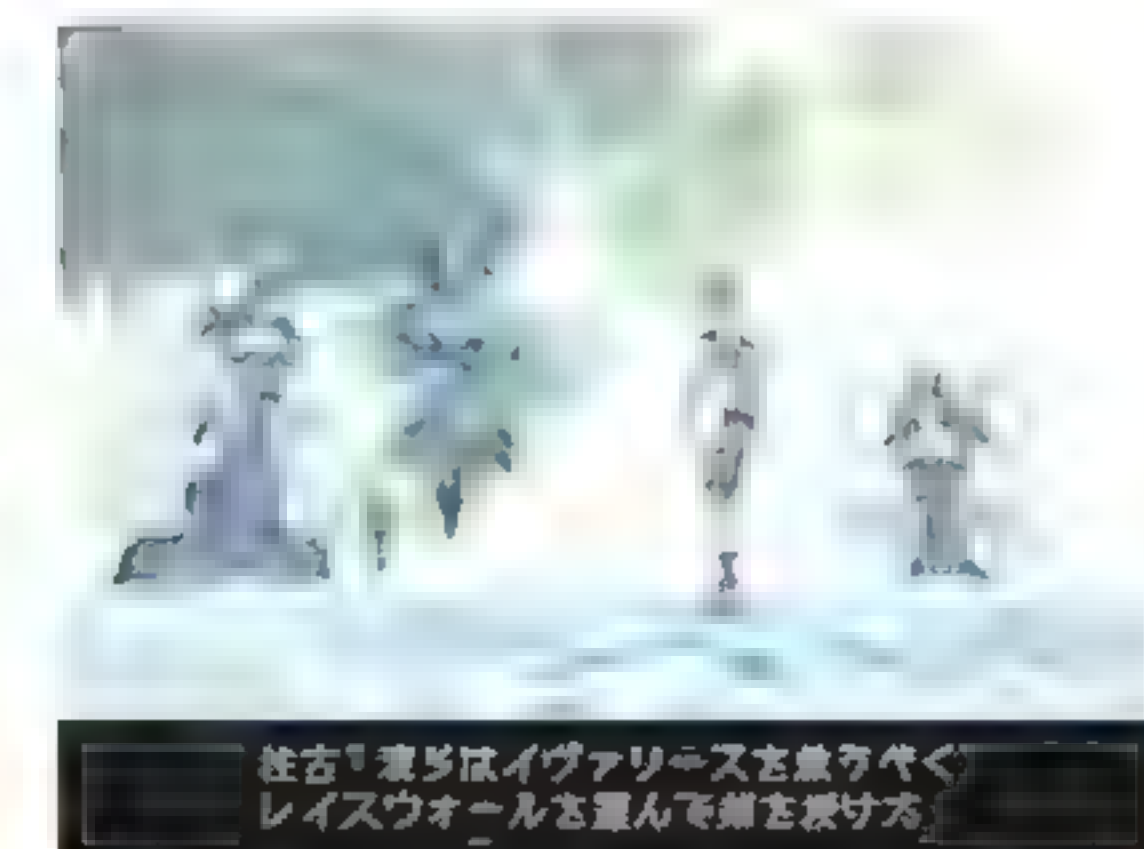
種族	オキューリア族	年齢	数万年単位
出身地	古代都市ギルヴェガン		
ボイスアクター	巴 菁子		

破魔石を用いて歴史をあやつる者

オキューリアを統べる王。オキューリア以外の種族を救いようのない愚か者だと考えており、その態度は非常に傲慢。ほかの種族を導いて正しい歴史を作り上げることを使命と思いこみ、有史以前より自分の代行者に破魔石を与えて世界をあやつってきた。ヴェーネスが一族を裏切ったことに激怒し、破魔石の知識を得た帝国を滅ぼそうと画策。アーシェの復讐心をあおり、自分たちの代行者に仕立てようとする。

Impressive Words

*「偽りの破魔石を掲げる者どもを、許してはならぬ。
我らが授ける真の破魔石をもって、滅亡の罰を！」*
——古代都市ギルヴェガン：アーシェを代行者に選び、帝国への復讐を押しつけ

*「我ら不滅のオキューリアが無知なる人の子を導き、
時には罰を下してこなければ——イヴァリースはとうに滅びていた」*
——古代都市ギルヴェガン：オキューリアの義務についてアーシェに語り

⬆ゲルン王以外にもオキューリアはいるが、みな自分たちを神に等しい者だと思い上がっている。

そのほかのおもなサブキャラクター

王都ラバナスタの人々

ガスリ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「起死回生の一発を狙って、新商品を入荷する予定なんだが……」
王都ラバナスタの露天商。全財産をかけて投資した新商品がテクスタのせいで届かず、討伐依頼を出す。

シャルアール
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「私は帝国の人間だが、この街が好きなのだ」
王都に駐留する帝国兵。ラバナスタに危険をおよぼしそうなワイバーンロードを討伐してほしいとヴァンに頼む。

カトリーヌ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「私、姉を目標にしてこの街に来たんです」「私も姉のようになりたいんです」
カロリーヌの妹。姉にあこがれて森を抜け出してきたものの、自分が何をすべきかわからず悩んでいる。

であいたい者
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「もしかして、あなたとの出会いが私の運命の出会いなのかしら?」
"運命の出会い"を求めて、いろいろな街を渡り歩いてきたヴィエラの女性。ラバナスタでその相手を見つける？

カッツェ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「兵士が俺たちを見はってるだろ?　だから、俺は兵士を見はってるんだ」
帝国嫌いの男性。幼いころ親友のノートンと遊んでいたときに、砂嵐でも方向を見失わないコンパスを隠したという。

ノートン
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「フィロちゃんたちを見てると、俺の小さい頃を思い出すよ」
カッツェの幼なじみ。子どものころ空賊ごっこをしていたときに、砂漠でドラゴンの卵をふ化させたことがある。

リムザット
登場場所 王都ラバナスタ、フォーン海岸
Words 「いつも砂嵐がひどくて調査どころではないのデス」
帝国から派遣された研究員のバンガ族。ダルマスカ砂漠の砂嵐の調査にきたが、砂嵐がひどくて手が出せずにいる。

バルザック
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「ここで見聞きしたことは誰にもしゃべるんじゃない。いいな」
ラバナスタ解放軍の一員で、隠れ家の見張り番。解放軍の訓練の邪魔になるリングドラゴンの討伐依頼を出す。

ミルハ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「部屋の中に子供が閉じこもってるの。なんでもこの辺でオバケを見たらしくて……」
ダウンタウンで暮らす心優しい女性。オバケのレイスを怖がるディグを見かねて、レイスの討伐を依頼する。

ディグ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「少し前まで人に貸してたんだけど、その人、もういないから空き家なんだ」
レイス怖さに部屋にこもった、シークの子ども。以前部屋に住んでいた、ナブディスの青年の置き手紙を見つける。

サマル
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「空賊がスマートで格好いいってのはイメージだよ。実際はそんな甘いものじゃない」
ダウンタウンの子どもたちと仲の良い元空賊。人望があり、ディグの部屋にいたナブディスの青年とも親しかった。

ココミン
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「伝説が正しいことを示してきたら……この伝説の続きを教えよう」
王都に流れてきた難民。キングベヒーモスの伝説を追って命を落とした友のため、伝説の真偽を確かめようとする。

ロッケンモウ
登場場所 王都ラバナスタ、ナブレウス湿原
Words 「ダラン爺よ。もしやこの者たちか?　私の助けになってくれるというのは?」
ナブディスからきたン・モゥ族の神官。ナブディスのメダルを探しており、情報を集めるべくダランを頼る。

どろぼうシーク
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「もう聞いてるかもしれないけど、アタシは……空き巣……どろぼうなの」
サマルの家に入ったドロボウ。逃げる途中、オルトロスに盗品を奪われてしまう。口調は女性だが、じつはオカマ。

酒場のマスター
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「最高級の蛇酒を注文されたんだ。大事な人が危機を脱したお祝いをするらしくてな」
砂海亭の店主。ミゲロからヴァンたちの無事を祝う蛇酒を頼まれて、材料の大蛇マリリスをモブとして登録する。

アマル
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「悪いことは言わねえ、いい武器用意しておきな!」
市街地東部にある「アマルの武具ショップ」の店主。威勢のいいバンガで、売りものに絶対の自信を持っている。

バナミス
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「む、あんた……めずらしい石を持ってるな」
「バナミスの防具ショップ」を営むシーク。珍しい品に目がなく、ヴァンが盗んできた破魔石に興味を持つ。

ユグリ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「あら〜、道具屋さんのお手伝いはいいの?」
ラバナスタ東部で「ユグリの魔法ショップ」を経営するヒュムの女性。のんびりした口調で話す。

バタン
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「パンネロちゃん見てないか?　いや、特に用があるわけじゃないんだ」
「バタンの技ショップ」のバンガ族の店主。ナルビナから脱走してきたヴァンに、最近パンネロを見ないと話す。

ヤムラ
登場場所 王都ラバナスタ
Words 「ミゲロさん、無事でよかったよな」
「ヤムラのガンビット・ショップ」を営むバンガ。解放軍の王宮襲撃に巻きこまれたミゲロの無事を知り安心する。

東ダルマスカ砂漠の人々

ダントロ
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words 「先頭にいるやつが今話した花サボテンだ。ったくバカにしやがって……!」
ネブラ河沿いの集落に妻を残し、キャンプに派遣されてきた見張りの男。花サボテンに悩まされている。

ダントロの妻
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words 「お静かに。中で病人が眠っているんです」
薬にくわしい、ダントロの奥さん。砂漠で倒れていた病人のために、薬の材料を集めてほしいとヴァンに頼む。

チグリ
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words 「渡し船は運休中なんだ。父ちゃんの船が北岸から戻ってこないんだよ」
ネブラ河南岸の集落に住む少年。渡し守の父ルクセラが帰らないと心配していた。父がもどったのち家業を継ぐ。

ルクセラ
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words 「砂漠の太公望ルクセラに、釣りの依頼かね?」
行方知れずだったネブラ河の渡し守。集落にもどると息子チグリに仕事をゆずり、自身は釣りに明け暮れる。

エイダ
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words 「魚が釣れたら教えてね。買わせてもらうわよ」
ネブラ河沿いを散歩するのが日課の女性。河で釣れた魚や、河辺に流れ着いた品物を買い取ってくれる。

囚人381号
登場場所 東ダルマスカ砂漠、ナルビナ城塞地下雑居房
Words 「オレはこれから人生をやり直す。だがな、そいつは囚人982号の仇を討ってからだ」
ナルビナの牢獄から逃げた脱獄囚。脱走中に相棒をブラッディに殺され、その仇を取るべく討伐依頼を出す。

トーリ
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words 「ちょくちょく私に会いに来るのよ。母親だと思ってるのかしらね」
ネブラ河の北岸に住む女性。コッカトリスのササナから求愛されるが、それにまったく気づかない。

盗賊のかしら
登場場所 東ダルマスカ砂漠
Words (モーグリ)「モグがケガで寝込んでいる間、いろいろ薬を運んでくれたのは、あんたクポ?」
ダントロの妻に助けられた旅人で、その正体は遺跡ドロボウのお頭。プレイヤーの行動しだいで種族が変わる。

ギーザ草原の人々

長ブルノア
登場場所 ギーザ草原
Words 「ギーザ草原には雨季と乾季があるんですよ」
ギーザ草原の遊牧民をたばねる老女。じつは、巨大なモンスターを簡単に投げ飛ばすほどの実力者らしい。

サディーン
登場場所 ギーザ草原
Words 「たいせつな指輪が……みつからない……。ケロゲロスが……飲みこん、で……」
ケロゲロス討伐の依頼人。ブルノアの亡き夫で、彼女の指輪を探し出せなかった無念から、この世にとどまっていた。

マシュア
登場場所 ギーザ草原
Words 「草原の黒水晶でも見に来たのかい?」
遊牧民の女性で、ギーザ草原特産の太陽石作りの責任者。太陽石を求めて訪れたヴァンに石の作りかたを教える。

ギーザ草原の人々

ジン
登場場所 ギーザ草原、王都ラバナスタ
Words 『オレ、動物学者になるのが夢なんだ』
ラバナスタ出身の少年。2年前の戦争で孤児となったところをブルノアに拾われた。太陽石作りの名人。

トト
登場場所 ギーザ草原
Words 『ジンのこと？　……オレは心配なんかしていなかったよ』
マシュアの息子。カミナのことが好きで、彼女が想いを寄せているジンをライバル視する。

カミナ
登場場所 ギーザ草原
Words 『あのね！　草原の南でジンを見たの』
遊牧民の少女。ジンに恋心を抱いており、太陽石を作りに草原へ出たまま帰ってこない彼を心配する。

ナナウ
登場場所 ギーザ草原
Words 『ギーザ草原にべっ甲……亀細工だなんてっ！　カメの呪いが……怒りが……』
遊牧民の娘で、ロワクロの姉。"アメノヌシ"巨大亀ギルガメを封じるために、雨季の草原に残る。

ロワクロ
登場場所 ギーザ草原
Words 『オレ、いつか旅に出るんだ。世界中でいろんなものを見たり聞いたりして……』
ナナウの弟。やんちゃで好奇心が人一倍強く、太陽石の売り上げをちょろまかす、ちゃっかりしたところも。

レジーナ
登場場所 ギーザ草原
Words 『ちょっとうさん臭い仮面つけてるけど、ガリフってのは気のいい連中ばかりだろ？』
きっぷのいい遊牧民の女性。ケルオン大陸に住むガリフ族と親交が深く、遊牧民とガリフのあいだを取り持つ。

アージィ
登場場所 ギーザ草原
Words 『みんな働き者のいい人ばかり。ギーザ草原へお嫁に来て、本当によかったわ』
ラバナスタから遊牧民の男に嫁いできた女性。愛する夫の帰りを待ちながら、村で唯一のよろず屋を営む。

ナッツ
登場場所 ギーザ草原
Words 『雨季には注意なのクポ。いっぱい雨が降ると、ビリビリ玉が出てくるクポ』
冒険者をしているモーグリ族の女の子。遊牧民の集落を拠点にしており、草原の地理やモンスターにくわしい。

ダーニャ
登場場所 ギーザ草原
Words 『怖がらなくても大丈夫よ。ここのコッカトリスはとてもおとなしいの』
集落のコッカトリスを世話する飼育責任者。妹のテラともども、愛情たっぷりにコッカトリスを育てている。

テラ
登場場所 ギーザ草原
Words 『みんな、どこ行っちゃったの？　私のせいよ、どうしよう……』
コッカトリスが大好きな、ダーニャの妹。ひとりで世話をしているとき、コッカトリスの脱走を許してしまう。

チィ
登場場所 ギーザ草原、エルトの里
Words 『ヴィエラ族は、年を取ると耳が伸びるらしいで』
ギーザ草原のコッカトリスの1羽。脱走先のエルトの里でミュリンに出会い、さびしそうな彼女を気にかける。

レン
登場場所 ギーザ草原、王都ラバナスタ
Words 『男がそう簡単に、惚れたのハレたの、言えるわけないだろう？』
ギーザ草原のコッカトリスの1羽。出会いを求めて脱走したが、身近にいたチィに恋をしていた自分に気づく。

ムゥマ
登場場所 ギーザ草原、港町バーフォンハイム
Words 『あいつらみんなオレをコッカトリス扱いしやがる』
ギーザ草原のコッカトリスの1羽。自分のことをチョコボだと思いこんでおり、背中に人を乗せようとするが？

ササナ
登場場所 ギーザ草原、東ダルマスカ砂漠
Words 『トーリ、ほんま会いたかったわ～。いつになったらボクと結婚してくれんねんな？』
ギーザ草原のコッカトリスの1羽。脱走先の集落で出会ったヒュムの女性トーリに恋をして、結婚を迫る。

シュリ
登場場所 ギーザ草原、ガリフの地ジャハラ
Words 『ええ!?　ガリフさんがシュリにお土産？　ホンマに？　ホンマにええのん？』
ギーザ草原のコッカトリスの1羽。ガリフ族に興味を持ち、脱走してジャハラに向かう。

アガタ
登場場所 ギーザ草原、帝都アルケイディス
Words 『ああ……出世したいわぁ。けど、どないしたらええんやろ』
ギーザ草原のコッカトリスの1羽。えらい人と結婚することを夢見てやってきた帝都で、思わぬ出会いが……。

飛空艇定期便の人々

マスター・ジョー
登場場所 飛空艇定期便
Words 『うい。ラバナスタ、入りま～す！』
都市間を結ぶ飛空艇定期便のラウンジのマスター。元空賊のバンガ族で、波瀾万丈の半生を生きてきた頼れる男。

キャビンチーフ七姉妹
登場場所 飛空艇定期便
Words アンヌ『あなたたち七兄弟は……下品で、最低よ！』
定期便のキャビンチーフを務めるシエスール家の姉妹。アンヌ、リドゥ、トワル、キャルル、サン、リシス、シセットの7人。

リシュレール七兄弟
登場場所 飛空艇定期便
Words ランディ『いいことを思いついたよ。僕とゲームをしようじゃないか』
キャビンチーフ七姉妹に求婚するリシュレール家のごう慢な兄弟たち。長兄ランディ、末弟ディマン以外の名前は不明。

ロマンシッポズ
登場場所 飛空艇定期便
Words リーダー『この世には約束された安全などない。今、この瞬間もな』
バンガ族3人、モーグリ族ひとりの冒険者グループ。リーダーのバンガは冷静沈着で、シブイ言葉を口にする。

旅行好きの一家
登場場所 各地の飛空艇乗り場
Words パパ『誰が賞品を買うと思っているんだい？ でも、そんなママが世界でいちばん好きさ』
各地を旅行する金持ち一家。デスゲイズがいるかどうかを息子とママが賭ける。賞品を買うのはパパの役目。

ナルビナ城塞の人々

ジュリー
登場場所 ナルビナ城塞、帝都アルケイディス
Words 『お仕事中なの。邪魔しないでね』
帝国出身の情報屋。コーハイ帝国兵の秘密を探るよう依頼され、チョコボ臭に耐えつつ仕事に励む。

コーハイ帝国兵
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『チョコボなんて……チョコボなんて嫌いだ～っ!!』
ナルビナ城塞を守る帝国兵。実家の牧場でしみついたチョコボ臭のせいで苦労してきたため、チョコボが嫌い。

センパイ帝国兵
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『たしかに暑いし砂だらけだし、街は汗臭い。ついでにここはチョコボ臭いかな』
コーハイ帝国兵の先輩。軍人らしい気質の持ち主で、持ち場を離れたがるコーハイ帝国兵をしかりつける。

ブロッホ
登場場所 ナルビナ城塞、バルハイム地下道
Words 『こんなところで人に会うとはね。君たちも廃材を集めに来たのかい？』
ナルビナのジャンク屋。バルハイム地下道でヴァンたちに出くわし、脱出のためのアドバイスを送る。

ポポル
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『夢に悪霊のデスサイズが現れて、この有り様さ。寝たら生気を奪われて……』
元鍛冶屋の行商人。出来心からナブディスで墓荒らしをしてしまい、悪霊に取りつかれることに。

モルガン
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『あいつを……ロビーを必ずや止めてくれ。あれは私の息子の……いや、いい』
ナブディス出身のゴーレム研究家。2年前の戦争で息子を失い、忘れ形見のゴーレムが暴走したことに心を痛める。

バロング
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『さっきの冒険者はいいやつだったなぁ。もっとページを増やして……きゅしし』
城塞の補修現場で働く作業員。モンスターの図鑑を作るのが趣味で、モブを討伐したハンターから情報を集める。

新人ジョヴィ
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『おいら、おいらの、ヒィ……ロォ、ここで……。もう……いない、ブゥ……』
作業場の新人シーク。ヒーローと慕うレックスの死に気力を失っていたが、ヴァンの活躍に勇気づけられていく。

ザマドリア
登場場所 ナルビナ城塞
Words 『今回キャロットちゃんを育てて、帝都でもウワサのモルボル夫人になったざます』
ざます口調が特徴的な帝国の婦人。逃げ出したペットのキャロットちゃんを退治してほしいと、討伐依頼を出す。

空中都市ビュエルバの人々

ミクリオ
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 『よくある迷信だって思うでしょ？　でもアイツは……ディアボロスは本当にいるんだよ』
かつてディアボロスの手にかかり命を落とした少年。犠牲者を増やしたくなくて、現世にとどまっている。

エイコム
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 『魔法障壁が壊れちまった。いや……どこかのアホが壊したみたいなんだ』
ルース魔石鉱で働く採掘用心棒。魔法障壁が破壊されたせいでニーズヘッグが現れたため、討伐依頼を出した。

空中都市ビュエルバの人々

ニレイ
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「お願いです！　エルロンとカイトを助けて！」
ビュエルバのスタイラス邸の婦人。ふたりの子どもがルース魔石鉱に行ったきり帰らないことを心配している。

エルロン
登場場所 空中都市ビュエルバ、ルース魔石鉱
Words 「魔石鉱の奥へ行くカギを見つけたからさ、カイトとふたりで探検にきたんだ」
ニレイの楽天的な息子。母とケンカして家を飛び出したあげく、ルース魔石鉱に入りこんで騒動を起こす。

カイト
登場場所 空中都市ビュエルバ、ルース魔石鉱
Words 「この人たちが助けてくれなかったら……。お兄ちゃんに何かあったら、私……」
ニレイの娘で、エルロンの妹。ムチャばかりするエルロンを心配しつつも、そんな兄をとても慕っている。

マグー
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「……はあ？　組織だと？　そいつは美味いのかい。ブヒヒ」
浮き雲亭の常連で解放軍のメンバー。「飲んだくれを装っている」と言いわけしつつ、本当に酒におぼれている。

ピリカ
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「ルース魔石鉱で暴れる巨大タイタスのウワサクポ！　モグにはピンときたクポ！」
「クリオ技店」の店員。妙なペットを飼う趣味があり、暴れ出したペットをなだめようと、クランに依頼を出す。

クリオ
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「クリオの技屋クポ。今日はどんな用事クポ？」
ビュエルバにある「クリオ技店」の店主。"モーグリのモーグリによるみんなのための技屋"が店のモットー。

こわもてなバンガ(トメッチ)
登場場所 空中都市ビュエルバ　ボイスアクター 加藤木賢志
Words 「反帝国ナントカだあ？　おかしな言いがかりつけると、叩き出すぞ！」
解放軍の一員。浮き雲亭の常連客を装い、解放軍について探りを入れる者がいないかと監視している。

タージ
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「いらっしゃい！　タージの店へようこそ！」
ビュエルバで繁盛する「タージ武器店」の店主。かわいい女の子を看板娘として立たせ、店を盛り上げる。

リシル
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「タージさんの店……大繁盛ですよね……。うちと何が……違うんでしょうね……」
「リシル防具店」の店主。タージのマネをして、自分の年老いた母親を看板娘として店に立たせるが……。

マイテ
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「スタッフ一同がんばりますので、どうぞごひいきに！」
「マイテ魔法店」の女店主。店員に美しいヒュム女性ばかり採用して、男性客の心をつかむ。

バスケス
登場場所 空中都市ビュエルバ
Words 「さあ、見てっておくれ！　バスケスのガンビットショップだよ！」
採掘作業員居住区で「バスケスガンビット店」を営むバンガ族。店員にシーク族ばかりを採用している。

ガリフの地ジャハラの人々

戦士ハイセム
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「戦士長が信用するのだから、オレも信じよう。さあ、最長老へ会いに行くといい」
ジャハラの戦士のひとり。最長老たちが暮らす「古き者たちの丘」につづくつり橋を守っている。

戦士グロム
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「オレたち、どうもマインドフレアはダメなんだ。ヤツの妙な攻撃に耐えられなくてな」
スピネルを思いやる戦士。ヘネ魔石鉱に迷いこんだアスダルを助けようと、マインドフレアの討伐依頼を出す。

先代戦士長カダル
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「今のあいつは危ういんだ。追い立てられるように、武器をふるっている」
スピネルの兄。カトブレパスと戦ったときに傷を負い、戦士から引退した。気負いがちな弟をつねに気づかう。

風水士ユグギル
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「ヘネ魔石鉱の奥に眠る強大な力、おぬしでは従えさせることはできまい」
自然の力の流れを読む能力にすぐれた古老。集落の一角にすわり、大地を通してさまざまなことを感じ取る。

小長老シュグム
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「たとえお前さんのような子供でも……うぉっほん。気にせんでくれ」
エンケドラス討伐の依頼人。最近モブハンターの存在を知り、ハンターを実際に見てみたくて依頼を出した。

大長老ザヤル
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「ガリフは歴史の表舞台から去った存在だ」「だがガリフはそれでよい」
最長老ウバル=カのそば近くに仕える長老。ガリフの悪霊イシュタムを鎮めるべく、ヴァンに討伐を依頼する。

青年アスダル
登場場所 ガリフの地ジャハラ、ヘネ魔石鉱
Words 「オレ、平原より先へ遠出したことがないんだ」
ジャハラで暮らす青年。モブに襲われかけたというのにのんびり立ち往生しているなど、非常にマイペース。

ジャッジ・ハウゼン
登場場所 ガリフの地ジャハラ
Words 「ラーサー様の護衛は、あなた方に託します」
ラーサーの護衛としてジャハラまで彼に同行したジャッジ。無用な争いを避け、ヴァンたちに礼儀正しく接する。

エルトの里の人々

テトラン
登場場所 戦艦リヴァイアサン、エルトの里
Words 「見覚えのある顔だと思ったら、やっぱりクポ。リヴァイアサンでは助かったクポ」
なぜか戦艦リヴァイアサンで店を開いていた、モーグリ族の行商人。脱出後はエルトの里で営業を再開する。

ルルチェ
登場場所 戦艦リヴァイアサン、エルトの里
Words 「ヴィエラのお姉さんに頼まれて、街へ行ってきたクポ」
テトランの相棒。エルトの里では近隣の地図を売っているほか、里のヴィエラに頼まれておつかいに出ることも。

ラエル
登場場所 エルトの里
Words 「里を侵す者あらば、我ら防人が見逃さぬ。去れ、そして忘れるがいい」
エルトの里を守る防人の長。戦士に徹する一方で、防人になれなかった妹アリーシャのことを気にかけている。

カリス
登場場所 エルトの里
Words 「お前の手なぞ借りずとも、後一歩、我が一太刀があればっ……！」
防人の副長。森を乱すワイルドモルボルと戦うが、その悪臭に耐えきれず敗北する。ヴィエラには珍しい激情家。

アリーシャ
登場場所 エルトの里
Words 「誤解しないでほしい。私は、誰も恨んでなどいないよ……」
ラエルの妹。かつては防人だったが、ある事件で負ったケガのためにその道を断たれた。いまは薬師の修行中。

レティーナ
登場場所 エルトの里
Words 「アリーシャが薬師として認められることを願い、私も、早く防人になれるよう技を磨きます」
年若くていねいな態度の防人。ネフィーリアと同年代で、防人長の妹ながら薬師の道に入ったアリーシャを心配する。

ネフィーリア
登場場所 エルトの里
Words 「面倒だと思わない？　だから私は、ひとり気楽なのがいちばんよ」
エルトの里の変わり者。ひとりが気楽だからと言って、里のヴィエラたちとも距離を置いている。

ハールラ
登場場所 エルトの里
Words 「ヴィエラとは……生き方なのかもしれません」
ヨーテの右腕にして里の薬師の長。物腰はやわらかいが、ほかの種族の者を嫌う。アリーシャの師でもある。

神都ブルオミシェイスの人々

ヒムス
登場場所 神都ブルオミシェイス
Words 「パラミナ大峡谷に現れるチョッパーなる魔物に手を焼いておりまして」
キルティア教の教徒。ブルオミシェイスを目指す難民の安全のため、凶暴な魔物チョッパーの討伐依頼を出す。

イーハ
登場場所 神都ブルオミシェイス
Words 「ヒュムが弱いと思うなら、どうか力を貸して」
キルティア教徒の女性。大僧正が封じたファーヴニルの復活を知り、その脅威から神都を守ろうと戦い、命を落とす。

レメリー
登場場所 神都ブルオミシェイス
Words 「私の心に残ったのは、互いに奪い殺し合う、ヒュムの醜さと弱さだけだ」
ヒュムを嫌うヴィエラ。命がけで神都を守ろうとしたイーハに感銘を受け、難民のために尽くすようになる。

アイヴァヌス
登場場所 神都ブルオミシェイス
Words 「夢に現れた兄は、忌わしきピスコディーモンに変わり果て、荒野をさまよっておった」
キルティア教の高僧。力におぼれてモンスターとなった双子の兄を止めるべく、兄をモブとして登録する。

竜の研究家
登場場所 神都ブルオミシェイス、セロビ台地
Words 「ワシはイヴァリースの竜について研究しておる」
伝説の竜ヴィラールを追う老人。目的のヴィラールをヴァンが倒してしまい、結局見ることができずに終わる。

帝都アルケイディスの人々

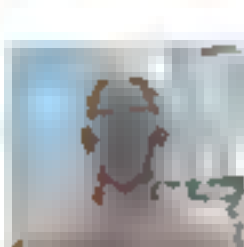
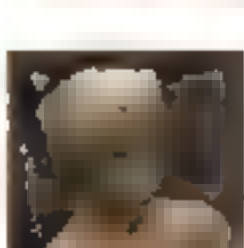
フルモン
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「若者に、ツィッタの遺跡の話をしております。私の長年の研究課題でありましてな」
旧市街で人々に伝承を語る老人。太古に滅びた国で信仰された竜リンドヴルムの復活を知り、モブとして登録する。

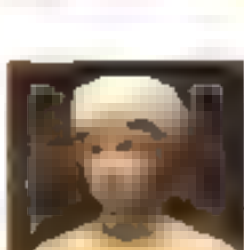
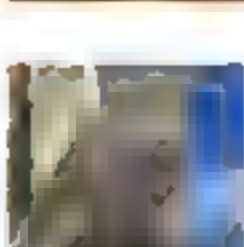
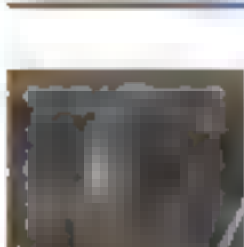
政民のオット
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「上層では、そんな優しさなんて存在しなかった！　この嬉しさが君にわかるかい?」
政民でありながら、外民のリデルを愛する青年。駆け落ちして、貧民区である旧市街の住人になった。

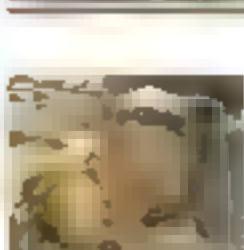
守銭のビズレ
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「何だと!?　俺の金貨を盗んだ奴を知ってるって!?」
旧市街に住む男性。金貨を貯めこむことを唯一の楽しみとしていたが、金貨を隠し場所から盗まれて激怒する。

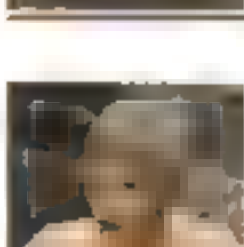
踊る8匹のモーグリ
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「♪楽しいシークがやってきて～美味しいグルメツアーに誘ってくれたクポ～♪」
あやしげなシークにだまされ帝都にきたモーグリたち。のちにだまされた事実に気づき、シークをとっちめる。

アルケイディスのコッカトリス
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「ワシは、もう先が長くないだろう。最後の希望は、故郷へ帰ることだな……」
旧市街にいる、気品を感じさせるコッカトリス。じつは、ギーザ草原にいるアガタの、行方知れずだった父親。

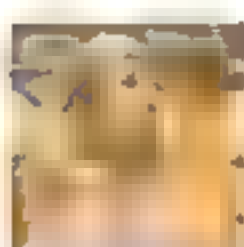
ロッケンムウ
登場場所 帝都アルケイディス、ナブレウス湿原
Words 「困ったのぅ……月銀のメダルはどこへ……」
ナブディス出身のン・モゥ族の神官。月銀のメダルを探して帝都を訪れたが、あまりの人の多さに難渋している。

モテたいシーク
登場場所 帝都アルケイディス、ソーヘン地下宮殿
Words 「要するに、強ぇーのを倒してモテモテになりたいんだぁ」
帝都で暮らすモテないシーク族。モテモテになるべく強いモブを倒そうと考え、ハンターの力を借りる。

ハントループオーナー
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「おや、あなたでしたか。楽しい報告をお待ちしておりましたよ」
ハントループに資金提供する老貴族。レアモンスターの討伐報告を聞くことを楽しみに、余生を送っている。

ふるさとへ帰りたい男
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「飛空艇に乗るのは、どうも苦手でね。裏道なんだけど、ソーヘンを通ろうと思ってるんだ」
バーフォンハイム出身の男。歩いて帰郷しようとしたが、道中にいたモンスターに恐れをなし、モブとして登録した。

宝石商マロウド
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「ナントカって村から来られたんだけど、何を買うのか全然決めてくださらないのよ」
「グランシュ道具店」の2階に店を持つシークの宝石商。なかなか買い物をしない客を相手に困っている様子。

グランシュ兄弟
登場場所 帝都アルケイディス
Words 「モブ討伐へ行く前に。どうぞお買い上げください!」
「グランシュ道具店」の経営者。モブハンターの来店を当てこみ、店内にモブの掲示板を設置している。

港町バーフォンハイムの人々

旅のヴィエラ
登場場所 港町バーフォンハイム、セロビ大地
Words 「この世界は素晴らしい。人々の意思によって、すべてが創られていく」
人の意思の力にあこがれて森を飛び出したヴィエラ族。旅の途中、ヴィラールに襲われ荷物を奪われてしまった。

白波亭の娘
登場場所 港町バーフォンハイム
Words 「イクシオンを倒して!　そして、あたしに安らかな眠りを返して!!」
バーフォンハイムの酒場「白波亭」の看板娘。自分が安眠できない原因を、伝説の夢魔のせいだと訴えるが？

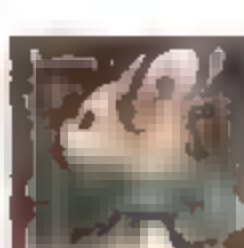
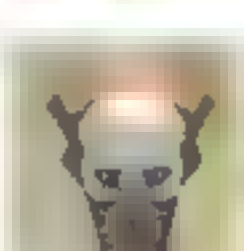
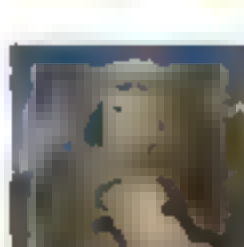
つり好きじいさん
登場場所 港町バーフォンハイム
Words 「わたしゃ船を造っておったんで、海のことも多少は知っておりますですよ」
波止場にいる老人。名竿ムラマタの持ち主で、ルクセラのために竿を探すヴァンにムラマタを盗まれてしまう。

旅の商人ダイス
登場場所 エンサ大砂海、レイスウォール王墓、港町バーフォンハイム
Words 「お、久々だな。王墓にお宝はあったのか?」
バーフォンハイムを拠点とする威勢のいい行商人。相棒のディラとともに、未踏の地へも商売に行く。

武器屋のベルニ
登場場所 港町バーフォンハイム
Words 「田舎町だからたいしたものはないが、ゆっくり見ていってくれ!」
「ベルニの武器・防具ショップ」を営む主人。たいしたものはないと言うが、あつかう品は質の良い武器ばかり。

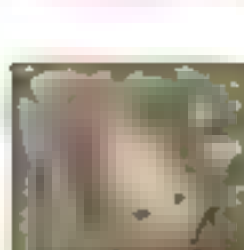
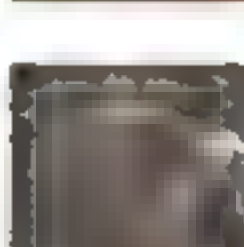
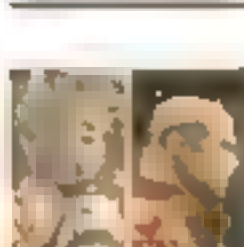
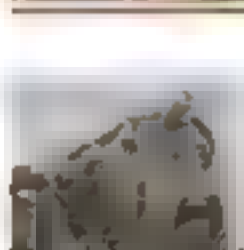
防具屋のエマ
登場場所 港町バーフォンハイム
Words 「いらっしゃい。それなりにいい防具をそろえてるわよ」
ベルニとともに「ベルニの武器・防具ショップ」を切り盛りする女性。防具の販売担当として店に出ている。

店主オード
登場場所 港町バーフォンハイム
Words 「よう!　大海原へ出かけるんなら、忘れずに技を買っていくこったな!」
船乗りの広場に「オードの技ショップ」を構えるバンガ族。店では航海術に関する書物もあつかっている。

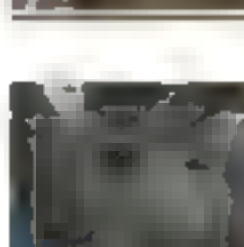
各地の人々

ローエン
登場場所 西ダルマスカ砂漠
Words 「ここから西へ行くとエンサ砂海だよ」
ダルマスカ砂漠とエンサ大砂海の境で商売する行商人。旅をするうえでのちょっとした知識にもくわしい。

イマバク
登場場所 西ダルマスカ砂漠
Words 「おやっさんは浮遊でトラップを回避してるってさ。すごいよなぁ」
ローエンを「おやっさん」と慕うバンガの行商人。旅に慣れていないらしく、ローエンの豆知識に舌を巻く。

はぐれウルタン
登場場所 エンサ大砂海
Words ——
ウルタン・エンサ族のはぐれ者。一族の危機を救うべくヴァンに協力を頼むが、そのせいで仲間に処刑される。

大砂海のモーグリ
登場場所 エンサ大砂海
Words 「花が咲いているクポ……。はぐれウルタンの生まれ変わりクポ……?」
砂漠を旅するモーグリ。はぐれウルタンと交流するが、彼が同族に処刑される場面を目撃してしまう。

ウルタン・エンサの女王
登場場所 エンサ大砂海
Words 「ウルタン・エンサはすなのうみのオウ。ダレのたすけもいらない。ハジをしれ!!」
ウルタン・エンサ族を統べる女王。ほかの種族に頼ったはぐれウルタンを、一族の誇りを汚したとして処刑する。

隊長アデラ
登場場所 モスフォーラ山地
Words 「足を使って商売なんて、古臭いと思うだろ」
キャラバン隊の女隊長。昔気質の商人で、チョコボに乗って各地をまわっている。通称アデラ姐さん。

行商人ヴァカンサ
登場場所 モスフォーラ山地
Words 「アイツといきなりバッタリだァ!　暴れ馬にゃあ手をつけられんとは、まさにこれサ」
いい加減な性格の、ブライ討伐の依頼人。行商中にブライに襲われ、荷物も相方も置いて逃げ出してしまった。

商人ルシオ
登場場所 モスフォーラ山地
Words 「やあ、おつかれさん～。何か欲しいものがあったら、譲ってやるよ」
山の休息地でよろず屋を営む行商人。客の数が少なくなっているにもかかわらず、口調はのんびりとしたもの。

モーグリ工務店のメンバー
登場場所 サリカ樹林、モスフォーラ山地ほか
Words おやかたモーグリ「こんな調子じゃ、いつまでたっても修理が終わらないクポ!」
モーグリの腕利き大工たち。かつてナブラディア国王への恩返しとして作った門を、いまも定期的に修理している。

お頭
登場場所 フォーン海岸
Words 「オレが必要としているのは腕のいいハンターだ。お前のようなヒヨッコに用はない」
レアモンスターを狩る「ハントループ」の元締め。腕のいいハンターをスカウトしようと目を光らせる。

帝国からの旅行者
登場場所 ツィッタ大草原
Words 息子「いつか僕の家来にしてやるから腕を磨いておけよ」
帝国から旅行にきた親子。ソーヘン地下宮殿に棲む"凶悪なモンスター"を退治すべく、ハンターを募集する。

マクレイオ
登場場所 ナブレウス湿原
Words 「勇者を待っているのだよ。ナブディス王宮に封じた魔物を倒してくれる者をの」
ン・モゥ族の神官。ナブディスに封じた魔物を倒す勇者を探すため、弟子たちを各地に派遣する。

バクナムス商人
登場場所 死都ナブディス
Words 「…………。………………。………………ふおおっ」
ナブディスにいるバクナムス族の商人。柱のなかに隠れており、自分を見つけたヴァンと取引に応じる。

ギルガメッシュ
登場場所 ルース魔石鉱
Words 「名高い武器を求めてやまず、西へ東へさすらう男。ウワサのアイツが、ここに見参!」
名のある剣を求めて次元をさすらう謎の剣豪。相棒エンキドゥを連れ、ルース魔石鉱の連絡橋に姿を現す。

僕が描いた絵と一緒に『FF』を未来まで残していく
そのために僕は『FF』に関わっているのかもしれない

天野喜孝 INTERVIEW

『FF』の世界を構成するうえで欠かせない要素が、天野喜孝氏が描く幻想的なイラストの数々。天野氏にとって『FF』とは何なのか、じっくりとお話をうかがってみた。（構成：山下 章）

最初はドット絵みたいに ギザギザしたキャラクターを描いていた

――天野さんは、『FF』に関わる前にコンピュータ・ゲームの仕事をされたことはあったのですか？

天野　まったくなかったですね。一時期は、喫茶店とかボウリング場にあったインベーダーゲームやテニスゲームに朝まで夢中になってましたけど(笑)、ゲームは自分が楽しむものであって、仕事で関わるものではありませんでした。仕事での接点ができたのは、やはりRPGなどでファンタジーの世界が採り上げられるようになったのが大きいと思いますね。

――はじめてゲームのお仕事をされるということで、不安などもあったかと思いますが。

天野　そうでもないですよ。ちょうどそのころ、僕はアニメーションの仕事を離れて、ハヤカワ文庫とか創元推理文庫から出ている海外の翻訳小説の表紙や挿絵を描いていたんです。それで、知り合いの編集者に「ゲームの仕事の話がきたんだけど」と話したら、みんな反対するんですよ。「ゲームなんて、よくわからない業界だからやめておけ」って(笑)。でも僕は、アニメーションでキャラクターのデザインや設定をするのと同じような仕事だろうと考えていたので、ゲーム業界のことはよくわからないながらも「まあ大丈夫かな」と思っていました。

――『FF』という作品の最初の印象はいかがでしたか？

天野　僕が小説の表紙や挿絵を手がけてきたなかで、とくに印象的だった作家にマイケル・ムアコック(『エルリック・サーガ』などで有名な、ダーク・ファンタジー小説の第一人者)というかたがいるんですが、彼が描く世界に近い印象を受けました。幻想的でありながらリアルさも漂っているところが、ほかのファンタジーとはちがった独特な雰囲気で、新鮮に映りましたね。

――実際にイラストを描くときには、どのような流れで作業を進めていったんですか？

天野　まず、こちらでキャラクターをいくつか描いて、それがある程度そろった段階で、アニメーションや映画でいうところのイメージボードを描いていきました。ですから、『FF』のイラストのなかには、ゲーム内の特定のシーンを意識しないで描いたものも結構ありますね。もともと僕は、依頼された枚数よりも多めに描いたりするんですよ。通常のイラストだったらそれ1枚だけで成り立たなければいけないし、小説の挿絵も枚数が決まっているのがふつうなんですが、『FF』の場合は、自分のなかでシーンが浮かんできたらどんどん描いていって、もし使われなくても別にいいかっていう、そんなやりかたをしていました。

――『FF』は『ドラゴンクエスト(以下、ドラクエ)』に対抗するような形で生まれた作品ですが、『ドラクエ』を意識したことはありましたか？

天野　『ドラクエ』の名前はもちろん知っていましたし、鳥山 明さんの『Dr.スランプ』とか『ドラゴンボール』などの絵は個人的にも好きですけど、もしあれと同じ路線で描いてくれと言われていたら、僕は『FF』の仕事を引き受けなかったかもしれません。イラストの仕事を手がけるようになったのは、アニメーションに出てくるようなキャラクターとはちがう方向性の絵を描きたかったから、という部分が大きいので。

――自分で描いたイラストがゲーム中のドット絵になったのを見たときは、どのように感じましたか？

天野　単純に「あ、かわいいな」と(笑)。じつは、僕がはじめのころに描いた絵も、ドット絵みたいにギザギザになったやつだったんですよ。ゲームのキャラクターってみんな2頭身とか3頭身だから、そういう絵を求められているのかと思って。そうしたら「ふつうのイラストのように描いてください」と言われたので、それ以降は通常のイラストのタッチで描いていったんです。そういう経緯があったから、ドット絵になったものを見ても、とくに違和感はありませんでした。それにしても、いま見ると『I』や『II』のイラストは結構デフォルメしてありますね。やっぱり「小さなドット絵になる」というイメージを、どこかに持っていたのかもしれません。

だいたいの役割さえわかっていれば キャラクターのイメージは浮かんでくる

――1枚のキャラクターイラストを描くのに、どれくらいの時間がかかるものなんですか？

天野　1日に5体とか10体くらいのペースで描くので、結構速いと思いますね。『FF』のキャラクターは、鉛筆やペンで下書きなしで一気に描いてから、それに色をつけていきます。描いてみてダメだったときは、またちがう紙に描いて……のくり返しですね。依頼されたキャラクターのリストを横に置いて、上から順に描いていくんです。1体描いたら名前をひとつ赤で消して、「ああ、あと何枚だ」みたいに思いながら。わりと几帳面なので、リストの途中から手をつけることはしないんですよ。

――『FF』シリーズには数多くのキャラクターが登場しますが、あれだけの人数のデザインを考えるのは、かなり大変だったのでは？

天野　そのあたりは、もうクセになっているというか。アニメーションの仕事をしていたときに、いろいろなキャラクターを作ってきたので、性格や年齢、だいたいの役割さえわかっていれば、自然とキャラクターのイメージが浮かんでくるんですよ。

――絵を描きながら、そのキャラクターの設定を天野さんが考えることもあるんですか？

天野　そうですね。世界設定をもとにイラストを描くタイプの人もいますけど、僕の場合はまずキャラクターを描いて、できあがった絵からイメージをふくらませていくタイプなんです。たとえば、女の子のキャラクターを思いついてパッと描いたあとに、この子の相手はどんなヤツだろう、どういう世界にいるんだろう……というふうに考えていくと、設定ってどんどん広がっていくんですよ。逆に言えば、情報がありすぎるとイメージが限定されてしまうので、最初にいただく設定はあまり多くないほうが、僕としてはやりやすいですね。それこそ「男性の戦士」だけでもかまわない。同じ戦士でも、筋肉隆々なのか繊細な感じなのか、髪の毛は長いのか短いのか、肌の色は白っぽいか黒っぽいかというように、バリエーションはいくらでもつけられますから。

――これまでの『FF』のなかで、天野さん自身が気に入っているキャラクターはいますか？

天野　特定の誰か、というのではないですが、自分の好きなパターンはあります。ひとつは『I』や『II』のパッケージで描いているような主人公っぽいヤツで、もうひとつはアニメの『科学忍者隊ガッチャマン』に出てくるコンドルのジョーみたいな、陰のあるクールなタイプのキャラクターですね。それから、悪役のボスも、全身黒ずくめにしたり顔を奇抜にしてみたりと、主人公側のキャラクターよりも思い切ったデザインができるので、描いていて楽しいです。『スター・ウォーズ』でも、主人公のル

ークより悪役のダース・ベイダーのほうがかっこいいじゃないですか(笑)。
──逆に、描くのに苦労するタイプはありますか？
天野 太った人とおばさんです。ただの店員とか、何のヘンテツもないふつうの人も描きにくいですね。人物像が極端なほうが、キャラクターとしては作りやすいんですよ。とはいっても、「デブできれいな人」なんて注文がきたら困ってしまいますが(笑)。
──『VII』からは、野村哲也さんをはじめとするほかのかたが描いたキャラクターデザインが先にあって、それをベースに天野さんが絵を描いて世界観を広げるという方法がとられるようになりました。
天野 この方法は、キャラクターをイチから作らなくていいという面ではラクですね。あの人数をすべて作るとしたら、単純に仕事量的に大変ですし。あとは、どのデザイナーにもクセというか世界観があって、その人にとっては一番自然に描けるタッチが、ほかの人にとってはすごく苦労するものだったりするんです。自分にもそういった描きやすいタッチや模様がありますけど、ほかの人が作ったキャラクターを描くと、自分とはちがったパターンが見つかったりして、おもしろいなと思いますね。
──歴代『FF』のタイトルロゴのバックに入る絵も、天野さんの手によるものですよね。
天野 ええ。ファミコンの『I』から『III』までは、ロゴ全体を僕が描いていたんですけど、『IV』のときに統一の英字ロゴができて、そのバックに僕の絵が入るという現在の形になりました。
──ロゴに入るイラストは、その作品のなかで印象的なものがモチーフになっていますが、何を描くかはどのようにして決まるんですか？
天野 『IV』のときは、別に描いたイラストのなかからスクウェア(当時)さんが選んだものが入っていますが、『V』以降は「こんなイメージで」とか「こういう世界観です」といった程度の情報をもらって、ロゴ用に描き起こしています。最初は、ロゴにちょっと絵を加えれば華やかになる、ということで入れたものだったんですが、作品を重ねるにつれて、だんだん絵自体が重要な意味を持つようになっていきましたね。僕自身は、ロゴというよりもモノクロのイラストのつもりで描いています。ロゴだということを意識しすぎるとデザイン的になってしまうので、トータルで見たときに1枚の絵として見栄えの良いものが描ければいいかなと。
──最新作の『XIII』のロゴは、これまでの作品とくらべるとかなり繊細な感じがしますが……。
天野 そうですね。たとえば『XII』の場合だと、墨で描くことでジャッジの威圧的なイメージを前面に押し出していました。でも『XIII』は3部作になっていますから、個々の作品のロゴ単体でイメージをあまり限定しないようにしたんです。もちろん、それぞれの作品には『XIII』というくくりのなかでの役割があるので、ある程度の個性がなければいけませんが、世界観や設定はつながっているわけだから、個性を出しすぎると『XIII』の全体的な広がりが損なわれると思いまして。なので、3つの作品のロゴが全部そろったときにひとつの世界がイメージできるように意識しながら描いていきましたね。

『FF』の世界に合わせて絵を描くのではなく自分の絵で『FF』の世界を表現しているつもり

──『FF』は20年というロングランのシリーズになりましたが、『I』から関わっている天野さんとしては、ここまで長くつづく作品になると予想していましたか？
天野 最初の時点で予想できた人はいないんじゃないですかね。なにしろ、『I』の仕事を終えたときには、『II』の予定はありませんでしたから。でも、結果的に十何作もつづく人気シリーズに成長してよかったなと思いますよ。最近では、『FF』の新作を出すことが社会的な責任みたいになってきているじゃないですか。だから、開発スタッフのみなさんは大変だと思いますが、がんばってほしいですね。
──この20年で天野さんが描かれた『FF』のイラストも相当な数になりますが、天野さんなりにシリーズで統一しているイメージはあるのでしょうか？
天野 とくに意識はしていないです。むしろ、『FF』が20年という歴史を積み重ねているあいだ、僕も絵描きとしていろいろなものに挑戦しているわけで、そうしたエッセンスがそのときそのときのイラストに反映されているという印象が強いですね。『FF』って、そういうことが許される作品なんですよ。たとえば、小説の挿絵のように、シリーズで設定がガッチリと決まっていると、別の要素を入れる余地があまりないので、その設定から得られるイメージだけで描くことが多い。でも、『FF』は主人公や舞台が毎回変わるし、そんなにガチガチな世界でもないから、ほかのところで得た技術や要素を取りこんでいけるんです。そのあたりが、僕にとっては楽しい部分なんですよね。
──そうすると、『FF』のイラストを順番に見ていくと、この作品のころにはこういうことに挑戦していたというのが思い返せるわけですか。
天野 ええ。たとえば『VI』のころは、ロートレックという画家のリトグラフ(版画)が好きで、自分でも版画をやってみたくて1年くらい版画工房に通っていたので、その影響が絵に出ています。『VII』のときは全部シルクスクリーン(版材に絹を使った、版画の技法の一種)で描いているし、『VIII』はリトグラフで描いたものが多いですね。『IX』は、すでに版画への熱が冷めていたので、以前のタッチにもどっているんです。
──『XI』では、大きな屏風絵も手がけられましたね。
天野 あれは、最初はマップを描いてくれという話だったんですが、ふつうに描いてもおもしろくないし、それなら『FF』の世界をひとつの神話として描いてみようと思いまして。教会にある宗教画や、アテネなどで発掘されるギリシャ神話の彫刻というのは、実際に起こったことではなくて想像上の世界、いわばファンタジーの元祖みたいなものですよね。そう考えると、『FF』の絵にしても、いまから何百年後か何千年後の人が見たときに、ゲームの絵ではなくて古い時代の神話だと考えてくれるかもしれないし、そうなったらおもしろいなと。石井さん(石井浩一氏：当時の『XI』ディレクター)と召喚獣の配置とかをこまかく打ち合わせたりして、結構時間はかかりましたが、あの時点での『XI』の歴史が全部詰まったようなものが作れたんじゃないかと思います。イメージとしては、『FF』の世界で洛中洛外図(室町時代から江戸時代にかけて数多く制作された、京都市街を俯瞰して描いた絵)のような屏風絵をやってみた感じですね。
──確かにあれは、独立した絵として見てもすばらしいと思います。
天野 自分では、『FF』の絵もファインアート(純粋に芸術性を追求した作品)として描いているんですよ。『FF』というゲームの世界に合わせた絵柄で描くのではなくて、あくまでも自分の絵で『FF』の世界を表現するというスタンスなんです。たとえばゴッホの絵はゴッホにしか描けないし、ロートレックやムンクも彼らだけの絵柄を持っている。僕の絵描きとしての個性も、やはりいま描いているような世界観であり絵柄なんですよ。だから、『FF』のイラストであろうと、ギャラリーやアートショーに出品するものであろうと、自分の絵柄で描いていくことが、絵描きとして一番大切にしている部分です。その絵を何のために描いたかは問題ではなくて、描いた絵1枚1枚が大事ですから。実際に2～3年前から、ファインアートの世界にも『FF』みたいな世界観を表現する作品を出していますが、わりと手応えを感じてきていますし。やはりいつの時代も、新しいことへの挑戦がアートとして評価されるんですよね。そのあたりは『FF』の持つ精神と近いかもしれません。
──天野さんの絵を通じて『FF』がアートの世界にも広がり、ゲームファン以外の人たちに感動を与えるという可能性もあるわけですね。
天野 絵には、そういうすごい力があると思うんですよ。ダ・ヴィンチの絵を見ると、それを描いた本人はもうこの世に存在しませんけど、とても感動するじゃないですか。『FF』の絵も、後世の人たちにすばらしいと認めてもらえれば、『FF』という存在をゲーム以外の分野でもずっと未来まで残していけるかもしれない。そのために僕は『FF』に関わっているのかもしれない、という思いもあるので、これからもがんばっていきたいですね。
(2007年12月25日　天野氏のアトリエにて収録)

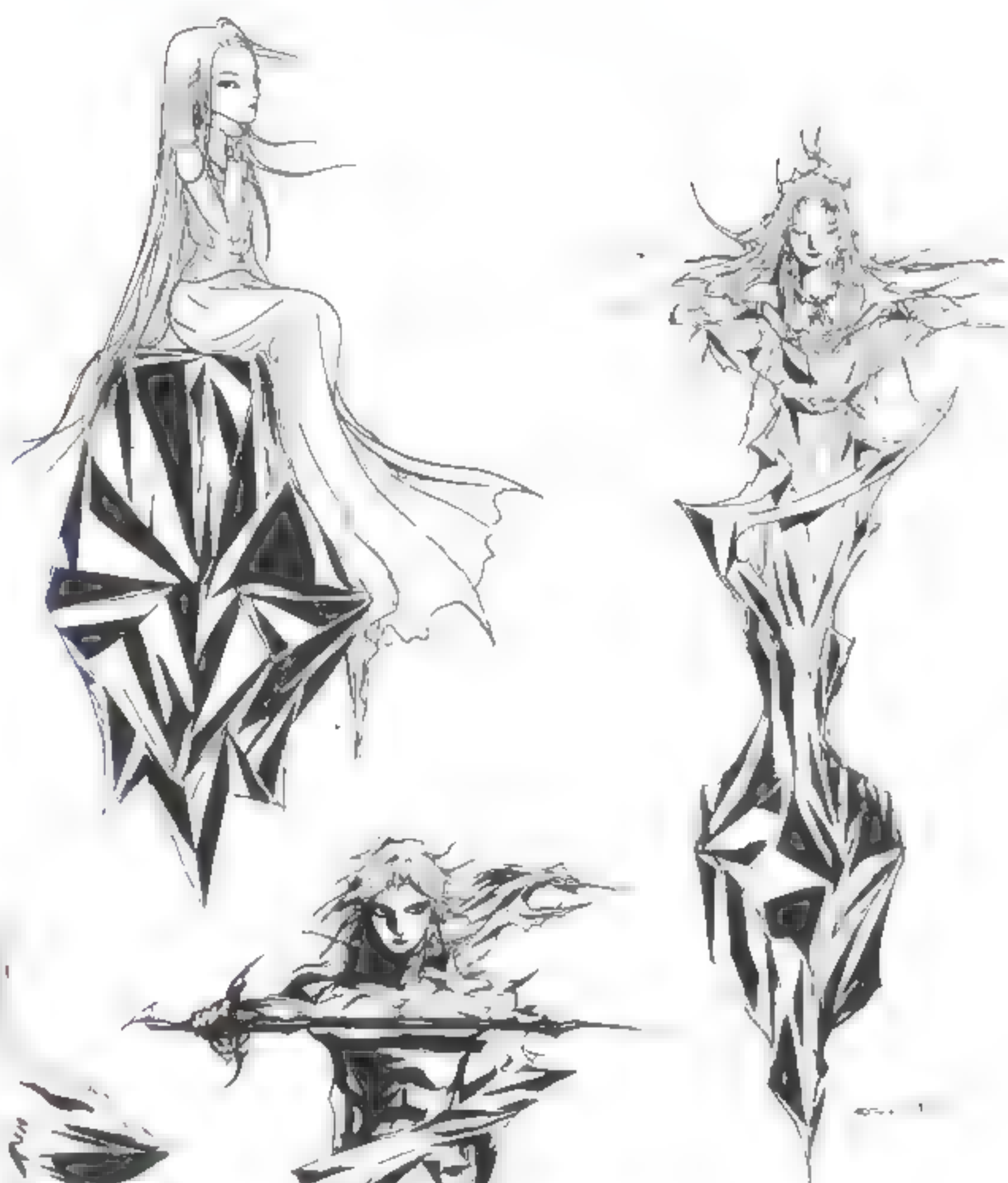
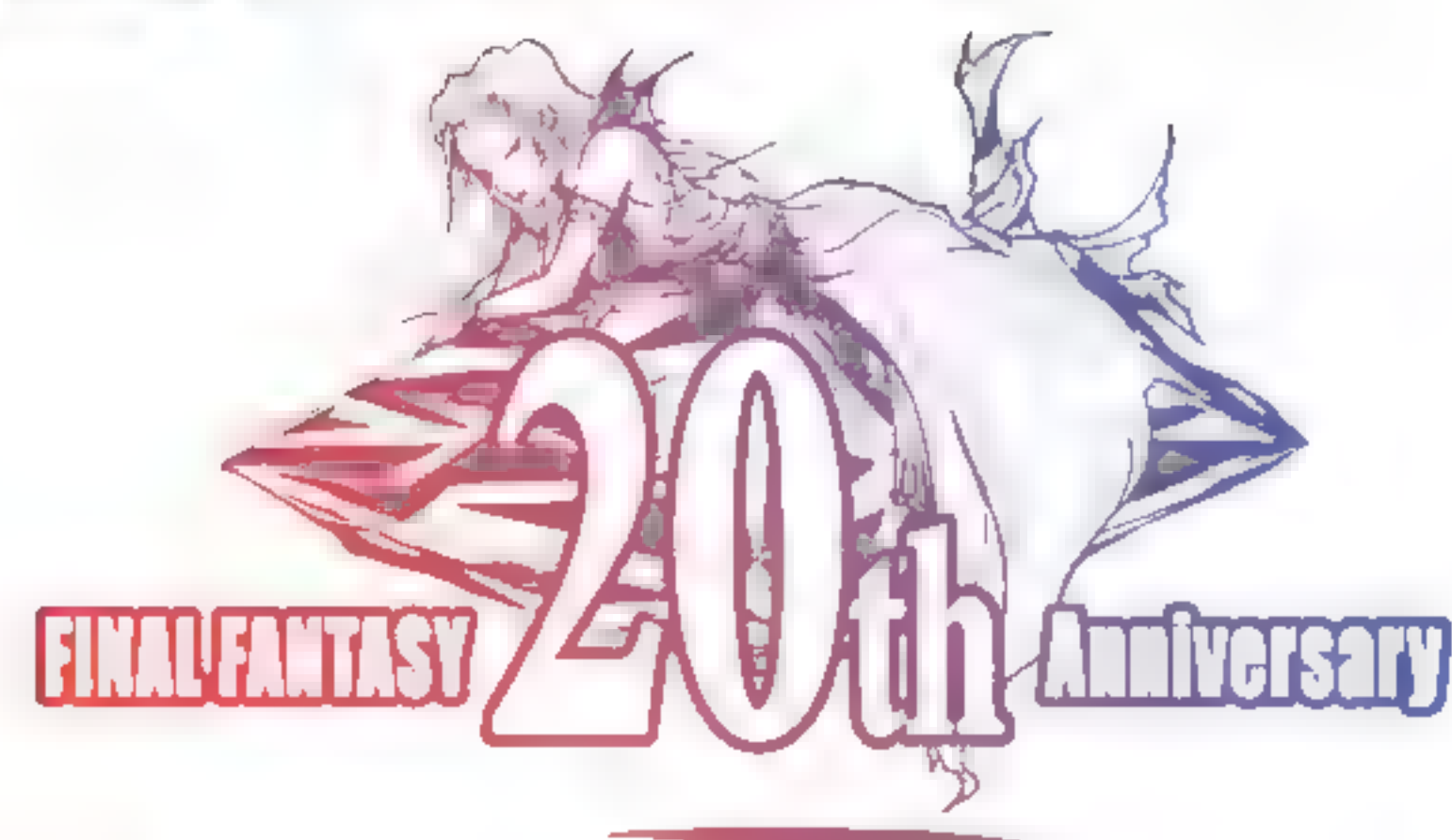
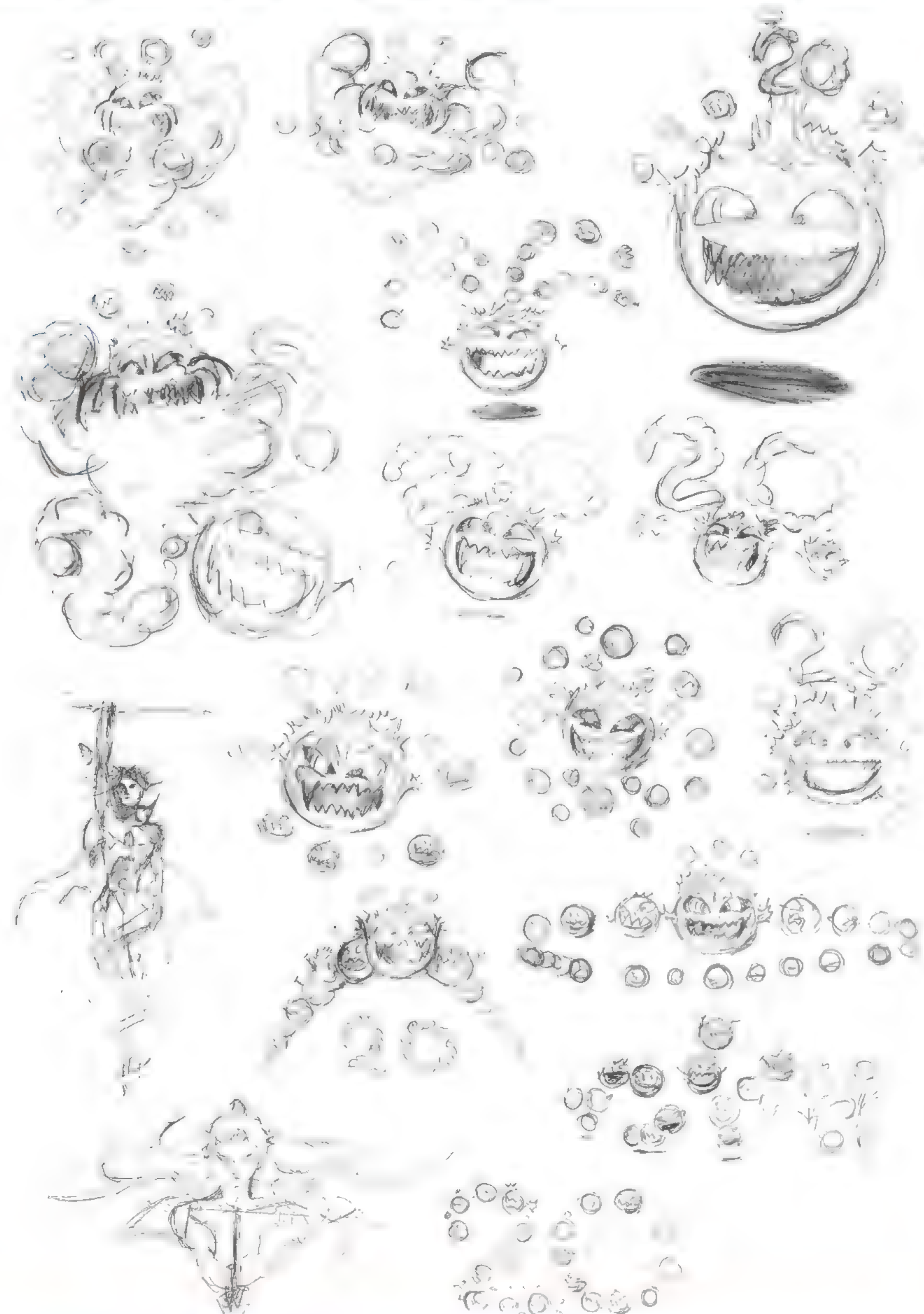
天野喜孝
YOSHITAKA AMANO

PROFILE

1952年静岡県生まれ。竜の子プロダクションでアニメ作品のキャラクターデザインを数多く手がけたのち、フリーに。書籍の挿画・装丁、映像作品や舞台の美術・衣装デザインなど、さまざまな分野で活躍。近年は国内外で個展を開催し、高い評価を得ている。

FINAL FANTASY 20th Anniversary ロゴ原案イラスト集

本書の最後を飾るのは、天野喜孝氏が手がけた「『FF』シリーズ20周年記念ロゴ」の原案イラスト集。決定稿の女性のほかに、光の戦士やボムをあしらった案もあったのだ。

決定稿

FINAL FANTASY 20th Anniversary

FINAL FANTASY 20th Anniversary

FINAL FANTASY 20th ANNIVERSARY ULTIMANIA File 1 : Character

ファイナルファンタジー 20th アニバーサリー アルティマニア File1：キャラクター編 インデックス

INDEX

※赤い文字は、そのページにキャラクターの基本的な解説が掲載されていることを示す

SE-MOOK

FINAL FANTASY 20th ANNIVERSARY ULTIMANIA

ファイナルファンタジー 20th アニバーサリー アルティマニア

File 1：キャラクター編

STAFF

企画・制作　**株式会社スクウェア・エニックス**【http://www.square-enix.com】

編集・執筆　**株式会社スタジオベントスタッフ**【http://www.bent.co.jp】
山下　章　(Director／インタビュー聞き手)
大野優子　(Sub-Director／FFⅨ／X-2)
ベニー松山(FFⅧ)
手塚一郎　(FFⅤ／Ⅵ)
大津佳之　(FFⅪ／Ⅻ／人物相関図)
澤田真之　(FFⅦ／Ⅹ／人物相関図／ULTIMANIA CHECK)
佐久間亮介(FFⅢ)
大出綾太　(インタビュー構成／ULTIMANIA CHECK)
山中直樹　(FFⅢ＆Ⅺ Support／ULTIMANIA CHECK)
板場利光　(キャラクターで振り返る『FF』シリーズ／インタビュー構成)
日下部智子(FFⅦ＆Ⅷ＆Ⅹ＆X-2＆Ⅻ Support)
小石朋仁　(FFⅣ＆Ⅺ Support)
中谷　薫　(FFⅤ＆Ⅵ Support)
白崎正悟　(FFⅨ＆X-2 Support)
木村昌弘　(FFⅡ＆Ⅲ Support／ULTIMANIA CHECK)
志賀　修　(FFⅠ Support)
菅沼慎太　(FFⅧ＆Ⅺ Support)
末崎進一　(FFⅡ Support)
福井大輔　(FFX-2 Support)
大出啓太　(FFⅩ Support)
深見真咲　(FFⅠ／Ⅱ／Ⅳ)

カバーデザイン　**有限会社バナナスタジオ**
島田忠司
門倉徳映

デザイン・DTP　**株式会社ウァン**【http://www.wan-inc.com】
神田奈保子
堂　和昌
井村　旬
奥野良子
金子真呼
鳥海　慧

撮影　柴泉　寛

造形　**株式会社十指作**【http://www.toshisaku.com】
加藤弥栄
宮崎謙雄

協力　**天野喜孝事務所**
株式会社グレッゾ

協力・監修　**株式会社スクウェア・エニックス**
宣伝部

デジタル版　Ver.1.00
2018年2月1日　Ver.1.00発行

発行所　株式会社スクウェア・エニックス

<ページ抜け・誤植・内容についてのお問い合わせ>
スクウェア・エニックス　サポートセンター
http://sqex.to/jp_manga_support

<ビュワーの不具合・再ダウンロードできない等、
販売に関するお問い合わせ>
本作品を購入された電子書籍書店のサポートセンターにお問い合わせください。